

講義内容 2007

---

文学部

# 講 義 内 容

## 目 次

I	全 学 共 通 科 目	
1	宗 教 教 育 科 目 .....	9
2	教 養 教 育 科 目 .....	33
(1)	人 文 分 野 .....	33
(2)	社 会 分 野 .....	115
(3)	自 然 分 野 .....	131
(4)	総 合 分 野 .....	175
3	外 国 語 科 目 .....	209
4	保 健 体 育 科 目 .....	407
II	専 門 教 育 科 目	
1	国 文 学 科 .....	471
2	英 米 文 学 科 .....	539
3	地 理 学 科 .....	607
4	歴 史 学 科 .....	689
5	社会学科(社会学専攻) .....	789
6	社会学科(社会福祉学専攻) .....	845
7	心 理 学 科 .....	913
III	他 学 部 履 修 科 目 .....	971
IV	「日本語」・「日本事情」科目 .....	1055
V	随 意 科 目 .....	1083

全 学 共 通 科 目	宗教教育
	人文分野
	社会分野
	自然分野
	総合分野
	外国語
	保健体育
	国
	文英米文地
	理歴
専 門 教 育 科 目	史
	(社会学)社会
	社会福祉学
	会
	心
履 修 科 目	他学部
	「日本語」
日 本 事 情	「日本語」
	「日本事情」
随 意 科 目	随意科目

(注意)

講義内容に掲載している配当学科(学年)の欄は、それぞれの学科名で表記していますが、地理学科・歴史学科・社会学科については下表の略称で表記しています。誤りのないように履修してください。

学科	専攻	全学共通科目	専門教育科目
地理学科	地域文化研究専攻	地理	地文
	地域環境研究専攻	地理	環境
歴史学科	日本史学専攻(16年度以降入学生)	歴史	日本史
	外国史学専攻(16年度以降入学生)	歴史	外国史
	考古学専攻(16年度以降入学生)	歴史	考古学
	15年度以前入学生	歴史	歴史
社会学科	社会学専攻	社会	社会
	社会福祉学専攻	福祉	福祉

# I 全 学 共 通 科 目

# 1. 宗教教育科目

## 1. 宗教教育科目

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
仏教と人間	国1必	通年	4	小川 順敬	9
仏教と人間	英1必	通年	4	池上 良正	9
仏教と人間	地文1必 環境1必	通年	4	矢野 秀武	10
仏教と人間	日1必	通年	4	栗谷 良道	10
仏教と人間	外1必 考1必	通年	4	竹内 弘道	11
仏教と人間	心1必	通年	4	佐藤 憲昭	12
仏教と人間	社1必 福1必	通年	4	佐々木 章格	13
仏教と人間〔再クラス〕	全学科（フレB除く）234年	通年	4	吉津 宜英	14
仏教と人間〔再クラス〕	全学科（フレB除く）234年	通年	4	下室 覚道	15
仏教と人間〔再クラス〕	全学科（フレB除く）234年	通年	4	松田 陽志	15
仏教と人間〔再クラス〕	全学科（フレB除く）234年	通年	4	晴山 俊英	16
自然と宗教	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商現営A放選	通年	4	小川 順敬	17
社会と宗教	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商現営A放選	通年	4	矢野 秀武	17
文化と宗教	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商現営A放選	通年	4	佐藤 憲昭	18
坐禅	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商現営A放選	半期	2	佐藤 秀孝 熊本 英人	19

科目名	仏教と人間	開講	通年	単位	4
配当	国1必				
担当者名	おがわ としゆき 小川 順敬				

講義のねらい

日本人は仏教や寺院と深い関わりをもって生活しています。お彼岸やお盆といった年中行事、葬儀や年忌などの人生儀礼、また時には寺院で「祈願」を行なうなど、仏教は生活の中の宗教として定着してきたといっても良いでしょう。しかし、そこで行なわれている法要や行事の意味について私たちは十分に理解しているでしょうか。多くの場合、これらの法要や行事は仏教本来の教えとは異なっています。教義で説く仏教と、私たちが普通に考えている仏教には大きな違いがあるのです。すなわち日本仏教は本来の仏教から大きく変容していると考えられているのです。

この講義では、私たちをとりまく仏教の現状から初めて、その変容の意味を考えたいと思います。しかし変容を考えるためには、本来の仏教の教えについて学ばなくてはなりません。仏教がどの様にして生まれ、発展してきたのか、この点について理解を深めたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期は日本の仏教の現状と、仏教と民俗慣行との関わりについて、歴史をふまえながら紹介していきます。後期は仏教思想について紹介していきたいと考えています。

成績評価の方法

評価は夏期レポート（前期試験に相当します）と年度末の筆記試験により行います。成績評価の具体的な方法、レポートの課題、年度末試験の方針、出席点評価等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）2,100円

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	仏教と人間	開講	通年	単位	4
配当	英1必				
担当者名	いけがみ よしまさ 池上 良正				

講義のねらい

「仏教」には高度な思想から、生活に根づいた習俗まで多様な幅があるが、本講義では、現実の社会の中に生きる仏教の実態に関する基礎的知識の解説に主眼をおいて、学生諸君が興味をもってそうなトピックを中心に講義を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、「世界宗教」の発生・展開という人類史の大きな流れのなかで、仏教の成立過程とその意義を考察する。後期は、「山岳信仰と日本仏教」というテーマを中心に、日本の民衆層における仏教の土着化の問題を考える。

成績評価の方法

前期末と学年末に筆記試験を行なう。

参考書等

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）

科目名	仏教と人間	開講	通年	単位	4
配当	地文1必 環境1必				
担当者名	矢野 秀武 <small>やの ひでたけ</small>				

講義のねらい

本講義では、日本だけではなく東アジア・東南アジア・南アジア・欧米などにおける仏教の様々な姿を、その地域の政治・社会・文化との関わりの中で紹介する。世界における仏教についての基礎知識を学ぶだけでなく、仏教と社会との関わり方には多様な姿があること、および諸外国の仏教を通して現代日本の仏教の特色を理解してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、おもに東南アジア・南アジア社会と仏教の関係を紹介し、仏教が生活の多様な側面と結びついている事例を紹介する。後期では日本仏教を中心に、葬祭重視の仏教が生まれる背景、老いや死などの問題に対する仏教の取り組みなどを紹介する。

成績評価の方法

レポートと年度末の筆記試験を総合して評価を行なう。レポートは夏期休暇前に課題を提示する。レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。

参考書等

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）その他については、授業時に随時紹介する。

科目名	仏教と人間	開講	通年	単位	4
配当	日1必				
担当者名	栗谷 良道 <small>あわや りようどう</small>				

講義のねらい

日本に伝承された仏教は、日本の文化と深く関わりながら、先祖供養や祈願祈祷などを行うことによって受け継がれてきました。お盆やお彼岸の先祖供養、お正月のご祈祷など、日本の仏教は人々の暮らしの中に定着している宗教と言えます。そのような日本の仏教を理解するには、日本の固有文化である習俗や慣習などの民俗を学ぶと同時に、インドから伝わる仏教の理念としての教義を学ぶ必要があります。この講座では、まず、日本の文化と交流しながら発展してきた日本の仏教について学びます。そして、より深く仏教を理解するために、仏教の理念として伝承されてきた仏教の教義についても学びます。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、日本の宗教、日本の仏教、仏教と民俗の関わり、などについて学びます。後期は、釈尊の教え、禅宗の教え、道元禅師の教え、などについて学びます。

履修上の留意点

授業で配布するプリントの中から試験問題を出します。毎回、出席してプリントを受け取ってください。

成績評価の方法

学年末の筆記試験とレポートで評価します。レポートの課題は夏休みの前に出します。詳しくは授業の中で説明します。

教科書

その都度、プリントを配布します。

参考書等

授業の中で適宜紹介します。



科目名	仏教と人間	開講	通年	単位	4
配当	外1必 考1必				
担当者名	たけうち こうどう 竹内 弘道				

## 講義のねらい

世界のさまざまな問題に関心を寄せ、現代社会が抱える先端的なテーマに対しても自分なりの考えを持てるようになることが学生としてのあるべき姿であると考え。しかし、いざ自分の考えを表明しようにも、判断の指標となる自己の依って立つ「思想」がなければ、何の見解も導き出すことができない。しかも、現代に固有の問題は、背景に深く自らの宗教観が問われる場合が多く、自己の宗教的視点が確立していないと、問題の本質も見えず、意見を述べることもむずかしくなる。宗教を病的なまでに排除した戦後の教育によって形成された私たちの知性にとって、大きく欠けている部分は宗教に関する諸知識と宗教観である。授業では、仏教と禅に関する基本的知識を学ぶなかで、現代社会のさまざまな問題についても考えていきたいと思う。

## 講義の内容・授業スケジュール

仏教の基本的思想や禅の目指す人間観について講義するが、次のようなテーマについて、具体的問題をとりあげ、随時講義する予定である。時間が許せば予定外のテーマもとりあげたい。

1. 生命倫理と脳死・臓器移植－日本人の生命観
2. 破壊的カルト教団の諸相とマインドコントロールの恐怖
3. 環境問題と現代社会－仏教の可能性
4. 仏教と人権－フェミニズムからの挑戦
5. 日本仏教の社会的機能と使命－葬祭と仏教

## 成績評価の方法

試験は、講義内容から指定したテーマについて、レポートを提出させ理解度を評価する。

## 教科書

板書・プリント配布

## 参考書等

参考書はその都度授業で紹介する。

科目名	仏教と人間	開講	通年	単位	4
配当	心1必				
担当者名	佐藤 憲昭 <small>さとう のりあき</small>				

講義のねらい

仏教は、人間・社会にとってどのような意味と役割をもっているか、他の諸宗教との関連のもとに考察する。日本人の多くは、宗教を信じていないとみずから認識している人たちが、その一方で、お盆や春秋のお彼岸にはお墓参りに行き、あるいは仏僧に読経を依頼するなど、仏教徒としての行動をとっていることが少なくない。こうした生活の中で展開している仏教は「民俗仏教」と呼ばれるが、これは「教義仏教」で説く仏教とは大きく異なっている。この講座では、仏教徒には、教義仏教と民俗仏教との異なる二つのレベルがあることを学習した後に、教義仏教の思想と行動を理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

次のテーマのもとに具体的に考察する。

1. 宗教学の視点と方法、2. 人類と文化、3. 風土と宗教、4. 民俗宗教の特質、5. 教義仏教と民俗仏教、6. 原始仏教、7. 上座仏教と大乘仏教、8. 禅仏教の特質、9. 曹洞宗の特質、10. 総括。

履修上の留意点

ときどき出席をとるので、欠席をする場合（または出席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の筆記試験で評価する。合格の基準は、講義内容を踏まえて、みずからの言葉でどのように論じているかという点にある。なお、不合格の場合には、出席点を加算して最終評価を行う予定。

教科書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	仏教と人間	開講	通年	単位	4
配当	社1必 福1必				
担当者名	ささき しょうかく 佐々木 章格				

講義のねらい

「父母未生以前、本来の面目」という公案がある。かの夏目漱石も若いころに課題とされ、それは晩年にいたる小説の中まで鮮やかに反映されていた。本来の人間とは何か、本当の自分自身とは――。釈尊（ブツダ）はその最後に、弟子たちに向かって「法灯明、自灯明」すなわち真理を抛り処とし、自分自身を抛り処とせよ、と説示した。それは理想としての宗教ではなく、現実にある自分の姿としての、苦悩と戦いながらの実践修道（生きざま）なのではないだろうか。

本講義においては、宗教教育科目として、本学の建学の精神に関わる仏教思想・禅思想に焦点を合わせ、仏教の開祖釈尊以来の説示を概説する。また禅の公案についても参究しながら、「人間そのもの」について理解を深めていきたい。さらに学生手帳に載せる『般若心経』や『修証義』にも言及したい。

講義の内容・授業スケジュール

次のテーマを用意し、世界宗教・仏教・禅について順次理解を深めたいと考えている。

- 1) 文化と宗教、宗教現象の諸相、宗教の分類、世界宗教・民族宗教についての概要。
- 2) インドの古代思想、釈尊の成道、仏教の基本的教理、大乘仏教（菩薩道）の成立。
- 3) 中国における仏教の受容とその梗概、禅宗の成立と展開。
- 4) 日本における仏教の受容とその梗概、および道元禅師と瑩山禅師の思想。

履修上の留意点

教科書は必ず持参すること。そしてこの科目専用のノートを用意し、講義内容を自分の手で、ノートすることを要望する。またレポートの提出をお願いするが、その内容については一般常識などの借り物ではなく、自分自身で論理の出発点を見出し、課題に対しての本人の主体的意見が存在したものを希望する。

成績評価の方法

定期試験を基本とし、加えて別に指示する課題についてのレポート、受講の度合（出欠）を考慮した総合評価とする。

教科書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）2,100円

参考書等

必要に応じて適宜紹介、またプリント等も配布する。

科目名	仏教と人間〔再クラス〕	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	よしず よしひで 吉津 宜英				

講義のねらい

まず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」というぐらいに広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどんなイメージを抱き、どんな意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もあります。これまで宗教に無関心な人や、宗教批判者もあつしょう。私は宗教に対して肯定的な人にも、否定的な方にもまず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古から様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、また多くの神々を信仰したり、仏教のように仏を重んじるものもあります。なぜ人間は宗教を求めるのでしょうか。この講義ではまず宗教の多様性の確認から始めます。そして宗教は社会の中でどのような機能を果たしているのかを考えます。また宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起き、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると公共の福祉に反する社会的問題も引き起こします。講義全体としては仏教を含めた宗教の功罪両面を考察してゆくことをねらいとします。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会や世界の様々な問題を取り上げます。新靈性運動(new spirituality movement)という新しい宗教運動にも注目します。また靖国神社問題を始めとする政教分離の課題、宗教原理主義の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、クローン人間の問題、遺伝子工学と宗教倫理などのテーマを順次取り上げていきます。毎回、あるタイトルを掲げて講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいものです。

成績評価の方法

毎回出席を取ります。年間2、3回課題の提出を依頼します。最後に期末試験を行います。それらを総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しません。できるだけ参考資料としてプリントを配布します

参考書等

講義の中で随時参考図書を紹介します。

その他

私が講義中であっても挙手して質問や意見を述べて下さい。私語は厳禁です。あまり目立つ時は退場を要請します。講義開始時間から30分過ぎていたら教場に入らないで下さい。

科目名	仏教と人間〔再クラス〕	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	しもむろ かくどう 下室 寛道				

講義のねらい

日本は仏教国といわれるが、どれほどの人が仏教について理解しているであろうか。本講義では、仏教の開祖である釈尊の生涯や基本的な教え、そして仏教の伝播などについて考察し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えていきたい。また、仏教と現代社会のさまざまな問題についても考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教え、仏教の伝播について学んでいく。特に伝播過程において日本の曹洞宗の開祖である道元禅師についてはより細かく取り上げていきたい。また、仏教と現代社会の問題においては、臓器移植や人権の問題に関して随時紹介していきたい。

成績評価の方法

授業の出席状況、レポート、年度末試験により評価する。

教科書

プリントを随時配布する。

参考書等

松尾剛次『仏教入門』（岩波ジュニア新書）  
水野弘元『仏教要語の基礎知識』（春秋社）

科目名	仏教と人間〔再クラス〕	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	まつだ ようじ 松田 陽志				

講義のねらい

本学が建学の理念とする仏教・禅の考え方について講義する。インドに生まれた仏教はアジア各地にさまざまに変容しながら伝えられた。釈尊（釈迦牟尼世尊）の生涯を仏伝（釈尊の伝記）の記述などによってたどりながら、インドのヒンドゥー文化圏の中で、釈尊の抱えた課題とその説き示した初期仏教の内容を捉えることで、われわれが身近に感ずる仏教の性格との違いについて考える。

講義の内容・授業スケジュール

最初に本学が禅・曹洞宗を母胎として創立されたことを歴史的に概観したあと、釈尊の生涯を仏伝の記述によって理解する。釈尊以後の仏教教団によってまとめられる仏伝が、釈尊の教えの独自性を、釈尊の生涯を記述するなかでどのように表現しようとしたのかを、具体的に検討する。特に釈尊の生きたインドのヒンドゥー教の性格や、その中で釈尊自身が何を求めて出家し、成道において何をさとり、伝道の旅の中で人々に対しておこなった説法の意義について考える。またインドを離れ中国・日本へと伝えられた仏教がどのようにその教えを展開・変容させていったのかについても講義する。

履修上の留意点

インドの宗教風土の中で釈尊の求めたものと、現在の日本や中国での仏教（大乘仏教）のとりえ方に違いがあることを踏まえ、講義を通じて自分が考える「仏教」がどのような性格を持っているのかということを考えてもらいたい。

成績評価の方法

毎回の出席点に加えて、前期末のレポートと年度末試験によって評価する。

教科書

特に指定しない。配布プリントにしたがって講義する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	仏教と人間〔再クラス〕	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	晴山 俊英 <small>はれやま しゆんえい</small>				

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

教科書

特になし。板書が中心となる。

参考書等

授業において必要があれば適宜指示する。

その他

試験は自筆ノートのみ持ち込み可で、試験範囲を限定することはしません。従って欠席した分については自己責任で対処すること。

科目名	自然と宗教	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A放選				
担当者名	小川 順敬 <small>おがわ としゆき</small>				

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとどなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拝の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。  
この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと思います。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価は原則として、年2、3回の「小レポート試験」と年度末の筆記試験により行います。なお小レポートとは別に、夏期休暇前に「夏期レポート」課題を出しますが、提出は受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

原則として教科書は用いません。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	社会と宗教	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A放選				
担当者名	矢野 秀武 <small>やの ひであき</small>				

講義のねらい

宗教は、心の次元の事柄であり、深い精神性に関わり、また言い尽くしがたい個々人の思いや人生と密接なつながりをもっている。しかし、それらの信仰心や宗教活動は、特定の時代や地域、あるいは性差による違いなど、社会的・文化的な影響を帯びているものでもある。さらに、宗教思想や宗教活動が、社会に何らかの影響を及ぼすこともある。本講義では、このような宗教と社会との様々な関わりについて学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期はおもに、宗教集団の形成や変容の過程、カルト問題、現代文化における儀礼・祭礼や精霊信仰などをとりあげ、宗教社会学と宗教人類学に関わる基礎知識を学ぶ。後期は、戦争やテロリズムなどの社会的暴力、ナショナリズム、民主主義、法律、教育、福祉活動といったテーマと宗教の接点をとりあげ、宗教が私的な信仰心の側面だけではなく、社会一般の制度と関わる公的側面を持っている点について解説する。

成績評価の方法

レポートと年度末の筆記試験を総合して評価を行なう。レポートは夏期休暇前に課題を提示する。レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。

参考書等

授業時に随時紹介する。

科目名	文化と宗教	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A放選				
担当者名	佐藤 憲昭				

講義のねらい

私たちは自分の好みに合わせて、例えば、服装の色を選択しているが、冠婚葬祭などにおいては当該社会に伝承され、社会で期待されている色彩の服装を身につけるのがふつうである。色彩の問題は服装ばかりではなく、多方面に及んでいる。しかも色彩の象徴的意味は、民族が異なると正反対の意味をもつなど、決して人類に普遍的なものではない。この講座では、内外の事例を紹介しながら、カラー・シンボリズムとその周辺の諸問題に焦点を合せて考察し、「文化と宗教」の問題に接近してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

次のテーマのもとに具体的に考察する。  
 1. 人類学の視点と方法、2. 文化の概念、3. 文化の特質と機能、4. 文化と社会構造、5. 文化人類学・民俗学における色彩の研究小史、6. 通過儀礼におけるカラー・シンボリズムとその周辺の諸問題、7. 仏教儀礼におけるカラー・シンボリズムとその周辺の諸問題、8. 王権のカラー・シンボリズム、9. 宗教的職能者のカラー・シンボリズム、10. 総括。

履修上の留意点

ときどき出席をとるので、欠席をする場合（または出席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の筆記試験で評価する。合格の基準は、講義内容を踏まえて、みずからの言葉でどのように論じているかという点にある。なお、不合格の場合には、出席点とレポート点（4年生のみ該当）を加算して最終評価を行う。4年生のみの提出レポートは、次の通りである。【課題】教科書を読み、その感想文を作成する。【字数】2000字。【提出先と時期】12月までの授業時に随時受けつける。【その他】ワープロ作成可。ただし、授業時以外は受理しない。4年生は必ず提出のこと。

教科書

佐々木宏幹『神と仏と日本人――宗教人類学の構想――』（吉川弘文館）

参考書等

授業中に適宜紹介する。



科目名	坐禅	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A放選				
担当者名	マとう しゆうこう くまもと えいじん 佐藤 秀孝・熊本 英人				

## 講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの周りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を拠り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょ。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。

## 講義の内容・授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

- 1～3 「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法を修得)
- 4～13 「坐禅実習」(1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます)

## 履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。特に、最初の3回は作法の説明がありますので必ず出席してください。また、まじめに授業を受けられることを要望します。事前登録科目ですので、他の受講希望者の迷惑となりますから、カラ登録や受講途中放棄はやめてください。

## 成績評価の方法

出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

## 教科書

適宜、プリントにて配布します。

## 参考書等

『坐禅一講本一』(更生社) 2,226円

## 2. 教 養 教 育 科 目

## 2. 教養教育科目

## (1) 人文分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
文学【6〔日本文学「近代」〕】	社福心選	通年	4	松田直行	33
文学【10〔日本文学「古典」〕】	地文環境歴日外考選 菅B選	通年	4	藺部幹生	34
文学【12〔日本文学「近代」〕】	国英選	通年	4	小林治	34
歴史学【1〔日本中世史〕】	禅仏国英選	通年	4	栗原修	35
歴史学【2〔東アジア考古学〕】	地文環境歴日外考社福心選 菅B選	通年	4	千葉基次	35
芸術学【1〔日本美術〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A商法A政管A選	通年	4	北野良枝	36
芸術学【2〔西洋美術〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A商法A政管A選	通年	4	矢野陽子	37
芸術学【3〔音楽〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A商法A政管A選	通年	4	浦本裕子	38
哲学 【5〔近代の人間観と世界観〕】	地文環境社福心選	通年	4	久保陽一	39
哲学【7〔現代文明と人間〕】	禅仏国選	通年	4	黒崎剛	39
哲学【8〔現代文明と人間〕】	英歴日外考選	通年	4	滝沢正之	40
論理学 【2〔科学方法論と現代論理学〕】	禅仏国英選	通年	4	山口祐弘	40
論理学 【4〔科学方法論と現代論理学〕】	地文環境歴日外考社福心選	通年	4	滝口清栄	41
論理学【5〔知の技法〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	伊古田理	42
論理学【7〔知の技法〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	植野公稔	43
科学史【1〔科学と技術〕】	国英地文環境歴日外考社福心菅 A選	通年	4	高橋秀裕	44
倫理学【1〔人間観〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	古田知章	45
倫理学【2〔応用倫理学〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	黒崎剛	46
倫理学【3〔価値観〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	滝沢正之	47
倫理学【4〔応用倫理学〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	麻生享志	48
倫理学【5〔制度とモラル〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	滝口清栄	49
倫理学【6〔東洋倫理〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	末木恭彦	49
倫理学【7〔応用倫理学〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	黒崎剛	50
宗教学【1〔比較宗教文化〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	池上良正	51
宗教学【2〔聖と俗〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	田中かの子	52
宗教学【3〔世界観と儀礼〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	小川順敬	53
宗教学【4〔日本人の宗教〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	矢野秀武	53
宗教学【5〔生活と宗教〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	菅原壽清	54
宗教学【6〔民俗宗教の諸相〕】	全学科（フレB除く）選	通年	4	浅川泰宏	55
人文地理学【1〔風土と文化〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経商法A政管A選	通年	4	山口太郎	56

人文地理学【2〔風土と文化〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商法A政営A選	通年	4	高橋健太郎	57
人文地理学【3〔空間と行動〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商法A政営A選	通年	4	伊藤修一	58
人文地理学【4〔空間と行動〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商法A政営A選	通年	4	伊藤修一	59
教育の思想	禅仏国234選	半期	2	豊田千代子	60
教育の思想	禅仏国英234選 英地文環境歴日外考234選	半期	2	北村三子	60
教育の思想	地文環境歴日外考社234選 歴日外考社福心経A234選	半期	2	伊藤茂樹	61
教育の思想	英福心経A商234選	半期	2	萩原建次郎	62
教育と社会	禅仏国234選	半期	2	豊田千代子	63
教育と社会	禅仏国英234選 英地文環境歴日外考234選	半期	2	北村三子	63
教育と社会	地文環境歴日外考社234選 歴日外考社福心経A234選	半期	2	伊藤茂樹	64
教育と社会	英福心経A商234選	半期	2	萩原建次郎	65
発達と学習の心理学	禅仏国英234選	半期	2	大浜幾久子	66
発達と学習の心理学	地文環境歴日外考社福心234選	半期	2	飯田都	66
発達と学習の心理学	禅仏国英234選 地文環境歴日外考社福心234選	半期	2	角野善司	67
カリキュラムと学習	禅仏国英234選	半期	2	大浜幾久子	67
カリキュラムと学習	地文環境歴日外考社福心234選	半期	2	杉山二季	68
カリキュラムと学習	地文環境歴日外考社福心234選 禅仏国英234選(12年度以降入学生)	半期	2	角野善司	68
フレッシュマンセミナー	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A1選(19年度入学生のみ)	半期	2	萩原義雄	69
フレッシュマンセミナー	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A1選(19年度入学生のみ)	半期	2	佐原作美	70
フレッシュマンセミナー	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A1選(19年度入学生のみ)	半期	2	鈴木裕子	71
フレッシュマンセミナー	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A1選(19年度入学生のみ)	半期	2	坂口博規	72
フレッシュマンセミナー	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A1選(19年度入学生のみ)	半期	2	菌部幹生	73
フレッシュマンセミナー	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A1選(19年度入学生のみ)	半期	2	石割透	74
フレッシュマンセミナー	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A1選(19年度入学生のみ)	半期	2	小林治	75
フレッシュマンセミナー	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A1選(19年度入学生のみ)	半期	2	松田直行	76
フレッシュマンセミナー	国英日外考心営A1選(19年度入学生のみ)	半期	2	湯浅陽子	77
日本文化基礎	国英日外考心営A12選	半期	2	佐原作美	78

日本文化基礎	禪仏国英地文環境日外考心政営 A12選	半期	2	鈴木裕子	78
日本文化基礎	禪仏国英地文環境日外考心政営 A12選	半期	2	坂口博規	79
日本文化基礎	禪仏国英地文環境日外考心政営 A12選	半期	2	藺部幹生	79
日本文化基礎	禪仏国英地文環境日外考心政営 A12選	半期	2	石割透	80
日本文化基礎	禪仏国英地文環境日外考心政営 A12選	半期	2	小林治	81
日本文化基礎	禪仏国英地文環境日外考心政営 A12選	半期	2	松田直行	82
日本語文化基礎	禪仏国英地文環境日外考心政営 A12選	半期	2	萩原義雄	83
日本語文化基礎	禪仏国英地文環境日外考心政営 A12選	半期	2	湯浅陽子	84
日本文化研究IA	禪仏国英地文環境歴日外考心政営 A選	通年	4	佐原作美	85
日本文化研究IA	禪仏国英地文環境歴日外考心政営 A選	通年	4	坂口博規	85
日本文化研究IA	禪仏国英地文環境歴日外考心政営 A選	通年	4	鈴木裕子	86
日本文化研究IA	禪仏国英地文環境歴日外考心政営 A選	通年	4	藺部幹生	87
日本文化研究IB	禪仏国英地文環境歴日外考心政営 A選	通年	4	石割透	88
日本文化研究IB	禪仏国英地文環境歴日外考心政営 A選	通年	4	小林治	89
日本文化研究IB	禪仏国英地文環境歴日外考心政営 A選	通年	4	松田直行	90
日本語文化研究I	禪仏国英地文環境歴日外考心政営 A選	通年	4	萩原義雄	91
日本語文化研究I	禪仏国英地文環境歴日外考心政営 A選	通年	4	湯浅陽子	93
日本文化研究IIA	禪仏国英地文環境歴日外考心政営 A234選	通年	4	佐原作美	94
日本文化研究IIA	禪仏国英地文環境歴日外考心政営 A234選	通年	4	鈴木裕子	94
日本文化研究IIA	禪仏国英地文環境歴日外考心政営 A234選	通年	4	坂口博規	95
日本文化研究IIA	禪仏国英地文環境歴日外考心政営 A234選	通年	4	藺部幹生	96
日本文化研究IIB	禪仏国英地文環境歴日外考心政営 A234選	通年	4	石割透	97
日本文化研究IIB	禪仏国英地文環境歴日外考心政営 A234選	通年	4	小林治	98

日本文化研究II B	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A234選	通年	4	松田直行	99
日本語文化研究II	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A234選	通年	4	萩原義雄	100
日本語文化研究II	禅仏国英地文環境歴日外考心政 営A234選	通年	4	湯浅陽子	102
実務表現	禅仏国英地文環境歴日外考法A 政営A1234選	通年	4	萩原義雄	103
実務表現	禅仏国英地文環境歴日外考法A 政営A1234選	通年	4	湯浅陽子	104
日本文化テーマ研究A	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A選	半期	2	佐原作美	105
日本文化テーマ研究A	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A選	半期	2	鈴木裕子	105
日本文化テーマ研究B	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A選	半期	2	佐原作美	106
日本文化テーマ研究B	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A選	半期	2	鈴木裕子	106
日本文化テーマ研究C	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A選	半期	2	坂口博規	107
日本文化テーマ研究C	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A選	半期	2	藺部幹生	107
日本文化テーマ研究D	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A選	半期	2	坂口博規	108
日本文化テーマ研究D	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A選	半期	2	藺部幹生	108
日本文化テーマ研究E	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A選	半期	2	石割透	109
日本文化テーマ研究E	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A選	半期	2	小林治	110
日本文化テーマ研究F	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A選	半期	2	石割透	111
日本文化テーマ研究F	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A選	半期	2	小林治	112
日本文化テーマ研究G	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A選	夏季集中	2	松田直行	113
日本文化テーマ研究H	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A選	半期	2	松田直行	114

## (2) 社会分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
社会学 【2〔現代社会を考える〕】	禅仏国英選	通年	4	呉炳三	115
社会学 【6〔社会生活を考える〕】	地文環境歴日外考社福心選	通年	4	呉炳三	116
統計学 【2〔社会現象の統計的決定〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政選法B選	通年	4	新行内康慈	117
文化人類学 【6〔社会変化と価値観〕】	禅仏国英地文環境選	通年	4	小川順敬	118
文化人類学 【8〔社会変化と価値観〕】	歴日外考社福心選	通年	4	内山明子	119
法学・憲法 【1〔法と社会生活〕】	国英選	通年	4	長谷川日出世	119
法学・憲法 【3〔法と社会生活〕】	国英選	通年	4	沼田雅之	120
法学・憲法 【4〔法と社会生活〕】	地文環境歴日外考選	通年	4	鷄徳啓登	121
法学・憲法【11〔法と権利〕】	社福心政選	通年	4	茂野隆晴	122
法学・憲法【12〔法と権利〕】	全学科（フレB除く）選	夏季集中	4	池田実	123
政治学 【1〔社会生活とデモクラシー〕】	国英地文環境法A選	通年	4	白鳥浩	124
政治学 【2〔政治システムと政治参加〕】	歴日外考社福心営A選	通年	4	富崎隆	125
経済学【2〔現代経済と人間〕】	禅仏国英選	通年	4	森田成也	126
経済学 【4〔現代経済理解へのガイド〕】	地文環境歴日外考社福心選	通年	4	佐藤綾野	127
社会科学論 【〔社会認識の思想〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選	通年	4	大石雄爾	128
教育学 【〔デス・エデュケーション〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選	通年	4	柳堀素雅子	129
教育心理 【大学生の心理-教育臨床心理学の立場から-】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選	通年	4	石橋達也	130

## (3) 自然分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
生物学【1〔生態と進化〕】	地文環境歴日考経A経商選	通年	4	清水善和	131
生物学【2〔生態と進化〕】	社福心法A政選	通年	4	清水善和	132
生物学【3〔生物と環境〕】	禅仏国英営A選	通年	4	中村敏枝	133
地球科学 【1〔地球の素顔と地球環境問題〕】	禅仏国選	通年	4	加藤潔	134
地球科学 【2〔地球の変遷・生命の進化〕】	英歴日外考選	通年	4	山縣毅	135
地球科学 【3〔地球システムと人間圏〕】	地文環境社福心選	通年	4	澤口隆	136
自然環境論【1〔生命と環境〕】	英歴日外考選	通年	4	山縣毅	137
自然環境論【2〔生命と環境〕】	地文環境社福心選	通年	4	山縣毅	138
自然環境論【4〔生命と環境〕】	禅仏国選	通年	4	坂野井和代	139
自然環境論 【9〔生物の集団と環境〕】	禅仏国選	通年	4	坂巻義章	140
自然誌【2〔現代の自然像〕】	国英地文環境歴日外考社福心営A選	通年	4	清水善和 篠原正雄 山縣毅	141
数学【1〔微積分学入門〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A選	通年	4	小沢誠	142
数学【2〔線型代数学入門〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A選	通年	4	小沢誠	143
数学【3〔現代数学入門〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A選	通年	4	福田賢一	144
情報数学【〔情報と論理〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政営A選	通年	4	坂野井和代	145
物理学【2〔光と物質〕】	国英地文環境歴日外考社福心営A選	通年	4	篠原正雄	146
化学【1〔衣食住の化学〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A選	通年	4	牧岡良和	147
宇宙科学【1〔星と銀河〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選	通年	4	篠原正雄	147
宇宙科学【2〔星と銀河〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選	通年	4	篠原正雄	148
コンピュータ基礎 【1〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選	半期	2	小沢誠	149
コンピュータ基礎 【2〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選	半期	2	山本博信	150
コンピュータ基礎 【3〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選	半期	2	小川健次郎	150
コンピュータ基礎 【4〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選	半期	2	小沢誠	151
コンピュータ基礎 【5〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選	半期	2	澤口隆	152



コンピュータ基礎 【6〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	小沢誠	153
コンピュータ基礎 【7〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	山本博信	154
コンピュータ基礎 【8〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	小川健次郎	155
コンピュータ基礎 【9〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	小沢誠	156
コンピュータ基礎 【10〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	澤口隆	157
コンピュータ基礎 【11〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	夏季集中	2	元木光雄	158
コンピュータ基礎 【13〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	夏季集中	2	山本博信	159
コンピュータ基礎 【14〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	夏季集中	2	長坂浩史	160
コンピュータ基礎 【15〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	夏季集中	2	小川健次郎	161
コンピュータ基礎 【16〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	夏季集中	2	小川健次郎	162
コンピュータ基礎 【17〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	夏季集中	2	谷本玲大	163
コンピュータ基礎 【18〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	夏季集中	2	小沢誠	164
コンピュータ基礎 【19〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	坂野井和代	165
コンピュータ基礎 【20〔コンピュータの実際〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	半期	2	坂野井和代	166
コンピュータ応用 【1〔コンピュータの原理〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	通年	4	坂野井和代	167
コンピュータ応用 【2〔コンピュータの原理〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政選	通年	4	坂野井和代	168
人類学【1〔人類の進化〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	篠田謙一	169
人類学【2〔人類の進化〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	篠田謙一	170
心理学 【1〔ヒューマン・ウォッチング〕】	社福心選	通年	4	高橋良博	171
心理学 【5〔人間関係を考える〕】	国英選	通年	4	高橋良博	171
心理学【10〔心を科学する〕】	社福心選	通年	4	名取志保	172
心理学【11〔心を科学する〕】	地文環境歴日外考選	通年	4	中丸茂	173
心理学【12〔心を科学する〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A商法A政営A選	夏季集中	4	深堀友覚	174

## (4) 総合分野

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
総合I【1〔仏教と自然〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	四津谷孝道	175
総合I【2〔仏教と社会〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	熊本英人	176
総合I【3〔仏教と芸術〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	村松哲文	177
総合II【1〔駒澤大学の歴史〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	熊本史雄 大城道則 小泉雅弘 佐々木真 杉山清彦 廣瀬良弘	178
総合II【2〔自然観察入門富浦をめぐる人と自然〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	清水善和 漆原和子 小沢誠 小高昭一 坂野井和代 桜井邦夫 篠原正雄 柳澤紀夫 山縣毅	179
総合III【1〔人権と社会問題〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選	通年	4	ピアス、D. M.	180
総合III【2〔欧米の教育と日本の教育〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選	通年	4	岡崎寿一郎	181
総合III【3〔フランス現代文化史〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選	通年	4	桑田禮彰	182
総合IV【1〔現代アメリカ事情〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選	通年	4	林明人	182
総合IV【2〔シアトル市のNPOとまちづくり〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選	通年	4	西村祐子	183
総合IV【3〔ポスト・モダンの世界〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A放選	通年	4	丸小哲雄	184
総合V				休講	
総合VI【1〔民族とは何か〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	大野祐二	185
総合VI【2〔イスラム〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	吉田京子	185
総合VI【3〔フェミニズム・ジェンダー〕】	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選	通年	4	早川紀代	186

<p>総合VII 【1〔トラブルと法的解決〕】</p>	<p>禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選</p>	<p>通年</p>	<p>4</p>	<p>高橋洋城 川口幸美 竹中智香 原田啓一郎 藤本茂 松村格</p>	<p>187</p>
<p>総合VII【2〔都市論〕】</p>	<p>禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商法A政営A選</p>	<p>通年</p>	<p>4</p>	<p>内海麻利 浦田早苗 坂井文 早川純貴 堀内康史</p>	<p>188</p>

科目名	文学【6（日本文学「近代」）】	開講	通年	単位	4
配当	社福心選				
担当者名	まつだ なおゆき 松田 直行				

## 講義のねらい

現代作家の小説を題材として、小説の〈いま〉を読み解き、また小説から〈いま〉を読み解く。自由な解釈を許されたテキストとして小説をとらえ、いくつかのキーワード（テーマ）を設定して、多様な読解の可能性を探る。教養教育科目なので、専門的な文学研究よりも「たくさん読んでたくさん書く」を目標に、受講者が各自の興味に応じて調べ、考え、感じることができるように配慮したい。授業時間以外に相応な時間を必要とする科目になるので、それを楽しむことのできる学生の受講を望む。

## 講義の内容・授業スケジュール

キーワード（テーマ）は以下の通り。(1)「ケータイ」、(2)「お笑い」、(3)「公園」、(4)「世田谷」、(5)「家族」、(6)「1970年代」、(7)「心の病気」。

## 履修上の留意点

作品は日程を定めて各自で事前に読んでくるように指示する。日程は授業で随時指示するが、欠席した場合などはインターネットの講義内容KOMSYの詳細情報表示で確認するように。作品を読んでいるかを確認するために、授業の最初に作品内容に関する小テストを行い、それが合格点に満たない場合は出席として認めない。

## 成績評価の方法

定期試験は行わず、授業の中で実施する小テストやリポート課題、選択制の研究課題などをポイント制にして加算し、出席状況も考慮して採点する。

## 教科書

購入の便宜を考えて、授業で取り上げる以下の作品をすべて文庫本で教科書として指定しておく。山本幸久『笑う招き猫』集英社文庫¥580、伊藤たかみ『アンダー・マイ・サム』講談社文庫¥560、吉田修一『パーク・ライフ』文春文庫¥410、村山由佳『天使の卵ーエンジェルス・エッグ』集英社文庫¥410、長嶋有『猛スピードで母は』文春文庫¥400、村上春樹『風の歌を聴け』講談社文庫¥400、村上春樹『ノルウェイの森』講談社文庫〈上・下〉各¥540、新潮社編『空を飛ぶ恋ーケータイがつなぐ28の物語』新潮文庫¥420。

科目名	文学【10〔日本文学「古典」〕】	開講	通年	単位	4
担当	地文環境歴日外考選				
担当者名	<small>そのべ みきお</small> 菌部 幹生				

講義のねらい

日本の古典文学の中から、『世継物語』を講読する。『世継物語』は、全56話の短い説話集であるが、大和物語・枕草子・栄花物語・古本説話集などの共通説話を多く含み、中古から中世をつなぐ古典文学の世界を考えるうえで有用な作品である。この作品の講読を通して、時代の価値観の変遷や文学作品のあり方を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

1 ガイダンス。2 古典文学史。3 説話文学の変遷。5～24 『世継物語』の講読。25 教場試験。26 まとめ。

履修上の留意点

毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

出席点20点、毎時間の意見文30点、教場試験50点の割合で評価する。定期試験期間中の試験は行わない。なお、最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達（該当者・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

必要があればそのつど紹介する。

科目名	文学【12〔日本文学「近代」〕】	開講	通年	単位	4
担当	国英選				
担当者名	<small>こばやし おさむ</small> 小林 治				

講義のねらい

優れた文学作品の条件とは何だろうか。一例としてリアリティを挙げても、現実を写してありのままらしく見えるものほど実はリアルではなく、技巧によってそれらしく仮装された規範にすぎないことも多い。このような文学特有の陥穽を見通す視点から、文学について再考することを試みたい。

講義の内容・授業スケジュール

対象に予定している作家は、第二次戦後派の安部公房、島尾敏雄、ルポルタージュ文学の先駆者としての上野英信である。主に教科書と配布プリントを使用する。

履修上の留意点

具体的に上記の作家の作品を読んでいく中で、文学作品という現象を通じて見えてくるものは何か、あるいは文学が表現し得るものは何かを考えていくので、講義を受ける前にあらかじめ対象作品だけは読んでおいていただきたい。作品名の詳細は講義を進めていく中で、時々指示するが、とりあえず下記の作品と教科書で指定する作品は必読である。

安部公房『砂の女』  
 島尾敏雄『出孤島記』  
 上野英信『追われゆく坑夫たち』

成績評価の方法

定期試験の結果、レポートの内容を総合し、さらに出席状況を加味して評価する。

教科書

安部公房『R62号の発明、鉛の卵』（新潮文庫）552円  
 安部公房『水中都市・デンドロカカリヤ』（新潮文庫）514円

参考書等

授業時に指示する。

科目名	歴史学【1〔日本中世史〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英選				
担当者名	くりはら おさむ 栗原 修				

講義のねらい

中世社会の歴史について講義します。とくに、古代→中世、中世→近世へという社会の変化をとらえることをねらいとします。そのなかで、中世とはどのような社会であったのか、その特質をみていきます。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 荘園公領制と幕府  
～武士身分の誕生から鎌倉幕府の成立まで～  
(後期) 中世社会の特質と近世国家の誕生

履修上の留意点

年表や日本史辞典を用意してほしい。

成績評価の方法

学年末試験の結果及び平常点により総合的に評価します。

教科書

プリントを随時配布します。

科目名	歴史学【2〔東アジア考古学〕】	開講	通年	単位	4
配当	地文環境歴日外考社福心選				
担当者名	ちば もとつぐ 千葉 基次				

講義のねらい

長城地帯から極東アジア地域で民族・特定文物・組織その他から、一つのキーワードを選び出し、授業の主題とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業題目の研究史から始め、個々の研究内容を解説し、最後に今後の課題を示す。

履修上の留意点

板書事項もあり、薄くて充分なので専用のノートを用意することが望ましい。

成績評価の方法

毎時出席を確認し、平常授業を評価の基とする。レポートについては出欠状況を見て決める。

教科書

特になし。

参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	芸術学【1〔日本美術〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政営A選				
担当者名	きたの よしえ 北野 良枝				

講義のねらい

室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回、作品を映写する。

講義の内容・授業スケジュール

前期 室町から桃山時代の絵画  
 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識  
 (3)～(7) 室町時代の水墨画 (8) 阿弥派  
 (9) 関東水墨画 (10) 土佐派  
 (11) 狩野正信・元信 (12)～(13) 狩野永徳と桃山画壇  
 後期 江戸時代の絵画  
 (14) 江戸時代の狩野派 (15)～(18) 琳派  
 (19)～(20) 浮世絵 (21) 南蘋派  
 (22) 文人画 (23) 秋田蘭画と司馬江漢  
 (24) 円山四条派 (25) 伊藤若冲と曾我蕭白  
 (26) 江戸から明治へ

履修上の留意点

授業中の私語は厳禁。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

参考書等

映写した作品を確認するには、下記のような美術全集があり、いずれも駒沢大学図書館に所蔵されている。  
 『原色日本の美術』(小学館)  
 『日本美術全集』(学習研究社)  
 『日本美術絵画全集』(集英社)  
 『日本美術全集』(講談社)

科目名	芸術学【2〔西洋美術〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 商法A 政営A 選				
担当者名	矢野 <sup>やの</sup> 陽子 <sup>ようこ</sup>				

講義のねらい

ひとつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では私たちとは異なる文化から生まれた西洋美術のうち、およそ16世紀から18世紀まで、つまりルネサンス期から革命期頃までのフランス美術を、絵画を中心に取り上げます。まず美術の主要な流れを把握し、作品に表現された内容とその表現様式の特徴を考えます。さらに芸術家と注文主や鑑賞者との関係、美術が社会のなかで占めていた位置についても考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール

前期 16世紀および17世紀のフランス美術  
後期 18世紀のフランス美術

履修上の留意点

スライドで作品を見ながら講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてください。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験によって評価する予定です。レポートや試験の形式などは授業中に説明します。

参考書等

授業中に適宜参考文献を紹介します。

その他

授業では毎回スライドを使用します。



科目名	芸術学【3〔音楽〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政営A選				
担当者名	浦本 裕子 <small>うらもと ゆうこ</small>				

講義のねらい

音楽は私たちの回りに溢れている。さまざまなメディアから音楽が流れ、カラオケも今や世界共通語にまでなった。社会のグローバル化が進み、音楽も世界のものが聴けるようになり、ジャンルもボーダーレスになってきた。日本では、演歌など一部のものを除けば、流れている音楽のほとんどがヨーロッパとアフリカの音楽に基づいたものである。音楽理論はヨーロッパで生まれたクラシック音楽に由来し、ポップスにはアフリカ的な要素も多く入り込んでいる。そもそもどのように音楽が生まれてきたのだろうか、そしてどのように享受されてきたのだろうか。

本来は、音楽は生活の中での祈りや子守歌など「必要なもの」として生まれてきた。そして世界各地で、環境や生活形態が異なる中で、楽器や発声法などそれぞれ独自の音楽文化を長い時間をかけて形成してきたのである。

この授業では、そのような多様な諸民族の音楽やヨーロッパのクラシック音楽を学ぶことにより、多様な文化の一つとして音楽を理解することを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期：諸民族の音楽（アジアを中心に）  
後期：ヨーロッパの音楽（民族音楽とクラシック音楽）

履修上の留意点

- ・音資料や映像資料を鑑賞するので、できるだけ出席するように。
- ・授業中に簡単なレポートを書いてもらうことがあるかも知れません。

成績評価の方法

前期：レポート  
後期：試験

教科書

柘植元一・塚田健一編『はじめての世界音楽』（音楽之友社）

参考書等

藤井知昭 他 編『民族音楽概論』（東京書籍）  
久保田慶一 他 『はじめての音楽史』（音楽之友社）

科目名	哲学【5〔近代の人間観と世界観〕】	開講	通年	単位	4
配当	地文環境社福心選				
担当者名	久保 陽一 <small>くぼ よういち</small>				

講義のねらい

今日我々は近代の科学技術のめざましい進歩によって多大な恩恵を蒙っている反面、環境問題、テロや道徳の荒廃などの問題に悩まされている。また人間の意識を原理とした近代哲学は現代の言語哲学によって置き換えられようとしている。このような近代以後の状況のなかで真の自己と世界の認識を持ち、望ましい生き方をするためには、まず近代の哲学から何を引き継ぎ、何を批判すべきかを、見極める必要がある。そこで講義では、西欧の近代における哲学の諸問題を取り上げることとする。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 認識論（経験論、合理論、カント）
- (2) 道徳論（快楽主義、義務倫理）
- (3) 感情の哲学（パスカル、ルソー、シラー）
- (4) 社会哲学（ホッブス、ロック、ルソー、ヘーゲル）

履修上の留意点

よく出席し、ノートを取る事が大切である。その際、取り上げられた哲学者がどのような主張をし、どのような用語を用い、それは何を意味するかを理解し、分析する必要がある。さらにそのような思想を自分自身は受け入れられるか否かを、考えることが望ましい。

成績評価の方法

中間と期末のテスト、レポート、出席状況等によって評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

開講時に挙げる。

科目名	哲学【7〔現代文明と人間〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国選				
担当者名	黒崎 剛 <small>くろさき つよし</small>				

講義のねらい

近代社会（近代とは現代も含む）のなかで人間のあり方と、社会構造（近代市民社会＝資本主義社会）について、近現代哲学を総括した上で、テーマ別に人間論と社会論について入門的な講義を行う。個々の哲学者の学説史ではないので、哲学史の知識を求める人には向かない。

講義の内容・授業スケジュール

- 以下のテーマを取り上げる予定
1. はじめに：われわれはどんな社会に生きているか
  2. 近代的自我：「自分である」とはどういうことか
  3. 近代的自由：自己決定。自律、労働
  4. 労働の哲学的意義
  5. 近代資本主義社会の構造：われわれはなぜモノとカネに支配されるか
  6. 二十世紀の人間解放論
  7. 歴史哲学

履修上の留意点

近代哲学の主要テーマ別にかなり抽象的な形で取り上げるので、単位獲得のためだと割切っている人は退屈するはず。自分で考える姿勢を持つことを要求したい。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。教科書、参考書は教場で紹介する。

科目名	哲学【8〔現代文明と人間〕】	開講	通年	単位	4
担当	英歴日外考選				
担当者名	滝沢 正之 <small>たきざわ まさゆき</small>				

講義のねらい

現代哲学における重要な哲学者たちのうちから何人かをとりあげ、本人が書いたテキストの一部を実際に読みつつ、その思想を紹介していきたい。  
我々が現在生きているこの時代がさまざまな問題を抱えていることは誰でも知っていることである。哲学者たちの思考をたどることで、それらの問題を根本にまで立ち戻って考え直すことができる。この現代で我々は人間としてどう生きるべきかを考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

下に指定した教科書『原典による哲学の歴史』の原典引用部分を丁寧に読み、解説していく。現代哲学の流れを紹介した後にアンケートを採り、受講者の問題関心に応じて扱う哲学者を選択する。とくに要望がない場合は、現代哲学と題された部分を順に読んでいくことになる。適宜プリントで内容の補足を行う。

履修上の留意点

教科書を必ず入手しておくこと。

成績評価の方法

中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）  
授業中に適宜プリントを配布する予定。

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	論理学【2〔科学方法論と現代論理学〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英選				
担当者名	山口 祐弘 <small>やまぐち まさひろ</small>				

講義のねらい

伝統的論理学から現代記号論理学に至る論理思想を学び、正しく考え語るための方法と態度を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- ①論理学とは何か ②思考の基本原則 同一律 ③矛盾律 ④排中律 ⑤充足理由律
- ⑥原因の探求 ⑦帰納と類推 ⑧仮説演繹法 ⑨概念の形成 ⑩カテゴリーと判断
- ⑪演繹推理直接推理 ⑫定言三段論法 ⑬仮言および選言三段論法 ⑭ディレンマとパラドクス ⑮中間テスト

後期

- ①記号論理学の発想と起源 ②命題の記号化と論理式 ③真理表とトートロジー
- ④標準形 ⑤公理体系 ⑥定理の演繹 ⑦公理体系の完全性と無矛盾性 ⑧命題論理学の限界 ⑨述語論理学 ⑩公理体系 ⑪伝統論理学の反省 ⑫直接推理の記号論的考察
- ⑬三段論法の記号論的考察 ⑭論理とことば ⑮定期試験

履修上の留意点

講義内容をよく理解し、日常の思考活動を反省しつつ論理的に考える態度を養うこと。

成績評価の方法

中間試験、定期試験の成績による。

教科書

「新しい認識への論理」山下太郎 公論社

参考書等

論理学綱要 三島新吉 内田老圃鶴新社

科目名	論理学【4〔科学方法論と現代論理学〕】	開講	通年	単位	4
配当	地文環境歴日外考社福心選				
担当者名	たきぐち きよえい 滝口 清栄				

講義のねらい

私たちはさまざまな情報のうずのなかで生活している。それは身近な日常生活から社会や世界の動きにまで及んでいる。これら多岐に及ぶ情報の伝達と表現は言葉によって行なわれている。また送り手も受け手も思考を通して情報に関わっている。この渦の中で私たちは納得したり、あるいは納得しなかったりする。このように振り返るなら、私たちは言葉と思考のあり方に敏感になるのではなかろうか。ひとたびこの点について注意を払うようになると、日常生活そしてさまざまな学問的な営みの基礎として、論理学が大切なものと思えてくるであろう。本講義では、思考の基礎をしっかりとしたものとするよう、思考の諸法則を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にそって形式論理学に重点をおいて講義を進めていく。前期では、概念、命題、演繹推理を中心に、そして後期は機能推理、虚偽論、そして命題論理を扱う。

履修上の留意点

理解を深めるために練習問題をできるだけ多く解くように努める。出席をよくしてほしい。

成績評価の方法

年間5回の小テストで成績を出す。

教科書

山下太郎他著『新しい認識の論理』（公論社）3,200円

参考書等

講義中に紹介する。

科目名	論理学【5〔知の技法〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	いこた まさる 伊古田 理				

講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際的なノウハウの習得を目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。

教科書

本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんてものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。

教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）

副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

参考書等

そのつど指示する。

その他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

科目名	論理学【7〔知の技法〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	植野 <small>うえの きみとし</small> 公稔				

講義のねらい

いま、私たちの社会生活では、論理的であることを求められる場面に出会うことが多い。本講座の目的は、こうした現状に対処できるだけの論理的思考力を受講者のみなさんが身に付けられるように、その基本練習の場を作ることにある。言葉相互の論理的な繋がりについて自覚しながら読み、考え、そして書くことができるようになるためには何が必要なかを、毎時間、自分自身で課題に取り組みながら気づいていってほしい。なお、いわゆる現代記号論理学については、必要最小限のこと以外、扱わないものとする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に則して授業を進める。原則として、各回とも、事項に関する説明と問題練習によって授業が構成される。前期では、論理の骨格をなす接続語や指示語の適切な使い方と、首尾良く考えを展開するための推論のあり方について練習を重ねる。また後期では、演繹的な推論について練習を重ね、就職試験等でも取り上げられるような、いわゆる推理部門の問題にも対処していける力を養うことにしたい。受講人数にもよるが、できるかぎり、復習を兼ねた形の添削課題を出し、受講するみなさんの練習の質を高められるようにしたいと思う。

履修上の留意点

本講座では、受講者本人による練習が何よりも重要であるので、コンスタントに参加してほしい。問題練習での間違いを恐れる人たちもいると思われるが、間違いをきっかけにしてステップアップしてしてくれるのならば、本講座に関するかぎり、間違いをおかすこと自体には何ら問題はない。

成績評価の方法

事項の習熟度を確認するための中間・期末テスト、および期末に取り組んでもらう小論文課題（2000字程度）によって評価する。なお、練習が重要な講座のため、原則として、1学期につき欠席が3回を越える場合は、単位の認定ができないものとする。

教科書

野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

科目名	科学史【1〔科学と技術〕】	開講	通年	単位	4
配当	国英地文環境歴史外考社福心営A選				
担当者名	たかはし しゅうゆう 高橋 秀裕				

講義のねらい

今日、我々は高度に発達した科学とその科学に基づいた技術の受益者になりうるだけでなく、その反対に被害者にもなる可能性がある。近代自然科学をどのように捉え、それに如何に対処するかという問題が近年しきりに議論されている所以でもある。本講義では、古代から現代に至る科学の歴史的展開を、「方法」や「思想」そして「宗教との関係」にも眼を向けつつ総合的に学び、科学がいかに広範な文化的背景をもって発展してゆく知的営為であるかを理解するとともに、科学と技術に関して今後思索する際の信頼できる知的道具の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、近代日本の科学技術の性格を歴史的に考察することから出発し、近代日本が導入を図った西欧近代科学の長い歴史をたどる中から、その成立の由来を探ることを通して、近代科学に裏付けられた技術の強力さの秘密とそれが抱える問題点について講義する。後期は、科学の三つの典型として、数学、自然科学、医学を議論の俎上にのせ、科学がいかなる構造と射程をもつ知的営為であるのか、そして高度な科学・技術が制度化された現代社会の抱えている諸問題について、具体的事例をとりあげながら、科学と技術の歴史的展望をも含めて講義する。

履修上の留意点

いわゆる自然科学に関する素養はとくに要求しないが、講義の中に出てくる諸概念を必要に応じて自ら調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。また、毎回講義内にコメントカード（兼出席票）を配布するので、講義内容に関する感想や不明な点などを書いてほしい。

成績評価の方法

講義内に課すコメントカード（兼出席票）と随時のレポートおよび定期試験で評価を行う。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義の際に適宜紹介する。

その他

講義形式、随時プリント配布。

科目名	倫理学【1〔人間観〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	<small>ふるた ともあき</small> 古田 知章				

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉、あるいは、「自分が人間である」という事態を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。  
人間観の形成の歴史

1. 人間と倫理 一人間であるために一
2. 古代ギリシア思想における人間観の諸相
3. 中世キリスト教思想における人間観
4. 人間観の転換 ールネサンス・宗教改革—新しい時代の人間観
  1. 出発点としてのデカルト《思惟する私》
  2. 自己の内面性と他者の問題
  3. 人格 一ロックを手がかりに一
  4. 人間存在と自由

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。



科目名	倫理学【2〔応用倫理学〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	くろさき つよし 黒崎 剛				

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」―「価値」や「義務」、「習慣」といった―の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動ともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定
1. 生命の倫理―講義の課題概説
  2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
  3. 人工妊娠中絶
  4. 安楽死と尊厳死
  5. 脳死と臓器移植
  6. 「生殖革命」―人工生殖の現状と問題点
  7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	倫理学【3〔価値観〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	たきさわ まさゆき 滝沢 正之				

講義のねらい

倫理学の基本的な考え方を紹介する。  
 我々はすでに何が善いことで何が悪いことであるかをだいたい知っている。日常生活にはそれで支障はない。しかし、その善悪についての信念をあらためて反省してみると、いろいろと問題含みであることに気づく。  
 そこで、ポイントごとに、それらの問題を考えていくことになる。その際、主に近世の哲学者イマヌエル・カントの倫理学を手がかりにするので、これの解説をしつつ、問題に向かうことになる。  
 たとえば、道徳的な善し悪しの判断と、個人の趣味はどう関係するのか。不純な動機から（「誉められたい」など）善いことをすることをどう評価するのか。人間を殺してはいけないのには、動物を殺してもいいのか。その他もろもろ。

講義の内容・授業スケジュール

前期にカント倫理学の基本概念を解説する。それを踏まえたうえで、後期には以下のような問題を扱う予定。動物愛護の問題、人間の自由の問題、国家と道徳の問題。  
 細かいスケジュールは講義中に示す。

履修上の留意点

特定の教科書を使用せず、講義が中心となる。欠席が多いと試験等が大変になるので注意されたい。

成績評価の方法

中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。

教科書

適宜プリントを配布する予定。  
 また、講義中に適宜指定する。

参考書等

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）  
 また、講義中に適宜指定する。

科目名	倫理学【4〔応用倫理学〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	あさち たかし 麻生 享志				

講義のねらい

応用倫理は、究極的に「どう生きるか」という自分の生き方につながっていくものと考えます。（これを倫理学・哲学で”実存的”問いと呼んだりする）ですから、講義を通じて、自己の問題として興味を持ち、考えてもらう、という事を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

倫理学（理論的倫理学）の基礎から、応用倫理学の「ごく特殊なもの」まで、幅広く紹介していきます。わたくし自身の興味や人生観にも、触れていきたいと思っています。生命倫理的内容からはじまる応用倫理的話題、労働・人生の意味・交通ルール・まちづくり住環境など、多面的に考えていく予定です。

履修上の留意点

最低限の常識的なルールを守り、あとは、講義を“楽しんで”もらえたらいいと思います。

成績評価の方法

前期試験（45%）、後期レポート（レポート試験）（55%）  
前期は哲学史に関わる記述問題、後期レポートは講義の感想を原稿用紙3－4枚程度を予定

教科書

久保・河谷編麻生ほか著『原典による哲学の歴史』公論社刊（前期試験受験に必須）

参考書等

特になし

その他

初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	倫理学【5〔制度とモラル〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	滝口 清栄				

講義のねらい

人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代により、地域により違いが見られる。そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代でも人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえない。以上の思想的営みを歴史的視野の中で振り返っておくことが、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代から主要な思想をピックアップし、人間観の特徴と、人間のよりよき生を可能にするよりよき制度をめぐり思案のあとを検討する。制度はもちろんそれを担う人間を必要とする。ここにモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。

こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布するが、前期に古代ギリシアから近代初頭、後期にはそれ以降を扱う。

履修上の留意点

講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法

中間テスト（前期の最終授業時）と学年末テストにより成績を評価する。

教科書

久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科目名	倫理学【6〔東洋倫理〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	末木 恭彦				

講義のねらい

倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。倫理学という学問は生れなかったが、それに相当する思案は東洋の伝統思想の中に生まれていた。東洋の伝統思想がどのようにどれだけ現代の倫理に貢献するか、諸君と一緒に考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール

授業の最初に、倫理とは何か、倫理学とは何かを講義する。その後、今年環境と倫理の問題について考える。環境問題は現代の大きな問題である。しかし、環境の問題は既に古代から芽生えていた。中国の古代にも、環境問題をめぐり議論が行われた。その中国古代の環境をめぐり議論を顧て、現代の環境と倫理の問題にどのような貢献するか考えてみる。

履修上の留意点

ノートはしっかりと取る。

成績評価の方法

各学期末の試験と夏期休暇のレポートによって成績をつける。

教科書

浅野裕一『中国古代の文明観』（岩波新書）

科目名	倫理学【7〔応用倫理学〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	くろさき つよし 黒崎 剛				

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」―「価値」や「義務」、「習慣」といった―の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものともみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動ともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定

1. 生命の倫理――講義の課題概説
2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
3. 人工妊娠中絶
4. 安楽死と尊厳死
5. 脳死と臓器移植
6. 「生殖革命」――人工生殖の現状と問題点
7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	宗教学【1〔比較宗教文化〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	池上 <small>いけがな</small> 良正 <small>よしまさ</small>				

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、まず近代的用語としての「宗教」が成立した過程を検討し、この用語の特性と限界を考える。近代宗教学の成果をふまえて、私たちの日常の身近な出来事に引き寄せながら、「宗教」を理解する広い視点を提示してみたい。後期は、多くの日本人には馴染みが薄いものの、現代世界を理解するうえでは欠くことのできない、「一神教」という特異な宗教が成立した過程を考察し、その特性に迫ってみたい。

成績評価の方法

年度末に筆記試験を行なう。

教科書

特に指定しない。

参考書等

『岩波講座・宗教』（全10巻）（岩波書店）。『エリアーデ著作集』（せりか書房）。上田閑照・柳川啓一編『宗教学のすすめ』（筑摩書房）。脇本平也『宗教学入門』（講談社学術文庫）。加藤隆『新約聖書の誕生』（講談社）。ラーンジュ『ユダヤ教とはなにか』（青土社）。

科目名	宗教学【2〔聖と俗〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	田中 <small>たなか</small> かのこ <small>かのこ</small>				

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」といった対立概念をみるのは、変化し続ける多様な現象の動きを把握しきれない人間の焦燥感が、二分法という遠心分離機を欲するから、ともいえる。人類の精神史において展開してきた各宗教の分立を窺うにつけても、深く知れば知るほど、「～教」と「～教」を隔てる壁の存在に疑問を抱かずにはいられなくなる。一見、相違するようにみえる諸宗教の教義・儀礼・生活共同体の掟にも、歴史的な相関性があり、言語や民族の絆は、信仰の違いを超えて、多様な文化圏を形成している。さらに「いのち」の尊厳を守るための真摯な祈りはどれも、学問的に定義された「宗教」概念では捉えきれない、普遍的で深遠な思想を内に秘めている。ゆえに本講では、従来の宗教学が呪縛されてきた既存の宗教分類（例：「一神教と多神教」「世界宗教と民族宗教」）から出発せずに、最も根源的で身近な「いのち」をめぐる人間の畏れ・感謝・願いをテーマにしながら、「宗教」を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、「いのち」に気づき、その表現・解釈・ゆえ・価値観などについて考えることに重点を置き、後期は、現代社会の理解に欠かせないゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化における「いのち」を探究する。

履修上の留意点

既存の知識で示せる情報の範囲をはるかに凌駕した、真実の豊かさに眼を開いてほしい。

成績評価の方法

独創性と応用力を発揮できる、論述式のレポート。

教科書

拙著『比較宗教学―「いのち」の探究―』（北樹出版）2006年、改版

その他

講義担当者の現地調査によるスライドや録音テープを活用する。

科目名	宗教学【3〔世界観と儀礼〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	小川 <small>おがわ としゆき</small> 順敬				

**講義のねらい** 人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその世界観について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の世界観を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずで。

**講義の内容・授業スケジュール** まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教学人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

**成績評価の方法** 評価は原則として、年2、3回の「小レポート試験」と年度末の筆記試験により行います。なお小レポートとは別に、夏期休暇前に「夏期レポート」課題を出しますが、提出は受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

**教科書** 原則として教科書は用いません。

**参考書等** 講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	宗教学【4〔日本人の宗教〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	矢野 <small>やの ひでたけ</small> 秀武				

**講義のねらい** 宗教というものを語り理解するには様々な方法がある。宗教学はその1つである。また宗教学の中にも宗教に対しての異なる見方がある。本講義では、宗教学における多様な見方を理解するとともに、特に宗教学人類学や宗教社会学、宗教思想研究といった見方を通じて日本の宗教についての基礎的な知識を学んでもらいたい。

**講義の内容・授業スケジュール** 前半はおもに、日本の諸宗教の概説、冠婚葬祭といった儀礼・民俗宗教とその変化を中心に取り上げ、宗教学人類学・宗教社会学の視点から解説を加える。後半では、宗教の思想的側面にも触れながら、ひきつづき日本の諸宗教の概説を行なう。

**成績評価の方法** レポートと年度末の筆記試験を総合して評価を行なう。レポートは夏期休暇前に課題を提示する。レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。

**教科書** なし

**参考書等** 授業時に随時紹介する。



科目名	宗教学【5〔生活と宗教〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	すがわら としきよ 菅原 壽清				

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠な問題であると思われます。そこで、本講義では宗教人類学の視点から、「生活と宗教」というテーマで、人びとの宗教的営みについてとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、はじめに宗教学・宗教人類学についての基礎的な概説を行います。次に、日本を含めたアジアの多様な姿について、人々の宗教的な営みを中心に、その分布や特徴について述べます。さらに、日本と東南アジア、および中国の西南地域の人々の暮らしなどから、その宗教形態に注目して、仏教と民俗宗教との関係や、その展開過程について、それぞれの地域の具体的な事例を取り上げながら、展開したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 宗教学・宗教人類学とは
2. 日本とアジア、その多様な姿
3. アジアの人々の生活と宗教
4. 日本の人々の生活と宗教

成績評価の方法

試験＋出席点＋レポート点（詳細は、講義の時説明）

教科書

指定なし

参考書等

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

その他

授業の方法—講義、ビデオ・スライドなども使用

科目名	宗教学【6〔民俗宗教の諸相〕】	開講	通年	単位	4
配当	全学科（フレB除く）選				
担当者名	あさかわ やすひろ 浅川 泰宏				

## 講義のねらい

宗教は、「人間生活の究極的な意味をあきらかにし、人間の問題の究極的な解決にかかわりをもつと、人々に信じられている営みを中心とした文化現象」（岸本秀夫）と説明されるように、あらゆる社会に存在する普遍的文化であり、同時に人間の根源的思考様式のひとつです。本講義では、現代社会およびそこに生きる個人を、「宗教」という観点からとらえ、考える力を養うことをねらいとします。

## 講義の内容・授業スケジュール

まず現代社会における「宗教」のすがたをデータ等から確認し、続いて、宗教学の基本的な考え方を学びます。その上で、身近な宗教的いとなみである民俗宗教に焦点をあて、「祭り」、「死者供養」、「巡礼」等のトピックを通して、「宗教」という観点から現代社会を考えるための実践的なトレーニングを行います。

## 履修上の留意点

講義内容についての考察を記入したコメントカードを、毎回提出していただきます。そのため、皆さんには講義を消極的・受動的に「聴く」のではなく、積極的・能動的に「理解」し、「考える」姿勢を求めます。

## 成績評価の方法

レポート（60点）とコメントカード（40点）によって評価します。  
なお、評価にあたっては、理解力、論理的思考力、独創性を重視します。

## 教科書

指定しません

## 参考書等

棚次正和・山中弘編 2005 『宗教学入門』 ミネルヴァ書房  
関一敏・大塚和夫編 2004 『宗教人類学入門』 弘文堂  
井上順孝編 2005 『現代宗教事典』 弘文堂  
池上良正他編 2003 『岩波講座 宗教』（全10巻）岩波書店

## その他

詳細については、初回授業時のガイダンスで説明します。

科目名	人文地理学【1〔風土と文化〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商法A政営A選				
担当者名	山口 太郎 <small>やまぐち たろう</small>				

講義のねらい

今年度は、人文地理学の一分野である「文化地理学」を体系的に学習する。ただし、全学共通科目なので、人文地理学の研究対象である地域事象については、あくまで事例として扱い、講義の重点は人文・社会科学に広く適応できる文化論・社会問題の提供に置く。

講義の内容・  
授業スケジュール

I. イントロダクション

II. 文化地理各論

- ・都市・郊外・レジャーの空間といった地域・場所を対象として、以下の項目を中心に解説する。
- ・若者文化、エスニシティ、階級、世代・ライフコース、ジェンダー・セクシュアリティ、メディア、権力、レジャー、住居、自然

III. 文化地理学の方法論

- ・地域、景観、環境、分布

履修上の留意点

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。

成績評価の方法

前期・後期試験で評価する。小レポート等の平常点も評価の対象とする。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

中川正・森正人・神田孝治2006『文化地理学ガイダンス』ナカニシヤ出版。  
大城直樹・加藤政洋2006『都市空間の地理学』ミネルヴァ書房。

その他

講義形式を基本とするが、皆さんに質問を投げかけることもあるので、主体的に参加してほしい。

科目名	人文地理学【2〔風土と文化〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商法A政営A選				
担当者名	たかはし けんたろう 高橋 健太郎				

## 講義のねらい

人々の世界観や価値観、生活様式といった文化的側面と、地域社会の特徴や変容とを関連づけて考えるという、人文地理学の基本概念について理解を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

全体的には、自分の生活または異文化について考える際に、空間的側面からの視点がいかに重要であるかということについて検討する。

具体的には、講義内容として次の項目を予定している。(1) 人文地理学からみた文化、(2) 大衆文化と文化景観、(3) 日本の基層文化の地域性、(4) 照葉樹林文化とブナ帯文化、(5) 環境決定論と環境可能論、(6) 地域文化と観光、(7) 地図、(8) 地名、(9) 空間認知。

## 履修上の留意点

講義内容についての理解の程度を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に教場にてレポートを作成し提出してもらう。

## 成績評価の方法

教場レポートの内容(30%)と定期試験の結果(70%)で採点する。

## 教科書

使用しない。授業時にプリントを配布する。

## 参考書等

主な参考書は次のとおり(授業スケジュール順に掲載)。その他については、授業中に適宜紹介する。

高橋伸夫ほか『文化地理学入門』(東洋書林)  
鈴木秀夫『風土の構造』、講談社(講談社学術文庫)  
佐々木高明『日本文化の基層を探る』(日本放送出版会)  
田畑久夫『照葉樹林文化の成立と現在』(古今書院)  
市川健夫ほか『日本のブナ帯文化』(朝倉書店)  
中島峰広『日本の棚田』(古今書院)  
溝尾良隆『観光学』(古今書院)  
若林幹夫『地図の想像力』、講談社(講談社選書メチエ)。

## その他

この授業では、部活動や就職活動などの理由は、採点の際の参考にしない方針である。

科目名	人文地理学【3〔空間と行動〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商法A政営A選				
担当者名	いとう しゆうち 伊藤 修一				

## 講義のねらい

日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動する。ところがその行動には規則性や一般性が認められることが少なくない。特に都市では多くの人々が集まるがゆえに、その規則性や一般性を捉えやすく、一方で都市がもつ特徴のような例外も観察される。それでは、その規則性や一般性はどのようなもので、例外はどのように表れているのか？この講義では理論と事例を通して、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することを目的とする。

## 講義の内容・授業スケジュール

前期には、都市が今日のように分布・形成することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説する。後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきを、事例を通して説明する。なお、講義で扱う予定の主なテーマは以下の(1)～(8)である。詳しくは第1回の講義の際に述べる。

(1)地図、(2)都市の分布と立地、(3)都市や地域の結びつき、(4)都市の内部構造、(5)人口変動と分布・人口移動、(6)都市の居住構造の形成過程とその変化、(7)都市と余暇活動、(8)都市空間における知覚と認知

## 履修上の留意点

講義では簡単な数式を用いることがある。高校の数学I程度の基礎知識に不安がないことが望ましい。

## 成績評価の方法

原則として年度末の試験結果から評価する。

## 教科書

高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。

## 参考書等

北川建次編『現代都市地理学』（古今書院）2,730円、ISBN4-7722-3044-0  
 富田和暁・藤井 正編『図説 大都市圏』（古今書院）2,730円、ISBN4-7722-4027-6  
 ノックスP. ・ピンチ、S. 著、川口太郎・神谷浩夫・高野誠二訳『新版都市社会地理学』（古今書院）6,090円、ISBN4-7722-5103-0

## その他

講義ではプリントを随時配布する。

科目名	人文地理学【4〔空間と行動〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商法A政営A選				
担当者名	伊藤 修一 <small>いとう しゅういち</small>				

## 講義のねらい

日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動する。ところがその行動には規則性や一般性が認められることが少なくない。特に都市では多くの人々が集まるがゆえに、その規則性や一般性を捉えやすく、一方で都市がもつ特徴のような例外も観察される。それでは、その規則性や一般性はどのようなもので、例外はどのように表れているのか？この講義では理論と事例を通して、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することを目的とする。

## 講義の内容・授業スケジュール

前期には、都市が今日のように分布・形成することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説する。後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきを、事例を通して説明する。なお、講義で扱う予定の主なテーマは以下の(1)～(8)である。詳しくは第1回の講義の際に述べる。

(1)地図、(2)都市の分布と立地、(3)都市や地域の結びつき、(4)都市の内部構造、(5)人口変動と分布・人口移動、(6)都市の居住構造の形成過程とその変化、(7)都市と余暇活動、(8)都市空間における知覚と認知

## 履修上の留意点

講義では簡単な数式を用いることがある。高校の数学I程度の基礎知識に不安がないことが望ましい。

## 成績評価の方法

原則として年度末の試験結果から評価する。

## 教科書

高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。

## 参考書等

北川建次編『現代都市地理学』（古今書院）2,730円、ISBN4-7722-3044-0  
 富田和暁・藤井 正編『図説 大都市圏』（古今書院）2,730円、ISBN4-7722-4027-6  
 ノックスP.・ピンチ、S. 著、川口太郎・神谷浩夫・高野誠二訳『新版都市社会地理学』（古今書院）6,090円、ISBN4-7722-5103-0  
 なお、高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。

## その他

講義ではプリントを随時配布する。

科目名	教育の思想	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国234選				
担当者名	豊田 <small>とよた ちよこ</small> 千代子				

講義のねらい

この授業では、1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」について、それを「思想として読む」ことをめざす。具体的には、子どもの権利条約の思想的基礎となっているとも言われている「コルチャック先生」(ヤヌシュ・コルチャック、本名ヘンリク・ゴールドシュミット、1878～1942)の子ども観について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ・自分たちの受けてきた教育のふり返り
- ・教育をめぐる子どもたちの現状
- ・コルチャック先生の思想(子ども観)
- ・子どもの権利条約とコルチャック先生

成績評価の方法

出席状況、小レポート、レポートによる。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

樋渡直哉『子どもの権利条約とコルチャック先生』(ほるぷ出版)

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	教育の思想	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英234選 英地文環境歴日外考2選				
担当者名	北村 <small>きたむら みつこ</small> 三子				

講義のねらい

日本の教育界に大きな影響を与えた教育思想を学び、それを手がかりに自分なりの教育観を培っていくことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

20世紀の代表的な思想家の一人、ジョン・デューイの教育思想をその基礎にある考え方にも注意しながら学んでいきます。子ども自身の経験を基礎に構築されたその教育論を丁寧に読み、私達の日常経験や教育体験を考え直します。具体的な授業計画は、初回の講義でお話します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートによります。

参考書等

教場で指示します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	教育の思想	開講	半期	単位	2
配当	地文環境歴日外考社234選 歴日外考社福心経A234選				
担当者名	伊藤 <sup>いとう</sup> 茂樹 <sup>しげき</sup>				

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的機能について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマとして以下のようなことがらを予定している。

- ・学校教育の本質と機能
- ・近代日本における学校教育

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。



科目名	教育の思想	開講	半期	単位	2
担当	英福心経 A商234選				
担当者名	はぎわら けんじろう 萩原 建次郎				

講義のねらい

この授業では、第一に自分自身の教育体験のふりかえりを出発点として、「学ぶこと」「教えること」「生きること」の意味を考える機会をもちたい。第二に自己の体験と他者の体験を交流させながら、多様なものの見方を学ぶと共に、教育に対する自分の視点がどこにあるのかさぐっていききたい。第三に各自の体験知だけにとどまらずに教育学が蓄積してきた学問知（主に教育史・教育哲学）との交流によって、これまで暗黙のうちに了解してきた「教育目的」「学習」「人間の発達」などの意味について深く捉える感性と知性を養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 自らの教育・学習体験をふりかえるー「学びのマップ」・「私のライフライン」「学びの自分史」をつくる
- ② 自己と他者との体験知の交流ー「学びのマップ」・「私のライフライン」「学びの自分史」を他の受講生と相互コメントを行う
- ③ 教育をめぐる体験知と学問知との交流
  - (1) 近代教育が前提としてきた人間観と教育目的・理念の歴史を学ぶ
  - (2) 発達の思想を学ぶ
  - (3) 学習の思想を学ぶ

履修上の留意点

この授業は講義だけではなく、受講者自身の作業が多く含まれる参加型学習である。よって授業の質は各自の積極的な参加姿勢に大きくかかっていることを留意願いたい。また、小レポートを毎回提出してもらう。

成績評価の方法

小レポート、作品の提出状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

そのつど紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。一回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	教育と社会	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国234選				
担当者名	豊田 <sup>とよた</sup> 千代子 <sup>ちよこ</sup>				

講義のねらい

教育のあり方は、社会のあり方と関わっている。授業では、自分たちの受けてきた教育をふり返り、その中でみえてきた教育のさまざまな問題を、社会の歴史や構造等との関連で考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・学習体験のふり返り
- ・教育をめぐる諸問題
  - ・近代社会と学校教育制度について
  - ・子どもの身体と教育・社会
  - ・その他

(詳細は第1回の授業時に説明する。)

成績評価の方法

出席状況、小レポート、レポートによる。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	教育と社会	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英234選 英地文環境歴日外考234選				
担当者名	北村 <sup>きたむら</sup> 三子 <sup>みつこ</sup>				

講義のねらい

近代の社会システムと教育はどのような関係にあるのでしょうか。私たちが体験してきた日本の学校教育のあり方を社会との関係から考察することを通して、私たちがどのように社会的に形成されてきたのかを考えます。

講義の内容・授業スケジュール

日本という国家と教育との関係を歴史的に考察するとともに、近代的な組織とその構成員との間に働く力について考察します。また、そうした観点から、今日の学校教育をめぐる諸問題を考えていきます。詳細は初回の授業でお話します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートによります。

参考書等

教場で指示します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	教育と社会	開講	半期	単位	2
配当	地文環境歴日外考社234選 歴日外考社福心経A234選				
担当者名	伊藤 <sup>いとう</sup> 茂樹 <sup>しげき</sup>				

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマとして以下のようなことがらを予定している。

- ・現代の教育問題
- ・教育改革の動向

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	教育と社会	開講	半期	単位	2
配当	英福心経A商234選				
担当者名	萩原 <sup>はぎわら</sup> 建次郎 <sup>けんじろう</sup>				

講義のねらい

80年代半ばから不登校問題とともに「居場所」という言葉がマスコミに登場したが、いまや教育学、心理学、社会学においてもキーワードになっている。居場所の喪失感が静かに広がる中で、私たちはそこにどのような人間の姿、世界の在り様を感じるのだろうか。

この授業ではまず、子どもの自己形成空間と若者の文化変容、大人と子ども・若者の関係性の変容を読み解きながら、「居場所」が何において生まれ、何において失うのかを探っていく。次に「居場所」となりうる場のデザインを目指した具体的な方法論はあるのか、子ども・若者の居場所にかかわるいくつかの実践を手がかりに検討し、教育の可能性を考えていく。

この授業を通して、「居場所」を切り口として今いる自分を見つめなおしながら、他者（子ども・友人・親・先生など）とのかかわりの質を問い直し、さまざまな場面での教育実践に応用していける視点と感性を養ってもらいたいと願っている。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 「居場所」をめぐる言説の登場
- ② 「居場所」の意味を読み解く
- ③ 子ども・若者の自己形成空間の変容
- ④ 子ども・若者の居場所空間をデザインする
- ⑤ 「居場所」に関わる指導者論
- ⑥ 「居場所」と子どもの参加論

履修上の留意点

授業はできるだけ参加型学習をとりいれたいので、積極的な姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらおう。

成績評価の方法

小レポート、出席状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して判断する。

教科書

田中治彦編著『子ども・若者の「居場所」の構想－「教育」から「関わり」の場へ－』（学陽書房）3,000円

参考書等

久田邦明編著『子ども・若者の居場所』（萌文社）  
ロジャー・ハート著『子どもの参画』（萌文社）

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	発達と学習の心理学	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英234選				
担当者名	おおはま きくこ 大浜 幾久子				

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学び、21世紀の新しい教育観を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

定期試験（学期末）の成績に小レポートの成績を加味する予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	発達と学習の心理学	開講	半期	単位	2
担当	地文環境歴史外考社福心234選				
担当者名	いいた みやこ 飯田 都				

講義のねらい

人間は、親兄弟、友人、そして教師といった、多くの他者との多面的なかかわりの中で成長し、「自己」を見つけ、つくりあげていきます。教職を志す者だけにとどまらず、すべての人が何らかの形で他者の成長発達に関わる存在である以上、人間に対する心理学的な考え方を深めていくことは重要なことです。心理学的な考え方を学び、学校教育の意義をはじめ、教師や大人に求められる資質、“教える”ということの意味等についての考えを深め、自らの役割を問い直していくことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

- ◆人の発達・学習と教育 ◆乳幼児期・児童期・青年期の発達課題 ◆思春期の自我の発達
- ◆学習と認知（連合説と認知説） ◆知識の種類と構造、技能と知識の獲得 ◆動機づけ
- ◆学習過程・学習理論の教育への応用

履修上の留意点

聴いたことを受身的に自らの思想とするのではなく、講義の内容にヒントを得て、自分自身の、自分らしい考えを創り出していくことを期待しています。

成績評価の方法

中間試験、期末試験、および毎授業ごとの課題の成果を総合して評価します。ただし、出席が半分にも満たない場合には、単位の取得はできないと考えてください。

教科書

特に使用しません。必要に応じて資料を配布します。

参考書等

- 西林克彦 『間違いだらけの学習論』新曜社
- 川島一夫 『図でよむ心理学「発達」』福村出版

科目名	発達と学習の心理学	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英234選 地文環境歴日外考社福心234選				
担当者名	すみの ぜんじ 角野 善司				

講義のねらい

教育心理学は、教育場面において、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習に焦点を当てていきます。講義を通じて学び、考えたことを、生徒と接する際のヒントにしてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

(1)教育心理学とは (2・3)発達観の変遷 (4・5)発達の規定因 (6)教育の最適期 (7)発達段階と発達課題 (8)学習への動機づけ (9)内発的動機づけ (10)学習性無力感 (11)原因帰属 (12)学習目標と遂行目標 (13-15)補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。

成績評価の方法

免許・資格に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせ、適時紹介します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	カリキュラムと学習	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英234選				
担当者名	おほはま さくこ 大浜 幾久子				

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、現行の新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出（定期試験期間）を中心とした評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校)学習指導要領』(文部科学省)  
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

科目名	カリキュラムと学習	開講	半期	単位	2
担当	地文環境歴日外考社福心234選				
担当者名	すぎやま ふたき 杉山 二季				

講義のねらい

カリキュラムとは単なる教育計画でなく、子どもの学習経験の履歴でもあります。カリキュラムや学習をめぐる理論を理解し、授業実践を観察・検討するための多様な見方を身につけることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

講義では受講者の理解を踏まえながら、以下のトピックについて扱う予定です。(1)カリキュラムとは何か(2)学習指導要領の変遷(3)カリキュラムを支える教育理論(4)知識とは、学力とは何か(5)授業の反省と批評(6)かくれたカリキュラム 実践を見る目を養うために、小・中・高校の授業を撮影したビデオを観察し検討する機会を何回か設けます。

成績評価の方法

授業中の提出物と期末レポートの内容によって総合的に評価します。各回(毎回ではないが)の講義終了時にその日の講義を聞いて考えたことや感じたことを書いて提出してもらう予定です。

教科書

教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

講義中に適宜紹介します。

科目名	カリキュラムと学習	開講	半期	単位	2
担当	地文環境歴日外考社福心234選 禅仏国英234選				
担当者名	すみの ぜんじ 角野 善司				

講義のねらい

この科目では、カリキュラムの編成・実施を中心テーマとして取り上げ、それが生徒の学習をどのように規定し、導いていくかを検討していきます。これからの教育がどのようなカリキュラムで行われていくべきかを、各自考えてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

(1)カリキュラム(教育課程)とは (2)カリキュラムに関する法制 (3)カリキュラム編成の原則 (4)学習指導要領改訂の歴史 (5-6)平成10年学習指導要領改訂の経緯と基本方針 (7-8)平成15年学習指導要領一部改正の経緯と基本方針 (9-10)学習指導要領をめぐるその後の動き (11-13)カリキュラムと教育評価 (14-15)補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。

成績評価の方法

免許・資格に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

追って指示します。講義は、図表などを載せた資料プリントも活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせ、適時紹介します。

科目名	フレッシュマンセミナー	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心堂A1選(19年度入学生のみ)				
担当者名	萩原 義雄 <small>はぎはら よしお</small>				

講義のねらい

嘗て「国語学基礎」という科目が存在した。逆に「基礎国語学」と呼称してもいた。今横文字化して「フレッシュマンセミナー」だそう。日本人である私にとってこのカタカナ文字は刺りにもなじまない。故に何を教え、何を学ぶのかその教育展望が今少しく見えていないことを前置する。いわば、何をどう教え何を見出すか試行錯誤の授業と云うことである。この一教員である私と複数の学生との共同（嚮導）授業になろう。私なりにその堂塔の心柱ともいえる骨格を意味する科目と構えて日本国の大学人にふさわしい「東アジア圏日本語文化交流」に大切な教養を育む時間とも云えよう。

そこで、高等教育で何を学んだのか、まずは教える側と学ぶ側相互に確かめねば成るまい。今の大学教育の第一歩として本学の入学試験に国語・英語・社会（専門科目に細分類）といった三科目が指定され、この試験科目の評価点で合否が決定され、大学人としての門をくぐる。その査定の実態分析は、総合的に委員会を通じて実施されているが、この分析結果がどういようのか組織的に教員に伝達されてこの科目成立に結びついていると信じたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続き担当責任者説明
- 02の講義内容 日本語文献一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い
- 03の講義内容 日本語辞書・辞書、そして参考とすべき専門書の利用とその実際
- 04の講義内容 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果その研究領域の一般活用と手続き
- 05の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその1（手書きそして縦書き）
- 06の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその2（入力そして横書き）
- 07の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその3（四種類の文字と融合）
- 08の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその4（漢語と和語）
- 09の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその5（洋語と日本語）
- 10の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその6（東アジア漢文文化圏のことば）
- 11の講義内容 日本語表現文章と国際政治社会における文章
- 12の講義内容 文章作成能力開発その1
- 13の講義内容 文章作成能力開発その2
- 14の講義内容 文章作成能力開発その3
- 15の講義内容 期末課題リポートの提出

履修上の留意点

※情報機器利用の為、許容の人数制限を実施します。出席も、教場IT管理に依拠しています。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れていたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。  
 ※講義内容及び連絡事項については、HP（情報言語学研究室）上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

前期と後期それぞれにリポート課題を用意します。これを紙出し&FD（ネットへの添付資料）にして、最終締め切り日に提出します。  
 提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。  
 ご自分が調査した関連語句（書名・人名・用語など）の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。  
 また、総合教育研究学部（日本文化部門）&短期大学国文学・英文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営していきます。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていきますのでご承知願います。

教科書

随時、講義の前後に報知します。

参考書等

随時、講義の前後に報知します。



その他

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP（情報言語学研究室）上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

科目名	フレッシュマンセミナー	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A1選(19年度入学生のみ)				
担当者名	<small>さばら さくみ</small> 佐原 作美				

講義のねらい

学びのためにある学生生活を送るに当って、学部学科を問わず必要と思われる基礎的な知識や、物事に対する心得や態度など、ごく基本的な事柄について学び、かつその応用力としての考える力や表現力を養うことを目標としていく。

講義の内容・授業スケジュール

学生に求められることはより豊かな感性を磨き持つべく努力することであろう。そのための基本的な方法として文章の読解や表現力あるいは思考力が求められよう。そこで授業では、その方法として古典などの文学作品を素材としてその手懸りとしていきたい。それによってあわせ日本の伝統文化や思想面についても知識が得られるよう考えていきたい。

履修上の留意点

目的意識と向上心を強くもって臨んでほしい。

成績評価の方法

折々の提出物や試験や出席（重視）などを見て総合的に評価する。

教科書

当面はプリントの配布をもって行う。

参考書等

必要に応じて授業の中で紹介する。

科目名	フレッシュマンセミナー	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A1選(19年度入学生のみ)				
担当者名	鈴木 裕子 <small>すずき ひろこ</small>				

## 講義のねらい

—自己表現力のためのレッスン—

自分の考えをわかりやすく主張する力が不足している人、言葉で表現する力を磨いて今の自分を少しでも変えたいと思っている人、そういう人たちのために表現力を養う手助けをする。

講義の内容・  
授業スケジュール

自己表現力は、大学での効果的な学びに必要な力の一つである。いろいろな種類の文章を読み、理解する力、自分の意見を筋道立てて説明する力、限られた時間にまとまりのある文章を書く力を、実際の作業を通して養う。なお、授業中に文章を書いてもらう場合と、授業外の時間に課題として書いてもらう場合とがある。教材は、新聞記事、評論、手紙、詩、歌詞など。特に、今日的な問題を提起しているものを多数取り上げる予定。

## 履修上の留意点

授業では文章を次から次へと読み、課題を書き、報告することが要求される。オーソドックスな講義形式を希望している受講生には不向きなので、履修するときにはその点を留意すること。また、人数は少数が望ましく、希望者は最初の授業から出席すること。

## 成績評価の方法

提出物、授業中の発言内容、出席状況（遅刻・早退をしないことは大前提）から総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

## 教科書

プリント教材。

## 参考書等

参考書は、授業中に指示する。

科目名	フレッシュマンセミナー	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政党A1選(19年度入学生のみ)				
担当者名	さかくち ひろみ 坂口 博規				

講義のねらい

平成18年度より、入学初年度に受講する科目として開設されたもので、大学生活を有意義に送ってもらうことをねらいとしています。

殆どの学生諸君は最終学校たる本学において、将来の人生設計の途に立ちます。その貴重な4年間を、自覚的・能動的に過ごしてほしいと考えています。それぞれの専門分野の学問の理解は、実は日本語の理解能力の与かるところ大です。また自己をより正確に且つ効果的に他人に認定されるように、言葉の伝達（日本語表現）の大切さを自覚してほしいものです。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的に立って、毎時間テーマを設定して講義し、その講義内容に対する感想や、テーマに即した自分の考えを作文してもらいます（1～5）。講義中心ですが、受講生の人数や教場の形態などの条件によって、作文の添削や討論会の設定なども工夫したい。特にコミュニケーション論の一端として、言語断絶の疎外状況を物語る「変身譚」について考えてみたい（6～10）。また日本語表現の特質なども考えてみたい（11～13）。

履修上の留意点

「自己表現」の大切さを学んでほしい。言葉による伝達の意義を正しく自覚してほしいと思います。

成績評価の方法

授業の最終日に提出のレポートの成績評価。レポートは同じ題目にて2種（1つは要旨）提出してもらいます。また授業の折々に課題を出して小レポートも提出してもらいます。出席状況も参考にして、総合的に評価します。

教科書

授業の折々にプリントを配布します。

参考書等

授業において紹介します。

科目名	フレッシュマンセミナー	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A1選(19年度入学生のみ)				
担当者名	菌部 <small>そのべ</small> 幹生 <small>みきお</small>				

講義のねらい

大学のおかれた状況は年々変化し、大学生に対する社会的要請も重みを増したものが増えてきている。大学生活は高等学校までとは異なる点が多いので、充実した学生生活を送るために心得ておくべきことを体験的・実習的に修得することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

1 ガイダンス。2～4 大学と大学生生活。5～7 キャリアデザインとライフスタイル。8～11 表現法とレポートの書き方。12 レポート提出。13 まとめ。  
ただし、受講生の数や志向によって内容やスケジュールを変更することもある。その際は授業時間内に連絡する。

履修上の留意点

本講座は、出席や授業内提出物で60点分を評価するので、毎時間出席することが大原則である。課題の連絡も含めて、授業時間を大切にすることを求める。

成績評価の方法

出席点30点、授業時間内提出物30点、レポート40点の割合で評価する。定期試験期間中の試験は行わない。前期最後の授業時間内に追試験に相当するレポートに関する伝達を行うので必ず出席すること。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

必要があればそのつど紹介する。

科目名	フレッシュマンセミナー	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心堂A1選(19年度入学生のみ)				
担当者名	いしわり とおる 石割 透				

講義のねらい

日本文化に特色があるとすれば、それはどのようなものなのか。この授業では、近代になり西洋世界との接触が次第に深まるにつれて、西洋から訪れた人たちに日本がどのように見られ、記述されたのか。それによって、日本の文化の特徴を検討し、国際化の進む状況の中で歩むべき方向を考えていこうと思います。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、主に小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）『日本警見記』、ヴェンセスラウ・デ・モラエスの『日本精神』などを読み、彼等に日本人の宗教・住居・風景・生活習慣・芸術などがいかに見られたかを述べ、近代の西洋世界との接触の深まりの中で、喪なわれたもの、得られたものを考え、そのことの意味に触れたいと思います。

履修上の留意点

小泉八雲、モラエスのみならず、16世紀に訪れた西洋人より現在に至るまで、西洋人の日本について記した文献は数えきれない程多数あります。できるだけ多くの書物に触れ、その見方も西洋の諸国、時代によっていかに異なっていくかも考えてほしいと思います。また、東洋、南洋の国々からいかに見られてきたかも、同時に考え、西洋人のまなざしを相対化することも試みて下さい。

成績評価の方法

1、2回のレポートの提出。出席状況を重視し、成績評価に加味する。

教科書

小泉八雲『日本警見記上・下』（恒文社）、モラエス『日本精神』（彩流社）など。

参考書等

授業時に指示する。

その他

講義形式で授業を進め、必要に応じてプリントなどを準備する。

科目名	フレッシュマンセミナー	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A1選(19年度入学生のみ)				
担当者名	こばやし おさむ 小林 治				

講義のねらい

山田洋次が『男はつらいよ』シリーズ（第一作は1969年公開）とは別に、しかし並行して1970年から1980年にかけて松竹で撮った5本の映画がある。三部作シリーズとしての『家族』、『故郷』、『同胞』ならびに『幸福の黄色いハンカチ』、『遙かなる山の呼び声』である。それらの作品は、戦後30年を経て高度経済成長の真ただ中であって、喪われつつある日本人および日本の風土の特質を、例えばタイトルの如く、家族、故郷、同胞などの視点から凝視しつつ、その新たな現代における再生の可能性を探っている。これらの営為を眺める中で、戦後の日本が歩んだ道を決定的に方向づけた高度経済成長によって喪ったものを計り、その廃墟からの再生と復活を願う希望について考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

上記した映画作品を随時、見ながら、また資料等によって時代背景を考察しながら、上記のテーマに迫ってみたい。

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ上記した映画作品以外に取り上げる文学作品や映画作品を指示するので、できるだけ事前に読み、かつ見て授業に出席のこと。他の学生の大きいなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

教科書

適宜プリントを配布する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	フレッシュマンセミナー	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴史外考心政営A1選(19年度入学生のみ)				
担当者名	まつだ なおゆき 松田 直行				

## 講義のねらい

大学の授業から最大限のものを得たいと真剣に考えている新入生を対象に、大学での学業の基本を講義する。レポートの書き方や図書館・パソコンの活用法など実務的な事項を確認しながら、教科書を使用して「教養とは何か」を考え、「学ぶ態度」の基本を身につけていただきたい。また数名ずつのグループを編成して作業を行い、コミュニケーションについて体験的に学ぶ機会も設ける。

## 講義の内容・授業スケジュール

(1) 変わる大学 (2) 教養とは何か (3) 地域と大学 (4) 論理的な思考と表現 (5) コミュニケーションについて (6) 図書館とパソコンの活用法 (7) レポートの書き方

## 履修上の留意点

大学生活を始めるにあたって授業にしっかり出席する習慣を身につけていただくためにも、2/3よりは多い出席を必須とし、遅刻は認めない(途中入室を許可しない)ので注意すること。図書館でのガイダンス、パソコン教場の使用、世田谷保存住宅見学など、通常の教場以外で授業を行う場合がある。予定は随時授業の中で指示するが、欠席の場合はインターネット Komsyの詳細情報表示で確認すること。

## 成績評価の方法

前期定期試験期間中にレポートを提出していただくが、出席状況や、授業の中で求める様々な課題の提出状況を加味した上で採点する。

## 教科書

村上陽一郎『やりなおし教養講座』、NTT出版、1,680円。

## 参考書等

竹内洋『教養主義の没落』、中公新書1704、819円。阿部謹也『「教養」とは何か』、講談社現代新書1358、735円。筒井清忠『新しい教養を求めて』、中央公論新社、1,680円。

## その他

初回の授業でガイダンスを行う。なお後期科目の「日本文化基礎(松田)」はこの授業とは別の科目であり、必ずしも両方を履修する必要はない(してもよい)が、後期科目は履修登録の前にガイダンスを行う機会がないので、そのガイダンスもこの前期授業の初回にあわせて行う。

科目名	フレッシュマンセミナー	開講	半期	単位	2
配当	国英日外考心営A1選(19年度入学生のみ)				
担当者名	湯浅 <small>ゆあさ</small> 陽子 <small>ようこ</small>				

講義のねらい

プレゼンテーションは、特別な人が特別な機会に行なうものではありません。誰もが経験する自己紹介も、ゼミでの発表もプレゼンテーションの一種です。発表する内容や聞き手の人数に違いがあっても「自分の考えを正しく分かり易く相手に伝える」という基本に違いはありません。プレゼンテーションとは、自己表現なのです。

様々な Workshop を通じて相手にうまく伝えるための文書を作ったり、それを使って伝えるためのコツを学んだりして、これからの4年間の学生生活に活かしていくと共に、就職の際にも役立つスキルを習得することが目的の授業です。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1回 オリエンテーション 簡単な自己紹介をしてください
- 第2回 ・インタビューしてクラスメートの紹介準備(上手な聞き方とは?)
- 第3回 ・クラスメート紹介とプレゼンチェック
- 第4回 同窓会の幹事になったらどうする?
- 第5回 ・案内状の作成
- 第6回 ・当日の会の進め方
- 第7回 レジюме(配布資料)のある発表
- 第8回 ・グラフを使ったレジюмеを作ろう!
- 第9回 国際会議場の使用プランを任されたらどうする?
- 第10回 ・複雑な情報を整理して自分なりの部屋割りプランを提示
- 第11回 ・提示する際の視覚教材の作成
- 第12回 ・アウトライン原稿の作成
- 第13回 プレゼンテーション

履修上の留意点

入学式後に行なわれる総合情報センターのオリエンテーションに出席して、IDを必ず取得してください。IDが無いとパソコンが使えません。オリエンテーションを受ければ翌日にIDが発行されますが、この時期を逃すとIDの取得に時間がかかって授業に支障をきたすので注意してください。

成績評価の方法

毎回 Workshop を行なう実習科目につき、出席を重視します。評価を受けることができるのは出席率が2/3以上の方のみです。Workshop で使用する教材作成の良否、授業参加度等で総合評価します。

教科書

適宜指示します。

参考書等

適宜指示します。

その他

パソコンで文字入力に困らぬよう、できるだけタッチタイピングをマスターするよう、自分で練習しておいてください。大学のパソコンには優れたソフト(Type Quick)が入っています。タッチタイピング技能は、他の授業でも大変役に立ちます。



科目名	日本文化基礎	開講	半期	単位	2
配当	国英日外考心営A12選				
担当者名	佐原 作美				

講義のねらい

日本文化とは何か、をテーマとしていきたい。そこでそれを考えていくその方法の一つとして日本の古典文学、特に『古事記』や『万葉集』や『風土記』など、古代文学をもとにそれらを読みながら考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、古代の日本人の精神文化の要素として、  
 (1)呪的(物)信仰について  
 (2)言霊信仰について  
 (3)夢信仰について  
 の三つをテーマとしてあげ、それらが古典文学の中でどのように展開しているかを見ることによって前述のテーマに迫りたい。また、それらが古代人のみならず、現代人においての有りようをもあわせ考えていきたい。

履修上の留意点

素朴な問題意識と各自の感性を磨く意欲をもって臨んでほしい。

成績評価の方法

折々の提出物や試験や出席(重視)などを見て総合的に評価する。

教科書

プリントの配布をもって行う。

参考書等

必要に応じ授業の中で紹介する。

科目名	日本文化基礎	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境日外考心政営A12選				
担当者名	鈴木 裕子				

講義のねらい

—〈家族〉の文学史……描かれた古代の女と男—  
 古代の文学作品を中心に取り上げ、それらに描かれた古代の人々の生活を見ていきたい。例えば、良妻/悪妻とはどのような妻か、あるいは悪母/慈母とは何か、男女の関係や親子関係はどのように変わったか、その背景にはどのようなことがあるのかなど、実際に古典の一節を読みながら考える。

講義の内容・授業スケジュール

取り上げる作品は『日本霊異記』や『今昔物語集』などの説話文学や、『蜻蛉日記』などの日記文学、『源氏物語』などの物語である。描かれている記事の歴史的社会的な背景が理解できるように、周辺の資料も読みながら、現代につながる人間の問題をさぐってみたい。併せて古典文学のおもしろさが味わえるとよい。

履修上の留意点

授業は主としてプリント教材を用いての講義形式であるが、頻繁に小作文などの課題を出題する。

成績評価の方法

期末に行う試験(日時・論題等は授業時に提示)・授業態度(欠席・遅刻をしないことは前提)・課題などから総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書

プリント教材。

参考書等

参考書は、授業中に指示する。

科目名	日本文化基礎	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境日外考心政営A12選				
担当者名	坂口 博規 <small>さかぐち ひろみき</small>				

講義のねらい

日本文学は社会や風土と深く関わり合い、複雑多様で豊かな展開を示している。時代時代において様々な思想の推移において美意識の変遷が見られる。その全ては現代に至るまで日本文化の特質を示すものであり、長く伝統を形成している。それら各時代の文学に表われた美的理念をたどり、日本的な美意識の流れを考える。

講義の内容・授業スケジュール

古代から近世までの、主として古典文学に現れた美的理念を概説する。古代の「まこと(明・浄・直)」(1～3)、平安期の「あはれ」「をかし」「はかなし」(4～7)、中世の「無常」「幽玄」「妖艶」(8～10)、近世の「粹・通・意気」「滑稽」(11～13)等々を取り上げ解説する。

履修上の留意点

授業はプリント教材を用いて講義形式で行うので、出席に努めてほしい。

成績評価の方法

定期試験時のレポートの成績に、出席状況を加味して評価する。

教科書

適宜プリントを配布する。

参考書等

授業において適宜紹介する。

科目名	日本文化基礎	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境日外考心政営A12選				
担当者名	藺部 幹生 <small>しのべ みきお</small>				

講義のねらい

真の国際人とは自国の文化をしっかりと認識している人物である。これからの国際社会を生き抜いていくためには、自国についての認識と意見を持ち、それを表現できる必要がある。本講座は、そうした文化の認識に関する導入的講座である。したがって、単に知識を得るのではなく、文化的事象をどのように自分の中で体系化して認識し、そこから何を考えるかを問題にしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1 ガイダンス。2 婚姻史。3 婉曲表現の文化。4 自己認識の文化。5 食文化。6 住まいの文化。7 服飾文化。8 宗教文化。9 テレビゲームの可能性と文化的展望。10 文化史としての日本文学。11 伝承文芸。12 教場試験。13 まとめ。

履修上の留意点

毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

出席点20点、意見文30点、教場試験50点の割合で評価する。定期試験期間中の試験は行わない。なお、12月の最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達(該当者・テーマ・提出期限等)を行うので必ず出席すること。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

必要があればそのつど紹介する。

科目名	日本文化基礎	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境日外考心政営A12選				
担当者名	石割 透 <small>いしわり とおる</small>				

講義のねらい

日本の戦争及び戦後のことを考えることは極めて重要な課題であるが、戦後の風景を検討するに際して、この授業では、昭和27年に放送劇として始まり、その人気ゆえに映画、歌謡、小説など、多くのジャンルにまたがって、大きな人気を博したメロドラマ、「君の名は」について、その人気を博した理由を考え、戦後の1時期における戦中観を検討してみたい、あわせて、日本のメロドラマの系譜を概観することで、日本の戦後の文化の一端を考察してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

「君の名は」は、放送劇であるがゆえに、現在はその台本でしか、その内容に触れることができない。小説も、全国の幾つかの図書館でしか、現在では見ることはできない。(河出書房の文庫本も、現在では絶版である。) わずかに、映画全三部作がビデオなどで見ることができのみである。レンタルビデオなどで、あらかじめ、その物語に触れていただければ、幸いである。

履修上の留意点

「君の名は」の内容にこだわらず、この時間には、放送劇、映画、絵画などの分野にも広げ、その特徴、歴史などにも触れる予定である。メロドラマ、歌謡曲、大衆小説などにも関心をもって授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

出席を重視する。戦後文化についてのレポートを提出。それらによって評価する。

教科書

特に指定しない。その都度、必要な教材を、こちらで準備する。

参考書等

その都度、授業中に紹介する。

その他

映画などは、ビデオで見せることを考えています。

科目名	日本文化基礎	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境日外考心政営A12選				
担当者名	小林 治 <small>こばやし おさむ</small>				

講義のねらい

宮澤賢治の童話を精読する。賢治作品はこれまで、そこに溢れるイメージの絢爛さが、言葉だけの世界におけるデザインの卓抜さということに囲い込まれ、消費されるという不幸にしばしばみまわれてきた経緯があり、それゆえに賢治を遊民と錯視する見解も生まれてきた。しかし、その詩においても童話においても、注意深くそれらを読むならば、賢治の比類無き想像力の飛翔によって夢見られたイメージや虚構は、その飛翔に相当した深い喪失感と内省を生み出していることに気づくはずである。そこに表現者としての賢治の修羅があるのであり、ムードに流された生半可な鑑賞などはねつけてくるのである。

講義の内容・授業スケジュール

上記の賢治作品の実相を、生前発表作品である『氷河鼠の毛皮』、『シグナルとシグナレス』、およびその生前に唯一出版された童話集『注文の多い料理店』所収の作品などにみていく予定。

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大いなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

教科書

宮澤賢治『宮澤賢治全集第8巻』（ちくま文庫）  
その他、適宜プリントも配布する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	日本文化基礎	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境日外考心政営A12選				
担当者名	松田 <sup>まつだ</sup> 直行 <sup>なほゆき</sup>				

講義のねらい

講義タイトルは「流行歌の近代史～J-POPへの道程」。明治維新から現代までの流行歌を通して、①世相風俗とメディア史を中心とした近現代史、②伝統音楽・西洋音楽・ジャズの3要素の交錯と融合による現代音楽史、③西洋音楽に日本語をのせる歌詞の問題、の3つを並行して考える。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 音の科学 (2) 基本の楽理 (3) 明治における西洋音楽の移入 (4) 浅草オペラとモダニズム (5) 流行歌の誕生 (6) 戦後の歌謡曲 (7) ビートルズとロックの時代 (8) 歌謡曲からJ-POPへ

履修上の留意点

新入生と2年次生を対象として、各自の興味・関心をもとに真剣に授業に取り組む学習姿勢を身につけること自体も目的としているので、基本的に毎回出席する姿勢が求められ、遅刻しての入室は禁じる。

成績評価の方法

定期試験期間中に筆記試験を行う。授業で指示する提出物や出席状況も考慮して採点する。

教科書

指定しない。授業で毎回プリントを配布する。

参考書等

佐藤良明『J-pop 進化論』平凡社新書、¥725。

その他

後期科目だが、希望者には4月の履修登録前にガイダンスを行う。前期科目の「フレッシュマンセミナー(松田)」の講義内容を参照。前期科目はこの授業とは別であり、必ずしも両方を履修する必要はない(してもよい)が、前期授業の初回にこの授業のガイダンスもあわせて行う。

科目名	日本語文化基礎	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境日外考心政営A12選				
担当者名	萩原 義雄				

講義のねらい

「東アジア漢文文化圏」の東端海上に位置する日本国は、独特な言語文化を生み出してきました。その素養を知る手がかりをこの講義を通じて理會を深めていただき、海外の国際文化交流のうえで基礎となる素養を多くの方が育み、この日本文化の手触り・肌触りを実感できる講座となればと考えています。日本の書記文字文化は西欧の音楽文化に通じています。逆に西欧の文字文化は、日本の邦楽文化（仏教聲明・平曲・謡曲）と運動しているといった図式がよく取り沙汰される所以をこの時間で具現できればと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- |         |  |
|---------|--|
| 01の講義内容 | ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明   |
| 02の講義内容 | 日本語文化を学ぶ一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い   |
| 03の講義内容 | 日本語文化を学ぶ字書・辞書・参考専門書の利用とその実際  |
| 04の講義内容 | 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果<br>その研究領域の一般活用と手続き<br>(中国・韓国・北朝鮮・モンゴル・ベトナム・タイ・インドネシアなど) |
| 05の講義内容 | 言語文化「東アジア漢文文化圏」その1 (中国と日本)   |
| 06の講義内容 | 言語文化「東アジア漢文文化圏」その2 (朝鮮半島と日本)   |
| 07の講義内容 | 言語文化「東アジア漢文文化圏」その3 (モンゴルと日本)   |
| 08の講義内容 | 言語文化「東アジア漢文文化圏」その4 (ベトナムと日本)   |
| 09の講義内容 | 言語文化「東アジア漢文文化圏」その5 (タイと日本)   |
| 10の講義内容 | 言語文化「東アジア漢文文化圏」その6 (インドネシアと日本)   |
| 11の講義内容 | 「西欧言語文化圏」と日本語文化(ギリシャ・トルコ・イタリアを中心に)   |
| 12の講義内容 | 言語文化「西欧言語文化圏」その1 (ギリシャ&トルコと日本)   |
| 13の講義内容 | 言語文化「西欧言語文化圏」その2 (イタリアと日本)   |
| 14の講義内容 | 言語文化「西欧言語文化圏」その3 (英国・米国・豪国と日本)   |
| 15の講義内容 | 期末課題レポートの提出  |

履修上の留意点

※情報機器利用の為、許容の人数制限を実施します。出席も、教場IT管理に依拠しています。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れてたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時間閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

期末にレポート課題を用意します。これを紙出し&データ記録(ネットへの添付資料)にして、最終締め切り日迄に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)&短期大学国文学・英文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

教科書

随時、講義の前後にて報知します。

参考書等

随時、講義の前後にて報知します。

その他

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

科目名	日本語文化基礎	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境日外考心政営A12選				
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあさ しょうこ</small>				

講義のねらい

今やパソコンは使えて当たり前前の時代ですが、使いこなしているでしょうか？この授業では、使いこなす上で必要な表現力（大学生として恥ずかしくない日本語能力・文章力、色彩および図解能力）を強化します。

日本語能力は、語彙を増やし、読み仮名や漢字の間違いを減らすことに重点を置きます。また、社会生活で必要な慣用句やことわざの意味、敬語の基本を確認して、活用できるかどうかをチェックします。

文章力は、簡潔でわかりやすい実用文の書き方のポイントと、説得力のある文章の構成方法を学び、小論文などを実習します。

色彩及び図解能力では、色彩の基本と表や図形を書くときの注意点を学び、図解の基本的な作成方法を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 情報利活用における表現力の位置づけ
- 第2回 語彙を増やす（送り仮名・同音異義語）
- 第3回 語彙を増やす（慣用句）
- 第4回 語彙を増やす（ことわざ・敬語）、練習1
- 第5回 良い文のポイント、練習2
- 第6回 文章の構成（要素と構成方法・要約・見出し）、練習3&4
- 第7回 さまざまなビジネス文書、練習5
- 第8回 小論文の構成、引用の提示方法、エントリーシート、練習6&7
- 第9回 色彩と図解の基礎知識、練習8&9
- 第10回 グラフを作る、練習10
- 第11回 グラフや図解でものを考える、練習11
- 第12回 Drill
- 第13回 予備日

履修上の留意点

コンピュータを使用します。コンピュータを起動するためにIDが必要です。入学式後のオリエンテーション期間中に行なわれる総合情報センターの説明会に必ず出席して、コンピュータのユーザー登録を行ないIDを取得している人でなければ受講できません。また、第1回目の授業で定員を超えた場合は、2回目の授業時に抽選を行ない、履修登録許可書を発行します。

成績評価の方法

出席を重視します。毎回講義のあとに練習問題を課します。その課題の提出は翌週までにメールに添付して提出します。評価は出席点・課題提出点・および授業内試験による総合評価です。

教科書

自作教材

参考書等

必要時に、適宜指示します。

その他

「基本が大切」とは、よく言われることですが、パソコン操作も基本が大切なことになり変わりはありません。パソコン操作の基本とは、すなわちキーボード操作です。Windowsの出現以来、専門家や一部の愛好者ばかりでなく、誰もが触れるようになったパソコンですが、マウスの操作だけではパソコンの機能のうち、ほんのわずかなことしかできません。

ワープロによる文書作成も電子メールもキーボードによる文字入力を中心であり、現在専門家としてパソコンを操作している人も初めはキーボードの入力から覚えていったのです。初心者にとっては、大きなハードルとなるキーボードですが、情報化がすすむ社会では不可欠の技能と言えます。総合情報センター内のコンピュータに入っているタッチタイピングソフトの「Type Quick」で入力のスキルアップを図ってください。

科目名	日本文化研究IA	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選				
担当者名	佐原 作美 <small>さきはら さくみ</small>				

**講義のねらい** 授業では『万葉集』の講読を中心に進める。『万葉集』は承知の如くわが国最古の大歌集であり、約4500首もの和歌を取める国民的古典である。授業ではその中から特に特色ある歌人として知られる山上憶良の作品を中心に読んでいくと共に、作者憶良の人間像を探求することを目標としたい。

**講義の内容・授業スケジュール** 憶良を理解するにはその作品を精読することが第一であり、それにあわせその時代や社会などとの関わりをも視野に入れる必要がある。授業では、憶良の全作品を創作年代順に追いながら、その全体像の把握につとめながら共に読んでいきたい。

**履修上の留意点** 授業は単に出席して講義を聞けばいいというものではない。自ら積極的に作品を読み、考え、味わうことが大切である。作品は人間から生れた文学芸術であることを忘れずに、意欲的に立ち向うようにしてほしい。

**成績評価の方法** 折々の提出物や試験や出席などを見て総合的に評価する。

**教科書** 土橋 寛編『作者別万葉集』（おうふう）2,000円

**参考書等** 授業時に必要に応じてその都度紹介する。

科目名	日本文化研究IA	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選				
担当者名	坂口 博規 <small>さかぐち ひろみ</small>				

**講義のねらい** 鎌倉時代初期に成立した私家集（＝個人歌集）『建礼門院右京大夫集』を読む。平家一門全盛の世、高倉天皇中宮となった平清盛娘徳子（安徳天皇母）の宮廷に女房として仕えた、「右京大夫」と称した女性の歌集である。他人詠も含めて361首の歌が、全体ほぼ年代順に配列されており、その半生の回想の記の体を示していることから、日記文学に指摘される自照精神を問うこともできる。徳子の宮廷に仕えていた折に、平清盛の孫に当たる貴公子資盛と恋に陥り、以後平家一門の都落ちに伴う資盛の流転、壇の浦での死去を体験し、その追想の日々を過ごす。その戦乱期に運命を翻弄された作者の人生を、散文（＝詞書）と韻文（＝和歌）が見事に融合したと評価される作品を通して考えたい。

**講義の内容・授業スケジュール** 開講時（1・2）は、女性の手になる自照文学の流れを概観し『平家物語』の裏面史とも言うべき本作品を理解するため『平家物語』の女人哀話を紹介（3）、前期は平資盛との交渉を中心に作品を講読する（4～13）。後期は似絵（肖像画）の名手であり歌人でもあった藤原隆信との稔らぬ恋に苦悩するが、その交渉を伝える和歌を中心に作品を読み進め（14～25）、和歌文学の魅力を考える（26）。作品研究という形で本文を読みたい。

**履修上の留意点** 和歌の魅力を感じてもらうように、いくつかの作品を分析的に読解してみるが、まず作品の成立した平家全盛の時代、そしてその滅亡の歴史的背景について研究してほしい。なお宮廷社会について考察してほしい。

**成績評価の方法** 授業内試験の成績に、平素の出席状況や授業への取組みを参考にして評価する。

**教科書** 久富高文編『建礼門院右京大夫集』（おうふう）1,890円



科目名	日本文化研究IA	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選				
担当者名	すずき ひろこ 鈴木 裕子				

講義のねらい

『源氏物語』入門……禁忌と夢を中心に—  
日本文化の基底をなす文芸の一つとして、古代より人々によって読み継がれ、受け継がれてきた古典文学『源氏物語』を取り上げる。文学作品としての価値はどのようなところにあるのか、またその享受のあり方は時代の流れにともなうどう変わってきたか、実際に作品世界の一端に触れつつ考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、『源氏物語』の中核となっている、光源氏と藤壺の禁忌の恋の物語を取り上げて物語世界での位置付けや注釈の歴史をたどりつつ読み解く。後期は、『源氏物語』において夢がどのように描かれ、物語の展開に関わっていくか、明石の一族の物語を中心に読み解く。

履修上の留意点

授業はテキストやプリント教材を用いての講義形式を基本とするが、頻繁に小作文などの課題を出題する。

成績評価の方法

半期毎に行うレポート試験、提出物（授業中に短い作文の提出を求められることがある）、出席状況（遅刻・早退をしないことは大前提）等から総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をすする者には厳しく対処する。

教科書

『ビギナーズ・クラシック源氏物語』角川ソフィア文庫（角川書店）、その他プリント教材。

参考書等

参考書は、授業中に指示する。

科目名	日本文化研究IA	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選				
担当者名	<small>そのべ</small> 蘭部 <small>みきお</small> 幹生				

## 講義のねらい

日本文化のなかで、伝承文芸は上代から近世まで、あらゆるジャンルの文芸と関わって、大きな意味を持っていた。その伝承文芸を代表する説話文学のなかから、特に有名な作品の一つである『宇治拾遺物語』をとりあげる。『宇治拾遺物語』は長く編者未詳の作品として扱われてきたが、その謎を解き明かしてみたい。説話集は、伝承された話を編纂したものであるから、同じ話や類似した話が、他のさまざまな作品にも載せられている。それらの話との比較も、説話を理解するうえでは、たいせつな要件となる。したがって、『今昔物語集』のような他の説話集はもちろん、その他さまざまなジャンルの作品も合わせ読むことになる。そうしたことを通して、説話の本質を考え、また、『宇治拾遺物語』の秘められた特質も浮き彫りにしてみたい。

 講義の内容・  
授業スケジュール

1 ガイダンス。2 説話とは。3・4 説話文学史。5 序文講読。6・7 宇治拾遺物語の特徴。8～18 編者論。19～24 作品論。25 教場試験。26 まとめ。

## 履修上の留意点

毎時間の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。

## 成績評価の方法

毎時間提出する意見文で50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の筆記試験を行なう(試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込み参照可)。また、最後の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡を行なうので、必ず出席すること。

## 教科書

中島悦次校注『宇治拾遺物語』角川文庫

## 参考書等

『駒澤短大国文』36号。その他は必要に応じてそのつど紹介する。

科目名	日本文化研究I B	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選				
担当者名	いしわり とおる 石割 透				

講義のねらい

1910年から20年代にかけての日本の、主に短篇小説を読む。  
 主に大正時代の文壇の中心にいた作家——芥川龍之介・志賀直哉・谷崎潤一郎・菊池寛・江戸川乱歩ら——の作品を読みそれぞれの作家の特質、作家の生きた時代の社会的、文化的状況を検討する。大正期には、それぞれの個性が開花し、現代に通じるさまざまな表現方法が見出され、生きるうえでの課題が生まれたが、代表的な短篇小説を扱うことで、そのようなテーマを検討していく。とりあげる作品は、芥川龍之介「芋粥」「舞踏会」「雛」、谷崎潤一郎「白昼鬼語」「小さな王国」「春琴抄」「痴人の愛」、志賀直哉「小僧の神様」「焚火」、菊池寛「屋上の狂人」「父帰る」「海の勇者」「入れ札」「真珠夫人」、江戸川乱歩「人間椅子」「芋蟲」など。

講義の内容・  
授業スケジュール

上記の作品を読み、それぞれの作品にひそむ課題、表現方法、社会的背景などを検討していく。大体、前期、後期、4、5つの作品をとりあげる予定である。

履修上の留意点

授業に際して、各々の作品を前もって十分に読んでおくことが望ましい。各作品に絡めて言及する作品についても、すぐに図書館にでも行き、読んでほしい。短篇小説だから、すぐに読める筈である。

成績評価の方法

年度2、3回のレポート提出。出席状況を重視する。

教科書

特に指示しないが、扱う作品は、主要な文庫本などで比較的容易に読むことが可能である。例えば谷崎潤一郎「美食倶楽部」(ちくま文庫)、江戸川乱歩「江戸川乱歩傑作選」(新潮文庫)、芥川龍之介「芥川龍之介全集I～VI」(ちくま文庫)、谷崎潤一郎「痴人の愛」(新潮文庫)など。年表の会編『近代文学年表』(双文社)。

参考書等

授業時に指示する。

その他

講義を中心に進行する。授業に必要なコピーなどを、その都度準備する。

科目名	日本文化研究ⅡB	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選				
担当者名	小林 治 <small>こばやし おさむ</small>				

講義のねらい

現代文学の作家と映画との関わりは、その作家及び作品の方向性を決定してしまうほど深いケースが多くなっていると言えるだろう。その関わり方は、大きく分けて二種類あると思われる。一つは、作家が観た映画に触発された、あるいは影響を受けた場合であり、もう一つは作家が実際に監督として映画を作った、もしくは脚本などを担当して映画作りに参加した場合である。これまで、映画と文学というテーマが掲げられると、前者の関わりから語られることが多かったが、ここでは具体的に後者の場合を安部公房について取り上げて、どのように関わっているか考えてみたい。また、前者についてもいくつか取り上げる。

講義の内容・授業スケジュール

代表作『砂の女』など昭和30年代から40年代にかけて先駆的に自作の映画化に数多く関わった安部公房について順次みていく予定である。

履修上の留意点

授業で触れる作品は、できるだけ多くを授業と併行して読むことが望まれる。また、特に詳しく触れる作品はあらかじめ指示するので、必ず読んでおくこと。

成績評価の方法

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出欠状況を加えて成績評価をおこなう。

教科書

安部公房『砂の女』（新潮文庫）400円  
 安部公房『他人の顔』（新潮文庫）450円  
 その他、適宜プリントを配布する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	日本文化研究IB	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選				
担当者名	まつだ なおゆき 松田 直行				

講義のねらい

近代以降の日本における演劇と芸能の諸相を、多角的に考察する。西洋近代劇の移入に始まる演劇史を中心としながら、浅草オペラや宝塚、ミュージカルなどの音楽劇、寄席の芸能や大道芸に至るまでを広い視野でとらえ、ジャンルの枠を超えた発想から近代日本におけるライブ・パフォーマンスの全体像を見つめる。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 芸能とは何か (2) 現代日本の芸能と演劇の実情 (3) 歌舞伎開化から新派へ  
(4) リアリズム演劇の理念 (5) 近代演劇の移入と新劇 (6) 帝劇と宝塚 (7) 浅草オペラとエノケン (8) 漫才と喜劇 (9) 大道芸と見世物 (10) 近代戯曲を読むーイブセン「人形の家」と岸田国士「紙風船」

履修上の留意点

できる限りの映像資料を使って芸能や演劇に触れてほしいと思っているが、それは単なる映像に過ぎないことも事実である。授業時間以外に自分で様々な芸能や演劇の場に足を運び、レポートとして報告する課題を出す。機会があれば希望者を募っての観劇会も企画したい。

成績評価の方法

出席状況を重視するが、学年末の定期試験期間中に筆記試験を行い、またそれとは別に前期・後期それぞれにレポートの提出を求め、総合的に評価する。

教科書

指定しない。随時教場でプリントを配布する。

その他

この授業で扱う内容からさらに専門性を深め、自分の興味にしたがって各自が研究し発表する演習形式に近い形態を取り入れた「日本文化研究IIB（松田）」を今年度から開講する。こちらのIBを先に履修してから、翌年度以降さらに興味があればIIBを履修していただきたい。

科目名	日本語文化研究I	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選				
担当者名	萩原 <sup>はぎはら</sup> 義雄 <sup>よしお</sup>				

講義のねらい

音韻・文字・文法・語彙・敬語・文体・言語生活といった分野を常に据えた形態で、古代から現代までの“ことばの歴史”を現代人の鳥瞰・虫瞰の眼で、しかと見据えていくことを目的としています。そのなかで、現存する紙面日本語資料の実態についてその保管現況の把握が第一義となります。これをどう時代区分しているのかを精確に知りましょう。将来、日本語文化研究としてどのような重要性を有し、どのように発展研究していくのかを各で認識していただきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続き担当責任者説明
- 02の講義内容 日本文化の未来と古代をつなぐ
- 03の講義内容 五十音圖のはなしと音訓について
- 04の講義内容 文字資料(漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字)から日本語學資料へ
- 05の講義内容 「いろはうた」と「あめつちのうた」そして「たみにのうた」
- 06の講義内容 『伊勢物語』第九段「東下り」を読む
- 07の講義内容 『野馬臺詩』をめぐる説話譚 — 『吉備大臣入唐絵巻』— PDF版
- 08の講義内容 「落書」PDF版
- 09の講義内容 「手紙」失われた文字 PDF版
- 10の講義内容 文字の修得と習学 PDF版 かなについて 貴族階級とことば教育 佛敎界とことば教育
- 11の講義内容 文字の運びと流れ PDF版 カタカナ文献資料について— 『古今和歌集』(旧伏見宮家藏)一〇六年寫 —
- 12の講義内容 漢字・カタカナの混淆文を読む その1 PDF版 — 『今昔物語集』(京都大学附属図書館藏国宝、鈴鹿本)—
- 13の講義内容 漢字・カタカナの混淆文を読む その2 PDF版 — 鈴鹿本『今昔物語集』から古辞書利用へ—
- 14の講義内容 連綿連続にみる日本語の抑揚階調表現 PDF版 — 徳川本・五島本『源氏物語繪巻』のかな書き「ひ」文字 —
- 15の講義内容 夏季課題提出(後期講義に向けてその方向性と準備を説明)
- 16の講義内容 『作庭記』について PDF版
- 17の講義内容 梅沢本『古本説話集』にみる畳字踊り字「/＼」 PDF版
- 18の講義内容 延慶本『平家物語』について PDF版
- 19の講義内容 鴨長明自筆『方丈記』について PDF版
- 20の講義内容 細川三斎忠興筆『徒然草』について PDF版
- 21の講義内容 『蒙古襲来絵詞』について PDF版
- 22の講義内容 『太平記』について PDF版
- 23の講義内容 中世藝術論〔謡曲・能・狂言〕の言語文化についてPDF版
- 24の講義内容 天草版(キリシタン)資料 PDF版
- 25の講義内容 往来物『庭訓往来』について PDF版
- 26の講義内容 松尾芭蕉『奥の細道』PDF版
- 『仮名手本忠臣蔵』 PDF版
- 町人文化とことば 十返舎一九編『東海道中膝栗毛』 PDF版
- 樋口一葉『たけくらべ』—雑誌「文學界」と「文藝俱樂部」所載直筆原稿—
- 冬季課題の提出

履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れてたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的抹消します。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し&FD(ネットへの添付資料)にして、最終締め切り日に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添

## 成績評価の方法

えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていきますので承知願います。

## 教科書

紀田順一郎著『日本の書物』〔勉誠出版、3000円(税別)〕

インターネット公開型テキスト“国語史” [URL <http://www.komazawa.-u.ac.jp/~hagi>]

## 参考書等

今野真二『日本語の歴史』文献から読み解く【鳥瞰虫瞰】(笠間書院) 3,800円(税別)  
ISBN4-305-70307-6

## その他

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

科目名	日本語文化研究I	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A選				
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあき しょうこ</small>				

## 講義のねらい

近頃いろいろな場面で若者のコミュニケーション能力に不安があるという声を耳にします。コミュニケーション能力には、相手の話を聞くこと、意見の主張、説明、プレゼンテーションなどの能力が含まれます。コミュニケーション能力は、相手に効果的に働きかけることのできる「表現力」を身につけることで高めることができます。

本講義では、文章技法からプレゼンの実施までを体験しながら方法論を学び、総合的な表現力を身につける手助けをします。

## 講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 知っておきたい日本語の知識
- 第2回 知っておきたい敬語の知識
- 第3回 日本語表現の基礎レッスン—ことばに変える（声を文字に、絵をことばに）
- 第4回 情報を要約する
- 第5回 情報の探し方
- 第6回 アカデミック・ライティング—正確な表現（何を書くか：マッピングで頭の中を取材）
- 第7回 電子ツールによるマッピングの方法
- 第8回 問いの立て方、根拠に支えられた意見提示
- 第9回 論理力トレーニング—紙上ディベート
- 第10回 小論文の構成（構成ノートにしたがって）
- 第11回 文章を書く技法—パラグラフ・ライティング
- 第12回 推敲のしかた（校正記号）
  
- 第13回 レポートから論文へ（作成の手順と方法）
- 第14回 電子ツールによるアウトライン作成
- 第15回 論文のスタイル、卒業論文の構成
- 第16回 電子ツールによる推敲、コメント機能、編集作業
- 第17回 テクニカル・ライティング—わかりやすい表現
- 第18回 ライティング技法
- 第19回 マニュアル制作（携帯電話の活用法）
- 第20回 マニュアル制作（携帯電話コミュニケーション術）
- 第21回 スライド作成（1年間を振り返って）
- 第22回 スライド作成
- 第23回 プレゼンテーションの実践（発表会）
- 第24回 プレゼンテーションの実践（発表会）

## 履修上の留意点

コンピュータを使用します。コンピュータを起動するためにIDが必要です。入学式後のオリエンテーション期間中に行なわれる総合情報センターの説明会に必ず出席して、コンピュータのユーザー登録を行ないIDを取得している人でなければ受講できません。また、第1回目の受講者数が定員を超えている場合は、第2回目の授業時に抽選を行ない、受講者を決定します。

## 成績評価の方法

出席を重視します。殆ど毎回アクティビティーがあり、それに伴う課題提出があり、それも評価の対象になります。課題提出は、次回の授業時まで、添付ファイルでメールにより提出します。最終プレゼン（発表）の良し悪しも評価され、出席・課題・発表の総合評価です。

## 教科書

適宜指示します。

## 参考書等

適宜指示します。

## その他

コンピュータに慣れていない人は、総合情報センターのトップページから「e-Learning」に入り、Web上PC講習（学内のみ）にて練習してください。



科目名	日本文化研究II A	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴史日外考心政営A234選				
担当者名	佐原 作美 <small>さばら さくみ</small>				

講義のねらい

平安朝の末期に成立したわが国最大の説話集である『今昔物語』を通じて、社会の下層に位置する人々が、日々何を願い何を求めて生きていたか、その心性と思想と行動の有りようを探っていききたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、『今昔物語集』の「本朝仏法」部（巻十一～巻二十）の中から、特に観音や地藏や阿弥陀などの諸仏への信仰をはじめ、興味ひかれる説話を選んで読みながら見つめていきたい。

履修上の留意点

自発的に取り組むことと、何度も繰り返し読んで味読してほしい。

成績評価の方法

折々の提出物や試験や出席（重視）などを見て総合的に評価する。

教科書

佐藤謙三校注 『今昔物語集』本朝仏法部、上・下巻（上巻903円、下巻735円）・角川ソフィア文庫（角川書店刊）

参考書等

必要に応じ授業の中で紹介する。

科目名	日本文化研究II A	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴史日外考心政営A234選				
担当者名	鈴木 裕子 <small>すずき ひろこ</small>				

講義のねらい

一和歌で読む『源氏物語』—  
古典の物語では和歌は重要な役割を果たす。和歌を読み解くことで、作中人物の状況や心情、あるいは無意識の深層まで探れることがある。今回は、特に日本文化の基底をなす文芸の一つ『源氏物語』を取り上げる。

講義の内容・授業スケジュール

精選した場面を原文で読み、和歌の機能について理解を深める。第一部、第二部の物語世界から、藤壺や六条御息所、紫の上の歌などを取り上げる予定。古典和歌になじみのない人も現代語訳の『源氏物語』で和歌がどう扱われているかを確認しつつ物語のおもしろさを発見して欲しい。

履修上の留意点

授業はテキストやプリント教材を用いての講義形式が基本となるが、頻繁に小作文などの課題を出題する。

成績評価の方法

前期・後期にそれぞれ一度ずつ行うレポート試験（論題等は授業時に提示）・授業態度（欠席・遅刻をしないことは前提）・課題などから総合的に評価を行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書

プリント教材。

参考書等

参考書は、俵万智『愛する源氏物語』（文藝春秋社）、鈴木裕子『『源氏物語』を〈母と子〉から読み解く』（角川叢書・角川書店）その他、授業中に指示する。

科目名	日本文化研究II A	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A234選				
担当者名	坂口 <sup>さかぐち</sup> 博規 <sup>ひろき</sup>				

講義のねらい

古代の『古事記』『日本書紀』『風土記』等の歌謡を考える。古代の「ウタ」の発生の問題や、「ウタ」の役割（＝古代的意義）を考えるとともに、作品中に登場する歌謡が、その物語の中でどのような役割（＝文学性）を担っているか等を考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめ「ウタ」の発生について考察し（1～3）、次いで古代歌謡の種類（4～6）や形態（7・8）や表現様式・歌体（9～13）などを、『古事記』や『日本書紀』『風土記』の物語を含めて解説する。後期に入り、歌謡が物語にいかなる役割を以って挿入されているかを理解してもらうために、ヤマトタケル物語を『古事記』と『日本書紀』の両方で読む。この二つのヤマトタケル物語は内容を大きく変えており、その違い、『古事記』と『日本書紀』の政治的主張の差などに由来することから、まず『古事記』と『日本書紀』の成立について考察（14～17）、その上でヤマトタケル物語を読み解きたい（18～25）。

履修上の留意点

古代の文学・歴史書たる『古事記』『日本書紀』『風土記』は、その表現や内容上難解な点が多いので、是非注釈書などに目を通してほしい。本文読解を中心に行うことはしないので作品の理解は現代語訳でもよい。

成績評価の方法

定期試験時におけるレポートの評価による。出席状況も参考にする。

教科書

授業時に適宜プリントを配布する。

参考書等

授業時に適宜紹介する。

科目名	日本文化研究II A	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A234選				
担当者名	そのべ みきお 菌部 幹生				

講義のねらい

同じ担当者（菌部幹生）の日本文化研究IAを履修済みという前提で講義を行う。すなわち、『宇治拾遺物語』の編者が文章博士・藤原経範であるという前提に立てば、『宇治拾遺物語』をどのように読むことができるか、という点を最大のテーマとする。恣意的な読み方によらずに、どのように読むべきかという作品研究の立場に立った方法を実践したい。

講義の内容・授業スケジュール

1 ガイダンス。2 説話文学の盛衰。3 編者論。4～13 作中人物論。14～24 作品論。25 教場試験。26 まとめ。

履修上の留意点

日本文化研究IAを履修済みであることが望ましい。できれば同一担当者の日本文化研究IAを単位修得してから履修することが望ましいが、そうでない場合は、必ず最初の授業時にその旨を相談すること。

また、毎時間の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時間提出する意見文で50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の筆記試験を行なう（試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込み参照可）。また、最後の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡を行なうので、必ず出席すること。

教科書

中島悦次校注『宇治拾遺物語』角川文庫

参考書等

『駒澤短大国文』25号。その他は必要に応じてそのつど紹介する。

科目名	日本文化研究II B	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A234選				
担当者名	石割 透 <small>いしわり とおる</small>				

講義のねらい

日本近代文学と〈京都〉——そうだ、京都。学ぼう。  
 京都は平安時代から、政治、文化の中心としてあり、近代においても首都東京と対照的な際だった性格をもつ場所として文学の世界でも表象されてきた。現在でも多くの人たちが訪れる国際的な都市でもある。日本の文化の本質とも深く関わる、こうした〈京都〉という場所は、どのような空間に位置し、いかなる歴史、文化とかがわってきたか。この授業では、京都という地の性格を概観し、それが日本近代文学でいかに表象されてきたかを検討しようとする授業です。文学作品としてとりあげるのは、与謝野晶子「みだれ髪」、吉井勇「祇園歌集」、長田幹彦、夏目漱石「虞美人草」、近松秋江「黒髪」、川端康成「古都」、高浜虚子「俳諧師」、谷崎潤一郎「蓼喰ふ虫」「陰翳礼讃」、三島由紀夫「金閣寺」、大仏次郎「帰郷」など。他に映画、絵画もとりあげたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は京都の歴史的・地理的特色を述べ、京都の町の特徴を概観する。それぞれの場所、事象、行事がいかに古典などに表象されてきたかを簡単に説明し、それを基にして、近代文学と京都、について、各テキストに基づいて考えていく。及んでは、それによって、日本近代の特質、日本文化の諸問題を浮きあがらせていく。

履修上の留意点

各授業に先だち、各テキストを読んでおくことが望ましい。

成績評価の方法

年間に2、3回のレポートの提出。出席を重視して、成績評価に加味する。

教科書

特に指示しない。授業時にコピー、印刷物を配布する。

参考書等

授業時に指示する。京都を表象したテキストに注目しておくように。

その他

講義を中心として進行する。

科目名	日本文化研究II B	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A234選				
担当者名	小林 治 <small>こばやし おさむ</small>				

講義のねらい

戦後における文学の第一声ともされる同人誌『近代文学』に依る本多秋五や荒正人の評論から始めて、野間宏、椎名麟三などの第一次戦後派から、第二次戦後派の安部公房、島尾敏雄を経て、小島信夫、庄野潤三などの第三の新人に至るまでの戦後日本文学の軌跡を、それぞれの作家の作品を読むという形で迎ってみたい。そうすることで、敗戦までの日本近代文学の陥穽に対峙することから、その表現の独自性を確立しようとした戦後日本文学の可能性と限界を探りたい。

同時に受講生において、個々に自分にとって文学を読むこと、もしくは文学として作品を読むという行為がどのような意義を持つのかということをおぼろげにイメージして考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

第二次大戦直後の戦後文学の出発期から第三の新人が出揃った昭和三十年代に至るまでの戦後日本文学の軌跡がいかなるものであったのか、その概論を講義形式でおこなうと同時に、個々の作家の重要な作品については、逐次たどって具体的にテキストを用意してじっくりと講読する予定。

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大いなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

教科書

野間宏『暗い絵・顔の中の赤い月』（講談社文芸文庫）  
 安部公房『飢餓同盟』（新潮文庫）  
 その他、適宜プリントを配布する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	日本文化研究II B	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A234選				
担当者名	松田 直行 <small>まつだ なおゆき</small>				

講義のねらい

昨年度の「日本文化研究IB（松田）」で概説した演劇・芸能の中から受講者の興味関心に応じたテーマを選び、受講者が分担して調査研究した内容を発表する演習形式に近い要素も取り入れながら、より深い理解を目指す。ビデオによる作品研究も行うが、必要に応じて実際の演劇や芸能を授業時間以外に見に行くこともある。演技の実技は行わない（日本文化テーマ研究Gで行う）。

講義の内容・授業スケジュール

「日本文化研究IB（松田）」で触れた主なテーマとしては、（1）演劇におけるリアルとは何か （2）鴻上尚史の演劇 （3）浅草オペラとエノケン （4）宝塚とミュージカル （5）漫才と喜劇 （6）大道芸と見世物 などがある。ほかに受講者の希望があれば、できる限り応じたい。

履修上の留意点

基本的には昨年度の「日本文化研究IB（松田）」の受講者を対象としているので、それを受講していない場合はまずIBから履修していただきたい。初回の授業でガイダンスを行い、履修に関する質問等を受けつける。

成績評価の方法

筆記試験は行わない。学年末の定期試験期間中にレポート提出を求めるが、それまでも授業中で随時、発表や小レポートの提出などを求め、出席状況や授業に参加する姿勢も含めて総合的に判定する。

教科書

「演劇におけるリアルとは何か」を考えるためのテキストとして、平田オリザ「演劇入門」講談社現代新書1422、¥735を使用する。

その他

本年度から開設する科目なので、受講者の様子を見ながら、授業の進め方はその都度柔軟に対応するつもりである。

科目名	日本語文化研究II	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考心政管A234選				
担当者名	萩原 義雄 <small>はぎはら よしお</small>				

講義のねらい

日本語文化研究Iの日本語歴史で取り扱ってきた作品資料には、多くの注釈書類が編纂されてきている。これらの注釈書類に焦点を当ててみることで、作品の有する特徴並びに享受者側の学習教養の度合いを検証していくこととする。例えば、『古今和歌集』には『古今集註』、『伊勢物語』には『和語知願集』、『神風知願正義集』、『伊勢物語惟清抄』など、『源氏物語』には『源氏物語抄』、『河海抄』など、『枕草子』には『春曙抄』、『徒然草』には『徒然草寿命院抄』といった具合に枚挙なき注釈書が存在している。これらの注釈書類を以て、日本語文化研究において国語資料としての位置づけを探ってみることをめざすものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明  
古典作品に於ける「古注釈」研究の領域とは
- 02の講義内容 『万葉集』の注釈書『万葉集略解』『万葉代匠記』
- 03の講義内容 『古事記』の注釈書『古事記伝』
- 04の講義内容 『日本書紀』の注釈書『日本書紀抄』
- 05の講義内容 文献資料の蒐集方法とその取り扱い
- 07の講義内容 字書・辞書、そして参考とすべき専門書の利用とその方法
- 08の講義内容 『伊勢物語』の注釈書『和語知願集』『神風知願正義集』『伊勢物語惟清抄』
- 09の講義内容 『古今和歌集』の注釈書『古今集註』
- 10の講義内容 『枕草子』には『春曙抄』
- 11の講義内容 『源氏物語』の注釈書『源氏物語抄』『河海抄』
- 12の講義内容 文献素材の入手及びデータ入力作業
- 13の講義内容 『和漢朗詠集』の注釈書『和漢朗詠集註』『和漢朗詠集聞書』
- 14の講義内容 『平家物語』の注釈書『平家物語繪抄』
- 15の講義内容 『徒然草』の注釈書『徒然草寿命院抄』
- 16の講義内容 『太平記』の注釈書『太平記賢愚抄』『太平記音義』
- 17の講義内容 『庭訓往来』の注釈書『庭訓往来註』『庭訓往来抄』
- 18の講義内容 難字・異体字の処理及び修飾文字の利用(「今昔文字鏡」等)
- 19の講義内容 図画・図表の処理(データ加工)→機器スキャナーに依る取り込み
- 20の講義内容 注釈書類の引用文献その1 漢詩・漢籍資料
- 21の講義内容 注釈書類の引用文献その2 和歌資料
- 22の講義内容 注釈書類の引用文献その3 和文資料
- 23の講義内容 注釈書類の引用文献その4 記録類資料
- 24の講義内容 注釈書類の引用文献その5 字書・辞書類資料
- 25の講義内容 解説資料の整理記述
- 26の講義内容 資料公開とその注釈語の分析結果報告

履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れてしまった場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。  
※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても応対可能とします。

成績評価の方法

月毎に注釈書取載のことは群から説明語彙を選択し、上記項目を常にふまえた上で、報告書を提出し発表してもらいます。個人が年間分析する上記報告書における私からの質問を受けて、各自それぞれ提出してもらいます。解答の数を最低20としてこの一問一答ずつの提出物を高く評価していきます。  
提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。  
ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。  
また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていただきますので承

## 成績評価の方法

知願います。

## 教科書

URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi> を使用する。

## その他

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。



科目名	日本語文化研究II	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考心政営A234選				
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあさ ようこ</small>				

講義のねらい

相手に効果的に働きかけることのできる「表現力」を身につけることでコミュニケーション能力を高めるレッスン第2弾です。日本語文化研究Iとはちょっと視点を変え、表現する自分自身を主題にした文章、ことばの持つ音感やイメージを生かした表現のレッスンを行ないます。

自己をくぐった表現は強く、また鮮やかなイメージやエピソードは表現に深さや広がりを生むものです。論理だけでなく、感性や想像力も鍛え、強い表現力を支えます。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 オリエンテーション（自分史、俳句に挑戦する）
- 第2回 自分史のサンプルから学ぶ①
- 第3回 自分史のサンプルから学ぶ②
- 第4回 自分史を作る準備（立案・計画・素材集め・書き方のルール）
- 第5回 ブロック方式の構成
- 第6回 自分史年表＋エピソード方式の構成
- 第7回 本文入力①
- 第8回 本文入力②
- 第9回 本文入力③
- 第10回 レイアウト編集
- 第11回 印刷
- 第12回 まとめ
- 第13回 モノ語りーモノを通して自分を表現する
- 第14回 資料集め①
- 第15回 資料集め②
- 第16回 本文入力①
- 第17回 本文入力②
- 第18回 レイアウト編集
- 第19回 俳句をつくる
- 第20回 題材探し
- 第21回 自由に俳句
- 第22回 レイアウト編集
- 第23回 作品公開①（発表会）
- 第24回 作品公開②（発表会）

履修上の留意点

コンピュータを使用します。コンピュータを起動するためにIDが必要です。入学式後のオリエンテーション期間中に行なわれる総合情報センターの説明会に必ず出席して、コンピュータのユーザー登録を行ないIDを取得している人でなければ受講できません。また、第1回目の受講者数が定員を超えている場合は、第2回目の授業時に抽選を行ない、受講者を決定します。

成績評価の方法

出席を重視します。殆ど毎回アクティビティーがあり、それに伴う課題提出があり、それも評価の対象になります。課題提出は、次回の授業時まで、添付ファイルでメールにより提出します。最終プレゼン（発表）の良し悪しも評価され、出席・課題・発表の総合評価です。

教科書

適宜指示します。

参考書等

適宜指示します。

その他

Wordを使って作成していきますので、ある程度の入力レベルを必要とします。無理なく作業できるよう、自習室のパソコンに入っている Type Quick の入力練習ソフトでタッチタイピングに励んでください。

科目名	実務表現	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考法A政営A1234選				
担当者名	萩原 <sup>はぎはら</sup> 義雄 <sup>よしお</sup>				

講義のねらい

広く日本語の特徴についてを学ぶことで、学習者自身が修得してきた国語全般に渉る教養を再度この講義を通して確認していくことにより、自分が気づいていたこと、気づかないでいたことを含めて、自身の教養をより高めていくことを目標に進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明  
書く技術 原稿用紙縦書きの意味
- 02の講義内容 出版社はなぜ400字詰め原稿用紙を用いないのか？
- 03の講義内容 800字の文章は、こうして書く。
- 04の講義内容 原稿用紙7枚半(3000字)の文章の書き方
- 05の講義内容 漢和辞典を繙く
- 07の講義内容 国語辞典を繙く
- 08の講義内容 類語辞典を活用してみよう
- 09の講義内容 話題のエピソードを導入部で使おう
- 10の講義内容 人物はどのように描けるか
- 11の講義内容 自然景物をどう活写するか
- 12の講義内容 時代小説家は何に留意して作品を構築しているのか
- 13の講義内容 推理小説は、種明かしの部分をどこにおいているか
- 14の講義内容 「パロディ」な文章を書いてみよう
- 15の講義内容 絵本を書いてみよう
- 16の講義内容 漫画・アニメにみることば表現を使えるか
- 17の講義内容 手書き文字はどうすれば巧く書けるようになるのか？そのコツ
- 18の講義内容 詩や短歌を用いてことば遊び(回文・逆さことば・しりとり等)を学ぼう
- 19の講義内容 かな文字だけの文章
- 20の講義内容 ローマ字だけの文章
- 21の講義内容 文法は、グラグラだ！どうすりゃいいの？
- 22の講義内容 文章の修辭法を知ろう
- 23の講義内容 音の響きと弾みから学ぶオノマトペアの活用法
- 24の講義内容 生活に根ざした方言で書く文章
- 25の講義内容 句読点はどう用いてきたか
- 26の講義内容 言語生活からみた新聞論評・コラム
- 27の講義内容 愈々、独り立ち！個性ある書き手をめざそう。

履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れていたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても応対可能とします。

成績評価の方法

週毎に上記項目を常にふまえた上で、提出作文を書いてももらいます。個人が年間提出する上記作文は添削を受けながら再度提出を求めていきます。その仕上がり度合いを許に評価を五段階にして提示します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていきますのでご承知願います。

教科書

URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi> を使用する。

そ の 他

情報機器及び文書編集ソフト「一太郎2007」を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

科目名	実務表現	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考法A政営A1234選				
担当者名	湯浅 陽子 <small>ゆあさ ようこ</small>				

講義のねらい

社会のあらゆる分野で、情報ネットワークの利活用が基盤となる本格的なネット社会を迎えた今日、インターネットおよびパソコン等の情報機器の活用は、企業はもとより個人の社会生活においても不可欠になっています。

こうしたなか、企業実務においては、パソコンソフト等によるビジネス文書の作成能力や業務データの処理・分析能力、さらには情報機器およびこれに繋がるネットワークの利活用による事務能力や情報収集・発信能力が極めて重要な能力として求められています。

特に、ネット社会のビジネスにおいては、電子メールに代表されるように、これまで以上に文字によるコミュニケーションの機会が増え、ビジネス文書の作成能力が要求されることとなりました。

本講義では、文書作成の実習を通して、世の中の動きに即対応できる文書表現力を身につけます。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期：日商PC検定試験3級（日本商工会議所）「文書作成」対応の講義・実習  
ビジネス文書検定試験3級（実務検定協会）対応の講義・実習

後期：日商PC検定試験2級（日本商工会議所）「文書作成」対応の講義・実習  
ビジネス文書検定試験2級（実務検定協会）対応の講義・実習

履修上の留意点

コンピュータを使用します。（ビジネス文書検定試験はコンピュータを使用しない試験ですが、「実務技能」分野の練習に敢えてパソコンを使用します。）

コンピュータを起動するためにIDが必要です。入学式後のオリエンテーション期間中に行なわれる総合情報センターの説明会に必ず出席して、コンピュータのユーザー登録を行ないIDを取得している人でなければ受講できません。また、第1回目の授業で定員を超えた場合は、2回目の授業時に抽選を行ない、履修登録許可書を発行します。

成績評価の方法

出席を重視します。毎回講義のあとに練習問題を課します。その課題の提出は翌週までにメールに添付して提出します。評価は出席点・課題提出点・および授業内試験による総合評価です。

教科書

適宜指示します。

参考書等

適宜指示します。

そ の 他

Wordを使って作成していきますので、ある程度の入力レベルを必要とします。無理なく作業できるよう、自習室のパソコンに入っているType Quickの入力練習ソフトでタッチタイピングに励んでください。

科目名	日本文化テーマ研究A	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考政営A選				
担当者名	佐原 作美 <small>さばら さくみ</small>				

講義のねらい

わが国において、古代から口承によって伝えられて来たいわゆる「伝承文学」を読みながら、古代の日本人における精神世界とその有りようを探っていききたい。あわせてわれわれ現代人との関連性の上からも見ていききたい。

講義の内容・授業スケジュール

古くから人々の間によく知られている「国産み神話」や「羽衣伝説」をはじめ、その他の古伝承を『古事記』や『万葉集』や『風土記』の中から選び出し、読解と鑑賞をもとに上記の点について考察していく。

履修上の留意点

素朴な気持と自分の感性を大切にすることを心掛けてほしい。

成績評価の方法

折々の提出物や試験や出席などをもって総合的に評価する。

教科書

プリントの配布をもって行う。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	日本文化テーマ研究A	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考政営A選				
担当者名	鈴木 裕子 <small>すずき ひろこ</small>				

講義のねらい

—日本古典文学と〈異界〉……神話や伝説を読む—  
古代の文学作品や歴史書、地誌などを取り上げて、古代の人々が〈異界〉をどのように考え、語っているかを解読する。実際に原文に触れて古典を読む楽しさを体験して欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

どのような人が〈異界〉から訪れ、あるいは〈異界〉への旅をしたか、『古事記』や『日本書紀』、『風土記』などの神話や『万葉集』に歌われている伝説を読み解きながら、古代の人々の死生観について考える。

履修上の留意点

授業は主としてプリント教材を用いての講義形式であるが、頻繁に小作文などの課題を出題する。

成績評価の方法

期末に行うレポート試験（日時・論題等は授業時に提示）・授業態度（欠席・遅刻をしないことは前提）・課題などから総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書

プリント教材。

参考書等

参考書は、授業中に指示する。

科目名	日本文化テーマ研究 B	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A 選				
担当者名	佐原 作美 <small>さばら さくみ</small>				

講義のねらい

奈良時代の社会と当時の人々の生活と行動を描いて成る、わが国最初の仏教説話集である『日本霊異記』をもとに、古代社会の底辺に生きた人々は何を求め、何を願っていたか、また、その願いは何に向けられていたかなど、その心のありようを諸仏への信仰を中心とする説話から探っていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、作中に見られる観音や弥勒や薬師などの諸仏への信仰のほか、行動としての善悪のありようなどを見せる説話を選んで読んでいく。また、『今昔物語集』など後世の作品との関連性も考えていきたい。

履修上の留意点

文学は味読することが大切なので、何度も繰り返して読んでほしい。

成績評価の方法

折々の提出物や試験や出席などを見て総合的に評価する。

教科書

当面はプリントの配布をもって行う。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	日本文化テーマ研究 B	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A 選				
担当者名	鈴木 裕子 <small>すずき ひろこ</small>				

講義のねらい

一日本古典文学と〈あづま・みちのく〉……物語や説話を読む—  
古代から中世の文学作品を取り上げて、平安京という都市空間を生きた古代の人々における〈あづま・みちのく〉の意味を考える。実際に原文に触れて古典を読む楽しさを体験して欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

『万葉集』におさめられている東国の歌や『伊勢物語』、『大和物語』などの歌物語、『更級日記』、『宇治拾遺物語』などの文学作品の一節を読みながらどのように〈あづま・みちのく〉という地域が古代の人々に把握されてきたかを読み取り、併せて作品に内在する問題について考えてみたい。

履修上の留意点

授業は主としてプリント教材を用いての講義形式であるが、頻繁に小作文などの課題を出題する。

成績評価の方法

期末に行うレポート試験（日時・論題等は授業時に提示）・授業態度（欠席・遅刻をしないことは前提）・課題などから総合的に行う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書

プリント教材。

参考書等

参考書は、授業中に指示する。

科目名	日本文化テーマ研究C	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考政営A選				
担当者名	さかぐち ひろき 坂口 博規				

講義のねらい

日本文化の一つとして、昔話・民譚と称される伝承がある。本年度はその伝承の中でも「異類怪婚譚」の諸相について考える。異類とは人間と類を異にする鳥獣・魚虫・植物のことで、この異類が人間の男や女に変身して人間と結婚するという伝承であり、特に異類房譚を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

異類女房譚は、その異類の郷土を基礎として大きく三つの系統があり、A「空」を郷土とする羽衣伝説の例、B「海」を郷土とする浦島伝説の例、C「陸地（森林・山野）」を郷土とする狐女房伝説の例などである。半期科目なので、今年度は羽衣伝説を中心に考察する。まず異類怪婚譚について解説（1）、次いで日本の古代の伝承から講じてゆく（2～6）。平安時代成立の『竹取物語』も羽衣伝説の系譜に立つ物語であり、また「鶴の恩返し」で有名な鶴女房の話もA系統に属する伝承であり、これらについても考察する（7～11）。更にB・Cの系統についても言及したい（12・13）。

履修上の留意点

異類怪婚譚は室町時代物語草子（御伽草子）の中に多く登場し、その考察は「テーマ研究II I・日本文化テーマ研究D」で行うので、併せて履修して下さい。なお本時の内容は、平成18年度「日本文化基礎」で行ったものであり、昨年「日本文化基礎」を履修した受講生も「日本文化テーマ研究D」を履修していただくと幸いです。

成績評価の方法

授業の最終日に提出してもらったレポートの成績に、出席状況を加味して評価する。

教科書

授業において適宜プリント教材を配布する。

参考書等

授業において適宜紹介する。

科目名	日本文化テーマ研究C	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考政営A選				
担当者名	そのべ みさお 菌部 幹生				

講義のねらい

日本文化における事項のうちから、「失われた文化」をテーマとする。日本文学の中で現存しない作品は多いが、そのうち、説話文学史上に多大の影響を与えた（散佚）『宇治大納言物語』をとりあげる。諸書に紹介される記事や引用されて残る佚文を読み、その実態を探る試みを通して、失われた文化の持っていた意味や役割を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

1 ガイダンス。2 作品の文学史的意義。3～6 他文献の記事。7～10 他文献の受容。11 実態と散佚に関する推定。12 教場試験。13 まとめ。

履修上の留意点

毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見書の提出を求めないので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

出席点20点、毎時間の意見文30点、教場試験50点の割合で評価する。定期試験期間中の試験は行わない。なお、最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達（該当者・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

必要があればそのつど紹介する。

科目名	日本文化テーマ研究D	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考政営A選				
担当者名	坂口 博規				

講義のねらい

室町時代物語草子（御伽草子）群には「異類怪婚物語（人間と人間以外の鳥獣・魚虫・植物等の変身した者との不思議な結婚の物語）」が多く存在する。それらの作品を取り上げ考察すると共に、受講生にはそうした作品から希望する作品を各自選んでもらい、研究レポートを作成してもらおう。

講義の内容・授業スケジュール

室町時代物語草子のうち、江戸時代に23篇の作品が「御伽草子」と題して出版された。その中から異類怪婚物語を取り上げて解説する。まず古典文学における物語史を講じて室町時代物語草子の文学的意義を考察（1～5）、更に23篇の中より異類怪婚物語として『浦島太郎』（6～8）・『本幡狐』（9・10）を取り上げて読解する。折々にレポート作成の指導をするが、最後に「御伽草子」23篇以外の『雁の草子』を例に作品研究の実際を学んでもらう（11～13）。

履修上の留意点

「異類怪婚物語」については、「羽衣伝説」を中心に「テーマ研究III・日本文化テーマ研究C」で講義し、室町時代物語草子の作品例として『鶴の草子』を解説するので、こちらも受講してくれると幸いである。

成績評価の方法

授業の最終日に提出してもらったレポートは原稿用紙10～20枚程度（400字詰）を考えている。その成績に、出席状況を加味して評価する。

教科書

授業時にプリント教材を配布する。

参考書等

授業時に、レポート作成のための文献等の紹介をする。

科目名	日本文化テーマ研究D	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考政営A選				
担当者名	蘭部 幹生				

講義のねらい

日本文化における事項のうちから、「歌徳説話」をテーマとする。「徳」は「得」を意味し、「歌徳説話」とは歌を詠むことによって得をした話であるが、そのような話がどのようにして形成されていったのか、精神的背景にどのようなことがあるのかを顕かにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1 歌徳説話の意味。2 典型的な歌徳説話について。3～5 歌徳説話の形成。6～7 歌徳説話の精神的背景。8～11 垂流の歌徳説話。12 教場試験。13 まとめ。

履修上の留意点

毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めするので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

出席点20点、毎時間の意見文30点、教場試験50点の割合で評価する。定期試験期間中の試験は行わない。なお、最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達（該当者・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

必要があればそのつど紹介する。

科目名	日本文化テーマ研究 E	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考政管 A 選				
担当者名	いしわり とおる 石割 透				

## 講義のねらい

スポーツと文化・権力ー例えば<ボクシング>を例として。  
 スポーツは現在多くの人に、実際にプレーしたり、見ることを通して親しまれている。しかし、時代を超越して存在しているようなスポーツにも、権力や文化と深く介在し、時代状況と深く関係している。この授業ではスポーツを、文学・映画・テレビ映像がいかに表象されてきたかを検討し、そうした問題を考えていこうと思います。

## 講義の内容・授業スケジュール

具体的には、昭和三十年代に日本でブームともなったボクシングは、それまでいかに表象され、時代・権力と関わってきたかを考えていきます。昭和三十年に<太陽族>という流行語を生み出した石原慎太郎「太陽の季節」から、三島由紀夫、大江健三郎らの文学作品、日活アクション映画、60年安保条約からベトナム戦争に関わるテレビ・ニュース映像、などから高森・ちばの「あしたのジョー」までを実際のボクシングの試合も絡めて、検討していきます。

## 履修上の留意点

スポーツを愉しんだり、見たりする際にも、そのスポーツの歩くできた歴史を一応考えてのぞむ。授業時に扱かう作品などを、読んだり見たりして授業にのぞむこと。

## 成績評価の方法

スポーツが芸術作品にいかに表象され、それがいかなる意味をもっているのか、などについて、レポートを提出すること。出席状況を重視して、成績評価に加味する。

## 教科書

特に指定しない。

## 参考書等

授業時に指示する。

## その他

講義形式で授業を進行させる。プリントなど、必要に応じて配布する。



科目名	日本文化テーマ研究 E	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A 選				
担当者名	こばやし おさむ 小林 治				

講義のねらい

宮澤賢治の生前未発表童話を読む。賢治が書いた散文作品は、童話としては難解すぎ、またその法華経文学としての宗教性からも、児童文学としては適当ではないのではないかなど様々な議論がこれまであった。しかし賢治童話は、たとえ難解ではあったとしても、「純真な心意の所有者たち」（『注文の多い料理店』広告文）へ与えられるべき「すきとほつたほんたうのたべもの」（『注文の多い料理店』序）であることを願って書かれていることに異を唱える者はないだろう。「卑怯な成人たちに畢竟不可解な」（『注文の多い料理店』広告文）「純真な心意」とは何かを賢治作品の読解を通じて考え、そのような物語を求める賢治の精神のありようについて考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には上記のテーマ等の考察を、『なめとこ山の熊』、『セロ弾きのゴーシュ』などの短編や、『ポラーノの広場』、『風の又三郎』など比較的長い生前未発表作品の初期形から最終形までの生成の過程の中にもみていく予定。

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大きいなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

教科書

宮澤賢治『宮澤賢治全集第7巻』（ちくま文庫）  
その他、適宜プリントも配布する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	日本文化テーマ研究 F	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考政営A1234選				
担当者名	いしわり とおる 石割 透				

講義のねらい

日本近代美術に描かれてきた女性  
 絵画の世界では、江戸時代においては、女性は美人画の分野でもっぱら扱われてきたようであるが、近代の西洋画の流入に伴ない、さまざまな女性の姿が描かれるようになった。その意味を時代の流れに即して検討していく。

講義の内容・  
授業スケジュール

近代に至り写真にも刺激されて出現する肖像画、裸体画、農婦など働く婦人、家庭における婦人など、生活の中での女性が描かれていく。その画題の移り行きを、文学作品などを絡めあわせ、その意味を検討していきたい。それは、社会における女性の地位と関わることになると思う。

履修上の留意点

美術館の展示会に足を運んだり、美術の書物によって、明治期・大正期の絵画に注目しておくこと。

成績評価の方法

1、2回のレポート提出による。出席状況を重視する。

教科書

特に定めない。

参考書等

授業時に指示する。

その他

講義形式で進める。プリントを必要に応じて配布する。

科目名	日本文化テーマ研究 F	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考政営 A 選				
担当者名	こはやし おさむ 小林 治				

講義のねらい

異貌の作家・深沢七郎の小説を精読する。深沢は、昭和三十一年（1956年）、四十二歳で総合誌「中央公論」に創設されたばかりの「中央公論新人賞」に応募し、第一回の入賞者となって作家デビューを果たしている。それ以前は、戦前からギターのリサイタルを継続的に開いたり、旅まわりのバンドにいたり、日劇ミュージックホールにスカウトされて出演したりなど一風変わった風来坊的な生活を送っていた。このような書齋で思考する知識人作家的なタイプとは無縁の、文学同人やサークルからも孤立したその来歴からもうかがえるように、その作品においては、およそ日本の近代文学の正統からはずれて、ヒューマンイズムの規範による人間中心主義的な価値観を徹底して排除したすこぶる実存的な土着の庶民的世界が展開している。既成の価値観をあざ笑うかの如きその突出したアンチヒューマンイズムぶりをその作品世界において、検証してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には上記の深沢の作家としての特徴を、『楢山節考』、『笛吹川』『甲州子守歌』などの代表的作品の読解によって明らかにしていきたい。

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大いなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

教科書

深沢七郎『楢山節考』（新潮文庫）  
その他、適宜プリントも配布する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	日本文化テーマ研究G	開講	夏季集中	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考政営A選				
担当者名	まつだ なおゆき 松田 直行				

講義のねらい

「演劇ワークショップ」の実技体験を行う夏季集中授業。これは即興演技の訓練法から生まれたもので、コミュニケーションに関する様々な要素（表情と体の動き、話し方、感情表現、グループの人間関係など）を体験的に学ぶとともに、状況に応じて臨機応変に対処する「インプロ」の技術を身につけることを目的とする。台本を使って演技をする演劇の訓練とは異なり、誰にでも簡単にできる「シアターゲーム」と呼ばれる体を動かすゲームをグループごとに繰り返しながら、最終的には台本も打合わせもなしでストーリーを生み出すことを目指す。人間関係を学ぶとともに、本番に実力を発揮する能力を身につけるものとして、企業の社員研修などでも取り入れられているものである。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 基本講義：ワークショップとは何か？ (2) 講義：心と体はつながっている  
(3) 実技：シアターゲーム (4) 実技：インプロの練習 (5) 実技：インプロのグループ発表 (6) まとめとレポート試験

履修上の留意点

集中授業なので基本的に4日間全ての出席を必要とする。軽い運動をすることができる動きやすい服装（靴はスニーカーなど）で出席すること。演劇の実習ではないので、演技の経験はまったく必要としない。むしろ人前で自分を表現することが苦手な方にこそ受講していただきたい。ただしグループでの練習に積極的に参加する協力的な姿勢は必要となる。

成績評価の方法

授業への参加状況、「インプロ」のグループ発表の結果、および最終日に教場で書いていたぐりレポート試験の結果を総合して算出する。

教科書

指定しない。

参考書等

絹川友梨『インプロゲームー身体表現の即興ワークショップ』、晩成書房、3,150円。池上奈生美・秋山桃里『インプロであなたも「本番に強い人」になれる』、フォレスト出版、1,365円。

その他

授業日程：7月31日の2～4限と、8月1日～8月3日の2～5限。合計4日間の15時限授業。予備日は8月6日の2～5限。

科目名	日本文化テーマ研究H	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考政管A選				
担当者名	まつだ なおゆき 松田 直行				

講義のねらい

講義タイトルは「映画の近代史」。19世紀末の発明である映画は、20世紀を「映像の世紀」と言わしめるほど近代という時代と深くかかわってきた。いま、映画というメディアが近代において果たした役割を歴史的に振り返り、映画とはどのような表現なのかをあらためて考える。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 映画とは何か (2) 映画の技術と歴史 (3) 映画の文法 (4) 映画の記号論  
(5) 日本のモダニズム映画 (6) シナリオの構造

履修上の留意点

実際に映像作品を授業で見させていただくことになるので、欠席すると内容がわからなくなる。上映予定の作品は、マック・セネットの無声映画、「戦艦ポチョムキン」、「市民ケーン」、「マダムと女房」、「カルメン故郷に帰る」、「東京物語」など。現代のいわゆる娯楽映画作品とは異なるので、その点は承知しておくように。

成績評価の方法

授業で随時小レポートの提出を求めるほか、授業期間中に教科書持込可の筆記試験を行って成績を評価する。試験の日時は授業で伝達する。定期試験期間中ではないので注意すること。

教科書

ジェイムズ・モナコ『映画の教科書—どのように映画を読むか』、フィルムアート社、3,675円。

科目名	社会学【2〔現代社会を考える〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英選				
担当者名	おびよんさん 呉 炳三				

講義のねらい

社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 社会学の基礎概念：

はじめに—社会学とは—(1)

I 行為論：(2) 社会学における行為、(3) 行為者としての個人、(4) 社会化と人間形成、(5) 日本の行為論

II 集団論：(6) 集団の概念、(7) 官僚制理論、(8) 小集団論、(9) 集団の類型、(10) 日本の集団論

(後期) 現代社会の特徴的な諸相：

(11) 家族、(12) 恋愛、(13) 結婚、(14) 若者・IT文化、(15) 少年犯罪、(16) 自殺、

(17) ジェンダー、(18) 少子・高齢、(19) アダルトチルドレン、摂食障害、

(20) 就職、転職、リストラ、(21) フリーター、ニート、引きこもり、(22) 性同一性障害など

以上、講義の予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。

履修上の留意点

本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、その答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業中は指定の教科書や辞書を必ず持参することと、宿題を出すので、宿題をきちんと提出することの出来る学生が受講することを勧める。

成績評価の方法

出席状況と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

科目名	社会学【6〔社会生活を考える〕】	開講	通年	単位	4
配当	地文環境歴史外考社福心選				
担当者名	おひょうさん 呉 炳三				

講義のねらい

社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 社会学の基礎概念：

はじめに—社会学とは— (1)

I 行為論：(2) 社会学における行為、(3) 行為者としての個人、(4) 社会化と人間形成、(5) 日本的行為論

II 集団論：(6) 集団の概念、(7) 官僚制理論、(8) 小集団論、(9) 集団の類型、(10) 日本的集団論

(後期) 現代社会の特徴的な諸相：

(11) 家族、(12) 恋愛、(13) 結婚、(14) 若者・IT文化、(15) 少年犯罪、(16) 自殺、

(17) ジェンダー、(18) 少子・高齢、(19) アダルトチルドレン、摂食障害、

(20) 就職、転職、リストラ、(21) フリーター、ニート、引きこもり、(22) 性同一性障害など

以上、講義の予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。

履修上の留意点

本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、その答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業中は指定の教科書や辞書を必ず持参すること、宿題を出すので、宿題をきちんと提出することの出来る学生が受講することを勧める。

成績評価の方法

出席状況と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

科目名	統計学【2〔社会現象の統計的決定〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A選				
担当者名	<small>しんきまうち こうじ</small> 新行内 康慈				

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 統計学の概要 (2) 度数分布表とヒストグラム (3) 基本統計量  
 (4) 確率の定義 (5) 場合の数 (6) 和事象・積事象の確率  
 (7) 演習 (8) 確率変数と確率分布 (9) 平均・分散と期待値  
 (10) 確率変数の標準化 (11) 正規分布表 (12) 演習 (13) まとめ  
 (後期) (14) 母集団と標本 (15) 点推定と区間推定 (16) 母平均・母分散の推定  
 (17) 仮説検定 (18) 母平均・母分散の検定 (19) 母平均の差の推定・検定  
 (20) 母比率の推定・検定 (21) その他の推定・検定 (22) 演習  
 (23) 散布図と相関係数 (24) 回帰分析 (25) 回帰分析の応用 (26) まとめ

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

3回の演習と期末試験を総合的に評価します。

教科書

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

参考書等

石村貞夫『すぐわかる統計解析』東京図書  
 前野昌弘・三國彰『図解でわかる統計解析』日本実業出版  
 永田靖『入門 統計解析法』日科技連出版  
 東京大学教養学部統計学教室『統計学入門』東京大学出版

その他

配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするために課題演習を実施します。



科目名	文化人類学【6〔社会変化と価値観〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境選				
担当者名	小川 <sup>おがわ としゆき</sup> 順敬				

社会分野

講義のねらい

文化人類学（以下、人類学）とは様々な民族の社会や文化を対象とし、人間のもっている「文化」をトータルに考察しようとする学問です。人類に多様な文化を対象とする人類学の方法の特徴は比較研究にあります。単に文化の違いを明らかにしようとするだけではなく、比較を通してその差異と共通性について考え、文化とは何か、人間とは何かを考えようとしています。

人類学の研究対象領域は広範で、研究方法も多岐にわたります。この講義では「社会変化と価値観」というテーマにそって文化人類学の基本的な考え方、研究方法等を解説にすることにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

人類学の調査対象である「異文化社会」とは多くの場合、非西欧世界の伝統社会を意味しています。それらの社会は15、6世紀の大航海時代以降「発見」され、以降はげしい近代化、社会変化・文化変化の波に洗われてきました。人類学は「西欧文化」との接触によって変容しつつある社会を調査し続けてきたのです。伝統的政治組織の変容や解体、近代の科学技術や、新たな経済システムの導入、新しい宗教、新たな価値観が伝統社会にもたらした変化はどのようなものだったのでしょうか。この講義では、人類学が取り上げてきた様々なテーマを、社会変化、文化変容という角度から紹介していきたいと思います。

成績評価の方法

評価は原則として、年2、3回の「小レポート試験」と年度末の筆記試験により行います。なお小レポートとは別に、夏期休暇前に「夏期レポート」課題を出しますが、提出は受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書560番 中央公論社）

参考書等

講義の内容に関連する参考文献は適宜紹介します。

科目名	文化人類学【8〔社会変化と価値観〕】	開講	通年	単位	4
配当	歴日外考社福心選				
担当者名	内山 <sup>うらやま あきこ</sup> 明子				

講義のねらい

グローバル化により日本でも様々な文化をもつ人々の日常生活空間の共有化が進展しています。しかし、大方の日本人は、多文化状況を消費を介して積極的に受け入れる一方、多様な隣人たちの多様な声には耳を傾けず、実態に目を向けることもほとんどありません。最近では、「我々か、彼らか」という単純な二者択一で人々を分類し、「他者」の脅威をおおることで「我々」の結束を高める傾向が強まり、異なる考えをもつ他者と向き合い、対話を積み重ねる努力をすることで合意点を探り、自己／他者理解を深化させることを軽視する風潮すら見出せます。

このような時代に地に足をつけて自分で考えるための一つの足がかりとして、微細であまいな日常生活のなにげない世界を大切にしながら他者と向き合う学問である文化人類学の基礎知識を提供していきたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

基本的な理論と方法（・文化人類学の主要な流れ・未開と文明・フィールドワークと民族誌・文化相対主義など）、主要な研究分野と成果（・ジェンダー、家族、親族・交換と経済・リーダーシップと政治・世界観と宗教など）、現代社会と文化人類学（・民族、人種、国家、マイノリティ・ファンダメンタリズムなど）を主要な柱とし、各々で「社会変化と価値観」というテーマに言及しながら授業を行う予定です。

履修上の留意点

講義は板書を中心に進め、随時プリントを配布します。教科書は指定しないので、各自ノート作成を工夫してください。

成績評価の方法

年度末の筆記試験を80%、夏休みの課題レポートを20%で評価します。

教科書

教科書は使用しません。

科目名	法学・憲法【1〔法と社会生活〕】	開講	通年	単位	4
配当	国英選				
担当者名	長谷川 <sup>はせがわ ひでよ</sup> 日出世				

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかわりあいを検討する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の習得を目指す。具体的には法と道德の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に、日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科目名	法学・憲法【3〔法と社会生活〕】	開講	通年	単位	4
配当	国英選				
担当者名	沼田 雅之 <small>ぬまた まさゆき</small>				

講義のねらい

この講義のねらいは、今の社会を「法」という道具を通して見る訓練をおこなうことにあります。ですから、本講義以前に私がみなさんに求める能力は、今の時代の「風」を敏感に感じとることができる能力です。それには「想像力」が大切です。それまでに培ってきた「教養」をフルに活用してもらいたいと思います。

法は、「黒」か「白」かの区別をつける作業であるという側面は否定しがたいですが、社会の高度な発展にともなって、「黒」と「白」の隙間をどのように考えるかがとても大切な作業になっていきます。ですから、決して単純な学問ではないことは、覚悟しておいてください。

そうはいつても、決して難解なばかりの学問ではありませんから、気楽な気持ちで受講していただきたいと思います。

取り上げるテーマは、「法と社会生活」とあるように、できるだけ生活に密着した問題を取り上げたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

法学に関する下記の各テーマに沿って、判例（判決）を中心に解説をおこないます。スケジュールは執筆時点で下記のようなものを考えていますが、適宜変更がありうるので注意してください。

（前期）

1. ガイダンス
  2. 法における自由・平等
  - 3～4. 憲法の役割
  - 5～6. 新しい人権
  - 7～8. 契約の自由とその規制
  - 9～10. 診療契約と自己決定
  - 11～12. 消費者の保護
- などを予定しています。

なお、下記の「その他」の欄も参照してください。

（後期）

13. 財産と法
- 14～16. 刑事法の諸原則
- 17～18. 司法制度改革と裁判員制度
19. 家庭生活と法
20. 労働と法
21. 社会保障と法

履修上の留意点

注意点は特にありませんが、感想・要望、また法学を履修する上での疑問点など、みなさんの意見には率直に耳を傾けますので、講義中、講義終了後を問わず、積極的に意見を言っていたいただきたいと思います。

成績評価の方法

基本的に前期試験と後期試験の得点で評価し、補助的に平常点として出席などを考慮いたします。前期試験と後期試験の評価割合は1：1です。平常点は前期試験と後期試験の合計得点に加点いたします（ただし、前期試験と後期試験の得点の合計と平常点の加点得点の合計が100点を超えた場合には、100点を限度として平常点を加点いたします）。詳しくは、第1回目の講義時に説明いたします。

教科書

テキストは指定いたしません。担当教員が作成したプリント教材を用います。開講当初は印刷したプリントを配布いたしますが、その後はホームページから各自でダウンロードしてもらいます（データはPDF形式で配布予定です）。詳細は、第1回講義時に説明いたしますので、不明な点はその際に質問してください。

参考書等

第1回目の講義時に説明するとともに、講義中にも適宜指示いたします。

その他

また、講義に連動して、ホームページを運用します。プリントのダウンロードサービスなどを実施する予定です。URL等は、第1回目の講義時にお知らせします。

第1回講義時に、大学配布のものとは異なるシラバスを配布します（取り上げるテーマなどが、ここで記載されたものと異なる場合があります）。それを熟読の上、履修を決定してください。

科目名	法学・憲法【4〔法と社会生活〕】	開講	通年	単位	4
配当	地文環境歴史外考選				
担当者名	鶏徳 啓登				

講義のねらい

よく「社会あるところ法あり」といわれる。その社会にある法とは何かを研究するのが法学であり、根本的理念、法の目的などを研究する。また、憲法は国家の基本法として他の法令の根幹をなすものであり非常に重要な法である。そして、憲法制定後50年経過した現代に至って国外的、国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。本講義は、これら諸問題を法的に把握し、結論を出し得るようになることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

法学の講義は次の内容を中心として行う。  
 (1) 社会生活と法 (2) 法の意義・効力 (3) 法規範と他の社会規範との差異  
 (4) 法の分類と解釈の方法 (5) 市民法の概論 (6) 刑事法の概論  
 (7) 法と裁判

憲法の講義は、次の内容を中心として行う。  
 (1) 憲法の意義 (2) 憲法の種類 (3) 明治憲法の原則と特質  
 (4) 現憲法の原則 基本的人権の主体 (5) 基本的人権の分類  
 (6) 各種基本的人権の内容  
 (7) 国会の仕組みとその作用 行政機関の仕組みとその作用  
 (8) 裁判所の仕組みとその作用 (9) 地方自治

成績評価の方法

出席状況と試験による。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種）及び参考書は教場にて説明致します。

科目名	法学・憲法【11〔法と権利〕】	開講	通年	単位	4
担当	社福心政選				
担当者名	茂野 <small>しげの たかはる</small> 隆晴				

講義のねらい

年間の授業は、前期においては、「法」というものが、いかなるものであり、いかなる特徴をもつものであるかを、教科書に掲載の事例・判例などの資料を用いて成るべく平易な説明をなすことによって進めていきたい。進むにつれて、法を学ぶ面白さが感じられるようになればと思う。

後期においては、主に憲法典の条文に則して、その基礎的な知識を学んでいけるように、やはり平易な授業ということに留意して進める。その際、日に生起する具体的事件などを取り上げるなどによっても憲法が身近に感じられるようにつとめたい。

さらには、現代社会のなかに未だ色濃く残存する封建法意識であるが、そうした観点から、かつての「家」制度についても触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期

4・5月

- 法とは何か
- 法の種類
- 法源
- 法の生成（日本法の歴史）
- 法と裁判の基礎知識
- 国家の基礎知識

6・7月

- 民法と商法の考え方
- 裁判法、刑法、社会法の考え方

後期

9・10月

- 憲法とその原理について
- 基本的人権の保障

11・12月

- 統治機構について
- 年間のまとめと「家」制度について

履修上の留意点

資料ならびに条文に則して行うことの多い授業ですので、テキスト、六法は毎時間必ず持参のこと。また、授業時の私語は厳禁ゆえ、守れない者には、直接、指摘することになろう。

成績評価の方法

年間1度の定期試験の評点に出席点を加味し評価する。

教科書

山口嘉三、大久保治男編『法学要説』（芦書房刊）2,800円

参考書等

小型の六法、そのほかは、ばあいにより参考資料を配布する。

その他

授業の方法は講義です。

科目名	法学・憲法【12【法と権利】】	開講	夏季集中	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現政営A放選				
担当者名	池田 実 <small>いけだ みのる</small>				

講義のねらい

家庭生活、社会生活、政治参加、経済活動など、私たちの日常が「法」とどのようにかわり、規制されているかを考察し、それが最終的に日本国憲法に定めるとどのような原理・精神に結びついているかを明らかにします。  
政治の法である憲法にかかわる問題には、“唯一絶対の正解”というものがほとんどありません。すっきり明瞭で断定的な解答を求めるのではなく、現代国家の病理やその複雑さに悩みながら、政治生活のあるべき姿をじっくり考えるきっかけにいただければ、と思います。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 授業案内・導入 (2) 法とは何か(その1) (3) 法とは何か(その2)  
(4) 法とは何か(その3) (5) 法とは何か(その4) (6) 憲法の基本概念  
(7) 日本国憲法の沿革 (8) 国会(その1) (9) 国会(その2) (10) 選挙・政党  
(11) 内閣(その1) (12) 内閣(その2) (13) 天皇 (14) 地方自治 (15) 財政  
(16) 戦争の放棄(その1) (17) 戦争の放棄(その2) (18) 人権総論(その1)  
(19) 人権総論(その2) (20) 精神的自由権(その1) (21) 精神的自由権(その2)  
(22) 経済的自由権 (23) 身体的自由権 (24) 受益権 (25) 社会権(その1)  
(26) 社会権(その2) (27) 包括的人権 (28) 裁判所(その1) (29) 裁判所(その2)  
(30) 憲法改正

成績評価の方法

出席および授業時間内に提出するレポート類により総合的に評価します。

教科書

野畑健太郎・池田実編著『テキストブック日本国憲法』(嵯峨野書院) 2,700円+税  
ISBN 4-7823-0424-2

その他

授業日程：7月31～8月3日・6日・7日、1～5時限

科目名	政治学【1〔社会生活とデモクラシー〕】	開講	通年	単位	4
配当	国英地文環境法A選				
担当者名	しらとり ひろし 白鳥 浩				

講義のねらい

「政治」とは何でしょうか。この講義においては、「政治」とは、「未来の選択である」とする視座に立ち、政治学の全体像を学んでもらいます。これは、しばしば「可能性のアート」であるといわれるゆえんでもあります。そうした「未来の選択」、「可能性のアート」を扱う学問である「政治学」とは何か、どのように発展してきたのかを、皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容を初めてのひとにもわかるように講義します。

- (1) 序論 政治学の基礎概念
- (2) 古代の政治理論
- (3) 中世の政治理論
- (4) 近代政治理論の形成
- (5) 近代批判の政治理論
- (6) 現代の政治理論
- (7) 国際政治の理論
- (8) 現代の政治過程理論
- (9) ワールド・ポリティカル・サイエンスの形成
- (10) 現代日本の政治分析

履修上の留意点

関心を持って、講義に出席してください。

成績評価の方法

試験を中心とするが、総合的に判断する。

教科書

白鳥『都市対地方の政治学：日本政治の構造変動』（芦書房）2004年

参考書等

眞柄・井戸『比較政治学』（放送大学教育振興会）2004年  
藤原『西洋政治理論史』（早瀬田大学出版部）1985年  
授業内で適宜、指示します。

科目名	政治学【2〔政治システムと政治参加〕】	開講	通年	単位	4
配当	歴日外考社福心営A選				
担当者名	とみさき たかし 富崎 隆				

## 講義のねらい

「2001年9月11日、世界が変わった」と表現されることがあります。そして、米同時多発テロを境に、「ポスト冷戦」が終了し、「新しい時代」に入ったと議論されています。しかし、世界政治の方向性がはっきりとした訳ではありません。一方、世界の急速なグローバル化と情報化を背景に、膨大な情報が、テレビ、ラジオ、新聞、コンピュータ・ネットワークを通じ流通するようになってきました。しかし、これらの情報を単に漫然と受け取っているだけでは、毎日起る事件の本当の意味は理解できません。事件や出来事を整理する「体系的視点」がどうしても必要となります。政治学を学ぶ基本的な意義もここにあります。

本講義では、政治学が蓄積してきた視点を、最新の成果を含めた形で、かなり網羅的に、かつ現実政治との連関を失わないように検討し、受講生が日々の政治的事件に対し自分の見解をもつための土台を提供したいと思います。講義は、大きく「マクロ政治学」、「ミクロ政治学」、「国際政治学」3部に分かれます。(内容は、初回講義時に説明)

講義全体として、特に現代における「国家」と「民主主義」の意義と役割、その動態について明らかにし、考えてもらうことを中心テーマとしていきたいと思っています。さらに、今日の対テロ問題とグローバル化・情報化が現代政治(と政治学)にどのように影響を与えるかについても検討していきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I マクロ政治学
  - 国家と自由民主主義体制の枠組み -
- II ミクロ政治学
  - 自由民主主義体制の作動メカニズム -
- III 国際政治学
  - 戦争と平和の分析 -

## 成績評価の方法

テスト及びレポート・出席など総合的に評価

## 教科書

青木・大谷・中邨編  
『国家のゆくえ－21世紀世界の座標軸－』  
(芦書房、2001年)

## 参考書等

適時指示



科目名	経済学【2〔現代経済と人間〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英運				
担当者名	もりた せいや 森田 成也				

講義のねらい

人間の社会はきわめて複雑な構造をなしており、その解明はけっして容易なものではありません。しかし、そうした人間社会の土台となっているのは、人々の実際の生活（およびそれに必要な物やサービス）を生産し再生産する経済的な過程です。したがって、経済学は、人々の生活や仕事にとって最も重要な領域を科学的に解明しようとするものです。経済学はけっして、難しいカタカナ言葉や数式が飛び交う世界だけではありません。労働と生活に密着し、人々がよりよい、より人間らしい生活と労働を展望し、実現していくために必要不可欠なものです。しかしながら、この学問は同時に、自然科学などと違って、経済を論じるその人の立場によって大きく左右されるものでもあります。普通の生活者や働く人々の視線で経済を見ていくことを学びます。

講義ではまず、前期で、社会全体に占める経済の位置、基本的な経済学の基礎理論を学び、資本主義経済の基礎的な運動法則を学びます（多少、後期にくい込む可能性あり）。後期では、それをふまえて実際に日本のいくつかの経済現象を具体的に理論に照らし合わせて検討し、どこまでが一般理論で説明ができ、どこからが特殊な日本的な条件によって説明されるべきなのかを学んでいきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）基礎的な経済理論を学ぶ

- (1) はじめに (2) 社会と経済 (3,4) 商品・貨幣 (5,6,7,8) 資本と剰余価値
- (9) 賃金 (10,11) 資本の蓄積 (12) 利潤と利潤率
- (13) 利子生み資本と株式資本
- (14,15) 独占資本、国家、外国貿易
- (16) 世界市場と帝国主義日本経済の基本構造を学ぶ
- (17,18) 戦前の日本と戦後日本経済の出発 (19,20) 現在の日本の基本形を作り出した高度経済成長 (21,22) 企業社会の形成と日本的働き方の確立 (23) 低成長期以降の企業社会の肥大化 (24) 企業社会と女性
- (25,26) 経済大国日本とバブル経済
- (27,28) 長期不況と構造改革下の日本経済

履修上の留意点

ノートをがんばってとってください。試験にも役立ちます。

成績評価の方法

学年末の試験が中心です

教科書

教科書はとくにありません

参考書等

松石勝彦『現代経済学入門』（青木書店）

科目名	経済学【4〔現代経済理解へのガイド〕】	開講	通年	単位	4
配当	地文環境歴日外考社福心選				
担当者名	佐藤 綾野 <small>さとう あやの</small>				

講義のねらい

本講義の目的は、経済学を初めて履修する学生に経済学の基礎を平易に解説するものです。また本講義終了後には、学生自らが現実の経済現象を「経済学的」に解釈する力を身につけることを狙いとしています。

講義の内容・  
授業スケジュール

経済学は、一般的にミクロ経済学とマクロ経済学の2つの分野に分けられます。本講義では、この2つの分野をバランスよく、また現実の経済現象あるいは経済政策と絡めながら講義を進める予定です。具体的には、前期はマクロ経済学に関するテーマとしてGDP（国内総生産）、国民所得決定、有効需要と乗数メカニズム、貨幣の機能について取り上げます。また後期は、ミクロ経済学に関するテーマ、需要と供給、需要曲線と消費者行動、費用構造と供給行動、市場取引と資源配分について講義します。

履修上の留意点

積極的に講義に参加してください。また極力私語は慎んでください。

成績評価の方法

前期：レポート（レポート課題は前期講義終了時まで指示します）  
後期：筆記テスト

教科書

伊藤元重著『入門 経済学 第2版』（日本評論社）、3000円、ISBN4-535-55244-4

参考書等

適宜指定します。

その他

連絡先 ayano\_sato@econ.nsu.ac.jp

科目名	社会科学論【(社会認識の思想)】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	おおいし ゆうじ 大石 雄爾				

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はようやく「複合不況」とよばれる経済スランプから抜け出しつつあります。しかし、アフリカや一部のアジア諸国の人々は貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も安定的とはいえません。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようとしているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように捉えればよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点を当て、社会的諸関係を把握する方法について講義します。特に、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および理論をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 思考する楽しみ
2. 社会科学とは何か
3. 社会の歴史的発展と社会思想
4. 社会科学の生誕：ホブズとロック
5. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
6. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
7. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
8. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的諸問題について、折に触れてとり上げ解説するつもりです。

履修上の留意点

1年間講義に出席し理解しようと努めることによって、皆さんの思考力、書写能力は高まります。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成していただくことがあります。成績は、小レポートと後期に行なわれる定期試験で評価します。

教科書

特に指定しない。

参考書等

高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）  
平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）  
大石雄爾『ヘーゲル論理学の真相』（白桃書房）

科目名	教育学【〔デス・エデュケーション〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	柳堀 素雅子 <small>やなぎほり すがこ</small>				

講義のねらい

デス・エデュケーションの始まりはベトナム戦争当時のアメリカにある。デス・エデュケーションの1つの流れは戦争で傷ついたベトナム帰還兵の心をどのように癒すかにあった。これは現在のトラウマの問題とその治療につながっていく。デス・エデュケーションのもう1つの流れは、治らない病気、すなわち死にゆく患者との対話の中から生まれた。キューブラー・ロスを中心に、精神科医や宗教者が死にゆく患者との対話を重ねた中から新しい視点が注目されるようになった。死を考えることはやがて死後の世界まで考えることになり、昨今是一種のブームになっているようである。デス・エデュケーションの1の流れと2の流れの両方を取り扱う予定である。アメリカでの取り組みを中心に説明していくが、欧米の文化や思想も合わせて解説していく。幅広い知識と視野をもっていないと、講義の内容はあらゆる方向に拡大していくので理解していくのに労力を要することになるだろう。デス・エデュケーションの欧米での取り組みを紹介すると同時に、日本でのデス・エデュケーションの状況も紹介する。戦争の問題と医療の問題の両方の内容にまたがっているので、両方に興味がある人が履修することが望ましいだろう。

講義の内容・授業スケジュール

- ①デス・エデュケーションの1の流れ②デス・エデュケーションの2の流れ
- ①と②の内容の概略を説明して具体的な内容に入っていく。

履修上の留意点

授業中に絶対に私語をしないようにすること。基本的に遅刻は認めない。出席は毎回とる。授業中に入入りしたり、飲食したりしないこと。

成績評価の方法

レポート提出（内容に点数をつける）。出席回数。その他総合的な視点から評価する

教科書

なし

参考書等

授業中に紹介する

その他

講義に必要な資料はコピーして配布する。

科目名	教育心理【大学生の心理－教育臨床心理学の立場から－】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	いしばし なつや 石橋 達也				

社会分野

講義のねらい

本授業では今日の社会的状況における、大学生を中心とした青年期の心の在り方の特徴や問題点およびその課題について、教育心理学や教育臨床の立場から探っていきます。前期の授業では、生涯発達の見点から青年期の位置づけやその発達課題について学び、現代社会における青年期の延長の様子やアイデンティティの問題などを概観します。続いて後期の授業では、青年期の様々な心の問題について具体的に取り上げ、今日の社会における青年期の問題の特徴やその社会的な背景要因などについて検討していきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

主として、以下に示すテーマに沿って進めていく予定です。

- ・人の生涯と発達区分
- ・青年期とその発達課題
- ・アイデンティティとモラトリアム
- ・現代社会と青年期の延長
- ・青年期の心の問題とその要因
- ・大学生の学業と学生生活
- ・大学生の就職と将来設計
- ・大学生の人間関係と恋愛など。

履修上の留意点

履修する学生には、授業に毎回まじめに出席して意欲的に取り組むことを期待します。

成績評価の方法

成績の評価は期末試験の得点を中心にして、毎回の授業への出席状況や受講態度などの平常点を加味して行ないます。

教科書

使用する教科書については、初回の授業の中で伝える予定です。

参考書等

授業中に必要に応じて、参考文献・関連資料・ビデオ映像などを紹介していきます。

その他

受講学生には「学ぶ意欲」をしっかりと持って、積極的に取り組むことを望みます。

科目名	生物学【1〔生態と進化〕】	開講	通年	単位	4
配当	地文環境歴史日経A経商選				
担当者名	清水 善和				

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後には連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を背負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この多様、複雑な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の「進化」、「多様性」、「遺伝子」を3つのキーワードにして、生物の進化や生態の実際を体系的に紹介するとともに、進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
  - (1) 生命の歴史性 (2) 遺伝子と生命現象 (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
  - (1) 地質年代図 (2) マーグリスの共生説 (3) カンブリアの爆発
  - (4) 生物の上陸 (5) 大量絶滅
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
  - (1) リンネ式分類体系 (2) 生物五界説 (3) 種の定義と属性 (4) 分子時計
  - (5) 動物と植物の系統
- 第4章 行動と進化－生き物は誰がために生きるか
  - (1) 動物行動学の歩み (2) 適応度とゲーム理論 (3) 性選択と性比
  - (4) 利他的行動と血縁淘汰 (5) 利己的遺伝子
- 第5章 生物の人口論－産めよ殖えよ地に満てよ
  - (1) 潜在的な増殖率 (2) 密度効果とr-K淘汰 (3) 食う・食われる関係
  - (4) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
  - (1) 種間関係(共生と寄生) (2) 花と昆虫の共進化 (3) 菌根 (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
  - (1) 霊長類の系統 (2) ヒトの発展段階 (3) ホミニゼーション(ヒト化)
  - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
  - (1) ダーウィン以前 (2) ダーウィン進化論 (3) ネオ・ダーウィニズム
  - (4) 進化論と宗教
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
  - (1) 生態系(エコ・システム) (2) 食物連鎖と生物濃縮 (3) 光合成と呼吸
  - (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
  - (1) 物質循環の大原則 (2) 水の循環 (3) 炭素の循環 (4) 窒素の循環
  - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
  - (1) 遷移のモデル (2) 遷移の実例 (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
  - (1) 3つの多様性 (2) 多様性の尺度 (3) 生物地理区と植生帯
  - (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバリゼーション
  - (1) 里山の生物 (2) 都市化と生物 (3) 帰化種の侵入

成績評価の方法

前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。

教科書

講義内容を記述した「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。受講者は清水のHPより自由にダウンロードして利用できる。

参考書等

「web版教科書」にて章ごとに紹介する。

その他

講義に必要な図表は章ごとに1枚のプリントにして配布する。

科目名	生物学【2〔生態と進化〕】	開講	通年	単位	4
担当	社福心法A政選				
担当者名	清水 善和 <small>しみず よしかず</small>				

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後には連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を背負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この多様、複雑な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の「進化」、「多様性」、「遺伝子」を3つのキーワードにして、生物の進化や生態の実際を体系的に紹介するとともに、進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
  - (1) 生命の歴史性 (2) 遺伝子と生命現象 (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
  - (1) 地質年代図 (2) マーグリスの共生説 (3) カンブリアの爆発
  - (4) 生物の上陸 (5) 大量絶滅
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
  - (1) リンネ式分類体系 (2) 生物五界説 (3) 種の定義と属性 (4) 分子時計
  - (5) 動物と植物の系統
- 第4章 行動と進化－生き物は誰がために生きるか
  - (1) 動物行動学の歩み (2) 適応度とゲーム理論 (3) 性選択と性比
  - (4) 利他的行動と血縁淘汰 (5) 利己的遺伝子
- 第5章 生物の人口論－産めよ殖えよ地に満てよ
  - (1) 潜在的な増殖率 (2) 密度効果とr-K淘汰 (3) 食う・食われる関係
  - (4) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
  - (1) 種間関係(共生と寄生) (2) 花と昆虫の共進化 (3) 菌根 (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
  - (1) 霊長類の系統 (2) ヒトの発段階階 (3) ホミニゼーション(ヒト化)
  - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
  - (1) ダーウィン以前 (2) ダーウィン進化論 (3) ネオ・ダーウィニズム
  - (4) 進化論と宗教
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
  - (1) 生態系(エコ・システム) (2) 食物連鎖と生物濃縮 (3) 光合成と呼吸
  - (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
  - (1) 物質循環の大原則 (2) 水の循環 (3) 炭素の循環 (4) 窒素の循環
  - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
  - (1) 遷移のモデル (2) 遷移の実例 (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
  - (1) 3つの多様性 (2) 多様性の尺度 (3) 生物地理区と植生帯
  - (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバリゼーション
  - (1) 里山の生物 (2) 都市化と生物 (3) 帰化種の侵入

成績評価の方法

前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。

教科書

講義内容を記述した「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。受講者は清水のHPより自由にダウンロードして利用できる。

参考書等

「web版教科書」にて章ごとに紹介する。

その他

講義に必要な図表は章ごとに1枚のプリントにして配布する。

科目名	生物学【3〔生物と環境〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英営A選				
担当者名	なかもら としえ 中村 敏枝				

## 講義のねらい

この地球が誕生したのは46億年の昔といわれる。40億年前にはすでに生命が誕生し、以後それは地球の環境を変えつつ、自らも進化の歴史を歩みながら現在に至った。この長い歴史の中で、種の構成は変わり、あるものは絶滅してしまったけれど、現存する生物は40億年の間、生まれ・成長し・繁殖し・死ぬ、ということを営々と繰り返してきた。この生物たちの営みをいろいろな段階（細胞・個体・個体群・生態系）で紹介したい。

後期には、環境問題を取りあげる。科学技術は私たちに快適で豊かな生活をもたらした。しかし、その負の部分が近年私たちに脅かしている。その一つである人工化学物質の功罪について考える。

## 講義の内容・授業スケジュール

## （前期）生物の生活

- （1）地球の歴史と生命の起源
  - ・最初の生命
  - ・地球の歴史
  - ・極限環境生物
- （2）生命誕生
  - ・いまここにいる奇跡
  - ・受精と発生
- （3）生命の維持
  - ・なぜ食べるか
  - ・消化と吸収
  - ・排泄物のゆくえ
  - ・植物の光合成
- （4）生態系の物質循環とエネルギーの流れ
  - ・陸と海をめぐるいのちの輪

## （後期）化学物質の功罪

- （1）ゴミ処理とダイオキシン汚染
  - ・ゴミ焼却とダイオキシン
  - ・ゴミの減量 Reduce Reuse Recycle
  - ・ゼロエミッションという考え方
- （2）人工化学物質の功罪
  - ・内分泌かく乱化学物質 - 環境ホルモン
- （3）人工放射性核種
  - ・原発は温暖化を防ぐ救世主か
  - ・JCO 臨界事故
- （4）まとめ 自然とともに生きる

## 履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

## 成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

## 教科書

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円

## 参考書等

授業時間内に随時紹介します。

## その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。



科目名	地球科学【1〔地球の素顔と地球環境問題〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国選				
担当者名	かとう きよし 加藤 潔				

## 講義のねらい

最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。

本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会があまり無かった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。

## 講義の内容・授業スケジュール

前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、プルームテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題（地球温暖化など）について触れます。

## 成績評価の方法

主に期末試験で評価されます。また、前・後期に3回ぐらいずつ、ビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます（各5点程度）。

## 教科書

特に定めない。適宜プリントを配布。

## 参考書等

『ニューステージ地学図表 新訂』（浜島書店）

## その他

プロジェクター、ビデオ等を使用します。

科目名	地球科学【2〔地球の変遷・生命の進化〕】	開講	通年	単位	4
担当	英歴日外考選				
担当者名	やまがた たけし 山縣 毅				

### 講義のねらい

地球科学は、地球の成り立ちやメカニズム、あるいは環境変遷を、地球自体から様々な方法で読み取ったデータを基に理解しようとする学問分野です。特に近年は、地球温暖化などの地球規模の環境問題の原因を明らかにする上で、過去の地球の環境変化やその要因の理解が重要になってきました。本講義では、地球の変遷を誕生した45億年前から現在まで辿りながら、地球環境を決定してきた要因や、環境変化による生物への影響を考えていきます。

### 講義の内容・授業スケジュール

〔地球の現在の姿〕

1. 地球の大きさ・形
2. 地球の内部構造とプレームテクトニクス
3. 大陸移動とプレートテクトニクス
4. 火山活動とそのメカニズム
5. 地震とそのメカニズム
6. 気圏・水圏の構造と地球規模の熱循環

〔地球環境の変遷〕

1. 地球環境の変動要因
2. 地球の形成過程
3. 環境変化と生物進化
4. 生物の大量絶滅
5. 人類の誕生と進化

〔未来の地球の姿〕

1. 未来の地球環境の変遷

### 履修上の留意点

講義は、板書と併せ、OHPやビデオを使って行っていきます。

### 成績評価の方法

成績は、定期試験とレポートにて評価します。

### 教科書

特になし。

### 参考書等

講義中に紹介します。

### その他

講義にて、資料プリントを配布します。

科目名	地球科学【3〔地球システムと人間圏〕】	開講	通年	単位	4
配当	地文環境社福心選				
担当者名	さわぐち たかし 澤口 隆				

### 講義のねらい

宇宙形成から137億年。地球の誕生から46億年。人類が地球上に生まれてから400万年…地球システムと人間圏の形成。果たして人間圏は地球上にあと何年存在しうるのでしょうか？46億年におよぶ地球システムの分化の歴史を学び、そのサブシステムとしての人間圏が安定に存在し続けるための条件とは何かを考えることが、本講義の目的である。

### 講義の内容・授業スケジュール

まず、地球をシステムとしてとらえるために必要な空間と時間のスケールを学び、それぞれのサブシステム内の諸現象の理解を深めたあと、サブシステム間の物質やエネルギーの交換という観点から、地球温暖化や資源エネルギー問題など、現代人間社会にとっての重要課題について学習する。

1. イントロダクション
2. 空間と時間のスケール
3. NHKスペシャル地球大進化
4. 太陽系形成の標準モデル1
5. 太陽系形成の標準モデル2
6. 火星と地球
7. 宇宙開発の歴史
8. 地球と月の始まり
9. 地球の歴史と全球凍結
10. 地球上の生命の誕生
11. 元素の誕生
12. 地球システム
13. 地球温暖化
14. オゾン層の破壊
15. エルニーニョ
16. 火山
17. 地震
18. 地震予知
19. 南極大陸
20. 地球資源問題と環境破壊
21. 原子力発電
22. 放射性廃棄物の地層処分
23. 地熱発電
24. 複雑系
25. 総まとめ

### 履修上の留意点

毎回独立したトピックについての講義を行う。  
それに関連した内容の課題レポートが半期に3～5回程度課される。

### 成績評価の方法

提出された課題レポートを評価し、その総合点と出席率で成績評価を行う。

### 教科書

使用しない。適宜プリントを配布。

### 参考書等

『岩波講座・地球惑星科学』（全14巻）

### その他

毎回出席を取ります。遅刻・途中退席は認めません。

科目名	自然環境論【1〔生命と環境〕】	開講	通年	単位	4
配当	英歴日外考選				
担当者名	やまがた たけし 山縣 毅				

#### 講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきました。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が地球環境に与える影響、自然と人間の関わりについて考えていくことを目標としています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 〔地球表層の環境〕
- 1. 大気構造とオゾン層
- 2. 気候の決定要因
- 3. 生物生存条件としての地球磁場
- 〔人間活動による環境変化〕
- 1. 公害問題の変遷
- 2. 地球温暖化とその要因
- 3. 大気汚染
- 4. 酸性雨
- 5. 光化学スモッグ
- 6. 海洋汚染
- 7. 資源とエネルギー
- 〔自然災害〕
- 1. 気候変動
- 2. 地震とその災害
- 3. 火山とその災害

#### 成績評価の方法

成績は、定期試験とレポートにて評価します。

#### 教科書

特になし。

#### 参考書等

講義中に紹介します。

#### その他

講義にて、資料プリントを配布します。

科目名	自然環境論【2〔生命と環境〕】	開講	通年	単位	4
担当	地文環境社福心選				
担当者名	やまがた たけし 山縣 毅				

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきました。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が地球環境に与える影響、自然と人間の関わりについて考えていくことを目標としています。

講義の内容・授業スケジュール

- 〔地球表層の環境〕
1. 大気構造とオゾン層
  2. 気候の決定要因
  3. 生物生存条件としての地球磁場
- 〔人間活動による環境変化〕
1. 公害問題の変遷
  2. 地球温暖化とその要因
  3. 大気汚染
  4. 酸性雨
  5. 光化学スモッグ
  6. 海洋汚染
  7. 資源とエネルギー
- 〔自然災害〕：
1. 気候変動
  2. 地震とその災害
  3. 火山とその災害

成績評価の方法

成績は、定期試験とレポートにて評価します。

教科書

特になし。

参考書等

講義中に紹介します。

その他

講義にて、資料プリントを配布します。

科目名	自然環境論【4〔生命と環境〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国選				
担当者名	坂野井 <sup>さかのい かずよ</sup> 和代				

講義のねらい

人間が普段活動している地球環境（陸地、大気、海洋）の基礎的な構造や原理を学ぶと共に、現在話題になっている地球温暖化等の環境問題について知る。また、近年人類が活動するようになった地球近傍の宇宙環境（地球磁気圏、太陽系の惑星など）についても触れ、地球環境システムを総合的に理解する。

講義の内容・授業スケジュール

- 主に地球の大気環境（気候、気象、超高層大気）と地球近傍の宇宙環境について触れる。
1. 地球環境システムの構造と原理（個体地球、大気・海洋、地球磁気圏）
  2. 地球と太陽系惑星との比較（地球磁気圏、太陽、太陽系）
  3. 地球の気候と気象
  4. 地球環境問題（地球温暖化、オゾン層破壊）
  5. 地球近傍の宇宙環境（宇宙天気予報、人工衛星観測、太陽系惑星探査）
  6. その他、トピックス

履修上の留意点

なるべく一つ、一つ説明はしますが、中学・高校の基礎的な数学・理科を理解する程度の知識や能力は必要です。講義の進度や話題は、受講人数やその時期の状況に応じて、適宜調節します。人数によってはレポート発表形式の講義も検討します。レポート形式の場合、詳細は講義で説明します。内容は決して簡単ではありませんので、興味およびやる気のある学生を求めます。

成績評価の方法

評価は授業時間中および期末に出題する課題および試験またはレポート（口頭）によって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

その都度紹介する。

科目名	自然環境論【9〔生物の集団と環境〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国選				
担当者名	坂巻 義章 <small>さかまき よしかき</small>				

講義のねらい

地球環境の変化は現代の重要な問題の1つである。これは、個人の専門や興味に関係なく我々に降りかかってくる。この状況の中で人間を含めた自然、それを取り巻く環境について正しい理解をもつことは必要不可欠である。この講義では生物の生活と環境の関係を理解する事を基本とし、生態系の成り立ちやその中で起こる調節、人間による攪乱などについて取り上げる。これらの知識を基礎にこれからの環境変化についてどう対処するかを考えたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期 (1,2)地球 (3) 環境とは何か (4) 生物とは何か (5,6)生物の歴史と環境 (7,8)生物の進化 (9,10)生物の分布 (11,12)環境への適応 (13)前期のまとめと試験  
後期 (14,15)食物連鎖とエネルギー流 (16)生態ピラミッド (17)個体群 (18)出生と死亡 (19)競争と住み分け (20)捕食 (21)共生と寄生 (22)土壌と分解者 (23)物質循環 (24)里山の生態系 (25)人口問題と環境問題 (26)まとめと試験

履修上の留意点

スケジュールは基本である。開始後に理解度によって進度を調整したり、新たな内容についても触れるなどの変更はありうる。大学生として授業に参加する基本的なマナーは守って欲しい。

成績評価の方法

出席点と筆記試験で行う。途中で課題を出すこともあるので、その場合はこれも加える。

教科書

指定しない

参考書等

指定しない。必要な場合にプリントを配布することがある。

その他

講義形式の授業とする。

科目名	自然誌【2〔現代の自然像〕】	開講	通年	単位	4
配当	国英地文環境歴日外考社福心管A選				
担当者名	清水 善和・篠原 正雄・山縣 毅				

## 講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは次の通りである。すなわち、我々は100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのない存在である。一方で、科学技術の発展は、人類を育ててきた地球の自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえず、社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。本講義では自然科学教室の専門を異にする3名の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

## 講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員3人により、1人8回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

## 第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄

- (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
- (2) 銀河の起源と進化（宇宙の大規模構造、ダークマター、銀河）
- (3) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
- (4) 太陽系の起源（太陽系起源仮説、太陽系外惑星、宇宙の有機化合物）
- (5) 宇宙の中の地球（太陽の進化、太陽放射の変動、地球軌道、隕石、銀河系）

## 第2講 地球の進化 山縣毅

- (1) 大陸と海洋の形成（海の誕生、地球の内部構造の変化）
- (2) 大陸の漂流（大陸移動説、プレートテクトニクス、プレュームテクトニクス）
- (3) 変動する地球（巨大山脈の形成、火山、地震）
- (4) 地球と生命の共進化（地球表層の環境変遷、生物の進化・大量絶滅）

## 第3講 生命の起源と進化 清水善和

- (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
- (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
- (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
- (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）
- (5) 人類と地球環境（生態系、食物連鎖、物質の循環、地球温暖化）

## 履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、教員ごとに計3回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

## 成績評価の方法

教員ごとに小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に3人の採点を合算して成績評価とする。追試験は行わないので、教員ごとの指示に従って必ずそのつど評価をうけること。

## 教科書

特になし。必要に応じて各教員がプリント等を配布する。

## 参考書等

各教員がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。



科目名	数学【1〔微積分学入門〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A選				
担当者名	おざわ まこと 小沢 誠				

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである微分積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書に従って以下の項目を解説する。

1. 集合と写像
2. 数列
3. 連続関数
4. 1変数関数の微分
5. 多変数関数の微分
6. 積分

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。

教科書

沢田賢／渡辺展也／安原晃 共著『大学で学ぶ 微分積分』サイエンス社  
1050円（税込）ISBN4-7819-1082-3

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科目名	数学【2〔線形代数学入門〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営A選				
担当者名	おざわ まこと 小沢 誠				

#### 講義のねらい

数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的な思想を身に付けることを目標とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

教科書に従って以下の項目を解説する。

1. 文字の使用について
2. 行列
3. 連立一次方程式
4. ベクトル空間
5. 線形写像
6. 行列式
7. 固有値・固有空間

#### 履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

#### 成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。

#### 教科書

沢田賢／渡辺展也／安原晃 共著『大学で学ぶ 線形代数』（サイエンス社）  
1050円（税込）ISBN4-7819-1092-0

#### 参考書等

適宜紹介する。

#### その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科目名	数学【3〔現代数学入門〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政管A選				
担当者名	ふくだ けんいち 福田 賢一				

## 講義のねらい

現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計り、実践的な応用力の養成を目指す。  
本年度は情報環境への理解を深めるため、基礎情報理論・情報数理分野を充実させる。時間に余裕があれば、経済工学・金融工学の数理的基礎にも触れる。

## 講義の内容・授業スケジュール

前期： 論理の基礎と言語、情報理論の数理と論理、論理設計・論理回路、情報機器の理解、コンピュータ・携帯電話、通信機器の理解と数理、線型代数とその応用。  
後期： 線型計画法、確率現象と社会現象、保険の数理、微積分とその応用、交通・運輸の数理、経済・経営の数理基礎。

## 履修上の留意点

予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、系統性の強い学術分野であるから、基本的な定義、性質を明確にするとともに、基本的な事項の確実な理解・運用能力が必要とされる。また、社会・経済現象に対し興味を持ち、基礎的な認識を深める必要もある。

## 成績評価の方法

前後期試験結果を中心に、レポート、出欠状況を加味し、総合的に判断する。

## 教科書

使用しない。教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。また、内外の関連する公的な機関等のサイト等も紹介する。

## 参考書等

必要となり次第指示する。配布する教材、資料等に明示する。

## その他

教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的に行うこと。疑問点、理解不十分なところを放置しないように努める事。  
可能な限り演習を行い理解の徹底を図る。

科目名	情報数学【〔情報と論理〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営A 選				
担当者名	坂野井 和代 <small>さかのい かずよ</small>				

- 講義のねらい

情報処理・情報科学等で使用する基礎的な数学について学ぶ。
- 講義の内容・授業スケジュール

前期は、記数法など基礎的な数学知識について学んだ後、情報処理において必要となる概念である集合と論理について学ぶ。後期は主に確率と統計について勉強してゆく。講義時間中に例題を解くなど、実際に手を動かして数学に慣れる講義を目指す。
- 履修上の留意点

予備知識・教科書は特に必要とせず、その都度、資料配付や説明を行う。ただし、講義は必ず毎回出席し、ノートを取り、出題された例題や課題を解いているものとする。つまり、レポートは講義に出席していないと解答することは難しい。
- 成績評価の方法

評価は原則として年に3回程度のレポートによって評価する。その他、講義時間中の発言も評価に含める。
- 教科書

使用しない。適宜資料を配付する。
- 参考書等

野々山隆幸監修、石原光／小堆光喜共著『入門 情報処理数学』（実教出版）2,200円

科目名	物理学【2〔光と物質〕】	開講	通年	単位	4
配当	国英地文環境歴日外考社福心営A選				
担当者名	篠原 正雄 <small>しのはら まさお</small>				

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光などの電磁波を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取る。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきた。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げる。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

波としての光

光線 影 鏡 屈折 屈折楼 透明人間 スペクトル 虹の七色と三原色

波動 光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 電波 X線とガンマ線

光子 原子構造と光 電磁波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めする。数学的な予備知識はいらない。

成績評価の方法

期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となる。しかし、期末試験の比重は15%程度であり、数回のテストを含む平常点を中心に評価する。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円＋税

参考書等

講義の中で適宜紹介する。

その他

理解を深めるためにはほぼ毎回問題を考えてもらう。

科目名	化学【1〔衣食住の化学〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A選				
担当者名	まさおか よしかず 牧岡 良和				

## 講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。講義では、はじめに、化学物質の生体・環境への作用を理解するために必要な化学の基礎について解説する。その後、衣食住の化学として、各論の解説を行う予定である。

## 講義の内容・授業スケジュール

前期 (1)有機化学・無機化学の導入 (2)物質の成り立ち (3)水の性質 (4)有機化学の基礎 (5)合成繊維 (6)染料 (7)合成洗剤と水質汚濁  
後期 (8)太陽光発電 (9)遺伝子 (10)燃料電池 (11)バイオ燃料 (12)食品の安全性 (13)住環境と化学物質

## 履修上の留意点

上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックを取り上げるなど、柔軟に進めていく。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。なお、授業中の私語・飲食・講義と無関係な用途での携帯電話の使用は禁止。

## 成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

## 参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	宇宙科学【1〔星と銀河〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	しのほら まさお 篠原 正雄				

## 講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介する。  
観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展している。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされた。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進める。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星をとりあげる。  
観測：望遠鏡 スペクトル 年周視差と距離  
太陽：構造 エネルギー源  
恒星：恒星の分類 連星 変光星 恒星の質量 恒星の進化  
後期は銀河をとりあげる。  
銀河系：星団 星雲 銀河系の渦巻き構造と星生成領域 銀河回転と暗黒物質  
銀河：銀河の分類 距離 銀河団 宇宙の大規模構造  
宇宙：宇宙膨張 暗黒エネルギー ビッグ・バン

## 成績評価の方法

中間試験および学年末に行う筆記試験の結果により評価する。平常点も考慮する。

## 教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』（地人書館）1,800円＋税

## その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する。

科目名	宇宙科学【2（星と銀河）】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	篠原 <sup>しのはら</sup> 正雄 <sup>まさお</sup>				

講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介する。  
 観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展している。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされた。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進める。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星をとりあげる。  
 観測：望遠鏡 スペクトル 年周視差と距離  
 太陽：構造 エネルギー源  
 恒星：恒星の分類 連星 変光星 恒星の質量 恒星の進化  
 後期は銀河をとりあげる。  
 銀河系：星団 星雲 銀河系の渦巻き構造と星生成領域 銀河回転と暗黒物質  
 銀河：銀河の分類 距離 銀河団 宇宙の大規模構造  
 宇宙：宇宙膨張 暗黒エネルギー ビッグ・バン

成績評価の方法

中間試験および学年末に行う筆記試験の結果により評価する。平常点も考慮する。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』（地人書館）1,800円＋税

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する。

科目名	コンピュータ基礎【1〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	おさわ まこと 小沢 誠				

## 講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSSファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

## 講義の内容・授業スケジュール

まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。

## 履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。

この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

## 成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

## 教科書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

## 参考書等

<http://www.tg.rim.or.jp/~hexane/ach/>  
<http://www.shoshinsha.com/hp/>

## その他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/> 等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも重要です。



科目名	コンピュータ基礎【2〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	やまもと ひろのぶ 山本 博信				

**講義のねらい** 問題を解決するために、わたしたちはパソコンを道具にします。その具体的方法は、情報科学を基礎にしてみなさんが習得してこられたスキルを土台にしつつ、さらに高度なスキルやコンセプト・ケーパビリティを交差させながら情報を科学的に活用してゆきます。

**講義の内容・授業スケジュール** ・パソコンの活用・文書の編集・表計算ソフトの活用・ネットワークの活用・画像情報の処理と編集（コーディングについて）。

**履修上の留意点** 本講座は講義を中心に授業運営します。しかし、事前課題・事後課題など授業中に行う演習も含まれます。講義は必ず毎回出席し、基本課題を必ず解いているものとします。半期の授業です。

**成績評価の方法** ・課題 10%  
・授業最終日に実施する確認試験 25%  
・定期試験 35%  
・出席状況 30%

**教科書** 『新基礎コンピュータ演習』山本誠次郎・井内善臣（実教出版）151P、¥1890（ISBN4407301147）

**参考書等** 『ITリテラシーへの招待』大田幸雄（パーソナルユーザ利用出版社）237P、¥1680（ISBN4894717220）

**その他** パソコン教場で講義を行うので、パソコン台数には制限があります。よって、受講生数を何らかの方法で制限することもあります。本学総合情報センターのコンピュータの利用申請と電子メールアドレスの取得が必須です。いっとうやって登録するか1回目の授業で補足説明します。

科目名	コンピュータ基礎【3〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	おがわ けんじろう 小川 健次郎				

**講義のねらい** 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。センテンスからパラグラフへの運用能力向上をめざす。

**講義の内容・授業スケジュール** テキストの順番にそって、まずは英文を読み、その英文を利用して、語のならばかえ、作文を行なう。

**履修上の留意点** 授業は予習をしてくること。

**成績評価の方法** 日常の発表を重視し、前期後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

**教科書** 『Major Countries in the World -世界の主要国-』（鳳書房）1,800円

科目名	コンピュータ基礎【4〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	おさわ まこと 小沢 誠				

## 講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSSファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

## 講義の内容・授業スケジュール

まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。

## 履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。

この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

## 成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

## 教科書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

## 参考書等

<http://www.tg.rim.or.jp/~hexane/ach/>  
<http://www.shoshinsha.com/hp/>

## その他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/> 等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも大切です。

科目名	コンピュータ基礎【5〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	さわぐち たかし 澤口 隆				

講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用したCADイメージ、映画などで用いられるリアルなCG映像や、インターネットブラウザ上でのFLASHアニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSはWindowsを用い、アプリケーションはAdobe Photoshopを使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。

Webサイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windowsの基本操作はマスターしていること (キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

科目名	コンピュータ基礎【6〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	おざわ まこと 小沢 誠				

## 講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSSファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

## 講義の内容・授業スケジュール

まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。

## 履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。

この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

## 成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

## 教科書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

## 参考書等

<http://www.tg.rim.or.jp/~hexane/ach/>  
<http://www.shoshinsha.com/hp/>

## その他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/> 等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも重要です。

科目名	コンピュータ基礎【7〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	やまもと ひろのぶ 山本 博信				

講義のねらい

問題を解決するために、わたしたちはパソコンを道具にします。その具体的方法は、情報科学を基礎にしてみなさんが習得してこられたスキルを土台にしつつ、さらに高度なスキルやコンセプト・ケーパビリティを交差させながら情報を科学的に活用してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

・パソコンの活用・文書の編集・表計算ソフトの活用・ネットワークの活用・画像情報の処理と編集（コーディングについて）。

履修上の留意点

本講座は講義を中心に授業運営します。しかし、事前課題・事後課題など授業中に行う演習も含まれます。講義は必ず毎回出席し、基本課題を必ず解いているものとします。半期の授業です。特段の事情で休むことが当初から予想される学生は、その期の授業の履修申請はしないこと。

成績評価の方法

- ・課題 10%
- ・授業最終日に実施する確認試験 25%
- ・定期試験 35%
- ・出席状況 30%

教科書

『新基礎コンピュータ演習』山本誠次郎・井内善臣（実教出版）151P、¥1890（ISBN4407301147）

参考書等

『ITリテラシーへの招待』大田幸雄（パーソナルユーザ利用出版社）（237P、¥1680）（ISBN4894717220）

その他

パソコン教場で講義を行うので、パソコン台数には制限があります。よって、受講生数を何らかの方法で制限することもあります。本学総合情報センターのコンピュータの利用申請と電子メールアドレスの取得が必須です。いっとうやって登録するか1回目の授業で補足説明します。

科目名	コンピュータ基礎【8〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	小川 健次郎 <small>おかわ けんじろう</small>				

#### 講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

#### 履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

#### 成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

#### 参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

#### その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	コンピュータ基礎【9〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	おざわ まこと 小沢 誠				

講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSSファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。

履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。  
この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

教科書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

参考書等

<http://www.tg.rim.or.jp/~hexane/ach/>  
<http://www.shoshinsha.com/hp/>

その他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/> 等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも大切です。

科目名	コンピュータ基礎【10〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	さわぐち たかし 澤口 隆				

## 講義のねらい

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSはWindowsを用い、アプリケーションはAdobe Photoshopを使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。

Webサイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

## 履修上の留意点

コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windowsの基本操作はマスターしていること(キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

## 成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

## 教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

## 参考書等

同上。

## その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。



科目名	コンピュータ基礎【11〔コンピュータの実際〕】	開講	夏季集中	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	元木 <sup>もとぎ</sup> <sup>みつこ</sup> 光雄				

#### 講義のねらい

コンピュータの原理とインターネットの原理や原則を学ぶ。特に、インターネットで実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

コンピュータの動作原理、特にOSの役割やファイルシステムについて学ぶ。また、多数のコンピュータがネットワークで相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上でどのようなサービスが利用できるのか、実際のサービスを利用しながら理解する。具体的には、インターネット上のサービスとして、電子メール、WWWなどのサービスを取りあげ、実習の形で利用する。このようなサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄も、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

また、Web ページを記述するHTMLの基本を通して、論理的構造を持った文書とは何かを学ぶ。

- 7/31 コンピュータの基本構造と Windows の基本操作
- 8/1,2 インターネットの原理と実際の利用
- 8/3,6 論理的構造を持った文書のHTMLによる記述

#### 履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となるので、必ず事前に総合情報センターで利用申請をして電子メールのアドレスを取得しておくこと。取得していない場合、単位取得に支障がある可能性がある。

#### 成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う予定である。

#### 参考書等

参考書は必要に応じて紹介する予定である。

#### その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程：7月31日～8月3日・6日の1～3時限

予備日：8月7日の1～3時限

科目名	コンピュータ基礎【13〔コンピュータの実際〕】	開講	夏季集中	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	やまもと ひろのぶ 山本 博信				

#### 講義のねらい

問題を解決するために、わたしたちはパソコンを道具にします。その具体的方法は、情報科学を基礎にしてみなさんが習得してこられたスキルを土台にしつつ、さらに高度なスキルやコンセプト・ケーパビリティを交差させながら情報を科学的に活用してゆきます。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

・パソコンの活用・文書の編集・表計算ソフトの活用・ネットワークの活用・画像情報の処理と編集（コーディングについて）。

#### 履修上の留意点

本講座は講義を中心に授業運営します。しかし、事前課題・事後課題など授業中に行う演習も含まれます。講義は必ず毎回出席し、基本課題を必ず解いているものとします。

#### 成績評価の方法

- ・課題 30%
- ・授業最終日に実施する確認試験 40%
- ・出席状況 30%

#### 教科書

新基礎コンピュータ演習、山本誠次郎・井内善臣、実教出版、(151P、¥1890) ISBN4407301147

#### 参考書等

ITリテラシーへの招待、大田幸雄、パーソナルユーザ利用出版社、(237P、¥1680)、ISBN 4894717220

#### その他

パソコン教場で講義を行うので、パソコン台数には制限があります。よって、受講生数を何らかの方法で制限することもあります。本学総合情報センターのコンピュータの利用申請と電子メールアドレスの取得が必須です。いっとうやっけて登録するか1回目の授業で補足説明します。

授業日程：7月31日～8月3日・6日の4～6時限

予備日：8月7日の1～3時限

科目名	コンピュータ基礎【14〔コンピュータの実際〕】	開講	夏季集中	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	ながさか ひろふみ 長坂 浩史				

自然分野

講義のねらい

初心者を対象にして、コンピュータの概要の把握と一通りの基本的な操作能力の習得を目標とする。また、Web ページ作成の基本を学び、それによってインターネットを利用した情報収集・発信の実習をする。

講義の内容・授業スケジュール

総合情報センターのパソコン（OSはWindows）を使用し、実習を行う。ワープロソフトによる文章加工、Excelによる表計算・データ処理、インターネット上のサービス利用（電子メール、WWW）等を通り体験したあと、これらを総合した簡単な資料の作成をしてもらう。この資料はWeb ページの体裁で作成してもらうので、HTMLの入門等、Web ページ作成のための基本も学ぶことになる。

履修上の留意点

初心者を対象としていることに注意。  
予備知識は仮定しないが、短期集中講義なので毎回出席し、課題は必ず提出すること。  
また授業開始前に情報センターの利用登録をしておくこと。（課題は基本的にファイルの形で提出してもらうが、各自バックアップ用の領域を持っていることが前提である。そうでなければ、初日・2日目はMOディスクまたはフロッピーディスクを持参すること。）

成績評価の方法

課題に対する提出物によって判断する。  
実習という授業の性質上、毎日の基本課題をクリアしていれば、概ね厳しい評価はつかないと思っていよい。  
逆に、1日でも休むと全課題の提出は困難になるので、特別な事情がない限り毎回出席すること。

教科書

使用しない。教材・資料・編集素材は、ファイルの形で配布する。

参考書等

同上

その他

授業日程：7月31日～8月3日・6日の1～3時限  
予備日：8月7日の1～3時限

科目名	コンピュータ基礎【15〔コンピュータの実際〕】	開講	夏季集中	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	おがわ けんじろう 小川 健次郎				

#### 講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

自然分野

#### 履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請をしておくこと。

なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。

#### 成績評価の方法

評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。

#### 教科書

必要に応じて適宜指定する予定である。

#### 参考書等

必要に応じて紹介する予定である。

#### その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程：(15) 7月31日～8月3日・6日、1～3時限

：(16) 7月31日～8月3日・6日、4～6時限

予備日：(15) 8月7日の1～3時限

(16) 8月7日の4～6時限

科目名	コンピュータ基礎【16〔コンピュータの実際〕】	開講	夏季集中	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	小川 健次郎 <small>おがわ けんじろう</small>				

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請をしておくこと。  
なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。

成績評価の方法

評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。

教科書

必要に応じて適宜指定する予定である。

参考書等

必要に応じて紹介する予定である。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程：(15) 7月31日～8月3日・6日、1～3時限

：(16) 7月31日～8月3日・6日、4～6時限

予備日：(15) 8月7日の1～3時限

(16) 8月7日の4～6時限

科目名	コンピュータ基礎【17〔コンピュータの実際〕】	開講	夏季集中	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	谷本 <sup>たにもと</sup> 玲大 <sup>さちひろ</sup>				

#### 講義のねらい

課題実習を通じて、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

7/31 4限 ガイダンス 5～6限 情報検索・メール  
8/1 Word  
8/2 Word・画像処理  
8/3 } Excel  
8/6 }

※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある。

#### 履修上の留意点

初級向け。実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。教室に備付のパソコンを使用するのでKOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要。各自、駒澤大学総合情報センターに学生証持参の上、一週間以上前に申請し、【履修前に取得完了】のこと。

#### 成績評価の方法

初回講義欠席者は単位認定しない。受講態度や出席状況等の平常点(40%)、課題・レポート(60%)。総講義時間数の3分の1以上の欠席は評価対象外。遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。申請が遅れたり、失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。講義中に他学生に迷惑となるような行為のあった場合、教員の指示に従わない場合は、履修許可を取り消すことがある。

#### 教科書

小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』  
(講談社現代新書1603) 2002/04、714円 ISBN:4-061496034

#### その他

授業日程: 7月31日～8月3日・6日 4～6時限  
予備日: 8月7日の4～6時限

科目名	コンピュータ基礎【18〔コンピュータの実際〕】	開講	夏季集中	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	おざわ まこと 小沢 誠				

講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSSファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。

履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。  
この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

教科書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html> を教科書として使用します。

参考書等

<http://www.tg.rim.or.jp/~hexane/ach/>  
<http://www.shoshinsha.com/hp/>

その他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/> 等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも大切です。  
授業日程：7月31日～8月3日・6日、4～6時限  
予備日：8月7日の4～6時限

科目名	コンピュータ基礎【19〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	坂野井 <small>さかのい かずよ</small> 和代				

#### 講義のねらい

主に実習を通して、コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その中でも電子メールやWWWといったサービスを、実習を通じて理解する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。その際、よくありがちなセキュリティ問題についても触れる。さらに、具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうした実習を通して、コンピュータの操作方法に慣れると共に、コンピュータやインターネットの利用方法を技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

#### 履修上の留意点

予備知識は必要としないが、実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は携帯すること。

#### 成績評価の方法

評価は授業時間中に出題する2～3回程度の課題によって行う。

#### 教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

#### 参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

#### その他

実習のために計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。



科目名	コンピュータ基礎【20〔コンピュータの実際〕】	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	坂野井 和代 <small>さかのい かずよ</small>				

#### 講義のねらい

主に実習を通して、コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その中でも電子メールやWWWといったサービスを、実習を通じて理解する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

コンピュータの基礎的な操作方法や動作原理を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。その際、よくありがちなセキュリティ問題についても触れる。さらに、具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうした実習を通して、コンピュータの操作方法に慣れると共に、コンピュータやインターネットの利用方法を技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

#### 履修上の留意点

予備知識は必要としないが、実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は携帯すること。

#### 成績評価の方法

評価は授業時間中に出題する2～3回程度の課題によって行う。

#### 教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

#### 参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

#### その他

実習のために計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	コンピュータ応用【1〔コンピュータの原理〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	坂野井 <small>さかのい、かずよ</small> 和代				

#### 講義のねらい

主に実習を通して、コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また、これらのプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを知る。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

まず初めに、コンピュータの動作原理およびプログラミングについて簡単に学ぶ。その後、主に前期は Visual Basic という言語を使ってプログラミングの基礎を学ぶ。さらにいくつかの問題に対して、実際にプログラムを作成する。後期は、このようなプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを実習により確かめる。

#### 履修上の留意点

プログラミングに対する予備知識は必要としない。しかし必要最低限のコンピュータの操作（ウィンドウ操作、電子メール、WWWの利用など）はマスターしていること。これらの操作ができないと実習についてくることは難しい。またプログラミングの際に、数学や英語に関する知識が多少必要となる。実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。長期に休んだ場合の復活は難しいので、留学、就職活動や教育実習などで3回以上休むことが当初から予想される学生は、その年の授業は履修申請しないこと。

#### 成績評価の方法

評価は授業時間中に出题する課題によって行う。

#### 教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

#### 参考書等

山本信雄著『Visual Basic Vol.1 はじめてのプログラミング』（翔泳社）1,900円  
ISBN4-88135-718-2  
瀬戸遥著『10日でおぼえる Excel VBA 入門教室』（翔泳社）2,800円  
ISBN4-7981-0773-5

#### その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	コンピュータ応用【2〔コンピュータの原理〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政選				
担当者名	坂野井 和代 <small>さかのい かずよ</small>				

自然分野

講義のねらい

主に実習を通して、コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また、これらのプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを知る。

講義の内容・授業スケジュール

まず初めに、コンピュータの動作原理およびプログラミングについて簡単に学ぶ。その後、主に前期は Visual Basic という言語を使ってプログラミングの基礎を学ぶ。さらにいくつかの問題に対して、実際にプログラムを作成する。後期は、このようなプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを実習により確かめる。

履修上の留意点

プログラミングに対する予備知識は必要としない。しかし必要最低限のコンピュータの操作（ウィンドウ操作、電子メール、WWWの利用など）はマスターしていること。これらの操作ができないと実習についてくることは難しい。またプログラミングの際に、数学や英語に関する知識が多少必要となる。実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。長期に休んだ場合の復活は難しいので、留学、就職活動や教育実習などで3回以上休むことが当初から予想される学生は、その年の授業は履修申請しないこと。

成績評価の方法

評価は授業時間中に出題する課題によって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

山本信雄著『Visual Basic Vol.1 はじめてのプログラミング』（翔泳社）1,900円  
ISBN4-88135-718-2  
瀬戸遙著『10日でおぼえる Excel VBA 入門教室』（翔泳社）2,800円  
ISBN4-7981-0773-5

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	人類学【1〔人類の進化〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	篠田 謙一 <small>しのだ けんいち</small>				

講義のねらい

人類学はひとことで言えば「人間の生物学」ということですが、その包含する分野は漠然としていて、簡単に捉えることは難しいものです。本講義では、現在「人類学」の名の下に行われている具体的な研究内容を紹介し、人類学とはどのような学問であるのかを理解することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容をそれぞれ1回ないし2回で講義します。前期は基本的には人類の進化を、後期は日本人の起源を中心とした話になります。

「人類学の歴史と包括する分野」「霊長類学」「化石人類の発見史」「霊長類の進化と猿人」「原人から新人への進化」「現代人の起源」「分子人類学」「日本人の起源」「歴史時代における日本人の変化」「成長」「新大陸の人類学」

履修上の留意点

出席を重視しますので、講義に参加できることを前提に履修してください。

成績評価の方法

毎回、課題もしくは小試験を行い、その成績を総合して評価します。

教科書

中橋孝博著『日本人の起源』（講談社メチエ）ISBN4-06-258318-6

参考書等

特に指定しませんが講義の中で紹介します。

その他

本講義では、単に講師の話聞くだけでなく、皆さんに考えて頂くような講義をしたいと思っていますので、主体的に参加していただくことを望みます。

科目名	人類学【2〔人類の進化〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	しのだ けんいち 篠田 謙一				

講義のねらい

人類学はひとことで言えば「人間の生物学」ということですが、その包含する分野は漠然としていて、簡単に捉えることは難しいものです。本講義では、現在「人類学」の名の下に行われている具体的な研究内容を紹介し、人類学とはどのような学問であるのかを理解することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容をそれぞれ1回ないし2回で講義します。前期は基本的には人類の進化を、後期は日本人の起源を中心とした話になります。

「人類学の歴史と包括する分野」「霊長類学」「化石人類の発見史」「霊長類の進化と猿人」「原人から新人への進化」「現代人の起源」「分子人類学」「日本人の起源」「歴史時代における日本人の変化」「成長」「新大陸の人類学」

履修上の留意点

出席を重視しますので、講義に参加できることを前提に履修してください。

成績評価の方法

毎回、課題もしくは小試験を行い、その成績を総合して評価します。

教科書

中橋孝博著『日本人の起源』（講談社メチエ）ISBN4-06-258318-6

参考書等

特に指定しませんが講義の中で紹介します。

その他

本講義では、単に講師の話聞くだけでなく、皆さんに考えて頂くような講義をしたいと思いますので、主体的に参加していただくことを望みます。

科目名	心理学【1〔ヒューマン・ウォッチング〕】	開講	通年	単位	4
配当	社福心選				
担当者名	たかはし よしひろ 高橋 良博				

## 講義のねらい

基礎的な心理学の概論を学ぶ人を対象にして、日常的な問題に即しながら、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間の行動生物学的研究や、環境心理学的研究などのトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなども織り込み、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学の人間行動に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

## 履修上の留意点

履修者は、講義中は私語をつつしみ静粛に講義を受講すること。

## 成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。

## 教科書

鈴木清編『人間理解の科学〔第2版〕—心理学への招待』（ナカニシヤ出版）2,000円税別

## 参考書等

講義の中で指示する。

科目名	心理学【5〔人間関係を考える〕】	開講	通年	単位	4
配当	国英選				
担当者名	たかはし よしひろ 高橋 良博				

## 講義のねらい

心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

## 履修上の留意点

履修者は、講義中は私語をつつしみ静粛を保って受講すること。

## 成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。

## 教科書

鈴木清編『人間理解の科学〔第2版〕—心理学への招待』（ナカニシヤ出版）2,000円税別

## 参考書等

講義中に指示する。

科目名	心理学【10〔心を科学する〕】	開講	通年	単位	4
担当	社福心選				
担当者名	名取 <sup>なとり</sup> 志保 <sup>しほ</sup>				

## 講義のねらい

人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解だけでなく、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物事の捉え方や判断の仕方など、様々な場面で何気なくおこなっている活動全般について理解するということである。

## 講義の内容・授業スケジュール

心理学の基礎分野（心理学の概略、行動の基本様式、欲求、動機、学習、記憶、注意、知識、感情などの他、生理学や脳科学など関連分野を含む）について講義をおこなう予定である。

## 履修上の留意点

この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。

## 成績評価の方法

試験の結果（前期の講義内と定期試験の計2回）と出席点による。

## 教科書

第1回目の講義で紹介する。

## 参考書等

講義の中で紹介する。

科目名	心理学【11〔心を科学する〕】	開講	通年	単位	4
配当	地文環境歴日外考選				
担当者名	中丸 茂 <small>なかまる しげる</small>				

講義のねらい

心理学は、人間の心（行動・言語を含む）を客観的に研究する学問である。心理学は、心の科学、および、心の工学と定義され、心の理解・説明・予測・制御を目的とする。本講義では、科学的観点より、日常場面での人間の行動を分析し、得られたデータの解釈の仕方といった科学的方法を身につけることを目的として行われる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、科学論を中心に、心理学における中心的なパラダイムを紹介し、後期は、それらの日常生活への応用についての話を行う。また、講義は、下記のスケジュールにしたがって進めていく予定である。授業は、ビデオなどを使用し、簡単な実験を体験してもらいながら行っていく。

1. オリエンテーション 心理学って何？
2. 血液型と性格 本当に関係あるの？
3. 科学としての心理学 科学って何？
4. 行動分析学I ラムちゃんの電撃
5. 行動分析学II バナナとリンゴ
6. 行動分析学III 月に向かって吠える
7. 認知心理学I マジカルナンバー
8. 認知心理学II カクテルパーティ
9. 認知心理学III 悩めるオマタかおる
10. 心霊現象の心理学 幽霊は乗り物がお好き？
11. 社会心理学I 他人を好きになる時
12. 社会心理学II 恋、愛、そして、意志決定 その他（リクエスト可）
13. 無意識の心理学 UFOは存在するか？
14. 人格心理学 社交的な人は朝に弱い
15. 占いの心理学 ラッキーカラーは、赤!!
16. 呪いの心理学 呪殺は可能か？
17. 所信の心理学I 知識は人類を駄目にする!!
18. 所信の心理学II マインド・コントロール
19. 宗教の心理学 神社の石段
20. スポーツ心理学 イメージトレーニング
21. プロファイリングモラル・ハラスメント
22. テクノ・コミュニケーション 顔文字は使ったほうがいいのか

履修上の留意点

講義は、プリント中心に行い、毎回、参考文献や図書の紹介を行う。したがって、一冊の本を読めば本講義の内容を把握できるというものではなく、毎回の知識の積み重ねが必要である。（教科書 理解度UP++）

成績評価の方法

筆記試験の絶対評価として処理される。また、心理学の実験や調査に参加することも、心理学を学ぶために重要であり、得点として加算される。

教科書

中丸茂『心理学者のための科学入門』1999年（北大路書房）  
 中丸茂『トワイライト・サイコロジー』2000年（北大路書房）  
 講義オリジナル資料 毎回配布（2～3枚） 年間 40～50枚

参考書等

講義用の配布資料で紹介。



科目名	心理学12〔心を科学する〕	開講	夏季集中	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	ふかぼり ともなり 深堀 友覚				

自然分野

講義のねらい

身体的な異質性も然ることながら、人間には固有の性格、価値観、知能、行動パターンといった精神的（心理的）な異質性が認められる。それらを含め、人間は個性を獲得する。しかし、人間とは決して一人では生きていけない。これはこの世に生を授かり生を全うするまで続くのである。人生とは、いわば異なる個性との共存である。個性が異なれば、そこから衝突や誤解が生じ、人間関係に支障を及ぼすこともしばしばである。

本講義では個と、個の集合体である「社会」を心理学的側面から理解していくことを目的とする。本講義を通じ、少しでも心理学の世界に興味を持って頂ければ幸いである。

講義の内容・授業スケジュール

パーソナリティ、学習心理学、集団・社会心理学、臨床心理学、生涯発達心理学等を講義する予定である。

履修上の留意点

短期間で集中的に行われる講義なので、主体的に講義に参加できる姿勢が望まれる。受動的にしか参加できない学生には、本講義の性質は不向きであろう。

成績評価の方法

講義最終日に行われる筆記試験と、出席率による総合評価。

教科書

特に指定しない。

参考書等

重野純『キーワードコレクション 心理学』（新曜社）1994年  
中村昭二『心理学概説』（八千代出版）1982年

その他

授業日程：7月31日～8月3日・6日・7日、1～5時限

科目名	総合I【1〔仏教と自然〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	よつや、こうどう 四津谷 孝道				

### 講義のねらい

「エコロジー」というものが、大きな社会的な且つ学問的な課題になって久しいが、仏教学の分野においても「エコロジー」との関連ですでに多くの研究が蓄積されつつある。本講座では、それらの研究を参照しながら、具体的テーマに焦点をしばりながら、「仏教と自然」に関する検討を進めてゆきたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

今年度は、「肉食と菜食主義」というテーマを、仏教を中心としたインド思想全体の中で検討する。授業は、以下のようなテーマの下で進めていく。

インドの宗教（バラモン教）の基本的な理解  
 インドの宗教（仏教・ジャイナ教）の基本的な理解  
 肉食と菜食主義（概観）  
 ヴェーダ時代の肉食思想と菜食主義  
 祭式にみる肉食思想と菜食主義  
 バラモン教にみる肉食思想と菜食主義  
 輪廻・解脱と肉食・菜食主義（1）  
 輪廻・解脱と肉食・菜食主義（2）  
 インドの法典に示された肉食と菜食主義  
 パーリ仏教聖典に示された肉食と菜食主義  
 三種浄肉（1）  
 三種浄肉（2）  
 仏教の戒律にみる肉食と菜食主義（1）  
 仏教の戒律にみる肉食と菜食主義（2）  
 植物は生き物か（1）  
 植物は生き物か（2）  
 大乘仏教における非肉食思想（1）  
 大乘経典における非肉食思想（2）  
 如来蔵・仏性思想と非肉食思想  
 慈悲と菜食主義  
 宮沢賢治（1）  
 宮沢賢治（2）  
 聖なる牛と不浄なる豚  
 ディープ・エコロジー（1）  
 ディープ・エコロジー（2）

総合分野

### 履修上の留意点

特になし。

### 成績評価の方法

学年末の試験。

### 教科書

授業において適宜に配付する。

### 参考書等

必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

科目名	総合I【2〔仏教と社会〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	くまもと えいじん 熊本 英人				

総合分野

講義のねらい	日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。
講義の内容・授業スケジュール	<p>社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。</p> <p>仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。生死、人権、女性、家族、平和といったキーワードから、仏教の立場、仏教の功罪、仏教への期待などをみていくことで、現代社会への問題提起を行いたい。</p>
履修上の留意点	出席を重視する。
成績評価の方法	適宜レポートを課す。年度末の筆記試験と合わせて評価する。
教科書	適宜プリントで配布する。
参考書等	講義の中で随時紹介する。

科目名	総合I【3〔仏教と芸術〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	むらまつ てつふみ 村松 哲文				

講義のねらい

本講義では、仏教美術の誕生から伝播について、インド・西域・中国・朝鮮半島の仏像・仏画をスライドを写して概観する。同じモチーフが時代や地域によって変化してゆく過程を、歴史的な背景と照らし合わせながら考察してゆく。講義を通して、信仰が生み出した深遠なる美の表現を眼と心で会得してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕  
 仏教美術の世界（1～2）  
 インドの仏教美術（3～5）  
 西域の仏教美術（6～8）  
 初期の敦煌石窟（9～11）  
 後期の敦煌石窟（12～15）

〔後期〕  
 炳靈寺石窟（16～17）  
 麦積山石窟（18～20）  
 雲岡石窟（21～23）  
 龍門石窟（24～27）  
 朝鮮三国の仏教美術（28～30）

以上は予定で、講義の合間に特定の意匠（仏像の胸飾・宝冠・袈裟など）についても考察する。

履修上の留意点

博物館・美術館で開催される仏教美術関係の展覧会には、積極的に足を運ぶこと。

成績評価の方法

出席率・レポート・授業態度・定期試験などを総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

講義中に適宜参考書を紹介する。

科目名	総合II【1〔駒澤大学の歴史〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴史外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	<small>くまもと ふみお おおしろ みちのり こいずみ まさひろ ささき まこと すきやま きよひこ ひろせ りょうこう</small> 熊本 史雄・大城 道則・小泉 雅弘・佐々木 真・杉山 清彦・廣瀬 良弘				

総合分野

講義のねらい

本講義では、スライドや写真資料などを豊富に織り交ぜながら、駒澤大学の歴史につき概述します。

駒澤大学は、平成14年（2002）に「開学120周年」を迎えました。これは、駒澤大学の前身・曹洞宗大学林専門学本校が設置された、明治15年（1882）を起点としたものです。しかし、駒澤大学の起源は遠く戦国時代の終わり、文禄元年（1592）にまでさかのぼることができます。その年、曹洞禅の研究と漢学の振興を目的として、「学林」が開かれました。実に415年前の話になります。“日本一古い大学”と形容される所以です。最近では、駅伝や野球、サッカー、空手と、スポーツ部門でもその名を轟かせている駒澤大学ですが、こうした古くからの伝統と学風も、現在の駒澤大学に受け継がれている大事な要素です。

本講義を通じて、駒澤大学の歴史を学ぶとともに、“駒澤スピリット”を感じ取り、“駒澤アイデンティティ”を形成して下さい。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期：1. 授業計画とガイダンス  
 2. 道元と曹洞宗  
 3. 永平寺と総持寺  
 4. 吉祥寺旃檀林の誕生  
 5. 学寮での厳しい修行  
 6. 学寮から学校へ  
 7. 明治政府の宗教・教育政策  
 8. 曹洞宗大学の発足  
 9. 日ヶ窪から駒沢へ  
 10. 大学令と「駒澤大学」の誕生  
 11. 「大正教養主義」と駒大生  
 12. 「禅文化歴史博物館」の見学
- 後期：13. 「郊外」の誕生と駒大 ～玉電の開通と世田谷の発展～  
 14. 戦時下の駒大 ～学徒動員と学徒出陣～  
 15. 世界の大学との比較① ～古代エジプトの教育～  
 16. 世界の大学との比較② ～ヨーロッパの大学 宗教機関から世俗機関へ～  
 17. 世界の大学との比較③ ～中国における科挙制度～  
 18. 世界の大学との比較④ ～中国の近代化構想と教育～  
 19. 占領政策と新制大学の設立  
 20. 東京オリンピックと駒大  
 21. 駒大の名物教授／駒大図書館所蔵の貴重書・稀覯本  
 22. 学生運動／部活動  
 23. スポーツにみる駒大の躍進 ～駅伝・野球・サッカー～  
 24. 国際交流における駒澤大学 ～留学・学術交流～

履修上の留意点

4年間を過ごすことになる駒澤大学のことを、広く、深く知って下さい。駒澤大学に対する理解と愛着が深まることを願っています。

成績評価の方法

学年末の期末試験。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	総合II【2〔自然観察入門富浦をめぐる人と自然〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴史外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	<small>しみず よしかず りんしほら かずこ おざわ まこと おだか しゅういち さかひらい くにお しのはら まさお</small> 清水 善和・漆原 和子・小沢 誠・小高 昭一・坂野井 和代・桜井 邦夫・篠原 正雄・ <small>やなぎさわ のりお やまがた たけし</small> 柳澤 紀夫・山縣 毅				

総合分野

講義のねらい

教場での通常の講義では、自然の現物を示せないもどかしさがある。自然を理解するためには、自然を観察し、データをとり、解析し、結果を出すという科学的な研究手法の一部を実体験することが重要だからである。一方、我々の身近に接する自然は、生の自然ではなく、人間の営みの内にある自然である。ある地域の自然を総合的に理解するためには、自然をめぐる歴史的、地理的な背景を知る必要がある。本科目では、まず、前期半期で植物、鳥類、地形・地質、天体、環境などの観察やデータ処理の方法を紹介する。一部の講義では大学キャンパスや駒沢公園を利用した実習も行う。次に、夏休み中（7月下旬）に房総半島の富浦にある駒澤大学富浦セミナーハウスにて、4泊5日の泊り込みの集中講義と野外実習を行い、富浦周辺の自然をトータルに理解することを試みる。夜には天体望遠鏡を用いて天体観測の実習も行う。これらの講義や実習を通して、自然の見方、接し方、自然科学的な考え方の基本を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容で前期の講義と夏休みの富浦での実習を行う。内容に応じて9名の教員が交代しながら講義と実習を担当する。なお、後期の講義はない。

- 前期（半期）：本校での講義（一部実習を含む）
  - (1) ガイダンス（抽選）、(2) 自然観察の方法、(3) 植物の観察1、(4) 植物の観察2、(5) パードウォッチング1、(6) パードウォッチング2、(7) 地球科学的な見方1、(8) 地球科学的な見方2、(9) 地球環境の見方1、(10) 地球環境の見方2、(11) 天体観測の方法1、(12) 天体観測の方法2、(13) 富浦実習に向けて
- 富浦での講義と実習：7月16日（月）午後—20日（金）午前（4泊5日）  
午前の講義、午後の実習（植物、地形・地質、地理・歴史）、夜の天体観測など。

履修上の留意点

- 前期半期の講義と夏休み中の実習の両者を合わせて単位を認定するので、富浦の実習に参加できない人は履修できない。前期の講義に毎回欠かさず出席し、夏休み中の実習に参加する人のみ履修すること。また、本科目を9月卒業のための単位に加えることはできないので注意すること。
- 富浦への旅費とセミナーハウスの宿泊費（1泊4000円×4日）は学生の自己負担とする。
- 実習を伴う科目の性格上、履修人数の上限を30名とする。4月の初回の講義で詳しいガイダンスを行い、履修希望者が定員を越える場合には、その場で抽選を行うので、履修希望者は必ず初回の講義に出席すること。

成績評価の方法

合計9名の教員が分担して講義と実習を行うので、各教員が適宜、レポート、小テストなどを課して評価を行う。また、富浦の実習については、現地での実習をふまえた総合的なレポートを課す。以上の評価点と出席点とを合算して最終的な成績の判定を行う。なお、科目の性格上、追試は行わない。

教科書

特になし。各教員が必要に応じてプリント等を配布する。

参考書等

各教員が必要に応じて紹介する。

その他

定員30名を越える希望者がある場合は抽選を行うので、履修希望者は必ず4月の初回講義に出席すること。

科目名	総合III【1〔人権と社会問題〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選				
担当者名	ピアス, D. M.				

講義のねらい

This being the most advanced English course available, its first intention is to prepare for studying abroad; it should provide an approximate experience of what it is like to attend a university-level course in a foreign country. Students will not study English, but study something else in English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, controversial, and intellectual levels. Emphasis is placed on learning to converse intelligently, that is, to communicate thought in spoken language. Time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

講義の内容・授業スケジュール

SCHEDULE OF TOPICS

CLASS 1 rights	CLASS 16 abortion
CLASS 2 rights	CLASS 17 abortion
CLASS 3 rights	CLASS 18 abortion
CLASS 4 income	CLASS 19 racism
CLASS 5 income	CLASS 20 racism
CLASS 6 income	CLASS 21 racism
CLASS 7 income	CLASS 22 racism
CLASS 8 feminism	CLASS 23 suicide
CLASS 9 feminism	CLASS 24 suicide
CLASS 10 feminism	CLASS 25 suicide
CLASS 11 feminism	CLASS 26 suicide
CLASS 12 euthanasia	CLASS 27 war
CLASS 13 euthanasia	CLASS 28 war
CLASS 14 euthanasia	CLASS 29 war
CLASS 15 euthanasia	CLASS 30 war

履修上の留意点

ATTENDANCE: Attendance and active participation are vital; only practice improves English. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

EXAMINATIONS: Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

GRADING: Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, TAKE SOME OTHER COURSE. In this class you will be speaking English all the time. Your final grade depends 70% on your class performance. Attendance is extremely important, whereas examinations have minor effect on the final grade. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A," because final grade is relative to his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

Textbook and materials: We will probably use Sociology, Economics, Political Science,

教科書

Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	総合III【2〔欧米の教育と日本の教育〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選				
担当者名	おかさき としいちろう 岡崎 寿一郎				

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

総合分野



科目名	総合Ⅲ【3〔フランス現代文化史〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商法A 政営A 放選				
担当者名	くわた のりあき 桑田 禮彰				

講義のねらい

フランスにおける現代（特に第2次大戦後）の文化の歴史を概観します。

講義の内容・  
授業スケジュール

ここで扱う「文化」とは、文学（バタイユ、ブランシヨ他）、演劇（アルトー、ジュネ、イヨネスコ他）、美術（ピカソ、セザンヌ、ジャコメッティ、スタール他）、音楽（ブーレーズ他）、映画（ゴダール他）などの芸術にとどまらず、哲学（サルトル、メルロ＝ポンティ、フーコー、ドゥルーズ他）、精神分析（ラカン他）、人類学（レヴィ＝ストロース他）、歴史学（ブローデル他）、社会学（バルト他）などの学問も含まれます。

講義では、時の流れに沿って過去から現在へ向かいながら、こうした文化界における重要な具体的事件（哲学書出版、芝居公演、美術展など）を取り上げ、当時の政治・社会的背景の上に位置付けてみます。一方では個々の文化的事件をできるかぎり具体的に追いつつ、他方ではフランス現代文化全体を大きな流れとして提示し、そこから「知識人」「戦争」「消費社会」「芸術と政治」「ニヒリズム」などの問題を考えて行きます。

もちろん「フランス現代」という時空枠は暫定的なもので、講義はこの枠をはみ出します。たとえば、この時代のフランス文化はドイツ文化の大きな影響のもとにあり、現代の「知識人」のフランス的性格を考えるためには歴史を遡る必要もあります。

尚、この講義は、Jean-Paul Aron, Les modernes, Gallimard, 1984 を下敷にします。

履修上の留意点

履修者にフランス語の知識は必要ありません。

成績評価の方法

学年末試験

教科書

特に指定しません。

参考書等

講義で指示します。

科目名	総合Ⅳ【1〔現代アメリカ事情〕】	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商法A 政営A 放選				
担当者名	はやし あきと 林 明人				

講義の内容・  
授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill 等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

履修上の留意点

遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の出入りは認めません。

成績評価の方法

①試験、②レポート、③出席で総合評価するが、出席は3分の2を越えていなければならない。出席以外のそれぞれの評価が一つでも4割に満たない場合は単位を認めない。

教科書

プリントを配布します。

科目名	総合Ⅳ【2〔シアトル市のNPOとまちづくり〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選				
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子				

#### 講義のねらい

前期はアメリカのシアトルを中心にNPO,NGO（非営利組織）におけるまちづくり（コミュニティビルディング）、後期の前半は日本の神奈川県を中心に発達しつつあるNPO間のネットワークについて考察する。後期後半はインドにおけるNGO,NPOについて考察する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

前期：アメリカの非営利組織と日本の非営利組織との違い  
 コミュニティ・ビルディングとNPO  
 シアトルのまちづくり  
 シアトル・アジア系住民のまちづくりとNPO  
 アメリカにおける移民とNPO  
 自治体とNPOの協働について：日本との比較  
 神戸市・横浜市、川崎市などの事例研究  
 後期：日本のNPO,インドのNPO,NGO  
 日本のまちづくり政策とNPO  
 世田谷区のまちづくりとNPO  
 まちづくり協議会とNPO  
 神奈川県・横浜市におけるNPOと外国人労働者  
 インド社会概観  
 インド社会とNGO  
 南インドのNGOとコミュニティビルディング  
 行政とNPO,NGOのかかわり：タミルナードゥ州、ケーララ州などを事例として。

#### 履修上の留意点

インターネットによる資料調査をおこなう。またビデオなども使用。受講人数制限あり。学内で使用するコンピュータ用IDを必ず取得しておくこと。

#### 成績評価の方法

平常点（出席率、レポート内容）重視。

#### 教科書

『草の根NPOのまちづくり：シアトルからの挑戦』（勁草（けいそう）書房）、その他。

#### 参考書等

教場で指定（インターネットサイトなど。）

#### その他

ゲストレクチャーを後期に2回予定している。

科目名	総合Ⅳ【3〔ポスト・モダンの世界〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A放選				
担当者名	丸小 <sup>まるこ</sup> 哲雄 <sup>てつお</sup>				

### 講義のねらい

本講座は、総合科目と専門科目の「あいまいな」通路を拓き、運動していくことが狙いである。「いい大学を出て、大企業に就職する」という「幸福な方程式」から絶対に避けることのできない遇有的な不確実性にどうのように対応するかという「人生の方程式」に向けて講義してゆく。そこで「いま・ここ」における社会現象に向き遇って問題意識を高めてもらうために、「生活知」（人間の時間）と「世界知」（科学の時間）を、つまり「熱い知」と「冷たい知」を結び付けて、その中間にあるあいまいな生の「遇有性」（不確実の時代）のダイナミズムを自分の主体的な「生活知」のなかで生かせるように講義を進める。

講義の狙いは、「近代化とは何か」を問うために、「ポストモダンの世界」を開き、モダン近代化批判する主体的な能力を育むことで現代文明の本質を捉え直すことにある。ここには近代化批判による現代文明論と主体性の確立という二つの大きな特徴がある。一つ目の特徴は、近代化における科学観・社会観・人間観を構造的・思想的に見直しするために、近代知の権力の座（特権化された場）を移動・転倒させ、固定概念の構造をこじ開けることである。二つ目の特徴は、聴講生自らが近代知批判の複眼的な思考や答えに逢着する過程のなかで、自ら置かれている現状を対象化（＝他者）して、日常世界にそれを重ね合わせて、「自分の居場所探し」（主体性の確立）を確保することである。

総合分野

### 講義の内容・授業スケジュール

社会的な問題（現象）を取り上げてコメントし、問題点を指摘して、モダン（近代史）とポストモダン（現代史）のズレとその課題を認識するために、クラス外では文庫本・新書版の読書課題もありますが、本講義の骨子は以下の通りです。

- 1) 総合Ⅳの性格と意義
- 2) 現代という時代の捉え方
- 3) 「プリモダン」・「モダン」と「ポストモダン」という言葉の定義と時代認識の問題
- 4) ルネッサンス以後の人間観・宇宙観・社会観の思想的な変遷
- 5) 言語の恣意性：ラングとパロール（ソシユールの言語観など）
- 6) モダンとポストモダンにおけるヴィジュアル系の変遷：建築の変遷、広告及び世界万博の変遷、エロスの変遷、ファッション・モードの変遷など。
- 7) 理性批判の整理：思想史の観点（ポストモダン）からモダン批判
  - ① プレモダン・モダンという近代史（ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクスなど）
  - ② モダン思想的批判の源泉（ニーチェ・フランクフルト学派・ハイデガーなど）
  - ③ 合理性と非合理性理の問題（マックス・ヴェーバーなど）
  - ④ モダン批判：外部の力と内部の力（ミッシェル・フーコーなど）
- 8) ポストモダンを乗り越えるための主体性の問題
- 9) レヴュー：アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対する批判

### 履修上の留意点

私語厳禁

### 成績評価の方法

平常クラスでの発表（出席率と質疑応答）、前期と後期のリーディング・テスト課題、学年末に提出するターム・ペーパー

### 教科書

- ・プリント使用：読書課題のリスト配布（レポート作成方法、提出日、提出場所も指示）
- ・多くのプリントを配布しますので、そのファイル用具を用意すること

### 参考書等

講義のときに、随時指示します。

科目名	総合VI【1〔民族とは何か〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	おのの 祐二 大野 祐二				

## 講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

## 講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論（文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など）についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

## 履修上の留意点

講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとりまします。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

## 成績評価の方法

前後期の定期試験（またはレポート）、および小テストで評価します。

## 教科書

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

## 参考書等

原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』（筑摩書房）  
吉野耕作著『文化ナショナリズムの社会学』（名古屋大学出版会）  
李孝徳著『表象空間の近代』（新曜社）

科目名	総合VI【2〔イスラム〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	よした 京子 吉田 京子				

## 講義のねらい

本講義は、イスラームの基本的理念、信仰上の儀礼、日常の規定、宗教思想などについて、概論的講義を行い、初歩的なイスラームの知識を提供するものである。

## 講義の内容・授業スケジュール

- ①イスラームの預言者ムハンマド
  - ②イスラームの啓典クルアーン
  - ③イスラームの世界観
  - ④イスラームの実践
  - ⑤イスラームの分派
  - ⑥イスラーム神秘主義
- これらの項目を各2～3回ずつ行う予定。

## 履修上の留意点

授業中の疑問点やコメント回答を毎回提出してもらい、それらに対する返答を習得行う。

## 成績評価の方法

毎回提出のコメント用紙を出席表とする。出席率（3分の2以上）と試験による総合評価。

科目名	総合VI【3〔フェミニズム・ジェンダー〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	はやかわ のりよ 早川 紀代				

### 講義のねらい

この世のなかには、男性と女性、女性と男性の両性から成りたっています。この両性の関係は私たちの社会の中で、どんな風に構成されているだろうか。男も女も人間らしくいきいきとすることができる両性関係はどんな関係だろうか。私たちが理想とする両性関係をどんな風にしてつづけていったらよいか、皆さんとともに考えます。

### 講義の内容・授業スケジュール

#### 前期

- a. ジェンダーってなに？  
フェミニズムやジェンダーという考え方が生まれた歴史背景と私たちがもっている女らしさ、男らしさの内容を考えます。
- b. 労働とジェンダー  
企業の雇用戦略が大変貌をとげている現在、男女の企業における配置はどのようになっているか、その原因はなにか、雇用機会均等法は機能しているか、家族と労働生活は両立できるのか、など、私たちが直面している問題を考えます。

#### 後期

- c. 家族とジェンダー  
皆さんの来歴をたどりながら、現在の家族の変貌、そこからでてくる問題をとりあげ、未来の家族像を考えます。恋愛や結婚、夫妻、親子の歴史を簡単に古代からふりかえりながら、私たちの将来像を考えます。
- d. セクシュアリティとジェンダー  
今日程、性のありかたが多様になって、変化している時代はないでしょう。性同一障害やホモセクシャルな関係、性暴力の問題など、人間の性のありかたを考えます。

### 履修上の留意点

毎回ではありませんが、感想や意見を書いてもらいます。それが出席評価になりますから、就職活動や病気などを除いて欠席しないこと。

### 成績評価の方法

出席回数、夏休みレポート、後期期末試験（論述）によって成績評価する。講義の内容がいかされているかが評価の基準になる。

### 教科書

教科書は使用しない。

### 参考書等

資料を随時配布する。

### その他

授業は講義、討論、映画鑑賞をふくむ。

科目名	総合VII【1〔トラブルと法的解決〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政営A選				
担当者名	<small>たかはし ひろき かわぐち ゆきみ たけなか ちか ほらだ けいいちろう ふじもと しげる まつむら いたる</small> 高橋 洋城・川口 幸美・竹中 智香・原田 啓一郎・藤本 茂・松村 格				

#### 講義のねらい

日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。

法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

第1回目の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。

担当教員の順番や講義内容は、KOMSY内の「詳細情報画面」を参照すること。各領域3回から4回を予定している。ここでは、各担当教員のテーマを上げるに止める。

- 1 高橋 洋城      トラブルが法の問題になるとき
- 2 川口 幸美      現代社会と商法
- 3 藤本 茂        現代雇用社会と労働法
- 4 原田啓一郎    大学生生活と社会保障の法的トラブル
- 5 竹中 智香      変化する市民生活と民法
- 6 松村 格        刑事事件と法定手続

#### 履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。

#### 成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当回数の中で実施する試験（担当教員により、担当枠の最後に試験を実施する場合や毎回小テストを実施する場合がある）の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。

担当教員が実施する試験を2回以上欠席（不受験）した場合には、全体の評価が0点となり、その時点で単位取得が不可能になるので注意して欲しい。

追試験は、講義の形態上、行わない。

#### 教科書

特に指定しない。

#### 参考書等

各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。六法は毎回忘れずに、持参すること。

科目名	総合VII【2〔都市論〕】	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商法A政管A選				
担当者名	<small>うらうみ まり</small> <small>うらた さなえ</small> <small>さかい あや</small> <small>はやかわ よしき</small> <small>ほりうち やすし</small> 内海 麻利・浦田 早苗・坂井 文・早川 純貴・堀内 康史				

### 講義のねらい

大都市は多様な問題が集積する場である。過密化と空洞化、犯罪、失業、ゴミ問題、再開発、国際化など。しかしこれらは、独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にはかならない。都市の現状を政治学あるいは社会や建築及び都市計画学の観点から概観し、その将来を考える。

### 講義の内容・授業スケジュール

5名の講師により、各々4回又は6回の講義を担当する。その順序、時期と講義内容については以下の通り。

- 内海麻利『都市論』ガイダンス（1回：4月）
- 内海麻利「都市計画制度とその動向」（4回：4月・5月）  
都市の物的な計画、実現手段である都市計画制度は、土地利用や道路・公園等の都市施設整備、市街地開発など、都市を形成するための様々なルールや仕組みを提供してきた。本講義では、社会情勢を踏まえ着目すべき都市計画制度を概観するとともに、その動向に見られるまちづくりのあり方を考える。
- 早川純貴「まちづくりと住民参加」（4回：5月・6月）  
いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。
- 浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」（4回：6月・7月）  
イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、居住などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。
- 堀内康史「都市とコミュニティ」（6回：9月・10月）  
都市を社会学的な視点からとらえ、都市における人間関係（あるいはコミュニティ）を中心に見ていく。都市化とコミュニティの変化、社会階層とコミュニティの関係、グローバリゼーションとコミュニティの変化、などのテーマを考察していく。
- 坂井 文「都市を公共空間から読む」（6回：11月・12月）  
都市の形成とともに、広場や公園などの近代公共空間は形成されてきた。公園の誕生にとともに、伝統的な都市空間の社会的な意味はどう変化してきたのだろうか。ロンドンと江戸・東京の都市の歴史を振り返り、また現在の政策を考察しながら、都市における公共空間のあり方を考える。

### 履修上の留意点

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。

### 成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判断し、それらを内海が総合して評価する。

### 3. 外国語科目



### 3. 外国語科目

〔英語〕

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語IA	金2	国1必	通年	2	井出 功一	209
英語IA	金2	国1必	通年	2	安齋 薫	209
英語IA	金2	国1必	通年	2	池上 賀英子	210
英語IA	金2	国1必	通年	2	渡部 孝治	210
英語IA	金2	英1必	通年	2	太田 雅子	211
英語IA	金2	英1必	通年	2	清水 雅夫	211
英語IA	金2	英1必	通年	2	山口 晃	212
英語IA	金2	英1必	通年	2	植村 恵子	212
英語IA	金3	地文1必	通年	2	井出 功一	213
英語IA	金3	地文1必	通年	2	古富 猛	213
英語IA	金3	環境1必	通年	2	渡部 孝治	214
英語IA	金3	環境1必	通年	2	塚本 利男	214
英語IA	水4	日1必	通年	2	水崎 野里子	215
英語IA	水4	日1必	通年	2	岩屋 玉江	215
英語IA	水4	日1必	通年	2	外池 一子	216
英語IA	水4	外1必	通年	2	真砂 久晃	216
英語IA	水4	外1必	通年	2	三芳 康義	217
英語IA	水4	考1必	通年	2	澤田 真弓	217
英語IA	金3	社1必	通年	2	木村 正俊	218
英語IA	金3	社1必	通年	2	山口 晃	218
英語IA	金3	福1必	通年	2	永野 光一	219
英語IA	金3	福1必	通年	2	植村 恵子	219
英語IA	金3	福1必	通年	2	池上 賀英子	220
英語IA	金3	心1必	通年	2	岩永 祥恵	220
英語IA	金3	心1必	通年	2	太田 雅子	221
英語IA	金3	心1必	通年	2	風間 則比古	221
英語IA 【〔基礎英語特別クラス〕】	木5	禅仏国英地文環境日外考1必	通年	2	大庭 直樹	222
英語IA 【〔基礎英語特別クラス〕】	土1	社福心1必	通年	2	吉沢 栄治郎	222
英語IB	月1	国1必	通年	2	尾形 重政	223
英語IB	月1	国1必	通年	2	国見 晃子	223
英語IB	月1	国1必	通年	2	高橋 明子	224
英語IB	月1	国1必	通年	2	増田 恵子	224
英語IB	月4	英1必	通年	2	尾形 重政	225
英語IB	月4	英1必	通年	2	三芳 康義	225
英語IB	月4	英1必	通年	2	増田 恵子	225
英語IB	月4	英1必	通年	2	依田 里花	226
英語IB	月2	地文1必	通年	2	依田 里花	226
英語IB	月2	地文1必	通年	2	尾形 重政	227
英語IB	月2	環境1必	通年	2	増田 恵子	227
英語IB	月2	環境1必	通年	2	本間 章郎	228

外国語

外国語

英語IB	月3	日1必	通年	2	高橋 佳江	228
英語IB	月3	日1必	通年	2	高橋 明子	229
英語IB	月3	日1必	通年	2	国見 晃子	229
英語IB	月3	外1必	通年	2	三芳 康義	230
英語IB	月3	外1必	通年	2	本間 章郎	230
英語IB	月3	考1必	通年	2	前田 脩	231
英語IB	月4	社1必	通年	2	高橋 佳江	231
英語IB	月4	社1必	通年	2	小泉 和弘	232
英語IB	月1	福1必	通年	2	依田 里花	232
英語IB	月1	福1必	通年	2	岡崎 寿一郎	233
英語IB	月1	福1必	通年	2	本間 章郎	233
英語IB	月2	心1必	通年	2	高橋 明子	234
英語IB	月2	心1必	通年	2	岡崎 寿一郎	234
英語IB	月2	心1必	通年	2	国見 晃子	235
英語IB【〔基礎英語特別クラス〕】	月4	国英地文環境日外考社福心1必	通年	2	前田 脩	235
英語IIA	金5	国2年	通年	2	杉本 誠	236
英語IIA	金5	国2年	通年	2	木村 正俊	236
英語IIA	金5	国2年	通年	2	岩永 祥恵	237
英語IIA	金5	国2年	通年	2	狩野 晃一	237
英語IIA	木5	英2必	通年	2	古富 猛	238
英語IIA	木5	英2必	通年	2	手島 敬子	238
英語IIA	木5	英2必	通年	2	加藤 佐和子	239
英語IIA	木5	英2必	通年	2	岸本 茂和	239
英語IIA	月3	地文2年	通年	2	田中 保 狩野 晃一	240
英語IIA	月3	地文2年	通年	2	小布施 圭佐三	240
英語IIA	月3	環境2年	通年	2	太田 美智子	241
英語IIA	月3	環境2年	通年	2	江田 幸子	241
英語IIA	月3	日2年	通年	2	大淵 利春	242
英語IIA	月3	日2年	通年	2	安齋 薫	242
英語IIA	月3	日2年	通年	2	濱口 真木	243
英語IIA	月3	外2年	通年	2	佐藤 江里子	243
英語IIA	月3	考2年	通年	2	松堂 啓子	244
英語IIA	木4	社2必	通年	2	町田 成男	244
英語IIA	木4	社2必	通年	2	堀 千和子	245
英語IIA	木4	心2必	通年	2	尾上 典子	245
英語IIA	木4	心2必	通年	2	岡本 誠	246
英語IIA	木4	心2必	通年	2	加藤 佐和子	246
英語IIB	月3	国2年	通年	2	高見 陽子	247
英語IIB	月3	国2年	通年	2	岩井 洋美	247
英語IIB	月3	国2年	通年	2	山口 晃	248
英語IIB	月3	国2年	通年	2	吉沢 栄治郎	248
英語IIB	月3	英2必	通年	2	澤田 真弓	249
英語IIB	月3	英2必	通年	2	菅原 典子	249
英語IIB	月3	英2必	通年	2	伊藤 美代子	250
英語IIB	月3	英2必	通年	2	甲斐 捷子	250

英語IIB	木5	日2年	通年	2	狩野 晃一	251
英語IIB	木5	日2年	通年	2	濱口 真木	251
英語IIB	木5	日2年	通年	2	落合 真裕	251
英語IIB	木5	外2年	通年	2	町田 成男	252
英語IIB	木5	考2年	通年	2	近藤 真彰	252

【ドイツ語】

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
ドイツ語IA	火3	国地文環境社福心1年	通年	2	杉本 正俊	253
ドイツ語IA	火3	国地文環境社福心1年	通年	2	松岡 晋	253
ドイツ語IA	火3	国地文環境社福心1年	通年	2	薮下 紘一	254
ドイツ語IA	火4	英日外考1年	通年	2	松岡 晋	254
ドイツ語IA	火4	英日外考1年	通年	2	薮下 紘一	255
ドイツ語IB	土2	国地文環境社福心1年	通年	2	岡本 時子	255
ドイツ語IB	土2	国地文環境社福心1年	通年	2	薮下 紘一	255
ドイツ語IB	土2	国地文環境社福心1年	通年	2	松岡 晋	256
ドイツ語IB	土1	英日外考1年	通年	2	松岡 晋	256
ドイツ語IB	土1	英日外考1年	通年	2	岡本 時子	257
ドイツ語IIA	月3	国地文環境日外考商政営A 2年	通年	2	柴野 博子	257
ドイツ語IIA	月3	国地文環境日外考商政営A 2年	通年	2	飯塚 公夫	258
ドイツ語IIA	水3	禅仏英経A法A2年	通年	2	柴野 博子	258
ドイツ語IIA	水3	禅仏英経A法A2年	通年	2	本橋 右京	259
ドイツ語IIB	水2	国日外考商政2年	通年	2	薮下 紘一	259
ドイツ語IIB	水2	国日外考商政2年	通年	2	森 公成	259

〔フランス語〕

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
フランス語IA	火3	国地文環境社福心1年	通年	2	小玉 齊夫	260
フランス語IA	火3	国地文環境社福心1年	通年	2	遠山 博雄	260
フランス語IA	火3	国地文環境社福心1年	通年	2	出口 雅敏	261
フランス語IA	火4	英日外考1年	通年	2	佐藤 久美子	261
フランス語IA	火4	英日外考1年	通年	2	今関 アン	262
フランス語IB	土2	国地文環境社福心1年	通年	2	桑田 禮彰	262
フランス語IB	土2	国地文環境社福心1年	通年	2	浜崎 設夫	263
フランス語IB	土2	国地文環境社福心1年	通年	2	遠山 博雄	263
フランス語IB	土1	英日外考1年	通年	2	桑田 禮彰	264
フランス語IB	土1	英日外考1年	通年	2	前田 祝一	264
フランス語IIA	月3	国地文環境日外考商政営A 2年	通年	2	遠山 博雄	265
フランス語IIA	月3	国地文環境日外考商政営A 2年	通年	2	前田 祝一	265
フランス語IIA	水3	禅仏英経A法A2年	通年	2	小玉 齊夫	266
フランス語IIA	水3	禅仏英経A法A2年	通年	2	遠山 博雄	266
フランス語IIB	水2	国日外考商政2年	通年	2	畑中 千晶	267
フランス語IIB	水2	国日外考商政2年	通年	2	小玉 齊夫	267

## 〔中国語〕

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
中国語IA	火 3	国地文環境社福心1年	通年	2	布施 直子	269
中国語IB	土 2	国地文環境社福心1年	通年	2	下出 宣子	
中国語IA	火 3	国地文環境社福心1年	通年	2	小栗山 恵	270
中国語IB	土 2	国地文環境社福心1年	通年	2	徳間 佳信	
中国語IA	火 3	国地文環境社福心1年	通年	2	工藤 早恵	270
中国語IB	土 2	国地文環境社福心1年	通年	2	布施 直子	
中国語IA	火 3	国地文環境社福心1年	通年	2	本間 由香利	271
中国語IB	土 2	国地文環境社福心1年	通年	2	曹 泰和	
中国語IA	火 3	国地文環境社福心1年	通年	2	塩旗 伸一郎	271
中国語IB	土 2	国地文環境社福心1年	通年	2	塩旗 伸一郎	
中国語IA	火 3	国地文環境社福心1年	通年	2	吉田 建一郎	272
中国語IB	土 2	国地文環境社福心1年	通年	2	佐藤 普美子	
中国語IA	火 4	英日外考1年	通年	2	布施 直子	272
中国語IB	土 1	英日外考1年	通年	2	下出 宣子	
中国語IA	火 4	英日外考1年	通年	2	本間 由香利	273
中国語IB	土 1	英日外考1年	通年	2	本間 由香利	
中国語IA	火 4	英日外考1年	通年	2	工藤 早恵	273
中国語IB	土 1	英日外考1年	通年	2	張 渭涛	
中国語IA	火 4	英日外考1年	通年	2	小栗山 恵	274
中国語IB	土 1	英日外考1年	通年	2	徳間 佳信	
中国語IA	火 4	英日外考1年	通年	2	佐藤 普美子	274
中国語IB	土 1	英日外考1年	通年	2	佐藤 普美子	
中国語IA	火 4	英日外考1年	通年	2	塩旗 伸一郎	275
中国語IB	土 1	英日外考1年	通年	2	塩旗 伸一郎	
中国語IIA	月 3	国地文環境日外考商政営A2年	通年	2	橋本 幸枝	275
中国語IIA	月 3	国地文環境日外考商政営A2年	通年	2	福地 桂子	276
中国語IIA	月 3	国地文環境日外考商政営A2年	通年	2	児島弘一郎	276
中国語IIA	月 3	国地文環境日外考商政営A2年	通年	2	弘兼 加奈子	277
中国語IIA	月 3	国地文環境日外考商政営A2年	通年	2	江林 英基	277
中国語IIA	水 3	禅仏英経A法A2年	通年	2	秋元 翼	277
中国語IIA	水 3	禅仏英経A法A2年	通年	2	児島弘一郎	278
中国語IIA	水 3	禅仏英経A法A2年	通年	2	李 雲	278
中国語IIA	水 3	禅仏英経A法A2年	通年	2	岩崎 皇	279
中国語IIB	水 2	国日外考商政2年	通年	2	根岸 政子	279
中国語IIB	水 2	国日外考商政2年	通年	2	秋元 翼	280
中国語IIB	水 2	国日外考商政2年	通年	2	岩崎 皇	280
中国語IIB	水 2	国日外考商政2年	通年	2	児島弘一郎	281

## 〔スペイン語〕

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
スペイン語IA	火3	国地文環境社福心1年	通年	2	佐藤 佐知	282
スペイン語IA	火3	国地文環境社福心1年	通年	2	ルイズティノ コ、C.	282
スペイン語IA	火3	国地文環境社福心1年	通年	2	亀山 晃一	283
スペイン語IA	火3	国地文環境社福心1年	通年	2	上野 勝広	283
スペイン語IA	火4	英日外考1年	通年	2	佐藤 佐知	284
スペイン語IA	火4	英日外考1年	通年	2	ルイズティノ コ、C.	284
スペイン語IB	土2	国地文環境社福心1年	通年	2	佐藤 麻里乃	285
スペイン語IB	土2	国地文環境社福心1年	通年	2	米田 博美	285
スペイン語IB	土2	国地文環境社福心1年	通年	2	栗林 ゆき絵	286
スペイン語IB	土2	国地文環境社福心1年	通年	2	荻野 雅司	286
スペイン語IB	土1	英日外考1年	通年	2	米田 博美	287
スペイン語IB	土1	英日外考1年	通年	2	佐藤 麻里乃	287
スペイン語IIA	月3	国地文環境日外考商政営A2 年	通年	2	真下 祐一	288
スペイン語IIA	月3	国地文環境日外考商政営A2 年	通年	2	上野 勝広	288
スペイン語IIA	水3	禅仏英経A法A2年	通年	2	大岩 功	289
スペイン語IIA	水3	禅仏英経A法A2年	通年	2	真下 祐一	289
スペイン語IIB	水2	国日外考商政2年	通年	2	大岩 功	290

外国語

## 〔ロシア語〕

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
ロシア語IA	火3	国地文環境社福心1年	通年	2	杉山 秀子 佐野 朝子	292
ロシア語IA	火4	英日外考1年	通年	2	佐野 朝子	293
ロシア語IB	土2	国地文環境社福心1年	通年	2	廣田 英靖	294
ロシア語IB	土1	英日外考1年	通年	2	廣田 英靖	295
ロシア語IIA	月3	国地文環境日外考商政営A2 年	通年	2	木村 英明	295
ロシア語IIA	水3	禅仏英経A法A2年	通年	2	杉山 秀子 佐藤 和子	296
ロシア語IIB	水2	国日外考商政2年	通年	2	佐野 朝子	296

# 《再 クラス》

〔英 語〕

外  
国  
語

科 目 名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語IA 〔再クラス〕	月 1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	濱口 真木	351
英語IA 〔再クラス〕	月 1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	松堂 啓子	351
英語IA 〔再クラス〕	月 2	全学科（フレB除く）234年	通年	2	岩井 洋美	352
英語IA 〔再クラス〕	月 2	全学科（フレB除く）234年	通年	2	牧野 輝良	352
英語IA 〔再クラス〕	土 3	全学科（フレB除く）234年	通年	2	熊沢 和明	353
英語IA 〔再クラス〕	火 5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	埴 美智子	353
英語IA 〔再クラス〕	木 2	全学科（フレB除く）234年	通年	2	丸小 哲雄	354
英語IA 〔再クラス〕	木 3	全学科（フレB除く）234年	通年	2	近藤 真彰	354
英語IA 〔再クラス〕	土 1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	岡本 誠	355
英語IA 〔再クラス〕	土 3	全学科（フレB除く）234年	通年	2	岩原 康夫	355
英語IA 〔再クラス〕	土 2	全学科（フレB除く）234年	通年	2	熊沢 和明	356
英語IB 〔再クラス〕	月 1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	高見 陽子	356
英語IB 〔再クラス〕	月 4	全学科（フレB除く）234年	通年	2	菅原 典子	357
英語IB 〔再クラス〕	月 5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	佐藤 江里子	357
英語IB 〔再クラス〕	水 1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	落合 和昭	358
英語IB 〔再クラス〕	木 2	全学科（フレB除く）234年	通年	2	高柳 文江	358
英語IB 〔再クラス〕	土 3	全学科（フレB除く）234年	通年	2	山岸 二郎	359
英語IB 〔再クラス〕	木 3	全学科（フレB除く）234年	通年	2	太田 由紀子	359
英語IIA 〔再クラス〕	月 4	全学科（フレB除く）34年	通年	2	竹村 恵都子	360
英語IIA 〔再クラス〕	月 5	全学科（フレB除く）34年	通年	2	山口 晃	360
英語IIA 〔再クラス〕	火 4	全学科（フレB除く）34年	通年	2	三幣 友行	361
英語IIA 〔再クラス〕	火 4	全学科（フレB除く）34年	通年	2	澤田 真弓	361
英語IIA 〔再クラス〕	水 1	全学科（フレB除く）34年	通年	2	前田 脩	362
英語IIA 〔再クラス〕	木 2	全学科（フレB除く）34年	通年	2	外池 一子	362
英語IIA 〔再クラス〕	木 3	全学科（フレB除く）34年	通年	2	古富 猛	363
英語IIA 〔再クラス〕	土 3	全学科（フレB除く）34年	通年	2	飯沼 好永	363
英語IIB 〔再クラス〕	月 4	禅仏国英歴日外考経商現法A 政34年	通年	2	岡崎 寿一郎	364
英語IIB 〔再クラス〕	月 4	禅仏国英歴日外考経商現法A 政34年	通年	2	大淵 利春	364
英語IIB 〔再クラス〕	月 4	禅仏国英歴日外考経商現法A 政34年	通年	2	佐藤 アヤ子	365
英語IIB 〔再クラス〕	月 5	禅仏国英歴日外考経商現法A 政34年	通年	2	安齋 薫	365
英語IIB 〔再クラス〕	月 5	禅仏国英歴日外考経商現法A 政34年	通年	2	芝田 興太郎	365
英語IIB 〔再クラス〕	水 1	禅仏国英歴日外考経商現法A 政34年	通年	2	矢島 直子	366
英語IIB 〔再クラス〕	水 1	禅仏国英歴日外考経商現法A 政34年	通年	2	相馬 美明	366
英語IIB 〔再クラス〕	土 3	禅仏国英歴日外考経商現法A 政34年	通年	2	本間 俊一	367
英語IIB 〔再クラス〕	土 3	禅仏国英歴日外考経商現法A 政34年	通年	2	手島 敬子	367



〔ドイツ語〕

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
ドイツ語IA〔再クラス〕	水5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	本橋 右京	368
ドイツ語IA〔再クラス〕	木1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	志真 斗美恵	368
ドイツ語IA〔再クラス〕	土4	全学科（フレB除く）234年	通年	2	南 はるつ	369
ドイツ語IA〔再クラス〕	金4	全学科（フレB除く）234年	通年	2	井村 行子	369
ドイツ語IA〔再クラス〕	土3	全学科（フレB除く）234年	通年	2	杉本 正俊	370
ドイツ語IB〔再クラス〕	月5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	飯塚 公夫	370
ドイツ語IB〔再クラス〕	火5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	岡本 時子	371
ドイツ語IB〔再クラス〕	土4	全学科（フレB除く）234年	通年	2	杉本 正俊	371
ドイツ語IB〔再クラス〕	土3	全学科（フレB除く）234年	通年	2	岡本 時子	372
ドイツ語IIA〔再クラス〕	水1	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	森 公成	372
ドイツ語IIB〔再クラス〕	水1	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年	通年	2	森 公成	
ドイツ語IIA〔再クラス〕	水4	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	本橋 右京	373
ドイツ語IIB〔再クラス〕	水4	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年	通年	2	本橋 右京	
ドイツ語IIA〔再クラス〕	土3	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	南 はるつ	373
ドイツ語IIB〔再クラス〕	土3	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年	通年	2	南 はるつ	

〔フランス語〕

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
フランス語IA〔再クラス〕	月5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	前田 祝一	374
フランス語IA〔再クラス〕	火5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	芦原 眷	374
フランス語IA〔再クラス〕	木1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	小玉 齊夫	375
フランス語IA〔再クラス〕	金1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	菅原 猛	375
フランス語IA〔再クラス〕	土3	全学科（フレB除く）234年	通年	2	谷川 かおる	376
フランス語IB〔再クラス〕	月5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	菅谷 暁	376
フランス語IB〔再クラス〕	火5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	今関 アン	377
フランス語IB〔再クラス〕	木5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	伊藤 なお	377
フランス語IB〔再クラス〕	土4	全学科（フレB除く）234年	通年	2	谷川 かおる	378
フランス語IIA〔再クラス〕	水1	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	畑中 千晶	378
フランス語IIB〔再クラス〕	水1	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年	通年	2	畑中 千晶	
フランス語IIA〔再クラス〕	水4	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	沼倉 広子	379
フランス語IIB〔再クラス〕	水4	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年	通年	2	沼倉 広子	
フランス語IIA〔再クラス〕	土3	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	前田 祝一	379
フランス語IIB〔再クラス〕	土3	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年	通年	2	前田 祝一	

## 〔中国語〕

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
中国語IA〔再クラス〕	月5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	児島 弘一郎	380
中国語IB〔再クラス〕	月5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	児島 弘一郎	
中国語IA〔再クラス〕	火5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	本間 由香利	380
中国語IB〔再クラス〕	火5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	本間 由香利	
中国語IA〔再クラス〕	木1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	天野 節	381
中国語IB〔再クラス〕	木1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	天野 節	
中国語IA〔再クラス〕	金1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	児島 弘一郎	381
中国語IB〔再クラス〕	金1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	児島 弘一郎	
中国語IA〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	張 渭涛	382
中国語IB〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	張 渭涛	
中国語IA〔再クラス〕	土4	全学科(フレB除く)234年	通年	2	弘兼 加奈子	382
中国語IB〔再クラス〕	土4	全学科(フレB除く)234年	通年	2	弘兼 加奈子	
中国語IA〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	蘭 明	383
中国語IB〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	蘭 明	
中国語IIA〔再クラス〕	月5	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	梅田 雅子	383
中国語IIA〔再クラス〕	木5	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	岩崎 皇	384
中国語IIA〔再クラス〕	土3	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	大久保 明男	384
中国語IIB〔再クラス〕	水4	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年	通年	2	李 雲	385
中国語IIB〔再クラス〕	水5	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年	通年	2	李 雲	385
中国語IIB〔再クラス〕	土4	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年	通年	2	蘭 明	386

## 〔スペイン語〕

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
スペイン語IA〔再クラス〕	水5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	大岩 功	387
スペイン語IB〔再クラス〕	水5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	大岩 功	
スペイン語IA〔再クラス〕	金1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	齊藤 明美	387
スペイン語IB〔再クラス〕	金1	全学科(フレB除く)234年	通年	2	齊藤 明美	
スペイン語IA〔再クラス〕	土4	全学科(フレB除く)234年	通年	2	亀山 晃一	388
スペイン語IB〔再クラス〕	土4	全学科(フレB除く)234年	通年	2	亀山 晃一	
スペイン語IA〔再クラス〕	月5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	大岩 功	388
スペイン語IB〔再クラス〕	月5	全学科(フレB除く)234年	通年	2	大岩 功	
スペイン語IA〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	荻野 恵	389
スペイン語IB〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	荻野 恵	
スペイン語IA〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	佐藤 麻里乃	389
スペイン語IB〔再クラス〕	土3	全学科(フレB除く)234年	通年	2	佐藤 麻里乃	
スペイン語IIA〔再クラス〕	水1	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	齊藤 明美	389
スペイン語IIB〔再クラス〕	水1	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年	通年	2	齊藤 明美	

スペイン語IIA〔再クラス〕	水4	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	大岩 功	390
スペイン語IIB〔再クラス〕	水4	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年	通年	2	大岩 功	
スペイン語IIA〔再クラス〕	土3	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	亀山 晃一	390
スペイン語IIB〔再クラス〕	土3	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年	通年	2	亀山 晃一	

〔ロシア語〕

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
ロシア語IA〔再クラス〕	火5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	杉山 秀子 廣田 英靖	391
ロシア語IB〔再クラス〕	火5	全学科（フレB除く）234年	通年	2	杉山 秀子 廣田 英靖	
ロシア語IA〔再クラス〕	水1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	佐野 朝子	391
ロシア語IB〔再クラス〕	水1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	佐野 朝子	
ロシア語IA〔再クラス〕	金1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	木村 英明	392
ロシア語IB〔再クラス〕	金1	全学科（フレB除く）234年	通年	2	木村 英明	
ロシア語IA〔再クラス〕	土4	全学科（フレB除く）234年	通年	2	安徳 ニーナ	392
ロシア語IB〔再クラス〕	土4	全学科（フレB除く）234年	通年	2	安徳 ニーナ	
ロシア語IIA〔再クラス〕	火4	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	クロチコフ、 Y.	393
ロシア語IIB〔再クラス〕	火4	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年	通年	2	クロチコフ、 Y.	
ロシア語IIA〔再クラス〕	木5	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	大須賀 史和	393
ロシア語IIB〔再クラス〕	木5	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年	通年	2	大須賀 史和	
ロシア語IIA〔再クラス〕	土3	禅仏国英地文環境歴日外考経 商現法A政営A34年	通年	2	安徳 ニーナ	394
ロシア語IIB〔再クラス〕	土3	禅仏国歴日外考経商現法A政 34年	通年	2	安徳 ニーナ	

外国語

《選択科目》

科目名	曜日・時限	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英文講読	水1	禅仏国地文環境歴日外考社福 心経商現法A政営A選	通年	4	林 明人	297
英文講読	水2	禅仏国地文環境歴日外考社福 心経商現法A政営A選	通年	4	矢島 直子	297
英文講読	水1	禅仏国地文環境歴日外考社福 心経商現法A政営A選	通年	4	牧野 輝良	298
時事英語研究	月4	禅仏国地文環境歴日外考社福 心経商現法A政営A選	通年	4	高野 秀夫	298
時事英語研究	火2	禅仏国地文環境歴日外考社福 心経商現法A政営A選	通年	4	林 明人	299

時事英語研究	火 2	禅仏国地文環境歴日外考社福 心経商現法A政営A選	通年	4	岸本 茂和	299
時事英語研究	月 4	禅仏国地文環境歴日外考社福 心経商現法A政営A選	通年	4	落合 和昭	300
時事英語研究	月 4	禅仏国地文環境歴日外考社福 心経商現法A政営A選	通年	4	矢島 直子	300
マルチ・メディア	火 5	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	落合 和昭	301
マルチ・メディア	木 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	大庭 直樹	302
マルチ・メディア	火 1	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	西村 祐子	303
マルチ・メディア	水 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	大庭 直樹	304
英会話I	月 1	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	ロビン、 G. F.	304
英会話I	月 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	ロビン、 G. F.	305
英会話I	火 1	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	ウェルズ、 J. K.	306
英会話I	火 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	ウェルズ、 J. K.	307
英会話I	水 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	ソルタ、 P. N. F.	308
英会話I	水 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	ソルタ、 P. N. F.	309
英会話I	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	レーン、 C. M.	310
英会話I	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	レーン、 C. M.	311
英会話I	金 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	ピアス、 D. M.	312
英会話I	金 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	ピアス、 D. M.	313
英会話I	土 1	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	レイン、 R. V.	314

英会話I	土 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	ラッセル、 S. J.	315
英会話II	水 1	全学科（フレB除く）234選	通年	2	ソルタ、 P. N. F.	316
英会話II	土 1	全学科（フレB除く）234選	通年	2	ラッセル、 S. J.	317
英会話II	土 2	全学科（フレB除く）234選	通年	2	レイン、 R. V.	318
英会話III	火 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	ウェルズ、 J. K.	319
英会話III	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	ピアス、 D. M.	320
英語LLI	月 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	西村 祐子	321
英語LLI	火 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	埴 美智子	321
英語LLI	火 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	埴 美智子	322
英語LLI	水 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	西村 祐子	322
英語LLI	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	外池 一子	323
英語LLI	木 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	外池 一子	324
英語LLI	金 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	甲斐 捷子	325
英語LLI	土 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A放1234 選	通年	2	久保 ひさ子	325
英語LLII	月 3	全学科（フレB除く）234選	通年	2	西村 祐子	326
英語LLII	木 2	全学科（フレB除く）234選	通年	2	高橋 明子	326
英語LLII	金 3	全学科（フレB除く）234選	通年	2	甲斐 捷子	327
英語LLIII	火 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	甲斐 捷子	327
英語LLIII	水 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	西村 祐子	328
英語LLIII	土 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	久保 ひさ子	328

外国語

ドイツ語外国書講読	火4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現34選	通年	4	柴野 博子	329
時事ドイツ語	金3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	4	堀内 美江	329
上級ドイツ語	水3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	2	藪下 紘一	329
ドイツ語コミュニケーション I	木3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	小林 ゲアリ ンデ	330
ドイツ語コミュニケーション II	木4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	小林 ゲアリ ンデ	330
ドイツ語IA (選)	火2	全学科 (フレB除く) 選	通年	2	松岡 晋	331
ドイツ語IB (選)	金2	全学科 (フレB除く) 選	通年	2	井村 行子	331
ドイツ語II (選)	木5	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	井村 行子	332
フランス語外国書講読	木2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現34選	通年	4	前田 祝一	332
時事フランス語	金3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	4	桑田 禮彰	333
上級フランス語	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	2	小玉 齊夫	333
フランス語コミュニケーション I	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	ラリア・三 倉、 M.	334
フランス語コミュニケーション II	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	ラリア・三 倉、 M.	334
フランス語IA (選)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	出口 雅敏	334
フランス語IA (選)	木3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	前田 祝一	335
フランス語IB (選)	金2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	桑田 禮彰	335
フランス語II (選)	木5	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	桑田 禮彰	336
中国語外国書講読	火3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現34選	通年	4	佐藤 普美子	336
時事中国語	木2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	4	塩旗 伸一郎	337
上級中国語	金2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	2	児島弘一郎	337
中国語コミュニケーションI	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	岩崎 皇	338
中国語コミュニケーションII	木3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	曹 泰和	338
中国語IA (選)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	吉田 建一郎	339
中国語IA (選)	木3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	宮本 厚子	339

中国語IB（選）	土 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	蘭 明	340
中国語II（選）	木 5	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	三田村 圭子	340
スペイン語外国書講読	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現34選	通年	4	齋藤明美	341
時事スペイン語	金 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	4	齋藤明美	341
上級スペイン語	火 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	2	上野 勝広	342
スペイン語コミュニケーションI	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	ナバロ、ホ ワンJ.	342
スペイン語コミュニケーションII	木 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	ナバロ、ホ ワンJ.	342
スペイン語IA（選）	火 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	亀山 晃一	343
スペイン語IB（選）	金 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	齋藤明美	343
スペイン語II（選）	木 5	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	荻野 雅司	344
ロシア語外国書講読	金 5	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現34選	通年	4	廣田 英靖	344
時事ロシア語	金 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	4	木村 英明	345
上級ロシア語	火 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現営A34選	通年	2	クロチコフ、 Y.	345
ロシア語コミュニケーションI	月 5	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	安德 ニーナ	346
ロシア語コミュニケーションII	月 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	安德 ニーナ	346
ロシア語IA（選）	火 5	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	クロチコフ、 Y.	347
ロシア語IB（選）	金 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	木村 英明	347
ロシア語II（選）	木 1	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	クロチコフ、 Y.	348
朝鮮語IA（選）	火 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	宋 美玲	348
朝鮮語IB（選）	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	通年	2	宋 美玲	349
朝鮮語II（選）	火 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A234選	通年	2	宋 美玲	349

# 英 語 I A

## 〈英語 I Aの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	国1必				
担当者名	井出 功一 <small>いで こういち</small>				

### 講義のねらい

テキストはフロリダ大学のビゲロー教授が、外国語として英語を学んでいる学生のために編纂したもので、主として速読と理解力の養成に重点が置かれている。

### 講義の内容・授業スケジュール

内容は植民地の建設、独立戦争、南北戦争、産業の発展、辺境の削減などの六つのエッセイが、アメリカの歴史的発展の姿を通して興味深く描かれている。  
英文のスタイルは簡潔、明快なので、内容のみでなく、英文法や英作文にも触れながら講義を進めてゆく。

### 履修上の留意点

全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要。

### 成績評価の方法

前後期テスト、平常テスト、レポート、出席による総合評価。

### 教科書

『The Building of the Nation アメリカの形成』(成美堂)

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	国1必				
担当者名	安齋 薫 <small>あんざい かおる</small>				

### 講義のねらい

日常基本表現・会話に多く触れることで英語による意思伝達能力『書く力』と『話す力』の習得を目標とする。

### 講義の内容・授業スケジュール

毎回発表形式を取り入れながらテキストを進めていく。

### 履修上の留意点

予習をしてくること。

### 成績評価の方法

出席状況(3分の2以上の出席が原則)、前期後期試験、レポートから総合的に評価する。

### 教科書

『The Road From Writing to Speaking』成美堂 ¥1600 ISBN4-7919-5026-7



科目名	英語ⅠA	開講	通年	単位	2
配当	国1必				
担当者名	池上 賀英子 <small>いけがみ かえこ</small>				

講義のねらい

入学時の英語力を基礎として英語の運用能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの、より高度な運用能力を訓練する。テープレコーダーやビデオ（VHS、DVD）等も使用する。

履修上の留意点

授業には予習をすること。3分の2以上出席し授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

日常の発表と個々の成長を重視し、前期・後期の試験の結果を加えて、総合的に評価する。

教科書

教科書は未定

外国語

科目名	英語ⅠA	開講	通年	単位	2
配当	国1必				
担当者名	渡部 孝治 <small>わたべ こうじ</small>				

講義のねらい

英語の運用能力の向上をめざす。読解、作文を中心に行うが、リスニングにも力を入れたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容・授業スケジュールについては開講時に指示する。

履修上の留意点

会話にも活かせる基本的な表現を学び、さらに応用表現も学ぶ。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席とそれぞれの期末テストによって行ないます。

教科書

テキストについては、開講時に指示する。

参考書等

参考書等についても開講時に指示する。

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	英1必				
担当者名	太田 <small>おおた まさこ</small> 雅子				

講義のねらい

多くの英語を聞いて、その中から適切な表現を利用・応用して、英語による自己表現を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

テキスト・テープ・ビデオ等を用いて、目・耳・口を多に使って英語を身につけていく。

履修上の留意点

全授業の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しない。その他詳細については、第1回目の授業で説明するので必ず出席のこと。

成績評価の方法

毎回の出席点、小テスト。  
前・後期各最後に総合テスト。

教科書

『Smash Hit Listening』 Revised Edition Macmillan Languagehouse

外国語

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	英1必				
担当者名	清水 <small>しみず まさお</small> 雅夫				

講義のねらい

中学校、高等学校で学んだことを土台とし、英文法の知識をさらに正確なものにすることを旨とする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書は、英語の文法、語法における誤りを訂正することから始め、それによって得られた知識を自分の英語表現に生かすという形式をとっている。どの課をどの順序で学習するかは、1回目の授業で説明する。

履修上の留意点

きちんと予習をし、授業には辞書を持参すること。

成績評価の方法

各学期の中間、期末テスト（各50点満点）が80%。出席点が20%。平常点±10点。

教科書

『Common Errors in English Writing』(マクミラン・ランゲージハウス) 1,800円  
ISBN4-89585-500-7

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
担当	英1必				
担当者名	やまぐち あきら 山口 晃				

講義のねらい

基本的な言いまわしを身につけ、それを活用して英語によって、意志・意見を表現できるようになる。

講義の内容・  
授業スケジュール

英文のテキストを使いながら、文脈を把握することにより、それが表現のための思考につながるよう授業の中で工夫してみたい。

履修上の留意点

語学の授業なので、出席は重視する。しばしば発表してもらう。遅刻は授業のさまたげになるので、注意してほしい。

成績評価の方法

出席回数、授業での発表とその内容、レポート、テストの四つを総合的に考えて評価する。

教科書

プリントを配布する。辞書は毎回かならずもってくること。

外国語

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
担当	英1必				
担当者名	うめむら けいこ 植村 恵子				

講義のねらい

日本の社会では、実際の生活やビジネスにおいて、言葉としての機能、つまりコミュニケーションの手段として英語を使える人材が、これまで以上に強く求められているように感じます。そのような目標に少しでも近づくために、英語を基礎から総合的に学び直したいと思います。英語の総合的な基礎学力を確実なものにするためにも、この授業では、特に高校までの基本的な文法知識と英文を構成する能力、基本的な語彙力などに重点を置き、復習も行いながら、英文を書いたり、聞き取って話したりする力を伸ばしていきたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

使用する教材の内容に沿って、基本的な文法事項に留意しながら、日常生活によく用いられる英文表現の発音、聴解及び、英文を書いたりする作業も行います。また、この授業を受講することによってTOEICなどの各種英語資格試験の受験対策としても役立つと思われるので、就職後必要と思われる人は是非チャレンジして下さい。

履修上の留意点

授業には必ず予習をして臨み、辞書(電子辞書可)を持参し、テキストを忘れた場合はコピーを必ず準備しておいて下さい。

成績評価の方法

出席状況(実授業回数の少なくとも2/3以上の出席が原則)、平常点(授業態度、予習や授業時発表、発表の内容、復習の意味での授業後の小テスト)及び前期・後期試験による。

教科書

教室にて指示

参考書等

『リーダーズ英和辞典』研究社

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	地文1必				
担当者名	井出 功一				

講義のねらい

テキストはフロリダ大学のビゲロー教授が、外国語として英語を学んでいる学生のために編纂したもので、主として速読と理解力の養成に重点が置かれている。

講義の内容・  
授業スケジュール

内容は植民地の建設、独立戦争、南北戦争、産業の発展、辺境の削減などの六つのエッセイが、アメリカの歴史的発展の姿を通して興味深く描かれている。  
英文のスタイルは簡潔、明快なので、内容のみでなく、英文法や英作文にも触れながら講義を進めてゆく。

履修上の留意点

全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要。

成績評価の方法

前後期テスト、平常テスト、レポート、出席による総合評価。

教科書

『The Building of the Nation アメリカの形成』（成美堂）

外国語

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	地文1必				
担当者名	古富 猛				

講義のねらい

最近の報道で、東南アジアにおけるTOEICの成績評価のランクづけが発表された。それによると中国、韓国、インドが平均点の上位をしめ、日本は40ヶ国近い中で、最下位に属している悲惨な結果となっている。常々、授業において日本人がヨーロッパ系言語を修得する能力が究めて劣っている事を言語構造的違いから、国内事情もからめて述べてきた。相変わらずその予想が如実に示されたことを知って、啞然とするばかりである。ただ年間数十時間を費やして学ぶわけなので、何とか徒労に終わらない様方法論を明示したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業の最初に我々がいかに英語を学ぶのかを、具体的に示す。とかく批判されている文法重視の形式も、日本人には必要であることを説明し、苦手としている会話に自信を持ってもらうべく、スケジュールを明示したい。

履修上の留意点

いままで学んできた知識を無駄にすることなく、真剣に取り組んで欲しい。

成績評価の方法

前後期のペーパーテストと予習発表、出席状況などを加味して、評価する。

教科書

教場にて指示。

参考書等

最近電卓辞書を使用する傾向があるが、いずれの出版社でもかまわないから、中辞典を使って欲しい。

科目名	英語ⅠA	開講	通年	単位	2
配当	環境 1 必				
担当者名	わたべ こうじ 渡部 孝治				

講義のねらい

英語の運用能力を高めることを目指す。英語読解力、英語表現力（会話表現力も含む）を伸ばすことに重点を置くが、リスニングにも力を入れたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に進めていくが、前期は基礎的な英語、文法事項に触れ、後期は基礎を土台にして英語のレベルアップを目指す。

履修上の留意点

全員が予習をしてくること。

成績評価の方法

前期・後期の試験の結果、3分の2以上の出席、授業の参加度合いを入れて総合的に評価します。

教科書

開講時に指示する。

外国語

科目名	英語ⅠA	開講	通年	単位	2
配当	環境 1 必				
担当者名	つかもと としお 塚本 利男				

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばす。そのために、絶えず文法・構文、語彙などの知識の増強を図りながら、英語の文構造を学び、身近な事柄について英語で表現できるようになることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

基本的な文法事項を学び、その基本文を用いて、作文の演習を行います。1回の授業の総仕上げとして毎回授業の最後に日常生活の中で起こる事柄について小論文を書き、提出してもらいます。

履修上の留意点

授業の予習をすること。辞書を持ってくること。

成績評価の方法

授業における発表・小論文と前・後期の試験に基づく。特に、平常授業を重視しますので、総授業数の3分の2以上は必ず出席すること。

教科書

『スヌーピーと覚える日常表現』  
小中 秀彦 (株)朝日出版社  
1,700円+税 ISBN978-4-255-15444-2 C1082

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	日1必				
担当者名	水崎 野里子				

講義のねらい

日常的な話題を中心に、入学時の英語力を運用し、より高度な英語が書け、話せるようになることを目的とする。一授業ごとに、基礎的な英語表現を確認しつつ、より自由な英語作文能力を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

一授業にテキスト一課を予定としている。また、通年用のテキストであるが、場合に応じては副教材も用いる。

履修上の留意点

授業には出来るだけ積極的に参加して欲しい。成績評価には、平常点（出席）をも加味する。

成績評価の方法

前期後期の二度の試験に平常点を加え、総合評価する。

教科書

『コミュニケーションのための英語自己表現』（金星堂）1,900円  
ISBN4-7647-3802-3 C1082

外国語

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	日1必				
担当者名	岩屋 玉江				

講義のねらい

基本的な英文法の知識を確認しながら、身近な話題に関して、内容的にまとまりのある文を書く能力の習得を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

授業は予習を前提とした発表形式でおこないます。

履修上の留意点

予習をして授業に臨むこと。辞書は毎回持参すること。

成績評価の方法

出席および演習への参加状況・小テスト・期末試験の結果を総合しておこないます。

教科書

「Three-line Writing in English」成美堂 ¥1,800- ISBN 4-7919-1041-9 C-1082

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	日1必				
担当者名	とのいけ かずこ 外池 一子				

講義のねらい

高校までに学習した英語の知識を復習しながら、日常生活の様々な場面を想定した会話を中心に英語で表現できるようになることを目指します。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストに従って、文法事項を復習しながら、様々な場面での会話の練習、または英作文を中心に行います。

履修上の留意点

必ず予習をしてください。予習をしていない場合は出席とは認めません。  
また、CALL教室を使用する場合がありますから、授業開始前に受講前にユーザーIDとパスワードを取得しておくこと。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示します。

外国語

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	外1必				
担当者名	まなこ ひさあき 真砂 久晃				

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語の運用能力向上を目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。

成績評価の方法

成績 = (前期の成績 + 後期の成績) ÷ 2  
前期、後期共、成績は(100点満点) = 出席点(20~30%) + テスト(70~80%)となる。

教科書

『English Writing for Global Communication』(金星堂) 1,950円(税別)  
ISBN978-4-7647-3834-8 C1082

科目名	英語ⅠA	開講		単位	
配当	外1必				
担当者名	三芳 康義 <small>みよし やすよし</small>				

講義のねらい

TOEICのような学外の英語検定試験に出題される文法事項を確認しながら、実用英語の総合的な運用能力の向上を目指します。また、日常会話に用いられる慣用句を適宜練習します。

履修上の留意点

授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。

成績評価の方法

授業中の口頭発表、出席率、小テスト（4回～6回）などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教科書

島本たい子／宮野智靖／Jodi Flowers 著『TOEIC® テスト基礎文法トレーニング第2版』マクミランランゲージハウス 1,890円 ISBN978-4-7773-6163-2

外国語

科目名	英語ⅠA	開講	通年	単位	2
配当	考1必				
担当者名	澤田 真弓 <small>さわだ まゆみ</small>				

講義のねらい

毎回興味深いエッセイを取り上げて簡単な英語表現を学び、リスニングやリーディングの能力を総合的に伸ばすことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

授業は演習形式で行います。毎回発表担当者を決め、あらかじめ指定した箇所を音読し、日本語訳をつけてもらいます。また授業の終わりに簡単な確認テストを行います。

履修上の留意点

積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、毎回行う確認テストの結果を総合的に判断して評価します。

教科書

Bill McLain 著、長阪朱美 編注『Do You Know? 世界の面白・ミニストーリー』（金星堂）1,800円 ISBN4-7647-3750-7



科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	社1必				
担当者名	木村 正俊				

講義のねらい

基礎的な文法事項を確認しながら、英語による実際的な表現力を高める。

講義の内容・授業スケジュール

英語音声教材を活用して聴く力と話す力を向上させるとともに、英作文の練習を集中的に行う。随時作文の課題を提出してもらう。

履修上の留意点

授業では訓練を多く行うので、欠席しないこと。

成績評価の方法

平常点評価。随時行う小試験やレポートの成績、授業への出席や参加状況等を合わせて総合的に評価する。

教科書

安達一美他著『グローバル社会の英語作文』金星堂 ￥1,950- ISBN978-4-7647-3834-8

参考書等

とくに使用しない。

その他

教室で指示する。

外国語

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	社1必				
担当者名	山口 晃				

講義のねらい

基本的な言い方を身につけ、それを活用して英語によって、意志、意見を表現できるようになってもらう。

講義の内容・授業スケジュール

英文のテキストを使い、文脈を把握し、それによって表現のための思考を練る訓練をする。

履修上の留意点

語学の授業なので、出席は重視する。発表もしてもらう。遅刻は授業のさまたげになるので、注意してほしい。

成績評価の方法

出席回数、授業での発表とその内容、レポート、テストの四つを総合的に考えて評価する。

教科書

プリントを配布する。辞書は毎回かならずもってくること。

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	福1必				
担当者名	永野 <small>ながの</small> 光一 <small>こういち</small>				

講義のねらい

英語による意志伝達（ライティングとスピーキング）の基礎的な力を養成。

講義の内容・  
授業スケジュール

Q&A やペア／グループ・ワーク、ロール・プレイなどの聞く・話す活動や、センテンスやパラグラフを書く活動などを行います。

履修上の留意点

授業中の様々な学習活動に積極的に参加すること。原則として3分の2以上出席すること。

成績評価の方法

出席、学習活動への積極的な参加、小テスト、ライティングや発表などの課題を重視し、総合的に評価。

教科書

『Inspiring English 3 Productive Activity Book（ライティングマスターコースー基礎から実践へー）』（金星堂）ISBN4-7647-3814-7 C1082

外国語

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	福1必				
担当者名	植村 <small>うゑむら</small> 恵子 <small>けいこ</small>				

講義のねらい

日本の社会では、実際の生活やビジネスにおいて、言葉としての機能、つまりコミュニケーションの手段として英語を使える人材が、これまで以上に強く求められているように感じます。そのような目標に少しでも近づくために、英語を基礎から総合的に学び直したいと思います。英語の総合的な基礎学力を確実なものにするためにも、この授業では、特に高校までの基本的な文法知識と英文を構成する能力、基本的な語彙力などに重点を置き、復習も行いながら、英文を書いたり、聞き取って話したりする力を伸ばしていきたいと思ひます。

講義の内容・  
授業スケジュール

使用する教材の内容に沿って、基本的な文法事項に留意しながら、日常生活によく用いられる英文表現の発音、聴解及び、英文を書いたりする作業も行ひます。また、この授業を受講することによってTOEICなどの各種英語資格試験の受験対策としても役立つと思われるので、就職後必要と思われる人は是非チャレンジして下さい。

履修上の留意点

授業には必ず予習をして臨み、辞書(電子辞書可)を持参し、テキストを忘れた場合はコピーを必ず準備しておいて下さい。

成績評価の方法

出席状況（実授業回数の少なくとも2/3以上の出席が原則）、平常点（授業態度、予習や授業時発表、発表の内容、復習の意味での授業後の小テスト）及び前期・後期試験による。

教科書

教室にて指示

参考書等

『リーダーズ英和辞典』研究社

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
担当	福1必				
担当者名	池上 賀英子				

講義のねらい

入学時の英語力を基礎として英語の運用能力を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの、より高度な運用能力を訓練する。テープレコーダーやビデオ（VHS、DVD）等も使用する。

履修上の留意点

授業には予習をすること。3分の2以上出席し授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

日常の発表と個々の成長を重視し、前期後期の試験の結果を加えて、総合的に評価する。

教科書

教科書は未定

外国語

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
担当	心1必				
担当者名	岩永 祥恵				

講義のねらい

近年では自分の意見、感想などを積極的に表現できる英語力が特に必要とされている。この講義では基本的な会話練習を通して表現力の向上を図る。

講義の内容・  
授業スケジュール

アメリカの日常生活をビデオで見る。繰り返し視聴して状況を把握する。その後リスニング練習を行い、大筋の理解から細部の理解を目指す。次にターゲットとなる表現に慣れる。その後スピーキング練習を行い、リスニングで学んだ表現を実際の状況下で使い、習得を目指す。

履修上の留意点

毎回の授業への積極的な参加を望む。授業時に辞書を持参のこと。

成績評価の方法

出席、予習、課題提出、試験等を総合的に判断して評価する。具体的な説明を開講時に行う。

教科書

小野田栄ほか著『Daily English』（金星堂 2001年）

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	心1必				
担当者名	太田 <sup>おおた</sup> 雅子 <sup>まさこ</sup>				

講義のねらい

多くの英語を聞いて、その中から適切な表現を利用・応用して、英語による自己表現を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

テキスト・テープ・ビデオ等を用いて、目・耳・口を多に使って英語を身につけていく。

履修上の留意点

全授業の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しない。その他詳細については、第1回目の授業で説明するので必ず出席のこと。

成績評価の方法

毎回の出席点、小テスト。  
前・後期各最後に総合テスト。

教科書

『Smash Hit Listening』 Revised Edition Macmillan Languagehouse

外国語

科目名	英語IA	開講	通年	単位	2
配当	心1必				
担当者名	風間 <sup>かざま</sup> 則比古 <sup>のりひこ</sup>				

講義のねらい

英語の勉強をより実のあるものにするためには最低限の文法の習得が必要です。その観点から、この授業では基本的な文法事項と、その応用として簡単な英作文を書く練習を行いません。

講義の内容・授業スケジュール

中学、高校などで勉強した文法をもう一度復習しながら、練習問題を行なう。

成績評価の方法

評価は出席、発表、前期と後期の試験結果などを総合して決める。

教科書

『Unique English Composition I (ユニーク英作文 I)』(成美堂)

科目名	英語IA【(基礎英語特別クラス)】	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境日外考1必				
担当者名	おおば なおき 大庭 直樹				

講義のねらい

基本的な文法書をテキストにして、ことばのしくみを学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

1年間で、英語は、語彙さえ調べれば読みこなせる、というレベルまで到達できるようにしたい。クラスでは、日本語と英語を比較・検討しながら違いと類似点を話題にしていきたい。

履修上の留意点

毎回、細かい指示を出すので、その指示にしたがって学習すること。

成績評価の方法

二回の定期試験を行うが、成績は平常点を重視する。つまり、クラスに積極的に参加する姿勢と、個々の学生の達成度を重視する。そのためには、毎回、クラスに参加することは当然のことである。

教科書

テキストは教場で指示する。

外国語

科目名	英語IA【(基礎英語特別クラス)】	開講	通年	単位	2
配当	社福心1必				
担当者名	よしざわ 栄治郎				

講義のねらい

いろいろな文例を英訳していきます。その際、覚えるべき典型的な英訳例を何かひとつに決めておくといいでしょう。授業では、ともかくもできるだけ量をこなしていきます。短い文章を英訳することにします。何度も口馴染しをすることによって体得できると思います。

履修上の留意点

和英辞典を実際に使うこと。

成績評価の方法

ペーパーテストと出席状況を見て評価します。

教科書

使用しません。

# 英 語 I B

## 〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科目名	英語I B	開講	通年	単位	2
配当	国1必				
担当者名	尾形 <small>おがた</small> 重政 <small>しげまさ</small>				

### 講義のねらい

入学時の英語力を基に、より高度な構文の理解を目指します。特に精読では段落・文章全体の把握に務めます。

### 講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進めるとともに、適宜、TOEIC や英語検定の問題等も使用します。

### 履修上の留意点

予習して授業に臨むこと。英和辞典を持参すること。

### 成績評価の方法

授業出席率と、前期・後期の試験結果に、積極的な授業参加等を勘案して評価します。

### 教科書

Looking Backward 事件でたどる20世紀 南雲堂 ISBN4-523-17314-1

外国語

科目名	英語I B	開講	通年	単位	2
配当	国1必				
担当者名	国見 <small>くにみ</small> 晃子 <small>あきこ</small>				

### 講義のねらい

英語の歌詞を分析することで、英語の語法や文法などの知識を強化すると共に、時代背景や歴史を学んでいきます。小テストで、語彙やいいまわしの知識を増やしていきます。

### 講義の内容・授業スケジュール

前半：小テストを毎授業行います。  
後半：時代背景を検証しながら、主に1960年代以降のロック・ミュージックの英語の歌詞を分析します。グループであらかじめ議論してきたことを、授業で発表していただきます。

### 履修上の留意点

小テストと授業での発表が成績評価の対象となりますので、授業は休まないようにして下さい。

### 成績評価の方法

毎回行う小テストの結果、授業での発表、出席状況により、総合的に評価します。

### 教科書

- Cries of Young Souls 『若き魂の叫び』(朝日出版社)  
ISBN4-255-14410-9
- 『速読速聴・英単語 Core 1800 ver.2』(増進会出版社)  
ISBN4-939149-71-4

科目名	英語Ⅱ	開講	通年	単位	2
配当	国1必				
担当者名	高橋 明子 <small>たかはし あきこ</small>				

講義のねらい

イギリスの作家A・A・ミルンによって書かれ、世界中で長く愛読されてきた『クマのプーさん』の原文を読みます。物語の楽しさを味わいつつ原作の文章を読み進めながら、さまざまな文構造や英語のリズム、独特な言い回しに慣れて、英文を理解する力を身につけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

基本的な文法事項の復習もしながら、テキストを読み進めます。

履修上の留意点

授業中は積極的な態度で学習しましょう。

成績評価の方法

平常点（出席状況や発表など）と前期・後期の試験結果とを総合して評価します。

教科書

『Basic English with Winnie-the-Pooh プーさんと学ぶ初級総合英語』（南雲堂フェニックス）1,700円＋税 ISBN4-88896-341-X

科目名	英語Ⅱ	開講	通年	単位	2
配当	国1必				
担当者名	増田 恵子 <small>ますだ けいこ</small>				

講義のねらい

英語の歌詞を分析することで、英語の語法や文法などの知識を強化すると共に、時代背景や歴史を学んでいきます。小テストで、語彙やいいまわしの知識を増やしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

前半：小テストを毎授業行います。  
後半：時代背景を検証しながら、主に1960年代以降のロック・ミュージックの英語の歌詞を分析します。グループであらかじめ議論してきたことを、授業で発表していただきます。

履修上の留意点

小テストと授業での発表が成績評価の対象となりますので、授業は休まないようにして下さい。

成績評価の方法

毎回行う小テストの結果、授業での発表、出席状況により、総合的に評価します。

教科書

『A Complete College English Program: Book3』（金星堂）1900円 ISBN4-7647-3813-9

科目名	英語IB	開講	通年	単位	2
配当	英1必				
担当者名	おがた しげまさ 尾形 重政				

講義のねらい	入学時の英語力を基に、より高度な構文の理解を目指します。 特に精読では段落・文章全体の把握に務めます。
講義の内容・ 授業スケジュール	テキストを読み進めるとともに、適宜、TOEICや英語検定の問題等も使用します。
履修上の留意点	予習して授業に臨むこと。英和辞典を持参すること。
成績評価の方法	授業出席率と、前期・後期の試験結果に、積極的な授業参加等を勘案して評価します。
教科書	Looking Backward 事件でたどる20世紀 南雲堂 ISBN4-523-17314-1

外国語

科目名	英語IB	開講	通年	単位	2
配当	英1必				
担当者名	みよし やすよし 三芳 康義				

講義のねらい	TOEFLなどで出題されるような英文の読解力や聴解力をはかることを目指します。
履修上の留意点	授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとります。
成績評価の方法	授業中の口頭発表、出席率、小テスト（4回から6回）などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。
教科書	Paul Edmunds・Nancy McKinnon 著 「Developing Skills for the TOEFL iBT: Reading, Intermediate, Compass Publishing」1890円 ISBN1-59966-004-0

科目名	英語IB	開講	通年	単位	2
配当	英1必				
担当者名	ますだ けいこ 増田 恵子				

講義のねらい	「速読」や「精読」などの英文の読み方を体得し、臨機応変に運用する能力を身につける。
講義の内容・ 授業スケジュール	授業では音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうので、単語調べ等の予習が必要となる。
履修上の留意点	3分の2以上の出席と授業への積極的な参加姿勢が必要となる。
成績評価の方法	出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価する。
教科書	『英検・TOEFLリスニング徹底対策』（開文社）800円 ISBN4-87571-540-4



科目名	英語Ⅱ	開講	通年	単位	2
配当	英1必				
担当者名	依田 <sup>よだ</sup> 里花 <sup>りか</sup>				

講義のねらい

この授業は、「聞く」「読む」ことを中心に総合的に英語力をつけることがねらいです。内容はNHKのニュース番組です。初めは映像を見ながらリスニングを通してニュースの概要を把握し、次に文字で内容を読みながら細かい点を押さえ、完全に理解していきます。毎回、課題があるので必ず準備をして出席して下さい。

履修上の留意点

必ず辞書（英和）を持参すること。（電子辞書可）

成績評価の方法

授業中の姿勢を重視し、定期試験（前期・後期）と小テスト（单元ごと）の結果と合わせて総合的に評価します。

教科書

『Focus on Japan 世界に伝える日本のいま』（成美堂）1,800円＋税  
ISBN4-7919-4545-XC1082

外国語

科目名	英語Ⅱ	開講	通年	単位	2
配当	地文1必				
担当者名	依田 <sup>よだ</sup> 里花 <sup>りか</sup>				

講義のねらい

この授業は、「聞く」「読む」ことを中心に、総合的に英語力をつけることがねらいです。内容はNHKのニュース番組です。初めは映像を見ながらリスニングを通してニュースの概要を把握し、次に文字で内容を読みながら細かい点を押さえ、完全に理解していきます。毎回、課題があるので必ず準備をして出席して下さい。

履修上の留意点

必ず辞書（英和）を持参すること。（電子辞書可）

成績評価の方法

出席や授業中の態度を重視し、定期試験（前期・後期）の結果と合わせて総合的に評価します。

教科書

『Focus on Japan 世界に伝える日本のいま』（成美堂）1,800円＋税  
ISBN4-7919-4545-X C1082

科目名	英語IB	開講	通年	単位	2
配当	地文1必				
担当者名	おがた しげまさ 尾形 重政				

講義のねらい	入学時の英語力を基に、より高度な構文の理解を目指します。 特に精読では段落・文章全体の把握に務めます。
講義の内容・ 授業スケジュール	テキストを読み進めるとともに、適宜、TOEIC や英語検定の問題等も使用します。
履修上の留意点	予習して授業に臨むこと。英和辞典を持参すること。
成績評価の方法	授業出席率と、前期・後期の試験結果に、積極的な授業参加等を勘案して評価します。
教科書	『Looking Backward 事件でたどる20世紀』（南雲堂）ISBN4-523-17314-1

外国語

科目名	英語IB	開講	通年	単位	2
配当	環境1必				
担当者名	ますだ けいこ 増田 恵子				

講義のねらい	「速読」や「精読」などの英文の読み方を体得し、臨機応変に運用する能力を身につける。
講義の内容・ 授業スケジュール	授業では音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうので、単語調べ等の予習が必要となる。
履修上の留意点	積極的に授業へ参加することが望ましい。
成績評価の方法	出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価する。
教科書	『英検・TOEFL リスニング徹底対策』（開文社）800円 ISBN4-87571-540-4

科目名	英語I B	開講	通年	単位	2
配当	環境 1 必				
担当者名	本間 章郎				

講義のねらい

できるだけたくさんの方の英語の語彙を増やしながら、高校までの英語の文法、構文の知識を再確認していきます。限られた時間の中で、的確に内容を把握できるよう、英文の読解能力を高めることを目指していきます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進めていきます。詳細は開講時に説明します。

履修上の留意点

出欠は重視します。単位取得に必要な詳細は開講時に説明します。

成績評価の方法

授業における平常点、小テスト、および学期末試験の結果などから総合的に評価します。

教科書

*Dynamic Business and The Environment* (『ダイナミックなビジネスと環境』) JoAnn Parochett: 他著 (南雲堂) ISBN978-4-523-17532-2 C0082

外国語

科目名	英語I B	開講	通年	単位	2
配当	日 1 必				
担当者名	高橋 佳江				

講義のねらい

高校時までの読解力を保持しつつ、内容のある長文を読めるようになることを目標としていく。そのため、前期では基礎的な文法、発音の復習と並行しつつ文章を読んでいく。条件として毎回の予習、復習を欠かさないこと。予習が済んだ段階で授業に出席することが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は出席が2/3以上の者で、前、後期試験の点数が平均60点以上の者を合格とする。(遅刻3回で欠席1回の扱い)  
授業中、多くの学生に発言してもらうため予習が必要とされるが、復習をきちんとして授業で学んだことを消化することが重要である。

参考書等

辞書は、大学、社会人向けの辞書を必ず持ってくること。(電子辞書可)

科目名	英語I B	開講	通年	単位	2
配当	日1必				
担当者名	高橋 <small>たかはし あきこ</small> 明子				

講義のねらい

平易な英文で記されたさまざまなトピックの内容を、文章の流れをつかみながら、なるべく短時間で読み取る練習をします。単語や語句、文型についての知識を増やしなが、英語の文章をよみこなす力を身につけることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

1回の授業でテキストの1単元を目安に読み進めます。

履修上の留意点

授業中は積極的な態度で学習しましょう。

成績評価の方法

平常点（出席状況や発表など）と前期・後期の試験結果とを総合して評価します。

教科書

『Intermediate Faster Reading-Revised Edition- 速読の実践演習-改訂版-』（成美堂）  
1,700円＋税  
ISBN4-7919-0545-8

外国語

科目名	英語I B	開講	通年	単位	2
配当	日1必				
担当者名	国見 <small>くにみ あきこ</small> 晃子				

講義のねらい

英語の歌詞を分析することで、英語の語法や文法などの知識を強化すると共に、時代背景や歴史を学んでいきます。小テストで、語彙やいいまわしの知識を増やしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

前半：小テストを毎授業行います。  
後半：時代背景を検証しながら、主に1960年代以降のロック・ミュージックの英語の歌詞を分析します。グループであらかじめ議論してきたことを、授業で発表していただきます。

履修上の留意点

小テストと授業での発表が成績評価の対象となりますので、授業は休まないようにして下さい。

成績評価の方法

毎回行う小テストの結果、授業での発表、出席状況により、総合的に評価します。

教科書

- ・ Cries of Young Souls 『若き魂の叫び』（朝日出版社）  
ISBN4-255-14410-9
- ・ 『速読速聴・英単語 Core 1800 ver.2』（増進会出版社）  
ISBN4-939149-71-4

科目名	英語I B	開講	通年	単位	2
配当	外1必				
担当者名	三芳 康義				

講義のねらい

TOEFLなどで出題されるような英文の読解力や聴解力をはかることを目指します。

履修上の留意点

授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。

成績評価の方法

授業中の口頭発表、出席率、小テスト（4回から6回）などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教科書

Paul Edmunds・Nancy McKinnon 著 「Developing Skills for the TOEFL® iBT: Reading, Intermediate, Compass Publishing」1890円 ISBN1-59966-004-0

外国語

科目名	英語I B	開講	通年	単位	2
配当	外1必				
担当者名	本間 章郎				

講義のねらい

できるだけたくさんの英語の語彙を増やしながら、高校までの英語の文法、構文の知識を再確認していきます。限られた時間の中で、的確に内容を把握できるよう、英文の読解能力を高めることを目指していきます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進めていきます。詳細は開講時に説明します。

履修上の留意点

出欠は重視します。単位取得に必要な詳細は開講時に説明します。

成績評価の方法

授業における平常点、小テスト、および学期末試験の結果などから総合的に評価します。

教科書

*The Origin of A Theory* (『ダーウィンとその時代』) Wilham H. Brock 著 (鶴見書店) ISBN4-7553-0301-X C1082

科目名	英語I B	開講	通年	単位	2
担当	考1必				
担当者名	まえだ おさむ 前田 脩				

講義のねらい

英文を読むことで、日英文化の違いを学びます。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業はじめに15分程度リスニングを行い、そのあと英文を丁寧に読みます。英文ニュースのコピーを使用することがあります。

履修上の留意点

授業は予習が大切です、積極的に参加してください。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、前期後期の試験を総合的に評価します。

教科書

「グローバルな時代を生きる」成美堂1,300円 ISBN4-7919-1044-3  
「トピック別TOEICテスト・リスニング 基礎編」成美堂 900円 ISBN4-7919-4571-9C1  
082

外国語

科目名	英語I B	開講	通年	単位	2
担当	社1必				
担当者名	たかはし よしえ 高橋 佳江				

講義のねらい

文法を理解しながら、ある程度まとまった内容の文を読解できるようにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストを最初は細かく、だんだん速読できるようにする。

履修上の留意点

授業時の発言点をポイントとしていくため、出席しているだけでなく、発言することが必要になってくる。そのため予習を必ずしていただくこと。

成績評価の方法

出席が授業回数の2/3以上で（遅刻3回で欠席1回とする）、発言点、前期、後期の試験（60点以上）の者を合格とする。

教科書

教科書は初回の授業時に指示する。

科目名	英語ⅡB	開講	通年	単位	2
配当	社1必				
担当者名	こいずみ かずひろ 小泉 和弘				

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と速読の基礎を身につける。また、精読に加えて、段落・文章等の大意を把握する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1回の授業で2つの記事を読み進める。

履修上の留意点

授業は予習をしてくること。

成績評価の方法

授業の出席率、前期・後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

「Current English For College Students」(駿河台出版社) ¥1,600- ISBN 4-411-01762-8

外国語

科目名	英語ⅡB	開講	通年	単位	2
配当	福1必				
担当者名	よだ りか 依田 里花				

講義のねらい

この授業は、「聞く」「読む」ことを中心に総合的に英語力をつけることがねらいです。内容はNHKのニュース番組です。初めは映像を見ながらリスニングを通してニュースの概要を把握し、次に文字で内容を読みながら細かい点を押さえ、完全に理解していきます。毎回、課題があるので必ず準備をして出席して下さい。

履修上の留意点

必ず辞書(英和)を持参すること。(電子辞書可)

成績評価の方法

授業中の姿勢を重視し、定期試験(前期・後期)と小テスト(单元ごと)の結果と合わせて総合的に評価します。

教科書

『Focus on Japan 世界に伝える日本のいま』(成美堂) 1,800円+税  
ISBN4-7919-4545-XC1082

科目名	英語IB	開講	通年	単位	2
配当	福1必				
担当者名	おかざき としいちろう 岡崎 寿一郎				

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）の総合評価とします。

教科書

相沢敬久編註『ギリシャ・ローマ神話集』（金星堂）¥1300

科目名	英語IB	開講	通年	単位	2
配当	福1必				
担当者名	ほんま あきお 本間 章郎				

講義のねらい

できるだけたくさんの英語の語彙を増やしながら、高校までの英語の文法、構文の知識を再確認していきます。限られた時間の中で、的確に内容を把握できるよう、英文の読解能力を高めることを目指していきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストを読み進めていきます。詳細は開講時に説明します。

履修上の留意点

出欠は重視します。単位取得に必要な詳細は開講時に説明します。

成績評価の方法

授業における平常点、小テスト、および学期末試験の結果などから総合的に評価します。

教科書

BBC Understanding the News a English 4 Sakae Onoda 他著（金星堂） ISBN978-4-7647-3828-7 C1082



科目名	英語IB	開講	通年	単位	2
配当	心1必				
担当者名	たかはし あきこ 高橋 明子				

講義のねらい

イギリスの作家A・A・ミルンによって書かれ、世界中で長く愛読されてきた『クマのプーさん』の原文を読みます。物語の楽しさを味わいつつ原作の文章を読み進めながら、さまざまな文構造や英語のリズム、独特な言い回しに慣れて、英文を理解する力を身につけましょう。

講義の内容・  
授業スケジュール

基本的な文法事項の復習もしながら、テキストを読み進めます。

履修上の留意点

授業中は積極的な態度で学習しましょう。

成績評価の方法

平常点（出席状況や発表など）と前期・後期の試験結果とを総合して評価します。

教科書

『Basic English with Winnie-the-Pooh プーさんと学ぶ初級総合英語』（南雲堂フェニックス）  
1,700円＋税 ISBN4-88896-341-X

外国語

科目名	英語IB	開講	通年	単位	2
配当	心1必				
担当者名	おかざき としいちろう 岡崎 寿一郎				

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）の総合評価とします。

教科書

伊藤宏見他註『運命の扉』（南雲堂）¥1,680

科目名	英語IB	開講	通年	単位	2
配当	心1必				
担当者名	国見 <sup>くにみ</sup> 晃子 <sup>あきこ</sup>				

講義のねらい

英語の歌詞を分析することで、英語の語法や文法などの知識を強化すると共に、時代背景や歴史を学んでいきます。小テストで、語彙やいいまわしの知識を増やしていきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半：小テストを毎授業行います。  
後半：時代背景を検証しながら、主に1960年代以降のロック・ミュージックの英語の歌詞を分析します。グループであらかじめ議論してきたことを、授業で発表していただきます。

履修上の留意点

小テストと授業での発表が成績評価の対象となりますので、授業は休まないようにして下さい。

成績評価の方法

毎回行う小テストの結果、授業での発表、出席状況により、総合的に評価します。

教科書

- ・ Cries of Young Souls 『若き魂の叫び』(朝日出版社)  
ISBN4-255-14410-9
- ・ 『速読速聴・英単語 Core 1800 ver.2』(増進会出版社)  
ISBN4-939149-71-4

外国語

科目名	英語IB 【〔基礎英語特別クラス〕】	開講	通年	単位	2
配当	国英地文環境日外考社福心1必				
担当者名	前田 <sup>まえだ</sup> 脩 <sup>おさむ</sup>				

講義のねらい

会話文のテキストにより、英語の面白さを知ってもらう。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業はじめにリスニングを行い、そのあと、日英の文構造の違いに留意し、テキストを読み進めます。

履修上の留意点

授業は予習し、積極的に参加してください。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、前期後期の試験を総合的に評価します。

教科書

- 「サバイバル・イングリッシュ」朝日出版 1,400円 ISBN4-255-11106-5 C1082
- 「TOEICテスト リスニング 入門」成美堂 900円 ISBN4-7919-4580-8

# 英 語 II A

## 〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科目名	英語II A	開講	通年	単位	2
配当	国2年				
担当者名	杉本 誠				

外国語

講義のねらい	日常生活の会話を題材としたテキストを使用し、各場面に合う表現練習をし、使える英語が身につく、英語をコミュニケーションの手段として積極的に活用できるようにするのが目的である。グローバル化および情報化の時代の中で、できるだけ多くの記事を読み、大意を把握し、英語の運用能力を高めることをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	旅行、アルバイト、Eメール、ファーストフードなど、若者の生活に密着したテーマをダイアログで紹介し、内容把握、語法、リスニングなどの練習問題を通じて、総合的な英語力を身につけます。
履修上の留意点	かならず毎時間の予習が必要である。
成績評価の方法	前・後期定期試験、小テスト、出席率などを総合して評価する。
教科書	『Famous Britons, Past and Present』 (南雲堂) 1,600円 ISBN978-4-523-17537-7

科目名	英語II A	開講	通年	単位	2
配当	国2年				
担当者名	木村 正俊				

講義のねらい	英文の読解力を向上させるとともに、実際に英文を運用する能力を涵養する。
講義の内容・授業スケジュール	多彩な内容の英文を題材に、音声で内容を聴き取る訓練を行い、さらに習得した英語で意思を伝達する力をつけるための課題をこなす。声を出して読むことに重きを置く。
履修上の留意点	授業では訓練を多く行うので、欠席しないこと。
成績評価の方法	平常点評価。随時行う小テストやレポートの成績、毎回の授業への出席・参加状況等を合わせて総合的に評価する。
教科書	松尾秀樹他編著『英文読解のスキルビルダー』(三修社) ¥1,700-ISBN 4-384-33371-4
参考書等	とくに使用しない。
その他	教室で指示する。

科目名	英語IIA	開講	通年	単位	2
配当	国2年				
担当者名	岩永 祥恵 <small>いづなが しょうえ</small>				

- 講義のねらい** 本クラスでは英米文化を広く理解し、議論となりうるさまざまな問題点について話し合う。そのプロセスで読解力、論理的思考、表現能力等の向上を図る。また、効果的なテキスト理解のために適宜リスニング等の練習も取り入れる予定である。
- 講義の内容・授業スケジュール** まず英文パッセージを読んで内容を理解する。そのプロセスで文法の復習を行いつつ、論点を明確にし、討論の準備をする。
- 履修上の留意点** 毎回の授業への積極的な参加。辞書を持参すること。
- 成績評価の方法** 出席、予習、授業参加、課題提出、試験等を総合的に判断して評価する。詳細は開講時に指示する。
- 教科書** 開講時に指示する

外国語

科目名	英語IIA	開講	通年	単位	2
配当	国2年				
担当者名	狩野 晃一 <small>かのう こういち</small>				

- 講義のねらい** ライティングにおける基礎的な表現にブラッシュアップを加える。
- 履修上の留意点** 必ず辞書(なるべく紙の)を持参すること。予習・復習をすること。特に後者は重要。
- 成績評価の方法** 3分の2以上の出席が必須。その他に提出物、授業態度を見て評価する。
- 教科書** 未定。随時プリントなどを配布する予定。

科目名	英語II A	開講	通年	単位	2
担当	英2 必				
担当者名	ことみ たけし 古富 猛				

講義のねらい

講義上の点で、英語を使える様な素養を身につけるべく方向付けて欲しい。情報伝達の発展した今日、その渦の中で冷静さを失うわけにはゆかないので、国際化の中、外国語習得は重要ではないかと思われる。

講義の内容・授業スケジュール

日本人の資質にそった習得法を私なりに実践している。そのやり方は最近、活躍している著名人のものと極めて共通点が多く、自信を深めているので、講義中に話をしたい。テキストにも重点を置き、一年間、多読を目指したい。

履修上の留意点

最近とみに言われているが、学生諸君の学力低下の傾向は事実であると英語においても痛感させられている。語学の習得は、本来地道な努力の積み重ねが、基本であることを認識してもらい、もう一度復習をしてもらいたい。

成績評価の方法

成績はあくまでもテキストによる予習発表を平常点とし、出席と前・後期のペーパー・テストによって判断する。

教科書

教場にて指示します。

科目名	英語II A	開講	通年	単位	2
担当	英2 必				
担当者名	てじま けいこ 手島 敬子				

講義のねらい

日常生活において実際に活用できるより自然で正確な「ライティング」能力を習得することを目指します。

履修上の留意点

毎回の予習と年3回から4回の課題の提出が必要となります。教室以外でも積極的に学習に取り組んで下さい。和英辞典、必ず持参。

成績評価の方法

前期・後期試験、課題、授業への参加度、出席状況などに基づき総合的に評価します。

教科書

安達一美著「English Writing for Global Communication」金星堂 ￥1950 ISBN978-4-7647-3834-8

科目名	英語II A	開講	通年	単位	2
配当	英2 必				
担当者名	加藤 <sup>かとう</sup> 佐和子 <sup>さわこ</sup>				

#### 講義のねらい

現代社会が抱える様々な問題を考え、英語の伝達能力をつける。同時に、実際に役立つ英語表現を覚え、実際に使える英語のスキルを伸ばしていく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業は、前半と後半に分けて行う。前半は、テキストを Chapter を1 ずつ進み、内容のまとめとディスカッションをする。後半は、office などでも使われる模範文型を覚え、タイピングし、それを実際の場で使えるように訓練する。

#### 履修上の留意点

予習・復習を必ずすること。

#### 成績評価の方法

小テスト25%  
授業参加度25%  
まとめテスト50%

#### 教科書

『Reading for the Times』(英進社)  
『A Shorter Course in Office English』(南雲堂)

科目名	英語II A	開講	通年	単位	2
配当	英2 必				
担当者名	岸本 <sup>きしもと</sup> 茂和 <sup>しげかず</sup>				

#### 講義のねらい

現代アメリカの作家・詩人の文章をとおして多民族国家アメリカを読んでゆく。「アングロ・サクソン」だけがアメリカではないことが理解できればよいとねがっている。いい文章だがすこし読みごたえがあるかもしれない。

#### 講義の内容・授業スケジュール

一部は精読し一部は速読したい。前期は精読にあて後期は速読にと考えているが、また精読と速読を交互におこなうのもどうか。できるだけ多くの分量を読みたいのでグループをつくって授業をすすめた。

#### 履修上の留意点

授業にはかならず英和辞書をもってくる。電子辞書も可。予習は必須。

#### 成績評価の方法

出欠席を勘案しつつ試験結果をおもいじる。試験は前期と後期の2回。全授業日数の3分の1以上欠席のばあいには「不可」とする。

#### 教科書

『読解総合：多民族のアメリカ』(英宝社) 1,900円

科目名	英語IIA	開講	通年	単位	2
担当	地文2年				
担当者名	田中 保・狩野 晃一				

講義のねらい

(前期)：短い文章から徐々に長い文章を作れるようにつとめる。  
 (後期) 1年次生のときの英語力を基礎として、より高度な英文の構文を理解し、英語の総合的な運用能力を身につける

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 地理の分野と関連する教材を用い、さまざまな事象について英語で表現してゆく。  
 (後期) 授業はテキストにそって進めますが、予習を前提とした発表形式によって行ないません。

履修上の留意点

(前期) 必ず辞書を携帯すること。  
 (後期) 必ず予習をして授業に臨むこと。

成績評価の方法

(前期) 3分の2以上の出席が求められる。  
 (後期) 前期の成績・授業時の発表・後期の試験・出席状況等を総合的に検討して評価します。

教科書

(前期) 教場にて指示する。  
 (後期) 後期の最初のときに教室で指示しますので、必ず出席して下さい。

科目名	英語IIA	開講	通年	単位	2
担当	地文2年				
担当者名	小布施 圭三				

講義のねらい

既習の語彙、構文を活用しながら、基本的な口語表現を習得します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書のモデル英文がダイアログ中心になっているので、単なる英作文にとどまらず、口頭での自己表現も積極的に行かせたい。文法事項の解説も行います。

履修上の留意点

授業形態は演習形式で行います。予習をしてきてください。

成績評価の方法

出席点／授業の貢献度／レポート／小テスト／定期試験（前・後期）などを加味して総合評価します。

教科書

青木庸和／江利川春雄『Let's Talk and Communicate !』(金星堂) 1,995円  
 ISBN4-7647-3802-3 C1082

科目名	英語II A	開講	通年	単位	2
配当	環境2年				
担当者名	太田 <sup>おみた</sup> 美智子 <sup>みちこ</sup>				

講義のねらい

コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

英語の歌を素材として、様々な表現を幅広く学ぶ。広範な基本フレーズを覚えることにより、状況に合わせて応用できる基礎力を培うべく、多くの表現方法を身につける。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。

成績評価の方法

平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。

教科書

『The World at a Glance』(南雲堂)

科目名	英語II A	開講	通年	単位	2
配当	環境2年				
担当者名	江田 <sup>えだ</sup> 幸子 <sup>さちこ</sup>				

講義のねらい

このクラスでは、読む、聞く、書く、の三要素を重点的に学習します。今日的なトピックを扱った簡素な英語文を多様な分野に渡って読みます。そこで使われている基礎的な英語構文を使えるようにします。英語文は英文を書くためのお手本として読みますのでテキスト中の使用頻度の高い単語句は徹底的にマークして覚えます。そしてそれ等の構文、単語句を用いて短い英文を書く練習を行います。

準備としてはまず各章の英語文を日本語に訳したノートを各自作ります。その日本語から原文の英語が書けるようにします。その上で重要な構文や表現方法を用いて応用英作文を実践します。

成績評価の方法

一年間を通して最低5回テストを行い、平均点60点以上に欠席回数5回迄を以って合格点とします。欠席が5回以上になった人は、試験の平均点が70点以上を以って合格とします。欠席が5回以上の人は英語の実力で評価します。

教科書

『Skills for Better Writing; 構造で書く英文エッセイ』

著者: Emma Andrews

南雲堂 ¥1900



科目名	英語IIA	開講	通年	単位	2
配当	日2年				
担当者名	おおふち としはる 大淵 利春				

講義のねらい	英作文の演習をとおして、英語表現力の向上を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	授業のはじめに15分程度のリスニングの演習を行い、その後テキストの問題を進めていく。
履修上の留意点	予習をしてくること。辞書を携帯すること。
成績評価の方法	前、後期テストの結果を50%、平常点（出席状況、授業への取り組み方など）50%で評価する。
教科書	『コミュニケーションのための口語英作文』（成美堂）1600円

外国語

科目名	英語IIA	開講	通年	単位	2
配当	日2年				
担当者名	あんざい かおる 安齋 薫				

講義のねらい	これまで学んだ基礎を生かしながらさらに多くの日常表現、会話に触れ、より高度な英語運用能力（『書く力』と『話す力』）の習得を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	毎回発表形式を取り入れながらテキストを進めていく。
履修上の留意点	予習をしてくること。
成績評価の方法	出席状況（3分の2以上の出席が原則）、前期後期試験、レポートから総合的に評価する。
教科書	『English Writing for Global Communication（グローバル社会の英語作文）』金星堂 ¥1950 ISBN978-4-7647-3834-8

科目名	英語IIA	開講	通年	単位	2
配当	日2年				
担当者名	はまぐち まさき 濱口 真木				

講義のねらい

英語IAで学んだ英語を基礎として、基本的な文法・構文を重点的にチェックしつつ、総合的な英語の運用能力を伸ばす。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストを読みすすめていく。また、必要に応じて英語雑誌などからのプリントを配布し、英語を正確に読み取る練習もしていく。

履修上の留意点

平常点を重視するので、必ず予習をして授業に参加してください。

成績評価の方法

出席や発表などの平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）の総合評価とします。

教科書

「Essential Interactive Reader」金星堂 ¥1,900 ISBN978-4-7647-3831-7

外国語

科目名	英語IIA	開講	通年	単位	2
配当	外2年				
担当者名	さとう えりこ 佐藤 江里子				

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。その他に補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力を身につけることをめざす。

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。

成績評価の方法

定期試験（50%）と小テスト、提出物、発表などの平常点（50%）から総合的に評価する。特に、出席状況や授業態度を重視する。

教科書

『TOEICテストの基礎 チェックブック1』（南雲堂）¥1300+税  
『5分間ライティング』（南雲堂）¥700

科目名	英語IIA	開講	通年	単位	2
配当	考2年				
担当者名	松堂 啓子 <small>まつどう ひろこ</small>				

講義のねらい ① プロセスを踏みながら、英文を組み立てる技術を習得する。また、音声教材を用いて、要旨を把握する練習を併せて行う。

履修上の留意点 ② 単位取得には、三分の二以上の出席が必要である。

成績評価の方法 ③ 試験の結果、課題等を含めて総合的に評価する。

教科書 ④ 「Writing Techniques for College Students」(金星堂) ¥1900  
ISBN978-4-7647-3835-5  
「Essential Listening (3)」(マクミランランゲージハウス) ¥1200  
ISBN4-89585-419-1

外国語

科目名	英語IIA	開講	通年	単位	2
配当	社2必				
担当者名	町田 成男 <small>まちだ せいお</small>				

講義のねらい ① 英文を通じて様々な教養を身につける。

講義の内容・授業スケジュール ② IAを基礎として、より高度な英語の運用能力を身につける。

履修上の留意点 ③ 英和辞典は必ず持参の事。

成績評価の方法 ④ 出席+発表+前期後期の試験の総合評価

教科書 ⑤ 検討中のため、2月中に決定の予定

科目名	英語II A	開講	通年	単位	2
担当	社2必				
担当者名	堀 千和子				

講義のねらい

社会での問題を英語を通して勉強しながら、自分の意見を英語で書く技術を習得してもらいます。前期では、センテンス・レベルで自分の伝えたいことを正確に英語で表現することを、後期では、有機的に構成されるパラグラフを書くことを目標に、英作文の練習をしていきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書、インターネットや新聞の記事、映画などを使用して、社会問題を取りあげていきます。これらをトピックに、どのようにその問題について考えるか、どうしたら解決できるかを、グループやペアで考えてもらいます。

履修上の留意点

毎時間、ビデオを見たり、ワークシートを作成しますので、欠席しないこと。また、授業には必ず自分のテキストを持参し、集中して臨むこと。毎回、簡単な課題をして提出してもらいますので、辞書を持参することが望ましい。

成績評価の方法

成績は、前・後期の試験、授業中の発言、提出物、休暇中の課題から総合的に判断する。欠席は1回につき2点の減点とし、通年の授業回数の3分の1以上の欠席で失格とする。欠席分を補う提出物はないので、くれぐれも欠席しないこと。試験は、前期・後期いずれか欠席したものは単位取得の意志はないものと見なすので、両試験とも必ず出席すること。

教科書

未定。追って指示します。

外国語

科目名	英語II A	開講	通年	単位	2
担当	心2必				
担当者名	尾上 典子				

講義のねらい

現代のアメリカ文化形成に決定的な役割を演じてきた幾つかの大企業について論じたテキストを使用し、アメリカのビッグ・ビジネスの企業研究・アメリカ文化研究を行なうとともに、実践的な英語運用能力の向上をはかる。

講義の内容・  
授業スケジュール

下記のテキストを翻訳させながら、同時にアメリカのビッグ・ビジネスに関係する様々な資料を配布し、読解・聴解・作文などの英語運用能力の向上を目標とする。

履修上の留意点

正当な理由なくして年間の出席率が2/3に満たない者および授業態度の著しく悪い者は落第させる。  
毎回、授業のための予習・復習を充分にしておいてもらいたい。

成績評価の方法

評価は、授業態度、出席率、年2回の前・後期試験、小テストなどによって、総合的に判断する。

教科書

廣原真由子・Blake Baxter 共著『Big Business in America ビジネスとアメリカ文化』  
(成美堂)

科目名	英語IIA	開講	通年	単位	2
配当	心2必				
担当者名	岡本 誠				

講義のねらい

読解力の養成を目指す、というのが一番の目標ではあるが、聴く力も養いたい。リスニングは日本の学生が最も苦手とするところであるからである。英語の学習もいよいよ終わり、というところで、オールラウンドな英語力を備えるようにしたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

読む材料・聴く材料ともにこちらで用意する。なるべく法学部の学生諸君に向けた内容にしたい。

履修上の留意点

辞書は必携。予習も必須。着帽厳禁。ケータイはoffにしておくこと。

成績評価の方法

前期・後期の試験の結果、指名されたときの発表状況・主席状況・遅刻状況・受講態度等の総合評価とする。

教科書

特定のものは使用しない。

外国語

科目名	英語IIA	開講	通年	単位	2
配当	心2必				
担当者名	加藤 <sup>かとう</sup> 佐和子 <sup>さわこ</sup>				

講義のねらい

現代社会が抱える様々な問題に関するエッセイを読み英文読解力をつける。同時に、それらの社会問題を議論し、英語の伝達能力をつける。更に、オフィスなどで実際に使われる英語表現を覚え、実生活に役立つ英語のスキルを伸ばしていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

マルチメディアの教室で、LLの機械とパソコンを使って授業行う。授業は、前半と後半に分けて行う。前半は、テキストを1課ずつ進み、内容のまとめとディスカッションをする。後半は、officeなどで使われる模範文型を耳で聞き、それをタイピングすることで、実務能力をつける。

履修上の留意点

予習・復習を必ずすること。  
パソコンの操作は、各自自習すること。

成績評価の方法

小テスト25%  
授業参加度25%  
まとめテスト50%

教科書

『Reading for the Times』(英進社)  
『A Shorter Course in Office English』(南雲堂)

# 英 語 II B

## 〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading : I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
配当	国2年				
担当者名	高見 陽子 <small>たかみ ようこ</small>				

### 講義のねらい

速読の基礎をふまえ、英文を読む速度をあげながら、短時間により多くの情報を読み取る力を伸ばすことを目標とします。

### 講義の内容・授業スケジュール

英文を「理解しながら読む」練習としての速読を重視し、必要に応じて構文や内容について解説を加えます。

### 履修上の留意点

必ず辞書を持参すること。授業では速読の後で内容を確認するための精読も行います。必ず復習して内容の理解を図ること。

### 成績評価の方法

全授業回数のうち3分の2以上の出席を条件とします。前・後期末試験の結果をベースに、小テスト・レポート等の結果と平常点を加味して総合的に評価します。

### 教科書

テキストについては、第一回目の授業で指示します。

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
配当	国2年				
担当者名	岩井 洋美 <small>いらい ひろみ</small>				

### 講義のねらい

様々なスタイルの英語の内容を把握すること、また音読する力とリスニングの力をつけることを目指します。

### 講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に進めていきます。できればリスニングやテキスト以外の教材も用いていきます。

### 履修上の留意点

欠席、遅刻をしないこと。出席とやる気のある授業態度を重視します。予習を前提に進めません。8回以上の欠席、3回以上連続の無断欠席は単位を取ることはできません。

### 成績評価の方法

出席、授業態度の平常点100、前・後期試験各100、クラス内でのテスト・課題100で評価します。

### 教科書

1回目の授業までに、大学教科書売り場で購入して置いてください。

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
配当	国2年				
担当者名	やまぐち あきら 山口 晃				

講義のねらい

IBを土台にして、内容の深い英文を理解する。そして理解した内容を自らの力で伝える訓練もしたい。

講義の内容・授業スケジュール

一定量の英文を読み進める。しかし全体として連続したテキストを使用することによって、一年間の授業の中で、有機的にまとまりのある理解を達成できるようにしたい。

履修上の留意点

出席回数は重視する。遅刻は授業のさまたげになるので、注意してほしい。

成績評価の方法

出席回数、授業での発表とその内容、レポート、テストの四つを総合的に考えて評価する。

教科書

プリントを配布する。辞書は毎回かならず持ってくること。

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
配当	国2年				
担当者名	よしざわ えいじろう 吉沢 栄治郎				

講義のねらい

小説をよんでいきます。この授業でも板書を活用して、作品を味わう切掛になればと思います。原書はやはり辞典なくしてはよめません。概要をつかみとり、登場人物の性格や心理描写をよみとるには、辞典は必須です。日頃から用いるようにして、さらに、自分の語いを増やすように努めてください。

履修上の留意点

辞書を有効利用してください。

成績評価の方法

ペーパーテストと出席状況をみて評価します。

教科書

未定

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
配当	英2 必				
担当者名	澤田 真弓 <small>さわだ まゆみ</small>				

講義のねらい

テーマ別に英語で書かれた短いエッセイを読み、文法事項について確認しながら、さまざまな英語表現を学んでいきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は演習形式で行います。毎回発表担当者を決め、あらかじめ指定した箇所を音読し、日本語訳をつけてもらいます。また授業の終わりに簡単な確認テストを行います。

履修上の留意点

積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、毎回行う確認テストの結果を総合的に判断して評価します。

教科書

Blake Baxter 著、大橋久利 編『The Culture of Clothes 世界の衣生活』(成美堂)  
1,600円 ISBN4-7919-1258-6

外国語

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
配当	英2 必				
担当者名	菅原 典子 <small>すがはら のりこ</small>				

講義のねらい

テキストとプリントを併用して、構文や慣用句などを確認しながら、多くの英文に触れていきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストを読み進めると同時に、さまざまなジャンルのプリントを使用します。

履修上の留意点

授業は予習をしてくること。

成績評価の方法

前期後期の試験の結果をベースに、日常の発表、出席状況、態度等を入れて総合的に評価します。

教科書

Patricia MacLachlan、西出公文註「Sarah, Plain and Tall『のっほのサラ』」成美堂  
定価1,029円(税込) ISBN 4-7919-0529-6 C1382



科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
担当	英2必				
担当者名	伊藤 美代子				

講義のねらい

IBを基礎として、より高度で実社会に直結した生の英文の理解をめざす。  
また、リーディングだけでなく、スピーキング、リスニング、ライティングも行い、総合的な英語力を強化する。

講義の内容・授業スケジュール

原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明は日本語で行う。

履修上の留意点

予習が絶対条件である。半期に4回以上欠席したものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。

成績評価の方法

各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、平常点、小テスト、提出物等により計算する。

教科書

1. Alan E. Jackson/Hiroko Uchida, “More News and Views from The Japan Times Weekly” (マクラミン ランゲージ ハウス) 1,600円
2. 伊藤美代子 (編著) 『さらばジャパニーズイングリッシュ』 (北樹出版) 1,500円

外国語

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
担当	英2必				
担当者名	甲斐 捷子				

講義のねらい

テキストは現代アメリカの多様な話題をインタビュー形式で報じるビデオ教材です。易しくはありませんが、英文科の皆さんには親しみやすい内容です。ニュース番組のように、聞いて理解できるところまで、英語の運用能力を高めることがこの授業の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

全12章のうち、6章を前期に、残りの6章を後期に学ぶ予定です。

履修上の留意点

語学の授業ですから、欠席しないようにお願いします。

成績評価の方法

一応の目安として、前期試験30%、後期試験40%、小テスト30%による総合評価とします。

教科書

「Meeting America」(鶴見書店) 1500円

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
配当	日2年				
担当者名	狩野 晃一 <small>かのう こういち</small>				

- 講義のねらい 　より高度な文章が読めるようにすることを目的とする。
- 履修上の留意点 　必ず(できれば紙の)辞書を持参する。予習・復習を行う。特に後者に力を入れること。
- 成績評価の方法 　3分の2以上の出席が必須。提出物・授業態度などを含め総合的に判断する。
- 教科書 　未定。歴史などに関する読み物などをプリントにて随時配布する。

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
配当	日2年				
担当者名	濱口 真木 <small>はまぐち まさき</small>				

- 講義のねらい 　英語IBを基礎として、文法や構文の知識を確認しながら、さらなる読解力と表現力の向上を目指す。
- 講義の内容・授業スケジュール 　テキストを読みすすめていく。また、必要に応じて英語雑誌などからのプリントを配布し、英語を正確に読み取る練習をする。
- 履修上の留意点 　授業は平常点を重視するので、必ず予習をして授業に参加してください。
- 成績評価の方法 　出席や発表などの平常評価(50%)、前期・後期試験(50%)の総合評価とします。
- 教科書 　English in the Media 2007 「英語ニュースで読む現代社会2007」金星堂 ￥1,800  
ISBN 978-4-7647-3841-6

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
配当	日2年				
担当者名	落合 真裕 <small>おろあい まゆ</small>				

- 講義のねらい 　特殊な単語や重要表現や文法事項にも注意を払いながら、できるだけ多くの量の英文を短時間で読むことを目標とします。
- 講義の内容・授業スケジュール 　テキストの読解を中心に授業を進めます。
- 履修上の留意点 　必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席して下さい。
- 成績評価の方法 　前・後期定期試験の成績と日常の発表、出席状況などに基づき総合的に評価します。
- 教科書 　『Advanced Skills for Reading』(成美堂) 1,700円+税 ISBN4-7919-1034-6

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
配当	外2年				
担当者名	町田 成男 <small>まちだ しげお</small>				

講義のねらい

英文を通じて様々な教養を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

1Bを基礎として、大意の把握を心がけ、より高度な英文を正確に理解するための構文も学ぶ。

履修上の留意点

英和辞典は必ず持参の事。

成績評価の方法

出席＋発表＋前期後期の試験の総合評価。

外国語

科目名	英語II B	開講	通年	単位	2
配当	考2年				
担当者名	近藤 真彰 <small>こんどう まはり</small>				

講義のねらい

主に考古学に関連のあるテーマを扱った英文を読みながら、長文の読解力をつけることを目的とします。同時に、さまざまなテキストを読むことで語彙を増やしつつ、それをもとに自分の興味の対象を英語で表現することも目指していきます。

講義の内容・授業スケジュール

様々なメディアから関連するテキストを取り上げて読んでいきます。読解が中心となりますが、適宜、英作文作成や会話練習も行うようにします。

履修上の留意点

必ず辞書を持参してください。

成績評価の方法

定期試験の成績と通常点で総合的に評価します。

教科書

ハンドアウトを授業で配布します。

## <ドイツ語>

科目名	ドイツ語IA	開講	通年	単位	2
配当	国1年 地文1年 環境1年 社1年 福1年 心1年				
担当者名	<small>すぎもと まさとし</small> 杉本 正俊				

### 講義のねらい

初めて習う外国語であるドイツ語に、文法という観点からアプローチしてみる。一年の授業を通じてドイツ文法の全体が概観できるようにする。

### 講義の内容・授業スケジュール

指定する教科書に従って授業を進めるが、発音に関しては、独自のプリントを用意する。

### 履修上の留意点

予習不用な授業を心掛けるが、必要最少限の課題は必ずしっかりやってもらう。又、授業内容は十分に理解することが必要。重要な項目は反復して説明し、折にふれて復習する。又学生からの質問を歓迎する。

### 成績評価の方法

成績は、期末テストの他、日常の小テストや課題を見て評価するが、学生のドイツ語への関心や取り組み方などをあわせて考慮する。授業中のまちがった解答は、必ずしもマイナスに評価しない。

### 教科書

ステップバイステップ15  
著者：新妻孝一 兼子安弘 渡部敏一  
発行所：東洋出版株式会社 ￥1900

科目名	ドイツ語IA	開講	通年	単位	2
配当	国1年 地文1年 環境1年 社1年 福1年 心1年				
担当者名	<small>まつおか すずむ</small> 松岡 晋				

### 講義のねらい

週一回、一年間の授業でドイツ語の初級文法をマスターすることを目標とします。

### 講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語のアルファベット、発音規則の説明から始めて、冠詞、動詞の現在時制、過去時制、完了自制等々という具合にゆっくりと文章構造と表現様式の理解を深めてゆきます。補助的に適宜ネイティブ・スピーカーの発音を収録したCDを用いることも考えております。ともかくゆっくりと、皆さんとともに先へ進んでゆくつもりです。

### 履修上の留意点

文法の学習は積み重ねですから、定期的出席が前提条件です。また、初回の授業のさいに中型の「独和辞典」を何種類か紹介いたしますので、そのうちの一つを入手し、以降つねに持参ください。

### 成績評価の方法

期末試験（7月）、学年末試験（1月）以外に何度か小テストを行ないます。そのほかに平常点（出席率、授業中に指名された時の口頭練習の結果など）を加味して成績評価をいたします。筆記試験と平常点の成績評価に占める割合は同等であると考えてください。

### 教科書

未定

### その他

実際のドイツ語の文章に慣れるために、その都度の文法事項に即した例文を取めたプリントを何度か配布いたします。

科目名	ドイツ語IA	開講	通年	単位	2
配当	国1年 地文1年 環境1年 社1年 福1年 心1年				
担当者名	やぶした こういち 藪下 紘一				

講義のねらい

ドイツ語文法は最初の1年がむづかしい。それを乗り越えたら、辞書をひいて、約1億人の人々の情報が入って来ます。

成績評価の方法

7月、12月の試験+平常点。

教科書

椿・成田『新訂・入門初級ドイツ文法』同学社、¥2100+税。

外国語

科目名	ドイツ語IA	開講	通年	単位	2
配当	英1年 日1年 外1年 考1年				
担当者名	まつおか すずむ 松岡 晋				

講義のねらい

週一回、一年間の授業でドイツ語の初級文法をマスターすることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語のアルファベット、発音規則の説明から始めて、冠詞、動詞の現在時制、過去時制、完了自制等々という具合にゆっくりと文章構造と表現様式の理解を深めてゆきます。補助的に適宜ネイティブ・スピーカーの発音を収録したCDを用いることも考えております。ともかくゆっくりと、皆さんとともに先へ進んでゆくつもりです。

履修上の留意点

文法の学習は積み重ねですから、定期的出席が前提条件です。また、初回の授業のさいに中型の「独和辞典」を何種類か紹介いたしますので、そのうちの一つを入手し、以降つねに持参ください。

成績評価の方法

期末試験（7月）、学年末試験（1月）以外に何度か小テストを行ないます。そのほかに平常点（出席率、授業中に指名された時の口頭練習の結果など）を加味して成績評価をいたします。筆記試験と平常点の成績評価に占める割合は同等であると考えてください。

教科書

未定

その他

実際のドイツ語の文章に慣れるために、その都度の文法事項に即した例文を取めたプリントを何度か配布いたします。

科目名	ドイツ語IA	開講	通年	単位	2
配当	英1年 日1年 外1年 考1年				
担当者名	やぶした こういち 藪下 紘一				

講義のねらい

ドイツ語文法にはじめて接します。CDもついているので、何回も聴いて、ドイツ語の発音に慣れて下さい。

履修上の留意点

7月と12月の試験+平常点。

成績評価の方法

中間試験と年度末試験があります。(50点満点の試験を2回)

教科書

岡田・在間『新センチュリードイツ文法』朝日出版、¥2500+税。

科目名	ドイツ語IB	開講	通年	単位	2
配当	国1年 地文1年 環境1年 社1年 福1年 心1年				
担当者名	おかもと ときこ 岡本 時子				

講義のねらい

初心者を対象に、ドイツ語が使えるようになるための基礎的学力、知識の養成を目指し、併せてドイツ語圏の文化、社会、歴史等についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期はドイツ語の発音・文法の基礎を中心に簡単な挨拶や文が言えるようにする。後期は辞書を引きながら平易なドイツ語の文章を読めるようにし、口頭では複文や重文が組み立てられるようにする。

履修上の留意点

受身に「教わる」授業ではなく、積極的に自分から「学び、考える」授業にしたい。

成績評価の方法

期末筆記試験・授業への出席・参加等を総合して評価する。

教科書

荻野蔵平『ドイツこころのふるさと』(朝日出版)

参考書等

参考書・辞書等については第一回目の授業で説明する。

その他

科目名	ドイツ語IB	開講	通年	単位	2
配当	国1年 地文1年 環境1年 社1年 福1年 心1年				
担当者名	やぶした こういち 藪下 紘一				

講義のねらい

家でCDを何回も聴いて、まねして下さい。教室では復習をやります。発音がうまくできるように、文法も少しやります。

成績評価の方法

7月、12月のテスト+平常点。

教科書

大谷『言ってみよう、ドイツ語で!』同学社、¥2500+税。

科目名	ドイツ語Ⅱ	開講	通年	単位	2
配当	国1年 地文1年 環境1年 社1年 福1年 心1年				
担当者名	まつおか すずむ 松岡 晋				

講義のねらい

平行して行なわれる文法の授業で得られた知識を活用しながら、口頭練習、平易なドイツ語の文章の読解に取り組みます。一年後には、独和辞典を用いて新聞、雑誌などの現代文をなんとか理解できるようになりたいものです。

講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語の文章の発音練習、プリントで配布する文章の和訳・読解が授業の大半を占めます。

履修上の留意点

文法の時間に紹介される中型の「独和辞典」を入手し、それを毎回の授業のさいに必ず持参して下さい。定期的出席が単位取得の前提条件です。

成績評価の方法

期末試験（7月）、学年末試験（1月）以外に何度か小テストを行ないます。そのほかに平常点（出席率、授業中に指名された時の口頭練習の結果など）を加味して成績評価をいたします。筆記試験と平常点の成績評価に占める割合は同等であると考えてください。

教科書

なし（授業担当者が用意したプリントを配布します）

外国語

科目名	ドイツ語Ⅱ	開講	通年	単位	2
配当	英1年 日1年 外1年 考1年				
担当者名	まつおか すずむ 松岡 晋				

講義のねらい

平行して行なわれる文法の授業で得られた知識を活用しながら、口頭練習、平易なドイツ語の文章の読解に取り組みます。一年後には、独和辞典を用いて新聞、雑誌などの現代文をなんとか理解できるようになりたいものです。

講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語の文章の発音練習、プリントで配布する文章の和訳・読解が授業の大半を占めます。

履修上の留意点

文法の時間に紹介される中型の「独和辞典」を入手し、それを毎回の授業のさいに必ず持参して下さい。定期的出席が単位取得の前提条件です。

成績評価の方法

期末試験（7月）、学年末試験（1月）以外に何度か小テストを行ないます。そのほかに平常点（出席率、授業中に指名された時の口頭練習の結果など）を加味して成績評価をいたします。筆記試験と平常点の成績評価に占める割合は同等であると考えてください。

教科書

なし（授業担当者が用意したプリントを配布します）

科目名	ドイツ語I B	開講	通年	単位	2
配当	英1年 日1年 外1年 考1年				
担当者名	岡本 時子				

講義のねらい

初心者を対象に、ドイツ語が使えるようになるための基礎的学力、知識の養成を目指し、併せてドイツ語圏の文化、社会、歴史等についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期はドイツ語の発音・文法の基礎を中心に簡単な挨拶や文が言えるようにする。後期は辞書を引きながら平易なドイツ語の文章を読めるようにし、口頭では複文や重文が組み立てられるようにする。

履修上の留意点

受身に「教わる」授業ではなく、積極的に自分から「学び、考える」授業にしたい。

成績評価の方法

期末筆記試験・授業への出席・参加等を総合して評価する。

教科書

荻野蔵平『ドイツこころのふるさと』（朝日出版）

参考書等

参考書・辞書等については第一回目の授業で説明する。

外国語

科目名	ドイツ語II A	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	柴野 博子				

講義のねらい

中級程度の文章で書かれた、ドイツ人のものの見方をテーマにしたテキストを読んでいきます。私達がドイツあるいは日本文化について考えるきっかけになれば、と思っています。

講義の内容・授業スケジュール

はじめは、1年生の文法を復習あるいは補足しながら、ゆっくり進んでいきます。後半は、少し速度を早め、11月にはテキストを読み終える予定です。12月には、ドイツ文学の名作（たとえばシュティフター）を読んでみましょう。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強は、短い時間でも、毎日つづけることが大切です。予習、復習をして、特別の事情がない限り、毎回出席して下さい。

成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

教科書

大谷弘道『ドイツ人を知る9章+1』（三修社）2,500円



科目名	ドイツ語IIA	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	飯塚 公夫 <small>いづか きみお</small>				

#### 講義のねらい

一年で習ったドイツ語の補習とその応用。辞書を引くことに慣れること。勉強する根気を養うこと。映画を見ながら文章を読むことで、文章が生きてくることを体験すること。

#### 講義の内容・授業スケジュール

おおよそのスケジュール①前期前半：一年の文法の復習と、未修部分があればその部分の補習（コピー練習問題中心）②前期後半：練習問題と平行して、映画を見ながらテキストである映画シナリオの読解③後期：映画をみながら、テキストであるシナリオの読解。（映画は、『Paris je t'aime（アイ・ラブ・ユー・パリ）』というオムニバス・フランス映画の、ドイツ人監督トム・ティクヴァが監督したエピソードです。）

#### 履修上の留意点

辞書を毎回持ってくること（完全に予習している人は持ってこなくてもよろしい）。予習が必要になるので、予習時間を自分の生活スケジュールに組み込める人の参加が望ましい。

#### 成績評価の方法

前期後期各1回の筆記試験及び平常点（＝発表点）。

#### 教科書

Tom Tykwer 『True』(ISBN:3-936298-12-2)。大変きれいな本なので、購入をおすすめしますが、ドイツから直接取り寄せなければならないので、学内での購入は事務的に不可能ですから、自分で洋書店かアマゾンで購入してください。もちろん、こちらでもコピーを用意します。

科目名	ドイツ語IIA	開講	通年	単位	2
配当	禅仏英経A法A2年				
担当者名	柴野 博子 <small>しばの ひろこ</small>				

#### 講義のねらい

中級程度の文章で書かれた、ドイツ人のものの見方をテーマにしたテキストを読んでいきます。私達がドイツあるいは日本文化について考えるきっかけになれば、と思っています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

はじめは、1年生の文法を復習あるいは補足しながら、ゆっくり進んでいきます。後半は、少し速度を早め、11月にはテキストを読み終える予定です。12月には、ドイツ文学の名作（例えばヘッセ）を読んでみましょう。

#### 履修上の留意点

ドイツ語の勉強は、短い時間でも、毎日つづけることが大切です。予習、復習をして、特別の事情がない限り、毎回出席して下さい。

#### 成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

#### 教科書

大谷弘道『ドイツ人を知る9章+1』（三修社）2,500円

科目名	ドイツ語IIA	開講	通年	単位	2
配当	禅仏英経 A法A2年				
担当者名	もとほし うきよう 本橋 右京				

講義のねらい	リライト版でグリム童話を読みます。ドイツ語初級文法を確認・復習しながら、ドイツ語の理解と読解力を養います。
講義の内容・授業スケジュール	比較的平易な表現を通してドイツ語に慣れて行きましょう。初級文法では十分時間をかけることができなかつた項目は、その都度プリントで補足します。
履修上の留意点	しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。
成績評価の方法	前期・後期の試験や出席などで総合評価します。
教科書	Wundt・本橋 『グリム童話で学ぶドイツ語 PartII』 (郁文堂)
参考書等	『グリム童話集』の翻訳がたくさん出版されています。

外国語

科目名	ドイツ語IIB	開講	通年	単位	2
配当	国日外考商政2年				
担当者名	やぶした こういち 藪下 紘一				

講義のねらい	注がたくさんつていますが、それを参考にして訳して行きます。毎回当ります、予習をして来る事。
成績評価の方法	7月、12月の試験+平常点。
教科書	『こんにちは！ドイツです』(朝日出版) ¥1900+税。

科目名	ドイツ語IIB	開講	通年	単位	2
配当	国日外考商政2年				
担当者名	もり こうせい 森 公成				

講義のねらい	ドイツ語IAとIBを基礎とした、初級から中級にかけての講読中心の授業です。文法の復習をしながら、いろいろなタイプのドイツ語に触れます。ドイツの歌もいくつか紹介します。
講義の内容・授業スケジュール	用意したプリントによって授業を行います。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。
履修上の留意点	最初の授業時にドイツ語で読んでみたいものを書いていただきますので、あらかじめ考えておいてください。授業への積極的な参加を希望しています。また、3分の1以上休んだ場合は(遅刻と早退は2回で1回休みとみなします)、原則として定期試験の成績いかんに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。
成績評価の方法	定期試験(年2回)、出席率、夏季休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。
教科書	テキストはこちらで用意します。

## 〈フランス語〉

科目名	フランス語IA	開講	通年	単位	2
配当	国1年 地文1年 環境1年 社1年 福1年 心1年				
担当者名	<small>こだま なりお</small> 小玉 齊夫				

### 講義のねらい

「話すための」フランス語学習に直結するような、文法の勉強をしていこうと思っ  
ています。授業で新しく得た知識をすぐに使えるような、フランス語をいちいち日本語と突き合わせ  
て覚えるのではなく、フランス語の音として身につけてしまうような、そういう在り方が理想  
的なので、そのための練習を、可能な限り豊富に、数多く、試みてみようと思います。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

教科書の文法的な内容は結構多いので、授業の展開はすこし早めになるかもしれません。覚  
えることがらも少なくはありません。要するに、フランス語漬けになるくらいのつもりで、授  
業に出て下さい。

### 履修上の留意点

1年間で文法を終えるためには、覚えて覚えて覚えまくるほどの覚悟が必要かもしれません。  
特別な理由のない限り欠席しないこと。毎回の授業で覚えたことがらを積み重ねていくこと。

### 成績評価の方法

日常の授業への参加の度合いを見つつ、前期・後期（後期の方を重視します）の試験結果によ  
って判断します。出席はするのが当たり前。よって「出席点」などはありません。

### 教科書

藤田 他著 『新・東京一パリ、初飛行』（駿河台出版社、2200円）ISBN978-4-411-01097-1  
C1085

### 参考書等

辞書等については開講時にお話しします。

科目名	フランス語IA	開講	通年	単位	2
配当	国1年 地文1年 環境1年 社1年 福1年 心1年				
担当者名	<small>とおやま ひろお</small> 遠山 博雄				

### 講義のねらい

基礎的な文法事項をきちんと身につけること。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

はじめに詳しい説明をし、その後で練習問題をやります。単純な事項から複雑な事項に順を  
追って進んでいきます。

### 履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で問題に取り組む姿勢が必要です。遅刻をして説明を聞きも  
らさないこと。

### 成績評価の方法

2～3回の筆記試験を行ないます。

### 教科書

斎藤昌三著『新版 ル・フランセ』（白水社）1,838円 ISBN4-560-06052-2

### 参考書等

最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

科目名	フランス語IA	開講	通年	単位	2
配当	国1年 地文1年 環境1年 社1年 福1年 心1年				
担当者名	<small>でぐち まさとし</small> 出口 雅敏				

講義のねらい

フランス語をはじめて学ぶ学生のための授業です。初級文法の習得を中心に、読む、書く、聞く、話すための基礎をバランス良く学習することが目的です。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は、まず基礎的な文法事項の説明の後、練習問題を通じて理解を確実にします。次に、フランス語文章の音読と読解、語彙と表現の学習を行います。加えて、仏和辞書の引き方についても慣れてもらいます。

履修上の留意点

辞書を持参して下さい。やむをえず欠席する場合は、理由を書面にて提出して下さい。

成績評価の方法

前期・後期の期末試験と通常点によって評価します。

教科書

吉野仁子著『プティタプティ』（第三書房）2,000円

外国語

科目名	フランス語IA	開講	通年	単位	2
配当	英1年 日1年 外1年 考1年				
担当者名	<small>さとう くみこ</small> 佐藤 久美子				

講義のねらい

フランス語を初めて学ぶ学生を対象とし、アルファベ（アルファベット）から始めて、1年間で文法の基礎を習得する。

講義の内容・  
授業スケジュール

発音練習に続いて文法解説を行う。習ったばかりの事項の確認のため、すぐ練習問題に取り組んでもらう。時々課題提出も求める。

履修上の留意点

出席を重視する。年間授業回数の三分の一以上欠席した場合は評価の対象からはずす。ただし出席さえしていればよいというのではなく、積極的に授業に参加することが肝要。そのため予習（最低限新しい単語を調べておくこと）が不可欠。

成績評価の方法

授業への参加度を含む平常点40%、前・後期の試験の結果30%、課題の提出状況30%を目安として総合的に判断する。

教科書

佐藤著『アベセデ フランセ』（白水社）2,500円 ISBN4-560-06054-1 C3085

参考書等

仏和辞典（初回の授業で紹介）を授業時に必ず持参すること。電子辞書ではなく、極力、紙の辞書を薦める。

その他

教科書はフランス人の発音を録音したCDつきなので、各自予習復習に大いに活用してほしい。

科目名	フランス語IA	開講	通年	単位	2
配当	英1年 日1年 外1年 考1年				
担当者名	いませき 今関 アン				

講義のねらい → フランス語初級文法の確実な習得を目的とし、フランス語検定試験5級程度の実力をつける。

講義の内容・授業スケジュール → 新出単語をあらかじめ各自で調べ「単語帳」を作っておくこと。この「単語帳」を元に文法項目を学んでいく。

履修上の留意点 → 授業は練習問題を解きながら進めてゆくので、単語調べなどの予習は欠かせない。またほぼ毎回小テストを実施するから、遅刻・欠席はしないように。

成績評価の方法 → 各単元毎の小テストを含む出席点50%、定期試験50%

教科書 → 清岡智比古著『ル・フランセ・クレール』（白水社）2,300円

参考書等 → 仏和辞典、清岡智比古『フラ語動詞、こんなにわかっていいかしら?』（白水社）1,500円。  
『フラ語入門、わかりやすいにもホドがある!』（白水社）1,500円。  
『ふらんす夏休み学習号2007』白水社

外国語

科目名	フランス語IB	開講	通年	単位	2
配当	国1年 地文1年 環境1年 社1年 福1年 心1年				
担当者名	くわた かりあき 桑田 禮彰				

講義のねらい → フランス語の基礎の習得。

講義の内容・授業スケジュール → まず発音の基本をしっかり確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。

履修上の留意点 → 発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法 → ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書 → 林田遼右著『パリ散歩』（朝日出版社）2,600円+税

参考書等 → その都度授業で指示します。

科目名	フランス語Ⅱ	開講	通年	単位	2	
配当	国1年	地文1年	環境1年	社1年	福1年	心1年
担当者名	はまさき せつお 浜崎 設夫					

講義のねらい

文法読本の教科書を使い、文法を復習しつつ初級の文章を読解できるようにする。またフランス文化に対する関心を強めてもらう。

講義の内容・  
授業スケジュール

発音の練習から始めて、約25回の授業で、最終段階の接続法まで進みたい。1課ごとにまず文法を説明し、文章の和訳と練習問題を宿題にする。レポートを2度出してもらう。

履修上の留意点

なるべく遅刻欠席をしないこと。必ず復習すること（予習は必要なし）。ノートを用意すること。毎回辞書を持って来ること。辞書は最初の授業で紹介する。

成績評価の方法

出席回数、宿題をやった回数、前後期の試験の成績、レポートの内容等に基づいて評価する。

教科書

藤田『新・東京ーパリ、初飛行』（駿河台出版社）2,310円

参考書等

前もって買う必要はない。授業中に紹介する。

科目名	フランス語Ⅱ	開講	通年	単位	2	
配当	国1年	地文1年	環境1年	社1年	福1年	心1年
担当者名	とわやま ひろお 遠山 博雄					

講義のねらい

ある程度まとまったやさしい文章やスケッチを読み取り、発音できるようになること。

講義の内容・  
授業スケジュール

必要な文法事項の説明をしてから、辞書を使って応用していきます。リスニングと発音練習もあわせて行ないます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で取り組むこと。大きな声を出すこと。遅刻をして説明を聞きもらさぬこと。

成績評価の方法

筆記試験を3回行ないます。その中にリスニングも含まれます。

教科書

藤田裕二他著『新・東京ーパリ、初飛行』（駿河台出版社）2,310円  
ISBN4-411-01097-6

参考書等

最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

科目名	フランス語I B	開講		単位	
配当	英1年 日1年 外1年 考1年				
担当者名	桑田 <sup>くわた のりあき</sup> 禮彰				

講義のねらい フランス語の基礎の習得。

講義の内容・授業スケジュール まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。

履修上の留意点 発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法 ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書 林田遼右著『パリ散歩』（朝日出版社）2,600円+税

参考書等 そのつど授業で指示します。

外国語

科目名	フランス語I B	開講	通年	単位	2
配当	英1年 日1年 外1年 考1年				
担当者名	前田 <sup>まえだ のりかず</sup> 祝一				

講義のねらい まず、音としてのフランス語に慣れ親しんでもらうことを、第一の目標とします。

講義の内容・授業スケジュール 生活上の基本語・基本動詞・基本文型を習得することが、この一年間のスケジュールです。

履修上の留意点 毎回の授業が新しいことの学習であり、その積み重ねで一年間の勉強が成り立っているのですから、欠席すれば先のが分からなくなります。このことに留意しておいて下さい。

成績評価の方法 前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、出席状況や平常の課題なども考慮します。

教科書 小倉孝誠『エメ・ヴ・ラ・フランス?』（第三書房）2,500円

科目名	フランス語II A	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	とおやま ひろお 遠山 博雄				

講義のねらい

辞書を使ってやさしいフランス語の文章やスケッチを読み、発音すること。口語的な有用表現を覚えること。後期はフランスの社会や時事問題についての知識をフランス語を通じて学ぶこと。

講義の内容・授業スケジュール

1年次でやり残した文法事項の説明をまずませ、その他の文法事項は復習したり追加しながら、辞書を片手に精読していきます。リスニングも行ないます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で調べて取り組むこと。発音をおろそかにしないこと。

成績評価の方法

2回の筆記試験を行ないます。その中にリスニングも含まれます。

教科書

澤田直他著『アミカルマン』（駿河台出版社）2,625円 ISBN4-411-01093-3

科目名	フランス語II A	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	まえだ のりかず 前田 祝一				

講義のねらい

レベルを中級フランス語に設定します。したがって、一年生で学んだフランス語の後半部分を学習し直し、さらに豊かなフランス語の世界への参入を試みます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って進め、細かいニュアンスの把握にも挑戦しましょう。

履修上の留意点

初級フランス語IA・IBの単位の未修者は、自分で参考書などで勉強する覚悟でいて下さい。

成績評価の方法

基本的には前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、授業中の課題や出席の状況にも配慮します。

教科書

数江編『フランス史』（白水社）1,200円



科目名	フランス語II A	開講	通年	単位	2
配当	禅仏英経 A 法A2年				
担当者名	こだま なりお 小玉 齊夫				

#### 講義のねらい

既に初級文法をある程度はマスターした人を対象に、フランス語を聞きとり、話し、書く能力をいっそう高めることを目的とします。「短期セミナー」に参加しようと考えている人は、ぜひ、取得するように希望します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

個々の場面に応じた実践的なフランス語を、話し、聞き、書く練習が繰り返されると考えてください。

#### 履修上の留意点

初級文法の教科書はつねに授業に持ってくること。「分からないこと」は、授業時間中に分からせるように努めること。それだけでなく早く進むので、予習復習に時間をかけること。出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕が出てきません。つとめて、そのような授業にしていきたいと思っています。

#### 成績評価の方法

ふだんの授業への参加の度合い（提出物も多いはずですが）、それと、後期の試験で判定します。

#### 教科書

高橋 他著 『エクスプレッション 1』（第三書房、1500円）  
ISBN978-4-8086-2165-0 C1085

#### 参考書等

『和仏小辞典』（白水社）。フランス語彙を増やすためにも、必要です。

科目名	フランス語II A	開講	通年	単位	2
配当	禅仏英経 A 法A2年				
担当者名	とひやま ひろお 遠山 博雄				

#### 講義のねらい

辞書を使ってやさしいフランス語の文章やスケッチを読み、発音すること。口語的な有用表現を覚えること。後期はフランスの社会や時事問題についての知識をフランス語を通じて学ぶこと。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1年次でやり残した文法事項の説明をまずすませ、その他の文法事項は復習したり追加しながら、辞書を片手に精読していきます。リスニングも行ないます。

#### 履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で調べて取り組むこと。発音をおろそかにしないこと。

#### 成績評価の方法

2回の筆記試験を行ないます。その中にリスニングも含まれます。

#### 教科書

澤田直他著 『アミカルマン』（駿河台出版社）2,625円 ISBN4-411-01093-3

科目名	フランス語II B	開講	通年	単位	2
配当	国日外考商政2年				
担当者名	はたなか ちあき 畑中 千晶				

講義のねらい

リスニング力を強化しながら、フランス語でコミュニケーションする能力を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

初回の講義の際に年間スケジュールを配布します。

履修上の留意点

自宅学習とクラスでの活動を連動させることで、力が伸びていきます。宿題には必ず取り組むようにしてください。

成績評価の方法

前期末試験30%、学年末試験30%、平常点（宿題、小テストなど）20%、夏季休暇の課題10%、出席10%

教科書

中井珠子『コミュニケーションのためのフランス語リスニング入門（教科書版）』（白水社）1,800円

科目名	フランス語II B	開講	通年	単位	2
配当	国日外考商政2年				
担当者名	こだま なりお 小玉 齊夫				

講義のねらい

既に初級文法をある程度はマスターした人を対象に、フランス語を聞きとり、話し、書く能力をいっそう高めることを目的とします。「短期セミナー」に参加しようと考えている人は、ぜひ、取得するように希望します。

講義の内容・  
授業スケジュール

個々の場面に応じた実際的なフランス語を、話し、聞き、書く練習が繰り返されると思ってください。

履修上の留意点

初級文法の教科書はつねに授業に持ってくること。「分からないこと」は、授業時間中に分からせるように努めること。それだけでなく早く進むので、予習復習に時間をかけること。出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕が出てきません。つとめて、そのような授業にしていきたいと思っています。

成績評価の方法

ふだんの授業への参加の度合い（提出物も多いはずですが）、それと、後期の試験で判定します。

教科書

高橋 他著 『エクスプレッション1』（第三書房、1500円）  
ISBN978-4-8086-2165-0 C1085

参考書等

『和仏小辞典』（白水社）。フランス語彙を増やすためにも、必要です。

# 中国語

## 中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・句型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA - ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA - ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

外国語

## 中国語ⅡA

ⅠA - ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1～2篇の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・句型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

## 中国語ⅡB

ⅠA - ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA - ⅠBに準ずる。

### 【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまうなら、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りのあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習辞典』（2002年 朝日出版社）2,800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日辞典〔第2版〕』（2003年 小学館）語法解説や図版豊富。6,300円

相原茂『講談社中日辞典〔第二版〕』（2002年 講談社）全例文にピンイン付き。6,500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日辞典』（2001年 三省堂）4,000円／『小型版』（2004年）2,800円

武信彰『プログレッシブ中国語辞典』（1998年 小学館）3,500円／『コンパクト版』（2004年）2,600円

また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の2点も、初心者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容を具えた優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語辞典』（2002年 白水社）7,800円

愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第二版〕』（1987年 大修館書店）8,600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元があれば重宝するであろう。

対外経貿大学・商務印書店・小学館『日中辞典〔第2版〕』（2002年 小学館）7,000円

倉石武四郎・折敷瀬瀨『岩波日中辞典〔第2版〕』（2001年 岩波書店）5,000円

科目名	中国語IA・中国語IB	開講	通年	単位	2
配当	国1年 地文1年 環境1年 社1年 福1年 心1年				
担当者名	布施 <sup>よせ</sup> 直子・下出 <sup>なげ</sup> 宣子				

- 講義のねらい** 初級段階の習得。
- 講義の内容・授業スケジュール** 「声調」および「ピンイン」の学習により発音の方法を学んだのち、語法の学習に入る。話せる日常会話の表現を増やしていく。
- 履修上の留意点** IA・IBで同じ1冊の教科書を用い、語法とドリルというように担当分野を分けて、二人の教員が担当する。発音の占める重要性は大きく、発音ができれば中国語がおもしろくなる。大きな声でとりくんでほしい。
- 成績評価の方法** 各学期で中間・期末試験をする。出席状況、テスト成績、授業への積極性を総合して評価する。
- 教科書** 楊凱栄・張麗郡『中国語へのアプローチ』（朝日出版社）2,300円＋税

科目名	中国語IA・中国語IB	開講	通年	単位	2
配当	国1年 地文1年 環境1年 社1年 福1年 心1年				
担当者名	おぐりやま けい とくま よしのぶ 小栗山 恵 徳間 佳信				

講義のねらい

発音・文法・語法等に即して、中国語がどのような言語であるかという入門的な理解を得る。とくに読めるが聞きとれないという弊に陥らないよう発音を重視する。

講義の内容・授業スケジュール

IAでは課文の音読・日訳・文法の説明を主に行い、IBではその定着のために問題演習を行う。

履修上の留意点

休まず出席し、大きな声で発音して下さい。

成績評価の方法

試験の成績、出席状況、授業中の取りくみ、提出物等により総合的に評価する。

教科書

相原茂『語学三十六景』（東方書店）2400円 ISBN4-497-99565-8

外国語

科目名	中国語IA・中国語IB	開講	通年	単位	2
配当	国1年 地文1年 環境1年 社1年 福1年 心1年				
担当者名	くどう さえ ふせ なおこ 工藤 早恵 布施 直子				

講義のねらい

中国語の初級段階の学習を内容とする。中国語の発音のしかたを覚え、中国語の文の構造を理解することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

二人の教員が連携して授業を進める。基礎となる発音をしっかりマスターした後、基本的な語彙や文法、言い回しを身につける。

履修上の留意点

初めて学ぶ言語なので、授業での文法等の説明をしっかりと聞き、音声練習や作文練習に取り組むことが非常に大切である。欠席せずに毎回の出席を心がけてほしい。

成績評価の方法

出席状況、平常点、小テスト・中間テスト、期末テストによって総合的に評価する。

教科書

相原茂 陳淑梅著『語学三十六景』（東方書店）2,520円

科目名	中国語IA・中国語IB	開講	通年	単位	2
配当	国1年 地文1年 環境1年 社1年 福1年 心1年				
担当者名	本間 由香利 曹 泰和				

講義のねらい

中国語に興味と関心を持ってもらうこと。

講義の内容・授業スケジュール

単語の発音と意味の確認、文法の説明及び例文の発音と意味をIAで行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習をIBで行う。

履修上の留意点

練習問題は自宅で解答しておくこと。必ず出席して声を出して発音練習すること。

成績評価の方法

出席を重視し、平常点（授業態度）、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。評価はA、Bでそれぞれ行います。

教科書

本間史・孟広学『中国語ポイント55』（白水社）2,415円

参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	中国語IA・中国語IB	開講	通年	単位	2
配当	国1年 地文1年 環境1年 社1年 福1年 心1年				
担当者名	塩旗 伸一郎				

講義のねらい

中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や、表現の背景にある文化、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解すること。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

北京ロケによる最新ビデオを楽しみながら、生きた中国語を場面に戻して練習する。課ごとの仕上げはビデオに合わせたバーチャル会話。

音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の約半分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを盛大に行う。

履修上の留意点

IAとIBが連動するので、必ずセットで履修すること。

なお、携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、欠席扱いとする。

成績評価の方法

定期試験+小テスト+平常点-欠席点。IAとIBは連続した通年授業だが、便宜上、前期の成績をIAに、後期の成績をIBに反映させる。

「平常点」とは「出席点」ではない。ただ坐っていれば評価されると期待するのは大いなる誤解である。

前期、火曜と土曜を合わせて欠席3回を超えると、1回につき10点ずつ減点する。遅刻は2回で欠席1回に換算する。

教科書

相原茂・李貞愛『北京コレクション入門篇』（朝日出版社）2,625円

科目名	中国語IA・中国語IB	開講	通年	単位	2
配当	国1年 地文1年 環境1年 社1年 福1年 心1年				
担当者名	よしだ たていちろう さとう ふみこ 吉田 建一郎 佐藤 普美子				

講義のねらい

中国語の発音のしかた、初級段階での基本文法を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

二人の教員が連携して授業を進めます。発音の基礎をマスターした後、基本的語彙・表現を身につけます。

履修上の留意点

ともかく大きな声を出しましょう。そして、欠席しないこと！

成績評価の方法

小テスト（前後期各2回）、学期末テスト、出席状況によって総合的に評価します。

教科書

楊凱栄・張麗群『中国語へのアプローチ』（朝日出版社、2,415円）

科目名	中国語IA・中国語IB	開講	通年	単位	2
配当	英1年 日1年 外1年 考1年				
担当者名	ふせ なおこ しもいで のぶこ 布施 直子 下出 宣子				

講義のねらい

初級段階の習得。

講義の内容・授業スケジュール

「声調」および「ピンイン」の学習により発音の方法を学んだのち、語法の学習に入る。話せる日常会話の表現を増やしていく。

履修上の留意点

IA・IBで同じ1冊の教科書を用い、語法とドリルというように担当分野を分けて、二人の教員が担当する。発音の占める重要性は大きく、発音ができれば中国語がおもしろくなる。大きな声でとりくんでほしい。

成績評価の方法

各学期で中間・期末試験をする。出席状況、テスト成績、授業への積極性を総合して評価する。

教科書

楊凱栄・張麗群『中国語へのアプローチ』（朝日出版社）2,300円＋税

科目名	中国語IA・中国語IB	開講	通年	単位	2
配当	英1年 日1年 外1年 考1年				
担当者名	本間 <small>ほんま</small> 由香利 <small>ゆかり</small>				

- 講義のねらい** 中国語に興味と関心を持ってもらうこと。
- 講義の内容・授業スケジュール** 単語の発音と意味の確認、文法の説明及び例文の発音と意味をIAで行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習をIBで行う。
- 履修上の留意点** 練習問題は自宅で解答しておくこと。必ず出席して声を出して発音練習すること。
- 成績評価の方法** 出席を重視し、平常点（授業態度）、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。評価はA、Bでそれぞれ行います。
- 教科書** 楊凱栄・張麗群『中国語へのアプローチ』（朝日出版社）2,300円＋税
- 参考書等** 授業の中で紹介する。

外国語

科目名	中国語IA・中国語IB	開講	通年	単位	2
配当	英1年 日1年 外1年 考1年				
担当者名	工藤 <small>くどう</small> 早恵 <small>さへ</small> 張 <small>ちゆう</small> 渭涛 <small>いとう</small>				

- 講義のねらい** 中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や、表現の背景にある文化、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解すること。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がるだろう。
- 講義の内容・授業スケジュール** 一年生3人のキャンパスライフを映したビデオを見ながら、生きた中国語を場面に戻して練習する。課ごとの仕上げはビデオに合わせたバーチャル会話。  
音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の相当部分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを盛大に行う。
- 履修上の留意点** 必ず中国語IA・IB（火曜第4時限 工藤、土曜第1時限 張）セットで履修すること。  
なお、携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、欠席扱いとする。
- 成績評価の方法** 定期試験＋小テスト＋平常点－欠席点。  
「平常点」とは「出席点」ではない。ただ坐っていれば評価されると期待するのは大いなる誤解である。  
欠席は年間3回を超えると10点ずつ原点。遅刻は2回で欠席1回に換算する。
- 教科書** 相原・陳・飯田『一年生のころ（改訂版）』（朝日出版社）2,625円



科目名	中国語IA・中国語IB	開講	通年	単位	2
配当	英1年 日1年 外1年 考1年				
担当者名	小栗山 恵 <small>おぐりやま けい</small> 徳間 佳信 <small>とくま よしのぶ</small>				

講義のねらい

発音・文法・語法等に即して、中国語がどのような言語であるかという入門的な理解を得る。とくに読めるが聞きとれないという弊に陥らないよう発音を重視する。

講義の内容・授業スケジュール

IAでは課文の音読・日訳・文法の説明を主に行い、IBではその定着のために問題演習を行う。

履修上の留意点

休まず出席し、大きな声で発音して下さい。

成績評価の方法

試験の成績、出席状況、授業中の取りくみ、提出物等により総合的に評価する。

教科書

相原茂『語学三十六景』（東方書店）2400円 ISBN4-497-99565-8

外国語

科目名	中国語IA・中国語IB	開講	通年	単位	2
配当	英1年 日1年 外1年 考1年				
担当者名	佐藤 普美子 <small>さとう ふみこ</small>				

講義のねらい

中国語の発音のしかた、初級段階での基本文法を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

一人の教員が連係させて授業を進めます。発音の基礎をマスターした後、基本的語彙・表現を身につけます。

履修上の留意点

ともかく大きな声を出しましょう。そして、欠席しないこと！

成績評価の方法

小テスト（前後期各2回）、学期末テスト、出席状況によって総合的に評価します。

教科書

楊凱栄・張麗群『中国語へのアプローチ』（朝日出版社、2,415円）

科目名	中国語IA・中国語IB	開講	通年	単位	2
配当	英1年 日1年 外1年 考1年				
担当者名	塩旗 伸一郎				

#### 講義のねらい

中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や、表現の背景にある文化、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解すること。それは私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことにも繋がるだろう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

北京ロケによる最新ビデオを楽しみながら、生きた中国語を場面に戻して練習する。課ごとの仕上げはビデオに合わせたバーチャル会話。  
音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の約半分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを盛大に行う。

#### 履修上の留意点

IAとIBが連動するので、必ずセットで履修すること。  
なお、携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、欠席扱いとする。

#### 成績評価の方法

定期試験+小テスト+平常点-欠席点。IAとIBは連続した通年授業だが、便宜上、前期の成績をIAに、後期の成績をIBに反映させる。  
「平常点」とは「出席点」ではない。ただ坐っていれば評価されると期待するのは大いなる誤解である。  
前期、火曜と土曜を合わせて欠席3回を超えると、1回につき10点ずつ減点する。遅刻は2回で欠席1回に換算する。

#### 教科書

相原茂・李貞愛『北京コレクション入門篇』（朝日出版社）2,625円

科目名	中国語IIA	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	橋本 幸枝				

#### 講義のねらい

あまり長くなく、比較的読み易い文章をきちっと読めるようになることを目指す。既習の文法を定着させ、更に補語や複文表現を学ぶ。また発音をしっかり習熟させる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

本文がきちっと訳せるかチェックし、単語の意味、文章構造、文法事項を解説する。練習問題により理解できたか確かめる。2週間に1課の目安で進めていく。

#### 履修上の留意点

欠席しないように。課題をしっかりとやってくること。

#### 成績評価の方法

出席状況、授業態度、課題、前後期の期末テストで総合的に評価する。

#### 教科書

杉野元子著『大学生のための現代中国12話』（白帝社）2625円

科目名	中国語II A	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	福地 桂子 <small>ふくち けいこ</small>				

講義のねらい

自分で辞書をひいて、簡単な文章が読めることを目指す。  
文法は中国語Iで学んだ基礎を定着させ、さらに接続詞を使った複文を学ぶ。  
中国語Iに引き続き、正確な発音の練習に力を入れる。  
中国の社会文化に対する理解を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

中国の文化を紹介した文章を読む。  
文法事項を体系的に把握する。  
下記の教科書を用い、だいたい2週間に1課の進捗で進めていく。

履修上の留意点

必ず予習してくること。  
授業に辞書を携帯すること。

成績評価の方法

前後期(各2回)の総合テスト、小テスト、授業での発表内容、出席状況(3/4以上出席すること)を総合して評価する。

教科書

名和又介『ビデオで学ぶ中国文化』(金星堂) 2,800円

外国語

科目名	中国語II A	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	児島 弘一郎 <small>こじま こういちろう</small>				

講義のねらい

中国語Iで学習した発音・単語・文法事項を復習しつつ、中国文化に関するテキストを精読し、中国語の文章を理解するための総合的な力を養成します。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストの訳読と練習問題は受講者を随時指名して進め、発音の矯正、単語の解説、文法事項の整理、構文・文脈の把握などを行ないます。中国文化に関連する書籍・写真や具体的なモノに触れる機会も、多く設ける予定です。

履修上の留意点

毎回の出席と予習・復習は不可欠です。有効な勉強法については、教場で指導します。また、辞書をこまめにひく習慣を身につけてください。

成績評価の方法

前期・後期の試験、数回実施する小テスト、出席状況によって総合的に評価します。

教科書

荒屋勲・尹景春・阿部博幸『中国と日本』(朝日出版社) 2100円 CD付

参考書等

辞書や中国文化の理解に資する参考書などは、教場で紹介します。

その他

語学はコツコツやるよりほかに上達の方途はありません。毎回の授業に、真摯かつ謙虚に臨んでください。

科目名	中国語II A	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	ひろかね かなこ 弘兼 加奈子				

講義の内容・  
授業スケジュール

一年次で学んだことを定着させ、更に発展させることを目標とする。  
課文には高校の漢文でなじみ深いものも一部含まれる。翻訳が中心となるが、発音・声調も重視していく。

成績評価の方法

年数回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

于振領『中国歴史故事』（駿河台出版社）1500円

科目名	中国語II A	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	こうりん ひだもと 江林 英基				

講義のねらい

講読と文法をかねた中級テキストを用いて、文章を正確に読み、文法を理解することによって翻訳力の育成をはかる。

講義の内容・  
授業スケジュール

語句と文章の意味を説明して、文形の構造（文法）を解説する。朗読力を高めるため文章を読ませる。二週間に一課の進度で授業を進めていく。

履修上の留意点

三分の二以上の出席が必要、授業中に私語を禁止する。

成績評価の方法

出席状況、学習態度、宿題、小テスト、学期末テストによって総合的に評価する。

教科書

中川正之、沈国威編著『中国語中級教科書（読物、文法編）』（白帝社）1400円。

科目名	中国語II A	開講	通年	単位	2
配当	禅仏英経A法A2年				
担当者名	あきもと たすく 秋元 翼				

講義の内容・  
授業スケジュール

初級の文法の復習をしながら、最初は「矛盾」や「塞翁が馬」のような故事を易しい文で読んでいく。前半では読解力の基礎を養い、後半では中国人のために書かれた文を辞書を引きながら読む段階へと進む。

履修上の留意点

使用する教科書の文章は比較的短いので暗記する努力をして欲しい。暗記は語彙を増やすばかりでなく、読解力を養うためにも大いに役立つであろう。4分の3以上の出席が必要。

成績評価の方法

平常の学習態度や到達度と、中間・期末のテストの結果によって総合的に評価する。

教科書

董燕・遠藤光暁著『読む中国語』（朝日出版社）2200円

科目名	中国語IIA	開講	通年	単位	2
配当	禅仏英経A法A2年				
担当者名	こしま こふいちろう 児島 弘一郎				

#### 講義のねらい

中国語Iで学習した発音・単語・文法事項を復習しつつ、中国の生活習慣に関するテキストを精読します。基礎的な読解力を養いつつ、身近な事柄について適切に表現できるようになることが目的です。

#### 講義の内容・授業スケジュール

テキストの訳読と練習問題は受講者を随時指名して進め、発音の矯正、単語の解説、文法事項の整理、構文・文脈の把握などを行ないます。日中の生活習慣、考え方の違いなどについての理解も深めます。

#### 履修上の留意点

毎回の出席と予習・復習は不可欠です。有効な勉強法については、教場で指導します。また、辞書をこまめにひく習慣を身につけてください。

#### 成績評価の方法

前期・後期の試験、数回実施する小テスト、出席状況によって総合的に評価します。

#### 教科書

張継濱・小川文昭『中国ってどんな国？—生活風景点描—』（白水社）2000円 CD付

#### 参考書等

辞書や中国理解に資する参考書などは、教場で紹介します。

#### その他

語学はコツコツやるよりほか上達の方途はありません。毎回の授業に、真摯かつ謙虚に臨んでください。

科目名	中国語IIA	開講	通年	単位	2
配当	禅仏英経A法A2年				
担当者名	りうん 李 雲				

#### 講義のねらい

講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進度で授業を進めていく。

#### 履修上の留意点

授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。

#### 成績評価の方法

出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。

#### 教科書

阪口直樹等『ストラクチャー—構造から学ぶ入門中国語』（朝日出版社）2,415円

科目名	中国語II A	開講	通年	単位	2
配当	禅仏英経 A 法A2年				
担当者名	いわさき ひろし 岩崎 皇				

講義のねらい

中国語の文章を読むことを通して、文法知識の確認と会話等にも使える語彙を増やすことが目標です。テキストは中国を紹介するエッセイです。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業はテキストに沿って進めますが、訳すだけでは、中国語そのものを覚えることがなかなかできません。書くこと、聞くこと、音読することで練習していきます。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、部活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得ができなくなります。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提とした上で、試験の成績により評価します。試験は前期2回、後期2回行う予定です。

教科書

張継濱、小川文昭『中国ってどんな国?』（白水社）2,100円

外国語

科目名	中国語II B	開講	通年	単位	2
配当	国日外考商政2年				
担当者名	ねがし まさこ 根岸 政子				

講義のねらい

1年次に習得した基本文法を復習しながら、身近な会話をもとにして「読む」「聞く」「話す」を中心とした中国語の習得をめざす。

講義の内容・  
授業スケジュール

会話を中心としたテキストを使用し、3回で2課のペースで進めていく。

履修上の留意点

平常の反復練習が上達への鍵であるから、大きな声を出して何回も読むこと。必ず予習、復習を行い、授業時には中日辞典を持参すること。

成績評価の方法

前期後期の試験4回（中間を含む）、小テスト、出席状況、授業への参加度などで評価する。

教科書

守屋宏則・陳淑梅・劉光赤『メグの中国ホームスティ』（同学社）2,500円

科目名	中国語II B	開講	通年	単位	2
配当	国日外考商政2年				
担当者名	あきもと たすく 秋元 翼				

講義の内容・  
授業スケジュール

初級の復習をしながら、日常生活に必要な語彙や表現を増やしていく。出てくる文法はほとんど初級で学んだものだが、それを聞いて分かり、口に出して言えるようにする。教室では口頭練習を多くする。

履修上の留意点

予習・復習をきちんとし、教室ではできるだけ教科書から目を離し、耳と口を働かせて音声面の能力を高めて欲しい。4分の3以上の出席が必要。

成績評価の方法

平常の学習態度や到達度と、中間・期末のテストの結果によって総合的に評価する。

教科書

塚本慶一監修・劉穎著『2年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2200円

外国語

科目名	中国語II B	開講	通年	単位	2
配当	国日外考商政2年				
担当者名	いわさき ひろし 岩崎 皇				

講義のねらい

言葉の勉強は、まず単語をきちんと覚えていくことから始まります。そして、単語を覚えるとい口に言っても、音を覚え、表記を覚え、意味を覚えるという3つの側面がそろってなければなりません。テキストを使うと、最も重要な音を覚えることがおろそかになりがちです。この授業では中国語の音声的訓練が中心になるので、聞くこと、声に出して読むことに最大の努力を払ってください。

なお、テキストは上海を題材としているので、本学の短期留学夏期中国語セミナーにも大変役立つと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業はテキストに沿って進めていきますが、適宜プリントを配布します。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得が不可能となりますので注意してください。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提に、テストによって評価します。テストは大きなものを年間4回行います。その他単語テストなど小テストも行います。

教科書

石慧敏、金子真也『上海びより』（好文出版）2,100円

科目名	中国語II B	開講	通年	単位	2
配当	国日外考商政2年				
担当者名	児島 弘一郎				

講義のねらい

中国語Iで学習した発音・単語・文法事項を復習しつつ、ヒアリング・会話を中心としたコミュニケーション能力の向上を図ります。

講義の内容・  
授業スケジュール

会話文例・文法ポイント・反復練習・ヒアリングから成るテキストを随時指名して進め、発音の矯正、単語の解説、文法事項の整理、聴き取り、ペアによる対話の実践などを行いません。中国語の音声面に重点を置いた授業です。

履修上の留意点

毎回の授業が貴重な練習の場となるので、出席を怠らないこと。また、失敗を懼れず積極的に取り組む気持ちも必要です。

成績評価の方法

前期・後期の試験、数回実施する小テスト、出席状況によって総合的に評価します。

教科書

塚本慶一監修・劉穎著『2年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2200円 CD付

参考書等

辞書や役立つ音声教材などは、教場で紹介します。

その他

教場は練習の場ですから間違っても構いません。毎回の授業に積極的に参加してください。



〈スペイン語〉

科目名	スペイン語IA	開講	通年	単位	2
配当	国1年 地文1年 環境1年 社1年 福1年 心1年				
担当者名	佐藤 佐知				

講義のねらい

テキストに沿ってスペイン語の初級文法を学び、その知識をもとに作文・会話練習を行い、表現力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

前期：動詞の現在形を中心に学ぶ。最終的には自己紹介など、自由作文で作成または発表できるようにする。

後期：前期の復習をもとに、他の時制（過去・未来形）を学ぶ。スペインで出版されている簡単な読み物を辞書を用いて読解できるくらいのレベルを目指す。

履修上の留意点

授業は復習に重点をおく形式で進める。そのため、授業中に時間を与えて課題などをやってもらう事があるため、テキストだけでなく辞書は各自必ず用意してもらいたい（辞書に関しては初回の授業でいくつか紹介する）。

成績評価の方法

学期末試験の点数と、平常点（出席、小テスト、授業への積極的参加など）をあわせ、総合的に評価する。

教科書

福嶋教隆「生き生きスペイン語」（朝日出版社）2000円 ISBN4-255-55013-1 C1087

外国語

科目名	スペイン語IA	開講	通年	単位	2
配当	国1年 地文1年 環境1年 社1年 福1年 心1年				
担当者名	ルイズティノコ, C.				

講義のねらい

この授業ではスペイン語の文章を読んで、練習をしながら文法の基本的な会話能力を身につけることが目標である。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音、簡単なあいさつ、規則動詞などから不規則動詞まで学ぶ予定である。

後期は不規則動詞、間接目的格、直接目的格、再帰動詞、現在完了、点過去、線過去、未来形などを学ぶ予定である。ビデオを見ることもある。

履修上の留意点

毎回の練習は重要なので出席を重視する。

成績評価の方法

前期と後期の成績、出席と授業参加の状態で評価する。

教科書

未定

科目名	スペイン語ⅠA	開講	通年	単位	2
配当	国1年 地文1年 環境1年 社1年 福1年 心1年				
担当者名	かめやま こういち 亀山 晃一				

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	スペイン語ⅠA	開講	通年	単位	2
配当	国1年 地文1年 環境1年 社1年 福1年 心1年				
担当者名	うもの かつひろ 上野 勝広				

講義のねらい

スペイン語の基礎（発音・文法・語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～5課まで、後期は6課～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行います。

履修上の留意点

少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。  
また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法

年間4回のテスト結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教科書

上野勝広『改訂版・新世紀のスペイン語』（同学社）2,500円

参考書等

初回の授業で紹介します。

科目名	スペイン語ⅠA	開講	通年	単位	2
配当	英1年 日1年 外1年 考1年				
担当者名	佐藤 佐知				

講義のねらい

テキストに沿ってスペイン語の初級文法を学び、その知識をもとに作文・会話練習を行い、表現力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

前期：動詞の現在形を中心に学ぶ。最終的には自己紹介など、自由作文で作成または発表できるようにする。

後期：前期の復習をもとに、他の時制（過去・未来形）を学ぶ。スペインで出版されている簡単な読み物を辞書を用いて読解できるくらいのレベルを目指す。

履修上の留意点

授業は復習に重点をおく形式で進める。そのため、授業中に時間を与えて課題などをやってもらうことがあるため、テキストだけでなく辞書は各自必ず用意してもらいたい（辞書に関しては初回の授業でいくつか紹介する）。

成績評価の方法

学期末試験の点数と、平常点（出席、小テスト、授業への積極的参加など）をあわせ、総合的に評価する。

教科書

- 1) 福嶋 教隆 2) 「生き活きスペイン語」 3) 朝日出版社  
4) 2000円 5) ISBN4-255-55013-1 C1087

科目名	スペイン語ⅠA	開講	通年	単位	2
配当	英1年 日1年 外1年 考1年				
担当者名	ルイズティノコ, C.				

講義のねらい

この授業では基本的な文法を学び、練習をしながらスペイン語の構造や表現になれ、会話能力を高めることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音、簡単なあいさつ、規則動詞などから不規則動詞まで学ぶ予定である。

後期は不規則動詞、間接目的格、直接目的格、再帰動詞、現在完了、点過去、線過去、未来形などを学ぶ予定である。ビデオを見ることもある。

履修上の留意点

毎回の練習は重要なので出席を重視する。

成績評価の方法

前期と後期の成績、出席と授業参加の状態で評価する。

教科書

未定

科目名	スペイン語ⅠB	開講	通年	単位	2
配当	国1年 地文1年 環境1年 社1年 福1年 心1年				
担当者名	佐藤 <sup>さとう</sup> 麻里乃 <sup>まりの</sup>				

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にそって解説と練習を行う。性数変化、動詞の変化（現在形・過去形）、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。また必要に応じて適宜小テストを行う。

履修上の留意点

教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。宿題が出たら必ずやってくる。

成績評価の方法

主として試験によるが、授業態度が悪い場合はさらに減点となる。

教科書

パロマ・トレナド他『プラサ・マヨールⅠ（ソフト版－ペーシックスペイン語）』朝日出版社

参考書等

三省堂『クラウン西和辞典』

外国語

科目名	スペイン語ⅠB	開講	通年	単位	2
配当	国1年 地文1年 環境1年 社1年 福1年 心1年				
担当者名	米田 <sup>よねだ</sup> 博美 <sup>ひろみ</sup>				

講義のねらい

我々はITグローバル化時代に生きている。インターネットを通じて、キューバやスペイン、アルゼンチンの音楽を聴いたり、NHKのRadio Japan が世界に配信する今日の出来事を聞いたり読むことも容易に出来る。スペイン語を学ぶ者にとって、これ以上の好環境はない。スペイン語を母国語とする多くのラテンアメリカ諸国の経済成長率は高く、日本との結びつきも益々深まることでしょう。その意味で、スペイン語の重要性は確実に増しています。強い目的意識と希望をもって新たな挑戦をしてください。

講義の内容・授業スケジュール

年間スケジュールとして、下記テキストの1～7課までの範囲を学習します。

履修上の留意点

スペイン語は、発音しやすく聞きとりやすいと言われますが、語学の学習は、基礎の積み重ねが特に大切であり、欠席をしないように。

成績評価の方法

成績は、一般の授業態度、出席、テストなどにより総合的に判断します。

教科書

「英語からスペイン語へ」（細川幸夫著、弘学社）

参考書等

辞書は、「クラウン西和辞典」（三省堂）、「現代スペイン語辞典」（白水社）、「和西中辞典」（小学館）、「新スペイン語辞典」（研究社）などを推薦しておきます。

その他

文法的説明に終始することなく、スペイン語の楽しさを味わい、スペイン語圏の文化や社会についても関心を深めることができるようコメントをしたり、世界遺産のビデオ鑑賞の機会もつくる予定です。

科目名	スペイン語IB	開講	通年	単位	2
配当	国1年 地文1年 環境1年 社1年 福1年 心1年				
担当者名	栗林 <small>くりばやし ゆきえ</small> ゆき絵				

講義のねらい

基本的な単語や挨拶のほか、基本的な文法事項を整理してスペイン語のことばのしくみを学習し、日常の簡単な会話に応用できることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は、文法事項の説明と、それを応用した練習問題、という構成で進める。前期は現在形(下記教科書8課の動詞まで)、後期は過去形(14課まで)を中心に学習する。随時、小テスト(活用・単語)を実施。

履修上の留意点

月1回程度小テストを行うので、少しずつ文法や語彙を身につけていってほしい。

成績評価の方法

小テスト30%(日程は授業中に指示)、前後期の期末試験70%。半期で5回以上欠席した者は試験の受験を認めない。

教科書

西川喬『さあ、始めようスペイン語』(同学社) 2,500円

参考書等

〈辞書〉『プログレッシブ スペイン語辞典』(小学館)

外国語

科目名	スペイン語IB	開講	通年	単位	2
配当	国1年 地文1年 環境1年 社1年 福1年 心1年				
担当者名	荻野 <small>おぎの まさし</small> 雅司				

講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとします。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communication がより容易に行えるようになります。

さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行なうことを特徴の一つとしています。

成績評価の方法

原則として年2回正規のテストを行います。総合的な成績の評価に当たっては、良くても、悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

教科書

細川幸夫著『英語からスペイン語へ』(弘学舎)

科目名	スペイン語I B	開講	通年	単位	2
配当	英1年 日1年 外1年 考1年				
担当者名	よねだ ひろみ 米田 博美				

#### 講義のねらい

我々はITグローバル化時代に生きている。インターネットを通じて、キューバやスペイン、アルゼンチンの音楽を聴いたり、NHKのRadioJapanが世界に配信する今日の出来事を聞いたり読むことも容易に出来る。スペイン語を学ぶ者にとって、これ以上の好環境はない。スペイン語を母国語とする多くのラテンアメリカ諸国の経済成長率は高く、日本との結びつきも益々深まることでしょう。その意味で、スペイン語の重要性は確実に増しています。強い目的意識と希望をもって新たな挑戦をしてください。

#### 講義の内容・授業スケジュール

年間スケジュールとして、下記テキストの1～7課までの範囲を学習します。

#### 履修上の留意点

スペイン語は、発音しやすく聞きとりやすいと言われますが、語学の学習は、基礎の積み重ねが特に大切であり、欠席をしないように。

#### 成績評価の方法

成績は、一般の授業態度、出席、テストなどにより総合的に判断します。

#### 教科書

「英語からスペイン語へ」(細川幸夫著、弘学社)

#### 参考書等

辞書は、「クラウン西和辞典」(三省堂)、「現代スペイン語辞典」(白水社)、「和西中辞典」(小学館)、「新スペイン語辞典」(研究社)などを推薦しておきます。

#### その他

文法的説明に終始することなく、スペイン語の楽しさを味わい、スペイン語圏の文化や社会についても関心を深めることができるようコメントをしたり、世界遺産のビデオ鑑賞の機会もつくる予定です。

科目名	スペイン語I B	開講	通年	単位	2
配当	英1年 日1年 外1年 考1年				
担当者名	さとう まりの 佐藤 麻里乃				

#### 講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

教科書にそって解説と練習を行う。性数変化、動詞の変化(現在形・過去形)、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。また必要に応じて適宜小テストを行う。

#### 履修上の留意点

教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。宿題が出たら必ずやってくること。

#### 成績評価の方法

主として試験によるが、授業態度が悪い場合はさらに減点となる。

#### 教科書

パロン・ロペス他『スペイン語で行こう!』朝日出版社

#### 参考書等

三省堂『クラウン西和辞典』

科目名	スペイン語IIA	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	ましよ ゆういち 真下 祐一				

講義のねらい

一年次で学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書の目次に沿って授業を進めます。一年次の復習の後、動詞の接続法の活用まで学びます。授業中に練習問題のプリントを配布します。

履修上の留意点

予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストなどの結果で評価します。

教科書

東京大学教養学部スペイン語部会『ディメロース페인語初級一』(朝日出版社)

科目名	スペイン語IIA	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	うえの かつひろ 上野 勝広				

講義のねらい

スペイン語Iで学習した基礎(発音・文法・語彙)を確認しながら発展させるクラスです。前期は既習事項の復習にも重点を置きます。

講義の内容・  
授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～15課まで、後期は16課～22課を学習します。随時プリントも配布し、口頭および筆記の練習を追加します。  
またテキスト後半のエッセイを随時取り上げ、読解力の向上を図ります。

履修上の留意点

休まず遅れずきちんと授業に参加することが肝要です。授業には必ず辞書を持参すること。スペイン語本文の音読や練習問題は、指名して読んだり答えてもらいます。原則的に毎回課題があり、翌週の授業でチェックします。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果(70%)に平常点(30%)を合わせて評価します。

教科書

菊田 和佳子/丹波 美佐子『二つの世界で』(同学社) 2,700円

科目名	スペイン語II A	開講	通年	単位	2
配当	禅仏英経 A法A2年				
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功				

#### 講義のねらい

スペイン語Iで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

#### 講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Iで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

#### 履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

#### 成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

#### 教科書

大岩功著『やさしいスペイン語文法』（三修社）  
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

#### 参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）

科目名	スペイン語II A	開講	通年	単位	2
配当	禅仏英経 A法A2年				
担当者名	ましむ ゆういち 真下 祐一				

#### 講義のねらい

一年次で学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。

#### 講義の内容・授業スケジュール

教科書の目次に沿って授業を進めます。一年次の復習の後、動詞の接続法の活用まで学びます。授業中に練習問題のプリントを配布します。

#### 履修上の留意点

予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。

#### 成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストなどの結果で評価します。

#### 教科書

東京大学教養学部スペイン語部会『ディメロースペイン語初級一』（朝日出版社）



科目名	スペイン語II B	開講	通年	単位	2
配当	国日外考商政2年				
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功				

講義のねらい

スペイン語Iで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・  
授業スケジュール

初めはスペイン語Iで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりとって授業に参加してください。授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、適宜行う小テストの得点、および授業に臨む姿勢などを勘案して総合的に評価します。

教科書

大岩功著『やさしいスペイン語文法』（三修社）  
長文読解用の教材については、プリントを適宜用意します。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）

## ロ シ ア 語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学ばば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキナ語、セルビア語、マケドニア語、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際化時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多いに価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際的に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

ⅠA・ⅠB：発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

ⅡA・ⅡB：一年のⅠA・ⅠBのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でやりのこした文法の能動・被動、副動詞などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷 正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村 彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼 貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤 勇著

科目名	ロシア語IA	開講	通年	単位	2
配当	国1年 地文1年 環境1年 社1年 福1年 心1年				
担当者名	杉山 <sup>すぎやま</sup> 秀子 <sup>ひでこ</sup> ・佐野 <sup>さの</sup> 朝子 <sup>あさこ</sup>				

### 講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

## 外国語

### 講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

### 成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

### 教科書

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円

### 参考書等

『露和辞典』

科目名	ロシア語ⅠA	開講	通年	単位	2
配当	英1年 日1年 外1年 考1年				
担当者名	佐野 朝子 <small>きの あさこ</small>				

#### 講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいます。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

#### 成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

#### 教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

#### 参考書等

『露和辞典』

科目名	ロシア語ⅡB	開講	通年	単位	2	
配当	国1年	地文1年	環境1年	社1年	福1年	心1年
担当者名	ひろた ひでやす 廣田 英靖					

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
  - 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
  - 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
  - 4) 基礎的な初等文法を学びます。
  - 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいます。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音、イントネーションに重点をおき、後期はやさしい短文の読みや初級文法のエッセンスを学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	ロシア語ⅡB	開講	通年	単位	2
配当	英1年 日1年 外1年 考1年				
担当者名	ひろた ひでやす 廣田 英靖				

#### 講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。  
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしくないことが大切です。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は発音、イントネーションに重点をおき、後期はやさしい短文の読みや初級文法のエッセンスを学びます。

#### 成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

#### 教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

#### 参考書等

『露和辞典』

科目名	ロシア語ⅡA	開講	通年	単位	2
配当	国地文環境日外考商政営A2年				
担当者名	きむら ひであき 木村 英明				

#### 講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

#### 成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

#### 教科書

『やさしいロシア語読本』（大学書林）。1年次に使用した教科書と文法表。

#### その他

プリント配布。教場にて指示します。

科目名	ロシア語II A	開講	通年	単位	2
配当	禅仏英経 A 法A2年				
担当者名	すぎやま ひでこ 杉山 秀子・ さとう かずこ 佐藤 和子				

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・  
授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

『やさしいロシア語読本』(杉山秀子他著)(大学書林)、一年次に渡した文法表。

参考書等

露和辞典

その他

プリント配布。教場にて指示します。

外国語

科目名	ロシア語II B	開講	通年	単位	2
配当	国日外考商政2年				
担当者名	さの あさこ 佐野 朝子				

講義のねらい

正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・  
授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

平常点で評価する。

教科書

『やさしいロシア語読本』(大学書林)を使用します。

その他

プリント配布。

科目名	英文講読	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	林 明人				

講義の内容・  
授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようにすれば幸いです。

履修上の留意点

遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の出入りは認めない。

成績評価の方法

①試験、②レポート、③出席、④発表で総合評価するが、出席は3分の2を越えていなければならない。出席以外のそれぞれの評価が一つでも4割に満たない場合は単位を認めない。

教科書

教員が作成したものを用います。

科目名	英文講読	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	矢島 直子				

講義のねらい

現在イギリスで日常使われている英語を学びます。2006年2月にロンドンで上演された戯曲を読みます。残念ながら、芝居は見せていません。

講義の内容・  
授業スケジュール

本を読み、意味を取っていきます。その際、どういう事を伝えようとしているのか、想像力を働かせて読み取ること。現代チャキチャキの言葉で書かれていますから、見た目は易しくても、内容を理解するのは難しいです。できれば、1年間で最後まで読み終えたいです。

履修上の留意点

ほとんど毎回当てて、読んで意味を言ってもらいますから、必ず1回の授業の全範囲を予習してくること。辞書の文例まで読まないで、意味が分からないことがあります。1回目の授業から必ず出席してください。

成績評価の方法

平常点と、前・後期末試験の結果を、総合的に判断して評価します。

教科書

Laura Wade, Other Hands, Oberon Modern Plays, £ 8.99, ISBN 1-84002-650-2.



科目名	英文講読	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	まきの てるよし 牧野 輝良				

講義のねらい	英語の長文の内容理解に努める。
講義の内容・授業スケジュール	英文の構造をしっかりと学習し、毎時間3頁読み進めることを目安とする。
履修上の留意点	テキストの文章がかなり長いから、履修者は指名されたら内容の発表、和訳ができるようによく自習しておくこと。
成績評価の方法	授業中の発表、和訳、期末テストを総合的に評価するが、英語の理解力に力点を置く。
教科書	『西欧文明をどう理解するか』(南雲堂) 1,600円+税 ISBN4-523-03656-X

外国語

科目名	時事英語研究	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	たかの ひでお 高野 秀夫				

講義のねらい	今や、日常生活のなかに real time で入って来る世界のニュースを捉える学修は欠かせない。この時事英語の授業では、できるだけ新しい英語ニュースの教材で、時々刻々と変わる国内外の動向を異文化の視点で捉え、国際社会の理解に努め、英語力増強を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	教科書では、時事英語 (Current English) の特徴 “最初の部分で全文の内容が捉えられるように書かれている” を読み込んで生きた英語の理解に努める。
履修上の留意点	毎時間、英語での質疑応答があるので予習は欠かせないこと。英語で世界の動きを捉える習慣を身に付けること。
成績評価の方法	前、後期末テスト、平常点 (出席点、レポート等)
教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TV News Watching 21 Approaches (北星堂)</li> <li>・ An Introduction to Media English (北星堂)</li> <li>・ プリント</li> </ul>

科目名	時事英語研究	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	はやし あきと 林 明人				

講義のねらい

CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。  
尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。

講義の内容・授業スケジュール

CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読んだりします。

履修上の留意点

遅刻（交通機関の遅延を除く）及び授業中の出入りは認めません。

成績評価の方法

①試験、②レポート、③出席で総合評価するが、出席は3分の2を越えていなければならない。出席以外のそれぞれの評価が一つでも4割に満たない場合は単位を認めない。

教科書

教員が作成したものを用品です。

参考書等

『Sanseido's Dictionary of News English』（三省堂）

科目名	時事英語研究	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	きしもと しげかず 岸本 茂和				

講義のねらい

1980年以降のアメリカ社会でどんなことが起こってきたか。それを解く鍵のことばが、“racism”（人種差別主義）・“sexism”（性差別主義）・“political correctness”（政治的妥当性）・“multiculturalism”（多文化主義）などだ。すこしむつかしいかもしれないが、読みごたえのあるいい文章だ。できるだけ読みすすみたい。

講義の内容・授業スケジュール

この授業はいわゆる講義ではなくふつうの英語のクラスだ。  
「時事英語研究」と銘うちながら新聞・雑誌をよまないのを不審におもうのもっともだが、時事関係の文書については随時プリントを配布する。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞書をもってくること。電子辞書も可。予習は必須。

成績評価の方法

試験は前期・後期の2回。欠席が授業日数の3分の1を越えたばあい「不可」とする。

教科書

『現代アメリカの<美德>』（朝日出版社）定価1,359円＋税

その他

受講者は40人を上限とする。

科目名	時事英語研究	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	おちあい かげあき 落合 和昭				

講義のねらい

新聞、雑誌、ニュース等の英語のヒヤリングと読解。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、主として、二の部分からなる。第一の部分では、ニュース英語のヒヤリングやディクテーションをする。第二の部分では、新聞、雑誌、ニュース等の英語を正確に読む練習をする。

履修上の留意点

授業は、徹底した演習形式をとるため、学生の予習を前提にして、進める。できるだけ多くの学生に、順不同に当て、積極的に参加してもらうために、受講学生を70人以下に制限する。受講希望者が70人を越えた場合は、最初の授業で、抽選を行う。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%（課題は年間約10回前後の提出を予定。授業中の発表等に関しては、できるだけ多くの学生に当てるように気をつける）。出席率が平常授業（前期・後期試験は除く）の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。また、遅刻は2回で、欠席1回とし、30分以上の遅刻は欠席とする。

教科書

- 『統・英字新聞用語速習法』 マクミラン 1600円  
ISBN4-89585-524-4
- 『読んで学んで英字新聞』 英宝社 1600円  
ISBN978-4-269-190302 C1082
- プリント

科目名	時事英語研究	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	やじま なおこ 矢島 直子				

講義のねらい

アメリカ、イギリスの新聞を読めるようになってもらいたいです。

講義の内容・授業スケジュール

英字紙の電子版を編集した教科書の中から記事を読んでもらい、意味を取っていきます。必要な場合は、文法・構文の説明をし、全体を把握してもらうようにします。進み具合は、学生次第です。

履修上の留意点

毎回どんどん当てて読んでいってもらいますから、辞書を引いてしっかり予習してきて下さい。必ず1回目の授業から出席すること。

成績評価の方法

平常点と、前・後期末試験の結果を、総合的に判断して評価します。

教科書

佐藤公雄「オンラインニュースで学ぶ世界情勢」、成美堂、¥1,800円、ISBN 4-7919-1043-5。

科目名	マルチ・メディア	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	おちあい かずあき 落合 和昭				

### 講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級（二級、準一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞（せりふ）を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

### 講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底的した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

### 履修上の留意点

このクラスの受講生はすでに口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。初めて口語英語を学ぶ学生には、かなりつらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講するように心がけてもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は46名しか入れないLL教場を使用するので、46名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

### 成績評価の方法

定期試験は全評価の40%（前期試験が20%、後期試験が20%）である。課題、小テスト、授業中の発表等は60%とする。課題は10回程度、一回の授業に、全員が最低一回は当てるように努める。出席率は平常授業（前期・後期試験は除く）3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。また、遅刻2回で、欠席1回とし、30分以上の遅刻は欠席とする。出席率が3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。

### 教科書

- 『映画総合台本 ノッティングヒルの恋人』 松柏社
- 『イデオム書き取り練習帳』 鶴見書店
- 『L.A.ビート、ビデオで見るロサンゼルス』 朝日出版社  
1800円 ISBN4-255-15322-1 C1082

科目名	マルチ・メディア	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	おおば なおき 大庭 直樹				

#### 講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。

第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいく、ことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。

第二の課題は、研究、文献・資料整理等、カード型のデータベースの作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。具体的には、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使い、自分用の英語彙データベースをつくる。

第三の課題として、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。

第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

### 外国語

#### 履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

#### 成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらおう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

#### その他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

科目名	マルチ・メディア	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子				

#### 講義のねらい

英語による欧米の学部レベルの授業を体験させ、英語によるプレゼンテーション能力、聞き取り、理解力、読解力、作文能力などを総合的に高めるクラス。前半、後半ともそれぞれ8回程度アメリカシアトル市のワシントン大学とテレビ会議システムでつなぎ、双方向でレクチャーを進める。テレビ会議を行わない週には英語でレクチャー内容の復習、予習などを行う。講義は社会科学系のテーマで、現代日本社会論、日米のNPO比較、NPOにおけるインターンシップの詳細などである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

4-7月：米国ソーシャルワークとコミュニティビルディングの歴史をワシントン大学側がレクチャー（計4回）。日本現代社会論（社会福祉政策、公益法人とNPO、現代若者文化、ジェンダーなど）を西村がレクチャー（計4回）。（授業はワシントン大学ソーシャルワーク学部学生と共同聴講）。隔週でテレビ会議に備え、前回レクチャーの復習と次回レクチャーの予習を教場授業で行う。

9-12月：現代日本社会論のレクチャーをテレビ会議システムで8回にわたりワシントン大学に配信。ここで本授業受講者はテーマを現代社会論の中から決めてそれぞれ15分程度のプレゼンテーションを行う。

#### 履修上の留意点

受講資格は最低TOEIC650（TOEFL500）レベル以上であること。第一回授業でスクリーニングを行う。英語圏への留学希望者などで英語力アップをめざす学生は積極的に受講してほしい。

#### 成績評価の方法

平常点（出席点、発表など）で評価。定期試験は行わない。

#### 教科書

教場にて指定。

#### 参考書等

授業で指定。

#### その他

本学ではじめてのテレビ会議による双方向の日米共同授業であり、本学とワシントン大学の交流プロジェクトの一環となる授業である。この授業とは別にこの授業の受講者に限り、夏季はシアトル市で実際にNPOのインターンシップに参加できる。また、冬季はこの授業を受講しているワシントン大学学生のなかから日本のNPOでの研修参加者が訪れる。

科目名	マルチ・メディア	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	おおば なおき 大庭 直樹				

講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。  
 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいくことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。  
 第二の課題は、研究、文献・資料整理等、カード型のデータベースの作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。具体的には、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使い、自分用の英語彙データベースをつくる。  
 第三の課題として、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。  
 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

外国語

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

その他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

科目名	英会話	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ロビン, G. F.				

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities, on which they will be graded.

講義の内容・授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test, which will be given at the end of each term.

教科書

FIFTY FIFTY STUDENT BOOK 1 WARREN WILSON ROGER BARNARD ISBN-10 9620056655 10 digit

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ロビン、G. F.				

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities, on which they will be graded.

講義の内容・  
授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test, which will be given at the end of each term.

教科書

FIFTY FIFTY  
STUDENT BOOK 1  
WARREN WILSON  
ROGER BARNARD  
ISBN-10 9620056655  
10 digit



科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ウェルズ, J. K.				

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I

Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

講義の内容・  
授業スケジュール

First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner (s).

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your 'acting' skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write and, which you will perform in the classroom. Do not worry, it is fun!

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

成績評価の方法

Attendance : 50%  
Tests : 25% (one test each semester)  
Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

The first class is very important, so please do not be absent!

その他

I am an American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a nice university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! See you in class soon!

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ウェルズ, J. K.				

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I

Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

講義の内容・  
授業スケジュール

First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner (s).

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your 'acting' skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write and, which you will perform in the classroom. Do not worry, it is fun!

履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

成績評価の方法

Attendance : 50%

Tests : 25% (one test each semester)

Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5sized prints so a notebook larger than B5should be used. Notebooks will be checked in the second class.

The first class is very important, so please do not be absent!

その他

I am an American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a nice university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun! See you in class soon!

科目名	英会話	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ソルタ, P. N. F.				

講義のねらい

Introduction and Class Goals: English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. This course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・  
授業スケジュール

Class Contents: Fifteen units from a textbook and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered are:

- Unit 1: Introductions / Classroom Language
- Unit 2: Likes and Dislikes / Adjectives
- Unit 3: Locations / Telephoning (1)
- Unit 5: There is ... There are... / Quantities
- Unit 6: Have..., Want..., Would like..., / Shopping (1)
- Unit 7: Uncountable nouns / At a Restaurant
- Unit 9: Present Continuous / telephoning (2)
- Unit 10: Fashion / Shopping (2)
- Unit 12: Present Simple / Occupations
- Unit 13: Adverbs of frequency / Routines (1)
- Unit 14: Transportation / Work & School
- Unit 15: The Present Tenses / Frequency

履修上の留意点

Class Regulations and Prerequisites: It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where all the teaching will be done in English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

Student Evaluation: A final grade will be based on two measures: an end-of-year exam (60%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used. Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10%) or two absences (+5%) throughout the year.

教科書

Textbook and Materials: **Communicate: book 1a** / David Paul / Macmillan Language-House, ¥1,230, ISBN 0-435-26119-3.

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ソルタ, P. N. F.				

#### 講義のねらい

Introduction and Class Goals: English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. This course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

#### 講義の内容・授業スケジュール

Class Contents: Fifteen units from a textbook and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered are:

- Unit 1: Introductions / Classroom Language
- Unit 2: Likes and Dislikes / Adjectives
- Unit 3: Locations / Telephoning (1)
- Unit 5: There is ... There are... / Quantities
- Unit 6: Have..., Want..., Would like..., / Shopping (1)
- Unit 7: Uncountable nouns / At a Restaurant
- Unit 9: Present Continuous / telephoning (2)
- Unit 10: Fashion / Shopping (2)
- Unit 12: Present Simple / Occupations
- Unit 13: Adverbs of frequency / Routines (1)
- Unit 14: Transportation / Work & School
- Unit 15: The Present Tenses / Frequency

#### 履修上の留意点

Class Regulations and Prerequisites: It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where all the teaching will be done in English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

#### 成績評価の方法

Student Evaluation: A final grade will be based on two measures: an end-of-year exam (60%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used. Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+10%) or two absences (+5%) throughout the year.

#### 教科書

Textbook and Materials: **Communicate: book 1a** / David Paul / Macmillan Language-House, ¥1,230, ISBN 0-435-26119-3.

科目名	英会話	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	レーン, C. M.				

講義のねらい

This class concentrates on improving communication and fluency skills in English. Most Japanese university students already have basic vocabulary and grammatical skills in English. However, they are unable to use them when speaking. Therefore, this course aims to help students learn to use the knowledge they already have, and then to build on this knowledge. During the first semester basic conversation skills will be covered, through pair work and group work, which will be followed during the second semester by more in depth conversational discussions, also in pairs, small groups and through whole class activities. By the end of the year students should feel more confident when speaking English, and should have the ability to hold simple conversations in English, as well as being able to give their opinion on various topics.

外国語

講義の内容・授業スケジュール

(If the above is too detailed then please use the below instead)

During the first semester students will study basic conversation patterns and will gain confidence and fluency skills in making general conversation. At the end of the first semester students will be required to give a three-minute speech talking about general themes. Then, during the second semester more time will be spent on group discussions whereby the students will be invited to give their opinions on a variety of topics chosen by the teacher. At the end of the year students will give a presentation in small groups on a topic of their choice.

履修上の留意点

As this is an oral English class students will not improve unless they attend most of the classes. Students who are absent without a good reason more than twice a semester will find it hard to pass. Moreover, while it is not necessary for students to be able to speak English really well to enter this class, they must try to speak English as much as they can. If a student is too shy or unable to try then they might find this class difficult.

成績評価の方法

(ア) Attendance 20%  
 (イ) Participation during class 50%  
 (ウ) Homework 10%  
 (エ) Individual presentation 10%  
 (オ) Group presentation 10% As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教科書

A good dictionary  
 A file to keep work sheets together-A4 size

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	レーン, C. M.				

講義のねらい

This class concentrates on improving communication and fluency skills in English. Most Japanese university students already have basic vocabulary and grammatical skills in English. However, they are unable to use them when speaking. Therefore, this course aims to help students learn to use the knowledge they already have, and then to build on this knowledge. During the first semester basic conversation skills will be covered, through pair work and group work, which will be followed during the second semester by more in depth conversational discussions, also in pairs, small groups and through whole class activities. By the end of the year students should feel more confident when speaking English, and should have the ability to hold simple conversations in English, as well as being able to give their opinion on various topics.

講義の内容・  
授業スケジュール

(If the above is too detailed then please use the below instead)  
During the first semester students will study basic conversation patterns and will gain confidence and fluency skills in making general conversation. At the end of the first semester students will be required to give a three-minute speech talking about general themes. Then, during the second semester more time will be spent on group discussions whereby the students will be invited to give their opinions on a variety of topics chosen by the teacher. At the end of the year students will give a presentation in small groups on a topic of their choice.

履修上の留意点

As this is an oral English class students will not improve unless they attend most of the classes. Students who are absent without a good reason more than twice a semester will find it hard to pass. Moreover, while it is not necessary for students to be able to speak English really well to enter this class, they must try to speak English as much as they can. If a student is too shy or unable to try then they might find this class difficult.

成績評価の方法

- (ア) Attendance 20%
- (イ) Participation during class 50%
- (ウ) Homework 10%
- (エ) Individual presentation 10%
- (オ) Group presentation 10%

教科書

- A good dictionary
- A file to keep work sheets together-A4 size

科目名	英会話	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ピアス, D. M.				

講義のねらい

Program Content:

During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning English, but using the English you already know. The program should enable you to perform very simple activities such as foreign travel, chatter with foreigners, and effective communication in practical circumstances. Concentration on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC patterns is a long-range effort to improve your qualifications. There will be intensive practice in composition as well.

講義の内容・  
授業スケジュール

SCHEDULE OF TOPICS

CLASS 1	addressing people	CLASS 16	consumption
CLASS 2	addressing people	CLASS 17	courtship
CLASS 3	social hierarchy	CLASS 18	courtship
CLASS 4	social hierarchy	CLASS 19	adolescence
CLASS 5	self expression	CLASS 20	adolescence
CLASS 6	self expression	CLASS 21	social classes
CLASS 7	gift-giving	CLASS 22	social classes
CLASS 8	gift-giving	CLASS 23	candor
CLASS 9	informality	CLASS 24	candor
CLASS 10	informality	CLASS 25	authority
CLASS 11	news coverage	CLASS 26	authority
CLASS 12	news coverage	CLASS 27	employment
CLASS 13	personal freedom	CLASS 28	employment
CLASS 14	personal freedom	CLASS 29	politicians
CLASS 15	consumption	CLASS 30	politicians

履修上の留意点

**ATTENDANCE:** Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

**EXAMINATIONS:** Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

**GRADING:** *Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.* Your final grade depends 70% on your classes performance, in every class. Records are kept of your participation in every single class meeting. Attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Students are graded according to improvement during the year; an "A" is possible for anyone.

教科書

**Textbook and materials:** We will probably use Sociology, Economics, Political Science, Themis Research Group, as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ピアス, D. M.				

講義のねらい

Program Content:

During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning English, but using the English you already know. The program should enable you to perform very simple activities such as foreign travel, chatter with foreigners, and effective communication in practical circumstances. Concentration on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC patterns is a long-range effort to improve your qualifications. There will be intensive practice in composition as well.

講義の内容・  
授業スケジュール

SCHEDULE OF TOPICS

CLASS 1	addressing people	CLASS 16	consumption
CLASS 2	addressing people	CLASS 17	courtship
CLASS 3	social hierarchy	CLASS 18	courtship
CLASS 4	social hierarchy	CLASS 19	adolescence
CLASS 5	self expression	CLASS 20	adolescence
CLASS 6	self expression	CLASS 21	social classes
CLASS 7	gift-giving	CLASS 22	social classes
CLASS 8	gift-giving	CLASS 23	candor
CLASS 9	informality	CLASS 24	candor
CLASS 10	informality	CLASS 25	authority
CLASS 11	news coverage	CLASS 26	authority
CLASS 12	news coverage	CLASS 27	employment
CLASS 13	personal freedom	CLASS 28	employment
CLASS 14	personal freedom	CLASS 29	politicians
CLASS 15	consumption	CLASS 30	politicians

外国語

履修上の留意点

ATTENDANCE: Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

EXAMINATIONS: Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

GRADING: *Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.* Your final grade depends 70% on your classes performance, in every class. Records are kept of your participation in every single class meeting. Attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Students are graded according to improvement during the year; an "A" is possible for anyone.

教科書

Textbook and materials: We will probably use Sociology, Economics, Political Science, Themis Research Group, as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.



科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	レイン, R. V.				

講義のねらい

This course will help students to: 1] use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, and 2] improve their presentation skills.

講義の内容・  
授業スケジュール

The first half of the class is devoted to textbook speaking activities [done in pairs] to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving one-minute presentations on a TV commercial of their choice in front of the class.

履修上の留意点

Students are expected to participate actively in class and practice the textbook activities at home. Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes [approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be tested orally on the textbook activities twice a month and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as on attendance and class participation.

教科書

author: Steven Molinsky and Bill Bliss  
title: Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4  
publisher: Longman  
date: 2003  
ISBN 0-13-183937-3

APPROX, 45 COPIES OF TEXTBOOK ARE NEEDED FOR THIS CLASS

科目名	英会話I	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	ラッセル, S. J.				

講義のねらい

English Conversation 1 is for students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・  
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive-style learning will be a feature of the classes so, good attendance will be required.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive intention to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and an electronic dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

English Firsthand Book 1 ISBN 962-00-5345-1  
Published by Longman

科目名	英会話II	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234選				
担当者名	ソルタ, P. N. F.				

#### 講義のねらい

Aims and Objectives: English Conversation II was designed for high school graduates, who have studied English for at least six years at junior and senior high school, and have successfully completed English Conversation I. The course provides such students with the necessary environment in which to improve upon and expand their abilities to communicate in natural spoken English. This naturally leads to greatly increased confidence in oral communications. The course seeks to give students the necessary competence in talking about various everyday topics that will enable them to establish and maintain meaningful relationships with native English speakers of their own age.

#### 講義の内容・授業スケジュール

Course Contents: A textbook with 12 units and the instructors worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

The units to be covered in this course are:

Unit 1: Personal information / Talking about likes and dislikes

Unit 2: Friends & Friendship / Personal experiences

Unit 3: Romantic relationships / Dating

Unit 4: Shopping

Unit 5: Summer vacations / Domestic & foreign Travel (1)

Unit 6: Jobs / Job interviews

Unit 7: Opinions / Reasons for opinions

Unit 8: Music / Pop groups

Unit 9: Personality / Strengths & Weaknesses

Unit 10: Money & Budgets / Prices & Numbers

Unit 11: Responses in various situations / Stories

Unit 12: Plans for the future

#### 履修上の留意点

Registration Requirements & Class Rules: It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years, and have passed English Conversation I. Students must be willing and able to take a class where all teaching is done in English, and where students are required to speak English at all times.

Students should also note that constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation II.

#### 成績評価の方法

Grading and Evaluation: A final grade will be based on two measures: an end-of-year exam (60%), and a mark based on a student's attitude towards the class and class performance throughout the year (40%). The End-of term exam will normally be a ten-minute one-to-one interview with the teacher. If student numbers are too large to make this type of exam practical, then an exam with listening and written exercises will be used.

Bonus marks will be awarded to those students who have only zero/one absence (+ 10%) or two absences (+ 5%) throughout the year.

#### 教科書

Textbook: **Face To Face: English for Today's Generation**, Dale Fuller & Corey Fuller, Macmillan LanguageHouse. Student's Book 1 (¥2,100 + tax).

科目名	英会話II	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234選				
担当者名	ラッセル, S. J.				

講義のねらい

English Conversation 2 is for intermediate level students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・  
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive intention to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a good dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

English Firsthand 2 ISBN 962-00-5347-8  
Published by Longman

科目名	英会話II	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234選				
担当者名	レイン, R. V.				

講義のねらい

This course will help students to: 1] use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, and 2] improve their presentation-giving skills.

講義の内容・  
授業スケジュール

The first half of the class is devoted to textbook speaking activities [done in pairs] to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving one-minute presentations on a TV commercial of their choice in front of the class.

履修上の留意点

Students are expected to participate actively in class and practice the textbook activities at home. Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes [approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be tested orally on the textbook activities twice a month and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as attendance and class participation.

教科書

author: Steven Molinsky and Bill Bliss  
 title: Side by Side, 3rd Edition, **BOOK 4**  
 publisher: Longman  
 date: 2003  
 ISBN 0-13-183937-3

科目名	英会話III	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	ウェルズ, J. K.				

#### 講義のねらい

#### English Conversation III

Welcome to my class! I hope you will challenge yourself speaking English openly on a variety of subjects and activities. This is NOT a beginner's class and the class is held (in most cases) entirely in English. It is usually a small class, so there should be much opportunity for you to speak.

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

First Semester: Emphasis will be put on working with your partners and talking about a variety of subjects I give you. Your first semester exam will be based on speaking ability and you will be marked accordingly.

Second Semester: Partner and group activities will enhance your speaking ability. Your final exam will be an interesting and creative dialogue that you and your partner write. It will be performed in front of everyone.

#### 履修上の留意点

Attendance is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and know you can attend regularly also.

It is preferred that you not take English Conversation I and English Conversation III at the same time.

The first class is very important, so please do not be absent!

Auditing my class will be granted based upon the size of the class. Please talk to me about this.

#### 成績評価の方法

Attendance : 50%

Tests : 25% (one test each semester)

Quizzes : 25% (usually part of assignments or announced quiz; class participation is important)

#### 教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you with in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

#### その他

I am an American and have been teaching at Komazawa for many, many years. I am sure some of you know me and maybe I taught you English Conversation I. If you want to challenge yourself further, please join my class. I will interview you briefly the first class period to see if your English is good enough to join this class. It is NOT a beginner's class. See you in class! John Wells

科目名	英会話III	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	ピアス, D. M.				

講義のねらい

This is the highest level of English conversation practice offered by the university; accordingly we will present the most difficult material possible to speed your success in English fluency.

講義の内容・  
授業スケジュール

Free conversation is urged at all occasions. Topics of a very wide variety will be introduced by practice dialogues which you will work through in dialogue or group. When applicable, we will exchange our own opinions, orally, about the topic presented in the dialogue. Speech practice will be conducted on three different levels. 1) Daily conversation, which you are already capable of conducting; practice is to amplify your present ability. 2) Conversation on a semi-abstract level, which will be accomplished through a mixture of lecture and dialogue. Topics will be cultural and sociological. This type of conversation is to accelerate your fluency in conducting intelligent conversation in English. 3) Academic conversation. Material will cover ethical-social topics such as human rights, income distribution, war, suicide, etc, in a mixture of lecture and dialogue, with subsequent free exchange of opinions. This level requires an entirely new world of vocabulary and speech patterns that never appear in ordinary English conversation. Academic conversation prepares many of you for overseas university study.

履修上の留意点

Grammar, reading, and composition will be practiced every week, in an oral style that you have never before encountered.

成績評価の方法

Three absences per semester permitted. Tests are purely didactic; they are not a disciplinary tool to monitor whether you are studying. Grading is likely to be generous, as anybody who qualifies for a class like this is evidently sincere and self-motivated; using grades as a whip is unnecessary. Classes proceed closely according to the textbook; coming to class without the textbook counts as an absence.

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子				

講義のねらい

基本的な表現をつかてまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常のスピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は前期は日本語でおこなうが、後期にはすべて英語による授業になる。

講義の内容・  
授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現を学習。フラッシュカードを使って基本表現を覚えつつCDで発音とイントネーションを修正しながら聞き取り力を増強する。ペアワークをおこなう。  
9-12月：ビデオをみながら話の内容を英語で説明、簡単な英語のプレゼンテーションを繰り返しおこない、英語で話すことになれる。

履修上の留意点

全員コンピュータIDを取得しておくこと。(総合情報センターで取得可能)。

成績評価の方法

出席は4分の3以上であること、平常点としての小テスト、発表などによる。定期試験は実施しない。

教科書

Essential Listening 3 (Macmillan)、フラッシュカードとCD (別配布)

参考書等

授業中に提示する。

外国語

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	はなわ みちこ 埴 美智子				

講義のねらい

PC教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使える、話せる様にする。自分のことばで表現する力を養成する。

講義の内容・  
授業スケジュール

日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声を聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。

履修上の留意点

表現について研究したり、ことばの広がりをも自分なりに探す習慣をつける。

成績評価の方法

日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

‘Experience America!’ - An Authentic DVD English Language Text -  
(金星堂) ¥2,300

参考書等

その都度黒板に板書し、案内する。

その他

いろいろなテーマが出てくるので、英語圏文化についての知識を増す努力をする。



科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	はなわ みちこ 埴 美智子				

講義のねらい

PC教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使える、話せる様にする。自分のことばで表現する力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール

日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声を聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。

履修上の留意点

表現について研究したり、ことばの広がりをも自分なりに探す習慣をつける。

成績評価の方法

日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

'Experience America!' - An Authentic DVD English Language Text -  
(金星堂) ¥2,300

参考書等

その都度黒板に板書し、案内する。

その他

いろいろなテーマが出てくるので、英語圏文化についての知識を増す努力をする。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子				

講義のねらい

基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は前期は日本語でおこなうが、後期にはすべて英語による授業になる。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現を学習。フラッシュカードを使って基本表現を覚えつつCDで発音とイントネーションを修正しながら聞き取り力を増強する。ペアワークをおこなう。  
9-12月：ビデオをみながら話の内容を英語で説明、簡単な英語のプレゼンテーションを繰り返しおこない、英語で話すことになれる。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員駒澤大学のコンピュータIDを取得しておくこと。

成績評価の方法

出席は4分の3以上であること、平常点としての小テスト、発表などによる。定期試験は実施しない。

教科書

Essential Listening 3 (Macmillan)、フラッシュカードとCD (別配布)

参考書等

教場で指定する。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	どのいけ かずこ 外池 一子				

#### 講義のねらい

リスニングに欠かせない英語の音声変化と聴き取りのストラテジーを体系的に学習し、その後比較的短いモノログやダイアログ、英語のニュースなどを正確に聴き取れるようになることを目指します。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

1. テキストに従って、以下の項目を学習します。

- (a) 個音（母音、子音）の識別
- (b) 連結
- (c) リダクション（機能語の弱形・縮約形）
- (d) 脱落・同化
- (e) リズム、イントネーション

2. 実際の聴き取り練習を行いながら、さまざまなリスニングのストラテジーを身につけていきます。

#### 履修上の留意点

授業はCALL教室で行います。コンピューターを使用しますから、受講前にユーザーIDとパスワードを取得しておくこと。

また、初回にテストを行い受講の可否を判定しますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。

#### 成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

#### 教科書

開講時に指示します。

#### その他

毎週きちんと予習をして出席すること。予習をしていなかった場合は出席とは認めません。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	とのいけ かずこ 外池 一子				

### 講義のねらい

リスニングに欠かせない英語の音声変化と聴き取りのストラテジーを体系的に学習し、その後比較的短いモノローグやダイアログ、英語のニュースなどを正確に聴き取れるようになることを目指します。

### 講義の内容・授業スケジュール

1. テキストに従って、以下の項目を学習します。
  - (a) 個音（母音、子音）の識別
  - (b) 連結
  - (c) リダクション（機能語の弱形・縮約形）
  - (d) 脱落・同化
  - (e) リズム、イントネーション

2. 実際の聴き取り練習を行いながら、さまざまなリスニングのストラテジーを身につけていきます。

### 履修上の留意点

授業はCALL教室で行います。コンピューターを使用しますから、受講前にユーザーIDとパスワードを取得しておくこと。  
また、初回にテストを行い受講の可否を判定しますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。

### 成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

### 教科書

開講時に指示します。

### その他

毎週きちんと予習をして出席すること。予習をしていなかった場合は出席とは認めません。

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	甲斐 捷子				

#### 講義のねらい

外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音と習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から初めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、会話力が身につきます。小中学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

#### 講義の内容・授業スケジュール

テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期でビデオを終了し、後期はAmerican Accent TrainingのCDを使用してレベルアップを図ります。このハンドアウトは開講時に配布します。テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期でビデオを終了し、後期はAmerican Accent TrainingのCDを使用してレベルアップを図ります。このハンドアウトは開講時に配布します。

#### 履修上の留意点

ビデオ、CDとも、図書館の視聴覚室で視聴できます。

#### 成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

#### 教科書

Sounds Right! Sounds Good! マクミランランゲージハウス2, 000円

#### 参考書等

American Accent Training 2nd ed. Barrons

科目名	英語LLI	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A放1234選				
担当者名	久保 ひさ子				

#### 講義のねらい

海外旅行で場面別に、一回で通じる短い、英会話文を習得する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

旅行英会話の短文を、パソコン使用で、聞きとり、書きとり、反復練習する。コミュニケーションできるようにするため、さらに暗記する。毎回、小テストあり。

#### 履修上の留意点

実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

#### 成績評価の方法

試験と授業実習点と小テストの合計点

#### 教科書

マイケル・ブラウン「旅行でしゃべる英会話」南雲堂

科目名	英語LLII	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234選				
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子				

#### 講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベルIを終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベルIIではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得し、概略を説明していく作業を繰り返す。また、テキストを使用してより正確な表現、高度な表現ができる訓練をおこなう。電子メールで提出する課題英作文による書く訓練、多様な文章を読む訓練も併用する。授業はすべて英語でおこない、質問も英語でのみ受けつける。学生同士の英語での話し合いやペアワークなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標はTOEIC700-800程度。LLIにくらべ、難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

#### 講義の内容・授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現の復習と聞き取り、プレゼンテーション。教科書はUnit 8-12まで。  
9-12月：LLIIIへの橋渡しとして、書き方とプレゼンテーションに力点をのいた授業。

#### 履修上の留意点

宿題提出はメールまたは大学教場の共有フォルダーのなかにいれる。受講学生は全員駒澤大学のコンピュータIDを取得しておくこと。

#### 成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点重視（出席率、発表内容など）

#### 教科書

テキスト：New Headway Pre-intermediate (Oxford Univ. Press.)

#### 参考書等

使用ビデオ：New Headway (elementary), および (pre-intermediate)、その他。

#### その他

前年度LL2の同じ授業をとった学生でも聴講できる。このためテキストは1-7を飛ばし、UNIT8から後半部を集中的にとりあげる（次年度は1-7を用いる）。

科目名	英語LLII	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234選				
担当者名	たかはし あきこ 高橋 明子				

#### 講義のねらい

ニュースや映画などの多量の英語を聴き取って内容を理解し、学習した英語表現を実際に運用できるよう練習を重ねていきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に聴き取りの練習を進め、進度に応じてやや専門的なテーマのスピーチや映画などの教材を学習していきます。TOEICのリスニング・セクションの問題の練習もします。

#### 履修上の留意点

毎回の授業での学習の積み重ねが大事なので、欠席をなるべくしないことを心がけてください。また、受講前にユーザーIDとパスワードを取得してください。

#### 成績評価の方法

平常点（出席状況や小テストなど）と前期・後期の試験結果とを総合して評価します。

#### 教科書

『CNN：ビデオで見る世界のニュース（8）』（朝日出版社）2,000円＋税  
ISBN978-4-255-15432-9

科目名	英語LLII	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234選				
担当者名	甲斐 捷子				

講義のねらい 日常の身近な問題から現代の諸問題まで、ディスカッションできるところまで、英語の運用能力を高めることが、この授業の目的です。

講義の内容・授業スケジュール 全12章のうち、6章を前期で、残り6章を後期でクリアする予定です。

履修上の留意点 特にLLの授業ですので、遅刻、欠席をしないようお願いします。

成績評価の方法 一応の目安として、クイズ30%、前期試験30%、後期試験40%、とします。

教科書 アメリカ口語教本 中級用 WilliamS. Clark 著 研究社 2, 600円

外国語

科目名	英語LLIII	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	甲斐 捷子				

講義のねらい 日常の身近な問題から、現代の諸問題までディスカッションできるところまで、英語の運用能力を身につけることがこの授業の目的です。

講義の内容・授業スケジュール 前期6～7章、後期6～7章の予定で進みます。

履修上の留意点 LLの授業につき、特に遅刻、欠席をしないようお願いします。

成績評価の方法 一応の目安として、クイズ30%、前期試験30%、後期試験40%とします。

教科書 アメリカ口語教本 上級用 WilliamS. Clark 著 研究社 3, 000円

科目名	英語LLIII	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子				

#### 講義のねらい

レベルIIでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざしたが、このレベルIIIはそれより一層高度な会話表現力およびプレゼンテーション能力を習得することをめざす。また、欧米の大学留学のための準備クラスとして、多様な英文を読み、概略を英語でまとめたり、いくつかのトピックについてのプレゼンテーションをおこなったりもする。LLII同様、授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、グループワークも取り入れる。LLレベルIIを終了し、英検準一級程度（TOEICレベル650以上）の学生を対象とする。このレベルに達していない学生はレベルIIを受講することをすすめる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

4-7月：教科書のUnit 8-12まで。ビデオのサマリーを中心としたプレゼンテーション。  
9-12月：教科書の前半部分を使い、多様な文章を読みながら感想を記述し、発表する訓練を繰り返す。ビデオの英語による概略説明も続ける。TOEICの模擬テストなども行う。

#### 履修上の留意点

大学のコンピュータIDを必ず事前に取得しておく。レベルIIIは例年高度なクラスなので途中で落伍しないためにも履修の前にLLIIの内容とよく比較して検討してほしい。

#### 成績評価の方法

平常点重視（出席率、プレゼンテーションなど）。定期試験はおこなわない。

#### 教科書

New Headway Upper Intermediate. (Oxford Univ. Press)

#### その他

最初と最後にTOEICの模擬などを授業で行い、到達度をチェックする。

科目名	英語LLIII	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	くぼ ひさこ 久保 ひさ子				

#### 講義のねらい

英語講演等をおおよそ、理解でき、さらに、ディベートできる程度をめざしたいと思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

テキストを、聞きとり、書きとり、解答し、再生し反復練習する。

#### 履修上の留意点

実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

#### 成績評価の方法

試験と授業実習の合計点

#### 教科書

World Times of Japan, Michigan Action English Step 6

科目名	ドイツ語外国書講読	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現34選				
担当者名	しばの ひろこ 柴野 博子				

講義のねらい

他国の文化を理解し、またそれを通して自国の文化を反省することは、国際化の進展する今日、非常に大切なことだと思います。そこでこの授業では、日本とドイツの間の異文化理解の問題を扱ったいくつかの文章を読んでいます。それによって、ドイツ語の文章に慣れると同時に、ドイツあるいは日本の文化についても、理解を深めることができればと思っています。

成績評価の方法

年1回の試験と平常点で行います。

教科書

教科書は使用しません。教材はコピーしてお渡します。

科目名	時事ドイツ語	開講	通年	単位	4
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選				
担当者名	ほりうち みえ 堀内 美江				

講義のねらい

ドイツ語圏のインターネットや雑誌、テレビやラジオなどを、少しでも理解できるようになると、あなたの世界はぐんと広がります。この授業では、さまざまなドイツのメディアを使うための学習をしていきます。

ドイツの国技サッカー、ドイツ料理にウィーン菓子、ドイツの観光名所、さらにドイツで今話題になっていることなどをテーマに、ドイツ語の世界を楽しみましょう。

講義の内容・授業スケジュール

テーマごとに、まず用いられる語いを学び、必要な文法的な知識を復習します。その後、自力で情報を見つけたり、読み取ったりする練習をしていきます。映像などの視覚的資料もできるとき紹介しながら、生のドイツを体験していただきたいと思っています。

履修上の留意点

PC教室をしばしば使います。学内で用いられるPCのアドレスを取っておいください。皆さんの様子を見ながらゆっくりと授業を進めていきますので、リラックスして参加して下さい。辞書は毎回携帯のこと。

成績評価の方法

前後期それぞれ二回の小レポートと出席点による総合評価を行ないます。

教科書

プリント配布

科目名	上級ドイツ語	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選				
担当者名	やぶした こういち 数下 絃一				

講義のねらい

小人数で辞書を使って読んでいきます。毎回あたります。予習を忘れない様に。

成績評価の方法

評価は7月と12月の試験+平常点で決めます。

教科書

ヨーゼフ・ロート：美の勝利、白水社、¥950。



科目名	ドイツ語コミュニケーションI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	小林 <sup>こばやし</sup> ゲアリンデ				

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

テキストは教室で配布する。

その他

ビデオ、カセットを使用する。

外  
国  
語

科目名	ドイツ語コミュニケーションII	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	小林 <sup>こばやし</sup> ゲアリンデ				

講義のねらい

ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げることが目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

テキストは教室で配布する。

その他

ビデオを使用する。

科目名	ドイツ語IA (選)	開講	通年	単位	2
配当	全学科(フレB除く)選				
担当者名	まつおか すすも 松岡 晋				

講義のねらい

週一回、一年間の授業でドイツ語の初級文法をマスターすることを目標とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

ドイツ語のアルファベット、発音規則の説明から始めて、冠詞、動詞の現在時制、過去時制、完了自制等々という具合にゆっくりと文章構造と表現様式の理解を深めてゆきます。補助的に適宜ネイティブ・スピーカーの発音を収録したCDを用いることも考えております。ともかくゆっくりと、皆さんとともに先へ進んでゆくつもりです。

履修上の留意点

文法の学習は積み重ねですから、定期的出席が前提条件です。また、初回の授業のさいに中型の「独和辞典」を何種類か紹介いたしますので、そのうちの一つを入手し、以降つねに持参ください。

成績評価の方法

期末試験(7月)、学年末試験(1月)以外に何度か小テストを行ないます。そのほかに平常点(出席率、授業中に指名された時の口頭練習の結果など)を加味して成績評価をいたします。筆記試験と平常点の成績評価に占める割合は同等であると考えてください。

教科書

未定

その他

実際のドイツ語の文章に慣れるために、その都度の文法事項に即した例文を収めたプリントを何度か配布いたします。

外国語

科目名	ドイツ語IB (選)	開講	通年	単位	2
配当	全学科(フレB除く)選				
担当者名	いむら ゆきこ 井村 行子				

講義のねらい

ドイツ語を実際に使えるようにするとともに、ドイツについての知識の習得に努めます。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書に沿って進めます。

成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績によります。

教科書

近藤/小林/新倉/松尾『Dialog 一ベーシック版』(郁文堂)

科目名	ドイツ語II (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法 A 政営A234選				
担当者名	井村 行子 <small>いむら ゆきこ</small>				

講義のねらい

ドイツ語のレベルアップとともに、ドイツについての知識を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

最初に復習を行った後、前期に少なくとも3課まで、後期はそれ以降に進める予定です。

成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績によります。

教科書

近藤／小林／新倉／松尾『Dialog ーステップアップ版』(郁文堂)

その他

最初に『Dialog ーペーシック版』のSzene4 と5を1年次の復習を兼ねて使いますが、もっていない場合にはコピーを用意しますので、こちらは購入する必要はありません。

外国語

科目名	フランス語外国書講読	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現34選				
担当者名	前田 祝一 <small>まえだ のりかず</small>				

講義のねらい

初級フランス語を履修済の人たちを対象とします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに従って、細かくフランス語を味読してゆきますが、最初は初級レベルで学習した事柄の再確認・復習を主とし、のちに新たに一層レベルを上げた言語の特性を、修得できればと考えています。

履修上の留意点

この科目は履修者の主体性を尊重する選択科目ですが、誠実な、ねばり強い姿勢を期待しています。

成績評価の方法

平常点を主とし、最終的にはペーパーテストとします。

教科書

中地編、ル・クレジオ『パヴァナ』(朝日出版社) 1300円

科目名	時事フランス語	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選				
担当者名	桑田 <small>くわた のりあき</small> 禮彰				

講義のねらい	フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。
講義の内容・授業スケジュール	比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一步踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。
履修上の留意点	最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
成績評価の方法	ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
教科書	荒木善太他『ヴァリエテ・フランセーズ2007』（朝日出版社）本体1,900円＋税
参考書等	そのつど授業で指示します。

外国語

科目名	上級フランス語	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選				
担当者名	小玉 <small>こだま なりお</small> 齊夫				

講義のねらい	「上級フランス語」クラスでは、フランス語検定試験の3級あるいは準2級に合格することをめざして、文法事項の再確認とともに、聞きとり、作文、ならびに会話についての実力を養っていくつもりです。1、2年次の知識を復習し、視聴覚教材も用いて、可能なかぎり、総合的なフランス語能力を身につけるよう、勉強していきます。来年3月に行われる「短期セミナー」に参加を希望される方は、現在の自分のフランス語能力など気にせずに、積極的に、この授業をとるようにして下さい。「短期セミナー」に参加した人たちも歓迎です。放っておくと、「実力」はすぐ落ちてしまいますから。
講義の内容・授業スケジュール	下記の教科書を用いますが、他に、こちらで準備するプリント教材あるいはビデオ教材なども、使っていく予定です。前期は、主として、これまでの復習に、後期は、その展開という風に、段階を追って進んでいくつもりです。
履修上の留意点	出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕が出てきません。つとめて、そのようにしたいと思いますので、「遊び心」も持って参加して下さい。フランス語の聞き取りは、「ある日、突然に」、それまで理解できなかった表現も、分かってくるものです。初めの「難しさ」にめげずに、突然訪れて来る「その日」をめざして、地道に練習を続けていく心構えがたいせつです。
成績評価の方法	随時提出する宿題や、年末の試験で評価します。
教科書	阿南・モラン 共著 『パシヨネマン2』（第三書房、2400円） ISBN978-4-8086-2185-8
参考書等	『現代和仏小辞典』（白水社）。フランス語彙を増やすためにも、必要です。

科目名	フランス語コミュニケーションI	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	ラリア・三倉 <sup>らりあ・みくら</sup> , M.				

講義のねらい

フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。

教科書

高橋・ジュンタ共著『ヌーヴォー・ク・ドゥ・クール』  
第三書房 ISBN 4-8086-2136-3

外国語

科目名	フランス語コミュニケーションII	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	ラリア・三倉 <sup>らりあ・みくら</sup> , M.				

講義のねらい

フランス語の基礎学習の経験のある学生のためのクラスです。生徒は小さなグループにわかれ、フランス語会話をたくさんすることで発音、表現力の向上をめざします。尚、ビデオで現在のフランスの若者の生活パターンが多く紹介されているので、それに触れながら楽しく学習できます。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と口頭面接評価。

教科書

MONNERIE著BIENVENUE EN FRANCE TOME 1 (Didier HATIER)  
プリント資料を学生に与えますので、学生は、格別に教科書を買う必要がありません。

科目名	フランス語IA (選)	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	出口 <sup>でぐち</sup> 雅敏 <sup>まさとし</sup>				

講義のねらい

この授業では、フランス語文法の基礎を学習してゆきます。文法の基礎をしっかりと身につけることは、フランス語の世界に入ってゆくための大切なプロセスです。ですから、この入口で躓かぬよう、じっくり基礎固めをすることが授業の目的です。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストは、文法事項の簡潔なまとめと練習問題から成っています。授業は、文法事項の具体的説明の後、練習問題に取り組む、という形で進行します。加えて、フランス語の読み方や仏和辞書の引き方についても慣れてもらいます。

履修上の留意点

辞書を持参して下さい。やむをえず欠席する場合は、理由を書面にて提出して下さい。

成績評価の方法

前期・後期の期末試験と通常点によって評価します。

教科書

斎藤昌三『《新版》ル・フランセ』(白水社) 1,750円

科目名	フランス語IA (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	前田 <small>まえだ のりかず</small> 祝一				

講義のねらい

フランス語の言語としての特性を理解してもらうこと。そして、少しでも使いこなせるようになること。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な基本語・文型を身につけて、少しずつ積み重ね、言葉の世界を広げ、深めてゆく。つまり、毎日が新しいことの学習です。

履修上の留意点

したがって、毎日が新しいことの学習であり、それらが理解できていることが、次の回の出発点ですから、欠席しないで持続させること。それが終着点での満足感になるはずです。

成績評価の方法

平常点としますが、ペーパーテストも随時行ないます。

教科書

内藤・玉田著『フランス語へのパスポート (改訂版)』(白水社) 1,800円

科目名	フランス語IB (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	桑田 <small>くわた のりあき</small> 禮彰				

講義のねらい

フランス語の基礎の習得。

講義の内容・授業スケジュール

まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。

履修上の留意点

発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

林田遼右著『パリ散歩』(朝日出版社) 2,600円+税

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	フランス語II (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	桑田 禮彰 <small>くわた のりあき</small>				

講義のねらい

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・  
授業スケジュール

比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一步踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

荒木善太他著『ヴァリエテ・フランセーズ2007』(朝日出版社) 本体1,900円+税

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	中国語外国書講読	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現34選				
担当者名	佐藤 普美子 <small>さとう ふみこ</small>				

講義のねらい

《声に出して読みたい》中国語で書かれた文学作品(主として詩歌、エッセイ、短篇小説)を読んでいます。

講義の内容・  
授業スケジュール

一つの作品を読み終えた後、必ずその文章(の一節)を暗誦してもらいます。

履修上の留意点

予習は不可欠です。

成績評価の方法

出席、予習の有無、暗誦テストによって総合的に評価します。

教科書

開講時、プリントを配布します。

参考書等

辞書は必ず用意して下さい。

科目名	時事中国語	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選				
担当者名	しおはた しんいちろう 塩旗 伸一郎				

講義のねらい

インターネットで中国の各サイトを訪れ、見出し&リードの速読と記事精読の2種のアプローチにより、ニュースの文体を読み解く力を養う。  
ピンインのルビを振るソフトの導入により、生の記事にピンインをつけてテキストにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

「速読」篇は、その場で声に出して読み、大意を掴む。「精読」篇は、文を構造的に捕える練習を積む。  
併せて、ニュースの聴き取り、単語の構造分析クイズ、中国語入力・検索の体験学習などを行なう。

履修上の留意点

精読教材は予習が不可欠。  
教材等、授業に関する情報は下記URLに掲示するので常時チェックすること。  
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~siop/jiji.html>

成績評価の方法

平常点。

教科書

ネット上で採取し、上記URLに掲示。

参考書等

辞書は『現代漢語詞典』(中国商務印書館)、『中日辞典』(小学館)、『中日大辞典』(大修館書店)、『講談社中日辞典』、『白水社中国語辞典』を推奨する。  
これらより薄いものや、中日・日中を一冊で兼ねる安あがりな辞書は、役に立たない。

その他

PC教場使用を要望しているが、教場変更の可能性もあるので、掲示に注意すること。

外国語

科目名	上級中国語	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選				
担当者名	こじま こういちろう 児島 弘一郎				

講義のねらい

実用的な中国語表現の習得を目指すと同時に、各種検定試験への対策を行ないます。頻出する基本構文・語彙を反復学習しつつ、聴き取り・翻訳・作文などの訓練をします。

講義の内容・  
授業スケジュール

中国でのインタビューを中心に編集された音声教材を使用し、自然なスピードで話された中国語に毎回触れてもらいます。はじめは慣れないと思いますが、教員が丁寧に補助しながら何度も繰り返すので、心配は無用です。

履修上の留意点

毎回の授業が貴重な訓練の場となるので、出席を怠らないこと。予習は不要ですが、教員が示した方法による復習をしっかりと行なって下さい。

成績評価の方法

前期・後期の試験、数回実施する小テスト、授業への取り組み、出席状況によって総合的に評価します。

教科書

楊達・南勇『リスニング中国語I』(朝日出版社、2200円、CD付)。

参考書等

辞書や役立つ音声教材などは、教場で紹介します。

その他

検定試験の受験を予定していない学生も、もちろん歓迎します。



科目名	中国語コミュニケーションI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	いわさき ひろし 岩崎 皇				

#### 講義のねらい

コンピュータ教場の機能を使って、中国語の音声聞き取り能力を養うことが目標です。聞き取りは会話の前提となる能力であり、もっとも大事なものです。まずは、これまで習ったことを聞いて分かるようにすることが、直接の目的になります。

#### 講義の内容・授業スケジュール

基本的には、テキストに沿って聞き取りの練習を行っていきませんが、必要に応じて他の音声教材も使います。授業の合間に、中国のテレビ番組などの映像も見ます。

#### 履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。欠席した場合は、そのつど課題を提出してもらいます。未提出が3回を越えるときは単位取得ができません。ただし、課題提出は授業に全く取って代わることはできないので、欠席が7回を越えてはいけません。

卒業年次生は就職活動等を考慮して、欠席回数を10回まで許容しますが、課題にかんしては上と同じです。

なお、これまで中国語を勉強したことのない人、および中国語を母語とする人は履修しないでください。

#### 成績評価の方法

履修上の留意点にある条件を満たした上で、毎回の授業への取り組み、および前期1回、後期1回のテストで評価を行います。

#### 教科書

楊達他著「新・聞こえる中国語」(南雲堂) 2,940円

科目名	中国語コミュニケーションII	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	そう たいわ 曹 泰和				

#### 講義のねらい

簡単な会話の習得。ヒヤリングの力の向上。初級文法の復習

#### 講義の内容・授業スケジュール

会話とヒヤリングを中心にして授業を行う。日常会話や基本文型を繰り返し練習する。

#### 履修上の留意点

積極的に会話の練習に参加すること。なお、中国語コミュニケーションIを履修しなくても、この授業は履修できる。2年生から4年生まで履修可。IA・IB既習程度

#### 成績評価の方法

出席、授業態度、テストで総合評価する。

#### 教科書

竹島金吾 監修 竹島 毅著『中国語さらなる一歩』(白水社) 2,200円+税

#### 参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	中国語ⅠA（選）	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	よしだ たていちろう 吉田 建一郎				

講義のねらい 中国語の基礎力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール 発音の基礎であるピンインを習得した上で、短い会話文を題材として基本的な語彙と表現を学んでいきます。

履修上の留意点 大きな声を出して積極的に発音練習に参加しましょう。携帯電話の使用、私語、内職などは、真剣に学習に取り組んでいる他の学生にとって極めて迷惑なので絶対に行わないでください。

成績評価の方法 平常点と定期試験により評価します。

教科書 南雲智・趙暉『始めよう！中国語』（白水社）2,205円

外国語

科目名	中国語ⅠA（選）	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	みやもと あつこ 宮本 厚子				

講義のねらい 中国語の基礎を身につける。

講義の内容・授業スケジュール 発音を学んだ後、会話文を通して、基本的な文法を学び、語彙を増やしてゆく。

履修上の留意点 毎回暗誦あるいは聞き取り（小テスト）を行うので十分に復習をして授業に臨むことが求められる。

成績評価の方法 年に4回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点（暗誦・小テストを含む）で評価する。

教科書 プリント配布。

その他 詳細は開講時に説明する。

科目名	中国語IB (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	蘭 <small>らん めい</small> 明				

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は最初の一か月（4回に分け）において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語1』（朝日出版社）2,835円

外国語

科目名	中国語II (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	三田村 <small>みたむら けいこ</small> 圭子				

講義のねらい

基礎中国語を復習し、聞く・話す・書くを反復練習することで、より実践的な中国語を習得する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①基礎中国語で学習した重要な文法や発音を復習する。
- ②教科書の進度にしたがって、会話を暗記し、また簡単な文章を書けるように練習する。

履修上の留意点

出欠は成績に加味するので、欠席の多い学生は単位取得が難しい。欠席が3分の1以上の場合、採点評価の対象外とする。

成績評価の方法

前・後期の中間期末試験（全4回）と平常点で総合評価する。本文の暗記も点数に加算する。

教科書

塚本慶一『2年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2200円

参考書等

授業開始時に説明する。

科目名	スペイン語外国書講読	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現34選				
担当者名	齋藤 明美				

#### 講義のねらい

様々な分野の親しみやすく簡単なスペイン語の文章を辞書の力を借りながら内容を理解する力をつけます。講読を通して基礎文法の復習と語彙力の増加を目指します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

受講者の興味関心に考慮しながら、スペイン語圏に関する平素なテキストや代表的な文学作品の一節にチャレンジし読解力をつけます。また外国人スペイン語初級学習者用に作成された短編小説の翻訳にも挑戦します。

#### 履修上の留意点

学習の効率を上げるためには毎回の予習・復習が大切です。内容を正確に理解するために意味が分かるまでとことん辞書を引きましょう。

#### 成績評価の方法

毎回の授業参加や演習課題そして各期末の達成度チェックによります。

#### 教科書

未定

外国語

科目名	時事スペイン語	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現堂A34選				
担当者名	齋藤 明美				

#### 講義のねらい

初級文法および基本語彙を復習しながら、スペイン語圏の政治・社会、文化、芸術、スポーツ、文化についての簡単なテキストを理解できるようにします。また日本の文化・慣習について外国人に簡単に紹介できる能力をつけます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

様々な媒体のテキストの読解を通してスペイン語圏の文化・生活様式の理解を深めつつ、スペイン語を使った情報収集能力を高めます。また平素なテレビ・ラジオ番組を随所利用し基礎的なヒアリング力を向上させます。自分の考えを簡単にスペイン語で表現できる力を伸ばします。

#### 履修上の留意点

時事スペイン語を理解するためにはしっかりした文法の知識そして豊富な語彙力が不可欠です。受身にならず興味関心ももてるテーマの一つでも見つけ、辞書をたよりに貪欲に語彙や慣用表現を増やす努力をしていきましょう。またインターネット等を積極的に活用して日ごろからスペイン語に慣れましょう。

#### 成績評価の方法

毎回の授業参加や演習課題・小テストそして各期末の達成度チェックによります。

#### 教科書

学生の興味関心や学習状況に応じてその都度具体的なテーマを指定します。

科目名	上級スペイン語	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選				
担当者名	上野 勝広 <small>うえの かつひろ</small>				

講義のねらい

このクラスでは、スペイン語検定試験（3級・4級）に合格することを目標にします。既習の文法事項を随時復習しながら、聴解・会話・読解・作文の各技能を伸ばし、総合的なスペイン語力を身につけられるようレッスンを進めます。

講義の内容・授業スケジュール

作文については年間を通じ下記のテキストを用いて、1回の授業で10ページくらい進めます。読解はインターネットのオンライン教材およびプリント、聴解・会話はビデオ・CD等の視聴覚教材を利用してゆきます。

履修上の留意点

「継続こそ力なり」です。休まずさばらず目標に向かって頑張れる意欲に満ちた受講者を歓迎します。また授業の学習成果を最大限あげるために、何より集中力が大切です。

成績評価の方法

前期末・学年末試験の結果（60%）と平常点（40%）を総合して評価します。

教科書

小池和良『スペイン語作文の方法・構文編』（第三書房）2,500円

科目名	スペイン語コミュニケーションI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	ナバロ、ホワンJ.				

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

教科書

『Viaje al español』  
テキスト及びVTR教材

科目名	スペイン語コミュニケーションII	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	ナバロ、ホワンJ.				

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

教科書

『Viaje al español 上級編』  
テキスト及びビデオ教材

科目名	スペイン語ⅠA（選）	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	かめやま こういち 亀山 晃一				

#### 講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

#### 履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

#### 成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

#### 教科書

開講時、指示します。

科目名	スペイン語ⅠB（選）	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	さいとう あけみ 齊藤 明美				

#### 講義のねらい

基礎文法を習得しながらスペイン語で「聞く」「読む」「話す」「書く」ことができるバランスの取れた基本的コミュニケーション能力を伸ばします。

#### 講義の内容・授業スケジュール

文法に関しては初級文法の復習をしながら直接法の習得を目指します。また日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学び、スペイン語圏で安心して生活できるコミュニケーション能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテンポップスや話題の映画なども紹介していきます。

#### 履修上の留意点

レベルが上がれば上がるほど、文法や語彙習得するためには多大な時間と努力が必要です。自ら楽しみながら勉強するコツを見つけましょう。

#### 成績評価の方法

毎回の授業参加や演習課題そして各期末の達成度チェックによります。

#### 教科書

未定

科目名	スペイン語II (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	おきの まさし 荻野 雅司				

#### 講義のねらい

スペイン語Iで学習したものを更に広く深く学ぶ事で、実際に使えるスペイン語を習得することを第一の目的とします。さらに、学期が終る頃には、通常のスペイン語IIの一段上のレベルが身に付いている事を狙いとします。

#### 講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Iで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外にテープ、ビデオ、更に広くスペイン文学作品の抜粋を含めた多様なプリント類を併用します。これにより、生きたスペイン語と同時に、例えその片鱗だけでも、スペイン語本来の持つ美しさにも触れる様にします。

#### 履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、特別な事情がある場合を除き、可能な限りコンスタントに出席出来る学生の受講を期待します。

#### 成績評価の方法

成績評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

#### 教科書

佐藤玖美子著「新・何を話しましょうか」  
(弘学舎)

#### その他

出来るだけ詳しい西和辞典(例、小学館「西和中辞典」等)を用意したい。

科目名	ロシア語外国書講読	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現34選				
担当者名	ひろた ひでやす 廣田 英靖				

#### 講義のねらい

1～2年で得たロシア語の基礎力のうえにさらに読解や表現力の応用を身につけることを目標とします。最新ロシア情勢をふまえた読みもの、クロコディール、ノーヴォエ・プレーミヤ等を取りあげて様々なスタイルのロシア語文に馴れるようにします。ロシア語の文章を眼で追うだけでなく、その中に書かれている内容を正しく伝達することも重要です。このためには正しいイントネーション、発音、表現が必要なことは言うまでもありません。

授業では簡単な読みものを読むだけでなく、普通に話しているロシア人の声もきき、発話の練習もしてもらいます。

#### 成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

#### 教科書

プリント配布

#### 参考書等

『露和辞典』

#### その他

状況に応じて、PC教場の新システムを利用し、インターネットによるロシアのメディアをリアルタイムに解説、紹介します。

科目名	時事ロシア語	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選				
担当者名	木村 英明 <small>きむら ひであき</small>				

講義のねらい

1991年のソ連邦崩壊からおよそ15年を経たロシアは、2期目に入ったプーチン政権下で、豊かな天然資源を基盤に着実な経済成長を維持している。また、天然資源のみならず、人的資源に恵まれたロシアの国際政治に及ぼす影響力や、21世紀の文化創造に向けて秘めている潜在力は看過できない。この授業では、そんなロシアの動向にじかにロシア語で触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ロシアの政治、経済、文化に関する平易な記事や論文を講読する予定だが、ビデオ等の映像教材も用いることにする。なるべく受講者の要望に応じたテーマを取り上げていきたい。テキストは適宜プリントの形で配布する。

履修上の留意点

各自が、授業を通じて自分の問題意識と出会うよう、アクティブな授業参加を望む。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	上級ロシア語	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現営A34選				
担当者名	クロチコフ、Y.				

講義のねらい

会話練習。  
簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読します。  
講読した内容について自由会話を行う。  
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

教場にて指示します。プリント配布。  
学生の要望も考慮してテキストを選びます。  
ビデオ、オーディオ等を使用します。



科目名	ロシア語コミュニケーションI	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	安徳 <sup>あんどく</sup> ニーナ				

講義のねらい

ロシア語I、IIで学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。

日常の話題等についても自由に会話が出来ようになることを目指します。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

S,KHAVRONINA著「RUSSIAN AS SPEAK IT」(ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

外国語

科目名	ロシア語コミュニケーションII	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	安徳 <sup>あんどく</sup> ニーナ				

講義のねらい

日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。

講義の内容・  
授業スケジュール

資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)

その他

講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

科目名	ロシア語ⅠA (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	クロチコフ, Y.				

#### 講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディークン・ランゲージを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切。

外国語

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は発音やアクセントに重点をおき、後期は短文の読みや文法をくり返し学びます。

#### 成績評価の方法

テストは行わず、平常点で評価。

#### 教科書

『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円、プリント配布。  
ビデオ、オーディオ等を使用します。

#### 参考書等

『露和辞典』

科目名	ロシア語ⅠB (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	木村 英明				

#### 講義のねらい

ユーラシア大陸にまたがる広大なロシアは、100に及ぶ民族を抱えた歴史的、文化的に多様な国家です。ソ連崩壊後の長い混迷を経て、現在は再び経済や文化の領域で飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は、隣国である日本でも高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの現況、習慣や文化にも触れていきたいと思ひます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

この授業では、簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。ビデオ等の映像資料も利用したいと思ひます。

#### 成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

#### 教科書

桑野隆『エクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

科目名	ロシア語II (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	クロチコフ, Y.				

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。  
 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。  
 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

参考書等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	朝鮮語IA (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	宋美玲 <small>ソンミリン</small>				

講義のねらい

朝鮮語Iの授業は、同一の教員がそれぞれ違う教科書をもって週2回の授業を行う。IAのクラスは会話中心、IBのクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に多様な資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはIAのクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、IBのクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

出席・授業への参加度および、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

IA: 長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語(会話編1)』(白帝社) 1,800円+税

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社) 1,000円

科目名	朝鮮語I B (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	宋 美玲 <small>ソン ミリョン</small>				

講義のねらい

朝鮮語Iの授業は、同一の教員がそれぞれ違う教科書をもって週2回の授業を行う。IAのクラスは会話中心、IBのクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に多様な資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはIAのクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、IBのクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

出席・授業への参加度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

IB：長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語（読んで書こう1）』（白帝社）2,400円＋税

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

科目名	朝鮮語II (選)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A234選				
担当者名	宋 美玲 <small>ソン ミリョン</small>				

講義のねらい

基本的な文法の内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるようにする。プリント資料による読解・作文の練習とドラマなどの聞き取り練習を通して実践的な習得を目指す。なお、多様な映像の資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試みる。

講義の内容・授業スケジュール

テキストをもって基本的な文法及び表現に基づいた文型練習を行う。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を、プリントの資料をもって作文や読解の能力を強化していく。

履修上の留意点

韓国語の文字と発音を覚え、初歩的な文法事項を学習した人を対象とするので、まったく初めての人は朝鮮語Iのほうを受講すること。  
受講生は、テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

野間秀樹著『至福の朝鮮語』（朝日出版社）2,900円

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円  
金美仙著『韓国語用言 活用と用言』（三修社）2,500円＋税



## 《再履修クラス》〔英語〕

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	はまぐち まさき 濱口 真木				

### 講義のねらい

これまで学んできた英語を基礎として、基本的な文法・構文を再確認しつつ、総合的な英語の運用能力をめざす。

### 講義の内容・授業スケジュール

テキストを読みすすめていく。また、英語力の確認と向上を図るため、小テストもおこなう。

### 履修上の留意点

授業は平常点を重視するので、必ず予習をして授業に参加してください。

### 成績評価の方法

出席や発表などの平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）の総合評価とします。

### 教科書

前期・Focus on Communication 1「基本文型からコミュニケーションへ」  
後期・Focus on Communication 2「音の理解からコミュニケーションへ」  
朝日出版社 ￥1,400-ISBN978-4-255-15442-8・978-4-255-15443-5

外国語

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	まつどう ひろこ 松堂 啓子				

### 講義のねらい

基礎的な文法を確認しながら、短い英文を書けるようにする。また、リスニング力の強化も併せて行う。

### 履修上の留意点

単位取得には、三分の二以上の出席が必要である。

### 成績評価の方法

試験の結果、課題等を含めて総合的に評価する。

### 教科書

『Three-line Writing in English』成美堂 ￥1800 ISBN4-7919-1041-9

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	岩井 洋美				

講義のねらい

基本文法を復習すると同時に語彙と表現を増やし、自分の事や身近な事をライティング、スピーキングの両面でやりとりすることを目指します。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストを中心に進めていきます。口頭での質疑応答、聞き取り、英作文の練習問題を行います。スピーキングや復習テストをクラス内で随時行う予定です。

履修上の留意点

欠席、遅刻をしないことと1回めの授業に必ず出ること。出席とやる気のある授業態度を最も重視します。8回以上の欠席、4回以上連続の無断欠席をした者は単位は取れません。

成績評価の方法

出席、授業態度の平常点100、前・後期試験各100、スピーキングテスト復習テスト100、合計240点以上で単位取得とします。

教科書

1回目の授業までに大学教科書売り場で購入して置いてください。

外国語

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	牧野 輝良				

講義のねらい

英文構造の理解をめざす。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎時間リーダの部分を読み、その後日本語に訳し提出すること。

履修上の留意点

かならず出席し、指名されたら和訳が出来るように予習しておくこと。

成績評価の方法

3課進む毎に和訳の小テスト、毎時間の和訳の提出、期末テスト等により総合的に評価する。

教科書

田本 & Sanada 著『基本英語表現』（成美堂）1,600円  
ISBN4-7919-4907-2 C1082

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	くまさわ かずあき 熊沢 和明				

講義のねらい

英語の基礎的な口語運用能力を確認し、コミュニケーション能力を引き伸ばすことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

平易なコミュニケーション能力開発用教科書を使い、読み、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワークなどの実習形式を取り入れた授業とします。

履修上の留意点

英語が苦手でも積極手に授業参加する姿勢を評価します。

成績評価の方法

出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。  
PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。

教科書

『NEW ACTIVATOR』（金星堂）

その他

土曜3限

外国語

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	はなわ みちこ 埴 美智子				

講義のねらい

英語の運用能力養成をめざす。日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力の養成をめざす。同時に文章表現も学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの中から多様な英語表現を習得する。日本語に訳さないで英語の表現として身につける習慣をつけていく。

履修上の留意点

辞書を使う場合も出来るだけ英英辞典を使う習慣を身につけていく。

成績評価の方法

日常の出席状況を重視し、普段の授業態度、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

『Appreciating European Culture ―生まれ変わるヨーロッパ―』  
（成美堂）1,800円

参考書等

その都度黒板に板書し案内する。

その他

大切なことばを一つでも多く頭に入れ必要な時すぐに使える努力をする。



科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	丸小 <sup>まるこ</sup> 哲雄 <sup>てつお</sup>				

講義のねらい

広告制作のしくみとそのイデオロギーを捉えることは広告の解読になる。同時に人々の欲望を管理している広告を読み解くことは、消費者として喪失している主体性を回復することでもある。

講義の内容・  
授業スケジュール

リスニングとリーディングによって読込みと思考を養い、発信型のコミュニケーション力を補完していきます。

履修上の留意点

質問や発表は評価の対象となりますので、予習・復習がこのクラスの前提条件です。私語は厳禁。

成績評価の方法

出席、平常テスト、レポート作成課題、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者に別途評価します。

教科書

- ・リーディングとリスニングのテキスト
- 1. Decoding Advertisements 英宝社
- 2. Daily Life Listening 英宝社 ISBN4-269-44041-4 C1082

参考書等

参考書を随時指示し、日常英語のプリントや時事英語ニュースのコピーも配布します。

外国語

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	近藤 <sup>こんどう</sup> 真彰 <sup>まはり</sup>				

講義のねらい

英文ニュース記事を読みながら、時事英語の読解力、語彙力をつけ、その内容について英語で意見が述べられるようになることを目指します。

講義の内容・  
授業スケジュール

最新の英字新聞やインターネットのニュースサイトからの記事を、単語や表現に注意しながら読んでいきます。その上で、英語での意見の表現法を学びながら、記事内容について自分の意見を述べる練習をします。

履修上の留意点

必ず辞書を持参してください。

成績評価の方法

前期と後期の定期試験の成績（50％）と通常の授業での課題（50％）を総合して評価します。

教科書

授業の第一回目に指示します。

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	おかもと まこと 岡本 誠				

講義のねらい

日本人の学生が弱点としている聴く力を養成したく、聴いて書いていく、つまり原稿を書き上げていく作業を行う。つまり、Writingを聴く力を前提にしてやろうというわけである。

講義の内容・  
授業スケジュール

なにを聴くか、その材料はこちらから提供するが、英語の慣用的な表現がどのようないきさつで日常の言語生活に定着したのか説明したものである。原稿を書き上げたら、その独特の表現を自分でも使えるようにしてほしい。

履修上の留意点

辞書必携。着帽禁止。ケータイは off。

成績評価の方法

発表状況・出席状況・遅刻状況・テストの結果等の総合評価。

教科書

特定のものを使用しない。

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	いわはら やすお 岩原 康夫				

講義のねらい

英語による日常的なコミュニケーション力の向上を狙いとする。そのために、一定の基本的な動詞の構文と用法を学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらおう。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。

成績評価の方法

前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表によって判断する。

教科書

Cultivating Writing Skills（朝日出版）2000円 ISBN4-255-15280-2

科目名	英語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	くまざわ かずあき 熊沢 和明				

講義のねらい

英語の基礎的な語学力を確認し、能力を引き伸ばすことをねらいとします。

講義の内容・  
授業スケジュール

平易な総合学習教科書を使い、読み、書き、聞く、話す能力をバランスよく伸ばすように、ペアワークなどの実習形式を取り入れた授業とします。

履修上の留意点

英語が苦手でも積極手に授業参加する姿勢を評価します。

成績評価の方法

出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。  
PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。

教科書

『今日の問題二つの見方  
Opposite Opinions on News Topics』Brian Powle 著  
長阪 朱美 編 1785円

外国語

科目名	英語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	たかみ ようこ 高見 陽子				

講義のねらい

英文を速く的確に読むための基礎を身につけることを主な目標とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

音読やリスニングを通して英語のリズムに慣れることと、精読とは異なる「理解しながら読む」方法に慣れること、この二点を軸に英文を読みこなすための基礎的な練習をします。英文を読む際は、まず全体に目を通して要点と話の流れを把握してから、もう一度詳しく読み直して一回目の読解内容を確認します。

履修上の留意点

必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

全授業回数の3分の2以上の出席が必要です。前・後期末試験の結果をベースに、小テスト・レポート等の結果と授業中の取り組みなどの平常点を加味して、総合的に評価します。

教科書

テキストについては、第一回目の授業で指示します。

科目名	英語I B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	菅原 <small>すがわら のりこ</small> 典子				

講義のねらい

比較文化論的観点に立ち日米の文化や考え方の違いについて学びながら、英語の運用能力向上をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み進めながら、練習問題もやっています。

履修上の留意点

授業は予習をしてくること。

成績評価の方法

前期後期の試験の結果をベースに、日常の発表、出席状況、態度等を入れて総合的に評価します。

教科書

*Simply America, Simply Japan* 『ちょっと日米比較』 Jim Knudsen、石井隆之、金澤順一、木村博是、樋口忠彦、松田聡太郎、村松秀紀 南雲堂 定価1470円（税込） ISBN4-523-17308-7

外国語

科目名	英語I B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	佐藤 <small>さとう えりこ</small> 江里子				

講義の内容・授業スケジュール

テキストを基本とし、演習形式で授業を進めていく。その他に、補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力を身につけることをめざす。

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。授業中に、私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないので注意すること。

成績評価の方法

定期試験（50％）と小テスト、提出物、発表などの平常点（50％）から総合的に評価する。特に、出席状況や授業態度を重視する。

教科書

『大学生のための初級英語』（南雲堂）¥1900＋税

科目名	英語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	おちあい かずあき 落合 和昭				

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、現代口語英語で書かれた文章とヒヤリングを通して、口語表現に慣れ、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階は、ヒヤリングや書き取りのなかで使用されている慣用表現の意味や用法を、テキストを通して、確認する。第四段階は、学生に会話文の発音練習をしてもらう。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

成績評価の方法

前期試験が20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等が60%。出席率は平常授業（前期・後期試験は除く）3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。また、遅刻2回で、欠席1回とし、30分以上の遅刻は欠席とする。

教科書

『音の理解からコミュニケーションへ』 朝日出版社 1400円  
ISBN978-4-255-15443-5  
『初めてのビジネス英語、大学からビジネス・ワールドへ』 金星堂 1800円  
ISBN4-7647-3655-1

外国語

科目名	英語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	たかやなぎ ふみえ 高柳 文江				

講義のねらい

英文の逐一の翻訳ではなく、英文を速やかに、かつ、正確に理解する事をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

簡潔な文章の Reading だけではなく、Listening にも重点がおかれます。章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法についての演習問題により更なる理解を深めるよう構成されています。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には2/3以上の出席が必須です。座席指定

成績評価の方法

試験（前期試験・後期試験）60%、日常点（出席、小テスト、提出物、授業への取り組み）40%

教科書

第1回目の授業にて通知します。

科目名	英語Ⅱ〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレⅡ除く）234年				
担当者名	山岸 <small>やまぎし じろう</small> 二郎				

講義のねらい

英文の基本構造を理解すると共に運用力の向上に努める。

講義の内容・授業スケジュール

文型を意識しながら英文を読み、それをテープで聴きリズムに慣れる。授業ではこの訓練に集中する。音声によるアプローチは、英語再入門には効果的学習法である。

履修上の留意点

ノートを用意する。短文を暗誦して書き留める。随時小テストで学習内容を確認し、その定着を計る。

成績評価の方法

平常の学習を重視する。小テスト、発表、レポート、テスト等総合して評価する。

教科書

『Focus on communication (1)』（朝日出版社）

外国語

科目名	英語Ⅱ〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレⅡ除く）234年				
担当者名	太田 <small>おおた ゆきこ</small> 由紀子				

講義のねらい

聴解力と読解力を養う。それを可能にするべく単語力、構文理解力を高める。また扱う資料を通して英語圏の文化についての理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの映画を鑑賞する。それと平行して彼の自伝を読む。映画鑑賞については英語字幕にする場合と日本語字幕にする場合とあるが、これにより読解力と聴解力を養う。映画の粗筋（英文）も読む予定だが、映像と音声で展開された物語の要約に触れることで英語の理解力を高めたい。そして映画に関係の深い箇所を彼の自伝My Autobiography から抜粋して読む。これについては音声テープもついているので利用する。いずれの作業においても英文法の確認作業をする。

履修上の留意点

毎回の授業に参加し、作業をすることが実力向上につながる。そう心得てほしい。

成績評価の方法

授業時の応答および小テスト、そして前期・後期の最終授業日に実施する試験結果を総合する。

教科書

随時、プリントを配布する。

参考書等

安井稔 『英文法総覧』（開拓社）、江川泰一郎 『英文法解説』（金子書房）  
 Charles Chaplin. My Autobiography (Penguin Modern Classics Non-Fiction)  
 チャールズ・チャップリン 『チャップリン自伝』 中野好夫訳（新潮文庫 上下巻に分冊。下巻は絶版）

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	竹村 恵都子 <small>たけむら えつこ</small>				

講義のねらい

主として Speaking や Writing の英語運用能力を高めることを目的とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストを中心に、テープも利用しながら演習形式で授業を進めます。

履修上の留意点

遅刻・欠席をせず、予習を含め、積極的な授業参加をすること。

成績評価の方法

前期・後期の試験を主として、授業時の発表及び出席率などを総合的に評価します。

教 科 書

未定

外国語

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	山口 晃 <small>やまぐち あきひ</small>				

講義のねらい

IAを土台にして、さらに豊かな表現ができるようになってほしい。そのため、同じことが様々な表現できることを授業の中で感じとってほしい。

講義の内容・  
授業スケジュール

IAのとき以上に複合的な文脈を把握する練習をしたい。表現のためのもとなる思考を深める工夫をしたい。

履修上の留意点

語学の授業なので、出席は重視する。発表には加わってもらう。遅刻は授業のさまたげになるので、注意してほしい。

成績評価の方法

出席回数、授業での発表、レポート、テストの四つを総合的に考えて評価する。

教 科 書

プリントを配布する。辞書は毎回かならず持ってくること。

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	三幣 友行				

講義のねらい

英語IAで学んだことを基礎にして、英語による意思伝達能力の向上をはかることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書にそって英語の口語表現を学んでいく。

履修上の留意点

予習を前提として授業をすすめる。

成績評価の方法

前期試験、後期試験、小テスト、出席点、平常点を総合的に評価する。

教科書

未定

その他

詳しいことは初回の授業で説明する。

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	澤田 真弓				

講義のねらい

毎回興味深いエッセイを取り上げて簡単な英語表現を学び、リスニングやリーディングの能力を総合的に伸ばすことを目標とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は演習形式で行います。毎回発表担当者を決め、あらかじめ指定した箇所を音読し、日本語訳をつけてもらいます。また授業の終わりに簡単な確認テストを行います。

履修上の留意点

積極的に授業に参加することが望ましい。辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、毎回行う確認テストの結果を総合的に判断して評価します。

教科書

Blake Baxter 著、大橋久利 編 『The Culture of Clothes 世界の衣生活』（成美堂）  
1,600円 ISBN4-7919-1258-6



科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	まえだ おさむ 前田 脩				

講義のねらい 英文になれ、やさしい英語による表現を学びます。

講義の内容・授業スケジュール 比較的短い英文を読み、その英文に沿った英語表現とリスニングをおこないます。

履修上の留意点 授業は予習をしてくることに、求められた英語表現レポートは必ず提出してください。

成績評価の方法 日常の発表を重視し、前期と後期の試験結果を総合的に評価します。

教科書 「エンジョイ・イングリッシュ」朝日出版 1700円 ISBN4-255-15390-6 C1082

外国語

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	どのいけ かずこ 外池 一子				

講義のねらい 現在日本や世界でいろいろ議論を巻き起こしているテーマを取り上げて、それらの問題について英語で自分の考えを述べられるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 前期は基礎的な英語の力（読む・書く）があることを確認します。（e-learning教材を使用する場合があります。）後期はさまざまなテーマについて英語で意見を述べる訓練をします。

履修上の留意点 コンピューター教室を使用する場合があるのでユーザーIDおよびパスワードを取得しておく事。基本的なコンピューターの操作ができることが望ましい。

成績評価の方法 平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書 開講時に指示します。（e-learning教材使用の場合、教材費4,000円）

その他 日ごろから新聞を読んだりニュースを聞いたりして、自分の身の周り・日本そして世界が直面するさまざまな問題に目を向け、それらについて自分の意見を持つよう心がけてください。

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	ことみ たけし 古富 猛				

講義のねらい

日本人が何年も英語を学校で時間をかけて学んでいるのに、スピーキングが苦手であるのは周知の通りである。私自身もネイティブ・スピーカーとの会話に四苦八苦している。これからの学生さんはもっと語学をやらざるを得ないであろう。異文化との接触はストレスにもなるが、好奇心を捨てない限り、これほどおもしろいものはない。自らの心を鎖国状態にして、メリットは何もない。よって何とか身につける指針だけでも示したいと考えている。

講義の内容・  
授業スケジュール

やはり日本人はリーディング能力を生かすべきだと痛感している。多読用のテキストを選び、パターン・プラクティスこそが、英語を身につける第一歩と心がけてもらいたい。

履修上の留意点

授業は予習をしてきてもらいたい。

成績評価の方法

出席と発表を日常の評価として、平常点とし、前・後期の筆記試験で総合的に評価を出します。

教科書

教場にて、追って指示します。

科目名	英語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）34年				
担当者名	いづみ よしなが 飯沼 好永				

講義のねらい

英語の基本的な文法事項を確認しながら、自分の考えを表現できる英語力を身に付けること目指します。

履修上の留意点

予習を忘れずに、積極的に授業に参加してください。

成績評価の方法

出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行います。

教科書

『The Real World Today New Edition』桐原書店 ￥750 ISBN4-342-41200-4

科目名	英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英歴日外考経商現法 A 政34年				
担当者名	おかざき としいちろう 岡崎 寿一郎				

講義のねらい

子供は6才で基本的な文法力を、10才で基本的な抽象能力を、大学の二、三年で高度な抽象能力を獲得します。それ故、英語の学習にあっても、基本的な文法の理解から出発します。文の五型・日本語の文法概念にはない冠詞・前置詞の理解と修得を徹底し、練習問題の活用を通して、ラディカルな文章表現能力の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの正確な理解のため、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価の出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）の総合評価。

教科書

柳瀬正人註 『イギリスの諺、さまざま』 太陽社 ￥1,200

外国語

科目名	英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英歴日外考経商現法 A 政34年				
担当者名	おおがち としはる 大淵 利春				

講義のねらい

英語IBの内容を発展させ、さらなるリスニング力、リーディング力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに15分程度リスニングの練習を行い、そのあとで教科書の本文を読み進めていく。毎回最低一回はすべての学生が発言する機会をもうけたい。プリント等も適宜使用する。

履修上の留意点

英和辞書持参のこと。予習を行うこと。

成績評価の方法

前、後期二回の試験成績をベースにしつつ、出席状況、授業態度などの平常点も考慮し、総合的に評価する。

教科書

『English in the Media 英語ニュースで読む現代社会2007』（金星堂）ISBN978-4-7646-3841-6

科目名	英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	佐藤 <small>きとう あやこ</small> アヤ子				

講義のねらい

英語のパラグラフの読み方を学びます。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回プリントを配り、そのプリントに沿って授業を進めます。授業前に前回に行った授業の単語テストを行います。

履修上の留意点

毎回単語テストがありますので復習が必然です。従って欠席すると総合点が減ります。

成績評価の方法

日常の小テスト、及び前後期の試験結果を入れて総合的に判断します。

教科書

当分の間、プリントを使用します。

科目名	英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	<small>あんざい かおる</small> 安齋 薫				

講義のねらい

Listening 能力の向上とともに、さらに多くの量を読めるようにする

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回発表形式を取り入れながらテキストを進めていく。

履修上の留意点

予習をしてくること。

成績評価の方法

出席状況（3分の2以上の出席が原則）、前期後期試験、レポートから総合的に評価する。

教科書

『English with Hit Songs』成美堂 ¥1700 ISBN4-7919-4581-6

科目名	英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	<small>しばた こうたろう</small> 芝田 興太郎				

講義のねらい

「読解力の増進は多読から」。平易な英文に絶えず親しみ、語学力を高めたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書に沿って読んでゆく予定。随時、別の読み物を加えたい。

履修上の留意点

自宅学習が欠かせない。辞書必携。

成績評価の方法

授業の始めと終りに行なう小テスト。出席率、積極性、礼儀を総合的に判断。

教科書

Lori Howard 著『Read All About It Book2』（OXFORD）

科目名	英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英歴日外考経商現法 A政34年				
担当者名	やじま なおこ 矢島 直子				

講義のねらい

大学中級程度の英文を読めるようにすること。

講義の内容・  
授業スケジュール

英文を読んで、時に文法、構文の説明をしながら、理解できるようにしていきます。練習問題も解きます。進度は学生次第です。

履修上の留意点

毎回どんどん当ててやってもらいますから、必ず予習すること。1回目の授業から出席して下さい。

成績評価の方法

平常点と、前・後期末試験の結果を、総合的に判断して評価します。

教科書

竹下裕子、他、「世界の多様な英語 1」、松柏社、¥1,900、ISBN 4-88198-599-X

外  
国  
語

科目名	英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英歴日外考経商現法 A政34年				
担当者名	そうま よしあき 相馬 美明				

講義のねらい

「英語IIBの授業内容」  
IBの英語を基礎として、様々な英語の運用能力（発話・読解・聴解）を身につける。また、様々な検定試験などにも対応すべく、TOEIC・TOEFLのリスニング・セクションの問題などにも触れ、聴解力を高めていく。

成績評価の方法

出席に関しては、基本的に全出席を期待し、前期・後期に行う試験、および授業で課すレポート、また授業態度などを総合的に評価する。

教科書

開講時に指示する。

科目名	英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	ほんま としかず 本間 俊一				

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を發表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

履修上の留意点

毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。  
パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

Checknote For Business Trends (金星堂) 1,100円  
ISBN4-7647-3717-5

科目名	英語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	てしま けいこ 手島 敬子				

講義のねらい

「英文読解力向上」をテーマに、短時間に効率よく、また適切に英文の内容を読み取る練習を行っていきます。

履修上の留意点

授業は予習を前提に進めていきます。教室以外でも積極的に学習に取り組んで下さい。英和辞典、必ず持参。

成績評価の方法

前期・後期試験、課題、授業への参加度、出席状況などにに基づき総合的に評価します。

教科書

William M. Balsamo 著『New Issues for Global Change and Challenges』金星堂 ¥1500  
ISBN4-7647-3820-1

## 〔ドイツ語〕

科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	もとほし うきよう 本橋 右京				

### 講義のねらい

伝統的な配列にしたがってドイツ語初級文法を学びます。やさしい例文にできるだけ多くあたり、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。

### 講義の内容・授業スケジュール

文法をアルファベット、発音から復習します。ドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに毎時間配布する練習問題で理解を確実なものとしします。

### 履修上の留意点

予習・復習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

### 成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

### 教科書

諏訪田 清 『新訂・ドイツ文法18歩』（同学社）

科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	しまとみえ 志真 斗美恵				

### 講義のねらい

さまざまな理由でもう一度ドイツ語1Aを履修することになった方たちのクラスですが、編入等ではじめてドイツ語に触れる方もおいでです。全員が、気持ちを新たにドイツ語に取り組んでいきましょう。新しい言葉を学び、未知の文化に触れていくことは楽しいことです。無理なく、一步一步進めるよう、やさしいテキストをつかい、ドイツ語の知識を確実なものにしていきます。

### 講義の内容・授業スケジュール

文法の説明だけでなく、CDを使い、聞き取り、書き、話すことを繰り返しておこないます。さらに、授業で習った知識を、その場で確かなものとするため、毎回できるだけ多くの練習問題に取り組んでいきます。

### 履修上の留意点

欠席をするとわからなくなるのは当然ですが、とりわけドイツ語の文法は、積み重ねが大事です。必ず出席してください。

### 成績評価の方法

前期・後期試験および平常点で総合的に評価します。

### 教科書

- 1) 入谷・河野・小林・小松・佐原
- 2) ようこそベルリンへ！ ー独検4級対応ー
- 3) 同学社
- 4) 2500円
- 5) ISBN4-8102-0726-2 C1084

科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	みなみ はるつ 南 はるつ				

講義のねらい 比較的容易な問題を解くことによって初級文法の基礎を身につけます。

講義の内容・授業スケジュール 教科書に沿って前期は発音、冠詞類、動詞の現在人称変化、前置詞について、後期は形容詞、助動詞、複合動詞、過去形・現在完了形、関係代名詞について学習します。

履修上の留意点 出席を重視します。

成績評価の方法 前期試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。

教科書 高橋・城間著『お洒落なドイツ語』（朝日出版社）

参考書等 随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

外国語

科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	いむら ゆきこ 井村 行子				

講義のねらい ドイツ語文法の基礎を復習します。

講義の内容・授業スケジュール 基本的な文法事項を説明しながら、簡単な問題を練習します。

履修上の留意点 何はともあれ出席を心がけてください。

成績評価の方法 前期と後期の学期末に筆記試験を行います。

教科書 諏訪田清『ドイツ語文法18課』（同学社）



科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	杉本 正俊				

講義のねらい

この授業は、学生がドイツ語の知識を全く無い事を前提に、あらゆる観点からドイツ語への入門を行う。ただ文法事項は正しく理解しながら進んで行く。

講義の内容・授業スケジュール

指定する教科書に従って授業を行うが、発音に関しては別にプリントを用意する。

履修上の留意点

なるべく予習不要な、楽しい授業を心掛けるが、必要な課題は必ずしっかりとやってもらう。授業内容は十分に理解することが必要であり、重要な項目は反復して説明し、折にふれて復習する。

成績評価の方法

成績は、期末テストの他に、日常の授業への取り組み方を特に重視する。授業中のまちがった解答は必ずしもマイナスの評価にはならない。自分の考えを発表することが大切である。

教科書

教科書 ステップバイステップ15  
著者：新妻孝一 兼子安弘 渡部敏一  
発行所：東洋出版株式会社 ￥1900

外国語

科目名	ドイツ語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	飯塚 公夫				

講義のねらい

正規の授業と同じで、ドイツ語の基本をやっていきます。発音・文法の理解・内容の読み取りが中心となります。

講義の内容・授業スケジュール

教科書通りに、文法説明・発音練習・練習問題・文章の読解という手順でやっていきます。

履修上の留意点

一年の語学は続き物ですので、途中抜けたときは、その分は自分でやっておいてもらわないと、ついていけなくなると思います。その場合は責任は本人にありますから、心してください。「やる気」もさることながら、「根気」がないと一年持ちませんよ。

成績評価の方法

前期後期各一回の筆記試験と平常点（＝発表点）。

教科書

宇佐美幸彦他著「ドイツめぐり（ユーロ版）」（朝日出版社）2,400円

科目名	ドイツ語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	おかもと とよこ 岡本 時子				

講義のねらい

初歩の簡単なドイツ語を理解したり使ったりする運用能力をつけることが主たる目標だが、併せてドイツ語圏の文化や歴史についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期は現在時制の単文と格を中心に、後期は複合時制や複文まで拡大させて学習する。

履修上の留意点

授業は前回の内容の上に組み立てて行うので、休まず出席すること。

成績評価の方法

期末試験の結果、出席、学習意欲等を総合して評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

必要に応じて授業中に指示する。

その他

火曜5限

科目名	ドイツ語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	すぎもと まさとし 杉本 正俊				

講義のねらい

この授業は、学生にドイツ語の知識が全く無いことを前提に、あらゆる観点から、ドイツ語への入門を行う。

講義の内容・授業スケジュール

指定する教科書に従って授業を進めるが、発音に関しては独自のプリントを用意する。

履修上の留意点

なるべく予習不要な、又楽しい授業を心掛けるが、必要最少限の課題は必ずしっかりとやってもらおう。授業内容は十分に理解することが必要。重要な項目は反復して説明し、折にふれて復習する。

成績評価の方法

成績は、期末テストの他に、日常の授業への取り組み方を特に重視する。授業中のまちがった解答は必ずしもマイナスの評価にならない。自分の考えを発表することが大切である。

教科書

教科書 楽しいドイツ語トレーニング  
著者：太田隆士 明石真和 櫻井千絵  
発行所：三修社 ¥2100

科目名	ドイツ語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	岡本 時子 <small>おかもと ときこ</small>				

講義のねらい

初歩の簡単なドイツ語を理解したり使ったりする運用能力をつけることが主たる目標だが、併せてドイツ語圏の文化や歴史についても学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は現在時制の単文と格を中心に、後期は複合時制や複文まで拡大させて学習する。

履修上の留意点

授業は前回の内容の上に組み立てて行うので、休まず出席すること。

成績評価の方法

期末試験の結果、出席、学習意欲等を総合して評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

必要に応じて授業中に指示する。

その他

土曜3限

外国語

科目名	ドイツ語IIA〔再クラス〕 ドイツ語IIB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	森 公成 <small>もり こうせい</small>				

講義のねらい

ドイツ語IAとIBを基礎とし、それを実践的に発展させる授業です。文法の復習をしながら、総合的なドイツ語能力の向上をめざします。

講義の内容・  
授業スケジュール

一年をかけて下記の教科書を終わらせます。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。

履修上の留意点

授業への積極的な参加を希望します。また、3分の1以上休んだ場合は（遅刻と早退は2回で1回休みとみなします）、原則として定期試験の成績いかんに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。

成績評価の方法

定期試験（年2回）、出席率、夏期休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。

教科書

早川東三、Michael Muenzer 共著 『新・ドレーガー失踪事件』（第三書房）2,100円

科目名	ドイツ語II A〔再クラス〕 ドイツ語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法 A 政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法 A 政34年				
担当者名	もとほし うきょう 本橋 右京				

**講義のねらい** 初級文法の配列に則った読章を読み、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得して行きます。

**講義の内容・授業スケジュール** 初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。基本表現はできるだけ覚えましょう。

**履修上の留意点** テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

**成績評価の方法** 前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

**教科書** 橋本・Neuberger 『楽しく学ぼうドイツとドイツ語』 (三修社)

外国語

科目名	ドイツ語II A〔再クラス〕 ドイツ語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法 A 政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法 A 政34年				
担当者名	みなみ はるつ 南 はるつ				

**講義のねらい** ドイツ語IA及びIBで学んだことを基礎として、難解な文法項目の基礎を身につけます。

**講義の内容・授業スケジュール** 形容詞、関係代名詞、受動態、接続法について教科書に沿って学習していきます。それに関連した比較的容易な問題を解きながら、同時に読解力も身につけましょう。その際必要があれば今まで学習した項目についても復習します。

**履修上の留意点** 出席を重視します。

**成績評価の方法** 前期試験、後期試験、平常点、出席状況を総合して評価します。

**教科書** 南道子他著『ドイツ語の上にも一年』(同学社) 2300円

**参考書等** 随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

## 〔フランス語〕

科目名	フランス語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	前田 祝一 <small>まえだ のりかず</small>				

### 講義のねらい

初めてフランス語を学習するものとして、ABCの基礎から開始します。

### 講義の内容・授業スケジュール

練習問題をくりかえし教室で実践して、その積み重ねで少しずつ理解を深めてもらいます。

### 履修上の留意点

毎週の授業が、その前までの学習成果の上に乗っての新しい項目の勉強ですから、決して欠席しないこと。欠席を重ねると取り残されてしまいますから、ご用心。

### 成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績評価をしますが、出席状況や教室での課題の消化状況にも配慮します。

### 教科書

西南学院大学編 『大学生のフランス語－文法・読本・練習－』（白水社）1,700円

外国語

科目名	フランス語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	芦原 眷 <small>あしはら けん</small>				

### 講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

### 履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

### 成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

### 教科書

中山真彦『ミニ・ボンジュール・パリ』（白水社）

科目名	フランス語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	こだま なりお 小玉 齊夫				

講義のねらい

フランス語の規則を、しっかりと覚えていきます。辞書を活用し、読み方を確実にして、簡単なフランス語文を読み解けるようになることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

一回の授業で、一課を学習する、という速度で、進んでいく予定です。出来れば、各課終了時にまとめとしての小テストを行い、より確実な記憶・学習をめざします。

履修上の留意点

特別な事情がないかぎり、毎回必ず出席すること。再履修になった原因の大半は、なんらかの理由で出席を怠ったからです。知識の確認を、授業のたびごとに、行うこと。執念ぶかく授業についていくこと。

成績評価の方法

上記の小テストの提出状況、その成績、ならびに前期・後期の試験の成績によって、判定します。出席は、するのが当然、というより、学生の「権利」です。

教科書

内藤 著 『新カイエ・ドゥ・フランセ』（駿河台出版社、2200円）ISBN978-4-411-00820-6

参考書等

辞書については初めの授業時に説明します。

外国語

科目名	フランス語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	すがはら たけし 菅原 猛				

講義のねらい

英語以外にも外国語の一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。

講義の内容・授業スケジュール

1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。

履修上の留意点

教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。

成績評価の方法

再履修クラスですから、欠席は許されません。年2回の定期試験の他、授業時間内に行う平常試験の成績を重視します。

教科書

「基礎入門タブロー・グラメール」久富 健著（朝日出版社） ¥2,200  
ISBN4-255-35137-6 C1085

科目名	フランス語IA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	たにかわ かおる 谷川 かおる				

講義のねらい

フランス語の基礎をゆっくりと学び直します。

講義の内容・  
授業スケジュール

文法の基礎を学んだ後に、なるべく数多くの練習問題を行い、基礎力を養います。毎回、小テストを行い、重要な項目を暗記します。

履修上の留意点

出席重視。辞書は毎回持参すること。

成績評価の方法

前期・後期試験、および小テストなど。

教科書

『街かどのフランス語―新訂版』、瀬戸秀一他著（朝日出版社）2100円

参考書等

授業中に紹介する。

その他

全員参加の演習方式ですので、積極的に参加してください。

外国語

科目名	フランス語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	すかや さとる 菅谷 暁				

講義のねらい

初歩のフランス語を、コミュニケーション能力の学習に力点を置いて勉強します。

履修上の留意点

休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験、および小テストによります。

教科書

藤田著『新・彼女は食いしん坊! 1』（朝日出版社）2,625円

科目名	フランス語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	いまざき アン				

講義のねらい

一年時に習得できなかった箇所を確実なものにし、フランス旅行で困らない最低限のコミュニケーション能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

CDの聞き取り、単語調べ、その場での会話練習、練習問題など。

履修上の留意点

2/3の出席は最低条件である。なお教科書も携行せず、漫然と椅子に座って出席点を貰おうなどと考えるのは言語道断である。予習し、積極的に授業に参加し、課題の提出をもって初めて出席と見なす。就職活動・疾病などでやむを得ず欠席する場合は、出席に相当する課題を出す。

成績評価の方法

2/3以上の出席（25%）＋夏休みの課題『ふらんす夏休み学習号』（白水社）の実力テスト（25%）＋前・後期定期試験（50%）

教科書

内村瑠美子著『フランス語でサバイバル！』（白水社）2,000円

参考書等

仏和辞典、『ふらんす夏休み学習号』（白水社）（7月中に大学内紀伊國屋書店で購入）  
清岡智比古著『フラ語入門、わかりやすさにもホドがある』（白水社）1,500円

外国語

科目名	フランス語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	いとう なお				

講義のねらい

フランス語の基礎を学習し、実用に適した知識を身につけます。

講義の内容・授業スケジュール

必要な文法事項を解説しながら、日常会話と練習問題によってフランス語表現の習得と定着を図ります。音としてのフランス語に馴染んでもらうため、発音には力を注ぎます。また簡単な文章の読解にも取り組みます。テキストの文化・社会紹介欄をもとにフランスがどのような国かについての知識も得られるようにしましょう。

履修上の留意点

積極的に授業に参加し、ためらわずに発話練習、練習問題に取り組むことが必須です。必ず初回から出席し、毎回与えられる課題をしてから授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

平常点、小テスト、前・後期試験によって判定します。

教科書

フランソワ・ルーセル、丸川 誠司 『トーム・アン』（第三書房）本体2,000円



科目名	フランス語ⅡB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	谷川 <small>たにかわ</small> かのる				

講義のねらい

フランス語の基礎をゆっくり勉強しなおします。フランス語とフランス文化に親しみつつ、フランス語会話を習得します。

講義の内容・授業スケジュール

毎週、重要な基本文法の解説の後、それがきちんと活用できるよう練習問題や暗唱に取り組んでもらいます。

履修上の留意点

出席重視。辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法

前期・後期の試験に、毎週行う小テストの点を加味し、総合的に評価します。

教科書

『フランス語でサバイバル』（白水社）2,000円

外国語

科目名	フランス語ⅡA〔再クラス〕 フランス語ⅡB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	畑中 <small>はたなか</small> ちあき				

講義のねらい

易しいフランス語で書かれた笑い話を読みながら、読解力を伸ばしていく。日本語に訳すことよりも、内容を素早く的確に把握する読み方ができるようになることを目指す。また、読解と連動させて、語彙・文法・コミュニケーションなどの力も総合的に伸ばしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

初回の講義の際に年間スケジュールを配布します。

履修上の留意点

毎回、辞書を持参してください。

成績評価の方法

前期末試験30%、学年末試験30%、平常点（宿題など）20%、夏期休暇の課題10%、出席10%

教科書

リリアンヌ・ラタンジオ、村松定史著  
『続・小さなコントー読解からコミュニケーションへ（CD付）』  
駿河台出版社 2004年 2500円

科目名	フランス語II A〔再クラス〕 フランス語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法 A 政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法 A 政34年				
担当者名	ぬまくら ひろこ 沼倉 広子				

講義のねらい 初級文法の基本項目を復習しながら読む、書く、力をつける。

講義の内容・授業スケジュール 日常会話文、インタビュー、アンケート、メール文、時事文など変化に富んだ文体に触れつつ、フランスの日常生活に対する興味を深める。

履修上の留意点 出席はとらないが、毎回練習問題を提出させるので休まないことが肝要。

成績評価の方法 前後期とも試験を行うが、平常点を大いに重視する。

教科書 パシヨネマン2 阿南婦美代 セシル・モラン著 第三書房  
2400円 ISBN978-4-8086-2185-8 C1085

外国語

科目名	フランス語II A〔再クラス〕 フランス語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法 A 政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法 A 政34年				
担当者名	まえだ のりかず 前田 祝一				

講義のねらい 中級フランス語ですが、初級の後半部分を重点的に復習しつつ、平易な物語を少しずつ読み進めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール 学生の側が主体的に授業参加できるように、工夫しましょう。

履修上の留意点 フランス語IA・IBの単位未修者は自分で参考書などを求めて、勉強するよう努めて下さい。

成績評価の方法 成績は基本的には、前・後期のペーパー・テストで評価しますが、出席状況や課題にも配慮します。

教科書 数江編『合本・愉快的コント』（第三書房）2,000円

## 〔中国語〕

科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕・中国語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	児島 弘一郎 <small>こじま こういちろう</small>				

### 講義のねらい

外国語としての中国語の基礎を習得し、異文化を深く理解するための土台作りをします。「読む、書く、話す、聴く」の4つの能力に関する基礎的な訓練を行ないますが、特に発音・ピンイン・簡体字の習得については、徹底的に指導します。

### 講義の内容・授業スケジュール

開講後しばらくは、中国語の発音体系を集中的に学習します。その後、基本構文や基礎的な単語の習得を図りますが、年間を通じて、正しい発音を身につけることが最も重要な課題となります。

### 履修上の留意点

毎回の授業が貴重な訓練の場ですから、積極的に参加して下さい。有効な自宅学習の方法も指導しますので、十分に復習を行ない、今年こそ単位を取得しましょう。

### 成績評価の方法

前期・後期の試験、数回実施する小テスト、出席状況によって、総合的に評価します。

### 教科書

加藤阿幸ほか『総合現代中国語一会話と閲読一』（中国詩文研究会発行、東方書店出版、1800円、CD付）。

### その他

新たな気持ちで取り組めるよう、こちらもいろいろ工夫します。一緒に楽しんで勉強しましょう。  
月曜5限

## 外国語

科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕・中国語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	本間 由香利 <small>ほんま ゆかり</small>				

### 講義のねらい

中国語に興味と関心を持ってもらうこと。

### 講義の内容・授業スケジュール

この授業では先に進むのではなく、確実に発音ができること、語順を理解し定着させることを目的とします。

### 履修上の留意点

必ず出席して声を出して発音練習すること。

### 成績評価の方法

出席を重視し、平常点（授業態度）、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。

### 教科書

方如偉・王智新・鏡屋一『《新版》中国語10課』（白水社）2,100円

### 参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕・中国語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	あまの せつ 天野 節				

講義のねらい 発音、基礎的な文法、構文を修得し、簡単な会話練習をし、中国語の基本を身につけること。

履修上の留意点 遅刻、早退、欠席をせず、予習、復習をすること。

成績評価の方法 出席点（30％）＋課題の提出あるいは小テスト（10％）＋前後期計2回の期末テストの平均点（60％）。

教科書 荒川清秀著『[改訂版] 簡明中文システム15』（同学社2200円税別）

参考書等 授業の中で提示する。

科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕・中国語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	こじま こういちろう 児島 弘一郎				

講義のねらい 外国語としての中国語の基礎を習得し、異文化を深く理解するための土台作りをします。「読む、書く、話す、聴く」の4つの能力に関する基礎的な訓練を行ないますが、特に発音・ピンイン・簡体字の習得については、徹底的に指導します。

講義の内容・授業スケジュール 開講後しばらくは、中国語の発音体系を集中的に学習します。その後、基本構文や基礎的な単語の習得を図りますが、年間を通じて、正しい発音を身につけることが最も重要な課題となります。

履修上の留意点 毎回の授業が貴重な訓練の場ですから、積極的に参加して下さい。有効な自宅学習の方法も指導しますので、十分に復習を行ない、今年こそ単位を取得しましょう。

成績評価の方法 前期・後期の試験、数回実施する小テスト、出席状況によって、総合的に評価します。

教科書 夏宇継『大学生の中国語―基礎からステップアップ―』（金星堂、2200円、CD付）。

その他 新たな気持ちで取り組めるよう、こちらもいろいろ工夫します。一緒に楽しんで勉強しましょう。  
金曜1限

科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕・中国語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	張 渭涛 <small>ちやう いとう</small>				

講義のねらい

中国語の基礎になる発音、語彙、基本文型、基本文法をしっかり身につける。中国語の表音記号であるピンインを全て声に出して読めるようになることが第一目標。中国語の独特の魅力を体感して、だんだん「漢語」の語感を養っていきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

まずは、中国式ローマ字表記ピンインを正確に読み、書けるようにする。その後は、日本人学生が中国における留学生生活を舞台とする食堂、郵便局、試験などの場面で交わされる典型的な会話文を学びながら、体系的に初級中国語文法を無理なく理解していく。

履修上の留意点

元気よく、積極的に授業に参加すること。今年は絶対単位を取る気で、中国語と中国の世界に関する知識欲を再発見して欲しい。

成績評価の方法

出席率、小テスト、授業時の意欲、期末テストの結果から総合的に評価します。出席は最重視。週に90分間の授業を最後までずっと頑張っ続けていけば、必ずためになる。

教科書

相原茂・李貞愛『北京コレクション入門篇』（朝日出版社）2,625円

参考書等

推奨辞書は開講時に説明する。

その他

ピンインから始めて、積極的に会話の機会を作り、CDをBGMとして聞き、話すようにしましょう。

科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕・中国語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	弘兼 加奈子 <small>ひろかね かなこ</small>				

講義の内容・  
授業スケジュール

当初は、発音や基本的な文法の内容の確認を行う。テキストは会話を中心とした本文、文法、練習問題から成っており、バランスの取れた学力向上を目指す。

成績評価の方法

年数回の試験と教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

南雲智・趙暉『始めよう！中国語』（白水社）2,100円

科目名	中国語I A〔再クラス〕・中国語I B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	蘭 明				

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は最初の一月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語1』（朝日出版社）2,835円

科目名	中国語II A〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年				
担当者名	梅田 雅子				

講義のねらい

物語の講読を通して、一年次の学習を基礎に、語彙・基礎文法・読解力の向上を図る。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1：本文の発音と、意味の確認。
  - 2：本文中の文法項目の確認。
  - 3：練習問題の答え合わせ。
- ★文法項目は本文にあわせて、適時復習する。

履修上の留意点

3/4以上の出席が必要。予習復習必須。辞書持参。特に、その場で辞書を引かせるので、辞書は必ず持ってくること。

成績評価の方法

平常点（出席・授業態度・小テスト）40%、前期試験：30%、後期試験：30%

教科書

八木章好編著『漢語趣話一文法中心の中級読本』（白帝社）1,890円  
ISBN4-89174-411-1

参考書等

中日辞典を教室に持ってくること。電子辞書でも可。出版社は問わないが、日本の漢字音から引ける索引がついている辞書が望ましい。

科目名	中国語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年				
担当者名	いわさき ひろし 岩崎 皇				

講義のねらい

中国語の文章を読むことを通して、文法知識の確認と会話等にも使える語彙量を増やすことが目標です。テキストは中国を紹介するエッセイです。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業はテキストに沿って進めますが、訳すだけでは、中国語そのものを覚えることがなかなかできません。書くこと、聞くこと、音読することで練習していきます。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、部活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得ができなくなります。

成績評価の方法

4分の3以上の出席を前提とした上で、試験の成績により評価します。試験は前期2回、後期2回行う予定です。

教科書

張継濱、小川文昭『中国ってどんな国?』（白水社）2,100円

科目名	中国語IIA〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年				
担当者名	おおくほ あきお 大久保 明男				

講義のねらい

中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

基本的に教科書に沿って授業を進める。折に触れて中国の社会や文化に関することを紹介したり、ビデオを見たりする予定。

履修上の留意点

積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。

成績評価の方法

出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。

教科書

尹景春・竹島毅『中国語さらなる一歩』（白水社）

科目名	中国語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	李 <sup>り</sup> 雲 <sup>うん</sup>				

講義のねらい	基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。
履修上の留意点	平常の練習が大切なので必ず出席すること。
成績評価の方法	筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。
教科書	関中研「中国語@キャンパス」(会話編) 朝日出版社 2,300円
その他	内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。 水曜4限

外国語

科目名	中国語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	李 <sup>り</sup> 雲 <sup>うん</sup>				

講義のねらい	基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。
履修上の留意点	平常の練習が大切なので必ず出席すること。
成績評価の方法	筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。
教科書	関中研「中国語@キャンパス」(会話編) 朝日出版社 2,300円
その他	内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。 水曜5限



科目名	中国語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国歴日外考経商現法 A 政34年				
担当者名	蘭 <sup>らん</sup> 明 <sup>めい</sup>				

講義のねらい

基礎文型を復習し、日常生活でよく使う表現を習得する。

講義の内容・  
授業スケジュール

発音の練習・基礎文法の確認・会話文の暗誦という三つの内容を中心に進めていく。

履修上の留意点

授業時には大きな声で読むこと。欠席しないこと。

成績評価の方法

出席を重視する。宿題など提出物も評価に加味する。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語 2』（朝日出版社）2,835円

## 〔スペイン語〕

科目名	スペイン語IA〔再クラス〕・スペイン語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功				

### 講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

### 講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説を演習をベースに、教科書の会話文に応じて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

### 履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、かならず予習をして授業に臨むよう心がけてください。授業には辞書を必ず持参すること。

### 成績評価の方法

平常授業中に適宜行う小テスト、前期・後期末テストの得点、および出席状況、受講の積極性を勘案して総合的に評価します。

### 教科書

土井裕文他著『スペイン料理はいかが？』同学社

### 参考書等

推奨辞書宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）  
参考書 大岩功著『やさしいスペイン文法』（三修社）  
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名	スペイン語IA〔再クラス〕・スペイン語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	さいとう あけみ 齋藤 明美				

### 講義のねらい

初級文法の復習を通し、スペイン語やスペイン語圏に関する生活・文化などに対する関心を育てる。スペイン語を使って簡単なコミュニケーションを取れることを目的とします。

### 講義の内容・授業スケジュール

直接法現在などの初歩文法を復習しながら、日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学びます。一人でスペイン語圏を旅行できるスペイン語運用能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し文化に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテンポップスや話題の映画なども紹介していきます。

### 履修上の留意点

遅刻・早退をせず自ら興味をもって学習に打ち込む姿勢がスペイン語習得の鍵です。

### 成績評価の方法

毎回の授業参加や演習課題・小テストそして各期末の達成度チェックによります。

### 教科書

未定

科目名	スペイン語IA〔再クラス〕・スペイン語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	かめやま こういち 亀山 晃一				

#### 講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

#### 履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

#### 成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

#### 教科書

開講時、指示します。

### 外国語

科目名	スペイン語IA〔再クラス〕・スペイン語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
担当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功				

#### 講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

#### 講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説を演習をベースに、教科書の会話文に応じて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

#### 履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、かならず予習をして授業に臨むよう心がけてください。授業には辞書を必ず持参すること。

#### 成績評価の方法

平常授業中に適宜行う小テスト、前期・後期末テストの得点、および出席状況、受講の積極性を勘案して総合的に評価します。

#### 教科書

大岩功著『やさしいスペイン語文法』（三修社）  
長文読解用の教材については、適宜プリントを用意する。

#### 参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）

科目名	スペイン語ⅠA〔再クラス〕・スペイン語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	おきの めぐみ 荻野 恵				

講義のねらい

スペイン語文法の基礎を固めると同時に、イベリア半島の文化に関する平易な文章を通じて講読力を培う。

成績評価の方法

成績は出席、課題、年2回のテストを総合して評価する。

教科書

荻野・浜岡『イベリア文化への誘い』（大学書林）

科目名	スペイン語ⅠA〔再クラス〕・スペイン語ⅠB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	さとう まりの 佐藤 麻里乃				

成績評価の方法

試験は行わず、毎回の授業内で行う課題により評価する（このため出席は必須である）。

教科書

宮本博司『簡単なスペイン語18課』大学書林

参考書等

西和辞典（出版社は不問）

科目名	スペイン語ⅡA〔再クラス〕 スペイン語ⅡB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	さいとう あけみ 齋藤 明美				

講義のねらい

基礎文法の復習を通し、スペイン語やスペイン語圏に関する生活・文化などに対する関心を育てる。スペイン語を使って簡単なコミュニケーションを取れることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

直接法現在形、過去形や命令形など基礎文法を復習しながら、日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学びます。一人でスペイン語圏を旅行できるスペイン語運用能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し文化に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテンポップスや話題の映画なども紹介していきます。

履修上の留意点

遅刻・早退をせず自ら興味をもって学習に打ち込む姿勢がスペイン語習得の鍵です。

成績評価の方法

毎回の授業参加や演習課題・小テストそして各期末の達成度チェックによります。

教科書

未定

科目名	スペイン語II A〔再クラス〕 スペイン語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法 A 政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法 A 政34年				
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功				

#### 講義のねらい

スペイン語Iで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

#### 講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Iで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

#### 履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。授業には必ず辞書を持参すること。

#### 成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、適宜行う小テストの得点、および授業に臨む姿勢などを勘案して総合的に評価します。

#### 教科書

中川清、児玉悦子著『皆のスペイン語』（弘学社）  
その他、必要なプリント教材を適宜用意します。

#### 参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）  
参考書 大岩功著『やさしいスペイン語文法』（三修社）  
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名	スペイン語II A〔再クラス〕 スペイン語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法 A 政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法 A 政34年				
担当者名	かめやま こういち 亀山 晃一				

#### 講義のねらい

基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当たって困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより習得した知識を定着させる。

#### 履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

#### 成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

#### 教科書

開講時、指示します。

## 〔ロシア語〕

科目名	ロシア語IA〔再クラス〕・ロシア語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	すぎやま ひでこ ひろた ひでやす 杉山 秀子・廣田 英靖				

### 講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

### 講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

### 成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

### 教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

### 参考書等

『露和辞典』

科目名	ロシア語IA〔再クラス〕・ロシア語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	さの あさこ 佐野 朝子				

### 講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

### 履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

### 成績評価の方法

平常点を重視します。

### 教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	ロシア語IA〔再クラス〕・ロシア語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	木村 英明 <small>きむら ひであき</small>				

- 講義のねらい** 発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。
- 履修上の留意点** 予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。
- 成績評価の方法** 平常点を重視します。
- 教科書** 絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	ロシア語IA〔再クラス〕・ロシア語IB〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	全学科（フレB除く）234年				
担当者名	安徳 ニーナ <small>あんたく</small>				

- 講義のねらい** 基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。
- 講義の内容・授業スケジュール** 教科書に基づいて講義を進める。
- 履修上の留意点** 要点の復習は必ずしてほしい。
- 成績評価の方法** 講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。
- 教科書** 桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）
- 参考書等** 必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	ロシア語II A〔再クラス〕 ロシア語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	クロチコフ, Y.				

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。  
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。  
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

その他

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	ロシア語II A〔再クラス〕 ロシア語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法A政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法A政34年				
担当者名	<small>おとすか ふみかず</small> 大須賀 史和				

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。  
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。  
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

その他

ビデオ、オーディオ等を使用します。



科目名	ロシア語II A〔再クラス〕 ロシア語II B〔再クラス〕	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考経商現法 A 政営A34年 禅仏国歴日外考経商現法 A 政34年				
担当者名	安徳 <sup>あんどく</sup> ニーナ				

講義のねらい	一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	教科書に基づいて講義を進める。
履修上の留意点	要点の復習は必ずしてほしい。
成績評価の方法	講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。
教科書	桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）
参考書等	必要に応じてその都度資料を配布する。

## 4. 保 健 体 育 科 目



## 保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

## 「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

		1時限 (歴史)		2時限 (国文・社会)		3時限 (英米文・地理)		
月曜日	※鈴木	室内球技		※江口	テニス		※高橋	空手道
	高橋	空手道		竹田	体操・トランポリン		佐藤	卓球
	舘岡	ゴルフ		光永	トレーニング		舘岡	ゴルフ
	光永	トレーニング		内山	ソフトボール		光永	トレーニング
	竹田	体操・トランポリン		舘岡	ゴルフ		内山	ジョギング
	佐藤	ジョギング		佐藤	卓球		江口	テニス
	下谷内	卓球		高橋	空手道		鈴木	室内球技
	内山	ソフトボール		下谷内	室内球技		下谷内	ソフトボール
	末次	ダブルダッチ		末次	キックボクササイズ		末次	簡化太極拳

※は、科目の主担当者

保健体育

## 「生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ」開講種目一覧

(於：本校体育館)

		月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
1時限											
2時限	渡辺	前期・基礎	大	前期・応用	田中	前期・基礎	村松	前期・応用	牧野	前期・応用	
		室内球技		ミニサッカー		フットサル		卓球		バスケットボール	
	後期・基礎	石	後期・応用	中	後期・基礎	松	後期・応用	野	後期・応用		
	室内球技		ミニサッカー		フットサル		卓球		バスケットボール		
3時限	渡辺	前期・応用	大	前期・基礎	田中	前期・基礎	鈴木	前期・基礎	牧野	前期・基礎	
		室内球技		簡化太極拳		フットサル		卓球		バスケットボール	
	後期・応用	石	後期・基礎	中	後期・基礎	木	後期・基礎	野	後期・基礎		
	室内球技		簡化太極拳		フットサル		卓球		バスケットボール		
4時限	大石	前期・応用					鈴木	前期・応用			
		簡化太極拳						バドミントン			
		後期・応用						バドミントン			
		簡化太極拳						バドミントン			

## 4. 保健体育科目

科目名	曜日・時間	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
健康・スポーツ実習 (室内球技)	月1	日1必 外1必 考1必 心1必	通年	2	鈴木 淳平	407
健康・スポーツ実習 (空手道)	月1	日1必 外1必 考1必 心1必	通年	2	高橋 俊介	407
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	月1	日1必 外1必 考1必 心1必	通年	2	佐藤 政之	408
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	月1	日1必 外1必 考1必 心1必	通年	2	光永 吉輝	409
健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)	月1	日1必 外1必 考1必 心1必	通年	2	竹田 幸夫	410
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	月1	日1必 外1必 考1必 心1必	通年	2	館岡 儀秋	411
健康・スポーツ実習 (卓球)	月1	日1必 外1必 考1必 心1必	通年	2	下谷内 勝利	412
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	月1	日1必 外1必 考1必 心1必	通年	2	内山 雅博	413
健康・スポーツ実習 (ダブルタッチ)	月1	日1必 外1必 考1必 心1必	通年	2	末次 美樹	414
健康・スポーツ実習 (テニス)	月2	国1必 社1必 福1必	通年	2	江口 淳一	415
健康・スポーツ実習 (室内球技)	月2	国1必 社1必 福1必	通年	2	下谷内 勝利	416

健康・スポーツ実習 (卓球)	月2	国1必 社1必 福1必	通年	2	佐藤 政之	416
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	月2	国1必 社1必 福1必	通年	2	光永 吉輝	417
健康・スポーツ実習 (空手道)	月2	国1必 社1必 福1必	通年	2	高橋 俊介	418
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	月2	国1必 社1必 福1必	通年	2	舘岡 儀秋	419
健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)	月2	国1必 社1必 福1必	通年	2	竹田 幸夫	420
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	月2	国1必 社1必 福1必	通年	2	内山 雅博	421
健康・スポーツ実習 (キックボクササイズ)	月2	国1必 社1必 福1必	通年	2	末次 美樹	422
健康・スポーツ実習 (空手道)	月3	英1必 地文1必 環境1必	通年	2	高橋 俊介	423
健康・スポーツ実習 (室内球技)	月3	英1必 地文1必 環境1必	通年	2	鈴木 淳平	423
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	月3	英1必 地文1必 環境1必	通年	2	光永 吉輝	424
健康・スポーツ実習 (卓球)	月3	英1必 地文1必 環境1必	通年	2	佐藤 政之	425
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	月3	英1必 地文1必 環境1必	通年	2	舘岡 儀秋	426
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	月3	英1必 地文1必 環境1必	通年	2	下谷内 勝利	427
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	月3	英1必 地文1必 環境1必	通年	2	内山 雅博	428
健康・スポーツ実習 (テニス)	月3	英1必 地文1必 環境1必	通年	2	江口 淳一	429

健康・スポーツ実習 (簡化太極拳)	月3	英1必 地文1必 環境1必	通年	2	末次 美樹	430
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営A放GM234年	通年	2	三幣 晴三	431
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営A放GM234年	通年	2	三幣 晴三	431
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営A放GM234年	通年	2	三幣 晴三	431
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	火3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営A放GM234年	通年	2	田中 佳孝	432
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	水4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営A放GM234年	通年	2	田中 佳孝	432
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(トレーニング)	特4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営A放GM234年	集中授業	2	秋田 浩一	433
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(太極拳)	特4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営A放GM234年	集中授業	2	大石 武士	434
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(卓球)	特4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営A放GM234年	集中授業	2	村松 誠	435
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	特4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営A放GM234年	集中授業	2	山口 良博	436
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(卓球)	特4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営A放GM234年	集中授業	2	鈴木 淳平	437
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(ソフトボール)	特4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営A放GM234年	集中授業	2	高橋 俊介	438
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(トレーニング&太極拳)	特4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営A放GM234年	集中授業	2	光永 吉輝	439
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	特4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心営A放GM234年	集中授業	2	村松 誠	440
生涯スポーツ実習I (前期・基礎)(室内球技)	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	渡辺 一郎	441
生涯スポーツ実習II (前期・基礎)(室内球技)	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	渡辺 一郎	441
生涯スポーツ実習III (前期・基礎)(室内球技)	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	渡辺 一郎	441
生涯スポーツ実習IV (前期・基礎)(室内球技)	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	渡辺 一郎	441
生涯スポーツ実習I (後期・基礎)(室内球技)	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	渡辺 一郎	441
生涯スポーツ実習II (後期・基礎)(室内球技)	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	渡辺 一郎	441
生涯スポーツ実習III (後期・基礎)(室内球技)	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	渡辺 一郎	441
生涯スポーツ実習IV (後期・基礎)(室内球技)	月2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	渡辺 一郎	441
生涯スポーツ実習I (前期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	渡辺 一郎	442



生涯スポーツ実習II (前期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	渡辺 一郎	442
生涯スポーツ実習III (前期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	渡辺 一郎	442
生涯スポーツ実習IV (前期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	渡辺 一郎	442
生涯スポーツ実習I (後期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	渡辺 一郎	442
生涯スポーツ実習II (後期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	渡辺 一郎	442
生涯スポーツ実習III (後期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	渡辺 一郎	442
生涯スポーツ実習IV (後期・応用)(室内球技)	月3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	渡辺 一郎	442
生涯スポーツ実習I (前期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	大石 武士	443
生涯スポーツ実習II (前期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	大石 武士	443
生涯スポーツ実習III (前期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	大石 武士	443
生涯スポーツ実習IV (前期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	大石 武士	443
生涯スポーツ実習I (後期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	大石 武士	443
生涯スポーツ実習II (後期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	大石 武士	443
生涯スポーツ実習III (後期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	大石 武士	443
生涯スポーツ実習IV (後期・応用)(簡化太極拳)	月4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	大石 武士	443
生涯スポーツ実習I (前期・応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	大石 武士	444
生涯スポーツ実習II (前期・応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	大石 武士	444
生涯スポーツ実習III (前期・応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	大石 武士	444
生涯スポーツ実習IV (前期・応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	大石 武士	444
生涯スポーツ実習I (後期・応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	大石 武士	444
生涯スポーツ実習II (後期・応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	大石 武士	444
生涯スポーツ実習III (後期・応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	大石 武士	444
生涯スポーツ実習IV (後期・応用)(ミニサッカー)	火2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	大石 武士	444



生涯スポーツ実習Ⅳ (後期・基礎)(フットサル)	水 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	田中 佳孝	447
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・応用)(卓球)	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	村松 誠	448
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)(卓球)	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	村松 誠	448
生涯スポーツ実習Ⅲ (前期・応用)(卓球)	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	村松 誠	448
生涯スポーツ実習Ⅳ (前期・応用)(卓球)	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	村松 誠	448
生涯スポーツ実習Ⅰ (後期・応用)(卓球)	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	村松 誠	448
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・応用)(卓球)	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	村松 誠	448
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)(卓球)	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	村松 誠	448
生涯スポーツ実習Ⅳ (後期・応用)(卓球)	木 2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	村松 誠	448
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・基礎)(卓球)	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	鈴木 淳平	449
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)(卓球)	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	鈴木 淳平	449
生涯スポーツ実習Ⅲ (前期・基礎)(卓球)	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	鈴木 淳平	449
生涯スポーツ実習Ⅳ (前期・基礎)(卓球)	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	鈴木 淳平	449
生涯スポーツ実習Ⅰ (後期・基礎)(卓球)	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	鈴木 淳平	449
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・基礎)(卓球)	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	鈴木 淳平	449
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)(卓球)	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	鈴木 淳平	449
生涯スポーツ実習Ⅳ (後期・基礎)(卓球)	木 3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	鈴木 淳平	449
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・応用)(バドミントン)	木 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	鈴木 淳平	450
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)(バドミントン)	木 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	鈴木 淳平	450
生涯スポーツ実習Ⅲ (前期・応用)(バドミントン)	木 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	鈴木 淳平	450
生涯スポーツ実習Ⅳ (前期・応用)(バドミントン)	木 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	鈴木 淳平	450
生涯スポーツ実習Ⅰ (後期・応用)(バドミントン)	木 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	鈴木 淳平	450
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・応用)(バドミントン)	木 4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	鈴木 淳平	450

生涯スポーツ実習III (後期・応用)(バドミントン)	木4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	鈴木 淳平	450
生涯スポーツ実習IV (後期・応用)(バドミントン)	木4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	鈴木 淳平	450
生涯スポーツ実習I (前期・応用)(バスケットボール)	金2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	牧野 茂	451
生涯スポーツ実習II (前期・応用)(バスケットボール)	金2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	牧野 茂	451
生涯スポーツ実習III (前期・応用)(バスケットボール)	金2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	牧野 茂	451
生涯スポーツ実習IV (前期・応用)(バスケットボール)	金2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	牧野 茂	451
生涯スポーツ実習I (後期・応用)(バスケットボール)	金2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	牧野 茂	451
生涯スポーツ実習II (後期・応用)(バスケットボール)	金2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	牧野 茂	451
生涯スポーツ実習III (後期・応用)(バスケットボール)	金2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	牧野 茂	451
生涯スポーツ実習IV (後期・応用)(バスケットボール)	金2	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	牧野 茂	451
生涯スポーツ実習I (前期・基礎)(バスケットボール)	金3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	牧野 茂	452
生涯スポーツ実習II (前期・基礎)(バスケットボール)	金3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	牧野 茂	452
生涯スポーツ実習III (前期・基礎)(バスケットボール)	金3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	牧野 茂	452
生涯スポーツ実習IV (前期・基礎)(バスケットボール)	金3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	牧野 茂	452
生涯スポーツ実習I (後期・基礎)(バスケットボール)	金3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A1選	半期	1	牧野 茂	452
生涯スポーツ実習II (後期・基礎)(バスケットボール)	金3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A2選	半期	1	牧野 茂	452
生涯スポーツ実習III (後期・基礎)(バスケットボール)	金3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A3選	半期	1	牧野 茂	452
生涯スポーツ実習IV (後期・基礎)(バスケットボール)	金3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A4選	半期	1	牧野 茂	452
生涯スポーツ演習I (シーズン基礎)(ゴルフ)	特3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	シーズン	2	佐藤 政之 他	453
生涯スポーツ演習I (シーズン応用)(ゴルフ)	特3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	シーズン	2	佐藤 政之 他	453
生涯スポーツ演習II (シーズン基礎)(スキー・スノーボード)	特3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	シーズン	2	山口 良博 他	455
生涯スポーツ演習II (シーズン応用)(スキー・スノーボード)	特3	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	シーズン	2	山口 良博 他	455
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎)(テニス)	特4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	集中授業	1	江口 淳一	456

生涯スポーツ実習 (集中前期・応用)(テニス)	特4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	集中授業	1	江口 淳一	456
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎)(ゴルフ)	特4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	集中授業	1	三幣 晴三	457
生涯スポーツ実習 (集中後期・応用)(ゴルフ)	特4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	集中授業	1	三幣 晴三	457
健康・スポーツ論 1	月4	国日外考福心1選	半期	2	竹田 幸夫	458
健康・スポーツ論 1	月1	英地文環境社1選	半期	2	江口 淳一	459
健康・スポーツ論 2	火4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	半期	2	大石 武士	460
健康・スポーツ論 2	水4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	半期	2	三幣 晴三	461
健康・スポーツ論 2	木4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	半期	2	村松 誠	462
健康・スポーツ論 2	金4	禅仏国英地文環境歴日外考社 福心経商現法A政営A選	半期	2	牧野 茂	463

科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）	開講	通年	単位	2
配当	日1必 外1必 考1必 心1必				
担当者名	すずき じゆんぺい 鈴木 淳平				

#### 講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボールといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。  
1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

#### 履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

#### 成績評価の方法

出席を重視し、準備や片付けなども含めた授業参加への積極性や活動意欲等を評価する。

科目名	健康・スポーツ実習（空手道）	開講	通年	単位	2
配当	日1必 外1必 考1必 心1必				
担当者名	たかはし しゆんすけ 高橋 俊介				

#### 講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内蔵諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してから猿臂打
- 7時限目：総合的に反復して練習
- 8時限目：総合的に反復して練習
- 9時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11時限目：総合的に反復して練習
- 12時限目：総合的に反復して練習
- 13時限目：総合的に反復して練習
- 14時限目：総合的に反復して練習
- 15時限目：実技試験

#### 履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手着を着用する。

#### 成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

#### その他

雨天時は走のための補強トレーニング

科目名	健康・スポーツ実習（ジョギング）	開講	通年	単位	2
配当	日1必 外1必 考1必 心1必				
担当者名	佐藤 政之 <small>さとう まさゆき</small>				

#### 講義のねらい

健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約25年位になる比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目的とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング（速歩）によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60分程度のジョギングを実施することとする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：心拍数測定・諸注意・体重測定
- 2 時限目：エクササイズ・ウォーキング（速歩）
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：〃
- 5 時限目：ジョギング（時間走、距離走、初歩のインターバルランニング）
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目：12分間走
- 9 時限目：ジョギング（前半より幾分高度な時間走、距離走、初歩のインターバルランニング、野外走、クロスカントリー）
- 10時限目：〃
- 11時限目：〃
- 12時限目：〃
- 13時限目：〃
- 14時限目：20分間走
- 15時限目：まとめ

#### 履修上の留意点

事前にメディカルチェック（心電図、負荷心電図、その他）を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。（食事をとること、睡眠時間の充分なこと）ジョギングによって相当量の発汗を伴うため着替えの用意が必要である。

#### 成績評価の方法

平常点など

#### そ の 他

雨天時は走のための補強トレーニング

科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）	開講	通年	単位	2
担当	日1必 外1必 考1必 心1必				
担当者名	みづなが よしてる 光永 吉輝				

### 講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行わないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

### 講義の内容・授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムIIという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1 時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2 時限目：カイザーカムII最大筋力測定
- 3 時限目：＃
- 4 時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5 時限目：トレーニング
- 6 時限目：トレーニング
- 7 時限目：トレーニング
- 8 時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 9 時限目：トレーニング
- 10 時限目：トレーニング
- 11 時限目：トレーニング
- 12 時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 13 時限目：トレーニング
- 14 時限目：トレーニング
- 15 時限目：体力測定、まとめ

### 履修上の留意点

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

### 成績評価の方法

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

### その他

ストレッチ体操の各種、器具のいないトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。



科目名	健康・スポーツ実習（体操・トランポリン）	開講	通年	単位	2
配当	日1必 外1必 考1必 心1必				
担当者名	たけだ ゆきお 竹田 幸夫				

#### 講義のねらい

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。健康体操については、体のバランスをチェックし矯正するための体操とマッサージ法を紹介する。器械運動では、マットや鉄棒、さらにトランポリンという種目を中心にして、初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に技を修得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）まで発展させる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2時限目：健康体操とストレッチ体操
- 3時限目：〃
- 4時限目：マッサージ法
- 5時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 6時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 7時限目：ストレッチ体操・男子：あん馬／女子：平均台
- 8時限目：ストレッチ体操・男子：つり輪／女子：トランポリン
- 9時限目：ストレッチ体操・男子：トランポリン／女子：鉄棒
- 10時限目：ストレッチ体操・男子：平行棒／女子：トランポリン
- 11時限目：ストレッチ体操・男女とも鉄棒
- 12時限目：発展技の練習
- 13時限目：自主練習
- 14時限目：自主練習
- 15時限目：まとめと評価

#### 履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階アリーナの体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、授業時間内の指示を守ることを。

#### 成績評価の方法

健康体操および器械運動ともに、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、男女それぞれに課題の達成度によって評価していく。易しい技から難しい技まで約40～50の課題を設定してあるので、受講生はそこから自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

#### そ の 他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

科目名	健康・スポーツ実習（ゴルフ）	開講	通年	単位	2
配当	日1必 外1必 考1必 心1必				
担当者名	たておか よしあき 館岡 儀秋				

#### 講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5時限目：打撃練習（5アイアン）
- 6時限目：打撃練習（5アイアン）
- 7時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15時限目：実技テスト

#### 履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

#### 成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

#### そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科目名	健康・スポーツ実習（卓球）	開講	通年	単位	2
配当	日1必 外1必 考1必 心1必				
担当者名	しもやち かつとし 下谷内 勝利				

#### 講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11 時限目：ダブルスゲーム
- 12 時限目：ダブルスゲーム
- 13 時限目：ダブルスゲーム
- 14 時限目：スキルテスト
- 15 時限目：まとめ

#### 履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

#### 成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は実技テストにて判定する。

#### そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。

科目名	健康・スポーツ実習（ソフトボール）	開講	通年	単位	2
配当	日1必 外1必 考1必 心1必				
担当者名	うちやま まさひろ 内山 雅博				

#### 講義のねらい

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1～2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他）
- 2 時限目：〃
- 3 時限目：試合（勝ち点制）
- 4 時限目：〃
- 5 時限目：〃
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目：審判の仕方（球審、1・3塁審）
- 9 時限目：〃
- 10 時限目：試合（勝ち点制）
- 11 時限目：〃
- 12 時限目：〃
- 13 時限目：〃
- 14 時限目：〃
- 15 時限目：まとめ

#### 履修上の留意点

用具：貸与  
 服装：ユニフォームの着用が必要はないが、実技のできる服装とする。  
 シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可。

#### 成績評価の方法

出席を重視し、試合毎の勝ち点も加えて評価する。

#### その他

雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。

科目名	健康・スポーツ実習（ダブルダッチ）	開講	通年	単位	2
配当	日1必 外1必 考1必 心1必				
担当者名	すえつぐ みき 末次 美樹				

#### 講義のねらい

ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う、縄跳び運動である。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく、また、動きを自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身に付く、優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ビデオ学習
- 3時限目：短縄を使って練習
- 4時限目：ペアでリズム・バランス感覚の確認
- 5時限目：ターナーの練習、奇数と偶数の違い
- 6時限目：5回跳び・10回跳び
- 7時限目：ターナーの回転・スピード
- 8時限目：ビデオ学習
- 9時限目：連続跳び
- 10時限目：応用
- 11時限目：応用
- 13時限目：応用
- 14時限目：応用
- 15時限目：応用

保健  
体育

#### 履修上の留意点

服装：上下とも動きやすいものが良い。シューズ（裸足でも良い）

#### 成績評価の方法

授業率70%、総合評価30%で行う。

科目名	健康・スポーツ実習（テニス）	開講	通年	単位	2
配当	国1必 社1必 福1必				
担当者名	えぐち じゅんいち 江口 淳一				

### 講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで様々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してその価値を実感し、自分の能力や技術を合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目的とする。

さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的な人間形成を目指す。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2時限目：ラケットイング、ボレー、ミニストローク
- 3時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 5時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6時限目：スマッシュ、サーブの基本技術
- 7時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15時限目：まとめ

### 履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズを必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

### 成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

### その他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）	開講	通年	単位	2
配当	国1必 社1必 福1必				
担当者名	下谷内 勝利 <small>しもやち かつとし</small>				

#### 講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に主力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の愉しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボールといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。  
1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

#### 履修上の留意点

スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

#### 成績評価の方法

出席を重視し、準備や片付けなども含めた授業参加への積極性や活動意欲等を評価する。

### 保健体育

科目名	健康・スポーツ実習（卓球）	開講	通年	単位	2
配当	国1必 社1必 福1必				
担当者名	佐藤 政之 <small>さとう まさゆき</small>				

#### 講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：ダブルスゲーム
- 15時限目：まとめ

#### 履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

#### 成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

#### その他

30分以上の遅刻は認めない。

科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）	開講	通年	単位	2
配当	国1必 社1必 福1必				
担当者名	みつなが よしひろ 光永 吉輝				

#### 講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の状態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムIIという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

#### 授業計画

- 1時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2時限目：カイザーカムII最大筋力測定
- 3時限目：＃
- 4時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5時限目：トレーニング
- 6時限目：トレーニング
- 7時限目：トレーニング
- 8時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 9時限目：トレーニング
- 10時限目：トレーニング
- 11時限目：トレーニング
- 12時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 13時限目：トレーニング
- 14時限目：トレーニング
- 15時限目：体力測定、まとめ

#### 履修上の留意点

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

#### 成績評価の方法

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

#### そ の 他

ストレッチ体操の各種、器具のいないトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。



科目名	健康・スポーツ実習（空手道）	開講	通年	単位	2
配当	国1必 社1必 福1必				
担当者名	たかほし しゆんすけ 高橋 俊介				

#### 講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内蔵諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してから猿臂打
- 7時限目：総合的に反復して練習
- 8時限目：総合的に反復して練習
- 9時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11時限目：総合的に反復して練習
- 12時限目：総合的に反復して練習
- 13時限目：総合的に反復して練習
- 14時限目：総合的に反復して練習
- 15時限目：実技試験

#### 履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手着を着用する。

#### 成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

#### その他

雨天時は走のための補強トレーニング

科目名	健康・スポーツ実習（ゴルフ）	開講	通年	単位	2
配当	国1必 社1必 福1必				
担当者名	たておか ましあき 館岡 儀秋				

#### 講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5時限目：打撃練習（5アイアン）
- 6時限目：打撃練習（5アイアン）
- 7時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15時限目：実技テスト

#### 履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

#### 成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

#### その他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科目名	健康・スポーツ実習（体操・トランポリン）	開講	通年	単位	2
配当	国1必 社1必 福1必				
担当者名	竹田 幸夫 <small>たけだ ゆきお</small>				

講義のねらい

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。健康体操については、体のバランスをチェックし矯正するための体操とマッサージ法を紹介する。器械運動では、マットや鉄棒、さらにトランポリンという種目を中心にして、初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に技を修得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）まで発展させる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：マッサージ法
- 5 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 6 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 7 時限目：ストレッチ体操・男子：あん馬／女子：平均台
- 8 時限目：ストレッチ体操・男子：つり輪／女子：トランポリン
- 9 時限目：ストレッチ体操・男子：トランポリン／女子：鉄棒
- 10 時限目：ストレッチ体操・男子：平行棒／女子：トランポリン
- 11 時限目：ストレッチ体操・男女とも鉄棒
- 12 時限目：発展技の練習
- 13 時限目：自主練習
- 14 時限目：自主練習
- 15 時限目：まとめと評価

保健  
体育

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階アリーナの体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、授業時間内の指示を守ること。

成績評価の方法

健康体操および器械運動ともに、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、男女それぞれに課題の達成度によって評価していく。易しい技から難しい技まで約40～50の課題を設定するので、受講生はの中から自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

そ の 他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

科目名	健康・スポーツ実習（ソフトボール）	開講	通年	単位	2
配当	国1必 社1必 福1必				
担当者名	内山 雅博 <small>うちやま まさひろ</small>				

#### 講義のねらい

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1～2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：ドス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他）
- 2 時限目：＼
- 3 時限目：試合（勝ち点制）
- 4 時限目：＼
- 5 時限目：＼
- 6 時限目：＼
- 7 時限目：＼
- 8 時限目：審判の仕方（球審、1・3塁審）
- 9 時限目：＼
- 10時限目：試合（勝ち点制）
- 11時限目：＼
- 12時限目：＼
- 13時限目：＼
- 14時限目：＼
- 15時限目：まとめ

#### 履修上の留意点

用具：貸与  
 服装：ユニフォームの着用が必要はないが、実技のできる服装とする。  
 シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可。

#### 成績評価の方法

出席を重視し、試合毎の勝ち点も加えて評価する。

#### そ の 他

雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。

科目名	健康・スポーツ実習（キックボクササイズ）	開講	通年	単位	2
配当	国1必 社1必 福1必				
担当者名	サエツグ ミキ 末次 美樹				

#### 講義のねらい

キックボクササイズとは、キックボクシング・ボクシング・空手道・ムエタイ・マーシャルアーツなどの動きを取り入れ、アップスピードな曲と動きを一体化する運動である。持久力強化・腹筋強化・シェイプアップなどに効果があり、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：拳の握り方、基本姿勢の説明
- 3時限目：ストレート、フック、アッパーの練習
- 4時限目：キックの練習
- 5時限目：コンビネーション
- 6時限目：フットワークの練習
- 7時限目：コンビネーション（音楽に合わせる）
- 8～14時限目：総合
- 15時限目：まとめ

#### 保健体育

#### 履修上の留意点

- 1) 服装：上下とも動きやすいものが良い。シューズ（裸足でも良い）。
- 2) 教場：101教場

#### 成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科目名	健康・スポーツ実習（空手道）	開講	通年	単位	2
配当	英1必 地文1必 環境1必				
担当者名	たかはし しゆんすけ 高橋 俊介				

#### 講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内蔵諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してから猿臂打
- 7時限目：総合的に反復して練習
- 8時限目：総合的に反復して練習
- 9時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11時限目：総合的に反復して練習
- 12時限目：総合的に反復して練習
- 13時限目：総合的に反復して練習
- 14時限目：総合的に反復して練習
- 15時限目：実技試験

#### 履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手着を着用する。

#### 成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

#### その他

雨天時は走のための補強トレーニング

科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）	開講	通年	単位	2
配当	英1必 地文1必 環境1必				
担当者名	すずき じゆんへい 鈴木 淳平				

#### 講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボールといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。  
1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

#### 履修上の留意点

スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

#### 成績評価の方法

出席を重視し、準備や片付けなども含めた授業参加への積極性や活動意欲等を評価する。

科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）	開講	通年	単位	2
配当	英1必 地文1必 環境1必				
担当者名	光永 <sup>みつなが</sup> 吉輝 <sup>よしかる</sup>				

### 講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないしていると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

### 講義の内容・授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムIIという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

#### 授業計画

- 1時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2時限目：カイザーカムII最大筋力測定
- 3時限目：〃
- 4時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5時限目：トレーニング
- 6時限目：トレーニング
- 7時限目：トレーニング
- 8時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 9時限目：トレーニング
- 10時限目：トレーニング
- 11時限目：トレーニング
- 12時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 13時限目：トレーニング
- 14時限目：トレーニング
- 15時限目：体力測定、まとめ

### 履修上の留意点

服装、トレーニングウエア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

### 成績評価の方法

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

### そ の 他

ストレッチ体操の各種、器具のいらないトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

科目名	健康・スポーツ実習（卓球）	開講	通年	単位	2
配当	英1必 地文1必 環境1必				
担当者名	佐藤 政之 <small>さとう まさゆき</small>				

講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：ダブルスゲーム
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。



科目名	健康・スポーツ実習（ゴルフ）	開講	通年	単位	2
配当	英1必 地文1必 環境1必				
担当者名	<small>たておか よしあき</small> 館岡 儀秋				

#### 講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5時限目：打撃練習（5アイアン）
- 6時限目：打撃練習（5アイアン）
- 7時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15時限目：実技テスト

#### 履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

#### 成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

#### その他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科目名	健康・スポーツ実習（ソフトボール）	開講	通年	単位	2
配当	英1必 地文1必 環境1必				
担当者名	下谷内 <sup>しもやち</sup> 勝利 <sup>かつとし</sup>				

講義のねらい

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1～2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他）
- 2時限目：〃
- 3時限目：試合（勝ち点制）
- 4時限目：〃
- 5時限目：〃
- 6時限目：〃
- 7時限目：〃
- 8時限目：審判の仕方（球審、1・3塁審）
- 9時限目：〃
- 10時限目：試合（勝ち点制）
- 11時限目：〃
- 12時限目：〃
- 13時限目：〃
- 14時限目：〃
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

用具：貸与  
 服装：ユニフォームの着用が必要はないが、実技のできる服装とする。  
 シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可。

成績評価の方法

出席を重視し、試合毎の勝ち点も加えて評価する。

その他

雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。  
 30分以上の遅刻は認めないものとする。

科目名	健康・スポーツ実習（ジョギング）	開講	通年	単位	2
配当	英1必 地文1必 環境1必				
担当者名	うちやま まさひろ 内山 雅博				

講義のねらい

健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約25年位になる比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目的とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング（速歩）によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60分程度のジョギングを実施することとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：心拍数測定・諸注意・体重測定
- 2 時限目：エクササイズ・ウォーキング（速歩）
- 3 時限目：＼
- 4 時限目：＼
- 5 時限目：ジョギング（時間走、距離走、初歩のインターバルランニング）
- 6 時限目：＼
- 7 時限目：＼
- 8 時限目：12分間走
- 9 時限目：ジョギング（前半より幾分高度な時間走、距離走、初歩のインターバルランニング、野外走、クロスカントリー）
- 10 時限目：＼
- 11 時限目：＼
- 12 時限目：＼
- 13 時限目：＼
- 14 時限目：12分間走
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

事前にメディカルチェック（心電図、負荷心電図、その他）を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。（食事をとること、睡眠時間の充分なこと）ジョギングによって相当量の発汗を伴うため着替えの用意が必要である。

成績評価の方法

平常点など

その他

雨天時は走のための補強トレーニング。

科目名	健康・スポーツ実習（テニス）	開講	通年	単位	2
配当	英1必 地文1必 環境1必				
担当者名	えぐち じゆんいち 江口 淳一				

### 講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで様々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と態度を養うことを目標としている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してその価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自立的にスポーツを生活化する態度を養うことを目的とする。

さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的な人間形成を目指す。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2時限目：ラケットイング、ボレー、ミニストローク
- 3時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 5時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6時限目：スマッシュ、サービスの基本技術
- 7時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15時限目：まとめ

### 履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズを必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

### 成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

### そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科目名	健康・スポーツ実習（簡化太極拳）	開講	通年	単位	2
配当	英1必 地文1必 環境1必				
担当者名	末次 <small>すえつぐ みき</small> 美樹				

#### 講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分そう・白鶴亮翅
- 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7時限目：第五組 高探馬・右とう脚・双峰貫耳・轉身左とう脚
- 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬らん捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

#### 履修上の留意点

・服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。

#### 成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	開講	通年	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	三幣 <sup>みゆき</sup> 晴三 <sup>はるみ</sup>				

#### 講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、フットサル、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### 【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓球(ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目：〃(サービスとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目：〃(シングルスゲーム)
- 5 時限目：〃(シングルスゲーム)
- 6 時限目：〃(ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目：〃(ダブルスゲーム)
- 8 時限目：〃(まとめと評価)
- 9 時限目：バドミントン(ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム)
- 10 時限目：〃(ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス)
- 11 時限目：〃(ルール解説、シングルスゲーム)
- 12 時限目：〃(ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム)
- 13 時限目：〃(ダブルスゲーム)
- 14 時限目：〃(ダブルスゲーム)
- 15 時限目：〃(まとめと評価)

##### 【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：フットサル(ルール説明、キックの基本Ⅰ、キーパーなしゲーム)
- 3 時限目：〃(キックの基本Ⅱ、キーパーなしゲーム)
- 4 時限目：〃(ボールコントロールの基本Ⅰ、ゲーム)
- 5 時限目：〃(ボールコントロールの基本Ⅱ、ゲーム)
- 6 時限目：〃(ゲーム)
- 7 時限目：〃(ゲーム)
- 8 時限目：〃(ゲーム)
- 9 時限目：バスケットボール(パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10 時限目：〃(レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11 時限目：〃(ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12 時限目：〃(ゲーム)
- 13 時限目：〃(ゲーム)
- 14 時限目：〃(ゲーム)
- 15 時限目：〃(まとめと評価)

保健体育

#### 履修上の留意点

遅刻は認めない。実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

#### 成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

#### その他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項(学習ガイドブック)』を確認の上履修すること。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	開講	通年	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	田中 <sup>たなか</sup> 佳孝 <sup>よしたか</sup>				

### 講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

#### 【前期】

- 1時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2時限目：卓 球 (ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3時限目： " (サーブとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4時限目： " (シングルスゲーム)
- 5時限目： " (シングルスゲーム)
- 6時限目： " (ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7時限目： " (ダブルスゲーム)
- 8時限目： " (まとめと評価)
- 9時限目：フットサル (ルール説明、キックの基本I、キーパーなしゲーム)
- 10時限目： " (キックの基本II、キーパーなしゲーム)
- 11時限目： " (ボールコントロールの基本I、ゲーム)
- 12時限目： " (ボールコントロールの基本II、ゲーム)
- 13時限目： " (ゲーム)
- 14時限目： " (ゲーム)
- 15時限目： " (ゲーム)

#### 【後期】

- 1時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2時限目：バレーボール (パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3時限目： " (ソフトバレーの概要とルール)
- 4時限目： " (フォーメーション、ゲーム)
- 5時限目： " (ゲーム)
- 6時限目： " (ゲーム)
- 7時限目： " (ゲーム)
- 8時限目： " (まとめと評価)
- 9時限目：バスケットボール (パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10時限目： " (レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11時限目： " (ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12時限目： " (ゲーム)
- 13時限目： " (ゲーム)
- 14時限目： " (ゲーム)
- 15時限目： " (まとめと評価)

### 履修上の留意点

実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球で使うラケットは、貸与する。

### 成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。成績評価を受けるためには2/3以上の出席日数が必要。

### そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項学習ガイドブック』を確認の上履修。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(トレーニング)	開講	集中授業	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	あきた こういち 秋田 浩一				

#### 講義のねらい

基礎的な体力要素がある筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
- 1日目 午後：カイザーカムⅡの使用法の説明、最大筋力の測定
- 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 2日目 午後：トレーニング
- 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
- 3日目 午後：トレーニング
- 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 4日目 午後：12分間走
- 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 5日目 午後：体力測定、まとめ

#### 履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意すること。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

#### 成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

#### その他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(火)～21日(土)、(後期) 1月5日(土)～9日(水)  
7月17日及び1月5日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
  - (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
  - (3) 実施場所：玉川体育館
  - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
  - (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。



科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(太極拳)	開講	集中授業	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	おおいし たけし 大石 武士				

### 講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、将来、生涯スポーツの一つとしての基礎をつくる。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション  
：重心の移動・腹式呼吸運動
- 1日目午後：第一組 起勢・左右野馬分ゾン・白鶴亮翅
- 2日目午前：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒巻脇
- 2日目午後：第三組 左攢雀尾・右攢雀尾
- 3日目午前：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 3日目午後：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 4日目午前：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 4日目午後：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 5日目午前：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 5日目午後：総合・テスト

### 履修上の留意点

服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。

### 成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

### その他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(火)～21日(土)、(後期) 1月5日(土)～9日(水)  
7月17日及び1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎第1体育館に集合。
- (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川校舎第1体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(卓球)	開講	集中授業	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心管A放GM234年				
担当者名	むらまつ まこと 村松 誠				

#### 講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：ダブルスゲーム
- 15時限目：まとめ

#### 履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

#### 成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

#### その他

- 30分以上の遅刻は認めない。  
再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(火)～21日(土)、(後期) 1月5日(土)～9日(水)  
7月17日及び1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎第1体育館に集合。
  - (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
  - (3) 実施場所：玉川校舎第1体育館
  - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
  - (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	開講	集中授業	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	山口 良博				

#### 講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の愉しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

#### 履修上の留意点

スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

#### 成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

#### その他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(火)～21日(土)、(後期) 1月5日(土)～9日(水)  
7月17日及び1月5日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(卓球)	開講	集中授業	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	鈴木 淳平 <small>すずき じゅんぺい</small>				

#### 講義のねらい

1. 卓球を教材に用い、身体運動の実践のなかで、その楽しさや重要性を理解する。技術やルール等を習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的技能を身につける。
2. 技術練習やゲームを行う中で、その運営を仲間と協力して行っていく社会性・協調性を養う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1日目：ラケットの持ち方、スイングとフットワーク、シングルス・ゲーム
- 2日目：サービスとレシーブ、ラリー、ダブルス・ゲーム
- 3日目：ドライブ（フォアハンド・バックハンド）、スマッシュ、ゲーム
- 4日目：総合練習、ゲーム、リーグ戦
- 5日目：総合練習、ゲーム、リーグ戦

#### 履修上の留意点

スポーツウェア（上下）、室内用のシューズ着用で受講する。

#### 成績評価の方法

出席状況、運動への積極性、受講態度、技術・体力などから総合的に評価する。

#### その他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(火)～21日(土)、(後期) 1月5日(土)～9日(水)  
7月17日及び1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎第1体育館に集合。
  - (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
  - (3) 実施場所：玉川校舎第1体育館
  - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
  - (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(ソフトボール)	開講	集中授業	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	たかはし しゅんすけ 高橋 俊介				

### 講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 第1日目  
 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの補球、トスバッティング、走塁練習、その他）  
 午後：同上
- 第2日目  
 午前：ゲーム  
 午後：〃
- 第3日目  
 午前：〃  
 午後：審判法・ゲーム
- 第4日目  
 午前：〃  
 午後：〃
- 第5日目  
 午前：〃  
 午後：〃

### 履修上の留意点

一般的体育服装を用意すること。野球用ユニホームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

### 成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

### その他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(火)～21日(土)、(後期) 1月5日(土)～9日(水)  
7月17日及び1月5日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(トレーニング&太極拳)	開講	集中授業	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	みづなが よしてる 光永 吉輝				

#### 講義のねらい

この講義では午前に、体力の基礎である、筋力、持久力、柔軟性をトレーニングの授業で学び、午後の講義では、バランス、集中力、呼吸法によるリラクセスの方法を太極拳で学ぶことをねらいとしている。

簡化太極拳は、簡単なものから複雑なものへ、やさしいものから難しいものへと構成されていて、学びやすく、覚えやすいようになっている、全コース八組(24式)あって、練習では全コース通してやってもいいし、あるいは一組が2~4式となっているが、ここでは、第一組から第四組(11式)まで学ぶねらいとする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### 1日目

午前：オリエンテーション・体力測定  
午後：オリエンテーション・基本動作・第一組(3式)

##### 2日目

午前：カイザーカムⅡの使用説明、最大筋力測定  
午後：第一組、第二組(3式)

##### 3日目

午前：トレーニング  
午後：第一組、第二組、第三組(2式)

##### 4日目

午前：トレーニング  
午後：第一組、第二組、第三組、第四組(3式)、総合

##### 5日目

午前：体力測定  
午後：総合(1~11式)、テスト

#### 履修上の留意点

服装は、トレーニングウェア。実技は、体育館地下一階トレーニング場で行うので、体育館シューズを用意すること。

#### 成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。  
尚、太極拳は最終日に演武テストを行う。

#### そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期)7月17日(火)~21日(土)、(後期)1月5日(土)~9日(水)  
7月17日及び1月5日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00~12:00、13:00~15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	開講	集中授業	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A放GM234年				
担当者名	むらまつ まこと 村松 誠				

### 講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明  
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフコート2対1、ゲーム(1次リーグ)
- 4 時限目：ハーフコート3対2、ゲーム(1次リーグ)
- 5 時限目：ハーフコート4対3、ゲーム(1・2次リーグ)
- 6 時限目：ハーフコート3対3、ゲーム(2次リーグ)
- 7 時限目：ゲーム(2次リーグ)  
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム(リーグ戦)
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム(リーグ戦)
- 10 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム(リーグ戦)
- 11 時限目：ゲーム(トーナメント)  
(バドミントン)
- 12 時限目：ラケットティング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13 時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：ダブルスのゲーム

### 履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。ボールを扱う競技においては手のつめを短く切ること。体育館専用シューズを用意すること。

### 成績評価の方法

出席点(70点)、実技点(20点)、態度点(10点)の配分で評価する。

### そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期)7月17日(火)～21日(土)、(後期)1月5日(土)～9日(水)  
7月17日及び1月5日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎第1体育館に集合。
  - (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
  - (3) 実施場所：玉川校舎第1体育館
  - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
  - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・基礎）（室内球技）	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	わたなべ いらろう 渡辺 一郎				

#### 講義のねらい

半期間にバスケットボール、フットサル、卓球の3種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 3 時限目～6 時限目：総合練習、ゲーム
- 7 時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 8 時限目～11時限目：総合練習、ゲーム
- 12時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等）
- 13時限目～15時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス）

#### 履修上の留意点

1. 本校第一体育館で行う。
2. 定員は40名とする。
3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。

#### 成績評価の方法

出席点70点、実技点20点、態度点10点



科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・応用）（室内球技）	開講	半期	単位	1
担当	禪仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禪仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禪仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禪仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎				

#### 講義のねらい

半期間にバスケットボール、フットサル、卓球の3種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 3時限目～6時限目：総合練習、ゲーム
- 7時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 8時限目～11時限目：総合練習、ゲーム
- 12時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等）
- 13時限目～15時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス）

#### 履修上の留意点

1. 本校第一体育館で行う。
2. 定員は40名とする。
3. 服装は一般的のスポーツウエア、体育館シューズを用意すること。

#### 成績評価の方法

出席点70点、実技点20点、態度点10点

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・応用）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・応用）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・応用）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・応用）（簡化太極拳）	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	おおいし たけし 大石 武士				

#### 講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のため KOMAnet・インターネットで配信（学内のみ）の予定。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬚・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攢雀尾・右攢雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・転身左ドン脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 転身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

#### 履修上の留意点

- 1) 定員：45名
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：体育館

#### 成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・応用）（ミニサッカー） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・応用）（ミニサッカー） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・応用）（ミニサッカー） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・応用）（ミニサッカー）	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	おおいし たけし 大石 武士				

#### 講義のねらい

ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
- 3 時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
- 4 時限目～9 時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
- 10 時限目～14 時限目：ゲーム
- 15 時限目：まとめ

#### 履修上の留意点

- 1) 定員：35名
- 2) 服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。
- 3) 教場：体育館

#### 成績評価の方法

評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・基礎）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・基礎）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・基礎）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・基礎）（簡化太極拳）	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	おおいし たけし 大石 武士				

#### 講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のためKOMAnet・インターネットで配信（学内のみ）の予定。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分ゾン・白鶴亮翅
- 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒巻肱
- 5時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

#### 履修上の留意点

- 1) 定員：45名
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：体育館

#### 成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・基礎）（フットサル）	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	<small>たなか よしたか</small> 田中 佳孝				

講義のねらい

室内で行うサッカー、フットサルを行う。基本技能の習得をベースに、ゲーム中心の授業を展開する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、ルール説明
- 2時限目：キックの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
- 3時限目：キックの基本技術Ⅱ、GKなしのゲーム
- 4時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅰ、ゲーム
- 5時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅱ、ゲーム
- 6時限目：ゲーム
- 7時限目：ゲーム
- 8時限目～14時限目：ゲーム
- 15時限目：まとめと評価

履修上の留意点

実技は本校第1体育館で行う。一般的スポーツウェア、ならびにフットサルに適した体育館シューズを用意すること。遅刻は認めない。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲーム展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。  
成績評価を受けるには2/3の出席日数が必要。

そ の 他

定員40名の事前登録とする。事前登録に関しては、教務部窓口にて問い合わせること。

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・基礎）（フットサル） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・基礎）（フットサル）	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	<small>たなか よしたか</small> 田中 佳孝				

#### 講義のねらい

室内で行うサッカー、フットサルを行う。基本技能の習得をベースに、ゲーム中心の授業を展開する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、ルール説明
- 2 時限目：キックの基本技術Ⅰ、GKなしのゲーム
- 3 時限目：キックの基本技術Ⅱ、GKなしのゲーム
- 4 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅰ、ゲーム
- 5 時限目：ボールコントロールの基本技術Ⅱ、ゲーム
- 6 時限目：ゲーム
- 7 時限目：ゲーム
- 8 時限目～14時限目：ゲーム
- 15時限目：まとめと評価

#### 履修上の留意点

実技は本校第1体育館で行う。一般的スポーツウェア、ならびにフットサルに適した体育館シューズを用意すること。

#### 成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲーム展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。成績評価を受けるためには2/3の出席日数が必要。

#### そ の 他

定員40名の事前登録とする。事前登録に関しては、教務部窓口にて問い合わせること。

科目名	生涯スポーツ実習I（前期／後期・応用）(卓球) 生涯スポーツ実習II（前期／後期・応用）(卓球) 生涯スポーツ実習III（前期／後期・応用）(卓球) 生涯スポーツ実習IV（前期／後期・応用）(卓球)	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	むらまつ せい 村松 誠				

#### 講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単と言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11 時限目：ダブルスゲーム
- 12 時限目：ダブルスゲーム
- 13 時限目：ダブルスゲーム
- 14 時限目：ダブルスゲーム
- 15 時限目：まとめ

#### 履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

#### 成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・基礎）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・基礎）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・基礎）（卓球） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・基礎）（卓球）	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政管A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政管A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政管A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政管A4選				
担当者名	すずき じゆんぺい 鈴木 淳平				

#### 講義のねらい

1. 卓球を教材に用い、身体運動の実践のなかで、その楽しさや重要性を理解する。技術やルール等を習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的技能を身につける。
2. 技術練習やゲームを行う中で、その運営をクラスの仲間と協力して行っていく社会性・協調性を養う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ラケットの持ち方、スイングとフットワーク、シングルス・ゲーム
- 3時限目：サーブとレシーブ、ラリー、ダブルス・ゲーム
- 4時限目：ドライブ（フォアハンド・バックハンド）、スマッシュ、ゲーム
- 5時限目～：総合練習、ゲーム、リーグ戦

#### 履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行う。
3. スポーツウェア（上下）、体育館用のシューズ着用で受講する。

#### 成績評価の方法

出席状況、運動への積極性、受講態度、技術・体力などから総合的に評価する。



科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期／後期・応用）（バドミントン） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期／後期・応用）（バドミントン） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期／後期・応用）（バドミントン） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期／後期・応用）（バドミントン）	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	すずき じゆんぺい 鈴木 淳平				

#### 講義のねらい

バドミントンを生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。シングルス、ダブルス等のゲームを通じて技術・戦術を習得し、試合の運営、マナーやエチケット等も学んでいく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット、シングルス・ゲーム
- 4 時限目：半面での簡易ゲーム、シングルス、ダブルス・ゲーム
- 5 時限目：〃
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目～15時間目：総合練習・ゲーム

#### 履修上の留意点

- 1. 定員は40名とする。
- 2. 実技は本校第1体育館で行なう。
- 3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
- 4. シューズは体育館専用のものを用意する。

#### 成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期/後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期/後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期/後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期/後期・応用)(バスケットボール)	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	<small>まきの しげる</small> 牧野 茂				

#### 講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことにより、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦)
- 6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦)
- 7時限目：著名なマンツーマン・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 8時限目：著名なマンツーマン・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 9時限目：著名なマンツーマン・オフENSE(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 10時限目：モーション・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 11時限目：モーション・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 12時限目：モーション・オフENSE(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦)
- 13時限目：総合練習、ゲーム(リーグ戦)
- 14時限目：総合練習、ゲーム(リーグ戦)
- 15時限目：実技テスト、ゲーム(リーグ戦)

#### 履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

#### 成績評価の方法

出席点(70点)、実技テスト(20点)、態度点(10点)

科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期/後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期/後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期/後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期/後期・基礎)(バスケットボール)	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A1選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A2選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A3選 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A4選				
担当者名	<small>まきの しげる</small> 牧野 茂				

### 講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦)
- 6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦)
- 7時限目：著名なマンツーマン・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 8時限目：著名なマンツーマン・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 9時限目：著名なマンツーマン・オフENSE(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 10時限目：モーション・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 11時限目：モーション・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 12時限目：モーション・オフENSE(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦)
- 13時限目：総合練習、ゲーム(リーグ戦)
- 14時限目：総合練習、ゲーム(リーグ戦)
- 15時限目：実技テスト、ゲーム(リーグ戦)

### 履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

### 成績評価の方法

出席点(70点)、実技テスト(20点)、態度点(10点)

科目名	生涯スポーツ演習I(シーズン基礎)(ゴルフ) 生涯スポーツ演習I(シーズン応用)(ゴルフ)	開講	シーズン	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経B法B営B選				
担当者名	佐藤 政之 他				

### 講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

### 講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション：
  - 1回目 4月7日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
  - 2回目 4月14日(土) 12:20~12:40 2研-102教場  
※本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。  
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業：7月17日(火) 13:00~16:10 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
  - 1日目 9月10日(月)  
講義：9:00~12:10 ゴルフコースとゲーム、スイングの基礎  
実技：13:00~17:30 打撃練習  
※注意：1日目は、玉川校舎で実施する。
  - 2日目 9月11日(火) 実技・講義：11:00~18:00 打撃練習・ゴルフ規則I、その他
  - 3日目 9月12日(水) 実技・講義：8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ゴルフ規則II
  - 4日目 9月13日(木) 実技・講義：8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ラウンドの総括
  - 5日目 9月14日(金) 実技・講義：8:30~13:30 打撃練習・ラウンド・閉校式

保健  
体育

### 履修上の留意点

生涯スポーツ演習I(シーズン基礎・シーズン応用)を履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。

- 実習日程：平成19年9月10日(玉川校舎)・9月11日~14日(現地：3泊4日)
- 場所：

宿泊：マロウドインターナショナルホテル成田  
286-0121 千葉県成田駒井野763-1  
電話 0476-30-2222 FAX 0476-32-9112  
練習場コース：ダイナミックゴルフ成田  
289-2231 千葉県香取郡多古町飯笹1040  
電話 0479-75-0793 FAX 0479-75-0785

- 定員：40名
- 集合解散：
  - (1) 集合 9月10日(月) 午前9時 玉川校舎 305教場  
9月11日(火) 午前11時 ダイナミックゴルフ成田
  - (2) 解散 9月14日(金) 午後12時30分：予定 ダイナミック成田
- 受講料：35,700円(左記金額には、交通費は含まれない。)
- 納入期間：平成19年5月21日(月)~6月2日(土)  
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康科学部門(第2研究館9館資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
- 服装・用具
  - (1) 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
  - (2) ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
  - (3) グローブは、必ず各自で用意すること。
  - (4) ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習（5日間）によって2単位が認められる。  
成績は講義・実技の出席状況講義・実技テスト実習参加態度等総合的に評価される。

科目名	生涯スポーツ演習II(シーズン基礎)(スキー・スノーボード) 生涯スポーツ演習II(シーズン応用)(スキー・スノーボード)	開講	シーズン	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選 経B法B営B選				
担当者名	山口 良博 他				

### 講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。

○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

### 講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1 回目 4月7日(土) 12:20~12:40 2研-102教場  
2 回目 4月14日(土) 12:20~12:40 2研-102教場  
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。  
1 回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2 回目を実施します。
2. 事前授業 1月9日(水) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
  - 1 日目 1月29日(火)  
午後、現地ホテルロビー集合  
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
  - 2 日目 1月30日(水)  
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
  - 3 日目 1月31日(木)  
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
  - 4 日目 2月1日(金)  
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
  - 5 日目 2月2日(土)  
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

保健体育

### 履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習IIシーズン・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

1) 実習日程：平成20年1月29日(火)~2月2日(土)の4泊5日(現地集合解散予定)

2) 場 所：実習 安比高原スキー場  
宿泊・現地講義 安比グランド 電話(0195)73-5019

3) 定 員：スキー 20名  
スノーボード 30名(但し、初心者に限る)

4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。

証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康科学部門(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。

納入期間：平成19年5月21日(月)~6月2日(土)

5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。

6) 特記事項：卒業年次生が履修する場合は日程などに注意すること。

### 成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

### そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急にスポーツ・健康科学部門(第2研究館9階資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科目名	生涯スポーツ実習（集中前期・基礎）（テニス） 生涯スポーツ実習（集中前期・応用）（テニス）	開講	集中授業	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴史外考社福心経商現法 A 政営 A 選				
担当者名	えぐち じゆんいち 江口 淳一				

### 講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標としている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、その価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自律的に生活化する態度を養うことを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。

（基礎）…初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

（応用）…エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：ラケットティング、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 1日目午後：ミニラリー、ラリーを楽しむ
- 2日目午前：フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 2日目午後：ラリーの応用とミニゲーム
- 3日目午前：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 3日目午後：       "       "       （戦術と応用）
- 4日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 4日目午後：ダブルスのゲームを楽しむ
- 5日目午前：トーナメント形式の試合
- 5日目午後：まとめ

### 履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

### 成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後之二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

### その他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：7月17日（火）～21日（土）  
7月17日更衣の上、午前10時にテニスコート集合
- (2) 実施時間：午前10：00～12：00  
午後13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること

科目名	生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）（ゴルフ） 生涯スポーツ実習（集中後期・応用）（ゴルフ）	開講	集中授業	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	三幣 晴三				

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。

本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講生同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）  
講義：スイングの基本
- 2日目実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）  
講義：マナーとエチケット
- 3日目実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）  
講義：ゴルフルール
- 4日目実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）  
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5日目実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

- (1) 服装：一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
- (2) グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

- (1) 実施期間：1月5日（土）～9日（水）  
1月5日午前10時に玉川校舎集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎グラウンド
- (4) 費用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、1,000円程度必要である。
- (5) 定員：40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。



科目名	健康・スポーツ論 1	開講	半期	単位	2
配当	国日外考福心1選				
担当者名	竹田 幸夫 <small>たけだ ゆきお</small>				

### 講義のねらい

健康・スポーツに関する基礎的な知識についての講義を行う。健康については、現代病やストレス、肥満などのテーマで、とくに心と体の関わりを考えていく。体力については、基礎的な体力要素の特徴とトレーニング方法、またスポーツ運動学の立場から人間の運動のさまざまな特徴を具体的な例によって解説する。

大学生の年代は、将来におけるライフスタイルの基礎を確立する大切な時期である。講義の内容から自分の健康や体力、さらにはスポーツに関する基礎的な知識と考え方について理解を深めてもらいたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目 オリエンテーション
- 2 時限目 人間と健康（心と体：生活習慣病）
- 3 時限目 “ （心と体：ストレス）
- 4 時限目 “ （心と体：肥満とダイエット）
- 5 時限目 体力とトレーニングの方法（基礎的な体力要素）
- 6 時限目 “ （体力要素の特徴）
- 7 時限目 “ （トレーニング方法）
- 8 時限目 スポーツ運動の理論（スポーツ運動の特徴）
- 9 時限目 “ （運動の上達、習熟）
- 10 時限目 “ （運動発達）
- 11 時限目 “ （スポーツにおける右と左）
- 12 時限目 “ （イメージトレーニング）
- 13 時限目 “ （メンタルトレーニング）
- 14 時限目 まとめ
- 15 時限目 筆記試験

### 履修上の留意点

授業において扱う内容を知識として聞くだけではなく、自分の身近な問題として考えながら講義を聴いてほしい。

### 成績評価の方法

出席状況と授業の最後に行う筆記試験で評価する。

### 教科書

特に指定しない。資料を配布。

### 参考書等

葦原 睦著『心でおきる身体の病』（講談社ブルーバックス）  
D. チョブラ著『パーフェクトヘルス』（ダイヤモンド社）

### その他

授業は、主に講義形式で進めるがテーマによっては受講生の見解を発表してもらう場合もある。

科目名	健康・スポーツ論 1	開講	半期	単位	2
配当	英地文環境社1選				
担当者名	えぐち じゆんいち 江口 淳一				

講義のねらい

現代文明は、経済性、利便性、効率性の名の下に人間を身体運動から遠ざけ、結果として運動不足症候群と呼ばれる様々な弊害を生んできた。本講義では、現代社会において、より良く、たくましく生きて行く為に人間生活の基本である健康、体力、身体運動に対する理解を科学的アプローチで深め、さらには身体運動を自律的に生活の中に位置づけていく態度と能力の育成を図ることを目的とする。

また、運動・スポーツの文化的意義について学ぶことで、Quality of life を実践するための基礎を養うことを主眼に講義を進めるつもりである。

人が生きて行くためには、自らの身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤である。スポーツを単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また身体を認識する手段としてとらえ、更に、スポーツを楽しむ能力とゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを本講義の目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：講義の目標の説明、学生の学習目標設定
- 2 時限目：ゆとり時代のLIFE STYLE (To have or To be)
- 3 時限目：生涯学習社会と大学保健体育科目の意義
- 4 時限目：現代社会と健康・スポーツ（余暇社会、高齢化社会と健康阻害要因）
- 5 時限目：健康と体力の概念
- 6 時限目：人体 1) 骨格の構造
- 7 時限目： 2) 筋肉の構造
- 8 時限目： 3) 運動と呼吸循環器系
- 9 時限目： 4) 運動と代謝
- 10 時限目： 5) 運動エネルギー供給の仕組み
- 11 時限目：スポーツ・トレーニングの筋、骨格に及ぼす効果
- 12 時限目：スポーツ・トレーニングの呼吸循環器系に及ぼす効果
- 13 時限目：運動処方計画のための基礎（パワートレーニング、エアロビクストレーニング）
- 14 時限目：スポーツ科学分野におけるトピックス、21世紀に向けての健康づくり
- 15 時限目：まとめ－学生自身による授業評価－

成績評価の方法

出席状況および授業最終日に行うアンケートにて評価する。

参 考 書 等

- 配布プリントにより授業を進めるため教科書はないが、以下の文献は参考図書となる。
- 『運動処方』（朝倉書店）3,500円
  - 『運動生理学20講』（朝倉書店）2,884円
  - 『「ゆとり」時代のライフスタイル』（日本経済新聞社）1,300円

科目名	健康・スポーツ論 2	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	おおいし たけし 大石 武士				

#### 講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病気や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病気・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

#### 成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

#### 参考書等

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カヅサ出版）1,700円
- 2 『最新図解救命救急－応急手当の手引き－』（小学館）700円

#### その他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

科目名	健康・スポーツ論 2	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	三幣 晴三 <small>みねさ はるみ</small>				

#### 講義のねらい

健康は、人間が生きて何かを実現していく上で最も重要な基本的前提条件である。本講義は、医学的見地からの健康を論じるだけでなく、人間が生きがいを持って生きる上で身体的・精神的健康を獲得するための実践的条件を検証するものである。

スポーツは過去から現代まで人類が嘗々と築きあげてきた文化である。スポーツは実践だけでなく、観ることやマスコミからの多くのインフォメーションによってわれわれ現代人にさまざまな影響を及ぼしている。スポーツを狭い領域からだけ論じるのではなく、我々が生き生きと生きるために必要な情報としてのスポーツの価値を論じるものである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康とは何かI
- 3 時限目：同 II
- 4 時限目：同 III
- 5 時限目：同 IV
- 6 時限目：同 V
- 7 時限目：ストレスとは何かI
- 8 時限目：同 II
- 9 時限目：スポーツ論I
- 10時限目：同 II
- 11時限目：同 III
- 12時限目：同 IV
- 13時限目：同 V
- 14時限目：健康のまとめ
- 15時限目：スポーツ論のまとめ

保健  
体育

#### 履修上の留意点

毎時限配布するプリントを重視して進める。

#### 成績評価の方法

出席・欠席を特に重視する。また、授業中に行われる小テストの成績も重要である。

#### 教科書

特に指定するものはない。

科目名	健康・スポーツ論 2	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	村松 <small>むらまつ まこと</small> 誠				

### 講義のねらい

現代は健康の時代の不健康な時代といわれる。健康に関する情報は、マスコミにあふれている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、しっかりとした健康観を持つことは、適切な選択をするために大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中で最も健康な時期といわれるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この年代より始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯にわたっての健康を考えていく。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康観の変遷
- 3 時限目：現代の健康観
- 4 時限目：健康の成立要因
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：病気の原因
- 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目：現代の感染症
- 9 時限目：喫煙と健康
- 10 時限目：飲酒と健康
- 11 時限目：ストレスと健康
- 12 時限目：食べ物と健康
- 13 時限目：運動と健康
- 14 時限目：環境と健康
- 15 時限目：まとめ

### 成績評価の方法

数回のレポート、小テストなどを行い、これを加味して評価する。

### 教科書

特に指定はしない。参考図書についてはその都度提示する。

科目名	健康・スポーツ論 2	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経商現法A政営A選				
担当者名	まきの しげる 牧野 茂				

### 講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1時限目：目的と課題の把握 全体ガイダンス、アンケートとその解説
- 2時限目：健康とは何か（1） 語源・定義・性格
- 3時限目：健康とは何か（2）
- 4時限目：健康とは何か（3）
- 5時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6時限目：健康の成立条件 健康を規定する条件
- 7時限目：健康の保持増進（1） 科学的研究、健康教育
- 8時限目：健康の保持増進（2） 保健衛生サービス、健康の獲得
- 9時限目：健康指標 WHOの総合健康指標
- 10時限目：日常生活と健康（1） 運動・栄養・休養（1）
- 11時限目：日常生活と健康（2） "・"・"・"（2）
- 12時限目：日常生活と健康（3） 嗜好品と健康
- 13時限目：感染症について（1） インフルエンザ、結核
- 14時限目：感染症について（2） 性行為感染症
- 15時限目：筆記試験

保健体育

### 成績評価の方法

数回の小テストと学期末の筆記試験で評価する。

### 教科書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

### 参考書等

「健康科学—知っておきたい予防医学—」（丸善）1,900円  
「ライフスタイルと健康の科学」（不昧堂出版）2,400円  
他は、講義のなかで紹介する。

## II 專 門 教 育 科 目

### 1 国 文 学 科

## Ⅱ. 専門教育科目

### (1) 国文学科

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
基礎国語学	国1必	通年	4	土井 光祐	471
基礎国語学	国1必	通年	4	奈部 淑子	472
基礎国文学I	国1必	通年	4	近衛 典子	472
基礎国文学I	国1必	通年	4	松井 健児	473
基礎国文学I	国1必	通年	4	中嶋 真也	473
基礎国文学II	国1必	通年	4	岡田 豊	474
基礎国文学II	国1必	通年	4	高田 知波	474
基礎国文学II	国1必	通年	4	勝原 晴希	475
漢文学	国1必	通年	4	和田 和子	475
国語学概論	国12必(17年度以前入学生)	通年	4	奈部 淑子	476
国文学概論	国12必(17年度以前入学生)	通年	4	高橋 文二	476
国文学史I(古典)	国234選必	通年	4	櫻井 陽子	477
国文学史I(古典)	国234選必	通年	4	林 達也	478
国文学史II(近現代)	国234選必	通年	4	勝原 晴希	479
国文学史II(近現代)	国234選必	通年	4	岡田 豊	480
国語史	国234選必	通年	4	山本 真吾	480
国語学史				休講	
国語学研究I	国234選必	通年	4	土井 光祐	481
国語学研究II				休講	
上代文学研究I	国234選必	通年	4	中嶋 真也	482
上代文学研究II	国234選必	通年	4	多田 一臣	483
中古文学研究I	国234選必	通年	4	桜井 広徳	483
中古文学研究II	国234選必	通年	4	松井 健児	484
中世文学研究I	国234選必	通年	4	櫻井 陽子	484
中世文学研究II	国234選必	通年	4	田中 徳定	485
近世文学研究I	国234選必	通年	4	近衛 典子	485
近世文学研究II				休講	
近代文学研究I	国234選必	通年	4	榎本 正樹	486
近代文学研究II	国234選必	通年	4	高田 知波	486
国語学特講I	国234選必	通年	4	山本 真吾	487
国語学特講II	国234選必	通年	4	高田 智和	488
国文学特講I	国234選必	通年	4	吉田 幹生	488
国文学特講II	国234選必	通年	4	渡部 泰明	489
国文学特講III	国234選必	通年	4	渡部 泰明	489
国文学特講IV	国234選必	通年	4	岩崎 雅彦	490
国文学特講V	国234選必	通年	4	佐藤 武光	491
国文学特講VI	国234選必	通年	4	津島 知明	492
国文学特講VII	国234選必	通年	4	関根 賢司	492
国文学特講VIII	国234選必	通年	4	池山 晃	493
国文学特講IX	国234選必	通年	4	神田 由美子	493



国文学特講X	国234選必	通年	4	国松 俊英	494
国文学特講XI	国234選必	通年	4	榎本 正樹	495
国語国文学演習I	国2必(14年度以降入学生)	通年	4	土井 光祐	496
国語学演習I	国2必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習I	国2必(14年度以降入学生)	通年	4	中嶋 真也	497
国文学演習I	国2必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習I	国2必(14年度以降入学生)	通年	4	松井 健児	498
国文学演習I	国2必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習I	国2必(14年度以降入学生)	通年	4	高橋 文二	498
国文学演習I	国2必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習I	国2必(14年度以降入学生)	通年	4	櫻井 陽子	499
国文学演習I	国2必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習I	国2必(14年度以降入学生)	通年	4	田中 徳定	499
国文学演習I	国2必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習I	国2必(14年度以降入学生)	通年	4	近衛 典子	500
国文学演習I	国2必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習I	国2必(14年度以降入学生)	通年	4	林 達也	501
国文学演習I	国2必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習I	国2必(14年度以降入学生)	通年	4	岡田 豊	502
国文学演習I	国2必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習I	国2必(14年度以降入学生)	通年	4	高田 知波	503
国文学演習I	国2必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習I	国2必(14年度以降入学生)	通年	4	勝原 晴希	504
国文学演習I	国2必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習II	国3必(14年度以降入学生)	通年	4	土井 光祐	505
国語学演習II	国3必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習II	国3必(14年度以降入学生)	通年	4	中嶋 真也	506
国文学演習II	国3必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習II	国3必(14年度以降入学生)	通年	4	高橋 文二	506
国文学演習II	国3必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習II	国3必(14年度以降入学生)	通年	4	松井 健児	507
国文学演習II	国3必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習II	国3必(14年度以降入学生)	通年	4	櫻井 陽子	508
国文学演習II	国3必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習II	国3必(14年度以降入学生)	通年	4	田中 徳定	509
国文学演習II	国3必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習II	国3必(14年度以降入学生)	通年	4	近衛 典子	509
国文学演習II	国3必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習II	国3必(14年度以降入学生)	通年	4	林 達也	510
国文学演習II	国3必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習II	国3必(14年度以降入学生)	通年	4	岡田 豊	511
国文学演習II	国3必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習II	国3必(14年度以降入学生)	通年	4	高田 知波	512
国文学演習II	国3必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習II	国3必(14年度以降入学生)	通年	4	勝原 晴希	513
国文学演習II	国3必(13年度以前入学生)				

国語国文学演習Ⅲ	国4必(14年度以降入学生)	通年	4	土井 光祐	514
国語学演習Ⅲ	国4必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習Ⅲ	国4必(14年度以降入学生)	通年	4	中嶋 真也	514
国文学演習Ⅲ	国4必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習Ⅲ	国4必(14年度以降入学生)	通年	4	高橋 文二	515
国文学演習Ⅲ	国4必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習Ⅲ	国4必(14年度以降入学生)	通年	4	松井 健児	515
国文学演習Ⅲ	国4必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習Ⅲ	国4必(14年度以降入学生)	通年	4	櫻井 陽子	516
国文学演習Ⅲ	国4必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習Ⅲ	国4必(14年度以降入学生)	通年	4	田中 徳定	516
国文学演習Ⅲ	国4必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習Ⅲ	国4必(14年度以降入学生)	通年	4	近衛 典子	517
国文学演習Ⅲ	国4必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習Ⅲ	国4必(14年度以降入学生)	通年	4	林 達也	517
国文学演習Ⅲ	国4必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習Ⅲ	国4必(14年度以降入学生)	通年	4	岡田 豊	518
国文学演習Ⅲ	国4必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習Ⅲ	国4必(14年度以降入学生)	通年	4	高田 知波	518
国文学演習Ⅲ	国4必(13年度以前入学生)				
国語国文学演習Ⅲ	国4必(14年度以降入学生)	通年	4	勝原 晴希	519
国文学演習Ⅲ	国4必(13年度以前入学生)				
国語学演習Ⅳ	国4必(13年度以前入学生)	通年	4	土井 光祐	519
国文学演習Ⅳ	国4必(13年度以前入学生)	通年	4	櫻井 陽子	520
中国文学	国234選	通年	4	田熊 信之	520
比較文学	国234選	通年	4	木村 朗子	521
児童文学	国234選	通年	4	国松 俊英	521
有職故実	国234選	通年	4	近藤 好和	522
日本民俗学	国234選	通年	4	谷口 貢	523
民間信仰論	国234選	通年	4	谷口 貢	524
日本史概説	国234選	通年	4	松本 信道	524
日本文化史	国234選	通年	4	吉田 政博	525
仏教概論				休講	
東洋思想史	国234選	通年	4	末木 恭彦	526
西洋思想史	国234選	通年	4	柴野 博子	526
美術史概説	国234選	通年	4	北野 良枝	527
演劇概論	国234選	通年	4	森井 直子	528
書道概論	国234選	通年	4	金子 大蔵	529
書道史	国234選	通年	4	那須 隆吉	529
書道実習Ⅰ	国234選	通年	4	金子 大蔵	530
書道実習Ⅱ	国234選	通年	4	那須 隆吉	530
書道実習Ⅲ	国234選	通年	4	那須 隆吉	531
編集実務	国234選	通年	4	長谷川 孝	532

科目名	基礎国語学	開講	通年	単位	4
配当	国1必				
担当者名	どい こうゆう 土井 光祐				

#### 講義のねらい

国語学への入門として、国語即ち日本語を学問対象とする際の必須の基礎知識を概説します。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 総論
  - ・国語と日本語
  - ・国語学と日本語学
  - ・ソシュールと構造言語学
  - ・時枝誠記と言語過程説
  - ・西洋言語学と国学と近代国語学
- 文法論
  - ・言語の単位（形態素、語、文の成分）
  - ・学校文法における品詞論の仕組みと問題点
  - ・文法史の諸問題
  - ・学校文法の構文論と最近の構文論
- 音声学と音韻論
  - ・音声学と音韻論
  - ・日本語の音声と音韻の特質
  - ・音韻変化
  - ・アクセント
- 文字論
  - ・文字の各種
  - ・仮名遣い

#### 履修上の留意点

既習の知識が次のトピックの前提となる累積型の授業内容となるので、その都度各トピックの確実な理解が求められます。

#### 成績評価の方法

出席点30% 試験70%

#### 教科書

佐伯哲夫・山内洋一郎『国語概説』、和泉書院、1,785円、ISBN4-900137-51-0

#### 参考書等

授業中に紹介。

科目名	基礎国語学	開講	通年	単位	4
配当	国1必				
担当者名	奈部 淑子 <small>なべ としこ</small>				

講義のねらい

国語学の主要な研究分野についての理解を深め、国語学研究の姿勢・ありかたについて学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

(1)はじめに (2)～5音声・音韻について (6)～(10)文字・表記について (11)～(13)語彙について (14)～(18)文法・敬語について (19)～(22)文章・文体について (23)試験

履修上の留意点

一年間通して、やっと国語学の概要がみえてくるものなので、なるべく出席することが望ましい。私語はしないこと。

成績評価の方法

年度の最後に学年末試験を行う。

教科書

『国語概説』(和泉書院) 1,700円

参考書等

特になし。

その他

授業方法は講義形式で行う。随時プリント等を配布。

国

文

科目名	基礎国文学I	開講	通年	単位	4
配当	国1必				
担当者名	近衛 典子 <small>このえ のりこ</small>				

講義のねらい

大きく眺め渡せば古典文学の爛熟期でもあり、近代文学の萌芽期でもある江戸時代の文学作品に親しみ、併せて古典文学を学ぶ上での基本的な方法を学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

近世小説を中心に、幅広く近世文芸の展開の様を概観する。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、レポート等を総合的に見て評価する。

教科書

櫻井武次郎編『近世小説選』(双文社出版)

科目名	基礎国文学I	開講	通年	単位	4
配当	国1必				
担当者名	まつい けんじ 松井 健児				

#### 講義のねらい

古典文学読解のための基礎的な知識と方法を学ぶ。古語による言語表現の持つ広がりや深さを実感する。成立や時代背景の違いによる表現の多様性を受容し、積極的な理解へといたる教養を身につける。

#### 講義の内容・授業スケジュール

韻文・散文における、代表的な古典文学作品の具体的な読解を示す。歴史的・表現史的な背景に触れ、あわせて研究への指針となるような術語についても解説する。

#### 履修上の留意点

自主性と積極性。欠席の多い場合は評価の対象としない。

#### 成績評価の方法

①筆記試験 ②レポート ③出席状況 ④その他を総合して行う。

#### 教科書

プリントを配布する。

#### 参考書等

授業時に紹介する。

科目名	基礎国文学I	開講	通年	単位	4
配当	国1必				
担当者名	なかじま しんや 中嶋 真也				

#### 講義のねらい

大学に入る前に、いくつかの古文を学んできたものと思う。その経験を踏まえつつ、古典文学作品が使われたことばに即して丁寧に読解し、文学研究への視点の置き方を学ぶ。また、古典作品は元来、手で書かれ享受されてきた。その使われた文字に慣れるよう、くずし字の学習も行なう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

後代への影響も強い『古今和歌集』を軸にして、さまざまな作品を読んで行く。前期は、大学入学までに学んだであろう、古典文法や単語の意味の確認と共に、くずし字に慣れることを主眼とし、後期はそれに基づいて具体的な作品を読む。

#### 履修上の留意点

出席を当然のこととし、受身にならず取り組むこと。授業を軸に、各自の古典への関心を涵養し、様々な作品を自らの意志で読み進めてもらいたい。

#### 成績評価の方法

出席、小テスト、授業態度、提出物、学期末の試験によって総合的に評価する。

#### 教科書

窪田章一郎校注『古今和歌集』（角川ソフィア文庫）  
『字典かな——出典明記——』改訂版（笠間書院）  
上記以外の教材は、必要に応じてプリントを配布する。

#### 参考書等

授業中に適宜指示する。

科目名	基礎国文学II	開講	通年	単位	4
配当	国1必				
担当者名	おかだ 豊 <small>おかだ 豊</small>				

講義のねらい

作品を具体的に読み進めながら、日本の近現代小説の研究方法について学ぶ。古典文学に比して、言語上の障害が少ない近現代の小説を、研究の対象として取り上げることの意義および研究の方法について学ぶ一年である。参考文献はどうやって調べるのか、どのようなアプローチがあるのか、どのように論じるのか、等について講じる。

講義の内容・授業スケジュール

いくつかの近現代の作品を読む。作品評価の見直しや作家のあまり注目されなかった側面への論及といった近年の研究動向を紹介し、これまで何が問われてきたのかを確認しながら、新たな研究の課題や読みの可能性について探っていく。先行論文の読解をすることもあるし、文献検索実習も行う。

履修上の留意点

テキストを各自で準備し、読んで授業に参加すること。「この人物はどうしてこんなことを口にするのか?」「なぜこんな行動に出るのか?」「作品はなぜこんな終わり方をするのか?」等、素朴な疑問を持って授業に参加してほしい。そして、こんな考え方があるのか、ではこんな読みは出来ないだろうかと問題を掘り下げ、考えを深めていってほしい。出席を重要視する。初回の授業時に示す回数を超過した者は、定期試験の受験資格を失う。

成績評価の方法

授業中に提出を求める感想文等も考慮に入れる。筆記試験は、前期と後期の二回に分けて行い、成績は両方の試験の点数を合算して出すので注意してほしい。また、出席回数が少ない学生は試験を受ける資格を失うことがある。

教科書

吉本ばなな『キッチン』(角川文庫) その他、配布プリント

参考書等

その都度教場で紹介する。

国  
文

科目名	基礎国文学II	開講	通年	単位	4
配当	国1必				
担当者名	たかだ 知波 <small>たかだ ちなみ</small>				

講義のねらい

近代の小説作品の読みを通じて、大学における国文学研究の基礎について学習する。

講義の内容・授業スケジュール

1年間を3期に分け、第1期は夏目漱石の『坊っちゃん』、第2期は川端康成の『伊豆の踊子』、第3期は森鷗外『舞姫』をそれぞれ精読することによって、制度的な読みの定式を問い直す作業を臨床的に試みる。

履修上の留意点

小説の読みに、唯一絶対の「正解」というものは存在しない。作品解釈についての固定観念を根底から疑い、論拠に基づいた自分自身の「読み」を追求することが近代文学研究の基本なのだということを、この授業を通して理解してほしいと思う。

成績評価の方法

原則として、年度末の筆記試験の結果によって評価を出す。欠席時数が多いと年度末試験の受験資格を失うことがある。

教科書

夏目漱石『坊っちゃん』(新潮文庫) 森鷗外『阿部一族・舞姫』(新潮文庫) 川端康成『伊豆の踊子』(新潮文庫)

参考書等

教場で指示する。

科目名	基礎国文学II	開講	通年	単位	4
配当	国1必				
担当者名	勝原 晴希 <small>かつほら はるき</small>				

講義のねらい

近現代の文学研究へのオリエンテーションと、具体的な作品を使ってのアプローチの方法を習得する。

講義の内容・  
授業スケジュール

近現代文学についての概略的な講義を行なった後、近現代の代表的な短篇小说・評論・詩歌について作品の分析読解を進めて行く。それぞれの作品について、授業時間内に簡単なレポートを課し、その内容をふまえながら講義を進める。また基本的な研究の手づきについて講義する。

履修上の留意点

文学研究には基礎的な知識・技術の習得と主体的独創的な個別アプローチの両方が必要である。どちらか一方に偏らないよう、バランスを取りながら身につけて行って欲しい。

成績評価の方法

前後二回の試験、出席状況、時間内レポートによる。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業中に随時指示する。

科目名	漢文学	開講	通年	単位	4
配当	国1必				
担当者名	和田 和子 <small>わだ かずこ</small>				

講義のねらい

漢文を読解する為に必要な知識の習得を目指す。また言語の系統を異にする日本語と中国語の、その隙間を埋めるべく完成された訓読という方法についての検討を行うことで、国語としての漢文の位置づけを明確にしていきたい。併せて資料の読解を通じて、長い歴史の中で熟成されてきた中国人の言語活動や文化的営為に対する基礎的な理解を身につけていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は漢文学の基礎を学ぶ上で精読すべき資料を紹介・購読していく。また取り上げる漢文資料の内容に即して、適宜訓点や送り仮名の施し方、書き下し文の方法などを教授する。  
後期は漢文理解の鍵となる助字の用法やその他の文法的諸問題について考察を行い、漢文の構造をより発展的に学べるようにしたい。

成績評価の方法

期末試験と出席日数で評価する。

教科書

教員が作成したプリント資料を用いる。

その他

主に教員が講義する形式となるが、取り扱う資料や講義の内容について、各自予習復習しておくことが望ましい。

科目名	国語学概論	開講	通年	単位	4
配当	国12必(17年度以前入学生)				
担当者名	奈部 淑子				

講義のねらい

国語学の主要な研究分野についての理解を深め、国語学研究の姿勢・ありかたを学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

(1)はじめに (2)～(5)音声・音韻について (6)～(9)文字・表記について (10)～(13)方言・共通語について (14)～(18)文法・敬語について (19)～(22)文章・文体について (23)試験

履修上の留意点

一年間を通して、やっと国語学の概要がみえてくるものなので、なるべく出席することが望ましい。私語はしないこと。

成績評価の方法

年度の最後に学年末試験を行う。

教科書

『国語概説』(和泉書院) 1,700円

参考書等

特になし。

その他

授業方法は講義形式で行う。随時プリント等を配布。

国

文

科目名	国文学概論	開講	通年	単位	4
配当	国12必(17年度以前入学生)				
担当者名	高橋 文二				

講義のねらい

国文学史上の代表的な古典作品を読み、古語に親しみつつ、そこに表れている自然観や宗教観や人間観について検討し、その作品の意義を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

一年間を三期に分け、  
 ① 古典と自然・風土  
 ② 古典と宗教(仏教と神道)  
 ③ 古典と儀式(年中行事など)の3問題のありようを考察する。つまり古典が自然や宗教や儀式をどのようなものとして記し、描いていったかを考察し、古典作品の特質を明らかにしていきたい。

履修上の留意点

古語辞典を十分に活用し、自主的積極的に授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

レポート(前期1回、後期2回提出)と出席状況などを総合的に判断して評価する。

教科書

『徒然草』(岩波文庫)

参考書等

教場でその都度紹介する。



科目名	国文学史I(古典)	開講	通年	単位	4
配当	国234選必				
担当者名	さくらい ようこ 櫻井 陽子				

#### 講義のねらい

日本古典文学の流れを、中世を基軸としながら概観する。  
時代や社会の変化と文学の足跡とは切り離すことはできない。中世文学が社会の変遷の中で、平安文学をどのように継承し、新たな文学世界を創造してゆくのか、また、中世文学の享受と創造の場の実態はどのようなものか、等を考える。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 具体的に代表的な作品を掲げて作品の特徴を示し、内容に触れながら進める。
- 1) 中世はいつから始まるのか。
    - 1 中世という時代の特徴と文学との関係
  - 2) 平安文学の継承と完成、そして、新たな展開(和歌・日記・随筆)
    - 2・3 『千載和歌集』から、『新古今和歌集』まで
    - 4・5 『新古今和歌集』
    - 6 『新勅撰和歌集』とそれ以降
    - 7 俊成・定家・為家の系譜
    - 8 歌道家と物語作成・受容
    - 9 漢文日記と仮名日記
    - 10 『方丈記』と『徒然草』
  - 3) 花開くジャンル(説話・軍記)
    - 11~13 説話と説話集
    - 14 注釈の世界
    - 15~18 軍記物語の発生と展開
  - 4) 芸能・美術との交響
    - 19・20 能・狂言
    - 21・22 御伽草子
  - 5) 中世の終焉
    - 23・24 合戦の時代の終焉と江戸時代の足音
    - 25・26 まとめ

国  
文

#### 履修上の留意点

講義ノートを作成しておくこと。

#### 成績評価の方法

出席、授業態度、提出物、定期試験(前期・後期)によって総合的に評価する。

#### 教科書

『日本古典文学史』(双文社出版) 1,784円

科目名	国文学史I(古典)	開講	通年	単位	4
配当	国234選必				
担当者名	はやし たつや 林 達也				

講義のねらい

万葉から近世に至る、韻文を中心とした文学史。

講義の内容・  
授業スケジュール

古代前期(奈良時代まで)  
 記紀歌謡・万葉集・漢詩文集  
 古代後期(平安時代)  
 勅撰集(三代集・三代集以後)の歴史／歌合せ／物語と和歌／歌論・歌字  
 中世(鎌倉・南北朝・室町時代)  
 新古今集と新勅撰集／新古今時代の歌人／その後の勅撰集(玉葉集・風雅集)  
 頓阿・正徹／歌道師範家(二条・冷泉)／宗祇・三条西実隆／連歌・俳諧  
 近世(江戸時代)  
 堂上歌人とその周辺／徳川光圀の周辺／江戸派の人々／香川景樹と桂園派／良寛を中心に／貞門・壇林／芭蕉・蕪村・一茶

履修上の留意点

韻文は日本文学の中心的な位置を占める。にもかかわらず、学生の韻文への関心は低い。和歌の読解の機会も出来るだけ多くとりたいと思っているので、積極的な参加を期待する。

成績評価の方法

原則として、前期末と学年末の試験により評価する

教科書

講義資料をプリントして配布する

参考書等

新訂国文学入門(放送大学教育振興会)  
 日本文芸史第1巻～第8巻(河出書房新社)

科目名	国文学史II（近現代）	開講	通年	単位	4
配当	国234選必				
担当者名	勝原 <small>かつはら</small> 晴希 <small>はるき</small>				

講義のねらい

『新体詩抄』に始まる日本の近現代詩の流れを通観し、把握する。あわせて詩作品を読み味わう力を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

下記の項目に従って進める。

- |           |               |
|-----------|---------------|
| 1) 近代詩の源流 | 8) 口語自由詩へ     |
| 2) 讚美歌・唱歌 | 9) 象徴詩の展開     |
| 3) 『新体詩抄』 | 10) ヒューマニズムの詩 |
| 4) 『於母影』  | 11) 民衆詩派      |
| 5) 浪漫主義   | 12) 感情詩派      |
| 6) 『海潮音』  | 13) アヴァンギャルド  |
| 7) 象徴主義   | 14) モダニズム     |
|           | 15) 『四季』の詩人たち |

履修上の留意点

自分自身で詩作品を読み、作品の「ことば」を味わい、作品の「こころ」に触れる、柔軟で意欲的な姿勢を望む。

成績評価の方法

前後二回の試験による。成績評価は厳しくするので、そのつもりで受講すること。

教科書

適宜プリントを配布。

参考書等

和田博文編『近現代詩を学ぶ人のために』（世界思想社）

科目名	国文学史II (近現代)	開講	通年	単位	4
配当	国234選必				
担当者名	おかだ 豊 <small>ゆたか</small>				

講義のねらい

- (1) 同時代資料の読解トレーニングと読解力の向上  
 (2) 「～派・主義」の分類に終始せず、時代と表現を相関的にとらえて文学史を描くという作業の実践  
 (3) きまざまな作家や興味深い文学作品の紹介  
 以上3点を講義のねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

明治以降の日本の文学の流れを、特に小説を中心にし、かつ同時代資料を通して概観する。学生自らが当時の資料を実際に確認しながら、時代の雰囲気を感じ取ることができるよう、授業担当者はなるべく工夫していく。一般の参考書に出てこない事項、あるいは従来の文学史が描こうとしなかった事柄が出てくるときもあるので、積極的に授業に参加してほしい。

履修上の留意点

読みにくい資料が数多く出てくる。したがって、復習に重点をおき、辞書や事典類で調べる習慣をつけると力がつく。何年、いつ頃の話なのかを見失わないようにすると混乱が避けられる。ある時点、その前後にどんなことが起こっているのかを頭の中で整理していくのもよい。配布プリントを試験に出題するので、ファイルなどに綴じて保管しておく必要がある。

成績評価の方法

年2回(前期・学年末)の試験で評価する。

教科書

配布プリント

参考書等

その都度教場で紹介する。

国  
文

科目名	国語史	開講	通年	単位	4
配当	国234選必				
担当者名	やまもと しんご 山本 真吾				

講義のねらい

古代から近代にかけての日本語の諸問題について、当時の社会・文化・宗教等との関わりから、文献資料に基づいて多角的に考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

【前期】※以下の項目に従って、それぞれ2、3回ずつ講義を行う。 1、日本語史研究の方法 2、古代日本語の文字表記 3、古代日本語の語彙語法 4、語学的知識の古典解釈への応用 5、古代末言語の特徴 【後期】※以下の項目に従って、それぞれ2、3回ずつ講義を行う。 1、中世文献と日本語の変異 2、和漢混清文 3、室町時代語研究資料 4、江戸時代語研究の諸問題 5、近代日本語の成立

履修上の留意点

図書館等に所蔵の関連文献を大いに活用して欲しい。

成績評価の方法

試験の成績による。

教科書

用いない。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

その他

適宜プリントを配布する。

科目名	国語学研究I	開講	通年	単位	4
配当	国234選必				
担当者名	土井 光祐 <small>どい こうゆう</small>				

#### 講義のねらい

中世日本語について考えます。  
 古代から近代への日本語の移り変わりにおいて、その節目の時期に相当するのが中世です。中世日本語の資料、音韻、文字、文法、語彙、文体等を概観し、現代日本語への変遷過程を考察します。国語学に興味を持つ人には、より深い領域への入門となるよう、また古典文学に興味を持つ人には、基礎となる国語史的知識を身に付けることを目指します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1100年代後半～1600年に至る約500年間は、前代の古代語とは異なり、様々な点で近代につながる言葉の変化が確認できます。具体的な言語資料に認められる国語史上の事象を取り上げて考察していきます。主なトピックは次の通りですが、それぞれを個別に扱うのではなく、言語資料の性格に沿って、そこに見られる言語事象を複合的に観察して、個々の資料の性格を確認することを目指します。

- 中世の言語資料の拡がり
- 音韻史上の特質（国語音、漢字音、アクセント）
- 文字史・書記史上の特質（片仮名交り文、平仮名交り文、ローマ字文、仮名遣及び仮名遣い書）
- 文法史、語彙史上の特質（古代語の踏襲、新語、新語法の出現等）
- 文体史上の特質

#### 成績評価の方法

出席点30%、レポート内容70%

#### 教科書

プリントを配布。

#### 参考書等

授業中に紹介。

科目名	上代文学研究I	開講	通年	単位	4
配当	国234選必				
担当者名	なかしま しんや 中嶋 真也				

#### 講義のねらい

現存、日本最古の歌集『万葉集』を精読し、古代の歌の様相を探求していく。総じて日本古典において、「住吉」といえば「松」というように、地名は特定の景物と結び付けて捉えられることが少なくない。それは「歌枕」と称される。このことばは平安以降の和歌の説明に用いられ、『万葉集』研究には極力用いないというのが現状である。しかし「歌枕」認識はそれまでに詠まれた歌々の蓄積があってこそ誕生するものである。『万葉集』の歌々が「歌枕」と無縁ではありえないのである。そのような後代の受容を意識しつつ、『万葉集』において、地名と景物がどのような表現を織り成しているのかを見届けることを、この講義の目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

最初は『万葉集』の概説を行なう。全20巻に及ぶ『万葉集』の歌の所収状況や、現在4つの区分で説明される作歌の時期などの説明を丁寧に行なう。『万葉集』を読んだ経験は各人によって差があろうが、初学者にも十分配慮する。その上で、具体的な地名を詠んだ歌を取り上げ、どのような景物とともに、どういった表現を成り立たせているのかを見ていく。本年は『万葉集』を生み、育んだ大和国（今の奈良県）の地名を中心に取り上げる予定である。

#### 履修上の留意点

毎回の授業で、できるだけ多くの歌を取り上げ、かつ精読していくつもりだが、各人が一層の興味を持って、さまざま読みを深めてほしい。また、そのような熱心な学生の意見や要望は、積極的に授業に生かしていきたい。講義というスタイルだが、主体的な受講を切に希望する。

#### 成績評価の方法

出席状況、授業態度、学期末試験などを軸に評価する。

#### 教科書

鶴久・森山隆『万葉集』（おうふう）

#### 参考書等

授業中に適宜指示する。

#### その他

テキスト以外の資料は、必要に応じてプリントで配布する。

科目名	上代文学研究II	開講	通年	単位	4
配当	国234選必				
担当者名	ただ かずおみ 多田 一臣				

講義のねらい

「古代文学と吉野」と題して講義を行います。吉野は、古代文学にとってもっとも重要な意味をもつ土地です。その吉野の風土論的な意味を、万葉集、記紀、靈異記などを通して探っていきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

体系的な知識の伝授が目的ではないので、年間スケジュールなどは立てられません。上に書いたようなことを、適宜おしゃべりして行きます。文学部の授業とは、本来そうしたものです。

履修上の留意点

出席は取りませんが、欠席はしないように。毎回プリント資料を配付するので、欠席が多いと、それが無駄になります。

成績評価の方法

受講者数次第です。少なければレポート、多ければレポートと試験の折衷。

教科書

使用しません。

参考書等

必要があれば、講義中に紹介します。

その他

配布プリントを用いて講義します。昨年の授業とやりかたは基本的に同じです。

国  
文

科目名	中古文学研究I	開講	通年	単位	4
配当	国234選必				
担当者名	さくらい ひろのり 桜井 宏徳				

講義のねらい

『源氏物語』以後、平安時代後期から中世にかけての王朝物語・歴史物語の展開をたどり見ることを通じて、物語文学の多彩なあり方について考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

『無名草子』の物語批評を糸口として、さまざまな王朝物語・歴史物語を紹介し、物語の本文にも触れながら、その特質や文学史上の位置づけについて講義する。

履修上の留意点

講義では多くの物語を取り上げるので、その中から各自の興味・関心に即した作品を選び、原文を読んでみてほしい。

成績評価の方法

①レポート ②出席状況 ③その他によって総合的に評価する。

教科書

桑原博史校注『無名草子』〈新潮日本古典集成〉(新潮社、1976年) 2,310円

参考書等

授業時に適宜紹介する。

その他

授業は講義形式とする。また、適宜プリントを配布する。

科目名	中古文学研究II	開講	通年	単位	4
配当	国234選必				
担当者名	まつい けんじ 松井 健児				

講義のねらい

『源氏物語』の自然叙述を、その歴史的・表現史的な背景を踏まえつつ読み解いてゆく。ことに自然叙述の種々相における、認識方法や類型化の問題を、表現それ自体に内在する歴史性の問題として扱うことによって王朝文化論としての展開を試みる。

講義の内容・  
授業スケジュール

『源氏物語』より、訪問・宴・儀礼など、固有の意味を持ついくつかの場面を取り上げつつ講読する。具体的には、物語叙述と詩歌表現とを相互に関連付ける、歴史的心性および言語表現史への言及ということになる。折に触れ、王朝絵画や文様など、他の関連分野との比較検討を行う。

履修上の留意点

毎回、長文の本文を講読する。『源氏物語』の文章は難解で知られる。また、和歌・漢詩を数多く読むこととなる。古語辞典等を活用しつつ、自宅での予習・復習の時間にじっくりと本文と向き合い味読してほしい。また、この講義では、受講生による本文の音読を重視する。

成績評価の方法

①本文解釈を中心としたレポート ②出席状況 ③その他を総合して行う。

教科書

授業時にプリントを随時配布する。

国  
文

科目名	中世文学研究I	開講	通年	単位	4
配当	国234選必				
担当者名	さくらい ようこ 櫻井 陽子				

講義のねらい

軍記物語、そして『平家物語』について、文学史上における意味・意義・問題点について講義し、次に作品の内容を紹介する。

その上で、『平家物語』の多くの登場人物の中から、巻十を中心に平維盛と平重衡に焦点をあてて諸章段を読む。死に立ち向かう人間の苦悩・覚悟・悲しみなどを読み解きながら、『平家物語』は何を描写し得たのか、何を切り落としたのかを考える。諸本による相違に目を配ることによって、『平家物語』の多面的な問題に触れる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1～5 軍記物語にはどのような特徴があるか。
- 6～10 『平家物語』にはどのような特徴があるか。
- 11 『平家物語』巻十の位置づけ。平維盛と平重衡の説明。
- 12～ 『平家物語』諸章段を読む。

履修上の留意点

講義ノートを作成しておくこと。

成績評価の方法

出席・授業態度・レポート・定期試験によって総合的に評価する。

教科書

授業時に指示する。

参考書等

授業時に指示する。



科目名	中世文学研究II	開講	通年	単位	4
配当	国234選必				
担当者名	田中 徳定 <small>たなか のりま</small>				

#### 講義のねらい

中世は、保元・平治の乱、源平の合戦に始まる。それまでの平安な貴族中心の社会が大きく転換していった時代であった。それにともない、既成の価値観は大きく揺らいでいくことになる。中世という時代は何故出現したのだろうか。また、平安時代とは何が変わり、何が変わらなかったのだろうか。神仏・鬼・天狗等をキーワードとして、文学作品から中世という時代を考えるとともに日本人の信仰や思想のありようを探究する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

激動しながら転変していく時代の中で、中世の知識人達は、時代・社会を動かす「もの」とは何であると考えたのだろうか。中世における神仏への信仰のありようとは如何なるものであったのだろうか。中世になると何故天狗が力を持つようになるのだろうか。鬼は何故退治されるようになってしまったのだろうか。人々はどのように時代に対処して新しい生き方を切り開いていったのだろうか。以上のような問題について、中世文学の諸分野（随筆、評論、軍記、説話、室町時代物語）の作品を読みながら、中世という時代を考え、日本人の信仰や思想のありように迫りたいと考える。

#### 成績評価の方法

レポートによる（課題は授業中に指示する）。

#### 教科書

その都度、プリントを配布する。

#### 参考書等

授業中に随時指示する。

国  
文

科目名	近世文学研究I	開講	通年	単位	4
配当	国234選必				
担当者名	近衛 典子 <small>このえ のりこ</small>				

#### 講義のねらい

上田秋成の読本『雨月物語』を読む。

#### 講義の内容・授業スケジュール

単に小説のストーリーを追うだけでなく、典拠となった中国白話小説や日本の古典作品の精読、本文との比較検討などを通して、浮かび上がってくる作品の主題を考える。

#### 履修上の留意点

出席重視。

#### 成績評価の方法

出席状況、受講態度、レポート等を総合し評価する。

#### 教科書

鷲山樹心編『講読雨月物語』（和泉書院）

#### その他

講義

科目名	近代文学研究I	開講	通年	単位	4
配当	国234選必				
担当者名	榎本 正樹				

講義のねらい

90年代以降にデビューした新しい作家の作品を網羅的にとりあげ、その作家固有のテーマや表現、モチーフを検証し、さらには同時代的な意義やジャンルの可能性を探ります。

講義の内容・授業スケジュール

現代日本文学のフィールドで重要だと思われる作家・作品を網羅的に解読・分析し、作品に内在するテーマ、モチーフ、表現や語りの技法、周辺メディアとの関連などを抽出していきます。扱う作品は主流系文学に限定せず、あらゆるジャンルの小説ジャンルを対象とします。

今年度の授業では、昨年（2006年）映画公開された現代日本文学を原作とする映画を、原作と比較しながら解読する小特集的なテーマを設定します。小川洋子『博士の愛した数式』、群ようこ『かもめ食堂』、江國香織『間宮兄弟』、恩田陸『夜のピクニック』、村山由佳『天使の卵』、山田詠美『風味絶佳』などを取り上げる予定です。

榎本は研究活動の一環として現代作家へのインタビューや取材を積極的に行っていますので、授業では作家の生の情報や現場のエピソードなども盛りこんでいきます。

履修上の留意点

現代日本文学、映画、同時代のメディア全般に興味をもつ学生の履修を歓迎します。

成績評価の方法

学期末提出のレポートの内容をメインに、出席点と授業の参加度を加味し評価します。

教科書

使用しません。取りあげる作品を事前に読んでいなくても理解できる形で、授業は進めません。

参考書等

参考文献等は教室で指示します。

その他

講義形式をとります。資料はプリントで配付します。履修に際しては、榎本のプロフィールや研究業績が掲載されているサイト (<http://enmt.jp>) も参考にしてください。

国  
文

科目名	近代文学研究II	開講	通年	単位	4
配当	国234選必				
担当者名	高田 知波				

講義のねらい

年間テーマは「漱石を読む」である。国民的作家と呼ばれる漱石は、著名な作家であるぶん、その作品の読みにはさまざまなバイアス（先入観）が付着している。そうしたバイアスから作品を解き放つ《読み》というものを追求したい。

講義の内容・授業スケジュール

漱石の代表作の中から、『こころ』『三四郎』『それから』の3作を選びこの順番で読んでいく。

履修上の留意点

講義形式ではあるが、受講生参加型の授業である。毎時間、授業の中で、多数の学生を指名して、意見や想像を含むさまざまな発問を行い、時には小討論も取り入れる予定であるので、それに対応できる心積もりをもって受講してほしい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験によって評価を出す。欠席多数者は受験資格を失うことがある。

教科書

夏目漱石『こころ』『三四郎』『それから』（いずれも新潮文庫）

参考書等

教場で指示する。

科目名	国語学特講I	開講	通年	単位	4
配当	国234選必				
担当者名	山本 <sup>やまもと</sup> 真吾 <sup>しんご</sup>				

講義のねらい

平安時代語の諸問題。これまであまり知られていない新資料を活用し、新たな視点や方法を導入することによって、平安時代語の新しい研究領域を探る。

講義の内容・  
授業スケジュール

【前期】※以下の項目に従って、それぞれ3、4回ずつ講義を行う。

- 1、平安時代語の研究水準と問題点
- 2、文献資料の多様性
- 3、仮名資料の諸相
- 4、平安仮名文学の言語

【後期】※以下の項目に従って、それぞれ3、4回ずつ講義を行う。

- 1、漢字専用時代の継承
- 2、漢文の理解
- 3、漢文の表現
- 4、片仮名交じり文の系譜

履修上の留意点

図書館等に所蔵の関連文献を大いに活用してほしい。

成績評価の方法

(講義最終回に予定の) 試験の成績による。

教科書

用いない。適宜プリントを配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	国語学特講II	開講	通年	単位	4
配当	国234選必				
担当者名	高田 智和				

講義のねらい

1. コンピュータを利用した日本語研究の方法を習得します。 2. 利用可能な電子化テキストについて理解します。 3. 電子化テキストを用いた日本語研究の現状と課題を解説します。

講義の内容・授業スケジュール

前期 1. (1-4) ことばの計量的研究概説 2. (5-13) いろいろな電子化テキスト  
後期 3. (14-20) 電子化テキストを利用した日本語研究の方法 4. (21-26) 文字コードと漢字処理

履修上の留意点

授業では総合学術センターのパソコンを使用しますが、初心者でも受講可能です。

成績評価の方法

授業への出席状況、授業時間内での簡単な課題発表、提出物(レポート等)、期末試験などによって総合的に判断します。

教科書

教科書は使用しません。必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

『計量言語学入門』(伊藤雅光、大修館書店、2002) 『パソコンを使う日本語研究』(『日本語学』14巻7月臨時増刊号、明治書院) 『新聞電子メディアの漢字一朝日新聞CD-ROMによる漢字頻度表一』(横山詔一・笹原宏之・野崎浩成・エリク=ロング、三省堂、1998)

その他

授業は講義のほか、パソコンを使用した実習を予定しています。

科目名	国文学特講I	開講	通年	単位	4
配当	国234選必				
担当者名	吉田 幹生				

講義のねらい

日本古代の恋愛文学史を考える。具体的には、初期万葉の時代とされる7世紀後半から『源氏物語』が書かれた11世紀初頭にかけての恋愛文学史上の諸問題を、個々の作品に即しながら考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、7世紀後半から10世紀初頭を主たる対象にする。具体的には、『万葉集』や『古今和歌集』に収められた歌々を取り上げて、「行路死人歌」「石見相聞歌」「怨恨歌」といった作品の分析や、「夢」「人の心」といった言葉の考察を通して、この時代の恋愛観を探っていく。  
後期は、10世紀初頭から11世紀初頭を主たる対象にする。具体的には、『竹取物語』『蜻蛉日記』『源氏物語』を取り上げて、難題求婚譚の展開・道綱母の心情の推移・六条御息所の生霊化などの分析を通して、この時代の恋愛観の深まりを考えていく。

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

定期試験に基づくことを基本とするが、出席率や授業態度についても考慮する場合がある。

教科書

特になし。

参考書等

特になし。

その他

講義形式。プリント配布。

科目名	国文学特講II	開講	通年	単位	4
配当	国234選必				
担当者名	わたなべ やすあき 渡部 泰明				

講義のねらい

西行の和歌と伝承を探る。

講義の内容・  
授業スケジュール

歌人西行の実人生を大まかにたどった上で、彼の人生と和歌を物語化した『西行物語』を精読し、彼の代表歌を分析する。西行の和歌を通して、和歌とは何か、と言う問題も考えたい。

履修上の留意点

とくになし。

成績評価の方法

学期末の最終授業日における二度の筆記試験を主体に（80%）、出席状況を勘案（20%）して評価する。

教科書

なし。

参考書等

講談社学術文庫『西行物語』

その他

講義形式。適宜プリントを配布するので、各自ファイル等を用意すること。

国  
文

科目名	国文学特講III	開講	通年	単位	4
配当	国234選必				
担当者名	わたなべ やすあき 渡部 泰明				

講義のねらい

古典文学の演劇的再生の探求。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、現代演劇の推進者の一人野田秀樹の演劇活動をたどる。とくに『贗作・桜の森の満開の下』を例に、民話・神話の世界から、坂口安吾の小説世界、野田の劇世界への展開の筋道を分析する。また、野田秀樹とともに活動する高都幸男氏を特別講師として招き、ワークショップ形式で、演技の初歩を体験してもらう（5回）。後期は、古典文学の朗読などを実践し、佐藤照明氏の演技ワークショップを体験した後（3回）、数人のグループに分かれ、古典文学作品の演劇化を試み、簡単に上演してもらう。

履修上の留意点

実際に発声練習などを含めた演技を実践してもらう。演劇体験の有無は全く問わないが、服装などはそれに応じたものであることが望ましい。

成績評価の方法

前期最終日における筆記試験（40%）、後期最終日における上演（60%）を総合して評価する。

教科書

なし。

参考書等

野田秀樹『贗作・桜の森の満開の下』。

その他

講義形式も取り入れるが、基本的には全員の演技・脚本執筆など演劇実践が主体となる。

科目名	国文学特講IV	開講	通年	単位	4
配当	国234選必				
担当者名	いわさき まさひこ 岩崎 雅彦				

講義のねらい

能の詞章である謡曲を読む。

講義の内容・  
授業スケジュール

始めに能についての概説を行い、以下、「葵上」「景清」「恋重荷」「俊寛」「熊野」「紅葉狩」等の作品を講読する。

履修上の留意点

成績評価の方法

前期・後期末に、それぞれレポート提出。

教科書

授業時に指示する。

参考書等

表章構成 別冊『太陽』能（平凡社）  
岩波講座『能・狂言』（岩波書店）

その他

講義形式。

科目名	国文学特講Ⅴ	開講	通年	単位	4
配当	国234選必				
担当者名	佐藤 武光				

### 講義のねらい

映像表現は、もはや専門家だけの表現手段ではなくなった。デジタル時代に入り、誰でも自由に撮影、編集し作品作りが可能なのである。しかもそれを劇場用映画フィルムに変換する事さえ可能なのである。今や映像にプロもアマもなくなり「1億総監督時代」に突入したと言える。映像表現力の豊かさは、他の表現では、伝達できないパワーを持つからに他ならない。しかし誰をも魅了できる映像を作る事は至難の技である。しかし一方で映像の氾濫の時代でもある。求められてくるのは、映像の Literacy <リテラシー・読み書き能力> である。そこからメディア・リテラシー及びシネマ・リテラシーの概念、派生、そこで本講座は、日本の名作を取り上げ映像演出論、脚本論を考察し、又ドキュメンタリー、学生映画、中学生による映画CM等、時代が生み出す世代が生み出す映像を考えます。又映像の企画制作配給の実体を解説します。総じて、映像表現の美学的可能性を追求し、創造的映像批評力の養成をめざします。いわゆるシネマ・リテラシー（読み書き能力）を考えます。

### 講義の内容・授業スケジュール

- ①視点の違う作家達（作品上映して）
  - (イ) 小津安二郎の世界 (ロ) 今村昌平の世界 (ハ) 黒沢明の世界 (ニ) 学生映画の世界 (ホ) ジュニアシネマ（中学生）の世界 (ヘ) 他の監督
- ②メディアリテラシー及びシネマリテラシーの考察
  - (イ) メディア受容能力 (ロ) メディア使用能力 (ハ) メディア表現能力
- ③映画ビジネス
  - (イ) 企画、制作、配給 (ロ) プロデュース論
- ④シナリオ創作演習
  - (イ) 十本企画（何を書きたいか？）(ロ) テーマ（誰の為に作るのか）(ハ) 時代は何を求めているか（対象性）(ニ) 作家性
- ⑤シナリオワークショップ
  - (イ) 名作シナリオの実践的分析（用心棒、愛と青春の旅立等）

### 履修上の留意点

日常的映像が何を目的として作られているかを考えながら映像感覚をみがく（TV、CM、映画等）

### 成績評価の方法

作品上映後のレポート提出及び後期末提出のシナリオ作品（200字30枚以上）で評価する

### 教科書

授業時に指示する

### 参考書等

参考文献は、講義の中で紹介します

### その他

基本的に講義中心だが、作品上映後等でディスカッション中心の授業にしたい

科目名	国文学特講VI	開講	通年	単位	4
配当	国234選必				
担当者名	津島 知明				

講義のねらい

清少納言の『枕草子』を精読しながら、古典文学を読むにあたっての様々な問題を考えてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

はじめの数時間は、本文の異同、諸本の問題など、古典研究に必要な基礎知識から、時代背景、享受と研究の歴史、現時点での課題や問題点などを概説します。  
以後は、日記回想段と呼ばれる部分を中心に本文を読み進めて行きます。年表や系図などを参照しながら、ひとつひとつの表現に立ち止まり、『枕草子』の世界を再構築して行ければと思います。また、折々「写本」に触れる機会も作ってゆく予定です。

成績評価の方法

平常点（出席状況、レポートなどを総合的に評価）

教科書

岸上慎二『校訂 三卷本枕草子』（武蔵野書院、1240円）。

参考書等

津島知明『動態としての枕草子』（おうふう）『ウェイリーと読む枕草子』（鼎（かねえ）書房）  
その他、授業時に指示する。

その他

講義形式。ただし、理解度や疑問点の有無などを折々確認しながら進めて行く。

国  
文

科目名	国文学特講VII	開講	通年	単位	4
配当	国234選必				
担当者名	関根 賢司				

講義のねらい

文学史・物語史を背景に、『伊勢物語』を、『古今和歌集』『大和物語』『源氏物語』などと比較しながら（インターテクスチュアリティの視点から）読む。

講義の内容・授業スケジュール

初めに、古代・中世の物語史を概観し、『伊勢物語』の諸問題（作者・成立・書名・構成・主題・主人公と在原業平・歌物語というジャンルなど）について解説し、『伊勢物語』を初段から読み進めていく。

履修上の留意点

あらかじめ『竹取物語』を（現代語訳ではなく）岩波文庫や角川文庫で（岩波の新古典大系や小学館の新編古典全集などでもよい）通読し、古典を読むことに親しみ、初期の物語史のイメージを描いておくこと。

成績評価の方法

出席状況、小テスト、レポート（前期『竹取物語』について、後期『伊勢物語』について）によって判断する。

教科書

神野藤昭夫・関根賢司編『新編伊勢物語』（おうふう、1995円）

参考書等

室伏信助編『伊勢物語の表現史』（笠間書院）、関根賢司著『伊勢物語論 異化と脱構築』（おうふう）など。

その他

講義形式。時に質問して対話し、時に朗読させたりすることもある。



科目名	国文学特講VIII	開講	通年	単位	4
配当	国234選必				
担当者名	いげやま あきら 池山 晃				

#### 講義のねらい

井原西鶴が歌舞伎界を題材に執筆した『嵐は無常物語』（元禄元年1688年）をとりあげる。本作は、当時の人気役者、嵐三郎四郎の自殺という事件に取材したもので、歌舞伎役者の追善供養を目的とした作品の先駆的存在にあたる。作中の「男色」「義理」といったテーマについて考えるとともに、当時の演劇界に関する専門知識についても、理解を深める。

#### 講義の内容・授業スケジュール

まず、歌舞伎の成立についての概説をおこなう。次に本作を扱うが、その構成は、上巻三話が主人公三郎四郎の死に至るまでの経緯、下巻四話はその没後のエピソード、というものである。順次読み進めていくが、各種資料や西鶴の関連作品を随時参照しながら、広い視野をもって読んでいく。

#### 履修上の留意点

配付プリントは必ず確保すること。また、早めに配付されたプリントは、あらかじめ目を通しておくことが望ましい。

#### 成績評価の方法

前後期末に試験をおこなう。出席状況などの平常点も勘案する。

#### 教科書

なし。プリントを配付する。

#### 参考書等

プリントを配付する。他は随時指示する。

#### その他

授業は講義形式。

国  
文

科目名	国文学特講IX	開講	通年	単位	4
配当	国234選必				
担当者名	かんだ ゆみこ 神田 由美子				

#### 講義のねらい

首都〈東京〉は、明治時代から現代まで、江戸的な場所を東京的な空間に変化させることで、近代化の象徴としての役割を果たしてきた。本講座では、その近代化の象徴としての東京の空間と文学との関わりを、具体的な作家と作品を通して考えていきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、樋口一葉「たけくらべ」の吉原遊郭、「濁り江」の銘酒屋街、泉鏡花・芥川龍之介・三島由紀夫と鹿鳴館、森鷗外「雁」の無縁坂、永井荷風「夢の女」の新橋停車場、夏目漱石と三越など、明治の〈東京〉を代表する空間を取りあげ、後期は、佐藤春夫「美しい町」の中洲、芥川龍之介「歯車」の銀座、川端康成「虹」の浅草、志賀直哉「灰色の月」の東京駅、村上春樹「ノルウェイの森」の新宿・渋谷・中央線など、大正から現代の〈東京〉を象徴する場所を扱う予定である。

#### 履修上の留意点

講義で取り上げる作品は、授業の前に必ず一読してくる。

#### 成績評価の方法

前・後期各1回のレポートと授業中の参加態度によって評価する。

#### 教科書

テキストは用いず、プリントを用意する。

樋口一葉『たけくらべ』『にごり江』、芥川龍之介『舞踏会』『歯車』、三島由紀夫『鹿鳴館』、森鷗外『雁』、夏目漱石の諸作品、永井荷風『夢の女』『隅田川』、志賀直哉『灰色の月』、佐藤春夫『美しい町』、村上春樹『ノルウェイの森』は文庫本で読めるので、各自用意しておくこと。

科目名	国文学特講X	開講	通年	単位	4
配当	国234選必				
担当者名	くしまつ としひで 国松 俊英				

### 講義のねらい

この時間では、童話や児童文学の創作を書く。もともと創作は個人の作業である。何を、どのように書いていくかは、ひとりひとりが書きながら考え、苦しみながらその方法を見つけていくものだ。

とはいうものの、創作するための手がかりがあれば、より早くより確実にその方法を見つけることができる。道すがすが判れば、迷ったり悩んだりしなくてもすむだろう。この時間では、書いていく手がかりを提示し、それをもとにいろんな作品に挑戦する。童話、児童文学を書くことの楽しさとすばらしさをみんなが獲得できるようにしたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

①原稿用紙の使い方 ②個性ある文章を書くために ③物語作りのはじめ—どんな方法で書くか ④題材はどこで見つけてくるか ⑤ストーリーを組み立てる ⑥魅力あるキャラクターを作る ⑦説明文と描写文 ⑧生きた会話を書くには ⑨長篇と短編 ⑩表現技術を高める

### 履修上の留意点

これまでに一度も童話や創作を書いた経験がない人もかまわない。この時間では、文章の書き方のABCから始めるつもりである。

### 成績評価の方法

提出作品と出席状況で評価する。

### その他

受講希望者が多い場合は、人数制限がある。第1回の授業で受講者を決定するので必ず出席すること。

講義・実技・合評を組み合わせる授業を行う。

科目名	国文学特講XI	開講	通年	単位	4
配当	国234選必				
担当者名	えのもと まさき 榎本 正樹				

#### 講義のねらい

世界的に見ても類を見ない表現ジャンルとして進化した、日本のマンガとアニメについて考察します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期はアニメ、後期はマンガについて講じます。  
 前期は宮崎駿監督のアニメ10作品を論じます。『未来少年コナン』『ルパン三世 カリオストロの城』『風の谷のナウシカ』『天空の城ラピュタ』『となりのトトロ』『魔女の宅急便』『紅の豚』『もののけ姫』『千と千尋の神隠し』『ハウルの動く城』について、作品発表順に作品論を展開し、宮崎駿の世界に批評的にアプローチしていきたいと思えます。  
 後期はマンガ論をとりあげます。マンガには、表現論、物語論、ジャンル論、流通論、メディア論、ジェンダー論、記号論、身体論、作家論、読者論など多様なアプローチが可能です。本講義では、「マンガを解読するための方法論」について考えていきます。マンガを成立させている記号的要素をさまざまな作品から抽出し、それらを「マンガを読むための理論」へとつないでいきます。

#### 履修上の留意点

マンガやアニメだけでなく、文学の周辺ジャンルやサブカルチャーに興味をもつ学生の履修を歓迎します。学生からの質問や問題提起にも積極的に応じたいと思えます。

#### 成績評価の方法

学期末提出のレポートの内容をメインに、出席点と授業の参加度を加味し評価します。

#### 教科書

後期は四方田犬彦『漫画原論』（ちくま学芸文庫）を軸に授業を進めますが、購入する必要はありません。

#### 参考書等

参考文献等は教室で指示します。

#### その他

講義形式をとります。前期は視聴覚系資料のプレゼンテーションを併用した形で行います。資料はプリントで配付します。履修に際しては、榎本のプロフィールや研究業績が掲載されているサイト (<http://enmt.jp>) も参考にしてください。

科目名	国語国文学演習I 国語学演習I	開講	通年	単位	4
配当	国2必(14年度以降入学生) 国2必(13年度以前入学生)				
担当者名	どい こうゆう 土井 光祐				

講義のねらい

現代語に至る日本語の歴史を文献資料で具体的に跡づける中で、言葉の「調べ方」の基本を学びます。

講義の内容・  
授業スケジュール

1593年刊行の天草版平家物語を国語史の観点から分析します。  
天草版平家物語は、天草版伊曾保物語、同金句集と合綴されて、ロンドン大英図書館に所蔵されているローマ字口語文体のキリシタン資料の一種です。鎌倉時代成立の平家物語を室町時代末期の口語で訳したもので、当代の好個の言語資料として知られています。1200年前後の言語を背景とする鎌倉時代の平家物語と、約400年後の室町時代末期の口頭語を反映する天草版平家物語、更に400年経過した現代口頭語と並置させ、音韻、文法、語彙、文体等の諸点から言語比較して、現代語の形成過程を具体的に観察します。

成績評価の方法

発表内容、レポート内容、出席点の総合。

教科書

プリントを配布。

参考書等

授業中に紹介。

その他

科目名	国語国文学演習I 国文学演習I	開講	通年	単位	4
配当	国2必(14年度以降入学生) 国2必(13年度以前入学生)				
担当者名	中嶋 真也				

#### 講義のねらい

『万葉集』をよむことを通じて、古典文学研究の実際を体得し、また自身の理解したことを他の人に正確に伝えるための発表技術（資料作成ならびに口頭発表）を習得することを目的とする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

現在刊行されている、いくつかの抄出された『万葉集』をもとに一首一首を丹念によんでいく。本格的によむのは初めてという学生がほとんどであろうが、抄出された『万葉集』はその作品を知るには格好な素材である。  
最初の数回の授業で、『万葉集』に関する概説と、演習において求める調査方法などの解説を極力丁寧に行う。  
発表者は、原文・訓みの確定、歌人に関する情報、歌の内容理解を宗とした発表を行ってもらおう。その上で受講者全員での討議へとうつる。

#### 履修上の留意点

演習の主体は、学生の側にある。自分が発表ではない回も欠席は慎むこと。また、討議にも積極的に参加すること。

#### 成績評価の方法

発表、質疑、それに対する応答、提出物、出席状況によって総合的に評価する。

#### 教科書

鶴久・森山隆『万葉集』（おうふう）

#### 参考書等

授業中に適宜指示する。

科目名	国語国文学演習I 国文学演習I	開講	通年	単位	4
配当	国2必(14年度以降入学生) 国2必(13年度以前入学生)				
担当者名	松井 健児				

講義のねらい

平安時代物語の研究を自立的に展開できる基礎的な方法および意識を養う。具体的には、『源氏物語』を対象とし、その物語内容を理解するのみではなく、その内容を導き出す、古代物語の方法や構造をとらえることに主眼を置く。

講義の内容・授業スケジュール

受講者による研究報告形式をとる。『源氏物語』『初音』『胡蝶』以降の巻を直接の対象として、巻の前後へと派生し展開していく諸問題を考察する。本文を読み込み、合わせてさまざまな注解や論文を読むことによって、たんなる感情移入や印象批評におわることなく、『源氏物語』の全体像を視野に入れたうえでの分析的な研究を展開できる技術を養う。

履修上の留意点

演習科目は学生相互の協力によって成り立つ。おのおのの発表にさいして提供しあう情報量と質が、この科目の成否を決定する。

成績評価の方法

受講者による (1) 演習発表資料 (2) 発表内容 (3) レポート (4) 出席状況 (5) その他を総合して行う。

教科書

石田穰二・清水好子・校注、新潮日本古典集成『源氏物語 四』(新潮社)

参考書等

参考書は授業時に紹介する。

国  
文

科目名	国語国文学演習I 国文学演習I	開講	通年	単位	4
配当	国2必(14年度以降入学生) 国2必(13年度以前入学生)				
担当者名	高橋 文二				

講義のねらい

平安時代の仮名日記を読み、女流日記文学の特質を考える。

講義の内容・授業スケジュール

受講者の研究発表を軸にして進める。最初の3回ほど日記文学について概説し、最後の2回ほどは「まとめ」と今後の展望について言及する。

履修上の留意点

予習には特に時間をかけてほしい。用語の調査、注釈書の検討などは当然の前提となる。

成績評価の方法

研究発表の内容、発表資料、レポート、出席状況などを踏まえて行なう。

教科書

高橋編『紫式部日記』(おうふう刊) ¥1,600

参考書等

授業中、必要のある都度紹介する。

科目名	国語国文学演習I 国文学演習I	開講	通年	単位	4
配当	国2必(14年度以降入学生) 国2必(13年度以前入学生)				
担当者名	さくらい しょうこ 櫻井 陽子				

講義のねらい

古典文学の調査・研究の方法の基礎を学びつつ、中世文学を代表する軍記物語に親しむ。

講義の内容・  
授業スケジュール

『平家物語』巻四を読む。一回の発表で、一人一章段を採り上げる。章段を選び、自分でテーマを設定して調査し、報告する。必要に応じ、諸本の比較、周辺作品との比較を行う。発表後の討議の中で自分の問題意識を掘り下げる。後日、レポートにまとめて提出する。

1～3 『平家物語』と巻四の説明

4 担当章段の決定

5～ 発表と討議

履修上の留意点

学生自身が、些細であっても自分なりの問題点や関心を持つこと。また、自身の発表時以外には積極的に質疑・討論に参加すること。

成績評価の方法

口頭発表、レポート、出席、質疑への参加の様子を踏まえて総合的に判断する。

教科書

『平家物語』二（岩波文庫）

参考書等

授業中に適宜指示する。

国  
文

科目名	国語国文学演習I 国文学演習I	開講	通年	単位	4
配当	国2必(14年度以降入学生) 国2必(13年度以前入学生)				
担当者名	たなか のりさだ 田中 徳定				

講義のねらい

古典文学を読解・調査していくための基本的な文献を学び、それらの文献によって実際に古典文学作品を読解する方法を身につけることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

『徒然草』をとりあげ、語彙調査の方法や歴史的史料の扱い方を学ぶ。また、関連する物語・説話にも広く眼を向けて、中世の人々の思想や信仰、及び平安時代以来の貴族文化の美意識について探究する。

成績評価の方法

授業時間内に行なう口頭発表とその内容をまとめたレポートによる。

教科書

鈴木知太郎・西一祥編『新注 徒然草』（おうふう）1,800円

参考書等

授業中に随時指示する。

科目名	国語国文学演習I 国文学演習I	開講	通年	単位	4
配当	国2必(14年度以降入学生) 国2必(13年度以前入学生)				
担当者名	このえのりこ 近衛 典子				

講義のねらい

古典文学読解のための基本的な力を養うことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

上田秋成の『藤簍冊子』(つづらぶみ)を読む。短文の中に織り込まれた和歌、物語、漢詩などを的確に把握し、秋成の和文の妙味をじっくりと味わいたい。授業は受講者による発表形式をとり、質疑応答によって読みを深めていく。

履修上の留意点

発表者は担当部分の語彙の用例調査、典拠の検討、登場人物の伝記的調査等の結果を踏まえて、正確な読みを提示すべく試みる。受講者は積極的に質疑応答に参加すること。

成績評価の方法

演習発表資料、演習内容、出席状況、レポート、その他を総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

新日本古典文学大系『近世歌文集(上・下)』(岩波書店)、『上田秋成全集』(中央公論社)



科目名	国語国文学演習Ⅰ 国文学演習Ⅰ	開講	通年	単位	4
配当	国2必(14年度以降入学生) 国2必(13年度以前入学生)				
担当者名	林 達也				

#### 講義のねらい

- ・芭蕉の『奥の細道』を読む。
- ・本講義は基礎演習的な要素をもつ。テキストを理解するとはどういうことか、理解のためにはどういう手続きが必要か、などのことがらについて、身をもって修得することを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- ・『奥の細道』を最初の章段から読み進める。
- ・『奥の細道』の通釈書は多数ある。その中から必読文献を指定し、解釈の比較を行い、その過程を通して自分の読みを定めてゆく。一字一句にこだわって、丁寧に読む。
- ・適切な辞書の使い方を覚える。
- ・参考文献の探し方・利用方法を身につける。
- ・参考文献を踏まえながら自分の考えを展開する習慣を身につける。
- ・効果的な発表方法を考え、実行する。

#### 履修上の留意点

- ・演習であるので、出席を義務とする。
- ・授業には積極的に参加しなければならない。
- ・発表者は、参考資料（レジュメ）を作成する。

#### 成績評価の方法

- ・発表時の方法・成果・資料の作成の仕方、学年末提出のレポート、授業への参加姿勢の三点によって評価する。

#### 教科書

『奥の細道』（岩波文庫）

#### 参考書等

『新訂 おくのはそ道』 額原退蔵・尾形仵 角川文庫  
『おくのはそ道』 板坂元・白石悌三 講談社文庫  
『おくのはそ道 全訳注』 久富哲雄 講談社学術文庫  
『おくのはそ道』 安東次男 岩波書店  
『古典鑑賞講座 奥の細道』 林達也 日本通信教育連盟  
『芭蕉文集』 日本古典文学大系 岩波書店  
『芭蕉文集』 新潮日本古典集成 新潮社  
『松尾芭蕉集』 新編日本古典文学全集 小学館  
『芭蕉 旅へ』 上野洋三 岩波新書  
『芭蕉自筆 奥の細道』 岩波書店

#### その他

- ・授業はレポーターの発表を中心に進める。
- ・発表資料作成にあたっては、広く資料を探し、具体的にわかる方法（例えば、図録・絵画活用等）をとること。

科目名	国語国文学演習I 国文学演習I	開講	通年	単位	4
配当	国2必(14年度以降入学生) 国2必(13年度以前入学生)				
担当者名	おくだ 伸たか 岡田 豊				

#### 講義のねらい

演習という授業の初学者に対し、作品を丹念に読み、みずからの言葉で論じるということの基礎的トレーニングを行う。特に発表技術の習得、レジユメの作成方法、ディスカッションの方法についての指導に重点をおく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

明治から昭和初期までの小説を読む  
いくつかの短編小説を取り上げて読む。時代の背景や物語の構造などに注目しながら各人各様の作品論を展開していく。

#### 履修上の留意点

発表を体験するだけでも大きな発見がある。皆の意見を誘うような見解を考え、自分たちの読みが伝わりやすい説明の仕方が何か、作戦を立てる。周到に準備したにもかかわらず、皆からの総攻撃を受けたとか、発表者が用意してきたテーマとかけ離れた発言がみんなの興味を誘い、議論が白熱したとか、発表者の面白い報告に引きつけられて、自分も考えていくうちに、嫌いだっただ作品が好きになっていたとか、演習は予想外の展開に満ちている。その醍醐味を味わうには、ディスカッションの流れをつかみ、勇気を出して発言することが肝要である。

#### 成績評価の方法

演習は教員の説明を聞いてノートをとる形式とは異なり、学生自身が実際に調査・報告・討論を行う。よって欠席回数が多いと多く続くと履修不可能となる場合がある。定期試験は行わないが、レポートを提出してもらう。報告内容、討論参加の態度、レポートを総合的にながめたいうえて評価する。

#### 教科書

東郷克美・吉田司雄編『近代小説【都市】を読む』（双文社出版、2,000円）

#### 参考書等

その都度教場で紹介する。

科目名	国語国文学演習I 国文学演習I	開講	通年	単位	4
配当	国2必(14年度以降入学生) 国2必(13年度以前入学生)				
担当者名	たかだ ちなみ 高田 知波				

#### 講義のねらい

年間テーマは「太宰治を読む」。太宰治は青年層の間で人気の高い作家であるが、「太宰治」という神話が作品の読みを著しく束縛してきたことも確かである。作中人物の言葉をただちに「太宰」の肉声だと決め込んでしまうようなバイアス（先入観、偏見）からいかにして作品を解き放ち、自由で豊かな《読み》を生産していくか。学生相互による壮大な共同作業を追求する演習を目指す。

#### 講義の内容・授業スケジュール

『魚服記』『駆け込み訴え』『お伽草紙』『斜陽』『ヴィヨンの妻』『人間失格』の6作品を学生グループが分担し、年間スケジュールを立てる。グループによる発表と学生全員によるディスカッションを軸にして、原則として1作品4週間のペースで読んでいく。校学演習、演習合宿も実施する予定。

#### 履修上の留意点

毎時間テキストを読んで出席することは最低限のルール。そして「演習の主役は学生である」という原則に則って、活発な発言を行うという姿勢で演習に臨んでほしい。

#### 成績評価の方法

平常点と、期末のレポートの採点結果とを総合的に評価する。

#### 教科書

『晩年』、『走れメロス』、『お伽草紙』、『斜陽』、『ヴィヨンの妻』、『人間失格』（いずれも新潮文庫）

#### 参考書等

教場で指示する。

科目名	国語国文学演習I 国文学演習I	開講	通年	単位	4
担当	国2必(14年度以降入学生) 国2必(13年度以前入学生)				
担当者名	かつはら 晴希 勝原 晴希				

#### 講義のねらい

近現代の詩歌について学ぶとともに、研究報告と討論を通して、作品についての自分の考えをまとめ、発表する力を養う。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

近現代(明治～平成)の詩歌を読む。対象とする詩人・歌人・俳人は各参加者の希望によるが、場合によっては振りあてることもある。担当者の報告と参加者全員による討論によって進めていく。

昨年度、一昨年度に採りあげた詩人は、以下の通り。

島崎藤村・北原白秋・高村光太郎  
三好達治・中原中也・国木田独步  
河井醉韶・室生犀星・萩原朔太郎  
宮澤賢治・立原道造・武者小路実篤  
草野心平・石原吉郎・八木重吉  
寺山修司・茨木のり子・吉原幸子  
相田みつを・金子みすず・富岡多恵子  
大槻ケンヂ・町田康

#### 履修上の留意点

各人の積極的な参加を求める。

#### 成績評価の方法

発表報告の内容、討論への参加状況、出席、レポートを総合して評価する。欠席回数に制限があるので、注意すること。

#### 教科書

プリント配布。

#### 参考書等

授業時に随時指示する。

科目名	国語国文学演習II 国語学演習II	開講	通年	単位	4
配当	国3必(14年度以降入学生) 国3必(13年度以前入学生)				
担当者名	どい こうゆう 土井 光祐				

#### 講義のねらい

特定の文献を国語史的観点から具体的に考察することによって、国語史の基礎知識、研究方法、文献学的な処理の方法を身に付けることを目標とします。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

中世は、現代語に通じる日本語の大転換期と言われ、近代語の芽生えの時代とされています。

本演習は、言語資料として鎌倉時代に活躍したカリスマ的学僧である明恵上人の言行録である「脚癡忘記(きゃくはいもうぎ)」鎌倉時代(1235年)写本の写真版を使い、国語学的に考察します。

「脚癡忘記」は、明恵上人の没後三年を経て、弟子が明恵上人存命中に発言した言葉をそのまま文字化した可能性を有する希有の口語資料として知られ、漢字片仮名交り文で記されています。文献学的手続きを厳密に適用して、古代語から近代語への過渡期にあたる鎌倉時代の言語の実態を表記史、音韻史(和語、漢字音)、文法史、語彙史、文体史の諸点から考察していきます。

#### 成績評価の方法

出席点30%、発表内容40%、レポート内容30%

#### 教科書

プリント配布。

#### 参考書等

- 高山寺典籍文書総合調査団編『明恵上人資料第二』(東京大学出版会)
  - 田中久夫他『鎌倉旧仏教』(日本思想大系)(岩波書店)
  - 高橋秀栄他『大乘仏典 中国・日本篇第20巻 栄西・明恵』(中央公論社)
- ※その他授業中に指示する。

科目名	国語国文学演習II 国文学演習II	開講	通年	単位	4
配当	国3必(14年度以降入学生) 国3必(13年度以前入学生)				
担当者名	中嶋 真也 <small>なかにま しんや</small>				

講義のねらい

テーマは万葉歌人の研究。『万葉集』の歌々を歌人ごとに読み解いていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

『万葉集』の中で代表的な歌人の歌を取り上げ、発表してもらう。  
予定としては、額田王、柿本人麻呂、高市黒人、山上憶良、大伴旅人、大伴坂上郎女、山部赤人、笠金村、高橋虫麻呂、笠女郎、大伴家持などを対象としたい。  
受講者は、担当する歌人を決め、その歌人の歌々から各自興味を持った歌を取り上げ、発表してもらう。  
開講当初は、『万葉集』に関する概説と、発表にあたって求める調査事項などを極力丁寧に解説する。その上で発表に移る。

履修上の留意点

演習の主体は、学生の側にある。自分が発表ではない回も欠席は慎むこと。また、討議にも積極的に参加してほしい。

成績評価の方法

発表、質疑、それに対する応答、提出物、出席状況によって総合的に評価する。

教科書

鶴久・森山隆『万葉集』(おうふう)

参考書等

授業中に適宜指示する。

国  
文

科目名	国語国文学演習II 国文学演習II	開講	通年	単位	4
配当	国3必(14年度以降入学生) 国3必(13年度以前入学生)				
担当者名	高橋 文二 <small>たかはし ぶんじ</small>				

講義のねらい

『源氏物語』の「行幸(みゆき)」の巻を読み、そこに表れた自然観、人間観、宗教観を考え、『源氏物語』の表現の特質や平安朝の物語文学の文学史上に定める意味あいについて考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

受講者の研究発表を軸に授業を進める。「行幸」の巻の「玉鬘十帖」の中における意味あいについても考えていく。最初と最後の2～3時間は担当者の側から『源氏物語』の概説をし、問題点の指摘などをする。

履修上の留意点

発表にあたっては用語の調査を綿密にし、注釈書等を比較検討し、読みの充実を図る。

成績評価の方法

研究発表の内容、提出資料やレポートの内容、出席状況を踏まえて判断する。

教科書

担当者の方でプリントを用意する。

参考書等

必要のあるたびごとに指示し、また紹介する。

科目名	国語国文学演習Ⅱ 国文学演習Ⅱ	開講	通年	単位	4
配当	国3必(14年度以降入学生) 国3必(13年度以前入学生)				
担当者名	まつい けんじ 松井 健児				

#### 講義のねらい

『源氏物語』にあらわれる、王朝貴族の美意識や生活様式を探り、その作品世界への文芸化の方法を考察する。古代物語を形成するうえでの基礎的な構造の把握と、その制度的な構造から逸脱する、一回的な感覚世界との緊張関係を読み解くことによって、作品自体が常に新たなものとして生成していく、動態としての『源氏物語』観を獲得する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

受講者による研究報告形式をとる。『源氏物語』の「賢木」の巻を直接の対象として、巻の前後へと派生し展開していく諸問題を考察する。本文を読み込み、合わせてさまざまな注解や論文を読むことによって、『源氏物語』の全体像を視野に入れたうえでの分析的な研究を行ない、それらによって得られた知見を論理的に構成し、批評できる力を養う。

#### 履修上の留意点

演習科目は学生相互の協力によって成り立つ。おのおのの発表にさいして提供しあう情報量と質が、この科目の成否を決定する。

#### 成績評価の方法

受講者による (1) 演習発表資料 (2) 発表内容 (3) レポート (4) 出席状況 (5) その他を総合して行なう。

#### 教科書

石田稜二・清水好子・校注、新潮日本古典集成『源氏物語 二』(新潮社)

#### 参考書等

授業時に紹介する。

科目名	国語国文学演習II 国文学演習II	開講	通年	単位	4
配当	国3必(14年度以降入学生) 国3必(13年度以前入学生)				
担当者名	櫻井 陽子				

#### 講義のねらい

平家物語は鎌倉時代に成立したと考えられているが、作者・成立年代のみならず原態もすべて不明であり、その解明に向けて研究が進んできたと言っても過言ではない。  
平家物語の作品世界を知り、内容を精読し味わうことと、研究上の問題がどのように関わるのか、具体的な問題に触れつつ考えていく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

『平家物語』の登場人物、事件、事象、事柄の中から関心をもつテーマをとりあげ、研究上の諸問題についてまとめ、その上で自分なりの問題点を設定し、調査し、発表する。  
全体を追ってもよいし、部分に絞ってもよい。但し、絞る場合でも、必ず全体を見通した上での発表となるように。  
覚一本を中心とし、精読する中で生み出される疑問を出発点とすること。その際、なるべく他種の異本も視野に入れること。  
1～3 『平家物語』の説明  
4～ 発表

#### 履修上の留意点

問題点は書誌学・国語学・芸能・和歌・説話・音楽・宗教他、多方面にわたり、また、歴史との関わりにも注意を向ける必要がある。学生自身が自分なりの関心と問題意識を掘り下げる機会となることを願う。  
発表の前週に資料を配っておくこと。  
授業中の討論に積極的に参加し、必ず一回は発言すること。

#### 成績評価の方法

口頭発表、レポート、出席、質疑への参加の様子を踏まえて総合的に判断する。

#### 教科書

授業中に適宜指示する。

#### 参考書等

授業中に適宜指示する。



科目名	国語国文学演習II 国文学演習II	開講	通年	単位	4
配当	国3必(14年度以降入学生) 国3必(13年度以前入学生)				
担当者名	たなか のりさだ 田中 徳定				

#### 講義のねらい

院政期に成立した代表的説話集である『今昔物語集』を読みながら、説話の伝承や改変の様相について考える。同時に、説話が描き出す時代や社会のありようを探究し、さらには人々の思想・信仰について考察する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

『今昔物語集』の説話について、鬼・天狗・陰陽道・狐、また笑話等、興味を持ったテーマを設定して、当時の人々の生活や信仰のありようを調査、研究し、その様相を探っていく。

#### 履修上の留意点

専門科目の演習授業であるため、出席を基本とする。また、授業において、必ず口頭発表を行なってもらう。

#### 成績評価の方法

授業中に行なう口頭発表と、それをまとめたレポートによる。

#### 教科書

今野達編『新注 今昔物語集選』(大修館書店) 1,260円

#### 参考書等

授業中に随時指示する。

#### その他

受講生に発表担当する説話を割り当てる。受講生は、担当する説話について調査・考察を行ない、その結果をレジюмеに作成し、授業中に口頭発表を行なう。

国  
文

科目名	国語国文学演習II 国文学演習II	開講	通年	単位	4
配当	国3必(14年度以降入学生) 国3必(13年度以前入学生)				
担当者名	このえ のりこ 近衛 典子				

#### 講義のねらい

近世文学読解のための基本的な方法を身につけ、本文の正確な読解の力を養う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

井原西鶴の浮世草子『西鶴名残の友』を読む。授業は受講者による発表形式で進める。

#### 履修上の留意点

出席を重視する。受講者は常に問題意識を持って臨み、積極的に質疑応答に参加すること。

#### 成績評価の方法

演習発表資料、演習内容、出席状況、レポート、その他を総合して評価する。

#### 教科書

プリント配布。

#### 参考書等

授業時に指示する。

科目名	国語国文学演習II 国文学演習II	開講	通年	単位	4
担当	国3必(14年度以降入学生) 国3必(13年度以前入学生)				
担当者名	はやし たつや 林 達也				

#### 講義のねらい

- ・近世（江戸時代）女性の日記・紀行を読み、近世女性文人の様相、文事をめぐる環境・状況等について考察する。
- ・近世の文書・記述に慣れることもねらいの一つである。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- ・近世の女性が書いた日記・紀行は意外なほど多く残っている。その中から、適宜幾つかの作品を選んで、丁寧に読みたい。近世の女性がどのような旅をしたのか、近世以前の女性の紀行などどのように違うのか、近世女性の文学にはどのような背景があるのか、和歌・俳諧・漢詩文との関わりはどのようなのか、考えることは様々にある。担当者の発表を中心として読み、考える。
- ・テキストを一字一句にこだわって、丁寧に読む。
- ・適切な参考書・文献を使いこなし、読解へ結び付けてゆく方法を身につける。
- ・効果的な発表方法を考え、実行する。

#### 履修上の留意点

- ・演習であるので、出席を義務とする。
- ・授業には積極的に参加しなければならない。
- ・発表者は参考資料（レジュメ）を作成する。
- ・地誌類など多様な資料にも広くあたり、観念的にではなく、具体的に読み解く。
- ・聞き手の反応を出来るだけ引き出すように工夫をこらされたい。

#### 成績評価の方法

- ・発表時の方法・成果・資料の作成の仕方、学年末提出のレポート、授業参加の積極性の三点によって評価する。

#### 教科書

プリントでテキストを作成して配布する。時には、版本も使いたい。

#### 参考書等

テキスト  
古谷知新編『江戸時代女流文学全集』巻一～四（日本図書センター）  
昭和54年（大正七年九月～大正八年正月 古谷知新編）  
津本信博編著『近世紀行日記文学集成』一・二（早稲田大学出版部）  
平成6年  
井上通女全集修訂委員会編『井上通女全集』（丸亀高等学校頒布）  
昭和48年（初版 明治44年）

一般  
高群逸枝『大日本女性人名辞典』（厚生閣）昭和17年改訂版  
前田淑『江戸時代女流文芸史』（笠間書院）平成10年  
門玲子『江戸女流文学の発見』（藤原書店）平成11年  
『日本女性人名辞典』（日本図書センター）

#### その他

- ・授業はレポーターの発表を中心に進める。
- ・発表資料作成にあたっては、広く資料を探し、具体的にわかる方法（たとえば、図録・絵画活用等）をとること。

科目名	国語国文学演習II 国文学演習II	開講	通年	単位	4
配当	国3必(14年度以降入学生) 国3必(13年度以前入学生)				
担当者名	おかだ ちたか 岡田 豊				

#### 講義のねらい

昭和30年から平成までに発表された小説をいくつかとりあげて読む。

昭和31年の『経済白書 日本経済の成長と近代化』に「もはや「戦後」ではない」と書かれているのはよく知られている。近代化が進み、生活が急変し始めるこの時期から現代までに発表された作品をいくつか取り上げることになる。授業はディスカッション形式をとる。そして、演習Iに比して、教員が関与する度合いが低くなる。学生ひとりひとりが積極的にディスカッションに参加し意見をぶつけ合う。学生の自主性を高めることに重点をおく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

2人ないしは3人でチームを組んで報告する。そして、演習生全員で報告者が提起する問題をめぐって討論する。司会進行係も学生からその都度選出する。扱う作家は、石原慎太郎・松本清張・古井由吉・中上健次・田辺聖子・村上春樹・村上龍・田中康夫・原田宗典・山田詠美・吉本ばなな・辻仁成・町田康・柳美里・江國香織・石田衣良・宮部みゆき・山本文緒・唯川恵等を予定している。

#### 履修上の留意点

現代小説の研究は、まずテーマを設定するのが困難であり、また参考文献も少ない。読みやすさのなかに何らかの問題を探し、読みを展開できるようにしなければならない。現代小説の研究にはそのような難しさがある。しかし、われわれが生きている現代が抱えるホットな問題を扱うという意味で、魅力的な研究領域でもあるのだ。援助交際、ドラッグ、ひきこもり、性の問題、家族の崩壊など。ふだん身近にあって考えることのない問題を、改めて皆で深く掘り下げて考えていく絶好の機会なのだ。何について、いまどう問い、そしてどう考えるのか、それを各自が持ち寄って欲しい。

#### 成績評価の方法

出席状況、報告内容はもちろんのこと、発言回数やその内容等の演習参加の態度、を総合的にながめた上で判定する。発表点と発言点が占める割合が大きい。

#### 教科書

文庫本をテキストにする。

#### 参考書等

その都度教場で紹介する。

科目名	国語国文学演習II 国文学演習II	開講	通年	単位	4
配当	国3必(14年度以降入学生) 国3必(13年度以前入学生)				
担当者名	たかだ ちなみ 高田 知波				

講義のねらい

年間テーマは、「近代100年の小説を読む」。明治前期から1960年代末頃までを対象範囲とする。森鷗外、樋口一葉、泉鏡花、島崎藤村、夏目漱石、志賀直哉、芥川龍之介、谷崎潤一郎、川端康成、太宰治、岡本かの子、三島由紀夫、遠藤周作、大江健三郎等々、近代100年間の代表的作家たちの代表的作品（小説に限定）を読んでいく。各作品を表現と構造に即して精読することと、100年の文学的流れを体感することを目指す演習である。

講義の内容・  
授業スケジュール

年度始めに教員側が提示する作品リストの中から、学生の希望にもとづいて10～11作品を選んで発表分担チームを編成し、年間スケジュールを決定する。1作品2週を標準ペースとし、1週目を発表と質疑、2週目を演習生全員によるディスカッションにあてる。

履修上の留意点

毎時間、必ずテキストを読んで出席することが最低限のルールである。自分が発表を分担しない作品についても、積極的に発言する姿勢を全員に強く求めたい。

成績評価の方法

平常点と年度末レポートの採点結果とを総合して成績評価を出す。

教科書

取り上げる作品ごとに発表チームがテキストを指定するが、入手の容易な文庫本を原則とする。

参考書等

教場で指示する。

科目名	国語国文学演習II 国文学演習II	開講	通年	単位	4
配当	国3必(14年度以降入学生) 国3必(13年度以前入学生)				
担当者名	かつはら はるき 勝原 晴希				

講義のねらい

近現代の詩歌について学ぶとともに、研究報告と討論を通して、作品についての自分の考えをまとめ、発表する力を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

近現代(明治～平成)の詩歌を読む。対象とする詩人・歌人・俳人は参加者の希望によるが、場合によっては振りあてることもある。担当者の報告と参加者全員による討論によって進めていく。

昨年度、一昨年度に採りあげた詩人は、以下の通り。

谷川俊太郎・三好達治・新川和江  
宮澤賢治・萩原朔太郎・高村光太郎  
辻仁成・金子みすゞ・小野十三郎  
若山牧水・島崎藤村・中原中也  
寺山修司・立原道造・西脇順三郎  
金子みすゞ・野口雨情・坂村真民  
大木惇夫・石垣りん・山村暮鳥  
まどみちお・工藤直子・江國香織  
荒川洋治・石川啄木

履修上の留意点

各人の積極的な参加を求める。欠席回数に制限があるので、注意すること。

成績評価の方法

発表報告の内容、討論への参加状況、出席、レポートを総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	国語国文学演習Ⅲ 国語学演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	国4必(14年度以降入学生) 国4必(13年度以前入学生)				
担当者名	土井 <small>どい こうゆ</small> 光祐				

講義のねらい

卒業論文執筆のための具体的な手続きについて、発表を繰り返して検証していきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下の手続きを段階的、相互補完的に整理して、発表してもらいます。

- 1、卒論の候補となる仮設的なテーマを設定する。
- 2、研究史の確認(リスト化して、コピー、ファイリングし、読む)。
- 3、学問体系の中での研究の意義を確認する。
- 4、研究対象とする言語資料を設定する。
- 5、具体的な研究方法を設定する。

以上をその都度文章化し、ある段階からサンプリング調査、ポーリング調査を試験的に行って、研究の適切性の検証を繰り返していきます。1～5はそのまま卒論内の序論となります。

履修上の留意点

1～5の検証を経ずして論題の設定はあり得ません。徹底した調査が不可欠となります。熱意ある取り組みには真摯に応えます。

成績評価の方法

出席点50% 発表内容50%

参 考 書 等

授業時に随時紹介。

国  
文

科目名	国語国文学演習Ⅲ 国文学演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	国4必(14年度以降入学生) 国4必(13年度以前入学生)				
担当者名	<small>なかじま しんや</small> 中嶋 真也				

講義のねらい

上代文学で卒業論文を作成する学生を対象に指導を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

卒業論文作成に向け、求められる調査方法や具体的な作業について、指導・助言を行なう。演習として、前期・後期それぞれ最低1回の発表を義務とし、個別面談も随時行なう。

履修上の留意点

自主的かつ積極的な取り組みを求める。

成績評価の方法

出席、提出物、討議への参加などを総合的に評価する。

教 科 書

坂本信幸・毛利正守編『万葉事始』(和泉書院)

参 考 書 等

その都度、授業時に指示する。

科目名	国語国文学演習Ⅲ 国文学演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	国4必(14年度以降入学生) 国4必(13年度以前入学生)				
担当者名	たかはし ぶんじ 高橋 文二				

講義のねらい

平安時代の文学作品を対象とした卒業論文作成の指導と助言をねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

受講者の研究対象に応じて具体的に指導、助言をする。卒論提出までに3～4回程度レポートを提出し、また2回程度の研究発表をして卒論の問題の所在と進行状況を確認する。

履修上の留意点

4年間の総決算である。積極的かつ自主的に問題を追究してほしい。

成績評価の方法

研究発表の内容、レポートの内容、出席状況などで評価する。

教科書

授業中適宜指示する。

参考書等

授業中適宜指示する。

科目名	国語国文学演習Ⅲ 国文学演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	国4必(14年度以降入学生) 国4必(13年度以前入学生)				
担当者名	まつい けんじ 松井 健児				

講義のねらい

平安時代文学を対象とした、卒業論文作成の指導、助言。

講義の内容・  
授業スケジュール

卒業論文は学生生活の総決算ともいえる重要な課題である。対象の決定－問題設定－問題への効果的な取り組み方－参考文献の検索の方法－論文目録の作成－現時点における研究史および研究状況の把握－具体的な論述にいたるための資料作成－口頭による中間的な研究報告－具体的な論述の方法－など、いくつかの段階を設定して、文学研究としての要件を備えた論文の作成を自立的におこなえるよう指導、助言する。

履修上の留意点

自主性と積極性。

成績評価の方法

受講者による (1) 演習発表資料 (2) 発表内容 (3) レポート (4) 出席状況 (5) その他を総合して行なう。

科目名	国語国文学演習Ⅲ 国文学演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	国4必(14年度以降入学生) 国4必(13年度以前入学生)				
担当者名	櫻井 陽子				

講義のねらい 卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール 学生自身の問題意識の先鋭化と具体化を助け、研究方法と実際の論文作成にあたっての助言を行う。  
1～3 卒業論文の書き方・諸注意  
4～ 学生自身の発表と討議

履修上の留意点 学生自身の自主的な活動に負う。

成績評価の方法 卒業論文の内容と完成に至る過程。

参考書等 授業時に適宜指示する。

国  
文

科目名	国語国文学演習Ⅲ 国文学演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	国4必(14年度以降入学生) 国4必(13年度以前入学生)				
担当者名	田中 徳定				

講義のねらい 卒業論文作成のための指導を行なう。

講義の内容・授業スケジュール 年度始めに「卒業論文研究計画書」を提出してもらう。その研究計画に沿いながら、授業中に口頭発表を行なってもらう。その都度、発表内容をまとめたレポートを提出してもらう。また、論文の作成方法について、随時、具体的に指導を行なう。

履修上の留意点 専門科目の演習授業であるため、出席を基本とする。

成績評価の方法 授業中に行なう口頭発表と、それをまとめたレポートによる。

参考書等 授業中に随時指示する。



科目名	国語国文学演習Ⅲ 国文学演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	国4必(14年度以降入学生) 国4必(13年度以前入学生)				
担当者名	このえ のりこ 近衛 典子				

講義のねらい

近世文学で卒業論文を作成する学生を対象に、実践的な指導を行なう。卒業論文は各自がそれぞれの問題意識を持って主体的に取り組むべきものであり、本演習はそれを援助するものである。

講義の内容・  
授業スケジュール

各自の研究テーマに応じて個別指導・助言を行なう。また、夏休み終了後に、中間報告としてレポートを提出してもらう。

履修上の留意点

積極的な取り組みを望む。

成績評価の方法

口頭発表、レポート、及び卒業論文の内容により評価する。

そ の 他

ゼミ形式。

科目名	国語国文学演習Ⅲ 国文学演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	国4必(14年度以降入学生) 国4必(13年度以前入学生)				
担当者名	はやし たつや 林 達也				

講義のねらい

近世文学（十八世紀中頃まで）・中世文学の和歌、韻文で卒業論文を書く学生を対象とする。授業は、個別指導を中心とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

全講義期間を、基礎・展開・完成の3期に分け、それぞれの期間でレポートを提出し、スムーズに卒業論文の執筆へ結びつける。

履修上の留意点

対象とする作品・作家への関心を積極的に持続させること。年間数回提出するレポートを怠らないこと。自分の書いたものに責任をもつこと。

成績評価の方法

卒業論文執筆へ向けての調査・思考等の姿勢によって評価する。

参 考 書 等

授業時に示す。

科目名	国語国文学演習Ⅲ 国文学演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
担当	国4必(14年度以降入学生) 国4必(13年度以前入学生)				
担当者名	岡田 豊 <small>おかだ ゆたか</small>				

#### 講義のねらい

学生各自が興味を持っているテーマに沿って、自主的に研究を進め、論文として記述していく力を養っていくことをねらいとする。あわせて、日本の近現代文学を対象とした卒業論文の作成指導も行う。参考文献の蒐集の仕方、それらを整理してどう踏まえるのか、作品や作家の論じ方などについて指導する。(卒業論文は、演習に参加し面談を受けて作成するものである。)

#### 講義の内容・授業スケジュール

卒業論文の論題提出までに研究対象とする作品や作家を絞り込む。扱う作品は、卒業論文に関連するものを学生が選定して発表を行うという方式をとる予定である。つまり、演習生自らが発表スケジュールや作品を決める。

前期、論題提出前に必ず個人面談を行う。ここで対象作家や作品についての相談をする。後期に2回は必ず面談しなければならない。

卒論作成計画書、レポートの提出を義務付ける(レポートは添削して返却する)。詳細は授業時に説明する。

#### 履修上の留意点

卒業論文関連の重要な情報を発信したり、助言指導をする授業でもある。トラブルや事故を未然に回避するためにも、積極的、意欲的な授業への参加が望まれる。

あれもこれもと欲張ってしまい、論じる範囲を拡大しすぎると失敗する可能性がある。捨てる勇気も大切だ。絞り込んで、どのような構成で論じていくのかまで、後期の面談の中でつめていく。つまり、面談も大切な授業のうちであることを忘れないで欲しい。

#### 成績評価の方法

出席状況、発表内容、研究計画の立て方やレポートの出来具合等を見、さらに卒業論文の完成度をも参考にする。

なお、卒業論文の評価には、口頭試問での返答も大きく関わってくることを付記しておく。

#### 教科書

その都度教場で指示する。

#### 参考書等

その都度教場で紹介する。

科目名	国語国文学演習Ⅲ 国文学演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
担当	国4必(14年度以降入学生) 国4必(13年度以前入学生)				
担当者名	高田 知波 <small>たかた ちなみ</small>				

#### 講義のねらい

各自の小説の読みを深めることと、卒業論文制作のために生きる相互学習を行うことを二本柱にした演習である。両者が有機的に結びつくことによって成果のあがることを目指したい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

年間を前半と後半に分ける。前半は学説の違いの大きな近代小説を共同で読み、後半は学生を選んだ作品を読む。発表は1人、年1回。くわしくは教場で指示する。

#### 成績評価の方法

平常点と年度末レポートの採点結果とを総合して成績評価を出す。

科目名	国語国文学演習Ⅲ 国文学演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	国4必(14年度以降入学生) 国4必(13年度以前入学生)				
担当者名	かつはら ほんき 勝原 晴希				

講義のねらい

近現代の詩歌・児童文学を読むことを通じて、作品を読み味わう力を養い、また研究の方法を学ぶ。あわせて卒業論文作成に向けての指導を行なう。

講義の内容・  
授業スケジュール

近現代の詩歌・児童文学を読む。対象とする作家・詩人・作品は学生の希望（原則として卒業論文に関連するもの）を尊重するが、場合によっては振りあてることもある。担当者の報告と参加者全員による討論によって進めていく。

履修上の留意点

各人の積極的な参加を求める。欠席回数に制限があるので、注意すること。

成績評価の方法

発表報告の内容、討論への参加状況、出席、レポートを総合して評価する。

教科書

授業時に指示する。

科目名	国語学演習Ⅳ	開講	通年	単位	4
配当	国4必(13年度以前入学生)				
担当者名	どい こうゆう 土井 光祐				

国  
文

講義のねらい

卒業論文の指導を継続的に実施する。

講義の内容・  
授業スケジュール

テーマに対する研究方法、研究対象とする言語資料等の相互の有効性を検証しつつ、進行に応じて個別に指導する。

履修上の留意点

熱意ある取り組みには真摯に応える。

成績評価の方法

研究への取り組み態度を総合的に評価する。

教科書

特になし。

参考書等

授業時に随時指示する。

科目名	国文学演習Ⅳ	開講	通年	単位	4
担当	国4必(13年度以前入学生)				
担当者名	櫻井 陽子 <small>さくらい ようこ</small>				

講義のねらい

卒業論文作成の指導、助言。

講義の内容・  
授業スケジュール

受講者の研究対象に応じた実践的、具体的な指導と助言を行なう。

履修上の留意点

自主性と積極性。

成績評価の方法

卒業論文の内容とその完成に至る過程によって評価する。

科目名	中国文学	開講	通年	単位	4
担当	国234選				
担当者名	田熊 信之 <small>たくま のぶゆき</small>				

講義のねらい

数千年にわたる中国の歴史の中で、政治や文化の中心的な担い手となった漢民族は、時には他の民族とも混淆を累ねながら、特異な漢字文化を生み育てて来た。本講座では、こうした漢字文化の粹である各種の文学作品（新出遺文も含め）を選読しながら、中国の人々が築き上げた多様な文字表現の世界を省察して行きたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期、後期にわたり、適宜中国文学史上の個々の作品を選読する。中国文学の世界には、例えば、歌謡や巫歌に由来する韻文の流れや、卜辞、告誓、記事などに始まる散文の流れがあり、このもとには、社会生活を営む個々人の離合集散する哀歓こもごもの人間模様が、各々の時代の思潮や思想、信仰等に彩られながら、さまざまな形で綴り残されている。本年度は、漢字、漢語を用いて綴られる中国文学のあやどりの世界を具体的に理解していくために、歌謡、詩偈等を含めた韻文や、人伝、僧録などをも含めた史伝、碑文、墓誌等の散文を読み進めていきたい。

履修上の留意点

中国の地理、風土、歴史等については、各自概説書や関連著作などを参看して、基礎知識を得ていて欲しい。

成績評価の方法

評価は、受講の状況を重視しながら、課題等への対応のさま、レポート或いは試験等の結果を併せて、総合的に行なう。

教科書

テキストについては、プリントを配布しこれを使用する予定。

参考書等

参考書、資料等については、授業時に説明し、紹介する。

その他

授業は、講義及び演習の両方式を混じえて行なう。

科目名	比較文学	開講	通年	単位	4
配当	国234選				
担当者名	木村 朗子 <small>きむら さらこ</small>				

#### 講義のねらい

はじめに比較文学がなにをどのように研究することなのか、また比較文学は、どのような歴史的背景のなかではじまった学問なのかについて確認し、その上で比較文学の方法を実際に用いながらさまざまな文学を実際に検討する。

比較の方法は、異なる国の文学を比較するだけでなく、翻訳の問題、文学を絵画化した場合、映像にした場合などさまざまな可能性がある。授業ではとくに小説を映画化したケースを中心課題として分析を進めながら、比較文学の方法を学ぶ。

#### 成績評価の方法

出席と授業内レポートあるいは学期末のテストによる。

#### 教科書

コピーを配布する。

#### 参考書等

授業中に指示する。

科目名	児童文学	開講	通年	単位	4
配当	国234選				
担当者名	国松 俊英 <small>くにまつ としひで</small>				

#### 講義のねらい

童話や児童文学といえば、かつては「子どものためになる文学」という考えが中心だった。大人が子どもに与えるもので、子どもを健全な社会的人間に育て導いていくためにあるとされた。子どもが感動したり楽しむよりも、その教育性が特に大切にされた。しかしその考えは時代とともに変わってきた。現代では、児童文学は「大人も子どもも共有できる文学」だと考える人がふえてきた。ミヒヤル・エンデの作品、ハリー・ポッターのシリーズなどファンタジーのいくつかの作品、絵本などには大人たちの熱心な愛読者がついている。大人の文学との境界がなくなってきたともいえる。

この時間では、児童文学とはどんなものか、どんなジャンルがあって、どんな作品が書かれてきたのか、などを探っていく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) 児童文学とは何か (2) 児童文学のジャンル (3) 絵本 (4) ファンタジー  
(5) ノンフィクション (6) 少年詩 (7) 昔話  
後期 (8) 日本児童文学の流れ (9) 赤い鳥の時代 (10) 宮沢賢治 (11) 新美南吉

#### 履修上の留意点

講義を聞くだけでは、児童文学の世界は理解できない。授業で紹介する文学作品をできるだけ読んでほしい。

#### 成績評価の方法

出席状況と年4回のレポート、期末試験によって評価する。

#### 教科書

なし

#### 参考書等

なし

科目名	有職故実	開講	通年	単位	4
配当	国234選				
担当者名	近藤 好和 <small>こんどう よしかず</small>				

#### 講義のねらい

10世紀後半以降の平安貴族社会で、和様化した公事（朝廷の儀式・政務）のマニュアルとして、令・格・式・儀式などを基礎に成立したのが有職故実である。従って、その扱う範囲は本来多岐にわたり、前近代では、有職故実研究はそのまま歴史研究でもあった。ところが、明治以降、有職故実が扱う範囲は、服飾・武具・調度・乗用具などの限定されたものになってしまった。しかし、これらが有職故実が扱う重要な分野であることは確かである。特にかかる「モノ」を実用の道具として即物的に扱うのが有職故実の特徴であり、「モノ」を現在の歴史学に取り込むためには、有職故実的な手法が不可欠と考える。また、それらの「モノ」を正しく理解することで、古典文学の理解もより深まる。そうしたなかで、本講義では、公家・武家の装束と中世の武具について講義する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

前期では、装束について、公家・武家の順に講義する。後期では、武具について、甲冑・弓箭・刀剣等について講義する。

#### 成績評価の方法

前・後期各一回の試験で判定する。

#### 教科書

特になし。授業ごとにプリントを配布する。

#### 参考書等

必要に応じて提示する。

科目名	日本民俗学	開講	通年	単位	4
配当	国234選				
担当者名	たにぐち みつき 谷口 貢				

#### 講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の調査・研究を通して、日本社会に展開する生活文化を追究する学問である。「民俗」はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

本年度は日本の地域社会に伝承されてきた民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変わり、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していきたい。年間の講義予定は以下に掲げる内容で、各2回程度に分けて行う予定である。

- 第1講 民俗の多様性
- 第2講 民俗学の流れと現在
- 第3講 家族生活と住まい
- 第4講 食をめぐる民俗
- 第5講 村と町のなりたち
- 第6講 若者と一人前
- 第7講 婚姻と出産・子育ての民俗
- 第8講 女性・子ども・老人の民俗
- 第9講 葬送儀礼と先祖祭祀
- 第10講 里と海・山のなりわい
- 第11講 祭りと年中行事
- 第12講 民俗宗教の諸相
- 第13講 北海道民俗・沖縄民俗の特徴

#### 成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

#### 教科書

谷口 貢・松崎憲三編著『民俗学講義－生活文化へのアプローチ』八千代出版、2100円(税込)、ISBN 4-8429-1405-X

#### 参考書等

講義内容を発展させるための参考文献は授業の中で紹介していきたい。

科目名	民間信仰論	開講	通年	単位	4
配当	国234選				
担当者名	たにくち かつぎ 谷口 貢				

#### 講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の構造と機能を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

#### 成績評価の方法

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定。出席を重視する。

#### 教科書

使用しない。

#### 参考書等

参考書として、桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮本袈裟雄著『庶民信仰と現世利益』（東京堂出版）の2冊を紹介しておきたい。

#### その他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを見る予定にしている。

国  
文

科目名	日本史概説	開講	通年	単位	4
配当	国234選				
担当者名	まつもと のぶみち 松本 信道				

#### 講義のねらい

日本の古代・中世史の歴史的展開の過程を講述することを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

本講座では、飛鳥・奈良・平安・鎌倉・室町・戦国時代の政治・経済・文化などの諸様相について、関連史料の具体的な解釈を通じて概観したい。

#### 履修上の留意点

受動的でなく、主体的に学習してほしい。

#### 成績評価の方法

前期・後期の2回の試験の総合点で成績を評価する。

#### 参考書等

『史料による日本の歩み 古代編』（吉川弘文館）  
青木和夫『日本古代史』（日本放送出版会）  
笹山晴生『日本古代史講義』（東京大学出版会）  
佐々木潤之介『概論 日本歴史』（吉川弘文館）

#### その他

授業の方法は講義形式で進める。



科目名	日本文化史	開講	通年	単位	4
配当	国234選				
担当者名	よしだ まさひろ 吉田 政博				

#### 講義のねらい

日本の文化の歴史が、当時の社会の生産という問題や、政治・経済・宗教などと深くかかわっていたことに留意しながら、朝廷・公家・武家のみならず民衆が文化の創造に大きな役割を果たしていたことを、明らかにしていく。また現代生活への影響や比較などについても検討していく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、鎌倉期以降の中世を中心としながら江戸期にかけての文化様相と特色などについて講述する。次のような順序で授業を進めていく。

- ・中世文化史研究の動向
- ・鎌倉新仏教と文化
- ・山岳信仰と文化
- ・禅宗と五山文化
- ・南北朝から室町期の文化
- ・北山文化の展開
- ・東山文化とその基盤
- ・中世の職能民
- ・知識人の思想とその行動
- ・庶民信仰と生活
- ・連歌師の旅
- ・京と鄙の交流
- ・大名領国の文化
- ・統一政権とその文化
- ・近世文化史研究の動向

#### 履修上の留意点

講義内容の復習が必要であることはもちろんであるが、例えば日本文化や歴史、宗教などをテーマとする博物館・美術館などの展示会を積極的に観覧し、できるかぎり「実物」に接する機会を持ってもらいたい。受講する上では図書館所蔵の文化史・美術史に関する資料・ビデオ等を大いに活用することをすすめたい。なお、本学の禅文化歴史博物館での文化史関連展示会の見学と学芸員による説明会を実施する。

#### 成績評価の方法

後期に実施する定期試験の結果による。これに授業の出欠状況とレポートなどを加味する。

#### 教科書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

#### 参考書等

講義内容に関する研究所などを随時提示していく。

科目名	東洋思想史	開講	通年	単位	4
配当	国234選				
担当者名	末木 恭彦 <small>すえき やすひこ</small>				

講義のねらい

中国の伝統思想、特に儒学のあり様について理解を深めることを目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

直線的に歴史把握を行うのではなく、儒学の根本文献（経）についての理解を深め、各経の歴史的展開を並行的に把握することにする。経理解の手掛りとしては、江戸時代の儒者、荻生徂徠の『経史子要覧』を用いる。『経史子要覧』の言説を読み、それに現代の視点からの補説を行う。この作業を通じて、儒学の経とは何か理解を深め、それがどう読まれて来たか歴史的認識を試みる。なお、『経史子要覧』は必要箇所を複写して配布する。

履修上の留意点

予習をして来て欲しい。テキストの疑問点を整理して授業に臨んで欲しい。その疑問点の解明を中心として、授業を展開する予定である。

成績評価の方法

平常の受講態度に学年末のリポートを加味して成績をつける。

科目名	西洋思想史	開講	通年	単位	4
配当	国234選				
担当者名	柴野 博子 <small>しばの ひろこ</small>				

講義のねらい

カント以後のドイツを中心とする西洋思想の流れをたどりながら、よりよく生きるための話題を提供したいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

はじめに古代と中世思想を概観し（4・5月）、その後カントに入ります。前期は、カントの思想を中心に、ドイツ観念論までお話しする予定です（6・7月）。

後期は、ショーペンハウアー、ニーチェ（9・10月）、ベルクソン、ディルタイ（11月）など、生の哲学者の思想を見ていきます。そして最後に、現代の西洋思想を代表するガダマーの解釈学の一端にも触れたいと思っています（12月）。

成績評価の方法

年2回の試験と出席状況、学習態度などを総合して評価します。

教科書

久保陽一・河合淳『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科目名	美術史概説	開講	通年	単位	4
配当	国234選				
担当者名	北野 <sup>きたの よしえ</sup> 良枝				

講義のねらい

日本絵画の流れを主要なジャンルや流派ごとに概観する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回、作品を映写する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期 平安時代から室町時代の絵画

- |                |                      |
|----------------|----------------------|
| (1) ガイダンス      | (2) 絵画に関する基礎知識       |
| (3) ～ (4) 仏教絵画 | (5) ～ (7) 絵巻物        |
| (8) ～ (9) 肖像画  | (10) ～ (13) 室町時代の水墨画 |

後期 室町末から江戸時代の絵画

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| (14) ～ (17) 狩野派     | (18) ～ (21) 琳派      |
| (22) ～ (24) 南蘋派と洋風画 | (25) ～ (26) 江戸から明治へ |

成績評価の方法

授業中に実施する小テストの得点および学年末試験の得点によって評価する。

科目名	演劇概論	開講	通年	単位	4
配当	国234選				
担当者名	もりい なおこ 森井 直子				

### 講義のねらい

「演劇」と言われて思い浮かべるものは、人によって実に多彩である。なぜ、演劇はこれほど様々な顔を持っているのだろうか。明治時代以来現代に至るまでの、日本の演劇の変容を追う。

同時に、それぞれの時代、それぞれの問題意識の中から生まれた戯曲作品の鑑賞も行う。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 前期
- 1、日本近代演劇の黎明（2回）
  - 2、明治40年代の演劇（2回）
  - 3、日本近代戯曲の模索（2回）
  - 4、大正戯曲の時代（2回）
  - 5、築地小劇場（2回）
  - 6、政治と演劇（2回）
  - 7、まとめ（1回）
- 後期
- 1、戦後新劇と戯曲（2回）
  - 2、小劇場運動の隆盛—1960年代（2回）
  - 3、小劇場運動の展開—1970年代（2回）
  - 4、私さがしとメタシアター—1980年代（2回）
  - 5、静かな演劇—1990年代（2回）
  - 6、今日の演劇（1回）
  - 7、まとめ（1回）

## 国文

### 履修上の留意点

授業の進行に従い、5、6本の戯曲作品をとりあげます。その戯曲については、あらかじめ読んでから出席することが必要。（扱う作品は、授業の中で指示する。）また、1年のうちに2度、劇場へ行って観劇してもらうので、留意されたい。

### 成績評価の方法

前期末、後期末の観劇レポート、出席点、平常点から評価する。

### 教科書

特に定めない。

### 参考書等

授業時に指示する。

### その他

講義形式の授業。

科目名	書道概論	開講	通年	単位	4
配当	国234選				
担当者名	金子 大蔵 <small>かねこ だいそう</small>				

講義のねらい

中国・日本の書道史を学び、また現代書の誕生と歴史、現況を研究し、書の意義や芸術性に対する知識と理解を高める。

講義内容は主に書道理論と、ビデオや拓本、複製品などを使っての名品や現代書の鑑賞である。

前期では主に、中国書道史の概要を学ぶ。最古の文字「甲骨文」から「金文」、「木簡」へと移行する古代文字の変遷と、書の芸術性を高めたといわれる書聖王羲之の書と人の研究。

後期では主に、日本書道史と現代書の概要を学ぶ。書が中国から日本へと伝来してきた背景と経緯、そして“現代書の父”といわれる比田井天来から現在の現代書7部門までを理解し、実際に数回書の展覧会を見てレポートを提出する。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) 書とは? (2・3) 甲骨文について (4・5) 金文について (6・7) 簡牘について (8・9) 漢代の隸書について (10・11) 王羲之の書と人について (12・13) 北魏の楷書について

後期 (14・15) 初唐の三大家について (16・17) 顔真卿の書と人について (18~20) 日本書道史について (21・22) 現代書の父比田井天来について (23・24) 上田桑鳩、金子鷗亭など現代書を広めた書家について (25・26) 現代書7部門と今後の書の展開

履修上の留意点

講義では主に頭から入る知識を学ぶが、常日頃から展覧会や博物館等に足を運び、目で親しむ時間をつくることが望まれる。

成績評価の方法

年数回行う展覧会等のレポート提出の内容と、講義中に行う小テストの結果に依拠して行う。

教科書

『書II』高等学校芸術科(書道)文部科学省検定済教科書(光村図書出版)

科目名	書道史	開講	通年	単位	4
配当	国234選				
担当者名	那須 隆吉 <small>なす たかよし</small>				

講義のねらい

東洋文化は今、世界の注目を集めている。中でも書道は文字を芸術にまで高めた特異な文化である。本講では、書道が古代よりいかなる変遷をたどってきたかを通覧し、東洋独自の文化への理解が深まるよう、出来るだけ分かりやすく講じたい。

講義の内容・授業スケジュール

殷代の亀甲獣骨文字を始めとし、時代と共に著しく変遷していく、書体、書風、書法をテキストによる書の古典、及びコピー資料により中日両国の書道史を講ずる。全授業数の約3分の2を中国書道史、残りを日本書道史にあてたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又教場での私語を慎むように。

成績評価の方法

出席及び随時レポートの提出、年度末に行なう筆記試験等を総合して評価する。

教科書

伏見冲敬著『書の歴史』(二玄社) 日本書道史のテキストは後期に指示する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	書道実習I	開講	通年	単位	4
配当	国234選				
担当者名	金子 大蔵 <small>かねこ だいぞう</small>				

### 講義のねらい

書道とはただ文字をきれいに書き写すというだけではない。中国、日本における古代からの名品といわれる古典の臨書を重ねることにより、パソコンやワープロでは表現することができない書き手の心や顔が見ることが出来る書表現を身につける。

本講座では主に書の基本ともいえる楷書と行書の古典を中心に半紙を使って学び、それにより多彩な線表現を会得し、独自の臨書感を持って書に取り組めるようにする。また最後に漢字仮名交じりの書を学ぶことにより、我々が今現在使用している言葉を用いた書表現にも挑戦する。

前期では主に楷書の臨書を行う。「高貞碑」等の北魏の楷書から、「九成宮醴泉銘」等の唐の楷書まで幅広く学ぶ。後期では書聖王羲之の最高傑作「蘭亭序」や唐代能書家の名品、日本の空海書「風信帖」まで古今東西の古典を学ぶ。最後3回の講義にて漢字仮名交じり書の作品を学ぶ。

### 講義の内容・授業スケジュール

前期・楷書の研究 (1) 用具・用材の説明と臨書について (2・3) 高貞碑の臨書 (4・5) 牛欄造像記の臨書 (6・7) 孔子廟堂碑の臨書 (8・9) 九成宮醴泉銘の臨書 (10・11) 雁塔聖教序の臨書 (12・13) 顔氏家廟碑の臨書  
後期・行書の研究と漢字仮名交じりの書 (14~16) 蘭亭序の臨書 (17) 集王聖教序の臨書 (18・19) 枯樹賦の臨書 (20・21) 祭姪文稿の臨書 (22・23) 風信帖の臨書 (24~26) 漢字仮名交じりの書

## 国文

### 履修上の留意点

書道の上達は筆を持つ時間の長さにと関係が大きい。予習復習以外にも日頃から筆を持つ機会を多くすることが大切です。

### 成績評価の方法

毎講座後に提出する作品の内容の評価と夏休みの宿題の内容の評価を総合判断して行う。

### 教科書

『書I』高等学校芸術科(書道)文部科学省検定済教科書(光村図書出版)

科目名	書道実習II	開講	通年	単位	4
配当	国234選				
担当者名	那須 隆吉 <small>なす たかよし</small>				

### 講義のねらい

世界で唯一、古代から一貫して同じ文字を使用し、それを鑑賞に耐えうる芸術にまで高めた「書」の美しさを味わい、そのよってきたところを理解し、更に応用力を身につけたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

- ・漢字仮名の書の古典名跡により、書の基本的技法を習得する。
- ・書の基本的知識(書式、文房四宝、篆刻、拓本、表装、書論、写経等)について理解を深める。
- ・中国日本の書道史(文字の歴史)を概観する。

### 履修上の留意点

テキスト、用具は常に整備しておく。(墨汁は使用しない。硯、筆は常に洗っておく。)

### 成績評価の方法

出席点、平常点(遅刻等)、清書、レポート等による。

### 教科書

『書の世界』(中教出版)約1,200円

科目名	書道実習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	国234選				
担当者名	那須 <sup>なす たかよし</sup> 隆吉				

講義のねらい

一口に書道といっても多様なジャンルがある。本講では、隸書法、篆書法、篆刻法を実習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

隸書、篆書の学習は、古典の臨書を中心に行ない、基礎的知識と技法を習得し、鑑賞力を養いたい。篆刻は基礎的技法を習得することと、併せてその歴史も概観し、東洋文化の粋ともいわれる、この「方寸の世界」の奥深い楽しみをさぐりたい。

履修上の留意点

文房具を愛することは、古来文人のたしなみであるので、用具を忘れて人に借りるなどということのないよう注意されたい。

成績評価の方法

出席及び清書提出、随時レポートの提出等を総合して評価する。

教科書

コピーによる。

参考書等

随時紹介する。

科目名	編集実務	開講	通年	単位	4
配当	国234選				
担当者名	はせがわ たかし 長谷川 孝				

### 講義のねらい

編集とは、〈誰かに——何かを——伝える〉過程、つまり「何か」に気づき、その意味をつかみとり、取捨選択（評価）し、再構成して、表現の形を整えて、受け手に引き渡していく一連の過程に携わる仕事です。その過程で、「どう」伝えるかに必要な知識・技能とともに、「何を・なぜ」伝えるのかを考える力、いわば“知的基礎体力”が「実務」の前提として必要です。そのための自分なりの「目のつけどころ」（視点・視角・視野）をつくることなど、“知的基礎体力”を養うことを目指します。また、編集のはたらきは生活の中で誰もが日常的に行っていることなので、それを意識的に適用してみることで「編集力」を育てたいと思います。情報化社会で多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、「よき発信人」であるために役立つことを願っています。

### 講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・書籍など印刷媒体の編修を中心に、企画・取材・原稿の執筆や読み取り・整理、レイアウトなど、実際の知識・技能を取り上げつつ、それに即して「目のつけどころ」や編集をする上での意思や責任などについて考えます。とくに、ものごと・できごと・文章やデータなどから「何か」（そのテーマと意味）をよみとり、感じとり、問い返し、取捨選択して、自分の表現をつくり出す力を養えるよう考えます。

### 履修上の留意点

授業を「取材」する（「教わる」ではなく）という構えで参加してください。また、授業で「取材」した「自分なりに感じ気づき考えた」こと（つまり「編集」したこと）を、毎時、短い文章にして提出してもらいます（「イケン文」と呼びます）。授業を受け止めるという過程そのものが、編集作業をたくさん含んだプロセスですから、こういう姿勢は「編集の実践」でもあると考えています。

### 成績評価の方法

自己評価点を重視します。それと、課題作品（B4版2つ折4ページの個人紙・誌を制作）と、授業で書いた「イケン文」など平常の提出物によります。

### 教科書

プリントを使用します。

### 参考書等

必要により、授業で紹介します。



## II 專 門 教 育 科 目

### 2 英 米 文 學 科

## Ⅱ. 専門教育科目

### (2) 英米文学科

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語演習	英1必(19年度以降入学生)	通年	2	東 雄一郎	539
作品講読I	英1必(18年度以前入学生)				
英語演習	英1必(19年度以降入学生)	通年	2	逢見 明久	540
作品講読I	英1必(18年度以前入学生)				
英語演習	英1必(19年度以降入学生)	通年	2	佐藤 真二	540
作品講読I	英1必(18年度以前入学生)				
英語演習	英1必(19年度以降入学生)	通年	2	川崎 明子	541
作品講読I	英1必(18年度以前入学生)				
スピーチ・アンド・コミュニケーションI	英1必	通年	2	サンダース、 L. P.	541
スピーチ・アンド・コミュニケーションI	英1必	通年	2	レイン、 R. V.	542
スピーチ・アンド・コミュニケーションI	英1必	通年	2	マーティン、 S. F.	543
作品講読II	英2必(18年度以前入学生)	通年	2	河崎 征俊	543
作品講読II	英2必(18年度以前入学生)	通年	2	佐藤 千春	544
作品講読II	英2必(18年度以前入学生)	通年	2	高野 正夫	544
作品講読II	英2必(18年度以前入学生)	通年	2	東 雄一郎	545
スピーチ・アンド・コミュニケーションII	英2必	通年	2	ブランケン、 D. L.	546
スピーチ・アンド・コミュニケーションII	英2必	通年	2	サンダース、 L. P.	547
スピーチ・アンド・コミュニケーションII	英2必	通年	2	ハバード、 W. D.	547
英語学概論	英2必	通年	4	佐藤 真二	548
英語表現法	英2必	通年	4	高野 正夫	548
英語表現法	英2必	通年	4	河崎 征俊	549
英語表現法	英2必	通年	4	佐藤 千春	550
英語表現法	英2必	通年	4	逢見 明久	550
英語史	英3必	通年	4	久保内 端郎	551
3年次ゼミ	英3必	通年	4	東 雄一郎	552
3年次ゼミ	英3必	通年	4	逢見 明久	552
3年次ゼミ	英3必	通年	4	河崎 征俊	553
3年次ゼミ	英3必	通年	4	川崎 明子	554
3年次ゼミ	英3必	通年	4	久保内 端郎	555
3年次ゼミ	英3必	通年	4	佐藤 真二	556
3年次ゼミ	英3必	通年	4	佐藤 千春	557
3年次ゼミ	英3必	通年	4	サンダース、 L. P.	557
3年次ゼミ	英3必	通年	4	高野 正夫	558

アメリカ文学史	英23選必	通年	4	佐藤 千春	558
イギリス文学史I	英23選必	通年	4	河崎 征俊	559
イギリス文学史II	英23選必	通年	4	高野 正夫	560
イギリス文学特講I				休講	
イギリス文学特講II	英234選	通年	4	高野 正夫	561
イギリス文学特講III	英234選	通年	4	岡崎 寿一郎	562
イギリス文学特講IV	英234選	通年	4	川崎 明子	562
イギリス文学特講V	英234選	通年	4	増田 恵子	563
イギリス文学特講VI	英234選	通年	4	丸小 哲雄	564
演劇特講 (イギリス・アメリカ)	英234選	通年	4	落合 和昭	565
演劇演習 (イギリス・アメリカ)	英234選	通年	4	逢見 明久	566
アメリカ文学特講I	英234選	通年	4	東 雄一郎	566
アメリカ文学特講II	英234選	通年	4	サンダース、 L. P.	567
アメリカ文学特講IV	英234選	通年	4	逢見 明久	567
アメリカ文学特講V	英234選	通年	4	西原 克政	568
イギリス文学演習I	英234選	通年	4	河崎 征俊	568
イギリス文学演習II	英234選	通年	4	川崎 明子	569
イギリス文学演習III	英234選	通年	4	高野 正夫	570
イギリス文学演習V	英234選	通年	4	川崎 明子	571
アメリカ文学演習I	英234選	通年	4	川崎 浩太郎	572
アメリカ文学演習II	英234選	通年	4	サンダース、 L. P.	572
アメリカ文学演習III	英234選	通年	4	松本 昇	573
アメリカ文学演習IV	英234選	通年	4	古富 猛	573
アメリカ文学演習V	英234選	通年	4	佐藤 千春	574
時事英語	英234選	通年	4	サンダース、 L. P.	574
商業英語	英234選	通年	4	杉山 泰彦	575
ラテン語	英234選	通年	4	上野 勝広	575
ギリシャ語	英234選	通年	4	長谷川 岳男	576
英米文化	英234選	通年	4	広川 治	577
外国文学	英234選	通年	4	松岡 晋	578
英米思想史	英234選	通年	4	麻生 享志	579
現代美術	英234選	通年	4	矢野 陽子	580
日本文化史	英234選	通年	4	吉田 政博	581
翻訳演習	英234選	通年	4	佐野 哲夫	582
英作文演習	英34選	通年	4	東 雄一郎	582
英作文演習	英34選	通年	4	川崎 明子	583
英語学演習I	英34選	通年	4	菅原 勉	584
英語学演習I	英34選	通年	4	ピアス、 D. M.	585
英語学演習II	英34選	通年	4	久保内 端郎	586
英語学演習III	英34選	通年	4	町田 尚子	587
英語学演習IV	英34選	通年	4	久保内 端郎	588

TOEIC (R) ・TOEFL (R) 講座	英34選	通年	4	ブランケン、 D. L.	589
TOEIC (R) ・TOEFL (R) 講座	英34選	通年	4	レイン、 R. V.	590
オーラル・イングリッシュ	英34選	通年	2	リアーディ、 N.	591
オーラル・イングリッシュ	英34選	通年	2	レイン、 R. V.	592
オーラル・イングリッシュ	英34選	通年	2	ハバード、 W. D.	592
オーラル・イングリッシュ	英34選	通年	2	ナトウシュ、 B. A.	593
4年次ゼミ	英4選	通年	4	東 雄一郎	593
4年次ゼミ	英4選	通年	4	逢見 明久	594
4年次ゼミ	英4選	通年	4	河崎 征俊	594
4年次ゼミ	英4選	通年	4	川崎 明子	595
4年次ゼミ	英4選	通年	4	久保内 端郎	596
4年次ゼミ	英4選	通年	4	佐藤 真二	597
4年次ゼミ	英4選	通年	4	佐藤 千春	597
4年次ゼミ	英4選	通年	4	サンダース、 L. P.	598
4年次ゼミ	英4選	通年	4	高野 正夫	598

科目名	英語演習 作品講読I	開講	通年	単位	2
配当	英1必(19年度以降入学生) 英1必(18年度以前入学生)				
担当者名	あずま ゆういちろう 東 雄一郎				

#### 講義のねらい

英語の基礎力を充実させ、さらにリーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの力を総合的に高める。TOEICやTOEFLなどの各種資格試験に対応した練習問題を数多くこなす。多様な話題に関して英語の速読の力をつける。

#### 講義の内容・授業スケジュール

Newsweek, New York Times, Guardian, Japan Times などの一流の雑誌、新聞から厳選した英文を読み、今日の世界情勢・状況に関する認識・情報・知識を深める。「言語」、「アメリカ」、「教育」、「世界」、「科学とテクノロジー」、「エコロジー」、「日本の社会・政治」などをテーマにした良質の記事・論説・論文16本を読み、リスニングやディクテーションを通して、英語の表現力を養う。毎回、まとめの小テストを行う。その他に、英字新聞などのプリントを配布し、多くの英語に接するようにする。

#### 履修上の留意点

中英和辞典、英英辞典を必ず授業に持参すること。予習を必ずした上で授業に臨むこと。理由のない遅刻、欠席をしないこと。

#### 成績評価の方法

毎回の小テスト、練習問題の解答（提出物）、前・後期各1回（計2回）のまとめ試験の結果、年数回の小レポート、出席点などを総合的に判断して評価を下す。欠席、遅刻の多い者は、成績評価対象外となるので、注意すること。

#### 教科書

Setting the Stage(Articles and Essays about the State of Our World) 研究社、価格1,995円

#### 参考書等

授業内で随時、指示します。

#### その他

教科書を補うプリントを配布する。

科目名	英語演習 作品講読!	開講	通年	単位	2
配当	英1必(19年度以降入学生) 英1必(18年度以前入学生)				
担当者名	逢見 明久 <small>おうみ あきひさ</small>				

講義のねらい

総合的な英語力の向上。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回練習問題に取り組み、文法・読解・聞き取りの力を磨く。

履修上の留意点

語学の習得には、単調に思えることの繰り返しと、継続的な積み重ねを厭わずに実践することが不可欠となる。毎回の練習問題のみならず、インターネットや新聞、映画など日頃触れる英語に関心を持ち、自主的に英語力を練磨すること。正当な理由がない限り、遅刻や無断欠席などは禁物。

成績評価の方法

毎回の授業での取り組みの姿勢と、前期と後期のテストの結果を加味し、総合的に判断する。

教科書

プリント配布。

参考書等

適宜指示。

英  
米  
文

科目名	英語演習 作品講読!	開講	通年	単位	2
配当	英1必(19年度以降入学生) 英1必(18年度以前入学生)				
担当者名	佐藤 真二 <small>さとう しんじ</small>				

講義のねらい

総合的な英語力の養成を目的とする。

履修上の留意点

毎週課題を出す。  
毎回予習の上出席すること。

成績評価の方法

前期末後期末の試験および授業内の発表や提出物、出席によって評価する。

教科書

教場にて指示する。

科目名	英語演習 作品講読I	開講	通年	単位	2
配当	英1必(19年度以降入学生) 英1必(18年度以前入学生)				
担当者名	かわさき あまこ 川崎 明子				

講義のねらい

英語力の基礎を固めます。リーディングとライティングが中心の教科書を使用しますが、スピーキングとリスニングも取り入れます。ペアワークやグループディスカッションもします。

講義の内容・  
授業スケジュール

12課ある教科書に沿って進み、少テストを頻繁に行います。パラグラフや短いエッセイの提出もあります。

履修上の留意点

- 1 数種類の辞書を使い予習をして臨むこと
- 2 第一回目の授業より必ず辞書を持参すること
- 3 提出物は書式を指定します。授業でマニュアルを配り説明しますが、最低限のワープロの知識があることが望ましいでしょう

成績評価の方法

出席、小テスト、テスト、提出物の結果に加え、授業への参加・貢献度により総合的に評価します。語学力はコミュニケーション能力と連動していますから、英語、日本語を問わず、授業中の学生や教官とのコミュニケーションの上手な方は高く評価します。

教科書

Broukal, “Weaving It Together: Connecting Reading and Writing 3 Intermediate Level”  
(松柏社、2005) ¥1,800

参考書等

Eastwood, “Oxford Practice Grammar: Intermediate” (Oxford: 2006)

科目名	スピーチ・アンド・コミュニケーションI	開講	通年	単位	2
配当	英1必				
担当者名	サンダース, L. P.				

講義のねらい

This course is designed to give students basic listening and speaking skills needed for effective communication in English.

講義の内容・  
授業スケジュール

Each class will consist of practical listening exercises, and/or short videos on related topics. Follow-up activities for speaking practice will include screen English dialogs for pair work, role plays, short speeches and recitations.

成績評価の方法

Attendance, participation in class activities, speech and/or recitation, two tests (one at the end each semester).

教科書

教材は教室にて配布する。

その他

ビデオを使用する。

科目名	スピーチ・アンド・コミュニケーションI	開講	通年	単位	2
配当	英1必				
担当者名	レイン, R. V.				

講義のねらい

This course will help students to: 1] use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, and 2] improve their presentation-giving skills.

講義の内容・  
授業スケジュール

The first half of the class is devoted to textbook speaking activities [done in pairs] to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving presentations in front of the class on topics selected by the instructor.

履修上の留意点

Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home. Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes [approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be tested orally on the textbook activities twice a month and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as attendance and class participation.

教科書

author: Steven Molinsky and Bill Bliss  
 title: "Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4"  
 publisher: Longman  
 date: 2003  
 ISBN 0-13-183937-3

APPROX. 55 COPIES OF TEXTBOOK ARE NEEDED FOR THIS CLASS



科目名	スピーチ・アンド・コミュニケーションI	開講	通年	単位	2
配当	英1必				
担当者名	マーティン、S. F.				

講義のねらい

Speech and Communication I will be organized around modes of communication, as well as content. Most classes will be organized so as to have students preparing for projects through small groups. But when practical, individual participation will be encouraged and will be included in overall student evaluation.

講義の内容・授業スケジュール

No textbook is required, but students will need to have a file holder or notebook for student generated materials and handouts from the instructor. Material to be covered will be comprised of roughly 50% practical conversation, and 50% will be drawn from a variety of lectures and discussions of academic or cultural interest.

履修上の留意点

Attendance is required, and with few exceptions, the instructor will hold students accountable for the minimum attendance required by the Ministry of Science and Education (Monkasho). Final student evaluation will be based on year long attendance, and a willingness to communicate as exemplified by completion of homework assignments and active participation in classroom exercises.

成績評価の方法

Students will be evaluated according to attendance, in class Participation, occasional written tests, and occasional written homework assignments.

教科書

Students are not required to buy a textbook

参考書等

Students should try to other English source material as much as possible. Any source is acceptable—newspapers, novels, magazines.

英  
米  
文

科目名	作品講読II	開講	通年	単位	2
配当	英2必(18年度以前入学生)				
担当者名	かわさき まさとし 河崎 征俊				

講義のねらい

Jane Austen の “Pride and Prejudice” を読みながら、19世紀英文学の本質を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

19世紀の小説の手法（特に女性文学者）はどのような特質をもっているのか、また、それは所謂「偉大な伝統」の流れの中でどのような位置を占めているのか、この授業ではこのような問題を中心に考えながら19世紀英文学の読み方を習得していく予定。

履修上の留意点

演習形式をとるため、出席を重視する。遅刻は認めない。予習に専念していただきたい。

成績評価の方法

年2回の試験、演習態度、及び出席等を中心に総合的に評価する。

教科書

Penguin 版等をコピーにて配布する予定。

参考書等

授業時に時々指示する。

その他

参考資料をプリントを数回配布する予定。

科目名	作品講読II	開講	通年	単位	2
配当	英2必(18年度以前入学生)				
担当者名	佐藤 千春				

講義のねらい

本年度は世界的に著名な人類学者 Ashley Montagu の作品を読む。

講義の内容・授業スケジュール

著者のすぐれた文体の音読に始まり、訳読、文法的説明等、文章の構造を解明し、内容の把握に努める。アメリカ自然主義文学にも関係する内容もあるので十分に味わっていただきたい。

履修上の留意点

あらかじめ発表部分をあてておくので、十分な予習をもって授業に臨むこと。授業時間内における発表内容、授業に臨む姿勢、遅刻・欠席はマイナスの評価として扱うので注意すること。

成績評価の方法

「履修上の留意点」での注意点を考慮し、前期・後期のテストの結果で決定する。尚、遅刻・欠席が多い場合には、受験資格を失うので留意しておくこと。

教科書

『人間を考える』(On Being Human), 成美堂 ¥1,260

参考書等

授業内で指示する。

科目名	作品講読II	開講	通年	単位	2
配当	英2必(18年度以前入学生)				
担当者名	高野 正夫				

講義のねらい

イギリス20世紀の短編小説を精読しながら、現代のイギリス国民の諸相を考察していく。その他、さまざまな英文に現れる英語特有の表現や言いまわしについても細かくふれていきます。

履修上の留意点

発表の時以外にもできる限り予習をして、授業に出ること。

成績評価の方法

前期、後期の試験だけでなく、授業における発表や出席状況を考慮しながら評価する。

教科書

教場にて指示します。

その他

授業は演習形式で行います。

科目名	作品講読II	開講	通年	単位	2
配当	英2必(18年度以前入学生)				
担当者名	あずま せいりゅう 東 雄一郎				

#### 講義のねらい

速読、精読を通して英語の読解力並び文法力を養う。単なる英文和訳ではなく、英文の内容理解が本当にできるように練習する。また、20世紀のアメリカ小説を通して、特にアメリカの都市と農村、社会、文化、芸術への認識・知識・情報を深める。

#### 講義の内容・授業スケジュール

20世紀初頭のアメリカ小説、Sherwood Anderson のオムニバス形式の作品 Winesburg, Ohio から厳選した傑作8編を読む。前期、後期、それぞれ4編(40頁前後)を読破する。毎回、数名に発表してもらう形式で授業を進める。各自の発表後に質問があるため、特に発表者は周知な準備をした上で授業に臨むように(質問に答えられるように)。毎回、内容や英語に関する小テストを課す。また、年間数回の小レポートを課す。

#### 履修上の留意点

中英和辞典、英英辞典を必ず持参すること。理由のない欠席や遅刻はしないこと。発表者でなくとも、必ず予習をした上で授業に臨むこと。

#### 成績評価の方法

平常点(発表、小テスト、小レポート)と、前・後期各1回のまとめ試験、出席点を総合的に判断して、成績評価を下す。遅刻、欠席が多い者は成績評価対象外となるので注意すること。また、提出期限を守らないレポートは受理しない。

#### 教科書

Winesburg, Ohio (『ワインズバーグ、オハイオ』) 研究社、価格1,155円

#### 参考書等

授業内で随時指示します。

#### その他

教科書を補うプリントを配布する。

科目名	スピーチ・アンド・コミュニケーションII	開講	通年	単位	2
配当	英2必				
担当者名	ブランケン, D. L.				

講義のねらい

To increase students' aural-oral proficiency and promote their willingness to speak in English. Students will produce spoken English through memorized passages, dialogs and readings in the first semester. In the second, they will speak, first with guidance and later freely, on topics of their choice.

講義の内容・  
授業スケジュール

	Spring Semester	Fall Semester
Week 1:	Vetting of student oral proficiency	Review: EOT Unit 5
Weeks 2 & 3:	English On Tap (EOT), Unit 1	EOT, Unit 6
Weeks 4 & 5:	EOT, Unit 2	EOT, Unit 7
Week 7:	Extra materials; activities (1)	Extra materials; activities (3)
Weeks 8 & 9:	EOT, Unit 3	EOT, Unit 8
Weeks 10 & 11:	EOT, Unit 4	EOT, Unit 9
Week 12:	Extra materials; activities (2)	Extra materials; activities (4)
Weeks 13 & 14:	Book check, makeup work	Book check, makeup work

履修上の留意点

Two class periods will be used for each unit of the textbook. Four units are to be covered in the first semester, and the remaining five in the second. The goal is to “do” some five pages of the text per class period. Four classes per year will be reserved for extra materials like games, music and puzzles.

The text provides for weekly listening and speaking activities like role playing. These will be graded as part of the instructor's continuous assessment of each student.

成績評価の方法

Students will be evaluated and graded as follows: (1) classwork, using the textbook, 40%; (2) Classwork, using extra materials, 20%; (3) attendance and weekly speaking performance, 20%; and quizzes and end of semester book check, 20%.

教科書

Name: English On Tap  
 Authors: D. Lee Blanken & Associates  
 Publisher: Urban Productions, Ltd.  
 Price: ¥2,200

参考書等

A suitable electronic Japanese-English dictionary is strongly recommended. The instructor will discuss this during the first class meeting, when course goals and contents will be outlined.

科目名	スピーチ・アンド・コミュニケーションII	開講	通年	単位	2
配当	英2必				
担当者名	サンダース, L. P.				

講義のねらい

This course will be based on developing practical speaking skills and listening comprehension for the intermediate level student.

講義の内容・授業スケジュール

Each class will consist of listening exercises and videos on related topics, followed by conversation practice and discussions related to cultural studies topics.

成績評価の方法

Class participation, attendance, punctuality, and two tests

教科書

教材は教室にて配布する。

その他

ビデオを使用する。

科目名	スピーチ・アンド・コミュニケーションII	開講	通年	単位	2
配当	英2必				
担当者名	ハバード, W. D.				

講義のねらい

This course is designed to help university students improve their speech and communication abilities. Various dialogues, topics, sentence patterns, and rhythm practices are used to introduce the student to new ideas and vocabulary and to improve the student's speech and communication abilities. This course can be used for vocabulary enhancement, preparation for STEP (EIKEN) level2 or 3 tests, as well as an introduction to basic speech and communications skills in English.

講義の内容・授業スケジュール

In the first semester (class periods1-12), dialogues with new sentence patterns and vocabulary will be introduced and practiced. Then, general questions will be provided to help the students judge their comprehension of the material and familiarity with any new vocabulary and situations introduced through the dialogues. After this, general exercises will be introduced. These exercises are designed to help the students improve their intonation, stress, rhythm, and pronunciation, ability to express themselves, and comprehension in general. During the next class period, students will be asked to show their competence in using this material.

In the second semester (class periods13-24), a more concentrated effort will be placed on improving stress, intonation, rhythm, pronunciation, and speaking ability in general. Students will give a short presentation on the material provided. Useful hints will then be given to help the students improve their ability to express themselves in an understandable way. This material is S. T. E. P (EIKEN) oriented and will help the student prepare for such tests as the EIKEN level2 or 3.

履修上の留意点

Students will be evaluated (graded) according to their attendance, homework, class work, other assigned work, and tests (2)

教科書

No textbook. New text material will be handed out during each class session.

科目名	英語学概論	開講	通年	単位	4
配当	英2必				
担当者名	佐藤 真二 <small>さとう しんじ</small>				

講義のねらい

英語学の諸項目に関する基礎的な知識を身につける事を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

主な講義内容は以下の通り。

- 1) What is linguistics? (言語学とは何か)
- 2) Phonetics (音声学)
- 3) Phonology (音韻論)
- 4) Morphology (形態論)
- 5) Lexicology (語彙論)
- 6) Syntax (統語論)
- 7) Semantics (意味論)
- 8) Linguistic schools in the twentieth century (20世紀の諸言語学派)
- 9) Branches of linguistics (言語学の諸分野)

成績評価の方法

前期末及び学年末の試験によって評価する。

教科書

J.D.O'Connor, "Better English Pronunciation", (Cambridge University Press) 1980, (Paperback)

参考書等

参考文献は教場にて紹介する。

英  
米  
文

科目名	英語表現法	開講	通年	単位	4
配当	英2必				
担当者名	高野 正夫 <small>たかの まさお</small>				

講義のねらい

いわゆる英作文の学習において基本となるのは、英語の文法的な知識である。どのような易しい英文を書く場合にも、この文法的な知識なくしては、それが不可能なことは言うまでもありません。このような自然な英作文を書くのに必要な文法は、「生きた英文法」と言われるものであり、単なる書かれた知識としての文法ではなく、現実の生活の様々な場面で使われる言語表現に不可欠な文法的な知識である。それ故、基本的な英文法の知識を再確認しながら授業を進めていく予定です。

履修上の留意点

授業は、毎回演習形式で行うので、あつた時には十分準備をすること。

成績評価の方法

前期、後期の試験だけでなく出席を重視する。また、あつた時の発表など、総合的に判断しながら評価する。

教科書

教場にて指示します。

科目名	英語表現法	開講	通年	単位	4
配当	英2必				
担当者名	かわさき まことし 河崎 征俊				

#### 講義のねらい

平易な英語表現の整理と確認を行いながら、より高度な英文作成を目指した授業を行う。英語表現の熟達を望む人は、一般に、ややもすると日本語から英語へといった機械的かつ単純な方式を踏む傾向があるが、一方において、より優れた模範的英文に触れることも必要である。また、使用する辞書も英和辞典や和英辞典を用いるだけではなく、英英辞典を多用することも大切である。日本語から英語へと文章を変換すること自体、困難な作業なので、できるかぎりわれわれの頭の中でイメージの拡散を起こさないようにすべきであろう。英語で英文のイメージをまとめ、英語で直接思考し、発音し、そしてライティングへと向かうべきである。そのような問題意識をもって着実な努力を重ね、多くの英文に触れながら、さまざまな場面や角度から英文の表現法を習得してほしい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業では、日常的レベルの内容の英文作成から、一歩すすんだ内容の英文作成を目標とし、テキストとプリント類を使用する。

#### 履修上の留意点

すべて演習形式をとるので、予習・復習を必須とする。従って、出席を重視し、積極的に意欲的な授業への参加が求められる。遅刻をしないよう心がけてほしい。

#### 成績評価の方法

年2回の筆記試験および平常時の授業態度・出席状況などをもとにして、総合的な角度から評価する。

#### 教科書

小沢準作『英作文演習』（南雲堂）1,100円

#### 参考書等

授業の進行に合わせて紹介する予定。

科目名	英語表現法	開講	通年	単位	4
配当	英2必				
担当者名	佐藤 千春 <small>さとう ちほる</small>				

講義のねらい

ここで扱う英文はすべて日常会話のものばかりで、いわゆる書き言葉なるものは一つもない。口語英作文と考えるともらえばよい。はじめに基本となる英文の表現を確認する。次に口頭で答えてもらえる程度の短い文を練習し、基本が身に付いているかどうかのトレーニングを行う。次にコミュニケーションの実際の場面を想定し、これはあらかじめ分担を決めておくので1人1問の分量を板書してもらおう。この授業で扱う表現はすべて実生活を土台としたもので、できるだけ簡単な表現で巧みな自己表現が出来るようになることをねらいとしている。

講義の内容・授業スケジュール

それぞれ定められた場面に必要とされる表現の例文、Useful Expression の説明、およびテキストに収録されているもの以外の表現を簡単に説明し、その後はすべて学生諸君に1問ずつ質問に答えてもらう Basic Training の練習を行う。Writing Practice はあらかじめあてておくので準備をし、板書してもらおう。またテキストとは別に、アメリカの Colloquialism や、その他面白い表現について学び、自由作文をしてもらうことも考えている。

履修上の留意点

授業に臨むにあたっての注意事項は授業開講時に説明をする。毎回出欠をとることは言うまでもない。遅刻・欠席はマイナス評価、Assignment は必ずやってくるように。

成績評価の方法

毎回あてる Quiz、出欠の結果、各学期末に行うテスト等、総合的に判断し評価を行う。遅刻・欠席はマイナス評価となり、試験の点数が良くても、最終評価は必ずしもこれに一致することはないので注意すること。

教科書

『コミュニケーションのための口語英作文』(The Road from Writing to Speaking) (成美堂) 1,680円

参考書等

授業内にて紹介して行く。

科目名	英語表現法	開講	通年	単位	4
配当	英2必				
担当者名	逢見 明久 <small>おうみ あきひさ</small>				

講義のねらい

多様な英語表現の用例に触れて、言葉遣いのニュアンスを学び、英語の音声表現を磨き、英語表現の上達を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

短編小説・戯曲・映画などを利用し、リスニングや朗読を通じて、英語の音感を磨き、音声表現を学ぶ。

履修上の留意点

成果を出すために、十分に予習をして授業に臨むなど、意欲的な態度が求められる。

成績評価の方法

毎時間の発表と授業態度、および前期と後期のテストの結果から総合的に判断。

教科書

教場で知らせる。

参考書等

必要に応じて紹介。



科目名	英語史	開講	通年	単位	4
配当	英3必				
担当者名	くぼうち ただお 久保内 端郎				

### 講義のねらい

英語は今でこそ「世界語」と呼ばれるほどになっていますが、5世紀頃のその成立時はゲルマン語に属する一つの地方言語にすぎず、またその初期の段階ではその存続自体危うくなったことが一度ならずありました。英語の過去の姿、そしてその後の変化の過程を見ることによって、英語の何が変わり、何が変わらなかったのかを知ることは、現在の英語の特質を理解する上で重要です。講義では『アングロサクソン年代記』、『ベーオウルフ』、各期の聖書翻訳など実際の文章例の読解に重点をおきます。前期は古英語（700-1100年頃の英語）を中心に、中英語期（1100-1500年頃）の半ばまで、後期は中英語期の後期から活版印刷術導入期を経て北米大陸などへの拡張期までが中心になります。

### 講義の内容・授業スケジュール

#### （前期）

- (1～2) 英語の始源と特徴
- (3～7) 古英語の綴り字、音韻の推定、語尾変化と語順
- (8～10) 英語の語彙 外国語の影響
- (11～13) 中英語期への移行期の文献読解
- (14～15) 『カンタベリー物語』
- (16～17) 「英語散文の連続性」と外来語の影響
- (18～19) 近代英語への移行期 活版印刷術
- (20) 標準英語の形成と英語の方言
- (21～22) 『欽定訳聖書』とシェイクスピア
- (23) アメリカ大陸などへの拡大

### 履修上の留意点

授業への積極的な参加と予習を強く要望します。

### 成績評価の方法

成績評価は平常点とレポート、試験の成績による。

### 教科書

David Crystal, 『The History of English』(金星堂)

### 参考書等

講義の中で随時指示。

科目名	3年次ゼミ	開講	通年	単位	4
担当	英3必				
担当者名	あずま ゆういちろう 東 雄一郎				

講義のねらい

19世紀のアメリカの女性詩人エミリー・ディキンソンの作品並びに手紙を精読・味読します。また、彼女に関連した評論を読みます。ゼミ内発表は英語で行い、その発表内容についてディスカッションを行います。後期からは質疑応答も英語で行いますので、発表者以外の者も、自分の意見や主張を英語でまとめ、ゼミに参加して下さい。研究発表者は、英語のハンドアウトを用意し、他のゼミ生に配布して下さい。

履修上の留意点

欠席をせずに、予習を必ず行うこと。

成績評価の方法

研究発表（プレゼンテーション）、ディスカッションへの参加・貢献度などの平常点と小レポート（数回）、年末の総合テスト（1回）の結果を考慮し、評価を下す。

教科書

テキストは  
新倉俊一編注『エミリー・ディキンソン詩抄』（研究社）  
亀井俊介編『ディキンソン詩集』（岩波文庫）  
を使用します。

参考書等

開講時に指示します。

科目名	3年次ゼミ	開講	通年	単位	4
担当	英3必				
担当者名	おうみ あきひさ 逢見 明久				

講義のねらい

英米演劇・映画作品研究。

講義の内容・授業スケジュール

英米演劇・映画の秀作を取り上げ、前期は共通の作品を巡りそれぞれが研究法を模索し、夏期休暇に各々の切り口でレポートをまとめ（400字10枚程度）、後期はレポートを発表し、ほかのメンバーと意見を交換しながら問題点を整理する。

履修上の留意点

毎回全員に発表の機会があるので、準備は怠らないこと。

成績評価の方法

毎時間の発表姿勢と、レポートの結果から判断する。

教科書

適宜案内する。

参考書等

荒井良雄著『英米文学映画化作品論』（新樹社、1996年） ISBN：4787584588  
ベラ・パラージュ著 佐々木基一訳『映画の理論』（学藝書林、1992年）  
ISBN：4905640857

科目名	3年次ゼミ	開講	通年	単位	4
配当	英3必				
担当者名	かわさき まさとし 河崎 征俊				

#### 講義のねらい

イギリスの14世紀は、百年戦争、農民一揆、黒死病の流行、政治的闘争など、多彩な時代であった。と同時に、英語が復権し、騎士道精神華やかになりし時代でもあった。この時代に現れた詩人ジェフリー・チョーサーはこのような時代の特徴をすべて吸収し、その独特なパーソナリティをとおして、イギリス文学の特性ともなるヒューモアとか風刺の精神を、いわゆる、デタッチ・ドな態度で描いている。そして、この詩人は当時の宮廷と深く関わりながら、ウェルギリウス、オウィディウスといったラテン詩人や、ダンテ、ボッカチオといったイタリア詩人、およびギョーム・ド・ロリス、ジャン・ド・マン、ジャン・フロワサルといった中世フランス詩人たちの古典文学に通じ、当時のイギリスに初めて文学らしきものを確立したと言われている。この詩人の作品を精読しながら、イギリス文学および英語のもとの姿をとらえ、学習・研究の幅を広げるのが、このゼミのねらいである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

チョーサーの作品を中心に、14世紀の英語の発音の仕方や文法を学習し、当時の英語が基本的に読めるように授業を進めたい。ある段階において、各自に課題を課し、自発的なゼミ運営を計りたい。

#### 履修上の留意点

ノート整理を怠らず、着実な研究姿勢を身につけてもらいたい。

#### 成績評価の方法

年1回の筆記試験およびレポート課題が中心であるが、平常時の学習態度をもとにして総合的に判断する。

#### 教科書

教科書は、A.C. Baugh 版をコピーにして使用する予定。

#### 参考書等

参考書は、授業の進行に合わせて紹介する予定。

科目名	3年次ゼミ	開講	通年	単位	4
配当	英3必				
担当者名	かわさき あきこ 川崎 明子				

#### 講義のねらい

チャールズ・ディケンズの『ディヴィッド・コッパフィールド』を題材に、文学研究に必要な過程を一通り学びます。卒業論文作成の練習にもなるでしょう。具体的には、テキスト精読、語りの手法、自伝小説・教養小説という文学ジャンル、歴史背景、文学理論、英文・和文の批評の読解、批評の方法、論文の書き方、口頭発表の仕方など。  
作品が長いので小説の読解に興味のある学生、また授業は発表と討論が中心なので積極的な学生を歓迎します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

学期中に数回の小レポートと発表。夏休みに4000字以上のレポートを作成し、合格点に達した場合、後期レポートは免除。レポートは合格点に達するまで書き直し。必要に応じて小試験を行う可能性あり。レポートと口頭発表は英語・日本語どちらでも可。

#### 履修上の留意点

- 1 授業開始前に、翻訳でもよいので作品を通読すること
- 2 添付ファイルで課題を提出することがあるので、Eメールのアカウントを持つこと
- 3 レポートではフォーマットを指定するので、最低限のワープロ技術を持つこと

#### 成績評価の方法

出席、授業中の参加態度、発表の内容、ディスカッションにおける意見、レポート等を総合的に評価します

#### 教科書

Charles Dickens, “David Copperfield” (Penguin Classics)  
Penguin Classics; Revised 版 (2005/1/28)  
ASIN: 0140439447

#### 参考書等

川口喬一『イギリス小説入門』(研究社) イギリス小説の流れと特徴がつかめるのみならず、小説研究のヒントも得られる良書。卒論を小説で書く方は一読されますように。大学図書館にも入っています。

科目名	3年次ゼミ	開講	通年	単位	4
担当	英3必				
担当者名	久保内 端郎 <small>くぼうち ただお</small>				

#### 講義のねらい

英語学とりわけ英語史に関心をもつ諸君の歴史的・通時的研究への関心をさらに深めていただくためのゼミとなればと願っています。前期のテキストには Robert McCrum ほかの 'The Story of English' (BBC Publications, 1986) のテキスト版を用います。BBCで放映されたものが原本になっています。ビデオも適当な時期に少しずつ見たいと思っています。後期はこれの後半を読むか他の本に移るか、参加の諸君の希望を聞きたいと思っています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### (前期)

- (1) 英語の歴史を学ぶとは
- (3~6) 英語の系統
- (7) バイキングの侵入とバイリンガル
- (8~10) ノルマン人の征服の影響
- (11-13) チョーサーとウィクリフ
- (14~16) ルネサンス期の英語
- (17) 以後は参加者の希望による。
- (18~22) 未定
- (23) まとめ

#### 履修上の留意点

授業への積極的な参加を強く要望します。

#### 成績評価の方法

成績評価は平常点とレポートによる。

#### 教科書

Robert McCrum ほか『BBC：英語ものがたり』（英文）（英宝社）1,850円

科目名	3年次ゼミ	開講	通年	単位	4
配当	英3必				
担当者名	佐藤 真二 <small>さとう しんじ</small>				

講義のねらい

Accents of English (地域や社会階級、年齢、性別等による発音の違い) を、音声資料を用いて研究する。

講義の内容・  
授業スケジュール

(前期) International Phonetic Alphabet、地域による相違、社会階級による相違、性別、年齢による相違。研究予定地域：イングランド南部 (ロンドン等)、イングランド北部 (リヴァプール等)、スコットランド、アイルランド、ウェールズ、オーストラリア、カナダ等。使用予定資料：インタビュー、ニュース、テレビ番組、映画、音楽等。学生の研究発表を中心とする。

履修上の留意点

- ・履修には、英語音声学全般に関する基礎知識が必要である。
- ・音声資料の分析等のために、プラクティカルな英語力も要求される。
- ・参考書や資料は、英語のもののみ使用予定。
- ・後期には、学生各自が、自ら選択したテーマで夏期に研究した結果の発表を行う。
- ・口頭発表は、英語で行うことも視野に入れる。
- ・後期の発表のためには、前期の授業に毎回出席し、テキストの要約発表や ear-training などの基礎学習が不可欠となる。毎回予習の上出席すること。

成績評価の方法

授業内の発表とレポートによって評価する。

教科書

教場にて指示する。

その他

夏期に、音声学をテーマにした合宿を行う予定。

科目名	3年次ゼミ	開講	通年	単位	4
担当	英3必				
担当者名	佐藤 千春 <small>さとう ちはる</small>				

#### 講義のねらい

アメリカ文学史上、1830年頃から超絶主義（Transcendentalism）という文芸思潮が台頭してきた。このゼミでは、超絶主義とは何か？を論じ、これにかかわる作家をとりあげてみることにする。その1人がナサニエル・ホーソーン（Nathaniel Hawthorne, 1804-64）である。彼の作品を精読し、さらにはほかの作家との比較も行いながら、その人間観、世界観などを探っていくことにする。あわせて、この時代、アメリカ・ルネッサンスという時代も展望してみたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

ホーソーン作品を精読し、その間、これらの作品と共通、あるいは対照的な他の作家の作品なども紹介して行く。本年度扱う作品は、ゼミ開講時にプリントで配布する予定である。

#### 履修上の留意点

あらかじめ発表部分をあてておくので十分な予習をもって授業に臨んでほしい。作品の訳読、内容の分析、ならびに難解な部分の解説や説明を行ったり、説明を求めたりする形式で進めて行く。遅刻・欠席は厳に慎むこと。人数によって教場変更もあるので4月の開講時に注意していただきたい。

#### 成績評価の方法

分担して発表してもらった姿勢と内容、作品の内容と分析に関するテスト、あるいはレポートを課題として出す予定。出席が重視されるのは当然と考えてほしい。

#### 教科書

プリントを使用する。4月の開講時に各自に手渡すので注意されたい。

#### 参考書等

参考書、翻訳書など多数にのぼるので授業内において、その都度紹介して行く。

科目名	3年次ゼミ	開講	通年	単位	4
担当	英3必				
担当者名	サンダース, L. P.				

#### 講義のねらい

このセミナーは、カルチャー・スタディのアプローチをもとに、1980年代から現在までのコンテンポラリー文学を学ぶ。

そして次の3つの点に注目する—— technology, media and literature.

今年度は、“サイバー・スペース”のクリエイターである William Gibson の作品や映画『The Matrix (1999)』などである。

#### 成績評価の方法

後期にレポート提出とする。

#### その他

ビデオを使用する。英語で授業を行う。

科目名	3年次ゼミ	開講	通年	単位	4
配当	英3必				
担当者名	たかの まさお 高野 正夫				

#### 講義のねらい

WordsworthとColeridgeが““Lyrical Ballads””を出版した1798年からの約30年間をロマン主義の時代と呼んでいます。イギリス・ロマン派の詩人たちの特徴の一つにその自然観があります。ロマン派の詩人たちは、それまで顧みられることのなかった自然の奥深くにある神秘性や啓示的精神に目を向けて、新たな詩を生み出していったのです。さらに、‘Lyrical Ballads’の特徴の一つである、平凡な話し言葉によって書かれた詩は、従来のものより読みやすくなり、このロマン主義の時代に詩は、一般大衆にとって身近なものとなっていきました。そして、彼らを選んだ主題は、自然以外にも、愛や古いバラッドや、神話など、人々の日常生活に関わるものが多かったのです。その他、BlakeやWordsworthの作品にも見られるように、子供を文学作品の重要なテーマとしたのもロマン主義の一つの特徴であったのです。とくにWordsworthは、多くの子供を中心とした素朴な家族の愛を描いた作品を書いていました。

このようなイギリス・ロマン派の詩人たちが描いた自然や愛そして子供たちを主題とした作品や、Beatrix Potter、Mother Gooseなどを読みながら、当時のイギリスの人々のロマンチックな精神を探っていく予定です。

#### 成績評価の方法

レポートや平常点や出席状況を見ながら総合的に評価する。

#### 教科書

プリントを使用します。

科目名	アメリカ文学史	開講	通年	単位	4
配当	英23選必				
担当者名	さとう ちはる 佐藤 千春				

### 英米文

#### 講義のねらい

一般にアメリカの歴史は17Cから始まると言えるが、この地への植民がどのような夢を抱いてなされたものかという序論から論じ、ある意味ではその夢が各作家の様々な作品の中に具現されていると考えて行くのがこの講義のねらいである。一口で言えば、アメリカの夢なるものが、どのような作家の、どのような作品の中に見られるか、またはその夢の挫折の表われは何か、等を探って行きたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

アメリカへの移民の動機、すでにその中にアメリカの夢の原型はあったとすることが出発点である。この植民地時代の思想にふれ、次に18C合理主義の時代、これはアメリカ独立革命の時代であるが、これを経てアメリカ・ルネッサンスと呼ばれる文学史上の時期に入る。講義はできるだけ作家、作品の羅列を避け、作家の主要作品に込められた中心思想、テーマなどに焦点をしばり、分析と解説を行ってみる。もちろん時代の動向や文芸思潮をからませ講義を進めて行く。

#### 履修上の留意点

講義は必ずしもテキスト通りに進むとは限らないし、内容も異なることもある。したがって講義内容を適宜ノートにとり、内容をまとめておくこと。

#### 成績評価の方法

期末に筆記試験を行うが、ノート、参考書等、持ち込みは許可していない。筆記試験に関しては、毎時間必要と思われる箇所を説明するので注意しておくこと。年度の終り近くになって特別に試験にあたっての注意をするわけではない。

#### 教科書

西田実『アメリカ文学史』(成美堂) 2,205円

#### 参考書等

講義を進めて行く間、適宜紹介して行く。



科目名	イギリス文学史I	開講	通年	単位	4
配当	英23選必				
担当者名	かわさき まさとし 河崎 征俊				

講義のねらい

18世紀までのイギリス文学の流れを概観し、時代思潮および主要作家・作品等に触れながらイギリス文学の特質について考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 講義は次のような順序で行う。
- (1) アングロ・サクソン文学以前のイギリス
  - (2) アングロ・サクソン文学の内容と特質
  - (3) 中世後期の文学の内容と特質
  - (4) チョーサー文学
  - (5) ルネッサンス前期の文学の内容と特質
  - (6) ルネッサンス後期の文学の内容と特質
  - (7) シェイクスピア文学
  - (8) 17世紀前半の文学の内容と特質
  - (9) ジョン・ダン文学
  - (10) 清教徒革命期の文学の内容と特質
  - (11) ジョン・ミルトン文学
  - (12) 17世紀後半の文学の内容と特質
  - (13) 新古典主義文学
  - (14) 18世紀前半の文学の内容と特質
  - (15) アレキサンダー・ポープ文学
  - (19) 市民社会と小説の隆盛
  - (20) 18世紀後半の文学の内容と特質
  - (21) ロマン主義文学への曙光

履修上の留意点

最近遅刻が増えているので、遅刻しないよう努めること。出席を取る予定であるが、ただ授業に出席するだけでなく、授業内容をしっかりとノートにとり、テキストや他の参考書を正確に読んでいただきたい。

英  
米  
文

成績評価の方法

レポート（夏期）、1月の定期試験、および出席状況等を中心に総合的に評価する。

教科書

相島倫嘉『イギリス文学の流れ』（南雲堂）3,689円

参考書等

授業の進行に合わせてながら随時教場にて指示する予定。

その他

参考資料を時々配布する予定。

科目名	イギリス文学史II	開講	通年	単位	4
配当	英23選必				
担当者名	たかの まさお 高野 正夫				

### 講義のねらい

19世紀から20世紀にかけてのイギリス文学鑑賞に必要な、時代背景、精神的背景、そして、主要な文学観を解説しながらイギリス文学の特質について説明していきます。

### 講義の内容・授業スケジュール

講義は次のような順序で行います。

- (1) ロマン主義の台頭
- (2) 『リリカル・バラッド』——ワーズワスとコールリッジ
- (3) 他のロマン派の詩人たち
- (4) 19世紀後半の詩人たち
- (5) ゴシック・ロマンス
- (6) ジェイン・オースティンとイギリス小説
- (7) プロンテ姉妹の小説
- (8) チャールズ・ディケンズと風俗小説
- (9) ジョージ・エリオットとメアリー・シェリー
- (10) トマス・ハーディの特質
- (11) 19世紀の散文
- (12) モダニズムについて
- (13) モダニズムの詩
- (14) ジョイスの小説
- (15) D.H.ロレンスの生の探求
- (16) 20世紀の演劇
- (17) 20世紀の詩

## 英米文

### 履修上の留意点

教科書以外にも詳しく説明を加えていくので、ノートをしっかりととること。

### 成績評価の方法

前期のレポートと後期の試験、および出席状況などにより評価する。

### 教科書

‘An Outline of English Literature’ (Longman, 1989)。

### 参考書等

坂本完春編『英文学を学ぶ人のために』（世界思想社）

### その他

教材のプリントを時々配布する予定。

科目名	イギリス文学特講II	開講	通年	単位	4
配当	英234選				
担当者名	たかの まさお 高野 正夫				

#### 講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心を持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、DrydenやPopeなどに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomsonのように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward YoungやRobert BlairそしてThomas Grayなどのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年にWilliam WordsworthとSamuel Taylor Coleridgeによって出版された““Lyrical Ballads””という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていた。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

#### 成績評価の方法

前期のレポートと期末試験によって評価する。

#### 教科書

教場にて指示します。

科目名	イギリス文学特講III	開講	通年	単位	4
配当	英234選				
担当者名	おがき としちろう 岡崎 寿一郎				

#### 講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代」modernityという言葉の感覚を理解することは、むづかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出発として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T. S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD. H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

#### 成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

#### 教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

#### 参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

### 英 米 文

科目名	イギリス文学特講IV	開講	通年	単位	4
配当	英234選				
担当者名	かわさき あきこ 川崎 明子				

#### 講義のねらい

ヴィクトリア朝の小説と文化を紹介します。小説の黄金時代といわれるヴィクトリア朝の著名作家の代表作品を解説します。具体的には、ディケンズ、ブロンテ姉妹、エリオット、ギャスケル、サッカレー等の長編。並行して当時の文化的・歴史的背景を解説します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 学期中に小レポート1、2回
  - 2 前期・後期末に筆記試験
  - 3 前期・後期末にレポート
- レポートは合格点に達するまで書き直し。優秀レポートの口頭発表あり。  
レポートと口頭発表は英語・日本語どちらでも可。

#### 履修上の留意点

- 1 上に挙げた作家一人につき最低一つの作品を、翻訳でよいので通読した上で臨むこと
- 2 第一回目の授業より必ず辞書を持参すること
- 3 レポート作成においてはフォーマットを指定するので最低限のワープロの知識を持つこと

#### 成績評価の方法

出席、小レポート、レポート、試験の結果に加え、授業への貢献度により総合的に評価します。

#### 教科書

特になし。

#### 参考書等

川口喬一『イギリス小説入門』（研究社）イギリス小説の流れと特徴を原文入りで易しくまとめた良書。小説研究のヒントも得られます。大学図書館にも入っています。

科目名	イギリス文学特講V	開講	通年	単位	4
配当	英234選				
担当者名	<small>ますだ けいこ</small> 増田 恵子				

講義のねらい

『嵐が丘』や『ジェイン・エア』で知られるブロンテ姉妹について理解を深めます。生い立ちや初期作品、2大作品以外の詩や小説にも触れることで、ブロンテ文学の特徴がおのずと浮かび上がるようにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

最初の授業で説明します。

履修上の留意点

3分の2以上の出席と授業への積極的な参加姿勢が必要です。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価します。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

随時指示します。

科目名	イギリス文学特講VI	開講	通年	単位	4
担当	英234選				
担当者名	丸小 哲雄 <small>まるこ てつお</small>				

### 講義のねらい

日本語の「アート」のインフレ。「英米文学研究」のデフレ。外国文学研究のあり方が問われている。日本語のアートと英語のArtは異質である。アート(art)が「芸術」でも、アーティスト(artist)が「芸術家」でも、ミュージアム(museum)が「美術館」「博物館」でもない。そこで外国文学研究を活性化するには以下に4つの前提がある。一つ目は英米文学を学ぶ受講生にとっては生得でない英語に依存しなければならない宿命的なハンディキャップがあること、二つ目は近代においては日本・日本人・日本語・日本文化(文学)はあたかも一体であることには錯覚があること、三つ目は世界に共通する美的で倫理的な文学の一致はありえないこと、そして最後の前提は文学テキストの読みについての論議のためにはテキストの読み・解釈・批評についてのさまざまな方法論があることです。

本講義は、異文化のズレによる言葉の闘いが文学研究を豊かにし、問題意識を高めていく。異質のものに目を放って、自らを更新するという外国文学研究であるとするれば、四角い言葉(英語)と丸い言葉(日本語)の分裂を意識しながら、精読と思考によって言葉を押し詰めることで、自分の言葉を成り立たせる「丸い言葉」(止揚・揚棄)を獲得し、「屁理屈」ではなく、腑に落ちるように「理屈」を言う外国文学研究の講義となります。従って、外国の学者を必要以上に尊敬してはいけません。

本講義は、とりわけ文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、ときに文学テキストの演習を行い、文学テキストの印象や感想に価値を見出せる方法についても講義してゆきます。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 1) 自然言語と虚構言語の相違について
- 2) 英米文学の制度の成立と文学研究の意義について
- 3) 文学と批評の基本的用語について
- 4) 文学テキストの基本的要素と文学テキストの機能と力について
- 5) さまざまな批評方法について

・伝統批評、伝記批評、ロシア・フォルマリズム、ニュー・クリティシズム、テーマ批評、受容理論、精神分析批評、構造主義、記号論、ポスト構造主義、ニュー・ヒストリシズム、ポストコロニアル批評

### 履修上の留意点

私語厳禁

### 成績評価の方法

出席、翻訳課題、リーディング課題、前期・後期のターム・ペーパー(レポート作成)などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価します。

### 教科書

- 1) Elements of fiction by Robert Scholes (英宝社)
- 2) プリント使用:多くのプリントを配布しますので、そのファイル用具を用意すること

### 参考書等

講義の時に随時指示します。

科目名	演劇特講（イギリス・アメリカ）	開講	通年	単位	4
配当	英234選				
担当者名	おちあい かずあき 落合 和昭				

### 講義のねらい

主として、20世紀のアメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素（「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果（背景、照明等）」、「効果音（音楽も含む）」等を通して、できるだけ多角的に考察する。その際、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が抽象的にならないように、必ず、劇作品を通して、具体的に、劇の構成要素等を考察する。アメリカの劇作家以外にも、数人ではあるが、20世紀のアイルランドやイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇（短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇）を書いた劇作家も取り上げ、劇の持つ多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。さらに、時間があれば、ビデオを通して、劇作家の生い立ちや背景についても学ぶ。

### 講義の内容・授業スケジュール

講義のなかで取り上げる主なる劇作家は、アメリカでは、Susan Glaspell (1882-1948)、Alice Gerstenberg (1885-1972)、Eugene O'Neill (1888-1953)、Thornton Wilder (1897-1975)、Tennessee Williams (1911-83)、Arthur Miller (1915-2005)、Shirley Jackson (1919-65)、Edward Albee (1928- )、Sam Shepard (1943- )、David Mamet (1947- )、アイルランドでは、John Millington Synge (1871-1909)、Samuel Beckett (1906-89)、イギリスでは、John Bonyton Priestley (1894-1984)、Peter Shaffer (1926- )、Harold Pinter (1930- ) 等である。

### 履修上の留意点

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

### 成績評価の方法

期末試験が全評価の40%、前期の課題が30%、後期の課題が30%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚（ワープロの場合は、2000字から4000字）とする。出席率は平常授業（期末試験は除く）3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。また、遅刻2回で、欠席1回とし、30分以上の遅刻は欠席とする。出席率が3分の2以上を越えなければ、成績は「不合格」とする。

### 教科書

- 1) 『楽しく読める英米演劇』 ミネルヴァ書房
- 2) プリント

科目名	演劇演習 (イギリス・アメリカ)	開講	通年	単位	4
配当	英234選				
担当者名	おろみ あきひさ 達見 明久				

講義のねらい

主に映画化された現代英米演劇の秀作を扱う。原作から立ち上がる演劇空間を模索して、映像作家の作品解釈を探る。

講義の内容・授業スケジュール

英米の現代劇を中心に四作程度を扱う予定。できる限り観劇が可能な作品を選択するため、詳細については教場にて案内する。

履修上の留意点

原作の疑問点や、原作を踏まえた映像分析を、毎回全員で発表し、討論することになるので、テキストの読み込みが前提となる。また、扱う事柄の性質上、遅刻や欠席は禁物。

成績評価の方法

毎回の発言内容と姿勢、及び作品ごとのレポート (各2000字程度) で総合的に評価。

教科書

教場にて案内する。

参考書等

荒井良雄著『英米文学映画化作品論』(新樹社、1996年) ISBN: 4787584588  
ベラ・バラージュ著 佐々木基一訳『映画の理論』(学藝書林、1992年)  
ISBN: 4905640857

科目名	アメリカ文学特講I	開講	通年	単位	4
配当	英234選				
担当者名	あづま ゆういちろう 東 雄一郎				

講義のねらい

アメリカ文学・文化を貫く根本的な問いは、「アメリカ人とは一体何者なのか」、「アメリカとは一体何か (どんな国なのか)」であり、こうした自意識の強さは新奇さや独自性の強調を生み出す。アメリカ文学の (アメリカ芸術一般の) 根源的な特徴 (根源的衝動に近いもの) は、アメリカ的なものの必要以上の定義と強調である。国民的な叙事詩の欠落、これは逆に、ホイットマンの『草の葉』に始まる叙事詩的な文学への強い憧れを生み出してきた。つまり、ハート・クレイン、ウィリアムズ、ビートのギンズバーグらのアメリカと自分 (詩人) の自我を高らかに歌う詩人たち (預言者的詩人) を生み出してきたのである。この講義では、アメリカの詩、映画、音楽などを取り上げ、アメリカの自意識について多様な考察を試みる。アメリカの詩は、口誦的な詩のジャンルから自然発生的に発したのではなく、本来が実用的な文学なのである。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、数人の詩人とその作品を取り上げ、精読します。時には作品に関する小レポートを授業内に書いてもらいます。

履修上の留意点

毎回、出欠をとりますので、遅刻をしないように (遅刻者は出席カードに記入できません)。

成績評価の方法

年間2回のレポート (2000字程度)、小レポート、出席点などで総合的に評価します。

教科書

新倉俊一著『アメリカ詩入門』(研究社) 2,000円程度

参考書等

開講時に指示します。



科目名	アメリカ文学特講II	開講	通年	単位	4
配当	英234選				
担当者名	サンダース, L. P.				

講義のねらい

このコースはアメリカンゴシックフィクションを学習する。アーバン・テクノ・サイバーゴシックの3つのエリアにねらいを定める。まずは最近出版された Anne Rice の作品から取り組んでいく。

成績評価の方法

前期にテストを行い、後期はレポート提出とする。

教科書

教材は教室にて配布する。

その他

ビデオを使用する。英語で授業を行う。

科目名	アメリカ文学特講IV	開講	通年	単位	4
配当	英234選				
担当者名	逢見 <sup>あきみ</sup> 明久 <sup>あきひさ</sup>				

講義のねらい

現代アメリカ小説を映画で読む。原作を踏まえたうえで、映像作家の作品解釈を探り、個の在り方がどのように扱われているかを考える。

講義の内容・授業スケジュール

ヘミングウェイ作『老人と海』、マイケル・カニンガム作『めぐりあう時間たち』、E・アニー・プルー作『 SHIPPING・ニュース』他を扱う予定。

履修上の留意点

扱う事柄の性質上、遅刻や欠席は禁物。原作と映画版について気づいたことをまとめた小レポートを毎回提出することになる。

成績評価の方法

毎回の小レポートと、前期と後期の期末課題レポート（各2000字程度）で評価。

教科書

随時紹介する。

参考書等

荒井良雄著『英米文学映画化作品論』（新樹社1996年） ISBN：4787584588  
 ベラ・バラージュ著 佐々木基一訳『映画の理論』（学藝書林1992年）  
 ISBN：4905640857

科目名	アメリカ文学特講V	開講	通年	単位	4
担当	英234選				
担当者名	にしはら かつまさ 西原 克政				

講義のねらい

作家の生涯と作品の相関関係について考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

主にアメリカの詩人エドガー・アラン・ポー、エミリー・ディキンソン、ロバート・フロストの生涯を辿り、その詩を検討すると共に、マーク・トゥエイン、F スコット・フィッツジェラルド、アーネスト・ヘミングウェイの逸話に触れながら、アメリカ文学の主要作家を概観する。

履修上の留意点

授業に際し、予習に最も力を入れること。

成績評価の方法

授業回数の3分の2以上の出席が必要となる。それに前期・後期の試験の成績を考慮に入れて総合的に判断評価する。

教科書

Elliot Engel, “A Dab of Dickens & A Touch of Twain”, (Pocket Books, 2002) ¥2250

科目名	イギリス文学演習I	開講	通年	単位	4
担当	英234選				
担当者名	かわさき まさとし 河崎 征俊				

講義のねらい

William Shakespeare のいわゆる「四大悲劇」の一つと言われる“Hamlet”を精読しながら、Shakespeare 演劇の本質を探って行きたい。ルネサンス期の社会・文化のみならず、中世社会との異質性および類似性を考慮しつつ、名作の読み方ならびにその研究法について考察する予定。

講義の内容・  
授業スケジュール

“Hamlet”劇がもつ文学的意義を理解することが本授業の主たるねらいであるが、Shakespeare の英語が英語史の流れの中でどのような位置にあるのかといった問題も含めながら、Shakespeare 文学を総体的に学ぶことにしたい。したがって、Shakespeare のオリジナル・テキスト、グロサリーならびにレキシコン等を随時紹介しながら授業を進めて行きたい。

履修上の留意点

演習形式で進めるため、予習・復習に専念していただきたい。出席を重視するため、欠席が多い場合、評価対象外とする。遅刻は認めない。

成績評価の方法

年2回の試験、演習態度、ならびに出席状況等を中心に総合的に評価する。

教科書

“Riverside Shakespeare”もしくはCambridge New Shakespeare の“Hamlet”をコピーして配布する予定。

参考書等

授業時に随時紹介する予定。

その他

参考書等はコピーで随時紹介する予定。

科目名	イギリス文学演習II	開講	通年	単位	4
配当	英234選				
担当者名	かわさき あきこ 川崎 明子				

#### 講義のねらい

20世紀のイギリスの短編を読み、英文読解力の向上とテキスト分析の基礎技術の習得を目標とします。リスニングとディクテーションも行います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業は、グループディスカッション、教官による説明、リスニング、ディクテーションの4部構成。

前期と後期に、

[課題1] ディスカッションの内容をまとめたもの、

[課題2] 自由に選んだテーマで書いたレポートを提出となります。

課題1・2とも合格点に達するまで書き直し。優秀レポートの口頭発表あり。

ディスカッション、レポート、口頭発表は英語・日本語どちらでも可。

#### 履修上の留意点

- 1 ディスカッションに参加するために、十分な予習をして臨むこと
- 2 第一回目の授業より必ず辞書を持参すること
- 3 レポート作成においてはフォーマットを指定するので最低限のワープロの知識を持つこと

#### 成績評価の方法

出席、ディスカッションでの参加態度と貢献度、ディクテーションの点数、提出物の内容を総合して評価します。語学力はコミュニケーション能力と連動していますから、授業中の学生や教官とのコミュニケーションの上手な方は高く評価します。

#### 教科書

岩元巖・横山幸三註解『最新英米短編集』（成美堂）¥1,300

#### 参考書等

- 1 川口喬一『イギリス小説入門』（研究社）イギリス小説の流れと特徴を原文入りで易しくまとめた良書。小説研究のヒントも得られます。大学図書館にも入っています。
- 2 Eastwood, “Oxford Practice Grammar: Intermediate” (Oxford: 2006)  
大変優れた文法書。練習問題がついていますが、解説部分に目を通すだけでも確実に英語力が向上するでしょう。

科目名	イギリス文学演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	英234選				
担当者名	高野 <small>たかの</small> 正夫 <small>まさお</small>				

#### 講義のねらい

イギリスの1950年代に登場した‘Angry Young Men’とほぼ同じ時期に現われた一群の詩人たちについて読んでいく予定です。‘The Movement’と呼ばれた彼らは、イギリス人の日常生活を分かりやすい率直な言葉で描写していたが、彼らが自らの詩という表現方法によってどのように20世紀後半のイギリス社会とのつながりを認識していったのかなどについて考察していきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

‘The Movement’に属する詩人たちを何人かとりあげ、前、後期でできるだけ多くの作品を読んでいきます。

#### 履修上の留意点

演習ですので予習を欠かさずに受講して下さい。

#### 成績評価の方法

前期のレポートや後期の試験、出席状況、平常点などによって成績評価をする。

#### 教科書

教場にて指示する。

#### 参考書等

Philip Larkin, Collected Poems (faber and faber, 1988)

#### その他

それぞれの詩人の作品を精読しながら、彼らの詩的特質や伝記的な側面について考えていきます。

科目名	イギリス文学演習V	開講	通年	単位	4
配当	英234選				
担当者名	かわさき あきこ 川崎 明子				

#### 講義のねらい

ディケンズとサッカレーの短編を読み、英文読解力の向上とテキスト分析の基礎技術の習得を目標とします。慣れるまでは英語がやや難しく感じるかもしれませんが、小説の黄金期と言われるヴィクトリア朝の文豪たちの原文の魅力を味わえます。

昨年度のイギリス文学演習IIで使った教科書の未読作品（‘Dennis Haggarty’ s Wife’ , ‘The Poor Relation’ s Story’）を扱いますので、昨年履修した方も歓迎します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業前半はグループディスカッション、後半は教官による説明。

前期と後期に、

[課題1]ディスカッションの内容をまとめたもの、

[課題2]自由に選んだテーマで書いたレポート

を提出。課題1・2とも合格点に達するまで書き直し。

優秀レポートの口頭発表あり。

ディスカッション、レポート、口頭発表は英語・日本語どちらでも可。

#### 履修上の留意点

- 1 ディスカッションに参加するために、十分な予習をして臨むこと
- 2 第一回目の授業より必ず辞書を持参すること
- 3 レポート作成においてはフォーマットを指定するので最低限のワープロの知識を持つこと

#### 成績評価の方法

出席、ディスカッションでの参加態度と貢献度、提出物の内容を総合して評価します。語学力はコミュニケーション能力と連動していますから、授業中の学生や教官とのコミュニケーションの上手な方は高く評価します。

#### 教科書

『ヴィクトリア朝短編集』（研究社） ¥1,365

#### 参考書等

- 1 川口喬一『イギリス小説入門』（研究社）イギリス小説の流れと特徴を原文入りで易しくまとめた良書。小説研究のヒントも得られます。大学図書館にも入っています。
- 2 Eastwood, “Oxford Practice Grammar: Intermediate” (Oxford: 2006)  
大変優れた文法書。練習問題がついていますが、解説部分に目を通すだけでも確実に英語力が向上するでしょう。

科目名	アメリカ文学演習I	開講	通年	単位	4
配当	英234選				
担当者名	川崎 浩太郎				

講義のねらい

アメリカ詩の精読を通して、特定の作家、作品について論じる能力の向上を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカ詩を毎時間2～3編ずつ読んでいきます。作品は、植民地時代の詩から、ポストモダンの詩まで、時代を追って扱って行く予定です。

前期は、時代背景や作家の略歴等についてこちらで解説した上で、詩の内容に関して質問します。その上で短い鑑賞文を書いてもらいますので、自分なりの回答を見出してください。後期は簡単なテーマを与えるので、それについて調べてきたことを発表してもらう予定です。

履修上の留意点

演習科目ですので、「教えてもらう」という受動的な姿勢ではなく、「自分で考える」という能動的かつ積極的な姿勢で授業に臨んでください。活発な発言を期待しています。

成績評価の方法

出席、発表、毎時間提出する小鑑賞文50%、レポートあるいは授業中のプレゼンテーション50%の割合で評価する。

教科書

プリントを配布

参考書等

『アメリカ詩入門』新倉俊一著（研究社出版）  
『アメリカ名詩選』（岩波文庫）  
『アメリカの詩を読む』川本皓嗣著（岩波書店）

英  
米  
文

科目名	アメリカ文学演習II	開講	通年	単位	4
配当	英234選				
担当者名	サンダース, L. P.				

講義のねらい

1980年代のコンテンポラリー文学と映画や文化、言語との関係を最近のポストモダン作家の作品を通して学ぶ。本年度は下記の作品も学習する。Paul Auster, William Gibson.  
また、最近のアメリカンフィクションとニューハリウッドをジャンル別に学ぶ。

成績評価の方法

前期にテストを行い、後期はレポート提出とする。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科目名	アメリカ文学演習III	開講	通年	単位	4
配当	英234選				
担当者名	まつもと のほる 松本 昇				

講義のねらい

アメリカ黒人女性作家の作品に親しむ。一言で言うと、アメリカ黒人文学のキーワードはメモリー（記憶）であるが、それがどのように描かれているかを考えてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

指名した学生は割り当てられた範囲について感想を述べ、そのあと全員でディスカッションをし、最後に私が解説する。

履修上の留意点

指名された学生は決して休まないこと。

成績評価の方法

平常点30点、レポート20点、後期の試験50点として総合的に判断する。

教科書

Alice Walker, 'The Color Purple' (Phoenix)

科目名	アメリカ文学演習IV	開講	通年	単位	4
配当	英234選				
担当者名	ことみ たいし 古富 猛				

講義のねらい

アメリカ社会の特殊性=文学の独自性を基本とし、主に資本主義導入による産業革命によって病んでゆくアメリカ社会を、テーマとしている19Cのソローと20Cのフォークナーを主体として、その作品を扱いたい。

講義の内容・授業スケジュール

講座の性質上、学生諸君に予習発表してもらい、作品上も重要である、アメリカ・インディアンや黒人奴隷問題にも触れ、さらにアメリカ文化の主流であるクレオール主義についてや、それから派生したブルースからジャズへの進展、また文学への影響性は何なのかを述べてみたい。

履修上の留意点

最近の学生諸君の語学力低下を教壇から、痛感しているので、もう一度けんきょになって、高校からの文法事項を復習してもらいたい。

成績評価の方法

成績はあくまでもテキストによる予習発表を平常点とし、前後期のペーパー・テストによって判断する。

教科書

教場にて指示します。

科目名	アメリカ文学演習V	開講	通年	単位	4
担当	英234選				
担当者名	佐藤 <small>さとう</small> 千春 <small>ちはる</small>				

講義のねらい アメリカ文学作品を講読する。

講義の内容・授業スケジュール 講読する作家・作品に関しては、授業開講時に連絡するが、授業スケジュールは各自にあらかじめ発表部分を割り当てておき、それを音読・訳読していただく方法で進めていく。発表者への質問、こちらからの説明などを含め、作品を分析し、作家のねらいなども併せて探っていく。

履修上の留意点 遅刻・欠席はマイナス評価となり、これが重なる場合には履修・試験を受ける資格を失うこともあるので注意されたい。

成績評価の方法 前期・後期の最終授業時にテストを行なうが、割り当てられた発表の回数、ならびにその内容、姿勢など、さらに遅刻・出欠など総合的に判断し評価を出す。

教科書 授業開講時に指示する。

参考書等 必要に応じ、授業内において、その都度指示していく。

科目名	時事英語	開講	通年	単位	4
担当	英234選				
担当者名	サンダース, L. P.				

講義のねらい このクラスでは、様々なマスメディア (advertising、TVニュース、雑誌、タブロイドなど) で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。  
media studies のメソッドで行う。

講義の内容・授業スケジュール テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。

成績評価の方法 年に2回テストを行う。

教科書 教科書は使用せずプリントを配布する。

その他 ビデオを使用する。授業は英語で行う。



科目名	商業英語	開講	通年	単位	4
配当	英234選				
担当者名	すぎやま やすひこ 杉山 泰彦				

講義のねらい

総合商社の実務で実際に行って居た貿易のステップを教え込み、それに沿った代表的な手紙の書き方の型を暗記させて、基本に従った文章が楽に書ける様にしたい。

講義の内容・授業スケジュール

商業英語・ビジネス英語を今回勉強する意義（なぜ係る商業英語を勉強する必要があるのか？）を学生諸君に充分理解してもらう為に、小職が40年間勤務した日本の総合商社で経験した輸出入から大型プラント輸出及びその建設迄をアフリカ、南米、アラブ諸国での経験を具体的に説明し、いかにこれらの仕事のためにビジネス英語が必要であるかを説明し、一般、商内の成立するフローも（offer）-（counter offer）-（nego）～（Contrac）～（決済手段の確保）～（船積み）での流れで具体的に理解せしめ、且つその後のクレーム処理、仲裁で負けない英文体を実際に学生達が将来まねのできる総合商社の法務部が作成した具体的例文で実戦に役立つ様に教授したい。

履修上の留意点

学習姿勢即ち出席率をよくさせ、貿易実務に則した文型を反復して一人で海外出張先でも安全な文章が書ける様に育てたい。

成績評価の方法

学期毎の7月、12月の年2回の試験の成績と出席率を重視した受講態度も考慮する。

教科書

田中武雄『初めて学ぶビジネス英語』（成美堂）2,000円（税別）

参考書等

参考書は日商岩井(株)が使っていた社内教育用の参考書よりプリントを作り参考としたい。

その他

大手商社が法律的にしっかり考えた文例をプリントして Time to Time 配布して参考としたい。

英  
米  
文

科目名	ラテン語	開講	通年	単位	4
配当	英234選				
担当者名	うえの かつひろ 上野 勝広				

講義のねらい

ラテン語の基礎文法を概説し、理解できるようにします。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、基礎文法の要点を順次説明してゆきます。必要に応じてテキストにない文例も補充し、各課末にあるラ文和訳の練習問題に取り組みます。  
前期は序論から第12課まで、後期は第13課から第24課までを学習します。

履修上の留意点

練習問題については、毎回出席者に指名し和訳例を発表してもらいます。受身でなく、自ら学び取る姿勢をもって授業に臨みましょう。

1回でも欠席してしまうと追いつくのが容易ではありません。授業そのものに加え、自習の負担が大きい科目です。

成績評価の方法

年間2回（前期末・後期末）のテストの結果（60％）に平常点（40％）を合わせて評価します。

教科書

松本悦治『ラテン語入門』（駿河台出版社）1,500円

参考書等

辞書と共に初回の授業で紹介します。

科目名	ギリシャ語	開講	通年	単位	4
配当	英234選				
担当者名	はせがわ たけお 長谷川 岳男				

#### 講義のねらい

本講義の対象となる古代ギリシア語はラテン語とともに現在の世界では使用されていない死語であるが、欧米をはじめとする全世界で学ばれている。なぜならば、まず第一に今日の欧米文化に多大な影響を与えた古代ギリシア文明を理解するために必要であり、第二に現在使用されている様々なヨーロッパの言語のルーツにあたり、文字こそ違おうが、語彙や文法の基本となっているからである。この点をふまえて本講義は古代ギリシア語の基礎を習得することを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、まず我々にはなじみの薄い古代ギリシア語に慣れることから始め、最終的には基本的な語形変化を理解し、辞書のある程度使用できるようになることをめざしたい。学習意欲を高めるために、随時ギリシア文化の諸相や後世への（特に近代以降の欧米文化）影響も紹介する予定である。

#### 履修上の留意点

ヨーロッパの古典文学（例えばヘッセの『車輪の下』）でもおなじみのように、ギリシア語習得は多大な困難をともなうと見なされている。本講義では受講生諸君に基本的なギリシア語の習得を達成してもらいたいので、その困難に臆することなく立ち向かえる姿勢を望みたい。

#### 成績評価の方法

どの程度ギリシア語を理解しているかを問うテストを何度かに分けて実施し、それ以外にも授業中に練習問題を答えてもらったり、課題を提出してもらい、その結果を勘案して成績評価する予定である。

#### 教科書

田中利光著『新ギリシア語入門』（大修館書店）1994

#### 参考書等

参考となる資料は随時、配布する。

科目名	英米文化	開講	通年	単位	4
配当	英234選				
担当者名	ひろかわ おさむ 広川 治				

#### 講義のねらい

「映画・演劇に見る英米文化」を中心テーマとして講義を進める。今年度4月から12月の公開映画、上演の舞台のうち何本かをレポート対象作品に指定し、テーマ別に数作品を組み合わせて比較し、レポートにまとめる課題を数多く設定するので、受講者は可能な限り多くの作品を演劇・映画・DVD（ビデオ）などのジャンルから選び、レポートにまとめて随時提出することになる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

(4月) レポートの書き方、対象作品についての説明  
(5月) 米アカデミー賞授賞式について～賞の制度・歴史と今年度のノミネート・受賞作品  
(6・7月) 英米の映画・演劇あるいは美術・音楽からテーマを設定し、講義予定  
(9・10月) イギリス現地で撮影してきたビデオ（街の表情、劇場、観光地、映画のロケ地などを収録）を見ながらイギリス文化の諸相について学ぶ。  
(11・12月) 様々なテーマ（歴史・言語・芸術・生活等）を映画・演劇等にさらに探っていく。

#### 履修上の留意点

出席は取らないが、授業中に見たビデオなどの感想を書いて提出してもらうことがある。12月に成績の申請日を設けるので必ず出席すること。この申請がない者はレポート提出が無効になることがある。

#### 成績評価の方法

提出したレポートの数で基本的に成績が決まる。点数の詳細や各レポートの書き方は初回の授業で説明するが、最低でも演劇1公演、映画館の映画1作品、ビデオ（DVD）4作品程度は見ればレポートをまとめることになる。  
(配布する試験用紙に書いて提出すること。)

#### 教科書

プリント配布の予定。

#### 参考書等

授業内に紹介する。

科目名	外国文学	開講	通年	単位	4
配当	英234選				
担当者名	まつおか すずむ 松岡 晋				

#### 講義のねらい

その主要部分がドイツ語圏に所属し、その他の部分もドイツ文化の影響を強く受けていた19世紀ハプスブルク帝国(=オーストリア帝国)の文学について講義します。まず19世紀のオーストリアの地理的状況、民族構成の説明から話を始め、さらに政治・社会状況にも言及し、それらが当時のオーストリア文学にどんな影響を及ぼしたかを述べます。続いて六人の作家の作品に言及します。狭義のドイツ文学とオーストリア文学の等質性と差異について理解することも、この講義の一つの目標です。

#### 講義の内容・授業スケジュール

以下の順序で講義いたします。

1. オーストリア帝国の地理と民族構成
2. オーストリア三月前期(Vormärz)の政治と社会—いわゆるメッテルニヒ体制
3. 「若きオーストリア派」(“Jung Österreich”)の形成
4. フランツ・グリルパルツァー／ニコラウス・レーナウ／アーダルベルト・シュティフター／モーリッツ・ハルトマン／カール・ベック／アルフレート・マイスナー
5. まとめ

#### 履修上の留意点

講義の過程で重要な専門用語などをドイツ語で板書しますが、受講に際してはドイツ語の知識は必ずしも必要ではありません。なお上記の六人の作家たちの作品のいくつかは日本語に翻訳されています。それらを講義中に紹介しますので、何冊かは各自が読むことになります。

#### 成績評価の方法

学年末試験および1～2回のレポート提出によって成績を評価します。

#### 教科書

なし(プリントを配布)

#### 参考書等

クラウディオ・マグリリス著：『オーストリア文学とハプスブルク神話』(書肆風邪の薔薇)  
鈴木隆雄編：『オーストリア文学小百科』(水声社)

科目名	英米思想史	開講	通年	単位	4
配当	英234選				
担当者名	麻生 <sup>あさお たかし</sup> 享志				

#### 講義のねらい

英米の思想家について、幅広く思想と生涯を紹介し、興味を持てるようになることを目標とします。さらに、ひろく英米文化に関心を深められればいいと思っています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

哲学史の議論を骨格にしますが、隣接諸学問から思想にかかわる著述家を広く選び、「哲学」だけに偏らないようにする方針です。例えばエマーソンやアダム・スミスやカーライルなどを考えています。また時代的には、中世から19世紀までを予定します。

#### 履修上の留意点

最低限の常識的なルールを守ってもらい、あとは、興味に応じて講義を聞く事を”楽しんで”もらいたいと思っています。

#### 成績評価の方法

成績は、出席による平常点（70%前後）、および後期のレポート（レポート試験）によって評価します。

#### 教科書

久保・河谷編麻生ほか著『原典による哲学の歴史』（公論社）

#### 参考書等

参考書は、講義中に指示した図書を、各自が自発的に選択して下さい。講義で必要なものについては、基本的に、コピーを使用します。

#### その他

英米の哲学史に、やや広く思想史的内容を加えた講義を行います。  
初日はガイダンスとし、定時に開始し、5分間程度、資料を配布して質問を受け付けます。（その間は、雑談的内容にあてる予定で、退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。このガイダンス資料および質問受付は、初回授業終了時5分程度にも行います。

科目名	現代美術	開講	通年	単位	4
担当	英234選				
担当者名	矢野 <sup>やの</sup> 陽子 <sup>ようこ</sup>				

#### 講義のねらい

この授業では20世紀の美術を「現代美術」として取り上げます。20世紀初頭から次々と展開された大胆で革新的な試みは、従来の美術、すなわち外界の再現を目的とした絵画や人体を主たる題材とした彫刻とは大きく異なる作品を生みだしてきました。20世紀の主要な美術運動、芸術家とその作品を見て理解しながら、美術が技術革新やマスメディアの発達、大量消費型の生活といった同時代の様相とどのように関わっているのかも考察していきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

現代美術を理解するにあたって、まず19世紀後半の美術の状況を簡潔に概観します。前期は20世紀初頭の二大運動であるフォーヴィスムとキュビスムを中心に話を進めます。色彩の使い方を大きく変えたフォーヴィスムと形態を問題にしたキュビスムが、その後の美術運動に与えた多大な影響を追っていきます。後期はダダとシュルレアリスムから抽象美術、ポップアート、さらに近年の動向を紹介します。

#### 履修上の留意点

美術館や展覧会に行ったり、画集など見るなどして、現代美術に積極的に触れるように心がけてください。

#### 成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験、出席率、授業態度を合わせて評価します。

#### 教科書

講義時にプリントを配布します。

#### 参考書等

美術出版社編『現代美術入門』（美術出版社）2,000円  
そのほか授業中適宜紹介します。

#### その他

授業では毎回スライドを使用します。

科目名	日本文化史	開講	通年	単位	4
配当	英234選				
担当者名	よしだ まさひろ 吉田 政博				

#### 講義のねらい

日本の文化の歴史が、当時の社会の生産という問題や、政治・経済・宗教などと深くかかわっていたことに留意しながら、朝廷・公家・武家のみならず民衆が文化の創造に大きな役割を果たしていたことを、明らかにしていく。また現代生活への影響や比較などについても検討していく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、鎌倉期以降の中世を中心としながら江戸期にかけての文化様相と特色などについて講述する。次のような順序で授業を進めていく。

- ・中世文化史研究の動向
- ・鎌倉新仏教と文化
- ・山岳信仰と文化
- ・禅宗と五山文化
- ・南北朝から室町期の文化
- ・北山文化の展開
- ・東山文化とその基盤
- ・中世の職能民
- ・知識人の思想とその行動
- ・庶民信仰と生活
- ・連歌師の旅
- ・京と鄙の交流
- ・大名領国の文化
- ・統一政権とその文化
- ・近世文化史研究の動向

#### 履修上の留意点

講義内容の復習が必要であることはもちろんであるが、例えば日本文化や歴史、宗教などをテーマとする博物館・美術館などの展示会を積極的に観覧し、できるかぎり「実物」に接する機会を持ってもらいたい。受講する上では図書館所蔵の文化史・美術史に関する資料・ビデオ等を大いに活用することをすすめたい。なお、本学の禅文化歴史博物館での文化史関連展示会の見学と学芸員による説明会を実施する。

#### 成績評価の方法

後期に実施する定期試験の結果による。これに授業の出欠状況とレポートなどを加味する。

#### 教科書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

#### 参考書等

講義内容に関する研究所などを随時提示していく。

科目名	翻訳演習	開講	通年	単位	4
担当	英234選				
担当者名	佐野 哲夫 <small>さの ていお</small>				

講義のねらい

英語⇄日本語の翻訳を通して言葉力の向上をめざすとともに、日米の文化の理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

ロバート・ブライの詩の翻訳演習を中心に日本の俳句、アメリカ作家の散文を読む。

履修上の留意点

日本の文化、アメリカの文化に興味／関心を持つこと。

成績評価の方法

出欠、授業をきく態度、試験の成績などを総合的に勘案して決める。

教科書

Robert BLY の詩集 ““Silence in the Snowy Fields””。その他、日本の俳句、ケルアックの散文など、適宜使用。

参考書等

佐藤秀彰『百匹の蛙』  
Jack KEROUAC ““Lonesome Traveller”” など。

その他

演習中心で、適宜プリント配布。

科目名	英作文演習	開講	通年	単位	4
担当	英34選				
担当者名	東 雄一郎 <small>あづま ゆういちろう</small>				

講義のねらい

単なる英作文に留まらず、主に英語の基礎力を総合的に高め、英語の表現力を養う。20章から構成されているテキストを使用する。第1章から第12章は多様な日常生活を扱う英文で、手紙やEメールを書くことも含まれる。第13章から第20章は、議論の仕方や表現を身につけ、社会・時事問題の話題に関して自分の意見を英語で表現することに重点を置いている。

講義の内容・授業スケジュール

前期は第1部、Talking about Myself や My Campus Life などの第1章から12章、後期は第2部、Education Issues や Society and Its Problems などの第13章から第20章に取り組む。毎回、各章の練習問題をこなし、英語の表現力を強化する。

履修上の留意点

授業には必ず英和中辞典（いずれの出版社のものでも構わない）を持参すること。遅刻や欠席のないように。

成績評価の方法

毎回の小テスト（復習、確認のための簡単なもの）を出席点とし、これに前期、後期のまとめ試験の結果、また年数回の小レポートを総合的に判断し、評価を下す。欠席、遅刻の多いものは評価対象外となるので、留意すること。

教科書

““English Writing for Global Communication””（『グローバル社会の英語作文』）金星堂出版 価格1,950円

参考書等

随時、授業内で指示します。

その他

教科書の内容のほかに、プリントを配布する。



科目名	英作文演習	開講	通年	単位	4
配当	英34選				
担当者名	川崎 <sup>かわさき</sup> 明子 <sup>あきこ</sup>				

講義のねらい

英語のパラグラフの書き方を学び、英語論文作成の基本を習得します。  
提出課題はライティングのみですが、授業中はリスニングとスピーキングも取り入れます。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書の12のUnitに沿って進行します。

履修上の留意点

- 1 英英辞典、コロケーション辞典、活用辞典など数種類の辞書を頻繁に使用すること。
- 2 第一回目の授業より必ず辞書を持参すること。
- 3 フォーマットを指定するので最低限のワープロの知識を持つこと。

成績評価の方法

Unitごとの課題と、学期末の課題を中心に評価します。語学力はコミュニケーション能力と連動していますから、英語、日本語を問わず、授業中の参加態度とやり取りも評価に含みます。

教科書

Tetsuhito SHIZUKA, “Writing Facilitator: Introduction to Paragraph Writing” 『構造から学べるパラグラフィティング入門』 Shohakusha ¥1,800

参考書等

パラグラフ作成には、正しい英文法の知識が必要です。次のものは大変優れた練習問題付きの文法書です。時間の都合上授業では扱えませんが、全体に目を通したり、弱い項目を復習すると、確実に英語力が向上するでしょう。Eastwood, “Oxford Practice Grammar: Intermediate” (Oxford: 2006)

科目名	英語学演習I	開講	通年	単位	4
配当	英34選				
担当者名	すがわら つとむ 菅原 勉				

### 講義のねらい

全ての言語は構造上、音声、意味、文法から成り立っています。この授業では英語の音声に焦点を当て、その特徴について解説をします。相手に意思が伝わるように発音できることが先決です。英文のテキストや資料を使って実際に Reading や Speaking も取り入れます。英米文学科生として必要最低限の基礎知識の習得を目指します。

### 講義の内容・授業スケジュール

#### 《前期予定》

- I. 音声によるコミュニケーションについて  
音声というのは  
言葉が通じるといこと
- II. 英語の歴史概観  
英語の先祖はどうなっているか
- III. 英語の標準語は  
英国英語と米国英語  
地域方言と階級方言
- IV. 音声器官解説  
音声はどのようにして作られ、聞き取られるのか  
・前期分試験

#### 《後期予定》

- V. 音声をどのようにして表記するか  
正書法とIPA
- VI. 英語の単音 (segments) について  
英語の母音と子音
- VII. 英語の音節構造について
- VIII. 英語の連続音 (connected speech) について  
音が連続したときの諸現象  
英語のイントネーションについて  
・後期分試験

### 履修上の留意点

- ・授業に対して1年間絶対に休まないという執着心を持ち続けること
- ・授業を休まなければ必ず何か得られると信じること
- ・授業を通して自分の好きなことを見つけ出そうと好奇心を燃やすこと
- ・どうしても授業を休みたい時や面白くないと感じた時は、その旨申し出ること

### 成績評価の方法

- ・年2回の試験(25×2)とレポート(10)、リアクションペーパー(10)及び出席(30)を参考にして総合評価をする

### 教科書

- ・最初の授業で紹介する。外国発行の原書(英語)を使用することもありうる

### 参考書等

- ・授業展開中に適宜紹介する

### その他

- ・基本的には講義であるが、履修者の数により、ゼミ形式に移行することもありうる
- ・実践的な側面と授業に参加する意欲を重視する

科目名	英語学演習I	開講	通年	単位	4
配当	英34選				
担当者名	ピアス, D. M.				

講義のねらい

The course is career-oriented. Over the years my overwhelming impression is that you have not learned fluent English; it is a deeply worrisome pitfall that threatens to ruin the benefit of all four years of your other study of English. Without the ability to *speak* English, you cannot be successful. Therefore, the course takes drastic efforts to make you speak English effectively; you will be speaking English for the full ninety minutes of every period. THERE IS NO PASSIVE PARTICIPATION IN THIS CLASS; at every moment you will be producing and improving yourself. Choose this class only if you are sincere; laziness or shyness is not tolerated.

講義の内容・授業スケジュール

SCHEDULE OF TOPICS

CLASS 1 addressing people	CLASS 16 consumption
CLASS 2 addressing people	CLASS 17 courtship
CLASS 3 social hierarchy	CLASS 18 courtship
CLASS 4 social hierarchy	CLASS 19 adolescence
CLASS 5 self expression	CLASS 20 adolescence
CLASS 6 self expression	CLASS 21 social classes
CLASS 7 gift-giving	CLASS 22 social classes
CLASS 8 gift-giving	CLASS 23 candor
CLASS 9 informality	CLASS 24 candor
CLASS 10 informality	CLASS 25 authority
CLASS 11 news coverage	CLASS 26 authority
CLASS 12 news coverage	CLASS 27 employment
CLASS 13 personal freedom	CLASS 28 employment
CLASS 14 personal freedom	CLASS 29 politicians
CLASS 15 consumption	CLASS 30 politicians

履修上の留意点

ATTENDANCE: Attendance and active participation are supreme, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

EXAMINATIONS: Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

GRADING: *Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, TAKE SOME OTHER COURSE. In this class you will be speaking English all the time.* Your final grade depends 70% on your class performance. English speaking improves only by constant practice. Attendance is all-important, and the examinations have minor effect on the final grade. An "A" in the course is possible for any student, because grading depends on improvement during the year.

教科書

Textbook and materials: We will probably use Sociology, Economics, Political Science, Adam Pelagius, Themis Research Group, as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you do not know.

科目名	英語学演習II	開講	通年	単位	4
配当	英34選				
担当者名	久保内 <small>くぼうち</small> 端郎 <small>ただお</small>				

講義のねらい

英語学とりわけ英語史に関心をもつ諸君の歴史的・通時的研究への関心をさらに深めていただくための演習をと考えています。ただ、歴史ばかりに話が終わるのではなく、共時的な問題にも踏み込んでみたいと考えています。テキストとして英語学入門の古典となっている下記のテキストを読みます。英語の「原点」を知ることになります。

講義の内容・  
授業スケジュール

(前期)  
 (1-8) 第1-3章「英語学の基礎」  
 (9-12) 第4章「意味の変化」  
 (13) 前期のまとめ  
 (14~25) 第5-7章「固有名詞、綴り字、文法ほか」  
 (26) まとめ

履修上の留意点

授業への積極的な参加と予習を強く要望します。

成績評価の方法

成績評価は平常点とレポートの成績による。

教科書

G. H. Vallins 著『英語の形成』(英文)(成美堂)

参考書等

参考書は講義の中で随時指示します。

科目名	英語学演習Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	英34選				
担当者名	町田 尚子 <small>まちだ なおこ</small>				

### 講義のねらい

世界共通語としての英語と多様な英語の双方を視野に入れ、中学校高校の英語教師を目指す学生が知っておくべき英語と英語の歴史に関する基本的な知識の修得と考察が中心です。語彙数の多さ、多義表現の多さ、語形変化・活用で文法関係を示す機能がほとんど消失したのはなぜだろうか、等を特に古英語時代からの他言語との言語接触の観点から考えてみます。母音の発音と文字との基本的な一対一対応が歴史的に崩れていった過程、また、特に大母音推移を考察することで、現代英語の基本的な母音（長母音・2重母音）と表記文字との対応関係の規則性をみます。

### 講義の内容・授業スケジュール

前期：（１）R. L. Trask, Language: The Basics 第2版で英語学の基本知識の復習。  
（２）David Crystal, The English Language およびプリント資料で世界共通語としての英語の概観と、さらに多様性の現状―地理的な広範さ・地域差、母語・第一言語、第二言語としての英語使用者の多様性―とその歴史的由来を主として英語の外面史から説明。  
後期：（３）前期のテキストからの抜粋およびプリント教材・資料を使い、英語の変化を音韻、形態、文法・統語、語彙・意味から概観し、講義のねらいであげた、英語を他のヨーロッパの言語と異ならせている、特徴に焦点を当てて考察します。

### 成績評価の方法

授業中の課題発表評価点、年3回程度の作業課題（レポート）成績、定期試験期間中に提出するエッセイ・レポートを総合して成績評価点を出します。

### 教科書

プリント使用予定。

### 参考書等

David Crystal, The English Language 第2版（2002年）Penguin Books  
ISBN 0-14-100396-0  
R. L. Trask, Language: The Basics 第2版（1999年、2001年リプリント）Routledge  
ISBN 0-415-20089-X  
その他の参考書は教室で指示します。

英  
米  
文

### その他

欠席する場合はメール等で連絡し、プリント教材、課題の指示を受けること。連絡変更事項はKOMS Yの講義内容詳細修正に記載します。授業前に必ず確認して下さい。

科目名	英語学演習IV	開講	通年	単位	4
配当	英34選				
担当者名	久保内 端郎 <small>くぼうち くだむら</small>				

#### 講義のねらい

英語を歴史的に見ることによって、英語の中の何が変わり何が変わっていないかを知ることが現代英語の理解にきわめて重要な視点を与えてくれるはずです。下記のテキストを用いて古英語（Old English：700-1100年頃の英語）を中心に初期の英語を概観します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

古英語の綴りと音声、品詞毎の語形と活用、文法の初歩から始めてテキストの読解へと進みます。中世イギリスの文化史的、社会史的側面に対する理解もあわせて深めてもらいたいと願っています。

前期

(1-8) 古英語の綴りと音声、形態、文法の概略

(9-12) テキストの部最初の聖書の古英語訳の抜粋を読む。

後期

(13-20) 『アングロサクソン年代記』などからの抜粋

(21-24) 『ベーオウルフ』などの詩作品に触れる。

#### 成績評価の方法

平常点とレポートによる。

#### 教科書

市河三喜・松浪有『古英語・中英語初歩』（研究社）

#### 参考書等

教室で随時指示します。

科目名	TOEIC (R)・TOEFL (R) 講座	開講	通年	単位	4
配当	英34選				
担当者名	ブランケン, D. L.				

### 講義のねらい

To develop listening and reading skills for the TOEIC and TOEFL tests. The specific goals are to (1) increase aural-oral ability; (2) abet vocabulary mastery for reading speed; and (3) underpin these skills with grammatical knowledge.

### 講義の内容・授業スケジュール

Spring Semester  
TOEIC materials and study methods

Week 2-6: Test topics and drills  
Week 7: Sample TOEIC Test 1  
Week 8-12: Test topics and drills  
Week 13: Sample TOEIC Test 2  
Week 14: Analysis of test results

Fall Semester  
TOEFL materials and study methods

Test topics and drills; hints for the test  
Sample TOEFL Test 1  
Test topics and drills  
Sample TOEFL Test 2  
Analysis of test results

Homework is necessary: it means doing sample exercises and readings from the textbook and prints for 30 minutes a day. Homework will be checked: the more you do, the better your progress. Optional material will be available for more practice.

### 履修上の留意点

Most of the TOEIC semester classes will cover listening; TOEFL semester classes deal with reading. Short quizzes will occur every two weeks in each semester.

Sample TOEIC and TOEFL tests will be given twice, and students will be encouraged to register for actual TOEIC tests in the second semester.

To students: You will be expected to attend class on time and practice reading work regularly at home. Half an hour each day is quite enough: longer study results in loss of concentration.

### 成績評価の方法

Students will be evaluated and graded as follows: (1) classwork, textbook and print work: 25%; (2) classwork, attendance and quizzes: 25%; (3) homework, drills & readings done: 25%; and (4) test performance in terms of progress: 25%

### 教科書

To be announced in class and supplied by the teacher. Also, there will be printed drills or readings given each week.

### 参考書等

Materials: Each student must bring an electronic dictionary to class. An English-English paper dictionary is also recommended. The instructor will give advice on suitable dictionaries in the first class.

科目名	TOEIC (R)・TOEFL (R) 講座	開講	通年	単位	4
担当	英34選				
担当者名	レイン, R. V.				

講義のねらい

This course will help familiarize students with both the paper-based and internet-based [iBT] TOEFL test and TOEIC test by providing students with: 1] opportunities to take sample exams; 2] instruction in the four areas tested and 3] test-taking strategies.

講義の内容・  
授業スケジュール

Students will be provided with sample exam questions on each of the four areas of the exam: reading, listening, speaking and writing. Generally, test questions will be done at home and brought to class for evaluation and discussion.

履修上の留意点

Students should be aware that there will be a great deal of work that the student is expected to do at home. Students should also be aware that attendance is important. Should the student be absent for 1/3 of the scheduled classes [approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be evaluated on the basis of the satisfactory completion of homework assignments, attendance, class participation and improvement on selected in-class TOEFL & TOEIC tests.

教科書

The text will be assigned during the first week of classes.



科目名	オーラル・イングリッシュ	開講	通年	単位	2
配当	英34選				
担当者名	リアーディ, N.				

#### 講義のねらい

To improve the student's listening and speaking ability to a degree where they are able to take the STEP Test Grade I by the end of the academic year or early in the following year:

#### 講義の内容・授業スケジュール

The first semester will be concerned with improving the student's Listening and Speaking ability. As listening seems to be one of the rather weak points of most students, they will be taught in such a way that they should be able to listen and comprehend a variety of English sentences with comparative ease.

The second semester will place emphasis on speaking and writing.

Here, the students will be given ample opportunity to construct compositions on a wide variety of subjects and present them individually to the class as a whole. Any mistakes in grammar, intonation, reading speed and pronunciation, etc, will be corrected by the instructor during the above-mentioned presentations.

Thus, by the end of the year, most students should be ready to sit for the STEP Test and pass it with confidence.

The method of improving the student's listening ability in the first semester will be attained by individual and group training. We will be using a textbook and tapes during this time in order to train the student's ear in listening to and comprehending English spoken at normal speed.

In the second semester, individual presentations should serve to break down any inhibitions that the student might have with regard to speaking before a group of people.

As the student is giving his or her presentation, the instructor will carefully correct any mistakes being made as mentioned above.

#### 成績評価の方法

There will be two principle tests during the academic year: one in the first semester and one in the second. However, the student will be able to earn additional points for the content and quality of his or her presentations given in the second semester.

At the end of the academic year, all grade will be added together and divided by two. This will constitute the final grade.

#### 教科書

In the first semester we will be using a textbook [the level of which will be decided on the ability of the class as a whole]. There is a set of tapes that come with the textbook, and copies of these can be obtained from the instructor before the end of the semester.

In the second semester, we will probably be using the materials for the STEP Test Grade I. These will be supplied by the instructor.

The only article that the student is required to purchase is the textbook used in the first semester. All other materials: tapes, STEP Test materials, etc, will be supplied by the instructor.

科目名	オーラル・イングリッシュ	開講	通年	単位	2
配当	英34選				
担当者名	レイン, R. V.				

講義のねらい

This discussion-oriented class will provide students with the opportunity to improve their ability to think logically, make opinions and express those opinions effectively in English.

講義の内容・授業スケジュール

Each week students will be given a copy of a script for a 20 minute episode of the American TV show, The Wonder Years, and are expected to read the script at home and look up any unfamiliar words. In class the following week, students will ask questions about the script, watch and discuss the episode. For homework, students will be given a question to answer in an approximately one-page essay.

履修上の留意点

Students must come to class prepared, having carefully read the script at home. This is a discussion-oriented class so class participation is essential. Students should also be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes [approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be graded on the basis of class participation and weekly written answers to essay questions.

教科書

none

英  
米  
文

科目名	オーラル・イングリッシュ	開講	通年	単位	2
配当	英34選				
担当者名	ハバード, W. D.				

講義のねらい

Students are expected to increase their English speaking and listening abilities through interaction with the teacher and with other students in their group and to improve their conversation skills to express topics of their own interest.

講義の内容・授業スケジュール

- tasks to help students develop real-life communicative skills
- task-planning time to improve fluency and accuracy
- exercises to help students build a bigger active vocabulary
- activities based around songs, book extracts and magazine articles to maximize motivation
- an approach to grammar that enables students to deepen their understanding of language use
- group role playing and presentation activities to help students express themselves with confidence in front of others

履修上の留意点

Students will be required to participate in one or more group projects and presentation activities during the school year.

成績評価の方法

Final grade will be based on attendance, class work, and test results

教科書

No textbook. Lesson material will be make available by the teacher.

科目名	オーラル・イングリッシュ	開講	通年	単位	2
配当	英34選				
担当者名	ナトウシュ, B. A.				

講義のねらい

To improve students' productive proficiency in speaking.

講義の内容・  
授業スケジュール

Warm Up Activities  
 Students converse using simple telephone dialogues to practise listening, note taking pronunciation and speaking skills. (Pair work)  
 Vocabulary Expansion  
 Quizzes on word definitions and synonyms based on a weekly theme to extend active vocabulary usage. (Pair and team work)  
 Fluency Development  
 Exercises using fixed expressions to develop fluency. (Pair and group work)  
 Listening for Main Points  
 Retelling a news item after 2-3 repetitions of a short talk. (Individual)

成績評価の方法

Class attendance, quiz performance, participation in asking questions, communicative performance, two oral presentation projects, two written tests at end of Semesters 1 and 2.

教科書

『Real Life Spoken English Series 2』(3 small workbooks)  
 『A Dictionary of Communicative Expressions』(Nanundo)  
 Photocopied materials will also be used.

科目名	4年次ゼミ	開講	通年	単位	4
配当	英4選				
担当者名	あずま ゆういちろう 東 雄一郎				

講義のねらい

卒業論文の指導を行います。具体的には、夏休み前には、詳細な構想がたてられ、それに関連したテキスト、参考書(研究書)がそろっているようにして下さい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、ジャンル別のグループ指導(論文の書き方・書式等)を中心に進めます。夏休み以降の後期は、各自のテーマに則した個別指導を中心に進めます。年間スケジュールは開講時に配布します。

履修上の留意点

各自のテーマに真剣に取り組むようにして下さい。また、欠席のないようにして下さい。夏休み前には、ほぼ下書きが出来あがるように努力して下さい。

成績評価の方法

成績評価は、平常点を中心に下します。文献、参考書等は、開講時に授業内にて指示します。

教科書

開講時に授業内にて指示します。

参考書等

開講時に授業内にて指示します。

科目名	4年次ゼミ	開講	通年	単位	4
配当	英4選				
担当者名	逢見 明久 <small>おうみ あきひさ</small>				

講義のねらい

英米演劇・映画作品研究。

講義の内容・  
授業スケジュール

3年次ゼミの研究テーマを基礎に卒業論文を書くことを目的とする。開講時に論文の要旨(400字5枚程度)と章立ての構想を必ず提出のこと。前期はこれをもとに論文の方向性を明確にして6月の論題提出に備え、夏期休暇を利用して全体を書き上げる。9月中旬に原稿の写しを一部提出のこと。後期は、原稿を推敲して論文の完成を目指す。

履修上の留意点

論文作成の経過報告を忘れずに、論文の完成に向けて必ず指導を受けること。

成績評価の方法

卒業論文を評価。

参 考 書 等

適宜指示。

科目名	4年次ゼミ	開講	通年	単位	4
配当	英4選				
担当者名	河崎 征俊 <small>かわさき せいしゅん</small>				

講義のねらい

3年次ゼミで習得した中世英国の文学を精読し、当時の政治的、経済的ならびに社会的背景を探る予定。入手可能な文献を実際に扱いながら、英文学の源流となった詩人たちの特性に焦点を当ててみたい。なお、卒業論文の作成作業をも考慮しながら、作品の読み方や文献の収集法にも触れる予定。

講義の内容・  
授業スケジュール

中世に書かれた文学作品を読みながら、中世英国における文学的テーマを追求していく。ある段階において各自に課題を課し、自発的なゼミ運営を計りたい。

履修上の留意点

作品を精読するため、ノート整理が常に要求される。着実な研究姿勢を身につけてもらいたい。

成績評価の方法

演習回数および年一回のレポート課題が中心となるが、平常時の学習態度や意欲をもとに総合的に判断する。

教 科 書

教科書は、コピーを使用する。

参 考 書 等

参考書は、授業の進行に合わせて随時紹介していく。

科目名	4年次ゼミ	開講	通年	単位	4
配当	英4選				
担当者名	かわさき あきこ 川崎 明子				

講義のねらい

3年次ゼミで学んだことを基礎として卒業論文を作成します。英語・日本語どちらでも可。前期に数回全員で集合しますが、基本的にはメールを中心とした個別指導となります。

講義の内容・  
授業スケジュール

4月に論文作成法を確認。  
5月末の論題提出までにテーマ選択と大まかなアウトライン作成。  
夏休み前までに参考資料収集と詳細なアウトライン作成。  
後期開始前までに一章分の第一稿提出。  
10月末日までに残りの第一稿提出。

履修上の留意点

- 1 当教官に卒論指導を希望する場合は履修すること
- 2 第一回目の授業で次の程度に絞ったテーマを教官に知らせてください。  
例：『オリヴァ・ツイスト』について、「ディケンズの短編について」、「イギリスの子供について」、「19世紀のロンドンについて」。
- 3 自分名義のEメールのアカウントを持つこと

成績評価の方法

提出物の内容と論文の進行により評価します。

教科書

特になし

参考書等

適宜個別に指示します

科目名	4年次ゼミ	開講	通年	単位	4
配当	英4選				
担当者名	久保内 端郎 <small>くぼうち なたお</small>				

#### 講義のねらい

英語を理解するためには、英語そのものを熟読し、味読し、聴解し、響きを楽しむといったことに加えて、英語について英語とはどんな特徴をもつ言語であるか、構造的に、音韻的に、綴り字的に、語彙的に、歴史的になどなど、英語を英語たらしめている特徴は何かといったことに対する理解を深める必要があります。そのような問題に関心をもつ諸君の参加を希望します。テキストには Sidney Greenbaum and Randolph Quirk, “A Student’s Grammar of the English Language” (Longman, 1990) を用います。その中でとくに重要と思われる問題を扱う章を重点的に精読したいと思います。前期は第18章「主題、焦点、情報処理」を中心に、後期は第19章「センテンスからテキストへ」ほかを読む予定です。卒論の制作と同時進行ですから忙しいことにはなりますが、頑張ってください。実際の例を見るために “My Fair Lady” をあわせて読みます。最初の時間は卒業論文の書き方・作法について説明します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

(前期)

- (1) 卒業論文の概要
- (3-7) 第18章前半「英語のセンテンスの構造」
- (8-12) 第18章後半
- (14) 節と節の結合と文と文の結合 テキストの成立条件
- (15-22) 卒業論文の諸問題
- (23) まとめ

#### 履修上の留意点

授業への積極的な参加を強く要望します。

#### 成績評価の方法

成績評価は平常点とレポート（論文）による。

#### 教科書

Greenbaum and Quirk (1990) のテキストはプリントで。  
 “My Fair Lady” (英光社) は各自購入して下さい。

#### 参考書等

授業内で随時指示します。

科目名	4年次ゼミ	開講	通年	単位	4
配当	英4選				
担当者名	佐藤 真二 <small>さとう しんじ</small>				

講義のねらい

3年次にゼミで研究した事項（音声学）を基礎として、それを発展し、卒業論文へまとめあげることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）研究方法の再確認。テーマの決定。資料の収集。卒業論文の書き方。アウトライン作成。卒業論文指導が中心となる。9月下旬序章（或いは第1章）提出、10月下旬第1章（或いは第2章）提出の予定。

履修上の留意点

卒業論文の指導を希望するものは必ず履修すること。  
履修者は必ず第1回目の授業に出席し、担当教員と連絡を取ること。  
5月末からの論題提出期間までには、テーマを決定し、論題の案を用意し、その上で担当教員に連絡の上、相談にくること。  
教育実習に行く学生は早めに論題の準備をしておくこと。  
就職活動で忙しい場合でも、何らかの方法で担当教員に連絡すること。

成績評価の方法

レポートにより評価する。

参考書等

渡部昇一他『論文・レポートの書き方』スタンダード英語講座8（大修館書店）1984年 他

科目名	4年次ゼミ	開講	通年	単位	4
配当	英4選				
担当者名	佐藤 千春 <small>さとう ちはる</small>				

英  
米  
文

講義のねらい

卒業論文作成の基本となるゼミと考えてほしい。作家・作品その他論題の決定、そのための準備、そして完成への助言、助力を行う。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカ・ルネッサンス期の作家を中心として指導を行う。研究室で行うが、人数によりグループ別に分けて隔週でこれを行う予定。6月までにテーマを決め、その研究方針・報告を受け、それに従ってスケジュールをたてる。尚、4年ゼミの曜日、時限は、佐藤研究室にて連絡、発表し、そこでスケジュール表を渡すことにする。4年ゼミを希望する学生は早めに上記研究室（1441）に来られたし。

履修上の留意点

決められたスケジュールに従って報告をしてもらうので十分な準備をしていただくことになる。

成績評価の方法

報告の内容、論文の内容などを考慮し評価を出す。

教科書

とくに使用せず。

参考書等

研究対象によって異なるので、その都度指摘することにする。

科目名	4年次ゼミ	開講	通年	単位	4
担当	英4選				
担当者名	サンダース, L. P.				

講義のねらい

このコースでは卒業論文の書き方について学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 4段階とする。
1. Developing a topic
  2. Conducting research
  3. Writing process
  4. Checking

成績評価の方法

論文の進み具合などによって評価する。

教科書

教材は教室にて配布する。

その他

ビデオを使用する。

科目名	4年次ゼミ	開講	通年	単位	4
担当	英4選				
担当者名	たかの まさお 高野 正夫				

講義のねらい

4年次の卒業論文の執筆に向けて様々な指導を行ないます。どのようにして卒論を書いたらよいかということについて、具体的な例をあげながら説明していきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、卒論の論題受付に向けて、どのようなジャンルやテーマを選んだらよいか、そしてどのような作家や作品を選んだらよいかなどについて、相談しながら論題を決定する作業を行います。  
後期は、論文を書く時の具体的な原稿用紙の書き方などについて説明し、さらに下書きの段階で提出された論文を訂正するなどして、論文の完成に向けての細かな作業を行います。

履修上の留意点

卒論の作成は長期間にわたるものなので、粘り強く様々な作業を進めることが必要であり、授業の時だけでなく日頃から自主的な姿勢で研究作業を進めていくことが望まれる。

成績評価の方法

授業への積極性や論文の進み方などにより評価する。

教科書

授業開講時に教場で指示する。



## II 專 門 教 育 科 目

### 3 地 理 学 科



## Ⅱ. 専門教育科目

### (3) 地理学科

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
自然地理学入門	地文1必(19年度以降入学生) 環境1必(19年度以降入学生)	通年	4	江口 卓 高木 正博 長沼 信夫 早船 元峰 平井 幸弘	607
自然地理学概論	地文1必(18年度以前入学生) 環境1必(18年度以前入学生)	通年	4	平井 幸弘	608
人文地理学入門	地文1必(19年度以降入学生) 環境1必(19年度以降入学生)	通年	4	桜井 明久 小田 匡保 佐藤 哲夫 須山 聡 高橋 健太郎 土谷 敏治 橋詰 直道	609
人文地理学概論	地文1必(18年度以前入学生) 環境1必(18年度以前入学生)	通年	4	佐藤 哲夫	610
自然地理学実習(地図学実習含む)	地文1必 地文環境2年次以降再履修可	半期	1	長沼 信夫	611
自然地理学実習(地図学実習含む)	地文1必 地文環境2年次以降再履修可	半期	1	江口 卓	611
自然地理学実習(地図学実習含む)	地文1必 地文環境2年次以降再履修可	半期	1	早船 元峰	612
自然地理学実習(地図学実習含む)	環境1必 地文環境2年次以降再履修可	半期	1	江口 卓	612
自然地理学実習(地図学実習含む)	環境1必 地文環境2年次以降再履修可	半期	1	平井 幸弘	613
自然地理学実習(地図学実習含む)	環境1必 地文環境2年次以降再履修可	半期	1	長沼 信夫	614
人文地理学実習(地図学実習含む)	地文1必 地文環境2年次以降再履修可	半期	1	橋詰 直道	615
人文地理学実習(地図学実習含む)	地文1必 地文環境2年次以降再履修可	半期	1	須山 聡	616
人文地理学実習(地図学実習含む)	地文1必 地文環境2年次以降再履修可	半期	1	小田 匡保	617
人文地理学実習(地図学実習含む)	環境1必 地文環境2年次以降再履修可	半期	1	桜井 明久	617
人文地理学実習(地図学実習含む)	環境1必 地文環境2年次以降再履修可	半期	1	佐藤 哲夫	618
人文地理学実習(地図学実習含む)	環境1必 地文環境2年次以降再履修可	半期	1	土谷 敏治	619

地域文化研究概説	地文2必(18年度以前入学生)	通年	4	土谷 敏治 小田 匡保 桜井 明久 佐藤 哲夫 須山 聡 高橋 健太郎 橋詰 直道	620
地域環境研究概説	環境2必(18年度以前入学生)	通年	4	江口 卓 高木 正博 長沼 信夫 早船 元峰 平井 幸弘	621
地域概論	地文234選必 環境234選(19年度以降入学生) 環境234選必(18年度以前入学生)	通年	4	須山 聡	622
地図学	地文234選必 環境234選必	通年	4	野々村 邦夫	623
村落地理学	地文234選必 環境234選	通年	4	高橋 健太郎	624
都市地理学	地文234選必 環境234選	通年	4	橋詰 直道	625
交通地理学	地文234選必 環境234選	通年	4	土谷 敏治	626
文化地理学	地文234選必 環境234選	通年	4	小田 匡保	627
文化生態学	地文234選必 環境234選	通年	4	中俣 均	628
歴史地理学	地文234選必 環境234選	通年	4	小田 匡保	629
リモートセンシング	環境234選必 地文234選	通年	4	中山 大地	630
環境地理学	環境234選必 地文234選	通年	4	早船 元峰	630
計量地理学	環境234選必 地文234選必(19年度以降入学生) 地文234選(18年度以前入学生)	通年	4	土谷 敏治	631
応用地理学	環境234選必 地文234選	通年	4	高木 正博	632
地域計画論	環境234選必 地文234選	通年	4	原 昭夫	633
地理情報論	環境234選必 地文234選	通年	4	村山 祐司	634
地域文化調査法(現地調査含む) A				休講	

地域文化調査法（現地調査含む）B	地文3選必	通年	4	土谷 敏治	635
地域文化調査法（現地調査含む）C	地文3選必	通年	4	橋詰 直道	636
地域文化調査法（現地調査含む）D	地文3選必	通年	4	桜井 明久	636
地域文化調査法（現地調査含む）E	地文3選必	通年	4	小田 匡保	637
地域文化調査法（現地調査含む）F				休講	
地域環境調査法（現地調査含む）A	環境3選必	通年	4	高木 正博	638
地域環境調査法（現地調査含む）B				休講	
地域環境調査法（現地調査含む）C	環境3選必	通年	4	平井 幸弘	639
地域環境調査法（現地調査含む）D				休講	
地域環境調査法（現地調査含む）E	環境3選必	通年	4	長沼 信夫	640
地域環境調査法（現地調査含む）F				休講	
地域文化演習A				休講	
地域文化演習B				休講	
地域文化演習C	地文3選必	通年	4	佐藤 哲夫	640
地域文化演習D	地文3選必	通年	4	須山 聡	641
地域文化演習E				休講	
地域文化演習F				休講	
地域環境演習A				休講	
地域環境演習B				休講	
地域環境演習C	環境3選必	通年	4	江口 卓	641
地域環境演習D	環境3選必	通年	4	早船 元峰	642
地域環境演習E				休講	
地域環境演習F				休講	
地理学演習	地文4必 環境4必	通年	4	江口 卓	642
地理学演習	地文4必 環境4必	通年	4	小田 匡保	643
地理学演習	地文4必 環境4必	通年	4	桜井 明久	643
地理学演習	地文4必 環境4必	通年	4	佐藤 哲夫	644
地理学演習	地文4必 環境4必	通年	4	須山 聡	644
地理学演習	地文4必 環境4必	通年	4	高木 正博	645

地理学演習	地文4必 環境4必	通年	4	高橋 健太郎	645
地理学演習	地文4必 環境4必	通年	4	土谷 敏治	646
地理学演習	地文4必 環境4必	通年	4	長沼 信夫	647
地理学演習	地文4必 環境4必	通年	4	橋詰 直道	648
地理学演習	地文4必 環境4必	通年	4	早船 元峰	648
地理学演習	地文4必 環境4必	通年	4	平井 幸弘	649
巡検A				休講	
巡検B	地文234選(18年度以前入学生) 環境234選(18年度以前入学生)	半期	1	高橋 健太郎	649
巡検C				休講	
巡検D				休講	
図学実習	環境234選 地文234選	半期	1	清水 長正	650
日本地誌	地文234選 環境234選	通年	4	橋詰 直道	651
外国地誌特講	地文234選 環境234選	通年	4	梅原 弘光	652
アジア地誌	地文234選 環境234選	通年	4	須山 聡 高橋 健太郎	653
アメリカ地誌	地文234選 環境234選	通年	4	平井 誠	654
ヨーロッパ地誌	地文234選 環境234選	通年	4	桜井 明久	654
経済地理学	地文234選 環境234選	通年	4	矢延 洋泰	655
産業地域論	地文234選必(19年度以降入学生) 地文234選(18年度以前入学生) 環境234選	通年	4	須山 聡	656
地形学	環境234選必(19年度以降入学生) 環境234選(18年度以前入学生) 地文234選	通年	4	平井 幸弘	657
地形学実習	環境234選 地文234選	半期	1	清水 長正	658
社会地理学				休講	
外書講読	地文234選 環境234選	通年	4	佐藤 哲夫	659

気候学	地文234選 環境234選必(19年度以降入学生) 環境234選(18年度以前入学生)	通年	4	江口 卓	660
気候学実習	環境234選 地文234選	半期	1	江口 卓	660
水文学	環境234選必(19年度以降入学生) 環境234選(18年度以前入学生) 地文234選	通年	4	長沼 信夫	661
水文学実習	環境234選 地文234選	半期	1	高木 正博	662
人口地理学	地文234選 環境234選	通年	4	山内 昌和	663
歴史地理学実習	地文234選 環境234選	半期	1	小田 匡保	664
地球物理学	環境234選 地文234選	通年	4	柳田 誠	665
土壌地理学	環境234選 地文234選	通年	4	漆原 和子	666
生物地理学	環境234選必(19年度以降入学生) 環境234選(18年度以前入学生) 地文234選	通年	4	北澤 哲弥	667
計量地理学実習	環境234選 地文234選	半期	1	土谷 敏治	668
測量学	環境234選 地文234選	通年	4	吉田 英嗣	669
第四紀学	環境234選 地文234選	通年	4	鈴木 毅彦	670
現代地理学特論				休講	
地理学特講I	環境234選 地文234選	半期	2	橋詰 直道	671
地理学特講II	地文234選 環境234選	半期	2	長沼 信夫	672
地理学特講III	地文234選 環境234選	通年	4	澤渡 貞男	673
地理学特講IV	地文234選 環境234選	通年	4	山縣 毅	674
地理学特講V	環境234選	通年	4	平井 史生	675

科目名	自然地理学入門	開講	通年	単位	4
配当	地文1必(19年度以降入学生) 環境1必(19年度以降入学生)				
担当者名	江口 卓・高木 正博・長沼 信夫・早船 元峰・平井 幸弘				

#### 講義のねらい

自然地理学ではどのような視点から自然をとらえていくのかを、自然地理学の諸分野において概観する。さらに、自然と人間のかかわりについて考えることにより、地理学におけるもの見方について学ぶ。

#### 講義の内容・授業スケジュール

5人の教員により視点を変えて自然地理学の諸問題について学ぶ。年間の授業スケジュールは次のとおり予定している。

1. 気候と環境について考える【4月12日～5月17日 江口 卓】

気候と環境－都市・島・山地－／気候変化と地球温暖化

2. 自然災害を知る・防ぐ【5月24日～6月21日 平井幸弘】

自然災害とはいかに防ぐか／火山と火山災害／地震、活断層、津波災害／河川と土砂災害／平野と洪水・高潮

3. 自然と人間のかかわりあい【6月28日～9月27日 早船元峰】

比良山地・野坂山地とその周辺の自然・災害・水利用・土地利用／北海道北部の地形の成り立ち／泥炭地の種類・生成条件など

4. 都市を中心にした水の循環【10月4日～11月8日 高木正博】

水の循環／河川の流域と都市の川／都市の水害／都市をめぐる水／都市の水環境／都市の水循環と環境保全

5. 人間生活の舞台である平野の在り方【11月15日～12月20日 長沼信夫】

平野の在り方／平野の生い立ち／自然地理学研究小史

#### 成績評価の方法

定期試験は行わず、評価は担当者ごとの小テストおよび出席状況を考慮して行う。出題・採点は各担当者が行い、その結果を総合して評価する。

#### 参考書等

シリーズ『自然景観の読み方』全12冊、岩波書店。

シリーズ『自然環境とのつきあい方』全7冊、岩波書店。

杉谷隆・平井幸弘・松本淳『風景のなかの自然地理一改訂版』、古今書院。

山田安彦編著『総合 地域の科学－水と地域のかかわり合い－』、古今書院。

都市環境学シリーズ2『都市の水文環境』、共立出版。



科目名	自然地理学概論	開講	通年	単位	4
担当	地文 1 必(18年度以前入学生) 環境 1 必(18年度以前入学生)				
担当者名	ひらい ゆきひろ 平井 幸弘				

#### 講義のねらい

私たちが普段目にする山、川、平野などの「風景」を切り口として、自然地理の基本的な視点と考え方を学ぶことを目的とする。講義ではまず、「自然環境とは何か？どのように捉えたらよいか？」について考えてみたい。そして具体的に、おもに日本列島における火山、森と丘陵、川と平野、湖と海岸などを対象とし、その自然と人間・社会との関係について学ぶ。その際、それぞれの風景の物理的側面だけでなく開発や環境、環境保全・再生、資源利用と言った「自然と人間の関わり」についての内容も積極的に取り上げたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

(前期) 1.自然環境と地域、2.火山の自然、恵みと災害 3.河川の作用と洪水、4.森の自然と人間、5.台地・丘陵地の自然と開発 (後期) 6.平野の自然景観と生い立ち、7.湖の景観・開発と環境問題、 8.海岸の自然景観と海面上昇

#### 履修上の留意点

現実の様々な環境問題に、広い視野から関心を持ち学ぼうとする意欲を期待したい。

#### 成績評価の方法

授業中複数回のミニテストと、学年末の試験を総合して成績評価する。

#### 教科書

杉谷隆・平井幸弘・松本淳(2005)『風景のなかの自然地理<改訂版>』古今書院

#### 参考書等

大矢雅彦ほか(1996)『自然災害を知る・防ぐ』古今書院 小池一之(1997)『海岸とつきあう』岩波書店

#### その他

高校で使う程度の地図帳(二宮書店や帝国書院発行のものなど)と12色の色鉛筆を用意することが望ましい。

科目名	人文地理学入門	開講	通年	単位	4
配当	地文1必(19年度以降入学生) 環境1必(19年度以降入学生)				
担当者名	桜井 明久・小田 匡保・佐藤 哲夫・須山 聡・高橋 健太郎・土 谷 敏治・橋詰 直道				

### 講義のねらい

さまざまな分野からなる人文地理学研究の入門として、さまざまな地域の文化や社会を取り上げ、人文地理学の内容、方法を学ぶことを主なねらいとする。地域にみられるさまざまな現象、すなわち広い意味での地域文化が、その地域の環境・風土や歴史、生業や生産活動、社会のしくみ、より広い地域との関連とそれらの変化によって、どのように生み出されてきたのか考えてみる。

### 講義の内容・授業スケジュール

1. 民族文化を考える(高橋)
2. 村の土地利用に見る「地域」(桜井)
3. 都市の歴史と交通(土 谷)
4. 熱帯アジア研究入門(佐藤)
5. 景観の見方・読み方・考え方(須山)
6. 文化地理学いろいろ(小田)
7. 都市とまちづくり入門(橋詰)

### 履修上の留意点

次のスケジュールで、1人の教員が4回ずつ担当する予定である。毎回テーマが変わるので、必ず出席することが必要である。

- 4月10日～5月1日 高橋健太郎  
 5月8日～5月29日 桜井明久  
 6月5日～6月26日 土 谷敏治  
 7月3日～9月25日 佐藤哲夫  
 10月2日～10月23日 須山 聡  
 10月30日～11月20日 小田匡保  
 11月27日～12月18日 橋詰直道

### 成績評価の方法

7人の教員が、それぞれの講義内容に関するレポートを課すか試験を実施し、その得点に出席状況などを加味して各自の成績を評価する。その上で、7人の担当者の合計点によって総合評価する。

### 教科書

とくに指定しない。

### 参考書等

- 高橋  
 高橋伸夫ほか「文化地理学入門」東洋書林  
 佐々木信彰編「現代中国の民族と経済」世界思想社  
 可児弘明ほか編「民族で読む中国」朝日新聞社  
 松村嘉久「中国・民族の政治地理」晃洋書房  
 山下清海「東南アジア華人社会と中国僑郷」古今書院
- 桜井  
 尾留川正平編著「沿岸集落の生態」二宮書店  
 市川健夫・山本正三・斎藤功編「日本のブナ帯文化」朝倉書店  
 桜井明久「西ドイツの農業と農村」古今書院  
 高橋伸夫・ジャン・ロベール＝ピット・手塚 章編著「パリ大都市圏 一その構造と変容 一」東洋書林  
 桜井明久「地理教育学入門」古今書院
- 土谷  
 早川東三・工藤幹巳「ドイツを知るための60章」明石書店  
 浜本隆志・高橋 憲「現代ドイツを知るための55章」明石書店  
 大西健夫編「ドイツの政治 一連邦制国家の構造と機能一」早稲田大学出版部  
 平井 正「ベルリン 歴史の道」光人社  
 宇都宮浄人「路面電車ルネッサンス(新潮社新書034)」新潮社  
 土居靖範・近藤宏一・榎田基明「LRTが京都を救う 都大路まちづくり大作戦」つむぎ出版
- 佐藤  
 岩波書店編集部「フィールドワークは楽しい」(岩波ジュニア新書)  
 比嘉政夫「沖縄からアジアが見える」(岩波ジュニア新書)

藤巻正己・瀬川真平編「現代東南アジア入門」古今書院  
綾部恒雄・林行夫編著「タイを知るための60章」明石書店  
須山  
青山高義・小川 肇・岡 秀一・梅本 亨編「日本の気候景観―風と樹 風と集落―」古今書院。  
中島峰広「日本の棚田―保全への取り組み―」古今書院。  
須山 聡「在来工業地域論―輪島と井波の存続戦略―」古今書院。  
山下晋司編「観光人類学」新曜社。  
山と地図のフォーラム「富士山展望百科」実業之日本社。  
古沢 保「風景印散歩―東京の町並み再発見―」日本郵趣出版。  
千田 稔・前田良一・内田忠賢編「風景の事典」古今書院。  
中村和郎・手塚 章・石井英也「地理学講座4 地域と景観」古今書院。  
小田  
鈴木秀夫・久保幸夫「日本の食生活」朝倉書店  
山村順次「新観光地理学」大明堂  
杉浦芳夫「文学・人・地域―越境する地理学」古今書院  
徳川宗賢「日本の方言地図」中公新書  
平山輝男「日本の方言」講談社現代新書  
橋詰  
E. ホール、日高敏隆・佐藤信行訳「かぐれた次元」(みすず書房)  
渋谷昌三「人と人との快適距離」(NHKブックス)  
小林秀樹「集住のなわばり学」(彰国社)  
角野幸博「郊外の20世紀」(学芸出版社)  
山田利一「郊外の復興」(春風社)

科目名	人文地理学概論	開講	通年	単位	4
配当	地文1必(18年度以前入学生) 環境1必(18年度以前入学生)				
担当者名	佐藤 哲夫				

地  
理

講義のねらい

この授業は、人文地理学の専門領域全般について解説した入門的な講義である。地域の人々のくらしを理解するために必要な地理学的な知識や、地域の見方を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業では以下の各項目について、参考書等を参照しながら解説する。ただし順番等は受講者の理解度を見て調整しながら進める。都市や農村などの生活の場に焦点をあてて講義を進める。

- ・地理学の研究方法に特徴的な地域スケールと地図について説明する。
- ・人口分布と構成の変化を、人口動態と人口移動から説明する。
- ・都市の発達と形態、都市内部の地域分化について説明する。
- ・商業施設の立地と、商業地区の機能・形態について説明する。
- ・工業の立地と集中、地域社会との関わりについて説明する。
- ・村落の立地条件、農業と土地利用について説明する。

成績評価の方法

成績は前期末および学年末試験(60%)と夏休みなどの課題(40%)で評価する。

参考書等

浮田典良『人文地理学総論』朝倉書店(総観地理学講座9.)

科目名	自然地理学実習（地図学実習含む）	開講	半期	単位	1
配当	地文1必 環境234必				
担当者名	ながねま のぶお 長沼 信夫				

#### 講義のねらい

この実習は自然地理学的立場から、専門領域を深めるために必要な基礎的諸作業を修得する目的で実施する。この実習を通して種々の資料蒐集・整理、その結果から図表の表現化、作成した図表の読み方などを行う。さらに野外調査の際に必要な技術的作業の方法についても実習する予定である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 実習内容としては、次のような作業を予定している。
- 1) 地形図の読図、地形図を用いて地形計測（水系分布図、起伏量図などの作成）
  - 2) 海図の読図、海図を用いて海底地形や底質の分布図作成
  - 3) 地質図の読図、描き方、地層の厚さの求め方
  - 4) 各種の統計・調査資料の検討とその整理方法
  - 5) 簡易測量（高さ・距離などの測定、平板測量）

#### 履修上の留意点

地形図や図版作成のために必要な器具などを用意してもらうことになるが、これらは実習の時間に適時指示する。

#### 成績評価の方法

出席を重視し、定期的に提出する図版やレポートなどを基に総合的に評価する。

#### 教科書

特に指定しない。

#### 参考書等

谷岡武雄ほか著『新訂 地理実習』（大明堂）2,520円

#### その他

実習に必要な資料は随時配布する。

科目名	自然地理学実習（地図学実習含む）	開講	半期	単位	1
配当	地文1必 環境234必				
担当者名	えぐち たかし 江口 卓				

#### 講義のねらい

自然地理学のフィールド調査を行う際に必要となる基礎的調査手法および調査で得られたデータの解析手法を身につけることを目標とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 実習の内容は次の通りである。
- 1) 地図と実体視
  - 2) 簡易測量
  - 3) 分布図の書き方、読み方
  - 4) データの分析（分布図の作成、簡単な統計処理）

#### 履修上の留意点

毎回出席し、レポートの提出期限は厳守すること。

#### 成績評価の方法

レポートと出席状況を総合して評価する。

#### その他

授業はプリントを配布して進める。  
データ処理にはパソコンを使用する。

科目名	自然地理学実習（地図学実習含む）	開講	半期	単位	1
配当	地文1必 環境234必				
担当者名	はやふね げんぽう 早船 元峰				

講義のねらい

地理学を修める上に必要な自然関係の基礎的作業を中心に行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・2.5万分の1あるいは5万分の1地形図を用いた主題図の作成（切峰面図・起伏量図・帯状平行投影地形断面図など）
- ・試料の収集・分析・整理の方法（粒度分析など）
- ・調査器材・器具の使用法
- ・空中写真判読
- ・地形断面図（実測）の作成

履修上の留意点

地形図や製図用具は各自用意してもらおう。  
出席をこころがけ、成果の提出期限を守ること。

成績評価の方法

出席状況・提出物の内容などにより評価する。

そ の 他

実習に必要な資料は随時配布する。

科目名	自然地理学実習（地図学実習含む）	開講	半期	単位	1
配当	地文1必 地文234必				
担当者名	えぐち たかし 江口 卓				

講義のねらい

自然地理学のフィールド調査を行う際に必要となる基礎的調査手法および調査で得られたデータの解析手法を身につけることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 実習の内容は次の通りである。
- 1) 地図と実体視
  - 2) 簡易測量
  - 3) 分布図の書き方、読み方
  - 4) データの分析（分布図の作成、簡単な統計処理）

履修上の留意点

毎回出席し、レポートの提出期限は厳守すること。

成績評価の方法

レポートと出席状況を総合して評価する。

そ の 他

授業はプリントを配布して進める。  
データ処理にはパソコンを使用する。

地  
理

科目名	自然地理学実習（地図学実習含む）	開講	半期	単位	1
配当	地文1必 地文234必				
担当者名	ひらい ゆきひろ 平井 幸弘				

#### 講義のねらい

様々な「地域」が持っている自然地理学的な特質を明らかにし、それぞれの地域における開発と環境問題、あるいは災害と防災の問題などに取り組むために、基本的な地形図の読図、様々な地形分類図の読図、簡単な地形分類の実習、簡単な空中写真判読、ハザードマップの試作などを行う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1)地形図・空中写真の種類と入手方法、2)地形図の読図と作業、3)地形分類図の読図、4)簡単な地形分類の実習 5)簡単な空中写真判読

#### 履修上の留意点

実習科目なので、課題に対する成果品（作業した地図類）を提出することが必要条件である。

#### 成績評価の方法

授業への出席および提出物を総合して成績評価する。

#### 教科書

教科書は指定しない。課題に対するプリントを用意する。

#### 参考書等

大矢雅彦ほか（1998、2002改訂増補）『地形分類図の読み方・作り方』古今書院

#### その他

高校で使う程度の地図帳（二宮書店や帝国書院発行のものなど）と12色の色鉛筆を用意することが望ましい。

科目名	自然地理学実習（地図学実習含む）	開講	半期	単位	1
配当	地文1必 地文234必				
担当者名	ながのま のぶお 長沼 信夫				

#### 講義のねらい

この実習は自然地理学的立場から、専門領域を深めるために必要な基礎的諸作業を修得する目的で実施する。この実習を通して種々の資料蒐集・整理、その結果から図表の表現化、作成した図表の読み方などを行う。さらに野外調査の際に必要な技術的作業の方法についても実習する予定である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

実習内容としては、次のような作業を予定している。

- 1) 地形図の読図、地形図を用いて地形計測（水系分布図、起伏量図などの作成）
- 2) 海図の読図、海図を用いて海底地形や底質の分布図作成
- 3) 地質図の読図、描き方、地層の厚さの求め方
- 4) 各種の統計・調査資料の検討とその整理方法
- 5) 簡易測量（高さ・距離などの測定、平板測量）

#### 履修上の留意点

地形図や図版作成のために必要な器具などを用意してもらうことになるが、これらは実習の時間に適時指示する。

#### 成績評価の方法

出席を重視し、定期的に提出する図版やレポートなどを基に総合的に評価する。

#### 教科書

特に指定しない。

#### 参考書等

谷岡武雄ほか著『新訂 地理実習』（大明堂）2,520円

#### その他

実習に必要な資料は随時配布する。

科目名	人文地理学実習（地図学実習含む）	開講	半期	単位	1
配当	地文1必 環境234必				
担当者名	橋詰 <sup>はしづめ</sup> 直道 <sup>なおみち</sup>				

講義のねらい

人文地理的諸現象を調査・分析し、レポートにまとめるための基礎的手法を学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

①②地理学文献の検索方法、地図・空中写真・地理データの入手方法、③④地理情報の判読（地形図判読、空中写真判読）、⑤⑥地理データの処理（パソコンを用いたグラフ化）、⑦⑧地理データの分析手法（基礎統計分析手法）、⑨⑩調査課題の設定（地理的課題と地域の設定）、⑪⑫現地調査の方法（フィールドノートのとり方、アンケート調査用紙の作成）、⑬⑭調査レポート（プレゼンテーション・文献レビュー）  
授業は総合情報センターのパソコン教室を使用する。

履修上の留意点

必修科目であり、毎週新たな課題が出されるので、特に課題への積極的な取り組みが必要である。もちろん、出席（遅刻をしないこと）状況や授業への参加態度も重視する。課題レポートはパソコン使用。課題の提出期限を厳守すること。

成績評価の方法

期間中に出される課題・レポートなどの成果品、授業への出席（一定基準以上）や授業への参加状況などを総合的に評価する。

教科書

とくに定めない。なお、毎時間の課題についてはプリントを配布する。

その他

総合情報センター利用登録を4月中に済ませておくこと。



科目名	人文地理学実習（地図学実習含む）	開講	半期	単位	1
配当	地文1必 環境234必				
担当者名	すやま さとし 須山 聡				

#### 講義のねらい

人文地理学における基本的な分析手法を習得するとともに、最低限必要な表現（図的表現・文章表現）技法を身につける。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (1) 文献検索・文献リストの作成
- (2) 統計データと統計地図の種類と利用法
- (3) 要約文の作成\*
- (4) 土地利用調査（野外観察の基礎）
- (5) 土地利用図の作成（口頭表現のトレーニング）
- (6) 景観観察と地図表現
- (7) コロプレスマップの作成\*
- (8) ドットマップの作成\*
- (9) サンプリングと土地利用の分析（修正ウイバー法）
- (10) ネットワークの分析（最大流動法）
- (11) 人口の静態的分析（人口構造・ランクサイズルール）
- (12) 人口の動態的分析（コーホート分析）

\*は2回行うこともある。

#### 履修上の留意点

各回に与えられる課題は次回までにレポートとして提出する。本実習では、日本語表現を地理学で学ぶ上での重要な能力と位置づけている。したがって作成した課題に基づき、レポート上でいかに説得力のある論理を構築できるかが重視される。

課題未提出者はノルマが雪だるま式に増えて首が回らなくなるおそれがある。

#### 成績評価の方法

毎回の授業で課されるレポートをもとに判断する。レポートは要求水準に到達するまで何度でも書き直しを求める。具体的には合格したレポートは1点、不合格は0.5点、未提出は0点とし、それらの合計点に基づいて評価する。したがって、不合格または未提出であっても再提出して合格すればよい。

地  
理

#### 教科書

毎回資料を配布する。

#### 参考書等

製図ペン・電卓を利用する。

科目名	人文地理学実習（地図学実習含む）	開講	半期	単位	1
配当	地文1必 環境234必				
担当者名	おだ まさやす 小田 匡保				

**講義のねらい** この科目では、人文地理学の研究調査に必要な資料について学習し、さらに基本的な図表の作成ができるようにする。

**講義の内容・授業スケジュール**

1. 文献紹介
2. 手書きによる地図の作成
3. 情報検索
4. エクセルによる表の作成
5. エクセルによるグラフの作成
6. 統計データの地図化

**履修上の留意点** 毎回課題を出すので、出席はもちろんのこと、課題を遅れずに提出すること。ただし、不十分な内容の場合は再提出を求める。授業の途中から総合情報センターを利用するので、利用者IDを手元に用意しておくこと。コンピュータ基礎科目を履修するなどして、パソコンの基本的な使い方に慣れておくこと（ワープロが使えるという前提で授業を進める）。

**成績評価の方法** 成績評価は、出席状況、課題の提出状況（遅れずに提出したかどうか）によって行なう。提出された課題のできばえも勘案する。ただし、提出されない課題がある場合は、単位認定は保証できない。

**教科書** 担当教員作成のプリントを配布する。

**参考書等** 授業中に紹介する。

**その他** 定規・地形図などを用意する必要がある。詳細は、授業時に随時指示する。

地  
理

科目名	人文地理学実習（地図学実習含む）	開講	半期	単位	1
配当	環境1必 地文234必				
担当者名	さくらい あさひさ 桜井 明久				

**講義のねらい** 人文地理学の研究・調査のための基礎的な方法を学ぶための実習である。

**講義の内容・授業スケジュール** 地形図の利用、土地利用図の作成、分布図の作成、統計資料の収集、統計図表の作成、統計地図の作製、統計手法の利用、表計算ソフトの利用、データベースの意味と利用などについて実習する。

**履修上の留意点** 実習であるから、授業に出席し、ともに作業をすることが前提である。なお、事前に準備すべきものは前もって伝える。欠席した場合は、次の授業で準備すべきものを、出席した同級生に聞くなどして確認しておくこと。

**成績評価の方法** 授業で制作、作成する作品・レポートとその提出状況で評価される。

**その他** 様々な地域の地形図、色鉛筆、定規などを準備する必要がある。詳細は授業開始時に指示する予定。

科目名	人文地理学実習（地図学実習含む）	開講	半期	単位	1
配当	環境1必 地文234必				
担当者名	佐藤 <sup>さとう</sup> 哲夫 <sup>てつお</sup>				

講義のねらい

この実習では、人文地理学のレポートが作成できるようになることを目標にする。図表やレポートの体裁、統計分析や地図作成などの基礎的な技術について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容を基本にするが、受講者の理解度を見て調整しながら進める。  
 文献の検索と文献表の作成。論文要旨の作成。地図の編集・作図の作業。地図上の面積の計測。パソコンによる主題図の作成。写真を利用したレポートの作成。地理統計と表計算ソフトの利用。平均・標準偏差と特化係数の計算。表計算ソフトによるグラフの作成。回帰分析

履修上の留意点

毎回課題を出す。授業時間内に終わらなかった課題は、持ち帰って仕上げてもらおう。  
 パソコンやソフトの操作法についてはあまり時間をかけずに、作業の意味や原理について説明する。パソコンの操作に習熟している人は、進んで初心者の方の手助けをしてほしい。

成績評価の方法

課題の提出状況で評価する。出席も取るが、これは受講者の進捗を把握するためのものである。課題提出の最終的な締め切りに遅れた場合は不可になる。

教科書

教材と作業課題は授業時間に配布する。

科目名	人文地理学実習（地図学実習含む）	開講	半期	単位	1
配当	環境1必 地文234必				
担当者名	つちだに としはる 土谷 敏治				

#### 講義のねらい

人文地理学の調査・分析に必要な資料の収集・整理方法、統計的分析方法、製図技術を身につけることを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

9～11月上旬：コンピュータを用いて、レポートの作成方法、文献検索方法、統計データの処理・グラフ化を行う。

11月中旬～12月：資料の整理、図表・地図の作成の実習を行うとともに、分析・考察能力を身につける。

主な実習項目は、次のとおりである。

1. ワードプロソフトによる文書作成：レポート、論文の作成に備えて、作文能力を高め、ワードプロソフトを使いこなせるようにする。
2. 文献の検索と読解：文献検索能力を身につけるとともに、地理学に関する文献を読んで、読解力を身につける。
3. 作表実習：表計算ソフトにより、作表技術を身につける。
4. 統計分析：表計算ソフトを使用して、統計データの集計、分析、グラフ作成の実習を行う。
5. 地図作成：コンピュータによって、統計データを地図表現する能力を身につける。
6. 製図：製図技術を身につける。

#### 履修上の留意点

毎回必ず出席し、授業で説明を聞いた上で、各課題について実習する。上記のスケジュールにしたがって課題を与えるので、その結果の図・表と分析・考察を必ず提出する。コンピュータを使用するので、総合情報センターのユーザーID、パスワードを用意しておく必要がある。コンピュータ使用の経験者・未経験者を問わず、基礎から使用方法を学習することを原則とするので、未経験者もとくに心配する必要はない。ただし、経験者ならびに希望者は総合情報センターの設備のみでなく、地理学科の地理分析用コンピュータやソフトウェアを使用して、さらに高度な分析方法を学習することも可能である。

#### 成績評価の方法

すべての提出物を点数化して評価する。提出物の図・表と分析・考察は1：1の比重とする。地図の作製は、多くの時間を必要とすることから、他の課題の2倍の比重で評価する。また、実習としての授業の性格上出席を重んじ、出席率が7割に達しない者は単位を認定しない。

地  
理

#### 教科書

とくに指定しない。

#### 参考書等

地理学の基礎的な調査・研究方法を学ぶ上で、たとえば次のような文献が参考となろう。  
 浮田典良編『ジオ・パル21 地理学便利帖』（海青社）  
 中村和郎・高橋伸夫編『地理学講座1 地理学への招待』（古今書院）  
 菅野峰明・安仁屋政武・高阪宏行著『地理学講座2 地理的情報の分析手法』（古今書院）  
 高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座3 実践と応用』（古今書院）

科目名	地域文化研究概説	開講	通年	単位	4
配当	地文2必(18年度以前入学生)				
担当者名	土谷 敏治・小田 匡保・桜井 明久・佐藤 哲夫・須山 聡・高橋 健太郎・橋詰 直道				

### 講義のねらい

地理学の視点から地域の文化と社会をとらえる方法を学ぶことを主なねらいとする。地域に暮らす人々の生活や行動に隠されているパターンすなわち地域文化が、地域の風土や歴史、社会のしくみによって、どのように生み出されてきたのか考えてみる。

### 講義の内容・授業スケジュール

地域文化を研究するための地理学の方法について、7人の教員がそれぞれの視点から講義を行う。統一的なテーマとして「地域文化へのアプローチ」を意図している。各教員の講義のテーマとして、次のものを予定している。

1. 都市とまちづくり
2. 熱帯アジア研究入門
3. 土地利用と景観
4. 都市と歴史と文化
5. 民族文化を考える
6. 景観観察法
7. 文化地理学いろいろ

### 履修上の留意点

次のスケジュールで、1人の教員が4回ずつ担当する予定である。毎回テーマが変わるので、必ず出席することが必要である。

- 4月10日～5月1日 橋詰直道  
 5月8日～5月29日 佐藤哲夫  
 6月5日～6月26日 桜井明久  
 7月3日～9月25日 土谷敏治  
 10月2日～10月23日 高橋健太郎  
 10月30日～11月20日 須山 聡  
 11月27日～12月18日 小田匡保

### 成績評価の方法

7人の教員が、それぞれの講義内容に関するレポートを課すか試験を実施し、その得点に出席状況などを加味して各自の成績を評価する。その上で、7人の担当者の合計点によって総合評価する。

### 教科書

とくに指定しない。

### 参考書等

- 橋詰  
 渋谷昌三「人と人との快適距離」(NHKブックス)  
 小林秀樹「集住のなわばり学」(彰国社)
- 佐藤  
 比嘉政夫「沖縄からアジアが見える」岩波ジュニア新書  
 藤巻正己・瀬川真平編「現代東南アジア入門」古今書院
- 桜井  
 尾留川正平編著「沿岸集落の生態」二宮書店  
 桜井明久「西ドイツの農業と農村」古今書院
- 土谷  
 早川東三・工藤幹巳「ドイツを知るための60章」明石書店  
 中村文彦「バスでまちづくり 都市交通の再生をめざして」学芸出版
- 高橋  
 高橋伸夫ほか「文化地理学入門」東洋書林  
 山下清海「チャイナタウン」丸善
- 須山  
 山と地図のフォーラム「富士山展望百科」実業之日本社。  
 中川 聡・前田良一・内田忠賢編「風景の事典」古今書院。  
 中川 正・森 正人・神田孝治「文化地理学ガイダンス」ナカニシヤ出版。
- 小田  
 鈴木秀夫・久保幸夫「日本の食生活」朝倉書店  
 徳川宗賢「日本の方言地図」中公新書

科目名	地域環境研究概説	開講	通年	単位	4
配当	環境2 必(18年度以前入学生)				
担当者名	江口 卓・高木 正博・長沼 信夫・早船 元峰・平井 幸弘				

#### 講義のねらい

地理学の視点から環境をとらえることを主なねらいとする。地球環境から地域環境まで、個々の地域に特有な人間活動と環境とのかかわりにも注目し、さまざまな環境形成要因を考える。

#### 講義の内容・授業スケジュール

5人の教員により視点を変えて環境の諸問題について学ぶ。意図するテーマは、「地域環境を読む」である。年間の授業スケジュールは次のとおり予定している。

1. 地球環境問題の気候学的側面【4月10日～5月15日 江口 卓】  
気候変化の概要／地球温暖化問題とは？
2. アジアの水辺における環境問題【5月22日～6月19日 平井幸弘】  
ソクラ湖の自然と環境問題／チャオプラヤデルタの開発と環境問題／红河デルタの海岸浸食／フェ・ラグーンの洪水被害／セマングム干拓と環境問題
3. 扇状地における自然と人間のかかわりあい【6月26日～9月25日 早船元峰】  
扇状地とは一黒部川扇状地、大間々扇状地を事例地域として一／地形発達史／土地利用と水利用／集落の立地
4. 都市域の環境を水循環の視点から考える【10月2日～11月6日 高木正博】  
都市の水収支／都市の河川／都市における新たな水災害／都市の水環境／都市の水循環を回復させるには
5. 地理学における地域環境研究【11月13日～12月18日 長沼信夫】  
土地環境の在り方／地域の環境変化一川崎市など一／地域環境を南西諸島で考える一自然環境と生活環境一

#### 成績評価の方法

定期試験は行わず、評価は小テストおよびレポート、出席状況を考慮して行う。出題・採点は各担当者が行い、その結果を総合して評価する。

小テストによる評価：江口・長沼  
レポートによる評価：平井・早船・高木

#### 参考書等

シリーズ『自然景観の読み方』全12冊、岩波書店。  
シリーズ『自然環境とのつきあい方』全7冊、岩波書店。  
海津正倫、平井幸弘編『海面上昇とアジアの海岸』、古今書院。  
山田安彦編著『総合 地域の科学一水と地域のかかわり合い一』、古今書院。  
都市環境学シリーズ2『都市の水文環境』、共立出版。

地  
理

科目名	地域概論	開講	通年	単位	4
担当	地文234選必 環境234選(19年度以降入学生)・環境234選必(18年度以前入学生)				
担当者名	すやま さとし 須山 聡				

講義のねらい

本講義では地域を理解するための基本的な視点・概念・方法論を紹介する。とくに、地域把握のための重要な概念である景観と、地域と人間の関係を理解する上で不可欠な、人間の知覚・行動について重点的に講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 地域概念 (キーワード; 地誌学、人文地理学、地域、等質地域、結節地域)
2. 景観の諸相1 (キーワード; 景観、自然景観、文化景観、集落景観)
3. 景観の諸相2 (キーワード; 江戸、風水思想、ディズニーランド、観光資源)
4. 景観の諸相3 (キーワード; 富士山、風景印、写真、読みの強要)
5. 人間の空間的行動 (キーワード; 行動の記述、時間地理学、Quality of Life)
6. 空間の認知 (キーワード; メンタルマップ、選好地図、アクションスペース)
7. 空間の評価 (キーワード; 都市のディリーリズム、空間構成のエレメント)

履修上の留意点

毎回出席をとる。また、随時簡単なエッセイを課する。試験は(考えようによっては)大変に難しいので、受講者は講義内容のみで満足することなく、さらなる学修のきっかけと捉えて欲しい。

成績評価の方法

学年末試験(50%)、出席状況(50%)で判定。

教科書

適宜資料を配布する。

科目名	地図学	開講	通年	単位	4
配当	地文234選必・環境234選必				
担当者名	野々村 邦夫 <small>ののむら くにお</small>				

#### 講義のねらい

地図についての基礎的な知識と技術を学び、地図を作成する能力および地図を活用する能力を養う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 次のようなことについて、順次授業を行う。
1. 地図の基礎知識に関すること  
(測地学の基礎に関することを含む)
  2. 地図の作成に関すること  
(測量学の基礎に関することを含む)
  3. 地図の利用に関すること
  4. 数値地図と地理情報システム (GIS) に関すること
  5. 地図の歴史と楽しみに関すること

#### 履修上の留意点

講義の内容を鵜呑みにするのではなく、自分なりの考えや意見を持つことを心がけて受講し、その結果を後述する受講報告に反映させて欲しい。  
講義を欠席した場合、または、やむを得ず遅刻または早退した場合は、講義に出席した場合よりはるかに多くの努力を払って自習をすることが必要である。

#### 成績評価の方法

毎回の授業で提出する受講報告と学期末に行う試験(場合によりレポートや本格的な論文で代替することもある)とを併せ、成績を評価する。

#### 教科書

特定の教科書は使わない。

#### 参考書等

参考書、参考文献は、授業の中で紹介する。

#### その他

原則として、毎回の授業でプリント(講義のレジュメ)を配布する。原則として、毎回の授業で受講報告(小論文など)を提出してもらう。夏期休暇を利用して課題研究を行い、その報告書を提出してもらう。講義形式の授業を主体とするが、課題研究報告を1人1人発表する機会も設ける予定である。

地  
理



科目名	村落地理学	開講	通年	単位	4
配当	地文234選必・環境234選				
担当者名	たかはし けんたろう 高橋 健太郎				

#### 講義のねらい

日本と中国の村落を比較しながら、村落の形態・構造・機能、および農業や村落地域活性化に関する行政や住民の取り組みについて理解を深める。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

まず村落のとらえ方、村落の立地と変容について説明し、次に日本の村落の事例として、中山間地域、沿岸地域、都市近郊地域などを取り上げ、それらの地域の特徴と行政や住民の取り組みを紹介する。グリーンツーリズムについても説明する。

中国の村落については、改革開放政策と農村の変容、地域間格差、貧困問題、環境問題などのテーマについて解説する。

#### 履修上の留意点

講義内容についての理解の程度を把握するため、頻繁に教場にてレポートを作成し提出してもらう。

#### 成績評価の方法

教場レポートの内容（30%）と定期試験の結果（70%）で採点する。

#### 教科書

使用しない。授業時にプリントを配布する。

#### 参考書等

主な参考書は次のとおり（授業スケジュール順に掲載）。その他については、授業中に随時紹介する。

農林水産省編『食料・農業・農村白書』（各年度版）、農林統計協会。

山本正三ほか『日本の農村空間』、古今書院。

宮崎 猛編『グリーンツーリズムと日本の農村』、農林統計協会。

中島峰広『日本の棚田』、古今書院。

高橋 誠『近郊農村の地域社会変動』、古今書院。

河原昌一郎『詳解中国の農業と農村』、農山漁村文化協会。

張 玉林『転換期の中国国家と農民』、農林統計協会。

王 文亮『中国農民はなぜ貧しいのか』、光文社。

石田 浩『中国農村の構造変動と「三農問題」』、晃洋書房。

科目名	都市地理学	開講	通年	単位	4
配当	地文234選必・環境234選				
担当者名	橋詰 直道 <small>はしづめ なおみち</small>				

#### 講義のねらい

モノ・ヒト・情報の交換や文化の創造空間として変化しつづけている現代都市のシステムやその機能及び都市の抱える諸問題をさぐる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

年間の講義内容は、次の項目を予定している。(1)(2)都市の概念(都市とは・都市研究とは)、(3)(4)都市システム(中心地理論・日本の都市システム)、(5)(6)都市機能の分類(アメリカと日本での研究)、(7)(8)都市の内部構造(都心の機能・都心の構造)、(9)(10)都市化と大都市圏(郊外化・スプロール)、(11)(12)都市の居住空間(居住地移動・都心の再開発)、(13)(14)郊外の居住空間(郊外住宅地・郊外の生活)、(15)(16)都市と高齢化(団塊世代・少子高齢化社会と女性)、(17)(18)都市の環境(生活環境と犯罪)、(19)(20)都市住民の行動(生活時間と生活行動)、(21)~(22)都市空間の認知(メンタルマップ・居住地選好)、(24)(25)都市環境の整備(都市計画・田園都市)、(26)まとめ(テスト)

これらの項目について最近の都市地理学と関連分野の研究成果を中心に講義する。

#### 履修上の留意点

毎時間の出席や授業への参加状況も重視する。

#### 成績評価の方法

中間試験(7月最終授業日)及び学年末試験の両方を受験し、かつ授業への出席日数と試験(課題を含む)の成績が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

#### 教科書

特に定めない。

#### 参考書等

高橋伸夫・菅野峰明・村山祐司・伊藤 悟『新しい都市地理学』(東洋書林) 2,500円  
石水照雄編『都市空間のシステム』(古今書院) 3,605円  
森川 洋『日本の都市化と都市システム』(大明堂) 3,800円  
荒井良雄・川口太郎・岡本耕平・神谷浩夫訳『生活の空間都市の時間』(古今書院) 3,000円  
荒井良雄・岡本耕平・神谷浩夫・川口太郎『生活の空間と時間』(古今書院) 3,090円  
若林芳樹・神谷浩夫ほか編著『シングル女性の都市空間』(大明堂) 2,800円  
その他の参考書や論文は授業でテーマごとに紹介する。

#### その他

講義は、配布プリント及びOHP、PC画像を中心に行い、課題や小テストも実施したい。

科目名	交通地理学	開講	通年	単位	4
配当	地文234選必・環境234選				
担当者名	つちたに としはる 土谷 敏治				

### 講義のねらい

現代社会において、1地域は人・物資・情報をはじめとする各種の相互作用によって他の地域と密接に結びついており、相互に依存し合っているといえよう。本講義では、(1)前期は、これらの地域間の結びつきを反映する都市システム構造と、これらの結びつきから都市システム構造を分析する方法を解説すること、(2)後期は、現在の交通システムの特色とその問題点を明らかにし、今後の交通政策に求められることを考えること、の2点をねらいとしている。

### 講義の内容・授業スケジュール

前期はこれまでの交通地理学の研究成果を中心に、後期は具体的な事例を中心に次のような内容を予定しているが、講義担当者も少しは勉強していきたいと考えているので、その成果によっては多少の変更が生じるかもしれない。

#### 前期

1. 交通と都市システム
2. 交通ネットワーク
3. 交通とアクセシビリティ

#### 後期

4. 都市圏内部における公共交通の現状と課題
5. 鉄道交通の現状と問題点

### 履修上の留意点

多少の数字・数式等を用いて講義を進めるので、了解しておくこと。ただし、その内容は中学校程度のものであり、数学の専門的知識はとくに必要としない。

### 成績評価の方法

前期最終回(7月)の中間試験と、1月の定期試験時の2回の試験を実施する。2回の試験は、それぞれ100点満点で採点し、その合計点で成績を評価する。

### 教科書

とくに指定しない。

### 参考書等

奥野隆史『交通と地域』(大明堂)  
 奥野隆史『計量地理学の基礎』(大明堂)  
 西村幸格・服部重敬『都市と路面公共交通 欧米にみる交通政策と施設』(学芸出版社)  
 今城光英編著『鉄道改革の国際比較』(日本経済評論社)

### その他

後期は、具体的な事例を示すため、スライド・ビデオを使用する。

科目名	文化地理学	開講	通年	単位	4
配当	地文234選必・環境234選				
担当者名	小田 <sup>おだ まさかず</sup> 匡保				

講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要
2. 宗教地理学
3. 宗教分布
4. 信仰圏
5. 宗教集落・宗教都市
6. 巡礼・社寺参詣
7. 墓地
8. 村落の宗教組織

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、夏休みレポート、試験（前期・後期の2回、持込不可）によって行なうが、試験の点数が基本である。ただし、半分以上の出席と夏休みレポートの提出を必須条件とする。試験の点数が低い時はもちろんだが、出席回数が足りない場合、レポートが受理されない場合も、単位は認定されない。

教科書

使用しない。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	文化生態学	開講	通年	単位	4
配当	地文234選必・環境234選				
担当者名	なかまた ひとし 中俣 均				

#### 講義のねらい

いわゆる「伝統的」な文化地理学の一分野として「文化生態学」を位置づけ、その内実を説明する。特に日本の文化地理学における主流派としての文化生態学という側面を強調したい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期には、いわゆる古典的文化地理学の主要概念であるパークレイ学派の「文化景観」について、その発生から展開までを講義する。このことが、実質的な文化生態学についての入門的講義になろう。後期には、そうした文化景観概念が近年迫られてきている変革について、景観概念の変遷という視点から説明する。

#### 履修上の留意点

教室内での私語は厳に慎まれない。

#### 成績評価の方法

前期・後期とも、レポートの提出を求め、それによって成績を評価する。なお、レポートは提出期限厳守で、いかなる例外も認められないので、授業中になされる指示および掲示等によく注意していること。今のところの予定では、前期レポートは夏休み後、後期レポートは学年末試験期間中に回収する予定。

#### 教科書

講義開始時に詳しく指示する。基本的に決まった教科書の採用は予定していない。(参考書も同様)

#### 参考書等

高橋伸夫他(1995)：『文化地理学入門』（東洋書林）¥2575

#### その他

基本的に講義によって授業を進める。ただし、なるべく教員側からの一方的な情報提供に終わらないような工夫をしたいと考えている。

科目名	歴史地理学	開講	通年	単位	4
担当	地文234選必・環境234選				
担当者名	小田 匡保 <small>おだ まさひろ</small>				

#### 講義のねらい

主に日本の歴史地理について講じる。歴史時代の村落・都市について概観し、最後に近代以降の歴史地理学の資料と歴史的景観の保存について述べる。歴史地理学の範囲は非常に広いので、「浅く広く」を基本に授業を進める。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 歴史地理学とその概要
  2. 歴史時代の村落（先史から近代まで）
  3. 歴史時代の都市（主に古代）
  4. 歴史地理学の資料
  5. 歴史的景観の保存
- \*受講生が少ない場合は、後期に大学周辺のミニ巡検を1回行ないたい。

#### 履修上の留意点

この科目は、地理学科・歴史学科両方の専門科目であるが、教員は地理学の間人であるので、地理学的内容が中心になる。しかし、地理学科の学生も、ある程度の日本史の知識を持っていることが望まれる（覚えることが多い）。歴史が苦手な人には向いていない科目である。ただし、古文書が読める必要はない。

#### 成績評価の方法

成績評価は、出席状況、夏休みレポート、試験（前期・後期の2回、持込不可）によって行なうが、試験の点数が基本である。ただし、半分以上の出席と夏休みレポートの提出を必須条件とする。試験の点数が低い時はもちろんだが、出席回数が足りない場合、レポートが受理されない場合も、単位は認定されない。

#### 教科書

使用しない。

#### 参考書等

授業中に指示する。

科目名	リモートセンシング	開講	通年	単位	4
配当	環境234選必・地文234選				
担当者名	なかやま だいち 中山 大地				

講義のねらい

リモートセンシングという言葉聞いたことがあるだろうか。教義のリモートセンシングとは、地球を周回する人工衛星から地表の写真を撮り、それを分析することにより地球環境をモニタリングする技術の総称である。本科目では、地理学に必要なリモートセンシングの基本的な知識を習得し、さらに実際に分析を行うことで、リモートセンシングのおもしろさ、有用性を実感してもらうことをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

1. リモートセンシングの基礎
2. 電磁波と大気の影響
3. 地球観測衛星について
4. 電磁波の波長と物質の特徴
5. 地形解析とDEM
6. 実習

履修上の留意点

地図の読図・図上作業およびコンピュータによるデータ処理が好きな学生に向いている。積み上げが大切な科目なので、一度欠席するとその後の理解に大きな影響が出ることを覚悟すること。

成績評価の方法

前期・後期各1回のレポートおよび前期・後期各1回の試験で成績を決定する。授業は出席することが前提のため、出席率が7割を以下の学生には成績をつけない。また、一回でもレポートを提出しなかった学生も成績をつけない。

教科書

山口靖監修：「はじめてのリモートセンシング 地球観測衛星ASTERで見る」、古今書院、2004年、167p.、3810円（税別）。

参考書等

適宜指定する。

その他

授業はPC教場での実習を中心に行う。

地  
理

科目名	環境地理学	開講	通年	単位	4
配当	環境234選必・地文234選				
担当者名	はやふね けんぽう 早船 元峰				

講義のねらい

自然の人間への影響、人間の自然へのはたらきかけについて、土地利用・災害などを通じ歴史的観点をふまえて論じる。

講義の内容・授業スケジュール

前半

・北海道美瑛町・富良野市の傾斜地（観光資源“丘”）における土地利用の変化と環境保全（土壌侵食防止など）について。

後半

- ・多摩川上流域の山腹斜面における日本古来の伝統農法と環境保全について。
- ・ピオトープ・環境基本計画について。

成績評価の方法

課題（主題図の作成）・レポート・出席状況などによる平常点。

科目名	計量地理学	開講	通年	単位	4
配当	環境234選必 地文234選必(19年度以降入学生)・地文234選(18年度以前入学生)				
担当者名	つちたに としはる 土谷 敏治				

#### 講義のねらい

地理学の分析に必要な統計的方法・計量的方法を理解するとともに、それらの方法を用いて実際にデータを処理・分析し、さらにその結果を解釈する能力を養うことを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、下記の各項目について解説する。

1. 統計データの種類と特色
2. 統計データの集計
3. 基礎統計量
4. 代表的な度数分布の型
5. t検定
6. 分散分析
7.  $\chi^2$ 乗検定
8. 相関・回帰分析
9. 重回帰分析
10. 主成分分析・因子分析
11. クラスタ分析

後期は、前期に学習した分析方法について、実際にデータを処理・分析・考察することによって、それぞれの方法の理解を深める。そのため、提示されたデータや受講者各自が収集したデータを分析・考察して、結果をレポートとして提出する。なお、計量的分析にはコンピュータの使用が必要であり、総合情報センターと地理学科のコンピュータを使用する。

#### 履修上の留意点

この授業は実習的側面ももっているため、毎回の出席と、後期においては課題の提出が重要である。なお、コンピュータを使った分析では、Microsoft Excelをおもに使用するため、これを使いこなせることが履修の条件である。とくに、配列関数の使用、データの抽出、グラフ作成などができる必要がある。これらを使いこなせない学生は、前期において「計量地理学実習」をあわせて履修すること。また、総合情報センターを使用するため、その利用者登録を行う必要がある。

#### 成績評価の方法

前期：7月の最終回に試験を実施する。

後期：試験は行わず、提出されたレポートを得点化する。

成績評価は、前期試験の得点、後期のレポートの評価点に出席率を加味して行う。

#### 教科書

とくに指定しない。

#### 参考書等

奥野隆史『計量地理学の基礎』(大明堂)

野上道男・杉浦芳夫『パソコンによる数理地理学演習』(古今書院)

#### その他

教場の関係で受講生を制限することもあるので、4月第1回目の授業に必ず出席すること。



科目名	応用地理学	開講	通年	単位	4
配当	環境234選必・地文234選				
担当者名	たかぎ まさひろ 高木 正博				

#### 講義のねらい

この科目は地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマを考えている。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水理学などの成果をふまえて、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体を捉えることが必要である。流域（地域）における自然的特性とその土地の人々とのかかわりあい、水災害・水資源・河川環境などの視点から講ずる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学的に講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利水・災害・河川環境などの視点からそれぞれの河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題についても考える。年間の授業内容は下記の通り予定している。

1. 「川」を考える関連学問分野 2. 河川流域の水収支 3. 日本の河川流況特性 4. 河成平野の地形分類と防災 5. 水害 6. 治水と水防 7. フランスの河川と洪水 8. 日本の水利用 9. 農業用水を考える 10. 地域用水と環境用水 11. 河川環境など

#### 履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

#### 成績評価の方法

試験は、年末（授業最終日）に実施予定の教場試験1回。その他、夏休みのレポート、授業中の課題など、平常点も加算する。

#### 教科書

授業時間にプリントを配布する。

#### 参考書等

配布プリントをとおして随時紹介する。

#### その他

講義中心。事例紹介のための写真映像やDVDも使用する。

科目名	地域計画論	開講	通年	単位	4
配当	環境234選必・地文234選				
担当者名	原 昭夫				

#### 講義のねらい

地域とは、立地・規模・歴史・自然・生産形態などにより多様な姿を持ち多種の課題を表出している。そうした地域を見る眼を養う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1) 前期：i) 4～5月／地域を知る：地域や都市の姿、成り立ち、現況、動態等を把握する。  
ii) 6～7月／課題を発見する：地域や都市がどのような課題を抱えているか発見し考察する。
- 2) 後期：i) 9～10月／課題を考える：それらの課題がどのような原因を持つかを考える。  
ii) 11～12月／地域を計画する：地域の課題を解決する方策を考え、将来像を描き提案する。

#### 履修上の留意点

現代日本および世界の地域や都市全般の動向について幅広い関心を持ち、そこでの課題や困難の改善や克服について強い意欲を有し、その解決案を「計画」として提示できること。

#### 成績評価の方法

出席（授業への積極性の評価）およびレポート（年数回、折々の社会や環境についての自己の意見・論評・提案等の独自性の評価）。

#### 教科書

原昭夫著『自治体まちづくり』（学芸出版社）2,800円＋税

#### 参考書等

『都市計画』（共立出版）3,800円＋税  
『都市計画論』（NHK出版）2,400円＋税  
その他授業の都度に提示する。

#### その他

講義形式を基本とし、テーマによってはスライドも使用。聴講人数によっては共同作業型演習（「地域計画作成ワークショップ」）なども考えたい。（前年度は実施した。）

科目名	地理情報論	開講	通年	単位	4
配当	環境234選必・地文234選				
担当者名	むらやま ゆうじ 村山 祐司				

#### 講義のねらい

地理情報の収集と空間解析の方法について説明するとともに、近年注目を集める地理情報システムGISについて概説する。

GISは、地図（地域）情報と属性（主題）情報を一元的に取り扱う。多様な情報源から大量の空間的データを取り込み、地図情報を主体としたデータベースを作成する。それを効率的に蓄積・検索・変換・解析して、地図出力やレポート作成などを行い、ユーザの意思決定を支援する。

GISは、国土、県域、都市などの計画管理・行政支援、ビジネスをはじめ、多くの分野で活用され始めている。極めて将来性に富んだ分野である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 地理情報の収集方法（文献） 2. 地理情報の収集方法（統計データ） 3. 地域分析に有用な統計パッケージ 4. 地理情報と空間分析 5. 多変量解析 6. 地理情報システムGISとは 7. GISのハードウェア 8. GISの発展史 9. GISのデータ構造 10. アナログ地図とデジタル地図 11. ラスターデータとベクターデータ 12. 社会モニタリング 13. GISの空間解析機能（オーバーレイ・バッファリング） 14. GISの空間解析機能（ネットワーク分析・テッサレーション） 15. GISの社会的応用（環境問題・防災） 16. GISの社会的応用（行政・民間） 17. インターネットによるGIS・地理情報の入手 18. インターネットGIS 19. GISの将来 20. 地理学とGIS（まとめ）

#### 成績評価の方法

期末テストの結果に出席回数を加味して行う。

#### 教科書

村山祐司編『地理情報システム』（朝倉書店）2,800円 2005年

#### その他

- 1) 駒澤大学「総合情報センター」において、GISのデモを行う。
- 2) GIS関連の企業・行政機関を訪問し、地理情報システムの使い方に関して実地見学を行う。

科目名	地域文化調査法（現地調査含む）B	開講	通年	単位	4
配当	地文3選必				
担当者名	土谷 敏治 <small>つちたに としはる</small>				

### 講義のねらい

地理学の調査・研究においては、もちろん現地調査は最も重要なものの1つである。しかし、事前に関連する文献をよく読んだ上で、まず調査・研究の手順を学んでおく必要がある。それを踏まえて、調査の目的・調査地域・調査スケジュールの設定を行うとともに、統計資料等を用いて調査地域の特色を把握する。現地調査後は、収集資料を整理・分析し、調査結果をまとめる必要がある。このような視点から、本授業では都市の問題を主要テーマとして、まず文献検索・文献研究を行い、調査・研究の方法を学ぶとともに、現地調査の準備段階から現地調査後の最終的な報告書作成までの総合的能力を身につけることを目的とする。

### 講義の内容・授業スケジュール

下記のようなスケジュールに沿って授業を行う。

- ①現地調査で取り上げようとするテーマに関連する論文を読み、その内容をまとめて発表する
- ②各種統計資料などによって、調査地域の特色について分析を行いレポートにまとめる。
- ③各自の調査目的、調査地域を決定する。なお、複数人で共同研究してもよい。
- ④現地での調査内容や調査スケジュールを決定する。
- ⑤現地調査。
- ⑥調査結果の整理・分析、図表化を行う。
- ⑦調査結果をレポートとしてまとめる。
- ⑧調査結果を発表し、全員で討論する。
- ⑨各自のレポートをまとめて、報告書を作成する。

調査対象地域：富山市、高知市、鹿児島市のうちの1都市を選択する予定であるが、これ以外の都市も含めて、受講者の希望を聞きながら決定する。

現地調査日程：10月の中旬を予定している。

### 履修上の留意点

現地調査はもちろんであるが、その前提となる論文研究や事前の計画・準備、調査後の資料整理や分析が重要である。とくに、毎回の出席は不可欠であり、出席率が8割を下回った場合は、単位を認定しないことがあり得る。また、積極的な討論への参加、事前・事後の発表、レポートの提出、報告書作成作業への参加も必要である。

### 成績評価の方法

文献のまとめ方、事前調査のレポート、現地調査状況、調査結果の整理・分析と口頭発表の内容、討論・報告書作成作業への参加状況、授業への出席を総合して評価する。

### 教科書

とくに指定しない。

### その他

事前の準備、現地調査では、1人、あるいは3・4人からなるグループに分かれて、それぞれの担当内容を決めて行う。

科目名	地域文化調査法（現地調査含む）C	開講	通年	単位	4
担当	地文3選必				
担当者名	はしづめ なれみち 橋詰 直道				

講義のねらい

講義で得た知識を実際に現地調査で確認すると同時に、特定のテーマに沿った地域調査の方法を学び、その成果を報告書としてまとめる。  
 今年度の調査テーマ：「地方都市の機能と自立」  
 今年度の現地調査予定地：4月の振り分け時に発表する。  
 現地集合・現地解散（公共交通機関を利用）  
 現地調査期間：7月上旬（3泊4日または4泊5日）の予定

講義の内容・  
授業スケジュール

「地方都市の機能と自立」というテーマで調査する。現地では、都市の構造と機能、都市計画、都市の生活行動、都市の生活環境などの調査を中心に行い、地方都市の特徴や現在抱える諸問題に関する調査方法を学ぶ。  
 調査法の授業は、テーマに沿った事前の文献調査・現地調査・調査結果のまとめ作業からなる。現地調査では、詳細な課題テーマごとに班別調査を実施する。毎日班別の調査報告とミーティング、レポート作成が必要となる。  
 スケジュールは4～6月が事前調査（文献レビュー発表、事前学習及び現地調査用資料の作成）、7月上旬が現地調査、7月第2または3週が現地調査の個人報告書提出と調査結果の班別発表会、9～12月は現地調査結果の班別集約作業並びに現地調査報告書の作成とその印刷製本作業となる。

履修上の留意点

現地調査への参加はもちろん、4～12月の地域文化調査法の授業（報告書作成）へも積極的に取り組む学生に限る。

成績評価の方法

毎時間の授業への出席状況（2/3以上）、文献レビュー発表、現地調査レポート、現地調査の個人報告書、最終報告書作成への取り組み、授業及び現地調査での参加姿勢を総合的に評価する。

地  
理

科目名	地域文化調査法（現地調査含む）D	開講	通年	単位	4
担当	地文3選必				
担当者名	さくらい あきひさ 桜井 明久				

講義のねらい

地域調査の方法、ないしは人文地理学の調査方法について実践を通じて学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

調査地域は未定であるが、前期は、その調査方法の概略を学ぶとともに、この調査地域についての人文的、社会的テーマについて、各人ないしは各グループで具体的にテーマを決め、討論を通じて、そのための調査の設計を行う。後期は、ある地域（未定）で現地調査を行い、その結果を報告書にまとめる。

履修上の留意点

実習・演習型の授業であり、グループでの活動が多くなるので、欠席は厳しく扱う。

成績評価の方法

出席、討論への参加の状況、作成された報告書を総合して評価する。

教科書

正井泰夫・小池一之編（1994）『卒論作成マニュアル』古今書院。

参考書等

必要なものについては適宜授業の中で指示する。

科目名	地域文化調査法（現地調査含む）E	開講	通年	単位	4
配当	地文3選必				
担当者名	おだ まさかず 小田 匡保				

講義のねらい

1. 人文地理の諸テーマについて地域調査の経験をする。
2. 収集した資料を、体裁の整ったレポートにまとめる練習をする。

講義の内容・  
授業スケジュール

現地調査に出かける前に、文献・統計などの資料を収集・分析し、事前レポートにまとめる。現地では、聞き取り調査・観察調査を中心に行なう。その後、集まった資料を分析・整理し、最終的な報告書をまとめる。

履修上の留意点

体裁・内容の不十分な報告書原稿は、現地の方に送って見ていただいても恥ずかしくないよう、何度でも修正してもらう。修正する教員にとっても大変な作業であり、受講生も頑張ってもらいたい。

成績評価の方法

成績評価は、授業の出席状況、現地での調査態度、提出されたレポート・報告書原稿の内容などを総合して判断する。

教科書

使用しない。

参考書等

授業中に指示する。

その他

調査地は熊本県、現地調査の期日は9月下旬または10月上旬を考えている。詳細は4月のオリエンテーション時に発表する。

科目名	地域環境調査法（現地調査含む）A	開講	通年	単位	4
配当	環境3選必				
担当者名	たかぎ まさひろ 高木 正博				

#### 講義のねらい

地理学の基本とも言える「地域」の捉え方を、現地調査を含めて1年間にわたり学ぶことである。とくに、それぞれの地域に固有な水と人々のかかわりを、現地での測水調査や水利用などの調査をとおして明らかにしたい。現地調査を重視する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

現地調査の準備段階として文献調査、資料収集、地形図・空中写真などによる地域概要の把握を行い調査マニュアル（資料集）を作成する。現地調査は班別行動を原則とし、各班毎のテーマに沿って、各種の実測調査、聞き取り調査や資料収集などを実施する。現地では効率的かつ精度の高い調査が要求される。調査期間中は毎日の成果を報告し、レポートを作成する。調査終了後は、各自の成果をまとめた個人レポートを提出すると共に、各班毎に行った調査結果を整理・分析・考察して発表し、最後に報告書を作成する。

#### 履修上の留意点

調査テーマは個人の希望を尊重するが、場合によってはこちらで指示することもある。現地では班別行動をとるので、同様なテーマを持つ人同士で班を構成してもらう。  
資料集および報告書は、ワープロの使用を義務づける。

#### 成績評価の方法

課題レポートの内容を主な評価基準とするが、授業への出席状況や現地での調査行動、報告書作成への取り組みなどを総合的に評価する。

#### 教科書

特になし。

#### 参考書等

参考書は適宜指示する。

#### その他

調査地域は岐阜県郡上市八幡町を予定している。当地域は住民が日常生活に河川・用水を巧みに利用している日本でも数少ない町である。水利用の様々な形態に注目し、都市では失われた慣行的な水利用の実態を明らかにし、地域用水の役割を考える。また、河川・湧水の水質特性も調査したい。内容の詳細については、ガイダンスの際に発表する。

科目名	地域環境調査法（現地調査含む）C	開講	通年	単位	4
配当	環境3選必				
担当者名	平井 幸弘 <small>ひらい ゆきひろ</small>				

#### 講義のねらい

地理学の研究でとくに環境問題に関するテーマを掲げる場合、まずは現場を訪ねることが必要不可欠である。その場合、具体的なテーマの設定、事前の学習、現地での調査や資料の収集、テーマに関する課題の分析と考察、レポートのまとめなど、しかるべき調査方法を習得しておくことが重要である。本授業では、夏期休暇中に数日間の現地調査を実施するが、前期はその準備を、後期は取りまとめを中心に、上記の各点について学ぶ。

#### 講義の内容・授業スケジュール

（前期）野外調査の基本的な方法論、調査地域の概観、基礎的な文献・資料の収集と地図作業  
（夏期休暇中）現地調査：日本国内の海跡湖（ラグーン：サロマ湖、ウトナイトウ、小川原湖、浜名湖、中海など）のうち1ヵ所を取り上げ、その周辺地域で、湖をめぐる開発や環境問題について現地調査を行う。具体的な日程と調査地域はガイダンス時に明示する。  
（後期）現地調査にもとづくテーマに関する課題の分析と考察、レポートのまとめ

#### 履修上の留意点

自らのテーマを見出し、積極的に現地調査に参加することが望まれる。

#### 成績評価の方法

授業・現地調査への出席および1年を通して各自のテーマへの取り組み状況を総合して成績評価する。

#### 教科書

教科書は指定しない。

#### 参考書等

平井幸弘（1995）『湖の環境学』古今書院 など、適宜紹介する



科目名	地域環境調査法（現地調査含む）E	開講	通年	単位	4
配当	環境3選必				
担当者名	ながのま のぶお 長沼 信夫				

講義のねらい

一つの地域を題材に、地理学の調査方法の修得、および現地調査で得られた資料を基に、その地域的特色の一端を把握・検討することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

この科目では現地調査を中心に行う。  
 前期 4月～6月事前調査 資料収集、図上作業、調査テーマの決定など  
 6月下旬現地調査 次の要領で実施する予定  
 主要テーマ：夕張炭鉱閉山後における地域の変貌  
 地域：北海道夕張市とその周辺地域  
 期間：平成19年6月25日（月）～6月29日（金） 《4泊5日》  
 7月調査資料などの整理  
 後期 9月～10月資料整理の作業、第1次のレポート作成、中間報告会、  
 11月調査報告書（第2次）の作成（完成原稿）、  
 12月報告書印刷→完成、報告会

履修上の留意点

特に出席を重視するので、遅刻・欠席をしないよう望む。  
 調査地域が遠方のため、交通費は多額となるので留意すること。

成績評価の方法

出席回数、口頭発表、レポートの提出、報告書作成に参加するなどによって、総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

必要な文献・資料・地形図などは現地調査前の準備段階で指示する。

その他

各自の調査テーマや内容は、学生諸君の自主性に委ねる。

地  
理

科目名	地域文化演習 C	開講	通年	単位	4
配当	地文3選必				
担当者名	さとう てつお 佐藤 哲夫				

講義のねらい

この授業では、地域を研究する方法について、文献講読を通して学ぶ。良質の文献を読むことで、論文を書く力が養われると考える。

講義の内容・授業スケジュール

街並みと建築物や建築環境、またそれらが地域の再生とどのように結びつくかという議論、等々に関連する文献を参加者が分担して読んでその要旨を報告し、相互に理解を深める。とりあげる文献は地理学に限定せず、建築学や都市計画、観光学など、広い分野にわたる。学際的なアプローチをとるので、地理学のオーソドックスな手法を学びたいという人には向かない。自ら文献を読み、自分なりの研究方法を展開しようという意欲のある人を対象にする。

履修上の留意点

文献リスト等の詳細は調査法・演習の振り分けの際に説明しますので、必ず出席すること。

成績評価の方法

出席状況、発表内容などで総合的に評価する。

参考書等

必要な資料は配布する。

科目名	地域文化演習 D	開講	通年	単位	4
担当	地文 3 選必				
担当者名	すやま さとし 須山 聡				

講義のねらい	地域調査の方法を体得する。
講義の内容・ 授業スケジュール	受講者の関心にしたがって対象地域を選定し、その地域の特徴を理解するための調査研究方法を立案する。それによって実際の調査を行い、報告書を作成する。近年の調査対象地域は島嶼地域が多く選択されている。必要な場合は現地調査も実施する。
履修上の留意点	本授業には、受講者の意欲や体力など、通常の講義科目では要求されない諸要素が必要とされる。
成績評価の方法	授業への貢献度と報告書の水準によって判定する。

科目名	地域環境演習 C	開講	通年	単位	4
担当	環境 3 選必				
担当者名	えぐち たかし 江口 卓				

講義のねらい	気候現象についての理解を深めるとともに、気候現象を対象に研究を行う際の研究方法の基本的な流れを理解することを目標とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	前期は、各自、気候に関する文献のレビューを行う。全員が、テーマに沿って論文を読み、発表を行い、課題をまとめる。後期は、関東近辺において調査を行うとともに、調査地域の気候データ解析をおこない、その結果を報告書にまとめる。
履修上の留意点	毎回出席し、レポートの提出期限は厳守すること
成績評価の方法	レポートおよび出席状況を総合して評価する。

地  
理

科目名	地域環境演習 D	開講	通年	単位	4
配当	環境 3 選必				
担当者名	はやふね けんぽう 早船 元峰				

講義のねらい

自然が破壊された主に都市部における自然環境の復元の技術を、ビオトープの創出や雑木林の手入れなどの実体験を通して学ぶ。さらに、地理写真撮影の技法を室内外において修得する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半：各人興味のある分野に関する論文を読み、その内容を要約して発表し、所感を述べる。

履修上の留意点

班別もあるので、欠席なきよう努めること。

成績評価の方法

出席状況・発表・レジメなどで評価する。

そ の 他

基本を学ぶため、35mm カメラではライカ、中判カメラではハッセル、ビューカメラではリンホフなど手動操作の旧タイプを主に使用する。

科目名	地理学演習	開講	通年	単位	4
配当	地文 4 必 環境 4 必				
担当者名	えぐち たかし 江口 卓				

講義のねらい

地理学における論文の作成の流れを、卒業論文の作成を通して理解することを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、各自の卒業論文の方針発表、関連文献の発表、調査の中間報告を行う。  
後期は、各自、卒業論文の報告を中心に進める。

成績評価の方法

出席を含む平常点で評価する。

地  
理

科目名	地理学演習	開講	通年	単位	4
配当	地文4必 環境4必				
担当者名	おだ まさやす 小田 匡保				

#### 講義のねらい

1. 卒業論文の作成を通じて、論文・レポートがきちんと書けるようになる。
2. 人前でわかりやすく発表できる。
3. 他の人の発表・報告に対して、質問したり、自分の意見を言えるようになる。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

前期：従来の研究例を参考に、自分の卒論の構想について発表する（2回）。  
後期：現地調査・データ整理の結果をふまえた発表を行なう（2回）。  
1月：卒論発表会。

#### 履修上の留意点

発表の後には、受講者の中で互いにディスカッションをする。素朴な質問でよいから、受講者全員がディスカッションに参加することを期待する。もちろん、担当教員もできる範囲で助言する。就職活動・教育実習などで忙しいだろうが、できるだけ出席して他の人の発表を聞き、討論に参加すること。  
4月最初の授業は、発表スケジュールを決定するので、必ず出席すること。

#### 成績評価の方法

成績評価は、出席状況と発表・討論内容によって行なう。  
卒業論文の評価とは別である。

#### 教科書

使用しない。

#### 参考書等

授業中に指示する。

科目名	地理学演習	開講	通年	単位	4
配当	地文4必 環境4必				
担当者名	さくらい あきひさ 桜井 明久				

地  
理

#### 講義のねらい

ある地域の事象ないしはある地域の人文地理学的課題について、討論を通じて、その調査方法を考え、資料を集め卒業論文として完成させる。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

前期については課題を解くための方法、調査法を中心に考える。後期については、収集した資料から説明すること、もしくはその説明のための統計資料の加工や表現方法について考えたい。

#### 履修上の留意点

自分の卒論研究について考えるのは当然であるが、仲間の研究の討論に積極的に参加することが重要である。そのことによって自分の研究の仕方にも刺激が得られるであろう。

#### 成績評価の方法

ゼミへの参加の状況と討論への参加の状況、並びに各自の研究への取り組みを総合的に評価する。

科目名	地理学演習	開講	通年	単位	4
配当	地文4必 環境4必				
担当者名	佐藤 哲夫 <small>さとう てつお</small>				

講義のねらい

この演習では卒業論文を作成するための調査の方法、資料の収集整理の方法、報告の発表方法などについて学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

4月の第1回の授業までに研究対象を決定する。国内の地域を研究する場合は、調査地域をカバーする地形図や住宅地図などを直ちに入手し、現地を踏査して概況の把握をしてもらう。海外の地域を研究する場合は、関連文献を徹底的にリストアップし、その所在を確認する。

その後は、おおむね次のようなステップに従って研究を進める。

- ・研究対象を決定し、その概況を把握して研究テーマの方向付けを行う。(5月)
- ・文献リストを作成し、重要な文献を読んで研究の目的・方法を限定する。(6月)
- ・仮説(あるいは暫定的な解釈)を設定する。(7月)
- ・現地調査または資料調査により、仮説の検証に必要なデータを収集する。(8月)
- ・収集した情報を整理し、章立てによって論文の構成を組み立てる。(9月)
- ・論文の構成を修正しつつ、執筆を進める。(10・11月)

履修上の留意点

緊密なコンタクトをとって相談を重ねることが重要である。Eメールを通じた指導も可能なので、積極的に利用してほしい。報告・相談する場合には、必ず報告メモを作成してこること。文章にすることで頭の中を整理できる。

成績評価の方法

参加の積極性で評価する。

科目名	地理学演習	開講	通年	単位	4
配当	地文4必 環境4必				
担当者名	須山 聡 <small>すやま さとし</small>				

地  
理

講義のねらい

卒業論文の作成を指導する。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回1人ずつ進捗状況を発表する。前期はテーマの決定、対象地域・方法・調査計画の立案、予備調査の実施までに到達することを目標とする。テーマは各自の構想を提示してもらい、参加者全員の討論により緻密な内容に仕上げる。もちろんこれらの作業が早く進行すれば、前期中に現地調査やデータの分析にとりかかることも可能である。フィールドワーク主体のテーマを設定した者は、夏休みが勝負となる。後期は収集したデータの分析・整理を前期に立てた予定にしたがって遂行する。その経過は逐次発表し、参加者全員からの意見やサジェスチョンを盛り込み、内容を高度化させる。執筆段階においては、原稿のチェックを随時行う。

履修上の留意点

多くの参加者にとって卒論は学校教育の締めくくりとなるものであろう。これ以上「勉強」することはないのであるから、これまで得てきた能力のすべてを傾注されることを望む。就職活動などで4年生は多忙であろうが、中途半端な「やっつけ仕事」として卒論を捉えられることをもっとも危惧する。最初の授業までに卒業論文の構想を立案しておくことを希望する。

成績評価の方法

演習であるので、発表内容はもちろんのこと、質疑参加の状況も評価の対象となる。

教科書

とくに定めず、各自に適切なものを紹介する。

その他

授業時間内で不足な場合、個別指導を行う。

科目名	地理学演習	開講	通年	単位	4
配当	地文4必 環境4必				
担当者名	たかぎ まさひろ 高木 正博				

#### 講義のねらい

卒業論文の作成指導を主体とする。とくに、1. 適切な論文のテーマを設定すること、2. 研究成果の要旨を発表すること、3. 論文作成の具体的な方法を指導することなどである。授業では、文献講読、資料の収集・選択・整理、現地調査や主題図作成を課題として指示する。また、年2回の発表を義務づけ、出席者相互の活発な討論をとおして問題意識を高めてゆく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、各自がこれまでに描いてきた研究構想について発表し、その内容に応じた適切なテーマを考える。現地における調査研究の方法についても検討する。  
後期は、現地調査や文献・資料などから得た結果を整理・考察して発表する。その際、研究上重要と思われる主題図を示す必要がある。これについて、出席者全員で討論しあい内容の充実をはかる。このほか、時期に応じて執筆要領など論文作成上の諸事項についても指導する。

#### 履修上の留意点

テーマに沿った調査・研究は、早期に手掛けることが重要である。  
受講者は、日頃から積極的に発表・討論に加わってほしい。自分に関係ないと思われるテーマでも、議論してゆくと参考になる事柄があるので無関心ではいられないはずである。場合によっては調査に協力してもらえらるであろう。授業を欠席する場合は、必ず事前に連絡すること。

#### 成績評価の方法

課題の提出状況、口頭発表や討論への参加状況など、平常点で評価する。

#### 参考書等

適宜紹介する。

#### その他

基本的には教場を使用するが、少人数の時や文献調査が必要な時は教員研究室も使用する。

地  
理

科目名	地理学演習	開講	通年	単位	4
配当	地文4必 環境4必				
担当者名	たかはし けんたろう 高橋 健太郎				

#### 講義のねらい

卒業論文の作成を進めながら、フィールドワークや文章執筆の方法を習得し、加えて地域社会を理解する力を身につける。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期：研究論文の精読と報告、研究テーマの設定、研究計画の立案、調査地域の設定、文献資料の収集と検討、フィールドワーク。  
後期：フィールドワーク、調査結果の整理と分析、地図の作成、論文執筆、研究成果の発表。

#### 履修上の留意点

卒業論文作成についての相談にはできる限り対応するが、卒業論文は最終的には自己責任で完成させるものであるということを、受講生には認識してもらいたい。

#### 成績評価の方法

出席状況、授業中の発表内容、討論への参加状況、卒業論文発表会での発表内容で評価。

#### 参考書等

浮田典良ほか『ジオ・パル21-地理学便利帖-』、海青社。

科目名	地理学演習	開講	通年	単位	4
担当	地文4必 環境4必				
担当者名	つちたに としはる 土谷 敏治				

#### 講義のねらい

3年間に学習した成果をふまえ、各自が卒業論文作成のスケジュールをつくり、そのスケジュールにしたがって、卒業論文の目的設定、研究の意義づけ、研究対象地域の選択、資料収集、現地調査、資料整理、分析、図表化、考察を行い、論文を完成させるための演習・指導を目的とする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

4月：これまでの学習成果と卒業論文の題目・目的について発表する。5・6月：各自の研究の参考となる論文を紹介するとともに、自分の研究の目的と意義、研究対象地域の概要、分析資料・調査方法について発表し、全員で討論する。7月：夏休み中の研究・調査計画について討論する。8月：夏休み中に各自が資料収集、現地調査、データの分析を行い、中間報告をまとめる。9～10月：研究の中間報告を行い、各自の研究の長所や問題点について討論することにより、今後の研究の方向づけをする。11～12月：最終的な分析・研究内容について討論し、卒業論文の完成をめざす。1月：卒業論文の発表会を実施し、討論を通じて全員の研究結果の総括をするとともに、各自が研究成果を自己評価する。

#### 履修上の留意点

授業の開始時に発表担当者のスケジュールを決定し、毎回2～3名が発表を行い、その内容について全員で討論する。発表のための資料は、事前に作成し、申し出れば必要部数を学科で準備することができる。討論の際の司会・進行役も受講生が交代で行う。このため、毎回の出席がとくに重要である。就職試験、教育実習などでどうしても出席が不可能な日については、事前に本授業専用の欠席届によって、申し出ることが必要である。発表担当日がこれらの日程に重なるときは、他の受講者と発表担当日を交替すること。

#### 成績評価の方法

発表内容が最も重要であるが、演習としての授業の性格上、出席率、討論への参加や発言回数とその内容を総合して評価する。出席していても発言がない場合は、出席者として認定しない場合もありうる。また、出席率が7割を下回った場合は、単位の認定をしない。

#### 教科書

とくに指定しない。

#### 参考書等

卒業論文のテーマの選定やスケジュールのたてかた、書式などについては、次の文献が参考となろう。

高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座3 実践と応用』(古今書院)

正井泰夫・小池一之編『卒論作成マニュアル よりよい地理学論文作成のために』(古今書院)

科目名	地理学演習	開講	通年	単位	4
配当	地文4必 環境4必				
担当者名	ながねま のぶお 長沼 信夫				

講義のねらい

卒業論文の作成指導を中心に行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、文献・資料の蒐集・整理、調査・研究の方法、論文の書き方、さらに各自のテーマに関連する文献の紹介などについてゼミ形式で行う。  
後期は、各自のテーマによる調査・研究の成果を踏まえて、主に口頭発表の形式で中間報告および討論を行っていく。

履修上の留意点

最近の卒業年次生諸君は、就職活動のためと称して頻繁に欠席する。最後の年度であるので、極力出席するよう努力してもらいたい。

成績評価の方法

出席回数、文献紹介（口頭）、レポート、卒論中間発表内容などを基に総合的に評価する。

教科書

必要に応じて、文献・資料の紹介やプリントの配布を行う。

参考書等

必要に応じて、文献・資料の紹介やプリントの配布を行う。

その他

この演習では、卒論作成に関する話題提供や討論が中心となるため、自主的に努力することが期待される。また、後期には卒論の中間発表会のための合宿（2泊3日）を予定している。



科目名	地理学演習	開講	通年	単位	4
配当	地文4必 環境4必				
担当者名	はしづめ なおみち 橋詰 直道				

講義のねらい

卒業論文の作成のための具体的指導を中心に行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

4～5月は、卒業論文の研究テーマ、地域の設定、研究方法、研究計画などについて十分検討した上で、文献・資料調査法や現地調査法についての指導を行う。具体的な演習の授業は、提出された年間スケジュールを基に次のように行う。

6～7月は、それまでの文献レビューや事前調査などの成果をもとに中間発表会を個人別実施する。

9～11月は、夏休み中およびその後の調査成果をもとにした中間報告会を行い、議論を積み重ねながら、論文の書き方について具体的に指導する。

論文提出後、内容・構成など卒業論文として不完全なものは書き直しを要求する。

1月には卒論要旨集用の原稿の提出、同要旨集の印刷・製本を行う。1月末（2006年度は1月27日）に卒論発表会を行う。発表では各自パワーポイントを使用する。発表会には次期地理学演習（橋詰ゼミ）履修者の3年生も全員参加してもらう。

履修上の留意点

卒業論文の提出後、1月に卒業論文要旨集の作成と卒業論文発表会も行うので、積極的な研究への取り組み姿勢が重要である。

成績評価の方法

授業（卒論発表会を含む）への取り組み方、出席状況などを総合的に評価する。

参考書等

正井泰夫・小池一之『卒論作成マニュアル』（古今書院）2,060円

その他

事前に『地理学文献目録』（図書館）など地理学データベースを利用した十分な文献（論文）調査が必要である。

地  
理

科目名	地理学演習	開講	通年	単位	4
配当	地文4必 環境4必				
担当者名	はやふね げんぽう 早船 元峰				

講義のねらい

卒業論文の作成および口頭発表の指導を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半は論文の作成・現地調査・文献資料の収集・整理・写真撮影などの方法について講じる。後半は各自テーマにしたがって調査研究した成果の発表（中間発表）や関連した論文の内容の紹介およびコメントをしてもらう。

履修上の留意点

就職活動や教育実習などで多忙であろうが、努めて出席のこと。活発な討論がなされるよう積極的な態度をのぞむ。

成績評価の方法

出席状況・口頭発表・レジュメなどで評価する。

科目名	地理学演習	開講	通年	単位	4
配当	地文4必 環境4必				
担当者名	平井 幸弘 <small>ひらい ゆきひろ</small>				

講義のねらい

自然地理学、とくに地形学およびその関連分野から、各自が自ら興味・関心のあるテーマを発見し、それを調査・分析、さらに考察を加えて、最終的に卒業論文としてまとめるまでの諸段階について、受講生の自主性を重んじつつ、全員参加の発表および討論の場とする。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 1) 各自のテーマの設定、2) 基礎的な文献・資料の収集、3) 基礎的な地図作業・統計分析  
(夏期休暇を中心に) 4) フィールドワーク  
(後期) 5) 現地調査をもとに課題の整理、分析、考察、6) 中間報告と討論、7) 卒業論文の取りまとめ・執筆

履修上の留意点

自主的にかつ着実に取り組むことが重要。約1週間ほどのフィールドワークは必須。

成績評価の方法

演習への出席および1年を通して各自のテーマへの取り組み状況を総合して成績評価する。

教科書

指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	巡検B	開講	半期	単位	1
配当	地文234選(18年度以前入学生) 環境234選(18年度以前入学生)				
担当者名	高橋 健太郎 <small>たかはし けんたろう</small>				

講義のねらい

農山村地域の生活文化や地域社会の特徴、および地域活性化の取り組みへの理解を深め、さらに聞き取りや資料収集の手法の基礎を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

まず、村落地理学関連の研究論文を輪読し、内容を順番に報告してもらう。その後、フィールドワークの準備に入る。  
フィールドワークは、農山村地域を選んで、3-4泊程度で実施する予定である。主に次のような調査テーマが考えられる。山村における農林業の取り組み、グリーンツーリズムと都市・農村交流、UターンやIターンの地域社会への影響、観光開発と地域振興など。選択したテーマにしたがって、各自で調査計画の立案から調査報告レポートの作成までを行う。

履修上の留意点

フィールドワークの詳細は、4月に行われる地理学科の説明会で話す。受講希望者は、この説明会に必ず参加すること。

成績評価の方法

出席状況、授業中の発表内容、討論への参加状況、フィールドワークでの活動状況、調査報告レポートの内容で評価する。

参考書等

浮田典良ほか『ジオ・パル21-地理学便利帖-』, 海青社。

科目名	図学実習	開講	半期	単位	1
配当	環境234選 地文234選				
担当者名	清水 長正 <small>しみず ちやうせい</small>				

#### 講義のねらい

2万5千分1地形図は、環境・文化にかかわらず地理学のいろいろな調査・研究に欠くことはできません。そうした利用者からみて、地形図に表現されている内容についてよく知ることは重要なことです。この実習では、地形図の内容や作製過程などについて『地形図図式』を中心に、利用者として理解を深めてもらうのが目標です。また、近年普及しはじめたデジタルマップの情報やそれを利用した編集作業などを紹介します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

2万5千分1地形図を作製するにあたって、基準となる事項をまとめたものが『地形図図式』です。これは本来、プロの地形図作製者が使用する規程書ですが、ここではそれを詳細に解説します。その間にデジタルマップを利用した簡易な編集作業もやってみましょう。その他、トータルステーションを用いた電子平板測量による地形図作製実習を実施する予定です。

#### 履修上の留意点

地形図の最新情報・地図業界の動向など知りたい学生は履修するといいでしょう。なお、10月下旬ころに開催されるデジタルマップフェアは見学する予定です。

#### 成績評価の方法

図式に関するミニ試験、地図編集作業の成果品の作製などから評価します。

#### 教科書

『平成14年2万5千分1地形図図式』（日本測量協会）

#### 参考書等

利用しやすいデジタルマップや関連ソフトなどは、実習中に紹介します。

#### その他

電子平板実習・見学は受講学生の都合により日時を決めましょう。

科目名	日本地誌	開講	通年	単位	4
配当	地文234選 環境234選				
担当者名	橋詰 直道				

#### 講義のねらい

日本の農村はいかに変容してきたか。この地域変容に関する最近の研究事例を紹介しながら、日本列島の地域的特色とその変容過程を明らかにする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

年間の講義内容は、次の項目を予定している。(1)(2)日本の風土(自然環境・生活文化)、(3)(4)自然環境と生活(気候景観・水の利用)、(5)(6)自然環境と生活(地下資源の利用・植物の利用)、(7)(8)日本の災害(自然災害・環境保全)、(9)(10)都市化と農業地域(兼業化の進展・自立型農業地域)、(11)(12)農業地域の変容(近郊農業地域・輸送園芸地域)、(13)(14)農業地域の変容(果樹園芸地域・茶業地域)、(15)(16)地場産業地域の変容、(17)～(19)中山間地域の変容(林業地域・むらおこし)、(20)～(22)余暇活動地域の変容(ふるさと運動・農村観光)、(23)～(25)リゾート開発(スキーリゾート地域の諸問題)、(26)まとめ(テスト)

これらの項目について各地の事例研究成果を中心に概説する。

#### 履修上の留意点

毎時間の出席や授業への参加状況も重視する。

#### 成績評価の方法

中間試験(7月最終授業日)及び学年末試験の両方を受験し、かつ授業への出席日数と試験(課題や小テストを含む)の成績が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

#### 教科書

特に定めない。

#### 参考書等

山村順次編『図説日本地誌』(大明堂)2,750円  
石井素介・浮田典良・伊藤喜栄編『図説日本の地域構造』(古今書院)2,527円  
市川健夫『風土の中の衣食住』(東書選書)960円  
原 剛『日本の農業』(岩波新書)620円  
平松守彦『地方からの発想』(岩波新書)550円  
田村明『まちづくりの実践』(岩波新書)660円  
その他の参考書や論文は授業でテーマごとに紹介する。

#### その他

講義は、配布プリントとOHP、PC、ビデオ画像を利用して行い、課題や小テストも実施したい。

地

理

科目名	外国地誌特講	開講	通年	単位	4
配当	地文234選 環境234選				
担当者名	梅原 弘光 <small>うめはら ひろみつ</small>				

講義のねらい

世界の諸地域をどう認識するかによって、われわれの当該地域に対する態度が傲慢になったり、関係における重要課題を看過したり、国家・民族間の差別を無意識のうちに容認する結果になる。地誌を講じる目的は、こうした弊害をなくして人びとがお互いを尊重し共生できるような世界地域認識の確立を目指すことにある。ここではフィリピン共和国を取り上げて、第2次世界大戦後同国が歩んだ軌跡を検討し、われわれが依拠している「発展」思想にもとづく地域認識の問題点を明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

全体は5部から構成される。  
 第I部 フィリピンと近隣地域との関係（地体構造、民族構成、生活様式、東西交易）  
 第II部 戦後共和国が直面した社会問題とその淵源（社会不安、土地問題）  
 第III部 問題克服のための近代化政策（工業化、農地改革、緑の革命）  
 第IV部 農村社会変容（農業・農村の商業化、農村階層分化、労働力移動、都市化の進展）  
 第V部 地域分化（国土利用パターンの激変、マニラ首都圏のEMR化、森林の後退、農地の拡大、地理的不均等発展）

履修上の留意点

日ごろからフィリピンのみならず東南アジアの国々に対して関心をもつことが望まれる。

成績評価の方法

夏休みの課題レポートと期末試験で評価する。ただし、授業への出欠状況も参考にする。

教科書

とくになし。

参考書等

オスワルド・デ・リベロ『発展神話の仮面を剥ぐ：グローバル化は世界を豊かにするのか？』（古今書院）2005年

その他

授業方法は講義形式

科目名	アジア地誌	開講	通年	単位	4
配当	地文234選 環境234選				
担当者名	須山 <sup>すやま</sup> 聡 <sup>さとし</sup> ・高橋 <sup>たかはし</sup> 健太郎 <sup>けんたろう</sup>				

#### 講義のねらい

中国および朝鮮半島の地誌について講義する。前期は高橋が中国を、後期は須山が朝鮮半島を担当する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### 前期（高橋）

1. 中国の行政区域と地域性
2. 地域間の経済・生活格差
3. 1人っ子政策と人口移動
4. 都市構造と生活空間
5. 民族政策と文化変容

##### 後期（須山）

1. 朝鮮半島の自然環境
2. 主題図でみる韓国
3. 都市誌－ソウル・釜山大都市圏、地方都市－
4. 農村の近代化と農業－セマウル運動と全国総合開発－
5. 製造業・サービス業－漢江の奇跡とIT革命－
6. 生活文化と日常生活－ウリ主義と個人主義－
7. 朝鮮民主主義人民共和国

#### 成績評価の方法

前後期各50%のウエイトで評価する。前期は、教場で作成してもらう小レポート（10%）と筆記試験（40%）で評価する。後期はレポートと出席を等分に評価する。

#### 教科書

とくに指定しない。

#### 参考書等

随時資料を配付する。

科目名	アメリカ地誌	開講	通年	単位	4
配当	地文234選 環境234選				
担当者名	ひらい まこと 平井 誠				

#### 講義のねらい

本講義は、アメリカ合衆国の地域的特徴を自然環境、経済、社会、文化の多面的視野から総合的に理解することを目指す。前期は、アメリカ合衆国の全体像を把握するため、自然環境、歴史、産業、交通、民族について講義する。後期は、アメリカを地域別に区分した上で、各地域の地域性を検討する。前期・後期とも、隣接するカナダやメキシコについても簡単に触れる予定である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

以下の項目を取り上げる（各項目に2-3週を予定）。  
 <前期>アメリカの全体像 自然環境・歴史・人口・都市・産業・分化  
 <後期>アメリカ諸地域の特性 北東部・中西部・南部・西部・アラスカとハワイ

#### 履修上の留意点

中学・高校で使用した地図帳を持参すると良い。受講者数に応じて内容を変更する場合がある。

#### 成績評価の方法

中間試験（前期終了時）＋期末試験＋平常点の総合評価とする。平常点は、前期・後期に数回実施するクイズや実習の提出状況による。

#### 教科書

指定しない。配布プリントを用いる。

#### 参考書等

小塩和人・岸上伸啓編『朝倉世界地理講座13 アメリカ・カナダ』朝倉書店。その他講義中に紹介する。

### 地 理

科目名	ヨーロッパ地誌	開講	通年	単位	4
配当	地文234選 環境234選				
担当者名	さくらい あきひさ 桜井 明久				

#### 講義のねらい

自然環境と人間活動との関係、文化の地域的多様性と共通性、経済活動の多様性に着目しながらヨーロッパ全体を眺め、その核心部である北西ヨーロッパの農業と農村の地域的問題を考える。なお、読図の練習・訓練を行うつもりである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、文化地域としてのヨーロッパの共通性と多様性を様々な分布図の重ね合わせから考える。後期は、中核部としての北西ヨーロッパ、とくにドイツについて、具体的な地域、村落を例に引きながら、近年における農業の変化、その地域性、近年の農村景観の変化などの状況を、日本のそれらと対比しながら考えていきたい。同様に、都市関係の問題については、パリ、ケルン、ボンなどを例に考えたい。

#### 履修上の留意点

授業の中で地図や統計図表をともに読みながら授業を進めるつもりである。すなわち、事実も重要ではあるが、事実を発見する方法の学習を重視したい。なお、学年末試験はここで配布した資料をもとに解答する形で試験を行うので、配付資料を紛失しないようにすること。

#### 成績評価の方法

出席とミニレポート30点、読書レポート20点（ヨーロッパ自由研究）、夏休みレポート20点（各自のヨーロッパ自由研究）、学年末試験30点といったバランスで評価したい。

#### 教科書

ジョーダン著・山本・石井訳『ヨーロッパ文化』（大明堂）5,160円  
 桜井明久『西ドイツの農業と農村』（古今書院）4,800円

科目名	経済地理学	開講	通年	単位	4
配当	地文234選 環境234選				
担当者名	<small>やのぶ ひろやす</small> 矢延 洋泰				

### 講義のねらい

地域の空間構造の中で経済の諸活動の地理的現象は、大旨経済地理学の対象となる。その対象領域は大変広く、網羅的にとり上げることは不可能であり、また余り意味もない。従ってここでは世界が構造的変化をみせる中で、とりわけ大きな動きをみせる東アジアを視座に、多面的に分析してみたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

(カッコ内は時数)

- A アジア経済発展の系譜(前期)
  - 1. 植民地遺制の光と陰(2)
  - 2. 「儒教・漢字文化圏」はプロテスタンティズムに替わり得るのか(2)
  - 3. 経済開発と人権・秩序(2)
  - 4. NICSからNIESへの変化(2)
  - 5. ASEAN諸国の開発政策(2)
  - 6. 非難される開発独裁(1)
  - 7. ハブ&スポークスの夢競争(1)
  - 8. 21世紀の開発戦略：シンガポールのOHQ制度と“ビジネス・ハブ”を考える(2)
- B 国際化と地域化(後期)
  - 1. ASAからASEANへ(2)
  - 2. 冷戦後の構造変化：新世界秩序の模索(2)
  - 3. EAEC構想からAFTA誕生まで(2)
  - 4. APEC10年(2)
  - 5. FTA (Free Trade Agreement) 締結の流れ(2)
  - 6. アジア経済開発の課題(2)

### 履修上の留意点

積極性と意欲を期待したい。

### 成績評価の方法

成績評価は学年末試験結果に出席を加味。

### 教科書

教科書はなし。適宜プリントを配布。

### 参考書等

矢延洋泰著『インサイト東南アジア』(勁草書房)  
 鶴見良行著『東南アジアを知る』(岩波新書)



科目名	産業地域論	開講	通年	単位	4
担当	地文234選必(19年度以降入学生) 地文234選(18年度以前入学生) 環境234選				
担当者名	すやま さとし 須山 聡				

#### 講義のねらい

日本の在来工業地域を事例に、地域に展開する諸産業の地域的な分析方法を提示する。講義の最初では、経済地理学的な分析の枠組みを批判的に提示する。工業は従来よりその経済的側面が強調され、立地・集積といった分布現象や工業地域に内包されたメカニズムもまた、経済的ロジックに基づいて説明される傾向が強かった。そのため、工業地理学は経済地理学の枠組みに押し込められ、地域を構成する諸要素との有機的な関係性といった地理学に独自の観点を捨象するに至った。

産業は、その地域の経済のみならず、地域社会や文化の構成要素でもある。本講義では、地域社会や文化の担い手としての産業の側面を強調する。具体的には土地利用、景観、コミュニティ、労働力、社会組織・制度などと工業（産業）の関係を検討し、工業を地域的構成要素のなかに位置づけ直すことを眼目とする。その際、従来の工業地理学ではあまり用いられてこなかった分析手法についても論ずる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

以下の予定で講義を進める。

- 1 経済地理学の論理による工業現象の説明様式
- 2 古典的経済地理学のアプリケーション（輪島漆器業、地域構造論）
- 3 分布・集積の新たな説明（輪島漆器業、インキュベータ「仮説」）
- 4 在来工業地域における人口移動パターン（輪島漆器業、ライフパスの援用）
- 5 在来工業とコミュニティ（輪島漆器業、産業地域社会）
- 6 在来工業による新たな景観形成（井波木彫業、景観の「演出」、「伝統」の誤謬）
- 7 在来工業を支える「制度」（結城紬、イエ制度）
- 8 おまけ：文学の中の地理空間（結城紬、有吉佐和子『鬼怒川』）
- 9 生産と生活—中小企業集積地域に対する視点—

#### 履修上の留意点

出席を厳格にとる。授業中携帯電話を鳴らした者、妄りに私語を交わす者は即刻退席させる。

#### 成績評価の方法

出席状況（50%）と試験（50%）を規準とする。

#### 教科書

須山 聡『在来工業地域論—輪島と井波の存続戦略—』（古今書院）2004年  
購入を義務づけるものではないが、あった方が絶対に便利。

科目名	地形学	開講	通年	単位	4
配当	環境234選必(19年度以降入学生) 環境234選(18年度以前入学生) 地文234選				
担当者名	ひらい ゆきひろ 平井 幸弘				

### 講義のねらい

私たちが今生きている社会において、ある「地域」を理解し、そこでの様々な開発や環境問題、あるいは災害などを的確に理解し、さらに適切な対応策を講じるためには、その場所もっている自然的諸条件の特質を明らかにしておくことが、まず重要である。この講義では、そのような自然的諸条件のなかで、「地域」の場の条件となっている様々な地形について、地形発達史的側面（おもに前期）と地形環境誌的な側面（主に後期）の両方から理解し、様々な環境問題について学び、その解決策についても考えたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 1. 地形発達のバックグラウンド  
 (1) 気候変動 (2) 海水準変動 (3) 地殻変動 (4) 火山活動  
 2. 関東平野の地形発達  
 (1) 火山活動 (2) 関東増盆地運動 (3) 沖積低地の発達  
 (後期) 3. 日本各地の水辺の環境問題—応用地形学の視点から—  
 (1) 中海・飯梨川デルタ (2) 吉野川・第十堰  
 (3) 那賀川の旧河道 (4) 加茂湖周遊  
 (5) 宍道湖一周 (6) 浜名湖の湖底伝説

### 履修上の留意点

現実の様々な環境問題に、広い視野から関心を持ち学ぼうとする意欲を期待したい。

### 成績評価の方法

出席とレポート及びその発表。受講生が多数の場合は試験を行う。

### 教科書

平井幸弘『水辺の環境ガイド—歩く・読む・調べる—』(古今書院) 2005年(後期)

### 参考書等

貝塚爽平ほか『日本の地形 4 関東・伊豆小笠原』(東大出版会) 2000年  
 加藤 真『日本の渚—失われてゆく海辺の自然—』(岩波新書) 1999年  
 五十嵐敬喜・小川明雄『公共事業は止まるか』(岩波新書) 2001年

### その他

高校で使う程度の地図帳(二宮書店や帝国書院発行のものなど)と12色の色鉛筆を用意することが望ましい。

科目名	地形学実習	開講	半期	単位	1
配当	環境234選 地文234選				
担当者名	清水 長正				

#### 講義のねらい

地形とは簡単に言えば地べたの形のこと。我々はこの地形上で活動し生活しているのに、最近ではアーバンライフが定着したせいも、地形を見る目が一般に退化していると言わざるをえません。いわんや地理学科の学生までも地形の見方が苦手？。環境・文化を問わず地理的現象の大半は地形上に立脚しているのですから、地理学を勉強した中で地形のことも少しでも知っておこうよ、というのがこの実習の目標です。さらに地形を見ることによって、その土地が地震や洪水などの災害にあう度合いの予測評価も可能なので、これは一生役にたつワザになるかもしれません。

#### 講義の内容・授業スケジュール

実習の内容として、空中写真判読、現地調査に重点を置きます。空中写真判読は、各種地形形態の写真上での把握のこと。難しそうに思うかもしれませんが、まずやってみることが肝心で、あとは「習うより慣れろ……」でしょう。現地調査については、休日を利用した半日2回程度と、夏休み前半に1泊2日の巡検を行います。現地における地形の実測と、地形を構成する物質（とくに第四紀地質）の露頭調査など、これもやってみることにしましょう。

#### 履修上の留意点

地形学、地球物理学、第四紀学などの地形に関する講義は、同時に履修することが望ましいが、ただし各自の都合によって履修できない場合は仕方ないでしょう。また、空中写真実体視については経験済みかもしれませんが、もう一度、コツを手ほどきします。

#### 成績評価の方法

空中写真判読図・巡検レポートなどにより評価。

#### 教科書

テキストは使用しない。

#### 参考書等

参考書は実習中に指示します。

#### その他

とにかく地形を敬遠せずに、まずはやってみなければ話にならないよ。

科目名	外書講読	開講	通年	単位	4
配当	地文234選 環境234選				
担当者名	佐藤 哲夫 <small>さとう てつお</small>				

#### 講義のねらい

この授業では、簡単な英文の地理資料を読み、地理でよく用いられる英語に親しむ。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

テキストは、中学校で使う日本地理の教科書の英訳本である。内容が身近で、英語もあまり難しくないので、語彙を増やしながらなるべく速く読むことを目標にする。参加者にワンセンテンスずつ逐次訳をしてもらい、重要な部分に解説を加えながら読み進める。順不同で毎回少なくとも1度はあてる。英作文の添削によってその英語表現を身につけることにも心を配りたい。

なお授業範囲は大学院地理学専攻の英語の試験範囲に含まれている。  
時間があれば、後期には地理学の学術論文または専門書の読解も行いたい。

#### 履修上の留意点

下の文章は最初に用いるテキストの preface である。この意味が理解できる程度の英語力を持っている諸君を、受講対象者として想定する。

This book is intended to provide a geographical overview of Japan to readers who are unfamiliar with Japan's regional geography. The book consists of two parts. Chapters one through six present the physical, historical, cultural, economic, and social features of Japan.

Chapters seven through thirteen deal with regional geography by dividing the country into seven districts. The chapters on regional geography are based largely on a Japanese geography textbook written by H.Sato and others. The first six chapters were newly written for this book by the editor. I hope that this book will be of help in understanding the regions and regionality of Japan.

毎回必ず、英和辞典を持ってくること。電子辞書は許可しない。  
受講希望者が多数（30人以上）の場合は人数制限を行うので、第1回目の授業には必ず出席すること。

#### 成績評価の方法

成績は出席100%で評価する。定期試験はしない。レポートによる救済もしない。

#### 教科書

テキストはコピーして配布する。出所は下記のとおり。  
YAGASAKI, Noritaka ed. 2002. Japan-Geographical Perspectives on an Island Nation  
Third Edition. TEIKOKU-SHOIN

科目名	気候学	開講	通年	単位	4
担当	地文234選 環境234選必(19年度以降入学生)・環境234選(18年度以前入学生)				
担当者名	えぐち たかし 江口 卓				

#### 講義のねらい

日本および世界の気候の成り立ちとその地域的・季節的な違いを理解することを目標とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、最初に世界と日本の気候区分をとりあげ気候学の考え方の流れについて講義する。その後、日本の気候の季節変化とその地域性について、季節ごとに順に講義を行う。後期は世界の気候の基礎について講義を行った後、世界の各地域の気候について講義する。各地域について講義する中で、関連する砂漠化などの環境問題についても触れる。

#### 履修上の留意点

気候に関する予備知識は必要としないが、ステップアップの講義であるので、講義の概要は復習のうえ理解し、次の講義に臨むこと。

#### 成績評価の方法

各学期末の筆記試験と出席を含む平常点を総合して評価する。

#### 参考書等

中村和郎・木村竜治・内嶋善兵衛『日本の気候』(岩波書店)  
気候影響・利用研究会編『日本の気候I』『日本の気候II』(二宮書店)  
鈴木秀夫『風土の構造』(原書房)

#### その他

講義は、プリントを配布して行う。適宜、スライドやビデオを使用する。

科目名	気候学実習	開講	半期	単位	1
担当	環境234選 地文234選				
担当者名	えぐち たかし 江口 卓				

#### 講義のねらい

気候を研究する上で必要となる調査の方法およびデータの解析手法を身につけることを目標とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

実習は次の内容に即して行う。

- 1) 気候観測：測器の使い方、観測の実施、観測データの処理
- 2) 気候データの解析：テーマを決め、気象庁観測データの解析を行う。
- 3) 天気図の解析：上記のデータ解析によって明らかになった現象の原因を天気図によって分析する。

#### 履修上の留意点

本実習では学外において気候観測を行う。これは自由参加ではなく、正規の授業の一環なので、必ず参加することが必要である。日程・場所等は、授業の最初に案内する。気候学の講義を履修していることが望ましい。

#### 成績評価の方法

レポートおよび出席状況を総合して評価する。

#### その他

気候データおよび天気図の解析に際しては、パソコンを使用する。

科目名	水文学	開講	通年	単位	4
配当	環境234選必(19年度以降入学生) 環境234選(18年度以前入学生) 地文234選				
担当者名	ながねま のぶお 長沼 信夫				

#### 講義のねらい

地理学の一分野でもある水文学の基本的な見方・考え方、水文環境の現状などについて講義する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次に示す通りである。

前期：1) 水の科学としての海洋学、陸水学、水文学：地理学的立場から水圏科学の現状について概説する。

2) 地球上の水循環と水量：地球上の水の一部は常に循環している。その循環過程と水量、さらに地球上の水の総量などについて概説する。

3) 陸地における水の基本的在り方：陸水は、それぞれの場によって河川水、湖沼水、地下水などに区分することができる。そこで河川・湖沼・地下水の存在状況などについて概説する。

後期：4) 水文学の中心概念である水収支の見方・考え方：横浜地域などを事例に、降水～流出の過程を水文調査で得られた資料を基に言及する。

5) 水と地域と人間活動：横浜・川崎地域や南西諸島などを事例に、水環境の現状とその問題点について水文学的立場から考える。

#### 履修上の留意点

選択科目であるため、水文学に興味ある学生諸君の受講を希望する。

#### 成績評価の方法

授業期間内に2～3回程度の筆記試験を実施し評価する。

#### 教科書

地学団体研究会編『地球の水圏—海洋と陸水—』（東海大学出版会）2,625円

#### 参考書等

講義中に適時指示する。

#### その他

必要に応じて、教材プリントの配布やOHPなどを使用する予定である。

地  
理

科目名	水文学実習	開講	半期	単位	1
配当	環境234選 地文234選				
担当者名	高木 正博				

講義のねらい

河川や地下水・湧水などの測水調査をとおして、水文環境の一端を明らかにする。野外での水量や水質調査及び採水試料の分析実験に重点をおく。

講義の内容・  
授業スケジュール

調査の準備段階として、河川や地下水・湧水の水量・水質などに関する基礎的な学習を行ってから、調査目的、水域・地点の選定、調査項目、計測器材の特徴と使用法などについて検討する。

調査後は、試料の分析、図表の作成、結果の整理などとおして、皆で考察する。野外での測水調査は、1～2回程度予定している。

履修上の留意点

野外での調査、実験室での分析など授業時間以外にもかなりの時間を必要とする。時間に制約されるが、積極的に参加してほしい。

成績評価の方法

授業・調査中の実習態度を基礎点とし、提出物の成果と合わせて評価する。

教科書

新井 正『水環境調査の基礎』改訂版（古今書院）2,500円

参考書等

日本地下水学会編『名水を科学する』、『続・名水を科学する』（技報堂出版）  
半谷高久・小倉紀雄『水質調査法』（丸善）  
日本分析化学会北編北海道支部『水の分析』（化学同人）、その他随時紹介する。

科目名	人口地理学	開講	通年	単位	4
配当	地文234選 環境234選				
担当者名	やまうち まさかず 山内 昌和				

### 講義のねらい

人口現象が社会問題として表出する際には、少子化、高齢化、過密・過疎といった形をとるが、これらの理解のためには、出生、死亡、移動、世帯に関する概念や諸指標を理解する必要がある。とくに、地域の人口問題を扱う際には、人口の地域分布変動にもっとも大きな影響を与える地域間の人口移動についての理解が不可欠である。前期では、各種概念や指標に関する基礎的な学習を中心に行い、後期では、日本の人口問題に関する様々な論点について、人口移動を中心に、理解を深めることを目的とする。

### 講義の内容・授業スケジュール

〔人口分析の基礎〕 人口学的方程式、人口構造の把握（性比、年齢構造）  
 〔少子化問題と出生の分析〕 出生の指標（合計特殊出生率）、出生率の低下とその要因  
 〔人口高齢化と死亡の分析〕 死亡の指標（生命表、平均寿命）、人口高齢化とその要因  
 〔人口移動の概念とデータ〕 人口移動の概念、人口移動データとその特徴  
 〔世帯の分析〕 人口と世帯の関係、世帯データとその特徴、世帯構造の把握  
 〔日本国内の人口移動〕 戦後日本の人口移動の概観、地方圏と大都市圏の間の人口移動  
 〔日本人の居住地移動〕 地方圏出身者の居住地移動プロセス、Uターン移動とその要因  
 〔将来人口の推計〕 将来人口推計ならびに世帯数の将来推計の理論、コーホート変化率法による人口推計の実際、世帯主率法による世帯数の将来推計の実際

### 履修上の留意点

あらゆる地域において、現在の人口ピラミッドの形は将来の地域人口のあり方を大きく規定する。例えば郊外のニュータウンにおいては今後急激な高齢化が不可避である。このような地域人口変化のメカニズムを本講義を通じて理解して欲しい。

### 成績評価の方法

授業時間内に複数回の試験を実施し、その結果に基づき成績評価を行う。

### 教科書

とくに指定しない。

### 参考書等

授業時間内に適宜指摘する。



科目名	歴史地理学実習	開講	半期	単位	1
配当	地文234選 環境234選				
担当者名	おだ まさやす 小田 匡保				

講義のねらい

歴史地理学の研究では、古い時代の史料を扱うが必要になる。この科目では、歴史地理学の史料（あるいは研究対象）として利用されることの多い古地図に親しむことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書として挙げた『江戸時代古地図をめぐる』には、全部で95枚の古地図が掲載されている。これらの古地図を、記載文字・地図表現などを頼りに、履修者が分担して読んでいく。その作業の中で、くずし字や古文書特有の表現に慣れる。あわせて、古地図に関する学習も行なう。また、博物館等での古地図見学も1、2回実施する。

履修上の留意点

旧漢字の知識があることが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況・報告内容とレポートで行なう。無断欠席が3回になった段階で、単位不要と判断する。

教科書

山下和正『江戸時代古地図をめぐる』（NTT出版）1,650円

参考書等

林英夫監修『増訂近世古文書解読字典』（柏書房）2,524円

その他

教科書が品切になって入手できない場合は、別の授業内容を考える。

科目名	地球物理学	開講	通年	単位	4
担当	環境234選 地文234選				
担当者名	やなぎだ まこと 柳田 誠				

### 講義のねらい

この講義は地理学専攻の学生を対象として地球物理学のなかでも地理学や第四紀学に関連する分野について論じる。地球の構造や性質について触れ、プレートテクトニクス、地震、活断層、アイソスタシーなどを説明する。いろいろな事象について、「なぜ？」を考える。

### 講義の内容・授業スケジュール

前期1. 地球の構造/地球の大きさ、内部構造について説明し、それと地表に起こる出来事との関係を見る。地球の化学組成や物性(粘性)について説明する。

2. プレートテクトニクス/地球表面のいろいろな地殻変動はプレートテクトニクスで合理的に説明できる。基礎的な知識について説明し、プレートテクトニクスが学問のなかで市民権を得てきた歴史を振りかえる。

後期3. 地震と火山/日本列島周辺に起こる地震について説明する。地震予知の現状を取り上げ、社会に対する地球科学の貢献についても考えてゆきたい。また、日本列島における火山とその活動について説明する。

4. 活断層とは何か?/内陸部の浅い所で地震を発生させる活断層についても説明し、具体的な調査例を示す。

5. 地球の年代/地球の年齢は?どうやって決まっているのか?月の年齢は?

6. 山はなぜ高いか?/山はなぜ高いのか、いろいろな形をしているのはなぜか?高くしているのはなにか?なにが山を削るのか?いろいろと考えてみたい。

### 履修上の留意点

地形学、第四紀学を履修していることが望ましい。また、基本的な数式や元素記号は理解すること。

### 成績評価の方法

年度末におこなう筆記試験によって、講義内容が理解できているかどうかを検討し、評価を行う。講義内容が理解できていない場合は単位は認定しない。

### 教科書

授業中に紹介する

### その他

OHPやスライドを多く使用する。

科目名	土壤地理学	開講	通年	単位	4
配当	環境234選 地文234選				
担当者名	うるしばら かずこ 漆原 和子				

講義のねらい

土壤は生態系のひとつであり、世界的に見ると、気候帯、植生帯と関連し、その分布は地理的であることを理解してほしい。

講義の内容・  
授業スケジュール

土壤の定義と土壤特性  
 土壤と人間の関わりの歴史  
 土壤中の有機物と無機物の姿  
 土壤断面  
 土壤の生成と進化  
 生成環境と土壤特性  
 世界における成帯性土壤と自然環境  
 日本における成帯性土壤と自然環境  
 成帯内性土壤

履修上の留意点

他の地理学の分野と関連するので、できれば地形学、気候学の知識があることが望ましい。

成績評価の方法

出席と試験

教科書

「世界の土壤」E. M.ブリッジズ著（古今書院）3,600円 ISBN 4-7722-5076-X

参考書等

教室でその都度紹介する

その他

講義形式 プリント配布あり

科目名	生物地理学	開講	通年	単位	4
配当	環境234選必(19年度以降入学生) 環境234選(18年度以前入学生) 地文234選				
担当者名	きたざわ てつや 北澤 哲弥				

#### 講義のねらい

生物地理学は地球上における生物の分布と、その成因となる環境との関係をあつかう学問である。生物の分布を規定する環境要因は、過去から現在までの気候・土壌・地形・生物相互作用など、対象とする時空間スケールによって様々に異なってくる。近年では、人間活動も生物の分布に大きく影響する要因である。本講義では、まず生物と環境との関係を考える上で欠かせない植物生態学の基礎について学ぶ。次に、植物を中心にその分布パターンについて具体事例をあげながら、環境要因との関係について解釈する。最後に、近年話題となっている環境問題について、生物地理学の観点から考える。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- ① 生物地理学とは
- ② 生物群集と環境（ニッチ、競争と共存、遷移、植物の移動など）
- ③ 植物の分布パターン：生態的アプローチ（気候、植生帯、地形など）
- ④ 植物の分布パターン：地史的アプローチ（大陸移動、進化、生物区系など）
- ⑤ 近年の環境問題と生物地理学（地球温暖化、外来生物、里地里山など）

#### 履修上の留意点

特になし。

#### 成績評価の方法

講義の試験と通年の出席回数を勘案して評価する。

#### 教科書

特になし。

#### 参考書等

講義内で適宜紹介する。

#### その他

講義で必要な図表は適宜プリント等で配布する。

科目名	計量地理学実習	開講	半期	単位	1
配当	環境234選 地文234選				
担当者名	つちたに としはる 土谷 敏治				

講義のねらい

今日、多くのデータを統計的・計量的方法を用いて、客観的に分析するためには、コンピュータを活用できることが前提条件となっている。また、地図の作成や画像データもコンピュータ処理が一般化している。本実習では、パーソナルコンピュータをベースとして、計量地理学の学習に必要なこれらのソフトウェア使用方法を習得することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

次のようなスケジュールに基づいて、実習を進める。

1. Microsoft Excel の使用方法
2. データの入力・加工
3. データの並べ替え・抽出
4. グラフ作成
5. 統計分析
6. Adobe Illustrator による地図作成
7. Adobe Photoshop による写真データの加工
8. Microsoft Power Point の使用方法
9. コンピュータによるプレゼンテーション

履修上の留意点

計量地理学の受講を希望しているが、Microsoft Excel・Power Point・Adobe Photoshop・Adobe Illustrator を使用して、統計的分析やグラフ・地図作成・プレゼンテーションができない学生を対象としている。これらのソフトウェアを十分活用できる学生は受講の必要がない。また、コンピュータの基本操作や Microsoft Windows の操作を習得していることを前提とする。ただし、これらの未習得学生の受講も可能とするため、未習得者は必ず第1回目の授業に出席すること。実習科目であるため、毎回の出席と課題の提出が不可欠である。

成績評価の方法

各課題を得点化して合計し、さらに出席状況を加味して評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

その他

教場の関係で受講生を制限することもあるので、4月第1回目の授業に必ず出席すること。

科目名	測量学	開講	通年	単位	4
配当	環境234選 地文234選				
担当者名	吉田 英嗣 <small>よしだ ひでつぐ</small>				

#### 講義のねらい

測量学は、地球表面の任意の点の位置関係を正確に把握する技術を研究する学問である。最近は、「測る」技術にとどまらず、空間データを効率的にマネジメントすることも含めて「空間情報工学」としてその範囲を広げている。本講義では、測量の基礎から国土数値情報の素養を得ることまでを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

0. 基礎数学 1. 地球の姿 2. 誤差論 3. 地理座標 4. 角測量 5. 距離の測定  
6. 水準測量 7. GPS測量 8. 空中写真測量・空中写真判読 9. GIS (デジタルマッピングと国土数値情報)  
各項目に2～3時間をあてる予定。年数回の課題は必ず提出すること。

#### 履修上の留意点

この講義は国家資格である測量士補(国家試験免除)のための必修科目である。したがって成績評価は厳しい。高校教科書レベルの数学(三角関数、対数および確率・統計)を十分に復習しておくこと。

#### 成績評価の方法

学年末試験の点数で評価する。ただし、課題を提出していない場合には、試験の点数から未提出分を差し引く。

#### 教科書

包国・茶畑・平田著「絵とき 測量 改訂2版」(オーム社出版局) 2940円(2005年)

#### 参考書等

村井著「空間情報工学」(日本測量協会) 2286円(税別)

#### その他

授業は講義中心に行うが、年間数回の課題実習を行う。

科目名	第四紀学	開講	通年	単位	4
配当	環境234選 地文234選				
担当者名	すずき たけひこ 鈴木 毅彦				

講義のねらい

第四紀とは最近約200万年間（最近では260万年間とする考えもある）のことをさす。この地質時代は、人類、動植物、気候、地形などが現在みられる姿となった時代でもある。このような最近の地質時代を理解することは、人類の動向も含めた地球の将来予測につながる。本講義のねらいはこのような問題意識のもとに、第四紀の概要を理解することである。とくに全地球的な規模での現象と日本列島特有な第四紀の諸現象についての理解を深めることに目的をおく。

講義の内容・授業スケジュール

講義前半では第四紀の各種基礎的概念を解説する。主なテーマは第四紀の概要、氷河作用、地形・地質、気候変化、火山灰編年などである。後半では日本列島の第四紀の主要な現象である、火山活動と第四紀地殻変動などに焦点をあてる。

講義の流れをキーワードで示すと以下のとおりである。

前半

第四紀の定義・概要、学際科学としての第四紀学、氷期認定の歴史、大陸氷床の発達と海面変化、氷期・間氷期サイクル、酸素同位体比と氷期・間氷期サイクル、地球上各域における気候変化、ミランコビッチサイクル、数値年代と放射年代、古地磁気編年とレス編年、火山灰編年、日本列島の海面変化

後半

日本列島の火山（分布と第四紀火山の概念）、各種噴火様式と火山災害、関東地方の地震活動と第四紀地殻変動、活断層、山地形成、人類の誕生、日本列島の人類史

履修上の留意点

とくになし

成績評価の方法

主には前期末のレポートと後期末の筆記試験

教科書

教科書は特に指定しない

参考書等

参考書として、町田ほか編『第四紀学』（朝倉書店）、日本第四紀学会編『百年・千年・万年後の日本の自然と人類』（古今書院）、成瀬『第四紀学』（岩波書店）をあげる。それ以外は講義中に紹介する。

その他

授業の方法：講義

科目名	地理学特講I	開講	半期	単位	2
配当	環境234選 地文234選				
担当者名	ほしづめ なおみち 橋詰 直道				

### 講義のねらい

今日わが国の都市が抱える諸問題について「都市計画と社会資本整備」という視点から考える。ここでは特に、都市生活者のための生活環境整備手法の歴史とその課題について紹介する。

### 講義の内容・授業スケジュール

今年の講義（半期＝後期）内容は、次の項目を予定している。①②都市計画（都市計画と地理学・都市計画の概要）、③④東京の都市計画史（戦前・戦後）、⑤⑥都市緑地の整備と保全（生産緑地・公園緑地計画と緑地保全政策）、⑦⑧エコ・シティ（環境共生都市・住宅）、⑨⑩英国の田園都市運動（ガーデンシティ・ガーデンサブurb）、⑪～⑬郊外住宅地建設（アメリカ・日本の郊外住宅地建設史）、⑭まとめ（テスト）

これらの項目について最近の研究成果を中心に概説する。

### 履修上の留意点

「都市地理学」の単位を取得した後の受講が望ましい。出席状況や授業への参加状況も重視する。

### 成績評価の方法

定期試験の成績及び授業への出席日数が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

### 教科書

特に定めない。

### 参考書等

五十嵐敬喜・小川明雄『都市計画』（岩波新書）580円  
 五十嵐敬喜・小川明雄『都市再生を問う』（岩波新書）740円  
 越澤明『東京都市計画物語』（ちくま学芸文庫）1,300円  
 石田頼房『都市計画と都市生活』（自治体研究社）700円  
 角野幸博『郊外の20世紀』（学芸出版社）2300円  
 山口廣編『郊外住宅地の系譜』（鹿島出版会）3800円  
 その他の参考書や論文は授業でテーマごとに紹介する。

### その他

講義は、参考書と配布プリント及びOHP、PC画像を利用して行う。



科目名	地理学特講II	開講	半期	単位	2
配当	地文234選 環境234選				
担当者名	ながぬま のぶお 長沼 信夫				

講義のねらい

水文地理学的な視点から地中に存在する水—地下水、温泉（水）—について講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容の概要は次に示す通りである。

- 1) 水資源としての地下水の在り方：一般的な特徴
- 2) 地下水の存在状態：地下水の流動、水理、水質など
- 3) 地下水の存在量と使用量
- 4) 地下水を取り巻く環境問題：開発と保全、地下水利用に伴う障害（地下水位の低下、塩水化、地盤沈下、水質汚染など）
- 5) 温泉の定義、温泉法、温泉の成因など
- 6) 温泉の存在状態：温泉の3要素、水質など
- 7) 温泉利用と地熱開発の諸問題

履修上の留意点

地下水や温泉に興味のある学生諸君の受講を希望する。また、選択科目の「水文学」を同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法

授業期間内に2回程度の筆記試験を実施し評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

必要に応じて適時指示する。

その他

受講者が少人数の場合、講義のみでなくゼミ形式で実施することもある。

科目名	地理学特講III	開講	通年	単位	4
配当	地文234選 環境234選				
担当者名	澤渡 貞男 <small>さわど さだめ</small>				

#### 講義のねらい

文学部地理学科学生の学問的専門履修科目の応用と実践を意図して通年課程で設置された「特講III」は、観光産業の中核である運輸・宿泊・旅行業に共通する国家資格「旅行業務取扱管理者試験」の受験を目指す学生への補助的講座として設置されたものである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

管理者試験には総合と国内の区別があり、受験科目は、①旅行業法及びこれに基づく命令についての知識 ②旅行業約款、運送約款及び宿泊約款 ③国内旅行実務（運賃料金、観光地理、旅行実務） ④海外旅行実務（国内と同項目に加え出入国関連法令及び手続実務、観光英語）で、国内は上記①②③科目で例年9月に実施、総合は上記全科目で10月に実施される。これを踏まえ、総合及び国内に共通する「業法」「約款」については、それらの理解に必要な関連事項も含めて前期に重点的に講義し、実務については「旅程管理業務（添乗員業務）」を軸として旅行業界の業務内容及びその理解に必要な関連業種（航空・ホテル等）の諸知識、また、地理学科学生の関心ある外国生活事情等につき、AVを利用したら実際の経験を基にした講義を後期に行う。

#### 履修上の留意点

業法約款の理解には旅行業の現状理解が不可欠との立場から、冒頭に業界の現状・歴史等について概括的な講義を行うので必ず出席のこと。また、各自の経験に照らして考えると理解し易いので、日頃から業法・約款的な見方で接するように心がけてほしい。受験科目の学習については、通信講座或いは専門講座により受験対策を講じられるようお薦めする。

#### 成績評価の方法

前期及び後期の出席率並びに定期試験の成績をそれぞれ評価のうえ、単位付与並びに成績評価とする。なお総合国内旅行業務取扱管理者試験合格者には無条件4単位付与とする。

#### 教科書

中央書院編集部『総合または国内旅行管理者試験合格ハンドブック』2007年版 2,940円（(株)中央書院）東京都千代田区猿樂町2-8-11、なお、必要に応じ、プリントを配布する。

#### 参考書等

業法・約款は上記教科書に編纂されている。国際・国内の航空・鉄道時刻表、旅行業小六法、観光白書、旅行会社の制作する広告・宣伝印刷物。

科目名	地理学特講Ⅳ	開講	通年	単位	4
配当	地文234選 環境234選				
担当者名	やまがた たけし 山縣 毅				

#### 講義のねらい

本講義の目的は、地理学の研究に必要と考えられる地質学の基礎的知識・技術を学習することにあります。地質学は、岩石・鉱物や地層、化石などから、地球の成り立ちや、過去の自然環境、その環境の決定要因を理解していく研究分野です。そのために、地球自体から様々なデータを読み取っていく必要があります。本講義では、その基礎となる、岩石・鉱物の鑑定、地層の観察、地質図の読解などのスキルを修得できるように、実習を取り入れながら講義を進めていきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### 〔前期講義〕

1. 地質学概論
2. 鉱物と岩石の基礎知識
3. 鉱物鑑定法（鉱物観察の実習）
4. 岩石鑑定法（岩石観察の実習）

##### 〔後期講義〕

1. 地層の基礎知識
2. 地質構造の基礎知識
3. 地層の観察法（日帰り野外実習を含む）
4. 地質図の読み方・書き方（地質図学の実習）

#### 履修上の留意点

後期授業期間中の休日に、野外実習（一日日帰り）を行います。日程は、受講者と相談して決めます。実習は、三浦半島城ヶ島で行う予定です。

#### 成績評価の方法

実習のレポート、講義の出席状況にて、成績を評価します。

#### 教科書

小島丈児監修「新訂地学図解」第一学習社定価790円 ISBN 4-8040-4304-7 C7044

#### 参考書等

講義にて、紹介します。

#### その他

講義時間中に、実習を行います

科目名	地理学特講V	開講	通年	単位	4
配当	環境234選 地文234選				
担当者名	平井 <small>ひらい ふみお</small> 史生				

#### 講義のねらい

社会的に関心の高い時事問題を題材とし、現象の空間的な把握や分布図の重ね合わせ等の地理学的手法を用いて分析していきます。卒業論文の主題選定に役立つ話題や切り口を多く提供することをめざしています。また、学生の皆さんと共に講義を創り上げていくスタンスを目標としています。地理学に関する専門的な知識があまりなくても受講はできます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

参考までに2006年の題材をお知らせします。2007年も同様な話題を取り上げます。「スギ花粉の大飛散とその背景」「ハリケーン・カトリーナ」「竜巻被害の特徴」「梅雨の特性」「地球温暖化」「台風と高潮」「新潟・福井集中豪雨」「成層圏オゾンと有害紫外線」「ヒートアイランド」「冬季の降雪とスキー場の立地」など。大きな自然災害が発生した場合には速報的にすぐに取り上げる予定です。

#### 履修上の留意点

選択科目の「気候学」と最も関連が深く、自然地理学的な題材を多く扱いますが、興味の対象を絞り込むわけではなく、時には人文地理学的内容も扱います。講義レジュメについては、ウェブサイトに掲載し、講義はコンピューター教場で実施します。レポートなどの成果品は電子媒体で提出を求め、成果品はウェブ公開する場合があります。レポートについては簡単な発表を含み、質問や批判を含めたミニ討論会なども計画しています。実習の性格が強い参加型の講義ですので、欠席が多くなりそうな方には向きません。初回講義の際にこれまでの授業アンケートの結果などを示しますので、履修するかしないかの参考にしてください。

#### 成績評価の方法

作図実習の成果品、提出課題、筆記試験の内容で総合的に評価をします。特に図の作成にあたっては、重箱の隅をつつくような口うるさいことを言いますが、ご容赦ください。

#### 教科書

特に定めません。講義中に資料を配布する場合があります。

#### 参考書等

必要に応じて講義中に指示します。参考ウェブサイトを示す場合もあります。

#### その他

気象予報士試験の受験を希望している学生には個別に相談にのります。ウェブサイトにレジュメを掲載しています。質問・相談等もメールで受けつけています。

## II 專 門 教 育 科 目

### 4 歷 史 學 科

## II. 専門教育科目

### (4) 歴史学科

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
日本史学基礎演習	日1必	通年	4	熊本 史雄	689
基礎歴史学	歴1必				
日本史学基礎演習	日1必	通年	4	小泉 雅弘	690
基礎歴史学	歴1必				
日本史学基礎演習	日1必	通年	4	中野 達哉	690
基礎歴史学	歴1必				
西洋史学基礎演習	外1必(西洋史)	通年	4	大城 道則	691
基礎歴史学	歴1必				
西洋史学基礎演習	外1必(西洋史)	通年	4	佐々木 真	692
基礎歴史学	歴1必				
東洋史学基礎演習	外1必(東洋史)	通年	4	中村 淳	693
基礎歴史学	歴1必				
東洋史学基礎演習	外1必(東洋史)	通年	4	杉山 清彦	694
基礎歴史学	歴1必				
考古学基礎演習	考1必	通年	4	設楽 博己	695
基礎歴史学	歴1必				
日本史概説	日1必 外1234選必 考1234選必	通年	4	松本 信道	695
日本史概説I(古代・中世)	歴1234必(日本史) 歴1234選必(東洋史西洋史考古学)				
日本史概説	考1234選必	通年	4	出口 宏幸	696
日本史概説II(近世・近代)	歴1234必(日本史) 歴1234選必(東洋史西洋史考古学)				
日本史概説	考1234選必	通年	4	小泉 雅弘	696
日本史概説II(近世・近代)	歴1234必(日本史) 歴1234選必(東洋史西洋史考古学)				
東洋史概説	外1必(東洋史) 日1234選必 外1234選必(西洋史) 考1234選必	通年	4	石井 仁	697
東洋史概説I(古代・中世)	歴1234必(東洋史) 歴1234選必(日本史西洋史考古学)				

世界史概説	考1234選必	通年	4	小林 惣八	698
東洋史概説II(近世・近代)	歴1234必(東洋史) 歴1234選必(日本史西洋史考古学)				
西洋史概説	外1必(西洋史) 日1234選必 外1234選必(東洋史) 考1234選必	通年	4	佐々木 真	699
西洋史概説I(古代・中世)	歴1234必(西洋史) 歴1234選必(日本史東洋史考古学)				
日本考古学概説	考12必 日1234選必 外1234選必	通年	4	酒井 清治	700
考古学概説I(日本)	歴1234必(考古学) 歴1234選必(日本史東洋史西洋史)				
外国考古学概説	考12必 日1234選必 外1234選必	通年	4	飯島 武次	700
考古学概説II(外国)	歴1234必(考古学) 歴1234選必(日本史東洋史西洋史)				
世界史概説	考1234選必	通年	4	井村 行子	701
西洋史概説II(近世・近代)	歴1234必(西洋史) 歴1234選必(日本史東洋史考古学)				
史学概論	考1必 日1234選必 外1234選必 歴234必	通年	4	伏島 正義	702
日本史学史	日12必 外234選 考234選 歴234必(日本史) 歴234選(東洋史西洋史考古学)				
考古学史	考12必 日234選 外234選 歴234必(考古学) 歴234選(日本史東洋史西洋史)	通年	4	小柳 美樹	703
日本史学演習I 演習I	日3必 歴3必				
日本史学演習I 演習I	日3必 歴3必	通年	4	熊本 史雄	705
日本史学演習I 演習I	日3必 歴3必				
日本史学演習I 演習I	日3必 歴3必	通年	4	小泉 雅弘	705
日本史学演習I 演習I	日3必 歴3必				

日本史学演習I	日3必	通年	4	瀧音 能之	706
演習I	歴3必				
日本史学演習I	日3必	通年	4	中野 達哉	706
演習I	歴3必				
日本史学演習I	日3必	通年	4	西海 賢二	707
演習I	歴3必				
日本史学演習I	日3必	通年	4	廣瀬 良弘	708
演習I	歴3必				
日本史学演習I	日3必	通年	4	松本 信道	709
演習I	歴3必				
東洋史学演習I	外3必(東洋史)	通年	4	石井 仁	710
演習I	歴3必				
東洋史学演習I	外3必(東洋史)	通年	4	杉山 清彦	710
演習I	歴3必				
東洋史学演習I	外3必(東洋史)	通年	4	中村 淳	711
演習I	歴3必				
西洋史学演習I	外3必(西洋史)	通年	4	大城 道則	711
演習I	歴3必				
西洋史学演習I	外3必(西洋史)	通年	4	佐々木 真	712
演習I	歴3必				
西洋史学演習I	外3必(西洋史)	通年	4	伏島 正義	713
演習I	歴3必				
考古学演習I	考3必	通年	4	飯島 武次	714
演習I	歴3必				
考古学演習I	考3必	通年	4	酒井 清治	715
演習I	歴3必				
考古学演習I	考3必	通年	4	設楽 博己	716
演習I	歴3必				
日本史学演習II	日4必	通年	4	久保田 昌希	716
演習II	歴4必				
日本史学演習II	日4必	通年	4	熊本 史雄	717
演習II	歴4必				
日本史学演習II	日4必	通年	4	小泉 雅弘	717
演習II	歴4必				
日本史学演習II	日4必	通年	4	桜井 邦夫	718
演習II	歴4必				
日本史学演習II	日4必	通年	4	瀧音 能之	718
演習II	歴4必				
日本史学演習II	日4必	通年	4	中野 達哉	719
演習II	歴4必				
日本史学演習II	日4必	通年	4	廣瀬 良弘	719
演習II	歴4必				
日本史学演習II	日4必	通年	4	松本 信道	720
演習II	歴4必				
東洋史学演習II	外4必(東洋史)	通年	4	石井 仁	720
演習II	歴4必				



東洋史学演習II 演習II	外4必(東洋史) 歴4必	通年	4	杉山 清彦	721
東洋史学演習II 演習II	外4必(東洋史) 歴4必	通年	4	中村 淳	721
西洋史学演習II 演習II	外4必(西洋史) 歴4必	通年	4	大城 道則	722
西洋史学演習II 演習II	外4必(西洋史) 歴4必	通年	4	佐々木 真	722
西洋史学演習II 演習II	外4必(西洋史) 歴4必	通年	4	伏島 正義	723
考古学演習II 演習II	考4必 歴4必	通年	4	飯島 武次	723
考古学演習II 演習II	考4必 歴4必	通年	4	酒井 清治	724
考古学演習II 演習II	考4必 歴4必	通年	4	設楽 博己	724
考古発掘実習	考3必 歴3必(考古学)	通年	2	酒井 清治 飯島 武次 設楽 博己	725
日本史史料講読I	日2選必 外234選 考234選 歴2選必(日本史) 歴234選(東洋史西洋史考古学)	通年	4	瀧音 能之	725
日本史史料講読II	日2選必 外234選 考234選 歴2選必(日本史) 歴234選(東洋史西洋史考古学)	通年	4	久保田 昌希	726
日本史史料講読III	日2選必 外234選 考234選 歴2選必(日本史) 歴234選(東洋史西洋史考古学)	通年	4	中野 達哉	727
日本史史料講読IV	日2選必 外234選 考234選 歴2選必(日本史) 歴234選(東洋史西洋史考古学)	通年	4	小泉 雅弘	727
古文書研究I 古文書講読I	日234選必 外234選 考234選 歴234選	通年	4	浅倉 直美	728
古文書研究II 古文書講読II	日234選必 外234選 考234選 歴234選	通年	4	小高 昭一	729

記録史科学I	日234選必 外234選 考234選	通年	4	松本 信道 久保田 昌希 中野 達哉	730
古文書学	歴234選				
記録史科学II	日234選必 外234選 考234選	通年	4	熊本 史雄 小泉 雅弘	731
東洋史文献史料講読I	外23選必 (東洋史) 外234選 (西洋史) 日234選 考234選	通年	4	石井 仁	732
東洋史史料講読I	歴2選必 (東洋史) 歴234選 (日本史西洋史考古学)				
東洋史文献史料講読II 東洋史史料講読I				休講	
東洋史文献史料講読III	外23選必 (東洋史) 外234選 (西洋史) 日234選 考234選	通年	4	中村 淳	733
東洋史史料講読I	歴2選必 (東洋史) 歴234選 (日本史西洋史考古学)				
東洋史文献史料講読IV 東洋史史料講読I				休講	
東洋史文献史料講読V	外23選必 (東洋史) 外234選 (西洋史) 日234選 考234選	通年	4	杉山 清彦	734
東洋史史料講読I	歴2選必 (東洋史) 歴234選 (日本史西洋史考古学)				
東洋史文献史料講読VII 東洋史史料講読I				休講	
東洋史文献史料講読VII	外23選必 (東洋史) 外234選 (西洋史) 日234選 考234選	通年	4	渡邊 義浩	735
東洋史史料講読II	歴2選必 (東洋史) 歴234選 (日本史西洋史考古学)				
東洋史文献史料講読VIII 東洋史史料講読II				休講	
東洋史文献史料講読IX	外23選必 (東洋史) 外234選 (西洋史) 日234選 考234選	通年	4	石川 重雄	736
東洋史史料講読II	歴2選必 (東洋史) 歴234選 (日本史西洋史考古学)				
東洋史文献史料講読X 東洋史史料講読II				休講	

東洋史文献史料講読XI	外23選必（東洋史） 外234選（西洋史） 日234選 考234選	通年	4	上田 裕之	737
東洋史史料講読II	歴2選必（東洋史） 歴234選（日本史西洋史考古学）				
東洋史文献史料講読XI 東洋史史料講読II				休講	
東洋史文献史料講読XII 東洋史史料講読II				休講	
西洋史文献史料講読I	外23選必（西洋史） 外234選（東洋史） 日234選 考234選	通年	4	伏島 正義	738
西洋史史料講読I	歴2選必（西洋史） 歴234選（日本史東洋史考古学）				
西洋史文献史料講読II 西洋史史料講読I				休講	
西洋史文献史料講読III	外23選必（西洋史） 外234選（東洋史） 日234選 考234選	通年	4	佐々木 真	739
西洋史史料講読I	歴2選必（西洋史） 歴234選（日本史東洋史考古学）				
西洋史文献史料講読IV 西洋史史料講読I				休講	
西洋史文献史料講読V	外23選必（西洋史） 外234選（東洋史） 日234選 考234選	通年	4	大城 道則	740
西洋史史料講読I	歴2選必（西洋史） 歴234選（日本史東洋史考古学）				
西洋史文献史料講読VI 西洋史史料講読I				休講	
西洋史文献史料講読VII	外23選必（西洋史） 外234選（東洋史） 日234選 考234選	通年	4	井上 文則	741
西洋史史料講読I	歴2選必（西洋史） 歴234選（日本史東洋史考古学）				
西洋史文献史料講読VIII 西洋史史料講読II				休講	

西洋史文献史料講読IX	外23選必(西洋史) 外234選(東洋史) 日234選 考234選	通年	4	菊池 紘一	741
西洋史史料講読II	歴2選必(西洋史) 歴234選(日本史東洋史考古学)				
西洋史文献史料講読X 西洋史史料講読II				休講	
西洋史文献史料講読XI	外23選必(西洋史) 外234選(東洋史) 日234選 考234選	通年	4	土方 史織	742
西洋史史料講読II	歴2選必(西洋史) 歴234選(日本史東洋史考古学)				
西洋史文献史料講読XII 西洋史史料講読II				休講	
考古学実習(写真)	歴234選必(考古学) 考234選必	通年	2	塚原 明生	742
考古学実習(測量)	歴234選必(考古学) 考234選必	通年	2	古庄 浩明	743
考古学実習(実測)	歴234選必(考古学) 考234選必	通年	2	上敷領 久	743
考古学実習(情報)	歴234選必(考古学) 考234選必	通年	2	小柳 美樹	744
日本古代史	日外考歴234選	通年	4	瀧音 能之	744
日本中世史	日外考歴234選	通年	4	久保田 昌希	745
日本近世史	日外考歴234選	通年	4	中野 達哉	745
日本近代史	日外考歴234選	通年	4	熊本 史雄	746
日本史特講I【〔古代〕】	日外考歴234選	通年	4	加藤 謙吉	747
日本史特講II【〔古代〕】	日外考歴234選	通年	4	古谷 紋子	747
日本史特講III【〔中世〕】	日外考歴234選	通年	4	小松 寿治	748
日本史特講IV【〔中世〕】	日外考歴234選	通年	4	黒田 基樹	749
日本史特講V【〔近世〕】				休講	
日本史特講VI【〔近世〕】	日外考歴234選	通年	4	出口 宏幸	750
日本史特講VII【〔近代〕】	日外考歴234選	通年	4	熊本 史雄	750
日本史特講VIII【〔近代〕】	日外考歴234選	通年	4	岸本 昌也	751
東洋史各説I【〔古代史〕】				休講	
東洋史各説II【〔古代史〕】	日外考歴234選	通年	4	山口 洋	752
東洋史各説III【〔中世史〕】	日外考歴234選	通年	4	石田 肇	753
東洋史各説IV【〔近世史〕】	日外考歴234選	通年	4	佐藤 文俊	754
東洋史各説V【〔近・現代史〕】	日外考歴234選	通年	4	趙 軍	755
東洋史各説VI【〔アジア諸民族史〕】	日外考234選	通年	4	奈良 修一	756
東洋史学史	歴234必(東洋史) 歴234選(日本史西洋史考古学)				
東洋史特講I【〔古代史〕】	日外考歴234選	通年	4	石井 仁	757

東洋史特講II【〔中世史〕】	日外考歴234選	通年	4	中村 淳	758
東洋史特講III【〔近世史〕】	日外考歴234選	通年	4	杉山 清彦	758
東洋史特講IV【〔近・現代史〕】	日外考歴234選	通年	4	藤谷 浩悦	759
東洋史特講V【〔アジア諸民族史〕】	日外考歴234選	通年	4	片岡 一忠	760
東洋史特講VI【〔アジア諸民族史〕】	日外考歴234選	通年	4	松本 弘	761
西洋史各説I	日外考歴234選	通年	4	庄司 啓一	762
西洋史各説II				休講	
西洋史各説III	日外考歴234選	通年	4	長谷川 岳男	763
西洋史各説IV	日外考234選	通年	4	佐々木 真	764
西洋史学史	歴234必（西洋史） 歴234選（日本史東洋史考古学）				
西洋史特講I				休講	
西洋史特講II	日外考歴234選	通年	4	伏島 正義	765
西洋史特講III				休講	
西洋史特講IV	日外考歴234選	通年	4	白川 耕一	765
西洋史特講V				休講	
西洋史特講VI	日外考歴234選	通年	4	大城 道則	766
西洋史特講VII				休講	
西洋史特講VIII	日外考歴234選	通年	4	早川 理穂	767
考古学各説I				休講	
考古学各説II	日外考歴234選	通年	4	近藤 英夫	768
考古学各説III				休講	
考古学各説IV	日外考歴234選	通年	4	三宅 俊彦	768
考古学特講I				休講	
考古学特講II	日外考歴234選	通年	4	酒井 清治	769
考古学特講III				休講	
考古学特講IV	日外考歴234選	通年	4	設楽 博己	769
考古学特講V				休講	
考古学特講VI	日外考歴234選	通年	4	上敷領 久	770
考古学特講VII				休講	
考古学特講VIII	日外考歴234選	通年	4	矢野 和之	771
日本仏教史	日外考歴234選	通年	4	松本 信道	771
日本文化史	日外考歴234選	通年	4	吉田 政博	772
西洋文化史	日外考歴234選	通年	4	石田 恵子	773
有職故実	日外考歴234選	通年	4	近藤 好和	773
日本民俗学	日外考歴234選	通年	4	谷口 貢	774
歴史地理学	日外考歴234選	通年	4	小田 匡保	775
人文地理学概説	日外考歴234選	通年	4	若林 宏宗	776
地誌学	日外考歴234選	通年	4	川元 豊和	777
地誌学	日外考歴234選	通年	4	新井 祥穂	778
地誌学	日外考歴234選	通年	4	山口 太郎	779
哲学史	日外考歴234選	通年	4	山口 祐弘	780
中国歴史文学	日外考歴234選	通年	4	田熊 信之	781
仏教美術	日外考歴234選	通年	4	村松 哲文	782

西域美術史	日外考歴234選	通年	4	松平 美和子	783
美術史概説	日外考歴234選	通年	4	北野 良枝	783
ラテン語	日外考歴234選	通年	4	上野 勝広	784
ギリシャ語	日外考歴234選	通年	4	長谷川 岳男	784

科目名	日本史学基礎演習 基礎歴史学	開講	通年	単位	4
配当	日1必 歴1必				
担当者名	熊本 <sup>くまもと</sup> 史雄 <sup>ふみお</sup>				

### 講義のねらい

大学で歴史学を専攻していくうえで基礎となる、「歴史を読み解く作法」を学んでいく。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 前期：1回 授業の進め方などについての説明／講読史料について  
2回 「歴史学」とは？  
3回 「史料」とは？ ～「史料」と「資料」の間～  
4回 図書館ツアー（ビデオ鑑賞、文献の検索方法）  
5回 史料批判の方法 ～「外的批判」と「内的批判」～  
6回 「工具書」について ～参考文献ガイダンス～  
7回 史料講読『岐路に立つ外交官』①  
8回 " ②  
9回 " ③  
10回 " ④  
11回 研究対象の見つけ方、探し方 ～問題の所在と論点の提示方法～  
12回 論文・レポートの書き方  
13回 レジュメの作り方

後期：夏期休暇中の課題（レポート）に基づく「ミニ発表」（レジュメを用いて）を全員で順番に行う。

### 履修上の留意点

歴史には「問」がある。「暗記する歴史」ではなく、「考える歴史」、「発見する歴史」を身につけるきっかけをつかんで欲しい。

### 成績評価の方法

夏期休暇中に課すレポートと後期の報告内容、さらには出席状況、授業態度を総合的に勘案して判断する。

### 教科書

とくに指定しない（教師側で準備する）。

### 参考書等

適宜紹介する。

### その他

前期は講義形式で進め、後期は演習形式で行う。解説・補足説明などは随時織り交ぜていく。

科目名	日本史学基礎演習 基礎歴史学	開講	通年	単位	4
配当	日1必 歴1必				
担当者名	こいずみ まさひろ 小泉 雅弘				

講義のねらい

歴史研究を行うための基礎的方法を習得することを目的とし、あわせて社会における歴史学の活用について理解を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

史料批判・史料解釈・史料操作について、具体的な例をあげながら学び、日本史研究の方法論を学習する。さらに後半では、絵画資料の活用、歴史学と地域文化財、史料の保存問題、歴史学の応用と地域社会など、テーマを設けて講義する。

履修上の留意点

歴史資料は情報やデータと言い換えることが可能である。そのような資料を基にしてどのような結論を導き出していくのか。歴史研究を学ぶということは考え方を学ぶことであり、この点に留意して授業にのぞんでほしい。

成績評価の方法

出席状況とレポートによって評価する。遅刻は減点。

教科書

特になし。必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

小泉雅弘『下町の学芸員奮闘記—文化財行政と生涯学習の最前線—』（文芸社）。その他適宜紹介する。

科目名	日本史学基礎演習 基礎歴史学	開講	通年	単位	4
配当	日1必 歴1必				
担当者名	なかの たつや 中野 達哉				

講義のねらい

歴史研究の現状について紹介し、大学で学び研究する「歴史学」がいかなる学問であるか、各自が認識し、考えることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

高校の教科書の記述の変化、史料や先行研究の調べ方、歴史と歴史学・歴史研究、日本人の歴史観、自国史（日本史）と世界史、時代区分の再検討、地域と歴史研究など、いくつかのテーマを設け、それについて講義する。なお、夏期休暇にあたってはレポートを課す。

履修上の留意点

授業は必ず出席すること。遅刻をしない。

成績評価の方法

夏期休暇中・年度末などに課すレポートによる。出席状況・授業への態度も重視する。

教科書

必要な資料を授業時に配布する。教科書はなし。



科目名	西洋史学基礎演習 基礎歴史学	開講	通年	単位	4
配当	外1必(西洋史) 歴1必				
担当者名	おおしろ みちのり 大城 道則				

講義のねらい

大学で西洋史学を学習し、4年間で立派な卒業論文を仕上げるために必要な、基礎的な技術を習得することを目的とした授業である。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1年間を通じて、以下のような内容を扱う。
- a) 図書館の使い方
  - b) インターネットの利用方法
  - c) 歴史学に関する文献(書籍や研究論文)の探し方
  - d) レポートの書き方と提出されたレポートの添削
  - e) 授業での発表
  - f) 外国語文献の講読

履修上の留意点

西洋史コースの出発点となる授業であり、履修者にレポートの提出や発表などを行ってもらい、担当教員との交流の中で必要な技術や知識の習得を目指す。そのため、受講生の授業への積極的な参加が重要であり、必ず毎時間出席すること。原則として欠席は認めない。

成績評価の方法

成績は授業中の発表やレポート、必要に応じて行うテストの結果などを総合し、判定する。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

必要に応じて指示する。

その他

授業は担当教員による解説と、それに対応して受講生が行う具体的作業を繰り返すことにより進行する。

科目名	西洋史学基礎演習 基礎歴史学	開講	通年	単位	4
配当	外1必(西洋史) 歴1必				
担当者名	ささき まこと 佐々木 真				

講義のねらい

大学で西洋史学を学習し、4年間で立派な卒業論文を仕上げるために必要な、基礎的な技術を習得することを目的とした授業です。

講義の内容・  
授業スケジュール

1年間を通じて、以下のような内容を扱います。

- a) 図書館の使い方
- b) インターネットの利用方法
- c) 歴史学に関する文献(書籍や研究論文)の探し方
- d) レポートの書き方と提出されたレポートの添削
- e) 授業での発表
- f) 外国語文献の講読

履修上の留意点

西洋史コースの出発点となる授業であり、履修者にレポートの提出や発表などを行ってもらい、担当教員との交流の中で必要な技術や知識を習得してもらいます。そのため、受講生の授業への積極的な参加が重要であり、必ず毎時間出席して下さい。原則として欠席は認めません。

成績評価の方法

成績は授業中の発表やレポート、必要に応じて行うテストの結果などを総合し、判定します。

教科書

教科書は特に指定しません。

その他

授業は担当教員による解説と、それに対応して受講生が行う具体的作業を繰り返すことにより進行します。

科目名	東洋史学基礎演習 基礎歴史学	開講	通年	単位	4
配当	外1必(東洋史) 歴1必				
担当者名	なかむら じゆん 中村 淳				

#### 講義のねらい

4年間、大学において東洋史を学び、研究していく上で必要となる基本的な知識と技術を身につける。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

授業は、教員が基本事項等を説明する講義形式と、学生がそれに基づいて実際に作業を行なう演習形式との二本立てで進める。内容はおおむね以下の通りを予定している。

##### [前期]

- ・ガイダンス —— 4年間の流れとこの1年間の位置
- ・図書館の利用法 —— 見学と情報機器体験
- ・電腦東洋史学 —— インターネットと東洋史学
- ・文献目録を作る —— 学問としての東洋史学への第一歩
- ・研究発表(1) —— テーマを決めて発表をしてみる
- ・レポートの書き方 —— 情報をまとめ相手に伝えるということ

##### [夏期]

- ・夏期レポートの作成 —— 実際に作成してみる

##### [後期]

- ・レポートへの総評 —— 到達点と課題を確認する
- ・論文輪読会 —— 工具書を実際に使ってみる
- ・研究発表(2) —— 発表と質疑応答に慣れる
- ・東洋史学史 —— 東洋史学にも歴史がある
- ・史籍解題 —— 史料の海で溺れないように
- ・最終レポートの作成 —— 「4分の1」の成果

#### 履修上の留意点

とにもかくにも出席重視。4月1回目の授業から必ず出席すること。また随時、発表やレポート等を課す。

#### 成績評価の方法

出席点に、研究発表等の平常点と、レポートの評価を加味して、総合的に判断する。

#### 教科書

教科書はとくに指定しない。必要な資料は配付する。

#### 参考書等

授業中に随時、参考書を紹介する。

#### その他

随時、図書館やパソコン教場を使用する。

科目名	東洋史学基礎演習 基礎歴史学	開講	通年	単位	4
配当	外1必(東洋史) 歴1必				
担当者名	すぎやま きよひこ 杉山 清彦				

#### 講義のねらい

東洋史学とは「東洋」を対象とする「歴史学」である。では、「東洋」とは何か。「歴史学」とは一般にいう“歴史”と何が、どう違うのか。どのような方法でそれに取り組むのか、また先人はどう取り組んできたか。このようなことを念頭に、1年間をかけて、大学において「東洋史」を学びつつ自ら研究していくための基本的な知識と技術の修得をめざす。

#### 講義の内容・授業スケジュール

内容は、おおむね以下を予定している。

- ・「歴史」と「歴史学」
- ・東洋史学とは何か
- ・史料とは何か
- ・文献・用語の調べ方：図書館と工具書
- ・論文・レポートの書き方
- ・口頭発表とレジュメ
- ・東洋史学の歩み

講義を中心に進めつつ、受講生にも辞書を引く、文献を探すなど実際に作業を行ないその結果を報告してもらう。受講生には、積極的に参加する姿勢を求める。

#### 履修上の留意点

今後4年間の基礎となる知識と技術の獲得が目的であるので、4月初回から必ず出席し、毎回出席を怠らないこと。欠席は原則として認めない。

#### 成績評価の方法

出席点と平常点、および随時課外レポート・課題作業等を総合して評価する。

#### 教科書

特に指定しない。必要な資料は配布し、参考書等は適宜紹介する。

#### その他

図書館・PC教場・専門書店など学内外に出かけて実地学習することもある。

科目名	考古学基礎演習 基礎歴史学	開講	通年	単位	4
担当	考1必 歴1必				
担当者名	設楽 博己				

#### 講義のねらい

考古学の諸問題 標記のテーマにもとづいて、研究発表の方法と実際を学ぶ。研究発表に際しては、問題提起、学史の理解、適切な資料の提示、論理的な分析によって、結論を明快に述べる必要がある。そのためには、わかりやすいレジュメの作成、プレゼンテーションなど他人を納得させる客観的な技術を身につける必要がある。また、司会のしかたを学んだり、他人の発表を聞いて、質問をする癖を身につける。考古学は、発掘調査などにもとづく資料を丹念に分析して歴史を復元する実証的な学問である。発掘調査は日々おこなわれ、新たな資料が続々と現れるので、常に新しい情報に敏感になる必要があり、そうした力も養う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

まず、前期は私がいくつかの研究発表をおこなって、それに対する質疑応答をおこなう。前期の後半から後期は、受講者が研究発表を行ない、討論する。発表は、『文化財発掘出土情報』の中から、好きな記事を選び、それについて調べておこなう。

#### 履修上の留意点

講義中の私語は控えるように。真剣に聞いている者の迷惑になる者は退席を願うので、要注意。

#### 成績評価の方法

発表及び中間レポートと、出席などによる評価。

#### 教科書

とくになし。

#### 参考書等

図書館備え付けの『文化財発掘出土情報』。

科目名	日本史概説 日本史概説I(古代・中世)	開講	通年	単位	4
担当	日1必 外1234選必 考1234選必 歴1234必(日本史) 歴1234選必(東洋史西洋史考古学)				
担当者名	まつもと のぶみち 松本 信道				

#### 講義のねらい

日本の古代・中世史の歴史的展開の過程を講述することを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

本講座では、飛鳥・奈良・平安・鎌倉・室町・戦国時代の政治・経済・文化などの諸様相について、関連史料の具体的な解釈を通じて概観したい。

#### 履修上の留意点

受動的でなく、主体的に学習してほしい。

#### 成績評価の方法

前期・後期の2回の試験の総合点で成績を評価する。

#### 参考書等

『史料による日本の歩み 古代編』(吉川弘文館)  
青木和夫『日本古代史』(日本放送出版会)  
笹山晴生『日本古代史講義』(東京大学出版会)  
佐々木潤之介『概論 日本歴史』(吉川弘文館)

#### その他

授業の方法は講義形式で進める。

科目名	日本史概説 日本史概説II (近世・近代)	開講	通年	単位	4
配当	考1234選必 歴1234必 (日本史) 歴1234選必 (東洋史西洋史考古学)				
担当者名	出口 宏幸				

講義のねらい

日本史概説といいながら、戦国時代～近代初期までを中心にした内容です。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期の授業は、戦国時代から近世前期を中心に講義する予定です。戦国時代を混乱と見るだけでなく、あらたな社会を創り出す過程という視点から、戦国の世に生きた様々な人々の姿を追ってみたいと考えています。そして、戦国の世が閉じられ、近世社会へ移行する過程で、どのような社会的変化がおこったのか。都市と村落という視点をもちつつ話を進めます。

後期の授業は、近世中後期から近代初期にかけて講義する予定です。近世社会が成熟し、諸制度が整備されると、文書による支配が展開します。これは、近世社会の特徴のひとつで、領主は文書による支配を実現します。財政基盤である年貢を、村からいかに徴収するかは最重要課題で、そのための仕組が村に構築されます。行政村として存在した近世村に着目することで、近世社会における村の重要性を解説します。また、近代社会についても近世社会の諸制度が、いかに変容し受け継がれたのか、また否定されたのか考えます。

歴史学では、史(資)料に基づき、時代像を実証的に構築することが重要です。古文書を読むことは、当時の人との「会話」であり、追体験することといえます。歴史と向き合う時間は、貴重かつ重要な「体験」といえるでしょう。

成績評価の方法

試験80%、平常点20%

教科書

必要に応じ、授業中に指示します。

科目名	日本史概説 日本史概説II (近世・近代)	開講	通年	単位	4
配当	考1234選必 歴1234必 (日本史) 歴1234選必 (東洋史西洋史考古学)				
担当者名	小泉 雅弘				

歴  
史

講義のねらい

近世から現代にいたる日本の歴史について概説する。その際、政治・社会・文化・経済・外交などの関連性を重視したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期では幕藩体制の成立から幕末期までを対象とし、近世国家の形成過程と解体について講義する。後期では、明治維新を契機とする近代国民国家の成立、展開過程を取り扱う。

履修上の留意点

歴史的事象を個別のものとして捉えるのではなく、広い視野で考える姿勢を身につけてほしい。

成績評価の方法

定期試験で評価し、出席状況を加味する。

教科書

特になし。

参考書等

講義内容にあわせて随時紹介する。

科目名	東洋史概説 東洋史概説I(古代・中世)	開講	通年	単位	4
配当	外1必(東洋史) 日1234選必 外1234選必(西洋史) 考1234選必 歴1234必(東洋史) 歴1234選必(日本史西洋史考古学)				
担当者名	石井 仁 <small>いしい ひとし</small>				

#### 講義のねらい

歴史教科としての「東洋史」は、近代日本におけるアジア・オリエン研究＝東洋学を母胎としており、この学問・研究の成立と発展は、明治以来の日本の対アジア政策と密接にリンクしています。講義では、東洋史の生い立ちをたどりつつ、アジアの歴史を中国古代・中世史、ならびに日中関係史を柱に考察します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1～4) 東洋史とは何か  
(5～7) 中国文明の始まり  
(8～10) 秦漢帝国の成立  
(11～13) 漢の武帝とその時代  
(後期) (14～15) 三国志の世界(1)  
(16～17) 三国志の世界(2)  
(18～20) 東晋南朝の貴族制  
(21～23) 五胡十六国から隋唐帝国へ  
(24～26) 補論

#### 履修上の留意点

講義を通して、歴史を学ぶことの意味を考えて欲しい。

#### 成績評価の方法

前期レポート(40%)と学期末試験(60%)の成績を基準にしますが、出席状況を加味することもあります。

#### 教科書

使用しません。配布プリントをもとに講義を進めます。

#### 参考書等

講義で随時紹介します。

#### その他

適宜、映像資料も使います。

科目名	世界史概説 東洋史概説II (近世・近代)	開講	通年	単位	4
配当	考1234選必 歴1234必 (東洋史) 歴1234選必 (日本史西洋史考古学)				
担当者名	こばやし そうぼち 小林 惣八				

講義のねらい

アジア史を基点に世界史の歩みを多角的にとらえることを主眼とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

その場合の取り扱い方法として、同時代史に力点を置いて講義する。  
例えば、  
・中国の秦漢時代史とローマ帝国の盛衰  
・モンゴル民族の発展とヨーロッパ騎士団との対立  
・清の黄金時代とヨーロッパの市民革命…など10項目を設定する。ときに、ディスカッションや課題学習も考慮に入れる。

成績評価の方法

前期・後期のレポート提出と試験・出欠状況の総合評価とする。

教科書

特別定めないが、世界史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを勧める。

その他

出席を重視する。



科目名	西洋史概説 西洋史概説I(古代・中世)	開講	通年	単位	4
担当	外1必(西洋史) 日1234選必 外1234選必(東洋史) 考1234選必 歴1234必(西洋史) 歴1234選必(日本史東洋史考古学)				
担当者名	<small>ささき まこと</small> 佐々木 真				

#### 講義のねらい

ヨーロッパ史の流れのなかで、いくつかの題材をとりあげて、その内容についての歴史学上の見解の変遷を解説します。それにより、歴史学の学問的特質や、現在を生きる我々と過去の関係について検討を加えていきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (前期)
- (1) はじめに
  - (2) ギリシア史の理解
  - (3) ローマ帝国の意義
  - (4) アレクサンドロス大王の帝国
  - (5) 前期のまとめ
- (後期)
- (1) 中世社会について
  - (2) キリスト教と民間信仰について
  - (3) 近代ヨーロッパの成立
  - (4) 近代ヨーロッパへの視点
  - (5) まとめ

#### 履修上の留意点

週1回の講義で、具体的な事件を挙げつつヨーロッパ史全体の流れを述べることは不可能であり、講義では抽象的な解説が多くなります。そのため、ヨーロッパ史に関する具体的な歴史知識をある程度有していることを前提として講義をするので、高等学校の世界史程度の知識は自ら身につけておいて下さい。また、講義中に紹介された書籍をなるべく多く読むことを希望します。

#### 成績評価の方法

成績は前期末のレポートと学年末試験および出席により判定します。

#### 教科書

教科書は特に指定しません。

#### 参考書等

参考書等は講義中に、必要に応じて紹介します。

#### その他

授業は講義形式で行い、随時参考資料を配布します。

科目名	日本考古学概説 考古学概説I(日本)	開講	通年	単位	4
配当	考12必 日1234選必 外1234選必 歴1234必(考古学) 歴1234選必(日本史東洋史西洋史)				
担当者名	酒井 清治 <small>さかい きよじ</small>				

#### 講義のねらい

日本の考古学は発掘も膨大にあり日々新しい資料も蓄積されている。その資料はどのような意味があるのか、資料からどのようなことが分かるのか、日本の考古学の中に位置づけ考古学とは何かを理解してもらおう。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

考古学の遺跡・遺物を時代を追って取り上げ、日本考古学を時代史的に概観する。講義は最初に考古学とは何かにふれて前期は研究史や研究法、考古学とは何か、考古学の年代の決め方を中心に述べる。後期には旧石器時代から縄文時代・弥生時代・古墳時代を概観する。また、前期には授業の始めに最新発掘資料の写真・図を見ながら考古学の理解を深めてもらう。

#### 履修上の留意点

遅刻厳禁、私語厳禁。

#### 成績評価の方法

定期試験とレポートで採点。平常点も加味する。

#### 参考書等

鈴木公雄『考古学入門』(東大出版社)  
安藤雅雄『考古学キーワード』(有斐閣)  
江上波夫『考古学ゼミナール』(山川出版社)  
そのほか授業中に解説しながら紹介する。

#### その他

講義の中でOHPを使用し、図や写真あるいは実物資料を利用し理解を深める。

科目名	外国考古学概説 考古学概説II(外国)	開講	通年	単位	4
配当	考12必 日1234選必 外1234選必 歴1234必(考古学) 歴1234選必(日本史東洋史西洋史)				
担当者名	飯島 武次 <small>いいじま たけつぐ</small>				

#### 講義のねらい

東洋考古学概説の講義を行う。地域的には中国を中心に話をし、中国考古学研究の現状を理解してもらおう。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

時代的には、旧石器時代から開始して、新石器時代・殷周時代・秦漢時代・南北朝時代を経て、隋唐時代までの講義を完了することを目標に授業をすすめていく。

#### 履修上の留意点

欠席・遅刻をしないこと。

#### 成績評価の方法

成績評価は学年末の試験で行うが、授業内容および試験の内容は、考古学専攻者としては一般的な常識であるのでよく勉強して臨むこと。

#### 参考書等

飯島武次『夏殷文化の考古学研究』(山川出版社)1985年  
飯島武次『中国新石器文化研究』(山川出版社)1991年  
飯島武次『中国周文化考古学研究』(同成社)1998年  
飯島武次『中国考古学概論』(同成社)2003年

#### その他

スライド・Powre Point を多用する予定である。

科目名	世界史概説 西洋史概説II (近世・近代)	開講	通年	単位	4
配当	考1234選必 歴1234必 (西洋史) 歴1234選必 (日本史東洋史考古学)				
担当者名	井村 行子				

#### 講義のねらい

西洋史を中心に世界史を概説する。できるだけ情報量を制限して、考え方の筋道がつかみやすい授業を心がけたい。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1講 古代地中海世界 (1)
- 第2講 古代地中海世界 (2)
- 第3講 中世ヨーロッパ世界 (1)
- 第4講 中世ヨーロッパ世界 (2)
- 第5講 ビザンツ帝国と正教世界
- 第6講 近世ヨーロッパ (1)
- 第7講 近世ヨーロッパ (2)
- 第8講 近世ヨーロッパの社会経済 (1)
- 第9講 近世ヨーロッパの社会経済 (2)
- 第10講 オスマン帝国と東ヨーロッパ
- 第11講 革命の時代
- 第12講 自由主義と発展主義
- 第13講 諸国民の春
- 第14講 帝国と国民統合
- 第15講 ベル・エポック
- 第16講 ハプスブルク帝国とラテンアメリカ
- 第17講 世界戦争の衝撃
- 第18講 大衆動員の時代
- 第19講 大恐慌と一国主義的分立状況の出現
- 第20講 社会主義的ユートピア
- 第21講 戦後世界と冷戦
- 第22講 冷戦の終結と新世界秩序
- 第23講 エスニシティとジェンダー

#### 成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績による。

#### 教科書

近藤和彦編『西洋世界の歴史』(山川出版社、1999) 3,200円

#### 参考書等

開講時に世界史全般に関する文献目録を配布する。個々のテーマについてはその都度、必要性に応じて適宜紹介する。

#### その他

歴史映画のビデオ等によって歴史的なイメージの喚起に努めたいが、扱わなければならない事項は多く、時間は限られているので、現実にはなかなかむずかしい。

科目名	史学概論	開講	通年	単位	4
担当	考1必 日1234選必 外1234選必 歴234必				
担当者名	伏島 正義				

講義のねらい

「歴史とは何か。」「歴史学は学問たりうるのか。」等の質問にたいする答えには公式な正解があるわけではない。各人が自身で探求するほかない。本講では、歴史はどのように認識されてきたのかについて、古代以来のその道筋を概略し、辿ってみる。

講義の内容・授業スケジュール

まず、現代における歴史認識の一般的な例として、たとえば、ドロイゼン、クローチェ、ブロック、フェーブル、ラッツェル、ブラーシュ、ホイジンガー、カーなどの見解を紹介する。次に、古代から近代までの歴史認識の展開と概略を、順次中国、日本、西洋においてみる。

もとより各地域それぞれにおける詳細な史的論点は、当該の授業に委ねるものの、本講ではそれぞれの地域においては、それぞれ歴史認識の特徴のあることを理解したい。そしてその特徴の意義を考え、広く古代から現代、そして未来に続く人間の歴史を考えたい。

履修上の留意点

本講は「歴史とは何か。」を自身で考えるために、その参考となるように古代以来の考え方を概観するものであり、歴史についての狭義の知識を詰め込もうという性格のものではない。したがって本講を受講するに当たって必要なのは自分自身で考えようとする心構えであり、特別な歴史の知識の多寡ではない。

成績評価の方法

これまでは概して、前期終了のころ提出していただくレポートと、学年末テストに拠って成績の評価をした。

教科書

教科書は特に定める必要はない。前期の講義開始の最初の授業で掲げる参考書、また講義の進行の途上でその都度必要に応じて指摘する参考書を読んでいただきたい。

科目名	日本史学史	開講	通年	単位	4
担当	日12必 外234選 考234選 歴234必(日本史) 歴234選(東洋史西洋史考古学)				
担当者名	廣瀬 良弘				

講義のねらい

現在、歴史認識の問題は国際的な問題となっている。同時代・同時期・同事件においても国によってその認識は異なっている。日本列島の歴史においても、時代・地域・立場によって異なる。本講座においては、日本列島の歴史認識が時代・地域・編者によって、どのように変化してきたかを考察し、歴史を視る目、歴史的事象を分析する目を養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1~2) 記憶の保存と継承・過去への認識 (3~4) 中国の正史 (5~6) 8世紀以前の修史 (7~9) 六国史 (10) 私選の歴史 (11~13) 中世の史書〈愚管抄・神皇正統記・太平記〉

(後期) (14~15) 神道・儒学 (16~19) 近世の史書〈幕府の修史・大日本史・国学者の歴史〉 (20~22) 近代の日本史学 (23~26) 現代の日本史学

履修上の留意点

時代によって「日本史」の把握の仕方がダイナミックに変化していくことを感じて欲しい。

成績評価の方法

定期試験・出席・レポートの点を合算して評価する。とくに、出席点を重視する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

その都度、提示する。

科目名	考古学史	開講	通年	単位	4
配当	考12必 日234選 外234選 歴234必(考古学) 歴234選(日本史東洋史西洋史)				
担当者名	こやなぎ よしき 小柳 美樹				

#### 講義のねらい

日本考古学研究の歴史を通して、研究の方法や論理構築の仕方、議論・論争の展開について学ぶ。また近年の考古学の発見が、そうした学史に照らし合わせれば、どのような意義を有しているのかも確認する。そして、自己の研究への姿勢、理念、方法論の確立を構築する一助となることを望む。

#### 講義の内容・授業スケジュール

日本考古学の歩みを発見・発掘調査・研究者列伝・論争などを軸に論じる。  
前期は明治時代までの考古学史  
後期は大正時代以降の考古学史を論じる。

#### 履修上の留意点

限られた時間内では全てを言及することができないため、授業の中で取りあげられた文献や調査報告書に自主的に積極的に目を通し、博物館などで実物資料を観察して復習して欲しい。授業の理解度や興味の深さが一層増すはずである。  
学生諸君には考古学という枠組みをこえたさまざまな領域に興味を持つことを期待したい。

#### 成績評価の方法

夏季休暇のレポート作成(試験を受けることができる条件)  
学年末の試験  
出席はあくまで参考

#### 教科書

なし(レジュメを準備し、授業時に配布している)

#### 参考書等

授業時に随時紹介していく

科目名	日本史学演習I 演習I	開講	通年	単位	4
配当	日3必 歴3必				
担当者名	久保田 <sup>くぼた</sup> 昌希 <sup>まさき</sup>				

#### 講義のねらい

本講座は特定の史料の講読を受講者自身が分担し発表形式で行い、他の受講者との内容討論を行うことによって、受講者（発表者）自身はもちろん受講者全体の研究方法や問題意識を高めることを目的としている。受講される皆さんは積極的に取り組んでほしい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

本講座では数年来、戦国大名関係の文書と取り組んでおり、そのなかでもとくに東国戦国大名（今川・武田・北条・上杉氏）を対象としている。その理由は発給文書の数も多く、また内容も多岐にわたっており、しかも研究史としての蓄積も比較的多いと思われるからである。演習では一点の文書を中心に、発表担当者には、そこから読み取れることを研究史も含めて、できるだけ調べてくることを課したい。それによって来るべき卒論への準備段階として、史料への認識を大いに持っていただきたいと考えている。

#### 履修上の留意点

受講人数によっては補講を実施することがある。

#### 成績評価の方法

定期試験は行わない。発表の内容、提出レポート、出席状況などによる。

#### 教科書

適宜史料コピーを配布する。

#### 参考書等

適宜紹介する。また大いに図書館を利用してほしい。

#### その他

定期試験は行わない。発表の内容、提出レポート、出席状況などによる。

科目名	日本史学演習I 演習I	開講	通年	単位	4
配当	日3必 歴3必				
担当者名	熊本 <small>くまもと ふみお</small> 史雄				

講義のねらい

昭和中を中心とする近代日本の政治と外交につき、配布史料を読解、検証する作業を積み重ねることで、歴史像を自ら構築する力を養う。これら作業を、翌年に控えた卒業論文作成の準備に役立てたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

具体的には、外交史料館所蔵記録（公刊物としての『日本外交文書』を含む）や外交官、政治家の日記などを講読対象史料・文献とする。

報告者は、事項、人物、問題の背景など基礎的事項を把握したうえで、報告者自らが設定した問題となるテーマに沿って報告をする。その際、必要に応じて先行研究や関連史料なども踏まえること。さらに、参加者全員で討論し、問題に対する理解を深めていく。

履修上の留意点

配布史料や課題図書参照指定箇所には、必ず事前に目を通すように。授業冒頭には、配付史料・図書に対する感想や問題点、疑問などを、「1分間コメント」として参加者全員に手短かに述べてもらう。

成績評価の方法

出席、報告内容、授業態度などを基に総合的に判断する。

教科書

適宜史料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	日本史学演習I 演習I	開講	通年	単位	4
配当	日3必 歴3必				
担当者名	小泉 <small>こいずみ まさひろ</small> 雅弘				

講義のねらい

幕末から明治期を対象とし、受講者が当該期の研究方法を習得することを目的とする。さらに、討論を通じて日本近代史に関する理解を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は『日本の時代史』20～22の中から各自が興味のあるテーマを選び、概説発表を行う。後期は、各自が『幕末維新新論集』全12巻に掲載されている論文を講読し、担当者による報告、受講者全員による討論を行う。これらを通じて、卒業論文作成の準備としたい。

履修上の留意点

報告・討論での積極的な発言を期待する。

成績評価の方法

出席状況、発表・発言内容、学習態度などにより総合的に評価する。

教科書

該当資料をプリントして配布する。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	日本史学演習I 演習I	開講	通年	単位	4
配当	日3必 歴3必				
担当者名	たきおと よしゆき 瀧音 能之				

講義のねらい

『古事記』と共に、日本古代史の研究の不可欠の史料である『日本書紀』をテキストにして、史料の読解力や扱いかたを養成すると共に、史料を通して古代社会を構築する力を養いたいと考えています。

講義の内容・  
授業スケジュール

はじめの数回は、私が、『日本書紀』についてのガイダンスをします。そのあとは、参加者に担当した部分の報告をしてもらいます。

履修上の留意点

演習は、講義とことなり、みなさんの参加の度合いが強い授業形態です。こうした形態をプラスにするのもマイナスにするのもみなさんの熱意次第です。積極的な参加を期待します。

成績評価の方法

担当個所の報告内容、および他者の報告に対する意識によって評価します。

教科書

プリントを配布します。

科目名	日本史学演習I 演習I	開講	通年	単位	4
配当	日3必 歴3必				
担当者名	なかの たつや 中野 達哉				

講義のねらい

史料の解読・分析力、関連資料・文献の調べ方、先行研究の理解・批判力をつけ、日本近世史（織豊期～幕末期）研究のための基礎的な力を養うことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本近世史の史料は各地に所在し、しかも膨大な量があり、その多くは活字になっていない。そのため、研究にとりかかるとき、史料調査やくずし字の解読から始める必要がある。この点を踏まえ、前期は、草書で記された『朝野舊聞哀藁』（幕府が編纂した徳川氏創業の歴史書）などを取り上げて講読し、古文書に慣れるとともに、近世の社会について考える。講読は受講者が分担して解読し、関連資料・文献を調べ、授業で発表・討議する。また、後期には、各自が研究テーマを設け、研究史の整理と研究課題についてまとめ、授業で発表・討議する。なお、後期授業での発表の準備として夏期休暇中にレポートを課す。

履修上の留意点

前期の講読に際しては必ず予習し、前後期とも積極的に討議に参加することが望まれる。

成績評価の方法

授業での発表と討議、出席状況、夏期のレポートにより評価する。定期試験はなし。

教科書

前期に使用するテキストは、コピーを配布する。教科書はなし。

その他

史料の見学・調査実習なども考えたい。



科目名	日本史学演習I 演習I	開講	通年	単位	4
配当	日3必 歴3必				
担当者名	西海 賢二				

#### 講義のねらい

近世の身分制の枠組みにおさまらない種々の人々、なかでも勸進僧、巡礼・虚無僧・警女など、各地を旅（修行）した民間宗教者と、受け入れた村との関係を考える。様々な徘徊する宗教的職能者が出入した近世の村々。入り来る人々と村の関係からは、在地の民間信仰や芸能文化、支配体系のあり方も垣間見える。文献（古文書）だけが歴史を知る手がかりでない近世社会を紹介したい。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 歴史民俗資料等学の世界（私的歴史学）
- 2 言い伝えに見る宗教者
- 3 〃
- 4 〃
- 5 〃
- 6 宗教者の受け入れと統制
- 7 〃
- 8 〃
- 9 〃
- 10 宗教者の歓待—功德と出費—
- 11 〃
- 12 〃
- 13 入り来る者の狼藉と忌避—宗教的職能者の表と裏
- 14 〃
- 15 巡礼する人々—村を出て行く者たちの軌跡
- 16 〃
- 17 〃
- 18 近世民間宗教者の発生と文化
- 19 〃
- 20 定使考—歓待と忌避の境界に生きて—
- 21 〃
- 22 宗教者と地域経済—信仰集団がもたらした経済効果
- 23 〃

#### 成績評価の方法

出席70%・試験30%

#### 教科書

『近世のアウトローと同縁社会』臨川書店

#### 参考書等

『生活のなかの行道』ベネッセコーポレーションなどほか拙著30冊。

科目名	日本史学演習I 演習I	開講	通年	単位	4
配当	日3必 歴3必				
担当者名	ひろせ りょうこう 廣瀬 良弘				

#### 講義のねらい

中世史料の講読を通じて、中世の文化、すなわち戦乱の世をしたたかに生きた人びとの生活・文化・宗教等について考えます。人びとのものの考え方、慣習、禅と能・禅と食文化・禅と庭園、主従の関係、男女の関係、人びとの信仰と神や仏などについても考えたいと思います。例えば、中世の村々の寺院は文字通り駆込み寺化しておりましたが、どのような人物が駆込んで身の安全を図ろうとしたのでしょうか。敗戦者・殺人犯・離縁希望者・逆心者（反逆者）・博徒など様々です。また、「女房の密懐」（不倫）にプライド高い男たちはどのように対応したのでしょうか。戦国大名は家臣同士が争うような「困った」問題にいかに対応しようとしたのでしょうか。史料に基づく事実の究明はとても興味深いものです。少し難しいが、すぐにおもしろくなる授業にしたいと思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

どのようなものを読み進めて行くか、受講者の希望を生かしたものにしますが、以下のような授業を予定しています。

前期の第1回から14回は室町幕府法や戦国大名の分国法の中から不入・走入り（駆込）・無縁所や密懐（不倫）に関するものなど、文化史に関する条文を中心に読み進めます。

後期の第15回から26回も引き続き戦国大名の分国法を講読していきますが、さらに、戦国時代に嫁ぐ者に対して、求められる「嫁」像を説く「幻庵覚書」、弾丸が飛び交った乱世を生き抜いた「おあむ」「おきく」の物語などにも触れたいと思います。

#### 履修上の留意点

最初は少し難しいが、すぐに興味深いものになります。探究心をもって史料に臨んでほしいと思います。

#### 成績評価の方法

担当した史料に対する発表状況、他者の発表に対する質問等での積極的な参加などを考慮します。試験は行いません。

#### 教科書

随時、史料のコピーを配布します。

#### 参考書等

随時紹介してゆきますが、『くずし字解説辞典』（東京堂出版）2,200円などがあるとよいと思います。

科目名	日本史学演習I 演習I	開講	通年	単位	4
配当	日3必 歴3必				
担当者名	まつもと のぶみら 松本 信道				

講義のねらい

日本古代史の史料の輪読により、史料読解力の養成と史料を通して当該時代の歴史的状況を把握することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は『日本後紀』をテキストとして用い、輪読しながら平安時代初期の政治・経済・文化の諸様相について再検討してみたい。後期は卒業論文作成の準備過程として正倉院文書・木簡・金石文・律令その他の性格の異なる史料を輪読し、史料読解力を養成するとともに、文献の検索・収集・読解の方法と研究の進め方などについても指導する。

履修上の留意点

受講生は必ず予習して出席すること。

成績評価の方法

平常点と出席点の総合で行う。

教科書

当該部分をコピーして配布します。

参考書等

『新字源』（角川書店）

その他

授業の方法は輪読と討論のゼミ形式で行う。

科目名	東洋史学演習I 演習I	開講	通年	単位	4
配当	外3必(東洋史) 歴3必				
担当者名	石井 仁 <small>いし いのとし</small>				

#### 講義のねらい

中国史、ことに隋唐時代以前の歴史を研究する際の基本史料は、歴代王朝によって公式の記録と認定された歴史書－「正史」です。正史は司馬遷『史記』から『明史』まで24あり、「二十四史」と呼ばれています(中華民国の時に正史に加えられた『新元史』をあわせて「二十五史」ともいう)。正史はすべて本紀(帝王の伝記、および在位中の諸事件の記録)と列伝(帝王以外の重要人物の伝記、もしくは諸外国の記録)を柱とする、いわゆる紀伝体の形式で書かれています。二十四史中、魏・蜀・呉－三国時代(3世紀)を記録したものが、有名な『三国志』(西晋の歴史学者、陳寿の撰)です。講義では、この『三国志』の講読を通して、正史の読み方、あるいは正史を用いた研究方法などについての理解を深めることを目的とします。なお、『三国志』のどの巻から講読するかについては、開講後、相談のうえ決定します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

(前期)(1・2)ガイダンス (3～13)講読演習  
(後期)(14～26)講読演習

#### 履修上の留意点

予習・復習に十分な時間をとって講義に臨んでください。

#### 成績評価の方法

講義に対する取り組み方を総合的に評価しますが、レポートを課すこともあります。

#### 教科書

中国・中華書局刊行の標点本をテキストに使用します(コピーを配付)。

#### 参考書等

随時紹介します。

#### その他

テキストを受講者が輪番で漢文訓読します(必要に応じて現代語訳)。

### 歴史

科目名	東洋史学演習I 演習I	開講	通年	単位	4
配当	外3必(東洋史) 歴3必				
担当者名	杉山 清彦 <small>すぎやま きよひこ</small>				

#### 講義のねらい

研究文献・漢文史料の講読を通して、史資料の読解力・扱い方を身につけるとともに、近世中国史・内陸アジア史の基礎知識を獲得することをめざす。

#### 講義の内容・授業スケジュール

ユーラシア東方の近世・近代史に関する秀れた研究論文を取り上げ、漢文史料はじめ引用されている史料・先行研究を確認しつつ講読する。受講者各自で精読してくるとともに、輪番で担当を決めて引用史料・関連事項等に関するレジюмеを作成・報告してもらおう。最初は宮崎市定「清朝における国語問題の一面」(『宮崎市定全集14』岩波書店、1991、所収)を取り上げる。

#### 履修上の留意点

各自、漢和辞典など基本工具書必携(電子辞書は不可)。詳しくは開講時に紹介・指導する。

#### 成績評価の方法

出席状況を含む平常点とレポートにより評価する。演習であるので、毎回の出席はもちろん、事前の十分な予習と演習時の積極的参加姿勢とが求められる。

#### 教科書

講読テキストはそのつど指示する。参考書等は適宜紹介する。

科目名	東洋史学演習I 演習I	開講	通年	単位	4
担当	外3必(東洋史) 歴3必				
担当者名	なかむら じゆん 中村 淳				

講義のねらい

清の趙翼が著した『二十二史劄記』の宋・遼・金・元の部分を中心に講読しながら、漢文読解能力を養成し、受講者各自がより具体的な問題意識を持つきっかけとなることをねらう。

講義の内容・  
授業スケジュール

具体的にどの箇所を読むかは、受講者の希望する研究テーマを勘案して、授業開始時に指示したい。毎回、担当を決め、担当者にはレジュメを作成し、それに基づいて報告してもらう。また夏期休業期間中には研究テーマに関するレポートを作成してもらい、後期にそれに基づく発表をしてもらう。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席点と平常点にレポートの評価を加味し、総合的に評価する。

教科書

必要な史料はプリントで配布。

参考書等

必要な史料はプリントで配布。

その他

必要な史料はプリントで配布。

科目名	西洋史学演習I 演習I	開講	通年	単位	4
担当	外3必(西洋史) 歴3必				
担当者名	おおしろ みちのり 大城 道則				

講義のねらい

最終目標である卒業論文作成の準備のために、文献の読み方、資料の集め方と扱い方を学ぶのが講義のねらいである。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①卒業論文作成の手始めとして、西洋古代史に関する文献史料の集め方を知る。
- ②各自が決定した卒業論文(仮題)作成のために必要な文献を収集し、その内容紹介を行う。
- ③後期には、各自が選んだ卒業論文のテーマについての発表・報告を行い、意見交換を行う。

履修上の留意点

まずは演習に参加し、他の学生の考え方・発表の仕方などを知ることが重要である。

成績評価の方法

講義に対する取り組み姿勢(個々人の発表内容と他の生徒の発表に対する質問など)と出席率により評価する。

教科書

なし。

参考書等

必要があれば適時紹介する。

その他

前期・後期にそれぞれ一回ずつ行う発表・報告は1時間に2～3人を予定している。

科目名	西洋史学演習I 演習I	開講	通年	単位	4
配当	外3必（西洋史） 歴3必				
担当者名	佐々木 <sup>ささき まこと</sup> 真				

#### 講義のねらい

西洋近代史を対象として卒業論文を書こうとする学生のための演習です。授業では西洋近代史に関する英語文献をテキストとし、その輪読により授業を進め、外国語文献・史料の読解力を養うと同時に、卒業論文作成の準備を行います。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

テキストは、授業開始時に受講生と相談して決定します。また、夏休みを利用して、各自が関心を持っている分野に関する文献の調査レポートを作成する課題を出します。卒業論文作成の準備としては、後期のあいだに、各受講生に、自分が論文のテーマにしようとする分野に関する報告を義務づけます。

#### 履修上の留意点

発表の分担を事前に指定することはしないので、毎時間確実に予習してきて下さい。

#### 成績評価の方法

成績は授業中の各自の発表内容に出席を加味して決定します。テキストを正確に読むためには、内容を常に理解することが肝要であり、それには前後関係の理解が重要となります。そのため、欠席は原則として認めません。また、文中に出てくる固有名詞は、できる限り事前に調べておくこと。演習科目では受講生の授業への積極的な参加が肝要となり、出席はあくまでも必要条件でしかないことに留意して下さい。

#### 教科書

授業開始時に、講読する文献のコピーを用意します。

#### その他

授業はゼミ形式で行い、文献講読の場合には輪読で、1時間に2人～3人に発表をしてもらいます。また、年度最初の授業には必ず出席して下さい。

科目名	西洋史学演習I 演習I	開講	通年	単位	4
配当	外3必(西洋史) 歴3必				
担当者名	伏島 <small>ふせじま</small> 正義 <small>まさよし</small>				

#### 講義のねらい

まず第1に、当該演習Iは4年次に課される卒業論文の作成のための第1次準備段階であることからして、各人は自己の卒論テーマを具体的に決定し、その研究に着手しなければならない。したがってそのための文献、史料の収集方法に習熟することである。第2に、受講生にとって共通となる文献を輪読し、相互の意見交換などにより、歴史研究を深める機会とする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

まず各自の設定した卒論のテーマに添って、文献、史料の収集と読解に努める。次に前期においては受講生の共通となる論文、専門書などの文献を、とりわけ西欧史研究では依然として共通語の1つである独語、仏語、英語のいずれかで書かれた文献を、発表などを交えながら輪読する。後期は、前期から各人の進めてきた卒論のテーマの研究を1人1時限を使って発表、質疑応答する。

#### 履修上の留意点

卒論のテーマに該当する言語に習熟することは言うまでもなく、当該演習の共通言語にも読解力をつけておくことが必要である。研究文献、史料の検索、収集、さらにその解読には多大の時間を必要とするものである。したがってそのための気概が期待される。

#### 成績評価の方法

演習にいかに積極的且つ熱心に参加しているかが基本的な基準である。具体的方法は受講生と相談し、決める。

#### 教科書

共通するテーマ及びテキストは受講生と相談し、決める。

#### 参考書等

必要に応じて随時指摘する。

科目名	考古学演習I 演習I	開講	通年	単位	4
配当	考3必 歴3必				
担当者名	飯島 武次				

講義のねらい

中国語原典『文物』(2006年第8期)および『新中国的考古発現和研究』(1984年)の講読。

講義の内容・  
授業スケジュール

1時間当たり半頁を読む予定。テキストは授業開始後コピーして渡す。中文講読は、発音と内容解釈からなり、講読部分の引用関連文献にも目を通しておく必要がある。

履修上の留意点

発表者はいかなる理由があっても無届けで欠席・遅刻をしないこと、発表者の欠席・遅刻は他の学生の大変な迷惑になる。発表者の欠席・遅刻に関しては、教師側の判断で落第にする場合がある。

成績評価の方法

成績評価は平常点。

教科書

『文物』2006年第8期  
『新中国的考古発現和研究』(文物出版社)1984年

参考書等

飯島武次『中国考古学概論』(同成社)2003年

その他

授業方法は学生による原典講読と研究発表。中国考古学で卒業論文を予定している学生は必ず履修すること。



科目名	考古学演習I 演習I	開講	通年	単位	4
配当	考3必 歴3必				
担当者名	酒井 清治 <small>さかい せいじ</small>				

#### 講義のねらい

将来卒業論文を作成するための基礎的な力を養うため、日本考古学の論文の読み方、論文作成のための資料収集法、執筆の方法を学ぶ。また、論文作成の基礎知識を養う。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

いくつかの日本考古学の論文を選び、文献や資料の使い方、図版の作り方などを学び、その問題点などについて全員で論議する。各自で将来卒論の題材として選んだテーマを、研究レポートを書く。それを授業で資料収集方法などを含め、発表要旨を添えて発表してもらう。それについての問題点を質疑応答する。

#### 履修上の留意点

受講者はそれぞれが積極的に論文を読み、発表に対する質疑にも積極的に参加すること。また関連する遺物・遺跡を自ら積極的に見学することを心がけること。

#### 成績評価の方法

研究レポート、発表要旨、報告者へのコメント、出席状況。特に授業で発表者に質問した回数は重視する

#### 教科書

研究する上に必要な論文等は授業の中で指摘する

#### 参考書等

論文掲載の引用文献

#### その他

授業はゼミ形式で

科目名	考古学演習I 演習I	開講	通年	単位	4
担当	考3必 歴3必				
担当者名	設楽 博己 <small>したら ひろみ</small>				

講義のねらい

縄文・弥生文化の諸問題 縄文時代・弥生時代の文化に興味のある受講生を対象に開講する講義。この演習を通じて、縄文・弥生文化についての最先端の研究を把握し、理解を深めると同時に、卒業時に製作する卒業論文のテーマを探し、卒論作成の足がかりとすることをねらう。

講義の内容・  
授業スケジュール

縄文・弥生文化にかかわるさまざまな問題あるいは興味のあるテーマについて、毎回1～2名の受講生にその研究成果を発表していただき、議論する。

履修上の留意点

下調べを綿密に行い、レジュメをていねいに製作してわかりやすい発表を心がけ、それを卒業論文へとつなげる。

成績評価の方法

発表内容と質疑応答、中間レポート、出席などにより評価する。

教科書

なし。

参考書等

その都度用意するが、当面縄文・弥生文化を理解するために、(佐原真1987『大系日本の歴史1 日本人の誕生』小学館、佐々木高明1991『日本史誕生 日本の歴史1』集英社)をよく読んでおくこと。

科目名	日本史学演習II 演習II	開講	通年	単位	4
担当	日4必 歴4必				
担当者名	久保田 昌希 <small>くぼた まさき</small>				

歴史

講義のねらい

本講座では、3年次での演習Iの成果に立って、特定の史料や受講者自身の研究テーマについて、それぞれ発表し、且つ他の受講者とのそれらに関する討論を行いたい。そしてそのことで、受講者(発表者)自身はもちろん、受講者全体の研究方法や問題意識の高揚を一層はかることを目的としている。受講される皆さんは積極的に取り組んでほしい。  
なお、本講座ではあわせて卒業論文の指導も行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず本講座の最初に、講読する史料を決めるか、卒業論文に関する個人研究にするかを話し合いたい。その結果により年度の方針を決めたいと思う。

履修上の留意点

卒業論文は、本学科に学んだ成果の現れでもある。大いに尽力してほしい。

成績評価の方法

定期試験は行わない。発表の内容、提出レポート、出席状況などによる。

教科書

とくに指定しない。特定の史料が決定次第そのコピーを配布する。

科目名	日本史学演習II 演習II	開講	通年	単位	4
配当	日4必 歴4必				
担当者名	熊本 <small>くまもと</small> 史雄 <small>ふみお</small>				

講義のねらい

卒業論文作成の指導を主として行う。  
大正～昭和期を中心とする日本近代史研究の状況を把握しつつ、各種公文書（内閣、外務省、陸軍省、海軍省など）や私文書（日記や手紙）についての史料状況を解説する。また、関連する先行研究を読むことも併せて行う。これらを踏まえた後、受講生が自らのテーマについて研究を深め、卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期の前半は上記についての解説と先行研究の確認を行う。前期の後半より後期にかけて、受講生各自が報告を行い、それに基づき参加者全員で討論を行う。

履修上の留意点

各自の選んだ研究テーマに真摯に取り組んで欲しい。

成績評価の方法

報告、授業態度などを基に総合的に判断する。

科目名	日本史学演習II 演習II	開講	通年	単位	4
配当	日4必 歴4必				
担当者名	小泉 <small>こいずみ</small> 雅弘 <small>まきのひろ</small>				

講義のねらい

卒業論文作成の指導を通じ、幕末～明治期における諸問題について検討する。

講義の内容・  
授業スケジュール

受講者各自が研究テーマに基づいた発表を行う。前期は研究史、後期は卒業論文の内容を踏まえて発表し、受講者全員で討論を行う。

履修上の留意点

卒業論文でオリジナルかつ説得力のある論文を書くということは、社会に出て必要とされる能力を身につけることである。常に問題意識を持つこと。

成績評価の方法

出席状況、発言内容、学習態度などにより総合的に評価する。

教科書

指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	日本史学演習II 演習II	開講	通年	単位	4
配当	日4必 歴4必				
担当者名	桜井 邦夫				

講義のねらい

4年間のしめくりである卒業論文の指導をおこなう。オリジナルの作品を悔いなく創りあげていくことをめざす。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本近世史で卒業論文を作成する希望者のうち、都市・文化・宗教・交通などの分野を対象とした学生に焦点をあわせる。

履修上の留意点

自己の論文作成だけでなく、演習参加者のテーマ・関心にも興味を広げていく姿勢をもってほしい。第1回目の授業において、各人の卒業論文のおおまかなテーマの報告を求める。

成績評価の方法

卒業論文の内容、卒業論文完成に至る過程、授業中の発表・討論での発言などに基づきおこなう。

教科書

特に使用しない。

科目名	日本史学演習II 演習II	開講	通年	単位	4
配当	日4必 歴4必				
担当者名	瀧音 能之				

講義のねらい

日本古代史に関する卒業論文指導をおこなうつもりです。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は討論・報告形式をとり、前期には各人の卒業論文のテーマの決定・目次の作成・文献目録の作成をめざします。後期には研究史の整理、そして実際に卒業論文を作成するための準備をおこないます。

履修上の留意点

卒業論文は4年間のしめくりです。各人がはっきりとした自覚をもって積極的にとりくむ意欲をみせて下さい。

成績評価の方法

授業における報告・討論、そして、卒業論文の内容によって評価を決定します。

科目名	日本史学演習II 演習II	開講	通年	単位	4
配当	日4必 歴4必				
担当者名	なかの たつや 中野 達哉				

講義のねらい

大学生生活の最も大きな成果の一つとなる卒業論文の作成とともに、史料の調査方法と解読・分析力、論理的に考察・論述する力を身につけることを目的とする。そして、それを、歴史研究のみならず、社会生活においても役立てて欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

各人が卒業論文のテーマに基づき、前期・後期に各1回程度報告し、受講者による討論を行う。また、随時、卒業論文の指導を行う。

履修上の留意点

本講座は日本近世史（織豊期～幕末期）を対象とするものである。第1回目の授業において、各人の卒業論文のテーマの方向性を考え、報告する日程（順番）を決めるので出席すること。

成績評価の方法

授業での報告と討議、出席状況により評価する。定期試験はなし。

科目名	日本史学演習II 演習II	開講	通年	単位	4
配当	日4必 歴4必				
担当者名	ひろせ りょうこう 廣瀬 良弘				

講義のねらい

史料の読解・分析力を養い、より高い水準の卒業論文の完成をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

受講者各自が提示した卒業論文テーマ・関連研究論文等に対して、受講生全員によるディスカッションを行い、卒論の論題を確定し、各自卒論の中心的史料・文献等の講読・分析を通じて、論点を明確にし、卒論の完成をめざしていきます。授業スケジュールとしては、  
 (1・2) 卒業論文のテーマの提示（4月～）      (3～6) 研究史の整理（5月～）  
 (7・8) 卒論論題の確定（6月11日論題提出）      (9・10) 研究史の整理と参考文献の検討  
 (11～13) 中心的史料等の分析と論点の明確化      (14) 卒論の章立に関する作業  
 (17・18) 卒論の概要に関する発表（9月～）      (19・20) 中間報告  
 (21) 卒論作成に関する技術的なアドバイス      (22) 最終報告  
 (23・24) 下書の提示に基づく指導と添削  
 (25・26) 清書・完成・提出（12月10日提出）      (27) 卒論をふりかえる  
 の順で、論題提出日、卒論提出日等に合わせて進めていくが、全体として、発表・相互のディスカッション・指導という形式で進めていきます。

履修上の留意点

よりよい卒業論文を完成させる意欲を持って臨んでほしい。随時、発表を求めるので早めに作業・研究を進めて授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

卒業論文の内容とともに、完成に至る過程も重視して評価します。

教科書

各自の卒論のテーマに応じて随時示していきます。

参考書等

随時、示していきます。

科目名	日本史学演習II 演習II	開講	通年	単位	4
配当	日4必 歴4必				
担当者名	まつもと のぶみち 松本 信道				

#### 講義のねらい

日本古代史の史料の輪読により、史料読解力の習熟と史料解釈を通じての歴史的諸様相の把握を目的とし、必要に応じて卒業論文作成の指導を行う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、『令義解』所収の「職員令」をテキストとして用い、輪読・討論しながら奈良時代の官僚組織について再検討してみたい。

後期は、各自の卒業論文の研究テーマについての発表と討論を行い、それをもとに卒業論文を完成させる。

#### 履修上の留意点

受講生は必ず予習をして出席すること。

#### 成績評価の方法

平常点と出席点の総合で行う。

#### 教科書

『令義解』の当該部分をコピーして配布します。

#### その他

授業の方法は輪読・討論のゼミ形式で行う。

科目名	東洋史学演習II 演習II	開講	通年	単位	4
配当	外4必(東洋史) 歴4必				
担当者名	いしい ひとし 石井 仁				

## 歴史

#### 講義のねらい

東洋史(中国史)に関する卒業論文の作成を指導します。研究テーマの設定から、参考文献や基本史料の調査・収集・解読、具体的な論文執筆の方法・手順に至るまで、全般的にバックアップします。

#### 講義の内容・授業スケジュール

(前期)(1)ガイダンス (2~13)演習  
(後期)(14~26)演習

#### 履修上の留意点

講義時間外も、可能なかぎり、相談に応じます。「自分の研究なのだ」という自覚をもち、一生に一度の卒業論文の執筆に情熱を傾けましょう。

#### 成績評価の方法

卒業論文の作成に対する取り組み方を総合的に評価します。

#### その他

前期では、各自の問題関心にかかわる基本的な研究、ないしは注目する研究について調査し、輪番で報告します。そのうえで、これまでの研究の問題点や精査を要する事項などをチェックしつつ、研究テーマをしばらくこみ、論文作成の手順を確認します。後期では、できるだけ早い時期に、各自の研究テーマを輪番で中間報告し、作業手順を再確認します。進捗度によっては、作業手順(あるいはテーマ自体)の補足・修正などについてもアドバイスします。ただし、受講者が極端に少ない場合には、前期・後期とも個別指導をおこないます。

科目名	東洋史学演習II 演習II	開講	通年	単位	4
配当	外4必(東洋史) 歴4必				
担当者名	すぎやま きよひこ 杉山 清彦				

#### 講義のねらい

卒業論文、とくにアジア諸地域の近世～近現代史を扱う卒業論文の作成を指導する。大学での4年間の学業の集大成である卒業論文とは、自分の問題意識と興味関心に基づいてテーマを設定し(問題設定)、それを解くための史資料を収集・検討し(史料読解・批判)、自分の検討結果・見解を論理的に他者に提示する(構想報告・論文執筆)という一連の過程である。受講生各人がこの過程を体験し、かつ朋輩の報告・討論に参加することによって、問題発見・解決の力とプレゼンテーションの力を養うことを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

卒業論文へ向けての構想発表とそれに対する討論・指導を主として進め、受講生は輪番で研究報告する。並行して東アジアの近世～近代史に関する秀れた研究論文を講読し、それらの過程において史資料の調査・収集・読解の方法や論文の構想・執筆法について指導する。スケジュールについては、開講後受講者の人数・テーマを勘案して相談する。

#### 履修上の留意点

演習であるので、毎回の出席はもちろん、発表・討論に積極的に参加する姿勢が求められる。

#### 成績評価の方法

出席状況を含む平常点による。

#### その他

卒業論文作成に関しては、演習の時限に関わりなく指導するので、積極的に質問・相談されたい。

科目名	東洋史学演習II 演習II	開講	通年	単位	4
配当	外4必(東洋史) 歴4必				
担当者名	なかむら じゆん 中村 淳				

#### 講義のねらい

主に宋・遼・金そして元代を対象とする卒業論文に関する指導をする。並行して文献講読を行ないたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

卒業論文の相談会・中間発表を随時行なう。前期にテーマ紹介1回、中間発表1回、後期に構想発表1回、内容報告1～2回を予定している。具体的なスケジュールについては、最初の講義の際に受講生と相談しながら決める。

#### 履修上の留意点

出席重視。

#### 成績評価の方法

出席点と平常点とを総合して評価する。

#### 教科書

必要な史料はプリントで配布。

科目名	西洋史学演習II 演習II	開講	通年	単位	4
配当	外4必(西洋史) 歴4必				
担当者名	おおしろ みちのり 大城 道則				

講義のねらい

演習Iで行った基礎作業を踏まえ、最終目標である卒業論文の完成に向けての指導を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は各自がそれぞれ選んだ外国語文献を読み、その内容について講義中に紹介を行う。後期は各自が準備を進めている卒業論文のテーマについての発表を行う。その際に準備状況についての最終的な確認を行う。

履修上の留意点

就職活動を優先することはいたしかたないが、発表者は必ず欠席しないこと。あるいは事前に伝えること。

成績評価の方法

各自の発表内容と授業への積極的な参加・出席(率70%以上)を重視する。

教科書

教科書は無いが、発表者各自がレジメを作成し、それをコピーし配布する。

参考書等

必要があれば適時紹介する。

その他

発表・報告は1時間に2~3人(前期)、4~5人(後期)を予定している。

科目名	西洋史学演習II 演習II	開講	通年	単位	4
配当	外4必(西洋史) 歴4必				
担当者名	ささき まこと 佐々木 真				

講義のねらい

外国語文献の輪読を中心として授業を進め、随時必要に応じて卒業論文作成の指導を行います。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストは昨年度使用したものの続きを読むことを予定しています。また、必要に応じて各受講生の卒業論文の準備状況を報告してもらいます。

履修上の留意点

発表の分担を事前に指定することはしないので毎時間確実に予習してきて下さい。

成績評価の方法

成績は授業中の各自の発表内容に出席を加味して決定します。演習科目では受講生の授業への積極的な参加が肝要となり、出席はあくまでも必要条件でしかないことに留意して下さい。

その他

授業はゼミ形式で行い、文献講読の場合には輪読で、1時間に2人~3人に発表をしてもらいます。



科目名	西洋史学演習II 演習II	開講	通年	単位	4
配当	外4必（西洋史） 歴4必				
担当者名	伏島 正義				

講義のねらい

演習Iで進めてきた卒論のテーマに添った研究を最終的に完成するよう指導することが最大のねらいである。

講義の内容・  
授業スケジュール

演習Iの段階で読むことのできなかった文献の入手と解読に全力を尽くすとともに、これまでの研究上の不備な点を再検討し、万全を期す。これに並行して各人が進めてきた研究の進捗状況、成果を順次発表する。

履修上の留意点

上記の諸点は夏期休暇の期間内に履行し、ほぼ完了することが望ましい。なぜならば、卒業後就職しようとする者にとっても、さらに上級の大学へ進学しようとする者にとっても当該演習IIの4年生はなすべきことはあまりにも多く、したがって忙殺のため当初掲げたさまざまな課題を十分に満足することのできなかった例をこれまで少なからず見てきたからである。なお、演習に出席することは当然であるが、万一就職活動その他の理由により欠席する場合は、必ずその理由を報告していただきたい。

成績評価の方法

演習にいかにか積極的に且つ熱心に参加しているかが基本的な基準である。

そ の 他

他人（教師）による評価にとどまるのではなく、自身にとっても、大学生活の、最後にして最大の、忘れ難い記念碑となるような卒業論文を作成すべく、心がけてください。自身が心をこめて自身におくった贈り物ほど、いとおしく、尊いものはない。

科目名	考古学演習II 演習II	開講	通年	単位	4
配当	考4必 歴4必				
担当者名	飯島 武次				

講義のねらい

卒業論文の指導。

講義の内容・  
授業スケジュール

考古資料の調査研究を行う。毎時間、履修者の研究発表となるが、発表者は配布資料等を十分に準備して発表に臨むこと。

履修上の留意点

発表者はいかなる理由があっても無届けで欠席・遅刻をしないこと。発表者の欠席・遅刻は他学生の大変な迷惑になるので、発表者の欠席・遅刻に関しては、教師側の判断で落第にする場合がある。

成績評価の方法

成績評価は平常点。

そ の 他

授業方法は、学生による研究発表。

科目名	考古学演習II 演習II	開講	通年	単位	4
配当	考4必 歴4必				
担当者名	酒井 清治 <small>さかい きよじ</small>				

講義のねらい

卒業論文をどのように書くのかを指導する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半は論文の書き方について説明し、各自自分のテーマと関連ある主要論文を読み込み、研究の方向性を決め、各自のテーマに沿った卒業論文の構成作りを行う。後半は各自のテーマに基づいた研究発表を行い、皆で論議しながら論文としてまとめられるよう指導する。

履修上の留意点

発表者は事前に発表する日を知らせるので、準備するとともに、当日発表者は遅刻、欠席をしないこと。欠席した場合は単位が取れないと考えてほしい。

成績評価の方法

卒論の進行状況を把握するためにも出席を重視する。発表要旨、発表者への質問も考慮し、授業で発表者に質問した回数は重視するので積極的に発言してほしい。

参 考 書 等

授業の中で紹介する。

そ の 他

授業はゼミ形式。

科目名	考古学演習II 演習II	開講	通年	単位	4
配当	考4必 歴4必				
担当者名	設楽 博己 <small>したら ひろみ</small>				

講義のねらい

卒業論文の指導を行なう。論文は、先行研究を咀嚼しているか、適切な素材を用いているか、正確な分析を行なっているか、妥当な結論に達しているかが要求される。数回にわたる中間発表によって、そうした手続きが論理的に行なわれているかどうか、自分自身で確認できるようにする。論文は、章立ての階層構造の論理性、文体の統一や図表の適切なレイアウトなども要求される。人が読んでわかりやすい論文を仕上げるよう指導する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期2回、後期2回ほどの中間発表を行なう。前期はまず、6月のテーマ提出を目指し構想を発表した後、学史を中心とした研究発表を行なう。後期は資料分析について研究発表を行なった後、章立てを完成させて各章ごとにその要約を発表する。質疑応答も行なう。

履修上の留意点

与えられた課題をスケジュールどおりにこなすこと。評価でも触れるように、自分自身でこつこつと資料を収集することが重要なので、早くから課題を明確にし、資料収集をおこない、既存の関連研究に目を通しておくようにしたい。

成績評価の方法

発表内容や質疑応答、出席で評価する。収集する資料は人様のコピーなどではなく、自分自身でおこなうことを心がけるようにすれば、高い評価が与えられる。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

その都度指示。

科目名	考古発掘実習	開講	通年	単位	2
担当	考3必 歴3必(考古学)				
担当者名	酒井 清治・飯島 武次・設楽 博己				

講義のねらい

考古学の基本は発掘した資料から人類の歴史を考えることであるが、発掘技術の優劣により発掘資料の情報量も異なってくる。発掘現場で対応できる発掘技術の習得を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

考古発掘実習の授業は、通常の教場での授業と夏休みの野外考古発掘実習からなっている。

履修上の留意点

夏休みの野外考古発掘実習は実習先の都合もあり、夏休み直前まで場所と日程が決定しないのが通例である。従って履修者は、博物館実習等との関係をよく考えあわせ、夏休みの計画の中に、発掘実習と館務実習以外の計画を先行して予定しないこと。夏休みの私的な計画は、発掘実習と館務実習の期間が決定した後には計画を作成すること。

授業と野外考古発掘実習においては、授業連絡・授業教程の関係から無届けの欠席、遅刻は一切認めない。またいかなる理由があっても年度の第1回の授業には出席すること。以上の件に反した学生に対しては、教師側の時々の判断で履修を禁止することがある。これは勝手な欠席・遅刻が該当年度の野外考古発掘実習の計画・実行を妨げるからで、履修学生の協力をお願いする。

成績評価の方法

成績評価は出席点と平常点および発掘実習の態度と発掘日誌などを総合して判断する

教科書

『考古学調査ハンドブックス1 野外編』(雄山閣)1984年

参考書等

授業の中で資料を配付する

その他

通常は講義で、夏休みに野外発掘実習を行う

科目名	日本史史料講読I	開講	通年	単位	4
担当	日2選必 外234選 考234選 歴2選必(日本史) 歴234選(東洋史西洋史考古学)				
担当者名	瀧音 能之				

歴史

講義のねらい

日本古代史を研究する上で必要と思われる史料の中から、特に卒業論文作成などのさいに用いると思われるものを選び、解説および史料の一部を講読したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、テキストとプリントを使って、その解説をおこないますが、単に私だけが、講義をするのではなく、質問などを通して出席者とのコミュニケーションを大事にしたいと考えています。また、できれば、ビデオなどの視覚教材も使いたいと思っています。

成績評価の方法

筆記試験をおこない、その結果を重視しますが、それに授業での平常点を加えて評価します。

教科書

『文献でたどる日本史の見取図』(青春出版社)とプリントを配布します。

その他

ただ、授業をきくのではなく、積極的に参加しようという熱意を期待します。

科目名	日本史史料講読II	開講	通年	単位	4
配当	日2選必 外234選 考234選 歴2選必(日本史) 歴234選(東洋史西洋史考古学)				
担当者名	久保田 昌希 <small>くぼた まさき</small>				

### 講義のねらい

言うまでもないが歴史研究には史料が必要である。それ故に歴史(日本史)研究の出発点(基本)は史料を読むことと解釈にあるとよい。それによって、各自が歴史像を構築していくのである。そうした積み重ねが大事である。その過程で各自が新たな発見を通して、楽しさや意義を見出すことができるだろう。

史料講読は、3・4年次の演習I・IIで行うが、より早い段階から史料への取り組みに慣れておく必要があるということで、本講座では中世史分野に関する基礎史料を対象とする。

それでは中世に関する史料にはどのようなものがあるのだろうか。前代までの朝廷・寺社関係に加えて新たに鎌倉・室町幕府、守護・戦国大名その他在地領主といった武士階層による文書や記録、さらに農民・惣村や町・都市に伝わった文書・記録が増えてくる。

また、最近の中世史研究が明らかにしているように、例えば絵図や絵画・絵巻物、板碑・鰐口をはじめとする金石文、中世考古遺物・遺跡の有効な活用は、文書・記録の多角的な解釈とともにこれまでの既成の中世社会像への再検討を提起するにいたっている。

これらの史料は今日、多くのものが活字化されてきており、わたくしたちも容易に見られるようになってきている。そしてそのことが中世史研究の発展につながっているといえよう。

### 講義の内容・授業スケジュール

本講座としては、上に掲げた中世史料をすべて対象とすべきであろうが、もとより中世史料は前時代とくらべて多く、その一端に止めざるをえない。史料の講読・紹介につとめつつ、史料所蔵機関や閲覧についても解説していきたい。

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 中世史料入門        | 2. 吾妻鏡を読む        |
| 3. 御成敗式目・建武式目を読む | 4. 中世史料所蔵機関の紹介   |
| 5. 中世民衆史料を読む     | 6. 公家日記を読む       |
| 7. 棟札や金石文を読む     | 8. 中世史料・遺跡保存への視点 |

### 履修上の留意点

本講座に限ったことではないが、本学図書館には多くの活字化(刊行)された史料がある。そういったものに早く、自分なりに問題関心にそって目を通そうとすることが大切だと思う。

### 成績評価の方法

定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。

### 教科書

とくに指定しない。適宜必要に応じて資料を配布する。

### 参考書等

『史料による日本の歩み(中世編)』(吉川弘文館)2,936円

科目名	日本史史料講読Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	日2選必 外234選 考234選 歴2選必(日本史) 歴234選(東洋史西洋史考古学)				
担当者名	なかの たつや 中野 達哉				

#### 講義のねらい

歴史の研究は、いかに理論を組み立て、それを実証していくかにある。そして、そのためには、先人たちの足跡として残された史料を読み解くことが必要である。本講義では、日本近世の史料を正確に読み込み、判断する力をつけることを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

織豊期～幕末期にかけてのさまざまな史料を取り上げて読み、分析していく。いうまでもなく、近世については、武家文書・町方文書・村方文書・寺社文書など多様な分野にわたり膨大な量の史料が伝えられている。授業では、いくつかのテーマを設けて行っていくが、読むための基礎的な力をつけるだけでなく、その史料の背景にある社会情勢などについても考えていく。

また、近世史料のなかには、活字になっていないものも多くあり、その所在も個人宅や図書館・博物館・文書館など多様である。史料の所在や調査方法などについても触れていきたい。

#### 履修上の留意点

難解なものど怖がらず、親しみをもって史料を読んでほしい。

#### 成績評価の方法

授業での平常点および年度末に行う定期試験により評価する。

#### 教科書

教科書はなし、必要な資料は適宜プリントして配布する。

科目名	日本史史料講読Ⅳ	開講	通年	単位	4
配当	日2選必 外234選 考234選 歴2選必(日本史) 歴234選(東洋史西洋史考古学)				
担当者名	こいずみ まさひろ 小泉 雅弘				

#### 講義のねらい

実証に裏づけされた歴史研究を行うために、その基礎となる日本近代史史料の読解力を養成する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

幕末期から明治期における諸史料(公文書・書簡・日記など)を教材として、史料の読み方、解釈、内容分析などを行う。また、各史料保存機関の所蔵資料についても紹介する。

#### 履修上の留意点

必ず予習すること。

#### 成績評価の方法

定期試験によって評価し、出席状況を加味する。

#### 教科書

史料をプリントして配布する。

科目名	古文書研究I 古文書講読I	開講	通年	単位	4
配当	日234選必 外234選 考234選 歴234選				
担当者名	あさくら なおみ 浅倉 直美				

#### 講義のねらい

古代・中世古文書の読解力と分析を身につけることと、その楽しさを知ることが目的とします。歴史研究は資料の読解に始まることは言うまでもありませんが、なかでも多くの情報を含んでいる古文書の読解能力を持つことが不可欠です。合わせて史資料に関する知識・意識を高めることを目的とします。前期では古文書の概要と形式を把握し、人名や度量衡の単位などが多数記載されている検地帳や戦国期のパターン化されている比較的読みやすい文書から始めます。後期には平安鎌倉期・南北朝期の文書の読解にも努め、古文書全般に対応できる能力も養いたいと考えます。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

(1・2) 古文書の概要と形式 (3～6) 検地帳を読む (7～10) 戦国大名文書に親しむ  
(11～13) 天下人の書状を読む(信長・秀吉・家康) (14～16) 古代の文書を読む (17  
～19) 鎌倉期の文書を読む (20～22) 室町期の文書を読む (23～25) 戦国期の文書を読む  
(26) まとめ

#### 履修上の留意点

古文書の読解力は、慣れ親しむことから身につきます。予習・復習はもちろんのこと、日頃から古文書に接する時間をつくることが望まれます。

#### 成績評価の方法

毎回の講義における取り組み、および試験の結果などにより総合的に評価します。

#### 教科書

プリントを配布し、必要に応じて紹介します。

#### 参考書等

『くずし字解読辞典』(東京堂出版)

科目名	古文書研究II 古文書講読II	開講	通年	単位	4
配当	日234選必 外234選 考234選 歴234選				
担当者名	小高 昭一 <small>あだか しょういち</small>				

#### 講義のねらい

歴史研究の基礎資料が史料（文書・記録など）である以上、史料を読み、解釈し、正しく理解することが必須である。この講義では、日本の近世（江戸時代）史料の代表的なものを取り上げ、くずし字の読み方から、史料（文書）の形式、文書の背景にある歴史的事実を読み解く力を養成する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

日本の近世史料は、中世までと異なり膨大な質量で現存・保存されてきた。武家文書・村方文書・町方文書・寺社文書など、多種・多様な史料を概観し、史料1点1点を精読する。その史料の作成者、関係者がその時に何を考えていたのか、この時代の人々の精神にまで触れることができるよう、読み込む。

#### 履修上の留意点

筆で和紙に書かれたくずし字を読むには、慣れることが重要で、文字の解読に役立つ字書を片手に格闘することになる。わからない文字を1つ1つ読み解くことで、生の史料の持つ面白さを体感できるので、くじけずにトライして欲しい。

#### 成績評価の方法

授業での平常点（出席）と定期試験での成績で総合評価する。

#### 教科書

特定の教科書はない。講義の際に史料のコピーを配布する。

#### 参考書等

児玉幸多編『くずし字解読辞典（普及版）』（東京堂出版）2,200円、林英夫監修『増訂 近世古文書解読字典』（柏書房）2,500円の携帯が必要。

#### その他

講義は出席者による輪読形式で、事前に順番を指定する。

科目名	記録史科学I 古文書学	開講	通年	単位	4
配当	日234選必 外234選 考234選 歴234選				
担当者名	まつもと のぶみち くぼた まさき なかの たつや 松本 信道・久保田 昌希・中野 達哉				

#### 講義のねらい

古代から近世にいたるわが国の史料保存の歴史や史料論について講義する。とかくおちいりがちな、ひとつの時代に片寄った史料論ではなく全時代を対象とした古文書学をめざす。また、文書を後世に残していこうという姿勢を国家レベルで打ち出した公文書館法（昭和62年制定）やアーキビスト（文書士）養成問題などもふまえて史料の保存と利用に関する問題にもふれるつもりである。さらに、古文書のみならず歴史資料として絵画や出土遺物・金石文なども視野に入れて考えていきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (1) ガイダンス……（担当教員全員）。
- (2) 古代の文書様式、木簡、漆紙文書・墨書土器などの利用法、金石文の有効性…（松本担当）。
- (3) 中世古文書の形態・様式、中世古文書学の発達と保存・伝来とその利用法…（久保田担当）。
- (4) 近世の古文書学、古文書の整理・分類方法、史資料の保存・利用法…（中野担当）。
- (5) ※以上とは別途に文書館・史料館等への見学を実施する予定。

#### 履修上の留意点

古代から近世までの古文書の全体について学びたいと思っている学生、また、従来の古文書学に加えて史資料の保存・利用といった観点に興味をもっている学生の履修を期待する。

#### 成績評価の方法

試験・レポートの成績によって評価する。

#### 教科書

教科書は特定のものを用いず、必要に応じて担当教員が指示する。

#### 参考書等

各担当教員が教場において指示・紹介する。

#### その他

講義が中心となるが、必要に応じてビデオ・スライド・OHPなどを使用する。



科目名	記録史料学II	開講	通年	単位	4
配当	日234選必 外234選 考234選				
担当者名	くまもと ふみお こいずみ まきひろ 熊本 史雄・小泉 雅弘				

### 講義のねらい

現在、各地の文書館などで記録史料を取り扱う専門職（アーキビスト）の設置が検討されており、その必要性が広く認識されているが、本講義では、記録史料を取り扱う基本的な知識を取得する事を目的としている。ここでは、明治維新以降に作成された様々な「近代史料」について、史料の収集や整理、保存さらに修復など、さらには近年注目される「オーラルヒストリー」の方法など、「記録史料（アーカイブ）」の全般について講義する。前期は、とくに公文書の読解における作法を学び、後期は、「近代史料」の取り扱い方全般について学ぶ。前期では具体的には外交文書（電報、公信）を主として採り上げ、そこから窺い知れる文書処理や政策決定の過程、さらには「記録」として保存されることの意味につき検証する。これらを踏まえ、階層構造をなす文書群の固有の体系性について考える。また、「記録史料学」の授業の中では、教室での講義にとどまらず、実際に文書館を訪ね、現物の史料にふれると共に史料整理や保存などの現場を見学し、実践的な学習を重視する。

### 講義の内容・授業スケジュール

第1回：講義の概要（授業計画／参考文献）

前期（担当：熊本）

- 2回 歴史学と記録史料－近代と現代の史料〔概説〕
- 3回 記録史料学の方法と対象－補助科学としての史料学からアーカイブズ学へ－〔概説〕
- 4回 公文書館の機能と役割〔公文書館論〕
- 5回 国民国家形成とアーカイブズ①－フランス革命と文書館－〔公文書館論／記録管理論〕
- 6回 国民国家形成とアーカイブズ②－近代日本の文書行政－〔公文書館論／記録管理論〕
- 7回 近代日本と公文書①－外交文書－〔記録資料論／記録管理論〕
- 8回 近代日本と公文書②－拓務省関係文書－〔記録資料論／記録管理論〕
- 9回 近代日本と公文書③－府県文書と町村文書－〔記録資料論／記録管理論〕
- 10回 公文書のライフステージと評価・選別－移管・保存・廃棄－〔評価・選別論〕
- 11回 「近代史料学」の世界－文書群の構造と組織機能の解明－〔「近代史料学」〕
- 12回 「群」としての史料とその固有性・体系性－前期のまとめにかえて－
- 13回 前期末末考査

後期（担当：小泉）

「記録史料学」とは／史料収集について／史料の整理／史料の保存／史料の修復／史料閲覧の考え方／「オーラルヒストリー」の方法／記録映像の制作と活用

### 履修上の留意点

積極的に授業に参加し、史料に接する事の喜びを感じ取ってほしい。また、「公文書」がもつ「固有の体系性」を学び取って欲しい。

### 成績評価の方法

出席と授業態度、前後期授業における試験の結果を総合的に判断する。

### 教科書

特に指定しない。

### 参考書等

適宜紹介する。

### その他

「記録史料学I」と合わせての履修が望ましい。

科目名	東洋史文献史料講読I 東洋史史料講読I	開講	通年	単位	4
配当	外23選必（東洋史） 外234選（西洋史） 日234選 考234選 歴2選必（東洋史） 歴234選（日本史西洋史考古学）				
担当者名	石井 仁				

#### 講義のねらい

北宋の司馬光（1019-1086）が編纂した『資治通鑑（しじ・つがん）』294巻は、周の威烈王二十三年（西暦紀元前403年）から五代後周の世祖顯徳六年（紀元後959年）までの1362年間を編年体で叙述した歴史書です。司馬光は各時代の基本史料を整理収集し、事実と考えられる記事を採用しました。内容は政治過程を基調としつつも、社会経済・文化など、多岐にわたり、各時代の概況が通観できるように工夫されています。また、元の胡三省が『資治通鑑』にほどこした精密な注釈（＝胡注）は、単なる字句の解釈にとどまらず、政治制度・地理などの各分野ですぐれた見解を提示しています。

以上のような特色を兼ね備える『資治通鑑』の講義を通して、漢文史料読解力の向上はもとより、研究のための各種実用書－工具書（辞典・年表・地図・索引類など）の使用方法や、文献の検索方法など、中国史研究に不可欠の基本知識と作業手順の修得をめざします。なお、『資治通鑑』のどの時代、何巻から講読するかについては、開講後、相談のうえ決定します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

（前期）（1・2）ガイダンス （3～13）講読  
（後期）（14～26）講読

#### 履修上の留意点

予習・復習に十分な時間をとって講義に臨んでください。

#### 成績評価の方法

講義に対する取り組み方を総合的に評価しますが、レポートを課すこともあります。

#### 教科書

中国・中華書局刊行の標点本をテキストに使用します（コピーを配付）。

#### 参考書等

随時紹介します。

#### その他

テキストを受講者が輪番で漢文訓読します（必要に応じて現代語訳）。

科目名	東洋史文献史料講読Ⅲ 東洋史史料講読I	開講	通年	単位	4
配当	外23選必（東洋史） 外234選（西洋史） 日234選 考234選 歴2選必（東洋史） 歴234選（日本史西洋史考古学）				
担当者名	なかむら じゆん 中村 淳				

#### 講義のねらい

本講では、モンゴル時代（モンゴル帝国・元朝の時代）を対象とする漢文を、翻訳を補助資料としながら輪読する。漢字を普段から用いている日本人は、ややもすれば漢文を雰囲気を読んでしまうことがある。翻訳と対照させながら漢文を読むことで、一文字一文字を大切にしながら史料を読む習慣を身につけてもらいたい。同時に、モンゴル時代を研究する際の基本的な知識や技術を合わせて修得してもらいたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

毎回、輪読の中心となる担当者を決める。具体的なスケジュールは、受講者の人数によってはじめて決まるので、授業開始時に受講者と相談して決めたい。担当者は、担当箇所の漢文の書き下し文・日本語訳のほか関連データを整理したレジュメを作成して授業に臨み、それに基づいて報告する。レジュメの作成方法や発表・報告の仕方は、授業開始時にガイダンスを行なって説明する。

#### 履修上の留意点

出席を重視する。

#### 成績評価の方法

出席点・平常点により総合的に判断する。

#### 教科書

特に指定しない。必要な資料はコピーして配布する。

#### 参考書等

特に指定しない。

科目名	東洋史文献史料講読Ⅴ 東洋史史料講読Ⅰ	開講	通年	単位	4
配当	外23選必（東洋史） 外234選（西洋史） 日234選 考234選 歴2選必（東洋史） 歴234選（日本史西洋史考古学）				
担当者名	杉山 清彦 <small>すぎやま きよひこ</small>				

講義のねらい

清の故事・制度を記した清・礼親王著『嘯亭雜録』を選読し、漢文史料読解能力を養成するとともに、清代の制度・史実についての知識と理解を深める。あわせて、辞書・索引・年表など各種工具書の利用法や史料・研究文献の検索法など歴史学研究のための基本的な知識と技術の修得を目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

初回はガイダンス。以降、講読。受講者全員に漢文の訓読・現代語訳を課し、必要に応じて担当者にレジュメを作成・報告してもらう。

履修上の留意点

各自、漢和辞典など基本工具書必携（電子辞書は不可）。詳しくは開講時に紹介・指導する。

成績評価の方法

出席状況を含む平常点とレポートにより評価する。演習であるので、毎回の出席はもちろん、事前の十分な予習と演習時の積極的参加姿勢とが求められる。

教科書

テキストは中華書局刊の標点本を使用し、講読箇所プリントを配布する。参考書等は適宜紹介する。

参考書等

講義中適宜紹介する。時代の理解に有用なものとして、岡田英弘・神田信夫・松村潤『紫禁城の栄光』（講談社学術文庫、2006）を薦める。

その他

テキストは漢籍であるが、モンゴルなどアジア諸地域に関連する箇所も取り上げるので、中国史以外の専攻を志望する学生の受講も歓迎する。

科目名	東洋史文献史料講読Ⅶ 東洋史史料講読Ⅱ	開講	通年	単位	4
配当	外23選必（東洋史） 外234選（西洋史） 日234選 考234選 歴2選必（東洋史） 歴234選（日本史西洋史考古学）				
担当者名	わたなべ よしひろ 渡邊 義浩				

#### 講義のねらい

東洋史の研究、就中、中国古代史の研究に必要な不可欠な漢文読解力の涵養を目標とする。近年の高等教育における漢文学習の不足に鑑み、第一に漢文を講読するための基礎知識を説明し、第二に基本的な漢文の文法を学ぶ。そのうえで、第三に実際の歴史史料として『三国志』武帝紀を取り上げ、その精読を通じて漢文の訓読・現代語訳への訓練を行うものである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

第一回～第二回 漢文を訓読するための基礎知識  
第三回～第六回 漢文文法  
第七回～ 『三国志』諸葛亮伝の訓読・現代語訳

#### 履修上の留意点

漢和辞典（電子辞書ではないもの。角川書店の『新字源』が好ましいが、新たに購入する必要はない）を持参すること。

#### 成績評価の方法

第七回以降の『三国志』諸葛亮伝の訓読・現代語訳は、参加者の輪番で行う。それを以て評価を定める。

#### 教科書

プリントを配布する。

#### 参考書等

渡邊義浩『諸葛亮孔明』（新人物往来社、2200円）。

#### その他

ゼミ（輪読）形式で行う。

科目名	東洋史文献史料講読IX 東洋史史料講読II	開講	通年	単位	4
配当	外23選必（東洋史） 外234選（西洋史） 日234選 考234選 歴2選必（東洋史） 歴234選（日本史西洋史考古学）				
担当者名	石川 重雄				

#### 講義のねらい

本講義は清の趙翼『廿二史劄記』を読みながら、史料学や史料批判などについて学ぶことを目的といたします。まず各自が関心のある項目をいくつか選択し、原文筆記、返り点、訓読、日本語訳をつくってもらいます。その過程で趙翼が引用した記事と正史の記事との校合、人物・地名・官職・歴史事項等の検討をおこない、簡単な「訳注」を完成させたいと思います。このほか講義の合間に、「正史のはなし」「暦のはなし」「年号のはなし」「諱を避ける」等の基本事項についても言及する予定です。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### 【前期】

- 1) テキスト・辞書の説明
- 2) 担当者の輪読、発表
- 3) 正史のはなし
- 4) 訳注レジュメの作成

##### 【後期】

- 5) 担当者の輪読、発表
- 6) 年号のはなし
- 7) 諱を避ける
- 8) 訳注レジュメの作成、総括

#### 履修上の留意点

担当者を決めて発表形式ですすめます。各自予習が必要となります。講義の際には適当な漢和辞典を持参して下さい。

#### 成績評価の方法

平常の発表内容、出席率、提出レジュメによって行います。

#### 教科書

テキストは、講義時にプリントを配布いたします。

#### 参考書等

必要に応じてそのつど紹介します。

科目名	東洋史文献史料講読XI 東洋史史料講読II	開講	通年	単位	4
担当	外23選必(東洋史) 外234選(西洋史) 日234選 考234選 歴2選必(東洋史) 歴234選(日本史西洋史考古学)				
担当者名	上田 裕之 <small>うえだ ひろゆき</small>				

講義のねらい

本講義では、清朝に帰順してその帝国統治に参画した明朝の遺臣に関する伝記史料をテキストとして、受講生全員による輪読を行い、丹念な史料の読解に基づいて歴史理解を構築するための能力の修得を目的とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

満洲族を中核として東北アジアに成立した清朝は、1644年に明朝滅亡後の中国内地に進出、約40年の歳月を費やして中国支配を確固たるものとなりました。その過程では、多くの明朝遺臣たちが清朝に身を投じてその帝国統治に参画していきました。また、そのなかには三藩の乱を引き起こした呉三桂など、後年清朝に対して反旗を翻した者も存在しました。本講義では、清朝側の視点から記された上述の如き明朝遺臣たちの伝記史料を講読し、中国近世史を学ぶ上で求められる漢文読解能力を養うと同時に、実際には至極複雑であった当時の状況を特定の立場から解釈・記述した一面的な史料に依拠しつつ「史実」を構成していかざるを得ない歴史研究の困難と魅力について考察します。

第一講では本講義の進め方についてのガイダンス、第二・三講では明末清初史に関する基本事項の説明を行い、第四講以降は受講者全員による史料輪読を行います。前後期ともに期末レポートを課します。

履修上の留意点

漢和辞典を必ず持参してください(電子辞書のみ利用は不可)。

成績評価の方法

①出席回数、②提出レジュメ、③報告内容、④期末レポートによって行います。

教科書

主に『清史列伝』(中華書局刊の標点本)を使用します(講読箇所のコピーを配布)。

参考書等

神田信夫・松村潤・岡田英弘『紫禁城の栄光』(講談社学術文庫)  
岸本美緒・宮嶋博史『明清と李朝の時代』(山川出版社)

科目名	西洋史文献史料講読I 西洋史史料講読I	開講	通年	単位	4
配当	外23選必（西洋史） 外234選（東洋史） 日234選 考234選 歴2選必（西洋史） 歴234選（日本史東洋史考古学）				
担当者名	伏島 正義				

#### 講義のねらい

西洋史を学ぼうとする場合、それが人文・社会学科の1部門であるとの立場に立つ限り、その根拠として、史料は必要不可欠であり、必須の前提条件であることは言うまでもない。しかも史料を読むことにより、それを包む社会がいかなるものであったのかについて、さまざまな角度からの検討を可能とさせる。なぜならば、史料は自身からはなんら自動的に語り出すものではなく、我々の史料への問いかけ次第で、多くの事柄について汲めども尽きないヒントを与えてくれるはずだからである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

具体的にいかなる史料を扱うかについては受講生と相談のうえ、決める。但し本講では西欧諸国を対象とし、概して前近代をその範囲とする。また史料は翻訳に拠ることなく原典それ自体を読むこととしたい。なぜならば、翻訳は翻訳者の一定の見解を濾過したものである限り、それに依存することは我々各人の自由で、独創的な解釈を阻害する危険があるからである。したがって初歩的な原典の原語を学びたい。これまでは初歩のラテン語を学び、次にラテン語の史料を読んだ。昨年度は9世紀初頭パリのサン＝ジェルマン＝デ＝プレ修道院の院長イルミノンによる所領明細帳の一部を読んだ。これは西洋中世における領主－農民関係を議論する場合の根拠とされる第一次史料である。

#### 履修上の留意点

歴史を原典史料に降り立って、じっくりと研究しようとする志を持つ、地道な姿勢が期待される。

#### 成績評価の方法

演習形式で授業を進めるため、毎回授業に出席し、いかに積極的にして熱心に参加しているかが基本的な基準である。学期末にテストを実施し、決める。

#### 教科書

D. A. Kidd, *Collins Gem Latin Dictionary Latin-English; English-Latin*  
その他必要な史料等はプリントして、配布する。

#### 参考書等

授業に合わせて、その都度指摘する。



科目名	西洋史文献史料講読III 西洋史史料講読I	開講	通年	単位	4
配当	外23選必(西洋史) 外234選(東洋史) 日234選 考234選 歴2選必(西洋史) 歴234選(日本史東洋史考古学)				
担当者名	佐々木 <sup>ささき まこと</sup> 真				

#### 講義のねらい

フランス語で文献を購読してみたい人のための授業です。フランスの絶対王政期から革命期にかけての文献をフランス語で講読します。同時に、テキストの背景となる歴史状況についての解説も行います。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

授業は履修者の輪読による演習形式で進めます。進行方法については、受講者の数やレベルを考慮して授業を行うなかで決めていきます。

#### 履修上の留意点

外国語を講読する授業なので、フランス語の基礎的な知識は必要となります。また、フランス史についてのある程度の知識が必要となるので、授業中に紹介する参考文献や概説書を必要に応じて読んでください。テキストを精確に読むためには、内容を常に理解することが肝要であり、それには前後関係の理解が重要となります。そのため、欠席は原則として認めません。

#### 成績評価の方法

成績は授業への出席と、授業にタイする各受講生の取り組みを中心に評価し、必要が認められた場合には学年末に試験を実施します。

#### 教科書

テキストは授業開始時にコピーを配布します。

#### 参考書等

参考文献は必要に応じて授業の中で紹介します。

科目名	西洋史文献史料講読V 西洋史史料講読I	開講	通年	単位	4
担当	外23選必(西洋史) 外234選(東洋史) 日234選 考234選 歴2選必(西洋史) 歴234選(日本史東洋史考古学)				
担当者名	おおしろ みちのり 大城 道則				

#### 講義のねらい

西洋史をテーマとして卒業論文を書く場合、外国語を読むことは避けることが出来ない。そこで本講義では、西洋史研究の基礎となる外国語文献および外国語史料の扱い方・読み方を学ぶ。また外国語文献に接する機会を数多く持つことにより、常日頃から外国語を読むことに慣れるのがねらいである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

古代西洋史・古代オリエント史に関する外国語文献を輪読し、必要があれば適時その内容について講義中に解説、及び受講者間での討論を行う。

#### 履修上の留意点

毎回の出席を望む。本講義は語学ではなく歴史学の講義であり、内容の理解度を重視するため、テキスト中に登場する固有名詞(人名・地名)などについても調べてくること。事前に訳者を割り当てたりはしないため、必ず毎時間予習してくることを心がけること。

#### 成績評価の方法

授業への積極的な参加・出席を重視し、学年末の試験により総合的に評価する。予習がなされていない場合は欠席扱いとする。

#### 教科書

受講生と相談して決定する予定である。講読する文献のコピーは全て講義前に配布する。

#### 参考書等

必要があれば適時紹介する。毎回辞書を持参すること。

#### その他

科目名	西洋史文献史料講読VII 西洋史史料講読II	開講	通年	単位	4
担当	外23選必(西洋史) 外234選(東洋史) 日234選 考234選 歴2選必(西洋史) 歴234選(日本史東洋史考古学)				
担当者名	井上 文則				

**講義のねらい** 古代ローマ史に関する英文文献の講読を通して、英語の読解能力向上を図ると同時に、当該時代についての基礎的知識の習得も目指す。

**講義の内容・授業スケジュール** Brian Ward-Perkins 著 *The Fall of Rome and the end of Civilization* (2005年刊) を講読し、あわせてローマ帝国の衰亡に関する諸問題について考察する。基本的に、前後期とも、本書を毎時間講読する。

**履修上の留意点** 予習は不可欠であり(毎回全員に回答を要求する)、講義に際しては英和辞典を必携して臨むこと。

**成績評価の方法** 授業態度、出席点、期末試験で総合的に評価する

**教科書** 特に指定しない。講義中に適宜指示する。

**参考書等** 講義中に適宜指示する。

**その他** 特になし。

科目名	西洋史文献史料講読IX 西洋史史料講読II	開講	通年	単位	4
担当	外23選必(西洋史) 外234選(東洋史) 日234選 考234選 歴2選必(西洋史) 歴234選(日本史東洋史考古学)				
担当者名	菊池 紘一				

**講義のねらい** 西洋史の基本テーマに関する欧語文献を読む力をつけることにより西洋史理解のレベルを上げる。

**講義の内容・授業スケジュール** 14世紀の黒死病を契機とする中世後期から近世にかけての西洋社会の変容・形成をテーマとして、関連文献から要点を抜粋したところを検討する。さらに文字テキスト以外に図表・絵画史料なども参考にして、その利用方法にも習熟していく。スケジュールとしては、最初は講義授業を行ない、以後、輪読・解説を中心に授業を進めていく。

**履修上の留意点** 予習は必須。

**成績評価の方法** 進度に応じて、通常授業時間中にミニ・テストを実施し、またレポート提出を課し、出席状況と併せて評価するが、とりわけ授業に積極的に取り組む態度を重視する。

**教科書** 関連文献からの抜粋を編集したプリントをテキストとする。

**参考書等** 開講時に紹介し、読み方を指示する。

科目名	西洋史文献史料講読XI 西洋史史料講読II	開講	通年	単位	4
配当	外23選必（西洋史） 外234選（東洋史） 日234選 考234選 歴2選必（西洋史） 歴234選（日本史東洋史考古学）				
担当者名	ひじかた しおり 土方 史織				

#### 講義のねらい

英語文献をテキストにして、そこに書かれている内容を把握し、読解力の向上を図る授業です。内容を単に日本語に置き換えるのではなく、語彙の意味を正しく読み取り、時代背景も踏まえて理解出来ることを目的としています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

イギリス近代史を題材にしたテキストを輪読形式で読み進めます。また、こちらから解説を適宜加えていきます。

#### 履修上の留意点

予備知識としてイギリス史及び近代ヨーロッパの時代状況を理解しておいて下さい。また、英語文献をテキストにしますので、和英大辞典や英英辞典の使い方にも慣れておいて下さい。

#### 成績評価の方法

基本的には授業中の発表内容で決めますが、受講生が多い場合は試験を行うことも考えています。また、発表者でなくとも授業への積極的な参加が認められれば、評価の対象になります。

#### 教科書

開講時に発表します。

#### 参考書等

村岡健次、川北稔編著『改訂版 イギリス近代史：宗教改革から現代まで』ミネルヴァ書房2003年。  
竹岡敬温、川北稔編『社会史への途』有斐閣選書1995年。

#### その他

各自予習してきた訳文を発表してもらいます。毎回出来るだけ多くの受講生に発表してもらうため、予習は必ずしてきて下さい。また、授業初回にガイダンスをおこなうので当日は必ず出席して下さい。

### 歴史

科目名	考古学実習（写真）	開講	通年	単位	2
配当	歴234選必（考古学） 考234選必				
担当者名	つかはら あけお 塚原 明生				

#### 講義のねらい

考古学における、発掘現場写真撮影出土遺物写真撮影について基礎より学ぶ。

#### 講義の内容・授業スケジュール

写真撮影の為のカメラ機材及び写真用品の解説とその使用方法、用途や目的に応じたその利用方法を写真専門用語と共に基礎より学び、撮影実習暗室実習を通して写真記録の重要性を考える。

#### 履修上の留意点

受講生は実習を円滑に進める為、原則的に35mm判一眼レフカメラを所持する事を条件とする。（デジカメ及びコンパクトカメラは不可）

#### 成績評価の方法

課題写真提出、出席点（どちらが欠けても評価の対象外とする）

#### その他

前期に講義を中心とし撮影実習（屋外）後期に撮影実習（屋内）及び暗室実習を行なう。

科目名	考古学実習（測量）	開講	通年	単位	2
配当	歴234選必（考古学） 考234選必				
担当者名	ふるしやう ひろあき 古庄 浩明				

講義のねらい

発掘調査に必要な測量技術を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

測量機器を使って野外で測量活動をおこなう。また、2月に3週間ほど実際の遺跡の測量調査をおこなう。

履修上の留意点

野外での作業を伴うので、作業しやすい服装で受講すること。

成績評価の方法

「出席」と「2月におこなう遺跡測量へ参加できるかどうか」を最も重視する。また、一定の技術を習得したか授業中に試験を行う。

参考書等

野帳（150円程度）・コンベックス・電卓（ともに100円ショップで売っているものでよい）が必要。どのようなものを買ったほうが良いか授業中に指示します。

その他

男女とも野外作業に適した服装。雨天でも通常の授業では屋根のある場所で測量実習を行う。

科目名	考古学実習（実測）	開講	通年	単位	2
配当	歴234選必（考古学） 考234選必				
担当者名	かみしきりやう ひさし 上敷領 久				

講義のねらい

考古学の基本は遺跡の発掘と出土遺物の実測です。特に遺物実測は単に土器や石器を模写するのではなく、先人が作った道具に込められた技術の復元や機能の推定等を行う重要な基礎作業です。本講義では上半期を土器、下半期で石器の実測を行い、出土資料の持つ情報をどのように図化するか、実測の手順を習得することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

上半期は実測概念の講義と実技の基礎習得を行います。4～5月は実測の概念と遺物観察方法についての講義。6～7月は土器・石器の模型等を使って基礎技術の習得を行います。下半期は遺跡から出土した実物の石器・土器を使って実測図を作成します。

履修上の留意点

本講義は考古学を専門に目指す学生を対象としています。出席はとりませんが、土器と石器あわせて4枚の実測図の完成を以って評価の対象としますので継続して受講する必要があります。

成績評価の方法

年度末定期試験・レポート提出は行いません。土器と石器あわせて4枚の実測図の完成を以って評価の対象とします。

参考書等

講義中に適宜レジュメを配布します。

科目名	考古学実習（情報）	開講	通年	単位	2
配当	歴234選必（考古学） 考234選必				
担当者名	小柳 美樹				

#### 講義のねらい

この授業は、パソコンを利用しながら考古学上の調査および整理、研究を進めていく際に必要な基礎的知識や考え方を理解していくものである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

基本的なパソコンソフトである文章作成機能、数理統計機能、図画作成、写真加工機能、インターネット環境などを使用し、与えられた課題を処理していく。そのため、授業時間の大半は、パソコンを活用しながらの作業になる。

#### 履修上の留意点

履修する学生はパソコン利用が初心者であるものを優先したい。すでにパソコンに慣れている学生には物足りなく感じてしまう恐れがある。ご注意願う。  
課題は考古学に関するものである。そのため、基礎的な考古学用語などを把握している学生が望ましい。

#### 成績評価の方法

きちんと出席していること。  
課題を全て提出していること。

#### 教科書

指定する教科書・参考書はない。

#### その他

開講時までに学内パソコン利用の登録を済ませておくこと。

科目名	日本古代史	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	瀧音 能之				

#### 講義のねらい

時代的には古代を対象とし、地域的には出雲に注目して、そこに展開されたであろう歴史的要素をとりあげるつもりです。古代史における出雲地域の特殊性については、しばしば指摘されるところです。記紀神話にみられる出雲系神話のウェイトの大きさに加えて、近年の神庭荒神谷遺跡や加茂岩倉遺跡の発見は古代における出雲の重要性を再認識させました。こうしたことをふまえて古代史の再構成をめざしたいと思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

テキストをもとにして、毎回、ひとつのテーマをとりあげて、それについて述べていくつもりです。

#### 履修上の留意点

古代の特に地域史に興味をもっている学生の積極的な参加を期待しています。

#### 成績評価の方法

成績の評価は、隔年末のテストを重視しておこないますが、それに加えて出席状況などの平常点を考慮して総合評価とします。

#### 教科書

瀧音能之著『「出雲」からたどる古代日本の謎』（青春出版社）

#### 参考書等

瀧音能之著『古代出雲と風土記世界』（河出書房新社）

#### その他

授業は講義形式でおこないますが、何回かはビデオなど使用して、立体的な授業にしたいと思っています。

科目名	日本中世史	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	久保田 昌希 <small>くぼた まさき</small>				

### 講義のねらい

本講座は中世社会の構造を概観し、日本史上に占める位置を考えることを目的とする。日本中世史の研究は、明治期における原勝郎の『日本中世史』によって提起された、いわば武家社会発展史（公家政権の衰退史）が伝統的史観であり、それは戦後日本中世史研究の出発点となった石母田正の『中世的世界の形成』へ継承されていく。

それから約60年を経つつある段階の今日、中世史研究はまことに活況である。さまざまな視点や方法論による史料解釈などがその多彩性を生み出している。しかしそれは同時に研究の細分化をともなうことになった。ここではそうした研究の現状を追いかけるのではなく、中世社会の基礎的な構造について紹介する。

その目的は、はたして中世という社会は、古代から近世社会の間でいかなる構造をもち、いかなる展開を遂げたのかという、いわば中世社会の「枠組み」を考えることの大切さを強調したいからである。本講座ではこれらの視点に立って、研究史も紹介しながら概観していく。

### 講義の内容・授業スケジュール

（前期）

1. 古代から中世へ
2. 鎌倉幕府と朝廷
3. 武家と公家の法秩序
4. 鎌倉中・後期の幕府と朝廷
5. 建武新政をめぐる
6. 室町幕府と守護体制
7. 惣的結合と一揆の時代
8. 戦国大名領国の形成
9. 豊臣政権
10. 近世（幕藩制）社会へ

### 履修上の留意点

細かな政治史、事件等の経緯については、各自で中世史関係の論文や図書を読んでほしい。

### 成績評価の方法

定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。

### 教科書

とくに指定はしない。適宜史料コピーを配布することがある。

### 参考書等

適宜紹介する。

科目名	日本近世史	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	中野 達哉 <small>なかの たつや</small>				

歴  
史

### 講義のねらい

近世前期の領主支配と地域社会の形成・変容について、関東、とくに武蔵国を中心に、現在の研究上の問題点に触れながら考えることを目的とする。

### 講義の内容・授業スケジュール

関東転封より江戸幕府開幕までの関東領有期の徳川氏の領国整備の過程を中心に、おおよそ享保期までの在地支配と地域社会について、具体的に史料をあげながら講義する。徳川氏の関東転封、近世初頭の江戸および江戸城の状況とその建設、徳川氏の家臣団の知行割と初期検地、代官頭および代官の支配と村社会、近世社会の基礎を支えた村の構造、村社会の慣行と秩序、そして、それらによる地域社会の形成と変容などについて触れていく。

### 履修上の留意点

「知識としての日本史」を深めるために受講するのではなく、日本史あるいは近世の社会を大局的に捉え、考えるための糧とすべく講義を受講して欲しい。

### 成績評価の方法

基本的には、年度末の定期試験により評価する。試験は論述方式をとる。なお、授業の出欠状況も参考とする。

### 教科書

必要な資料は、授業時に配布する。教科書はなし。

科目名	日本近代史	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	<small>くまもと ふみお</small> 熊本 史雄				

#### 講義のねらい

幕末から明治、大正、昭和を経るなかで、近代日本は国民国家を如何にして形成・発展させてきたのか、その過程について政治、外交、文学、ことば（「国語」の形成）などを切り口に講述する。これら各テーマは、近代日本が西洋を中心とした外の世界との接触において、その対向たる「内」の問題として還元されていったものである。

本講義では、そうした諸相における個々の検討を積み重ねることによって、「国民一体性」の創出と「対外関係」という視点から、講義全体を通して近代日本像の提示を試みる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期：近代日本の異文化体験、近代日本と国民国家形成（「国語」の創出／「国語」の海外進出と植民地政策）

後期：近代日本の対外政策と外交思想（山県有朋／内藤湖南／内村鑑三／矢内原忠雄／宮崎滔天／牧野伸顕／幣原喜重郎／石橋堪山／佐藤尚武／吉田茂）

#### 履修上の留意点

歴史には「問」がある。「暗記する歴史」ではなく「考える歴史」、「発見する歴史」を。

#### 成績評価の方法

前・後期2回の定期試験の成績、および出席状況で評価する。

#### 教科書

とくに指定しない。

#### 参考書等

伊藤 隆『昭和史をさぐる』（朝日文庫）1991年  
 中野目徹『書生と官員－明治思想史点景－』（汲古書院）2002年  
 細谷千博『日本外交の軌跡』（NHKブックス）1993年  
 三好行雄編『漱石文明論集』（岩波書店）1986年  
 E. H. カーク著 清水幾太郎訳『歴史とは何か』（岩波新書）1962年  
 イ・ヨンスク『「国語」という思想』（岩波書店）1996年

#### その他

講義形式で進め、レジュメと史料を毎回配布する。



科目名	日本史特講I【〔古代〕】	開講	通年	単位	4
担当	日外考歴234選				
担当者名	加藤 謙吉				

#### 講義のねらい

中央豪族と地方豪族の存在形態を、それぞれのウジの本質的な性格や、本拠とした地域の特性に基づいて解明し、王権とどのような関係で結ばれていたかを追究することで、大和政権の構造とその発展過程を探る。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期…①ウジの成立、②ワカタケル大王と武蔵・肥後の豪族、③和珥系諸氏族の実像、④近江の豪族と継体朝の成立、⑤紀臣と紀直  
後期…⑥平群氏と平群谷古墳群、⑦膳・安曇両氏と御食供進、⑧蘇我氏の発展過程、⑨阿倍氏の台頭、⑩オホマヘツキミとマヘツキミ、⑪讃岐における佐伯直と因支首

#### 履修上の留意点

5～7世紀の歴史について、あらかじめ概説書などを読み、基本的な知識を身につけておくこと

#### 成績評価の方法

積極的な授業参加が必要。成績は年2回実施するテストの結果と出席状況に基づき、評価。テストは前・後期の講義内容に沿って、論述式の問題を出題する。

#### 教科書

特になし。

#### 参考書等

加藤謙吉『大和の豪族と渡来人』（吉川弘文館・歴史文化ライブラリー）、佐伯有清『古代氏族の系譜』（学生社）

#### その他

図表や史料は、授業の進度にあわせて、適宜、プリントを配布する。

科目名	日本史特講II【〔古代〕】	開講	通年	単位	4
担当	日外考歴234選				
担当者名	古谷 紋子				

#### 講義のねらい

平安時代は、日本の古代及び中世の間に位置し、古代社会の変質時期であると同時に中世社会へと移行する重要な時期にあたる。本講義は、平安時代の貴族社会について理解を深めてもらうことを目的としている。

#### 講義の内容・授業スケジュール

平安時代の幕開けとされる平安京遷都から始めて、さらに平安時代の政治文化についての講義を進めていく。その際、六国史をはじめとする歴史史料、法制史料としての律令や貴族の日記である古記録、文学作品を講読しながらすすめる。古記録は、六国史に比べ扱いにくい史料ではある。しかし平安時代を学ぶ者にとって、さらには中世以降の公家政権を学ぶ者にとって、古記録に対し理解を深めていくことは重要なことである。

8C末～12C末の平安時代前期・摂関期・院政期の特徴を考える。

#### 履修上の留意点

配布されたプリントに目を通しつつ、授業を聴くこと。また板書も多いので書きもらすことのないよう、注意すること。

#### 成績評価の方法

出席状況を重視し、前期・後期の講義最終日に試験を行なうことで成績を評価する。

#### 教科書

教科書はなし。

#### その他

毎回プリントを配布する。

科目名	日本史特講III【(中世)】	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	こまつ としはる 小松 寿治				

講義のねらい

鎌倉北条氏の勢力伸張やそれに関わる得宗被官家・御家人などの姿について、信濃国を中心に考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

鎌倉北条氏の勢力伸張の過程を検討し、北条氏の守護国となった信濃国の支配における得宗被官家の役割など実態を考えて見たい。時間が許すならば、御家人の相続にかかわる譲状などを検討することによって、御家人の家の実態なども検討したいと考える。

履修上の留意点

黒板をフルに使うので、ノートをとることを進める。また、史料については、プリントして配布する。

成績評価の方法

評価は基本的には1月の試験期に提出してもらったレポートで評価するが、授業態度も加味する。

教科書

特になし

参考書等

参考図書・参考論文等については、授業の中で提示する。

その他

講義形式であるが、多少は古文書（活字）を読んでもらうこともある。

科目名	日本史特講Ⅳ【〔中世〕】	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	黒田 基樹 <small>くろだ もとき</small>				

#### 講義のねらい

15C後半～17C前半は、日本史上における大きな転換期にあたる。これまで中世と近世という形で分断されてきたこの時期を、一つの時代として認識するとともに、「中世の戦争と飢饉」から「近世の平和」へ、という観点から、この時代の歴史的段階としての特質について追求していきたい。

近年の中世史研究における村落論の進展によって、社会を村落・民衆の視点から認識できるようになった。ここではその視点をさらに発展させるべく、人々の生存・生活という側面に迫り、そこから15C後半～17C前半（いわゆる戦国～江戸初期）という時代の特質を考えていきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

今年度は、15Cから展開した徳政問題を取り上げる。まず徳政問題の実態について、村落・民衆の視点から追究し、その歴史的意味を明らかにする。次いで16Cから登場してくる戦国大名の徳政問題への対応について、多くの事例を検討しながら、戦国期における徳政問題の展開と、その帰結の状況を明らかにする。今年度は特に、中部地方以西の事例を取り上げる。さらにその後の徳政の在り方について見通し、15～17C列島社会の歴史的特質を提示したい。

#### 履修上の留意点

授業中に示した参考文献についても、なるべく読むようにしていただきたい。また授業のなかで不明な点があれば、積極的に質問されるよう望む。

#### 成績評価の方法

レポート、出席状況などから判断する。

#### 教科書

教科書はなし

#### 参考書等

参考書として、  
 黒田基樹『戦国大名の危機管理』（吉川弘文館）2005年  
 同『百姓から見た戦国大名』（ちくま新書）2006年  
 神田千里『土一揆の時代』（吉川弘文館）2004年  
 を、あらかじめ読んでおいてほしい。

#### その他

授業は、史料を講読しながらすすめていく。その都度、プリントを配布する。

科目名	日本史特講VI【〔近世〕】	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	でくち ひろゆき 出口 宏幸				

講義のねらい

この授業では、近世における漁業社会を中心に話を進めます。従来、近世史研究にあって注目度が低く、農業の補完的位置付けがなされてきましたが、近年非農業的側面の重要性が指摘され、近世社会における新たな評価がなされはじめています。この分野を取り上げることで、近世社会の多様性を、漁業という分野を通して浮き彫りにしたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

前期の授業では、漁業史研究の流れと、漁業・海付村落（漁村）を概観します。特に、①直接生産者（漁民）の漁場認識から近世的漁業権の成立、②海付村落の実態などについて解説します。

後期の授業では、中後期以降に顕著となる漁獲物流通（商品流通）への関与が、いかに村落を変容させたのかについて、様々な事例を通して解説します。江戸日本橋の肴問屋の資本流入や漁業生産がもたらす社会的影響、さらには漁場争論などです。

ほとんどの村落が農業に従事するなか、漁業が村落運営にいかなる規定性をもったのか。とくに、江戸に近接する関東漁業の発展を通して考えます。

成績評価の方法

試験80%、平常点20%

教科書

必要に応じ、授業中に指示します。

科目名	日本史特講VII【〔近代〕】	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	くまもと みみお 熊本 史雄				

講義のねらい

第一次大戦から第二次大戦を経て、戦後のサンフランシスコ平和条約締結に至るまでの日本外交につき史料を交えて講述し、その外交方針の根底に潜む思想を解明する。戦前期の外交については、対外機構の改変問題も関連づけながら当該期日本外交の中心であった対中関係を考察しつつ、日本が如何なる途を模索し最終的には戦争に進んでいったのかを検討する。戦後期の外交については、占領下において、当時の外務省さらには戦後日本の政治指導者として大きな役割を担った吉田茂が如何にして日本再生の途を模索したかを、その準備過程と条約締結交渉を通じて検証する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：第一次大戦と日本／「新外交」の模索／対中文化政策への視線／ワシントン体制の成立と対米英関係／満州事変から日中戦争へ／日米交渉と太平洋戦争

後期：終戦工作／占領の開始／「自主外交」の模索／平和条約締結の準備／サンフランシスコ平和会議／安保条約と行政協定

履修上の留意点

史料の講読を通じて外交政策の決定過程を迫体験して欲しい。外交指導者が下した決断の理由は何か、その根底にある主張とは何か、といった問題意識を常に持つことが重要。

成績評価の方法

前・後期2回の定期試験の成績、および出席状況で評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義形式で進め、レジュメと史料を毎回配布する。

科目名	日本史特講VIII【(近代)】	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	岸本 昌也 <small>きしもと まさや</small>				

#### 講義のねらい

近代日本における国家と宗教の関係を「戦没者（＝英霊）祭祀」という観点から分析する。従来戦没者祭祀については「国家神道」なる分析概念の下で、戦没者の英霊を祀る靖国神社－各地の招魂社（後の護国神社）という軸が問題とされてきたが、本講義では、戦地での火葬－遺骨の内地送還－郷里での葬儀というもう一つの軸を考え、両軸の生成過程や相互の関連を探る。戦後と異なり、徴兵制があり戦死者というものが身近な存在であった戦前の時代背景や傷痍軍人の存在に留意しつつ、祭祀の「場」（神社、墓地、記念碑）との関係や靈魂観・遺体観念についても視野に入れて考察を進め、欧米諸国との比較も行う予定である。最終的には英霊祭祀が二つの軸に分裂せざるを得なかった事情を、近代日本特有の政教関係の中で位置付けることとしたい。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- おおよそ以下の項目に沿って講義を進めていく予定である。
1. 戦没者遺骨収集作業と現代日本人の「英霊」観念
  2. 近代日本の政教関係概観
  3. 神社非宗教論
  4. 英霊公葬問題
  5. 幕末維新期の戦没者祭祀
  6. 徴兵制軍隊の創設
  7. 内戦と外征
  8. 日清・日露戦争
  9. 恩給法
  10. 昭和の戦争と忠霊塔

#### 履修上の留意点

身近な戦没者祭祀の場（護国神社、忠魂碑、軍人墓地など）の存在を意識しておくことより理解が深まると思われる。

#### 成績評価の方法

各学期末のレポートにより評価する

#### 参考書等

『日本近代思想体系 宗教と国家』（岩波書店）  
 村上重良『慰霊と招魂』（岩波新書）  
 阪本是丸『国家神道形成過程の研究』（岩波書店）  
 梅田義彦『日本宗教制度史〈近代編〉』（東宣出版）  
 その他、講義中に適宜紹介する

科目名	東洋史各説II【〔古代史〕】	開講	通年	単位	4
担当	日外考歴234選				
担当者名	山口 洋 <small>やまぐち ひろし</small>				

講義のねらい

中国王朝と周辺諸国との関係について、如何なる問題点が存在し、どの様に研究が進められているのかを知ると共に、自ら問題に取り組めるようになること。

講義の内容・  
授業スケジュール

前漢王朝以来、中国王朝にとって北アジアの遊牧民族勢力との関係は非常に重要であった。遊牧勢力は時には中国世界の奥深く進入し、やがて王朝をうち立てることもあった。北魏や北朝諸王朝、隋、唐などもその王族は鮮卑系である。また、西域諸国と中国王朝との交流は、それ自体が中国王朝に様々な影響を与えたが、その過程では北アジア遊牧勢力との力関係が影響していた。本講義では、北アジア史や中央アジア史の視点から中国史を再検討する。また、後期は隋王朝を中心に東アジア史の視点から、高句麗・日本との関係も視野に入りたい。対象時代は、中国王朝で言えば秦から唐まで。以下の予定で進める。第1回-第2回：アジアの地理と風土 第3回：冊封 第4回-第5回：西域と漢王朝 第6回-第7回：匈奴 第8回-第9回：鮮卑 第10回-第11回：柔然 第12回-第13回：隋の統一 第14回-第17回：突厥 第18回-第19回：吐谷渾 第20回-第21回：隋王朝と西域 第22回：高昌国 第23回：高句麗 第24回：日隋関係

履修上の留意点

出席不良者には単位修得を認めない。課題は必ず提出すること。

成績評価の方法

レポート（数回）、及び平常点（出席、授業態度）を総合して評価する。

教科書

授業時間内に史料のプリントを配布。

参考書等

池田温〔ほか〕著『中国史』（山川出版社）1996．7（世界歴史大系）

科目名	東洋史各説Ⅲ【〔中世史〕】	開講	通年	単位	4
担当	日外考歴234選				
担当者名	いしだ はじめ 石田 肇				

#### 講義のねらい

〈唐宋変革期の諸問題〉と題して講義します。唐から宋にかけては唐宋変革期といわれ、中国史上の大きな転換期として、ひいては東アジア史上の転換期として認識されており、時代区分の問題とも絡んで重要な時期ですので、様々な議論がなされています。そこでこの変革に絡めて講義します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期では時代区分論について紹介し、ついで唐宋変革期を概説し、後期では前期をふまえていくつかのテーマについてお話する予定です。現段階ではテーマは決まっていますが、思想史・士大夫論・史学史・科挙論といった私の関心のある分野から選んで講義することになると思われます。一昨年度は科挙について話し、昨年度は金石学を概観し、唐から宋のいくつかの石碑、大秦景教流行中国碑や元祐党籍碑をとりあげ、それぞれの時代を考えました。

#### 履修上の留意点

講義ではなるべく史料を示して解説してゆきますので、配布史料は必ず持参すること。

#### 成績評価の方法

出席ならびに課題提出によります。

#### 教科書

なし

#### 参考書等

適宜、講義中に示します。

#### その他

講義を中心としますが、なるべく受講生に発言を求めます。

科目名	東洋史各説Ⅳ【(近世史)】	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	佐藤 文俊 <small>さとう ふみとし</small>				

#### 講義のねらい

本講義の扱う時代は宋・元・明・清四王朝を対象とし、特に明朝時代を詳説する。漢民族王朝の宋・明、非漢民族王朝の元・清の継起の中で、今日いう中華民族国家が清代に形成された。

明清時代に形成された政治・経済・社会・文化等の内容は、現代中国に継承されている側面も多い。又、最近の研究動向にも留意しつつ、世界史の動向と関連する東アジア史の中で、明朝時代を位置づけたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 風土と歴史的特徴
2. 宋・遼・金の時代
3. 元朝史
4. 洪武帝時代
5. 永楽帝時代
6. 明代中期史
7. 明代後期史 (a) 嘉靖～万暦前期 (b) 万暦後期～崇禎期
8. 明朝の滅亡 (a) 満洲族の興起 (b) 明末農民反乱
9. 清朝の中国統一
10. 清朝の盛期——康熙・雍正・乾隆期
11. 嘉慶白蓮教の乱
12. 特殊テーマ

#### 履修上の留意点

遅刻をしないこと。

#### 成績評価の方法

試験による成績評価を軸とする。なお受験資格は実授業数の3分の2以上の出席を要する。

#### 教科書

授業でその都度紹介する。



科目名	東洋史各説V【(近・現代史)】	開講	通年	単位	4
担当	日外考歴234選				
担当者名	ちようぐん 趙 軍				

#### 講義のねらい

数千年にわたる中国の歴史の中で、近・現代史は一番身近な歴史で、しかも今日の東アジアおよび世界情勢に対して大きな影響を及ぼしているものである。本講義は政治・経済・外交・文化などの方面を通して、近代以来の中国の歴史を概要的に解説し、中国の歴史と現代を正しく理解できる知識や教養を高める。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は1840年のアヘン戦争から1949年中華人民共和国の成立までの歴史を解説し、後期は中華人民共和国成立以来の歴史を解説する。

1. アヘン戦争と中国の「開国」
2. 「太平天国」農民運動
3. 洋務運動と日清戦争
4. 士紳らの救国運動－戊戌維新－
5. 農民らの救国運動－義和団事件－
6. プルジョア階級による救国運動－辛亥革命－
7. 北洋軍閥統治下の中国
8. 国民革命の開始と挫折
9. 日本の満洲侵略と紅軍の長征
10. 中国の抗日戦争
11. 解放戦争と新中国の誕生
12. 1950年代前期の中国
13. 「反右派闘争」前後
14. 「文化大革命」の嵐
15. 鄧小平と改革開放政策

#### 履修上の留意点

受講者とのコミュニケーションを図るため、毎回出席カードを配り、授業内容に関する質問・感想・提言などはそのカードの裏に積極的に記入して提出してほしい。

#### 成績評価の方法

年に2回レポートの提出を要求し、課題は数週間前に提示する。成績評価には出席日数を参考にする。

#### 教科書

小島晋治・丸山松幸著『中国近現代史』（岩波新書336）岩波書店

#### 参考書等

授業の中で指示する。

科目名	東洋史各説VI【(アジア諸民族史)】 東洋史学史	開講	通年	単位	4
配当	日外考234選 歴234必(東洋史) 歴234選(日本史西洋史考古学)				
担当者名	奈良 <sup>なら</sup> 修一 <sup>しゅういち</sup>				

### 講義のねらい

東南アジアという地域は、古来よりインド、中国の両文明に挟まれ交易により潤ってきている。しかし、日本との関係が深いにも関わらず、この地域に対する理解が深いとは言えないのが現状である。故に、この地域の歴史、文化を再確認したい。そのためには、単に歴史的な知識だけを入れるのではなく、歴史の流れと見方を学んでいきたい。

普通、東南アジア史というと、各国史の総合のような形で説かれることが多いが、近代的な国家概念では、前近代の国を理解することができない。それゆえ、世紀割りに歴史を見ていき、各王朝の変遷を追いながら、歴史の流れを把握していく方法をとる。また、歴史を研究する時に盲点になりやすい、文化、宗教、技術の点にも触れていく予定である。

### 講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1) 東南アジアの定義、(2) 時代区分について、特に「近世」の説明

(3・4) 12世紀までの歴史 (5～13) 世紀ごとの近世史、

(後期) (14～17) 宗教を含む文化史 (18～21) 19世紀の歴史、

(22～25) 20世紀の歴史、(26) まとめ

### 履修上の留意点

東南アジア史は各地の自発的な発展の歴史であると同時に東西交流の場として世界史的な動きの影響を色濃く受けている。それだけに、基本的な世界史の知識を確認しておいていただきたい。また、授業中には地図帳を持ってきてもらいたい。

### 成績評価の方法

成績は夏休みのレポートと、授業中に書いてもらう小レポートによって評価する。

### 教科書

必要な資料はコピーを配布する。

### 参考書等

石澤良昭、生田滋『世界の歴史13 東南アジアの伝統と発展』、中央公論社  
石井米雄他『東南アジア史』全9巻、別巻1、岩波書店

### その他

単に知識を入れるだけの講義にしたくないので、活発な議論ができる授業にする予定である。

科目名	東洋史特講I【(古代史)】	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	いしい のとし 石井 仁				

#### 講義のねらい

いわゆる三国志には、3世紀末、西晋の歴史家、陳寿によって編纂された正史『三国志』と、14世紀の元末明初期に大衆芸能をもとに書かれた『三国志演義』とがあります。後者は脚色が施された小説であって史実ではありませんが、現代の日本では、中国史の専門家も含め、これをもとに三国時代の歴史が語られる場合が少なくありません。講義では、『三国志演義』の強い影響のもと、これまで誤解・曲解されてきた三国時代の歴史や人物像を再構成することを目的とします。

#### 講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1～3) 近代日本と三国志 (4～6) 秦漢帝国史概説  
(7～13) 2世紀の東アジアと三国の鼎立  
(後期) (14～16) 曹操の出自と魏王朝 (17～19) 劉備と劉氏の物語  
(20～22) 孫呉の江南経略と外交政策 (23～26) 諸葛孔明と関羽

#### 履修上の留意点

受講前に、三国時代の簡単な歴史や主要人物について、一通り勉強しておいて下さい(小説・マンガ・映画などでも構いません)。

#### 成績評価の方法

レポート(複数回)の成績をもとに評価します。

#### 教科書

使用しません。配付プリントをもとに講義を進めます。

#### 参考書等

渡邊義浩『諸葛亮孔明』(新人物往来社)、同上『図解雑学・三国志』(ナツメ社)、石井仁『曹操—魏の武帝』(新人物往来社)など。  
このほか、講義で随時紹介します。

#### その他

適宜、映像資料も使います。

科目名	東洋史特講II【〔中世史〕】	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	なかむら じゆん 中村 淳				

講義のねらい

中世のアジアも、分断された歴史世界が並立した状態ではなく、また単純に「中国」が中心にあった時代と言うわけでもなかった。唐王朝の時代から説き起こし、13～14世紀のモンゴル時代（モンゴル帝国・元朝の時代）の歴史を中心にして、中央ユーラシア世界から中世のアジア世界史像を見てみたい。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下のような授業内容を予定している。  
 [前期] 舞台となる世界、唐と突厥・安祿山、ウイグルと吐蕃、契丹（遼）と沙陀そして宋  
 [後期] 西夏と金、モンゴル時代のイメージと実際、モンゴル時代が残したもの

履修上の留意点

できるだけ平易な言葉を用い、わかりやすい講義を心がけるが、授業に臨む際はやはり高校世界史程度の知識は最低限必要であろう。不安がある人は事前に高校時の教科書等で予習をするなどして授業に臨み、また授業時には高校で用いていた歴史地図などを持参することをお勧めする。

成績評価の方法

出席点に論述筆記試験の評価を加味し、総合的に評価する予定。

教科書

必要な史料はプリントで配布。

参考書等

参考書については授業時に随時紹介する。

科目名	東洋史特講III【〔近世史〕】	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	すぎやま きよひこ 杉山 清彦				

歴史

講義のねらい

ユーラシア東方における最大最後の帝国であった大清帝国（清朝）は、一般には「最後の中華王朝」「漢化した異民族王朝」として理解されている。しかし、これは漢人（漢民族）中心の歴史観に引きつけられた見方であり、非漢人の満洲人が広大な非漢地を統治した帝国であるという事実を正面から捉えたものではない。本講義では、大清帝国の形成過程と支配構造を、支配層たる満洲人に焦点を当て、ユーラシア史の観点から再構成することをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下のような内容を予定している。  
 [前期] 元明交替と東北アジア マンジュ国から大清帝国へ 八旗制の支配構造  
 [後期] 位階制秩序と辞令・誓書 旗人社会と族譜 ユーラシア国家としての大清帝国

履修上の留意点

講義形式で進め、随時アンケート等を実施して受講生との疎通を図る。高校世界史程度の知識を前提として進めるので、講義中随時紹介する参考文献などを手がかりに、必要な知識は自分でフォローすること。

成績評価の方法

前後期各1回課すレポートを基本とし、平常点を参考とする。

参考書等

講義中適宜紹介する。全般にわたるものとして、岡田英弘・神田信夫・松村潤『紫禁城の栄光』（講談社学術文庫、2006）を薦める。

科目名	東洋史特講Ⅳ【(近・現代史)】	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	ふじや ころえつ 藤谷 浩悦				

講義のねらい

本講義では、東アジアの近代の歩みについて、清末中国における社会と文化を中心に考察する。テーマは前期が「民衆反乱」、後期が「文化摩擦」である。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の内容は以下の通りである。

- (1) 問題提起 (2) 18世紀の世界 (3) 白蓮教徒の乱 (4) 民間諸宗教  
 (5) 反乱の世界 (6) 会党と近代 (7) 太平天国1 (8) 太平天国2  
 (9) 太平天国3 (10) 義和団1 (11) 義和団2 (12) 義和団3  
 (13) 辛亥革命 (14) (予備) (15) (予備)  
 (1) 問題提起 (2) お茶と文化 (3) 茶の世界史 (4) 病気の歴史  
 (5) 茶とアヘン (6) アジアの近代 (7) アヘン戦争1 (8) アヘン戦争2  
 (9) 上海と横浜 (10) 上海の歴史 (11) 留学生と日本 (12) 文化と政治1  
 (13) 文化と政治2 (14) (予備) (15) (予備)

履修上の留意点

当該時期に関心を抱くことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は試験に出席率を勘案して行う。

教科書

教科書や参考書は授業の中で指示する。

その他

適宜、史料を配付する。

科目名	東洋史特講V【(アジア諸民族史)】	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	<small>かたおか かずただ</small> 片岡 一忠				

講義のねらい

中国の西方、すなわち西域は諸民族の活躍した舞台である。その西域と中国の関係は、絹の西方への伝播や仏教の中国への伝来等、平和的な関係もあったが、中国王朝にとって西域は政治軍事上きわめて重要な位置にあった。講義では、西域をめぐる中国と北方の遊牧民との関係からはじめ、主に18世紀以降の問題について検討し、今日の中央アジア情勢の背景をさぐる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 西域とは
- 2 西域の地理的環境
- 3 オアシス世界の政治経済的特徴
- 4 遊牧民と西域
- 5 中国と遊牧民
- 6 中国と西域
- 7 中国王朝の西域政策
- 8 清朝の西域征服とその統治政策
- 9 19世紀の世界情勢と西域
- 10 清朝の政策の変更
- 11 辛亥革命と西域（新疆）
- 12 20世紀中央アジアソ連と中国
- 13 今日の中央アジア

履修上の留意点

とくに予備知識を必要としない。中国の辺境や西域（中央アジア）に関心のある学生の聴講を期待する。

成績評価の方法

小テストや後期末試験の成績に平常点・出席点を加算する。

教科書

とくに指定しない。関係資料を配布する。

参考書等

授業の中で指示する。

その他

講義形式

科目名	東洋史特講VI【〔アジア諸民族史〕】	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	松本 <small>まつもと ひろし</small> 弘				

### 講義のねらい

本講義は中東史であり、一般にイスラーム期と呼ばれる中世と、近現代がその内容となる。近年、日本における中東やイスラームに関わる研究は急速に拡大、充実しているものの、一般にはその理解は未だ十分ではない。それゆえ、講義の対象には初学者を想定し、中東及びイスラームの基礎的な理解のための情報提供を第一の目標とする。

しかし同時に、中東に関する一般的な興味、関心が、現在報道されている様々な事件にあることを考慮し、それらの解説や論評も行なう。これが、第二の目標となる。当然、両者は別々のものではなく、中東史に関わる基礎的・一般的理解と、その現状に関わる個別的な理解との総合が、本講義の大きな枠組みとなる。

### 講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1) 授業の目的と予定 (2～5) 中東の地域概念、国や民族・宗教の構成、中東一神教世界(ユダヤ教、キリスト教、イスラーム)などの概説 (6・7) イスラームの成立 (8・9) ウマイヤ朝・アッバース朝 (10・11) イスラーム法学 (12・13) イスラーム神学 (14～15) オスマン帝国 (16・17) 中東の近代概説 (18・19) ナショナリズムの時代 (20～22) 中東和平問題の歴史と現状 (23～25) イスラーム原理主義の史的展開 (26) 現代中東の民主化

### 履修上の留意点

中東の歴史を、現代の状況や諸問題からも考えていく作業となるので、中東やイスラームに関わる新聞報道(特に国際面)の見出しだけでも、毎日見る習慣を身につけて欲しい。

### 成績評価の方法

前期末および学年末のテストによって、評価する。

### 教科書

特に用いない。

### 参考書等

適宜、プリントなどで指示する。

科目名	西洋史各説I	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	しょうじ けいち 庄司 啓一				

#### 講義のねらい

##### アメリカ合衆国の歴史

アメリカ合衆国について情報は氾濫している。それは日本と政治・経済・文化などの分野において最も密接な関係がある国だからである。そればかりではない。アメリカは世界最強の軍事・経済・文化帝国であり、世界のあらゆる出来事に強い影響を与えている。しかしながら、アメリカ合衆国の全体像、その基本的な性格を理解するには、その歴史に遡らなければならない。「アメリカ史」を日本の若者はどのようにして学んできたのだろうか。日本の若い人々ととり生活の一部となっており、わざわざ勉強しなくてもいい、と考えられていないだろうか。

アメリカはヨーロッパの植民地として歴史がはじまり、原住民であるインディアンを追い払いながら、ヨーロッパから多様でたくさんの人々を受け入れてきた「移民国家」である。黒人はアフリカ大陸から強制的に奴隷として連行されてきたのであり、決して自由な移民ではない。また、アジアからも中国、日本、フィリピンなどからの移民は人種・民族的な差別を体験しながらアジア系アメリカ人としてのアイデンティティを模索している。このような世界各地の人々が自らを「アメリカ人」として自己認識するには長い歴史的な時間が必要であった。

世界の辺境の地に植民地として歴史がはじまったアメリカ合衆国が世界最大の工業国家に成長し、世界に君臨するようになり、その歴史的な限界をも露呈するようになった今日、アメリカの歴史の基本線を勉強することは、日本人にとっても大切なことだと考える。

#### 成績評価の方法

前期・後期ともに論述試験実施。

#### 教科書

『アメリカの歴史』油井・有賀編（有斐閣）



科目名	西洋史各説Ⅲ	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	はせがわ たけお 長谷川 岳男				

#### 講義のねらい

西洋世界の源流に位置すると考えられてきた古代ギリシア・ローマ世界の認識も昨今の世界の変化のなか、大きな修正を求められている。そのような現状を前提に本講義においては、様々な民族が含まれながら、一般的には400年間にその支配が及んだローマ帝国の世界を取り上げたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は古代ローマの歴史と社会を概観して、そのなかでも特にローマ帝国の成立の問題に関して、古代の著述や近代以降の研究史を紹介したうえで、「なぜローマは帝国を創り上げることができたのか?」という問題を考えていきたい。後期は成立したローマ帝国のもと、そこに含まれた人々が実際に帝国といかなる関わりを持ちながら生活していったのかを、ギリシア世界とガリア、ブリタニアなどの事例を取り上げ、最終的に「ローマ帝国の世界」とはいかなるものであったのかという問いを考えていきたい。

#### 履修上の留意点

ただ情報を得るだけではなく、講義内容を土台に西洋古代世界とは現実的にはいかなる社会であったのかを自分なりにイメージし、自らが所属する現代社会とはいかに違うのかを考えるという積極的な姿勢で講義に参加して貰いたい。なお基本的な概説は行うので、西洋古代史の知識のない学生の参加も歓迎する。

#### 成績評価の方法

講義をした上で年度末に試験かレポートを行って評価するが、出席が前提となる。

#### 教科書

使用しない。

#### 参考書等

講義中に適宜指示するが、まずは次の二冊をあげておく。  
長谷川岳男・樋脇博敏『古代ローマを知る事典』、東京堂出版。  
服部良久他(編)『大学で学ぶ西洋史 [古代・中世]』、ミネルヴァ書房。

科目名	西洋史各説Ⅳ 西洋史学史	開講	通年	単位	4
配当	日外考234選 歴234必（西洋史） 歴234選（日本史東洋史考古学）				
担当者名	ささき まこと 佐々木 真				

#### 講義のねらい

フランス絶対王政から革命までの歴史をこれまでにどのような研究がなされてきたのかを中心に解説します。これにより、史実の変遷を提示するとともに、対象についての歴史学上の解釈の変化を解説して、19世紀以降の歴史学のあり方の変化を解説します。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

（前期）

- （1）問題点の提示
- （2）絶対王政概観
- （3）絶対王政研究①：実証史学
- （4）絶対王政研究②：マルクス主義
- （5）絶対王政研究③：比較経済史
- （6）絶対王政研究④：社団国家論
- （7）絶対王政研究⑤：社会史

（後期）

- （1）フランス革命概説
- （2）フランス革命研究①：ブルジョワ革命論
- （3）フランス革命研究②：修正主義
- （4）フランス革命研究③：新しい文化史
- （5）フランス革命研究④：国民国家とフランス革命
- （6）フランス革命研究⑤：新たな潮流
- （7）まとめ

#### 履修上の留意点

授業中に紹介する参考文献をなるべく多く読み、広い知識を身につけて下さい。

#### 成績評価の方法

成績は学年末に行う筆記試験の成績に、不定期に調査する出席点を加えて判定します。

#### 教科書

教科書は特に指定しません。

#### 参考書等

参考文献は必要に応じて講義中に紹介します。

#### その他

授業は講義形式で行い、随時参考資料を配布します。

科目名	西洋史特講II	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	伏島 正義				

#### 講義のねらい

中世史に興味がひかれる契機は、ある伝説的物語のもつ魅力、人物、事件等に負うところが少なくない。本講ではそうした事項を選んでみたい。そして、そうした事項がある特定の歴史的背景を反映したものであるとの認識に立ち、それがいかなる社会的背景に基づくものであるかについて考えてみたい。具体的にはどのような事項を扱うかについては、受講生と相談のうえ決める。

#### 講義の内容・授業スケジュール

文献、・関係論文、史料などを読み、それを演習形式により授業を進める。なお、本講では論文をその数において多く読むことよりも、その1つ1つを丁寧、正確に読むことを心がけることにより、当該論文の筆者の主張を深く理解し、合せて歴史研究の方法を学ぼうとするものである。昨年度はドイツ語による論文を読んだが、具体的には受講生と相談し、決める。

#### 履修上の留意点

本講は西洋史一般の知識を広く、そして多く獲得することを単に目的とするものではなく、むしろ歴史の深部を探求し、考求しようとするものである。したがって授業は演習形式で行うため、受動的な態度ではなく、地道にして、しっかりした心構えを持つ受講生を希望します。

#### 成績評価の方法

毎回授業にどれ程熱心に、積極的に参加しているかが基本的な基準となることは言うまでもない。授業で毎回とる出席と期末テストで評価する。

#### 教科書

教科書は特に定めない。必要な論文、史料はプリントとして配布する。

#### 参考書等

参考書は授業の進行に合わせて、その都度指摘する。

科目名	西洋史特講IV	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	白川 耕一				

#### 講義のねらい

講義テーマ「第2次世界大戦下のドイツ社会」  
ドイツ社会の分析を中心に、第2次世界大戦像を提示します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期においては、第1次世界大戦から第2次世界大戦前期（1942年頃）までを扱い、後期には、1943年以降から1945年までを論じます。戦争に対する世論、戦争動員、動員による社会変動、人々の戦争経験とその多様性、マイノリティへの迫害などを検討します。

#### 履修上の留意点

講義は通年授業ですが、前期終了時に試験またはレポートを課します。

#### 成績評価の方法

前期の課題及び年度末試験（70%）、出席点（30%）で成績評価を決定します。

#### 教科書

指定しません。

#### 参考書等

木村靖二他編『世界歴史大系 ドイツ史3』（山川出版社 1997年）のナチ時代や第2次世界大戦に関する部分を講読して講義に出席してください。その他の参考文献については講義中に指示します。

#### その他

講義中に、史料プリントを適宜配布します。

科目名	西洋史特講VI	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	おおしろ みちのり 大城 道則				

### 講義のねらい

人類の歴史の中でも異彩を放つ古代エジプト王国は、約2000年前に既に滅亡したにもかかわらず、その文化は消滅することなく、現在においても未だその輝きを失っていない。本講義は、その古代エジプトの文化に焦点を当て、いまだ我々を魅了する古代エジプト文化とはいったいどのようなものであったのかについて理解を深めることがねらいである。

### 講義の内容・授業スケジュール

古代エジプト文化がどのように形成され、拡散し、そしてどのように現代世界にまで影響を及ぼしているのかを具体例を用いながら講義を行う。時代的には新王国時代以前を扱う。以下のような講義内容を予定している。

- ① ナイル川を巡る周辺地域との交流
- ② 暗黒大陸の夜明けとブルースの『ナイル探検』
- ③ オソルコン三世のプロフィール
- ④ アクエンアテン王とその時代
- ⑤ エジプトにおける「クシュ系」第25王朝の成立過程
- ⑥ バクエンレンエフ王と第24王朝
- ⑦ サイス朝時代：古代エジプトの文化復興期
- ⑧ パルミラにおける古代エジプト文化の影響
- ⑨ エジプトのアレクサンドリアの建設
- ⑩ ポンペイにおける古代エジプト文化の影響

### 履修上の留意点

15分以上の遅刻には出席を認めない。

### 成績評価の方法

後期試験の結果および出席を重視する。

### 教科書

大城道則『古代エジプト文化の形成と拡散—ナイル世界と東地中海世界—』（ミネルヴァ書房）。必要に応じて講義内容に関する資料をコピーし、配布する予定である。

### 参考書等

必要があれば適時紹介する。

### その他

パワーポイントで映像資料を用いながら講義形式で行う。

科目名	西洋史特講VIII	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	早川 <sup>はやかわ</sup> 理穂 <sup>りほ</sup>				

#### 講義のねらい

近代フランス史におけるマイノリティー  
フランス革命期から19世紀にかけての歴史を、マイノリティーの立場から捉えていく。具体的には貧民、女性、いわゆる「反革命」派、植民地奴隷を採り上げる。フランス革命により「国民の統合」が進められていく中、彼らの取り込み・排除はどのように行われたのかを、それ以前に社会の周縁で生きた人々の歴史も踏まえて、見ていく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 社会の周縁に生きる人々  
中世～近世の乞食、放浪者、犯罪  
救済から排除へ
2. 貧民救済と徴兵・選挙権拡大  
公的福祉としての救済  
近代的徴兵制と普通選挙制
3. 女性の社会的地位と政治参加  
女性の役割  
政治参加
4. カリブ海植民地奴隷制度を巡る議論  
植民地政策と奴隷制撤廃  
ハイチ革命とその影響
5. 「反革命」としてのヴァンデ戦争  
「反革命」とは  
ヴァンデ戦争と記憶
6. 産業化と社会問題  
「危険な階級」としての労働者  
文学作品に見られる社会問題
7. 移民問題  
現在の移民問題とその背景

#### 成績評価の方法

前期は指定されたテーマに沿ったレポート、後期はレポート試験により評価を行う。夏休み前にレポートの課題を発表するが、就職活動等で欠席する可能性を考え、確実に課題を把握できるように対処すること。

#### 教科書

特に指定はしないが、全体の流れをつかむため、概説書に目を通しておくこと。

#### 参考書等

授業の中で随時紹介していく。

科目名	考古学各説II	開講	通年	単位	4
担当	日外考歴234選				
担当者名	近藤 英夫				

講義のねらい

授業の内容であるが、南アジア最古の都市文明であるインダス文明の解説を中心に、講義をすすめる。授業各時限に個別のテーマ（「都市と農村」や「交易」など）を設定し、都市を存立させたさまざまな基盤について検討していく。その際、インダス文明と並行する年代のメソポタミアや湾岸地域の動向についても紹介していく。これらの作業を通して、「都市とはなにか」「文明とはなにか」について考えていく。

履修上の留意点

授業では極力、視聴覚資料を多用し理解をはかる。また、授業中に参考文献等を示していくので、事前にそれに目を通して授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

授業の進行に従い、数度のレポートを課し、それを総合して成績評価を行う。

教科書

辛島昇也『インダス文明』（日本放送出版協会）1980年  
 近藤英夫編『四大文明〔インダス〕』（日本放送出版協会）2000年  
 『ORIENTE』23（古代オリエント博物館）2001年  
 その他の文献については、授業の進行に応じ適宜、示していく。

科目名	考古学各説IV	開講	通年	単位	4
担当	日外考歴234選				
担当者名	三宅 俊彦				

講義のねらい

「北アジア考古学」について講義をおこなう。  
 特に、中国北方からモンゴル高原にかけての地域を中心に、この地域で興亡した遊牧民の残した考古遺物・遺跡を探っていく。前期はおもに青銅器時代を中心に講義をおこなうが、後期はできるだけ多くの時代をあつかっていく。

歴史

講義の内容・授業スケジュール

前期は「青銅器時代における北アジアの考古学文化」を探ることに主眼をおく。まず日本人にはなじみの薄い、遊牧とはどのような様な生活文化であるのかを紹介し、その認識の上に立って北アジアの青銅器時代を探っていく。  
 後期は「歴史時代における北アジアの考古学文化」を探る。歴史時代には、北アジアの草原地域には突厥やモンゴル帝国など、強大な王朝が成立し、中国史の中にも大きな影響を与えた。それら遊牧民がつくった王朝の足跡を、考古学的に明らかにしていきたい。

履修上の留意点

授業に積極的な姿勢で臨むことを希望する。

成績評価の方法

出席点ならびにレポートによって成績を評価する。

教科書

特になし。

参考書等

特になし。授業の参考になる書籍等は、その都度紹介する。

その他

授業は講義が中心となる。出来るだけプリントやスライド等を用い、内容の理解を深められるよう努めたい。

科目名	考古学特講II	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	酒井 清治 <small>さかい きよじ</small>				

#### 講義のねらい

日本列島には各時代にわたって大陸から多くの渡来人が訪れた。彼らは日本に多くの文化や技術を伝え、それが日本文化にも影響を与えた。渡来人が弥生時代・古墳時代・歴史時代に伝えた文化は、発掘調査によっても多くの遺跡・遺物として認識できる。そのような遺跡・遺物を取り上げ、渡来人がどのような文化を残し、それがどのように受け入れられていったのかを探り、各時代の文化に与えた影響などについて考えてみる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

弥生・古墳・歴史時代を通史的に、それぞれの時代の渡来人と渡来文化について遺物・遺跡などの資料を紹介しながら見ていきたい。おおよそ以下の①海を渡ってきた渡来人、②ムラと米作り、③墓とまつり、④倭のクニグニと渡来人、⑤大和政権と渡来人、⑥渡来人の伝えた古墳時代の技術、⑦飛鳥時代の渡来人について講義する。

#### 履修上の留意点

遅刻しないこと

#### 成績評価の方法

レポート、出席、授業態度

#### 教科書

授業の中で適宜紹介する

#### 参考書等

授業の中で適宜紹介する

#### その他

授業はOHPを利用して写真、図を見せながら講義を行う

科目名	考古学特講IV	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	設楽 博己 <small>したら ひろみ</small>				

#### 講義のねらい

顔の考古学 現代日本人の祖先はどこに求められるのか。それを解く手がかりは、縄文・弥生・古墳時代の人々にある。彼らはどのような顔立ちをしていたのか。そうした形質の起源はどこに求められるのか。その答えがヒントになる。また、彼らはたくさんの顔にかかわる造形を残した。土偶や埴輪などは、その代表的な遺物である。本講義では、古代人の顔にまつわるさまざまな問題を取り上げ、日本古代文化とそれを担った人々を掘り下げる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は縄文・弥生・古墳時代の人骨を取り上げ、その形質的な特徴、DNA分析の結果などに関する研究の現状を解説し、現代日本人とのかかわりを考える。さらに縄文時代の土偶や仮面など顔にまつわる造形品をとりあげ、その特徴や性格について考える。後期は弥生・古墳時代の線刻人面絵画や埴輪を取り上げ、その特徴や縄文時代の造形からの変化とその意味するところを考える。また、古代の人面墨書についても取り上げる。

#### 履修上の留意点

講義中の私語は慎むようにしてください。

#### 成績評価の方法

年度末の試験と中間レポートやミニ試験、出席によって総合評価する。

#### 教科書

とくになし。

#### 参考書等

その都度指示するが、当面原始絵画にかかわる参考書として、(佐原真・春成秀爾1997『原始絵画 歴史発掘5』講談社)に目を通しておくこと。

科目名	考古学特講VI	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	かみしまりよう ひさし 上敷領 久				

#### 講義のねらい

本講義では日本旧石器時代の研究史を再検討することによって、研究の現状と課題を俯瞰し、旧石器時代研究法の基礎的知識を習得する。また旧石器時代遺跡が数多く調査されている野川源流域の代表的な遺跡から出土する石器群の変遷を観察しながら、先史時代社会の構造について考える。

#### 講義の内容・授業スケジュール

4・5月は日本旧石器時代研究史を概観する。  
6・7月は研究史で紹介した、代表的な研究方法について検証する。  
9・10月は野川源流域の代表的な遺跡から出土する石器群の変遷を観察する。  
11・12月は特に多摩蘭坂遺跡出土の石器群を中心に武蔵野台地の後期旧石器時代初頭の石器群とその社会について考察する。

#### 履修上の留意点

本講義は主として考古学を専攻する学生を対象とし、特に時代を旧石器時代に限定して講義する。そのため授業中に紹介する当該期の発掘調査現場への自主的見学や、博物館等で展示されている関連資料の見学を行う事が望ましい。

#### 成績評価の方法

授業時の出席を重視し、夏期休暇中のレポートを1本。および論述形式の期末試験によって総合的に評価する。

#### 参考書等

講義中に適宜参考図書・論文等を紹介する。



科目名	考古学特講VIII	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	やの かずゆき 矢野 和之				

#### 講義のねらい

近年、遺跡の保存と活用の必要性が叫ばれている。考古学、歴史学専攻の学生は、将来地方自治体の教育委員会に籍をおき、文化財保護行政に携わるケースが多いと思われる。このため、単に遺跡の発掘調査のみならず遺跡整備や遺跡博物館の計画を担当するものと考えられるので、文化財の保存計画の基本となる理念、計画プロセス、保存技術等を理解しておく必要がある。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- ・文化財の保存と活用の理念
  - ・日本建築史（古代）概要
  - ・遺構とその上部構造体の復元
  - ・保存計画概論
  - ・保存科学、保存工学概論
  - ・まちづくりと文化財
  - ・計画策定の実務
  - ・国内の事例
  - ・海外の事例、文化財保存の国際機関
- 以上を一部演習を混じえながら講義する。

#### 履修上の留意点

特にないが、人文系の知識だけでなく、理科系の知識も必要となる。

#### 成績評価の方法

試験、演習提出物

#### 教科書

なし

#### 参考書等

適宜指示

#### その他

講義は、スライド、OHP、ビデオ（保存工事の記録等）を使用する。

歴史

科目名	日本仏教史	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	まつもと のぶみち 松本 信道				

#### 講義のねらい

本講座は、「仏教の日本的受容」というテーマを中心として、日本の古代史を再検討してみようというのがねらいである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

仏教が日本に受容された背景を、政治的・社会的・思想的・宗教的環境の中で有機的にとらえていくということを基本的姿勢として講義を進める。とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的視点と、日本古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく、一般民衆の「苦悩」と「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆史的視点からもアプローチしてみた。

#### 成績評価の方法

前期・後期2回のレポートと出席点を総合して評価する。

#### 教科書

随時、プリントにて配布します。

#### 参考書等

速水侑『日本仏教史 古代編』（吉川弘文館）

科目名	日本文化史	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	よしだ まさひろ 吉田 政博				

#### 講義のねらい

日本の文化の歴史が、当時の社会の生産という問題や、政治・経済・宗教などと深くかかわっていたことに留意しながら、朝廷・公家・武家のみならず民衆が文化の創造に大きな役割を果たしていたことを、明らかにしていく。また現代生活への影響や比較などについても検討していく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、鎌倉期以降の中世を中心としながら江戸期にかけての文化様相と特色などについて講述する。次のような順序で授業を進めていく。

- ・中世文化史研究の動向
- ・鎌倉新仏教と文化
- ・山岳信仰と文化
- ・禅宗と五山文化
- ・南北朝から室町期の文化
- ・北山文化の展開
- ・東山文化とその基盤
- ・中世の職能民
- ・知識人の思想とその行動
- ・庶民信仰と生活
- ・連歌師の旅
- ・京と鄙の交流
- ・大名領国の文化
- ・統一政権とその文化
- ・近世文化史研究の動向

#### 履修上の留意点

講義内容の復習が必要であることはもちろんであるが、例えば日本文化や歴史、宗教などをテーマとする博物館・美術館などの展示会を積極的に観覧し、できるかぎり「実物」に接する機会を持ってもらいたい。受講する上では図書館所蔵の文化史・美術史に関する資料・ビデオ等を大いに活用することをすすめたい。なお、本学の禅文化歴史博物館での文化史関連展示会の見学と学芸員による説明会を実施する。

#### 成績評価の方法

後期に実施する定期試験の結果による。これに授業の出欠状況とレポートなどを加味する。

#### 教科書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

#### 参考書等

講義内容に関する研究所などを随時提示していく。

科目名	西洋文化史	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	石田 恵子 <small>いしだ めいこ</small>				

講義のねらい

東洋に対する西洋文化のルーツをたどっていくと、ギリシャ・ローマの地中海世界を経て、古代西アジア地域の文化にまでたどっていくことが出来る。特に西アジアに起源する印章文化の展開を柱として、それにまつわる古代オリエントの歴史、印章の種類、役割の多様性などを紹介しつつ、ヨーロッパ世界に伝えられていった指輪型印章や封ロウをルネサンス時代まで追いつき、今日まで残る印章の意義を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期はメソポタミアで誕生したスタンプ印章の使用開始から円筒印章の登場、メソポタミアに栄えた円筒印章の変遷、その素材と技術、メソポタミア周辺の印章文化も紹介する。後期は書写材料・文字の変遷による円筒印章の終焉とスタンプ印章の復活、ギリシア・ローマ世界、ビザンチン・イスラム世界、中世ヨーロッパ及びそれ以降の印章及び印章に関わる文化を概観する。

履修上の留意点

広く興味を持って本や展覧会など見るようにすること。

成績評価の方法

出席点と課題レポート、試験

科目名	有職故実	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	近藤 好和 <small>こんどう よしかず</small>				

講義のねらい

10世紀後半以降の平安貴族社会で、和様化した公事（朝廷の儀式・政務）のマニュアルとして、令・格・式・儀式などを基礎に成立したのが有職故実である。従って、その扱う範囲は本来多岐にわたり、前近代では、有職故実研究はそのまま歴史研究でもあった。ところが、明治以降、有職故実が扱う範囲は、服飾・武具・調度・乗用具などの限定されたものになってしまった。しかし、これらが有職故実が扱う重要な分野であることは確かである。特にかかる「モノ」を実用の道具として即物的に扱うのが有職故実の特徴であり、「モノ」を現在の歴史学に取り込むためには、有職故実的な手法が不可欠と考える。また、それらの「モノ」を正しく理解することで、古典文学の理解もより深まる。そうしたなかで、本講義では、公家・武家の装束と中世の武具について講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期では、装束について、公家・武家の順に講義する。後期では、武具について、甲冑・弓箭・刀剣等について講義する。

成績評価の方法

前・後期各一回の試験で判定する。

教科書

特になし。授業ごとにプリントを配布する。

参考書等

必要に応じて提示する。

科目名	日本民俗学	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	たにぐち みつき 谷口 貢				

#### 講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の調査・研究を通して、日本社会に展開する生活文化を追究する学問である。「民俗」はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

本年度は日本の地域社会に伝承されてきた民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していきたい。年間の講義予定は以下に掲げる内容で、各2回程度に分けて行う予定である。

- 第1講 民俗の多様性
- 第2講 民俗学の流れと現在
- 第3講 家族生活と住まい
- 第4講 食をめぐる民俗
- 第5講 村と町のなりたち
- 第6講 若者と一人前
- 第7講 婚姻と出産・子育ての民俗
- 第8講 女性・子ども・老人の民俗
- 第9講 葬送儀礼と先祖祭祀
- 第10講 里と海・山のなりわい
- 第11講 祭りと年中行事
- 第12講 民俗宗教の諸相
- 第13講 北海道民俗・沖縄民俗の特徴

#### 成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

#### 教科書

谷口 貢・松崎憲三編著『民俗学講義－生活文化へのアプローチ』八千代出版、2100円(税込)、ISBN 4 - 8429 - 1405 - X

#### 参考書等

講義内容を発展させるための参考文献は授業の中で紹介していきたい。

科目名	歴史地理学	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	小田 <sup>おだ まさやす</sup> 匡保				

#### 講義のねらい

主に日本の歴史地理について講じる。歴史時代の村落・都市について概観し、最後に近代以降の歴史地理学の資料と歴史的景観の保存について述べる。歴史地理学の範囲は非常に広いので、「浅く広く」を基本に授業を進める。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 歴史地理学とその概要
  2. 歴史時代の村落（先史から近代まで）
  3. 歴史時代の都市（主に古代）
  4. 歴史地理学の資料
  5. 歴史的景観の保存
- \*受講生が少ない場合は、後期に大学周辺のミニ巡検を1回行ないたい。

#### 履修上の留意点

この科目は、地理学科・歴史学科両方の専門科目であるが、教員は地理学の間人であるので、地理学的内容が中心になる。しかし、地理学科の学生も、ある程度の日本史の知識を持っていることが望まれる（覚えることが多い）。歴史が苦手な人には向いていない科目である。ただし、古文書が読める必要はない。

#### 成績評価の方法

成績評価は、出席状況、夏休みレポート、試験（前期・後期の2回、持込不可）によって行なうが、試験の点数が基本である。ただし、半分以上の出席と夏休みレポートの提出を必須条件とする。試験の点数が低い時はもちろんだが、出席回数が足りない場合、レポートが受理されない場合も、単位は認定されない。

#### 教科書

使用しない。

#### 参考書等

授業中に指示する。

科目名	人文地理学概説	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	わかばやし ひろむね 若林 宏宗				

### 講義のねらい

地理学とは何か？ からスタートし、自然環境、社会環境を基盤とした人間活動とその現象を日本、世界の現代社会の中で捉え、人文地理学として分析する。また、将来の人間活動のあるべき姿についても考察したい。

この中で、日本の全都道府県踏破（自転車による）、南極を含む地球上の全七大陸への旅などによる観察、考察を適宜加えたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

- ①前期
- ・地理学とは？
  - ・地図の読み方
  - ・現代諸現象の地理学的分析
  - ・人口の分布、移動
  - ・都市化と都市問題
  - ・都市の内部構造と郊外
  - ・日本の観光
- ②後期
- ・商業、工業、農業
  - ・人間生活と気候・水・都市計画・文学など
  - ・世界諸現象の地理学的分析
  - （航空機、貿易、石油、華人社会、食料、開発など）

### 成績評価の方法

- ・定期試験を実施し、成績評価の基準とする。レポートをそれに準じて加味する。
- ・出席（2/3以上）を重視し、平常点として加味する。

### 教科書

高橋伸夫・谷内 達・阿部和俊・佐藤哲夫編『ジオグラフィー入門』古今書院2,500円（税別） ISBN 4-7722-4001-2

### その他

講義形式。

科目名	地誌学	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	かわもと とよかず 川元 豊和				

講義のねらい

南アジア・東南アジアの地誌について授業を進める。テーマは「地域の変貌」であり、主な対象地域としてバングラデシュとマレーシアを予定している。前期は、まず、アジアの地域的特色を主として、人口・農業・宗教の側面から概観する。次に、バングラデシュの村落を対象とし、1960年代後半以降の「緑の革命」にともなう農耕の変化や農業開発の過程で生じる地主・小作関係に根ざす土地問題や小作制度の変更、労働力の問題などについて考えてゆきたい。後期は、主にマレーシアを対象とし、多民族社会の地理的特徴や工業化・都市化にともなう村落の変貌などについて、最近の地域研究の成果を紹介してゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

①はじめに ②アジアの人口動態 ③稲作における「緑の革命」 ④アジアの宗教 ⑤バングラデシュ農村における近年の農業の変化 ⑥バングラデシュ農村における土地所有と小作制度 ⑦半島マレーシアにおける多民族社会の形成 ⑧半島マレーシアにおける地方都市の発展 ⑨サラワク州におけるイバンの生活 ⑩まとめ

履修上の留意点

高校時代に使用したものでよいから、地図帳を持参して授業に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

出席（授業回数の2/3以上）及び9月末のレポート提出を前提とし、学年末の筆記試験と併せて総合的に評価する。

教科書

特に定めず、プリントを配布する。

参考書等

授業内において、その都度紹介する。

その他

講義形式。

科目名	地誌学	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	あらい さちほ 新井 祥穂				

**講義のねらい** 日本および世界の農山村が直面する問題について、正確な現場理解に基づいた考察を行う。

**講義の内容・授業スケジュール** 今日地域社会は、行財政改革、経済自由化の一層の推進といった大きな社会システムの変革の波に直面している。こうした中でこれからの地域社会には、より「自立した」姿、具体的には、地域の生態・社会資源との調和を図りつつ、地域社会が主体的に将来の方向づけを行い、自らの努力と責任で状況を変えていく姿が改めて求められることは間違いない。しかしそれがどのようなものであるかについては、理念やイメージが先行しがちで、現場で生じつつある事態に基づいた考察は意外に少ない。  
本講義では、日本と世界の農山村の現状、課題、そして方向性に関して、具体的に正確な像をもち、将来の教育活動に役立ててもらおうことを目指している。特に政策との関わりを詳しく論じる。前半は日本社会（稲作農村、山村、資源管理）、後半は亜熱帯・熱帯地域の社会（沖縄の振興、発展途上国の農業開発）を対象とする。

**履修上の留意点** 参加者には、何らかの具体的な現象に注目した上で、自分なりの理解や判断を編み出す努力を期待したい。さらには、休暇等を利用して自主的に農山村や海外を旅行してほしい。

**成績評価の方法** 講義中に指定する課題の提出と、学年末試験の受験の両方を満たし、かつその成績が基準以上であること。

**教科書** 特に指定しない。

**参考書等** 適宜紹介する。

**その他** 講義形式をとる。資料は基本的にはこちらで準備する。



科目名	地誌学	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	やまぐち たろう 山口 太郎				

#### 講義のねらい

地誌学は、ある特定の地域の地形、気候、植生などの自然事象や、集落、人口、産業、文化、社会などの人文社会事象を、総合的に理解しようとする地理学の一分野である。今年度は、日本の地域性を概説した後、東京を事例に地誌各説を展開する。これらを通じて、地域の見方を習得してもらいたい。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- (前期)
- ・日本の地域性：気候、地形、植生、自然観、地域区分、人口、国土開発、工業、農業、社会構造など
- (後期)
- ・東京の地誌

#### 履修上の留意点

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課す。

#### 成績評価の方法

前期中間、後期末に行う試験と、夏休みレポート、小レポート等の課題とで総合的に評価する予定。

#### 教科書

プリントを配布する。

#### 参考書等

講義中に随時紹介していく。

#### その他

講義中心だが、毎回授業の前半は、地図の読図や、中学・高校・大学の地理の入試問題を解くといった作業に時間を当てる。

科目名	哲学史	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	山口 祐弘 <small>やまぐち まさひろ</small>				

講義のねらい

ヨーロッパにおける哲学の起源を探索し、その問題圏を明らかにして哲学とは何かを考え、また現代において思索する方法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- ①哲学と哲学史 ②ギリシア哲学の起源 ③イオニアの哲学（タレース、アナクシマンドロス、アナクシメネス） ④ピュタゴラスとピュタゴラス派 ⑤エレア派（クセノファネス、パルメニデス、メリッソス、ゼノン） ⑥ヘライクレイトス ⑦エムペドクレス ⑧原子論（レウキッポス、デモクリトス） ⑨アナクサゴラス ⑩アテネの哲学とポリス ⑪ソフィスト（プロタゴラス、ゴルギアス） ⑫ソクラテス ⑬メガラ派（エウクレイデス、エウブリデス、スティルボン） ⑭キュレネ派（アリストイッポス、テオドロス、ヘゲシアス、アニケリス） ⑮小論文作成

後期

- ①ペロポネソス戦争とポリスの変貌 ②プラトン ③アリストテレス ④ヘレニズム・ローマ哲学 ⑤ストア哲学 ⑥エピクロス哲学 ⑦新アカデメイア派（アルケシラオス、カルネアデス） ⑧懐疑主義 ⑨キリスト教 ⑩新プラトン主義（アンモニオス・サッカス、プロティノス） ⑪ピロン ⑫カバラ派とグノーシス主義 ⑬古代哲学の問題圏 ⑭哲学の歴史性と普遍性 ⑮小論文の作成

履修上の留意点

単なる知識の習得ではなく、哲学史を素材として自ら考える態度を養うことに努めてもらいたい。

成績評価の方法

平常の学習態度および小論文の評価による。

教科書

「原典に見る哲学の歴史」 公論社

参考書等

ヘーゲル「哲学史」岩波書店

科目名	中国歴史文学	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	たくま のぶゆき 田熊 信之				

#### 講義のねらい

数千年にわたる中国の歴史の中で、政治や文化の中心的な担い手となった漢民族は、時には他の民族とも混雑を累ねながら、特異な漢字文化を生み育てて来た。本講座では、こうした漢字文化の粋である各種の文学作品（新出遺文も含め）を選読しながら、中国の人々が築き上げた多様な文字表現の世界を省察して行きたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期、後期にわたり、適宜中国文学史上の個々の作品を選読する。中国文学の世界には、例えば、歌謡や巫歌に由来する韻文の流れや、卜辞、告誓、記事などに始まる散文の流れがあり、このもとには、社会生活を営む個々人の離合集散する哀歓こもごもの人間模様が、各々の時代の思潮や思想、信仰等に彩られながら、さまざまな形で綴り残されている。本年度は、漢字、漢語を用いて綴られる中国文学のあやどりの世界を具体的に理解していくために、歌謡、詩偈等を含めた韻文や、人伝、僧録などをも含めた史伝、碑文、墓誌等の散文を読み進めていきたい。

#### 履修上の留意点

中国の地理、風土、歴史等については、各自概説書や関連著作などを参照して、基礎知識を得ていて欲しい。

#### 成績評価の方法

評価は、受講の状況を重視しながら、課題等への対応のさま、レポート或いは試験等の結果を併せて、総合的に行なう。

#### 教科書

テキストについては、プリントを配布しこれを使用する予定。

#### 参考書等

参考書、資料等については、授業時に説明し、紹介する。

#### その他

授業は、講義及び演習の両方式を混じえて行なう。

科目名	仏教美術	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	むらまつ てつふみ 村松 哲文				

講義のねらい

日本の仏教美術について、歴史的な背景と照らし合わせながら概観する。一つのモチーフが時代によって変化してゆく過程を考察し、仏像・仏画の基本的な鑑賞法を身につけてもらいたい。

また本講義では、美術作品から制作者の心情に迫り、芸術という側面だけではなく、信仰という側面に留意して話を進める。なおインド・中国・朝鮮半島の仏教美術については「総合I(3) 仏教と芸術」で講義する。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

仏教美術の世界 (1)  
飛鳥時代の仏像 (2～7)  
白鳳時代の仏像 (8～10)  
天平時代の仏像 (11～15)

〔後期〕

平安時代の仏像 (16～20)  
鎌倉時代の仏像 (21～25)  
仏教美術の荘厳 (26～30)

以上は予定で、適時仏教美術関係の展覧会について解説を予定している。

履修上の留意点

美術館・博物館・寺院に行き、多くの仏像を観察するように努めてもらいたい。仏教美術関連の展覧会には、必ず足を運ぶこと。

成績評価の方法

定期試験と出席率、レポートなどで総合評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

参考書・参考論文などは講義中に紹介する。

科目名	西域美術史	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	まつだいら みわこ 松平 美和子				

講義のねらい

唐の僧、玄奘三蔵は法を求めて629年長安を出発、玉関門から西域へ進み、タクラマカン砂漠のオアシス都市、カラコルム山脈、パミール高原を経てついにインドに至った。17年に及ぶ玄奘の旅の西域部分をその著書『大唐西域記』と伝記『大慈恩寺三蔵法師伝』によって辿り、訪れた土地の美術を中心に、シルクロードにおける文化の東西交流を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期 玄奘の旅した高昌国、亀茲、サマルカンド、バクトラ、パーミヤン、カピシ、ハッダ、タキシラ、その他西域各地の美術を旅程にそって辿る。  
後期 玄奘の時代を中心に、シルクロードの美術工芸やそのモチーフの展開を考察する。

成績評価の方法

夏期休暇後のレポート、学年末のレポート試験、講義時の提出物、出席状況から総合的に評価する。

教科書

プリントを随時配布する。

参考書等

講義時に随時伝える。

その他

毎時間スライドを、必要に応じてビデオも使用する。

科目名	美術史概説	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	きたの よしえ 北野 良枝				

講義のねらい

日本絵画の流れを主要なジャンルや流派ごとに概観する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回、作品を映写する。

講義の内容・授業スケジュール

前期 平安時代から室町時代の絵画  
 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識  
 (3) ~ (4) 仏教絵画 (5) ~ (7) 絵巻物  
 (8) ~ (9) 肖像画 (10) ~ (13) 室町時代の水墨画  
 後期 室町末から江戸時代の絵画  
 (14) ~ (17) 狩野派 (18) ~ (21) 琳派  
 (22) ~ (24) 南蘋派と洋風画 (25) ~ (26) 江戸から明治へ

成績評価の方法

授業中に実施する小テストの得点および学年末試験の得点によって評価する。

科目名	ラテン語	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	うえの かつひろ 上野 勝広				

講義のねらい ラテン語の基礎文法を概説し、理解できるようにします。

講義の内容・授業スケジュール 下記のテキストを用いて、基礎文法の要点を順次説明してゆきます。必要に応じてテキストにない文例も補充し、各課末にあるラ文和訳の練習問題に取り組みます。前期は序論から第12課まで、後期は第13課から第24課までを学習します。

履修上の留意点 練習問題については、毎回出席者に指名し和訳例を発表してもらいます。受身でなく、自ら学び取る姿勢をもって授業に臨みましょう。1回でも欠席してしまうと追いつくのが容易ではありません。授業そのものに加え、自習の負担が大きい科目です。

成績評価の方法 年間2回（前期末・後期末）のテストの結果（60％）に平常点（40％）を合わせて評価します。

教科書 松本悦治『ラテン語入門』（駿河台出版社）1,500円

参考書等 辞書と共に初回の授業で紹介します。

科目名	ギリシャ語	開講	通年	単位	4
配当	日外考歴234選				
担当者名	はせがわ たけお 長谷川 岳男				

講義のねらい 本講義の対象となる古代ギリシア語はラテン語とともに現在の世界では使用されていない死語であるが、欧米をはじめとする全世界で学ばれている。なぜならば、まず第一に今日の欧米文化に多大な影響を与えた古代ギリシア文明を理解するために必要であり、第二に現在使用されている様々なヨーロッパの言語のルーツにあたり、文字こそ違おうが、語彙や文法の基本となっているからである。この点をふまえて本講義は古代ギリシア語の基礎を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 上記の目的を達成するために、まず我々にはなじみの薄い古代ギリシア語に慣れることから始め、最終的には基本的な語形変化を理解し、辞書のある程度使用できるようになることをめざしたい。学習意欲を高めるために、随時ギリシア文化の諸相や後世への（特に近代以降の欧米文化）影響も紹介する予定である。

履修上の留意点 ヨーロッパの古典文学（例えばヘッセの『車輪の下』）でもおなじみのように、ギリシア語習得は多大な困難をともなうと見なされている。本講義では受講生諸君に基本的なギリシア語の習得を達成してもらいたいのので、その困難に臆することなく立ち向かえる姿勢を望みたい。

成績評価の方法 どの程度ギリシア語を理解しているかを問うテストを何度かに分けて実施し、それ以外にも授業中に練習問題を答えてもらったり、課題を提出してもらい、その結果を勘案して成績評価する予定である。

教科書 田中利光著『新ギリシア語入門』（大修館書店）1994

参考書等 参考となる資料は随時、配布する。

## II 專門教育科目

5 社会学 社会科学  
社会学 專攻

## Ⅱ. 専門教育科目

### (5) 社会学科 (社会学専攻)

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
社会学概論	社1必	通年	4	坪井 健	789
社会調査	社1必	通年	4	牛島 千尋	790
社会学基礎研究	社1必	通年	2	牛島 千尋 片岡 栄美 坪井 健 松信 ひろみ 山田 信行 李 妍炎	791
情報処理実習	社1必	通年	4	軽部 幸浩	792
調査統計基礎演習	社2必	通年	4	上野 淳子	793
調査統計基礎演習	社2必	通年	4	片岡 栄美	794
調査統計基礎演習	社2必	通年	4	池田 心豪	795
社会学史	社2必	通年	4	李 妍炎	795
社会学演習I	社3必	通年	4	牛島 千尋	796
社会学演習I	社3必	通年	4	片岡 栄美	797
社会学演習I	社3必	通年	4	川本 勝	798
社会学演習I	社3必	通年	4	坪井 健	798
社会学演習I	社3必	通年	4	松信 ひろみ	799
社会学演習I	社3必	通年	4	山田 信行 小川 慎一	800
社会学演習I	社3必	通年	4	李 妍炎	801
社会学演習II	社4必	通年	4	牛島 千尋	801
社会学演習II	社4必	通年	4	片岡 栄美	802
社会学演習II	社4必	通年	4	川本 勝	803
社会学演習II	社4必	通年	4	坪井 健	803
社会学演習II	社4必	通年	4	松信 ひろみ	804
社会学演習II	社4必	通年	4	李 妍炎	804
理論社会学				休講	
外書講読	社234選	通年	4	松信 ひろみ 山田 信行	805
現代社会論	社234選	通年	4	松信 ひろみ	806
政治社会学	社234選	通年	4	岩瀬 庸理	807
家族社会学				休講	
法社会学	社234選	通年	4	小林 弘人	808
文化社会学	社234選	通年	4	片岡 栄美	809
宗教社会学	社234選	通年	4	寺田喜朗	810
地域社会学	社234選	通年	4	牛島 千尋	811
災害社会学	社234選	通年	4	小嶋 直子	812
マス・コミュニケーション論	社234選	通年	4	川本 勝	813
産業・職業社会学				休講	



社会心理学	社234選	通年	4	坪井 健	814
社会病理学	社234選	通年	4	山本 功	815
社会学原論	社234選	通年	4	橋爪 敏	816
教育社会学	社234選	通年	4	伊藤 茂樹	816
宗教人類学	社234選	通年	4	佐藤 憲昭	817
社会調査演習	社234選	半期	2	李 妍炎	818
社会統計学演習	社34選	半期	2	片岡 栄美	819
社会学理論研究I	社234選	半期	2	牛島 千尋	820
社会学理論研究II	社234選	半期	2	山田 信行	821
社会学特殊講義I	社234選	半期	2	山田 信行	822
社会学特殊講義II	社234選	半期	2	坪井 健	823
社会調査実習	社34選	通年	4	松信 ひろみ	824
社会調査実習	社34選	通年	4	李 妍炎	825
社会調査実習	社34選	通年	4	上野 淳子	826
行政法	社1234選	通年	4	鶏徳 啓登	826
法学（福祉）	社1234選	通年	4	小林 弘人	827
社会保障論	社1234選	通年	4	長尾 謙治	828
老人福祉論	社1234選	通年	4	東條 光雅	829
児童福祉論	社1234選	通年	4	村田 一昭	830
地域福祉論	社1234選	通年	4	豊田 宗裕	831
児童心理学	社1234選	通年	4	澤田 匡人	832
産業心理学	社1234選	通年	4	小野 公一	833
環境心理学	社1234選	通年	4	大野 隆造	834
老年心理学	社1234選	通年	4	中里 克治	835
社会政策	社1234選	通年	4	光岡 博美	835
労働法	社1234選	通年	4	藤本 茂	836
民法	社1234選	通年	4	大宮 隆	837
経済原論	社1234選	通年	4	村松 幹二	837

科目名	社会学概論	開講	通年	単位	4
配当	社1必				
担当者名	坪井 健 <small>つばい つよし</small>				

### 講義のねらい

この講義は、社会学を初めて学ぶ学生を対象に、社会学の見方・考え方の基礎を学ぶことを目的とする。具体的には、社会現象特有の性格の社会的分析例、社会学の基礎的概念の使い方、さらに現代社会の諸問題をトピックスとして取り上げ、さまざまな領域の社会的研究を具体的研究例を通じて理解する。そして、2年次以後の社会学研究の基礎づけと方向づけに資する内容の講義を行う。

### 講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに - 講義の方針と受講の仕方 -
2. 社会学とは何か - 3つの方法 -
3. 私の社会学観 - 人生と社会学の経験 -
4. 社会現象の不思議1 - 予言の自己成就 -
5. 社会現象の不思議2 - 自殺的予言と潜在的機能 -
6. 社会現象の不思議3 - 社会的ジレンマ -
7. 社会現象の不思議4 - 歴史のパラドックス -
8. 社会現象の不思議5 - 組織のパラドックス -
9. 社会現象の不思議6 - 犯罪のパラドックス -
10. 社会現象の不思議7 - 情報社会のパラドックス -
11. 社会学の基礎概念1 - 社会的行為 -
12. 社会学の基礎概念2 - 相互作用 -
13. 社会学の基礎概念3 - 社会的地位 -
14. 社会学の基礎概念4 - 社会的役割 -
15. 社会学の基礎概念5 - 文化 -
16. 社会学の基礎概念6 - 価値と規範 -
17. 社会学の基礎概念7 - 集団と組織 -
18. 社会学の基礎概念8 - パーソナリティと社会化 -
19. 社会学の基礎概念9 - 社会的性格と消費社会論 -
20. 現代社会論1 - グローバル化する世界 -
21. 現代社会論2 - フリーターの現実 -
22. 現代社会論3 - 大衆社会とファシズム -
23. 現代社会論4 - 高齢社会の生き方 -
24. まとめ - 社会学の仕方 -

### 履修上の留意点

1. 授業時間中の私語は厳禁する。目に余る場合は、出席停止とし単位を与えない。
2. 毎回、授業の感想や意見を記入するリアクションペーパーを配布するので、積極的に記入すること。
3. 随時、参加型授業を試みるので、積極的に参加してもらいたい。
4. 各テーマは1時間で完結の予定である。内容や順序は変更することもある。なお、年数回ビデオ教材を使って、社会認識を深める工夫をする予定である。
5. 授業中は配布プリントを参考にノートを取り、さらに深く研究する人は、紹介した文献を参考に自主的に学習することが望ましい。

(社会学)

### 成績評価の方法

1. 出席 + 毎時間の受講態度、感想、意見、参加度など (30%)
  2. 課題レポート・期末試験 (70%)
- なお、この授業は、出席は遅刻も含めて厳密にカウントしています。また、成績評価の具体的方法は、3回(初回講義時・夏休み前講義時・最終回講義時)説明し、受講生に公表しています。ご注意ください。

### 教科書

特定の教科書は使用しない。毎回講義内容をプリントで説明する。

### 参考書等

その都度、指示する。

科目名	社会調査	開講	通年	単位	4
配当	社1必				
担当者名	うしじま ちひろ 牛島 千尋				

### 講義のねらい

社会調査とは、私たちの周囲に生起する社会的事象を解明することを目的として、データを収集し、記録・整理し、分析するという一連の過程を指す。本講義は社会学の重要な方法としての社会調査を学習していくが、しかし、単に技法の習得だけでは社会学の真の研究にはつながらない。本講義では、技法の講述に加えて、これまでに行われた実証的研究を紹介しながら、履修者の理解を深めていきたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

1. 実証主義の精神と社会調査
2. 社会調査の範囲と系譜1—行政目的の統計調査、社会福祉（事業）目的の調査—
3. 日本における社会調査の始まりと発展—ビデオ—
4. 社会調査の範囲と系譜2—市場調査、世論調査、研究目的のための調査—
5. 理論化の道程—帰納法と演繹法、命題・仮説・検証—
6. 社会調査の二つの方法1—量的方法と質的方法—
7. 社会調査の二つの方法2—量的方法と質的方法—
8. 量的方法を使用した実証的研究—デュルケームの「自殺論」—
9. 質的方法を使用した実証的研究—デュルケームの「社会分業論」—
10. 仮説の修正と新たな発見—メーヨーの「ホーソン実験」—
11. 社会調査のさまざまな技法1—横断的調査と縦断的調査—
12. 社会調査のさまざまな技法2—モレノのソシオメトリーとその応用—
13. 社会調査のさまざまな技法3—ホワイトの「ストリート・コーナー・ソサエティ」と参与観察—
14. 既存データ、既存資料の収集と使い方1—国勢調査データ、官公庁統計
15. 既存データ、既存資料の収集と使い方2—各種民間調査データと公開個票データ—
16. 調査実施過程の説明—フィールド・ノートの作成、調査票を使用した面接調査の手順—
17. 資料の収集とリスト作成
18. 作業仮説の設定と質問項目の作成
19. 調査方法の選定と準備1—非構成的技法と構成的技法—
20. 調査方法の選定と準備2—全数調査と標本調査、母集団、標本数と誤差—
21. 調査票の作成1—質問文作成の注意点—
22. 調査票の作成2—選択肢作成の留意点—
23. 調査票の作成3—回答形式の種類、コードブック作成の留意点—
24. 質問文を使用した調査の方法—個人面接調査・留置き調査・郵送調査法・電話調査・集合調査・インターネット調査—
25. 標本抽出の方法1—単純無作為抽出法、系統抽出法—
26. 標本抽出の方法2—層化抽出法、多段抽出法、有意抽出法—
27. データの整理と集計の準備1—データの整理とデータ入力—
28. データの整理と集計の準備2—データのクリーニング、論理チェック、アフター・コーディング—
29. まとめ—社会調査をする際の心構え—
30. 後期試験

### 履修上の留意点

必修科目であるので、オリエンテーションぬきで第一回から講義に入ります。

### 成績評価の方法

出席状況、授業中のレポート提出、後期試験（持ち込み不可）によって評価します。

### 教科書

森岡清志編『ガイドブック・社会調査』日本評論社、1998年

### 参考書等

谷岡一郎『「社会調査」のウソ』（文春新書）  
K. プラマー『生活記録の社会学』（光生館）  
渡辺久哲『調査データにだまされない法』（創元社、1,500円）

### その他

授業は講義形式で行いますが、テキストに書かれている内容よりもはるかに多くのことを講述するので、ノートをしっかりとおとってください。

科目名	社会学基礎研究	開講	通年	単位	2
配当	社1必				
担当者名	牛島 千尋・片岡 栄美・坪井 健・松信 ひろみ・山田 信行・李 妍炎				

講義のねらい

社会学的研究方法について、社会学研究の実際例と研究方法の基礎をマスターすることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半は、全教員リレー方式で社会学研究例の講義をする。後期は、ゼミ形式で研究方法（文献へのアクセス・レポートの書き方・プレゼンテーションの仕方など）を学ぶ。

履修上の留意点

毎回出席が義務付けられている。また前期と後期に必ずレポート提出の義務がある。

成績評価の方法

出席点と2回のレポートにより評価される。

教科書

こちらで指定し配布する。

参考書等

安藤喜久雄編『わかりやすい論文レポートの書き方』（実業之日本社）1999年

科目名	情報処理実習	開講	通年	単位	4
配当	社1必				
担当者名	かるべ ゆきひろ 軽部 幸浩				

### 講義のねらい

現代社会においてコンピュータは必須の情報処理装置である。とりわけ、大学生にとってのコンピュータは知的作業を行う上で最低限習得しなければならないツールである。すでに高校時代にコンピュータを利用した授業を経験したものも多いと思うが、本講義では大学で必要とされる知的生産を支援するものとしてのコンピュータの利用法を徹底的に習得する。大学に入ってからコンピュータをはじめ本格的に利用する学生もまだいると思われるので、コンピュータについてまったくの初心者が独力でコンピュータを活用して社会学のレポート等を作成する能力を養う。また、自分の得た結果や事実、考えを表現するための方法を習得する。なお、パーソナルコンピュータを個人で所有することで理解の程度が飛躍的に向上するであろう。余裕があれば購入することを薦める。

### 講義の内容・授業スケジュール

授業はすべて実習形式でおこなう。1つのテーマに数時間を当て、毎回授業内でおこなう課題と授業外でおこなう簡単な課題の提出を求める。具体的な内容は次のとおりである。

- ・パソコンの基本操作とOSの基礎
- ・MS-Windowsの習得
- ・タッチタイプの完全習得 (Type Quick を利用して)
- ・日本語ワープロの習得 (MS-Word)
- ・スプレッド・シートの習得 (MS-Excel)
- ・統計パッケージの習得 (SPSS for Windows)
- ・プレゼンテーションの実際 (MS-PowerPoint を利用したプレゼンテーションの基礎)
- ・応用実習 (データの収集、解析、プレゼンテーションの総合実習)
- ・データベースの習得
- ・情報処理の基礎
- ・コンピュータ・ネットワークとインターネットの現状
- ・Internet 利用の実際と注意 (マナーやモラルについて)
- ・電子メールおよびWWWの利用

### 履修上の留意点

原則的に遅刻、欠席は認めない。欠席を5回おこなった時点で、期末試験の受験資格を失う。また、遅刻は2回で欠席1回とする。授業内容の性格上、授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足する。学校行事等との衝突がなくても年間約20回程度の授業しかおこなうことができない。そのため、本格的にコンピュータを応用するためには絶対的に実習時間が不足する。したがって週あたり2～3回 (1回平均約2時間程度) の実習が必要となる (昨年度実績では週平均約5時間程度の実習を、学生はおこなっていたようである)。

また、Type Quick、MS-Word、MS-Excel、MS-PowerPoint、SPSSの習得は、単位取得のための必須条件である。

### 成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、前期・後期末におこなう筆記試験と併せて総合的に評価する。経験則から連続2回欠席すると授業の進度についていけなくなる。なお、遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席とはならないので注意する。連続3回以上欠席したものは、その時点で期末試験の受験資格はない。なお、この科目は1年次必修科目であるため単位の認定を受けられない者は、翌年度の履修となるが、機器の関係で実習装置を与えられない可能性がある。したがって1年次に履修を完了することを希望する。

### 教科書

授業中に適宜紹介する。教材は、授業の中で全て配布する。配布された資料は、授業に際して常に持参してくること。

### 参考書等

年間約5枚程度の3.5インチ両面高密度フロッピディスクが必要となる。また、近年ではUSBフラッシュメモリも比較的安価で購入できるのでそれを利用する方法もある。

### その他

年間20数回程度の講義時間しかないため絶対的な時間が不足する。従って、週あたり2回から3回 (1回2時間程度) の自習が必要となり、それに対応する課題が出される。自習には、4号館にある総合情報センタ1Fの自習室を利用する。独自に購入するのであれば、MS-Windows対応のパソコンでMS-WindowsとMS-Officeが導入されているものを購入するとよい。詳細については開講時に解説する。

科目名	調査統計基礎演習	開講	通年	単位	4
配当	社2必				
担当者名	上野 淳子				

#### 講義のねらい

本講義は、統計学の基礎知識と実際にデータ分析を行える力を身につけることを目的とする。講義と演習形式で授業を進める。前期は、度数分布やクロス集計など記述統計の読み方からはじめて、社会調査の結果を読んで理解するために必要な統計学の基礎を学ぶ。後期は、確率論の基礎と仮説検定の考え方、様々な検定の方法を学び、標本調査のデータ分析を行うための統計学的知識を修得する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 社会調査と統計
2. 度数分布と図表の読み方・作り方
3. 中心傾向の測度：代表値
4. 得点の散布度：分散と標準偏差
5. 正規分布と相対的位置の測度
6. 2変数間の関連：クロス集計
7. 因果関係と相関関係
8. 確率論の基礎
9. 確率分布と仮説検定の考え方
10. 平均の差の検定、比率の差の検定
11. カイ二乗検定
12. 相関係数
13. 単回帰分析
14. 重回帰分析
15. まとめ

#### 履修上の留意点

実習・講義

#### 成績評価の方法

筆記試験と平常点

#### 教科書

鳥居泰彦『はじめての統計学』日本経済新聞社、1994年。ほかに適宜指示する。

科目名	調査統計基礎演習	開講	通年	単位	4
配当	社2必				
担当者名	かたおか えみ 片岡 栄美				

#### 講義のねらい

社会調査によって得たデータの分析法として統計学を学ぶ。社会統計学の基礎的な知識の習得と、統計を正しく用いる方法、データの読み方などを中心に、講義とパソコンを使用した演習形式で授業を行なう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 社会調査と統計
- 2 度数分布と統計図表
- 3 中心傾向の測度：代表値
- 4 得点の散布度
- 5 正規分布と相対的位置の測度
- 6 2変数間の関連をみる クロス集計表
- 7 因果関係と相関関係
- 8 擬似相関と変数の統制
- 9 クロス集計のエラボレーション
- 10 確率論の基礎
- 11 確率分布と仮説検定の考え方
- 12 平均の差の検定、比率の差の検定
- 13 カイ二乗検定
- 14 順序尺度変数間の関連
- 15 連続変数間の関連：相関係数
- 16 単回帰分析
- 17 重回帰分析
- 18 まとめ

#### 履修上の留意点

通年の必修科目であるので、必ず履修すること

#### 成績評価の方法

出席重視。試験と平常点（演習問題の提出など）によって、総合的に評価する。

#### 教科書

鳥居泰彦 『はじめての統計学』 日本経済新聞社

#### 参考書等

ボーンシュテッド&ノーキ 『社会統計学』（ハーベスト社）1990年  
山内光哉 『心理・教育のための統計法』第2版（サイエンス社）2,500円＋税

#### その他

演習問題などを解いてもらいながら進める。  
社会調査士資格認定のC,D科目に該当する。

科目名	調査統計基礎演習	開講	通年	単位	4
配当	社2必				
担当者名	池田 心豪 <small>いけだ しんごう</small>				

講義のねらい

社会調査によって得たデータの分析法として統計学を学ぶ。社会統計学の基礎的な知識の習得と、統計を正しく用いる方法、統計データの読み方などを中心に、講義と演習形式で授業を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、記述統計データの読み方や計算方法、グラフの読み方、2変数間の関連についての測度などを中心に、統計の基礎を学ぶ。後期は、確率論の基礎と仮説検定・推定の理論とその応用、多重クロス集計や相関係数、回帰分布などを学ぶ。

成績評価の方法

出席・レポート・試験

教科書

鳥居泰彦『はじめての統計学』（日本経済新聞社）

科目名	社会学史	開講	通年	単位	4
配当	社2必				
担当者名	李 妍炎 <small>り けんえん</small>				

講義のねらい

学史を学ぶ目的は、社会学の理論や人物に関する知識を得るためだけではない。むしろ社会学者の発想法を学び、現代社会の諸事象を鋭く描き出すための道具を身につけるためである。従ってこの講義では、社会学を学んでいく上で必要となる基本的な諸概念を理解してもらうと同時に、社会的な思考法を学んでもらうことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、時系列の軸に従って、社会学の誕生から今日に至るまでの各発展段階を踏まえて、主要な社会学者とその理論を紹介していく。社会学理論の特徴と構成、主要な流派を受講者に理解してもらう。前期の講義は「総論」という位置づけで考えてもらいたい。社会学理論の全体の流れを把握することが目的である。

後期では、「社会学は近代という時代の申し子である」という視点から、近代社会の基本的な特徴及び価値である「合理性」や「自由・平等・民主主義」を軸に進めていく。具体的には「合理性とは何か」「自由・平等・民主主義のディレンマと可能性」「モダンとポストモダン」などの問題について、近代を代表する社会学者の理論を検討した上で、近代性に対する反省と批判の社会学の理論を紹介していく。そのプロセスを通して、近代という時代、そして現代という時代を説明する上で、社会学はいかなる思考の道具をわれわれに提供しているのかを明らかにしていく。

履修上の留意点

私語をしない、携帯電話の電源を切るなど、基本的なマナーを守ること。

成績評価の方法

平常点（小テストを含む）と期末レポートで評価を行う。

教科書

指定しない。授業中にプリントを配布する。

参考書等

新陸人ほか『社会学のあゆみ』、『社会学のあゆみパートII』（有斐閣新書）1979  
佐藤慶幸『現代社会学講義』（有斐閣ブックス）1999

その他

主に講義形式で授業を進めるが、毎回リアクションペーパーで受講者の意見や感想を聞き、それを講義に取り入れながら進める。



科目名	社会学演習I	開講	通年	単位	4
配当	社3必				
担当者名	うしじま ちひろ 牛島 千尋				

講義のねらい

履修者は「都市」に関するテーマを絞りこみ、論文という形に完成させるまで研究を進めていく。他者に理解できるような発表の仕方についても学んでいく。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期はテーマを絞り込み、洗練させ、文献検索と資料収集をする（基礎研究の復習）。後期は、研究論文の骨子を考え、引き続き、文献検索と資料収集を行い、発表を重ねていく。

履修上の留意点

履修者は、大学での演習と、さらに合宿での研究発表を併せて年に3回以上の発表を行う。

成績評価の方法

出席回数、発表内容、演習中の発言にて評価します。

教科書

特になし。

参考書等

随時、紹介していく。

その他

「沈黙は金」ではなく、「発言は金」であることを自覚して演習に臨んでください。

科目名	社会学演習I	開講	通年	単位	4
配当	社3必				
担当者名	かたおか えみ 片岡 栄美				

### 講義のねらい

#### 《現代の文化と社会》

文化現象を社会学的視点で考察し、現代社会と現代文化を解説する。さまざまな文化現象（ポピュラー文化と芸術文化、音楽、ファッション、スポーツ、ジェンダー、教育など）を題材に、人々の行動様式や価値観、ライフスタイルが、社会空間上の位置とどのような関係をもつのか、また、人々は自らの趣味や文化、ライフスタイルにいかなる意味を見出しているかを明らかにする。社会生活（学校生活、家庭文化、職業生活）のなかでの、ジェンダーによる文化の意味作用の違いなども扱う。人々の文化消費や価値観、ライフスタイルの差異に目をむけ、それがどのような社会的メカニズムであらわれてくるのかを考察する。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 ガイダンス
- 2 知的・批判的読書の方法
- 3 パラグラフの論理
- 4 図書館ツアー（1）
- 5 社会学的仮説をつくる
- 6 モデルを作る
- 7 文献講読
- 8 文献講読
- 9 研究の資料にならないものはない
- 10 質的分析法：ドラマ、小説、漫画の分析方法
- 11 質的分析法：内容分析
- 12 文献購読
- 13 図書館ツアー（2）
- 14-18 文献講読、討論
- 19 文献資料と2次的データの扱い方
- 20-23 文献講読、討論
- 24 調査と1次データ
- 25 文献講読、討論
- 26 文献講読、討論
- 27 調査データの読み方
- 29 卒論にむけて
- 30 まとめ

### 履修上の留意点

講義と異なり、ゼミナールは出席することが重要。

### 成績評価の方法

出席と平常点を総合的に評価する。

### 教科書

なし。

### 参考書等

授業時に適宜、指示する。

### その他

身近な日常生活や興味のもてる題材から研究アイデアをみつけだし、仮説をたてて資料を集め、研究論文にまで高めるための方法を教える。基礎ができたら、次は文献を読んだり、議論をしたり、テーマを追求する。社会の隠された「しくみ」を発見してもらいたいし、新しい発見をする喜び、つまり研究の「おもしろさ」を経験してもらいたい。

科目名	社会学演習I	開講	通年	単位	4
配当	社3必				
担当者名	かわもと まさる 川本 勝				

講義のねらい 社会学の理論と方法を学びます。

講義の内容・  
授業スケジュール

マス・コミュニケーションの社会学を中心に扱う。  
前期は、マス・コミュニケーション論に関する論文を読みながら、理論の整理を行い、メディアと社会生活を分析する社会学的視点を修得する。  
後期は、内容分析などを行い、方法論を修得する。理論と方法論を学んで、卒業論文のテーマを見つける。  
年2回のゼミ合宿を行います。

成績評価の方法 出席、レポートによる報告、議論への参加によって評価する。

科目名	社会学演習I	開講	通年	単位	4
配当	社3必				
担当者名	つばい つよし 坪井 健				

講義のねらい このゼミでは、社会学・社会心理学の学習を通して、我々が生きている世界の認識能力を高め、社会の中で自己を活かす能力の育成をめざして、理論的・実践的な相互学習することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

具体的には、地域・集団、対人関係、世代（青年・高齢者）、国際交流、異文化理解など研究領域から、具体的な共同研究テーマを設定して、①文献研究、②データ収集、③整理分析、④報告書作成まで、グループ学習と集団討議を通して実際の研究をする。

具体的な共同研究テーマは、毎年変わる。

<坪井ゼミの年間行事予定>

「新歓コンパ」(4月) / 「ゼミOB会」(7月) / 「ゼミ合宿」(9月) / 「4年生卒論発表会」(12月) / 「追い出しコンパ」(1月) / 「卒論構想春合宿」(3月)

履修上の留意点 ゼミは、知識伝授型の学習ではなく、問題発見型の学習を基本とする。従って、ゼミ学習の主体は、学生自身であることを認識すること。ゼミ学習の場は、教室内に限らない。街頭や国内・海外を含む。そうした積極的な行動力を養ってもらいたい。また、ゼミでは、自分の個別の学習目標を持つこと。相互啓発を喚起すること。ゼミの集団文化育成に協力すること。

成績評価の方法 ①ゼミ活動への参加度、②レポートや報告などの課題達成度、により総合的に評価する。

教科書 特に、事前に指示しない。必要に応じて指示する。

参考書等 授業時間中に指示する。

その他 ゼミは、少人数授業ですので、全員参加が前提です。遅刻・欠席は教師に直接事前連絡すること。ゼミ行事も多彩ですが、ゼミ生が切磋琢磨する集団文化育成のための集団活動ですので全員参加が前提です。

科目名	社会学演習I	開講	通年	単位	4
配当	社3必				
担当者名	松信 <small>まつのぶ ひろみ</small> ひろみ				

#### 講義のねらい

本演習では、現代家族やジェンダーにかかわる諸現象・諸問題に焦点を置き、基礎文献の講読、グループでの研究報告や討論、レポートの作成などを行う。一連の作業を通じて、卒業論文に向けての研究手法を習得するとともに、卒業論文のテーマの絞込みと研究の基礎固めを行うことが目的となる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

いくつかのグループを作った上で、グループごとに基礎文献の輪読、および研究発表を行う。文献の読み方、レジュメの作成や報告の仕方など、ゼミの基本を確認するとともに、卒業論文の研究テーマの発見に努める。特に後期は、各々のグループごとに設定した研究テーマに沿った研究発表を中心にゼミを進め、学年末にはレポートの作成を行う。なお、夏季休暇中に4年生と合同で合宿を実施し、卒業論文のテーマについての検討を行う予定。

#### 履修上の留意点

履修者は前期、後期各々最低1回ずつの報告が期待される。なお、本演習履修者は、家族社会学の講義を履修済みであるか、現代社会論を同時履修することが望ましい。

#### 成績評価の方法

平常点およびレポート。

#### 教科書

輪読する文献は開講時に指示する。

#### 参考書等

必要に応じて紹介する。

#### その他

ゼミは、出席することはもちろん、参加しなければ意義がない。「恥はかき捨て」のつもりで積極的に自分の意見を発言するように心がけて欲しい。

科目名	社会学演習I	開講	通年	単位	4
配当	社3必				
担当者名	やまだ のぶゆき おがわ しんいち 山田 信行・小川 慎一				

講義のねらい

この演習では、主として雇用や就職の問題に焦点を当てながら、現代日本における若者が直面している様々な問題を社会学的に考察する。参加者は、各自の問題意識を確立することを通じて、4年次の卒業論文執筆につながる研究を行うことが求められる。  
演習の集団は、大学生活における基本的な活動単位であるため、参加者相互の親睦・交流が深まるように配慮したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

夏休み前（前期）は、小川慎一が担当し、演習のテーマに関連した文献の輪読を行う。後期は、山田信行が担当し、参加者各自の問題意識に基づく研究報告（各自のテーマに関連した重要文献の紹介・論評）を行ってもらう。詳細については、参加者と相談して決める。

履修上の留意点

演習は講義形式の授業と異なり、あくまで参加する学生が主体的に学習・研究活動する場である。したがって、理由のない遅刻・欠席は厳禁である。

成績評価の方法

平常点による。

教科書

参加者と相談して決める。

参考書等

適宜指示する。

その他

特になし。

科目名	社会学演習I	開講	通年	単位	4
配当	社3必				
担当者名	李 <sup>リ</sup> 研炎 <sup>けんえん</sup>				

#### 講義のねらい

この演習には2つの目的がある。第1に、検索力、理解力と表現力を高めることである。そのために前期には演習メンバー全員でゼミ研究を行う。ゼミ研究のテーマは全員で討論の上で決める。テーマに応じて、メンバーをグループ分けし、それぞれのグループの役割を決め、一連の研究作業を行い、グループ単位で定期的に発表を行う。それによって特定のテーマに関する検索作業、実地調査、文献読み、プレゼンテーションの力を高める。第2の目的は演習メンバーが各自卒業研究に向けて準備作業を行うことである。それぞれが卒業研究で行いたい分野を見つけ、テーマを絞り、研究対象と課題を見つけるために一連の必要な作業を行う。特に文章力を高めるための作業に力を入れていく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は演習の進め方、演習のテーマを決めた後に、そのテーマに関する知識と情報、研究の進め方などの基本的な情報を共有した後に、3-4人単位のグループに分けて、それぞれグループの課題を遂行してもらい、交替でグループ発表を行う。

後期は卒業研究の準備を中心に、文献検索やテーマの構想、資料収集などを行っていく。また、文章力を鍛えるためにいくつかのレポートをこなし、4年生の卒論をみんなで読む作業も行う。冬に合宿を行い、卒業研究の中間発表を予定している。

#### 履修上の留意点

演習でMLやHPを作って運営し、メンバー同士でEメールのやりとりを行うことが多くなるため、自宅でもネット環境があったほうが望ましい。

#### 成績評価の方法

平常点。

#### 教科書

特に指定しない。

#### 参考書等

特に指定しない。

#### その他

メンバーによる、ゼミの時間外の企画活動や実践活動を歓迎する。

科目名	社会学演習II	開講	通年	単位	4
配当	社4必				
担当者名	牛島 <sup>うしじま</sup> 千尋 <sup>ちひろ</sup>				

#### 講義のねらい

演習Iですでに自分の研究テーマを絞り込み、論文作成のために文献やデータを収集し、章立てと各章の概要をまとめているはずである。そこで演習IIでは、各自の研究テーマを引き続き深め、卒論完成を目指す。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、卒論のおおよその骨子をまとめ、順に発表していく。後期は、細部にわたって論文の修正を行っていく。

#### 成績評価の方法

出席回数、授業内での発表、発言、レジュメの内容、定期的な提出物によって総合的に評価する。

#### 教科書

特になし。

#### 参考書等

随時、紹介する。

科目名	社会学演習II	開講	通年	単位	4
配当	社4必				
担当者名	片岡 栄美 <small>かたおか えみ</small>				

講義のねらい

卒業論文の作成を主たる目的とした演習を行なう。各自の論文テーマにそった指導を行なう。現代社会のさまざまな文化現象とそれらに埋め込まれた人々の意識や価値観を対象として、その社会的意味を解釈する。文化的行為や価値観、行動様式にみられる 違いや特徴に目を向けて、それがどのような社会的メカニズムであらわれてくるのか、またさまざまな文化現象の社会的な意味を考察する。  
社会的な文脈の影響とは、たとえば、個人の社会的背景や所属する社会集団、社会組織や制度の影響などがあるが、それらがどのように、私たちの身の回りの生活世界に影響を与えているかを、論文作成の過程として探求する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 論文の書き方 1
- 第3回 論文の書き方 2
- 第4回 卒論構想発表
- 第5回 卒論構想発表
- 第6回 インタビュー調査の方法
- 第7回 理論とデータ 1
- 第8回 理論とデータ 2
- 第9回 データ収集の方法
- 第10回 論文指導
- 第11回 論文指導
- 第12回 論文指導
- 第13回 論文指導
- 第14回 論文指導
- 第15回 夏休みの課題と計画
- 第16回 論文指導
- 第17回 データ分析の方法、結果のまとめ方
- 第18回 論文指導
- 第19回 論文指導
- 第20回 卒論中間報告
- 第21回 卒論中間報告
- 第22回 データ分析の方法 2
- 第23回 論文指導
- 第24回 論文指導
- 第25回 論文指導
- 第26回 論文指導
- 第27回 論文指導
- 第28回 論文指導
- 第29回 論文指導
- 第30回 結果報告

履修上の留意点

出席重視。  
各自が主体的に取り組むことを前提とする。

成績評価の方法

平常点

教科書

なし

参考書等

適宜、指示する

科目名	社会学演習II	開講	通年	単位	4
配当	社4必				
担当者名	かわもと まさる 川本 勝				

講義のねらい

卒業論文の作成に向けた議論と指導が中心となります。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、卒業論文のテーマと内容について検討します。  
夏合宿で、卒業論文の構成を考え、章、節だてを行います。  
後期はドラフトを検討し、論文を書き上げていきます。

成績評価の方法

出席と議論への参加、レポート、論文の内容によって評価する。

参考書等

卒業論文のテーマによって適宜紹介する。

科目名	社会学演習II	開講	通年	単位	4
配当	社4必				
担当者名	つばい つよし 坪井 健				

講義のねらい

このゼミでは、三年の「社会学演習I」に引き続き、大学における社会学学習の総括として自分自身のオリジナルな社会学研究「卒業論文」作成のための指導を行うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、3年次3月の「卒論構想春合宿」で卒論構想を固め、4月以降、①文献研究、②調査の企画と実施などを行い、9月中旬の「卒論中間報告」で主要研究結果を口頭発表する。10月以降、補充研究と下書きおよび清書して、12月卒論を提出する。提出後、3年ゼミ生を対象に「卒論報告会」(12月)。最後に「坪井ゼミ卒業論文集」を作成。1月末の「口頭試問」で坪井ゼミを終了する。

〈坪井ゼミの年間行事予定〉

「新歓コンパ」(4月) / 「ゼミOB会」(7月) / 「卒論中間報告ゼミ合宿」(9月) / 「卒論発表会」(12月) / 「新年会」(1月) / 「追い出しコンパ」(1月末) /

履修上の留意点

最終学年のこのゼミは、就職活動などと競合することもあるが、卒業論文を書かなければ卒業できないことをしっかり認識し、卒論研究ノートを常に携帯して、空き時間等を上手に利用して、図書館等で自主的・計画的に研究を進めることが肝要です。

成績評価の方法

①卒論への取り組み方、②中間報告などの課題達成度、により総合的に評価します。

教科書

なし

参考書等

その都度、適切な参考文献を指示する。

その他

教師との積極的な相談を厭わないことをお勧めします。



科目名	社会学演習II	開講	通年	単位	4
配当	社4必				
担当者名	まつのぶ ひろみ 松信 ひろみ				

講義のねらい

本演習では、卒業論文の作成を目指し、個人研究の指導を行う。各々の学生のテーマに沿った研究に基づき、無事卒業論文を執筆できることが最終的な目的となる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、家族社会学・ジェンダー社会学の基本的な分析枠組みを教授するとともに、個々人の研究の進捗状況について報告してもらう。後期は、執筆中の論文についての報告をしてもらい、その内容についての議論、指導を行う。なお、夏季休暇中に3年生と合同で合宿を実施し、卒業研究の中間報告をしてもらう予定である。

履修上の留意点

論文作成のためには、ゼミへの出席ばかりでなく、自ら行動を起こすことが要求される。文献・資料収集、調査など、自分の足を使い、積極的に行動して欲しい。

成績評価の方法

平常点による。

教科書

特に指定しない。

参考書等

特に指定しない。

その他

大学生活最後のゼミである。論文の作成はもちろんだが、コンパや合宿を通じてゼミ生同士の交流も図り、有意義な時間として欲しい。

科目名	社会学演習II	開講	通年	単位	4
配当	社4必				
担当者名	りけんえん 李 妍炎				

講義のねらい

この演習は、メンバーがそれぞれ充実した卒業研究を行うためのサポートを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前半では、メンバーそれぞれが定期的に各自の卒業研究について発表を行い、それを巡って全員で議論していく。後半では、各自のテーマと研究方法および進行状況に応じて、個別指導を中心に行う。

履修上の留意点

他人の研究に関心を持つように心がけること。

成績評価の方法

平常点。

教科書

特に指定しない。

参考書等

特に指定しない。

科目名	外書講読	開講	通年	単位	4
配当	社234選				
担当者名	松信 <sup>まつのぶ</sup> ひろみ・山田 <sup>やまだ</sup> 信行 <sup>のぶゆき</sup>				

講義のねらい

社会学の新しい研究動向をより早く取り入れるには、英語で執筆された論文を読破できることが望ましい。本講義では、現代の社会学に関する論文、文献を中心に輪読し、内容が理解できるようになることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は松信が担当し、後期は山田が担当する。前期に関しては、主として結婚や家族、あるいはジェンダーに関する論文を輪読するが、詳細は受講生と相談して決定する。後期に輪読する論文に関しても、受講生と相談の上決定する。

履修上の留意点

講義の性格上、ゼミ形式をとり、予め文献を読んだ上で、出席することが前提となる。レポーターを決めて報告をしてもらうので、ただ出席だけすればよいということではないので、その点を留意してもらいたい。

成績評価の方法

平常点および前期、後期の試験

教科書

特に指定しない

参考書等

講義時に指示する

科目名	現代社会論	開講	通年	単位	4
担当	社234選				
担当者名	まつのぶ ひろみ 松信 ひろみ				

講義のねらい

本講義では、「ジェンダー」の視点から現代社会を考察することを目的とする。現代社会には多様な現象、問題が存在するが、「ジェンダー」という視点の導入により、それらの新たな側面を提示してみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下のようなジェンダーにかかわる具体的なトピックについて検討する。

1. ジェンダーとは
2. 多様な性の存在
3. 社会化とジェンダー
4. 性別役割分業とジェンダー
5. 育児とジェンダー
6. 雇用・就労とジェンダー
7. リプロダクティブ・ヘルス&ライツとジェンダー
8. 暴力とジェンダー
9. 性の商品化とジェンダー
10. ケアとジェンダー
11. ジェンダー問題のゆくえ

履修上の留意点

漫然と講義の望むのではなく、問題意識をもって出席して欲しい。

成績評価の方法

平常点（出席およびコメントペーパー）とレポート

教科書

開講時に指示する。

参考書等

適宜指示する。

その他

適宜プリントなどの資料を配布したり、ビデオの視聴も行う。

科目名	政治社会学	開講	通年	単位	4
配当	社234選				
担当者名	岩瀬 庸理 <small>いわせ のぶただ</small>				

講義のねらい

政治社会学の講義目標は、社会学の理論と概念を用いて「市民社会」と「政治社会」の相互関係を理解し、説明する能力を育成することにあります。地球社会が生まれようとしている21世紀にはこの能力は特に求められています。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 政治社会学の対象と方法  
政治社会学の分析視角、政治社会学の学説史、システム理論と行学理論、政治社会学の現状
2. 政治的社会化  
政治的自我的形成、政党支持態度の学習、社会化機関の比較、社会化パターンの変容
3. 参加行動  
投票行動の変化、階層の非構造化、社会移動の効果、社会運動の類型
4. 権力構造  
支配構造の特徴、大衆社会の権力構造、地域社会の権力構造、多元的権力構造
5. イデオロギー  
イデオロギーの構造、イデオロギーとパーソナリティ、イデオロギーと市民社会
6. 地球社会  
地球市民 世界都市 グローバル・ガバナンス

履修上の留意点

学生は知識人です。共に考え、共に理解を深める授業を目指しています。積極的な参加を期待しています。

成績評価の方法

試験。

教科書

教室で指示する。

参考書等

教室で指示する。

その他

講義形式とする。

科目名	法社会学	開講	通年	単位	4
配当	社234選				
担当者名	小林 弘人 <small>こばやし ひろひと</small>				

#### 講義のねらい

法社会学の概念についての理解、法社会学の対象と方法、具体的事例についての解説が授業の主たる内容である。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

日本および諸外国の法社会学史について前期一杯講義する。具体的には、まず日本の法社会学の学説史について解説する。その後、ヨーロッパおよびアメリカの法社会学史について説明する（例えば、モンテスキュー、イェーリング、マックスウェーバー、マリノウスキーやギユルヴィッチ、ホームズ、パウンドなどの学説の紹介である。）

次いで、法社会学の方法論について解説する。また、法社会学に関連する法学の諸分野と社会諸科学との関連についても解説する。

後期からは、法と社会との関連性について全体社会と法、部分社会と法について、具体的事例をあげながら説明する。立法過程、司法過程、農村、都市のかかえる課題の対応には時間をさきたい。

#### 履修上の留意点

とくになし。資料の配布については、該当日以外は、配布しないので、注意すること。

#### 成績評価の方法

レポートと期末テストを勘案して行う。

#### 教科書

及川伸著『法社会学講義』（法律文化社）2,781円

#### 参考書等

講義初日に説明する。

科目名	文化社会学	開講	通年	単位	4
配当	社234選				
担当者名	片岡 栄美 <small>かたがわ えみ</small>				

#### 講義のねらい

文化社会学に関する入門的講義を行なう。前期は、各文化領域についての社会学の研究動向を紹介する。後期は、日本人の趣味やライフスタイルについて、文化的平等神話とそれを支える文化の日本的構造について講義する。文化による差異化や差異の体系である生活様式が、文化資本、社会関係資本、経済資本と関連する文化的再生産メカニズムを解説し、文化の不平等の日本の特徴を解説する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 文化社会学とは : 社会と文化
- 2 近代とポスト近代の仕組みと消費文化
- 3 音楽とメディア
- 4 音楽趣味の階層性
- 5 スポーツの社会学
- 6 ファッションの社会学
- 7 身体と社会 : 象徴としての身体
- 8 女らしさと文化 : 女性の戦略としての文化資本
- 9 少女小説、少年マンガとジェンダー
- 10 マンガで読み解く「公/私」の関係
- 11 差異への欲望、同調への欲望: 人はなぜ差異を求めるのか
- 12 差異・差異化・差別化の社会学
- 13 大衆趣味と正統趣味の違い:  
料理、スポーツ、ファッション、音楽趣味の差異とその形成
- 14 学歴と文化: 文化資本と学校の関係
- 15 上層階級のライフスタイルと教育戦略
- 16 現代日本におけるライフスタイルの差異
- 17 日本のエリート、フランス・アメリカのエリート
- 18 文化的寛容性からみた日本社会: 大衆文化の意味
- 19 ライフスタイルと生活満足 : 文化の不平等
- 20 結婚と文化 : ライフイベント (結婚・就職) に及ぼす文化の役割
- 21 「所有」から「心の豊かさ」へ
- 22 ポストモダン文化の展開

#### 成績評価の方法

試験 (もしくはレポート) と平常点を総合的に評価する

#### 参考書等

適宜、授業時に指示する

科目名	宗教社会学	開講	通年	単位	4
配当	社234選				
担当者名	てらだ ましろ 寺田 喜朗				

講義のねらい

日本社会の宗教現象に関する基礎的な知識を得ると共に、宗教社会学の研究視点・研究方法を学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期・後期共に講義形式で授業を行う。前期は、宗教現象に関する基礎的な知識を学ぶと共に、ヴェーバーやデュルケム等の学説について講義を行う。後期は、宗教社会学的研究の具体的な視点・理論・調査法について講義を行う。

履修上の留意点

本講義では各宗教・宗派について価値中立的な立場で講義を行う。特定の宗教教団を貶めたり、逆に特定の宗教教団を賞揚したり宣伝したりすることはしない。

成績評価の方法

後期の最後に、一年間の講義の内容を踏まえた試験を行う。語句説明問題と論述問題を課す。基本的に試験によって評価を行う。ただし規定の出席日数に達しない受講者は評価の対象には含めない。

教科書

- 1) 川又俊則・寺田喜朗・武井順介編
- 2) 『ライフヒストリーの宗教社会学』
- 3) ハーベスト社
- 4) 2,400円
- 5) ISBN4-938551-82-9

参考書等

随時、講義の中で指示する。

その他

特になし

科目名	地域社会学	開講	通年	単位	4
配当	社234選				
担当者名	うしじま ちひろ 牛島 千尋				

#### 講義のねらい

本学の地域社会学は従来の農村社会学と都市社会学を併せ持った内容を提示することを目的として開講されている。高度経済成長以降、都市人口はますます肥大化し、その重要性は農村をはるかに凌いでいる。そのため、本講義の前半では、主に都市社会学の主要な理論を講述し、地域社会としての都市へアプローチするための基本的概念と分析方法について理解を深めていく。しかし、都市の成長過程は農村の衰退過程と対応関係にある。そこで、主に東京をとりあげ、近代以降の都市拡大と歴史の変容過程に焦点を当て、その背後にある諸要因および都市拡大・変容がもたらした諸結果について考察していく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概略は以下の通りである。

1. 人間生態学とシカゴ学派の諸研究
2. 都市と農村、中心都市と郊外、
3. シカゴ学派の都市研究に対する批判と継承
4. 都市化過程と都市サイクル論
5. 都市問題と都市計画
6. 現代の大都市構造と新しい問題の生起

#### 履修上の留意点

前半の理論部分を理解していなければ後半の講義は理解できません。その点を留意して履修してください。

#### 成績評価の方法

出席状況、中間試験、後期レポートによって評価します。

#### 教科書

高橋勇悦監修、菊池美代志・江上渉編『21世紀の都市社会学』学文社、2002年。

#### 参考書等

その都度紹介します。

#### その他

ビデオやパワーポイントなどの電子教材を利用し、講義形式で行います。



科目名	災害社会学	開講	通年	単位	4
担当	社234選				
担当者名	こじま なおこ 小嶋 直子				

講義のねらい

自然災害研究には、自然科学と社会科学の両方からのアプローチがあるが、本講義では社会学・社会心理学的そして都市科学を含めた社会科学的観点から講義する。地震、風水害といった自然災害に関する災害時の情報と人間行動、災害後の復興計画などの諸問題について概説する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・ガイダンス「災害社会学」概説
- ・災害文化と災害観 1. 2
- ・災害とパニック 1. 2
- ・災害と流言飛語 1. 2
- ・災害と報道 1. 2
- ・災害と地域特性 1. 2
- ・災害と社会システム 1. 2
- ・災害ボランティア
- ・復興計画

履修上の留意点

とくになし

成績評価の方法

平常点と定期試験により評価する

教科書

使用せず

参考書等

授業中に指示する

その他

前期は、災害史や災害研究を踏まえて、災害に関わるパニック、流言、マス・メディア、下位文化、組織対応、危機管理などのトピックを挙げて講義を進める。後期は、近年の災害事例を中心にして、前期の講義を応用しながら災害の問題点を明らかにする。必要に応じてビデオテープの使用や資料配布を行う。

科目名	マス・コミュニケーション論	開講	通年	単位	4
配当	社234選				
担当者名	かわもと まさる 川本 勝				

#### 講義のねらい

テレビが誕生してから半世紀がたちます。「もしもテレビが存在しなかったなら、私達のもの  
の考え方、生活の仕方、日本の社会のあり方はどうなっていたでしょう？」といった問いに  
対して各自の答えが用意できるよう、社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュ  
ニケーションの社会的機能を考察する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

前期は、まず、コミュニケーションとはなにかを定義し、パーソナル・コミュニケーション、  
マス・コミュニケーションなど社会的コミュニケーションの類型、特質を整理しながら、コミュ  
ニケーションと社会生活の関連を考える。私たちの社会生活は、コミュニケーション活動に  
よる他者との相互作用によって成り立っている。人々は現代社会における多種多様化したメデ  
ィアを利用してどのようなコミュニケーション活動を営んでいるのかを考察する。  
後期は、マス・コミュニケーションの受容過程研究の中で明らかにされてきた効果、影響に  
ついての理論を紹介しながら、マス・コミュニケーション活動が社会や人びとに対してどのよ  
うなインパクトや社会的機能を果たしているのか、問題点は何かについて論じる。

#### 履修上の留意点

他学部・学科履修ができる科目ですが、他学部・学科の学生は、社会学の科目をすでに履修し  
ているなど社会学の基礎知識を修得しておくことが望ましい。

#### 成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を配慮し、定期試験によって行う。

#### 教科書

用いない。

#### 参考書等

適宜紹介する。

科目名	社会心理学	開講	通年	単位	4
配当	社234選				
担当者名	坪井 健				

#### 講義のねらい

この授業は、われわれが日常的に出会うテーマについて、社会心理学の興味深い研究成果を紹介する。社会心理学は、元来社会学と心理学の境界科学であり、社会学の領域から見れば、かなり心理学的色彩の強い研究が含まれる。この授業では、境界科学としての特徴を生かし、具体的テーマを中心に、ビデオ教材を利用したり、小実験や心理テストなど多彩な方法を用いて、身近な日常テーマの役立つ授業を展開したいと考えている。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

1. はじめに ー講義の方針と受講の仕方ー
2. 対人認知と印象形成 ー未知の人をどう認知するかー
3. 対人関係と自己開示 ーオタクと日本人の自己開示ー
4. 日本人の対人関係戦略 ー安心社会から信頼社会へー
5. 自信の社会心理学 ーあなたは自分に自信がありますかー
6. 対人関係と対人魅力 ー対人魅力の条件とは何かー
7. 恋愛の社会心理学 ー恋愛と友情は違うのかー
8. 援助行動抑制要因の研究 ー何故、人は見て見ぬふりをするのかー
9. 社会的手抜きと社会的促進の研究 ーみんなと一緒になら食事もはずむー
10. 同調行動と集団的意志決定 ー集団の意志決定とその危険性ー
11. カウラ事件とその社会心理学的考察 ー集団脱走はなぜ起こったかー
12. 同調行動と頻度依存行動 ーいじめの心理ー
13. 社会的勢力と権威への服従 ー何が人を鬼にさせるかー
14. 悲劇の社会心理学的考察 ーキャンプ事故はなぜ起こったかー
15. 達成動機の研究 ーやる気のある人はどんな人かー
16. 集団の社会心理学 ー集団凝集性とソシオメトリーー
17. リーダーシップの研究 ー効果的リーダーシップとはー
18. 態度変容の社会心理学 ーセールスマンのテクニクー
19. 異文化コミュニケーションと異文化適応 ー異文化に生きる戦略ー
20. 学生文化の国際比較研究から ー世界の中の日本の学生ー
21. 国際化する大学と学生 ー世界の留学交流と在日留学生ー
22. 文化ナショナリズムと日本人 ー日本人は日本的かー
24. まとめ

#### 〈授業方法〉

授業では、適宜ビデオ視聴や心理テスト、エクササイズを加え参加型の授業を取り入れる予定である。従って上記講義予定は変更することがある。実際の講義では、具体的研究や実験例を紹介しつつ進めるので、紹介された参考文献を利用して自分の研究の参考にしてもらいたい。

#### 成績評価の方法

1. 課題レポート（数回）70%
2. 平常点（出席+リアクションペーパー+授業参加度）30%

#### 参考書等

1. 『セレクション社会心理学』1～、サイエンス社
2. 齋藤勇編『対人社会心理学重要研究集』全7巻、誠信書房

科目名	社会病理学	開講	通年	単位	4
配当	社234選				
担当者名	山本 功 <small>やまもと いさお</small>				

#### 講義のねらい

まず、社会病理学の基本の概念・方法・研究領域について概観する。まず、従来のオーソドックスな社会病理学の概念・学説史をとりあげ、最後に近年注目を集めている社会構築主義について紹介する。

ついで、様々な「社会病理現象」のうち、犯罪・非行を中心に取り上げ、犯罪学を紹介する。少年の「凶悪化」が叫ばれ、2000年秋に少年法が改正されたが、少年が「凶悪化」したと言えるのだろうか。また、何かしら事件が起こるたびにメディアでは「親が」「学校が」「社会が」と様々な原因が論じられるが、それらは妥当なのだろうか。そもそも、犯罪や非行についてどうして人は語りえるのだろうか。

#### 講義の内容・授業スケジュール

【前期】第1回イントロダクション「社会病理」とは何か 第2～4回「社会病理」の基礎概念と社会病理学史 第5～8回「社会病理」現象の具体的諸相 第9～13回「社会問題」論と社会構築主義

【後期】第14～16回「犯罪」「非行」概念 第17～19回 人はどうして犯罪について語りえるのか：犯罪報道、公式統計、暗数問題 第20～24回 実証主義的犯罪原因論 第25～26回ラベリング論と社会構築主義

#### 履修上の留意点

webに参考資料をアップする。ネット環境が整っていることが望ましい。携帯電話では不可。

#### 成績評価の方法

定期試験結果で評価する。

#### 教科書

矢島正見他編『よくわかる犯罪社会学入門』学陽書房 ￥1,995  
ISBN4-313-34008-4

#### 参考書等

澤登俊雄『少年法』中公新書2000  
鮎川潤『少年犯罪』平凡社新書2001  
中河伸俊『社会問題の社会学』世界思想社1999  
平英美・中河伸俊編2000『構築主義の社会学』世界思想社  
矢島正見『少年非行文化論』学文社1996  
法務省編『犯罪白書』、警察庁編『警察白書』

科目名	社会学原論	開講	通年	単位	4
配当	社234選				
担当者名	はしつめ きとし 橋爪 敏				

#### 講義のねらい

本講義の対象は社会学科の2・3・4年生、ならびに「社会・地理・公民科」にかかわる教職科目の受講者である。したがって、「社会学」とは何か、いかなる学問かにはじまり、さらに「社会・地理・公民科」の基礎をなす学問としての、<社会科学としての「社会学」>とは何かにかかわる問題を取り上げたい。

いずれにせよ、社会学的なモノの見方、考え方を理解し、それを踏まえて、社会現象を理解し、説明する<社会科学>についての認識を深めたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期には社会科学とは何か、社会科学としての社会学とは何かと言う問題からはじめたい。科学的であるとはどういうことかと言う、基本的な点から問題を考えたい。

後期はこうした点を踏まえて、社会学の歴史的な展開を振り返り、社会現象にたいする科学的取り組みについて若干の検討をしていきたい。

#### 成績評価の方法

学年末の定期試験で評価する。

#### 教科書

安藤喜久雄ほか『社会学概論』（学文社）

#### 参考書等

適宜指示する。

科目名	教育社会学	開講	通年	単位	4
配当	社234選				
担当者名	いとう しげき 伊藤 茂樹				

#### 講義のねらい

教育社会学は、教育を社会現象ととらえ、社会学の手法を用いてアプローチする学問であり、教育や学校、子ども、青少年などに関するあらゆる現象が対象となる。分析のレベルも国の教育政策といったマクロレベルから、教室内での人間関係や相互作用といったミクロレベルまで多岐にわたる。そして、私たちががともすれば自明視しがちな「常識」を相対化して批判的なまなざしを向けたうえで、実態の客観的な分析をふまえて実践や政策に寄与する知見を得る学問である。この学問についての基礎知識を持ち、それを用いて現代社会の教育について考えていく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマとして、教育社会学の対象と方法、学校の歴史と機能、社会化とその変容、情報化社会と青少年、教育制度、カリキュラムと知識、学校の組織と文化、階層と教育、教育問題と教育改革、などを予定している。

#### 履修上の留意点

授業への積極的な参加を求める。

#### 成績評価の方法

課題とレポートにより評価する。

#### 教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

科目名	宗教人類学	開講	通年	単位	4
配当	社234選				
担当者名	佐藤 憲昭 <small>さとう のりあき</small>				

#### 講義のねらい

宗教人類学は、文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化について比較研究をする学問である。そして、その営為を通して「人間とは何か」という問題に答えようとするものである。本年度は「生き神信仰と仏教現象」について取り上げて考察し、宗教人類学の考え方を学習することにした。

生き神は、学術用語でシャーマンと呼ばれる。例えば、東北地方のイタコ、カミサマ、オナカマ、ミゴ、ワカ、本土各地のオガミヤ、行者、祈祷師、ホウニン、奄美・沖縄地方のユタなどがそれである。神主や仏僧の中にも生き神の性格を具えている者が存在する。彼（彼女）らは、神霊をみずからの身体に侵入させて神霊自身として振る舞ったり、あるいはみずからの身体に付着した神霊と会話を交わし、その内容を神意として依頼者に伝達したり、または身体の外側から神霊の影響を受けて、神霊の姿や声を目・耳にした内容を神意として依頼者に伝える、などの役割を担当する。

こうした生き神を中心とする宗教形態（＝シャーマニズム）は、歴史的には先史時代より歴史をつらぬいて現代にいたっているとされ、また、空間的には普遍的・汎世界的にあらわれている現象とされている。しかも、この宗教形態はあらゆる宗教と結びつく性格を具えている。わが国で生起しているシャーマニズムもまたいろいろな宗教と関係していることが知られているが、この講座では、特にシャーマニズムと仏教現象との諸関係を注目して考察してみたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

次のテーマのもとに具体的に考察する。

1. 宗教人類学の学問的特徴、2. フィールドワーク、3. 宗教文化の基盤、4. 宗教的職能者、5. 宗教－呪術－巫術、6. 生き神信仰の諸相と研究史、7. 生き神と生き仏、8. 神人交流の諸相、9. 生き神信仰と仏教現象、10. 総括。

#### 履修上の留意点

ときどき出席をとるので、欠席をする場合（または出席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

#### 成績評価の方法

学年末のレポート（2400字～2800字）で評価する。合格の基準は、1. 講義内容を踏まえていること、2. 参考文献を読みこなしていること、3. みずからの言葉で論じていること、の三点にある。なお、不合格の場合には、出席点を加算して最終評価を行う予定。

#### 教科書

佐々木宏幹 『聖と呪力の人類学』 講談社（学術文庫）

#### 参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	社会調査演習	開講	前期	単位	2
配当	社234選				
担当者名	李 <sup>り</sup> 妍 <sup>けん</sup> 炎				

### 講義のねらい

この演習では、社会調査の方法の一つである質的調査の方法を習得していく。具体的には、フィールドワークとの関連で質的調査の意味と特徴を捉えた上で、参与観察や聞き取りなどの具体的なデータ収集法を学び、さらにコード化・カテゴリー化とシーケンス分析などといった分析の手法を習得していく。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 ガイダンス：質的調査とはなにか  
質的調査の意味について、量的調査との比較を通して解説にしておく
- 2 質的調査の歴史  
社会調査の歴史における質的調査の歴史について学ぶ
- 3 質的調査の特質  
フィールドワークとの関連において質的調査の特質を明らかにし、その長所と短所について考える
- 4 質的調査のテーマ設定と方法の解説  
テーマ設定の方法と、具体的な調査技法の種類について説明する
- 5 参与観察の方法  
参与観察の技法を詳しく学ぶ
- 6 参与観察の技法の応用  
実際に参与観察を経験することによって、理解を深めていく
- 7 聞き取りの方法  
聞き取り調査の方法について詳しく学ぶ
- 8 聞き取りの技法の応用  
聞き取り調査を実際に経験してみることによって、理解を深めていく
- 9 質的調査のデータ収集法（まとめ）  
参与観察や聞き取り、そしてそれ以外のデータ収集法についても紹介し、まとめる。
- 10 質的調査の分析とは  
質的データの分析法の種類とそれぞれの解説
- 11 コード化・カテゴリー化  
コード化・カテゴリー化カテゴリー化による分析について詳細に学ぶ
- 12 コード化・カテゴリー化の実践  
実際にやってみることによって理解を深めていく
- 13 シークエンス分析  
談話分析や会話分析などのシーケンス分析について解説する
- 14 シークエンス分析の実践  
実際に分析をやってみる
- 15 まとめと質疑応答

（社会学）

### 履修上の留意点

社会調査士の認定科目であるため、毎回参加できること。

### 成績評価の方法

出席、討論・作業（演習）への参加、貢献の度合いなど平常点によって評価。

### 教科書

特に使用しない。

### 参考書等

複数用いる予定であり、その都度紹介し、プリントを配布する。

科目名	社会統計学演習	開講	前期	単位	2
配当	社34選				
担当者名	片岡 栄美 <small>かたおか えみ</small>				

#### 講義のねらい

データ分析で用いる基礎的な多変量解析法について、主要な計量モデルについて講義と実習を行なう。データから社会的に意味のある結果をどのように導き出すか、データ処理スキルを向上させる。具体的には、重回帰分析を基本としながら、因子分析、主成分分析、分散分析、パス解析などをとりあげ解説するとともに、実際のデータを用いて統計処理ソフト（SPSS）による実践的手法を習得する。解析ソフトの使用法の習得だけでなく、各手法の考え方やその結果の意味を理解することに重点を置き、多変量解析を使用したレポートの書き方についても指導する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 多変量解析の基礎 1：基本統計量の算出とその意味を確認するとともに、多変量解析に向けた基本的考え方を講義する。
- 2 多変量解析の基礎 2：標準化、相関係数、相関行列、回帰についての基礎を復習し、データ分析をやってみよう。
- 3 重回帰分析 1：重回帰式の意味の理解とその算出手続きの習得を目指す。
- 4 重回帰分析 2：重回帰分析により得られる各種の係数（偏回帰係数、重回帰係数、決定係数、標準偏回帰係数）について説明し、その意味を理解する。
- 5 重回帰分析 3：重回帰分析を使用して、調査データを分析した研究事例について検討し、重回帰分析の使い方を学ぶ。
- 6 重回帰分析 4：重回帰分析を使用して、調査データを分析し、報告書を書く練習をする。
- 7 パス解析：パス解析の意味と使用方法について学び、実際のデータを使用して分析方法を習得する。
- 8 主成分分析と因子分析について、統計的な考え方の違いについて習得する
- 9 主成分分析の基本的な分析法と、各種の値（固有値、寄与率、因子負荷量、主成分得点）について学ぶ
- 10 因子分析：因子分析の手法について、習得する
- 11 分散分析：対応のある場合・ない場合に分けて説明するとともに具体的データを処理することによって理解を促す
- 12 多変量分散分析：多変量分散分析の手法について習得し、検定や結果の記述について学ぶ
- 13 クラスタ分析 1：手法の基礎的な考え方と手法について学ぶ
- 14 クラスタ分析 2：デンドログラムについて解釈と意味を学ぶ
- 15 多変量解析についての理解に関する検証（定期試験）

#### 履修上の留意点

社会調査士資格のE科目に該当する。  
出席重視。

#### 成績評価の方法

平常点とレポートで総合的に評価する。

#### 教科書

小塩真司 『研究事例で学ぶSPSSとAMOSによる心理・調査データ解析』、東京図書、2005年

#### 参考書等

適宜、指示する



科目名	社会学理論研究I	開講	前期	単位	2
配当	社234選				
担当者名	うしじま ちひろ 牛島 千尋				

講義のねらい

この授業は、都市社会学の基本的理論について、文献を講読し、受講者全員で議論する形で進めていく。日本（主に東京圏）における都市化、郊外化とこれらに関連しておきた事象を理解していく。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) シカゴ学派の都市社会学理論とその継承
- (2) 郊外の成立過程と
- (3) 都市コミュニティとアーバニズムの下位文化理論
- (4) 国際的人口移動とエスニシティ論
- (5) 東京圏と都市サイクル論

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

授業中の発表、期末レポートによって評価する。

教科書

高橋勇悦監修・菊池美代志、江上渉編『21世紀の都市社会学』（学文社）  
ISBN：4-7620-1152-5、2002.5  
上記テキストに掲載されている入門書、専門書。

その他

主に演習形式で行う。

科目名	社会学理論研究II	開講	後期	単位	2
配当	社234選				
担当者名	やまだ のぶゆき 山田 信行				

講義のねらい

この講義では、現代社会を特徴づける基本的な趨勢の1つであるグローバル化（グローバリゼーション）に焦点をあて、グローバル化がひき起こす様々な現象について、理論的に考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

主な内容は、以下の通り。カッコ内の回数は、当該の項目が授業に当てられるおおよその回数。

タイトル：グローバル化の社会理論

1. グローバル化とはなにかー概念・現象・起源・原因（3回）
2. グローバル化と世界システム（4回）
3. グローバル化と国家（3回）
4. グローバル化と社会運動（3回）

履修上の留意点

ほぼ毎回講義の内容に関するメモを配布するので、それをもとにノートを取るようになってほしい。継続的な出席は、講義の理解を促進する。

成績評価の方法

学期末試験と平常点による（予定）。

教科書

使用しない。

参考書等

山田信行『世界システムの新世紀』東信堂2006年。

その他

特になし。

科目名	社会学特殊講義I	開講	後期	単位	2
配当	社234選				
担当者名	やまだ のぶゆき 山田 信行				

講義のねらい

この講義では、パート労働や有期雇用の拡大に象徴される、現代社会における雇用の多様化とそれに伴う労使関係の変化について、日本やアメリカ合州国に事例を求めながら概説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

主な内容は、以下の通り。カッコ内の回数は、当該の項目に授業が当てられるおおよその回数。

- タイトル：雇用形式の多様化と労使関係
1. 雇用と労使関係－基礎的考察（2回）
  2. 長期雇用からフレキシブルな雇用形式へ（4回）
  3. 外国人労働者と看護・ケア労働（3回）
  4. 新しい労働運動？（3回）

履修上の留意点

ほぼ毎回講義の内容に関するメモを配布するので、それをもとにノートを取るようしてほしい。継続的な出席は、講義の理解を促進する。

成績評価の方法

学期末試験と平常点による（予定）。

教科書

使用しない。

参考書等

適宜指示する。

その他

特になし。

科目名	社会学特殊講義II	開講	後期	単位	2
配当	社234選				
担当者名	坪井 健 <small>つひい つよし</small>				

### 講義のねらい

この講義は、<日本人論再考>というテーマで、戦後日本人論の系譜を辿りながら、日本人とは何か、日本人論と日本文化論は如何に語られてきたかを比較文化論・文化心理学的視点から考察することを目的とする。具体的には、日本人論の語られ方、日本人論をめぐる言説とその問題点、集団主義の幻想、日本人論のイデオロギー的機能、さらには文化ナショナリズム的背景について、グローバルな視点から考察することが目的である。

日本人のアイデンティティや文化的ナショナリズムについて関心のある学生、これまで語られてきた日本人や日本文化の特殊論に興味を持っている学生、「世界の中の日本」について関心のある学生などの受講を歓迎する。

### 講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに 一この講義の方針と進め方 2. 日本人論は如何に語られてきたか 一日本人論の系譜 3. 日本人論の語られ方 一方法としての日本人論 4. 日本人論の共通命題 一特殊独特説とその批判 5. 日本人は日本的か 一共同幻想としての日本人像 6. イデオロギーとしての日本人論 一日本人論の機能 7. 日本人論はいかに再生産されるか 一文化ナショナリズムと日本人論 8. おわりに 一日本人論を超えて

### 履修上の留意点

授業は、これまで数多く語られてきた日本人論の文献を解説しながら、その問題点への気づきに焦点を当てて、なるべく具体的な実例や研究例などを紹介しつつ進める予定である。講義はレジュメや資料を用意するが、履修状況によっては文献を輪読・討論する形式で進める場合もあるので積極的参加を期待する。なお、関連文献はその都度紹介する。

### 成績評価の方法

1. 毎回、リアクションペーパーを配布するので、授業内容への意見・感想を記入すること。 2. 評価、このテーマに関連した課題レポートの提出を求める。 3. 平常点（出席＋リアクションペーパー＋授業参加度）30%、課題レポート等70%

### 参考書等

1. 吉野耕作『文化ナショナリズムの社会学』名古屋大学出版会、1997年 2. 杉本良夫、ロス・マオア『日本人論の方程式』筑摩書房、1995年 3. 山岸俊男『心でっかちな日本人』日本経済新聞社、2002年 4. 青木保『「日本文化論」の変容』中央公論社、1990年 5. 馬淵仁『「異文化理解」のディスコース』京都大学学術出版会、2002年

科目名	社会調査実習	開講	通年	単位	4
担当	社34選				
担当者名	松信 ひろみ <small>まつのぶ ひろみ</small>				

#### 講義のねらい

1,2年次で学んだ社会調査に関する知識を生かし、実際の社会調査にかかわることによって、現実の社会を分析する手法を会得することを目的とする。受講生は、自らの問題意識を仮説化し、調査の企画・設計から調査票の作成、サンプリング、データの収集と分析、報告書の作成など社会調査の一連のプロセスを経験する。具体的には、学生を対象とした量的調査を実施し、受講生各々の問題意識を生かした調査票を作成して、受講生が相互に協力しあいながら、データの収集から報告書の作成までを実践的に学習してゆく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期はまず受講生の討議に基づき、①調査テーマの決定と調査の設計、②仮説の検討、③調査票の作成、を行う。調査票の作成においては、調査企画と照らし合わせながら、項目の調整、配置、ワーディングの検討も行い、さらに依頼文、あいさつ文の作成についても学ぶ。また、④駒澤大学の社会学科の在学生名簿からランダムサンプリングを実施し、標本抽出についても体験する。⑤抽出された対象者について、調査票の配布、回収を行う。後期は、回収した調査票のチェック、データ入力とデータのクリーニングをまず実施し、その後は各自の仮説に基づいたデータの分析をSPSSを用いて行う。さらに、それらの分析結果に基づき、報告書の執筆、作成を行う。報告書の作成にあたっては、各自で執筆した原稿について受講生全員で検討する。

#### 履修上の留意点

問題意識を明確にもち、社会調査のすべての過程について、自ら積極的に取り組むことのできる姿勢をもって欲しい。

#### 成績評価の方法

平常点（出席、および調査への取り組み方）、報告書用のレポート

#### 教科書

適宜指示する

#### 参考書等

適宜指示する

#### その他

毎回の出席が基本である。自ら調査に取り組む姿勢を忘れないで欲しい。

科目名	社会調査実習	開講	通年	単位	4
配当	社34選				
担当者名	李 <sup>り</sup> 妍 <sup>けん</sup> 炎				

#### 講義のねらい

この実習では質的調査の方法を用いて行う。1, 2年生の時に学んだ社会調査の手法、特に社会調査演習の科目において学んだ質的調査の手法を、実習を通してマスターしていくことを目的としている。調査テーマの設定、調査地の選定、調査対象者の選定、現地に入るための準備学習、聞き取り調査のアポイントメントを取り、実際に聞き取りを行うこと、また、現地の様々な活動に参加し、参与観察を行うこと、これら一連の質的調査のプロセスを経験した上で、調査テーマに関する、質的データに基づいた調査報告書の作成を受講生全員で協力しながら行う予定である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期においては、まず、質的調査の方法の特質や具体的な技法について受講生と確認した上で、実習のテーマについて受講生とともに討論し、決定する。次に調査テーマに関する基礎データを受講生で分担して集め、調査地と調査対象の選定作業を行う。その上で受講生のグループ分けを行い、それぞれが調査地に入っていく、事前調査と予備学習を行う。後期にはまず各グループで準備作業を終え、本調査に入っていく。聞き取り調査対象者のリストを作成し、アポイントを取ることから調査実施、テープ起こし、データのコード化など一連の作業を行う。また同時に必要に応じて参与観察を行い、同様に観察ノーツの作成とコード化を進める。調査が終了した時点で受講生が分担して分析を行い、調査報告書の作成を行う。

1. 調査のテーマ/領域：具体的なテーマは受講生と討論した上で決定するが、大学生活と関連のある領域にする予定である。
2. 調査の内容/概要：大学生のサークル活動（組織構成、リーダーシップ、活動形態、サークル内の人間関係の形成、大学生活におけるサークル活動の位置づけと影響など）を中心に調査を設計していく予定であるが、詳細は受講生の意見を踏まえながら決めていく。
3. 調査の範囲/対象：複数の大学/大学生や関係者を対象者として想定している。
4. 主な調査項目：サークルの歴史と組織構成、リーダーシップのあり方、雰囲気、活動内容、メンバーの人間関係、サークルに対するメンバーの考え方や感情、メンバーにとってのサークル活動の位置づけ、サークルがメンバーに与える影響などの項目が考えられるが、具体的に決まったテーマに応じてさらに絞ったり、補足したりしていく。
5. データ収集（現地調査）の方法：対象を選定した後に、グループ単位で聞き取り調査と参与観察を中心とした調査を行う。

#### 履修上の留意点

1. 受講する学生は、調査のテーマ設定の段階から調査報告書の作成に至るまで、一貫して主体的に取り組むことが求められる。
2. 質的調査の方法を学ぶ「社会調査演習」の科目を履修したことのある学生、またはこの実習と同時に履修を始める学生が望ましい。
3. この科目は、社会調査士の資格を取得するための科目の一つであるが、量的調査の実習は別のクラスが用意されているため、そちらを履修すること。

#### 成績評価の方法

平常点（出席、参加の態度、作業に取り組む姿勢、調査報告書の作成における貢献）で評価する。

#### 教科書

とくになし。

#### 参考書等

複数の参考書を指定する予定であるが、授業の時にその都度必要な部分を配布する。

科目名	社会調査実習	開講	通年	単位	4
担当	社34選				
担当者名	上野 淳子				

#### 講義のねらい

社会調査を行う実践的な能力の獲得を目指す。具体的には大学生を対象とした意識調査を実施し、受講学生は調査の企画・設計からデータの収集と分析、報告書の作成まで社会調査の全プロセスを経験する。この授業により、①社会調査を企画・遂行する実践的な力、②自らの問題意識をもとに先行研究をレビューし仮説を構築する力、③データ分析の技法と結果の報告の仕方を身につける。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は社会調査の企画から調査票の配布・回収までを行う。

1. 社会調査の基本的知識の確認と調査の設計
  2. 先行研究の検討と仮説の構築
  3. 調査票の作成（質問項目の配置やワーディングの検討など）
  4. 調査対象者への調査依頼文とあいさつ文の作成
  5. 標本抽出
  6. 対象学生への調査票の配布と回収
- 後期は、回収した調査票のデータ入力から報告書作成までを行う。
7. 調査票のチェックとコーディング
  8. データ入力とクリーニング
  9. 各自の仮説にもとづいたデータ分析
  10. 報告書の作成

調査票の作成は受講学生の問題意識にもとづいて行い、データの分析から報告書の作成まで全員で内容を討議しながら進める。

#### 成績評価の方法

平常点（出席、討論・作業への取り組み）＋報告書レポート

科目名	行政法	開講	通年	単位	4
担当	社1234選				
担当者名	鶏徳 啓登				

#### 講義のねらい

現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後50年経過して、国外的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。

本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 行政とは何か
2. 行政の原則
3. 行政法の意義と解釈
4. 行政作用の分類と内容・効力
5. 行政行為の瑕疵と効力
6. 行政手続
7. 行政上の強制の方法と制裁
8. 国家による賠償と補償
9. 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

#### 成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

#### 教科書

原田尚彦著 『行政法要論』（学陽書房） 3,000円  
『小六法』 出版社・定価各種

#### 参考書等

塩野宏著『行政法I・II』（有斐閣）4,000円 その他、教場にて説明。

科目名	法学（福祉）	開講	通年	単位	4
配当	社1234選				
担当者名	こばやし ひろひと 小林 弘人				

#### 講義のねらい

社会福祉法制として理解されている各種の法令の意義・内容を理解することを目標とする。具体的には、社会福祉の組織、活動、財政、争訟に関する法令の解説をなるべく平易に説明をする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### 〔目標〕

- 1 社会生活における法の作用や役割について理解させる。
- 2 憲法、民法及び行政法の基礎を理解させる。

##### 〔内容〕

- 1 社会生活と法
- 2 憲法
  - 1) 基本原理 2) 基本的人権 3) 地方自治
- 3 民法
  - 1) 総則 2) 物権 3) 契約 4) 不法行為 5) 親族 6) 相続
- 4 行政法
  - 1) 行政行為 2) 行政不服審査 3) 行政訴訟 4) 行政手続き 5) 地方行政組織

#### 成績評価の方法

出席状況と年三回位のレポートの提出および定期試験を勘案し、総合評価する。

#### 教科書

小林弘人著『高齢化社会における社会福祉の法』（創成社）

#### 参考書等

授業時間中に指示する。



科目名	社会保障論	開講	通年	単位	4
配当	社1234選				
担当者名	ながお じようじ 長尾 譲治				

### 講義のねらい

本科目は、社会福祉士指定科目の1つであり、ソーシャルワーカーを目指す諸君にとって必要で十分な社会保障制度・理論に関する知識を習得すること、及びソーシャルワークの現場においてその知識を生かす応用能力を身につけることを第一の目的としている。

社会保障制度は、一見すると複雑・多岐にわたっており、わかりづらいと感じる学生が多いのも事実である。しかし、社会保障は人間の基本的なニーズに対応したものであって、原理・原則は単純明快である。社会保障論の学習にあたっては、まずその原理・原則を理解した上で、制度上の例外を身につける方法が有効である。

本講義では、身近な実例を多用し、社会保障がいかに私たち国民にとってかけがえのないものであるかを実感してもらおうと同時に、具体例を通じて実践的な社会保障の知識を身につけていく。また、社会保障の各制度の現状はどうなっているのか、これからどうしていきべきなのかについて、国民の福祉の維持・推進の役割を担う福祉専門職の立場から、考察していきたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 1：社会保障とは（社会保障の必要性、日本の社会保障制度の体系）
- 2：各制度の詳細な解説（事例、Q&A、モデルケース試算等を多用）
  - (1) 年金保険制度
  - (2) 医療保険制度
  - (3) 労働保険制度（雇用保険、労災保険）
  - (4) 介護保険制度
  - (5) 民間の保険（生命保険、損害保険、その他の保険）
- 3：こんなときどうする？ －ライフサイクルと社会保障－
  - (1) 病気・けがをしたら
  - (2) 妊娠・出産・育児とその支援
  - (3) 身体障害を負ったら
  - (4) 知的発達障害への対応
  - (5) 精神不調に陥ったら
  - (6) 寝たきり・認知症などで介護が必要になったら
  - (7) ターミナル・ケアを受けるには
  - (8) 生活に困窮したら
- 4：各国の社会保障制度
- 5：社会保障制度の現状と課題
- 6：福祉士国家試験問題（社会保障論）を解いてみよう

### 成績評価の方法

学年末試験の成績に、出席状況等を加味して評価する。

### 教科書

特に指定しないが、必要に応じて参考書等を紹介する（授業は毎回の詳説プリントを通じて行う）。

### 参考書等

福祉士養成講座編集委員会編『新版社会福祉士養成講座 5 社会保障論』（中央法規）  
 長尾譲治『ライフサイクルと保健福祉』（春風社）  
 週刊社会保障編集部編『社会保障便利事典』（法研）  
 その他、随時紹介する。

科目名	老人福祉論	開講	通年	単位	4
配当	社1234選				
担当者名	とうじょう みつまさ 東條 光雅				

### 講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、老齢年金支給開始年齢の引上げ、介護保険制度の導入等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年富にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界一の「人生80年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の度合いはいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、今世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その時に高齢者となるのは、現在“青・壮年期”にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対応策としての老人保健福祉の制度・政策についてのみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 前期
- ・人口高齢化の意味
  - ・高齢者問題の背景  
社会変動、家族変動
  - ・高齢者の生活問題
  - ・老化と老年期の身体疾患、身体障害、精神障害
  - ・高齢者の保健福祉ニーズ  
ニーズ把握の方法、保健福祉ニーズの種類
- 後期
- ・老人保健福祉法制と関連施策  
近年の制度及び政策の動向、老人保健法、老人福祉法、介護保険法、関連施策
  - ・老人保健福祉の供給システムと財源  
供給システムとは、供給システムの仕組み（含む、シルバーサービス）、財源、マンパワー
  - ・在宅サービスの制度と処遇  
在宅サービスの制度的枠組み、在宅サービスの歴史・理念・目標、在宅サービスの種類、在宅サービスにおける援助事例
  - ・施設サービスの制度と処遇  
入所（入院）施設の種類と概要、社会福祉分野の入所施設、保健・医療分野の入所（入院）施設、施設における処遇、施設サービスにおける援助事例
  - ・地域及び住環境の整備と福祉機器

### 履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、適宜受講生に対して講義内容に関する質問をしたり、意見発表をしてもらうことがある。近年、富に私語や居眠りをする学生が目立つので、授業態度に問題がある場合には退室してもらう。履修学生は、気を引き締めて授業に臨んでもらいたい。

### 成績評価の方法

原則的には、前期試験と年度末定期試験の平均点をもって評価する。また、出席点は特に考慮しない。

### 教科書

『老人福祉論』、中央法規出版、最新版

### 参考書等

出版社は問わないが、最新の「社会福祉小六法」は購入しておくこと。また、その他の参考書等については必要に応じてその都度紹介する。

### その他

ほぼ毎回プリント資料を配布する。

科目名	児童福祉論	開講	通年	単位	4
配当	社1234選				
担当者名	むらた かずあき 村田 一昭				

#### 講義のねらい

1989年に国連子どもの権利条約が採択されて以降、「子どもの最善の利益」の追求を基本とした子どもの権利擁護サービスが重視され、伝統的な児童福祉から新たな児童福祉へと制度や実践の変革が進められてきています。本講座では、そういった動向を踏まえつつ、子どもと家庭のウェルビーイング（well-being）をめざす新たな児童福祉である子ども家庭福祉の基本的枠組とソーシャルワーク実践に関する理解を深めることを目的としています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期：①子ども家庭福祉の理念、②子どもと家庭をめぐる最近の動向、③子ども家庭福祉への歩みと最近の動向  
後期：①子ども家庭福祉の法体系、②子ども家庭福祉の実施体制、③子ども家庭福祉施策の現状と課題、④子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践の実際

#### 履修上の留意点

可能な限り、受講生とのコミュニケーションを図りながら授業を進めたいので、質問や意見など積極的な発言を求めます。

#### 成績評価の方法

出席、課題（映画鑑賞レポート・読書レポート）、授業中に実施する小テストの累積点

#### 教科書

高橋重宏・山縣文治・才村 純編「子ども家庭福祉とソーシャルワーク（第2版）」（社会福祉基礎シリーズ⑥児童福祉論）（有斐閣）2,000円  
※授業内容により、随時プリントも配布します。

#### 参考書等

随時、紹介します。

#### その他

受講人数に応じて、講義形式、討議形式のいずれかを選択します。

科目名	地域福祉論	開講	通年	単位	4
配当	社1234選				
担当者名	豊田 <small>とよだ むねひろ</small> 宗裕				

### 講義のねらい

地域福祉論で学習すべきポイントは、大きく分けて以下の3点である。本講義ではこれらについて、われわれが生活している地域そのものの持つ特色を明らかにしたうえで、福祉問題の出現過程について学び、その解決のための手段や考え方を理解する。

(1) 総論としての地域福祉の枠組み(地域福祉とはどのようなものか。何故必要なのか)

①地域福祉論の概念、②地域福祉の歴史的展開、③コミュニティの捉え方・考え方

④現在の地域福祉施策の特徴

(2) 各論としての地域福祉の各種制度や援助方法(地域福祉施策の内容と提供方法)

①地域福祉サービスの種類とその提供方法、②サービス提供組織やその仕組み

③福祉ニーズの把握や組織化活動の展開方法

(3) 現在および将来的な地域福祉に関連した施策の動向と展望

①地域福祉に関連した、経済的・社会的な動向と展望、②計画づくりと福祉制度

③これからの方向性

講座には、様々な年次の学生がいることを考慮し、なるべく具体的な、かつ実践に役立つ内容を盛り込んで、講義を進めたいが、内容や使用する用語が難解な場合もあるので、各自学習をして理解を深めてほしい。併せて、本科目は社会福祉士試験の指定科目ということもあり、試験の内容も考慮して講義を行いたいと考えている。

### 講義の内容・授業スケジュール

講義スケジュール(番号は授業回数ではない)

: 講義テーマ: 講義内容

1: 地域福祉と生活問題: 地域福祉の考え方と現代の生活問題

2: 地域福祉とコミュニティ: 地域社会の変遷とコミュニティの形成◆住民の社会参加の状況とコミュニティ 他

3: 地域福祉理念の変遷: 地域福祉理念の歴史的変遷

4: 地域福祉の概念とその範囲: 地域福祉の代表的な考え方とその類型

5: 地域福祉のサービス体系: 地域福祉サービス体系の考え方とその基本理念◆地域福祉活動の体系とその内容 他

11: 地域福祉の推進方法: 地域援助技術の必要性と社会福祉計画 他

16: 福祉教育の推進: 福祉教育の考え方とその推進

17: 地域福祉の財源: 地域福祉の財源と共同募金の理解 等

21: 地域福祉の推進組織: 社会福祉協議会、行政、各種団体・機関◆非営利団体の活動とNPO法 他

24: 地域福祉のマンパワー: ボランティア活動とその動き◆地域における地域福祉のマンパワー(民生委員を中心に)

### 履修上の留意点

地域福祉論は、他の福祉系科目の横断科目として理解する必要がある。できる限り2年次以降の履修が望ましい。

### 成績評価の方法

出席回数、試験期間内の定期試験および授業時間中に課すレポートの提出(随時)の双方の状況により、判定する。

### 教科書

『社会福祉士養成講座7』 地域福祉論(中央法規出版)

### 参考書等

授業時間内に指示する。

### その他

講義形式で行う。出席確認およびレポートも実施する。

科目名	児童心理学	開講	通年	単位	4
配当	社1234選				
担当者名	澤田 <sup>さわだ</sup> 匡人 <sup>まさひと</sup>				

講義のねらい

小学校入学前後から思春期までを中心とした子どもについて、その心理的特徴に関する基礎的な知識の習得を目指します。

講義の内容・  
授業スケジュール

「1回1テーマで完結」を原則として行われます。思考や自己の発達といった定番のテーマ（「発達段階」「自己概念」「自己効力」）から、対人関係の発達（「愛着」「感情」「集団」）、不応の問題（「ストレス」「精神障害」「心理療法」）に至るまで、子どもの心とその発達の変化を理解する上で欠かせないさまざまな内容を取り上げ、わかりやすく解説していきます。

履修上の留意点

初回の授業（ガイダンス）で説明する「受講契約」（受講する上での基本的なルール）を確認してから履修するようにしてください。

また、できるだけ学生の皆さんの要望に沿った授業にしていくために、毎回簡単な感想を出してもらいます。

成績評価の方法

授業で紹介した重要なタームを空欄に書き入れるというシンプルな方式の筆記試験から評価します。

教科書

使用しません。

参考書等

桜井茂男・濱口佳和・向井隆代 [著] 『子どものこころ－児童心理学入門』  
（有斐閣）

その他

講義は全回に渡って「プレゼン形式」で行われます。テキストやプリントは基本的に用いませので、投映された画面をノートに取る必要があります（もちろん任意です）。しかし、一度に呈示する内容をできるだけ抑えながら、「見ていて飽きないプレゼン」を心がけて毎回作成しておりますので、すぐに慣れると思います。この講義を受ければ、ノートテイキングのスキルが上昇するという副次的な特典が付くことになるでしょう。毎回楽しみながら受講していただければ願っています。

科目名	産業心理学	開講	通年	単位	4
配当	社1234選				
担当者名	おの こういち 小野 公一				

#### 講義のねらい

人々が、企業やその他の組織に所属し働く時に遭遇するさまざまな問題について、心理学的にアプローチする。

具体的には、組織が、働く人々とどのように係わるのかという点について、人事管理の制度的な面や、上司が部下にどのように接し育成するかという運用面について、心理学的な視点で学ぶ。また、それ以外に、人々が心身ともに働きやすい環境作りや、企業環境でもある消費者の行動についても触れていく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

第1-3回 クラスの説明 産業心理学とは何かに：研究・関連領域と歴史  
 第4-10回 働く人々と組織：人事心理学職務分析、職務設計、募集・採用、配置・異動、キャリア発達と教育訓練、人事評価  
 第11-13回 まとめ、中間試験  
 第14-18回 動機づけと職務態度  
 第19-21回 リーダーシップ  
 第22-23回 メンタルヘルス  
 第24回 消費者行動と市場調査  
 第25回 疲労・事故・作業  
 第26回 補足とまとめ

#### 履修上の留意点

テキストは各自の責任において読んでおくことが前提である

#### 成績評価の方法

最終試験 6割、中間試験 3割 小テストや出席確認と任意のレポート 1割の合計で評価する。

#### 教科書

主に①を用いる  
 ①小野公一 『“ひと”の視点からみた人事管理』 白桃書房 1997  
 ②馬場昌雄・馬場房子監著 『産業・組織心理学』 白桃書房 2005

#### 参考書等

山口・高橋・芳賀・竹村 『産業・組織心理学』 有斐閣 2006  
 小野公一 『キャリア発達におけるメンターの役割』 白桃書房 2003

科目名	環境心理学	開講	通年	単位	4
配当	社1234選				
担当者名	おおの りゆうぞう 大野 隆造				

講義のねらい

人間は環境を操作・改変し、逆に環境は人間の心理・行動あるいは発達に影響を及ぼす。この人間と環境との相互作用を理解することは、住みよい建築・都市を構想する上で重要である。本講義では、人が環境をどのように知覚し、判断し、記憶し、評価しているか、また対人的な社会行動において環境がどのように影響するかなどについて講じる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 環境心理学の沿革
- 2 環境心理学と環境デザイン
- 3 環境知覚の特性
- 4 環境認知とイメージ
- 5 小空間のエコロジー：テリトリー・プライバシー
- 6 環境デザインと防犯性
- 7 子ども、老人、ハンディキャップトの知覚と行動
- 8 環境の伝える意味
- 9 環境知覚・認知の文化差
- 10 環境心理を捉える調査・研究方法
- 11 環境を記述する方法・環境シミュレーション
- 12 環境設計のデザインガイドライン

成績評価の方法

講義中に課す演習レポートおよび期末試験により評価

参考書等

日本建築学会編『人間環境学—よりよい環境デザインへ—』（朝倉書店）1998  
中島・大野編『人間行動学講座第3巻「すまう」』（朝倉書店）1996

科目名	老年心理学	開講	通年	単位	4
配当	社1234選				
担当者名	なかざと かつはる 中里 克治				

講義のねらい

老年期の心理を理解することにある。老年期は衰退の時期と考えられてきたが、成長の時期でもある。また、正常な加齢（老化）と病的な加齢を区別することも大切である。生涯発達の完成期である老年期の発達を生涯発達の枠組みの中で学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期  
 第1－2回：高齢社会と老年心理学  
 第3－4回：高齢者の健康、寿命とライフスタイル  
 第5－7回：高齢者の痴呆  
 第8－9回：高齢者精神疾患と自殺  
 第10-11回：高齢者の心身の変化  
 第12-13回：高齢者の知能、創造性、知恵の発達  
 第14-15回：高齢者のパーソナリティ：エリクソンを中心に  
 後期  
 第16-18回：高齢者のパーソナリティ：最近の知見を中心に  
 第19-21回：適応とサクセスフルエイジング  
 第22-23回：高齢者の家族と社会生活  
 第24-26回：高齢者と死  
 第27-30回：高齢者に対する心理的援助

成績評価の方法

後期末に試験を行う。随時レポート提出も求める。

教科書

下仲順子・中里克治編『高齢者心理学』（建帛社）2004年

その他

授業は講義形式。必要に応じプリントを配布。

科目名	社会政策	開講	通年	単位	4
配当	社1234選				
担当者名	みつおか たくみ 光岡 博美				

講義のねらい

最後に私は2006年4月より1年間、琉球大学（沖縄）に留学しました。従って、時間的余裕があれば、現代沖縄の社会・経済問題についても講義したいと考えています。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。但し、受講者が多い場合は実施できない場合もある。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験はしない。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

（社会学）



科目名	労働法	開講	通年	単位	4
配当	社1234選				
担当者名	ふじもと しげる 藤本 茂				

### 講義のねらい

今日、雇用社会は、能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。たとえば、労働基準法改正、労働時間、男女雇用平等、労働契約法制定案などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に、基礎的な知識を身につけてもらうことを念頭においています。

### 講義の内容・授業スケジュール

下記事項について、基礎的知識を学びつつ、現代的課題に言及します。

詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 集団的労働条件の決定・変更－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

### 履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo。そして無断で席を立つこともNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。

憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。

### 成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、レポートなどとともに、総合的に評価します。確認テストや中間試験も対象です。出席も考慮します。

追試験は実施します。

### 教科書

道しるべとして、浜村彰ほか著『ベーシック労働法』（有斐閣）か浅倉むつ子ほか著『労働法』（有斐閣）のうち1冊を購入して自宅学習に使ってください。受講者は必ず、1冊は用意してください。

### 参考書等

概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において紹介します。

六法は最新のもの（法律改正や制定があるので特に注意）。そして、労基法施行規則の載っているものを用意してください。

### その他

各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら授業を進めます。

科目名	民法	開講	通年	単位	4
配当	社1234選				
担当者名	おおみや たかし 大宮 隆				

#### 講義のねらい

家族を研究対象とするとき、哲学・心理学・社会学・歴史・経済・医学など、さまざまな角度からアプローチすることが可能である。これを法律の視点からみると、民法という法律の中に、講学上家族法とよばれる法分野があり、民法第4編・第5編がこれに該当する。家族法は、我々の生活の中でも、結婚・離婚・親子・相続といった日常的で、親しみやすい家族生活に関する法律である。各種試験（たとえば家庭裁判所調査官）に対応できる講義をしたいと思っている。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 親族  
親族の概念、範囲、効果
2. 婚姻  
成立、効果、解消、婚約及び内縁
3. 親子  
親子の種類、実子、養子
4. 親権  
成立、効力、消滅
5. 後見及び保佐  
機関、事務、終了
6. 相続  
相続制度の基礎、開始、相続人、効力、承認放棄、遺留分、相続人の不存在
7. 遺言  
方式、効力、執行

#### 履修上の留意点

六法を常に持参すること。

#### 成績評価の方法

年2回程度の小テストと年度末の定期試験による。

#### 教科書

『新民法概説（3）親族・相続〔改訂版〕』（有斐閣双書）1,800円

#### 参考書等

適宜紹介する。

科目名	経済原論	開講	通年	単位	4
配当	社1234選				
担当者名	むらまつ かんじ 村松 幹二				

#### 講義のねらい

経済学の基礎概念を学び、現代経済への理解を深めることを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、マクロ経済学を中心に、経済学の考え方と日本経済の現状、国際経済について解説する。  
後期は、ミクロ経済学を中心に、消費者行動、企業行動、市場競争と政府の役割について解説する。

#### 成績評価の方法

成績評価は、期末試験による。

#### 教科書

未定



## Ⅱ 專 門 教 育 科 目

6            社            会            学            科  
              社会福祉学專攻



## Ⅱ. 専門教育科目

### (6) 社会学科 (社会福祉学専攻)

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
社会福祉原論	福1必	通年	4	伊藤 秀一	845
法学(福祉)	福1必	通年	4	小林 弘人	846
情報処理論	福1必	通年	4	軽部 幸浩	847
社会福祉援助技術総論	福1必(14年度以降入学生) 福2必(13年度以前入学生)	通年	4	荒井 浩道	848
社会福祉基礎演習	福2必	通年	4	小畑 和	849
社会福祉基礎演習	福2必	通年	4	桐原 宏行	849
社会福祉基礎演習	福2必	通年	4	小林 弘人	850
社会福祉基礎演習	福2必	通年	4	佐藤 光正	850
社会福祉基礎演習	福2必	通年	4	東條 光雅	851
社会福祉専門演習I	福3必	通年	4	荒井 浩道	851
社会福祉専門演習I	福3必	通年	4	伊藤 秀一	852
社会福祉専門演習I	福3必	通年	4	小畑 和	852
社会福祉専門演習I	福3必	通年	4	桐原 宏行	853
社会福祉専門演習I	福3必	通年	4	小林 弘人	853
社会福祉専門演習I	福3必	通年	4	佐藤 光正	854
社会福祉専門演習I	福3必	通年	4	東條 光雅	854
社会福祉専門演習I	福3必	通年	4	長尾 譲治	855
社会福祉専門演習II	福4必	通年	4	荒井 浩道	856
社会福祉専門演習II	福4必	通年	4	伊藤 秀一	856
社会福祉専門演習II	福4必	通年	4	小畑 和	857
社会福祉専門演習II	福4必	通年	4	桐原 宏行	857
社会福祉専門演習II	福4必	通年	4	小林 弘人	857
社会福祉専門演習II	福4必	通年	4	佐藤 光正	858
社会福祉専門演習II	福4必	通年	4	東條 光雅	858
社会福祉専門演習II	福4必	通年	4	長尾 譲治	859
ソーシャルワーク・リサーチ論	福1234選(14年度以降入学生) 福1必(13年度以前入学生)	通年	4	石川 久展	860
家庭福祉論	福1234選	通年	4	武山 梅乗	861
児童福祉論	福1234選	通年	4	村田 一昭	862
障害者福祉論	福1234選	通年	4	桐原 宏行	863
老人福祉論	福1234選	通年	4	東條 光雅	864
女性福祉論	福1234選	通年	4	堀 千鶴子	865
医療福祉論	福1234選	通年	4	宮本 博司	866
公的扶助論	福1234選	通年	4	伊藤 秀一	867
保健福祉論	福1234選	通年	4	山本 哲也	868
地域福祉論	福1234選	通年	4	豊田 宗裕	869
外書講読	福1234選	通年	4	東條 光雅	870
社会保障論	福1234選	通年	4	長尾 譲治	871
社会福祉援助技術各論IA	福1234選	半期	2	北島 英治	872

社会福祉援助技術各論IB	福1234選	半期	2	北島 英治	872
社会福祉援助技術各論IIA	福1234選	半期	2	荒井 浩道	873
社会福祉援助技術各論IIB	福1234選	半期	2	荒井 浩道	873
社会学(福祉)	福1234選	通年	4	武山 梅乗	874
心理学(福祉)	福1234選	通年	4	高橋 良博	875
医学一般	福1234選	通年	4	小林 臻	876
介護概論	福1234選	半期	2	金 美辰	877
介護技術	福1234選	半期	2	金 美辰	878
精神医学	福1234選	通年	4	黄 ミンシュク	878
精神保健学	福1234選	通年	4	坂村 雄	879
精神保健福祉論I	福1234選	通年	4	佐藤 光正	879
精神保健福祉論II	福1234選	半期	2	佐藤 光正	880
精神保健福祉援助技術各論	福1234選	通年	4	上野 容子	881
社会福祉発達史	福1234選(14年度以降入学生) 福234選必(13年度以前入学生)	通年	4	堀 千鶴子	882
国際社会福祉論				休講	
社会福祉計画論	福1234選(14年度以降入学生) 福234選必(13年度以前入学生)	通年	4	川廷 宗之	883
リハビリテーション論	福1234選(14年度以降入学生) 福234選必(13年度以前入学生)	通年	4	向後 礼子	884
家族療法	福1234選(14年度以降入学生) 福234選必(13年度以前入学生)	通年	4	治田 哲之	884
社会福祉学特講I【〔児童〕】	福1234選(14年度以降入学生) 福234選必(13年度以前入学生)	通年	4	山本 哲也	885
社会福祉学特講II【〔老人〕】	福1234選(14年度以降入学生) 福234選必(13年度以前入学生)	通年	4	橘内 真里子	885
社会福祉学特講III 【〔障害児・者〕】	福1234選(14年度以降入学生) 福234選必(13年度以前入学生)	通年	4	向後 礼子	886
社会福祉学特講IV 【〔相談・援護〕】	福1234選(14年度以降入学生) 福234選必(13年度以前入学生)	通年	4	大須賀 力	887
社会福祉学特講V【〔福祉事務所〕】	福1234選(14年度以降入学生) 福234選必(13年度以前入学生)	通年	4	船水 浩行	888
社会福祉学特講VI【〔家族〕】	福1234選(14年度以降入学生) 福234選必(13年度以前入学生)	通年	4	小畑 和	889
家族社会学				休講	
法社会学	福234選	通年	4	小林 弘人	890
社会病理学	福234選	通年	4	山本 功	891
心理検査法	福1234選	通年	4	稻富 正治	892
環境心理学	福1234選	通年	4	大野 隆造	893
社会政策	福1234選	通年	4	光岡 博美	893
行政法	福1234選	通年	4	鶏徳 啓登	894
労働法	福1234選	通年	4	藤本 茂	895
民法	福1234選	通年	4	大宮 隆	896
経済原論	福1234選	通年	4	村松 幹二	896
社会福祉援助技術現場実習I	福2選(14年度以降入学生) 福2必(13年度以前入学生)	通年	2	荒井 浩道	897
社会福祉調査実習				休講	

社会福祉援助技術現場実習II	福3選	通年	4	伊藤 秀一 小畑 和 桐原 宏行 東條 光雅 長尾 譲治	898
社会福祉援助技術演習I	福3選	通年	2	荒井 浩道	899
社会福祉援助技術演習I	福3選	通年	2	北島 英治	899
社会福祉援助技術演習I	福3選	通年	2	讃岐 真佐子	900
社会福祉援助技術演習I	福3選	通年	2	長尾 譲治	901
社会福祉援助技術演習I	福3選	通年	2	村田 一昭	902
社会福祉援助技術演習II	福3選	通年	2	荒井 浩道	903
社会福祉援助技術演習II	福3選	通年	2	北島 英治	903
社会福祉援助技術演習II	福3選	通年	2	讃岐 真佐子	904
社会福祉援助技術演習II	福3選	通年	2	長尾 譲治	905
社会福祉援助技術演習II	福3選	通年	2	村田 一昭	906
精神科リハビリテーション学	福34選	通年	4	城田 晴夫	907
精神保健福祉援助演習	福34選	通年	4	佐藤 光正	907
精神保健福祉援助実習	福34選	通年	6	佐藤 光正	908



科目名	社会福祉原論	開講	通年	単位	4
配当	福1必				
担当者名	伊藤 <small>いとう</small> 秀一 <small>しゅういち</small>				

#### 講義のねらい

社会福祉は、かつて、慈善事業、社会事業と呼ばれていたものが、今日では、社会を構成する「社会制度」のひとつになったものである。そして、その制度の内容は、今日的貧困をかかえながら、人間性を回復するために他からの援助を必要とする人に対し、対人関係を媒介として、有形無形のサービスを提供することである。

本講では、社会福祉の理念、概念、歴史、制度等広く概観することを目的とする。また、この講義は、1年次の必修科目であるため、社会福祉の基礎知識を整理するとともに、制度的改革の続く社会福祉の今日的な動向と課題についても把握する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

(前期)

- ①社会福祉の理念
- ②社会福祉の概念
- ③社会福祉の歴史（イギリス・日本）

(後期)

- ④社会福祉の制度
- ⑤社会福祉の分野
- ⑥社会福祉の方法

#### 履修上の留意点

講義の内容は極めて広範囲にわたるので、指定されたテキスト以外の参考文献等を活用しながら各自学習を深めてほしい。

#### 成績評価の方法

評価は、前期・年度末の定期試験と出席状況等を勘案して行う。

#### 教科書

プリント教材を適宜配布する。

#### 参考書等

随時紹介する。

#### その他

ビデオ教材を活用したり、受講者による意見発表会等も行う。

科目名	法学（福祉）	開講	通年	単位	4
配当	福1必				
担当者名	こばやし ひろひと 小林 弘人				

#### 講義のねらい

社会福祉法制として理解されている各種の法令の意義・内容を理解することを目標とする。具体的には、社会福祉の組織、活動、財政、争訟に関する法令の解説をなるべく平易に説明をする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### 〔目標〕

- 1 社会生活における法の作用や役割について理解させる。
- 2 憲法、民法及び行政法の基礎を理解させる。

##### 〔内容〕

- 1 社会生活と法
- 2 憲法
  - 1) 基本原理 2) 基本的人権 3) 地方自治
- 3 民法
  - 1) 総則 2) 物権 3) 契約 4) 不法行為 5) 親族 6) 相続
- 4 行政法
  - 1) 行政行為 2) 行政不服審査 3) 行政訴訟 4) 行政手続き 5) 地方行政組織

#### 成績評価の方法

出席状況と年三回位のレポートの提出および定期試験を勘案し、総合評価する。

#### 教科書

小林弘人著『高齢化社会における社会福祉の法』（創成社）

#### 参考書等

授業時間中に指示する。

科目名	情報処理論	開講	通年	単位	4
配当	福1必				
担当者名	かるべ ゆきひろ 軽部 幸浩				

### 講義のねらい

現代社会においてコンピュータは必須の情報処理装置である。とりわけ、大学生にとってのコンピュータは知的作業を行う上で最低限習得しなければならないツールである。すでに高校時代にコンピュータを利用した授業を経験したものも多いと思うが、本講義では大学で必要とされる知的生産を支援するものとしてのコンピュータの利用法を徹底的に習得する。大学に入ってからコンピュータをはじめ本格的に利用する学生もまだいると思われるので、コンピュータについてまったくの初心者が独力でコンピュータを活用して社会学のレポート等を作成する能力を養う。また、自分の得た結果や事実、考えを表現するための方法を習得する。なお、パーソナルコンピュータを個人で所有することで理解の程度が飛躍的に向上するであろう。余裕があれば購入することを薦める。

### 講義の内容・授業スケジュール

授業はすべて実習形式でおこなう。1つのテーマに数時間を当て、毎回授業内でおこなう課題と授業外でおこなう簡単な課題の提出を求める。具体的な内容は次のとおりである。

- ・パソコンの基本操作とOSの基礎
- ・MS-Windowsの習得
- ・タッチタイプの完全習得（Type Quickを利用して）
- ・日本語ワープロの習得（MS-Word）
- ・スプレッド・シートの習得（MS-Excel）
- ・プレゼンテーションの実際（MS-PowerPointを利用したプレゼンテーションの基礎）
- ・応用実習（データの収集、解析、プレゼンテーションの総合実習）
- ・データベースの習得
- ・情報処理の基礎
- ・コンピュータ・ネットワークとインターネットの現状
- ・Internet利用の実際と注意（マナーやモラルについて）
- ・電子メールおよびWWWの利用

### 履修上の留意点

原則的に遅刻、欠席は認めない。欠席を5回おこなった時点で、期末試験の受験資格を失う。また、遅刻は2回で欠席1回とする。授業内容の性格上、授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足する。学校行事等との衝突がなくても年間約20回程度の授業しかおこなうことができない。そのため、本格的にコンピュータを応用するためには絶対的に実習時間が不足する。したがって週あたり2～3回（1回平均約2時間程度）の実習が必要となる（昨年度実績では週平均約5時間程度の実習を、学生はおこなっていたようである）。

また、Type Quick、MS-Word、MS-Excel、MS-PowerPoint、SPSSの習得は、単位取得のための必須条件である。

### 成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、前期・後期末におこなう筆記試験と併せて総合的に評価する。経験則から連続2回欠席すると授業の進度についていけなくなる。なお、遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席とはならないので注意する。連続3回以上欠席したものは、その時点で期末試験の受験資格はない。なお、この科目は1年次必修科目であるため単位の認定を受けられない者は、翌年度の履修となるが、機器の関係で実習装置を与えられない可能性がある。したがって1年次に履修を完了することを希望する。

### 教科書

授業中に適宜紹介する。教材は、授業の中で全て配布する。配布された資料は、授業に際して常に持参してこること。

### 参考書等

年間約5枚程度の3.5インチ両面高密度フロッピディスクが必要となる。また、近年ではUSBフラッシュメモリも比較的安価で購入できるのでそれを利用する方法もある。

### その他

年間20数回程度の講義時間しかないため絶対的な時間が不足する。従って、週あたり2回から3回（1回2時間程度）の自習が必要となり、それに対応する課題が出される。自習には、4号館にある総合情報センタ1Fの自習室を利用する。独自に購入するのであれば、MS-Windows対応のパソコンでMS-WindowsとMS-Officeが導入されているものを購入するとよい。詳細については開講時に解説する。

科目名	社会福祉援助技術総論	開講	通年	単位	4
配当	福1必(14年度以降入学生) 福2必(13年度以前入学生)				
担当者名	荒井 浩道 <small>あらい ひろみち</small>				

講義のねらい

この講義では社会福祉援助技術の意義、歴史、体系、理論・方法、価値・倫理、専門職の役割について学習します。

講義の内容・  
授業スケジュール

〈前期〉

- ・社会福祉士と社会福祉援助技術
- ・社会福祉における援助活動の意義
- ・社会福祉専門職と社会福祉援助活動
- ・社会福祉援助技術の理論と動向
- ・社会福祉援助技術の体系

- ・社会福祉援助技術の概念と意義
- ・社会福祉援助技術と直接・間接援助技術の関係
- ・社会福祉援助技術の展開過程
- ・社会福祉援助技術の共通課題

〈後期〉

- ・社会福祉援助技術の理論・方法
- ・個別援助技術
- ・集団援助技術
- ・地域援助技術
- ・社会福祉調査法
- ・社会福祉計画法
- ・社会福祉活動法
- ・社会福祉運営管理法
- ・社会福祉援助技術と関連援助技術
- ・社会福祉援助技術の価値・倫理

履修上の留意点

授業への主体的参加を期待します。

成績評価の方法

出席、レポート、試験等により総合的に評価します。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉援助技術論I（社会福祉士養成講座⑧）』（中央法規出版）2,500円

参考書等

授業のなかで随時指示します。

その他

この授業は社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な指定科目のひとつです。

科目名	社会福祉基礎演習	開講	通年	単位	4
担当	福2必				
担当者名	おぼた かず 小畑 和				

講義のねらい	社会福祉専攻の学生が専門分野を学ぶ上で必要な基礎的事項について広く学習する。
講義の内容・授業スケジュール	演習の内容は『厚生労働白書』に準拠して行う。 内容は、「多様な高齢者、高齢者と家族、高齢者の経済的実像、高齢者と健康、高齢者と社会・地域、介護制度、社会福祉構造改革、少子化と子育て支援施策等…」である。
履修上の留意点	講義の形態は演習であり、討論学習を主とする。演習が明るく、活発に行われるために初回講義で一定の約束をする。
成績評価の方法	出席状況・日常の課題に対する取り組みの状況及びテスト、提出されたレポートの内容などを勘案して評価する。
教科書	『厚生労働白書』
その他	日本社会福祉実践理論学会編『社会福祉基本用語辞典』（川島書店）2,400円をいつも携帯することが望ましい。

科目名	社会福祉基礎演習	開講	通年	単位	4
担当	福2必				
担当者名	きりはら ひろゆき 桐原 宏行				

講義のねらい	この演習は、社会福祉学専攻の学生が研究を行っていく上で必要不可欠となる基礎的知識・技術の獲得及び問題意識の形成をはかることを目的とするものである。
講義の内容・授業スケジュール	〔前期〕 文献検索の方法はじめとした資料収集方法、資料の読み方、研究論文の構成、プレゼンテーションに関する基礎的事項、代表的研究方法（文献研究、調査研究、事例研究等）等への理解を深めていく。可能であれば、基礎レベルのデータ処理演習も行う。 〔後期〕 前期に学習した知識・技術を踏まえて、各自が研究課題を設定し、レジユメを作成する。個別のプレゼンテーションを行いつつ、議論していく。
履修上の留意点	本演習での取り組みは、後の専門演習、卒業論文へのステップに多大な影響を持つものである。積極的に取り組むことはもちろんのことであるが、学習事項を確実に成果に結びつけることが重要である。
成績評価の方法	出席状況、ショートレポートの提出、個人研究のプレゼンテーション等を総合的に勘案して評価する。
教科書	特に指定しない。
参考書等	演習の中で随時紹介する。

科目名	社会福祉基礎演習	開講	通年	単位	4
配当	福2必				
担当者名	こばやし ひろひと 小林 弘人				

講義のねらい

社会福祉学専攻の2年生が、社会福祉学専門の学習をする前段階としての基礎学習が中心となる。

講義の内容・授業スケジュール

クラスを小人数に分け、それぞれのグループに与えられたテーマについて、それぞれのグループが報告し、討論するという方式で授業を行う。

成績評価の方法

グループごとの報告内容と年度末に各自に課されたレポートおよびテストによって評価する。

教科書

授業開始の初日に指示する。

参考書等

授業開始の初日に指示する。

科目名	社会福祉基礎演習	開講	通年	単位	4
配当	福2必				
担当者名	さとう こうせい 佐藤 光正				

講義のねらい

社会福祉学専攻（2年次）の学生が、次年度（3年次）からの「専門演習（ゼミ）」に先立ち、必要な知識及び基礎技術の習得ができるよう演習を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、ビデオ等の教材を用いて、教義の福祉の枠にとらわれず幅広く心を動かされるものについて「感じたこと」や「気づき」を深め、言語化する中で“感じる自分というツール”を磨き卒論関心テーマの基礎を培う。

後期は「厚生労働白書」等を用いて、内容をまとめたり「事実」と「意見」を区別し、“相手に伝える”プレゼンテーションの基礎技術を身につける等、専門演習に必要な基礎を学ぶ。

履修上の留意点

授業への主体的な参加が必須である。

成績評価の方法

平常点（出席状況、授業態度、課題提出状況）を中心に総合的に評価する。

教科書

必要に応じて指示する。なお「厚生労働白書」は最新（平成19年）版を使用するが、夏頃の刊行となるので注意。

参考書等

必要に応じて随時紹介する。

科目名	社会福祉基礎演習	開講	通年	単位	4
担当	福2必				
担当者名	とうじょう みつみや 東條 光雅				

講義のねらい

本演習は、専門演習へ入る前の導入的位置付けであり、資料収集の仕方、資料のまとめ方、分析の仕方、発表の仕方等を実際に体験しながら体得してもらう。

講義の内容・  
授業スケジュール

履修学生の研究関心によりクラスを小グループ（3～4名）に分け、グループ研究課題を設定してもらう。前期終了時点と後期終了時点の2回、グループ毎の研究報告をしてもらう。演習であり、グループ活動でもあるので、出席は非常に重視する。

こうした作業の過程で、研究課題の設定の仕方、文献検索の仕方、研究のまとめ方、各種機器の使い方、発表の仕方等の指導を行う。

履修上の留意点

出席は勿論、演習であるから自主的・主体的・積極的な参加を重視する。  
研究報告会では、エクセルやパワーポイントを使うことになるので、1年次の「情報処理論」の授業でしっかりと会得しておくこと。

成績評価の方法

評価は、クラスワークへの出席率、討議への参加度・貢献度、年2回の研究報告会の発表内容等により、総合的に行なう。

教科書

特には指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	社会福祉専門演習I	開講	通年	単位	4
担当	福3必				
担当者名	あらい ひろみち 荒井 浩道				

講義のねらい

この授業では社会福祉研究を実施していくうえで求められる、研究テーマの選定、研究計画の立案、文献研究、調査研究、実践研究、研究計画書作成等の一連の研究手法の習得を目指し、次年度の卒業論文に繋げていきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

この授業では、各自の研究テーマの選定から、研究計画書作成まで指導します。各自の研究計画に沿って、年間数回のプレゼンテーションやディスカッション、個別指導を通して問題関心を深めていきます。年度末に提出を求める研究計画書作成を目指し、次年度の卒業論文に繋げていきます。

また、年2回実施されるゼミ合宿において、研究の途中経過の報告を行います。

履修上の留意点

授業への主体的参加を期待します。

成績評価の方法

出席、プレゼンテーション、ディスカッション、研究計画書等により総合的に評価します。

教科書

特に指定しません。

参考書等

授業のなかで随時指示します。

その他

3、4年生合同のゼミ合宿を年2回（夏と春）実施します。

科目名	社会福祉専門演習I	開講	通年	単位	4
配当	福3必				
担当者名	いとう しゅういち 伊藤 秀一				

講義のねらい

卒業論文で扱いたいテーマを選定する際の留意事項を学習するとともに、報告・討論をとおして各自の問題意識の深化を図ることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

狭い意味の社会保障の分野だけでなく、社会福祉を広く解して、その中から、各自のテーマを自己の意志で選択し、それぞれの考究を進めることとしたい。当初は、討議のための共通基盤をつくっていくために適当なテキスト・文献を使用し、これを共同で解読する。その後、3年次において、具体的な卒論テーマを設定し、卒論作成への準備に入っていく。

履修上の留意点

ゼミを「出る杭を育てる」という方針で考えたいので、学生には主体的・積極的な学習への取り組みが要求される。

成績評価の方法

出席状況をはじめ、報告、討論への参加等、クラスワークのあり方をもとに総合的に評価する。

科目名	社会福祉専門演習I	開講	通年	単位	4
配当	福3必				
担当者名	おぼた かず 小畑 和				

講義のねらい

少子・高齢化の構造を持つ社会は本源的に永続的な効果を持たなくなり、経済の停滞により社会は閉塞化し、社会保障制度を維持することが困難になる。  
少子化問題は、他面では男女共同参画社会の構築の問題でもあり、女性の生き方の問題でもある。演習では「少子化社会の社会保障政策」を基調にしながら、このような問題も取り上げていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

『厚生労働白書』を参考にしながら、少子高齢社会に対する知識を深め、各自の選んだ研究テーマにそった報告と討論を通して問題意識を深めていく。年度末には小論文の提出を義務付ける。

履修上の留意点

出席状況及び積極的学習態度、レポートなどを総合的に勘案して評価する。

成績評価の方法

出席状況や積極的学習態度を勘案して評価する。



科目名	社会福祉専門演習I	開講	通年	単位	4
配当	福3必				
担当者名	きりはら ひろゆき 桐原 宏行				

講義のねらい

卒業論文を作成するために必要とされる基礎的事項（文献研究、調査研究、事例研究、実験研究等の研究方法）の習得を目指す。演習では各自が研究課題を決定し、年間研究スケジュールを設定して、それに沿って成果を数回に分けて発表し、議論を通して問題意識を深めていく。

講義の内容・授業スケジュール

演習では、障害者及び特別なニーズのある子どもの福祉（子どもの発達保障の問題も含む）に関する諸問題を中心に取扱っていく。具体的には「障害児・者の福祉サービス」「所得保障」「QOL」「家族支援」「地域支援」「バリアフリー」「福祉教育」などの問題の中から、各自が研究課題を選択、決定し、研究を進めていくこととなる。

成績評価の方法

出席状況、レポートの作成と年間数回のプレゼンテーションを総合して評価する。

参考書等

『社会福祉研究の課題と方法』（田研出版）2,200円

科目名	社会福祉専門演習I	開講	通年	単位	4
配当	福3必				
担当者名	こはやし ひろひと 小林 弘人				

講義のねらい

この演習は、社会福祉学専攻者の3年生を対象とする。この演習の年間予定は、前半において両専攻に関連する文献を講読する。後半は各自の興味（どんな事柄でもよい）を卒業論文テーマにリンクさせ、合宿等によって、卒論テーマを確定する作業を予定している。

成績評価の方法

出席を重要視し、平常点で処理する。

科目名	社会福祉専門演習I	開講	通年	単位	4
担当	福3必				
担当者名	さとう こうせい 佐藤 光正				

#### 講義のねらい

この演習では、学生それぞれの卒論“関心テーマ”が“研究テーマ”へと進化し、いくつかのプロセス（ゆれ）を経て、次年度に「卒業論文（成果）」としてまとまる一連の思考過程（考え方）と技術習得（問題解決法）のための基礎指導を中心に行う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、各自の関心領域からテーマを絞り込むための演習および論文作成の基礎を演習する。後期は、各自のテーマを深めるために必要な演習を行う。中間報告、ゼミ合宿（9月と3月を予定）では各自の成果のプレゼンテーションを行う。

#### 履修上の留意点

個別の指導と平行してグループでのディスカッションを中心にゼミを展開するため、主体的な参加が必須である。また各自の卒論関心テーマへの熱い思いと地道な作業を軸に、教員や文献等を有効に活用してほしい。

#### 成績評価の方法

授業での平常点（出席状況、授業態度、課題提出状況）もさることながら、年間をとおしたプロセスの中で”ほう（報告）れん（連絡）そう（相談）”をしながら卒論作成の準備が行われたか、またゼミ運営への貢献度も合わせて評価する。

#### 参考書等

必要に応じて随時紹介する。

科目名	社会福祉専門演習I	開講	通年	単位	4
担当	福3必				
担当者名	とうじょう みつまさ 東條 光雅				

#### 講義のねらい

本演習では、福祉関連雑誌、新聞記事、インターネット等を活用しながら、高齢者保健福祉の制度・サービス・処遇に関する基礎的な知識の修得を目指す一方、研究報告会や集団討議等を通して、自己表現能力を磨いてもらう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

高齢者福祉ならびに処遇方法論を主テーマとするゼミではあるが、4月にゼミ履修学生の意向を確認した上で、1年間の進め方等を決定する。基本的には、演習であるので、学生の主体的な研究活動が中心となる。したがって、主体的・積極的な姿勢が求められる。夏と春にそれぞれゼミ合宿を行い、各自の研究報告を行ってもらう。

なお、12月10日までに、各自の研究テーマで400字×30枚のゼミ論文を提出してもらう。

#### 履修上の留意点

出席ならびに積極的なコミットメントを重視する。なお、年2回（9月と3月頃）の合宿研修を実施している。

#### 成績評価の方法

評価は、クラスワークやゼミ合宿への出席率、討議への参加度・貢献度、ゼミ論文の内容等により、総合的に行なう。

#### 教科書

特には指定しない。

#### 参考書等

適宜紹介する。

科目名	社会福祉専門演習I	開講	通年	単位	4
配当	福3必				
担当者名	ながお じょうじ 長尾 譲治				

#### 講義のねらい

この演習では、保健や福祉に関する身近で興味深いテーマを題材として、ゼミを展開してゆく。いのちと生活に関連した社会問題に関心を深めるとともに、これらの問題を通じて客観的な思考法とコミュニケーション能力、またわかりやすい文章の書き方を身につけることを目指している。具体的には、ディベートやディスカッションを通していろいろなテーマを一緒に考えながら、ゼミ論・卒論に向けての準備を行っていくことになる。ゼミの運営は、学生の意見・希望を随時聞きながら、皆の合意の上で進めていく。このような「グループワーク」としての運営の性格上、授業への出席と主体的参加が何より求められる。従って、ゼミ選択時及び成績評価等には出席点が重視されることに留意して頂きたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

(今年度の例)

- 1 保健・福祉に関連するテーマのディベート授業（出生前診断、代理母、脳死、安楽死、死刑、遺伝子組換え、少年法改正、介護保険、身体拘束、措置制度 等）
- 2 グループ発表・ディスカッション（夫婦別姓、癌告知、喫煙、ドナーカード、温室効果ガスに関する京都議定書、精神障害者と犯罪・措置入院 等）
- 3 週間福祉ニュース（福祉時事問題に関するグループ発表とディスカッション）
- 4 ゼミ論に向けての個別指導

#### 履修上の留意点

本ゼミは、グループ作業が中心となる。上述のように、出席と各自の主体的参加がゼミの成否を左右する。楽しく充実したゼミにするために、協力的に行動してほしい。

#### 成績評価の方法

平常点（出席、授業態度、課題提出状況）により評価する。

#### 教科書

特に指定しない。

#### 参考書等

特に指定しないが、授業中に随時紹介する。

科目名	社会福祉専門演習II	開講	通年	単位	4
配当	福4必				
担当者名	荒井 浩道 <small>あらい ひろみち</small>				

講義のねらい

この授業では、研究計画書に基づいた卒業論文の作成を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、研究計画書に基づいた卒業論文の作成を指導します。各自の研究計画に沿って、年間数回のプレゼンテーションやディスカッション、個別指導を通して、卒業論文の作成を目指します。また、年2回実施されるゼミ合宿において、研究の途中経過の報告を行います。

履修上の留意点

授業への主体的参加を期待します。

成績評価の方法

出席、プレゼンテーション、ディスカッション、卒業論文等により総合的に評価します。

教科書

特に指定しません。

参考書等

授業のなかで随時指示します。

その他

3、4年生合同のゼミ合宿を年2回（夏と春）実施します。

科目名	社会福祉専門演習II	開講	通年	単位	4
配当	福4必				
担当者名	伊藤 秀一 <small>いとう しゅういち</small>				

講義のねらい

3年次の専門演習Iの学習成果を踏まえ、各自のテーマにもとづき、報告と討論をとおして卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

各自のテーマにそった報告をもとに、ゼミメンバー間での討議をとおして考察を深めていく。なお、全員参加を前提とする年2回のゼミ合宿においても卒業論文作成のための集団討議および個別指導を行う。

成績評価の方法

出席状況をはじめ、報告、討論への参加等、クラスワークのあり方とともに、卒業論文の内容を含めて総合的に評価する。

科目名	社会福祉専門演習II	開講	通年	単位	4
配当	福4必				
担当者名	おぼた かず 小畑 和				

講義のねらい

専門演習Iの継続授業として、少子・高齢の構造を持つ社会について学ぶ。演習では「少子社会の社会保障政策」を基調にしながら、各自の選んだ研究テーマにそった報告と討論を通して問題意識を深め、卒業論文の作成に結びつけていく。

講義の内容・授業スケジュール

少子問題は、他面では男女共同参画社会の構築の問題でもあり、女性の生き方の問題でもある。演習では「少子社会の社会保障政策」を基調にしながら、このような問題も取り上げていきたい。

『厚生労働白書』を参考にしながら、少子高齢社会に対する知識を深め、各自の選んだ研究テーマにそった報告と対論を通して問題意識を深めていく。

履修上の留意点

出席率8割以上を演習参加の必要条件とする。

成績評価の方法

出席状況や積極的学習態度を勘案して評価する。

科目名	社会福祉専門演習II	開講	通年	単位	4
配当	福4必				
担当者名	きはら ひろゆき 桐原 宏行				

講義のねらい

この演習では、前年度の「社会福祉専門演習I」での各自の成果を基礎として、卒業論文の作成・提出に向け必要となる事項に関して学習をすすめるものである。

具体的には、それぞれの設定している課題に沿って、文献・資料分析、調査や事例のデータ分析を行い、その結果に関して議論を重ねつつ展開していく。

成績評価の方法

出席状況、研究進行過程での数回のプレゼンテーションを総合して評価する。

参考書等

研究の進行に応じて、随時指示する。

科目名	社会福祉専門演習II	開講	通年	単位	4
配当	福4必				
担当者名	こばやし ひろひと 小林 弘人				

講義のねらい

4年次生は、各自の論題についての指導をする。

成績評価の方法

出席を重要視し、平常点で処理する。

科目名	社会福祉専門演習II	開講	通年	単位	4
配当	福4必				
担当者名	さとう こうせい 佐藤 光正				

講義のねらい

必修科目である卒業論文の個別指導が中心となる。「社会福祉専門演習I」で土台を固めた各自のテーマが、卒業論文としてより完成するよう、またその過程で良質ないろいろな気づきやスキル習得ができるよう必要な指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期・後期ともに各自の卒論進行状況に合わせた個別指導を中心に行う。また全体での卒論中間報告会（随時）、提出後の発表、ゼミ合宿などを行う。

履修上の留意点

各自の卒論関心テーマへの熱い思いと地道な作業を軸に、教員や文献等を有効に活用してほしい。

成績評価の方法

卒論自体の出来もさることながら、年間をとおしたプロセスの中で”ほう（報告）れん（連絡）そう（相談）”をしながら卒論作成が行われたか、またゼミ運営への貢献度も合わせて評価する。

参考書等

各自の研究テーマに合わせて随時紹介する。

科目名	社会福祉専門演習II	開講	通年	単位	4
配当	福4必				
担当者名	とうじょう みつまさ 東條 光雅				

講義のねらい

本演習は、3年次の社会福祉専門演習Iの持ち上がりであり、“講義のねらい”に関しては、専門演習Iの内容の延長上にある。

講義の内容・授業スケジュール

必修科目である卒業論文の個別指導が主な内容となるが、学生の要望があれば卒業論文の指導とは別に、テーマを設けてクラスワークを行なうこともある。夏と春にそれぞれゼミ合宿を行ない、各自の研究報告を行なってもらう。

履修上の留意点

原則的に、出席状況と積極性を重視する。

成績評価の方法

評価は、クラスワークやゼミ合宿への出席率、討議への参加度・貢献度等により、総合的に行なう。

教科書

特には指定しない。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	社会福祉専門演習II	開講	通年	単位	4
配当	福4必				
担当者名	ながお じょうじ 長尾 譲治				

#### 講義のねらい

この演習は、専門演習Iに引き続いて4年次に開講される。3年次終了時に各自が決定した卒業論文のテーマにそって、個別指導を行うとともに、そのテーマに関するディスカッション等のグループ作業を行う。

4年次のゼミは、3年間の学習の総仕上げである。文章力・自己表現力（発言力）をしっかりと身につけて、社会に通用する自己を形成することをめざしている。自己の成長の場として、授業を大いに活用してほしい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

（今年度の例）

- 1 卒業論文指導（個別面談授業）
- 2 各自のテーマに関するグループ・ディスカッションの設定とその実施
- 3 就職その他、進路に関する個別相談

#### 履修上の留意点

本ゼミは、3年次のゼミと同じメンバーで開講される。仲間関係を有効に活かし、積極的・協力的に履修してほしい。

#### 成績評価の方法

平常点（出席、授業態度、課題提出状況）により評価する。

#### 教科書

特に指定しない。

#### 参考書等

特に指定しないが、必要なものは授業中に紹介する。

科目名	ソーシャルワーク・リサーチ論	開講	通年	単位	4
配当	福1234選(14年度以降入学生) 福1必(13年度以前入学生)				
担当者名	いしかわ ひさのり 石川 久展				

#### 講義のねらい

本講義は、社会福祉に従事する専門家に必要と思われる社会調査あるいは社会福祉調査の基礎的な知識を養うことを目的とする。  
つまり、社会福祉調査の入門編となる講義である。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

本講義では、社会福祉分野においてなぜ調査が必要なのか、その目的や意義といった理念的なところからスタートし、調査の目的や方法、プロセスなど、基本的な調査の枠組みを学ぶ。次に、仮説や理論モデルの設定の仕方、概念化や操作化あるいは尺度や変数について学ぶ。

前期は、調査の基礎的な内容が中心となる。

後期は、前期の基礎的な知識をベースにして、尺度の妥当性や信頼性、質問紙法、観察法、実験計画法など、調査の具体的な内容を学ぶことになる。

#### 履修上の留意点

基本的には、講義形式が中心である。ただし、レポートの際には、グループに分かれての取り組みを予定しているので、一部、ディスカッション形式・発表形式を取り入れることになる。講義形式であっても、演習・ディスカッション形式であっても、学生の積極的な姿勢が求められる。

#### 成績評価の方法

評価方法については、①出席、②中間レポートとグループ発表、③定期試験、の3つによって行う。出席は全体の20%を占めることになるので、出席するよう注意されたい。なお、出席については、授業の3分の1以上休むと定期試験を受けることができなくなることを注意しておきたい。その他の祭典については、中間レポートは全体の30%、定期試験は50%の配分となる。これらの詳細については、授業の中で逐次説明していく。

#### 教科書

特に指定無し。

#### 参考書等

- ①古谷野亘・長田久雄『実証研究の手引き』（ワールドプランニング）1992年
- ②坂田周一『社会福祉リサーチ』（有斐閣アルマ）2003年



科目名	家庭福祉論	開講	通年	単位	4
担当	福1234選				
担当者名	武山 梅乗 <small>たけやま うめのり</small>				

講義のねらい

家族の諸問題を女性、子ども、高齢者という観点から概観した上で、〈家族福祉〉の限界を指摘し、〈家族〉という枠組みを超えて地域、行政、NPO、企業等を巻き込みながら展開される〈家庭福祉〉の可能性について模索することを目的としている。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (前期) I. 家庭福祉の視点：(1) 家庭福祉の視点 (2) 世帯構造と核家族化  
(3・4) 家族制度とは (5) 核家族の機能と構造 (6) 家族周期とライフコース (7) イエ制度と〈近代家族〉
- II. 女性と家庭福祉：(8・9) フェミニズムからみた家族—母性、専業主婦、中絶 (10) 女性労働と育児 (11) 一人親家庭の諸問題 (12・13) 夫婦別姓と婚姻の意義
- III. 子どもと家庭福祉：(14) 児童福祉の体系にみる〈こども〉観 (15) 消費としての子育てと〈地域〉における子育て (16) 児童虐待
- IV. 高齢者と家庭福祉：(17) ライフサイクルの変化にみる高齢者の諸問題 (18・19) 家族と高齢者介護 (20) 高齢者にとっての居住福祉
- V. 国家・地域と家庭福祉：(21) 日本における家族政策と福祉国家論 (22) 在宅福祉と〈地域〉 (23) 家庭—地域福祉という枠組み
- VI. 民間社会福祉と家庭福祉：(24) 家庭福祉の市場性 (25・26) 非営利セクターと家庭福祉—配食サービスを事例として

成績評価の方法

出席状況、講義期間中に課すレポートの内容、定期試験の結果から総合的に評価します。

教科書

教科書は特に指定しません。随時配布するプリントに従って講義を進めます。

参考書等

参考書は講義期間中に随時指示します。

科目名	児童福祉論	開講	通年	単位	4
配当	福1234選				
担当者名	村田 一昭 <small>むらた かずあき</small>				

#### 講義のねらい

1989年に国連子どもの権利条約が採択されて以降、「子どもの最善の利益」の追求を基本とした子どもの権利擁護サービスが重視され、伝統的な児童福祉から新たな児童福祉へと制度や実践の変革が進められてきています。本講座では、そういった動向を踏まえつつ、子どもと家庭のウェルビーイング（well-being）をめざす新たな児童福祉である子ども家庭福祉の基本的枠組とソーシャルワーク実践に関する理解を深めることを目的としています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期：①子ども家庭福祉の理念、②子どもと家庭をめぐる最近の動向、③子ども家庭福祉への歩みと最近の動向  
後期：①子ども家庭福祉の法体系、②子ども家庭福祉の実施体制、③子ども家庭福祉施策の現状と課題、④子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践の実際

#### 履修上の留意点

可能な限り、受講生とのコミュニケーションを図りながら授業を進めたいので、質問や意見など積極的な発言を求めます。

#### 成績評価の方法

出席、課題（映画鑑賞レポート・読書レポート）、授業中に実施する小テストの累積点

#### 教科書

高橋重宏・山縣文治・才村 純編「子ども家庭福祉とソーシャルワーク（第2版）」（社会福祉基礎シリーズ⑥児童福祉論）（有斐閣）2,000円  
※授業内容により、随時プリントも配布します。

#### 参考書等

随時、紹介します。

#### その他

受講人数に応じて、講義形式、討議形式のいずれかを選択します。

科目名	障害者福祉論	開講	通年	単位	4
配当	福1234選				
担当者名	まりはら ひめゆき 桐原 宏行				

#### 講義のねらい

障害者福祉は、障害者が一人の人間として生活していく過程のなかで、その固有の問題をとらえ、それを権利の視点に立って把握していくが必要になる。

この授業では、障害者援助を担うための専門職に必要な基礎的事項の学習が中心となる。具体的には、現代社会における障害の概念、障害者福祉の理念などの基礎となる考え方についての理解の促進、現行の障害者施策や障害者の相談援助活動の原則等についての知識の獲得などを旨とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### <前期内容>

- ・障害特性の理解（視覚障害、聴覚言語障害、運動障害、内部障害、知的障害・精神障害）（第1回～第8回）
- ・障害者福祉の理念（ノーマライゼーション、リハビリテーション等）（第9回～第11回）
- ・障害の概念（障害の構造的理解）（第12回）
- ・障害者の実態（第13回）
- ・障害者福祉の歴史（第14回）

##### <後期内容>

- ・障害者福祉の施策（障害者福祉に関連する法律の理解、障害者福祉における行政の役割、障害者プラン等）（第1回～第6回）
- ・障害者福祉サービス（身体障害者、知的障害者、精神障害者、障害児の各領域別福祉サービスの理解）（第7回～第10回）
- ・障害者福祉の分野別課題（保健・医療、教育、雇用、権利擁護、所得保障、バリアフリー等）（第10回～第14回）

#### 履修上の留意点

社会福祉原論及び社会福祉援助技術総論の単位を取得していることが望ましい。

#### 成績評価の方法

年度末試験により評価する。

#### 教科書

- ・新版 社会福祉士養成講座③『障害者福祉論』（中央法規）2,625円
- ・授業内容により補足資料を配布する。

#### 参考書等

授業のなかで随時指示する。

科目名	老人福祉論	開講	通年	単位	4
配当	福1234選				
担当者名	とうじょう みつまさ 東條 光雅				

### 講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、老齢年金支給開始年齢の引上げ、介護保険制度の導入等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年富にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界一の「人生80年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の度合いはいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、今世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その時に高齢者となるのは、現在“青・壮年期”にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対応策としての老人保健福祉の制度・政策についてのみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 前期
- ・人口高齢化の意味
  - ・高齢者問題の背景  
社会変動、家族変動
  - ・高齢者の生活問題
  - ・老化と老年期の身体疾患、身体障害、精神障害
  - ・高齢者の保健福祉ニーズ  
ニーズ把握の方法、保健福祉ニーズの種類
- 後期
- ・老人保健福祉法制と関連施策  
近年の制度及び政策の動向、老人保健法、老人福祉法、介護保険法、関連施策
  - ・老人保健福祉の供給システムと財源  
供給システムとは、供給システムの仕組み（含む、シルバーサービス）、財源、マンパワー
  - ・在宅サービスの制度と処遇  
在宅サービスの制度的枠組み、在宅サービスの歴史・理念・目標、在宅サービスの種類、在宅サービスにおける援助事例
  - ・施設サービスの制度と処遇  
入所（入院）施設の種類と概要、社会福祉分野の入所施設、保健・医療分野の入所（入院）施設、施設における処遇、施設サービスにおける援助事例
  - ・地域及び住環境の整備と福祉機器

### 履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、適宜受講生に対して講義内容に関する質問をしたり、意見発表をしてもらうことがある。近年、富に私語や居眠りをする学生が目立つので、授業態度に問題がある場合には退室してもらう。履修学生は、気を引き締めて授業に臨んでもらいたい。

### 成績評価の方法

原則的には、前期試験と年度末定期試験の平均点をもって評価する。また、出席点は特に考慮しない。

### 教科書

『老人福祉論』、中央法規出版、最新版

### 参考書等

出版社は問わないが、最新の「社会福祉小六法」は購入しておくこと。また、その他の参考書等については必要に応じてその都度紹介する。

### その他

ほぼ毎回プリント資料を配布する。

科目名	女性福祉論	開講	通年	単位	4
配当	福1234選				
担当者名	堀 千鶴子 <small>ほり ちづこ</small>				

#### 講義のねらい

この講義では、ジェンダーの視点から女性福祉論を展開する。ジェンダーとは社会的・文化的に規定された性別であり、ジェンダーのアンバランスが歴史的にも女性の生活問題・生活困難の背景となっており、ジェンダーの視点に立つことは問題の理解に大きく寄与するものである。

講義では、特に婦人保護事業を中心とする。婦人保護事業を歴史的に把握すると共に、対象者の変化を理解し、現代的課題を明らかにすることから、女性福祉を考える。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. ジェンダーの視点とは  
ジェンダー・女性学・フェミニズム等の用語の登場の背景を理解し、社会福祉に導入する意味について理解する
2. 女性福祉の定義・対象理解
3. 「女性に対する暴力」とは  
・定義、内容 ・取り組みの動向 ・ドメスティック・バイオレンス についての理解
4. 婦人保護事業の歴史
5. 婦人保護事業の動向

#### 成績評価の方法

試験方法：レポート（50%）  
出席確認を毎回行う（出席50%）

#### 教科書

林千代編著『女性福祉とは何か』（ミネルヴァ書房）2004年

#### 参考書等

講義内に紹介する。

科目名	医療福祉論	開講	通年	単位	4
配当	福1234選				
担当者名	みやもと ひろし 宮本 博司				

#### 講義のねらい

医療の現場での福祉の担い手は「医療ソーシャルワーカー（MSW）」である。医療福祉論では、医療ソーシャルワークの歴史、理論、技術について学び、医療ソーシャルワークのあり方について議論を深め、医療ソーシャルワーカーがどのような倫理観・価値観に基づいて、ソーシャルワーク実践を重ねているか、考察することを目的としている。また、現場を目指す学生にとって、医療ソーシャルワークの現場をリアルに議論できるような授業を目指す。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 前期) 医療ソーシャルワークの歴史と課題
- ① 医療ソーシャルワークとは
  - ② 医療ソーシャルワークの歴史
  - ③ ソーシャルワーク理論
  - ④ 医療ソーシャルワークと医療経済について
  - ⑤ 医療ソーシャルワークの課題について
- 後期) 医療ソーシャルワークの技術と実際
- ① 急性期における医療ソーシャルワーク事例
  - ② 亜急性期における医療ソーシャルワーク事例
  - ③ 慢性期における医療ソーシャルワーク事例
  - ④ 終末期における医療ソーシャルワーク事例
  - ⑤ 病院・施設の医療ソーシャルワーク事例
  - ⑥ 在宅ケアにおける医療ソーシャルワーク事例
  - ⑦ ケアマネジメントと医療ソーシャルワーク
  - ⑧ 医療サービスと医療ソーシャルワークの課題

#### 履修上の留意点

授業への主体的な参加を望む。

#### 成績評価の方法

定期試験、課題レポート、授業参加貢献度により採点。

#### 教科書

- (社) 日本社会福祉士会 (社) 日本社会医療事業協会編集  
『保健医療ソーシャルワーク1』 (中央法規出版社) 2,940円  
(社) 日本社会福祉士会 (社) 日本社会医療事業協会編集  
『保健医療ソーシャルワーク2』 (中央法規出版社) 2,940円  
(社) 日本社会福祉士会 (社) 日本社会医療事業協会編集  
『保健医療ソーシャルワーク3』 (中央法規出版社) 2,940円

#### 参考書等

授業の中で紹介。

科目名	公的扶助論	開講	通年	単位	4
配当	福1234選				
担当者名	いとう しゅういち 伊藤 秀一				

#### 講義のねらい

本講の中心的テーマは、わが国の社会保障制度体系における生活保護制度をどのように位置づけ、どのように方向づけるかである。このような問題意識のもとに、慈恵的救済から権利的保障へと歩んできた公的扶助の歴史を始め、現行法の目的、原理、原則、現行制度の組織機構、行政運営等を、総合的に検討する。また、近年、注目されている権利擁護、ソーシャル・インクルージョン等にも言及する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### (前期)

- ①開講にあたって
- ②公的扶助とは何か（社会保障制度体系における位置を中心として）
- ③公的扶助の歴史的発展過程（イギリス・日本）

##### (後期)

- ④公的扶助の法制度（目的・原理・原則・扶助の種類・動向・最低生活保障水準）
- ⑤福祉事務所の制度運営と相談援助
- ⑥低所得対策の概要
- ⑦イギリスにおける福祉権活動・運動の動向

#### 履修上の留意点

指定されたテキスト以外の参考文献や新聞記事等を活用しながら学習を深め、『学生参加』型の授業を心掛けたいと考えているので、貧困問題に対する関心をもってほしい。

#### 成績評価の方法

評価は、レポート課題及び年度末の定期試験と出席状況等を勘案して行う。

#### 教科書

伊藤秀一編著『臨床に必要な公的扶助』（弘文堂）

#### 参考書等

随時紹介する。

#### その他

ビデオ教材を活用したり、受講者による意見発表会等も行う。

科目名	保健福祉論	開講	通年	単位	4
担当	福1234選				
担当者名	やまもと てつや 山本 哲也				

#### 講義のねらい

本講義では、地域保健、地域福祉の実践に欠かすことのできない、保健・福祉の連携システムの概要と、同システムにおける保健・福祉従事者の役割を学び、そこでの福祉従事者の活動内容について理解することをねらいとする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

本講義では、保健・福祉の連携システムの実際について、事例をとおして学習していく。具体的には、まず、保健・福祉が連携して関わる必要のある事例を呈示する。次に、その事例の中に登場する用語等について概説する。また、事例に登場する対象者を理解する事、事例に関わる制度について知る事を目的に講義を行う。最後に、その事例対象者を支える保健・福祉の連携システムについて概説する。

#### 履修上の留意点

講義のみでなく、各自が考え、学び、理解できるよう、各自の意見を問う内容を含む授業を行うので、そのつもりで受講すること。

#### 成績評価の方法

出席状況、授業中のミニレポート、課題レポート及び試験の結果により総合的に評価する。

#### 教科書

必要に応じ、授業時に指定する。

#### 参考書等

必要に応じ、その都度指示する。

#### その他

- ・30分以上の遅刻は入室を認めないので、そのつもりで受講すること。
- ・4年次生で、就職活動により欠席する場合も、特別な配慮はしないので、そのつもりで受講すること。



科目名	地域福祉論	開講	通年	単位	4
配当	福1234選				
担当者名	とよだ むねひろ 豊田 宗裕				

### 講義のねらい

地域福祉論で学習すべきポイントは、大きく分けて以下の3点である。本講義ではこれらについて、われわれが生活している地域そのものの持つ特色を明らかにしたうえで、福祉問題の出現過程について学び、その解決のための手段や考え方を理解する。

(1) 総論としての地域福祉の枠組み(地域福祉とはどのようなものか。何故必要なのか)

①地域福祉論の概念、②地域福祉の歴史的展開、③コミュニティの捉え方・考え方  
④現在の地域福祉施策の特徴

(2) 各論としての地域福祉の各種制度や援助方法(地域福祉施策の内容と提供方法)

①地域福祉サービスの種類とその提供方法、②サービス提供組織やその仕組み  
③福祉ニーズの把握や組織化活動の展開方法

(3) 現在および将来的な地域福祉に関連した施策の動向と展望

①地域福祉に関連した、経済的・社会的な動向と展望、②計画づくりと福祉制度  
③これからの方向性

講義には、様々な年次の学生がいることを考慮し、なるべく具体的な、かつ実践に役立つ内容を盛り込んで、講義を進めたいが、内容や使用する用語が難解な場合もあるので、各自学習をして理解を深めてほしい。併せて、本科目は社会福祉士試験の指定科目ということもあり、試験の内容も考慮して講義を行いたいと考えている。

### 講義の内容・授業スケジュール

講義スケジュール(番号は授業回数ではない)

: 講義テーマ: 講義内容

1: 地域福祉と生活問題: 地域福祉の考え方と現代の生活問題

2: 地域福祉とコミュニティ: 地域社会の変遷とコミュニティの形成◆住民の社会参加の状況とコミュニティ 他

3: 地域福祉理念の変遷: 地域福祉理念の歴史的変遷

4: 地域福祉の概念とその範囲: 地域福祉の代表的な考え方とその類型

5: 地域福祉のサービス体系: 地域福祉サービス体系の考え方とその基本理念◆地域福祉活動の体系とその内容 他

11: 地域福祉の推進方法: 地域援助技術の必要性と社会福祉計画 他

16: 福祉教育の推進: 福祉教育の考え方とその推進

17: 地域福祉の財源: 地域福祉の財源と共同募金の理解 等

21: 地域福祉の推進組織: 社会福祉協議会、行政、各種団体・機関◆非営利団体の活動とNPO法 他

24: 地域福祉のマンパワー: ボランティア活動とその動き◆地域における地域福祉のマンパワー(民生委員を中心に)

### 履修上の留意点

地域福祉論は、他の福祉系科目の横断科目として理解する必要がある。できる限り2年次以降の履修が望ましい。

### 成績評価の方法

出席回数、試験期間内の定期試験および授業時間中に課すレポートの提出(随時)の双方の状況により、判定する。

### 教科書

『社会福祉士養成講座7』 地域福祉論(中央法規出版)

### 参考書等

授業時間内に指示する。

### その他

講義形式で行う。出席確認およびレポートも実施する。

科目名	外書講読	開講	通年	単位	4
配当	福1234選				
担当者名	とうじょう みつまさ 東條 光雅				

講義のねらい

英語の文献に慣れてもらうと共に、訳すのではなく何が書かれているのかを理解してもらえよう、授業を進めてゆきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

社会福祉に関する英語の外国文献あるいは学術論文を講読してゆく予定である。訳すということは目的ではなく手段であり、そこに書かれている内容を吟味してゆくことが目的である。進め方としては、授業当初に履修学生に担当箇所の割り当てを行い、以降順次報告してもらうことになる。履修学生数によって、進度を調整する。

履修上の留意点

基本的な英文読解能力は必要であろうが、語学としての英語の授業ではないので、臆することなく積極的に授業に臨んでもらいたい。なお、出来れば英和中辞典を所持することが望ましい。

成績評価の方法

毎回の報告内容やそれに対する討議内容などを総合して行う。また、前期と後期の終わりに、英文和訳の小テストを考えている。

教科書

履修学生が決定した時点で、学生の意向も考慮しながら決定する。

その他

英語に強い関心があったり、大学院への進学を考えているような学生の履修を望む。

科目名	社会保障論	開講	通年	単位	4
配当	福1234選				
担当者名	ながお じょうじ 長尾 譲治				

### 講義のねらい

本科目は、社会福祉士指定科目の1つであり、ソーシャルワーカーを目指す諸君にとって必要で十分な社会保障制度・理論に関する知識を習得すること、及びソーシャルワークの現場においてその知識を生かす応用能力を身につけることを第一の目的としている。

社会保障制度は、一見すると複雑・多岐にわたっており、わかりづらいと感じる学生が多いのも事実である。しかし、社会保障は人間の基本的なニーズに対応したものであって、原理・原則は単純明快である。社会保障論の学習にあたっては、まずその原理・原則を理解した上で、制度上の例外を身につける方法が有効である。

本講義では、身近な実例を多用し、社会保障がいかに私たち国民にとってかけがえのないものであるかを実感してもらおうと同時に、具体例を通じて実践的な社会保障の知識を身につけていく。また、社会保障の各制度の現状はどうなっているのか、これからどうしていくべきなのかについて、国民の福祉の維持・推進の役割を担う福祉専門職の立場から、考察していきたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 1：社会保障とは（社会保障の必要性、日本の社会保障制度の体系）
- 2：各制度の詳細な解説（事例、Q&A、モデルケース試算等を多用）
  - (1) 年金保険制度
  - (2) 医療保険制度
  - (3) 労働保険制度（雇用保険、労災保険）
  - (4) 介護保険制度
  - (5) 民間の保険（生命保険、損害保険、その他の保険）
- 3：こんなときどうする？ －ライフサイクルと社会保障－
  - (1) 病気・けがをしたら
  - (2) 妊娠・出産・育児とその支援
  - (3) 身体障害を負ったら
  - (4) 知的発達障害への対応
  - (5) 精神不調に陥ったら
  - (6) 寝たきり・認知症などで介護が必要になったら
  - (7) ターミナル・ケアを受けるには
  - (8) 生活に困窮したら
- 4：各国の社会保障制度
- 5：社会保障制度の現状と課題
- 6：福祉士国家試験問題（社会保障論）を解いてみよう

### 成績評価の方法

学年末試験の成績に、出席状況等を加味して評価する。

### 教科書

特に指定しないが、必要に応じて参考書等を紹介する（授業は毎回の詳説プリントを通じて行う）。

### 参考書等

福祉士養成講座編集委員会編『新版社会福祉士養成講座 5 社会保障論』（中央法規）  
 長尾譲治『ライフサイクルと保健福祉』（春風社）  
 週刊社会保障編集部編『社会保障便利事典』（法研）  
 その他、随時紹介する。

科目名	社会福祉援助技術各論IA	開講	半期	単位	2
担当	福1234選				
担当者名	北島 英治 <small>きたじま えいじ</small>				

講義のねらい

社会福祉援助技術における個別援助に焦点が置かれる。ソーシャルワークの視点から、人を理解するとは、また、人へのかかわり方はどのようなものであるか、理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

ここでは社会福祉の法律・制度の中や、制度の整備されていない民間で働く社会福祉の専門家や、その専門性について学ぶ。この専門性をソーシャルワークと呼び、その専門家をソーシャルワーカーと呼ぶことがある。わが国においては、社会福祉士の国家資格取得受験科目である「社会福祉援助技術」関連科目の一環として、「技術論IA」に関して講義を通して学ぶ。

成績評価の方法

授業参加とレポート提出により評価を行う。

教科書

野村豊子・北島英治・田中尚・福島寛子著『ソーシャルワーク・入門』（有斐閣）  
北島英治・副田あけみ・高橋重宏・渡部律子編『ソーシャルワーク実践の基本理論』（有斐閣）

科目名	社会福祉援助技術各論IB	開講	半期	単位	2
担当	福1234選				
担当者名	北島 英治 <small>きたじま えいじ</small>				

講義のねらい

社会福祉援助技術における個別援助とともに集団援助を加えて、社会福祉実践にともなう専門価値、専門役割、専門知識、専門技術の総体を概観する。ソーシャルワークの視点から、個人と集団を理解するとは、また、個人と集団のかかわり方はどのようなものであるか、理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

ここでは社会福祉の法律・制度の中や、制度の整備されていない民間で働く社会福祉の専門家や、その専門について学ぶ。この専門をソーシャルワークと呼び、その専門家をソーシャルワーカーと呼ぶことがある。わが国においては、社会福祉士の国家資格取得受験科目である「社会福祉援助技術」関連科目の一環として、「技術論IB」に関して講義を通して学ぶ。

成績評価の方法

授業参加とレポート提出により評価を行う。

教科書

野村豊子・北島英治・田中尚・福島寛子著『ソーシャルワーク・入門』（有斐閣）  
北島英治・副田あけみ・高橋重宏・渡部律子編『ソーシャルワーク実践の基本理論』（有斐閣）

科目名	社会福祉援助技術各論II A	開講	半期	単位	2
配当	福1234選				
担当者名	あらい ひろみち 荒井 浩道				

講義のねらい

この講義では社会福祉援助技術の意義、歴史、体系、理論・方法、価値・倫理、専門職の役割について学習します。

講義の内容・  
授業スケジュール

・ 集団援助技術（グループワーク） ・ 地域援助技術（コミュニティワーク）

履修上の留意点

授業への主体的参加を期待します。

成績評価の方法

出席、レポート、試験等により総合的に評価します。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉援助技術論II（社会福祉士養成講座⑨）』（中央法規出版）2,500円

参考書等

授業のなかで随時指示します。

その他

この授業は社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な指定科目のひとつです。

科目名	社会福祉援助技術各論II B	開講	半期	単位	2
配当	福1234選				
担当者名	あらい ひろみち 荒井 浩道				

講義のねらい

この講義では社会福祉援助技術の意義、歴史、体系、理論・方法、価値・倫理、専門職の役割について学習します。

講義の内容・  
授業スケジュール

・ 社会福祉調査法（ソーシャルワークリサーチ） ・ その他の関連援助技術

履修上の留意点

授業への主体的参加を期待します。

成績評価の方法

出席、レポート、試験等により総合的に評価します。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉援助技術論II（社会福祉士養成講座⑨）』（中央法規出版）2,500円

参考書等

授業のなかで随時指示します。

その他

この授業は社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な指定科目のひとつです。

科目名	社会学（福祉）	開講	通年	単位	4
配当	福1234選				
担当者名	たけやま うめのり 武山 梅乗				

#### 講義のねらい

主として社会福祉士及び社会福祉主事を目指す学生を対象として、社会学の基礎的な知識を提示し、現代社会における今日的な諸問題について理解することを通じて、より広い視点から〈社会福祉〉を展望する視点を養ってもらうことを目的としています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (前期) I. 社会学の基礎概念：(1) 行為論 (2) 役割論 (3) 自我とアイデンティティ (4・5) 組織と官僚制 (6) ネットワークとボランティア (7) 社会階層と社会移動
- II. 現代社会論：(8・9) 逸脱とラベリング (10・11) ジェンダーとフェミニズム (12・13) 医療化と差別論
- III. 現代家族論：(14) 家族制度と核家族化 (15) ライフサイクルとライフコース (16) 未婚化と結婚の意義
- IV. 地域社会論：(17) アーバンイズムとコミュニティ (18) 国土計画と過疎・過密 (19) まちづくりとQOL
- V. 国家とエスニシティ：(20) 国民国家としての〈日本〉(21) エスニシティとしての〈沖縄〉
- VI. 社会変動論：(22) 近代化と資本主義 (23) 大衆社会論と社会的性格 (24) 産業社会論 (25) 消費社会と企業文化・福祉文化 (26) 公害と環境問題

#### 成績評価の方法

出席状況、講義期間中に課すレポートの内容、定期試験の結果から総合的に評価します。

#### 教科書

教科書は特に指定しません。随時配布するプリントに従って講義を進めます。

#### 参考書等

参考書は講義期間中に随時指示します。

科目名	心理学（福祉）	開講	通年	単位	4
配当	福1234選				
担当者名	たかはし よしひろ 高橋 良博				

#### 講義のねらい

本講義のねらいとして以下の項目を目標としている。

- 1 心理学の基本概念をふまえ、人間理解のための基本的知識の理解と習得。
- 2 乳幼児期・児童期・青年期・壮年期・高齢期など人間の発達段階のそれぞれの時期に特有な身体的、心理的特徴についての理解。
- 3 援助を要する人々とかかわって行くための心理的援助技術の概要の理解と習得をはかり、援助者としての資質を高めるための自己理解をもとめる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、以下の項目についてふれて行く予定である。

- 1 人間の心理学的理解 ①心理学の定義と、領域および研究法 ②欲求・動機づけ ③感情・情動 ④感覚・知覚・認知 ⑤学習・記憶・思考 ⑥知能・創造性 ⑦人格 ⑧適応と不適応
- 2 人間の成長・発達の心理 ①発達段階と生涯発達 ②発達課題と高齢期 ③発達の障害と発達援助
- 3 人間理解のための心理学理論と技法 ①基礎理論；心理学的援助技術の基本的人間観 ②心理測定と診断
- 4 心理的援助技法の概要 ①心理療法（総論）心理療法の歴史と種類 ②心理療法（各論）精神分析・カウンセリング・家族療法・行動療法・認知療法・森田療法・自律訓練法など

#### 履修上の留意点

履修者は、受講中は私語をつつしみ静粛を保つこと。

#### 成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）などを総合して評価を行う。

#### 教科書

福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉士養成講座 心理学』（中央法規）2,500円（税別）

#### 参考書等

講義中に指示する。

科目名	医学一般	開講	通年	単位	4
配当	福1234選				
担当者名	こばやし いたる 小林 臻				

講義のねらい

健常者、病弱者および高齢者に対する医学・保健学の基本的な知識を体得し、ひいては社会福祉士を目指す者にも役立つ内容とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

人体の構造と機能、現代社会と疾病、老化と身体的変化、精神保健、リハビリテーション、公衆衛生、保健医療対策、医療行政、医事法制等について、講義の予定。

履修上の留意点

出席はきわめて重視する。緊急の場合を除き、欠席については連絡をすること。

成績評価の方法

筆記試験、課題提出、授業姿勢、出席状況、自己表現の良否、などから総合判断して評価する。

教科書

『医学一般』（中央法規）2,500円

参考書等

講義開始時に連絡する。

その他

一方通行の講義でなく、学生諸君と時間を共有する姿勢で、討論や質疑を中心にすすめてゆく予定である。



科目名	介護概論	開講	半期	単位	2
配当	福1234選				
担当者名	金 美辰 <small>きむ みじん</small>				

講義のねらい

介護の役割と福祉サービスの援助者に求められる倫理観を踏まえ、援助者としての基本的姿勢を理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

介護とは何かについて考え、介護福祉の概念や福祉サービスの援助者に求められる倫理について法律や専門生の観点から学習し、利用者主体の介護とその具現化としての実践の技法について学ぶ。

1. オリエンテーション
2. 介護とは何か：介護のイメージ
3. 介護の歴史
4. 利用者理解
5. 利用者主体とは何か
6. 介護福祉士に求められる倫理
7. コミュニケーション技法等介護技術総論
8. 認知症高齢者への理解
9. 認知症高齢者への理解
10. 施設介護・在宅介護
  11. 介護保険について
  12. 施設における危機管理・福祉用具
  13. チームアプローチ
  14. 試験

成績評価の方法

出席状況：20% 課題達成度：20% 定期試験：60%

教科書

「臨床に必要な介護概論」 弘文堂 2,625円

参考書等

介護福祉学 介護福祉学研究会 中央法規

科目名	介護技術	開講	半期	単位	2
配当	福1234選				
担当者名	金 美辰 <small>きみ みづは</small>				

**講義のねらい** 高齢や障害によって阻害されている生活上のニーズや課題に対して利用者の個別性を配慮し、自立支援の視点にたった援助方法を身につける。

**講義の内容・授業スケジュール** 介護技術の基礎知識や介助時の留意点についての講義やグループでの演習を通して、利用者の自立支援の視点にたった介護技術を学ぶ。

1. オリエンテーション
2. 援助に必要な技術：コミュニケーション・観察・アセスメント
3. 環境整備：居住環境の安全
4. 運動・移動の技法：ボディメカニクス・上方移動・水平移動
5. 運動・移動の技法：体位変換
6. 運動・移動の技法：移乗・移動介助
7. 食事介助（講義）
8. 食事介助（演習）
9. 排泄介助
10. 排泄介助
11. 衣生活の支援
12. 福祉機器と活用法
13. まとめ

**履修上の留意点** グループでの演習授業であり、前後授業の関連性が高いので出席・授業態度を重視する。

**成績評価の方法** 出席状況：30% 授業態度：30% レポート：40%

**教科書** 『介護技術III 介護福祉士養成講座』（中央法規）

**参考書等** 講義の中で紹介する。

**その他** 実技演習授業であるので動きやすい服装が望ましい。

科目名	精神医学	開講	通年	単位	4
配当	福1234選				
担当者名	黄 ミンシュク <small>こう</small>				

**講義のねらい** 精神疾患を生物学的精神医学の観点から理解することが講義のねらいである。将来、心理系・福祉系の職務に携わる者に必要と思われる臨床上の知識を学習・理解することを主な目的とする。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期は機能性（内因性）精神病、神経症性障害の理解と精神科診断学の方法論（総論）を主な授業内容とする。後期は中毒性精神病、痴呆などの脳器質的疾患、人格障害、児童・思春期精神障害などを主な授業内容とする。

**成績評価の方法** 筆記試験（本試験）により成績評価をする。

**教科書** 特に定めない。

**参考書等** 特に定めない。

科目名	精神保健学	開講	通年	単位	4
配当	福1234選				
担当者名	坂村 雄 <small>さかむら ゆう</small>				

講義のねらい

精神保健とは精神の健康に関する公衆衛生であり、狭義には精神疾患の予防と治療、リハビリテーション、広義には精神的健康の保持と増進を目的とする諸活動である。精神医学、心理学等、精神保健に関するバックグラウンドは広いので、精神障害、異常心理などの解説をしながら、理解を深められる様に講義するが、精神保健福祉士の実践にも役立つ様、臨床的内容とし、単なる学問的知識でなく、実際に現場で働いていくために必要な知識を与えたいと思っている。

成績評価の方法

出席、レポート、試験などを総合的に評価したい。

教科書

『精神保健入門』改訂第2版（八千代出版）

科目名	精神保健福祉論I	開講	通年	単位	4
配当	福1234選				
担当者名	佐藤 光正 <small>さとう こうせい</small>				

講義のねらい

こころの問題は広く国民的問題である。ここでは障害者福祉の理念と施策の理解等を踏まえながら、精神障害者の障害特性（疾病と障害の共存）、処遇、特に偏見や差別の歴史を学び現状認識を深め、精神障害と福祉について考える。また精神障害者を生活の視点で支える精神保健福祉士の役割と実践についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 障害概念 精神障害者とは？
- (2) 障害者福祉における精神障害者福祉
- (3) 精神障害者福祉の歴史と現状～関係法との関係～
- (4) 精神保健福祉士とは？
  - ・活動の歴史的経過とその意義
- (5) 精神障害者の地域生活支援と社会参加の促進をめざす活動

履修上の留意点

障害ごとの縦割りの援助ではもはや現場では対応できない時代になった今、精神保健福祉士をめざす学生だけでなく、社会福祉士をめざす学生にも履修が望ましい。なお「精神保健福祉論II」とはセットであるため併せての履修が効果的である。

成績評価の方法

平常点（出席状況、授業態度、課題提出状況）および授業中のテストなどにより総合的に評価する。

教科書

必要に応じて指示する。

参考書等

必要に応じて随時紹介する。

科目名	精神保健福祉論II	開講	半期	単位	2
配当	福1234選				
担当者名	佐藤 光正 <small>さとう こうせい</small>				

#### 講義のねらい

偏見や差別の中地域において、精神保健福祉活動がどのように行われているか、また精神障害者の地域生活の実態を学び、地域における生活支援についての重要性を認識する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

ビデオ教材や障害当事者の人たちに実際に教場に来てもらい、体験的な理解を深める。また必要によりグループワークも行う。

- (1) 新聞、マスコミで報道される精神障害者
- (2) 精神障害者の生活実態～当事者の声～
- (3) 精神障害をもつ家族の思い～家族の声～
- (4) 地域における精神保健福祉活動～実践家の話～
  - ・保健所、社会復帰施設、ボランティア活動、ホームヘルプなど

#### 履修上の留意点

障害ごとの縦割りの援助ではもはや現場では対応できない時代になった今、精神保健福祉士をめざす学生だけではなく、社会福祉士をめざす学生にも履修が望ましい。なお「精神保健福祉論I」とはセットであるため併せての履修が効果的である。

#### 成績評価の方法

平常点（出席状況、授業態度、課題提出状況）および授業中のテストなどにより総合的に評価する。

#### 教科書

必要に応じて指示する。

#### 参考書等

必要に応じて随時紹介する。

科目名	精神保健福祉援助技術各論	開講	通年	単位	4
配当	福1234選				
担当者名	上野 <sup>うえの</sup> 容子 <sup>ようこ</sup>				

#### 講義のねらい

精神保健福祉援助技術の具体的な方法やそのあり方、倫理感について学ぶ。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- (1)～(2)・精神障害者の生活状況
- (3)～(5)・ケースワークの定義、原理と原則
  - ・ケースワークのプロセス
  - ・具体的な事例
- (6)～(8)・グループワークの定義、原理と原則
  - ・グループワークの展開
  - ・具体的な事例
- (9)～(10)・当事者活動とその支援
- (11)～(12)・家族に対する支援
- (13)～(17)・コミュニティワークの定義と原則
  - ・コミュニティワークの展開プロセス
  - ・コミュニティワークの課題
  - ・ボランティア活動
- (18)～(21)・ケアマネジメントの歴史的背景
  - ・ケアマネジメントの定義と構成要素
  - ・精神障害者に対する福祉サービスとしてのケアマネジメントの特徴
  - ・ケアマネジメントのプロセス
  - ・具体的な事例
- (22)～(23)・チームアプローチと連携
  - ・チームアプローチにおける精神保健福祉士の役割
- (24)～(25)・スーパービジョンの意義と構造

#### 履修上の留意点

- ・精神保健福祉論、精神医学を履修済みの前提で授業を進めます。
- ・グループでの演習をとり入れるので、話し合い、発表、レポートがあります。

#### 成績評価の方法

- ・演習毎のレポート、平常点（出席状況）

#### 教科書

- 『精神保健福祉援助技術各論』（中央法規）2,500円
- 『精神保健福祉援助技術演習』（中央法規）

科目名	社会福祉発達史	開講	通年	単位	4
担当	福1234選(14年度以降入学生) 福234選必(13年度以前入学生)				
担当者名	堀 千鶴子				

講義のねらい

我が国における、近代以降の社会事業・社会福祉の生成、発展について学ぶ。特に、社会福祉事業・社会福祉に貢献した人物史の足跡をたどることから、社会福祉の歴史を理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1	社会福祉の歴史と人物史	1	13	人物史	4
2	"	2	14	"	4
3	慈善・救済の時代		15	"	4
4	人物史	1	16	社会事業・社会福祉の時代	
5	"	1	17	人物史	5
6	"	1	18	"	5
7	"	2	19	"	5
8	"	2	20	"	6
9	"	2	21	"	6
10	"	3	22	"	6
11	"	3	23	社会事業に生きた女性	
12	"	3	24	地域の歴史	

履修上の留意点

出席を重視する。テキスト必ず持参。

成績評価の方法

出席(40%)、レポート(60%)

教科書

室田保夫「人物で読む近代社会福祉のあゆみ」  
ミネルヴァ書房2800円ISBN4-623-04519-6

科目名	社会福祉計画論	開講	通年	単位	4
配当	福1234選(14年度以降入学生) 福234選必(13年度以前入学生)				
担当者名	かわてい もとゆき 川廷 宗之				

#### 講義のねらい

- (1) この科目では『社会福祉』と『社会計画』の二つの問題を扱う。
- (2) 社会福祉計画論は、本来は社会福祉援助技術の内容の一つを構成する専門的領域であるが、この授業では、専門に直接ふれるのではなく、その前提としての社会福祉の基本的な問題を含めて解説する。
- (3) 社会福祉計画を必要とする現代日本の社会福祉問題について、その内容の理解を図る。
- (4) 問題対応的なサービス提供から予防福祉的な側面が強調され、その結果、計画化が促進される現代の状況について理解を図る。
- (5) 『社会福祉計画』は、市民個々人の『福祉 (Well Being)』の保障を目指すのであるから、個々人の『福祉計画』を前提にした統合としての『社会福祉計画』として、総合的な理解を深める。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- ①前期は、『社会福祉計画』の前提となる『日本の社会福祉』が扱おうとしている様々な福祉課題について学ぶ。
- ②後期は、福祉問題の解決を目指す『社会福祉計画』の詳細について学ぶ。

#### 履修上の留意点

- (1) この講義では、開講第1回目に全体のスケジュール等を説明するので、第1回には必ず出席していただきたい。
- (2) 講義を中心として進めるが、時に授業中に討論を行うこともあるので、積極的主体的な参加を期待します。
- (3) 学習者である皆さんの主体的な学習態度を尊重すべく、質問重視の授業を進めるので、関連事項について積極的な質問を期待します。

#### 成績評価の方法

- (1) 前期末、後期末のレポートの成績を中心に、主体的な出席への評価を含めて成績評価を行う。
- (2) 前期末のレポート課題は、前期の講義に含まれる社会福祉計画が対応することになる「日本の福祉問題」を自分自身の生活課題に引きつけて論じる課題が出題される。
- (3) 後期のレポート課題は、社会福祉計画論の理論的課題について、テキストの課題の中から各自自由に選択して、まとめる課題が出題される。
- (4) 前期レポートと後期レポートは、それぞれ40%と50%の比率で成績評価に反映される。残り10%は、出席状況等を勘案する。

#### 教科書

定藤丈弘・坂田周一・小林良二編集『社会福祉計画』（有斐閣）定価2,200円

#### 参考書等

- (1) 高田真治『社会福祉計画論』（誠信書房）1979年
- (2) R. パールマン A. グリン著 岡村重夫 監訳 『コミュニティ・オーガニゼーションと社会計画』（全国社会福祉協議会）1980年
- (3) 全社協編『地域福祉計画——理論と方法——』（全国社会福祉協議会）1984年

#### その他

本来は専門科目であるが、社会福祉の全体像の理解も含めて、平易で楽しい、皆さんとともに夢を描ける（計画ですから）授業を展開したい。

科目名	リハビリテーション論	開講	通年	単位	4
担当	福1234選(14年度以降入学生) 福234選必(13年度以前入学生)				
担当者名	向後 礼子				

講義のねらい

リハビリテーションには、医学・教育・職業・社会の4領域があるが、本講義では、職業リハビリテーションを中心に障害者が社会の中で働くということの意味を考える。併せて、障害者の就労を支える仕組みについて学ぶ。また、バリアフリーや障害理解の問題に関して、自分なりの考えを深めていく。

履修上の留意点

履修者には、リハビリテーション論で採りあげられるさまざまな問題を単なる知識として覚えるのではなく、自らの問題として考えてほしい。

成績評価の方法

講義中の小課題に対する回答と試験により評価する。なお、出席状況を加味する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義中に随時指定する。

その他

基本的に講義形式で進める。履修人数によっては、履修者に発表などの活動を行ってもら。また、ビデオ等の視聴を含む。

科目名	家族療法	開講	通年	単位	4
担当	福1234選(14年度以降入学生) 福234選必(13年度以前入学生)				
担当者名	治田 哲之				

講義のねらい

心理臨床の現場では、学派や技法にかかわらず、家族に関する視点を持たずに仕事を進めることはできない。一方、家族療法に基盤を持つ心理臨床家も、家族という観点にとらわれない幅広い臨床的スタンスを持って仕事をする必要がある。

本講座では、このような心理臨床の現場を出発点とし、家族療法という一つの体系を切り口としながら、心理臨床の基本から家族療法の実際までを実践的に扱う。

講義の内容・授業スケジュール

- ・心理学と心理療法
- ・家族療法の特徴
- ・福祉の専門家のための心理療法とは
- ・家族療法の事例をもとに考え方と技法を紹介  
(その1～その5)
- ・家族療法的心理臨床に役立つ諸技法の具体例  
(その1～その3)
- ・適宜、映像資料に基づいた、人間や心についての考察・課題を行う

成績評価の方法

レポート、試験に、普段の課題や出席等の状況を加味する。

教科書

履修者の実態(予備知識等)に合わせて決定し、授業において指示する。

その他

土曜1限は、学生諸君にとってもつらいと思うので、できるだけ楽しい授業になるようくふうします。リクエストにもできるだけ応えます。



科目名	社会福祉学特講I【〔児童〕】	開講	通年	単位	4
配当	福1234選(14年度以降入学生) 福234選必(13年度以前入学生)				
担当者名	やまもと てつや 山本 哲也				

#### 講義のねらい

近年、子どもを取り巻く諸問題は、複雑化、多様化し、深刻化してきている。本講では、子どもを取り巻く諸問題を整理、理解すること、支援を必要とする子どもを理解することをねらいとする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、子どもを取り巻く諸問題について、受講生のレポートをもとに、ディスカッションを織り交ぜながら、問題の理解を深めていく。

後期は、支援を必要とする子どもについて、演習課題等とおして、理解を深めていく。

#### 履修上の留意点

具体的な講義内容は、受講生の興味にあわせて決定していく。なお、受講生によるレポートをもとに、受講生とともに、「考えること」を重視した授業とするので、受講生は主体的・積極的に参加することを望む。

#### 成績評価の方法

出席状況と課題レポートに加えて、ディスカッションへの参加状況など受講姿勢・意欲によって、総合的に評価する。

科目名	社会福祉学特講II【〔老人〕】	開講	通年	単位	4
配当	福1234選(14年度以降入学生) 福234選必(13年度以前入学生)				
担当者名	せつない まりこ 橋内 真里子				

#### 講義のねらい

- ・高齢者福祉の現場で求められる知識・技術を習得する。
- ・社会福祉専門職（対人援助職）としての資質を自ら育て、確実なものとする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1回目 前期の予定、目標など
- 2・3回目 高齢者の身体的・心理的特性
- 4・5回目 高齢者のライフサイクルからみる特性
- 6・7回目 高齢者ケアの視点、目的
- 8～11回目 高齢者ケアの現場を理解する
- 12回目 前期のまとめ
- 13回目 前期の確認、後期の予定について
- 14～17回目 高齢者ケアの現場を理解する
- 18～22回目 いろいろな専門職について考える
- 23・24回目 社会福祉専門職としての技術について考える
- 25・26回目 社会福祉専門職としての資質について考える

#### 履修上の留意点

新聞や本を読んで下さい。気にかかるものや興味を持ったもの、必要と思ったものはメモしたり、スクラップしておいて下さい。講演会や研修会にも積極的に参加して下さい。それらをもとにグループワークなども予定しています。「考える」、「発言する」、「見る」、「書く」、「提案する」などに慣れましょう。

#### 成績評価の方法

出席状況、グループワークへの参加状況、レポートなどを総合的に評価します。

#### 教科書

未定ですが、毎回の講義の始まりか終わりに、読んで欲しい本や聞いて欲しい講演会なども紹介したいと思います。随時資料を配付し、ビデオの視聴も予定しています。

科目名	社会福祉学特講Ⅲ【〔障害児・者〕】	開講	通年	単位	4
配当	福1234選(14年度以降入学生) 福234選必(13年度以前入学生)				
担当者名	向後 礼子 <small>こうご れいこ</small>				

講義のねらい

障害の特性について学ぶと共に、健常者と障害者の双方の立場から「障害理解とは何か」について考える。また、障害の特性について理解するために心理検査等についても学習する予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、障害についての基本的な理解を目指す。対象障害は、主として知的発達障害ならびに精神障害である(1～4)。また、いくつかの心理検査の実施方法とその解釈について学ぶ(4～7)。併せて、「障害理解」と「障害受容」とは何かについて事例を基に検討する(8～13)。

後期は、受講生毎に興味のある障害を定め、その障害についてより深く理解できるよう、個別もしくはグループ毎に課題を設定する。経過については、随時、講義の中で発表し、全体で討論する。

履修上の留意点

履修者には、障害に関わる問題を自らの問題として考えてほしい。

成績評価の方法

講義中の小課題に対する回答と試験により評価する。なお、出席状況を加味する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義中に随時指定する。

その他

履修者には発表などの活動を行ってもらおう。

科目名	社会福祉学特講IV【(相談・援護)】	開講	通年	単位	4
配当	福1234選(14年度以降入学生) 福234選必(13年度以前入学生)				
担当者名	おおすか ちから 大須賀 力				

### 講義のねらい

今日の少子・高齢化の時代、家族構成及び地域環境は大きく変わり、それにつれ子育て不安及生活不安が著しく拡大してきている。

問題の多様化により、従来の相談システムでは到底対応できず新たな相談・援護のシステムが求められてきている。合わせて各機関に従事する職員には、支援者としての倫理・権利擁護・処遇技術等の福祉専門性がより求められてきている。

この演習科目では、児童相談所等相談機関及び福祉施設の相談・援護の実態を明らかにし、支援者として利用者とう向き合う必要があるのか、ケースワーカーとしての「支援者像」の在り方を学生と共に考えていきたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

(前期)

- 1 相談・援護の実際 児童相談所・施設・その他の相談機関
- 2 利用者と支援者との関係作りに必要なこと ロールプレー
- 3 相談・支援のプロセスについて

(後期)

- 1 支援者に求められている専門性とは
- 2 権利擁護とは 利用者の声から
- 3 処遇困難なケースから学ぶ
- 4 早期発見・早期対応の意味

### 履修上の留意点

日々周囲で起きている家族問題・児童問題等、新聞記事及び報道内容に関心をもち、問題意識を高め参加のこと。

### 成績評価の方法

レポート、発表、討論、出席状況などの総合評価

### 参考書等

- 「最新・社会福祉援助技術」  
(株)みらい 後藤卓郎編  
「対人援助の技法」 誠信書房  
尾崎 新著

### その他

その他 講義・演習・討論中心の授業内容

科目名	社会福祉学特講Ⅴ【〔福祉事務所〕】	開講	通年	単位	4
配当	福1234選(14年度以降入学生) 福234選必(13年度以前入学生)				
担当者名	ふなみず ひろゆき 船水 浩行				

#### 講義のねらい

福祉事務所は、1951（昭和26）年の社会福祉事業法により制度が発足し、半世紀をこえた。敗戦直後の窮乏の中で制度化されたこの制度は、生活保護を中心に、国民の生活水準の確保に大きな貢献をしてきたと言える。

この間、福祉事務所を巡る行政の環境等は変容し、そのたびに運営のあり方、組織体制等が問われてきた。最近においても、「社会保障構造改革」の名の下での「介護保険制度の創設と実施」「年金保険や医療保険制度の改正」「社会福祉基礎構造改革の具現化」「生活保護制度の見直し」などの実施、さらには「地方分権」等が進められる中で、新たな時代の行政や社会福祉のあり方に向け、福祉事務所の運営等も一つの転機を迎えようとしている。

この授業では、福祉事務所の発足とその後の展開過程等の基本的事項を踏まえつつ、今後のわが国社会福祉行政における福祉事務所のあり方について考察していく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

現代社会と福祉事務所の運営 福祉事務所の成立と展開  
福祉事務所を巡る法制度 福祉事務所の業務と組織 福祉事務所と社会資源  
社会福祉主事とその専門性 社会福祉主事の業務と社会福祉援助技術の展開  
福祉事務所における自立支援の現状と課題

#### 履修上の留意点

福祉事務所実習希望者の履修を勧める。

#### 成績評価の方法

レポート（随時、5課題程度）90%、出席状況等平常点10%

#### 教科書

宇山勝儀編著『福祉事務所運営論』（ミネルヴァ書房）2005年 2,000円

#### 参考書等

随時紹介する。

科目名	社会福祉学特講VI【(家族)】	開講	通年	単位	4
配当	福1234選(14年度以降入学生) 福234選必(13年度以前入学生)				
担当者名	おぼた かず 小畑 和				

#### 講義のねらい

出生減退現象と言うのは社会に現れたひとつの表徴である。その社会現象は別の面から見れば、胎児の生命をどのように考えるかという生命倫理に関する側面を持っている。つまり、出生前診断による産み分けや世界的な人工妊娠中絶(abortion)の容認の傾向は、言い換えれば、ProlifeかProchoiceかの問題であり、また、この現象を家族の側面から論ずれば、親子関係が希薄化し、家庭の崩壊、家庭の教育力の低下や学校教育の崩壊に繋がる。また社会的側面から見れば消費の停滞、人口の減少、経済の停滞と不安定、犯罪の増加、社会の崩壊に運動していくことの要因になっている。

講義では出生減退現象を通して生命倫理の問題、家族の変貌、社会保障制度などを取り扱うつもりである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

成熟社会では成長が頂点に達し社会が袋小路(blind alley)に突入する。一方、限界生活費は増大するために、家族を益々制限し少子化や小さな核家族を促し、他方では三世代家族減少や老人問題を発生させている。また、人間関係は本質的關係よりは手段の關係になりシビアーでドライになる。個々人の間に緊張感を生じ孤立化するの家族間でも同じである。

このような観点から以下のような項目で講義する。

- ① 経済社会のマクロ的な説明
- ② Prolife(胎児の生まれる権利)かProchoice(産む、産まないは女性の権利)か
- ③ 資本蓄積と出生減退の關係、出生減退原因の諸説の紹介
- ④ 家族の変貌(血縁、結婚・離婚問題、住居、経済的基盤などの家族の構成要素の変化)
- ⑤ 家族に関する福祉制度(年金、生活保護、保育・育児の制度、エンゼルプラン、児童手当、児童扶養手当…)
- ⑥ 家庭裁判所制度(調停制度、特別養子縁組制度…)
- ⑦ 教育制度(学校教育、家庭教育、社会教育…)
- ⑧ 就業問題(雇用制度、ホームレス問題、雇用保険制度、労働災害保険制度…)

#### 履修上の留意点

初回の講義で説明する。

#### 成績評価の方法

5段階2乗方式によるが、その内容は初回講義で説明する。

#### 教科書

講義の中で必要に応じて紹介する。

#### その他

授業形態は講義形式であるがビデオやOHPが使用可能ならば利用する。

科目名	法社会学	開講	通年	単位	4
配当	福234選				
担当者名	こばやし ひろひと 小林 弘人				

講義のねらい

法社会学の概念についての理解、法社会学の対象と方法、具体的事例についての解説が授業の主たる内容である。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本および諸外国の法社会学史について前期一杯講義する。具体的には、まず日本の法社会学の学説史について解説する。その後、ヨーロッパおよびアメリカの法社会学史について説明する（例えば、モンテスキュー、イェーリング、マックスウェーバー、マリノウスキーやギユルヴィッチ、ホームズ、パウンドなどの学説の紹介である。）

次いで、法社会学の方法論について解説する。また、法社会学に関連する法学の諸分野と社会諸科学との関連についても解説する。

後期からは、法と社会との関連性について全体社会と法、部分社会と法について、具体的事例をあげながら説明する。立法過程、司法過程、農村、都市のかかえる課題の対応には時間をさきたい。

履修上の留意点

とくになし。資料の配布については、該当日以外は、配布しないので、注意すること。

成績評価の方法

レポートと期末テストを勘案して行う。

教科書

及川伸著『法社会学講義』（法律文化社）2,781円

参考書等

講義初日に説明する。

科目名	社会病理学	開講	通年	単位	4
配当	福234選				
担当者名	やまもと いさお 山本 功				

#### 講義のねらい

まず、社会病理学の基本的概念・方法・研究領域について概観する。まず、従来のオーソドックスな社会病理学の概念・学説史をとりあげ、最後に近年注目を集めている社会構築主義について紹介する。

ついで、様々な「社会病理現象」のうち、犯罪・非行を中心に取り上げ、犯罪学を紹介する。少年の「凶悪化」が叫ばれ、2000年秋に少年法が改正されたが、少年が「凶悪化」したと言えるのだろうか。また、何かしら事件が起こるたびにメディアでは「親が」「学校が」「社会が」と様々な原因が論じられるが、それらは妥当なのだろうか。そもそも、犯罪や非行についてどうして人は語りえるのだろうか。

#### 講義の内容・授業スケジュール

【前期】第1回イントロダクション「社会病理」とは何か 第2～4回「社会病理」の基礎概念と社会病理学史 第5～8回「社会病理」現象の具体的諸相 第9～13回「社会問題」論と社会構築主義

【後期】第14～16回「犯罪」「非行」概念 第17～19回 人はどうして犯罪について語りえるのか：犯罪報道、公式統計、暗数問題 第20～24回 実証主義的犯罪原因論 第25～26回ラベリング論と社会構築主義

#### 履修上の留意点

webに参考資料をアップする。ネット環境が整っていることが望ましい。携帯電話では不可。

#### 成績評価の方法

定期試験結果で評価する。

#### 教科書

矢島正見他編『よくわかる犯罪社会学入門』学陽書房 ￥1,995  
ISBN4-313-34008-4

#### 参考書等

澤登俊雄『少年法』中公新書2000  
鮎川潤『少年犯罪』平凡社新書2001  
中河伸俊『社会問題の社会学』世界思想社1999  
平英美・中河伸俊編2000『構築主義の社会学』世界思想社  
矢島正見『少年非行文化論』学文社1996  
法務省編『犯罪白書』、警察庁編『警察白書』

科目名	心理検査法	開講	通年	単位	4
担当	福1234選				
担当者名	稲富 正治				

講義のねらい

人の身体の状態を示すものに「健康診断」というものがあるように、人の性格、情緒性、精神発達状態、知能、人間関係、病理性などを知る方法には「心理検査」があります。検査の種類によってそのやり方も理論背景も違いますが、人の心を安易に扱う場面も少なくない現代社会の中で、授業では心理検査の技術の習得と理論背景の理解と同時に、人と真剣に向き合う「臨床」を学んで欲しいと思っています。

心理検査の中には、質問紙法（Y-G、TEGなど）、投影法（ロールシャッハ、P-Fスタディなど）、作業検査法（知能検査など）と大きく分けると3つの分野があります。この講義では、その中の代表的なものを扱いながらも、心理検査全体を網羅した授業を行いたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

パーソナリティ論、心理検査の存在性などから入り、質問紙法、作業検査法、投影法という流れで進めていきます。

履修上の留意点

福祉という立場から、直接心理検査に携わる人は少ないかもしれませんが、この講義を通して、心理検査という角度からの人間観察を行う目を養ってもらいたいと思っています。

成績評価の方法

出席はもちろんのこと平常点（授業態度など）は重視します。また、単に心理検査の結果を数字で見ただけではなく、自分の感性を大事にして欲しいので、自分の言葉を使っていかに自己分析するかを大事な評価にしたいと思います。

教科書

今のところ特に考えていませんが、必要に応じて紹介します。

参考書等

教科書同様、必要に応じて紹介します。

その他

心理検査を体験してもらおう実習形式やグループ討議やレポート提出なども行う予定です。机上の空論にならないように心がけたいと思っています。



科目名	環境心理学	開講	通年	単位	4
担当	福1234選				
担当者名	おおの りゆうぞう 大野 隆造				

#### 講義のねらい

人間は環境を操作・改変し、逆に環境は人間の心理・行動あるいは発達に影響を及ぼす。この人間と環境との相互作用を理解することは、住みよい建築・都市を構想する上で重要である。本講義では、人が環境をどのように知覚し、判断し、記憶し、評価しているか、また対人的な社会行動において環境がどのように影響するかなどについて講じる。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 環境心理学の沿革
- 2 環境心理学と環境デザイン
- 3 環境知覚の特性
- 4 環境認知とイメージ
- 5 小空間のエコロジー：テリトリー・プライバシー
- 6 環境デザインと防犯性
- 7 子ども、老人、ハンディキャップの知覚と行動
- 8 環境の伝える意味
- 9 環境知覚・認知の文化差
- 10 環境心理を捉える調査・研究方法
- 11 環境を記述する方法・環境シミュレーション
- 12 環境設計のデザインガイドライン

#### 成績評価の方法

講義中に課す演習レポートおよび期末試験により評価

#### 参考書等

日本建築学会編『人間環境学—よりよい環境デザインへ—』（朝倉書店）1998  
中島・大野編『人間行動学講座第3巻「すまう」』（朝倉書店）1996

科目名	社会政策	開講	通年	単位	4
担当	福1234選				
担当者名	みつおか はくみ 光岡 博美				

#### 講義のねらい

最後に私は2006年4月より1年間、琉球大学（沖縄）に留学しました。従って、時間的余裕があれば、現代沖縄の社会・経済問題についても講義したいと考えています。

#### 履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

#### 成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。但し、受講者が多い場合は実施できない場合もある。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

#### 教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科目名	行政法	開講	通年	単位	4
配当	福1234選				
担当者名	鶏徳 啓登				

講義のねらい

現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後50年経過して、国外的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。

本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 行政とは何か 2. 行政の原則 3. 行政法の意義と解釈 4. 行政作用の分類と内容・効力 5. 行政行為の瑕疵と効力 6. 行政手続 7. 行政上の強制の方法と制裁 8. 国家による賠償と補償 9. 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

教科書

原田尚彦著 『行政法要論』(学陽書房) 3,000円  
『小六法』 出版社・定価各種

参考書等

塩野宏著 『行政法I・II』(有斐閣) 4,000円 その他、教場にて説明。

科目名	労働法	開講	通年	単位	4
配当	福1234選				
担当者名	ふじもと しげる 藤本 茂				

#### 講義のねらい

今日、雇用社会は、能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。たとえば、労働基準法改正、労働時間、男女雇用平等、労働契約法制定案などです。本講義ではこの雇用関係法領域を中心に、基礎的な知識を身につけてもらうことを念頭においています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

下記事項について、基礎的知識を学びつつ、現代的課題に言及します。詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 集団的労働条件の決定・変更－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

#### 履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo。そして無断で席を立つこともNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。

#### 成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、レポートなどとともに、総合的に評価します。確認テストや中間試験も対象です。出席も考慮します。追試験は実施します。

#### 教科書

道しるべとして、浜村彰ほか著『ベーシック労働法』（有斐閣）か浅倉むつ子ほか著『労働法』（有斐閣）のうち1冊を購入して自宅学習に使ってください。受講者は必ず、1冊は用意してください。

#### 参考書等

概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において紹介します。六法は最新のもの（法律改正や制定があるので特に注意）。そして、労基法施行規則の載っているものを用意してください。

#### その他

各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら授業を進めます。

科目名	民法	開講	通年	単位	4
配当	福1234選				
担当者名	おのみや たかし 大宮 隆				

#### 講義のねらい

家族を研究対象とするとき、哲学・心理学・社会学・歴史・経済・医学など、さまざまな角度からアプローチすることが可能である。これを法律の視点からみると、民法という法律の中に、講学上家族法とよばれる法分野があり、民法第4編・第5編がこれに該当する。家族法は、我々の生活の中でも、結婚・離婚・親子・相続といった日常的で、親しみやすい家族生活に関する法律である。各種試験（たとえば家庭裁判所調査官）に対応できる講義をしたいと思っている。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 親族  
親族の概念、範囲、効果
2. 婚姻  
成立、効果、解消、婚約及び内縁
3. 親子  
親子の種類、実子、養子
4. 親権  
成立、効力、消滅
5. 後見及び保佐  
機関、事務、終了
6. 相続  
相続制度の基礎、開始、相続人、効力、承認放棄、遺留分、相続人の不存在
7. 遺言  
方式、効力、執行

#### 履修上の留意点

六法を常に持参すること。

#### 成績評価の方法

年2回程度の小テストと年度末の定期試験による。

#### 教科書

『新民法概説（3）親族・相続〔改訂版〕』（有斐閣双書）1,800円

#### 参考書等

適宜紹介する。

科目名	経済原論	開講	通年	単位	4
配当	福1234選				
担当者名	村松 幹二				

#### 講義のねらい

経済学の基礎概念を学び、現代経済への理解を深めることを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、マクロ経済学を中心に、経済学の考え方と日本経済の現状、国際経済について解説する。  
後期は、ミクロ経済学を中心に、消費者行動、企業行動、市場競争と政府の役割について解説する。

#### 成績評価の方法

成績評価は、期末試験による。

#### 教科書

未定

科目名	社会福祉援助技術現場実習I	開講	通年	単位	2
配当	福2選(14年度以降入学生) 福2必(13年度以前入学生)				
担当者名	あらい ひろみち 荒井 浩道				

#### 講義のねらい

- ・社会福祉援助技術現場実習の意義の理解
- ・社会福祉専門職の業務の理解
- ・社会福祉施設・機関の特徴・役割の理解
- ・配属実習に向けた心構え／倫理観の形成
- ・各自の配属実習希望分野の明確化

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

この授業では、社会福祉援助技術現場実習の意義を理解するとともに、社会福祉専門職の業務、社会福祉施設・機関の特徴・役割について理解を深めます。また、この授業は配属実習を含む社会福祉援助技術現場実習IIの事前学習であるため、配属実習に向けた心構え／倫理観の形成を目指し、また各自の配属実習希望分野を明確にすることが求められます。授業形態としては、ビデオ教材の視聴、グループディスカッション、プレゼンテーション、福祉現場の専門従事者からの話題提供、配属実習修了者との意見交換を行います。またこの授業において、配属実習のスクリーニングが実施されます。なお、この授業は変則的な開講形態を採用していません。詳しくは初回の授業で説明します。

#### 履修上の留意点

授業への主体的参加を期待します。原則として、無断欠席は認められません。

#### 成績評価の方法

出席、レポート、授業への参加状況等により総合的に評価します。

#### 教科書

特に指定しません。必要な資料を随時配布します。

#### 参考書等

授業のなかで随時指示します。

#### その他

この授業は社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な指定科目のひとつです。  
この授業の単位未修得者は、原則として社会福祉援助技術現場実習II、精神保健福祉援助実習の履修を認めません。

科目名	社会福祉援助技術現場実習II	開講	通年	単位	4
配当	福3選				
担当者名	いとう しゅういち おばた かず きりはら ひろゆき とうじょう みつまさ ながお じょうじ 伊藤 秀一・小畑 和・桐原 宏行・東條 光雅・長尾 譲治				

#### 講義のねらい

本授業は、「社会福祉士」国家試験受験資格の取得に必要な指定科目の一つである。将来、福祉事務所等の公的機関におけるソーシャルワーカーや児童施設・老人施設・障害者施設等の生活指導員、社会福祉協議会におけるコミュニティワーカーなどの専門職として従事していくために必要不可欠となる実践的知識、専門的援助者としての対人態度、職業的倫理観の形成を目指すものである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業の内容は、1年間のクラスワークと4週間の配属実習から構成される。クラスワークでは、主に、事前学習として各自が配属予定となっている諸機関・施設に関する検討、配属実習における達成課題の設定と自己評価の視点の確立（これらに関しては実習Iにおける基礎学習をさらに発展させるものである）を行い、配属実習後に事後指導として、実習終了者の報告とそれに対するディスカッションを行う。

また、実習終了者は「現場実習総括レポート集」の原稿作成が義務づけられる。

#### 履修上の留意点

受講の条件として、前年の「社会福祉援助技術現場実習I」の単位を修得し、かつ事前のスクリーニングにおいて配属実習の実施が許可されていることを原則とする。

#### 成績評価の方法

成績は、学内でのクラスワークへの参加状況、配属先からの評価、総括レポートを総合して行う。

#### 参考書等

『社会福祉施設現場実習指導マニュアル』、日本社会事業学校連盟・全国社会福祉協議会編、全国社会福祉協議会  
『社会福祉基本用語辞典』、日本社会福祉実践理論学会編（川島書店）

科目名	社会福祉援助技術演習I	開講	通年	単位	2
配当	福3選				
担当者名	荒井 浩道 <small>あらい ひろみち</small>				

講義のねらい

この授業では社会福祉援助技術における直接援助、間接援助、関連援助の各技法を体験的に学習します。

講義の内容・授業スケジュール

- ・自己覚知
- ・価値観と他者理解
- ・援助的コミュニケーション
- ・個別援助の技法
- ・集団援助の技法
- ・地域援助の技法
- ・社会福祉調査の技法
- ・その他関連援助の技法

履修上の留意点

授業への主体的参加を期待します。

成績評価の方法

出席、レポート、授業への参加状況等により総合的に評価します。

教科書

特に指定しません。必要な資料を随時配布します。

参考書等

授業のなかで随時指示します。

その他

この授業は社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な指定科目のひとつです。  
この授業は社会福祉援助技術現場実習IIの履修を許可された学生だけが登録できます。  
この授業は演習形式で行われます。したがって授業内容は、事例検討、ロールプレイ、ディスカッション、プレゼンテーションが中心となります。

科目名	社会福祉援助技術演習I	開講	通年	単位	2
配当	福3選				
担当者名	北島 英治 <small>きたじま えいじ</small>				

講義のねらい

社会福祉援助技術における個別援助を強調しながら、社会福祉実践にともなう専門価値、専門役割、専門知識、専門技術を修得する。ソーシャルワークの視点から、個人を理解することは、また、個人へのかかわり方はどのようなものであるか、演習を通して体験的な理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

ここでは社会福祉の法律・制度の中や、制度の整備されていない民間で働く社会福祉の専門家や、その専門性について学ぶ。この専門性をソーシャルワークと呼び、その専門家をソーシャルワーカーと呼ぶことがある。わが国においては、社会福祉士の国家資格取得受験科目である「社会福祉援助技術」関連科目の一環として、「演習I」に関して演習形式で学ぶ。ビデオを見たり、事例研究やロールプレイを行う。

成績評価の方法

授業参加とレポート提出により評価を行う。

教科書

『ソーシャルワーク演習(上)』(有斐閣)  
社会福祉教育方法・教材開発研究会編集『新社会福祉援助技術演習』(中央法規)

科目名	社会福祉援助技術演習I	開講	通年	単位	2
配当	福3選				
担当者名	讃岐 <sup>さぬき</sup> 真佐子 <sup>まさこ</sup>				

#### 講義のねらい

社会福祉に携わる場面では、何よりもその目の前の人をどう理解して関わるか、そしてどのように対応していくかというその質が問われてくると思われる。この演習では他者に援助していくとはどういうことかを、主にまず「いかに人の話を聴くか」という観点から、いくつかの体験的学習を通して徹底的に学んでいきたいと思います。また本演習は国家試験「社会福祉士」の受験資格の取得に必要な指定科目の1つである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は「聴く事」をめぐる諸講義、そしてまず自分自身により気づくためのワーク・プログラムを経て、受講者がペアーを組み各々がワーカーとクライアント役割を取るロールプレイ（役割演技法）を実施していく。後期もさらにそれを深めていくと同時に、社会福祉に役立つ臨床心理的知見（心の健康に関する諸知識や様々な症状、問題行動など）を折にふれて伝えていきたい。

#### 履修上の留意点

出席を重視し、各ワークへの参加が不可欠となる。ロールプレイは逐語録を作成して自分の発表日に資料として配布する。発表日は前もってわかるので、各自の責任において実施する事（万一発表の出来ない場合は評価対象外となる）。また本演習に引き続き同じクラスで同演習IIを行うので、同時に取得することが望ましい。

#### 成績評価の方法

出席状況、授業への参加度、レポート提出に基づいて評価する。

#### 教科書

必要な資料は随時配布する。

#### 参考書等

- ・尾崎新著『対人援助の技法』（誠信書房）
- ・尾崎新編著『「現場」のちから』（誠信書房）
- ・河合隼雄著『カウンセリングの実際問題』（誠信書房）
- ・鎌幹一郎著『試行カウンセリング』（誠信書房）

#### その他

なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習II」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。



科目名	社会福祉援助技術演習I	開講	通年	単位	2
配当	福3選				
担当者名	ながお じょうじ 長尾 譲治				

#### 講義のねらい

本演習は、社会福祉士指定科目の1つであり、IとIIを同時に履修することになる。社会福祉に必要な専門援助技術について、他の援助技術関連の講義及び現場実習と関連させながら、実技指導を中心とする演習形態によって身につけることを目的としている。また、高齢者・障害者・児童等への援助に関する具体的事例を取り上げ、福祉倫理や知識、方法についても深く検討する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 対人コミュニケーション技術  
社会福祉専門職に求められるコミュニケーション技術の実践トレーニング
- 2 ケースワーク技術の習得  
事例研究／ロールプレイ
- 3 グループワーク技術の習得  
グループワークの計画と実践
- 4 間接援助技術の習得  
コミュニティ・ワーク、ソーシャルワーク・リサーチ、ケアマネジメントの模擬実践

#### 履修上の留意点

技術演習であるため、実技への参加やディスカッションなど、学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動することが求められる。

#### 成績評価の方法

毎回の授業への出席が前提である（実習等による公欠を除く）。その他、受講姿勢や随時実施する課題の提出状況等を総合的に判断する。

#### 教科書

特に指定しない。

#### 参考書等

学生諸君の技術習得に役立つ図書を講義中、随時紹介する。

#### その他

なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習II」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科目名	社会福祉援助技術演習I	開講	通年	単位	2
担当	福3選				
担当者名	むらた かずあき 村田 一昭				

#### 講義のねらい

社会福祉援助技術演習は、ソーシャルワーク実践に必要な基本的援助技術の理解と習得を目的とした科目です。そこで本演習では、ソーシャルワーカーとして身につけておきたい基本的援助技術について、子ども家庭福祉領域を中心に、担当者の実体験も交えつつ、実技や討議、事例検討などの個別的・集団的な体験学習を通して、その理解を深めるとともに、実践力として習得することを目指します。併せて、子どもと家庭のウェルビーイング (well-being) をめざすソーシャルワーク実践についての考察も深めていきたいと思えます。

なお、本演習は、「社会福祉士」の受験資格取得に必要な指定科目のひとつです。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期：ソーシャルワーカーの基礎的援助技術

①自己理解と他者理解、②援助的コミュニケーション、③面接技法、④個人の価値と専門職の価値

後期：子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践事例から学ぶ援助技術

#### 履修上の留意点

演習は、個人ワークと5名前後のグループワークを組み合わせで行います。演習が明るく、活発に行われるためには、受講生の主体的・積極的な参加が不可欠です。さらに受講生相互の参加意欲を高め、学習効果を上げるためにも、お互いに尊重しあい、受容的な姿勢で接することを求めます。

#### 成績評価の方法

出席と実技および討議への参加状況、小レポート（各演習の振り返り）によって評価します。

#### 参考書等

・社会福祉教育方法・教材開発研究会編『新社会福祉援助技術演習』中央法規 ￥2,500（税別）

・福祉士養成講座演習委員会編『社会福祉援助技術演習』（新版社会福祉士養成講座⑤）中央法規 ￥2,500（税別）

・北島英治・副田あけみ他編著『ソーシャルワーク実習（上）』（社会福祉基礎シリーズ④社会福祉援助技術演習）有斐閣 ￥1,900（税別）

※その他、随時紹介します。

#### その他

授業は、実技（ロールプレイなど）やグループ討議とその振り返りが中心となります。

本科目は、「社会福祉援助技術現場実習II」の履修を許可された学生のみが登録できます。クラス分けは事前に提示されるので、注意しておいてください。

科目名	社会福祉援助技術演習II	開講	通年	単位	2
配当	福3選				
担当者名	あらい ひろみち 荒井 浩道				

講義のねらい

この授業は社会福祉援助技術演習Iの授業に引き続いて行われます（連続授業）。社会福祉援助技術演習Iと同様に社会福祉援助技術における直接援助、間接援助、関連援助の各技法を体験的に学習します。

講義の内容・授業スケジュール

社会福祉援助技術演習Iを参照してください。

履修上の留意点

社会福祉援助技術演習Iを参照してください。

成績評価の方法

社会福祉援助技術演習Iを参照してください。

教科書

社会福祉援助技術演習Iを参照してください。

参考書等

社会福祉援助技術演習Iを参照してください。

その他

社会福祉援助技術演習Iを参照してください。

科目名	社会福祉援助技術演習II	開講	通年	単位	2
配当	福3選				
担当者名	きたじま えいじ 北島 英治				

講義のねらい

社会福祉援助技術における個別援助に加え集団援助を強調しながら、社会福祉実践にともなう専門価値、専門役割、専門知識、専門技術を修得する。ソーシャルワークの視点から、個人と集団を理解するとは、また、個人と集団へのかかわり方はどのようなものであるか、演習を通して体験的な理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

ここでは社会福祉の法律・制度の中や、制度の整備されていない民間で働く社会福祉の専門家や、その専門性について学ぶ。この専門性をソーシャルワークと呼び、その専門家をソーシャルワーカーと呼ぶことがある。わが国においては、社会福祉士の国家資格取得受験科目である「社会福祉援助技術」関連科目の一環として、「演習II」に関して演習形式で学ぶ。ビデオを見たり、事例研究やロールプレーを行う。

成績評価の方法

授業参加とレポート提出により評価を行う。

教科書

『ソーシャルワーク演習（下）』（有斐閣）  
社会福祉教育方法・教材開発研究会編集『新社会福祉援助技術演習』（中央法規）

科目名	社会福祉援助技術演習II	開講	通年	単位	2
配当	福3選				
担当者名	讃岐 <sup>さぬき</sup> 真佐子 <sup>まさこ</sup>				

講義のねらい

本演習IIは社会福祉援助技術演習Iに引き続いて行われ、Iと同様ソーシャルワークの基本的援助技術について体験的に学習し、その技術を習得することをその目的としている。また本演習IIも国家試験「社会福祉士」の受験資格の取得に必要な指定科目の1つである。

講義の内容・授業スケジュール

社会福祉援助技術演習Iを参照

履修上の留意点

社会福祉援助技術演習Iを参照

成績評価の方法

社会福祉援助技術演習Iを参照

教科書

必要な資料は随時配布する。

参考書等

- ・尾崎新著『対人援助の技法』（誠信書房）
- ・尾崎新編著『「現場」のちから』（誠信書房）
- ・河合隼雄著『カウンセリングの実際問題』（誠信書房）
- ・鑑幹八郎著『試行カウンセリング』（誠信書房）

その他

なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習II」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科目名	社会福祉援助技術演習II	開講	通年	単位	2
担当	福3選				
担当者名	なかお じょうじ 長尾 譲治				

#### 講義のねらい

本演習は、社会福祉士指定科目の1つであり、IとIIを同時に履修することになる。社会福祉に必要な専門援助技術について、他の援助技術関連の講義及び現場実習と関連させながら、実技指導を中心とする演習形態によって身につけることを目的としている。また、高齢者・障害者・児童等への援助に関する具体的事例を取り上げ、福祉倫理や知識、方法についても深く検討する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 対人コミュニケーション技術  
社会福祉専門職に求められるコミュニケーション技術の実践トレーニング
- 2 ケースワーク技術の習得  
事例研究／ロールプレイ
- 3 グループワーク技術の習得  
グループワークの計画と実践
- 4 間接援助技術の習得  
コミュニティ・ワーク、ソーシャルワーク・リサーチ、ケアマネジメントの模擬実践

#### 履修上の留意点

技術演習であるため、実技への参加やディスカッションなど、学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動することが求められる。

#### 成績評価の方法

毎回の授業への出席が前提である（実習等による公欠を除く）。その他、受講姿勢や随時実施する課題の提出状況等を総合的に判断する。

#### 教科書

特に指定しない。

#### 参考書等

学生諸君の技術習得に役立つ図書を講義中、随時紹介する。

#### その他

なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習II」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科目名	社会福祉援助技術演習II	開講	通年	単位	2
配当	福3選				
担当者名	むらた かずあき 村田 一昭				

#### 講義のねらい

本演習は、社会福祉援助技術演習Iと同じく、ソーシャルワーク実践の基本的援助技術について、子ども家庭福祉領域を中心として、実技や討議、事例検討を通じて理解するとともに、その習得を目的としています。併せて、子どもと家庭のウェルビーイング（well-being）をめざすソーシャルワーク実践についての考察も深めていきたいと思ひます。

なお、本演習は、「社会福祉士」の受験資格取得に必要な指定科目のひとつです。

#### 講義の内容・授業スケジュール

社会福祉援助技術演習Iを参照してください。

#### 履修上の留意点

社会福祉援助技術演習Iを参照してください。

#### 成績評価の方法

社会福祉援助技術演習Iを参照してください。

#### 参考書等

- ・社会福祉教育方法・教材開発研究会編『新社会福祉援助技術演習』中央法規 ￥2,500（税別）
  - ・福祉士養成講座演習委員会編『社会福祉援助技術演習』（新版社会福祉士養成講座15）中央法規 ￥2,500（税別）
  - ・北島英治・副田あけみ他編著『ソーシャルワーク実習（上）』（社会福祉基礎シリーズ④社会福祉援助技術演習）有斐閣 ￥1,900（税別）
- ※その他、随時紹介します。

#### その他

授業は、社会福祉援助技術演習Iと連続で行います。内容は実技（ロールプレイなど）やグループ討議とその振り返りが中心となります。

本演習は、「社会福祉援助技術現場実習II」の履修を許可された学生のみが登録できます。クラス分けは事前に掲示されますので、注意しておいてください。

科目名	精神科リハビリテーション学	開講	通年	単位	4
配当	福34選				
担当者名	城田 晴夫 <small>しろた はるお</small>				

#### 講義のねらい

この授業では、精神障害をもつ人々が職場や住み慣れた地域の中で障害のない人々と共に働き、暮らしていける力、市民社会を共に築いていける力を最大限に持てるように援助する精神科リハビリテーションを学ぶ。近年国家資格となった精神科ソーシャルワーカー（PSW）に関心のある学生を主に対象とする。学問としてはまだまだ新しく耳慣れないが、一部アメリカで行なわれているリハビリテーションの実状並びにその技法を紹介しつつ、より良いリハビリテーションを考えていきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業は、精神科リハビリテーションの概念、精神科リハビリテーションの構成、精神科リハビリテーションのプロセスと技術、精神科リハビリテーションにおける連携と統合、精神科リハビリテーションの関連領域、の順に教科書に沿って進めていく。

#### 履修上の留意点

履修する学生は、積極性、活動性のあると思う者・人の世話をすることに関心のある者が期待される。

#### 成績評価の方法

成績評価については、出席重視、レポート提出（夏休みの課題、学期中の課題、冬休みの課題などでのレポート提出）、試験の総合評価とします。

#### 教科書

『精神科リハビリテーション学（第3巻：精神保健福祉士養成セミナー）』（へるす出版）  
3,200円  
『図説精神障害リハビリテーション』（中央法規）

#### 参考書等

授業で随時紹介します。

科目名	精神保健福祉援助演習	開講	通年	単位	4
配当	福34選				
担当者名	佐藤 光正 <small>さとう こうせい</small>				

#### 講義のねらい

精神保健福祉士は、精神障害者の保健福祉に関する専門的な知識及び技術をもって、精神障害者の社会復帰、社会参加や自立を促進する相談業務等を担う。そのための具体的な援助技術を習得するための演習を行う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

障害者自立支援法の時代に即した援助に必要な（1）利用者の理解（2）コミュニケーション技術（3）ケースワーク援助（4）グループワーク援助（5）コミュニティワーク援助（6）ケアマネジメント援助（7）自己点検と自己理解などを演習する

#### 履修上の留意点

授業への主体的な参加が必須である。

#### 成績評価の方法

平常点（出席状況、授業態度、課題提出状況）を中心に総合的に評価する。

#### 教科書

必要に応じて指示する。

#### 参考書等

必要に応じて随時紹介する。

科目名	精神保健福祉援助実習	開講	通年	単位	6
配当	福34選				
担当者名	佐藤 光正				

#### 講義のねらい

実習は、精神保健福祉士をめざす者にとって大事な体験学習となる。ここでは、まず第一に現場の状況を知りそこで展開される現場での援助とこれまで学習してきた知識としての援助を結びつけて体験的に習得する必要がある。そして自己理解を行った上で、今後自分が精神保健福祉領域のソーシャルワーカーとしてやっていく基礎を体験的に学ぶ。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 精神障害者と精神医療の理解 a 精神疾患の理解 b 医療機関・社会復帰施設の理解 c 精神保健福祉法の理解 d 障害者自立支援法の理解
- 2 PSW業務の理解 a PSWが配置されている意味の理解 b PSWが行う業務の理解 c 活用する社会資源の把握
- 3 援助関係のあり方についての洞察 a ケースワーク技術 b グループワーク技術 c リハビリテーション技術 d コミュニティワーク技術 e ケアマネジメント技術
- 4 実習目標の設定～まとめ a 実習目標の明確化 b 実習記録作成 c 実習レポート作成 d 実習報告

#### 履修上の留意点

すでに社会福祉全般の科目及び精神保健福祉に関して基礎的な科目を修めていることを前提とする。なお受講の条件として前年度までに「社会福祉援助技術現場実習I」の単位を修得し、かつスクリーニングにおいて配属実習の実施が許可されていることを原則とする。また授業および実習への主体的な参加が必須であることはいうまでもない。

#### 成績評価の方法

授業での平常点（出席状況、授業態度、課題提出状況）もさることながら、年間をとおしたプロセスの中で”ほう（報告）、れん（連絡）そう（相談）”をしながら実習が行われたか、また実習先の評価等も総合的に評価する。

#### 参考書等

必要に応じて随時紹介する。



## II 專 門 教 育 科 目

### 7 心 理 学 科



## Ⅱ. 専門教育科目

### (7) 心理学科

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
心理学概論	心1必	通年	4	間島 英俊	913
心理統計学	心1必	通年	4	奥村太一	914
コンピュータ実習	心1必	通年	2	大塚 秀治	915
コンピュータ実習	心1必	通年	2	牧野 晋	916
コンピュータ実習	心1必	通年	2	軽部 幸浩	917
人格心理学	心12選必	通年	4	鈴木 常元	918
学習心理学	心12選必	通年	4	小野 浩一	919
社会心理学	心12選必	通年	4	有光 興記	920
臨床心理学	心12選必	通年	4	勝俣 暎史	921
生理心理学	心12選必	通年	4	谷口 泰富	922
認知心理学	心12選必	通年	4	佐藤 理晴	923
発達心理学	心12選必	通年	4	間島 英俊	924
心理学基礎実験	心2必	通年	2	有光 興記 佐藤 理晴 仲渡 江美 名取 志保 間島 英俊 鈴木 常元	925
心理学研究法	心2必	通年	4	小野 浩一	926
禅心理学	心3必	通年	4	茅原 正	927
心理学実験演習I				休講	
心理学実験演習II	心3選必	通年	2	深堀 友覚	928
心理学実験演習III	心3選必	通年	2	鈴木 常元	928
心理学実験演習IV	心3選必	通年	2	佐藤 理晴	929
心理学実験演習V				休講	
心理学実験演習VI	心3選必	通年	2	軽部 幸浩	929
心理学実験演習VII	心3選必	通年	2	間島 英俊	930
心理学実験演習VIII	心3選必	通年	2	勝俣 暎史	930
心理学実験演習IX	心3選必	通年	2	有光 興記	931
演習	心4必	通年	4	有光 興記	931
演習	心4必	通年	4	茨木 博子	932
演習	心4必	通年	4	小野 浩一	932
演習	心4必	通年	4	勝俣 暎史	933
演習	心4必	通年	4	鈴木 常元	933
演習	心4必	通年	4	谷口 泰富	934
演習	心4必	通年	4	茅原 正	934
演習	心4必	通年	4	間島 英俊	935
環境心理学	心234選	通年	4	大野 隆造	935
児童心理学	心234選	通年	4	澤田 匡人	936
産業心理学	心234選	通年	4	小野 公一	937

老年心理学	心234選	通年	4	中里 克治	938
宗教心理学	心234選	通年	4	葛西 賢太	939
健康心理学	心234選	通年	4	稲松 信雄	940
比較行動学	心234選	通年	4	幸島 和子	941
精神医学	心234選	通年	4	黄 ミンシュク	941
心理学特講I	心234選	通年	4	澤田 匡人	942
心理学特講II	心234選	通年	4	西田 順造 熊坂 敬典 栃倉 稔	943
心理学特講III	心234選	通年	4	萩原 滋	944
心理検査法I	心234選	通年	4	西脇 淳 佐藤 尚代	945
心理検査法II	心234選	通年	4	稲富 正治 加藤 博己	946
カウンセリング	心234選	通年	4	茨木 博子	947
情報処理I	心234選	通年	4	中丸 茂	948
情報処理II	心234選	通年	4	牧野 晋	949
宗教人類学	心234選	通年	4	佐藤 憲昭	950
心理学特殊演習	心3選	通年	4	有光 興記	951
心理学特殊演習	心3選	通年	4	茨木 博子	951
心理学特殊演習	心3選	通年	4	小野 浩一	952
心理学特殊演習	心3選	通年	4	鈴木 常元	952
心理学特殊演習	心3選	通年	4	谷口 泰富	953
心理学特殊演習	心3選	通年	4	茅原 正	953
心理学特殊演習	心3選	通年	4	間島 英俊	954
マス・コミュニケーション論	心234選	通年	4	川本 勝	954
産業・職業社会学				休講	
社会病理学	心234選	通年	4	山本 功	955
家族社会学				休講	
宗教社会学	心234選	通年	4	寺田喜朗	956
行政法	心1234選	通年	4	鷄徳 啓登	956
障害者福祉論	心1234選	通年	4	桐原 宏行	957
老人福祉論	心1234選	通年	4	東條 光雅	958
児童福祉論	心1234選	通年	4	村田 一昭	959
労働法	心1234選	通年	4	藤本 茂	960
民法	心1234選	通年	4	大宮 隆	961
経済原論	心1234選	通年	4	村松 幹二	961

科目名	心理学概論	開講	通年	単位	4
担当	心1必				
担当者名	間島 <sup>まじま</sup> 英 <sup>ひでとし</sup> 俊				

#### 講義のねらい

心理学は人間理解を科学的に究明する学問であるといえるでしょう。研究方法はさまざまであるが、その目的は同じであり、人間理解をどうして自己理解に結びつくものと思われま。講義では、諸君等がその問題を考えるための基本的事実にのみ限定して話していくことにします。心理学は科学であるために多くの近接領域の学問と関わっているがために、これらの事実もやがて過去の遺物になるかも知れません。そのためにも諸君等は科学の基礎としての心理学を学び、興味と向学心をもって、さらなる目標追求に役立ててほしいと思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義内容ならびに授業スケジュールは以下のとおりである。

- 1 ひととなりを考える
- 2 発達—自己から自己へのタイムトラベリング
- 3 “こころ”のゆきづまり
- 4 人と人との絆（家族と社会）
- 5 みること・きくこと
- 6 学ぶこと・考えること
- 7 こころを動かす・行動を起こす
- 8 人・仲間とかかわる
- 9 ことばとコミュニケーション

これらのテーマに基づいて、講義を中心に簡単な調査、検査、小実験を行なう予定でいます。

#### 成績評価の方法

基本的には12月最終講義にて行う試験にて評価しますが、出席はもとより調査、検査、実験への参加状況からも補助的に評価されます。

#### 教科書

根本・小島編著『理解とふれあいの心理学』（ミネルヴァ書房）2,300円

#### 参考書等

講義内にて紹介します。資料はその都度配布しますが、欠席したものへの後日配布はしません。

科目名	心理統計学	開講	通年	単位	4
配当	心1必				
担当者名	おくむら たいち 奥村 太一				

#### 講義のねらい

心理学研究を行う上で統計学の知識は不可欠です。統計学を理解していなければ2年生以降、実験レポートや卒業論文で苦労するだけでなく、心理学の研究論文を読んでも理解することができません。本講義では単に計算の仕方を覚えるのではなく、統計学の基本的な考え方や結果の読み取り方を身につけることを目的とします。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) ガイダンス・心理学における統計学  
(2~5) 1変数に関する記述的指標(度数分布・代表値・散布度)  
(6~8) 2変数に関する記述的指標(共分散・相関係数・連関係数)  
(9~13) 推測統計の基礎(母集団・標本・標本分布)  
(後期) (14・15) 統計的仮説検定の考え方  
(16・17) 相関係数の検定・独立性の検定  
(18・19) 平均値に関するt検定  
(20~26) 分散分析(1要因・2要因)・まとめ

#### 履修上の留意点

中学校程度の数学的知識を前提に講義を進めます。扱う内容の易しいものではなく量も多いので、かなりの努力が必要であることを覚悟してください。また、一度学習した内容はその後の内容の基礎となる「積み上げ式」ですので、毎回学習した内容はそのつど復習して確実に身につけていってください。

#### 成績評価の方法

前期に中間試験、後期に期末試験を行います。

#### 教科書

山田剛史・村井潤一郎『やわらかアカデミズムわかるシリーズ・よくわかる心理統計』(ミネルヴァ書房)

#### 参考書等

南風原朝和『心理統計学の基礎—総合的理解のために—』(有斐閣アルマ)  
吉田寿夫『本当にわかりやすいすごく大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本』(北大路書房)  
その他、講義中に適宜紹介します。

#### その他

原則として講義形式で進めます。

科目名	コンピュータ実習	開講	通年	単位	2
配当	心1必				
担当者名	おおつか ひではる 大塚 秀治				

#### 講義のねらい

現代社会においてコンピュータは必須の情報処理装置である。とりわけ、大学生にとってのコンピュータは知的作業を行う上で最低限習得しなければならないツールである。すでに高校時代にコンピュータを利用した授業を経験したのも多いと思うが、本講義では大学で必要とされる知的生産を支援するものとしてのコンピュータの利用法を徹底的に習得する。大学に入ってからコンピュータをはじめ本格的に利用する学生もまだいると思われるので、コンピュータについてまったくの初心者が独力でコンピュータを活用して心理学実験レポート等を作成する能力を養う。また、自分の得た結果や事実、考えを表現するための方法を習得する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業は全て実習形式で行う。1つのテーマごとに1から5時限をあて、毎回課題の提出を求める。今年度の具体的な内容については以下に記す。

- ・パソコンの基本操作
- ・タッチタイピングの完全習得（Type Quick を利用して）
- ・大学生として必要なドキュメント処理能力の習得（MS-Word）
- ・スプレッドシートの習得（MS-Excel による集計、グラフ、データベース）
- ・プレゼンテーションの実際（プレゼンテーションの基礎技術）
- ・電子的コミュニケーション（電子メールの利用法）
- ・Internet 利用の実際と注意（マナーやモラルについて）
- ・情報処理の基礎

#### 履修上の留意点

年間約22回程度の講義時間しかないため絶対的な時間が不足する。従って、週あたり2回から3回（1回2時間程度）の自習が必要となり、それに対応する課題が出される。自習には、情報教育センターを利用するとよい。自分で所有しているパソコンでも自習は可能である。詳細は開講時に説明する。

#### 成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、前期・後期末に行う筆記試験と合わせて総合的に評価する。経験則から連続2回欠席すると授業の進度についていけなくなる。なお、遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席とはならないので注意する。連続3回以上欠席したものは、その時点で期末試験の受験資格はない。なおこの科目は必修科目であるため単位の認定を受けられないものは翌年度の履修となるが、機器の関係で実習装置を与えられない可能性がある。従って1年次に履修を完了すること。

#### 教科書

教材は授業の中で全て配布する。それまでに配布された資料は授業に際して常に用意しておくこと。そのためにフォルダやファイルを用意するとよい。その他にフロッピーディスク数枚が必要となる。

#### 参考書等

授業中に最新のものを指示する。

#### その他

パソコンを独自に購入するのであれば、MS-Windows 対応のパソコンで MS-Windows と MS-Office が導入されているものを購入するとよい。詳細については開講時に解説する。なお、実習に必要な記憶メディアは学科が用意する。

科目名	コンピュータ実習	開講	通年	単位	2
配当	心1必				
担当者名	牧野 晋 <small>まきの すすむ</small>				

### 講義のねらい

現代社会においてコンピュータやコンピュータネットワークは必須のものである。「コンピュタリテラシー」は、大学生にとって最低限習得しておかねばならない基本技能の一つである。すでに高校時代にコンピュータを利用した授業を経験したものも多いと思うが、本講義では大学で必要とされる知的生産を支援するツールとしてのコンピュータ利用法を徹底的に習得する。

大学に入ってからコンピュータを初めて本格的に利用する学生もまだいると思われるので、コンピュータについて全くの初心者が独力でコンピュータを活用し、心理学実験レポートなどを作成したり、自分の考えを表現したりするための力を養う。

### 講義の内容・授業スケジュール

授業は全て実習形式で行う。1つのテーマごとに1～5時限をあて、毎回課題の提出を求める。

今年度の具体的な内容については以下に記す。

- ・パソコンの基本操作
- ・タッチタイピングの完全習得 (TypeQuick を利用して)
- ・大学生として必要なドキュメント作成処理能力の習得 (MS-Word)
- ・表計算ソフトの習得 (MS-Excel 基礎、関数、グラフ、データベース、統計処理基礎)
- ・プレゼンテーションの実際 (プレゼンテーションの基礎技術)
- ・電子的コミュニケーション (電子メールの利用法)
- ・インターネット利用の実際と注意 (マナーやモラルについて)
- ・情報科学の基礎 (データ内部表現、2進数と16進数、文字コード、基数変換等)

### 履修上の留意点

年間約22回程度の講義時間しかないため絶対的な時間が不足する。従って、週あたり2回から3回(1回2時間程度)の自習が必要となり、それに対応する課題が出される。自習には、情報教育センターを利用するとよい。自分で所有しているパソコンでも自習は可能である。詳細は開講時に説明する。

### 成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、前期・後期末に行う筆記試験と合わせて総合的に評価する。経験則から連続2回欠席すると授業の進捗についてこられなくなる。遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席とはならないので注意する。連続3回以上欠席したものは、その時点で期末試験の受験資格はない。

なお、この科目は必修科目であるため単位の認定を受けられない者は翌年度の履修となるが、2年目は機器の関係で実習装置を与えられない可能性がある。従って1年次に履修を完了すること。

### 教科書

- ・植松康祐/共著草薙信照/共著 太田忠一/編  
『文科系のためのコンピュタリテラシ [第3版]～Microsoft Office による～』サイエンス社、¥1,995、ISBN:4-7819-1085-8
- ・授業中に配布するプリント教材。  
配布された資料は過去のものを含めて持参する必要がある。  
そのためにA4サイズのフォルダやファイルを用意する必要がある。

### 参考書等

授業中に適宜指示する。

### その他

パソコンを独自に購入するのであれば、Windows XP 対応のパソコンで Windows と MS-Office が導入されているものを購入するとよい。ただし Office 導入モデルでは PowerPoint が入っていないことが多い。ソフトウェアを別途購入するほうがよい。詳細については開講時に解説する。なお、実習に必要な記憶メディア (USBメモリー) は学科が用意する。



科目名	コンピュータ実習	開講	通年	単位	2
配当	心1必				
担当者名	かるべ けいぶ 幸浩				

#### 講義のねらい

現代社会においてコンピュータは必須の情報処理装置である。とりわけ、大学生にとってのコンピュータは知的作業を行う上で最低限習得しなければならないツールである。すでに高校時代にコンピュータを利用した授業を経験したのも多いと思うが、本講義では大学で必要とされる知的生産を支援するものとしてのコンピュータの利用法を徹底的に習得する。大学に入ってからコンピュータをはじめ本格的に利用する学生もまだいると思われるので、コンピュータについてまったくの初心者が独力でコンピュータを活用して心理学実験レポート等を作成する能力を養う。また、自分の得た結果や事実、考えを表現するための方法を習得する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業は全て実習形式で行う。1つのテーマごとに1から5時限をあて、毎回課題の提出を求める。今年度の具体的な内容については以下に記す。

- ・パソコンの基本操作
- ・タッチタイピングの完全習得（Type Quick を利用して）
- ・大学生として必要なドキュメント処理能力の習得（MS-Word）
- ・スプレッドシートの習得（MS-Excel による集計、グラフ、データベース）
- ・プレゼンテーションの実際（プレゼンテーションの基礎技術）
- ・電子的コミュニケーション（電子メールの利用法）
- ・Internet 利用の実際と注意（マナーやモラルについて）
- ・情報処理の基礎

#### 履修上の留意点

年間約22回程度の講義時間しかないため絶対的な時間が不足する。従って、週あたり2回から3回（1回2時間程度）の自習が必要となり、それに対応する課題が出される。自習には、情報教育センターを利用するとよい。自分で所有しているパソコンでも自習は可能である。詳細は開講時に説明する。

#### 成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、前期・後期末に行う筆記試験と合わせて総合的に評価する。経験則から連続2回欠席すると授業の進捗についていけなくなる。なお、遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席とはならないので注意する。連続3回以上欠席したものは、その時点で期末試験の受験資格はない。なおこの科目は必修科目であるため単位の認定を受けられないものは翌年度の履修となるが、機器の関係で実習装置を与えられない可能性がある。従って1年次に履修を完了すること。

#### 教科書

教材は授業の中で全て配布する。それまでに配布された資料は授業に際して常に用意しておくこと。そのためにフォルダやファイルを用意するとよい。その他にフロッピーディスク数枚が必要となる。

#### 参考書等

授業中に最新のものを指示する。

#### その他

パソコンを独自に購入するのであれば、MS-Windows 対応のパソコンでMS-Windows と M-S-Office が導入されているものを購入するとよい。詳細については開講時に解説する。なお、実習に必要な記憶メディアは学科が用意する。

科目名	人格心理学	開講	通年	単位	4
配当	心12選必				
担当者名	鈴木 <sup>すずき</sup> 常元 <sup>つねもと</sup>				

講義のねらい

人格心理学の歴史的背景、理論について学ぶとともに、人格の測定技法についても習得することを旨とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず、人格心理学の歴史的背景について学ぶ。その上で、人格心理学のさまざまな理論を紹介していく。すなわち、精神分析等をはじめとする臨床心理学的な立場、人格形成に重点をおいた発達心理学的な立場、人間関係や社会・文化的な文脈から捉える社会心理学的な立場などである。また、これらに加えて、観察法、面接法、テスト法など、人格を測定するための、さまざまなアプローチについても紹介していく。

成績評価の方法

学期末のテストの成績に、授業への出席を加味し、総合的に評価する。

科目名	学習心理学	開講	通年	単位	4
担当	心12選必				
担当者名	おの こういち 小野 浩一				

### 講義のねらい

心理学でいう「学習」は単にものを覚えたり技術を習得することではなく、もっと幅広い「行動の変化」全体を含んでいる。毎日同じような生活を繰り返しているように見えても、数ヶ月あるいは数年前の自分の行動と今の自分の行動は異なっている。たとえば、「前は嫌いだった中島みゆきの曲を聴くようになった」、「朝早く起きるようになった」、「最近友達に会うのがつらい」などいろいろな変化に気づくだろう。

学習心理学の目的は人間の行動の成り立ちや行動変化の原因を科学的に明らかにすることである。さらに望ましい行動を増加させたり問題行動を減少させたり、あるいは快適な社会関係を築く方法を探究する。従って、人間や人間の行動そのものに興味がある人はもちろんだが、将来ヒューマンサービスの仕事を指す人にとっても学習心理学の知識は必須である。本講義は行動変化の2つの代表的な手続きであるレスポナント条件づけとオペラント条件づけを中心に、基礎的な知識から興味深い最新の研究までAV機器やビデオを併用して分かりやすく説明するつもりである。しかし、もともとテクニカルターム（専門用語）が多く内容も多岐にわたる領域なので、少しばかりの覚悟は必要である。

### 講義の内容・授業スケジュール

1. 人間と行動：行動とは何か
  - ①人間は機械ではない——「元気が出たり」「へこたれる」生体である
  - ②行動は身体の変化である、そして、身体変化の原因は環境にある
2. 学習についての基礎知識
  - ①3種類の環境変化がある
  - ②2種類の行動に注目しよう：レスポナント行動とオペラント行動
3. レスポナント行動（刺激に誘発される行動）の学習
  - ①レスポナント条件づけの仕組み
  - ②レスポナント条件づけの基本現象：般化、弁別、消去
  - ③レスポナント条件づけはパブロフの条件反射だけではない：  
評価条件づけ、免疫機構の条件づけ、意識、感情の条件づけ
  - ④レスポナント条件づけについての新しい発見と考え方：  
味覚嫌悪学習、関係性の学習、複合刺激の学習
4. オペラント行動（結果によって変化する行動）の学習
  - ①結果の重要性——通行禁止！「忠告」「貼り紙」はなぜ効かない？
  - ②オペラント条件づけの基本：行動随伴性（強化と弱体化）
  - ③新しい行動の獲得：動物実験に学ぶ
  - ④行動を変化（増加、減少、維持、消失）させる手続き
  - ⑤行動は時と場所そして相手や状況によって変化する：刺激性制御
  - ⑥嫌悪刺激による行動の変化
5. ことばと行動——言語はオペラント行動である
  - ①ことばの基本：聞き手としての行動、名前づけ、刺激等価性
  - ②ことばの働き——どんなときに何を言うのだろう
  - ③ことばによる行動の制御：ルール支配行動と言行一致訓練
6. オペラント条件づけ研究の展開
  - ①不確実場面における行動：確率学習、迷信行動
  - ②選択行動——今の10万円と3年後の15万円では？
  - ③なぜ行動はマンネリ化するか：獲得と遂行、行動変動性
  - ④性格は個人に特有の行動パターン：遺伝と過去経験
7. 社会的行動  
競争や協力関係は環境によって作られる
8. 応用行動分析  
オペラント条件づけの知見を自分自身や社会に活かす

### 成績評価の方法

出席と定期試験による総合評価

### 教科書

小野浩一著『行動の基礎＝豊かな人間理解のために』（培風館）

科目名	社会心理学	開講	通年	単位	4
配当	心12選必				
担当者名	ありみつ こうき 有光 興記				

#### 講義のねらい

社会心理学と臨床—カウンセリング心理学の接点に焦点をあて、感情的、行動的問題の発現・診断・治療の過程を理解するために必要な社会心理学の基本的概念および理論について論ずる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

他者の「まなざし」をきっかけに、我々は恥、あがり、罪悪感を経験し、行動を制御するが、過度な内気から人づきあいが困難になることがある。また、他者への意識は、化粧、ダイエットなどの外見への配慮や様々な自己アピールにつながる。前期では、こうした他者の存在と我々の心理状態の関係について講義を行う。また、集団と組織の中での心理状態についても触れる。後期では、主として「あがり」をテーマに、社会的状況、感情状態、その結果の関係を明確にして、対策としてストレスマネジメント、メンタルトレーニング、認知行動療法などの手法を紹介する。

#### 履修上の留意点

特になし。

#### 成績評価の方法

筆記試験を前期、後期に行う。また、授業中の課題の提出を評価する。試験と課題提出を総合して成績評価をする。

#### 教科書

前期：菅原健介編『ひとの目に映る自己』（金子書房）  
後期：有光興記『“あがり”とその対処法』（川島書店）

#### 参考書等

坂本真士・佐藤健二編『はじめての臨床社会心理学』（有斐閣）

#### その他

授業の方法は講義とする。

科目名	臨床心理学	開講	通年	単位	4
配当	心12選必				
担当者名	かつまた てるちか 勝俣 暎史				

#### 講義のねらい

近年、社会的構造の変化に伴い、幼児から高齢者に至る種々な年齢層において、かつてない種々な問題が多発しており、臨床心理学に対する関心・期待も高まっている。本講では、臨床心理学の歴史展望を踏まえて、臨床心理学とは何か、臨床心理学の果たすべき課題は何か、臨床心理学はどのような貢献ができるか、などに関する基礎的知見について概観する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- I. 臨床心理学の歴史
- II. 臨床心理学とは：（１）心理学とは、（２）臨床心理学の定義、（３）問題行動の意味、（４）臨床心理学の領域
- III. 心理アセスメント（査定）：（１）問題行動の心理アセスメント、（２）行動観察によるアセスメント、（３）面接法によるアセスメント、（４）心理検査によるアセスメント
- IV. 心理療法の理論と実際：（１）心理療法とは、（２）認知的コンピタンス焦点療法、（３）身体的コンピタンス焦点療法、（４）社会的コンピタンス焦点療法、（５）生活コンピタンス焦点療法、（６）総合的自己評価コンピタンス焦点療法

#### 履修上の留意点

一連の講義は連続したものであり、実習形式の授業も行うので欠席しないよう留意されたい。

#### 成績評価の方法

出席、レポートおよび定期試験成績を総合して行う。

#### 教科書

勝俣暎史『コンピタンス心理学—教育・福祉・ビジネスに活かす』（培風館）2005年

#### 参考書等

岡堂哲雄監修『臨床心理学入門事典』（至文堂）2005年  
必要に応じて資料を配布する。

科目名	生理心理学	開講	通年	単位	4
配当	心12選必				
担当者名	たにくち やすとみ 谷口 泰富				

#### 講義のねらい

生理心理学は生理学と心理学とにまたがる領域で、行動の心理的機能と生理的機能の対応関係を研究する科学である。古くは、この問題は心と体の関係として、あるいは心身問題として多くの哲学者によって論じられてきたのであるが、今日の生理心理学は心理学的事象の生理学的解釈あるいは心理学的事象の生理学的研究を目的としている。本講は、統合的有機体としての人間の行動を解明するための生物学的基礎について学ぶことを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 精神身体観とその歴史
2. 行動の生理学的基礎（神経系の構造と機能）
  - ① 中枢神経系と末梢神経系
  - ② 大脳皮質の構造と機能
  - ③ 大脳辺縁系の機能
  - ④ 下位脳幹の主たる機能
  - ⑤ 自律神経系と体性神経系
3. 感情・情動と生体反応
  - ① 情動理論
  - ② 感情・情動と生体反応
4. 慣れ
5. 人間や動物の行動と脳活動
6. 生理心理学的測定（実習を含む）
  - ① 脳波測定とその心理学的活用
  - ② 呼吸測定とその心理学的活用
  - ③ 心拍測定とその心理学的活用
  - ④ 脈波測定とその心理学的活用
  - ⑤ 皮膚電気活動測定とその心理学的活用

#### 履修上の留意点

中学校で学習する程度の理科的教養（物理・化学・生物）が欲しい。視聴覚教材を使用した授業や、実習形式の授業があるので欠席をしない。

#### 成績評価の方法

出席、レポートおよび定期試験による総合評価とする。ただし、レポートの未提出者および本講での実習（模擬実験）に出席していない学生は成績評価をしないので注意すること。

#### 教科書

参考資料（プリント）を配布するので教科書は使用しない。

#### 参考書等

参考書は随時紹介する。

科目名	認知心理学	開講	通年	単位	4
配当	心12選必				
担当者名	さとう まさはる 佐藤 理晴				

#### 講義のねらい

認知とは生体の能動的な情報収集・処理の活動であり、このような観点から心理学的事象を捉えようとする心理学は認知心理学とよばれる。本講義では環境からの情報取得（感覚・知覚）と保持（記憶、知識の表象）、獲得した情報を加工して新たな知識を作り出す過程（問題解決、推論、概念形成）およびこれらの発達過程などについて解説する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

本講義では認知心理学の歴史を概観した上で、各分野における近年の動向を、実験のデモンストレーションを交えて説明する。

#### 履修上の留意点

講義時間内にデモンストレーション、小テストなどを行う予定なので、出席状況を重視する。

#### 成績評価の方法

筆記試験、出席状況などにより評価する。

#### 教科書

指定しない。

#### 参考書等

授業中に随時紹介する。

科目名	発達心理学	開講	通年	単位	4
配当	心12選必				
担当者名	まじま ひでとし 間島 英俊				

#### 講義のねらい

本講義はエリクソン、E.Hの発達理論を中心に展開する。エリクソンの中心的概念である自己同一性 (Self-identity) 理論は、青年後期における自己確立を発達課題となす。彼は人間の一生を誕生から死に至るライフサイクル理論ならびにそれに対応する心理・社会的危機論にて説明している。それらライフサイクルを概観することにより、諸君は「自己」についての過去一現在一未来へのタイムトラベリングが可能になるのである。講義では各ライフサイクル上に起こるライフイベントを紹介しながら発達理論を展開する予定である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 発達理論 (認知発達理論、社会的学習理論、精神分析理論)
  2. 胎児期
  3. 乳児期 (信頼vs不信)
  4. 歩行期 (自律vs恥・疑惑)
  5. 学童前期 (積極性vs罪悪感)
  6. 学童中期 (勤勉性vs劣等感)
  7. 青年前期 (集団同一性vs疎外)
  8. 青年後期 (個人的同一性vs役割拡散)
  9. 成人前期 (親密性vs孤立)
  10. 成人中期 (生殖性vs停滞)
  11. 成人後期 (統合vs絶望)
  12. エビローク (今日の問題に対する心理学的知識の応用として)
- 以上のスケジュールにそって講義を進めていく。

#### 成績評価の方法

成績は12月最終講義にて行う試験にて基本的に評価しますが、年に1～2回課せられるレポート・出席も補助的評価として参考にします。

#### 教科書

教科書は指定しません。

#### 参考書等

参考書は資料としてプリントされたもののなかで紹介します。なお配布されるプリントについては後日再配布はされませんので、各自で補うこと。



科目名	心理学基礎実験	開講	通年	単位	2
配当	心2必				
担当者名	ありみつ こうき さとう まさはる なかと えみ なとり しほ まじす ひでとし すずき つねもと 有光 興記・佐藤 理晴・仲渡 江美・名取 志保・間島 英俊・鈴木 常元				

#### 講義のねらい

現代心理学は実験という方法を取り入れることにより、飛躍的に発展してきた。言葉をかえれば、現代心理学の主要な部分は実験によって得られた知識によって成り立っているといっても過言ではない。従って、心理学を学ぶものは、どのような領域に関心があるものでも、必ず実験について十分習熟していることが求められる。

本実習は、心理学の各領域から5つの代表的実験を選び、実験デザイン、実施方法、結果の処理法等を実習を通して身につけることを目的とする。さらに、実験レポートの作成方法について詳しく指導する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

ミューラー・リエル錯視      暗記学習      心的回転  
鏡映描写                      好悪判断

#### 履修上の留意点

実習はグループ単位で実施するので、遅刻・欠席をしないこと。

#### 成績評価の方法

出席状況（遅刻は2回で1回欠席になる）、5単元分の実験レポート、被験者経験の結果をあわせて総合的に評価する。なお、成績評価についてはオリエンテーションの時間に詳しく説明する。

#### 教科書

心理学研究室編の『心理学基礎実験テキスト』を配布する。

#### 参考書等

日本心理学会編『執筆・投稿の手びき2005』を配布する。

科目名	心理学研究法	開講	通年	単位	4
担当	心2必				
担当者名	小野 浩一				

### 講義のねらい

現代の科学的心理学の知識は、思索や理論的考察によって導き出されたものではなく、具体的な実証的データの積み重ねによって成り立っている。特定の研究テーマに従って推進される1つ1つの研究の単位をリサーチといい、リサーチは、問題（目的）の設定—特定の研究デザインによるデータの収集—データの分析—結論づけ—結果の公表という一連のステップによって成り立っている。

この科目は、すでに1年間心理学を学んできた学生に心理学におけるリサーチとはどのようなものであるかを提示し、3年次以降に履修する心理学実験演習I～IX、心理学特殊演習、演習、卒業論文へと発展させていくように設置されたものである。

心理学の研究には心理学の専門用語についての最低限の知識が必要である。そこで本講義のサイドワークとして、1年間を通じて1,000語の心理学用語（日本語と英語）を学習するプログラムを取り入れている。

### 講義の内容・授業スケジュール

#### 1. 心理学研究法総論

- ① イントロダクション：心理学におけるさまざまなアプローチ
- ② 心理学の対象と方法：歴史の変遷
- ③ 科学的研究のプロセス：データ収集と処理の基本

#### 2. 文献検索法

- ① 文献にはどのようなものがあるか：研究の公表方法—学会発表と論文、学術論文と紀要・ジャーナル（国内および海外）のいろいろ
- ② 文献をどのように手に入れるか：Psychological Abstractの利用法、データベースの利用・図書館の利用方法
- ③ 引用文献のはたらき：引用法
- ④ 文献検索の実際（実習）

#### 3. 観察法

- ① 観察法の種類
- ② 直接観察の手順：問題の設定と標的行動の選択・標的行動の定義、反応次元の選択（頻度・持続時間・潜時・強度・トポグラフィ）
- ③ 直接観察による行動測定：事象記録・持続時間の記録・潜時記録・間隔記録・瞬時タイムサンプリング
- ④ 信頼性と妥当性
- ⑤ 観察法の実際（実習）

#### 4. 実験法

- ① 実験の目的：科学的心理学の目的・実験と観察の相違
- ② 実験の種類：要因決定実験と関数決定実験
- ③ 行動をコントロールしている要因：実験変数と剰余変数、実験変数の統制・剰余変数の統制・個体変数の統制、独立変数と従属変数
- ④ 実験デザイン
  - 1) 多標本実験デザイン：単一グループ実験デザイン・独立2群実験デザイン・関連2群実験デザイン・多重処理デザイン
  - 2) 要因計画法と分散分析の実際（実習）
  - 3) 単一被験体法：ABAデザイン・多層ベースラインデザイン・条件交替デザイン・基準変更デザイン

#### 5. テスト理論

- ① 項目反応理論と内的整合性
- ② 心理テスト作成の方法

#### 6. 質問紙調査

心  
理

### 成績評価の方法

出席と定期試験とレポート（授業期間中に3回提出）による総合評価

### 教科書

使用しない。適宜、プリントを配布する。

科目名	禅心理学	開講	通年	単位	4
配当	心3必				
担当者名	もはら ただし 茅原 正				

#### 講義のねらい

複雑で、ストレスに満ちた現代、瞑想に関する科学的研究がさかんに行われ、身心に及ぼす良好なる効果が数多く発表されている。本学における「禅の心理学的研究」の成果は、国内のみならず国際的にも高く評価されている。心理学科の3年次必修専門科目としての「禅心理学」は、建学の精神を活かすものであり、禅の精神によって培われた、心豊かな「行学一如」の人材の育成を目指す、他大学には例をみない本学の特色である。

本講義では、坐禅を主とする禅の心理生理学的研究の歴史、および研究の成果について概観するとともに、実験的課題と展望、禅の心理論理、唯識の心理学などについても考察する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

本年度は、以下のようなテーマにそって、授業を進めるつもりである。

- ・東洋の心理学の特質
- ・禅と心理学
- ・東洋的行法の研究－日本－
- ・東洋的行法の研究－外国－
- ・禅瞑想の心理・生理学的研究
- ・調身・調息・調心
- ・「普勧坐禅儀」考
- ・禅とコトバ
- ・禅の心理論理
- ・「空」の立場
- ・「有時」－存在と時間－
- ・華嚴の世界観
- ・唯識の心理学

#### 履修上の留意点

本講義は3年次の必修専門科目であるため、出席を重視する。

#### 成績評価の方法

年度末の定期試験のほか、課題、講義への出席状況を考慮して、総合的に判定する。

#### 教科書

特に指定しない。

#### 参考書等

秋重義治『禅の心理学』（法政大学出版社）  
 春木・清水・水沼（監訳）『瞑想の心理学』（川島書店）  
 児玉和夫（監訳）『瞑想の生理学』（日経サイエンス社）  
 その他、参考文献、資料等については、講義の際、詳しく紹介する。

#### その他

授業は主として講義の形式で進めるが、OHP、プリント等により、理解しやすいように努めるつもりである。また、坐禅堂の使用が可能であれば、禅の精神を体得するという意味で、月に一度ぐらい坐禅の実習を行う予定である。

科目名	心理学実験演習II	開講	通年	単位	2
担当	心3選必				
担当者名	ふかすり ともなり 深堀 友寛				

講義のねらい

2年次の心理学基礎実験の内容をさらに拡充し、心理学的研究法の一連のプロセスを総合的に理解・習得することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

個人のパーソナリティを理解する上で必要な基礎知識、研究計画の組み方、そして分析の方法（多変量解析）を講義し、最終的には受講生オリジナルのパーソナリティ・テストの完成を目指す。しかし、受講生の状況（人数、理解度、その他）によっては内容を変更する可能性もある。

履修上の留意点

実験演習という科目の性質上、出席は重視する。

成績評価の方法

出席状況とレポートにより総合的に行う。

教科書

基本的には使用しないが、必要と思われる文献は授業内に随時紹介する。

科目名	心理学実験演習III	開講	通年	単位	2
担当	心3選必				
担当者名	すずき つねもと 鈴木 常元				

講義のねらい

臨床心理学と関わる領域の研究に必要な技術の習得を目指す。実際に、実験やテストをおこないながら、心理学の研究方法を体験的に習得する。

講義の内容・  
授業スケジュール

臨床心理学の研究は、大きく、心理療法に関わるものと、心理アセスメントに関するものとに分けられる。これらの領域の基礎的な研究をおこなうにあたって必要な技術を、実習等を通して学ぶ。加えて、研究を遂行するにあたって必要となるデータ解析等の技術も身につける。

成績評価の方法

授業への出席、授業に取り組む姿勢によって評価する。

科目名	心理学実験演習Ⅳ	開講	通年	単位	2
配当	心3選必				
担当者名	佐藤 理晴				

講義のねらい

知覚研究においては、刺激の提示から、被験者の反応の記録、データの分析にいたるまでコンピュータが広く用いられている。本講では知覚研究に必要な技術の習得を目的とし、刺激のプログラミング、結果の分析、研究発表の資料作成など実習形式で行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期はプログラミング言語 (C++)、および実験に必要なハードウェア関連の知識について説明する。後期はいくつかの例題から研究テーマを選択し、実験計画から結果の分析、発表資料の作成までを実習形式で進め、年度末に期末試験として研究発表を行う。

履修上の留意点

コンピュータに関する予備知識は特に要求しないが、プログラミング、実験などの実習が中心となるため、課題として時間外に行う作業は多くなる。また本講は研究方法のみにテーマを絞っているので、他の感覚、知覚、認知心理学関連科目を併せて履修することを強く推奨する。

成績評価の方法

課題の提出状況、年度末の研究発表により評価する。

教科書

指定しない。

参考書等

授業中に随時紹介する。

科目名	心理学実験演習Ⅵ	開講	通年	単位	2
配当	心3選必				
担当者名	軽部 幸浩				

講義のねらい

本講義は、生理心理学的測定技法、機器の操作方法および資料の分析方法等についての学習を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

機器等はかなり整備されているが、受講生の数によっては、内容を一部変更することがあり得る。したがって、受講者が決定した後に、年間実習計画予定表を決定する。

履修上の留意点

精密機器を扱うことが多く、また危険防止のためにも細心の注意をして実験をおこなうこと。受講生をいくつかのグループに分け、各グループが異なる実験をおこなう。したがって、グループ編成のためにも初回の説明会には必ず出席すること。遅刻や欠席については厳しく指導する。

なお、内容は主として生理心理学的測定であるので、2年次までに生理心理学を受講した学生の履修が望ましい（編入学生、3年次への転部・転科生は除く）。

成績評価の方法

各実験終了後に提出されたレポートにより評価する。

参考書等

随時紹介する。

その他

実験データの分析・統計処理は、「MS-Excel」と「Excel 統計」または、「SAS」、「SPSS」等の統計パッケージを使用しておこなう。そのため、数回程度は、実験室を離れコンピュータ教場で授業をおこなうことがある。

また、卒業論文等で生理心理学的測定の実験を考えている学生は、測定機器の操作方法を習得するための授業なので履修すること。

科目名	心理学実験演習VII	開講	通年	単位	2
担当	心3選必				
担当者名	間島 英俊 <small>まじま ひでとし</small>				

講義のねらい

本演習は発達心理学領域における心理学的研究のプロセスを総合的に学ぶことを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

受講者は研究上必要な文献検索、実験・調査計画、またそれに必要な実験器材の操作ならびに心理検査の習熟、結果と考察のまとめ方、論文の書き方、そしてプレゼンテーションの方法について実習します。

実験テーマは発達に関することを予定していますが、受講者の希望があれば話し合いにて別のテーマの設定も考えています。

履修上の留意点

初回の演習ガイダンスには出席して、この実験演習の説明をきいて履修を決定してください。

成績評価の方法

出席はもとより、真摯な研究態度、並びに年2回の研究発表（個人、グループ可）に対して評価がなされます。

参考書等

教材についてはその都度コピー等にて配布しますし、参考図書については演習内にて紹介します。

科目名	心理学実験演習VIII	開講	通年	単位	2
担当	心3選必				
担当者名	勝保 暎史 <small>かつまた てるちか</small>				

講義のねらい

臨床心理学の主な課題は、種々の心理臨床の領域で適用できる「心理査定法」と「心理療法」を修得することにある。しかし、多様な理論的背景をもつ「心理査定法」や「心理療法」を理解することは至難の技である。本講では、コンピタンス心理学の視点から、わが国において紹介されている主要な「心理査定法」や「心理療法」を取り上げ、それらに共通する原理があることを体得することをめざした実習を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、コンピタンス心理学の視点からみた「心理査定法」と「心理療法」について論究する。後期においては、受講者の興味に応じた「心理査定法」（ロールシャッハ・テスト、コンピタンス尺度、インテイク面接など）と心理療法（記憶療法＝記憶術の諸技法を媒介にした心理療法など）について実習を行う。

履修上の留意点

実習を主として行うので、出席及びレポートの提出に心がけてください。

成績評価の方法

出席、レポートの提出、課題への取り組みなどにより総合的に評価する。

教科書

その都度、資料を配布する。

参考書等

その都度、資料に記載して紹介する。

科目名	心理学実験演習IX	開講	通年	単位	2
配当	心3選必				
担当者名	ありみつ こうき 有光 興記				

講義のねらい

臨床心理学（認知行動療法、応用行動分析）、社会心理学領域の基礎研究手法として、行動観察、行動分析、調査法、実験法などの研究手法について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

実験、調査を進める上で必要な手続きを学ぶ。文献検索、実験および調査実施、統計処理、レポート作成、発表などが含まれる。「行動観察と行動分析の実習」、「パーソナリティ尺度の開発」、「パーソナリティ尺度の妥当性検証実験」、「尺度を用いた認知療法の効果測定」を予定している。

履修上の留意点

あらかじめ履修説明を聞いてから、履修してください。

成績評価の方法

受講態度、レポート、発表内容から総合的に評価する。

参考書等

適宜、紹介する。

科目名	演習	開講	通年	単位	4
配当	心4必				
担当者名	ありみつ こうき 有光 興記				

講義のねらい

臨床心理学（認知行動療法、応用行動分析）、社会心理学領域の研究を実施し、卒業論文の完成を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. テーマ設定、2. 文献の収集、3. 研究計画の立案、4. 研究の実施、5. 研究結果の分析、6. 研究結果の報告および考察、7. 卒業論文の作成、8. 口頭発表を順に行う。そのために、演習中の指導および個別指導を行っていく。すべての段階で、発表を行い、質疑応答を通じて問題点、改善点を明確にして、より良い研究を目指す。

履修上の留意点

演習時間外に、卒業論文に関して面接時間をとることがある。

成績評価の方法

課題への取り組み、発表内容、研究への姿勢によって総合的に評価する。

参考書等

適宜、紹介する。

科目名	演習	開講	通年	単位	4
担当	心4必				
担当者名	茨木 博子 <small>いばらぎ ひろこ</small>				

講義のねらい

本演習は、各受講生の研究テーマに沿った個別指導および演習形式を通して、論文を完成させることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

受講者は、①受講者自らの研究テーマに対する構想（特に研究計画、方法）を練る、②論文の構想に沿ったデータの収集、結果の整理と分析、考察、参考文献の収集を行なう、の手續きで論文を完成させるが、その際、論文の書き方のコツも含めた個別指導、演習形式による指導、助言を随時行なう。

履修上の留意点

自分の研究テーマに協力してくださる機関や人々に対して、感謝の気持ちを忘れないことが、論文作成に不可欠であり、そのことが限られた時間内で論文を仕上げる一つのコツである。

成績評価の方法

卒業論文作成に取り組む姿勢（出席も含む）によって評価する。

科目名	演習	開講	通年	単位	4
担当	心4必				
担当者名	小野 浩一 <small>おの こういち</small>				

講義のねらい

受講者各自の卒論テーマに則した指導を行うと共に、行動分析学について学ぶ。行動分析学はスキナーによって始められたオペラント条件づけの研究に端を発するが、現在では基礎研究のみならず、応用行動分析として人間社会のさまざまな問題に取り組んでいる。本演習では、基本的文献を題材に関連する諸問題について議論する。

演習形式による行動分析学の学習と卒業論文の指導を平行して行う。

講義の内容・授業スケジュール

正規の演習の時間の他に各受講生と卒論テーマについての面接を随時行う。

成績評価の方法

出席と平常点によって評価する。

参考書等

以下の学術雑誌を参照のこと  
 行動分析学研究  
 Journal of the Experimental Analysis of Behavior  
 Journal of Applied Behavior Analysis



科目名	演習	開講	通年	単位	4
配当	心4必				
担当者名	かつまた てるちか 勝俣 暎史				

講義のねらい

卒業論文作成に必要な具体的な研究実施計画を立て、各自の生活時間を考慮に入れながら、実施可能なタイム・テーブルを作成し、できるだけ早期の実施に努める。

講義の内容・授業スケジュール

受講者各自の研究テーマに即して計画的に指導を行う。  
①研究テーマの確認、②文献研究状況の確認、③研究方法の確認、④得られた資料の分析の観点・方法の確認、⑤考察の視点の確認などのそれぞれのステップの確認をしながら、卒業論文の完成をめざす。それぞれのステップ毎に中間報告の機会を設ける。

履修上の留意点

正規の演習時間外にも、必要に応じて、面接及び e-mail での相談に応じるので積極的に取り組まれない。

成績評価の方法

各ステップでの中間報告（レポート）、出席状況、取り組みの姿勢などにより評価する。

科目名	演習	開講	通年	単位	4
配当	心4必				
担当者名	すずき つねもと 鈴木 常元				

講義のねらい

受講者が各自の関心のあるテーマについて、卒業論文を作成する。そのために、受講生は、研究の進行状況について定期的に発表を行い、指導を受けることになる。

講義の内容・授業スケジュール

研究テーマを決定し、それに関する文献を収集・整理し、研究計画を立てる。それに基づいて、実験あるいは調査をおこない、収集したデータを分析する。これらの成果をまとめ、卒業論文を作成する。また、プレゼンテーションの方法についても身につける。

履修上の留意点

授業時間以外にも、研究指導がおこなわれることがある。

成績評価の方法

授業への出席と授業へ取り組む姿勢によって評価する。

科目名	演習	開講	通年	単位	4
配当	心4必				
担当者名	たにくち やすとみ 谷口 泰富				

講義のねらい

本講は、主として卒業論文作成に関する詳細な実験計画やデータの分析方法等について解説し、各自が自分の研究を心理学の各領域の中に位置づけられるようにすることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

学生一人一人の研究テーマに沿った形で計画的に指導を行う。従って、当該時間内だけでの指導では不十分であるので学生と相談の上、別の時間割を作成しそこで個別的に指導を行う。

履修上の留意点

研究テーマにより個別指導が中心となる。従って、週2回以上の指導をうけることが義務となる。学生の人数によっては、早朝や深夜の指導もあり得るので留意されたい。また、遅刻や欠席は厳に慎まれたい。なお、ゼミ決定後、『卒業論文作成カルテ』を配布する。このカルテに従って進行すれば論文が完成する仕組みになっている。

成績評価の方法

課題報告（毎週）の内容、レポート、卒業論文の質的側面から評価する。

科目名	演習	開講	通年	単位	4
配当	心4必				
担当者名	ちはら ただし 茅原 正				

講義のねらい

卒業論文の作成指導を中心におこなう。各人のテーマに関わる問題点の指摘や研究のすすめ方、論文の書き方など、具体的な指導をおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、テーマの決定・参考文献・資料の収集・分析、実験・調査の計画、論文の構成など、文献研究を中心に、問題点を整理して構想を練る。

後期は、実験・調査のデータ整理、結果の報告、論文構成の決定、執筆というスケジュールで、各自が研究の成果を検討・考察して中間報告をおこない、発表・討論を経て論文の完成を目指す。

履修上の留意点

前期は、卒業論文の構想について文献的研究中心の中間発表。

後期は、随時、関連する論文の内容の紹介や、実験・調査の結果報告や卒論の具体的内容について発表・議論してもらう。

成績評価の方法

出席および発表・討論に対する積極性を重視し、評価する。

科目名	演習	開講	通年	単位	4
配当	心4必				
担当者名	間島 英俊 <small>まじま ひでとし</small>				

#### 講義のねらい

本演習は卒業論文の作成を最終目的としています。したがって、論題（卒論テーマの決定）、問題（文献研究）、目的・方法（研究計画とその実施）、結果・考察（研究結果の分析、議論）のスケジュールにそって、指導がなされます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

基本的には受講者各自の研究テーマに基づいて、上述のスケジュールにそった具体的指導が個別になされます。演習という性格から、受講者は、1. 卒論テーマの設定 2. 文献研究法 3. 研究計画および実施 4. 研究結果の考察、議論についてゼミでの発表、意見、討論をどうしてお互いの研究向上を目指すことになります。

#### 履修上の留意点

演習時間内では、上述の1～4の発表、意見、討論ならびに個別指導がなされますが、個人の研究の進捗状況によっては演習時間外も指導します。

#### 成績評価の方法

出席はもとより演習における真摯な研究態度に対して評価がなされます。

科目名	環境心理学	開講	通年	単位	4
配当	心234選				
担当者名	大野 隆造 <small>おのの りゅうぞう</small>				

#### 講義のねらい

人間は環境を操作・改変し、逆に環境は人間の心理・行動あるいは発達に影響を及ぼす。この人間と環境との相互作用を理解することは、住みよい建築・都市を構想する上で重要である。本講義では、人が環境をどのように知覚し、判断し、記憶し、評価しているか、また対人的な社会行動において環境がどのように影響するかなどについて講じる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 環境心理学の沿革
- 2 環境心理学と環境デザイン
- 3 環境知覚の特性
- 4 環境認知とイメージ
- 5 小空間のエコロジー：テリトリー・プライバシー
- 6 環境デザインと防犯性
- 7 子ども、老人、ハンディキャップトの知覚と行動
- 8 環境の伝える意味
- 9 環境知覚・認知の文化差
- 10 環境心理を捉える調査・研究方法
- 11 環境を記述する方法・環境シミュレーション
- 12 環境設計のデザインガイドライン

#### 成績評価の方法

講義中に課す演習レポートおよび期末試験により評価

#### 参考書等

日本建築学会編『人間環境学—よりよい環境デザインへ—』（朝倉書店）1998  
中島・大野編『人間行動学講座第3巻「すまう」』（朝倉書店）1996

心  
理

科目名	児童心理学	開講	通年	単位	4
配当	心234選				
担当者名	澤田 匡人 <small>さわだ まさと</small>				

講義のねらい

小学校入学前後から思春期までを中心とした子どもについて、その心理的特徴に関する基礎的な知識の習得を目指します。

講義の内容・  
授業スケジュール

「1回1テーマで完結」を原則として行われます。思考や自己の発達といった定番のテーマ（「発達段階」「自己概念」「自己効力」）から、対人関係の発達（「愛着」「感情」「集団」）、不適応の問題（「ストレス」「精神障害」「心理療法」）に至るまで、子どもの心とその発達の変化を理解する上で欠かせないさまざまな内容を取り上げ、わかりやすく解説していきます。

履修上の留意点

初回の授業（ガイダンス）で説明する「受講契約」（受講する上での基本的なルール）を確認してから履修するようにしてください。  
また、できるだけ学生の皆さんの要望に沿った授業にしていくために、毎回簡単な感想を出してもらいます。

成績評価の方法

授業で紹介した重要なタームを空欄に書き入れるというシンプルな方式の筆記試験から評価します。

教科書

使用しません。

参考書等

桜井茂男・濱口佳和・向井隆代 [著] 『子どものこころ－児童心理学入門』  
（有斐閣）

その他

講義は全回に渡って「プレゼン形式」で行われます。テキストやプリントは基本的に用いませので、投映された画面をノートに取る必要があります（もちろん任意です）。しかし、一度に呈示する内容をできるだけ抑えながら、「見ている飽きないプレゼン」を心がけて毎回作成しておりますので、すぐに慣れると思います。この講義を受ければ、ノートテイキングのスキルが上昇するという副次的な特典が付くことになるでしょう。毎回楽しみながら受講していただければ願っています。

科目名	産業心理学	開講	通年	単位	4
担当	心234選				
担当者名	おの こういち 小野 公一				

### 講義のねらい

人々が、企業やその他の組織に所属し働く時に遭遇するさまざまな問題について、心理学的にアプローチする。

具体的には、組織が、働く人々とどのように係わるのかという点について、人事管理の制度的な面や、上司が部下にどのように接し育成するかという運用面について、心理学的な視点で学ぶ。また、それ以外に、人々が心身ともに働きやすい環境作りや、企業環境でもある消費者の行動についても触れていく。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 第1-3回 クラスの説明 産業心理学とは何かに：研究・関連領域と歴史
- 第4-10回 働く人々と組織：人事心理学職務分析、職務設計、募集・採用、配置・異動、キャリア発達と教育訓練、人事評価
- 第11-13回 まとめ、中間試験
- 第14-18回 動機づけと職務態度
- 第19-21回 リーダーシップ
- 第22-23回 メンタルヘルス
- 第24回 消費者行動と市場調査
- 第25回 疲労・事故・作業
- 第26回 補足とまとめ

### 履修上の留意点

テキストは各自の責任において読んでおくことが前提である

### 成績評価の方法

最終試験 6割、中間試験 3割小テストや出席確認と任意のレポート 1割の合計で評価する。

### 教科書

主に①を用いる

- ①小野公一 『“ひと”の視点からみた人事管理』 白桃書房 1997
- ②馬場昌雄・馬場房子監著 『産業・組織心理学』 白桃書房 2005

### 参考書等

- 山口・高橋・芳賀・竹村 『産業・組織心理学』 有斐閣 2006
- 小野公一 『キャリア発達におけるメンターの役割』 白桃書房 2003

科目名	老年心理学	開講	通年	単位	4
配当	心234選				
担当者名	なかがと かつひろ 中里 克治				

#### 講義のねらい

老年期の心理を理解することにある。老年期は衰退の時期と考えられてきたが、成長の時期でもある。また、正常な加齢（老化）と病的な加齢を区別することも大切である。生涯発達の完成期である老年期の発達を生涯発達の枠組みの中で学ぶ。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

前期  
 第1-2回：高齢社会と老年心理学  
 第3-4回：高齢者の健康、寿命とライフスタイル  
 第5-7回：高齢者の痴呆  
 第8-9回：高齢者精神疾患と自殺  
 第10-11回：高齢者の心身の変化  
 第12-13回：高齢者の知能、創造性、知恵の発達  
 第14-15回：高齢者のパーソナリティ：エリクソンを中心に  
 後期  
 第16-18回：高齢者のパーソナリティ：最近の知見を中心に  
 第19-21回：適応とサクセスフルエイジング  
 第22-23回：高齢者の家族と社会生活  
 第24-26回：高齢者と死  
 第27-30回：高齢者に対する心理的援助

#### 成績評価の方法

後期末に試験を行う。随時レポート提出も求める。

#### 教科書

下仲順子・中里克治編『高齢者心理学』（建帛社）2004年

#### その他

授業は講義形式。必要に応じプリントを配布。

科目名	宗教心理学	開講	通年	単位	4
配当	心234選				
担当者名	葛西 賢太 <small>かさい けんた</small>				

#### 講義のねらい

本講義がめざすのは、ユング心理学の入門と、それを通じての現代人の心性の理解である。ユング派のテキスト『人間と象徴』の読解が中心となる。

講義のみではなく、表現とコミュニケーションの技術を学ぶ場ともしたい。テキストを一節ずつ音読して、要約やコメントを反復することで、語彙や基本理論をつかんでもらうことを目指す。

#### 講義の内容・授業スケジュール

ユングの生涯と思想：複数の伝記、家庭事情、フロイトとの出会いと別れ、等。  
ユング心理学の広がり：ポストユングアン、連想検査など他領域への応用、等。  
テキスト『人間と象徴』の読解

#### 履修上の留意点

多くの資料の読み込みを課すので、登録をする場合はそのつもりで是非がんばってもらいたい。

#### 成績評価の方法

平常点＋試験。出席を考慮し、科目運営への発言の貢献度・質を特に評価する。  
出席3割、平常点4割、試験3割。  
平常点には講義へのコメントも加味する（後述）。

#### 教科書

C. G. ユング編『人間と象徴』（河出書房新社）1975年

#### 参考書等

H. A. ウィルマー『プラクティカル・ユング』上下（鳥影社）1993-1994年  
A. ヤッフエ『ユング自伝—思い出・夢・夢想』1・2（みすず書房）1972-73年  
河合隼雄『ユング心理学入門』（培風館）1967年

#### その他

教科書をゼミ形式で読みながら討論する。毎回講義形式の解説がある。講義後にeメールによるフィードバックや質問を歓迎する。よい内容であれば成績評価に加える。

科目名	健康心理学	開講	通年	単位	4
配当	心234選				
担当者名	稲松 <sup>いなまつ</sup> 信雄 <sup>のぶお</sup>				

#### 講義のねらい

従来の生理学的ストレス理論を出発として生理心理学の基礎、神経系の概略を学び、W.B.Cannon & H.Selyeの学説を理解し、内分泌、免疫系に多少言及する。Psychological Stressを中心にStressor Agentsの認知、評価の問題を扱い、それと最近のトピックである精神神経免疫学(Psychoneuroimmunology)を関係づけて、最後にpsychoの部分の感情、に焦点をあて、無力性の情動(Asthenic Emotion)の統御の必要性を学習し、感情と密接な動機や人格、発達についても健康の面から言及する。後期は認知の変容、動機の階層、積極的思考・感情の養成や、V. E. FranklのLogotherapyやNorman Kousinsの「笑いと治癒力」、「生への意欲」を学ぶ。最後に長寿高齢者の良き適応例に言及する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下のような項目となる  
 ①序：健康心理学について精神活動と心の重要性 ②精神活動と身体反応との関係  
 ③心理学的ストレスと生理学的ストレス ④ストレスと情緒反応 ⑤情緒の生理学的機構  
 ⑥情緒の分類と感情の統御 ⑦情緒と精神神経免疫学 ⑧情緒と欲求との関係  
 ⑨感情&ストレスと健康の総括 ⑩積極思考の涵養  
 ⑪健康問題を扱っている著名な精神科医、ジャーナリストの思考を学ぶ  
 ⑫長寿高齢者の良き適応を学習

#### 履修上の留意点

外国語を英語で受験した人が望ましい、英文の補助プリントを使用する時がある。

#### 成績評価の方法

成績は年二回のレポートと出席を加味する。  
 (但：履修者が50名を超えた場合には授業時間の前期・後期の最終日に試験を実施する。)

#### 教科書

教科書として『健康心理学：資料集』(東邦大学医学部心理学研究室編)を使用する(授業開始時に配布：実費徴収)、その他随時補助プリントを用いる。

#### 参考書等

参考書はRober J. Gatchel et al. *An Introduction to HEALTH PSYCHOLOGY-Second Edition* McGraw -, Inc.)

#### その他

講義を中心とするが、ビデオとPower Pointを使用する。



科目名	比較行動学	開講	通年	単位	4
配当	心234選				
担当者名	こうしま かずこ 幸島 和子				

講義のねらい

カルガモの一家はなぜ行列を作って歩くのだろう。ウグイスはなぜ春にさえずるのだろう。どうして雄と雌がいるのだろう。ゴクラクチョウの雄はなぜ美しいのだろう。私達はなぜ日本語が話せるのだろう。赤ちゃんはなぜかわいいのだろう。

比較行動・エソロジーはこのような問いに生物学の立場から答えようとする学問である。もちろん、人間もその研究対象である。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、主に行動研究の歴史に加えて、行動のしくみやはたらき、発達等に関する行動学の基礎的概念の理解を目的とした講義を行う。人の行動についても言及する予定である。

後期には、動物の環境認識やコミュニケーションに加え、行動が動物の生存にどう役立っているかという視点に立って、採餌行動や配偶行動や利他的な行動の進化などについて講義する。

行動という生物の一つの形質に焦点をあてた講義であるがこれをとおして、生物の進化そして、動物の多様性、ヒトの特徴などに対する生物学的な見方を身につけてもらいたい。

講義内容がより具体的にイメージできるよう、できるだけ多くの映像資料（ビデオ、スライド、OHP）を用い、動物達の野外での生き方を提示しながら講義を進める予定である。また、講義に加えてマン・ウォッチング（人間の行動観察）実習を行う予定である。

成績評価の方法

講義の進行にあわせて与えるテーマについての簡単なレポートと期末試験の得点に基づいて評価する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	精神医学	開講	通年	単位	4
配当	心234選				
担当者名	こう ミンシュク 黄 ミンシュク				

講義のねらい

精神疾患を生物学的精神医学の観点から理解することが講義のねらいである。将来、心理系・福祉系の職務に携わる者に必要と思われる臨床上の知識を学習・理解することを主な目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は機能性（内因性）精神病、神経症性障害の理解と精神科診断学の方法論（総論）を主な授業内容とする。後期は中毒性精神病、痴呆などの脳器質的疾患、人格障害、児童・思春期精神障害などを主な授業内容とする。

成績評価の方法

筆記試験（本試験）により成績評価をする。

教科書

特に定めない。

参考書等

特に定めない。

科目名	心理学特講I	開講	通年	単位	4
配当	心234選				
担当者名	澤田 <sup>さわだ</sup> 匡人 <sup>まさと</sup>				

#### 講義のねらい

発達臨床心理学に関連した概念や理論について学んでいきます。ただし、心理臨床のバックグラウンドとして必要な知識や情報を可能な限り提供することも念頭に置き、発達臨床心理学の枠組みにこだわらず、発達心理学、パーソナリティ心理学、教育心理学などにも関わるテーマについて、オムニバス形式で解説していく予定です。

#### 講義の内容・授業スケジュール

心理学の基礎知識（「感情」「記憶」「対人認知」）や、近年話題になっている子どもの問題（「発達障害」「いじめ」「虐待」）など、幅広いテーマについて「1回1テーマで完結」を原則として行われます。また、毎回の授業の最後で、複数のテーマの中から一人一票を投じてもらい、最も得票数の多かったテーマを次回抜くという形式をとります。限られた選択肢からではありませんが、学生の皆さんで内容を決められるのが、この授業の大きな特色の一つです。

#### 履修上の留意点

初回の授業（ガイダンス）で説明する「受講契約」（受講する上での基本的なルール）を確認してから履修するようにしてください。

#### 成績評価の方法

授業で紹介した重要なタームを空欄に書き入れるというシンプルな方式の筆記試験から評価します。

#### 教科書

金子智栄子〔編著〕『子どもの発達理解とカウンセリング』（樹村房）

#### 参考書等

澤田匡人〔著〕『子どもの妬み感情とその対処』（新曜社）

#### その他

講義は全回に渡って「プレゼン形式」で行われます。プリントは基本的に用いませので、投映された画面をノートに取る必要があります（もちろん任意です）。しかし、一度に呈示する内容をできるだけ抑えながら、「見ていて飽きないプレゼン」を心がけて毎回作成しておりますので、すぐに慣れると思います。毎回楽しみながら受講していただければと願っています。

科目名	心理学特講II	開講	通年	単位	4
配当	心234選				
担当者名	にしだ じゆんぞう くまきか たかのり とちくら みのる 西田 順造・熊坂 敬典・栃倉 稔				

### 講義のねらい

「犯罪心理学」が中心となる講義ですが、内容的には犯罪事例やトピックスを中心に、科学捜査、家庭裁判所調査、そして少年鑑別所鑑別それぞれの専門的立場から、より幅広い実践的経験をとり入れた講義にしたいと考えている。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 西田順造（元科学捜査官）担当
- 1 各種犯罪事案と日常性とのかわり
  - 2 「犯罪者観」と個人における親和性
  - 3 時代や地域における犯罪形態の特質
  - 4 犯罪成立の条件とパーソナリティー
  - 5 科学捜査と司法に関する正しい理解
- 熊坂敬典（家庭裁判所調査官）担当
- 6 少年非行について
  - 7 少年審判制度について
  - 8 家庭裁判所における少年審判過程について
  - 9 家庭裁判所調査官の役割について
- 栃倉 稔（少年鑑別所法務教官）担当
- 10 少年鑑別所の概要について
  - 11 最近の非行少年について
  - 12 非行少年の資質鑑別について
  - 13 拘禁の心理について
  - 14 入所者の処遇について
  - 15 他の非行少年入所施設について

### 履修上の留意点

講義は3つのオムニバス形式をとりますので、それぞれの専門分野からの講義において完結します。集中授業ですので欠席しないこと。  
また講義スケジュールは講師の勤務により変わる場合もあります。

### 成績評価の方法

出席点および課題提出にて評価します。

### 教科書

指定教科書はありません。

### 参考書等

講義において適宜紹介します。

科目名	心理学特講III	開講	通年	単位	4
配当	心234選				
担当者名	萩原 <sup>はきわら</sup> 滋 <sup>しげる</sup>				

講義のねらい

「社会的認知とコミュニケーション」をテーマに社会心理学とメディア研究の領域で蓄積された研究成果を幅広く紹介したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、認知的一貫性理論や帰属理論などの枠組みと「社会的認知」に関する研究成果を概観する。後期は対人コミュニケーションからマスコミュニケーションまで幅広く「コミュニケーション過程」を取り上げ、社会心理学的研究の成果を新旧取り混ぜて紹介する。

成績評価の方法

前期と後期の終了時に筆記試験を行う予定。

教科書

使用しない。

参考書等

萩原滋・国広陽子編著(2004)『テレビと外国イメージメディアーステレオタイピング研究』(勁草書房) 3,500円  
 萩原滋編著『変容するメディアとニュース報道ーテレビニュースの社会心理学』(丸善) 2,400円

その他

履修者数に応じて講義内容や形式を調整する。

科目名	心理検査法I	開講	通年	単位	4
配当	心234選				
担当者名	佐藤 尚代・西脇 淳				

### 講義のねらい

本講義では、心理検査法のうち、前期には〈知能検査とその関連領域〉を、後期には〈投影法心理検査〉を学ぶ。

前期の〈知能検査とその関連領域〉では、これらの検査を理解するために検査の基礎となる知能や発達観について理解を深め、検査の基礎的な流れに触れることを目的とする。その上で、検査の有用性と限界、利用の注意点など各検査の特徴と共に被検査者の立場についても学ぶ機会とする。

後期は、〈投影法心理検査〉の基本的な心構えと基礎知識を身につけることが第1の目標である。投影法検査につきものの煩雑な施行手続きや、難解ともいわれる解釈プロセスには、それぞれに意味がある。それらの基礎を身に付けながら、被検者に利益をもたらす検査施行の心構えを学ぶ。

前後期共に、授業は、講師による講義に加えて、体験学習（施行実習）やグループ討論・与えられた課題に自分なりのコメントをまとめる、などの形式で進むので主体的な参加が求められる。

### 講義の内容・授業スケジュール

（前期）

1. 心理アセスメントについて、発達・知能検査の概要
2. 発達・知能検査の自己学習（グループ討議と発表）
3. 知能検査の施行について ～ 施行に際しての注意事項や手続きの実際、演習
4. 発達・知能検査の実際 ～ 検査の目的と検査バッテリー、検査の見方・まとめ方
1. 心理アセスメントとは（投影法の位置付け）
2. 各種投影法心理検査の実際（成り立ち、背景理論、適用、施行実習）
3. 心理アセスメントにおいて大切なこと

### 履修上の留意点

履修希望者は各期の初日に必ず出席のこと。用具の準備は勿論のこと、受講生同士が検査者＝被検査者の役割を交換して行う事も多く、時間を遵守し休まずに出席することを前提とする。やむなく欠席した場合は、教員に相談の上個人の責任において実習や提出物に関するフォローを各自が行なうこと。また、検査法に対して幅広い基礎知識を身につけたい者は、「心理検査法II」の授業も併せて履修することが望ましい。（両講義を同時に履修しても可。異なる年度にどちらから履修しても可。）

### 成績評価の方法

出席を重視する。前期・後期とも、提出物（感想文、授業ノート、レポートなど）を課する。学年末に定期試験を行なう。

### 教科書

必要に応じて指示する。

### 参考書等

必要に応じて指示する。

科目名	心理検査法II	開講	通年	単位	4
配当	心234選				
担当者名	加藤 博己・稲富 正治				

#### 講義のねらい

臨床心理学の中で重要な位置を占める「心理検査」の対象は、人の性格、情緒性、精神発達状態、知能、人間関係、病理性など様々で、各々の検査の理論的背景や実施方法は異なる。

本講義では、心理検査法のうち、前期には神経心理学的検査、作業検査、質問紙法検査の一部を、後期には、職業興味検査、質問紙法検査を体験し、各検査の理論的背景の理解と、実施、採点、解釈の仕方を学ぶ。

また、臨床現場での心理検査実施上の心構え、心理検査とは何か、心理検査の妥当性、信頼性、標準化、実用性などについても可能な範囲で取り扱う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

(前期) ベンダーゲシュタルト、ベントン、内田クレペリン、Y-G、TEG、CMI、GHQなどを学ぶ。

(後期) MPI、MMPI、MAS、STAI、EPPS、NEO、VPIなどを学ぶ。

#### 履修上の留意点

(学生が受講する前に踏まえておくべき点)

前期、後期の授業初日に、授業の進め方や注意事項、成績評価についての説明を行う。履修希望者は各期の初日に必ず出席のこと。

授業では、受講生同士が検査者、被検査者の役割を交換して行うので、休まずに出席することを前提とする。やむなく欠席した場合には、個人の責任において、実習や提出物に関するフォローを行うこと。

また、本講義では、各領域にわたる心理検査全般を扱っていない。検査法に対して幅広い基礎知識を身につけたい者は、「心理検査法I」の授業も履修することが望ましい(両講義を同時に履修しても可。異なる年度にどちらから履修しても可)。

#### 成績評価の方法

出席、授業態度、発表、定期試験により評価を行う。

#### 教科書

講義において指示する。

#### 参考書等

必要に応じて紹介する。

#### その他

(授業方法—講義形式、ゼミ形式、プリント配布、レジュメ配布等)：心理検査の理論的背景、実施、採点、解釈を発表形式で学び、場合により、グループ討議を行う予定である。

科目名	カウンセリング	開講	通年	単位	4
担当	心234選				
担当者名	いばらぎ ひろこ 茨木 博子				

#### 講義のねらい

カウンセリングとは、ともすれば悩みや苦しみから目をそむけようとする人が、その悩みや苦しみに立ち向かい、自ら立ち直っていけるよう援助する心理面接である。その基盤として、臨床心理学、発達心理学などの理論や知識が必要である。

そこで本講義では、前期にカウンセリングのための理解、基礎知識、技法を講義し、後期は、ロールプレイングによりカウンセリング場면을体験する。それによって他者を受容し理解するとはどういうことかを学習する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期Iカウンセリングとは  
 IIカウンセリングのための基礎理論、基礎知識  
 IIIカウンセリング技法  
 後期IVビデオ学習  
 Vロールプレイングによる体験学習とレビュー

#### 履修上の留意点

出席、授業態度を重視する。

#### 成績評価の方法

出席日数、授業へ取り組む姿勢、定期試験で総合的に評価する。

#### 教科書

必要に応じてプリントを配布。

#### 参考書等

河合隼雄『カウンセリングの実際問題』（誠信書房）  
 渡辺三枝子『カウンセリング心理学』（ナカニシヤ出版）  
 福尾武人編『現代の臨床心理学』（学術図書出版社）

科目名	情報処理I	開講	通年	単位	4
担当	心234選				
担当者名	なかまる しげる 中丸 茂				

#### 講義のねらい

現在、心理学を研究するにあたって、論文作成や心理学の実験制御のためにコンピュータの操作は「必要な技能」となっている。本コンピュータ実習では、VB (Visual Basic) を使って実験制御に必要な技術を習得することを目的とする。後期には、BASIC、FORTRAN、COBOL、LOGOなどのコンピュータ言語の実習も行なう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期：VBA・VBの基本的なプログラミングの技術習得を目的とする。  
 1. MS-WORD:MS-EXCEL VBA  
 2. VBの基本プログラミング  
 3. 心理統計のプログラミングを作ってみよう  
 後期：VBを使って心理学の実験プログラミングの技術習得を目的とする。  
 1. グラフィックデータの取り扱い  
 2. 時間制御  
 3. アプリケーションソフトの利用方法  
 4. 心理学実験のプログラムを作ってみよう

#### 履修上の留意点

自主性、積極性を重んじる。

#### 成績評価の方法

下記2つの課題により評価する  
 前期：オリジナルの心理統計プログラムの作成  
 後期：オリジナル心理学実験のプログラムの作成  
 (マニュアルの作成を含む)

#### 教科書

『2005 世界でいちばん簡単な Visual Basic のe本』(秀和システム)

#### 参考書等

『Visual Basic6.0 パーフェクトマスター』(秀和システム)  
 池谷ら『2001 Visual Basic 逆引き大全 500の極意』(秀和システム)



科目名	情報処理II	開講	通年	単位	4
配当	心234選				
担当者名	まきの すずむ 牧野 晋				

#### 講義のねらい

本講義では、コンピュータ実習などを通じて身に付けたコンピュータ・リテラシーを十分に活用し、情報処理に関するより深い理解とより高度な技術の習得を目的とする。コンピュータを使ったデータ解析を中心に行い、コンピュータを用いて卒業論文レベルの実験データの分析が独力で可能となることをめざす。単に統計パッケージの使い方をマスターするのではなく、統計的手法の基本を含めて学習する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業は講義形式に加え、主に実習形式で行う。1つのテーマに1から5時限をあて、毎回課題の提出を求める。

今年度の具体的な内容については以下に記す。

- 主にPC-SASを利用した統計処理および分析方法の理解  
データ解析と統計的手法の基礎  
(基本統計量、相関と回帰、仮説検定、多変量解析の基礎)
- PC-SASの操作方法の理解  
SASプログラムの書き方  
他のアプリケーションとの連携(データハンドリング)  
データ取得から分析までの総合演習
- 成果の発表や公開に関すること(時間的に可能な場合に実施する)  
コンピュータを使ったプレゼンテーション  
Webによる情報公開手法(HTML入門、ファイル転送など)

#### 履修上の留意点

コンピュータ実習の単位を習得していること、又は、同等の知識を持っていること。本講義は実習形式で行うことが多いので、2回以上続けて欠席すると授業の内容が理解できなくなるので注意を要する。

授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足するので、各自自習室等を利用した自習が必要となる。

#### 成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、学期末に行う筆記試験と合わせて総合的に評価する。ただし、講義の理解の程度、履修人数、実習での応用力の程度によっては定期試験期間での期末試験を免除する場合がある。

#### 教科書

- 授業中に配布するプリント教材。
- 竹内 啓監修、市川伸一・大橋靖雄・岸本淳司・浜田知久馬著  
『SASによるデータ解析入門 [第2版]』  
東京大学出版会、¥3,570、ISBN: 4-13-064048-8

#### 参考書等

- 参考書については、授業中に適宜紹介する
- コンピュータ実習で使用した教材
- 心理統計学で使用した教科書や教材

#### その他

授業内容から、本授業は3年次に受講することをお勧めする。

科目名	宗教学人類学	開講	通年	単位	4
配当	心234選				
担当者名	佐藤 憲昭 <small>さとう のりあき</small>				

### 講義のねらい

宗教学人類学は、文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化について比較研究をする学問である。そして、その営為を通して「人間とは何か」という問題に答えようとするものである。本年度は「生き神信仰と仏教現象」について取り上げて考察し、宗教学人類学の考え方を学習することにした。

生き神は、学術用語でシャーマンと呼ばれる。例えば、東北地方のイタコ、カミサマ、オナカマ、ミゴ、ワカ、本土各地のオガミヤ、行者、祈禱師、ホウニン、奄美・沖縄地方のユタなどがそれである。神主や仏僧の中にも生き神の性格を具えている者が存在する。彼（彼女）らは、神霊をみずからの身体に侵入させて神霊自身として振る舞ったり、あるいはみずからの身体に付着した神霊と会話を交わし、その内容を神意として依頼者に伝達したり、または身体の外側から神霊の影響を受けて、神霊の姿や声を目・耳にした内容を神意として依頼者に伝える、などの役割を担当する。

こうした生き神を中心とする宗教形態（＝シャーマニズム）は、歴史的には先史時代より歴史をつらぬいて現代にいたっているとされ、また、空間的には普遍的・汎世界的にあらわれている現象とされている。しかも、この宗教形態はあらゆる宗教と結びつく性格を具えている。わが国で生起しているシャーマニズムもまたいろいろな宗教と関係していることが知られているが、この講座では、特にシャーマニズムと仏教現象との諸関係に注目して考察してみたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

次のテーマのもとに具体的に考察する。

1. 宗教学人類学の学問的特徴、2. フィールドワーク、3. 宗教文化の基盤、4. 宗教的職能者、5. 宗教－呪術－巫術、6. 生き神信仰の諸相と研究史、7. 生き神と生き仏、8. 神人交流の諸相、9. 生き神信仰と仏教現象、10. 総括。

### 履修上の留意点

ときどき出席をとるので、欠席をする場合（または出席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

### 成績評価の方法

学年末のリポート（2400字～2800字）で評価する。合格の基準は、1. 講義内容を踏まえていること、2. 参考文献を読みこなしていること、3. みずからの言葉で論じていること、の三点にある。なお、不合格の場合には、出席点を加算して最終評価を行う予定。

### 教科書

佐々木宏幹 『聖と呪力の人類学』 講談社（学術文庫）

### 参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	心理学特殊演習	開講	通年	単位	4
担当	心3選				
担当者名	ありみつ こうき 有光 興記				

講義のねらい

卒業論文の作成に向けて、文献検索、テーマ設定、研究計画など準備を進める。

講義の内容・  
授業スケジュール

臨床心理学（認知行動療法、応用行動分析）、社会心理学に関する論文を読み、その中で自分自身のテーマを見つけていく。まず、テーマを絞り、文献リストの中から発表したい論文を選び、発表する。その過程で、論文の書式、統計手法、最新の知見、発表の仕方について学び、卒業論文のテーマ設定を行い、研究計画を立てる。テーマが共通している人で、グループを組むこともあり得る。

履修上の留意点

演習時間外に、論文の読み方、テーマ設定などについて面接時間をとることがある。

成績評価の方法

課題の達成度、レポートの内容、発表内容から総合的に評価する。

参考書等

適宜、紹介する。

科目名	心理学特殊演習	開講	通年	単位	4
担当	心3選				
担当者名	いばらぎ ひろこ 茨木 博子				

講義のねらい

本演習は、卒業論文執筆に向けての準備段階として、受講者が日ごろ興味、関心のあるテーマを積極的に発表し、明確にしていくこと、およびそのために必要な手続きや参考文献を調べることを目的にしている。

講義の内容・  
授業スケジュール

特に臨床心理学領域で関心を抱いた独自の研究テーマを明確にし、そのテーマに沿った研究計画および方法を具体化していくための個別指導、演習形式の指導を行なう。その際、構想発表会、途中経過の口頭発表会などを開き、討論する他、文献講読も行なう。

履修上の留意点

卒業論文は、受講生にとって初めての研究であり、「自分は、このテーマで研究したい」と思うことが大切である。しかし、研究したいテーマが実際に研究できるとは限らないので、最初から無理と思われるテーマは避けてほしい。

成績評価の方法

出席、口頭発表、レポートなどによって総合的に評価する。

参考書等

研究に必要な参考書、文献を随時紹介する。

科目名	心理学特殊演習	開講	通年	単位	4
配当	心3選				
担当者名	おの こういち 小野 浩一				

#### 講義のねらい

本演習は、卒論2年間コースを希望する学生のための3年次の演習である。3年次においては各自テーマを決定し、そのテーマについて文献研究ならびに学習を行い、1回目のデータ収集（予備実験や予備調査）を行う。

演習では、各自の研究指導に加えて、心理学研究についての具体的手順を学ぶために最新の研究トピックスに関する文献の研究を行う。さらにテーマが近いもの同士でグループを作り、各グループが共通の問題について論文を調べ、議論した成果をさらに全体の場で討議するという形で進める予定である。

#### 履修上の留意点

正規の演習の時間の他に各受講生と卒論テーマについての面接を随時行う。

#### 成績評価の方法

出席・レポート・課題への取り組みなどにより総合的に評価する。

#### 参考書等

Skinner, B.F. (1990). Can psychology be a science of mind? American Psychologist, 45, 1206-1210.

その他、必要に応じて授業中に紹介する

科目名	心理学特殊演習	開講	通年	単位	4
配当	心3選				
担当者名	すずき つねもと 鈴木 常元				

#### 講義のねらい

卒業論文作成のための準備をおこなう。受講生は、研究の進行状況について定期的に発表を行い、指導を受けることになる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

受講生は、各自で、研究テーマを決定し、それに基づき文献を収集・整理し、研究計画を立てる。そして、各受講生が発表した研究計画について全員で討論する。これを繰り返す中で、自らの研究計画を精緻化していく。最終的には、研究計画を完成させ、それに必要な材料を準備するところまで到達することが望ましい。

#### 成績評価の方法

授業への出席、発表内容、他の受講生の発表に対する発言などを総合的に評価する。

科目名	心理学特殊演習	開講	通年	単位	4
担当	心3選				
担当者名	たにくち やすとみ 谷口 泰富				

#### 講義のねらい

4年次の卒業論文が必修となっているが、実証的研究の時間としては1年間では不十分である。そこで本講では、将来の卒業論文作成に関する基礎的問題を演習形式にて検討することを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

本講では、学生が自分の関心のある研究領域を決定するための助言を行い、卒業論文作成のための文献講読や予備実験等についての指導を行う。

#### 履修上の留意点

本講では、特に生理心理学や人格心理学の領域にしぼった形での指導が中心となるので、学生も予め自分の興味のある分野について考えておくことが望ましい。また、演習形式にて実施するので、課題やレポートの提出回数は多くなる。従って、そのための時間が充分であることが必要である。なお、遅刻や欠席については厳しく指導する。

#### 成績評価の方法

研究報告書や課題レポート（一人一人異なる）により評価する。

#### 参考書等

随時紹介する。

科目名	心理学特殊演習	開講	通年	単位	4
担当	心3選				
担当者名	ちはら ただし 茅原 正				

#### 講義のねらい

3年次選択の「心理学特殊演習」は、対話討論方式の授業によるもので、4年次必修の「演習」に準ずる性格をもつ。したがって、この演習は卒業論文作成の準備段階としての役割を担っており、学生も2年間かけて卒論研究に取り組むことになるので、各人が、関心をもった自己のテーマをよく考慮した上で選択されたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕  
意識の問題、心理的時間、瞑想の心理・生理、身心の統御、呼吸法などに関する欧文文献を輪読する。  
各自がテーマとする分野に関する報告を義務付ける。特に、年度の後半においては、各自の研究結果の発表、質疑応答を通して問題点を認識し、4年次の卒論作成に備える。

#### 成績評価の方法

出席および発表・討論に対する積極性を重視し、評価する。

#### 教科書

R.E.Ornstein The Psychology of Consciousness の予定である。  
プリント配布。

#### 参考書等

参考書・文献等については、随時紹介する。

科目名	心理学特殊演習	開講	通年	単位	4
配当	心3選				
担当者名	間島 英俊 <small>まじま ひでとし</small>				

講義のねらい

本演習は4年次の卒業論文作成を2年間かけてじっくり構想をかさね、より質的に高い研究をするための3年次の演習であります。そのために、4年次の演習の「講義のねらい」に準拠します。

講義の内容・授業スケジュール

4年次の「演習」の講義のねらい、講義内容・授業スケジュールをそのまま当てはめることができます。ただし、時間的には余裕がありませんので、この演習では各自の研究テーマの設定のために、研究テーマの設定、研究計画および実施まで辿り着きたいと思います。

履修上の留意点

基本的には上述のように4年次の演習に結びつくことがねらいですが、履修届けの前に一応どんなことに興味をもって卒論として取りくみたいかを話し合いたいと思います。その上で、本演習を希望するのであれば履修していただきたいと思います。

成績評価の方法

出席、レポート、発表、討論等演習における真摯な研究態度に対して評価がなされます。

参考書等

参考書、文献等については随時紹介します。

科目名	マス・コミュニケーション論	開講	通年	単位	4
配当	心234選				
担当者名	川本 勝 <small>かわもと かつひろ</small>				

講義のねらい

テレビが誕生してから半世紀がたちます。「もしもテレビが存在しなかったなら、私達のものの考え方、生活の仕方、日本の社会のあり方はどうなっていたでしょう？」といった問いに対して各自の答えが用意できるよう、社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーションの社会的機能を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、まず、コミュニケーションとはなにかを定義し、パーソナル・コミュニケーション、マス・コミュニケーションなど社会的コミュニケーションの類型、特質を整理しながら、コミュニケーションと社会生活の関連を考える。私たちの社会生活は、コミュニケーション活動による他者との相互作用によって成り立っている。人々は現代社会における多種多様化したメディアを利用してどのようなコミュニケーション活動を営んでいるのかを考察する。  
後期は、マス・コミュニケーションの受容過程研究の中で明らかにされてきた効果、影響についての理論を紹介しながら、マス・コミュニケーション活動が社会や人びとに対してどのようなインパクトや社会的機能を果たしているのか、問題点は何かについて論じる。

履修上の留意点

他学部・学科履修ができる科目ですが、他学部・学科の学生は、社会学の科目をすでに履修しているなど社会学の基礎知識を修得しておくことが望ましい。

成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を配慮し、定期試験によって行う。

教科書

用いない。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	社会病理学	開講	通年	単位	4
配当	心234選				
担当者名	やまもと いさお 山本 功				

講義のねらい

まず、社会病理学の基本の概念・方法・研究領域について概観する。まず、従来のオーソドックスな社会病理学の概念・学説史をとりあげ、最後に近年注目を集めている社会構築主義について紹介する。

ついで、様々な「社会病理現象」のうち、犯罪・非行を中心に取り上げ、犯罪学を紹介する。少年の「凶悪化」が叫ばれ、2000年秋に少年法が改正されたが、少年が「凶悪化」したと言えるのだろうか。また、何かしら事件が起こるたびにメディアでは「親が」「学校が」「社会が」と様々な原因が論じられるが、それらは妥当なのだろうか。そもそも、犯罪や非行についてどうして人は語りえるのだろうか。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】第1回イントロダクション「社会病理」とは何か 第2～4回「社会病理」の基礎概念と社会病理学史 第5～8回「社会病理」現象の具体的諸相 第9～13回「社会問題」論と社会構築主義

【後期】第14～16回「犯罪」「非行」概念 第17～19回 人はどうして犯罪について語りえるのか：犯罪報道、公式統計、暗数問題 第20～24回 実証主義的犯罪原因論 第25～26回ラベリング論と社会構築主義

履修上の留意点

webに参考資料をアップする。ネット環境が整っていることが望ましい。携帯電話では不可。

成績評価の方法

定期試験結果で評価する。

教科書

矢島正見他編『よくわかる犯罪社会学入門』学陽書房 ¥1,995  
ISBN4-313-34008-4

参考書等

澤登俊雄『少年法』中公新書2000  
鮎川潤『少年犯罪』平凡社新書2001  
中河伸俊『社会問題の社会学』世界思想社1999  
平英美・中河伸俊編2000『構築主義の社会学』世界思想社  
矢島正見『少年非行文化論』学文社1996  
法務省編『犯罪白書』、警察庁編『警察白書』

科目名	宗教社会学	開講	通年	単位	4
配当	心234選				
担当者名	寺田 喜朗				

**講義のねらい** 日本社会の宗教現象に関する基礎的な知識を得ると共に、宗教社会学の研究視点・研究方法を学ぶ。

**講義の内容・授業スケジュール** 前期・後期共に講義形式で授業を行う。前期は、宗教現象に関する基礎的な知識を学ぶと共に、ヴェーバーやデュルケム等の学説について講義を行う。後期は、宗教社会学的な研究の具体的な視点・理論・調査法について講義を行う。

**履修上の留意点** 本講義では各宗教・宗派について価値中立的な立場で講義を行う。特定の宗教教団を貶めたり、逆に特定の宗教教団を賞揚したり宣伝したりすることはしない。

**成績評価の方法** 後期の最後に、一年間の講義の内容を踏まえた試験を行う。語句説明問題と論述問題を課す。基本的に試験によって評価を行う。ただし規定の出席日数に達しない受講者は評価の対象には含まない。

**教科書**

- 1) 川又俊則・寺田喜朗・武井順介編
- 2) 『ライフヒストリーの宗教社会学』
- 3) ハーベスト社
- 4) 2,400円
- 5) ISBN4-938551-82-9

**参考書等** 随時、講義の中で指示する。

**その他** 特になし

科目名	行政法	開講	通年	単位	4
配当	心1234選				
担当者名	鷗徳 啓登				

**講義のねらい** 現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後50年経過して、国外的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。  
本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

**講義の内容・授業スケジュール** 1. 行政とは何か 2. 行政の原則 3. 行政法の意義と解釈 4. 行政作用の分類と内容・効力 5. 行政行為の瑕疵と効力 6. 行政手続 7. 行政上の強制の方法と制裁 8. 国家による賠償と補償 9. 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

**成績評価の方法** 成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

**教科書** 原田尚彦著 『行政法要論』(学陽書房) 3,000円  
『小六法』 出版社・定価各種

**参考書等** 塩野宏著『行政法I・II』(有斐閣) 4,000円 その他、教場にて説明。



科目名	障害者福祉論	開講	通年	単位	4
配当	心1234選				
担当者名	きりばら ひろゆき 桐原 宏行				

#### 講義のねらい

障害者福祉は、障害者が一人の人間として生活していく過程のなかで、その固有の問題をとらえ、それを権利の視点に立って把握していくことが必要になる。

この授業では、障害者援助を担うための専門職に必要な基礎的事項の学習が中心となる。具体的には、現代社会における障害の概念、障害者福祉の理念などの基礎となる考え方についての理解の促進、現行の障害者施策や障害者の相談援助活動の原則等についての知識の獲得などを旨とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### <前期内容>

- ・障害特性の理解（視覚障害、聴覚言語障害、運動障害、内部障害、知的障害・精神障害）（第1回～第8回）
- ・障害者福祉の理念（ノーマライゼーション、リハビリテーション等）（第9回～第11回）
- ・障害の概念（障害の構造的理解）（第12回）
- ・障害者の実態（第13回）
- ・障害者福祉の歴史（第14回）

##### <後期内容>

- ・障害者福祉の施策（障害者福祉に関連する法律の理解、障害者福祉における行政の役割、障害者プラン等）（第1回～第6回）
- ・障害者福祉サービス（身体障害者、知的障害者、精神障害者、障害児の各領域別福祉サービスの理解）（第7回～第10回）
- ・障害者福祉の分野別課題（保健・医療、教育、雇用、権利擁護、所得保障、バリアフリー等）（第10回～第14回）

#### 履修上の留意点

社会福祉原論及び社会福祉援助技術総論の単位を取得していることが望ましい。

#### 成績評価の方法

年度末試験により評価する。

#### 教科書

- ・新版 社会福祉士養成講座③『障害者福祉論』（中央法規）2,625円
- ・授業内容により補足資料を配布する。

#### 参考書等

授業のなかで随時指示する。

科目名	老人福祉論	開講	通年	単位	4
担当	心1234選				
担当者名	とうじょう みつまさ 東條 光雅				

### 講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、老齢年金支給開始年齢の引上げ、介護保険制度の導入等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年富にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界一の「人生80年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の度合いはいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、今世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その時に高齢者となるのは、現在“青・壮年期”にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対応策としての老人保健福祉の制度・政策についてのみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 前期
- ・人口高齢化の意味
  - ・高齢者問題の背景  
社会変動、家族変動
  - ・高齢者の生活問題
  - ・老化と老年期の身体疾患、身体障害、精神障害
  - ・高齢者の保健福祉ニーズ  
ニーズ把握の方法、保健福祉ニーズの種類
- 後期
- ・老人保健福祉法制と関連施策  
近年の制度及び政策の動向、老人保健法、老人福祉法、介護保険法、関連施策
  - ・老人保健福祉の供給システムと財源  
供給システムとは、供給システムの仕組み（含む、シルバーサービス）、財源、マンパワー
  - ・在宅サービスの制度と処遇  
在宅サービスの制度的枠組み、在宅サービスの歴史・理念・目標、在宅サービスの種類、在宅サービスにおける援助事例
  - ・施設サービスの制度と処遇  
入所（入院）施設の種類の概要、社会福祉分野の入所施設、保健・医療分野の入所（入院）施設、施設における処遇、施設サービスにおける援助事例
  - ・地域及び住環境の整備と福祉機器

### 履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、適宜受講生に対して講義内容に関する質問をしたり、意見発表をしてもらうことがある。近年、富に私語や居眠りをする学生が目立つので、授業態度に問題がある場合には退室してもらう。履修学生は、気を引き締めて授業に臨んでもらいたい。

### 成績評価の方法

原則的には、前期試験と年度末定期試験の平均点をもって評価する。また、出席点は特に考慮しない。

### 教科書

『老人福祉論』、中央法規出版、最新版

### 参考書等

出版社は問わないが、最新の「社会福祉小六法」は購入しておくこと。また、その他の参考書等については必要に応じてその都度紹介する。

### その他

ほぼ毎回プリント資料を配布する。

科目名	児童福祉論	開講	通年	単位	4
配当	心1234選				
担当者名	むらた かずあき 村田 一昭				

#### 講義のねらい

1989年に国連子どもの権利条約が採択されて以降、「子どもの最善の利益」の追求を基本とした子どもの権利擁護サービスが重視され、伝統的な児童福祉から新たな児童福祉へと制度や実践の変革が進められてきています。本講座では、そういった動向を踏まえつつ、子どもと家庭のウェルビーイング（well-being）をめざす新たな児童福祉である子ども家庭福祉の基本的枠組とソーシャルワーク実践に関する理解を深めることを目的としています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期：①子ども家庭福祉の理念、②子どもと家庭をめぐる最近の動向、③子ども家庭福祉への歩みと最近の動向  
後期：①子ども家庭福祉の法体系、②子ども家庭福祉の実施体制、③子ども家庭福祉施策の現状と課題、④子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践の実際

#### 履修上の留意点

可能な限り、受講生とのコミュニケーションを図りながら授業を進めたいので、質問や意見など積極的な発言を求めます。

#### 成績評価の方法

出席、課題（映画鑑賞レポート・読書レポート）、授業中に実施する小テストの累積点

#### 教科書

高橋重宏・山縣文治・才村 純編「子ども家庭福祉とソーシャルワーク（第2版）」（社会福祉基礎シリーズ⑥児童福祉論）（有斐閣）2,000円  
※授業内容により、随時プリントも配布します。

#### 参考書等

随時、紹介します。

#### その他

受講人数に応じて、講義形式、討議形式のいずれかを選択します。



# Ⅲ 他学部履修科目



### Ⅲ. 他学部履修科目

※配当学科の（ ）内の学科生は、他学部履修科目では履修できません。

〔フレックスA時間帯（月～金の1～5時限、土の1～4時限）に開講される他学部履修科目〕

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
禅学概論				休講	
中国禅宗史	他（禅）国英地文環境歴日外考社福心営AGM34選	通年	4	石井 修道	971
日本禅宗史	他（禅）国英地文環境歴日外考社福心営AGM34選	通年	4	佐藤 秀孝	971
禅籍講読I	他（禅）国英地文環境歴日外考社福心営AGM34選	通年	4	程 正	972
禅籍講読III	他（禅）国英地文環境歴日外考社福心営AGM34選	通年	4	岩永 正晴	972
仏教概論				休講	
インド仏教文化史	他（仏）国英地文環境歴日外考社福心営AGM34選	通年	4	金沢 篤	973
中国仏教文化史	他（仏）国英地文環境歴日外考社福心営AGM34選	通年	4	永井 政之	974
日本仏教文化史	他（仏）国英地文環境歴日外考社福心営AGM34選	通年	4	袴谷 憲昭	975
中国古典語初級	他（仏）国英地文環境歴日外考社福心営AGM34選	通年	4	吉村 誠	976
中国哲学史	他（仏）国英地文環境歴日外考社福心営AGM34選	通年	4	前川 亨	976
上代文学研究I	他（国）禅仏英地文環境歴日外考社福心営A34選	通年	4	中嶋 真也	977
中古文学研究 I	他（国）禅仏英地文環境歴日外考社福心営A34選	通年	4	桜井 宏徳	978
中世文学研究I	他（国）禅仏英地文環境歴日外考社福心営A34選	通年	4	櫻井 陽子	978
近世文学研究I	他（国）禅仏英地文環境歴日外考社福心営A34選	通年	4	近衛 典子	979
近代文学研究I	他（国）禅仏英地文環境歴日外考社福心営A34選	通年	4	榎本 正樹	979
比較文学	他（国）禅仏英地文環境社福心営AGM34選	通年	4	木村 朗子	980
西洋思想史	他（国）禅仏英地文環境社福心経A商営AGM34選	通年	4	柴野 博子	980
演劇概論	他（国）禅仏英地文環境社福心営AGM34選	通年	4	森井 直子	981
日本民俗学	他（国）禅仏英地文環境社福心経A商営AGM34選	通年	4	谷口 貢	982
イギリス文学特講 I				休講	
イギリス文学特講II	他（英）禅仏国地文環境歴日外考社福心営AGM34選	通年	4	高野 正夫	983

イギリス文学特講III	他(英)禅仏国地文環境歴日外 考社福心営AGM34選	通年	4	岡崎 寿一郎	984
イギリス文学特講IV	他(英)禅仏国地文環境歴日外 考社福心営AGM34選	通年	4	川崎 明子	984
イギリス文学特講V	他(英)禅仏国地文環境歴日外 考社福心営AGM34選	通年	4	増田 恵子	985
イギリス文学特講VI	他(英)禅仏国地文環境歴日外 考社福心営AGM34選	通年	4	丸小 哲雄	986
アメリカ文学特講I	他(英)禅仏国地文環境歴日外 考社福心営AGM34選	通年	4	東 雄一郎	987
演劇特講(イギリス・アメリカ)	他(英)禅仏国地文環境歴日外 考社福心営AGM34選	通年	4	落合 和昭	988
時事英語	他(英)禅仏国地文環境歴日外 考社福心経A商営A34選	通年	4	サンダース、 L. P.	988
文化地理学	他(地文)禅仏国英歴日外考社 福心経A商営AGM34選	通年	4	小田 匡保	989
人口地理学	他(地文)禅仏国英歴日外考社 福心経A商営AGM34選	通年	4	山内 昌和	990
現代地理学特論				休講	
日本仏教史	他(日)国英地文環境社福心営 A34選	通年	4	松本 信道	990
日本史特講VII【〔近代〕】	他(日)禅仏国英地文環境社福 心経A商営AGM34選	通年	4	熊本 史雄	991
東洋史特講III【〔近世史〕】	他(外)禅仏国英地文環境社福 心営AGM34選	通年	4	杉山 清彦	991
考古学特講III				休講	
西洋文化史	他(外)禅仏国英地文環境社福 心経A商営AGM34選	通年	4	石田 恵子	992
哲学史	他(日)国英地文環境社福心経 A商営AGM34選	通年	4	山口 祐弘	993
産業・職業社会学				休講	
マス・コミュニケーション論	他(社)禅仏国英地文環境歴日 外考経A商営A34選	通年	4	川本 勝	994
社会福祉発達史	他(福)禅仏国英地文環境歴日 外考心経A商法A政営AGM34 選	通年	4	堀 千鶴子	995
日本経済史	他(経)禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A政GM34選	通年	4	渡邊 恵一	996
農業政策	他(経)禅仏国英地文環境歴日 外考社福営A34選	通年	4	溝手 芳計	997
日本経済論	他(経)禅仏国英地文環境歴日 外考法A政GM34選	通年	4	小林 正人	998
中国経済論	他(経)禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A政営AGM34選	通年	4	小杉 修二	999
アメリカ経済論	他(経)禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A政営AGM34選	通年	4	瀬戸岡 紘	1000



EU統合論	他(経) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福政営AGM34選	半期	2	廣田 愛理	1001
現代西欧経済論	他(経) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福政営AGM34選	半期	2	廣田 愛理	1001
財務会計論	他(商) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A政GM34選	通年	4	小栗 崇資	1002
ロシア・東欧経済論				休講	
会計監査論	他(商) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A政GM34選	通年	4	森田 佳宏	1003
管理会計論a	他(商) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A政4選	半期	2	石川 祐二	1004
管理会計論b	他(商) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A政4選	半期	2	石川 祐二	1004
貿易論	他(商) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A政営AGM34選	通年	4	古沢 紘造	1005
経済法	他(法A) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心営AGM34選	通年	4	若林 亜理砂	1006
国際政治学	他(政) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A商法A営AGM3 4選	通年	4	小堀 訓男	1007
ヨーロッパ政治史	他(政) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A商法A営AGM3 4選	通年	4	浦田 早苗	1007
地方自治法	他(政) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A商営A34選	通年	4	富井 幸雄	1008
比較政治学	他(政) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A商法A営AGM3 4選	通年	4	三竹 直哉	1009
現代国家論	他(政) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A商法A営AGM3 4選	通年	4	大塚 桂	1010
経営労務論	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A政GM34選	通年	4	鹿嶋 秀晃	1011
国際経営論				休講	
商業史	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A政34選	通年	4	山田 勝	1012
保険経営論	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A政GM34選	通年	4	石名坂 邦昭	1013
財務会計論	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A政34選	通年	4	渡邊 恵一郎	1014
経営分析論	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A商法A政GM 34選	通年	4	片桐 伸夫	1015
税務会計論	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心法A政34選	通年	4	高木 克己	1016
経営情報論	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日 外考社福心経A商法A政34選	通年	4	岩淵 匠	1017

情報理論	他(営A) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A 商法A 政34選	通年	4	西村 和夫	1018
経営統計	他(営A) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A 商法A 政34選	通年	4	長 国強	1019
医療宗教学	他(放) 禅仏国地文環境歴日外 考社福心営A34選	半期	2	吉津 宜英	1020
医療経済学	他(放) 禅仏国地文環境歴日外 考社福心経A 商営A34選	半期	2	永山 くに子	1021
メディア・コミュニケーション 概論	他(GM) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A 商営A34選	半期	2	西岡 洋子	1022
ネットワークコミュニケーション 論	他(GM) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A 商営A34選	半期	2	菅谷 実	1023
情報メディア産業論 I	他(GM) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A 商政営A34選	半期	2	福家 秀紀	1024
比較メディア制度論	他(GM) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A 商政営A34選	半期	2	西岡 洋子	1024
都市とメディア	他(GM) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A 商政営A34選	半期	2	高 媛	1025
グローバルアート政策論	他(GM) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A 商政営A34選	半期	2	川崎 賢一	1026
グローバル創造都市論	他(GM) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A 商政34選	半期	2	川崎 賢一	1026
情報保護と社会	他(GM) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心経A 商政営A34選	半期	2	苗村 憲司	1027
異文化コミュニケーション				休講	
女性史				休講	
文化概論				休講	
国文学特殊研究				休講	
古典戯曲演劇				休講	
メディアと表現				休講	
時事英語				休講	

〔フレックスB時間帯(月～金の6・7時限、土の3～7時限)に開講される他学部履修科目〕

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
商学総論	他(経B) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A 政営A34選	通年	4	大吹 勝男	1028
社会思想史 a				休講	
社会思想史 b				休講	
国際経済論	他(経B) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A34選	通年	4	徳永 俊明	1029
商業政策				休講	
アジア経済論				休講	
社会政策	他(経B) 禅仏国英地文環境歴 日外考心営A34選	通年	4	光岡 博美	1030
マーケティング	他(経B) 禅仏国英地文環境歴 日外考社福心法A 政34選	通年	4	曾我 信孝	1030

経営管理論a	他(経B) 禅仏国英地文環境社福心GM34選	半期	2	岩波 文孝	1031
経営管理論b	他(経B) 禅仏国英地文環境社福心GM34選	半期	2	岩波 文孝	1032
中小企業論	他(経B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営A34選	半期	2	吉田 敬一	1033
中小企業政策論	他(経B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営A34選	半期	2	吉田 敬一	1034
人口論	他(経B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営AGM34選	通年	4	森岡 仁	1035
人的資源管理論 a	他(経B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営A34選	半期	2	堀 龍二	1036
人的資源管理論 b	他(経B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営A34選	半期	2	堀 龍二	1037
法思想史	他(法B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商政営A34選	通年	4	高橋 洋城	1038
日本法制史				休講	
西洋法制史	他(法B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商営A34選	通年	4	北野 かほる	1039
経済法	他(法B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A34選	通年	4	荒井 登志夫	1040
国際関係論	他(法B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商営A34選	通年	4	三船 恵美	1041
地方自治法	他(法B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商営A34選	通年	4	富井 幸雄	1042
国際紛争解決法	他(法B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商営A34選	通年	4	王 志安	1043
倒産処理法	他(法B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商政営A34選	通年	4	鈴木 貴博	1044
アメリカ経営学	他(営B) 禅仏国英地文環境歴日外考福心経A商法A政34選	通年	4	宮城 徹	1045
経営財務論	他(営B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政34選	通年	4	高田 光明	1046
経営組織論	他(営B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政34選	通年	4	日野 健太	1047
公益企業論				休講	
管理会計論	他(営B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政34選	通年	4	猿山 義広	1048
会計監査論	他(営B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政34選	通年	4	阿部 一人	1049
日本経済論	他(営B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政34選	通年	4	羽鳥 茂	1050



科目名	中国禅宗史	開講	通年	単位	4
配当	他(禅) 国英地文環境歴日外考社福心営AGM34選				
担当者名	石井 修道 <small>いしい しゅうどう</small>				

講義のねらい

この講義は中国禅宗史を概観するものである。禅宗史を学ぶのに必要な資料にまず触れ、勉強の仕方も折りに触れたい。具体的には、唐・五代・宋・元代の最も魅力ある禅者を一人一人禅宗史上で位置づける中で学んで行きたい。年間、数限られた人数しか触れられないであろうが、しかし、できるだけ数多くの禅者に触れてみたい。特に唐・五代を中心に①菩提達磨②二祖慧可③五祖弘忍④六祖慧能⑤青原行思⑥南嶽懷讓⑦石頭希遷⑧馬祖道一⑨葉山惟儼⑩百丈懷海⑪雲巖曇晟⑫南泉普願⑬趙州從諗⑭滄山靈祐⑮黄檗希運⑯洞山良价⑰臨濟義玄⑱雪峰義存⑲玄沙師備⑳雲門文偃などを取り上げる。宋・元では、①芙蓉道楷②宏智正覺③圓悟克勤④大慧宗杲⑤中峰明本などを取り上げる。興味ある行状はできるだけ触れるつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。

成績評価の方法

夏期休暇後に提出された教科書の感想文(400字詰め5枚程度)のレポート20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

石井修道『道元禅師正法眼蔵行持に学ぶ』(禅文化研究所) 2, 415円

参考書等

石井修道『中国禅宗史話』(禅文化研究所) 3,605円  
『禅学大辞典』(大修館書店)、入矢義高等『禅語辞典』(思文閣書店)。

科目名	日本禅宗史	開講	通年	単位	4
配当	他(禅) 国英地文環境歴日外考社福心営AGM34選				
担当者名	佐藤 秀孝 <small>さとう ひでたか</small>				

講義のねらい

本講座は、日本における禅宗の歴史を講義するものである。唐・宋代に隆盛した中国禅宗がどのように日本に伝来し、如何なる展開・発展を遂げて日本禅を形成していったのか、その過程を探ることで、思想的な意義と日本文化への影響などを論じたい。

講義の内容・授業スケジュール

禅宗の伝来、栄西と能忍、兼修禅の系譜、道元の仏法と初期永平寺僧団、来日僧と純粹僧、日本禅の二十四流、五山の成立と五山文学、中世文化と禅宗、応燈関の一流、瑩山紹瑾と曹洞宗の地方展開、隠元の来日と黄檗宗、近世臨濟宗と白隠禅、近世の曹洞宗の宗統復古、近代国家と禅宗、といったテーマを順次進めていく。

履修上の留意点

禅の教理や思想の理解および日本史の一般的知識を習得しておくこと。

成績評価の方法

平常点(出席)と試験による総合評価。

教科書

伊吹敦『禅の歴史』(法蔵館) 3,800円

参考書等

田中良昭編『禅学研究入門』(大東出版社) 6,000円  
駒澤大学仏教学研究室編『宗教学II』(更正社) 2,600円  
船岡誠『日本禅宗の成立』(吉川弘文館) 2,500円  
その他、日本禅宗に関する諸文献

科目名	禅籍講読I	開講	通年	単位	4
担当	他(禅) 国英地文環境歴日外考社福心営AGM34選				
担当者名	程 正				

講義のねらい

禅籍講読Iは、中国初期禅宗の文献を適宜取り上げて講読し、それぞれの禅思想の特色を明らかにするものである。

講義の内容・  
授業スケジュール

取り扱う禅宗文献は、主に初祖とされる菩提達摩から、五家の成立以前までのものとする。具体的には、『二入四行論』『絶観論』『修心要論』『六祖壇経』などの禅籍を順次取り上げて、解題を行ってから、それぞれの思想的特色を講義していきたい。

履修上の留意点

講義内容を必ずノートすること。出席点を評価に入れるので、欠席しないこと。

成績評価の方法

夏休みの課題レポート、期末テスト、出欠点の三つを総合的に評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

適宜に紹介する。

科目名	禅籍講読III	開講	通年	単位	4
担当	他(禅) 国英地文環境歴日外考社福心営AGM34選				
担当者名	岩永 正晴				

講義のねらい

この科目は日本禅宗初期の典籍を講読するものである。また禅学科の選択必修科目であるので、これまで広く読まれてきた基本的な典籍を講読しなければならないと考える。よって本年度も、前年度と同様に、道元禅師撰『学道用心集』を取り上げることとする。『学道用心集』は明治18年に定められた曹洞宗大学林専門学本校の授業科目でも宗部正講の初級に定められており、曹洞宗旨を学ぶための基本的な典籍とみなされてきた。この科目の目的に添うものと思う。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず解題として『学道用心集』の成立・刊行状況・特徴・位置付けなどを講じた後、本文を読み進める。

履修上の留意点

漢文で書かれた典籍であるので、普段から漢文に慣れる努力をして授業に望んで貰いたい。また、紹介する参考書等は積極的に読んで頂きたい。

成績評価の方法

学年末の試験と出席点によって成績評価を行う。

教科書

コピーし製本したものを配布する。

参考書等

『道元禅師全集』第7巻(春秋社)、角田泰隆『道元入門』(大蔵出版)、大本山永平寺編『学道用心集の参究』(国書刊行会)、篠原寿雄『学道用心集—学習と修行のこころえ—』(大東出版)等。その他は参考書リストを配布して必要に応じて紹介する。

科目名	インド仏教文化史	開講	通年	単位	4
配当	他(仏)国英地文環境歴日外考社福心営AGM34選				
担当者名	かなざわ あつし 金沢 篤				

講義のねらい

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

神や人間などが織りなす奇想天外なインド的物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頽にまつわる文化的トピックを論究する。

履修上の留意点

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。

成績評価の方法

年度末試験などで総合的に判断する。

教科書

渡辺照宏著『仏教(第二版)』(岩波新書)740円

参考書等

教場で適宜紹介する。

科目名	中国仏教文化史	開講	通年	単位	4
配当	他(仏)国英地文環境歴日外考社福心宮AGM34選				
担当者名	永井 政之 <small>ながい まさし</small>				

#### 講義のねらい

中国仏教の発展展開を全体的に論ずることは決して容易なことではない。いまに残る膨大な資料によって語られる綿密な思想構築の世界がある一方、資料として残らない、言葉をかえるなら資料を残しえない人々に受容された仏教の世界もまた事実として存在したからである。後者に支えられることによって、前者が歴史に残りえたと言ってよいかも知れない。

そしてこのような歴史的事実を「事実」として複眼的に捉えるところから、中国仏教研究はなされるべきであると、私は考えている。

このように仏教を「複眼的まなざし」で捉えようとするとき、「葬儀」は一方の重要な柱となる。「葬式仏教」という言葉は、現代ではすでに「負のレッテル」を貼られて通用しているが、実態としては葬儀と関わったが故に、仏教は中国、あるいは日本において広まったとも言えるし、むしろ問題とすべきは「葬儀」のありようが、執行者においても、またそれを受容した民衆においても、十全に理解されていないことかもしれない。そのような問題意識を持って、この授業をすすめて行きたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

はじめに葬儀をめぐるブッダの発言、戒律における規程を概観します。ついで南北朝における神滅神不滅の議論を通して、仏教が基本的に説く「無我」の論理と、中国人の死後観がどう結びついたかを考えます。ここでは後の仏教の葬送儀礼に強い影響を与えた儒教の葬送儀礼についても触れたいと思います。

また禅僧がとった葬送にたいする態度をとともに、禅宗の清規における葬送儀礼を紹介し、今日の葬送儀礼の成立や意味するところを考えます。

#### 履修上の留意点

毎回、必要なプリントを配布し、積み上げるように授業を進めますから、まじめに出席してください。

#### 成績評価の方法

出席、レポート、期末試験の結果を総合して評価します。

#### 教科書

教科書はありません。必要なプリントを配布します。

#### 参考書等

参考文献として以下を挙げておきます。

圭室諦成『葬式仏教』(大法輪閣)

曹洞宗総合研究センター『葬祭—現代的意義と課題—』(曹洞宗宗務庁)



科目名	日本仏教文化史	開講	通年	単位	4
配当	他(仏)国英地文環境歴日外考社福心堂AGM34選				
担当者名	袴谷 憲昭 <small>ひかまや のりあき</small>				

講義のねらい

仏教思想とはなにかという課題を断えず問いかけながら、日本における文化の実態を検討する。その検討課題を章節仕立てて示せば、次のとおりである。

講義の内容・授業スケジュール

- 序 仏教伝来以前の文化
- 1 文化構造の解釈 2 日本古来の文化
- 第1章 中国朝鮮の影響下の仏教文化
  - 1 呉音漢音と文化 2 美術中の仏教観
  - 3 自利利他の問題 4 太子信仰の背景
- 第2章 南部の学問仏教と民衆の文化
  - 1 大仏建立の理念 2 学問仏教の実際
  - 3 勸進聖と修験道 4 仏教と神祇信仰
- 第3章 日本独自の文化形成と仏教観
  - 1 大乘戒壇の設立 2 一乗三乗の論争
  - 3 密教と祈禱仏教 4 本覚思想の定着
- 第4章 中世の仏教信仰の確立と変容
  - 1 浄土信仰の諸相 2 法華信仰の諸相
  - 3 禅宗と五山文学 4 神仏習合の諸相
- 第5章 近世と近代の社会文化と仏教
  - 1 鉄砲と吉利支丹 2 幕府の宗教政策
  - 3 江戸文化と仏教 4 維新と廃仏毀釈
- 結 現代社会と仏教文化
  - 1 近代より現代へ 2 戦後と民主主義

履修上の留意点

講義ではあるが、参加者には、文献を自ら読もうとすることが要求される。必要な資料については教場で配布するが、その再発行は原則としてしないので、気をつけられたい。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。ただし、参加者の状況によっては評価の方法の変化もありうる。

教科書

袴谷憲昭著『日本仏教文化史』(大蔵出版)2005年

参考書等

袴谷憲昭著『仏教入門』(大蔵出版)2004年

その他

必要購読文献はコピーで配布し再発行はしないので注意されたい。

科目名	中国古典語初級	開講	通年	単位	4
配当	他(仏)国英地文環境歴日外考社福心堂AGM34選				
担当者名	よしむら まこと 吉村 誠				

#### 講義のねらい

東アジアでは漢訳仏典が「聖典」とされ、漢文(中国古典語)によって仏教が受容されてきた。註釈書、歴史書、高僧の著作なども、ほとんどが漢文で書かれている。したがって、東アジアの仏教を知るには、何よりもまず「漢文」が読めるようになる必要がある。この講義では、漢文の読み方を基礎から丁寧に指導する。受講者は仏典や名文を読みながら、辞書の引き方や漢文法の基本を、自然にマスターすることができるだろう。「お経」の意味を自力で解説する楽しみを味わってもらいたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

本年度は、初めに基礎文法を解説し、次いで有名な仏典や詩文を講読する。中国で仏教の入門書として読まれた『四十二章経』、東アジアで流行した大乘經典(『般若心経』『維摩経』『法華経』など)、仏教にまつわる伝記や説話(『高僧伝』『搜神記』など)の要文を読む予定である。

#### 履修上の留意点

毎回予習をして、休まず出席する。語学の習得には学習の継続が不可欠である。

#### 成績評価の方法

出席や予習の状況、レポートなどを総合して評価する。一過性のテストは行わない。

#### 教科書

プリントを使用する。漢和辞典は必携のこと。『新字源』(角川書店)、『漢語林』(大修館書店)、『漢辞海』(三省堂)を推奨する。他に文法書の購入も指示する。

#### 参考書等

授業中に随時紹介する。

科目名	中国哲学史	開講	通年	単位	4
配当	他(仏)国英地文環境歴日外考社福心堂AGM34選				
担当者名	まえかわ とおる 前川 亨				

#### 講義のねらい

中国の思想・哲学・宗教について、その基本的な知識を伝授し、東アジア世界の歴史や文化に関する知見を深めるための材料を提供したい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

本年度は中国哲学史の前半(先秦時代から唐代まで)を扱う。儒教・仏教・道教それぞれの教義と、それが中国社会に占める位置の検討が中心となるであろう。

#### 履修上の留意点

受講者には、継続的な出席と積極的な参加協力を求める。卒業年次生などで欠席しなければならない事由がある場合には、予め申し出ること。欠席が余りに目立つ場合には、名簿から名前を抹消する。遅刻も避けること。東アジアの社会・文化・思想・宗教など様々な分野に関心のある諸君の受講を歓迎する。

#### 成績評価の方法

前期・後期それぞれにレポートを提出してもらう。欠席が目立つ場合には減点の対象とし、甚しい場合には、レポートが提出されても不可とする。

#### 教科書

特に必要としない。資料を配布する。

#### 参考書等

授業内に適宜紹介する。

#### その他

できるだけ多くの知識を提供するため、講義の形式をとるが、受講者の意見を微しながら進めていく。受講者からの積極的な問題提起を歓迎する。

科目名	上代文学研究I	開講	通年	単位	4
配当	他(国) 禅仏英地文環境歴史外考社福心堂A34選				
担当者名	なかじま しんや 中嶋 真也				

#### 講義のねらい

現存、日本最古の歌集『万葉集』を精読し、古代の歌の様相を探求していく。総じて日本古典において、「住吉」といえば「松」というように、地名は特定の景物と結び付けて捉えられることが少なくない。それは「歌枕」と称される。このことばは平安以降の和歌の説明に用いられ、『万葉集』研究には極力用いないというのが現状である。しかし「歌枕」認識はそれまでに詠まれた歌々の蓄積があってこそ誕生するものである。『万葉集』の歌々が「歌枕」と無縁ではありえないのである。そのような後代の受容を意識しつつ、『万葉集』において、地名と景物がどのような表現を織り成しているのかを見届けることを、この講義の目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

最初は『万葉集』の概説を行なう。全20巻に及ぶ『万葉集』の歌の所収状況や、現在4つの区分で説明される作歌の時期などの説明を丁寧に行なう。『万葉集』を読んだ経験は各人によって差があろうが、初学者にも十分配慮する。その上で、具体的な地名を詠んだ歌を取り上げ、どのような景物とともに、どういった表現を成り立たせているのかを見ていく。本年は『万葉集』を生み、育んだ大和国(今の奈良県)の地名を中心に取り上げる予定である。

#### 履修上の留意点

毎回の授業で、できるだけ多くの歌を取り上げ、かつ精読していくつもりだが、各人が一層の興味を持って、さまざま読みを深めてほしい。また、そのような熱心な学生の意見や要望は、積極的に授業に生かしていきたい。講義というスタイルだが、主体的な受講を切に希望する。

#### 成績評価の方法

出席状況、授業態度、学期末試験などを軸に評価する。

#### 教科書

鶴久・森山隆『万葉集』(おうふう)

#### 参考書等

授業中に適宜指示する。

#### その他

テキスト以外の資料は、必要に応じてプリントで配布する。

科目名	中古文学研究Ⅰ	開講	通年	単位	4
担当	他(国) 禅仏英地文環境歴日外考社福心営A34選				
担当者名	桜井 宏徳 <small>さくらい のりひろ</small>				

講義のねらい

『源氏物語』以後、平安時代後期から中世にかけての王朝物語・歴史物語の展開をたどり見ることを通じて、物語文学の多彩なあり方について考える。

講義の内容・授業スケジュール

『無名草子』の物語批評を糸口として、さまざまな王朝物語・歴史物語を紹介し、物語の本文にも触れながら、その特質や文学史上の位置づけについて講義する。

履修上の留意点

講義では多くの物語を取り上げるので、その中から各自の興味・関心に即した作品を選び、原文を読んでみてほしい。

成績評価の方法

①レポート ②出席状況 ③その他によって総合的に評価する。

教科書

桑原博史校注『無名草子』<新潮日本古典集成>(新潮社、1976年)2,310円

参考書等

授業時に適宜紹介する。

その他

授業は講義形式とする。また、適宜プリントを配布する。

科目名	中世文学研究Ⅰ	開講	通年	単位	4
担当	他(国) 禅仏英地文環境歴日外考社福心営A34選				
担当者名	桜井 陽子 <small>さくらい ようこ</small>				

講義のねらい

軍記物語、そして『平家物語』について、文学史上における意味・意義・問題点について講義し、次に作品の内容を紹介する。

その上で、『平家物語』の多くの登場人物の中から、巻十を中心に平維盛と平重衡に焦点をあてて諸章段を読む。死に立ち向かう人間の苦悩・覚悟・悲しみなどを読み解きながら、『平家物語』は何を描写し得たのか、何を切り落としたのかを考える。諸本による相違に目を配ることによって、『平家物語』の多面的な問題に触れる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1～5 軍記物語にはどのような特徴があるか。
- 6～10 『平家物語』にはどのような特徴があるか。
- 11 『平家物語』巻十の位置づけ。平維盛と平重衡の説明。
- 12～ 『平家物語』諸章段を読む。

履修上の留意点

講義ノートを作成しておくこと。

成績評価の方法

出席・授業態度・レポート・定期試験によって総合的に評価する。

教科書

授業時に指示する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	近世文学研究I	開講	通年	単位	4
配当	他(国) 禅仏英地文環境歴日外考社福心堂A34選				
担当者名	このえ のりこ 近衛 典子				

講義のねらい	上田秋成の読本『雨月物語』を読む。
講義の内容・授業スケジュール	単に小説のストーリーを追うだけでなく、典拠となった中国白話小説や日本の古典作品の精読、本文との比較検討などを通して、浮かび上がってくる作品の主題を考える。
履修上の留意点	出席重視。
成績評価の方法	出席状況、受講態度、レポート等を総合し評価する。
教科書	鷲山樹心編『講読雨月物語』(和泉書院)
その他	講義

科目名	近代文学研究I	開講	通年	単位	4
配当	他(国) 禅仏英地文環境歴日外考社福心堂A34選				
担当者名	えのもと まさき 榎本 正樹				

講義のねらい	90年代以降にデビューした新しい作家の作品を網羅的にとりあげ、その作家固有のテーマや表現、モチーフを検証し、さらには同時代的な意義やジャンルの可能性を探ります。
講義の内容・授業スケジュール	現代日本文学のフィールドで重要だと思われる作家・作品を網羅的に解説・分析し、作品に内在するテーマ、モチーフ、表現や語りの技法、周辺メディアとの関連などを抽出していきます。扱う作品は主流系文学に限定せず、あらゆるジャンルの小説ジャンルを対象とします。今年度の授業では、昨年(2006年)映画公開された現代日本文学を原作とする映画を、原作と比較しながら解説する小特集的なテーマを設定します。小川洋子『博士の愛した数式』、群ようこ『かもめ食堂』、江國香織『間宮兄弟』、恩田陸『夜のピクニック』、村山由佳『天使の卵』、山田詠美『風味絶佳』などを取りあげる予定です。榎本は研究活動の一環として現代作家へのインタビューや取材を積極的に行っていますので、授業では作家の生の情報や現場のエピソードなども盛りこんでいきます。
履修上の留意点	現代日本文学、映画、同時代のメディア全般に興味をもつ学生の履修を歓迎します。
成績評価の方法	学期末提出のレポートの内容をメインに、出席点と授業の参加度を加味し評価します。
教科書	使用しません。取りあげる作品を事前に読んでいなくても理解できる形で、授業は進めます。
参考書等	参考文献等は教室で指示します。
その他	講義形式をとります。資料はプリントで配付します。履修に際しては、榎本のプロフィールや研究業績が掲載されているサイト( <a href="http://enmt.jp">http://enmt.jp</a> )も参考にしてください。

科目名	比較文学	開講	通年	単位	4
配当	他(国)禅仏英地文環境社福心営AGM34選				
担当者名	木村 朗子 <small>きむら さんこ</small>				

講義のねらい

はじめに比較文学がなにをどのように研究することなのか、また比較文学は、どのような歴史的背景のなかではじまった学問なのかについて確認し、その上で比較文学の方法を実際に用いながらさまざまな文学を実際に検討する。

比較の方法は、異なる国の文学を比較するだけでなく、翻訳の問題、文学を絵画化した場合、映像にした場合などさまざまに可能性がある。授業ではとくに小説を映画化したケースを中心課題として分析を進めながら、比較文学の方法を学ぶ。

成績評価の方法

出席と授業内レポートあるいは学期末のテストによる。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	西洋思想史	開講	通年	単位	4
配当	他(国)禅仏英地文環境社福心経A商営AGM34選				
担当者名	柴野 博子 <small>しばの ひろこ</small>				

講義のねらい

カント以後のドイツを中心とする西洋思想の流れをたどりながら、よりよく生きるための話題を提供したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに古代と中世思想を概観し(4・5月)、その後カントに入ります。前期は、カントの思想を中心に、ドイツ観念論までお話する予定です(6・7月)。

後期は、ショーペンハウアー、ニーチェ(9・10月)、ベルクソン、デュルタイ(11月)など、生の哲学者の思想を見ていきます。そして最後に、現代の西洋思想を代表するガダマーの解釈学の一端にも触れたいと思っています(12月)。

成績評価の方法

年2回の試験と出席状況、学習態度などを総合して評価します。

教科書

久保陽一・河合淳『原典による哲学の歴史』(公論社)3,200円

科目名	演劇概論	開講	通年	単位	4
配当	他(国) 禅仏英地文環境社福心営AGM34選				
担当者名	森井 <sup>もりい</sup> 直子 <sup>なほこ</sup>				

#### 講義のねらい

「演劇」と言われて思い浮かべるものは、人によって実に多彩である。なぜ、演劇はこれほど様々な顔を持っているのだろうか。明治時代以来現代に至るまでの、日本の演劇の変容を追う。

同時に、それぞれの時代、それぞれの問題意識の中から生まれた戯曲作品の鑑賞も行う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 前期 1、日本近代演劇の黎明(2回)  
 2、明治40年代の演劇(2回)  
 3、日本近代戯曲の模索(2回)  
 4、大正戯曲の時代(2回)  
 5、築地小劇場(2回)  
 6、政治と演劇(2回)  
 7、まとめ(1回)
- 後期 1、戦後新劇と戯曲(2回)  
 2、小劇場運動の隆盛—1960年代(2回)  
 3、小劇場運動の展開—1970年代(2回)  
 4、私さがしとメタシアター—1980年代(2回)  
 5、静かな演劇—1990年代(2回)  
 6、今日の演劇(1回)  
 7、まとめ(1回)

#### 履修上の留意点

授業の進行に従い、5、6本の戯曲作品をとりあげます。その戯曲については、あらかじめ読んでから出席することが必要。(扱う作品は、授業の中で指示する。)また、1年のうちに2度、劇場へ行って観劇してもらうので、留意されたい。

#### 成績評価の方法

前期末、後期末の観劇レポート、出席点、平常点から評価する。

#### 教科書

特に定めない。

#### 参考書等

授業時に指示する。

#### その他

講義形式の授業。

科目名	日本民俗学	開講	通年	単位	4
配当	他(国) 禅仏英地文環境社福心経A商営AGM34選				
担当者名	たにくち みつぎ 谷口 貢				

#### 講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の調査・研究を通して、日本社会に展開する生活文化を追究する学問である。「民俗」はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

本年度は日本の地域社会に伝承されてきた民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していきたい。年間の講義予定は以下に掲げる内容で、各2回程度に分けて行う予定である。

- 第1講 民俗の多様性
- 第2講 民俗学の流れと現在
- 第3講 家族生活と住まい
- 第4講 食をめぐる民俗
- 第5講 村と町のなりたち
- 第6講 若者と一人前
- 第7講 婚姻と出産・子育ての民俗
- 第8講 女性・子ども・老人の民俗
- 第9講 葬送儀礼と先祖祭祀
- 第10講 里と海・山のなりわい
- 第11講 祭りと年中行事
- 第12講 民俗宗教の諸相
- 第13講 北海道民俗・沖縄民俗の特徴

#### 成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

#### 教科書

谷口 貢・松崎憲三編著『民俗学講義－生活文化へのアプローチ』八千代出版、2100円(税込)、ISBN 4-8429-1405-X

#### 参考書等

講義内容を発展させるための参考文献は授業の中で紹介していきたい。



科目名	イギリス文学特講II	開講	通年	単位	4
担当	他(英) 禅仏国地文環境歴日外考社福心営AGM34選				
担当者名	たかの まさお 高野 正夫				

#### 講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心を持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、DrydenやPopeなどに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomsonのように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward YoungやRobert BlairそしてThomas Grayなどのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年にWilliam WordsworthとSamuel Taylor Coleridgeによって出版された“Lyrical Ballads”という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていた。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

#### 成績評価の方法

前期のレポートと期末試験によって評価する。

#### 教科書

教場にて指示します。

科目名	イギリス文学特講III	開講	通年	単位	4
担当	他(英) 禅仏国地文環境歴日外考社福心営AGM34選				
担当者名	おがさき といちろう 岡崎 寿一郎				

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代」modernityという言葉の感覚を理解することは、むつかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出発として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T. S. エリオットの現代詩(モダニズム)、さらにD. H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科目名	イギリス文学特講IV	開講	通年	単位	4
担当	他(英) 禅仏国地文環境歴日外考社福心営AGM34選				
担当者名	かわさき あきこ 川崎 明子				

講義のねらい

ヴィクトリア朝の小説と文化を紹介します。小説の黄金時代といわれるヴィクトリア朝の著名作家の代表作品を解説します。具体的には、ディケンズ、ブロンテ姉妹、エリオット、ギャスケル、サッカー等々の長編。並行して当時の文化的・歴史的背景を解説します。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 学期中に小レポート1、2回
  - 2 前期・後期末に筆記試験
  - 3 前期・後期末にレポート
- レポートは合格点に達するまで書き直し。優秀レポートの口頭発表あり。  
レポートと口頭発表は英語・日本語どちらでも可。

履修上の留意点

- 1 上に挙げた作家一人につき最低一つの作品を、翻訳でよいので通読した上で臨むこと
- 2 第一回目の授業より必ず辞書を持参すること
- 3 レポート作成においてはフォーマットを指定するので最低限のワープロの知識を持つこと

成績評価の方法

出席、小レポート、レポート、試験の結果に加え、授業への貢献度により総合的に評価します。

教科書

特になし。

参考書等

川口喬一『イギリス小説入門』(研究社) イギリス小説の流れと特徴を原文入りで易しくまとめた良書。小説研究のヒントも得られます。大学図書館にも入っています。

科目名	イギリス文学特講Ⅴ	開講	通年	単位	4
配当	他(英) 禅仏国地文環境歴日外考社福心堂AGM34選				
担当者名	増田 <sup>ますだ</sup> 恵子 <sup>けいこ</sup>				

講義のねらい

『嵐が丘』や『ジェイン・エア』で知られるブロンテ姉妹について理解を深めます。生い立ちや初期作品、2大作品以外の詩や小説にも触れることで、ブロンテ文学の特徴がおのずと浮かび上がるようにしたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

最初の授業で説明します。

履修上の留意点

3分の2以上の出席と授業への積極的な参加姿勢が必要です。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価します。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

随時指示します。

科目名	イギリス文学特講VI	開講	通年	単位	4
配当	他(英) 禅仏国地文環境歴日外考社福心営AGM34選				
担当者名	丸小 <sup>まるこ</sup> 哲雄 <sup>てつお</sup>				

### 講義のねらい

日本語の「アート」のインフレ。「英米文学研究」のデフレ。外国文学研究のあり方が問われている。日本語のアートと英語のArtは異質である。アート(art)が「芸術」でも、アーティスト(artist)が「芸術家」でも、ミュージアム(museum)が「美術館」「博物館」でもない。そこで外国文学研究を活性化するには以下4つの前提がある。一つ目は英米文学を学ぶ受講生にとっては生得でない英語に依存しなければならない宿命的なハンディキャップがあること、二つ目は近代においては日本・日本人・日本語・日本文化(文学)はあたかも一体であると考えたことには錯覚があること、三つ目は世界に共通する美的で倫理的な文学の一致はありえないこと、そして最後の前提は文学テキストの読みについての論議のためにはテキストの読み・解釈・批評についてのさまざまな方法論があることである。

本講義は、異文化のズレによる言葉の闘いが文学研究を豊かにし、問題意識を高めていく。異質のものに目を放って、自らを更新するという外国文学研究であるとすれば、四角い言葉(英語)と丸い言葉(日本語)の分裂を意識しながら、精読と思考によって言葉を押し詰めることで、自分の言葉を成り立たせる「丸い言葉」(止揚・揚棄)を獲得し、「尻理屈」ではなく、腑に落ちるように「理屈」を言う外国文学研究の講義となります。

本講義は、とりわけ文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、ときに文学テキストの演習を行うい、文学テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 1) 自然言語と虚構言語と虚構言語の相違について
- 2) 英米文学の制度の成立と文学研究の意義について
- 3) 文学と批評の基本的用語について
- 4) 文学テキストの基本的要素と文学テキストの機能と力について
- 5) さまざまな批評方法について

・伝統批評、伝記批評、ロシア・フォルマリズム、ニュー・クリティシズム、テーマ批評、受容理論、精神分析批評、構造主義、記号論、ポスト構造主義、ニュー・ヒストリシズム、ポストコロニアル批評

### 履修上の留意点

私語厳禁

### 成績評価の方法

出席、翻訳課題、リーディング課題、前期・後期のターム・ペーパー(レポート作成)などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価します。

### 教科書

- 1) Elements of fiction by Robert Scholes (英宝社)
- 2) プリント使用: 多くのプリントを配布しますので、そのファイル用具を用意すること

### 参考書等

講義の時に随時指示します。

科目名	アメリカ文学特講I	開講	通年	単位	4
配当	他(英) 禅仏国地文環境歴日外考社福心堂AGM34選				
担当者名	あずま ゆういちろう 東 雄一郎				

#### 講義のねらい

アメリカ文学・文化を貫く根本的な問いは、「アメリカ人とは一体何者なのか」、「アメリカとは一体何か(どんな国なのか)」であり、こうした自意識の強さは新奇さや独自性の強調を生みだす。アメリカ文学の(アメリカ芸術一般の)根源的な特徴(根源的衝動に近いもの)は、アメリカ的なものの必要以上の定義と強調である。国民的な叙事詩の欠落、これは逆に、ホイットマンの『草葉』に始まる叙事詩的な文学への強い憧れを生み出してきた。つまり、ハート・クレイン、ウィリアムズ、ビートのギンズバーグらのアメリカと自分(詩人)の自我を高らかに歌う詩人たち(預言者的詩人)を生み出してきたのである。この講義では、アメリカの詩、映画、音楽などを取り上げ、アメリカの自意識について多様な考察を試みる。アメリカの詩は、口誦的な詩のジャンルから自然発生的に出発したものではなく、本来が実用的な文学なのである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

毎回、数人の詩人とその作品を取り上げ、精読します。時には作品に関する小レポートを授業内に書いてもらいます。

#### 履修上の留意点

毎回、出欠をとりますので、遅刻をしないように(遅刻者は出席カードに記入できません)。

#### 成績評価の方法

年間2回のレポート(2000字程度)、小レポート、出席点などで総合的に評価します。

#### 教科書

新倉俊一著『アメリカ詩入門』(研究社)2,000円程度

#### 参考書等

開講時に指示します。

科目名	演劇特講 (イギリス・アメリカ)	開講	通年	単位	4
担当	他 (英) 禅仏国地文環境歴日外考社福心堂AGM34選				
担当者名	おちあい かずあき 落合 和昭				

#### 講義のねらい

主として、20世紀のアメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素 (「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果 (背景、照明等)」、「効果音 (音楽も含む)」等を通して、できるだけ多角的に考察する。その際、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が抽象的にならないように、必ず、劇作品を通して、具体的に、劇の構成要素等を考察する。アメリカの劇作家以外にも、数人ではあるが、20世紀のアイランドやイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇 (短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇) を書いた劇作家も取り上げ、劇の持つ多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。さらに、時間があれば、ビデオを通して、劇作家の生い立ちや背景についても学ぶ。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義のなかで取り上げる主なる劇作家は、アメリカでは、Susan Glaspell (1882-1948)、Alice Gerstenberg (1885-1972)、Eugene O'Neill (1888-1953)、Thornton Wilder (1897-1975)、Tennessee Williams (1911-83)、Arthur Miller (1915-2005)、Shirley Jackson (1919-65)、Edward Albee (1928- ), Sam Shepard (1943- ), David Mamet (1947- ), アイランドでは、John Millington Synge (1871-1909)、Samuel Beckett (1906-89)、イギリスでは、John B. O'nton Priestley (1894-1984)、Peter Shaffer (1926- ), Harold Pinter (1930- ) 等である。

#### 履修上の留意点

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

#### 成績評価の方法

期末試験が全評価の40%、前期の課題が30%、後期の課題が30%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚 (ワープロの場合は、2000字から4000字) とする。出席率は平常授業 (期末試験は除く) 3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。また、遅刻2回で、欠席1回とし、30分以上の遅刻は欠席とする。出席率が3分の2以上を越えなければ、成績は「不合格」とする。

#### 教科書

- 1) 『楽しく読める英米演劇』 ミネルヴァ書房
- 2) プリント

科目名	時事英語	開講	通年	単位	4
担当	他 (英) 禅仏国地文環境歴日外考社福心経A商堂A34選				
担当者名	サンダース, L. P.				

#### 講義のねらい

このクラスでは、様々なマスメディア (advertising、TVニュース、雑誌、タブロイドなど) で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。  
media studies のメソッドで行う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。

#### 成績評価の方法

年に2回テストを行う。

#### 教科書

教科書は使用せずプリントを配布する。

#### その他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科目名	文化地理学	開講	通年	単位	4
配当	他（地文）禅仏国英歴日外考社福心経A商営AGM34選				
担当者名	小田 <sup>おだ</sup> 匡保 <sup>まさやす</sup>				

#### 講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要
2. 宗教地理学
3. 宗教分布
4. 信仰圏
5. 宗教集落・宗教都市
6. 巡礼・社寺参詣
7. 墓地
8. 村落の宗教組織

#### 成績評価の方法

成績評価は、出席状況、夏休みレポート、試験（前期・後期の2回、持込不可）によって行なうが、試験の点数が基本である。ただし、半分以上の出席と夏休みレポートの提出を必須条件とする。試験の点数が低い時はもちろんだが、出席回数が足りない場合、レポートが受理されない場合も、単位は認定されない。

#### 教科書

使用しない。

#### 参考書等

授業中に指示する。

科目名	人口地理学	開講	通年	単位	4
配当	他(地文) 禅仏国英歴日外考社福心経A商営AGM34選				
担当者名	やまうち まさかず 山内 昌和				

### 講義のねらい

人口現象が社会問題として表出する際には、少子化、高齢化、過密・過疎といった形をとるが、これらの理解のためには、出生、死亡、移動、世帯に関する概念や諸指標を理解する必要がある。とくに、地域の人口問題を扱う際には、人口の地域分布変動にもっとも大きな影響を与える地域間の人口移動についての理解が不可欠である。前期では、各種概念や指標に関する基礎的な学習を中心に行い、後期では、日本の人口問題に関する様々な論点について、人口移動を中心に、理解を深めることを目的とする。

### 講義の内容・授業スケジュール

〔人口分析の基礎〕人口学的方程式、人口構造の把握(性比、年齢構造)  
 〔少子化問題と出生の分析〕出生の指標(合計特殊出生率)、出生率の低下とその要因  
 〔人口高齢化と死亡の分析〕死亡の指標(生命表、平均寿命)、人口高齢化とその要因  
 〔人口移動の概念とデータ〕人口移動の概念、人口移動データとその特徴  
 〔世帯の分析〕人口と世帯の関係、世帯データとその特徴、世帯構造の把握  
 〔日本国内の人口移動〕戦後日本の人口移動の概観、地方圏と大都市圏の間の人口移動  
 〔日本人の居住地移動〕地方圏出身者の居住地移動プロセス、Uターン移動とその要因  
 〔将来人口の推計〕将来人口推計ならびに世帯数の将来推計の理論、コーホート変化率法による人口推計の実際、世帯主率法による世帯数の将来推計の実際

### 履修上の留意点

あらゆる地域において、現在の人口ピラミッドの形は将来の地域人口のあり方を大きく規定する。例えば郊外のニュータウンにおいては今後急激な高齢化が不可避である。このような地域人口変化のメカニズムを本講義を通じて理解して欲しい。

### 成績評価の方法

授業時間内に複数回の試験を実施し、その結果に基づき成績評価を行う。

### 教科書

とくに指定しない。

### 参考書等

授業時間内に適宜指摘する。

科目名	日本仏教史	開講	通年	単位	4
配当	他(日) 国英地文環境社福心営A34選				
担当者名	まつもと のぶみち 松本 信道				

### 講義のねらい

本講座は、「仏教の日本的受容」というテーマを中心として、日本の古代史を再検討してみようというのがねらいである。

### 講義の内容・授業スケジュール

仏教が日本に受容された背景を、政治的・社会的・思想的・宗教的環境の中で有機的にとらえていくということを基本的姿勢として講義を進める。とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的視点と、日本古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく、一般民衆の「苦悩」と「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆史的視点からもアプローチしてみた。

### 成績評価の方法

前期・後期2回のレポートと出席点を総合して評価する。

### 教科書

随時、プリントにて配布します。

### 参考書等

速水侑『日本仏教史 古代編』(吉川弘文館)



科目名	日本史特講Ⅶ【〔近代〕】	開講	通年	単位	4
担当	他(日) 禅仏国英地文環境社福心経A商営AGM34選				
担当者名	くまもと ふみお 熊本 史雄				

#### 講義のねらい

第一次大戦から第二次大戦を経て、戦後のサンフランシスコ平和条約締結に至るまでの日本外交につき史料を交えて講述し、その外交方針の根底に潜む思想を解明する。戦前期の外交については、対外機構の改変問題も関連づけながら当該期日本外交の中心であった対中関係を考察しつつ、日本が如何なる途を模索し最終的には戦争に進んでいったのかを検討する。戦後期の外交については、占領下において、当時の外務省さらには戦後日本の政治指導者として大きな役割を担った吉田茂が如何にして日本再生の途を模索したかを、その準備過程と条約締結交渉を通じて検証する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期：第一次大戦と日本／「新外交」の模索／対中文化政策への視線／ワシントン体制の成立と対米英関係／満州事変から日中戦争へ／日米交渉と太平洋戦争  
後期：終戦工作／占領の開始／「自主外交」の模索／平和条約締結の準備／サンフランシスコ平和会議／安保条約と行政協定

#### 履修上の留意点

史料の講読を通じて外交政策の決定過程を追体験して欲しい。外交指導者が下した決断の理由は何か、その根底にある主張とは何か、といった問題意識を常に持つことが重要。

#### 成績評価の方法

前・後期2回の定期試験の成績、および出席状況で評価する。

#### 教科書

とくに指定しない。

#### 参考書等

適宜紹介する。

#### その他

講義形式で進め、レジュメと史料を毎回配布する。

科目名	東洋史特講Ⅲ【〔近世史〕】	開講	通年	単位	4
担当	他(外) 禅仏国英地文環境社福心営AGM34選				
担当者名	すぎやま きよひこ 杉山 清彦				

#### 講義のねらい

ユーラシア東方における最大最後の帝国であった大清帝国(清朝)は、一般には「最後の中華王朝」「漢化した異民族王朝」として理解されている。しかし、これは漢人(漢民族)中心の歴史観に引きつけられた見方であり、非漢人の満洲人が広大な非漢地を統治した帝国であるという事実を正面から捉えたものではない。本講義では、大清帝国の形成過程と支配構造を、支配層たる満洲人に焦点を当て、ユーラシア史の観点から再構成することをめざす。

#### 講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下のような内容を予定している。  
〔前期〕元明交替と東北アジア マンジュ国から大清帝国へ 八旗制の支配構造  
〔後期〕位階制秩序と辞令・誓書 旗人社会と族譜 ユーラシア国家としての大清帝国

#### 履修上の留意点

講義形式で進め、随時アンケート等を実施して受講生との疎通を図る。高校世界史程度の知識を前提として進めるので、講義中随時紹介する参考文献などを手がかりに、必要な知識は自分でフォローすること。

#### 成績評価の方法

前後期各1回課すレポートを基本とし、平常点を参考とする。

#### 参考書等

講義中適宜紹介する。全般にわたるものとして、岡田英弘・神田信夫・松村潤『紫禁城の栄光』(講談社学術文庫, 2006)を薦める。

科目名	西洋文化史	開講	通年	単位	4
担当	他(外) 禅仏国英地文環境社福心経A 商営AGM34選				
担当者名	いしだ けいこ 石田 恵子				

講義のねらい

東洋に対する西洋文化のルーツをたどっていくと、ギリシャ・ローマの地中海世界を経て、古代西アジア地域の文化にまでたどっていくことが出来る。特に西アジアに起源する印章文化の展開を柱として、それにまつわる古代オリエントの歴史、印章の種類、役割の多様性などを紹介しつつ、ヨーロッパ世界に伝えられていった指輪型印章や封ロウをルネサンス時代まで追いつき、今日まで残る印章の意義を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期はメソポタミアで誕生したスタンプ印章の使用開始から円筒印章の登場、メソポタミアに栄えた円筒印章の変遷、その素材と技術、メソポタミア周辺の印章文化も紹介する。後期は書写材料・文字の変遷による円筒印章の終焉とスタンプ印章の復活、ギリシア・ローマ世界、ビザンチン・イスラム世界、中世ヨーロッパ及びそれ以降の印章及び印章に関わる文化を概観する。

履修上の留意点

広く興味を持って本や展覧会など見るようにすること。

成績評価の方法

出席点と課題レポート、試験

科目名	哲学史	開講	通年	単位	4
配当	他(日)・国英地文環境社福心経A商営AGM34選				
担当者名	山口 祐弘 <small>やまぐち まさひろ</small>				

講義のねらい

ヨーロッパにおける哲学の起源を探索し、その問題圏を明らかにして哲学とは何かを考え、また現代において思索する方法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期

①哲学と哲学史 ②ギリシア哲学の起源 ③イオニアの哲学(タレース、アナクシマンドロス、アナクシメネス) ④ピュタゴラスとピュタゴラス派 ⑤エレア派(クセノファネス、パルメニデス、メリッソス、ゼノン) ⑥ヘライクレイトス ⑦エムペドクレス ⑧原子論(レウキッポス、デモクリトス) ⑨アナクサゴラス ⑩アテネの哲学とポリス ⑪ソフィスト(プロタゴラス、ゴルギアス) ⑫ソクラテス ⑬メガラ派(エウクレイデス、エウプリデス、スティルボン) ⑭キュレネ派(アリストティッポス、テオドロス、ヘゲシアス、アニケリス) ⑮小論文作成

後期

①ペロポネソス戦争とポリスの変貌 ②プラトン ③アリストテレス ④ヘレニズム・ローマ哲学 ⑤ストア哲学 ⑥エピクロス哲学 ⑦新アカデメイア派(アルケシラオス、カルネアデス) ⑧懐疑主義 ⑨キリスト教 ⑩新プラトン主義(アンモニオス・サッカス、プロティノス) ⑪ピロン ⑫カバラ派とグノーシス主義 ⑬古代哲学の問題圏 ⑭哲学の歴史性と普遍性 ⑮小論文の作成

履修上の留意点

単なる知識の習得ではなく、哲学史を素材として自ら考える態度を養うことに努めてもらいたい。

成績評価の方法

平常の学習態度および小論文の評価による。

教科書

「原典に見る哲学の歴史」 公論社

参考書等

ヘーゲル「哲学史」岩波書店

科目名	マス・コミュニケーション論	開講	通年	単位	4
配当	他(社)禅仏国英地文環境歴日外考経A商営A34選				
担当者名	かわもとまさる 川本 勝				

#### 講義のねらい

テレビが誕生してから半世紀がたちます。「もしもテレビが存在しなかったなら、私達のもの  
の考え方、生活の仕方、日本の社会のあり方はどうなっていたでしょう?」といった問いに対  
して各自の答えが用意できるよう、社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュ  
ニケーションの社会的機能を考察する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

前期は、まず、コミュニケーションとはなにかを定義し、パーソナル・コミュニケーション、  
マス・コミュニケーションなど社会的コミュニケーションの類型、特質を整理しながら、コミュ  
ニケーションと社会生活の関連を考える。私たちの社会生活は、コミュニケーション活動に  
よる他者との相互作用によって成り立っている。人々は現代社会における多種多様化したメデ  
ィアを利用してどのようなコミュニケーション活動を営んでいるのかを考察する。  
後期は、マス・コミュニケーションの受容過程研究の中で明らかにされてきた効果、影響に  
ついての理論を紹介しながら、マス・コミュニケーション活動が社会や人びとに対してどのよ  
うなインパクトや社会的機能を果たしているのか、問題点は何かについて論じる。

#### 履修上の留意点

他学部・学科履修ができる科目ですが、他学部・学科の学生は、社会学の科目をすでに履修し  
ているなど社会学の基礎知識を修得しておくことが望ましい。

#### 成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を配慮し、定期試験によって行う。

#### 教科書

用いない。

#### 参考書等

適宜紹介する。



科目名	日本経済史	開講	通年	単位	4
配当	他(経) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政GM34選				
担当者名	わたなべ けいいち 渡邊 恵一				

#### 講義のねらい

いま私たちを取り巻いているさまざまな経済現象や制度は、どのようにして発生し、発展してきたのであろうか。本講義の目的は、歴史的な視点から日本経済を理解することにある。各時代における個別具体的な問題については、研究史上の論争、最新の実証研究などをわかりやすく紹介しながら、検証・考察を進めていく。現代的問題とのかかわりについても言及し、日本経済をより広い視野から見ることのできる力を養いたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 序. 日本経済史の課題と方法
1. 幕藩制下の経済発展
  2. 幕末開港の歴史的意義
  3. 明治前期の経済政策
  4. 日本産業革命の展開
  5. 第一次世界大戦期の日本経済
  6. 恐慌の時代
  7. 戦時日本経済の展開と崩壊

#### 履修上の留意点

毎回の講義は連続した内容となっている。欠席すればその分だけ話の前後関係がなくなることになり、留意されたい。

#### 成績評価の方法

基本的には期末試験の成績で評価する。不定期に「リアクション・ペーパー」を配布し、講義へ取り組む姿勢を平常点としてチェックすることもある。

#### 教科書

老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史—太閤検地から戦後復興まで—』(税務経理協会, 2002年)。あらかじめ指示したページ範囲を読んでいることを前提に授業を行う。

その他、補助教材として、資料・図表をまとめたプリントを講義時に配布する。後日になって再び参照する資料もあるので、各自ファイルして毎回持参すること。

#### 参考書等

上記教科書の巻末に掲載。個別の問題に関する文献は、講義の中でその都度紹介する。

#### その他

日本史の知識不問、挫折者歓迎。「経済学」を遠巻きに見ている他学部の方も、どうぞ。

科目名	農業政策	開講	通年	単位	4
担当	他(経) 禅仏国英地文環境歴日外考社福営A34選				
担当者名	溝手 <sup>みぞて</sup> 芳計 <sup>よしけい</sup>				

#### 講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、現代の主要な農業問題と農業政策をいくつか取り上げて、経済学の視点から説明します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 「農業政策」とは(2回)
2. 食料問題と食料政策(5回程度)
3. 農産物価格問題と価格・所得政策(5回程度)
4. 農業の特質と現代農業(4回程度)
5. 戦後日本の農業問題と農業政策-農業構造問題を中心に-(6回程度)

#### 履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

#### 成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本とします。

#### 教科書

田代洋一『新版農業問題入門』(大月書店)  
※ 授業中には使いませんが、予復習してください。

#### 参考書等

大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』(有斐閣)  
F. マグドフ他編(中野一新監訳)『利潤への渴望』第5章(大月書店)  
梶井功『新基本法と日本農業』(家の光協会)  
橋本卓爾ほか編著『食と農の経済学』(ミネルヴァ書房)

科目名	日本経済論	開講	通年	単位	4
配当	他(経) 禅仏国英地文環境歴日外考法A政GM34選				
担当者名	こばやし まさと 小林 正人				

### 講義のねらい

日本経済の(第二次世界大)戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本的経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになった日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」――とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高――をのりこえてきた。しかし長年の平成不況とグローバリゼーションの中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむために、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について講義する。

### 講義の内容・授業スケジュール

1. 戦後日本経済の展開過程  
景気の現状と雇用情勢  
戦後改革  
日本の高度経済成長：その国内原因と海外要因  
産業政策の役割  
石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
2. 日本の経済発展とイノベーション  
イノベーションと産業構造の変化  
主要産業の発展過程と現状：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械  
日本的経営システム／経済システム（欧米諸国との比較）  
製品の安全性とPL法
3. 日本の経済発展の総括と展望  
IT革命のインパクト

### 履修上の留意点

講義資料をひんぱんに配布する。一度しか配布しないので確実に収集し、保管しておいて、定期試験にそなえることが必要である。教場の前面のスクリーンに講義資料を表示しながら講義をすすめるので、見やすい位置に着席すること。板書はあまりせず、プレゼンテーション中心の講義である。なお、ほとんどの講義資料は「小林研究室」のウェブサイト (<http://www.komazawa-u.ac.jp/kobamasa/>) の「講義」の「日本経済論」のサイトにもできるだけ載せるようにしている。

### 成績評価の方法

定期試験の成績と、講義の節目に実施する数回の小論文またはレポートの達成度とを総合して評価する。

### 教科書

なし

### 参考書等

適時紹介する。なお、経済学概念や経済用語を調べるための辞典ないし事典を一つは常備してもらいたい(有斐閣、岩波書店、東洋経済新報社などが出版している)。

### その他

講義についての質問を歓迎します。ただしそのときは、関連する講義資料を持参することが必要です(有意義な回答のため)。



科目名	中国経済論	開講	通年	単位	4
配当	他(経) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営AGM34選				
担当者名	小杉 修二				

講義のねらい

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着目して、中ソ同盟下の大国志向としての「ソ連モデル」、独自の超大国を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」について学ぶ。後期は現在につながる鄧小平モデルの経済発展と問題点について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連モデル期に中国は発展途上国の特徴である機械の生産能力を欠いているという弱点を克服した。現在、中国の知的財産権侵害が問題にもされているが、発展途上国が発展していくとき良かれ悪しかれ、先進的な技術をまねることになる。しかし、世界中のどの国でもまねができるかといえば必ずしもそうではない。まねることも偉大な能力であることはわが日本が示してきた能力である。まねができるだけの基礎的能力のかなりの部分がこの時期に培われたと考えられる。

また、年9%近い高度経済成長、国民生活の一定の改善もこの時期に達成された。さらに一定の兵器の自給も達成された。

毛沢東モデル時期には国家目標は独自の超大国に切り替えられた。この時期中国は一見すると経済発展に背を向けて「革命」を目指していたなどといわれることもある。しかし、この時期にも6%程度の経済成長があった。しかし、その成果は国民生活のためには使われず、核ミサイルの開発や米ソとの覇権争いのため、また、後にはソ連との戦争に備える臨戦態勢づくりに消費されてしまった。そしてこの開発戦略のため、中国経済の効率は低下し、行き詰った。これら二つの時期の中国の行き方は良くも悪くも今日にまで続く影を落としている面がある。

後期は鄧小平モデル期(1978年-)の中国を考える。この時期の中国は、平和共存の戦略の下でもうひとつの超大国を目指すべく目覚ましい経済発展を遂げるにいたった。平和共存への転換は臨戦態勢からの脱却を可能にした。資本が乏しいというのが発展途上国の特徴だが、中国は毛沢東式の共産主義の下に「我慢することが共産主義」だとして、さまざまなキャンペーンを通じて消費を抑制し、工場や核ミサイルの開発をしてきた。毛沢東の後継者たち=「4人組」が敗退したということは、新しい国際条件の下では、国民生活の抑制による経済運営ではなく経済成長による国民生活の向上が新しい経済発展の道として選ばれたということであり、この流れは不可逆的なものである。

新しい発展戦略は外国の技術・資本を積極的に導入することによって可能になった。中国の低賃金労働力もそれを後押しする要因だった。電機産業にみられる「組み合わせ型」の技術による産業分野では中国はテレビ、パソコン、電子レンジ、洗濯機、冷蔵庫等で世界有数の生産国になった。1人あたりの所得も1000ドルを超えるにいたった。

こうした中国の発展を可能にした要因を考えていくと同時に、産業構造の特徴、地域的な産業集積、産業高度化の課題、日中関係、地域格差、階層格差等について考えていく。

履修上の留意点

私語、飲食、携帯電話禁止(授業に集中できない人は出席不可)。

成績評価の方法

前期レポート、後期試験。

教科書

前期 小杉修二『増補 現代中国の国家目的と経済開発』(龍溪書舎 1997年) 4000円

参考書等

加藤弘之・上原一慶編著『中国経済論』ミネルヴァ書房 2004年、馬成三『中国経済の読み方』ジェトロ 2002年

科目名	アメリカ経済論	開講	通年	単位	4
配当	他(経) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法 A 政営AGM34選				
担当者名	せとおか ひろし 瀬戸岡 紘				

#### 講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。  
 ◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇  
 ヴェンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学  
 技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリ  
 ティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、  
 ◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリ  
 カとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

#### 履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つき  
 で、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり  
 入れた授業です。

#### 成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のたてまえか  
 ら、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。

#### 教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随  
 時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカ  
 ものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、  
 瀬戸岡著『アメリカ理念と現実』(時潮社) 2005年  
 グリーンバーグ・瀬戸岡訳『資本主義とアメリカの政治理念』(青木書店) 1994年  
 瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』(桜井書店) 2003年  
 をおすすめします。

科目名	EU統合論	開講	半期	単位	2
配当	他(経) 禅仏国英地文環境歴日外考社福政営AGM34選				
担当者名	廣田 <sup>ひろた えり</sup> 愛理				

講義のねらい

本講義は、今日の国際政治経済において大きな影響力を持つEUの制度や政策の歴史と現状について学ぶことで、現在のEUが抱える課題について考えることを目的とします。地域統合の歴史的な前例としてのEUについて学ぶことは、単に現在の国際経済を理解する助けとなるだけでなく、今日、「東アジア共同体」という課題をめぐる日本とアジアの関係について考察を深める上でも重要であると思われます。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義の主な内容は以下のとおりです：
- ◇ 両大戦間・戦後復興期の統合構想と運動
  - ◇ EUの制度的起源：ECSCとEEC
  - ◇ 経済統合の拡大と深化
  - ◇ 通貨統合
  - ◇ EUの政策と制度
  - ◇ EUの現在の課題

成績評価の方法

期末試験と平常点（出席、小テストなど）で評価します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

参考書等は必要に応じて講義の際に紹介します。

科目名	現代西欧経済論	開講	半期	単位	2
配当	他(経) 禅仏国英地文環境歴日外考社福政営AGM34選				
担当者名	廣田 <sup>ひろた えり</sup> 愛理				

講義のねらい

本講義では、イギリス、フランス、ドイツといった主要国の個別事例を取り上げつつ、第一次大戦期から今日に至る西欧経済の歩みを辿ることで、西欧社会経済の特徴を捉えることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義の主な内容は以下のとおりです：
- ◇ 第一次大戦以前の西欧経済
  - ◇ 第一次大戦とパックス・ブリタニカの動揺
  - ◇ 大衆消費社会のはじまり
  - ◇ 世界恐慌と資本主義の“大転換”
  - ◇ 第二次大戦後の西欧経済社会の再編
  - ◇ 福祉国家の成立と展開
  - ◇ ヨーロッパ経済の分裂から統合へ
  - ◇ 植民地体制の崩壊と南北問題
  - ◇ 資本主義の“黄金時代”
  - ◇ プレトン・ウッズ体制の崩壊とヨーロッパ統合の再活性化
  - ◇ グローバル化の深化と西欧経済

成績評価の方法

期末試験と平常点（出席、小テストなど）で評価します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

参考書等は必要に応じて講義の際に紹介します。

科目名	財務会計論	開講	通年	単位	4
配当	他(商) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法 A 政GM34選				
担当者名	小栗 崇資 <small>おぐり たかし</small>				

### 講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまっただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表(貸借対照表、損益計算書)の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

### 講義の内容・授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

### 履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

### 成績評価の方法

中間試験および学年末試験により評価します。また、時々、小テストやレポートも実施し、成績評価に加算します。

### 教科書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論(第2版)』(白桃書房)

### 参考書等

小栗・熊谷・陣内・村井編著『国際会計基準を考えるー変わる会計と経済』(大月書店)

科目名	会計監査論	開講	通年	単位	4
配当	他(商) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法 A 政GM34選				
担当者名	森田 佳宏 <small>もりた よしひろ</small>				

### 講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。これは会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これらの財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、会社法、金融商品取引法、企業会計原則等の関係に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

### 講義の内容・授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査（特に金融商品取引法監査）を中心として、前期は会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度について、後期は監査基準の内容について講義を行う。

### 履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会计学基礎または会计学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

### 成績評価の方法

原則としてレポートおよび期末試験により評価する。

### 教科書

指定しない。必要に応じて資料を配付する。

### 参考書等

山浦久司『監査論テキスト』（中央経済社）  
 友杉芳正『新版スタンダード監査論（第2版）』（中央経済社）  
 千代田邦夫『現代会計監査論』（税務経理協会）  
 日本公認会計士協会編『監査小六法（平成18年版）』（中央経済社）  
 日本公認会計士協会編『監査実務指針ハンドブック（平成19年版）』（中央経済社）

科目名	管理会計論a	開講	半期	単位	2
配当	他(商) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法 A 政34選				
担当者名	石川 祐二				

講義のねらい

本講義では、伝統的に管理会計研究の領域において取り扱われてきた諸問題について検討を加える。とりわけ、経営管理者の意思決定を中心として、その意思決定上必要とされる会計情報について学ぶことになる。このことを通じて、会計情報の経営管理的意味を明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、管理会計の基礎的な概念を学ぶことにする。その上で、意思決定に関わる具体的な手法を取り上げることにする。

履修上の留意点

会計学基礎(総論)および簿記論を履修済みであることが好ましい。また、電卓を用いることが多いので、持参すること。

成績評価の方法

前期末の試験により評価する。

教科書

毎回配布するプリントが教科書代わりである。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	管理会計論b	開講	半期	単位	2
配当	他(商) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法 A 政34選				
担当者名	石川 祐二				

講義のねらい

本講義においては、現代において特に注目されている、新たな管理会計研究の領域について取り上げることにする。具体的には、業績評価に関わる新たな手法に検討を加えることや、企業の「経営管理」と「会計」との関係をとらえ直すことが中心的な課題となる。このことを通じて、伝統的な管理会計研究では捕捉しきれなかった会計現象の意味を明らかにしたい。それにより、現代的な意味で、管理会計の社会的機能を理解することが、本講義の目指すところである。

講義の内容・授業スケジュール

伝統的な管理会計研究との相違を明らかにした上で、とくに「リスク・マネジメント」にかかわる会計現象を取り上げ、考察を加えることにする。

履修上の留意点

会計学基礎(総論)および簿記論を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

後期末の試験により評価する。

教科書

石川祐二著『現代ドイツ管理会計制度論』(森山書店)

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	貿易論	開講	通年	単位	4
配当	他(商) 禅仏国英地文環境歴史外考社福心法 A 政営AGM34選				
担当者名	古沢 紘造 <small>ふるさわ こうぞう</small>				

### 講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるどころまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

### 講義の内容・授業スケジュール

#### I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易
2. 水産物と貿易
3. 林産物と貿易
4. 鉱物資源と貿易
5. 工業製品と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

#### II. 政治・経済・社会と貿易

1. 開発援助と貿易
2. 環境と貿易
3. WTOと貿易
4. グローバリゼーションと貿易
5. 持続可能な発展と貿易

### 成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

### 教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

### 参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科目名	経済法	開講	通年	単位	4
配当	他(法A) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心営AGM34選				
担当者名	わかばやし ありさ 若林 亜理砂				

#### 講義のねらい

経済法の中心をなす独占禁止法を理解することを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

#### 成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

#### 教科書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門(第2版)』(法律文化社)

#### 参考書等

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選(第六版)』(有斐閣)

#### その他

授業は毎回配布するレジюмеに基づいて進めることとする(基本的には教科書に沿ったものとなる予定である)。



科目名	国際政治学	開講	通年	単位	4
担当	他(政) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A堂AGM34選				
担当者名	こぼり のりお 小堀 訓男				

#### 講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

#### 成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

#### 教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科目名	ヨーロッパ政治史	開講	通年	単位	4
担当	他(政) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A堂AGM34選				
担当者名	うらた さなえ 浦田 早苗				

#### 講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかにし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点ールネサンス期と18世紀
- ・英国革命とIRA
- ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程
- ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
- ・統合ヨーロッパの源流

#### 成績評価の方法

年5～6回となる出席点は学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した2題を出題する。(ノートの持ち込みは不可)

#### 教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科目名	地方自治法	開講	通年	単位	4
配当	他(政) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商営A34選				
担当者名	とみい ゆきお 富井 幸雄				

#### 講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきしみながら、新地方自治法の理念を理解する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

#### 成績評価の方法

前期試験(40%)と学年末試験(60%)で総合的に評価する。

#### 教科書

開講時に指示します。

#### 参考書等

『地方自治判例百選(第2版)』(別冊ジュリスト)。  
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』(岩波書店)、同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

#### その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法(『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい。)は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	比較政治学	開講	通年	単位	4
配当	他(政) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 商法A 営AGM34選				
担当者名	みたけ なおや 三竹 直哉				

#### 講義のねらい

比較政治学は、いろいろな国や地域の事例を比較して、政治現象の因果関係の解明を目指す分野です。この授業では、その一端をご紹介しますとともに、みなさん自身が比較研究をするのに役に立つ勉強をすることを目標にします。

「比較」という手法は、あらゆる分野に使える方法ですので、まじめに勉強すると卒業後も役に立つことが多いと思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

この文章は2006年12月の時点で書いています。授業には、現在世界や日本で起きている出来事を反映させたいです。また、よいドキュメンタリー番組などが放映されれば、積極的に使っていきたくと考えています。そうしたことから、2006年12月の時点で詳細な授業スケジュールは出せません。基本的には、民主化、民族問題、移民政策といったテーマで授業を進めていき、その後方法論の勉強をしたいと思っています。昨年度の授業内容は、下記にある授業用サイトで見ただけですので、参考にしてください。

授業のやり方は、人数や大学からあてがわれる教場の設備によっても大きく変わってきます。参加人数が非常に少なければ、ゼミのような雰囲気でもやることもあり得ます。(2006年度の授業は、ゼミのようにやりました。)

#### 履修上の留意点

基本的事項は自分できちんと調べることが前提です。文献を読む課題がたくさん出ますが、読まなければ単位を取れません。中学校の社会科レベルのことが身につけていない人には単位を出せません。新聞を読んでいない人も同様です。(テストでチェックします。)  
また、高校の社会科レベルのことで、授業に関連することは自分で学習することが前提です。欠席したときの授業内容は、各自の責任で補ってください。就職活動であろうが、部活動であろうが、欠席した人を特別扱いはありません。

#### 成績評価の方法

平常点と定期試験によります。

#### 教科書

高根正昭『創造の方法学』(講談社現代新書)  
他にも指定する可能性はあります。  
ほぼ毎回、授業前までに読んでくるべき課題文献を指定します。読んでいない場合、出席できないことがあります。

#### 参考書等

授業ごとに課題文献を指定します。授業には必ずそれを読んだうえで参加してもらいます。

#### その他

この文章は2006年12月時点で書いています。変更もあり得ることを了承のうえ、読んでください。詳しい授業案内・スケジュールは、2007年4月に授業用ホームページに掲載します。  
<http://www.jj.em-net.ne.jp/~bamboos/>  
URLが変更になる可能性があります。その場合、Googleなどで三竹直哉と入れて検索してみてください。見つからなければ、下記までメールでご連絡ください。  
mitake@komazawa-u.ac.jp

科目名	現代国家論	開講	通年	単位	4
配当	他(政) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 商法A 営AGM34選				
担当者名	おおつか かつら 大塚 桂				

#### 講義のねらい

近年、政治制度の諸改革(1府12省庁、地方分権、規制緩和etc)がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうといいきれるのでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 国家論の課題 2. 幕末政治過程 3. 幕末政治思想(水戸学、国学) 4. 公議政体論  
5. 太政官制・内閣官制 6. 大日本帝国憲法 7. 法典整備・司法制度 8. 統帥権・戒厳(令)  
9. 地方官官制 10. 自由民権運動 11. 帝国議会 12. 財政制度 13. 教育勅語 14. 国家神道  
15. 社会主義運動 16. 大正デモクラシー 17. 天皇機関説 18. 天皇制ファシズム  
19. 統制経済 20. まとめ

#### 成績評価の方法

試験による単位認定 ～中間、期末試験により評価します。  
なお、試験は通常の授業時間に実施します。欠試者に対してはレポートを課します。  
※追試験は実施しません。

#### 教科書

大塚桂『明治国家の基本構造』(法律文化社) 3,300円

#### 参考書等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』(成文堂)、『明治国家と岩倉具視』(信山社)、『明治維新の思想』(成文堂)

#### その他

私の研究室は、第2研究館8階(2835)です。電話は3418-9377(直)です。

科目名	経営労務論	開講	通年	単位	4
配当	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政GM34選				
担当者名	かしま ひであき 鹿嶋 秀晃				

#### 講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本的経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか？」といったようなテーマを掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

#### 履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明する。出席は取らないので、出席点は無し。(1) 私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのでしないこと。(2) 携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらい、単位の認定をしない。

#### 成績評価の方法

評価は学期末試験とレポート提出の合計点で成績評価を実施する。受講者数の大小によって変更する場合もあり。

#### 教科書

テキストは年度途中で指定する予定。

#### 参考書等

津田真激『人事労務管理』(ミネルヴァ書房)1993(定価3,000円程度)、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』(中央経済社)1995(定価2,600円程度)、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』(東洋経済新報社)1992(定価3,500円程度)をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。

#### その他

授業は講義形式でおこなうが、図表やグラフを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。次のURLを参照。<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/>

科目名	商業史	開講	通年	単位	4
配当	他（営A）禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政34選				
担当者名	山田 勝 <small>やまだ まさる</small>				

#### 講義のねらい

大変革の渦中にある現下の商業経営を、歴史的視点から見つめ直し、変革の方向と意味を考える。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 〈A〉生産主導の商業
  - (1) 商業史の意義と講義の目的
  - (2) パラダイムの発展
  - (3) 利益と継続性
  - (4) 商品と市場
  - (5) 大衆消費社会の特徴
- 〈B〉需要主導の商業
  - (1) 消費スタイルの変化
  - (2) 充足から満足度重視へ
  - (3) 多様化の要因
  - (4) 「サービス」商品の特徴
  - (5) IT革命と商業経営
  - (6) 生活（文化）の変革と商業

#### 履修上の留意点

教科書の内容を講義で補充していくので、出席はとらないが聴講に努め質問をして欲しい。講義中の私語は他の受講生に迷惑となるので厳禁とする。

#### 成績評価の方法

定期試験による。

#### 教科書

山田勝『商業史概論』（創成社）3,000円（消費税別）

科目名	保険経営論	開講	通年	単位	4
配当	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政GM34選				
担当者名	いしなさか くにあき 石名坂 邦昭				

#### 講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

#### 履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

#### 成績評価の方法

講義への出席状況および授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

#### 教科書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

#### 参考書等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』(白桃書房)  
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

科目名	財務会計論	開講	通年	単位	4
配当	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政34選				
担当者名	わたなべ えいちろう 渡邊 恵一郎				

#### 講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者に、投資者、債権者その他企業と利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供させることにある。この主たる手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理(測定)と表示方法(伝達)を中心的課題とし、またこれに関するわが国の会社法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書によることとし、この授業スケジュールは次のとおりである。

- (1) 4～5月 財務会計の機能と制度、利益計算の仕組み、会計理論と会計原則
- (2) 6～7月 利益計算と資産評価の基本原則、現金預金と有価証券、売上高と売上債権、棚卸資産と売上原価
- (3) 9～10月 固定資産と減価償却、繰延資産、負債、純資産
- (4) 11～12月 財務諸表の作成と公開、連結財務諸表、外資建取引等の換算

#### 履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出(年1回)を重視する。

#### 成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

#### 教科書

桜井久勝著『財務会計講義』(中央経済社)

#### 参考書等

日本公認会計士協会編『監査小六法』(中央経済社)

#### その他

(1) 授業の方法は、講義による。(2) 簿記学・会計学の単位を修得していること。



科目名	経営分析論	開講	通年	単位	4
配当	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 商法A 政GM34選				
担当者名	片桐 伸夫 <small>かたぎり のぶお</small>				

#### 講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか(安定性分析)、
  - 2 「儲け」はどうだろうか(収益性分析)、
  - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか(生産性分析)、
  - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか(成長性分析)、また、
  - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか(社会性分析)、
- といった内容です。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にあふれます。

#### 履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

#### 成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

\*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析(続)」

☆提出日(授業はじめに配布するシラバスに明記)以外は受け付けませんのでご注意ください。

\*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

#### 教科書

開講時、指示します。

#### 参考書等

随時、紹介します。

科目名	税務会計論	開講	通年	単位	4
配当	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政34選				
担当者名	高木 克己 <small>たかき かつみ</small>				

### 講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人(株式会社等)を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定(いわゆる別段の定め)が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

### 講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
  - (1) 企業利益と課税所得の関係
  - (2) 益金の額及び損金の額
  - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
  - (1) 引渡基準
  - (2) 特殊販売収益の計上基準
  - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与(報酬、給料、賞与)の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
  - (1) 移転価格税制
  - (2) タックス・ヘイブン対策税制
  - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

### 履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

### 成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

### 教科書

開講時に指示する。

### 参考書等

開講時に指示する。

科目名	経営情報論	開講	通年	単位	4
担当	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政34選				
担当者名	いわぶち たくみ 岩渕 匠				

#### 講義のねらい

企業活動を支える経営資源には様々なものがある。この資源をいかに整理して重要なものを取り出すかが企業発展のための鍵となる。

本講義では、最近の情報技術で活用されている資源整理のための手法を解説する

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 経営情報学と情報科学の基礎(前期)
  - 1) 経営科学における情報(4月～5月)  
経営科学における情報についての考え方と、企業における情報の利用方法を整理する
  - 2) 情報科学における情報(5月～6月)  
一般的な情報に関する考え方、コンピュータでの基礎的な情報処理を学習する
  - 3) 情報技術(IT)と情報システム(IS)(6月～7月)  
金融情報システムやコンビニなどで利用されているPOSシステムなどの最近の情報技術やシステムについて整理する。また、今後ITとISの展望を考察する。
2. 経営情報学と情報科学の応用(後期)
  - 1) 情報システムの種類(9月～10月)  
基礎的な数理モデルを使って多々あるシステムを整理し、その特性を学習する。
  - 2) データの加工(11月～12月)  
RDBSを利用したデータの整理方法(SQL文の作成)を学習する。
  - 3) シミュレーション(12月～1月)  
実際の経営資源データをコンピュータを利用して整理する技術を学習する

#### 履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。

#### 成績評価の方法

前期・後期に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も反映する

#### 教科書

未定

科目名	情報理論	開講	通年	単位	4
配当	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 商法A 政34選				
担当者名	にしむら かずお 西村 和夫				

### 講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C.E.Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報を記録するために十分なCD-ROMの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をしします。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化(JISコード、国際符号化文字集合)、対数・情報量の間試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査桁(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

### 履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

### 成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

### 教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクトとプリントを使います。適当な教科書はありません。

### 参考書等

そのつど紹介します。

### その他

〔関連科目〕→ 経営情報論

講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

科目名	経営統計	開講	通年	単位	4
配当	他(営A) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政34選				
担当者名	なが <small>こきょう</small> 国強				

#### 講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

#### 講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について：経営統計の役割、基礎概念

統計特性値：平均、分散、正規分布

市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理

経営時系列：傾向成分の測定、季節指数の計算、時系列予測

経営指数：物価指数、数量指数

統計的意思決定理論：意思決定基準、期待効用理論

#### 履修上の留意点

年間5回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

#### 成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

#### 教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

#### その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。

科目名	医療宗教学	開講	半期	単位	2
配当	他(放) 禅仏国地文環境歴日外考社福心営A34選				
担当者名	吉津 宜英 <small>よしず よしひで</small>				

#### 講義のねらい

この科目のねらいを明らかにするためには皆さんが受講する他の科目との比較を行うのが有効かと思えます。まず「仏教と人間」という科目ですが、これは建学の理念とも関連し、広く宗教への認識を持ってもらった上で、仏教や禅の思想の特色を把握してもらうことを目的にしています。また、「臨床医療人間学」I・IIもこの科目と関連すると思えます。特にIは生命倫理に焦点を合わせており、IIは医療人の社会性を問題にしています。この医療宗教学はこのIIを宗教的人間観から補充することを目的としています。それは医療人と患者との関係を考えて見ることを意味します。治療する人も治療を受ける人も共に同じ人間であるということは自明なことですが、対等な人間関係を維持することは難しいことでしょう。ただ「人間は必ず死ぬものである」という事実から、仏教などの宗教を援用して、死は医療人にとっても、また患者にとっても決して敗北ではないという観点を示します。また身心一如・生死一如・自他不二の人間観を明らかにし、余裕を持った医療人になってもらう一助をしたいと思えます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

まず様々な宗教や哲学、さらには現代の科学思想の人間観を広く取り上げてみたいと思えます。皆さんもそれぞれ人間に対する考え方を持っていると思えますが、皆さんがいずれ治療を行う患者さんはそれぞれ個人的に多様な人間観を持っていると想像します。その人間観を理解した上で、治療の内容を十分に説明し、相互の人間関係を築きながら治療を進めてゆくことは大切だと思えます。この科目は人間観、人間を見る眼を鍛えるために古典的な宗教の知識や現代の心理学や哲学の知見を提供できると思えます。

#### 履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義内容を筆記すると共に自分の意見や疑問を書きとめ、全体を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

#### 成績評価の方法

毎回出席を取り、2回ほど課題提出をお願いし、最後に1月に試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

#### 教科書

特に使用しない。出来るだけプリントを配布します。

#### 参考書等

講義の中で随時紹介します。

#### その他

私の講義の最中でも挙手して質問して下さい。私語は厳禁です。あまり目立つ場合は退場を要請します。授業開始時間後30分を経過してからは教場に入らないで下さい。

科目名	医療経済学	開講	半期	単位	2
配当	他(放) 禅仏国地文環境歴日外考社福心経A商営A34選				
担当者名	ながやま くにこ 永山 くに子				

講義のねらい

日本の医療制度を基軸とした病院マネジメントを科学する

講義の内容・  
授業スケジュール

SBOs

- ① 国民医療費とは何かが説明でき、日本における課題が理解できる
  - ② 日本および海外の医療制度が理解でき日本における課題が説明できる
  - ③ 医療サービス生産の特性と病院組織が説明できる
  - ④ 病院組織はどうすれば活性化するかについて考えることができる
  - ⑤ どうして病院マーケティングが必要かについて説明できる
  - ⑥ 医療の財政的な側面を理解する
  - ⑦ 病院のリスクマネジメントについて医療事故・医療過誤の側面から理解する
- ①～⑦は2回の授業で実施する。尚、⑤は試験とする

履修上の留意点

一方的な講義ではなく、実践に即した内容にするために参加型の授業にしますので、積極的な参加を求めます。

成績評価の方法

- (ア) 出席
- (イ) レポート
- (ウ) グループワークへの参加度

教科書

特に指定はしませんが、授業の際に紹介します。

参考書等

- ① 鴫田忠彦『日本の医療経済』(東洋経済新報社) 3,296円
- ② 川渕孝一『進化する病院マネジメント』(医学書院) 3,000円
- ③ 池上直己『日本の医療』(中公新書) 720円
- ④ 厚生統計協会『国民衛生の動向2004年版』

その他

履修上の留意点に準じます

科目名	メディア・コミュニケーション概論	開講	半期	単位	2
配当	他 (GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商営A34選				
担当者名	にしおか ようこ 西岡 洋子				

#### 講義のねらい

本講義では、コミュニケーションの基本機能およびコミュニケーションにおいて活用されるメディアの基本的特性を理解することを目的とする。まずは、コミュニケーションの基本的構造モデルを紹介したのちに、コミュニケーション主体の違いによって展開される異なるレベルのコミュニケーション（個人、グループ、マスのレベル）があることを理解する。さらには、それぞれのコミュニケーションにおいてどのようなメディアが活用されているか、さらには、それがどのように使い分けられ、また、変化しようとしている大きな傾向を理解する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. イントロダクション  
コミュニケーション・モデル
2. パーソナル・コミュニケーション  
人と人とのコミュニケーション  
電話コミュニケーション
3. グループ・コミュニケーション  
集団・組織のコミュニケーション  
地域コミュニティのコミュニケーション  
集団行動のコミュニケーション
4. マス・コミュニケーション  
マス・コミュニケーションとメディア  
マス・コミュニケーション研究  
マーケティング・コミュニケーション
5. グローバル・コミュニケーション
6. まとめ

#### 履修上の留意点

とくになし。

#### 成績評価の方法

期末試験、レポート、平常点などで総合的に評価する。

#### 教科書

講義中に指示する。

#### 参考書等

講義中に指示する。



科目名	ネットワークコミュニケーション論	開講	半期	単位	2
配当	他 (GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商営A34選				
担当者名	菅谷 <small>すがや</small> 実 <small>みのる</small>				

### 講義のねらい

社会のコミュニケーション活動を支える情報ネットワークの基礎的知識の修得とネットワークの進化が社会のコミュニケーション活動にどのような影響を及ぼしてきたかを明らかにすることを目的としている。具体的には、人的組織、物理的ネットワーク、情報ネットワークの歴史、仕組み、機能、運営等を明らかにする。

前半は、「ネットワークとコミュニケーション」というテーマで、社会的コミュニケーション活動とネットワークの関係を明らかにする。具体的には、組織とネットワーク、組織コミュニケーション、ネットワーク産業の特質などを論じる。

後半は、「情報ネットワーク発展の歴史」を、各ネットワーク産業ごとに明らかにする。具体的には、郵便、交通、通信、放送、インターネットなどのネットワークの発展過程を論じる。まとめの部分においては、今後、ますます進化が期待されている「ネットワークの融合と社会的コミュニケーション」を取り上げる。具体的には、融合化が進むネットワーク環境のなかで社会的コミュニケーション活動がどのような影響を受け、変容していくかを展望する。

### 講義の内容・授業スケジュール

- |  |   |
|--|---|
| <p>第1部 ネットワークとコミュニケーション</p> <p>1. ネットワークと経営<br/>企業経営とは<br/>企業活動にとっての情報基盤の重要性<br/>クローズネットワークとオープンネットワーク</p> <p>2. 企業組織とネットワーク<br/>企業組織<br/>組織コミュニケーション</p> <p>3. ネットワーク産業の特質<br/>ネットワーク産業の構造<br/>ネットワーク産業の変容</p> <p>第2部 情報ネットワーク発展の歴史</p> <p>4. 郵便制度<br/>物流と情報流を支える流通ネットワーク<br/>郵便サービス<br/>郵便局<br/>民営化<br/>情報ネットワークとしての郵便ネットワーク</p> | <p>5. 交通ネットワーク<br/>貨物輸送<br/>国内旅客輸送<br/>国際輸送</p> <p>6. 放送ネットワーク<br/>放送ネットワーク種別<br/>放送規制<br/>テレビ放送ネットワークの発展</p> <p>7. 通信ネットワーク<br/>通信事業者の種別<br/>通信ネットワークの構造<br/>制度の変容</p> <p>8. インターネット<br/>発展の歴史<br/>ブロードバンドネットワーク<br/>ネットワーク機能</p> <p>第3部 ネットワークの融合</p> <p>9. ネットワークの融合</p> <p>10. ネットワークの高度化と経営環境の変化</p> |
|--|---|

### 履修上の留意点

講義には毎回出席してください

### 成績評価の方法

平常点と期末テスト

### 教科書

特に指定しません

### 参考書等

公益事業学会編『日本の公益事業』白桃書房。  
その他 初回講義時に紹介します。

科目名	情報メディア産業論Ⅰ	開講	半期	単位	2
配当	他 (GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商政営A34選				
担当者名	福家 秀紀 <small>ふけ ひでのり</small>				

講義のねらい

インターネットの普及により急速な変化をみせる日本のメディア産業の現状と課題を理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・講義の内容  
情報メディア産業全体を俯瞰した後に、情報通信ネットワークの機能と役割を分析する。しかる後に、電話や放送など旧来型のネットワークと対比させることによって、インターネットの基本的な構造と特徴、ならびにその構造と特徴が社会経済に与える影響と問題点などについて考察する。
- ・授業スケジュール  
①情報メディア産業とは、②情報メディア産業を理解するためのキーワード(1)：ネットワーク、③情報メディア産業を理解するためのキーワード(2)：デジタル化とモジュール化、④電話網と放送網、⑤携帯電話網、⑥インターネットの基礎(1)、⑦インターネットの基礎(2)、⑧情報通信産業、⑨放送産業、⑩ケーブルテレビ産業、⑪新聞産業、⑫コンテンツ産業、⑬まとめ

履修上の留意点

授業中の指示事項が成績評価に反映されるので、授業への出席が単位認定の前提となる。

成績評価の方法

授業中に実施する小テスト、レポート、定期試験を総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

- ・村井純、『インターネット』、岩波書店、650円、4-00-430416-4
- ・湯浅正敏他、『メディア産業論』、有斐閣、1,800円、4-641-17311-7
- ・その他講義の中で適宜紹介する。

その他

レジュメを配布する他、新聞記事なども適宜使用する。

科目名	比較メディア制度論	開講	半期	単位	2
配当	他 (GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商政営A34選				
担当者名	西岡 洋子 <small>にしおか ようこ</small>				

講義のねらい

本講義では、米国を中心に、EU主要国、アジア主要国の放送制度について解説する。また、適宜、日本の場合と比較を行うことで、その特徴および制度形成の背景を理解するとともに、日本の制度への適用の可能性を検討する。

講義の内容・  
授業スケジュール

各国の規制機関、放送制度、放送産業の概要と動向

履修上の留意点

メディア政策論または、同様の講義を受講していることが望ましい。

成績評価の方法

期末テスト、レポート、平常点などで総合的に判断する。

教科書

授業中に指示する。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	都市とメディア	開講	半期	単位	2
配当	他 (GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 商政営A34選				
担当者名	高 媛 <small>こう えん</small>				

講義のねらい

都市は、種々のメディアが実践する場であると同時に、メディアによって紡ぎ出されたイメージ群から構成される空間でもある。本講義は、都市とメディアに関する基本的な理論を提示した上で、文学、流行歌、広告、映画、ドラマなどに登場する多様な都市像を具体的に検討しながら、都市とメディアとの関係性を読み解いていこうとする。

講義の内容・授業スケジュール

メディア都市の誕生、メディアが変える都市の風景、メディアのなかの都市像、都市空間のなかのメディア、都市というメディアなどの諸テーマに沿って、ビデオ鑑賞や視聴覚教材を交えながら講義する。

履修上の留意点

講義中に取り上げたトピックについて、討論を行うことがあるので、積極的な参加を期待する。

成績評価の方法

出席状況、授業への参加度、毎回講義の最後に提出してもらうコメントの内容、レポートによって総合的に評価する。

教科書

特に指定しない

参考書等

- ・吉見俊哉『都市のドラマトゥルギー——東京・盛り場の社会史』（弘文堂、1987年）、2,300円、ISBN：4335550294
- ・前田愛『都市空間のなかの文学』（ちくま学芸文庫、筑摩書房、1992年）、1,600円、ISBN：4480080147
- ・町村敬志・西澤晃彦『都市の社会学』（有斐閣、2000年）、2,300円、ISBN：4641121036

その他

講義形式

科目名	グローバルアート政策論	開講	半期	単位	2
担当	他 (GM) 禅仏国英地文環境歴史外考社福心経A商政営A34選				
担当者名	川崎 賢一				

講義のねらい

現代文化システムの特色・機能・可能性、について、文化政策 (cultural policies) 特に芸術文化政策をキーワードとして論じる。文化的グローバリゼーションにより、国家単位の文化システムが、越境的・グローバルな展開を遂げつつある、その中核的な機能を果たしている。その成立過程、展開・普及家庭、そして将来の可能性を展望する。

講義の内容・授業スケジュール

文化政策のオリジナルを、西欧諸国等にイギリスとアメリカに求め、その歴史と展開を概観する。その後1980年代以降のグローバルな展開を、アジア諸国への普及を例とし、比較の観点から概説する。

履修上の留意点

授業以外に、文化政策について調べてもらう予定である。

成績評価の方法

学期末のテスト、あるいは、学期末のレポート、プラス、平常点・出席点等を加算する。

教科書

授業の中で指示する。

参考書等

川崎賢一、「トランスフォーマティブ・カルチャー」、勁草書房、2006年  
佐々木・川崎・河島 (共編)、「グローバル化する文化政策」、勁草書房、2007年

科目名	グローバル創造都市論	開講	半期	単位	2
担当	他 (GM) 禅仏国英地文環境歴史外考社福心経A商政34選				
担当者名	川崎 賢一				

講義のねらい

文化的グローバリゼーションを推進する中核的なトレンドは、創造都市 (Creative Cities) ないし創造産業 (Creative Industries) である。本講義では、創造都市とは何か、どのように成立し、どのように発展しつつあるかを、具体的な例 (ロンドン・ニューヨーク・東京・香港・シンガポール、など) を例にとり、紹介・説明する。

講義の内容・授業スケジュール

授業は講義形式で、3つの内容からなる。創造都市と創造産業の成立とその機能。文化的グローバリゼーションと関連付けて、どのように発展したかについて具体的な例を挙げて説明する。最後に、将来的な可能性と問題点について考察する。

履修上の留意点

授業以外に、創造都市について調べてもらう予定である。

成績評価の方法

学期末テスト、あるいは、学期末のレポート、プラス、平均点・出席点等を加算する。

教科書

授業の中で指示する。

参考書等

川崎賢一、「トランスフォーマティブ・カルチャー」、勁草書房、2006年  
佐々木雅幸、「創造都市への挑戦」、岩波書店、2001年  
J. Florida, The Rise of Creative Class, Basic Books, 2002

科目名	情報保護と社会	開講	半期	単位	2
配当	他 (GM) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経 A 商政営 A34 選				
担当者名	苗村 憲司				

#### 講義のねらい

社会活動の全般的な情報化が進展するのにしたがって、情報の価値が増大している。小説、映画、音楽、コンピュータプログラム、データベース、マルチメディア情報等のように経済的価値がありしかも公開された情報については、著作権法等の知的財産権法による保護に適している。企業秘密やプライバシー情報のように経済的価値がありしかも非公開の情報についてはセキュリティ上の対策が必要になる。また、危険な情報から子供を守るための対策も必要となる。この科目では、日本の知的財産戦略および情報セキュリティ政策との関連を含め、情報保護のニーズとこれに対応する種々の社会的方策について考察する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 【第1週】 情報化社会における情報の価値とその保護の必要性
- 【第2週～第6週】 知的財産権の保護に関する政策と技術
- 【第7週～第11週】 情報セキュリティに関する政策と技術
- 【第12週～最終週】 グローバル環境における情報保護の課題

#### 履修上の留意点

特になし。

#### 成績評価の方法

次の2項目を総合して評価する。

1. 授業時間に行うミニテストの成績
2. 期末試験の成績

#### 教科書

特に定めない。

#### 参考書等

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~naemura/ps/>上に掲載する。

科目名	商学総論	開講	通年	単位	4
配当	他(経B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営A34選				
担当者名	おれがき かつお 大吹 勝男				

### 講義のねらい

大学は、「企業に貢献する人材を育成」しなければならない、として大学は社会的要請に応えねばならないというが、その実、社会ではなく、会社・企業のために諸君を育成しろというマスコミや評論家等々、そして学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は君たち自身のためにあり企業のためにあるものではありません。大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が、悩みに悩み、迷いに迷い、そして考え大人になっていくところが、大学という場です。「即戦力になる人材の育成」をうたい文句にした大学も続々と出現していますが、企業は即戦力が必要ならば、そのような人材を中途採用します。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そして、社会人として現実に困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちんと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策を学習するための基礎理論を提供するものでもあります。

### 講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目のようになります。

- (1) 商品論(価値論)・電子マネー
- (2) 生産過程論(労働過程論)
- (3) 流通過程論(資本の流通過程・商品在庫と保管費用・市場と商品輸送)
- (4) 商業資本の本質・機能論
- (5) 商業資本の自立化論・卸売り排除論(中抜き論)
- (6) 商業利潤論
- (7) 商業労働論・ホワイトカラー労働論

### 成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねたレポートの提出も評価します。期末試験では、テキストおよびノートの参照は可とします。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことでありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、充分な準備(学習)をして試験に望んでもらいたいということでもあります。したがって容易に単位が取得できるということを意味しませんから要注意です。

### 教科書

前期 大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』(粹出版社) 1,500円  
後期 大吹勝男著『商業資本の基礎理論』(粹出版社) 1,500円

科目名	国際経済論	開講	通年	単位	4
配当	他(経B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A34選				
担当者名	徳永 <small>とくなが</small> 俊明 <small>としあき</small>				

### 講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか?」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけではありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では「どこ」にいるのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えになりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているものです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義世界経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成立し始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としていますが、同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう1本の命綱としていくことが重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

### 講義の内容・授業スケジュール

#### 〈講義のテーマ(予定)〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日＝第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱を一つずつ検討します。

#### 前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

#### 後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民地主義と世界経済  
貿易・国際通貨制度・資本輸出——(「援助」と多国籍企業)・〈南北問題〉と国際経済秩序
- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

#### 〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義をすすめます。

### 成績評価の方法

成績は世界経済の基本事項、世界経済の“枝葉”ではなく、“幹”の理解度をミニ・レポート(2回予定)および学年末レポートで評価します。配分はミニ・レポート40点、学年末レポート60点。(レポート評価のため追試験は行ないません。)

### 参考書等

講義の中で適宜紹介します。

他学部  
履修科目

科目名	社会政策	開講	通年	単位	4
配当	他(経B) 禅仏国英地文環境歴日外考心営A34選				
担当者名	みつおか はくみ 光岡 博美				

#### 講義のねらい

最後に私は2006年4月より1年間、琉球大学(沖縄)に留学しました。従って、時間的余裕があれば、現代沖縄の社会・経済問題についても講義したいと考えています。

#### 履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

#### 成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。但し、受講者が多い場合は実施できない場合もある。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

#### 教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科目名	マーケティング	開講	通年	単位	4
配当	他(経B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政34選				
担当者名	そが のぶたか 曾我 信孝				

#### 講義のねらい

マーケティング技術の基本的な方法を理解し、マーケティングが抱える倫理の問題を理解してもらうことにねらいを置く。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期はマーケティング政策のなかの特に製品政策と価格政策に関する本質を学習しながら、それらの政策を企業が展開するにあたってのモラルハザードを指摘していく。そして、それらの実例を上げ(事件性のある事例はもちろんであるが、今日賛美されているマーケティング政策で本来モラルが強く要求されるべき問題も含める)、モラルハザードとなる原因を究明する。前期では、実証的な学習資料として2～3回ビデオ(40分程度)を見てもらう。

後期はマーケティング政策のチャネル政策と促進政策を学習しながら、それらにかかわるモラルの問題を学習し、さらにマーケティングモラルの範疇に含めなければならない問題を追加して、説明していく。特に、これまでマーケティングの範疇には含まれていなかったリスクマネジメントの問題が、大規模な製品回収など顧客保護の面からは重要であることを説明する。後期もマーケティングあるいはマーケティングモラルに関する事例を紹介するため2～3回ビデオ(40分程度)を見てもらう。

なお、講義は全てパワーポイントを使って行う。

#### 履修上の留意点

マーケティングを学ぼうとする知識欲旺盛な方の受講を期待しています。他人に迷惑をかけるなど、著しく受講態度の悪い方は学期途中でも受講を断ることがあります。

#### 成績評価の方法

夏休みの課題および年度末の課題の年2回のレポート(60%程度)と平常点(講義中の小レポートの評価:40%程度)によって評価する。

#### 教科書

基本的には教科書は使用しない。参考書は適宜紹介する。

#### その他

授業方法-講義形式



科目名	経営管理論a	開講	半期	単位	2
配当	他(経B) 禅仏国英地文環境社福心GM34選				
担当者名	いわなみ ふみたか 岩波 文孝				

#### 講義のねらい

現代の経済的・社会的環境が変化しているなかで、企業管理の構造変化および企業管理のあり方が問題となっている。本講義では、現代の企業管理の構造的特質を解明していくことを目的とする。企業におけるマネジメントの基本的役割、企業管理の発展史を踏まえ、企業管理の現代的課題を考察していく。本講義は、現代企業における株式所有・会社支配・戦略的管理に関連づけてコーポレート・パワーの権能の行使および行使システムの現代的特質を明らかにし、現代の企業管理におけるトップ・マネジメントの構造と機能を理解することを目指す。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 授業の概要・ガイダンス
- 2 経営管理論と企業・市場・社会
- 3 市場・社会と企業：国際比較
- 4 アメリカ企業と社会
- 5 アジア企業と社会
- 6 EU社会の変貌と企業
- 7 市場移行と東欧企業
- 8 ロシア企業と社会
- 9 多様化する市場・社会と企業管理の課題

授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。

#### 履修上の留意点

現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。

#### 成績評価の方法

前期末(2007年7月)の定期試験により評価します。

#### 教科書

日本比較経営学会編(2006)『会社と社会』文理閣。

#### 参考書等

仲田正機編著(2005)『比較コーポレート・ガバナンス研究』中央経済社。  
細井浩一(2006)『コーポレート・パワーの理論と実際』同文館出版。

科目名	経営管理論b	開講	半期	単位	2
配当	他(経B) 禅仏国英地文環境社福心GM34選				
担当者名	いわなみ ふみたか 岩波 文孝				

#### 講義のねらい

現代の企業管理の構造的特質、特にトップ・マネジメントの経営管理機能の現代的特質を理解することを目的として、現代企業の会社支配・戦略的管理の構造的把握のためにネットワーク・アプローチを試みている。本講義は、コーポレート・パワー行使に対する企業間関係のパーспекティブを導入し、現代企業の株式所有・会社支配・戦略的管理の考察にあたって、企業間関係のパーспекティブを採用し、コーポレート・パワーとしての現代企業のトップ・マネジメント機能の考察を行う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 授業の概要・ガイダンス
- 2 現代の企業と社会：社会的責任
- 3 現代社会におけるCSR
- 4 SCRの評価と市場
- 5 企業と社会：コーポレート・ガバナンスのパーспекティブ
- 6 企業と社会：社会ネットワークのパーспекティブ
- 7 企業と社会：非営利組織のパーспекティブ
- 8 企業と社会：グローバル化のパーспекティブ
- 9 持続可能な発展と企業管理の課題
- 10 経営管理論の現代的課題

授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。

#### 履修上の留意点

現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。

#### 成績評価の方法

後期末(2008年1月)の定期試験により評価します。

#### 教科書

日本比較経営学会編(2006)『会社と社会』文理閣。

#### 参考書等

仲田正機編著(2005)『比較コーポレート・ガバナンス研究』中央経済社。  
細井浩一(2006)『コーポレート・パワーの理論と実際』同文館出版。

科目名	中小企業論	開講	半期	単位	2
配当	他(経B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営A34選				
担当者名	吉田 <sup>よしだ</sup> <sup>けいいち</sup> 敬一				

講義のねらい

商店街のパン屋さんも中小企業、ハイテク製品を造るベンチャーも中小企業。中小企業は異質で多様な形で存在しています。しかも戦後日本の経済発展において中小企業は意外に大きな役割を果たしてきました。この点に関して自動車工業を事例として明らかにし、中小企業の実態を考えることが、この講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

- I 中小企業の基礎理論、
- I-1 中小企業の法的規定、
- I-2 中小企業の経営類型、
- I-3 中小企業の企業形態、
- I-4 日本型下請構造の特質、
- II 日本型下請システムの形成過程、
- II-1 日本経済復活期の生産分業構造、
- II-2 高度経済成長期の下請管理の合理化、
- II-3 自動車工業の急成長と日本型下請構造の確立、
- II-4 グローバル化と日本型下請け構造の改変、

履修上の留意点

中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は学期末試験(ノート持込可)を基準とし、追試験は実施しません。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行いません。

参考書等

- 『中小企業白書』
- 吉田ほか編著『産業構造転換と中小企業』ミネルヴァ書房
- 吉田ほか『グローバル化のなかの中小企業問題』新日本出版
- 渡辺ほか『21世紀中小企業論』有斐閣
- 『世界を制した中小企業』講談社現代新書

科目名	中小企業政策論	開講	半期	単位	2
配当	他(経B) 禅仏国英地文環境歴史外考社福心法A政営A34選				
担当者名	よしだ けいいち 吉田 敬一				

#### 講義のねらい

この講義は中小企業論の内容を前提として進めます。戦後日本の高度成長を支えた中小企業の革新過程を支援した中小企業政策の特徴を学ぶこと、さらに下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 復興期の中小企業政策、
- 2 中小企業と不正取引問題
- 3 高度成長と中小企業近代化政策、
- 4 中小企業政策の大転換、
- 5 経済のグローバル化と中小企業政策

#### 履修上の留意点

中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

#### 成績評価の方法

成績評価は学期末試験(ノート持込可)を基準とし、追試験は実施します。

#### 教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行いません。

#### 参考書等

『中小企業白書』  
 吉田ほか編著『産業構造転換と中小企業』ミネルヴァ書房  
 吉田ほか『グローバル化のなかの中小企業問題』新日本出版  
 渡辺ほか『21世紀中小企業論』有斐閣  
 『世界を制した中小企業』講談社現代新書

科目名	人口論	開講	通年	単位	4
配当	他(経B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A 政営AGM34選				
担当者名	もりおか じん 森岡 仁				

### 講義のねらい

人口に関わる学問分野は数多く存在するが、とくに経済学との関係から接近しようとするところにこの授業の特徴がある。経済と人口との関係はどちらかが一方的に他に働きかけるというものではなく、互いに作用しあう相互依存の関係にある。1970年代に成立しその後大きな発展を遂げた経済人口学は、この点に注目する人口学の一分野であるが、本講義も経済人口学の立場に立って、経済と人口の相互依存の関係を理論的、実証的に追求する。そこにおいては、日本を含む世界全体の人口について、過去から現在、そして可能なかぎり将来に及ぶ人口現象にまで論及してみたい。ことに、先進工業諸国に現在共通してみられる少子化と年齢構造の高齢化の問題、さらには2005年から始まった人口減少問題は、わが国においても経済との関係から早急に解決を迫られている関心事であり、将来益々その重要度を高めていく。

一方発展途上諸国に生じている人口増加の問題は、貧困からの脱却のため、あるいは資源・環境の観点からも緊急に解決しなければならない困難な課題を提起している。このようにみえてくると、今や人口問題は地球規模で考え、そして解決していかなければならないことが理解されよう。しかしながら、人口を取り巻く関連分野が広範囲に及ぶことから、はたしてどこまでが人口の問題であり、どこまでが他の分野の問題であるのかを的確に見極めることが重要になってくる。真の人口問題が不明確だとすれば、それに対応する政策も不適切なものにならざるをえない。的確な事実判断の下に適切な政策を施すには、しっかりとした理論的知識を備えていなければならない。ここでは、経済人口学の成立と発展の過程を辿ることによって、人口理論の基礎的知識を養い、政策論にも言及してみたい。

この授業では人口という眼鏡を通じて経済をじっくりと眺めることによって、一人でも多くの学生諸君が人口に関心を抱くようになってほしいと考えている。なぜなら近年の先進諸国においては子供を公共財的に扱う傾向があり、人口問題が国民一人一人の問題になっているからである。

### 講義の内容・授業スケジュール

- I. 経済人口学の生成と発展
- II. 日本の人口と経済発展
- III. 人口高齢化の経済的諸問題
- IV. 人口政策

### 履修上の留意点

履修に当たっての条件というものはとくに無いが、近年大きな関心事になっている人口の“高齢化”や“少子化”に関する知識を、どのような手段をつうじてでも良いから得ておくことが望ましい。

### 成績評価の方法

学年末の定期試験、出席状況。

### 教科書

大淵 寛・森岡 仁『経済人口学』(新評論) 1981年、2,800円、1033-330172-3177  
大淵 寛・森岡 仁『人口減少時代の日本経済』(原書房) 2006年、2,800円

### 参考書等

大淵寛『少子化時代の日本経済』(日本放送出版協会) 1997年、4-562-09112-6  
阿藤誠『現代人口学』(日本評論社) 2000年

### その他

授業の方法：講義

科目名	人的資源管理論 a	開講	半期	単位	2
配当	他(経B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営A34選				
担当者名	堀 龍二 <small>ほり りゆうじ</small>				

#### 講義のねらい

人的資源管理とは、企業が従業員を人的資源とみなして、その有効活用を図る施策のことです。端的にいえば、どのような人をどのような形態で雇い、企業目的に沿ってどのように活用し、その働きに対してどのように処遇するか、といった課題を扱います。a(前期)では、主にわが国の雇用の変化と新しい働き方の問題を取り上げます。

いま、雇用のあり方は流動化、多様化、階層化という事態を迎えています。まず長期勤続を奨励する従来の雇用政策から従業員の入れ替えがしやすい政策への転換がみられます。次に、いわゆる正社員という雇用形態だけでなく、パート、派遣、契約といった非正規雇用の活用が進展しています。非正規雇用は雇用者全体の3割にも達しています。また、正社員の間でも職種別、地域別、組織別に別々の人事制度を適用する複線化が進められています。さらに、最近では、労働基準法による労働時間規制を適用しない「ホワイトカラー・エグゼンプション」という新しい働き方が検討されています。このような雇用のあり方の変化は、何を背景にして生じているのか、企業の経営戦略とどのように結びついて展開されてきているのか、それが働く者にとってどのような意味を持つのかこうした問題を考察してみたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

以下の構成で進める予定ですが、変更されることもあります。また講義の進行は教科書の順序とは異なります。

1. 講義概要の紹介とガイダンス
2. 人事労務管理論から人的資源管理論へ
3. 戦後わが国の雇用問題をめぐる労使紛争
4. 高度経済成長と終身雇用
5. 低成長時代の雇用調整と終身雇用の変容
6. 平成不況下のリストラクチャリングと雇用問題
7. 雇用の流動化
8. 新時代の日本的経営と雇用形態の多様化
9. 非正規雇用の増大
10. パートタイマー問題
11. 労働者派遣法と派遣労働者問題
12. 働き方の多様化と均等待遇問題
13. 労働時間問題とホワイトカラー・エグゼンプション
14. 雇用ルール法制化の動き(労働契約法)
15. 雇用問題の日米比較

#### 履修上の留意点

原則として、a(前期)とb(後期)を合わせて同一年度に履修してください。

#### 成績評価の方法

出席、小レポート(毎回)、前期定期試験を総合して評価します。

#### 教科書

伊藤健市著『よくわかる現代の労務管理』ミネルヴァ書房、2006年。(2,600円+税)。なお、教科書に載っていない資料などは、プリントして配布します。

#### 参考書等

講義中に適宜紹介する。

科目名	人的資源管理論 b	開講	半期	単位	2
配当	他(経B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政営A34選				
担当者名	堀 龍二 <small>ほり りゆうじ</small>				

#### 講義のねらい

人的資源管理とは、企業が従業員を人的資源とみなして、その有効活用を図る施策のことです。端的に言えば、どのような人をどのような形態で雇い、企業目的に沿ってどのように活用し、その働きに対してどのように処遇するか、といった課題を扱います。b(後期)では、主に従業員の働きに対してどのように処遇するかという問題を取り上げます。つまり、人事考課、昇進・昇格、賃金、退職金、福利厚生などに関する諸制度です。

いま、わが国企業は、激しい国際競争を勝ち抜くために競争力強化を求められており、そのなかで競争優位の源泉とされる人的資源の更なる有効活用を追求しています。そこで登場してきたのが、従来の年功主義や能力主義ではなく、成果主義という新たな方針です。この成果主義はかなり普及してきましたが、その具体的制度の導入や実施・運営をめぐる混乱や不満も引き起こしています。本講義は、成果主義に基づいて展開されている、新しい人事考課、昇進・昇格、賃金、退職金、福利厚生の諸制度の実態と問題点を探ることをねらいとしています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

以下の構成で進める予定ですが、変更されることもあります。また講義の進行は教科書の順序とは異なります。

1. 講義概要の紹介とガイダンス
2. わが国企業の人事考課の特徴と国際比較
3. 成果主義に伴う人事考課の変化と目標管理
4. コンピテンシー評価
5. 戦後の賃金制度の変遷(属人給と仕事給)
6. 職能資格制度とその変容
7. 成果主義賃金制度の類型
8. 労働費用(総額人件費)
9. 賞与と退職金制度の最近の動向
10. 複線型人事制度の展開
11. 福利厚生制度の変容
12. 成果主義と人材育成
13. 成果主義の問題点
14. 新しい働き方と労働組合
15. 全体のまとめ

#### 履修上の留意点

原則として、a(前期)とb(後期)を合わせて同一年度に履修してください。

#### 成績評価の方法

出席、小レポート(毎回)、後期定期試験を総合して評価します。

#### 教科書

伊藤健市著『よくわかる現代の労務管理』ミネルヴァ書房、2006年。(2,600円+税)。なお、教科書に載っていない資料などは、プリントして配布します。

#### 参考書等

講義中に適宜紹介する。

科目名	法思想史	開講	通年	単位	4
担当	他(法B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商政営A34選				
担当者名	高橋 <sup>たかはし ひろき</sup> 洋城				

### 講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだという自覚を、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にほぼ限定される(東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない)。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

以下に掲げる時系列に沿った講義を柱とし、その過程でいくつかの重要な法概念については、時代横断的な考察をも交えていく。

#### 第 I 部 古典的自然法論とその背景の世界像

- [1] 講義のねらい、対象、重点、注意事項などについて / プラトンの法思想：『国家』を中心に考察する
- [2] アリストテレスの法思想：アリストテレス哲学の基礎理論を考察する
- [3] アリストテレスの法思想(続)：正義論、政治体制論を中心に考察する
- [4] キリスト教とローマ法：ヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたキリスト教およびローマ法に由来する諸概念・思想について概説的な紹介を行なう。
- [5] 中世自然法論：トマス・アクィナスの自然法論を中心に論ずる。題材は主として『神学大全』に拠る。

#### 第 II 部 近代自然法論の思想

- [6] 近代的な世界像と社会契約説総説
- [7] ホッブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心に考察する
- [8] ロックの法思想：『統治論』を中心に考察する。また特に、所有権論史におけるロック所有権論の意義に着目する。
- [9] ルソーの法思想：『社会契約論』『不平等起源論』を題材に考察する / 近代自然法論まとめ
- [10] カントの哲学と法思想 批判哲学の意義とその法理論への展開を考察する。特にカントに於ける「公論」の意義を検討する

#### 第 III 部 19世紀以降の法思想・法律学の潮流

- [11] 近代市民社会の思想：18世紀～19世紀の自然法論の果たした役割、およびヘーゲル法哲学について論ずる
- [12] 19世紀の法律学の動向：歴史法学・概念法学についてとりあげる。
- [13] 概念法学批判
- [14] 法実証主義の諸形態
- [15] 現代法理論の動向

### 履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んで上で講義に臨むことが要求される。

### 成績評価の方法

年度末の定期試験と平常点によって評価する。平常点には小テスト、課題レポート等が含まれるが、これらは加算点にのみ用いる(定期試験のみを受験するのでもかまわないということ)。

### 教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。



参考書等

法思想史に関する概説書の例として  
 ・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。  
 ・田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ）1,800円：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。  
 講義開始時に、上記の他にもいくつかの概説的な入門書について、それぞれの特徴などを紹介するが、書店・図書館などで手に取ってみて自分にあったものを選ぶと良いと思う。また講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

科目名	西洋法制史	開講	通年	単位	4
配当	他（法B）禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商営A34選				
担当者名	きたの かほる 北野 かほる				

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1部 総論
  - 第1章 法制史学概説
    - 第1節 法制史学の方法と対象
    - 第2節 法制史学の目的と効用
    - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
  - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
    - 第1節 時間的範囲
    - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
  - 第1章 古代
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 法構造
  - 第2章 中世（1066-1350）
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造 封建制
    - 第3節 統治構造 封建制の解体
    - 第4節 法構造
  - 第3章 近世（1350-1650）
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 統治構造
    - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度は講義内容を大幅に変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科目名	経済法	開講	通年	単位	4
配当	他(法B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心営A34選				
担当者名	荒井 登志夫 <small>あらい としお</small>				

#### 講義のねらい

規制緩和・グローバル化の下で、独占禁止法を中心とする経済法の分野はますます重要性を増し、近年、相次いで法改正が行われている。本講では、独占禁止法を中心に、景品表示法、下請法及び官製談合防止法の規定を、①我が国の経済構造、取引実態を具体的に説明し歴史的視点も取り入れながら、②法律の規定を平易に解説しつつ、③ホットで具体的な適用事例を挙げて説明して行く計画である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1～3 講義方針、基礎概念、歴史 4～5 私的独占 6～10 不当な取引制限、官製談合防止法、課徴金 11～14 不正な取引方法 15～17 景品表示法 18～19 第四章規定(一般集中、市場集中) 20 寡占規制 21～23 公正取引委員会、手続規定、罰則 24 国際的環境 25～26 事例研究、まとめ

#### 履修上の留意点

講義に出席しないと理解できないと思われるため、できる限り出席されたい。

#### 成績評価の方法

成績評価は、試験7割、出欠及びレポート提出3割の割合で評価し、合算するものとする。

#### 教科書

「経済法」(第5版・荒井大太郎・向田直範)ほか・有斐閣アルマ

#### 参考書等

「独占禁止法(第2版)」(金井貴嗣・川濱昇ほか・弘文堂)  
 根岸哲・杉浦市郎『経済法』(法律文化社)  
 根岸哲・舟田正之『経済法概説』(有斐閣)  
 丹宗暁信・岡田外司博ほか『新現代経済法入門』(法律文化社)  
 「経済法」(鈴木満・深雪・尚学社)

#### その他

レジュメを配布する。六法を必ず持参のこと。

科目名	国際関係論	開講	通年	単位	4
配当	他(法B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商営A34選				
担当者名	三船 恵美				

講義のねらい

国際関係論の基本的な概念や理論、国際機構、現代国際関係の枠組み、国際関係における諸問題などについて講義します。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. イントロダクション
2. 国際関係のアクター
3. 国際関係の分析視角
4. 日本の領域と日韓関係
5. 日本の領域と日中関係
6. 国益とパワー
7. 安全保障の概念と類型
8. 人間の安全保障とODA外交
9. 国連と日本
10. 『9・11』後のアメリカ外交：テロ・WMD・MD
11. 北朝鮮問題と国際関係
12. 日米同盟と米中関係・日中関係
13. 中央アジアをめぐる多国間協議と中露関係：CIS・EAES・SCO・CICA
14. APEC、ARF、「1+10」、東アジア共同体構想
15. AUの枠組み・ルワンダ・ダルフルからみる国連の限界
16. EUの枠組み・EU拡大とその影響
17. イラン問題
18. 地球環境問題をめぐる政治と経済
19. リアリズム
20. ネオ・リアリズム
21. ゲーム理論
22. リベラリズム
23. ネオ・リベラリズム
24. マルキシズム
25. グローバル・ガバナンス論、デモクラティック・ピース論、平和研究
26. #2～9、19～25のクイズ(=小テスト)
27. クイズの解説
28. 総括

履修上の留意点

テストを欠席した場合にレポートは課しません。配布物は、理由の如何に関わらず、一度しか配りません。欠席した場合の授業内容は、各自の責任で補って下さい。

成績評価の方法

試験(100%)。

教科書

『グローバル社会の国際関係論』山田高敬、大矢根聡編(有斐閣)2,000円 ISBN4-641-1732 5-7  
天児慧『中国・アジア・日本』ちくま新書、2006年、700円+税。

科目名	地方自治法	開講	通年	単位	4
配当	他(法B) 禅仏国英地文環境歴史外考社福心経A商営A34選				
担当者名	富井 幸雄 <small>とみい ゆきお</small>				

#### 講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

#### 成績評価の方法

前期試験(40%)と学年末試験(60%)で総合的に評価する。

#### 教科書

開講時に指示します。

#### 参考書等

『地方自治判例百選(第2版)』(別冊ジュリスト)。  
 なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』(岩波書店)、同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

#### その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法(『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい。)は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成19年度版以降を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	国際紛争解決法	開講	通年	単位	4
配当	他（法B）禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商営A34選				
担当者名	王 <sup>おう</sup> 志安 <sup>しあん</sup>				

#### 講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

#### 履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。power point で講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。  
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

#### 成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

#### 教科書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002年 2,000円

#### 参考書等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

#### その他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。板書のかわりに、powerpoint を利用した講義を行う。

科目名	倒産処理法	開講	通年	単位	4
配当	他(法B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商政営A34選				
担当者名	すずき たかひろ 鈴木 貴博				

講義のねらい

破産法を中心に倒産法制の概要とその基本事項に関する理解を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

倒産処理手続は、債務者、債権者、担保権者など多数の利害関係人の利益が錯綜する。そのため、手続の基準は債権者の平等な取扱いや社会経済上の不利益の回避といった要請に応え、多数の利害関係人を納得させるように機能することが期待される。このような手続の必要に伴う法律関係の修正・変更について手続の概要とともにまなんでいくことにする。

- |                 |             |
|-----------------|-------------|
| 1. 倒産法制の概観      | 6. 財団再建・取戻権 |
| 2. 破産原因・破産能力    | 7. 破産手続の主体  |
| 3. 破産申立てと破産宣告手続 | 8. 否認権・配当   |
| 4. 別除権・相殺権      | 9. 免責・破産犯罪  |
| 5. 破産財団をめぐる法律関係 |             |

履修上の留意点

民事法関連科目(民法・商法・民事訴訟法など)を履修済みであることが望ましい。その他、受講にあたって必要なことは開講時に指示する。

成績評価の方法

簡単なレポートと定期試験の総合評価により行う。

教科書

徳田和幸『プレップ破産法』第3版(弘文堂)2005年 1,260円

参考書等

山本和彦『倒産処理法入門』第2版(有斐閣)2005年 2,100円  
 伊藤真『破産法』第4版(有斐閣)2005年 4,200円  
 青山善充・伊藤真・松下淳一編『倒産判例百選』第3版(有斐閣)2005年 2,730円

科目名	アメリカ経営学	開講	通年	単位	4
配当	他(営B) 禅仏国英地文環境歴日外考福心経A商法A政34選				
担当者名	みやぎ てつ 宮城 徹				

### 講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の7つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

### 講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数(ただし、期末試験日を入れて)から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数(合計29回)で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当る場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

〈2005年度『アメリカ経営学』授業計画〉

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力(パワー)(8)
- IV 戦略(特に提携、グループ、ファミリー)(4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル-エージェント理論 (2)

### 成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

### 参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』(税務経理協会)1997年
- 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』(早大、第20号)1985年
- 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』(千倉書房)1987年
- 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』(第2版)(成文堂)1998年
- 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』(学文社)1993年
- 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』(千倉書房)1997年
- 7 宮城徹(単独訳書)『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』(税務経理協会)2000年(A. Picot u. a., Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998)
- 8 宮城徹(共訳書)『新制度派経済学による組織入門』(白桃書房)1999年(A. Picot u. a., Organisation. Eine { } ökonomische Perspektive, Schaffer-Poeschel, 1997)

ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介しておく。

科目名	経営財務論	開講	通年	単位	4
担当	他(営B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政34選				
担当者名	たかだ みつあき 高田 光明				

### 講義のねらい

経営財務論は、企業という組織体の財務活動を研究対象とする学問分野である。今日、企業の財務という場合、企業による資本の調達と運用をいっている。企業は、その活動を営むに際し、原材料などの財貨や労働力を確保しなければならない。そのために元手となる資本を必要とする。資本の調達とは、この元手となる資本を集めることをいう。そして調達した資本で、企業は、原材料などの生産要素を取得して、製品を生産し販売するという活動を遂行する。これが資本の運用である。

資本の源泉は、それぞれ異なる特徴を持っている。したがって、生産要素の取得を賄うために必要とする資本を、どの源泉からどのくらいずつ調達するかは、企業のその後に大きな影響を与える。この授業では、以上の問題意識のもとに、次のスケジュールにしたがって講義を進め、経営財務に関する基礎的知識・基本的考え方を身に付けることを主要目的とする。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達方法の特徴
6. 資金調達の基本原則
7. 流動・固定分類法の重要性
8. 資金概念
9. 企業利益の概念
10. 減価償却費の性格
11. キャッシュ・フロー
12. リスクとリターン
13. レバレッジ
14. 資本のコスト
15. 続・資金調達の基本原則
16. 資金調達の手順

### 成績評価の方法

期末の筆記試験による評価を原則とし、出席点を加味する。



科目名	経営組織論	開講	通年	単位	4
配当	他(営B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A商法A政34選				
担当者名	日野 <sup>ひの</sup> 健太 <sup>けんた</sup>				

#### 講義のねらい

組織論のフレームワークによって、企業をはじめとする組織を分析できるようになることを目的とする。そのための基本概念と思考方法を学ぶ。

#### 講義の内容・授業スケジュール

経営組織論の内容は、大きく分けて、組織の環境適応を扱うマクロ組織論と、組織における集団、個人を扱うミクロ組織論に大別される。この講義は、ミクロ組織論、マクロ組織論の順序で講義を進める。学生諸君が具体的なイメージを持てるように、配慮する。また、学年末の数回は、組織論の分野の新しい理論やトピックについて扱い、全体的な理解が深まるようにする。

講義の対象は以下の通り(番号と講義の回数は対応しない。また必要に応じて順序を入れ替えることがある。)

- (1) 組織論における組織観と人間観
- (2) モチベーション
- (3) 組織文化
- (4) リーダーシップ
- (5) 組織の環境適応
- (6) 戦略と組織構造
- (7) 情報処理の理論
- (8) 知識創造理論
- (9) 資源依存モデル
- (10) まとめ

#### 履修上の留意点

どうすればうまく学べるか、を意識して欲しい。「自分の言葉でひとにわかるように説明する」ことを意識して講義に参加すること。試験前に困っている友達にノートを貸して、講義の内容を教えてあげられるようになれば完璧。

#### 成績評価の方法

後期の授業開始日に中間試験を行う。このテストのウエイトが30%程度、学年末の定期試験のウエイトが70%程度。大まかには、この二つが成績を決める。中間試験を欠席するのは、即不可ではないが、致命的である。

授業中に小テストを行ったり、講義の内容に対してフィードバックを得るために出席をとることがあるが、必要に応じて成績評価に加味する。

#### 教科書

金井壽宏『経営組織』(日経文庫)

#### 参考書等

桑田・田尾『組織論』(有斐閣)  
 大月・藤田・奥村『組織のイメージと理論』(創成社)  
 田尾『モチベーション入門』(日経文庫)  
 経営学辞典の類、例えば、二神編著『ビジネス・経営学辞典』(中央経済社)などもなにかと重宝である。

科目名	管理会計論	開講	通年	単位	4
配当	他(営B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政34選				
担当者名	さるやま よしひろ 猿山 義広				

#### 講義のねらい

この講義の目的は、日商簿記検定試験や公認会計士試験に出題された計算問題を解きながら、管理会計の考え方や技法を理解してもらうことにある。管理会計は財務会計と並ぶ会計学の柱であり、会計学系列の演習を受講する学生はできるだけ履修してほしい。また、管理会計は経営学とも深く関わっているので、経営学系列の演習を受講する学生も積極的に履修してほしい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- この講義の小テストを除いた授業計画は以下のとおりである。
- 第1回 管理会計の基礎
  - 第2回 管理会計と原価計算Ⅰ—原価の意義と分類
  - 第3回 管理会計と原価計算Ⅱ—原価計算の手続
  - 第4回 管理会計と原価計算Ⅲ—直接原価計算
  - 第5回 短期利益計画におけるCVP分析Ⅰ—損益分岐点分析
  - 第6回 短期利益計画におけるCVP分析Ⅱ—目標利益の達成計画
  - 第7回 短期利益計画におけるCVP分析Ⅲ—プロモーション効果
  - 第8回 原価予測
  - 第9回 最適セールス・ミックスの決定
  - 第10回 経済的発注量(EOQ)の決定
  - 第11回 事業部制の管理会計
  - 第12回 標準原価計算による原価管理Ⅰ—原価統制の基礎
  - 第13回 標準原価計算による原価管理Ⅱ—製造間接費の原価差異分析
  - 第14回 予算実績差異分析
  - 第15回 標準直接原価計算
  - 第16回 活動基準原価計算(ABC)
  - 第17回 原価企画
  - 第18回 バランスド・スコアカード(BSC)
  - 第19回 意思決定会計Ⅰ—不確実性下の意思決定
  - 第20回 意思決定会計Ⅱ—設備投資の意思決定

#### 履修上の留意点

講義の重点は計算問題の解法に置かれるので、かならず電卓を持参すること。周知のように、管理会計における計算問題の多くは、日商簿記1級原価計算や公認会計士試験原価計算の特殊原価調査の分野で出題されるような問題と重なっているので、学習効果を高めるためにも、できるだけ「原価計算論」と併せて履修してほしい。

#### 成績評価の方法

年間で6回から8回行う小テストを計20点満点、定期試験を80点満点として、合計100点満点で評価を行う。定期試験は電卓以外の持ち込みは一切不可なので、注意してほしい。ただし、中間試験および夏休み中のレポートなどは行わないので、安心して下さい。

#### 教科書

とくに指定する教科書はないが、計算問題については日商簿記2級工業簿記や日商簿記1級原価計算の過去問題を参考にしてほしい。また、例題や解法のポイントについてのプリントを毎回配布するので、それを保存するようにしてほしい。

#### 参考書等

管理会計の最新理論については次の本に詳しく述べられている。  
櫻井通晴『管理会計〔第三版〕』同文館出版。

#### その他

少しでも疑問な点があれば、授業中でも授業終了後でもかまわないので、積極的に質問すること。最後まであきらめることなく、よい成績が得られるように、粘り強く勉強してほしい。

科目名	会計監査論	開講	通年	単位	4
配当	他(営B) 禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政34選				
担当者名	あべ かずひと 阿部 一人				

### 講義のねらい

「監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ」  
もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかなことであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

### 講義の内容・授業スケジュール

1. 会計監査の意義と目的(総論)(1)
  - (1) 監査の必要
  - (2) 監査の意義
  - (3) 監査の対象
2. 会計監査の意義と目的(2)
  - (1) 監査の目的
  - (2) 監査思想の変遷
  - (3) 監査の効用
3. 監査の機能
4. 会計上の誤謬と不正
5. 監査の種類
6. 会計監査と財務諸表監査
7. 我国の監査制度
  - (1) 証券取引法監査
  - (2) 商法監査
  - (3) その他の監査制度
8. 監査基準(1)
  - (1) 必要性
  - (2) 生成と展開
9. 監査基準(2)
  - (1) 意義
  - (2) 体系
  - (3) 一般基準
  - (4) 実施基準
  - (5) 報告基準
10. 監査人
11. 監査証拠
12. 監査計画
13. 内部統制
14. 試査
15. 監査技術と監査手続
16. 監査調書
17. 監査報告書
18. 連結財務諸表の監査
19. 中間財務諸表の監査
20. システム監査
21. 国際監査基準
22. 現代監査論の動向
  - (1) 監査概念の拡大化
  - (2) 監査保証に程度の差を認める監査概念

### 履修上の留意点

「簿記学」「会计学」の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、レポート（夏季）および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

小関・柳田共著『監査論セミナー 改訂版』（東京経済情報出版）3,200円

参考書等

大矢知浩司『監査論概説』（白桃書房）3,300円  
 田島四郎『最新監査論』（税務経理協会）2,900円  
 高田正淳『最新監査論』（中央経済社）2,800円  
 鳥羽至英『監査基準の基礎』（白桃書房）3,900円  
 三澤 一『会計監査の理論』（中央経済社）2,800円  
 山梶忠恕・桧田信男『監査基準精鋭精説』（税務経理協会）3,500円  
 脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』（中央経済社）3,800円

科目名	日本経済論	開講	通年	単位	4
配当	他（営B）禅仏国英地文環境歴日外考社福心法A政34選				
担当者名	はとり しげる 羽鳥 茂				

講義のねらい

1990年代以降の長期停滞が長引くなかで、日本の経済システムの問題点およびそれと関連するシステム変換の必要性がさまざまな視点から議論されています。これらの議論を理解し自分の意見を持つためにはそもそも多様な経済システム（日本の経済システムもその1つ）がどのようにして生成し、またどのように進化していくのかについての理解が不可欠です。このことを考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

情報・組織・契約のミクロ経済学と、それらの理論的基礎を提供するゲーム理論、およびゲーム理論のフロンティアの1つである進化ゲーム理論の新しい展開をふまえて、講義のねらいの目標にチャレンジします。

前期では企業の内部システムを検討します。企業内コーディネーションの情報効率性比較、企業システムの生成と進化の可能性、雇用契約とインセンティブが主要なテーマです。

後期においては、企業間の競争と合併、コーポレート・ガバナンス、企業金融、政府と企業の関係がテーマになります。

成績評価の方法

後期授業終了後の筆記試験によって成績評価を行います。ただし、課題レポートの提出とその内容も考慮に入れます。

教科書

青木昌彦、奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』（東京大学出版会）1996年、3,200円

参考書等

講義の進み具合に応じて適宜紹介します。

その他

数学が必要な時にはできるだけ解説します。意欲ある諸君の出席を期待しています。

## IV 「日本語」・「日本事情」科目



## IV. 「日本語」・「日本事情」科目 (対象：外国人留学生・帰国生)

### 《日本語科目》

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
日本語入門I a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	大石 真理子	1055
日本語入門I b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	大石 真理子	1055
日本語入門II a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	大石 真理子	1056
日本語入門II b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	大石 真理子	1056
日本語I a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	佐野 典子	1057
日本語I b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	佐野 典子	1057
日本語I a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅 哲子	1057
日本語I b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅 哲子	1058
日本語II a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	佐野 典子	1058
日本語II b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	佐野 典子	1058
日本語II a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅 哲子	1059
日本語II b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅 哲子	1059
日本語III a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅 哲子	1060
日本語III b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅 哲子	1060
日本語III a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	湯村 礼子	1061
日本語III b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	湯村 礼子	1061
日本語IV a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	石川 守	1062
日本語IV b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	石川 守	1062
日本語IV a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	湯村 礼子	1063
日本語IV b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	湯村 礼子	1063

日本語V a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	石川 守	1064
日本語V b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	石川 守	1064
日本語V a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅 哲子	1065
日本語V b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅 哲子	1065
日本語VI a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	石川 守	1066
日本語VI b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	石川 守	1066
日本語VI a	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅 哲子	1067
日本語VI b	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	1	多田羅 哲子	1067

## 《日本事情科目》

科目名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
日本事情I〔地理〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	高橋 健太郎	1068
日本事情II〔自然〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	清水 善和	1069
日本事情III〔歴史〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	井上 桂子	1070
日本事情IV〔思想〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	菅原 光	1071
日本事情V〔社会〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	山田 信行	1072
日本事情VI〔政治・法律〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	三竹 直哉	1073
日本事情VII〔文学〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	坂口 博規	1074
日本事情VIII〔文化・芸術〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	佐藤 美奈子	1075
日本事情IX〔経済〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	小杉 修二	1076
日本事情X〔経営〕	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心経A経商現法A政営AGM	半期	2	鈴木 幸毅	1077



科目名	日本語入門I a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM				
担当者名	大石 <sup>おおいし</sup> 真理子 <sup>まりこ</sup>				

講義のねらい ▶ 日本語で短いプレゼンテーションができるようになること。

講義の内容・授業スケジュール ▶ グループを作ってテーマを決め、プレゼンテーションを行う。

履修上の留意点 ▶ 日本語初級学習者のためのクラス

成績評価の方法 ▶ 出席・・・10%  
筆記テスト・・・30%  
プレゼンテーション・・・60%  
(詳細な評価方法は初回の授業で説明します。)

教科書 ▶ 毎回、プリントを用意します。

科目名	日本語入門I b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM				
担当者名	大石 <sup>おおいし</sup> 真理子 <sup>まりこ</sup>				

講義のねらい ▶ 日本語で、さまざまな社会問題についてのプレゼンテーションができるようになること。

講義の内容・授業スケジュール ▶ グループを作ってテーマを決め、プレゼンテーションを行う。

履修上の留意点 ▶ 日本語初級学習者のためのクラス。

成績評価の方法 ▶ 出席・・・10%  
筆記テスト・・・30%  
プレゼンテーション・・・60%  
(詳細な評価方法は初回の授業で説明します。)

教科書 ▶ 毎回、プリントを用意します。

科目名	日本語入門II a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	おおいし まりこ 大石 真理子				

講義のねらい ▶ 日本語で短いプレゼンテーションができるようになること。

講義の内容・授業スケジュール ▶ グループを作ってテーマを決め、プレゼンテーションを行う。

履修上の留意点 ▶ 日本語中級学習者のためのクラス

成績評価の方法 ▶ 出席・・・10%  
筆記テスト・・・30%  
プレゼンテーション・・・60%  
(詳細な評価方法は初回の授業で説明します。)

教科書 ▶ 毎回、プリントを用意します。

科目名	日本語入門II b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	おおいし まりこ 大石 真理子				

講義のねらい ▶ 日本語で、さまざまな社会問題についてプレゼンテーションができるようになること。

講義の内容・授業スケジュール ▶ グループを作ってテーマを決め、プレゼンテーションを行う。

履修上の留意点 ▶ 日本語初級学習者のためのクラス

成績評価の方法 ▶ 出席・・・10%  
筆記テスト・・・30%  
プレゼンテーション・・・60%  
(詳細な評価方法は初回の授業で説明します。)

教科書 ▶ 毎回、プリントを用意します。

科目名	日本語I a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	佐野 <small>さの のりこ</small> 典子				

講義のねらい	本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。
履修上の留意点	教材は、担当者が用意する。
成績評価の方法	成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	日本語I b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	佐野 <small>さの のりこ</small> 典子				

講義のねらい	本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。
履修上の留意点	教材は、担当者が用意する。
成績評価の方法	成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	日本語I a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	多田 <small>わたら あきこ</small> 羅 哲子				

講義のねらい	語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力、表現力を高める。
講義の内容・授業スケジュール	衣・食・住・学生生活など日常の場面ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・擬音語・擬態語・機能語・慣用表現などを紹介し、実際にどう使われているかを知り、より豊かな表現ができるようにする。
成績評価の方法	出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末テストの成績から総合的に評価する。
教科書	プリントを配布する。 辞書を持っていくこと。

科目名	日本語I b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	たたら あきこ 多田羅 哲子				

講義のねらい 語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。

講義の内容・授業スケジュール 政治・経済・文化・社会問題などの分野ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現など日本語の知識を高め・より深く理解できるようにする。

成績評価の方法 出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末試験から総合的に評価する。

教科書 プリントを配布する。  
辞書を持ってくること。

科目名	日本語II a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	さの のりこ 佐野 典子				

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法 成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	日本語II b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	さの のりこ 佐野 典子				

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法 成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	日本語II a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM				
担当者名	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>				

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。  
 言うべきことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。  
 発音・アクセント・イントネーション等、自分で見直し矯正する習慣をつける。

講義の内容・  
授業スケジュール

紹介・インタビュー・情報提供のスピーチをして、質疑応答・意見交換を行う。ほかの人のスピーチの内容・感想・意見などを限られた時間内に文章にまとめる。  
 テープで自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点

授業活動が大切なので出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	日本語II b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM				
担当者名	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>				

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。  
 言いたいことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。  
 発音・アクセント・イントネーション等を自分で見直し矯正する習慣をつける。  
 話し言葉と書き言葉の違いを知る。

講義の内容・  
授業スケジュール

意見表明や提案のスピーチ・ディベートを行う。スピーチのあと質疑応答・討論を行い、自分の意見とその根拠を文章にまとめることによって論理的に話したり書いたりする練習をする。  
 テープで、自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点

授業活動が大切なので出席し積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	日本語Ⅲa	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	多田羅 <sup>なたら あきこ</sup> 哲子				

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合能力を強化する。  
聞き取った内容を把握すると共に、相手や立場、場面を考えてそれにふさわしい言葉で話せるようになることを目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

ビデオでドラマ・映画・ドキュメンタリーなどを聞き取り、自然な話しかたに慣れる。敬語の使い方、くだけた言い方、改まった言い方、この場合どういえば自然かなど、場面や相手や立場などによって適切に使い分けられるよう練習をする。

成績評価の方法

平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書

ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。  
辞書を持ってくること。

科目名	日本語Ⅲb	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	多田羅 <sup>なたら あきこ</sup> 哲子				

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合的能力を強化する。  
ビデオの内容を把握すると共に、文章力を強化する。

講義の内容・  
授業スケジュール

ドキュメンタリー、ニュース関連番組などのビデオを用い、今話題になっている問題の内容を聞き取る。  
聞き取った内容、自分の感想、意見とその根拠などについて話し合い、文章にまとめる練習をする。

成績評価の方法

平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。

教科書

ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。  
辞書を持ってくること。

科目名	日本語III a	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	湯村 礼子 <small>ゆむら れいこ</small>				

講義のねらい

これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・  
授業スケジュール

新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。

成績評価の方法

期末試験、小レポート、授業での発表、授業活動、授業態度などを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指定する。

科目名	日本語III b	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	湯村 礼子 <small>ゆむら れいこ</small>				

講義のねらい

これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・  
授業スケジュール

新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。

成績評価の方法

期末試験、小レポート、授業での発表、授業活動、授業態度などを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指定する。

科目名	日本語IV a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	いしかわ まもる 石川 守				

講義のねらい

日本語の基本を振り返り、よりしっかりした日本語の基礎を身につけるため日本語V・VIの続きの部分をやっていきます。内容は日本語の基礎文法の最終部分を概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語の基礎を日本語V→VIに引き続いて深くじっくりやっていきます。

履修上の留意点

日本語IVは、日本語Vと日本語VIの三つの科目で日本語の基礎文法の全体が復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人にお勧めします。授業順序は日本語V→日本語VI→日本語IVの順でやっていますので、できれば、日本語Vを取り、次に日本語VIそして最後に日本語IVをとってください。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

授業態度を重視しています。

科目名	日本語IV b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	いしかわ まもる 石川 守				

講義のねらい

しっかりとした日本語の基礎を作り上げるために日本語IVaに引き続き日本語の基礎文法の最終部分をじっくりやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語IVaの続きの部分を行っていきます。日本語の基礎の最終部分から中上級の始めの部分を行っていきます。

履修上の留意点

日本語IVaの続きの内容を行います。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中に自作のプリントを配ります。

参考書等

辞書を持参してください。

その他

授業態度重視しています。



科目名	日本語IV a	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	湯村 礼子 <small>ゆむら れいこ</small>				

講義のねらい

読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

レポートの書き方を学習する。事実・情報を正確に伝える文章を書くために、文、段落、構成などの基本から始める。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

履修上の留意点

授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

課題作文（3回）  
提出物  
授業活動（授業での発言、授業態度など）

教科書

教科書は授業時に指定する。

科目名	日本語IV b	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	湯村 礼子 <small>ゆむら れいこ</small>				

講義のねらい

読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

説明文、意見文を学習する。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

履修上の留意点

授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文（3回）  
提出物  
授業活動（授業での発言、授業態度など）

教科書

教科書は授業時に指定する。

科目名	日本語Va	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	いしかわ まもる 石川 守				

講義のねらい

しっかりとした日本語の基礎を築くために概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。日本語の基本となる部分、呼称や指示詞などからじっくりやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語Vは、日本語VIと日本語IVの三つの科目で日本語の基礎文法の全体が復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人にお勧めします。

履修上の留意点

この日本語V→日本語VI→日本語IVの順に進み、全体として日本語の基礎が復習できるように構成されています。この授業をとられる方はこの三つをセットで取ることをおすすめします。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

受講態度を重視しています。

科目名	日本語Vb	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	いしかわ まもる 石川 守				

講義のねらい

日本語Vaに続けて、日本語のしっかりした基礎をつくることを目標にしています。

講義の内容・授業スケジュール

日本語Vaの続きをやっていきます。

履修上の留意点

日本語Vaと同じです。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中にプリントなどを配ります。

参考書等

辞書を持ってきて下さい。

その他

受講態度を重視しています。

科目名	日本語V a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経 A 経商現法 A 政営AGM				
担当者名	多田羅 <sup>たたら あきこ</sup> 哲子				

講義のねらい

読むことを通して日本語の読解力、表現力を高める。特に今、話題になっているニュース等について読んだり説明したり意見を述べたりする力をつける。  
レポートを書くための基礎を学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

各種の新聞記事など時事問題を中心に自分で調べながら読み、内容について説明したり、意見発表を行う。  
それらを文章にまとめる。

成績評価の方法

平常点（小テスト・提出物・授業の参加度）を重視する。期末テストも行う。

教科書

プリント配布する。  
辞書を持ってくること。

科目名	日本語V b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経 A 経商現法 A 政営AGM				
担当者名	多田羅 <sup>たたら あきこ</sup> 哲子				

講義のねらい

読むことを通して日本語の読解力、表現力も高め、時事的問題について読んだり読したり文章で意見を述べたりする力を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

各自関心のある内容の記事等を読み、内容を発表する。その内容に関して話し合ったり、文章を書いたりする。

成績評価の方法

平常点（小テスト・発表・提出物・授業への参加度）を重視する。期末テストも行う。辞書を持ってくること。

科目名	日本語VI a	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	いしかわ まもる 石川 守				

講義のねらい

日本語の基礎文法を日本語Vに引き続き行い、正確な日本語文法の基礎を作るために概念シラバス、機能シラバスの観点から認知学習法でやっていきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本語V a、bで行った日本語の後の部分をやっていきます。講義内容は日本語V→日本語VI→日本語IVの順番で構成されています。したがって本授業は日本語の基礎の中間部に当たります。

履修上の留意点

日本語VIは、日本語Vと日本語VIの三つの科目で日本語の基礎文法の復習ができるように構成されています。もう一度しっかりとした日本語の基礎を復習したい人は日本語IV、V、VIの三つをとることをお勧めします。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

授業態度を重視しています。

科目名	日本語VI b	開講	半期	単位	1
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	いしかわ まもる 石川 守				

講義のねらい

日本語のVIaの続きを行い、しっかりした日本語文法の基礎を作ります。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本語VIaの残りの部分を行っていきます。内容は日本語の基礎文法の間部分後半になります。

履修上の留意点

この授業は、日本語VIaの次の部分をやっていきます。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

受講態度を重視しています。

科目名	日本語VI a	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	たたら あきこ 多田羅 哲子				

講義のねらい

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・  
授業スケジュール

雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し、感想や意見を述べる。  
現在よく使われているカタカナ語、語句の意味や使い方、漢字の読み、文法事項等についても各自調べ、確認しながら細部まで理解して読む。

成績評価の方法

平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。  
辞書を持ってくること。

科目名	日本語VI b	開講	半期	単位	1
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	たたら あきこ 多田羅 哲子				

講義のねらい

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・  
授業スケジュール

雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し感想や意見を述べる。  
現在よく使われているカタカナ語、語句の意味や使い方、漢字の読み、文法事項等についても復習し、確認しながら理解していく。

成績評価の方法

平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。  
辞書を持ってくること。

科目名	日本事情I〔地理〕	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	高橋 <sup>たかはし</sup> 健太郎 <sup>けんたろう</sup>				

#### 講義のねらい

人々の生活や地域社会の特徴と変化などを、空間的側面と関連づけて考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。

#### 講義の内容・授業スケジュール

この授業では、最初に、日本の地理的特徴や、日本人の文化や生活の地域性について説明する。

その後、受講生2-3人で1つの班を作り、班ごとに、日本の各都道府県の地理的特徴について調べ、授業で発表してもらう。

また、駒澤大学の周辺地域、つまり東京近郊地域の特徴や変容を理解するために、大学の外に出て、見学も行う。

#### 履修上の留意点

第1回目に授業の案内を行うので必ず出席のこと。また、学外見学の際の交通費や施設入場料は各自の負担となる。

#### 成績評価の方法

頻繁に教場で作成してもらう小レポート、班ごとの発表の内容、学外見学のレポート、および学期末レポートで評価する。

#### 教科書

使用しない。授業中にプリントを配布する。

科目名	日本事情II〔自然〕	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	清水 <sup>しみず</sup> 善和 <sup>よしかず</sup>				

### 講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1) アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2) 現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3) 自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や環境保全のあり方等についても適宜言及する。

### 講義の内容・授業スケジュール

#### 第I章 位置

1. 国土の範囲
2. 行政区分
3. 位置の特徴

#### 第II章 気候

1. 気候帯
2. 日本近海の海流
3. 気候の特徴
4. 気団と季節
5. 気象観測
6. 気候と文化

#### 第III章 地質・地形

1. 弧状列島
2. 変動の歴史
3. 多様な地形
4. 火山
5. 地震

#### 第IV章 生物

1. 気候帯と植生帯
2. 生物多様性
3. 生物地理区
4. 里山の生物
5. 帰化生物

#### 第V章 自然保全の諸制度

1. レッドデータブック
2. 国内の法律
3. 国際条約

### 成績評価の方法

レポート（2回）と出席回数に基づいて評価する。

### 教科書

講義の内容を日本語の文章で著わした「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。また、それを英語に翻訳した「web版教科書(English version)」も用意する。これらは清水のHPから自由にダウンロードできる。

### 参考書等

「web版教科書」で分野ごとの参考書を紹介する。

### その他

講義に必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する(漢字にはできるだけ読みがなをつける)。なお、英語圏の留学生のために講義内容を英語で著わした「web版教科書(English version)」を用意する。

科目名	日本事情Ⅲ〔歴史〕	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	井上 桂子				

#### 講義のねらい

本講義では、19世紀以降の日本と中国大陸の文化、人事交流を中心に、大きな歴史の流れの中で両国の人びとがどのような交流し、相互理解に努力したかを学ぶことを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 19世紀－鎖国政策の中での日本の他国関係
2. 中国商人の「唐風説書」の役割
3. 江戸幕府貿易船で上海に行った明治維新のキーマン
4. 日米和親条約と中国
5. 明治維新と中国の反応
6. 駐華公使森有礼と清朝の李鴻章の会談から見えてくるもの
7. 清末の改革維新と日本との関係
8. 孫中山と日本
9. 民間交流と日中関係
10. 戦争中中国大陸で反戦活動
11. 日中国交正常化への道のり

#### 履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行い、一般的な講義内容を説明します。特別な予習、復習は必要ありません。

#### 成績評価の方法

出席回数と課題レポートで評価します。

#### 教科書

必要に応じてプリントを配布します。

#### 参考書等

授業のなかで適宜紹介します。

#### その他

希望があれば、その日の要点を中国語でも話します。また、中国語で発言してもかまいません。



科目名	日本事情Ⅳ〔思想〕	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM				
担当者名	すかわら ひかる 菅原 光				

#### 講義のねらい

近代日本の代表的な思想家を取り上げ、その生い立ちを含めた人物像、並びにその思想内容を紹介し、考察するという形で近代日本思想史を学んでいくことが本講義の目的である。講義では、まずは取り上げる思想家達が活躍していた時期の時代的特徴をpushさえるところから出発した後、森有礼、福澤諭吉、西周ら、代表的な思想家について学んでいく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義はおおよそ、以下の項目に沿って行う。

1. ガイダンス
2. 文明開化とは何か？
3. 森有礼の思想
4. 西周の思想
5. 福澤諭吉の思想
6. 田中正造の思想
7. 武士道
8. 教育思想

#### 履修上の留意点

授業の最後に、簡単なレポートを実施することがある。

#### 成績評価の方法

出席回数と、授業態度、授業の最後に実施する小レポートの評価とを合わせ、総合的に評価する。授業回数のうち8割の出席、小レポートにおいて用紙の8割を埋めることが単位取得の最低条件である。20分以上遅刻した学生、授業態度の悪い学生は、出席としてカウントしないので、注意してほしい。

#### 教科書

特に指定しない。

#### 参考書等

授業時に適宜紹介する。

科目名	日本事情V〔社会〕	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A 経商現法A 政営AGM				
担当者名	やまだ のぶゆき 山田 信行				

#### 講義のねらい

この講義では、主として第2次世界大戦後に日本社会が経験した社会変動をふまえて、日本社会の現在と将来を展望する。適宜ビデオ教材などを使用し、日本社会の様々な問題を理解しやすいようにしたい。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

主な内容は、以下の通り。カッコ内の回数は、当該の項目が授業に当てられるおおよその回数。

1. 戦後日本の社会変動（4回）
2. 現代日本の基本的趨勢（4回）
  - （1）情報化
  - （2）少子・高齢化
  - （3）グローバル化
3. 現代日本の社会問題（4回）
  - （1）若年者問題－フリーター、ニート
  - （2）学力低下問題
  - （3）格差問題

#### 履修上の留意点

ほぼ毎回講義の内容に関するメモを配布するので、それをもとにノートを取るようになってほしい。継続的な出席は、講義の理解を促進する。

#### 成績評価の方法

学期末レポートと平常点による。

#### 教科書

なし。

#### 参考書等

適宜指示する。

#### その他

希望があれば、その日の要点を英語でも話します。また、英語で発言してもかまいません。

科目名	日本事情VI〔政治・法律〕	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	<small>みたけ なおや</small> 三竹 直哉				

**講義のねらい**

日本の政治について知り、みんなで意見交換します。

**講義の内容・授業スケジュール**

下記のようなトピックを考えていますが、参加者のみなさんの意見を聞いて決めます。

- ◎議会制民主主義
- ◎三権分立と二院制
- ◎天皇
- ◎選挙制度
- ◎政党と派閥
- ◎ナショナリズム
- ◎安全保障
- ◎マイノリティ

**履修上の留意点**

出席と授業参加を重視します。

**成績評価の方法**

平常点によります。ただし、出席が少ない人、発言が少ない人などには、期末テストを行う可能性があります。詳細は最初の授業で説明します。

**教科書**

指定する予定はありません。

**その他**

I speak English, but students are encouraged to communicate in Japanese.

科目名	日本事情VII〔文学〕	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	<small>さかぐち ひろき</small> 坂口 博規				

#### 講義のねらい

本講義は、日本語を母国語としない外国人留学生等を中心に、日本の文学作品を歴史的な流れに立って紹介し、日本の美意識を含めて文化の諸相に対する理解を深めることを目標とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

日本の古代の文学から近代の文学まで、作品が成立した時代や社会の背景を紹介しつつ、それぞれ時代の美意識の特徴を概説するとともに、作品内容の一部を読みながら、理解を深めることを目標とする。各時限の内容は以下の通り。

- 1、ガイダンス、日本文学のジャンル発生
- 2、古代前期の歌謡
- 3、日本神話・伝説・説話
- 4、古代前期の詩歌
- 5、古代後期の文学とその美意識（1）
- 6、古代後期の文学とその美意識（2）
- 7、中世の文学とその美意識（1）
- 8、中世の文学とその美意識（2）
- 9、近世の文学とその美意識（1）
- 10、近世の文学とその美意識（2）
- 11、近代の文学とその美意識（1）
- 12、近代の文学とその美意識（2）
- 13、日本文学の特質

#### 履修上の留意点

第1回にガイダンスを行い、半期の講義内容を概括するとともに、日本文学に対する受講生の興味・関心を喚起したい。半期の限られた時間の中で日本文学を要約する上で、中心となるのは時代背景の理解と美意識の把握であることを確認したい。なお古典文学の文章は現代語表現と違うので、出来るかぎり現代語に置き換えるか、現代語を添えて紹介する。

#### 成績評価の方法

レポートにより、授業において特に興味・関心を持った内容について受講生自身の所感をまとめてもらう。レポート評価（90%）を中心に、受講姿勢（出席状況・関心の度合等々、10%）を加えて評価する。

#### 教科書

必要に応じて適宜プリントを配布する。

#### 参考書等

授業内で紹介する。

科目名	日本事情VIII〔文化・芸術〕	開講	半期	単位	
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	佐藤 美奈子				

#### 講義のねらい

「日本文化」とは何か。日本に生まれ育った人でも、この問いにきちんと答えられる人はあまりいません。それは「日本文化」と呼ばれるものが時代によって変化したり、作り変えられたりするものだからではないでしょうか。よって、本授業では「日本文化」を明らかにすることを目的にはしません。むしろ、近代日本において「日本文化」がどのように捉えられてきたのか、という問いに重点を置くことにします。それによって、「日本文化」を通して「日本人」がどのようにアイデンティティを形成してきたのかを、明らかにしていきたいと思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業では、明治中期に影響を持った政教社の国粹主義思想を一つの軸として取り上げます。政府の欧米化主義を批判する中で展開された国粹主義思想は、「日本文化」をどのように捉えたのでしょうか。なぜ、そのような思想的潮流が明治半ばに現れたのでしょうか。こういった国粹主義思想の物の見方は、現代日本にどのような影響を与えているのでしょうか。授業ではまず、こういった問いを考えるために必要な基本的知識（幕末から明治にかけての歴史的・社会的背景）を学びます。その上で、国粹主義思想が何を訴えようとしたのか、それはどのような社会的要請と呼应するものであったのか、その後どのような影響を残したのかを考えていくこととします。

#### 履修上の留意点

授業開始後の入室（遅刻）は、授業の妨げとなるためいっさい認めません。また私語等のマナー違反にも厳しく対処することにします。

#### 成績評価の方法

期末試験、及び授業時に実施される小テストの総合点で成績を決定します。なお、小テストは毎回授業開始時に、前回の授業内容に基づいて行います。欠席の場合は原則として点数は与えられません。

#### 教科書

特に指定しません。

#### 参考書等

授業時に適宜、紹介します。

#### その他

講義形式。授業は基本的に日本語で行いますが、授業後の個別質問には英語でも対応します。

科目名	日本事情IX〔経済〕	開講	半期	単位	2
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	小杉 <sup>こすぎ</sup> 修二 <sup>しゅうじ</sup>				

#### 講義のねらい

日本で学ぶ外国からの留学生の皆さんとともに、主として日本がたどってきた 経済成長というものを理解し、同時に日本語・日本の文化についても理解してもらいたいと思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

経済成長という、経済現象を生物のように扱うこうした用語は何時生まれたのか？ははっきりしたことはわかりませんが産業革命以後であることは間違いのないでしょう。つまり、産業革命以前は超安定社会、あるいは超停滞社会だったのです。経済の拡大は時にはありますが、ごくたまにおきる事柄でした。継続的に1-2%の経済の拡大が起こるようになったのが産業革命です。これでもそれ以前に比べれば、革命的变化だったのです。

経済成長を測る用語に「経済成長率」というのがあります。例の年・%というやつです。これはお金を借りた時と同じ「複利計算」になります。年利20%でお金を100万円借りれば、4年でいくらになるでしょう。複利計算では（銀行から借りた時と同じです）、207.36万円になります。180万円と答えた人はお金をうっかり借りないほうがいいでしょう。

20%の成長が何年も続くことは考えなくてもいいでしょうが、7%成長が10年続くと元の数の2倍に増える、というのを知っていれば、いかに複利計算がすごいかわかるでしょう。そういう経済成長が今世界のあちこちでおきています。日本の高度経済成長期は年率約10%の成長が19年も続きました。それは19年で終わりましたが、もしそれが100年続いていたら、日本経済の規模は最初の1万3800倍というとんでもない数値になっていたでしょう。

この授業では、経済成長率とは何か、第2次世界大戦後の日本の経済成長は以下に始まったか、経済成長とはどういうことなのか、それはどんな時に起こるのか、その結果はどのようなのか、成熟経済と経済成長、新たな成長の種、経済成長と心、経済成長と地域環境問題、経済成長と地球規模環境問題等について考えます。

#### 履修上の留意点

出席不良は単位があげられません。

#### 成績評価の方法

出席点と試験による。

#### 教科書

特にありません。

#### 参考書等

特にありません。

#### その他

ビデオを利用した映像とプリントで行う予定。

科目名	日本事情X〔経営〕	開講	半期	単位	2
担当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心経A経商現法A政営AGM				
担当者名	鈴木 <sup>すずき</sup> 幸毅 <sup>こうき</sup>				

講義のねらい	日本企業の現状と課題について講義し、併せて環境対応の実際について話します。
履修上の留意点	教科書は使用しませんが、必要に応じて参考書は指定します。 講義に際しては、プリントを多く使います。
成績評価の方法	出席を重視します。プリントを音読してもらいます。1回か2回、簡単な課題レポートを提出してもらいます。以上の総合で評価します。
その他	質問（授業中の）を歓迎します。





# V 随 意 科 目



## V. 随 意 科 目

科 目 名	配当学科	開講区分	単位	担当者名	ページ
英語（海外演習）	全学科1年次～		2		1083
フランス語（海外演習）	全学科1年次～		2		1083
中国語（海外演習）	全学科1年次～		2		1083
宗教学概説	国英地文環境歴日外考社福心23 4年随意	通年	4	川上 新二	1084
宗教学概説	国英地文環境歴日外考社福心23 4年随意	通年	4	矢野 秀武	1084
宗教学概説	国英地文環境歴日外考社福心23 4年随意	通年	4	川上 新二	1085
哲学概説	国英地文環境歴日外考社福心23 4年随意	通年	4	末木 恭彦	1085
哲学概説	国英地文環境歴日外考社福心23 4年随意	通年	4	久保 陽一	1086
倫理学概説	国英地文環境歴日外考社福心23 4年随意	通年	4	河谷 淳	1087
歴史哲学	国英地文環境歴日外考社福心23 4年随意	通年	4	久保 陽一	1087
宗教人類学	国英地文環境歴日外考福234年 随意	通年	4	佐藤 憲昭	1088
民間信仰論	禅仏国英地文環境歴日外考社福心 234年随意	通年	4	谷口 貢	1089
日本宗教文化史	禅仏国英地文環境歴日外考社福 心234年随意	通年	4	小川 順敬	1089
民衆宗教成立史	国英地文環境歴日外考社福心23 4年随意	通年	4	鈴木 一馨	1090
美術史概説	英地文環境社福心234年随意	通年	4	北野 良枝	1090
東洋思想史	英地文環境歴日外考社福心234 年随意	通年	4	末木 恭彦	1091
日本民俗学	英地文環境社福心234年随意	通年	4	谷口 貢	1091
日本仏教史	国英地文環境社福心234年随意	通年	4	松本 信道	1092



科目名	英語（海外演習）	開講	単位	2
配当	全学科1年次～			
担当者名				

#### 講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期語学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる英語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。ただし、春季クインズランド大学（オーストラリア）のセミナーに関しては、4年次生は参加できません。

#### 成績評価の方法

現地演習後に各大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

#### その他

受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

科目名	フランス語（海外演習）	開講	単位	2
配当	全学科1年次～			
担当者名				

#### 講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるプロヴァンス大学（フランス）における短期語学セミナーでの3週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれるフランス語随意科目である。受講対象学生は1年次生から3年次生までとする。

#### 成績評価の方法

現地演習後にプロヴァンス大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

#### その他

受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

科目名	中国語（海外演習）	開講	単位	2
配当	全学科1年次～			
担当者名				

#### 講義のねらい

この科目は本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期語学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる中国語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。

#### 成績評価の方法

現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

#### その他

受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

科目名	宗教学概説	開講	通年	単位	4
配当	国英地文環境歴日外考社福心234年随意				
担当者名	かわかみ じんじ 川上 新二				

#### 講義のねらい

私たちの周りで見られるさまざまな宗教事象をとりあげて、宗教学の立場からの捉え方、理解の仕方をご紹介します。そして、それを通じて宗教学とはどのような学問かについて理解を深めていこうと思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

宗教の分類や考察の立場など、宗教学における基本事項を紹介した後、具体的な宗教事象をとりあげて、宗教学の立場から考察します。日本、韓国、中国、台湾などの事例を中心に「神話」、「祖先祭祀と死者供養」、「神霊の憑依と宗教職能者」などの考察を考えています。

#### 履修上の留意点

随意科目および教職教科に関する科目なので、受講生の積極的な参加を望みます。

#### 成績評価の方法

レポート（夏休みと学期末の2回を考えています）と出席状況で評価します。随意のレポート提出など積極的な姿勢があれば、評価に加えます。

#### 教科書

使用しません。

#### 参考書等

伊藤亜人監訳『韓国文化シンボル事典』平凡平、2006年など。その他、講義のなかで適宜紹介します。

科目名	宗教学概説	開講	通年	単位	4
配当	国英地文環境歴日外考社福心234年随意				
担当者名	やの ひろたけ 矢野 秀武				

#### 講義のねらい

世界には様々な宗教伝統があり、多様な思想・体験・歴史・活動が見られる。また特定の集団には関わらないが宗教的と言える現象などもある。本講義では、これらの宗教伝統や宗教的現象について、無批判に肯定するのではなく、闇雲に批判し遠ざけるのでもない、そういった視点から理解することの重要性を学んでもらいたい。また、世界の諸宗教の多様性や、それぞれの宗教伝統内部に多様性のあることも理解してもらいたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は宗教についての基礎知識と具体的なイメージを持っていただくため、世界の諸宗教についての歴史と思想について学ぶ。後期では、聖なるもの、儀礼、まじない、神秘体験、宗教と心理学、宗教哲学、宗教間の対話などの切り口から、宗教学のものの見方を紹介する。

#### 成績評価の方法

出席、レポート、年度末の筆記試験を総合して評価を行なう。レポートは夏季休暇前に課題を提示する。レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業で述べる。

#### 教科書

なし。

#### 参考書等

授業時に随時紹介する。

科目名	宗教学概説	開講	通年	単位	4
配当	国英地文環境歴日外考社福心234年随意				
担当者名	かわかみ しんじ 川上 新二				

講義のねらい

宗教学は、私たちの周囲にあるさまざまな宗教を理解するための学問です。この講義では、宗教学とはどのような学問なのかについて紹介し、宗教学を通じての宗教の見方を理解することを目指します。

講義の内容・  
授業スケジュール

宗教学の立場と歴史、宗教の分類、宗教を理解するための基本的な概念、宗教と社会、宗教体験、宗教儀礼、宗教の機能などについて、これまで宗教学が明らかにしてきた成果を中心に紹介します。

履修上の留意点

随意科目および教職教科に関する科目なので、受講生の積極的な参加を望みます。

成績評価の方法

レポート（夏休みと学期末の2回を考えています）と出席状況で評価します。随意的レポート提出など積極的な姿勢があれば、評価に加えます。

教科書

使用しません。

参考書等

『宗教学ハンドブック』世界書院など。その他、講義のなかで適宜紹介します。

科目名	哲学概説	開講	通年	単位	4
配当	国英地文環境歴日外考社福心234年随意				
担当者名	すえき やすひこ 末木 恭彦				

講義のねらい

哲学とはいかなる学問か理解をはかる。本講義は、この課題を東洋の視点から考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

哲学は、西洋の独占物ではない。西洋に啓発されてではあるが、東洋においても独自の哲学の試みはなされている。その東洋における哲学の試みの中から、馮友蘭を取挙げ、今年度はその著『新知言』を紹介する。馮友蘭の哲学は、彼自らが貞元六書と呼ぶ、六つの著作に展開されている。『新知言』は、その貞元六書の六番目に位置する。馮友蘭の視点から世界の哲学を把握し、その中に自らの哲学の位置付けを企てた書である。東西の比較という点からも興味をひく書である。尚、『新知言』には日本語訳がないので、私の作った抄訳を資料として配布する。

履修上の留意点

ノートを確実に取ること。

成績評価の方法

年一回以上の試験、もしくはレポートにより評価する。

科目名	哲学概説	開講	通年	単位	4
配当	国英地文環境歴日外考社福心234年随意				
担当者名	久保 陽一 <small>くほ よういち</small>				

#### 講義のねらい

哲学は世界や人間についてその原理を問う学問であると同時に、世界の中で人間がいかに生きるべきか、人生の目標や意義、何が善いか、何が正しいか、何が美しいか等を究明しようとするものでもある。我々は日常たえず意識しているとは限らないが、人生のふしぶして何がしかそのような人生論的あるいは倫理的な問題につきあたらざるをえない。今年度の講義はそのような問題を取り上げることにしたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

古今東西の有名な人生論や倫理思想を取り上げる。  
 前期では、主に、①アジアの思想（仏教、儒教、老荘思想）②古代ギリシア哲学③キリスト教という思想源流にさかのぼる。  
 後期では、近現代を含めた人生論の種々のテーマー他者、死、幸福などーを取り上げることにする。

#### 履修上の留意点

よく出席し、ノートを取る。理解できなかったところは、遠慮なく質問すること。色々な本を読み、自分でものごとを考え、文章でまとめるようにすること。

#### 成績評価の方法

出席数、試験（前期と年度末）などによって評価する。

#### 教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

#### 参考書等

渡辺二郎『現代の哲学』（日本放送出版協会）1,800円  
 渡辺二郎『人生の哲学』（放送大学教育振興会）2,800円  
 授業中、種々の資料を配布する。

#### その他

講義



科目名	倫理学概説	開講	通年	単位	4
配当	国英地文環境歴日外考社福心234年随意				
担当者名	わがた あつし 河谷 淳				

#### 講義のねらい

「大人であれば他人に危害（迷惑）を及ぼさない限り何を自己決定してもよい」という主張がしばしばなされることがある。だが、このような「他者危害（迷惑）の原則」はそれほど自明なものではなく、これ自体があくまでひとつの倫理的立場であるにすぎない。それゆえ、こうした立場の是非を考えるにあたっては他の倫理的立場と併せて検討する必要がある。

そこで、本講義は次のような二段構えの構成を採る。すなわち、前期は（a）古代ギリシア以来の西洋思想史における様々な倫理観を取り上げることでそうした倫理思想と現代との関係を考え、後期は（b）応用倫理とりわけ生命倫理の諸問題とそのアプローチの仕方を取り上げることで私たちに身近なことがらを「倫理的に考える」とはどういうことなのかを考えることにしたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

本講義では概ね次のような内容を取り扱う。

前期（a）西洋倫理思想史

徳倫理学：プラトン、アリストテレス、幸福な人とはどのような人か  
義務論：カント、定言命法としての道徳原則、なぜ嘘はいけぬのか  
功利主義：ベンサム、ミル、「最大多数の最大幸福」

後期（b）生命倫理を中心とした応用倫理の諸問題（生老病死をめぐる倫理）

- 1) インフォームド・コンセントをめぐる問題
- 2) 安楽死・尊厳死の是非をめぐる問題
- 3) 脳死と臓器移植をめぐる問題
- 4) クローン技術のヒトへの適用の是非をめぐる問題

#### 履修上の留意点

授業を受け身的に聴くというよりは一緒に問題を考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

#### 成績評価の方法

前期最終授業日に実施する中間試験と期末試験（40点満点×2）ならびに夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

科目名	歴史哲学	開講	通年	単位	4
配当	国英地文環境歴日外考社福心234年随意				
担当者名	くぼ よういち 久保 陽一				

#### 講義のねらい

「歴史」には、過去に行われた出来事という客観的な意味と、その出来事の記述という主観的な意味とが含まれ、両者はからみ合っている。我々が過去の「歴史」を認識しようとするとき、一方で実際に検証できる事実をもとにしなければならないが、他方で無数ある事実のどれを取り出し、どのような枠組で叙述するかが問われる。「歴史」は歴史家の関心や立場なしには成り立たない。このような連関を反省するのが、歴史の方法論や哲学である。今年度は、そのような「歴史哲学」の一つの典型を示した、ヘーゲルの『歴史哲学』を主に取り上げ、現代における歴史認識について考えることにしたい。

#### 履修上の留意点

テキストや参考書をよく事前に読んでおくこと。

#### 成績評価の方法

出席状況とレポート

#### 教科書

ヘーゲル『歴史哲学』（上中下三冊）（岩波文庫）

#### 参考書等

渡辺二郎『現代の思想的状況—歴史の哲学』（放送大学教育振興会）  
E. H. カール『歴史とは何か』（岩波書店）

科目名	宗教人類学	開講	通年	単位	4
配当	国英地文環境歴日外考福234年随意				
担当者名	佐藤 憲昭 <small>さとう のりあき</small>				

#### 講義のねらい

宗教人類学は、文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化について比較研究をする学問である。そして、その営為を通して「人間とは何か」という問題に答えようとするものである。本年度は「生き神信仰と仏教現象」について取り上げて考察し、宗教人類学の考え方を学習することにした。

生き神は、学術用語でシャーマンと呼ばれる。例えば、東北地方のイタコ、カミサマ、オナカマ、ミゴ、ワカ、本土各地のオガミヤ、行者、祈祷師、ホウニン、奄美・沖縄地方のユタなどがそれである。神主や仏僧の中にも生き神の性格を具えている者が存在する。彼（彼女）らは、神霊をみずからの身体に侵入させて神霊自身として振る舞ったり、あるいはみずからの身体に付着した神霊と会話を交わし、その内容を神意として依頼者に伝達したり、または身体の外側から神霊の影響を受けて、神霊の姿や声を目・耳にした内容を神意として依頼者に伝える、などの役割を担当する。

こうした生き神を中心とする宗教形態（＝シャーマニズム）は、歴史的には先史時代より歴史をつらぬいて現代にいたっているとされ、また、空間的には普遍的・汎世界的にあらわれている現象とされている。しかも、この宗教形態はあらゆる宗教と結びつく性格を具えている。わが国で生起しているシャーマニズムもまたいろいろな宗教と関係していることが知られているが、この講座では、特にシャーマニズムと仏教現象との諸関係に注目して考察してみたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

次のテーマのもとに具体的に考察する。

1. 宗教人類学の学問的特徴 2. フィールドワーク 3. 宗教文化の基盤 4. 宗教的職能者 5. 宗教－呪術－巫術 6. 生き神信仰の諸相と研究史 7. 生き神と生き仏 8. 神人交流の諸相 9. 生き神信仰と仏教現象 10. 総括。

#### 履修上の留意点

ときどき出席をとるので、欠席をする場合（または出席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

#### 成績評価の方法

学年末のレポート（2400字～2800字）で評価する。合格の基準は、1. 講義内容を踏まえていること 2. 参考文献を読みこなしていること 3. みずからの言葉で論じていること、の三点にある。なお、不合格の場合には、出席点を加算して最終評価を行う予定。

#### 教科書

佐々木宏幹 『聖と呪力の人類学』 講談社（学術文庫）

#### 参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	民間信仰論	開講	通年	単位	4
配当	禅仏英地文環境歴日外考社福心234年随意				
担当者名	たにくち みつぎ 谷口 寛				

#### 講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の構造と機能を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

#### 成績評価の方法

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定。出席を重視する。

#### 教科書

使用しない。

#### 参考書等

参考書として、桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮本袈裟雄著『庶民信仰と現世利益』（東京堂出版）の2冊を紹介しておきたい。

#### その他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、その都度コピーで配付する。また、講義に関連したビデオを見る予定にしている。

科目名	日本宗教文化史	開講	通年	単位	4
配当	禅仏国英地文環境歴日外考社福心234年随意				
担当者名	おがわ としゆき 小川 順敬				

#### 講義のねらい

日本の他界観、生死観の変遷を考える。  
われわれの文化は（われわれの文化ばかりではありませんが）自分たちが生きているこの世界の他に、もう一つ別の世界や空間を創り出してきました。そして、それはわれわれに、いかに生き、いかに死ぬかという問題を考えさせる文化装置として機能してきたと言えます。（現代社会においても、他界のイメージこそ異なるでしょうが、それは一定の役割を果たしていると言えるでしょう。）  
ここでは、日本の伝統的な他界や仏教がもたらした他界のイメージが、生と死の文化装置として、どの様に具体化されてきたのか、すなわち他界という見えない世界がどのように表現され演出されてきたのかを考えてみることにしたいと思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

最初に他界観の前提としての日本人の霊魂観について述べ、「生と死」をわれわれがどのように考えてきたのかを整理しておきたいと思います。その上で、様々な「他界」について紹介・検討して行きたいと思います。  
山中他界や海上他界、あるいは浄土や地獄がどのように実現されているのか。様々な聖地や、民俗行事（祭礼や儀礼）、寺院行事、また物語、芸能などを題材（ビデオ等使用する予定）として、この世では見えないはずの他界が、この世でどのように表現されてきたのか、そしてこの世と他界がどのように結ばれているかを見て行きたいと思います。

#### 成績評価の方法

レポートその他で評価する。

#### 教科書

教科書・参考書は用いない。なお授業の内容にそって資料を配布する。また参考書はその都度、紹介することにしたい。

科目名	民衆宗教成立史	開講	通年	単位	4
配当	国英地文環境歴日外考社福心234年随意				
担当者名	鈴木 一馨				

#### 講義のねらい

民衆宗教は、世俗の中に生きるひとびとが既存宗教の体系にとらわれずに、そのさまざまな願望に応じたものごとを取り入れながら形成したものである。それがゆえに、無秩序で「いいかげんなもの」とイメージされやすいが、実はそうではなく、取り入れた要素を独自の論理で編成しオリジナリティ溢れる体系を作り上げている。  
この講義では、日本の民衆宗教の一例として陰陽道を探り上げ、前期に陰陽道の初期的形成とそれを支える中国的宇宙論について基礎的な知識を講説し、後期はその基礎に立って民衆宗教としての陰陽道の実像とその役割について講説する。そして、両者を併せて民衆宗教の形成のされ方について理解を深めてもらう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期：I. 陰陽道と「陰陽」の宇宙論  
(1～4)「陰陽寮」と「陰陽道」(5～9)「陰陽」の理論と世界観(10～13)暦と世界の変化  
後期：II. 陰陽道と民衆宗教  
(14～16)平安貴族の日常と陰陽道(17～20)陰陽道の占い(21～26)呪術者としての陰陽師

#### 履修上の留意点

講義に対する積極的な姿勢と、社会人予備軍としての常識性を重視する。なお、復習をしないといけない。  
また、成績処理用に「受講者カード」を準備するので、初回の出席時に必ず記入すること。同カードの記入や提出がない場合には単位の認定をしない。

#### 成績評価の方法

出欠状況、期末試験、質問への返答、受講態度など、評価につながるものは全て考慮する。

#### 教科書

鈴木一馨『陰陽道—呪術と鬼神の世界—』(講談社選書メチエ244、2002年)1,575円

#### 参考書等

林淳・小池淳一編『陰陽道の講義』(嵯峨野書院、2002年)3,150円  
高埜利彦編『民間に生きる宗教者』(吉川弘文館、2000年)2,940円

科目名	美術史概説	開講	通年	単位	4
配当	英地文環境社福心234年随意				
担当者名	北野 良枝				

#### 講義のねらい

日本絵画の流れを主要なジャンルや流派ごとに概観する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回、作品を映写する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期 平安時代から室町時代の絵画  
(1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識  
(3)～(4) 仏教絵画 (5)～(7) 絵巻物  
(8)～(9) 肖像画 (10)～(13) 室町時代の水墨画  
後期 室町末から江戸時代の絵画  
(14)～(17) 狩野派 (18)～(21) 琳派  
(22)～(24) 南蘋派と洋風画 (25)～(26) 江戸から明治へ

#### 成績評価の方法

授業中に実施する小テストの得点および学年末試験の得点によって評価する。

科目名	東洋思想史	開講	通年	単位	4
配当	英地文環境歴日外考社福心234年随意				
担当者名	末木 <sup>オノキ</sup> <sup>ヤスヒコ</sup> 恭彦				

講義のねらい

中国の伝統思想、特に儒学のあり様について理解を深めることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

直線的に歴史把握を行うのではなく、儒学の根本文献（経）についての理解を深め、各経の歴史的展開を並行的に把握することにする。経理解の手掛りとしては、江戸時代の儒者、荻生徂徠の『経史子要覧』を用いる。『経史子要覧』の言説を読み、それに現代の視点からの補説を行う。この作業を通じて、儒学の経とは何か理解を深め、それがどう読まれて来たか歴史的認識を試みる。なお、『経史子要覧』は必要箇所を複写して配布する。

履修上の留意点

予習をして来て欲しい。テキストの疑問点を整理して授業に臨んで欲しい。その疑問点の解明を中心として、授業を展開する予定である。

成績評価の方法

平常の受講態度に学年末のリポートを加味して成績をつける。

科目名	日本民俗学	開講	通年	単位	4
配当	英地文環境社福心234年随意				
担当者名	谷口 <sup>たにくち</sup> <sup>みつぎ</sup> 貢				

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の調査・研究を通して、日本社会に展開する生活文化を追究する学問である。「民俗」はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は日本の地域社会に伝承されてきた民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していきたい。年間の講義予定は以下に掲げる内容で、各2回程度に分けて行う予定である。

- 第1講 民俗の多様性
- 第2講 民俗学の流れと現在
- 第3講 家族生活と住まい
- 第4講 食をめぐる民俗
- 第5講 村と町のなりたち
- 第6講 若者と一人前
- 第7講 婚姻と出産・子育ての民俗
- 第8講 女性・子ども・老人の民俗
- 第9講 葬送儀礼と先祖祭祀
- 第10講 里と海・山のなりわい
- 第11講 祭りと年中行事
- 第12講 民俗宗教の諸相
- 第13講 北海道民俗・沖縄民俗の特徴

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

教科書

谷口 貢・松崎憲三編著『民俗学講義－生活文化へのアプローチ』（八千代出版）2100円（税込）ISBN 4－8429－1405－X

参考書等

講義内容を発展させるための参考文献は授業の中で紹介していきたい。

科目名	日本仏教史	開講	通年	単位	4
配当	国英地文環境社福心234年随意				
担当者名	まつもと のぶみち 松本 信道				

講義のねらい

本講座は、「仏教の日本的受容」というテーマを中心として、日本の古代史を再検討してみようというのがねらいである。

講義の内容・  
授業スケジュール

仏教が日本に受容された背景を、政治的・社会的・思想的・宗教的環境の中で有機的にとらえていくということを基本的姿勢として講義を進める。とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的視点と、日本古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく、一般民衆の「苦悩」と「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆史的視点からもアプローチしてみたい。

成績評価の方法

前期・後期2回のレポートと出席点を総合して評価する。

教科書

随時、プリントにて配布します。

参考書等

速水侑『日本仏教史 古代編』（吉川弘文館）